東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書13

―袖ケ浦市関畑遺跡―

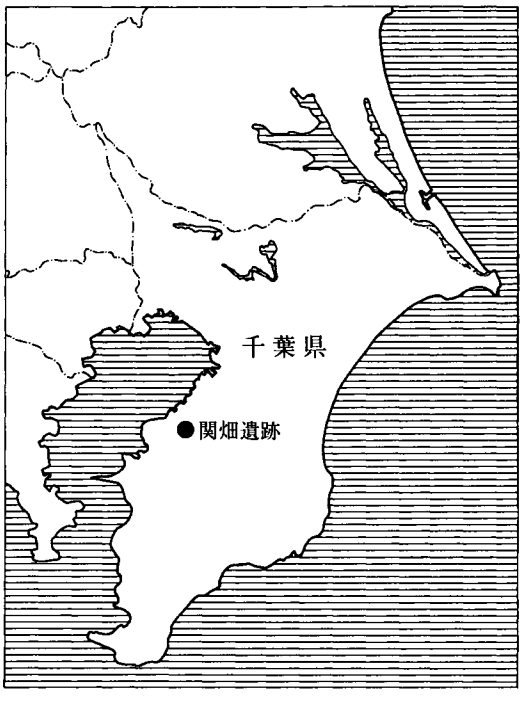
平成16年3月

日　本　道　路　公　団

財団法人　千葉県文化財センター

東関東自動車道（千葉・富津線）
埋蔵文化財調査報告書13

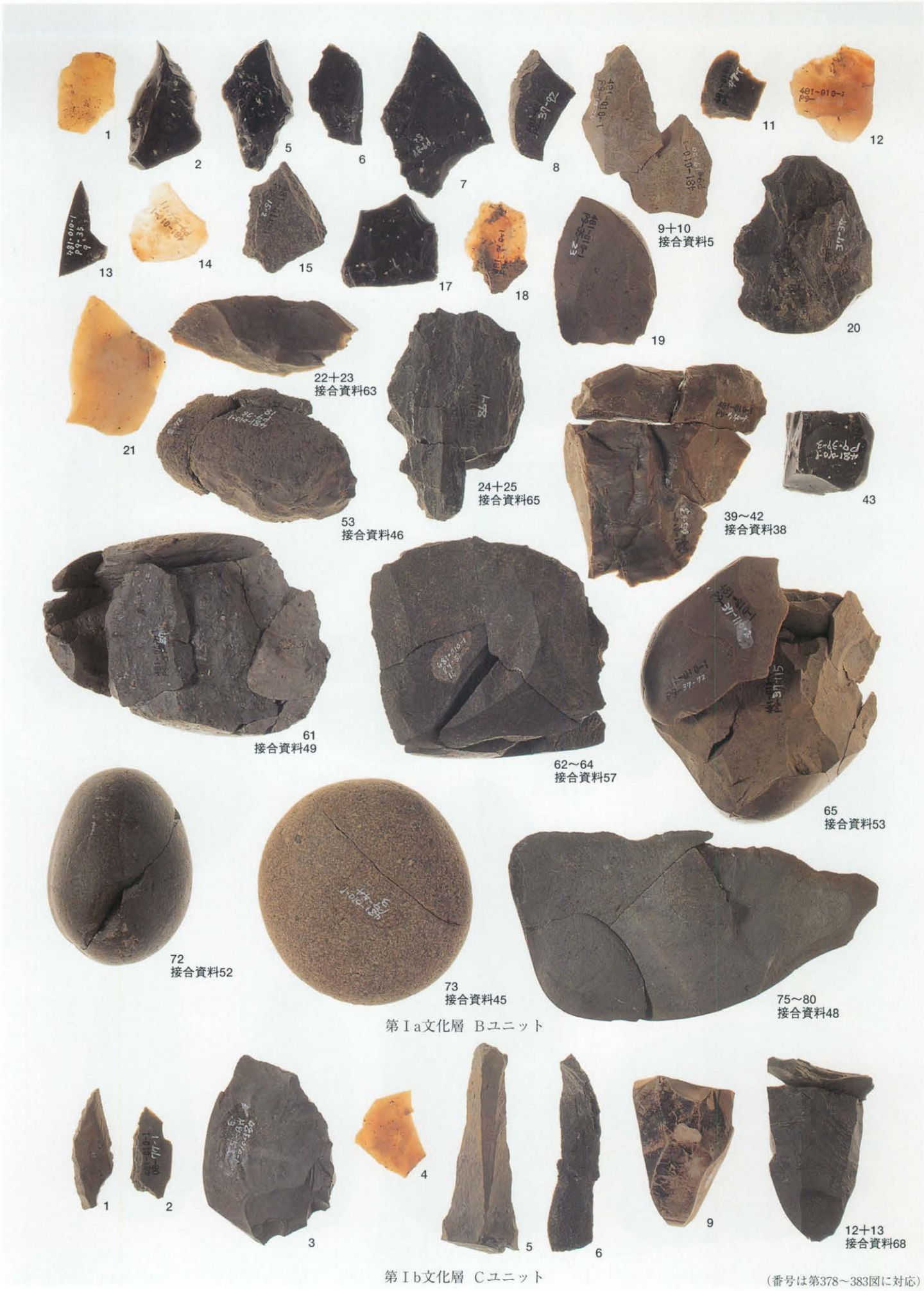
―袖ケ浦市関畑遺跡―



第Ⅰa文化層 Aユニット

（番号は第371～377図に対応）

第Ⅰa文化層 Aユニット



第Ⅰa文化層 B・第Ⅰb文化層 Cユニット

第Ⅱa文化層

第Ⅱb文化層

第Ⅳa文化層

（番号は第384～389図に対応）

第Ⅱa・Ⅱb・Ⅳa文化層

第Ⅴc文化層

第Ⅴd文化層

第Ⅵ文化層

第Ⅶ文化層

第Ⅷ文化層

（番号は第395～406図に対応）

第Ⅴc・Ⅴd・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ文化層

序　文

財団法人千葉県文化財センターは，埋蔵文化財の調査研究，文化財保護思想の涵養と普及などを主な目的として昭和49年に設立され，以来，数多くの遺跡の発掘調査を実施し，その成果として多数の発掘調査報告書を刊行してきました。

このたび，千葉県文化財センター調査報告第484集として，日本道路公団の東関東自動車道（千葉・富津線）建設事業に伴って実施した袖ケ浦市関畑遺跡の発掘調査報告書を刊行する運びとなりました。

この調査では，旧石器時代の石器群や弥生時代の集落が検出されるなど，この地域の歴史を知る上で貴重な成果が得られております。

刊行に当たり，この報告書が学術資料として，また埋蔵文化財の保護に対する理解を深めるための資料として広く活用されることを願っております。

終わりに，調査に際し御指導，御協力をいただきました地元の方々を初めとする関係の皆様や関係機関，また，発掘から整理まで御苦労をおかけした調査補助員の皆様に心から感謝の意を表します。

平成16年３月25日

財団法人千葉県文化財センター

理事長　　清　水　　新　次

凡　例

1　本書は，日本道路公団による東関東自動車道（千葉・富津線）建設事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告書の第13集である。

2　本書に収録した遺跡は，千葉県袖ケ浦市大曽根字上ノ台2,166－2ほかに所在する関畑遺跡（遺跡コード481－010）である。

3　発掘調査から報告書作成に至る業務は，日本道路公団の委託を受け，財団法人千葉県文化財センターが実施した。

4　発掘調査及び整理作業の担当者，実施期間は本文中に記載した。

5　本書は，南部調査事務所長鈴木定明の指導のもとに，小久貫隆史が編集した。
　執筆は，旧石器時代については，上席研究員新田浩三が担当したほかは，小久貫が担当した。

6　発掘調査から報告書の刊行に至るまで，千葉県教育庁教育振興部文化財課，日本道路公団，袖ケ浦市教育委員会の御指導，御協力を得た。

7　本書で使用した地形図は，下記のとおりである。

第1図　国土地理院発行1：25,000「姉崎」（NI－54－19－16－3）
「上総横田」（NI－54－19－16－4）
「奈良輪」（NI－54－25－4－1）
「木更津」（NI－54－25－4－2）

第2図　袖ケ浦町（当時）発行1：2,500地形図№19（Ⅸ－ME　14－1）
№26（Ⅸ－ME　14－3）

8　周辺航空写真は，京葉測量株式会社による平成4年撮影のものを使用した。

9　本書で使用した図面の方位は，すべて座標北である。

10　本書で使用した遺構番号は，調査時の番号を使用しているが，第一地区・第二地区それぞれに，遺構の種類に関係なく，通し番号で付されているため，記述の便宜上，第一地区の遺構は，1－001，第二地区の遺構は2－001と呼称した。

本文目次

第1章　はじめに ……1
　第1節　調査の概要 ……1
　　1　調査に至る経緯 ……1
　　2　調査の経過 ……1
　　3　調査の方法 ……2
　第2節　遺跡の概要 ……3
　　1　関畑遺跡の位置 ……3
　　2　関畑遺跡周辺の遺跡 ……3
第2章　検出された遺構と遺物 ……16
　第1節　旧石器時代 ……16
　　1　基本層序 ……16
　　2　文化層の概要 ……18
　　3　第Ⅰ文化層 ……29
　　4　第Ⅱ文化層 ……186
　　5　第Ⅲ文化層 ……236
　　6　第Ⅳ文化層 ……238
　　7　第Ⅴ文化層 ……291
　　8　第Ⅵ文化層 ……353
　　9　第Ⅶ文化層 ……360
　　10　第Ⅷ文化層 ……391
　第2節　縄文時代の遺構と遺物 ……432
　　1　陥穴 ……432
　　2　遺構外出土土器 ……438
　　3　遺構外出土石器 ……443
　第3節　弥生時代の遺構と遺物 ……444
　　1　竪穴住居跡 ……444
　　2　方形周溝墓 ……472
　　3　溝 ……491
　第4節　古墳時代の遺構と遺物 ……493
　　1　竪穴住居跡 ……493
　　2　方形周溝墓 ……500
　　3　古墳 ……502
　第5節　奈良・平安時代の遺構と遺物 ……507
　　1　竪穴住居跡 ……507

2　方形周溝状遺構 ……507
3　掘立柱建物跡 ……510
第6節　そのほかの時代の遺構 ……510
第7節　遺構外出土遺物 ……514
第3章　まとめ ……515
第1節　旧石器時代 ……515
第2節　弥生時代・古墳時代 ……571
報告書抄録……巻末

挿図目次

第1図　関畑遺跡の位置と周辺の主な遺跡（1：25,000）……4
第2図　遺跡周辺の地形と調査範囲（1：5,000）……6
第3図　調査範囲と大グリッド（1：2,500）……7
第4図　遺構配置図（1）（1：500）……8
第5図　遺構配置図（2）（1：500）……9
第6図　遺構配置図（3）（1：500）……11
第7図　遺構配置図（4）（1：500）……13
第8図　基本層序 ……16
第9図　旧石器時代確認グリッド ……20
第10図　旧石器時代本調査範囲とブロック分布 ……21
第11図　第Ⅰa文化層分布状況……30
第12図　第Ⅰa文化層Aユニット分布状況……31
第13図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック器種別分布図 ……34
第14図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック母岩別分布図 ……35
第15図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック出土石器（1）……37
第16図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック出土石器（2）……38
第17図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック出土石器（3）……39
第18図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック出土石器（4）……40
第19図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック出土石器（5）……41
第20図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック出土石器（6）……42
第21図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック出土石器（7）……43
第22図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック出土石器（8）……44
第23図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック出土石器（9）……45
第24図　第Ⅰa文化層Aユニット 第2ブロック器種別分布図 ……50
第25図　第Ⅰa文化層Aユニット 第2ブロック母岩別分布図 ……51
第26図　第Ⅰa文化層Aユニット 第2ブロック出土石器（1）……54
第27図　第Ⅰa文化層Aユニット 第2ブロック出土石器（2）……55
第28図　第Ⅰa文化層Aユニット 第2ブロック出土石器（3）……56
第29図　第Ⅰa文化層Aユニット 第2ブロック出土石器（4）……57
第30図　第Ⅰa文化層Aユニット 第2ブロック出土石器（5）……58
第31図　第Ⅰa文化層Aユニット 第2ブロック出土石器（6）……59
第32図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック器種別分布図 ……61
第33図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック母岩別分布図 ……62
第34図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（1）……63
第35図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（2）……64
第36図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（3）……65
第37図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（4）……66
第38図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（5）……67
第39図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（6）……68
第40図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（7）……69
第41図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（8）……70
第42図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（9）……71
第43図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（10）……72
第44図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（11）……73
第45図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（12）……74
第46図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（13）……75
第47図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（14）……76
第48図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック器種別分布図 ……82
第49図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック母岩別分布図 ……83
第50図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（1）……87
第51図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（2）……88
第52図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（3）……89
第53図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（4）……90
第54図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（5）……91
第55図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（6）……92
第56図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（7）……93
第57図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（8）……94
第58図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（9）……95
第59図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（10）……96
第60図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（11）……97
第61図　第Ⅰa文化層Aユニット 第5ブロック器種別分布図……100
第62図　第Ⅰa文化層Aユニット 第5ブロック母岩別分布図……101
第63図　第Ⅰa文化層Aユニット 第5ブロック出土石器（1）……102
第64図　第Ⅰa文化層Aユニット 第5ブロック出土石器（2）……103
第65図　第Ⅰa文化層Aユニット 第5ブロック出土石器（3）……104
第66図　第Ⅰa文化層Aユニット 第5ブロック出土石器（4）……105
第67図　第Ⅰa文化層Aユニット 第5ブロック出土石器（5）……106
第68図　第Ⅰa文化層Aユニット 第6ブロック器種別（上）・
母岩別（下）分布図……108
第69図　第Ⅰa文化層Aユニット 第6ブロック出土石器（1）……110
第70図　第Ⅰa文化層Aユニット 第6ブロック出土石器（2）……111
第71図　第Ⅰa文化層Bユニット分布状況 ……113

第72図　第Ⅰa文化層Bユニット 第7ブロック器種別分布図……116
第73図　第Ⅰa文化層Bユニット 第7ブロック母岩別分布図……117
第74図　第Ⅰa文化層Bユニット 第7ブロック出土石器（1）……118
第75図　第Ⅰa文化層Bユニット 第7ブロック出土石器（2）……119
第76図　第Ⅰa文化層Bユニット 第7ブロック出土石器（3）……120
第77図　第Ⅰa文化層Bユニット 第7ブロック出土石器（4）……121
第78図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック器種別分布図……124
第79図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック母岩別分布図……125
第80図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（1）……128
第81図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（2）……129
第82図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（3）……130
第83図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（4）……131
第84図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（5）……132
第85図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（6）……133
第86図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（7）……134
第87図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（8）……136
第88図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（9）……137
第89図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（10）……138
第90図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（11）……139
第91図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（12）……140
第92図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（13）……141
第93図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（14）……142
第94図　第Ⅰa文化層Bユニット 第9ブロック器種別分布図……144
第95図　第Ⅰa文化層Bユニット 第9ブロック母岩別分布図……145
第96図　第Ⅰa文化層Bユニット 第9ブロック出土石器（1）……147
第97図　第Ⅰa文化層Bユニット 第9ブロック出土石器（2）……148
第98図　第Ⅰa文化層Bユニット 第9ブロック出土石器（3）……149
第99図　第Ⅰa文化層Bユニット 第9ブロック出土石器（4）……150
第100図　第Ⅰa文化層Bユニット 第9ブロック出土石器（5）……151
第101図　第Ⅰa文化層Bユニット 第9ブロック出土石器（6）……152
第102図　第Ⅰa文化層Bユニット 第9ブロック出土石器（7）……153
第103図　第Ⅰa文化層Bユニット 第10ブロック器種別分布図……158
第104図　第Ⅰa文化層Bユニット 第10ブロック母岩別分布図……159
第105図　第Ⅰa文化層Bユニット 第10ブロック出土石器（1）……160
第106図　第Ⅰa文化層Bユニット 第10ブロック出土石器（2）……161
第107図　第Ⅰa文化層Bユニット 第11ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図……163
第108図　第Ⅰa文化層Bユニット 第11ブロック出土石器……164
第109図　第Ⅰa文化層Bユニット 第12ブロック出土石器……167
第110図　第Ⅰa文化層Bユニット 第12ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図……167
第111図　第Ⅰa文化層Bユニット 第13ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図……169
第112図　第Ⅰa文化層Bユニット 第13ブロック出土石器……170
第113図　第Ⅰb文化層Cユニット分布状況……173
第114図　第Ⅰb文化層Cユニット 第14ブロック出土石器……175
第115図　第Ⅰb文化層Cユニット 第14ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図……175
第116図　第Ⅰb文化層Cユニット 第15ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図……177
第117図　第Ⅰb文化層Cユニット 第15ブロック出土石器（1）……178
第118図　第Ⅰb文化層Cユニット 第15ブロック出土石器（2）……179
第119図　第Ⅰb文化層Cユニット 第16ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図……180
第120図　第Ⅰb文化層Cユニット 第16ブロック出土石器……181
第121図　第Ⅰb文化層Cユニット 第17ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図……183
第122図　第Ⅰb文化層Cユニット 第17ブロック出土石器……184
第123図　第Ⅰb文化層Cユニット 第18ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図……185
第124図　第Ⅱ文化層分布状況……187
第125図　第Ⅱa文化層分布状況……188
第126図　第Ⅱa文化層 第20ブロック器種別分布図……192
第127図　第Ⅱa文化層 第20ブロック母岩別分布図……193
第128図　第Ⅱa文化層 第20ブロック出土石器（1）……194
第129図　第Ⅱa文化層 第20ブロック出土石器（2）……195
第130図　第Ⅱa文化層 第20ブロック出土石器（3）……196
第131図　第Ⅱa文化層 第20ブロック出土石器（4）……197
第132図　第Ⅱa文化層 第20ブロック出土石器（5）……198
第133図　第Ⅱa文化層 第20ブロック出土石器（6）……199
第134図　第Ⅱa文化層 第20ブロック出土石器（7）……200
第135図　第Ⅱa文化層 第20ブロック出土石器（8）……201
第136図　第Ⅱa文化層 第20ブロック出土石器（9）……202
第137図　第Ⅱa文化層 第21ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図……204
第138図　第Ⅱa文化層 第21ブロック出土石器……205
第139図　第Ⅱa文化層 第22ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図……206
第140図　第Ⅱa文化層 第22ブロック出土石器……207
第141図　第Ⅱb文化層分布状況……209
第142図　第Ⅱb文化層 第23ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図……211
第143図　第Ⅱb文化層 第23ブロック出土石器……212
第144図　第Ⅱb文化層 第24ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図……214
第145図　第Ⅱb文化層 第24ブロック出土石器（1）……215
第146図　第Ⅱb文化層 第24ブロック出土石器（2）……216
第147図　第Ⅱb文化層 第25ブロック器種別分布図……218
第148図　第Ⅱb文化層 第25ブロック母岩別分布図……219
第149図　第Ⅱb文化層 第25ブロック出土石器（1）……220
第150図　第Ⅱb文化層 第25ブロック出土石器（2）……221
第151図　第Ⅱb文化層 第25ブロック出土石器（3）……222
第152図　第Ⅱb文化層 第25ブロック出土石器（4）……223
第153図　第Ⅱb文化層 第25ブロック出土石器（5）……224
第154図　第Ⅱb文化層 第25ブロック出土石器（6）……225
第155図　第Ⅱb文化層 第25ブロック出土石器（7）……227
第156図　第Ⅱb文化層 第25ブロック出土石器（8）……228
第157図　第Ⅱb文化層 第25ブロック出土石器（9）……229
第158図　第Ⅱb文化層 第26ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図……232
第159図　第Ⅱb文化層 第26ブロック出土石器（1）……233
第160図　第Ⅱb文化層 第26ブロック出土石器（2）……234
第161図　第Ⅱb文化層 第26ブロック出土石器（3）……235
第162図　第Ⅲ文化層分布状況……237
第163図　第Ⅳ文化層分布状況……239
第164図　第Ⅳa文化層分布状況……240

第165図　第Ⅳa文化層 第28ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図……242
第166図　第Ⅳa文化層 第28ブロック出土石器……243
第167図　第Ⅳa文化層 第29ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図……244
第168図　第Ⅳa文化層 第29ブロック出土石器（1）……246
第169図　第Ⅳa文化層 第29ブロック出土石器（2）……247
第170図　第Ⅳa文化層 第29ブロック出土石器（3）……248
第171図　第Ⅳa文化層 第30ブロック器種別分布図……250
第172図　第Ⅳa文化層 第30ブロック母岩別分布図……251
第173図　第Ⅳa文化層 第30ブロック出土石器（1）……254
第174図　第Ⅳa文化層 第30ブロック出土石器（2）……255
第175図　第Ⅳa文化層 第30ブロック出土石器（3）……256
第176図　第Ⅳa文化層 第30ブロック出土石器（4）……257
第177図　第Ⅳa文化層 第30ブロック出土石器（5）……258
第178図　第Ⅳa文化層 第31ブロック器種別分布図……260
第179図　第Ⅳa文化層 第31ブロック母岩別分布図……261
第180図　第Ⅳa文化層 第31ブロック出土石器（1）……263
第181図　第Ⅳa文化層 第31ブロック出土石器（2）……264
第182図　第Ⅳa文化層 第31ブロック出土石器（3）……265
第183図　第Ⅳa文化層 第32ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図……268
第184図　第Ⅳa文化層 第32ブロック出土石器（1）……269
第185図　第Ⅳa文化層 第32ブロック出土石器（2）……270
第186図　第Ⅳa文化層 第32ブロック出土石器（3）……271
第187図　第Ⅳa文化層 第33ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図……273
第188図　第Ⅳa文化層 第33ブロック出土石器（1）……274
第189図　第Ⅳa文化層 第33ブロック出土石器（2）……275
第190図　第Ⅳa文化層 第34ブロック器種別分布図……278
第191図　第Ⅳa文化層 第34ブロック母岩別分布図……279
第192図　第Ⅳa文化層 第34ブロック出土石器（1）……282
第193図　第Ⅳa文化層 第34ブロック出土石器（2）……283
第194図　第Ⅳa文化層 第34ブロック出土石器（3）……284
第195図　第Ⅳa文化層 第34ブロック出土石器（4）……285
第196図　第Ⅳb文化層分布状況……287
第197図　第Ⅳb文化層 第35ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図……289
第198図　第Ⅳb文化層 第35ブロック出土石器……290
第199図　第Ⅴ文化層分布状況……292
第200図　第Ⅴa文化層分布状況……293
第201図　第Ⅴa文化層 第36ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図……294
第202図　第Ⅴa文化層 第36ブロック出土石器（1）……295
第203図　第Ⅴa文化層 第36ブロック出土石器（2）……296
第204図　第Ⅴb文化層分布状況……297
第205図　第Ⅴb文化層 第37ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図……299
第206図　第Ⅴb文化層 第37ブロック出土石器……300
第207図　第Ⅴb文化層 第38ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図……301
第208図　第Ⅴc文化層分布状況……303
第209図　第Ⅴc文化層 第39ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図……304
第210図　第Ⅴc文化層 第40ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図……305
第211図　第Ⅴc文化層 第40ブロック出土石器（1）……306
第212図　第Ⅴc文化層 第40ブロック出土石器（2）……307
第213図　第Ⅴc文化層 第41ブロック器種別分布図……310
第214図　第Ⅴc文化層 第41ブロック母岩別分布図……311
第215図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（1）……315
第216図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（2）……316
第217図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（3）……317
第218図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（4）……318
第219図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（5）……319
第220図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（6）……320
第221図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（7）……321
第222図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（8）……322
第223図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（9）……323
第224図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（10）……324
第225図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（11）……325
第226図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（12）……326
第227図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（13）……327
第228図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（14）……328
第229図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（15）……329
第230図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（16）……330
第231図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（17）……331
第232図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（18）……332
第233図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（19）……334
第234図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（20）……335
第235図　第Ⅴc文化層 第42ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図……336
第236図　第Ⅴc文化層 第43ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図……338
第237図　第Ⅴc文化層 第43ブロック出土石器……339
第238図　第Ⅴd文化層分布状況……341
第239図　第Ⅴd文化層 第44ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図……343
第240図　第Ⅴd文化層 第44ブロック出土石器（1）……344
第241図　第Ⅴd文化層 第44ブロック出土石器（2）……345
第242図　第Ⅴd文化層 第45ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図……347
第243図　第Ⅴd文化層 第45ブロック出土石器……348
第244図　第Ⅴe文化層分布状況……350
第245図　第Ⅴe文化層 第47ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図……351
第246図　第Ⅴe文化層 第47ブロック出土石器……352
第247図　第Ⅵ文化層分布状況……354
第248図　第Ⅵ文化層 第48ブロック出土石器……355
第249図　第Ⅵ文化層 第49ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図……356
第250図　第Ⅵ文化層 第49ブロック出土石器（1）……357
第251図　第Ⅵ文化層 第49ブロック出土石器（2）……358
第252図　第Ⅵ文化層 第50ブロック出土石器……359
第253図　第Ⅶ文化層分布状況……361
第254図　第Ⅶ文化層 第51ブロック器種別分布図……363

第255図　第Ⅶ文化層 第51ブロック出土石器（1）……366
第256図　第Ⅶ文化層 第51ブロック出土石器（2）……367
第257図　第Ⅶ文化層 第51ブロック出土石器（3）……368
第258図　第Ⅶ文化層 第51ブロック出土石器（4）……369
第259図　第Ⅶ文化層 第51ブロック出土石器（5）……370
第260図　第Ⅶ文化層 第51ブロック出土石器（6）……371
第261図　第Ⅶ文化層 第51ブロック出土石器（7）……372
第262図　第Ⅶ文化層 第51ブロック出土石器（8）……373
第263図　第Ⅶ文化層 第51ブロック出土石器（9）……374
第264図　第Ⅶ文化層 第52ブロック器種別分布図 ……376
第265図　第Ⅶ文化層 第52ブロック出土石器 ……377
第266図　第Ⅶ文化層 第53ブロック器種別分布図 ……379
第267図　第Ⅶ文化層 第54ブロック器種別分布図 ……381
第268図　第Ⅶ文化層 第54ブロック出土石器 ……382
第269図　第Ⅶ文化層 第55ブロック器種別分布図 ……385
第270図　第Ⅶ文化層 第55ブロック出土石器（1）……386
第271図　第Ⅶ文化層 第55ブロック出土石器（2）……387
第272図　第Ⅶ文化層 第55ブロック出土石器（3）……388
第273図　第Ⅶ文化層 第55ブロック出土石器（4）……389
第274図　第Ⅶ文化層 第55ブロック出土石器（5）……390
第275図　第Ⅷ文化層 第56ブロック出土石器 ……392
第276図　第Ⅷ文化層 第57ブロック出土石器 ……393
第277図　第Ⅷ文化層 第58ブロック出土石器 ……394
第278図　陥穴（1）……433
第279図　陥穴（2）……435
第280図　陥穴（3）……437
第281図　縄文土器（1）……439
第282図　縄文土器（2）……441
第283図　縄文土器（3）……443
第284図　縄文時代出土石器……443
第285図　2－001（1）……444
第286図　2－001（2）……445
第287図　2－003 ……446
第288図　2－004（1）……446
第289図　2－004（2）……447
第290図　2－005（1）……449
第291図　2－005（2）……449
第292図　2－006 ……450
第293図　2－007 ……450
第294図　2－009 ……451
第295図　2－021 ……452
第296図　2－025（1）……453
第297図　2－025（2）……454
第298図　2－028 ……454
第299図　2－080 ……455
第300図　2－081 ……456
第301図　2－082・103（1）……457
第302図　2－082・103（2）……457
第303図　2－083・088・091（1）……458
第304図　2－083・088・091（2）……459
第305図　2－083・088・091（3）……460
第306図　2－085 ……461
第307図　2－087（1）……462
第308図　2－087（2）……463
第309図　2－089 ……463
第310図　2－093（1）……464
第311図　2－093（2）……465
第312図　2－094・096（1）……466
第313図　2－094・096（2）……467
第314図　2－095 ……468
第315図　2－097・099（1）……469
第316図　2－097・099（2）……469
第317図　2－098・100……470
第318図　2－102 ……471
第319図　1－021（1）……472
第320図　1－021（2）……473
第321図　1－026（1）……474
第322図　1－026（2）……475
第323図　1－028（1）……475
第324図　1－028（2）……476
第325図　1－029（1）……477
第326図　1－029（2）……478
第327図　1－037（1）……479
第328図　1－037（2）……480
第329図　1－038（1）……481
第330図　1－038（2）……481
第331図　1－061 ……482
第332図　2－013（1）……483
第333図　2－013（2）……483
第334図　2－014・015（1）……484
第335図　2－014・015（2）……485
第336図　2－014・015（3）……485
第337図　2－014・015（4）……486
第338図　2－065・069（1）……487
第339図　2－065・069（2）……488
第340図　2－065・069（3）……488
第341図　2－065・069（4）……489
第342図　2－065・069（5）……490
第343図　2－065・069（6）……491
第344図　2－084（046）……492
第345図　1－045 ……493
第346図　1－057（1）……494
第347図　1－057（2）……494
第348図　1－075（1）……495
第349図　1－075（2）……496
第350図　1－076（1）……497
第351図　1－076（2）……497
第352図　2－012 ……498
第353図　2－092（1）……499
第354図　2－092（2）……500
第355図　1－054（1）……501
第356図　1－054（2）……502
第357図　2－020（1）……503
第358図　2－020（2）……503
第359図　2－026（1）……504
第360図　2－026（2）……505

第361図　2－026（3）……505
第362図　2－086（1）……506
第363図　2－086（2）……506
第364図　2－008（1）……507
第365図　2－008（2）……508
第366図　2－008（3）……509
第367図　2－011……509
第368図　2－022……510
第369図　溝分布図……511
第370図　遺構外出土遺物……514
第371図　第Ⅰa文化層　Aユニット器種組成（1）……518
第372図　第Ⅰa文化層　Aユニット器種組成（2）……519
第373図　第Ⅰa文化層　Aユニット器種組成（3）……520
第374図　第Ⅰa文化層　Aユニット器種組成（4）……521
第375図　第Ⅰa文化層　Aユニット器種組成（5）……522
第376図　第Ⅰa文化層　Aユニット器種組成（6）……523
第377図　第Ⅰa文化層　Aユニット器種組成（7）……524
第378図　第Ⅰa文化層　Bユニット器種組成（1）……528
第379図　第Ⅰa文化層　Bユニット器種組成（2）……529
第380図　第Ⅰa文化層　Bユニット器種組成（3）……530
第381図　第Ⅰa文化層　Bユニット器種組成（4）……531
第382図　第Ⅰa文化層　Bユニット器種組成（5）……532
第383図　第Ⅰb文化層　Cユニット器種組成……535
第384図　第Ⅱa文化層器種組成（1）……538
第385図　第Ⅱa文化層器種組成（2）……539
第386図　第Ⅱb文化層器種組成（1）……542
第387図　第Ⅱb文化層器種組成（2）……543
第388図　第Ⅳa文化層器種組成（1）……545
第389図　第Ⅳa文化層器種組成（2）……546
第390図　第Ⅳa文化層器種組成（3）……547
第391図　第Ⅳa文化層器種組成（4）……548
第392図　第Ⅳb文化層器種組成……550
第393図　第Ⅴa文化層器種組成……551
第394図　第Ⅴb文化層器種組成……552
第395図　第Ⅴc文化層器種組成（1）……553
第396図　第Ⅴc文化層器種組成（2）……554
第397図　第Ⅴc文化層器種組成（3）……555
第398図　第Ⅴc文化層器種組成（4）……556
第399図　第Ⅴc文化層器種組成（5）……557
第400図　第Ⅴd文化層器種組成……560
第401図　第Ⅴe文化層器種組成……561
第402図　第Ⅵ文化層器種組成……562
第403図　第Ⅶ文化層器種組成（1）……564
第404図　第Ⅶ文化層器種組成（2）……565
第405図　第Ⅶ文化層器種組成（3）……566
第406図　第Ⅷ文化層器種組成……567

表　目　次

第 1 表　文化層別石器群概要一覧……19
第 2 表　文化層別器種組成表（1）……24
第 3 表　文化層別器種組成表（2）……25
第 4 表　文化層別石材組成表（1）……26
第 5 表　文化層別石材組成表（2）……27
第 6 表　第Ⅰa文化層石材器種組成表……32
第 7 表　第Ⅰa文化層Aユニット石材器種組成表……32
第 8 表　第Ⅰa文化層Aユニット　第1ブロック母岩器種組成表（1）……46
第 9 表　第Ⅰa文化層Aユニット　第1ブロック母岩器種組成表（2）……47
第 10 表　第Ⅰa文化層Aユニット　第2ブロック母岩器種組成表（1）……52
第 11 表　第Ⅰa文化層Aユニット　第2ブロック母岩器種組成表（2）……53
第 12 表　第Ⅰa文化層Aユニット　第3ブロック母岩器種組成表（1）……78
第 13 表　第Ⅰa文化層Aユニット　第3ブロック母岩器種組成表（2）……79
第 14 表　第Ⅰa文化層Aユニット　第4ブロック母岩器種組成表（1）……84
第 15 表　第Ⅰa文化層Aユニット　第4ブロック母岩器種組成表（2）……85
第 16 表　第Ⅰa文化層Aユニット　第5ブロック母岩器種組成表……99
第 17 表　第Ⅰa文化層Aユニット　第6ブロック母岩器種組成表……109
第 18 表　第Ⅰa文化層Bユニット石材器種組成表……112
第 19 表　第Ⅰa文化層Bユニット　第7ブロック母岩器種組成表……115
第 20 表　第Ⅰa文化層Bユニット　第8ブロック母岩器種組成表（1）……126
第 21 表　第Ⅰa文化層Bユニット　第8ブロック母岩器種組成表（2）……127
第 22 表　第Ⅰa文化層Bユニット　第9ブロック母岩器種組成表（1）……154
第 23 表　第Ⅰa文化層Bユニット　第9ブロック母岩器種組成表（2）……155
第 24 表　第Ⅰa文化層Bユニット　第10ブロック母岩器種組成表……157
第 25 表　第Ⅰa文化層Bユニット　第11ブロック母岩器種組成表……165
第 26 表　第Ⅰa文化層Bユニット　第12ブロック母岩器種組成表……166
第 27 表　第Ⅰa文化層Bユニット　第13ブロック母岩器種組成表……171
第 28 表　第Ⅰb文化層石材器種組成表……172
第 29 表　第Ⅰb文化層Cユニット　第14ブロック母岩器種組成表……174
第 30 表　第Ⅰb文化層Cユニット　第15ブロック母岩器種組成表……176
第 31 表　第Ⅰb文化層Cユニット　第16ブロック母岩器種組成表……181
第 32 表　第Ⅰb文化層Cユニット　第17ブロック母岩器種組成表……182
第 33 表　第Ⅰb文化層Cユニット　第18ブロック母岩器種組成表……185
第 34 表　第Ⅱa文化層石材器種組成表……186
第 35 表　第Ⅱa文化層　第19ブロック母岩器種組成表……189
第 36 表　第Ⅱa文化層　第20ブロック母岩器種組成表……191

第37表　第Ⅱa文化層 第21ブロック母岩器種組成表……205
第38表　第Ⅱa文化層 第22ブロック母岩器種組成表……207
第39表　第Ⅱb文化層石材器種組成表 ……208
第40表　第Ⅱb文化層 第23ブロック母岩器種組成表……210
第41表　第Ⅱb文化層 第24ブロック母岩器種組成表……213
第42表　第Ⅱb文化層 第25ブロック母岩器種組成表……217
第43表　第Ⅱb文化層 第26ブロック母岩器種組成表……231
第44表　第Ⅲ文化層石材器種組成表……236
第45表　第Ⅲ文化層 第27ブロック母岩器種組成表 ……236
第46表　第Ⅳa文化層石材器種組成表 ……238
第47表　第Ⅳa文化層 第28ブロック母岩器種組成表……241
第48表　第Ⅳa文化層 第29ブロック母岩器種組成表……245
第49表　第Ⅳa文化層 第30ブロック母岩器種組成表……253
第50表　第Ⅳa文化層 第31ブロック母岩器種組成表……259
第51表　第Ⅳa文化層 第32ブロック母岩器種組成表……267
第52表　第Ⅳa文化層 第33ブロック母岩器種組成表……272
第53表　第Ⅳa文化層 第34ブロック母岩器種組成表……277
第54表　第Ⅳb文化層石材器種組成表 ……286
第55表　第Ⅳb文化層 第35ブロック母岩器種組成表……288
第56表　第Ⅴa文化層石材器種組成表 ……293
第57表　第Ⅴa文化層 第36ブロック母岩器種組成表……297
第58表　第Ⅴb文化層石材器種組成表 ……298
第59表　第Ⅴb文化層 第37ブロック母岩器種組成表……300
第60表　第Ⅴb文化層 第38ブロック母岩器種組成表……301
第61表　第Ⅴc文化層石材器種組成表 ……302
第62表　第Ⅴc文化層 第39ブロック母岩器種組成表……304
第63表　第Ⅴc文化層 第40ブロック母岩器種組成表……308
第64表　第Ⅴc文化層 第41ブロック母岩器種組成表（1） ……312
第65表　第Ⅴc文化層 第41ブロック母岩器種組成表（2） ……313
第66表　第Ⅴc文化層 第42ブロック母岩器種組成表……337
第67表　第Ⅴc文化層 第43ブロック母岩器種組成表……338
第68表　第Ⅴd文化層石材器種組成表 ……340
第69表　第Ⅴd文化層 第44ブロック母岩器種組成表……342
第70表　第Ⅴd文化層 第45ブロック母岩器種組成表……346
第71表　第Ⅴd文化層 第46ブロック母岩器種組成表……349
第72表　第Ⅴe文化層石材器種組成表 ……350
第73表　第Ⅴe文化層 第47ブロック母岩器種組成表……352
第74表　第Ⅵ文化層石材器種組成表……353
第75表　第Ⅵ文化層 第48ブロック母岩器種組成表 ……355
第76表　第Ⅵ文化層 第49ブロック母岩器種組成表 ……358
第77表　第Ⅵ文化層 第50ブロック母岩器種組成表 ……359
第78表　第Ⅶ文化層石材器種組成表……360
第79表　第Ⅶ文化層 第51ブロック母岩器種組成表 ……375
第80表　第Ⅶ文化層 第52ブロック母岩器種組成表 ……378
第81表　第Ⅶ文化層 第53ブロック母岩器種組成表 ……379
第82表　第Ⅶ文化層 第54ブロック母岩器種組成表 ……380
第83表　第Ⅶ文化層 第55ブロック母岩器種組成表 ……383
第84表　第Ⅷ文化層石材器種組成表……391
第85表　第Ⅷ文化層 第56ブロック母岩器種組成表 ……391
第86表　第Ⅷ文化層 第57ブロック母岩器種組成表 ……393
第87表　第Ⅷ文化層 第58ブロック母岩器種組成表 ……394
第88表　第Ⅰ文化層石器属性表（1） ……395
第89表　第Ⅰ文化層石器属性表（2） ……396
第90表　第Ⅰ文化層石器属性表（3） ……397
第91表　第Ⅰ文化層石器属性表（4） ……398
第92表　第Ⅰ文化層石器属性表（5） ……399
第93表　第Ⅰ文化層石器属性表（6） ……400
第94表　第Ⅰ文化層石器属性表（7） ……401
第95表　第Ⅰ文化層石器属性表（8） ……402
第96表　第Ⅰ文化層石器属性表（9） ……403
第97表　第Ⅰ文化層石器属性表（10） ……404
第98表　第Ⅰ文化層石器属性表（11） ……405
第99表　第Ⅰ文化層石器属性表（12） ……406
第100表　第Ⅰ文化層石器属性表（13） ……407
第101表　第Ⅰ文化層石器属性表（14） ……408
第102表　第Ⅰ文化層石器属性表（15） ……409
第103表　第Ⅰ文化層石器属性表（16） ……410
第104表　第Ⅱ文化層石器属性表（1） ……410
第105表　第Ⅱ文化層石器属性表（2） ……411
第106表　第Ⅱ文化層石器属性表（3） ……412
第107表　第Ⅱ文化層石器属性表（4） ……413
第108表　第Ⅲ文化層石器属性表……413
第109表　第Ⅳ文化層石器属性表（1） ……413
第110表　第Ⅳ文化層石器属性表（2） ……414
第111表　第Ⅳ文化層石器属性表（3） ……415
第112表　第Ⅳ文化層石器属性表（4） ……416
第113表　第Ⅳ文化層石器属性表（5） ……417
第114表　第Ⅴ文化層石器属性表（1） ……418
第115表　第Ⅴ文化層石器属性表（2） ……419
第116表　第Ⅴ文化層石器属性表（3） ……420
第117表　第Ⅴ文化層石器属性表（4） ……421
第118表　第Ⅵ文化層石器属性表……421
第119表　第Ⅶ文化層石器属性表（1） ……422
第120表　第Ⅶ文化層石器属性表（2） ……423
第121表　第Ⅶ文化層石器属性表（3） ……424
第122表　第Ⅶ文化層石器属性表（4） ……425
第123表　第Ⅶ文化層石器属性表（5） ……426
第124表　第Ⅶ文化層石器属性表（6） ……427
第125表　第Ⅶ文化層石器属性表（7） ……428
第126表　第Ⅶ文化層石器属性表（8） ……429
第127表　第Ⅶ文化層石器属性表（9） ……430
第128表　第Ⅶ文化層石器属性表（10） ……431
第129表　第Ⅷ文化層石器属性表……431

図版目次

巻頭図版１　第Ⅰa文化層 Aユニット
巻頭図版２　第Ⅰa文化層 B・第Ⅰb文化層 Cユニット
巻頭図版３　第Ⅱa・Ⅱb・Ⅳa文化層
巻頭図版４　第Ⅴc・Ⅴd・Ⅵ・Ⅶ・Ⅷ文化層
図版１　関畑遺跡周辺航空写真（平成４年撮影）
図版２　旧石器時代の調査（１）
図版３　旧石器時代の調査（２）
図版４　旧石器時代の調査（３）
図版５　弥生時代の竪穴住居跡（１）
図版６　弥生時代の竪穴住居跡（２）
図版７　弥生時代の竪穴住居跡（３）
図版８　弥生時代の竪穴住居跡（４）
図版９　弥生時代の竪穴住居跡（５）
図版10　弥生時代の竪穴住居跡（６）
図版11　弥生時代の竪穴住居跡（７）
図版12　弥生時代の方形周溝墓（１）
図版13　弥生時代の方形周溝墓（２）
図版14　弥生時代の方形周溝墓（３）
図版15　弥生時代の方形周溝墓（４）
図版16　弥生時代の方形周溝墓（５）
図版17　古墳時代の竪穴住居跡（１）
図版18　古墳時代の竪穴住居跡（２）
図版19　古墳時代の方形周溝墓
　　古墳（１）
図版20　古墳（２）
　　奈良・平安時代の遺構
図版21　第Ⅰa文化層Aユニット（１）
図版22　第Ⅰa文化層Aユニット（２）
図版23　第Ⅰa文化層Aユニット（３）
図版24　第Ⅰa文化層Aユニット（４）
図版25　第Ⅰa文化層Aユニット接合資料単体（１）
図版26　第Ⅰa文化層Aユニット接合資料単体（２）
図版27　第Ⅰa文化層Aユニット接合資料単体（３）
図版28　第Ⅰa文化層Bユニット（１）
図版29　第Ⅰa文化層Bユニット（２）
図版30　第Ⅰa文化層Bユニット接合資料単体（１）
図版31　第Ⅰa文化層Bユニット接合資料単体（２）
図版32　第Ⅰa文化層Bユニット（３）・第Ⅰb文化層Cユニット
図版33　第Ⅱa文化層
図版34　第Ⅱb文化層（１）
図版35　第Ⅱb文化層（２）
図版36　第Ⅰ・第Ⅱ文化層接合資料単体
図版37　第Ⅳa文化層（１）
図版38　第Ⅳa文化層（２）
図版39　第Ⅳa文化層（３）・第Ⅳb文化層
図版40　第Ⅳa文化層接合資料単体
図版41　第Ⅴa・b文化層・第Ⅴc文化層（１）
図版42　第Ⅴc文化層（２）
図版43　第Ⅴc文化層接合資料単体（１）
図版44　第Ⅴc文化層接合資料単体（２）
図版45　第Ⅴc文化層（３）・第Ⅴd・e文化層・第Ⅵ文化層
図版46　第Ⅶ文化層（１）
図版47　第Ⅶ文化層（２）・第Ⅷ文化層
図版48　第Ⅵ・第Ⅶ文化層接合資料単体
図版49　出土土器（１）
図版50　出土土器（２）
図版51　出土土器（３）
図版52　出土土器（４）
図版53　出土土器（５）

第１章　はじめに

第１節　調査の概要

１　調査に至る経緯

日本道路公団では，千葉市から富津市に至る高速自動車道である東関東自動車道館山線を計画した。この路線のうち，千葉市から市原市，袖ケ浦市を経て木更津市に至る約35㎞の区間が事業化され，千葉・富津線として建設が行われることとなった。

用地内には数多くの遺跡が所在することから，その取扱いについて，千葉県教育委員会と日本道路公団との慎重な協議が重ねられた。その結果，現状保存が困難な部分については，やむを得ず発掘調査による記録保存の措置を講ずることで協議が整い，財団法人千葉県文化財センターが発掘調査を実施することとなった。

発掘調査は，平成元年１月から開始され，用地の確保や工事の進捗にあわせながら進行し，平成６年６月に全ての発掘調査が終了した。

平成５年度から各遺跡ごとの本格的な整理作業が開始され，順次報告書を刊行し，現在に至っている。

２　調査の経過

関畑遺跡の発掘調査は，平成３年度及び４年度に行われた。本格的な整理作業は，平成10年度，11年度及び13年度，14年度にわたって実施された。発掘調査及び整理作業に関わる各年度の担当職員及び作業内容は以下のとおりである。

（１）発掘調査

平成３年度

平成３年４月１日～平成４年３月27日

内容：（上層）確認調査35,300㎡のうち3,360㎡，本調査31,650㎡

（下層）確認調査26,000㎡のうち1,096㎡，本調査2,630㎡

担当者：班長代理　加藤修司　研究員　土屋治雄　斎藤茂　技師　福田誠

平成４年度

平成４年４月１日～７月31日

平成５年２月１日～３月26日

内容：（上層）確認調査8,400㎡のうち800㎡，本調査700㎡

（下層）確認調査17,700㎡のうち692㎡，本調査2,600㎡

担当者：技師　高柳圭一　糸原清

（２）整理作業

平成10年度

内容：記録整理，接合・復元から実測，挿図作成の一部まで

担当者：調査室長　小久貫隆史　技師　高梨友子

平成11年度

内容：挿図作成の一部

担当者：副所長　小久貫隆史　主任技師　豊田秀治　技師　小笠原永隆

平成13年度

内容：図版作成から原稿執筆の一部まで

担当者：副所長　小久貫隆史　研究員　高梨友子

平成14年度

内容：原稿執筆の一部から編集・刊行まで

担当者：上席研究員　新田浩三

3　調査の方法（第3～7・9図）

東関東自動車道（千葉・富津線）建設に関わる発掘調査では，遺跡の数も多く，遺跡の面積も大きいため，それぞれの遺跡毎に平面直角座標Ⅸ系に基づいたグリッドの設定を行っている。関畑遺跡の場合は，調査対象範囲を覆うように，20m×20m方眼を大グリッドとして，南北方向を北から1，2，3…，東西方向を西からA，B，C…として設定した。さらに，このグリッドを2m×2mの小グリッドに100分割し，北から00～90，西から00～09と設定した。したがって，各小グリッドはM9－67，G12－51のように呼称した。

なお，関畑遺跡の場合は，遺跡が広大であるため，便宜的に，北側を第一地区，南側を第二地区の二つに分けて調査を行った。

発掘調査は，まず調査対象面積43,700㎡のうち，急傾斜地で調査不可能な部分及び休憩所のプレハブ用地を除いた42,000㎡の約10%の4,160㎡について，トレンチ・グリッドを設定して，遺構の種類や時期，そしてその広がりを知るために確認調査を行った。その結果，弥生時代後期の集落を中心とした遺跡であることが明らかとなり，遺構の確認されない部分を除いた32,350㎡が本調査の対象となった。

遺構の大半を占める竪穴住居跡では，基本的に土層観察用の十字のベルトを設定して調査を行ったが，重複の著しい部分や遺存状態の悪い部分では，ベルトの設定を一部省略したものもある。遺物の取り上げはその大半を，四分割した区毎に一括して行い，完形あるいは遺存状態の良い土器や鉄製品・石製品等の特殊な遺物については，出土状況と出土レベルを記録した。そのほかの遺構については，適宜土層観察用のベルトを設定しながら，調査を行った。遺構の実測は，主に簡易遣り方を用い，適宜平板も使用した。遺構番号は，第一地区・第二地区それぞれに，遺構の種類に関係なく，通し番号で付し，整理作業段階まで，変更は行っていない。

上層の遺構調査終了後，調査対象面積43,700㎡の約4%の1,788㎡について，2m×2mのグリッドを447か所設定し，一部は重機（クラムシェル）を併用して，旧石器時代の確認調査を行った。その結果，36か所のグリッドで遺物が検出されたため，周辺を拡張して遺物の広がりを確認した。36か所のうち，周辺拡張後も遺物の単独出土にとどまった4か所については確認調査で終了とした。したがって，当初の確認調査面積1,692㎡に拡張分96㎡を加えた1,788㎡が最終的な確認調査面積となる。36か所のうち，遺物の広がりが認められた32か所については，本調査の対象となり，全体として，5,230㎡の旧石器時代の本調査を行った。

第２節　遺跡の概要

１　関畑遺跡の位置（第１・２図，図版１）

関畑遺跡の所在する袖ケ浦市は，房総半島のほぼ中央に位置し，北部から東部は市原市，東部から南部は木更津市に接している。袖ケ浦市の地形は，北部から南東部の台地と中央部から南部の沖積地とに大きく分けられる。台地部分は下総台地の南縁部に当り，標高約30ｍ～60ｍを測る。北を養老川，南を小櫃川によって分断された平坦な台地は，袖ケ浦台地と呼ばれている。台地はいくつかの小河川によって侵食され，細長い谷が入り込んでいる。台地上，特に南側では大規模な遺跡が多数確認されている。一方沖積地部分は，小櫃川によって形成された肥沃な沖積地で，小櫃川低地と呼ばれている。標高約０ｍ～10ｍを測る。小櫃川は，君津市南端部の清澄山系を水源とし，房総丘陵を複雑に開析しながら北流し，木更津市域を経て，西に流れを変えながら袖ケ浦市を流れ，下流域に広大な沖積地を形成しながら，河口部で再び木更津市に入り，東京湾に注ぐ県内有数の河川である。流路延長88km，流域面積267㎢を測る。小櫃川低地内では，蛇行する小櫃川に伴って発達した自然堤防などの微高地上に遺跡が確認されている。

関畑遺跡は，この袖ケ浦台地の南縁部の標高約50ｍの台地上に位置する。

２　関畑遺跡周辺の遺跡（第１図）

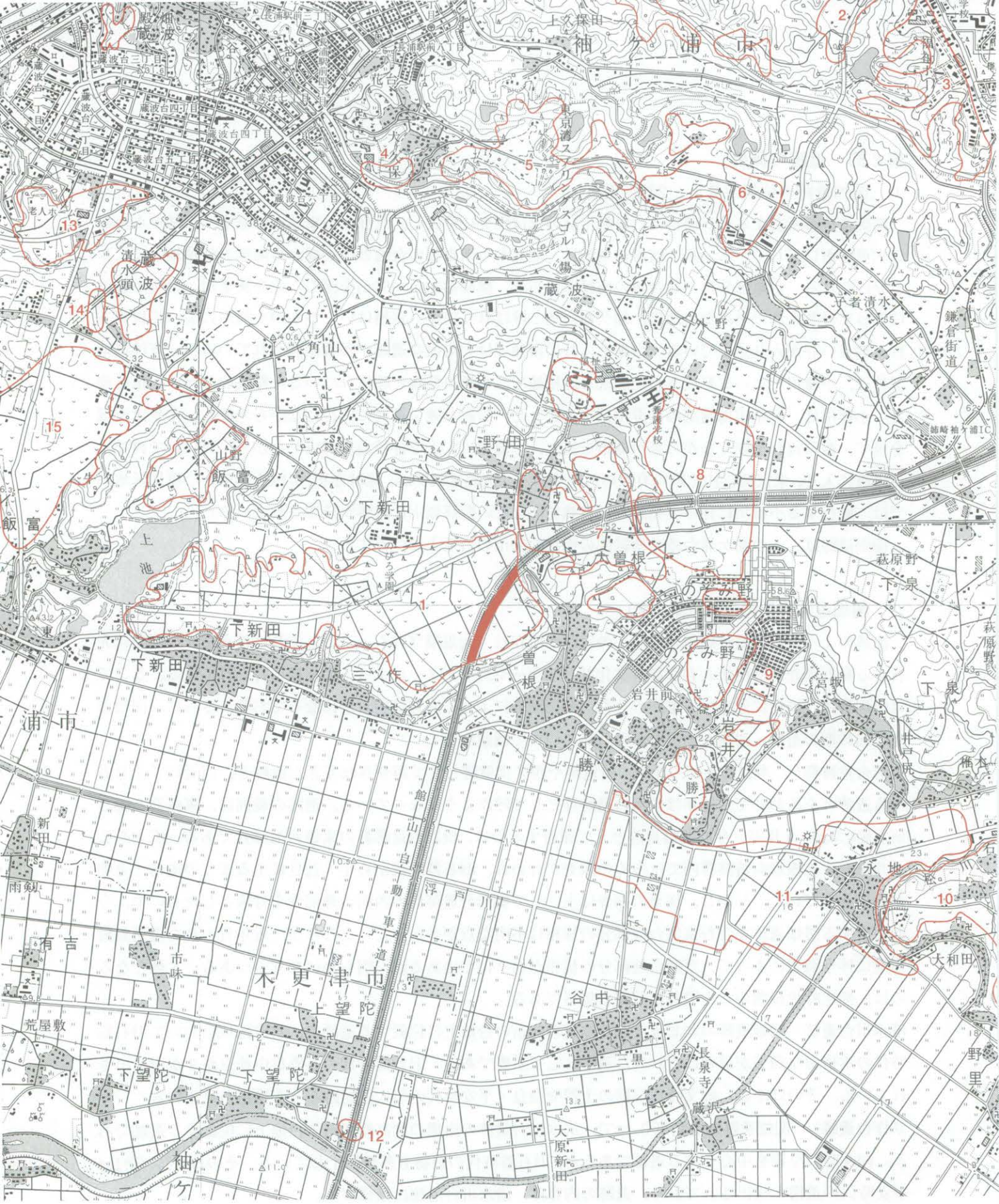
前述のように関畑遺跡周辺には多くの遺跡が所在し，大規模プロジェクトとそれに伴う様々な開発に先行する発掘調査が財団法人君津郡市文化財センターや当センターによって大規模に行われている。ここでは関畑遺跡の周辺に分布する遺跡のうち，発掘調査によって内容が明らかになっており，さらに，関畑遺跡と同時期の遺構・遺物が検出された遺跡について概観する[1]。

根形台遺跡群[2]　本遺跡及び，従来，境遺跡や西ノ窪遺跡として調査されてきた遺跡と，周辺に多く分布する遺跡とをあわせて，近年は根形台遺跡群として呼ぶようになっている。遺跡の範囲は，東西約２km，南北約0.5kmにも及ぶ。今回関畑遺跡として報告するのは，根形台遺跡群の東側台地部分である。広大な広がりを有する根形台遺跡群内では多くの調査が行われ，旧石器時代から中・近世に至るまでの遺構・遺物が検出されている。しかし，従来の調査は主として根形台遺跡群の西側台地部分を対象としたもので，今回報告する関畑遺跡を含む東側台地部分の様相は不明な点が多かった。ところが，近年行われた農道整備事業に伴う調査によって，東側台地部分の様相が徐々にではあるが，明らかになりつつある。主体となるのは，弥生時代後期から古墳時代前期の集落である。

清水川台遺跡　関畑遺跡の北北東３kmの標高約50ｍの台地上に位置する遺跡で，君津地域において旧石器時代の本格的な調査が最初に行われた遺跡として重要である。旧石器時代の石器集中地点が２か所検出されている。そのほかに，縄文時代早期の土器や奈良・平安時代の竪穴住居跡などが検出されている。

豆作台遺跡[3]　関畑遺跡の北北東３ kmで，清水川台遺跡の南側の標高約50ｍの台地上に位置する遺跡である。縄文時代早期を中心とする遺跡であるが，旧石器時代の遺物も多数出土している。そのほかに，奈良・平安時代の遺構も検出されており，遺跡の内容は，清水川台遺跡に類似する。

神田遺跡　関畑遺跡の北1.8kmの標高約35ｍの台地上に位置する遺跡である。弥生時代後期の方形周溝墓や古墳時代前期の前方後方墳・方墳，集落などが主体となる遺跡である。そのほかに，奈良・平安時代の集落や五輪塔・板碑を伴う中世墳墓群などが検出されている。



1．関畑遺跡　2．清水川台遺跡　3．豆作台遺跡　4．神田遺跡　5．美生遺跡群
6．堂庭山B遺跡　7．山谷遺跡　8．台山遺跡　9．山王辺田遺跡群　10．文脇遺跡
11．西原遺跡　12．芝野遺跡　13．寒沢遺跡　14．百々目木B遺跡　15．向山野遺跡

第1図　関畑遺跡の位置と周辺の主な遺跡（1：25,000）

美生遺跡群[4] 関畑遺跡の北1.7kmの標高約40m～45mの台地上に位置する遺跡である。従来，美生遺跡，堂庭山Ｂ遺跡，坂下遺跡，大久保遺跡として呼ばれていた遺跡の総称である。調査区は７地点に分かれる。第１・２・４・５地点で，旧石器時代の石器集中地点，弥生時代後期・古墳時代前期の集落，第６・７地点では，旧石器時代の石器集中地点，古墳時代前期の集落などが検出されている。

堂庭山Ｂ遺跡 関畑遺跡の北東1.8kmの標高約50mの台地上に位置する遺跡である。旧石器時代が主体となる遺跡で，石器集中地点が13か所検出されている。そのほかに，縄文時代早期の遺構・遺物や古墳時代後期の集落などが検出されている。

山谷遺跡[5] 関畑遺跡の東に隣接し，標高約50mの台地上に位置する遺跡である。中世の鎌倉街道とそれに伴う集落遺跡として有名であるが，そのほかに，古墳時代前期の集落や旧石器時代の石器集中地点が６か所検出されている。

台山遺跡[6] 山谷遺跡の東側に隣接し，標高約50mの台地上に位置する遺跡である。古墳時代前期の集落と旧石器時代の石器集中地点が26か所検出されている。

山王辺田遺跡群 関畑遺跡の東側0.8kmに位置する「のぞみ野」地区の団地造成に伴って，昭和50年から昭和52年にかけて調査された８遺跡の総称である。なかでも，山王辺田遺跡の弥生時代後期から古墳時代前期の大集落や山王辺田遺跡２号墳や山谷古墳の内容は，この地域の弥生時代後期から古墳時代前期を考える上で極めて重要である。

文脇遺跡[7] 関畑遺跡の南東2.3kmの標高約30m～40mの台地上に位置する遺跡である。２回の調査で，旧石器時代の石器集中地点が８か所検出されている。また，弥生時代後期から古墳時代前期にかけての竪穴住居跡が密集して検出されており，相当な広がりを有する遺跡と考えられている。県センター調査区内の土坑墓内から，ほぼ完形の小銅鐸が出土している。近年，周辺の遺跡とあわせて，上泉遺跡群と呼ばれている。

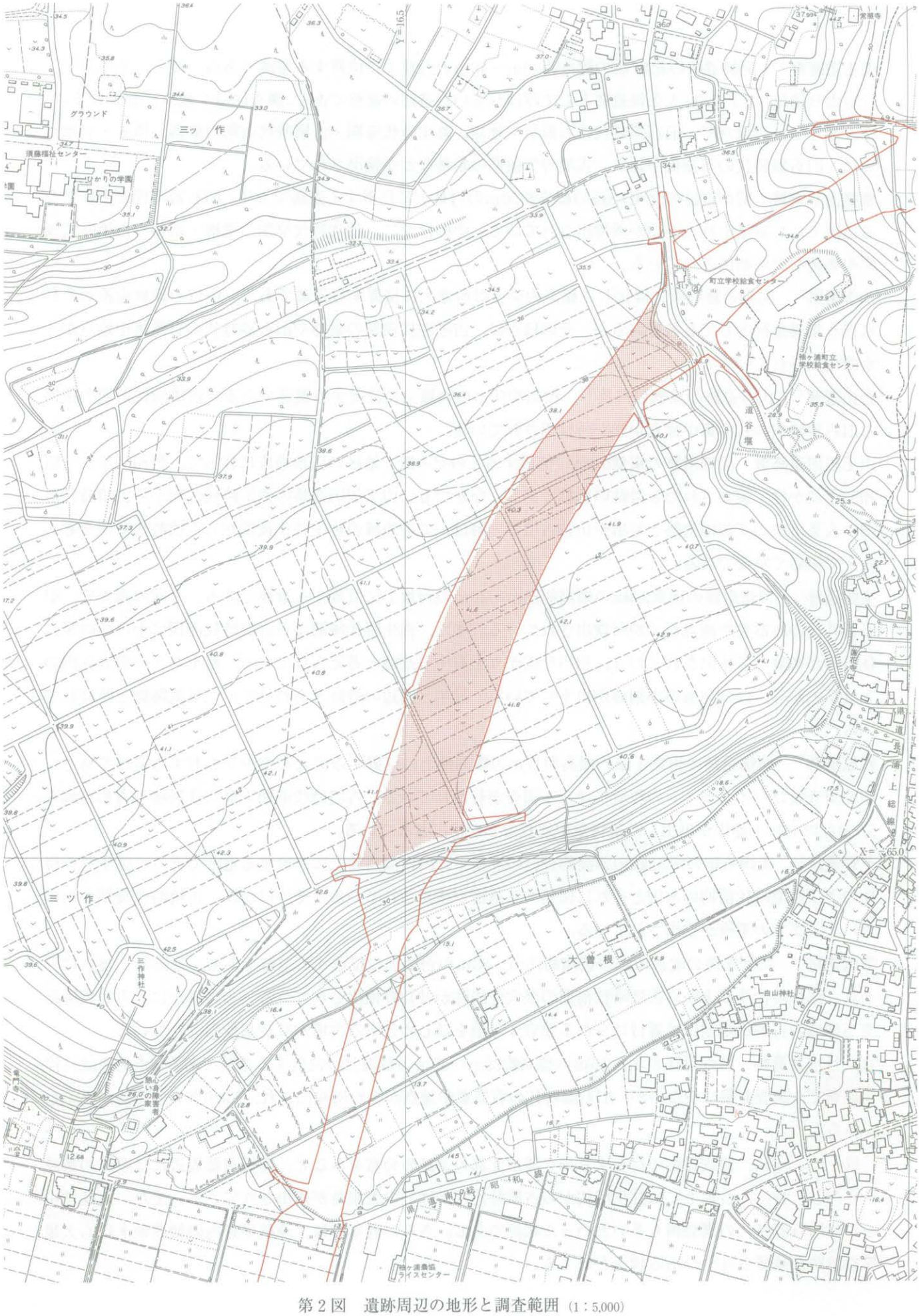
西原遺跡[8] 関畑遺跡の南東１kmの標高約17mの微高地上に位置する広大な広がりを有する遺跡である。確認調査及びパイプラインの埋設に伴う本調査が行われている。古墳時代前期の竪穴住居跡や方形周溝墓，5,000点以上の土器片が出土した遺物集中地点などが検出されている。

芝野遺跡[9] 関畑遺跡の南2.2kmの標高約12mの沖積平野内の微高地上に立地する遺跡である。弥生時代後期および古墳時代前期の水田とそれに関連する遺構が検出されている。そのほかに，古墳時代後期から中世に至るまでの遺構が検出されている。

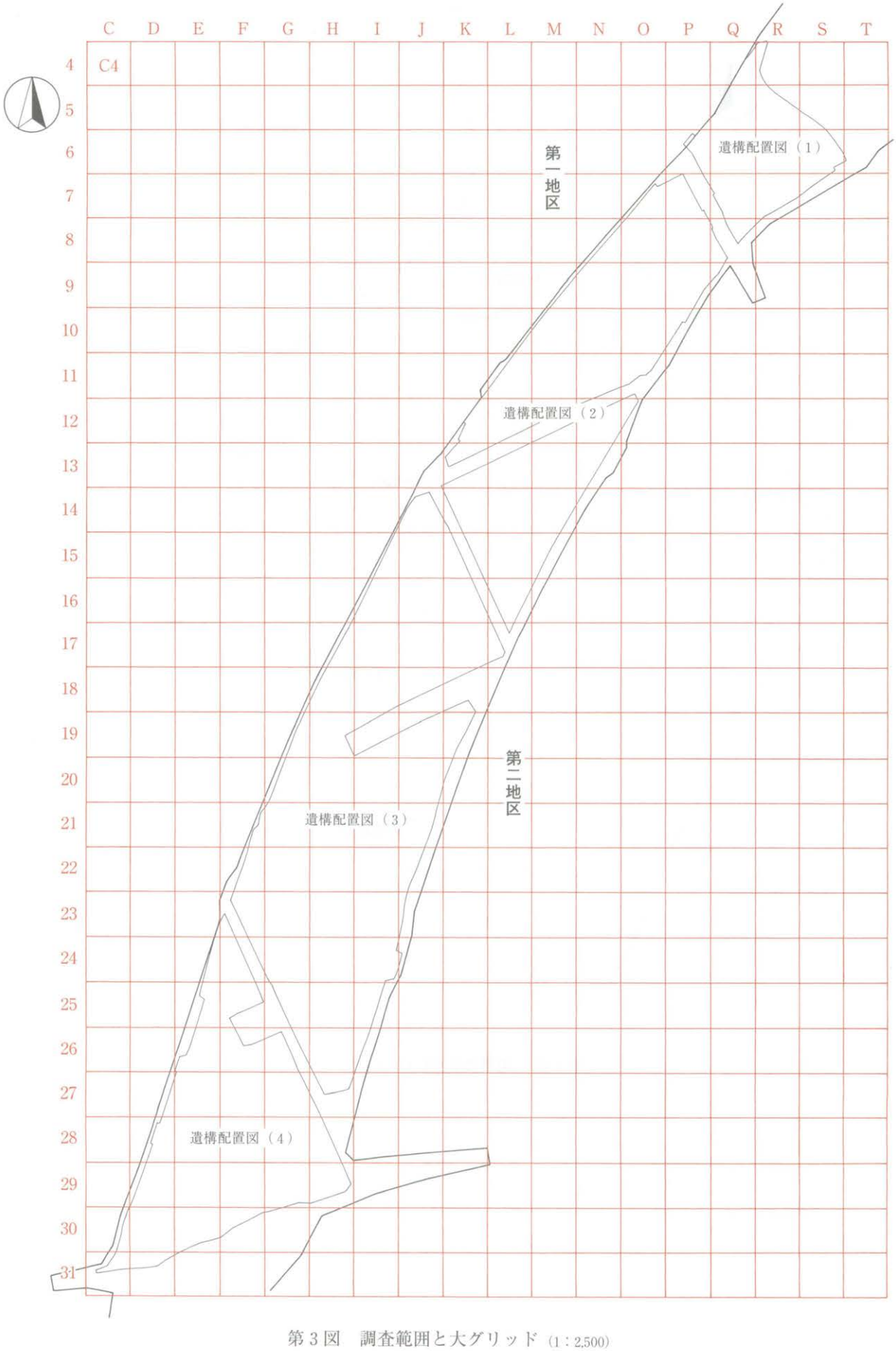
寒沢遺跡[10] 関畑遺跡の北西４kmの標高約75m～83mの台地上に位置する遺跡である。遺跡は７地点に分かれ，弥生時代後期末から古墳時代前期の竪穴住居跡が計43軒検出されている。そのほかに，方形周溝墓や当地域の古墳出現期に位置付けられる愛宕４号墳をはじめとする古墳が計12基検出されている。

百々目木Ｂ遺跡 関畑遺跡の北西2.5kmの標高約25m～30mの台地上に位置する遺跡である。市道建設に伴う調査で，調査面積は少ないが，旧石器時代の石器集中地点が３か所検出され，2,600点もの石器が出土している。

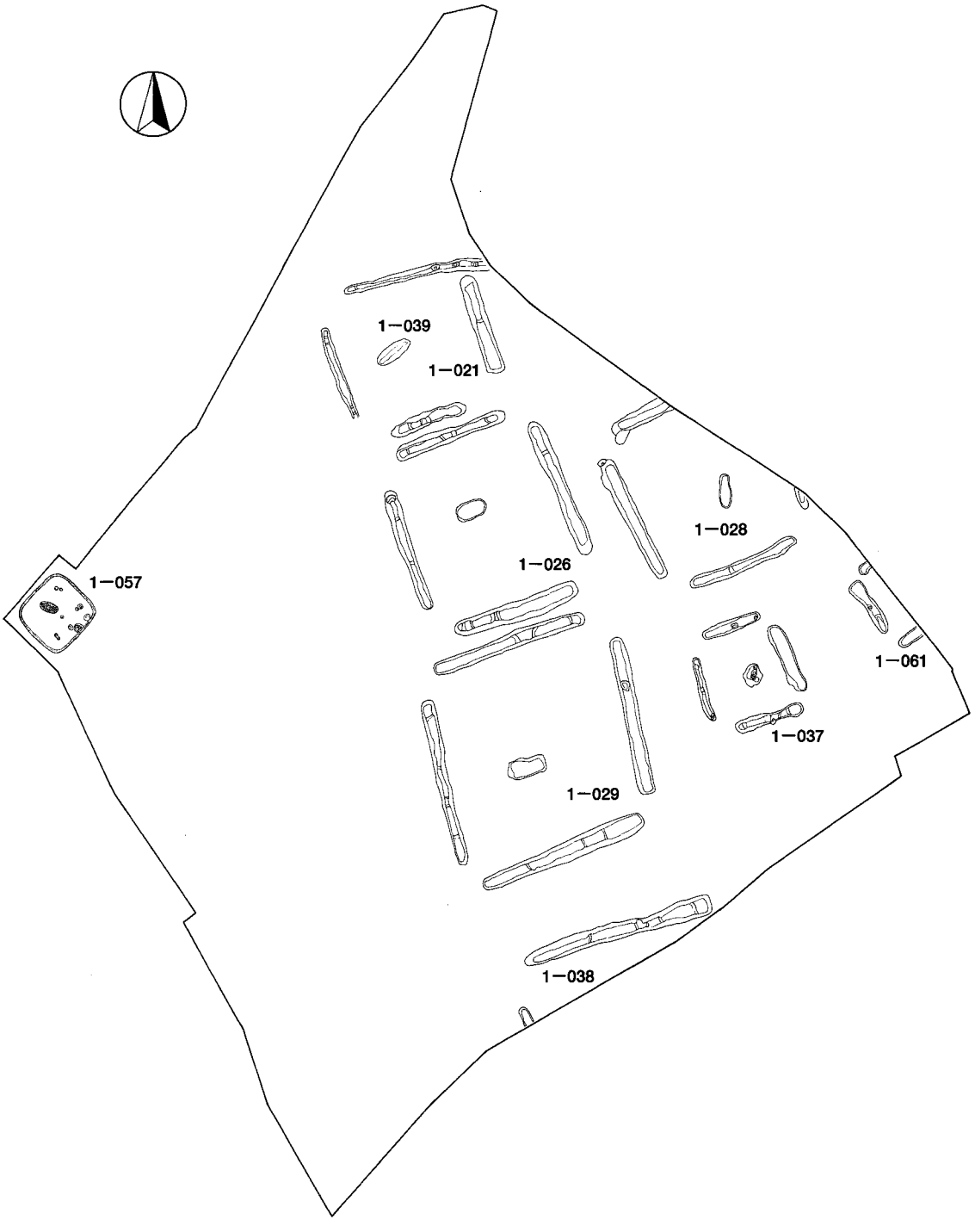
以上のように，関畑遺跡の存在する袖ケ浦市北部の遺跡の分布をみると，関畑遺跡周辺には多くの遺跡が存在し，特に，台地上には弥生時代から古墳時代にかけての大集落が検出されている。また，北側を中心に，旧石器時代の調査例も多いといった状況である。さらに近年では，沖積平野内の微高地上にも大規模な遺跡が確認されつつある状況といえる。



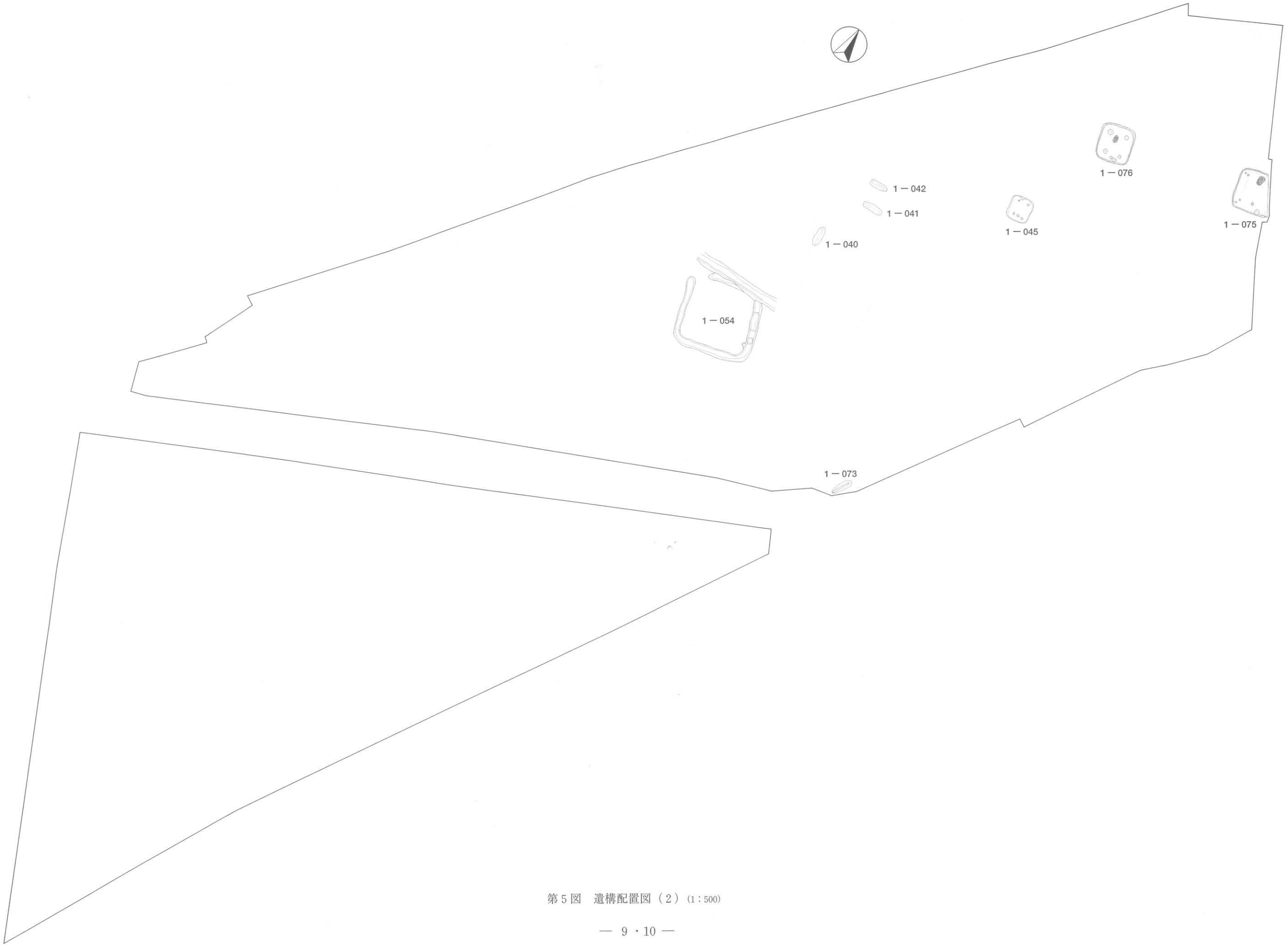
第２図　遺跡周辺の地形と調査範囲（1：5,000）



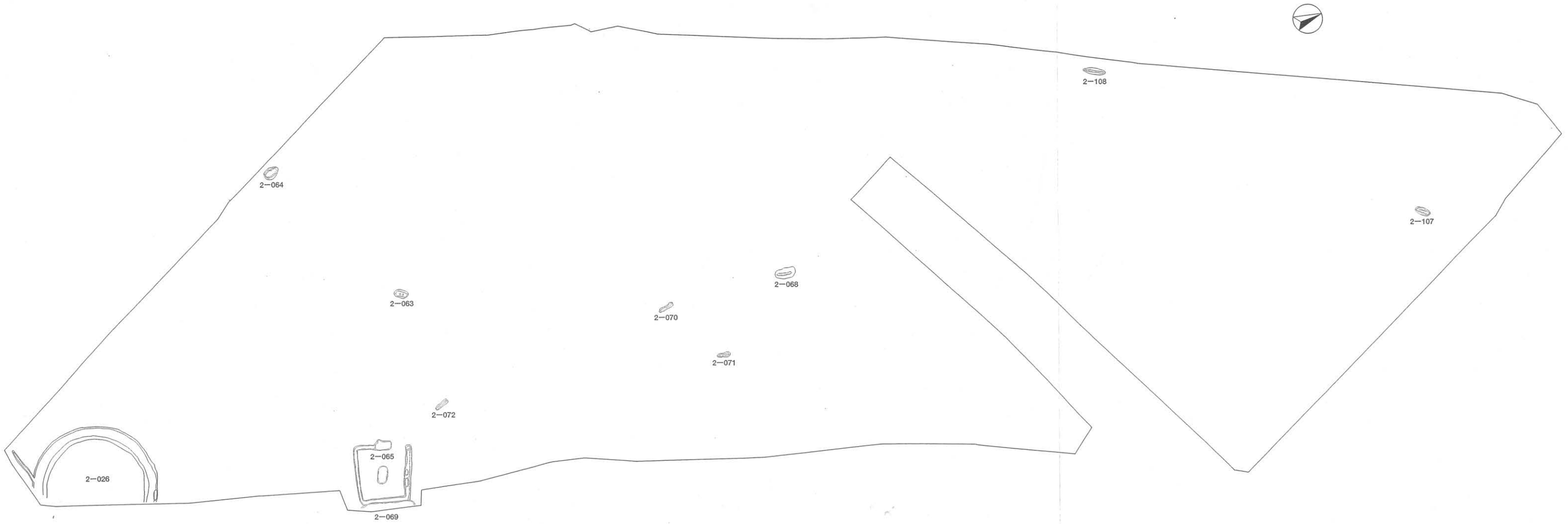
第３図　調査範囲と大グリッド（1：2,500）



第4図　遺構配置図（1）(1：500)



第 5 図　遺構配置図（2）(1 : 500)



第6図　遺構配置図（3）(1：500)

第７図　遺構配置図（４）(1：500)

注1　ここで紹介した遺跡の概要は，特に断りのない限り，平成11年袖ケ浦市発行の『袖ケ浦市史資料編1　原始・古代・中世』の内容を参考にしたものである。

2　根形台遺跡群関係では多くの報告書が刊行されているが，関畑遺跡に直接関係するのは以下のものである。

當眞紀子ほか2001『平成12年度千葉県袖ケ浦市　市内遺跡発掘調査報告書Ⅱ　根形台遺跡群Ⅰ』　袖ケ浦市教育委員会

能城秀喜ほか2002『根形台遺跡群Ⅱ』財団法人君津郡市文化財センター

3　井上　賢ほか　1999『豆作台遺跡Ⅰ』財団法人君津郡市文化財センター

4　浜崎雅仁ほか　1992『美生遺跡群Ⅰ　第1地点』財団法人君津郡市文化財センター

浜崎雅仁　1993『美生遺跡群Ⅱ　第4・5・9地点』財団法人君津郡市文化財センター

浜崎雅仁　1994『美生遺跡群Ⅲ　第6・7地点』財団法人君津郡市文化財センター

小高幸男　1998『美生遺跡群Ⅳ　第2地点』財団法人君津郡市文化財センター

5　井上哲朗　2001『東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書9　－袖ケ浦市山谷遺跡－』財団法人千葉県文化財センター

6　小久貫隆史ほか　2002『東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書10　－袖ケ浦市台山遺跡－』財団法人千葉県文化財センター

7　山本哲也ほか　1992『文脇遺跡』財団法人君津郡市文化財センター

加藤正信ほか　1995『袖ケ浦市文脇遺跡』財団法人千葉県文化財センター

8　桐村久美子　1997『平成8年度袖ケ浦市内遺跡発掘調査報告書　西原遺跡』袖ケ浦市教育委員会

伊藤伸久　1999『平成11年度千葉県袖ケ浦市　市内遺跡発掘調査報告書Ⅱ　西原遺跡Ⅱ』袖ケ浦市教育委員会

9　笹生　衛　2001『東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書7　－木更津市芝野遺跡－』財団法人千葉県文化財センター

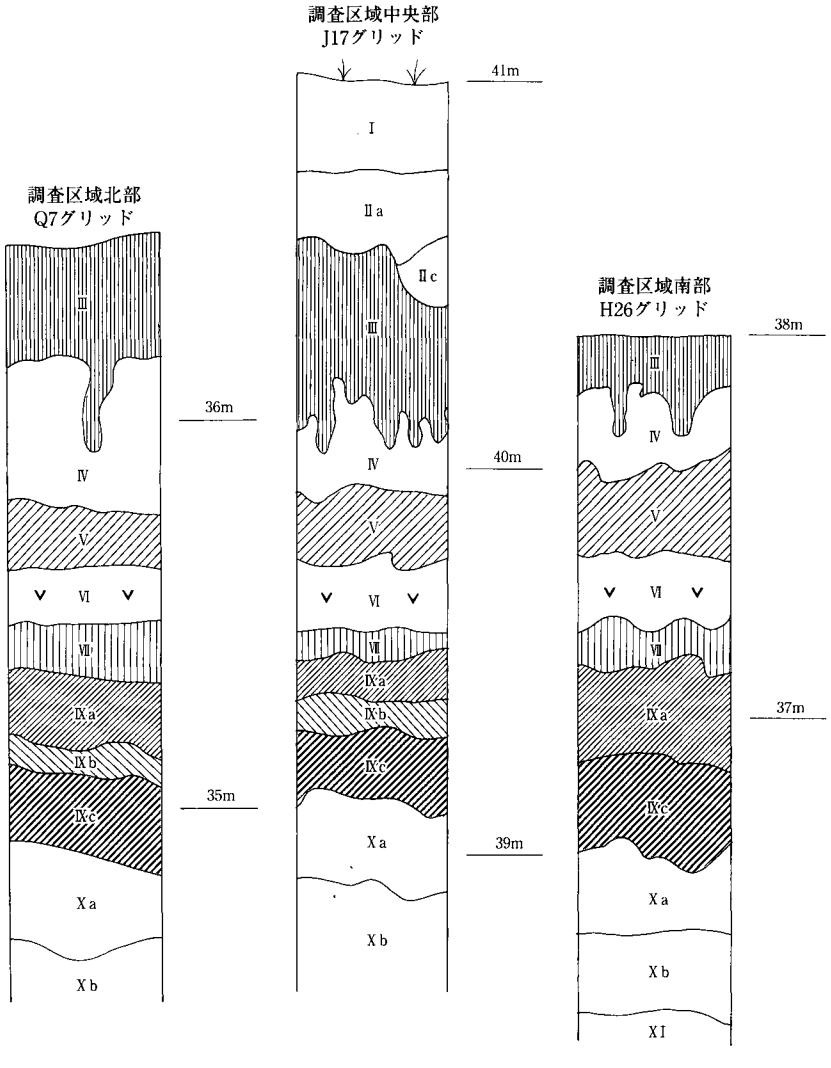
10　稲葉理恵　1996『寒沢遺跡・寒沢古墳群・愛宕古墳群・上用瀬遺跡』財団法人君津郡市文化財センター

第２章　検出された遺構と遺物

第１節　旧石器時代

１　基本層序（第８図）

基本層序は第８図のとおりである。調査範囲が，南北に長く，大きな台地を北東から南西にかけて細長い調査であるために，全ての調査区において，土層の堆積状況が均等ではない。ここでは，各調査区域を北部と中央部と南部の三つの代表的な層序を図示した。



第８図　基本層序

これらの区域の共通した特徴は，第１黒色帯に相当するＶ層が明確に捉えることが可能であることがまずあげられる。下総台地では，成田周辺の東部地域や千葉市周辺の千原・東南部地域においては，第１黒色帯を明確に区分することが困難であるが，当遺跡の所在する袖ケ浦市以南においては，第１黒色帯を容易に識別することができる。次に共通する特徴として，第２黒色帯上部のⅦ層と第２黒色帯下部のⅨa層とⅨc層を識別することが比較的容易であることがあげられる。特に，Ⅸc層は黒色に近い色調を呈しており，Ⅸa層やⅨb層との区分をすることが容易に行える。

三つの区域の相違点は，北部と中央部においては，Ⅸb層を捉えることが可能であったが，南部においては，Ⅸb層を捉えることができなかった。比較的広い台地の調査であったため，堆積状況が異なったことが考えられる。

Ⅲ　層（明褐色土）　本層が立川ローム最上層に相当する。いわゆる「ソフトローム層」である。色調は均質ではない。下部に向かってソフト化がみられるが，本遺跡では，それほど著しく下部にソフト化が及んでおらず，ほとんどがⅣ層まで及んでいる程度で，部分的に，Ⅴ層に及んでいる地点もみられる。

Ⅳ　層（明褐色土）　硬質のローム層でいわゆる「ハードローム層」である。特徴的な赤色スコリアを含み，全体に赤みを帯びて明色。

Ⅴ　層（暗灰褐色土）　第１黒色帯相当する。全体に黒ずんでいる。下総台地においても，南部の本地域周辺では，比較的，第１黒色帯を識別することが容易である。

Ⅵ　層（暗灰黄白色土）　ＡＴ（姶良丹沢火山灰）が集中的に包含される。黒色スコリアを含み，赤色スコリアも少量含む。

Ⅶ　層（暗灰褐色土）　第２黒色帯上部に相当する。全体に黒ずんでいる。黒色スコリアを含み，赤色スコリアも少量含む。ＡＴブロックが若干混在する。

Ⅸａ層（濃暗灰褐色土）　第２黒色帯下部の上半である。Ⅶ層よりも黒ずんでいる。黒色スコリアを多く含み，赤色スコリアも含む。

Ⅸｂ層（濃暗灰褐色土）　第２黒色帯下部の間層。Ⅸa層より若干褐色分が強く，赤みがある。黒色スコリアを多く含む。大粒の赤色スコリアを含む。調査区域北部と中央部においては，識別できたが，調査区南部においては，識別できなかった。

Ⅸｃ層（淡黒褐色土）　第２黒色帯下部の下半である。黒色スコリアを多く含む。大小の赤色スコリアを含む。白色スコリアを微量含む。

Ｘａ層（暗灰褐色土）　黒色スコリアを含み，赤色スコリアを微量含む。

Ｘｂ層（暗灰褐色土）　Ｘa層よりも若干暗く，上下の層に比べて，スコリアの量が少なくなる。黒色スコリアを微量含む。

Ｘｃ層（暗茶褐色土）　スコリアをほとんど含まなくなる。立川ローム最下層である。

ＸＩ層（灰褐色土）　武蔵野ローム最上層である。粘性を帯びた灰褐色ロームである。

2　文化層の概要（巻頭図版１～４，第10図，第１～５表）

旧石器時代の文化層は，大きく分けると，第Ⅰ文化層～第Ⅷ文化層の８文化層に分離される。細かく文化層を分けると，15文化層に分離される。この文化層については，大文化層が８つに分離され，小文化層が，15に分離される。このうち，第Ⅷ文化層は，単独出土で出土層位の不明のものを一括した。

石器の出土総点数は，3,448点である。総母岩数は，2,048母岩である。そのうち，接合する母岩は236母岩，接合する点数は744点である。ブロック間接合がみられる母岩は63母岩である。これらの接合する母岩数や接合点数は，下総台地の遺跡では非常に高い割合を示す。接合する割合が極めて高い石材は，嶺岡産珪質頁岩である。比較的近隣の房総半島南部の嶺岡山地から，比較的大きな母岩が遺跡に持ち込まれ，本遺跡で消費されたことがうかがえる。特に，その傾向は，環状ブロック群が出土する第Ⅰａ文化層に顕著にみられる。そのほかに，第Ⅳａ文化層や第Ⅴｃ文化層においても，接合率が高い文化層がみられる。また，礫群を形成する第Ⅶ文化層は，礫の接合率が極めて高い。

文化層別の石器群概要は，第１表のとおりである。各文化層とも出土層位に上下の幅をもつが，各文化層の出土層位と出土集中層位から生活面や石器群の概要を記載すると以下のとおりとなる。

（１）　**第Ⅰ文化層**：調査区北側に分布しており，南東に傾斜する斜面に分布する。Ⅹ層～Ⅸc層にかけて出土している。小文化層は，Ⅰａ文化層とⅠｂ文化層の２文化層に分離される。このうち，Ⅰａ文化層は，ブロックの集中地点が二つみられることから，これらのブロック群については，北側をＡユニットと南側をＢユニットとしてブロック群を区分けした。このうち注目されるのは，ＡユニットとＢユニットとのユニット間の接合資料がみられることである。第１～18ブロックが相当する。

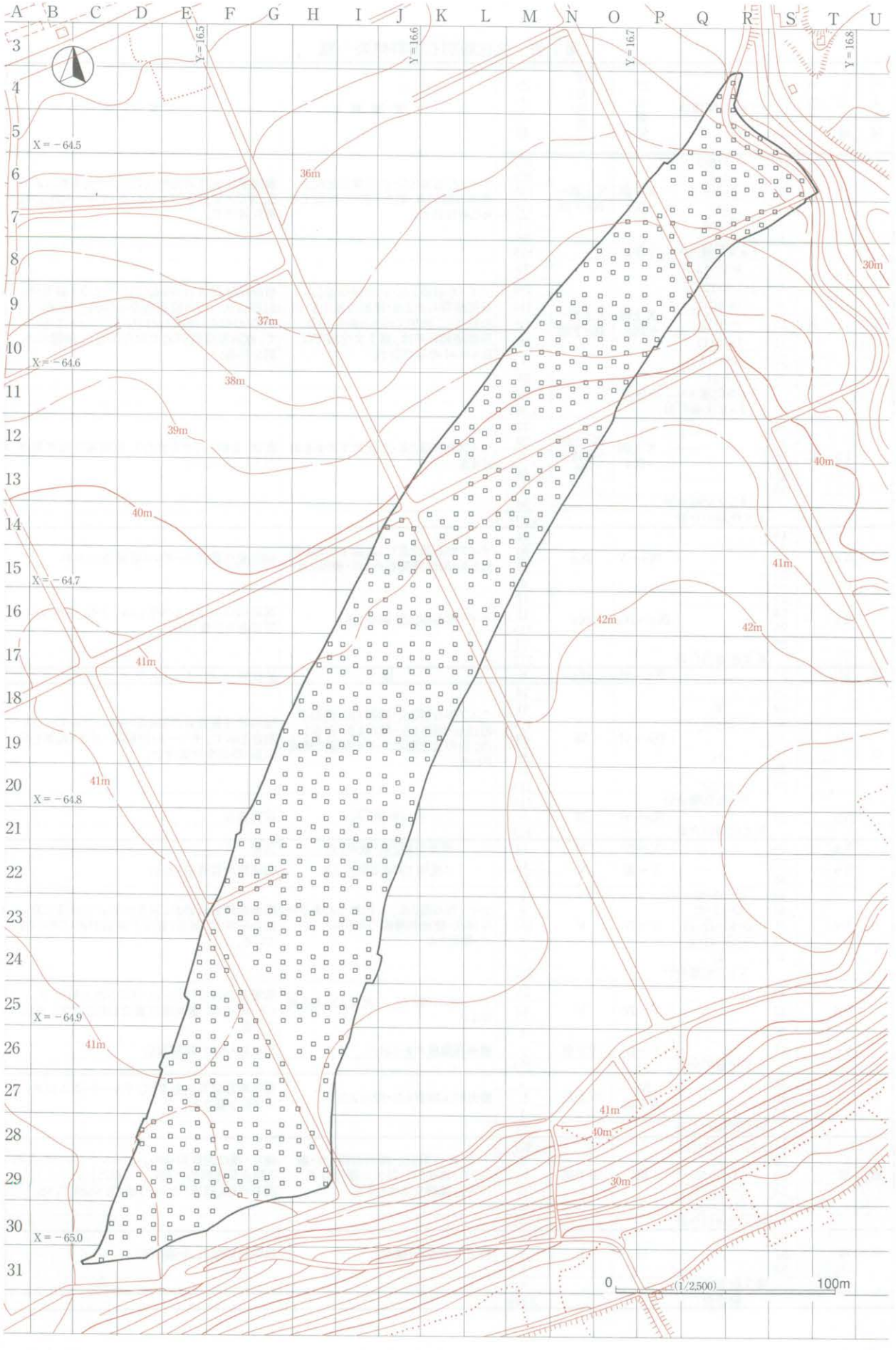
①**第Ⅰａ文化層**：有意なまとまりをもつブロック群をユニットとして捉えた。北側をＡユニット，南側をＢユニットとして区分した。第11図でみられるように，ＡユニットとＢユニットとの接合する資料が１資料のみであるが，60m離れて４点接合しており，両ユニットの同時期に形成された可能性を示す資料となっている。また，両ユニットともに，環状のブロック群の遺物分布を示す。

Ａユニットは，第１～６ブロックの６ブロックで構成される。第12図でみられるように，ブロック間の接合も頻繁にみられる。南北12m，東西13mの円形のブロック群で，いわゆる環状ブロックとして捉えることができる。しかしながら，中央部に明確な遺物空白地帯がみられず，通常Ⅸｃ層から出土する環状ブロックの形状と違いがみられる。出土遺物の点数は825点で，Ｂユニットに比べて出土点数が多い。主要器種は，ナイフ形石器・台形様石器・楔形石器・敲石で構成される。石材は，嶺岡産珪質頁岩が596点出土しており，72.24%の非常に高い割合を示すことが特徴としてあげられる。出土層位は，Ⅹ層中部～Ⅸc層にかけて出土しており，Ⅹ層上部～Ⅸc層下部に集中することから，生活面は，Ⅹ層上部～Ⅸc層下部と推定される。

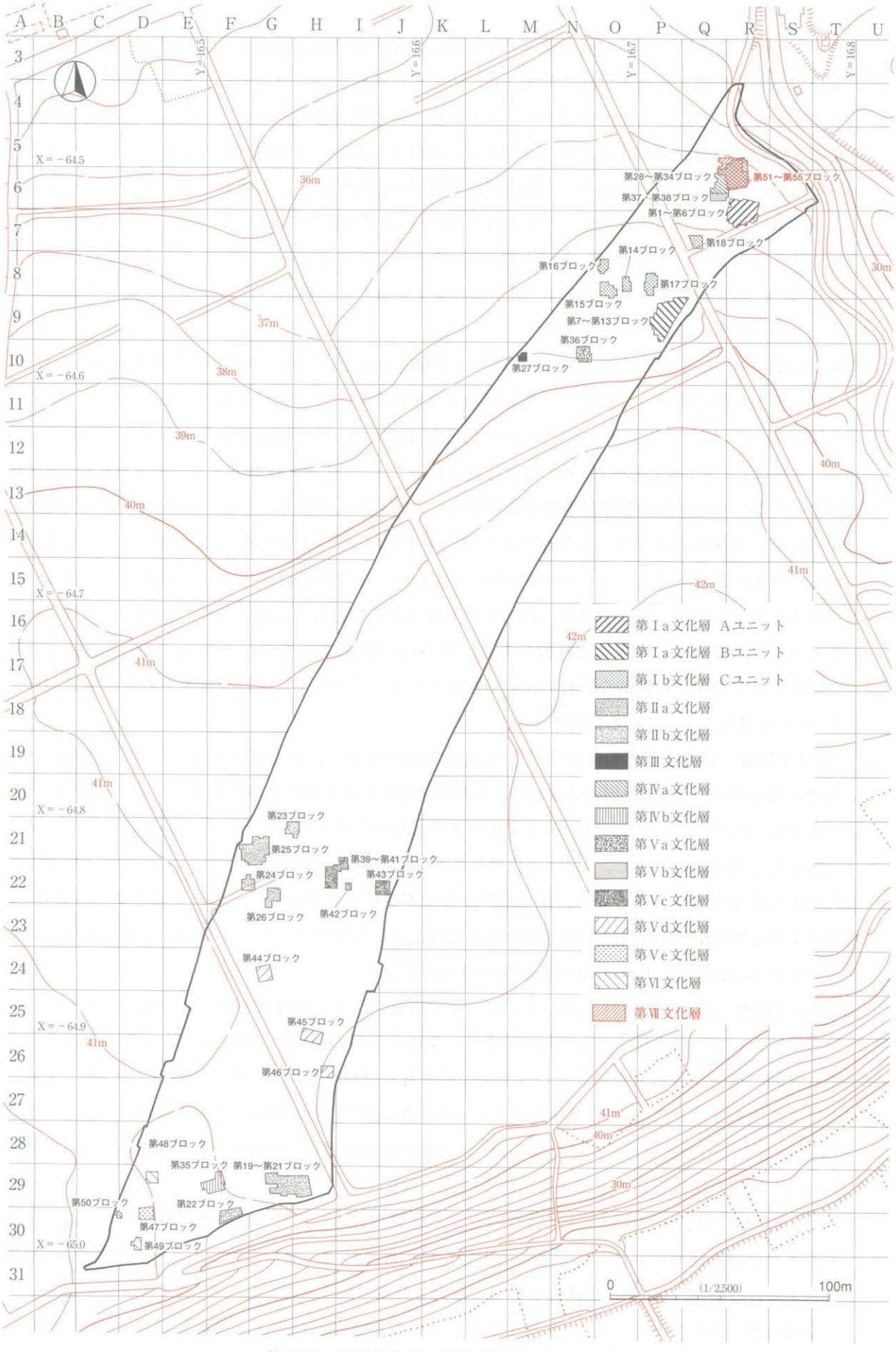
Ｂユニットは，第７～13ブロックの７ブロックで構成される。Ａユニットと同様に，第71図でみられるように，ブロック間の接合も頻繁にみられる。南北20m，東西10m（推定20m）の円形のブロック群である。東側の調査区外に遺物が広がることが想定され，いわゆる環状ブロックとして捉えることができる。出土点数は556点である。Ａユニットに比べて出土点数が少ないが，Ｂユニットは，調査区外の東側にも遺物が広がることが想定され，おそらく，Ａユニットと同形態の環状ブロックを形成していたと想定される。環状ブロックの規模は，Ｂユニットの方が約２倍の大きさであ

第1表　文化層別石器群概要一覧

大文化層	小文化層	ユニット	ブロック	ブロック間接合	出土層位	推定生活面	出土点数	主要器種	主要石材
Ⅰ	Ⅰa	A	1	2・3・8・9	Ⅹ中部～Ⅸc	Ⅹ上部～Ⅸc下部	265	ナイフ形石器3点・台形様石器8点・楔形石器15点・敲石9点・二次加工のある剥片41点。	嶺岡産珪質頁岩596点(72%)で大半を占める。ガラス質黒色安山岩51点・チャート39点・珪質頁岩25点。
			2	1・3			129		
			3	1・2・4・5・6			182		
			4	3・5			146		
			5	3・4・6			77		
			6	3・5			26		
		Ⅰa文化層Aユニット合計					825		
		B	7	8・11・13	Ⅹ上部～Ⅸc	Ⅹ上部～Ⅸc下部	79	ナイフ形石器2点・台形様石器5点・局部磨製石斧2点・楔形石器3点・敲石11点・二次加工のある剥片16点。局部磨製石斧は、第Ⅰ文化層では、Bユニットのみで出土。	嶺岡産珪質頁岩196点(35%)・ガラス質黒色安山岩64点・ガラス質黒色安山岩64点・玉髄(メノウ含む)64点・黒曜石41点。Aユニットに比べて、嶺岡産珪質頁岩の割合が低く、黒曜石の割合が高い。
			8	1・7・9・10・12			198		
			9	1・8・10・12			116		
			10	8・9・12			72		
			11	7・12・11			59		
			12	8・9・11			7		
			13	7・11			25		
		Ⅰa文化層Bユニット合計					556		
		Ⅰa文化層合計					1,381		
	Ⅰb	C	14		Ⅹ上部～Ⅸa	Ⅸc上部～Ⅸa下部	12	ナイフ形石器2点・二次加工のある剥片4点	頁岩・玉髄(メノウを含む)。嶺岡産珪質頁岩は出土していない。
			15				29		
			16				6		
			17				46		
			18				3		
		Ⅰb文化層合計					96		
	Ⅰ文化層の合計						1,477		
Ⅱ	Ⅱa		19		Ⅸa～Ⅴ	Ⅸa	11	ナイフ形石器2点・二次加工のある剥片5点・局部磨製石斧1点・礫器1点	嶺岡産珪質頁岩・ガラス質黒色安山岩
			20				90		
			21				12		
			22				5		
	Ⅱb		23		Ⅸc～Ⅸa	Ⅸa	17	ナイフ形石器2点・敲石1点	頁岩・ホルンフェルスを主体とする。嶺岡産珪質頁岩を少量含む。
			24				11		
			25				116		
			26				10		
	Ⅱ文化層の合計						272		
Ⅲ	Ⅲ		27		Ⅸb～Ⅵ	Ⅸa	6	礫	流紋岩・砂岩・チャート
Ⅳ	Ⅳa		28		Ⅸa～Ⅵ	Ⅶ	14	ナイフ形石器3点・彫器1点・楔形石器19点・削器1点・敲石4点・台石1点。他の文化層に比べて多種で構成される。	嶺岡産珪質頁岩が324点(78%)で非常に高い割合を示す。チャート・流紋岩・ガラス質黒色安山岩・砂岩を少量含む。
			29	30			61		
			30	29・34			114		
			31				43		
			32	34			44		
			33				28		
			34	30・32			110		
		Ⅳa文化層合計					414		
	Ⅳb		35		Ⅸa～Ⅵ	Ⅶ	9	石核・剥片	珪質頁岩
	Ⅳ文化層の合計						423		
Ⅴ	Ⅴa		36		Ⅴ～Ⅳ	Ⅴ	14	楔形石器2点・敲石2点	頁岩
	Ⅴb		37		Ⅴ～Ⅲ	Ⅴ	12	二次加工のある剥片2点	嶺岡産珪質頁岩・砂岩
			38				11		
	Ⅴc		39	40・41・42	Ⅴ～Ⅳ	Ⅴ	5	ナイフ形石器5点、二次加工のある剥片16点・微細剥離痕のある剥片15点・礫器1点	嶺岡産珪質頁岩が176点(65%)で非常に高い割合を示す。碧玉(黄玉)・頁岩が次に用いられている。
			40	39・41・42			6		
			41	39・40・42・43			251		
			42	39・40・41・42			1		
			43	41			9		
		Ⅴc文化層合計					272		
	Ⅴd		44		Ⅴ～Ⅳ	Ⅴ	21	ナイフ形石器1点、二次加工のある剥片4点	黒曜石が14点(37%)で多用されており、オパール10点、嶺岡産珪質頁岩5点が用いられている。
			45				16		
			46				1		
	Ⅴe		47		Ⅴ～Ⅳ	Ⅳ下部	3	微細剥離痕のある剥片	流紋岩・頁岩・珪質頁岩
	Ⅴ文化層の合計						350		
Ⅵ	Ⅵ		48		Ⅳ～Ⅲ下部	Ⅳ上部	1	槍先形尖頭器1点・敲石2点	嶺岡産珪質頁岩を主体。チャート・ホルンフェルスを少量含む。
			49				11		
			50				1		
	Ⅵ文化層の合計						13		
Ⅶ	Ⅶ		51	52・53・54・55	Ⅲ	Ⅲ下部	407	ナイフ形石器1点・楔形石器2点・敲石3点・礫662点(73%)・礫片61点(7%)。礫群を主体とする。	礫片・礫は流紋岩・砂岩・ホルンフェルスの占める割合が圧倒的に高い。石器においては、黒曜石・珪質頁岩・チャートが用いられている。
			52	51			9		
			53	51・54・55			74		
			54	51・53・55			78		
			55	51・53・54			333		
	Ⅶ文化層の合計						901		
Ⅷ	Ⅷ		56		Ⅲ	Ⅲ	4	槍先形尖頭器・礫器	嶺岡産珪質頁岩・凝灰岩
			57				1		
			58				1		
	Ⅷ文化層の合計						6		
	総合計						3,448		



第9図　旧石器時代確認グリッド



第10図　旧石器時代本調査範囲とブロック分布

る。これは，Aユニットが台地の縁辺のやや狭い台地の平坦部に形成されたのに対して，Bユニットが台地のやや奥まった平坦部に形成され，この平坦面が広かったことによるものであると推定することも可能である。主要器種は，ナイフ形石器・台形様石器・楔形石器・敲石・局部磨製石斧で構成される。局部磨製石斧は，Bユニットのみの出土である。1固体（2点が接合）のみである。主要石材は，Aユニットに比べて，嶺岡産珪質頁岩の割合が低く，黒曜石の割合が高いことが特徴としてあげられる。出土層位は，X層上部～Ⅸc層にかけて出土しており，X層上部～Ⅸc層下部に集中することから，生活面は，X層上部～Ⅸc層下部と推定される。両ユニット間の接合資料があることと，出土層位がX層上部～Ⅸc層下部に集中することからも，Aユニットと同じ生活面であることを立証することが可能である。

②**第Ⅰb文化層**：第14～18ブロックの5ブロックで構成される。ブロック間の接合資料はみられない。ブロック内の接合資料も，少なく，第8ブロックで接合資料が2資料あるのみである。出土層位は，X層上部～Ⅸa層にかけて出土しているが，Ⅸc層上部～Ⅸa層下部に遺物が集中する。このことから，生活面は，Ⅸc層上部～Ⅸa層下部と推定される。Ⅰa文化層と比較すると，出土層位がⅠa文化層のほうが，やや下位の層準に遺物が集中する。これらのことから，第Ⅰa文化層と第Ⅰb文化層に細分した。先後関係が必ずしも明確でないが，第Ⅰa文化層の方が先行する文化層であると考えられる。出土点数は96点で，Ⅰa文化層に比べて少ない。主要器種は，ナイフ形石器・二次加工のある剥片で構成される。主要石材は，流紋岩と玉髄（メノウ含む）で構成され，嶺岡産珪質頁岩を1点も含んでいないことが大きな特徴である。第Ⅰa文化層においては，6割近くが嶺岡産珪質頁岩で構成されており，対照的な石材の用い方をしている。このように，器種組成や石材組成において，第Ⅰa文化層と大きく異なる傾向がある。

（2） **第Ⅱ文化層**：調査区南側の南側傾斜面にⅡa文化層が分布し，調査区中央部の南側の平坦面にⅡb文化層が分布する。Ⅱa文化層とⅡb文化層との接合関係を示す資料はみられない。出土層位は，Ⅸc層～Ⅸa層にかけて出土しており，第Ⅰ文化層よりもやや上位の層から出土していることから，第Ⅱ文化層として捉えた。ただし，第Ⅱa文化層と第Ⅱb文化層は，離れて出土している。Ⅱa文化層は，傾斜面から出土していることから，出土層位がやや不明確な点がある。これらのことから，第Ⅱa文化層と第Ⅱb文化層を同時期に形成されたものと捉えることができないことから，第Ⅱ文化層を細分した。第Ⅱa文化層と第Ⅱb文化層の先後関係は明確でない。

①**第Ⅱa文化層**：第19～22ブロックの4ブロックで構成される。調査区南端の傾斜地に立地し，垂直分布図において，出土層位の上下幅が大きく，集中する層の傾向を把握することが困難である。ブロック間の接合はみられない。ブロック間の距離もやや離れている。出土層位は，Ⅸa層～Ⅴ層にかけて出土しており，Ⅸa層に集中することから，Ⅸa層に生活面を持つと推定される。出土点数は118点である。主要器種は，ナイフ形石器・二次加工のある剥片・局部磨製石斧・礫器である。主要石材は，嶺岡産珪質頁岩・ガラス質黒色安山岩である。

②**第Ⅱb文化層**：第23～26ブロックの4ブロックで構成される。ブロック間の接合はみられない。台地の中央部の平坦面に立地している。出土層位は，Ⅸc層～Ⅸa層にかけて出土しており，Ⅸa層に集中することから，Ⅸa層に生活面を持つと推定される。出土点数は154点である。主要器種は，ナイフ形石器・敲石である。Ⅱa文化層で出土している局部磨製石斧は，出土していない。主要石材

は，頁岩・ホルンフェルスで構成されている。主要器種と主要石材において，Ⅱa文化層と異なる。

（3） **第Ⅲ文化層**：第27ブロックの1ブロックのみで構成される。調査区北側の台地の平坦面に立地する。出土層位は，Ⅸb層～Ⅵ層にかけて出土する。Ⅸa層に集中することから，Ⅸa層に生活面を持つと推定される。出土点数は6点である。器種は，砕片と礫のみの出土であるため，石器群の内容が明確でない。石材は，流紋岩・砂岩・チャートで構成される。

（4） **第Ⅳ文化層**：第Ⅳ文化層は，第Ⅳa文化層と第Ⅳb文化層の2文化層に分離される。調査区北側に第Ⅳa文化層が分布し，調査区南側に第Ⅳb文化層が分布する。出土層位は，Ⅸa層～Ⅵ層にかけて出土している。第Ⅳa文化層と第Ⅳb文化層の出土層位は，ほぼ同一層準から出土しており，分布も調査区の北側と南側でかなり離れていることから，先後関係は明確ではない。

①第Ⅳa文化層：第28～34ブロックの7ブロックで構成される。調査区北側に分布し，平面的には，礫群を主体とする第Ⅶ文化層と重複するが，出土層位が第Ⅶ文化層がⅢ層から出土しており，第Ⅳa文化層がⅨa層～Ⅵ層にかけて出土しており，明確に下位に分布することから，第Ⅶ文化層と分離することができた。Ⅶ層に集中することから，Ⅶ層に生活面を持つと推定される。ブロック間の接合がみられることから，同一時期に形成されたと推定できる。出土点数は414点である。主要器種は，ナイフ形石器・彫器・削器・楔形石器・敲石・台石で構成されており，他の文化層に比べて多種で構成されているという特徴がある。主要石材は，珪質頁岩・頁岩で構成されている。

②第Ⅳb文化層：第35ブロックの1ブロックのみである。調査区南側の南斜面に分布する。出土層位は，Ⅸa～Ⅵ層にかけて出土している。Ⅶ層に集中することから，Ⅶ層に生活面を持つと推定される。出土点数は96点である。主要器種は，石核・剥片で製品は出土していない。主要石材は，珪質頁岩を用いている。

（5） **第Ⅴ文化層**：第Ⅴ文化層は，第Ⅴa文化層・第Ⅴb文化層・第Ⅴc文化層・第Ⅴd文化層・第Ⅴe文化層の5文化層に分離される。調査区全体に，第Ⅴ文化層の石器群が広がっている。このうち，調査区中央部の南側に位置する第Ⅴc文化層は，ブロック間の接合がみられ，石器群の内容も充実している。これ以外の文化層は，ブロック間接合がみられない。出土層位は，Ⅴ層～Ⅲ層にかけて出土しており，Ⅴ層～Ⅳ層下部にかけて集中する。各文化層においては，それぞれ集中する出土層位が微妙に異なる。

①第Ⅴa文化層：第36ブロックの1ブロックのみである。調査区北側の台地の平坦部にかかる地点にに分布する。出土層位は，Ⅴ層～Ⅳ層にかけて出土しており，Ⅴ層に集中することから，Ⅴ層に生活面があると推定される。出土点数は14点である。主要器種は，楔形石器・敲石で構成される。主要石材は，頁岩である。

②第Ⅴb文化層：第37・38ブロックの2ブロックで構成される。調査区北側の第Ⅳa文化層の南側に分布する。出土層位は，Ⅴ層～Ⅲ層かけて出土しており，Ⅴ層に集中することから，Ⅴ層に生活面を持つと推定される。ブロック間接合はみられない。出土点数は23点である。主要器種は，二次加工のある剥片で，製品の割合が極めて低い。主要石材は，嶺岡産珪質頁岩・砂岩で構成されている。

③第Ⅴc文化層：第39～43ブロックの5ブロックで構成される。調査区中央の南側の台地平坦部に立地し，第Ⅱb文化層の東側，第Ⅴd文化層の北側に分布している。ブロック間の接合が頻繁であることが，特徴としてあげられる。出土層位は，Ⅴ層～Ⅳ層にかけて出土しており，Ⅴ層に集中することから，Ⅴ層に生活面を持つと推定される。出土点数は272点である。主要器種は，ナイフ形石器・

第２表　文化層別器種組成表（１）

文化層	ユニット	ブロック	ナイフ形石器	台形様石器	槍先形尖頭器	彫器	楔形石器	削器	敲石	台石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	局部磨製石斧	磨製	礫片	礫	総計	組成比（％）
Ⅰa	A	1	3				4		4		15	8	6	130	79			5	11	265	7.69
			6.08				22.66		517.61		232.02	76.27	390.16	674.10	57.52			14.71	129.51	2,120.84	2.53
		2		5					3		4	1	8	70	32			1	5	129	3.74
				6.97					207		14.43	0.88	237.29	329.8	15.31			9.8	52.43	873.91	1.04
		3		2			2		1		13	1	20	99	30			4	10	182	5.28
				33.18			37.45		53.00		101.31	5.85	554.42	889.00	15.32			33.73	255.98	1,979.24	2.36
		4		1			4		1		3	9	9	83	20			5	11	146	4.23
				9.36			10.66		86.82		6.92	66.71	1175.73	485.44	19.31			19.83	202.13	2082.91	2.48
		5									5	2	9	37	17			1	6	77	2.23
											58.94	10.72	2,059.21	121.65	10.63			22.35	112.00	2,395.50	2.85
		6					5				1		2	8	4			3	3	26	0.75
							30.89				1.91		45.66	33.27	2.82			38.45	124.45	277.45	0.33
	A点数合計		3	8			15		9		41	21	54	427	182			19	46	825	23.93
	A重量合計		6.08	49.51			101.86		864.43		415.53	160.43	4,462.47	2,533.26	120.91			138.87	876.50	9,729.85	11.59
	B	7		1					2			5	2	52	13			1	3	79	2.29
				7.66					294.92			78.58	148.21	430.68	6.32			20.20	86.72	1,074.27	1.28
		8		4					3		5	7	7	113	56				3	198	5.74
				26.01					508.22		63.11	79.66	478.08	778.39	26.94				157.25	2118.66	2.52
		9					1		3		6	4	11	53	36				2	116	3.36
							1.97		209.99		51.16	30.27	585.89	270.25	22.13				112.14	1,283.80	1.53
		10	1						2		1	4	3	47	10			1	3	72	2.09
			3.23						315.90		6.04	25.03	110.67	154.74	5.59			25.60	956.89	1,603.69	1.91
		11									4	4		38	10			1	2	59	1.71
											37.98	37.82		158.78	5.13			10.42	34.6	284.53	0.34
		12							1			2		4						7	0.20
									47.8			30.83		44.33						122.96	0.15
		13	1				2					1		16		2			3	25	0.73
			6.42				19.96					10.90		67.88		70.77			884.66	1,080.59	1.26
	B点数合計		2	5			3		11		16	27	23	323	125	2		3	16	556	16.13
	B重量合計		9.65	33.67			21.93		1,376.63		158.29	293.89	1,322.85	1,906.03	68.11	70.77		56.22	2,232.26	7,548.50	8.99
Ⅰa点数合計			5	13			18		20		57	48	77	750	307	2		22	62	1381	40.05
Ⅰa重量合計			15.73	83.18			123.79		2,241.26		573.82	454.32	5,785.32	4,439.29	187.02	70.77		195.09	3,108.76	17,278.35	20.58
Ⅰb	C	14	1											10					1	12	0.35
			1.57											25.4					46.9	73.87	0.09
		15	1								2	4	2	12	7			1		29	0.84
			2.98								8.53	5	58.1	21.32	2.97			35.01		133.91	0.16
		16										2		4						6	0.17
												19.11		3.57						22.68	0.03
		17									2	2		22	18				2	46	1.33
											20.12	17.47		92.19	7.48				198	335.26	0.40
		18																1	2	3	0.09
																		3.82	164.24	168.06	0.20
Ⅰb点数合計			2								4	6	2	48	25			2	5	96	2.78
Ⅰb重量合計			4.55								28.65	41.58	58.1	142.48	10.45			38.83	409.14	733.78	0.87
Ⅱa		19																10	1	11	0.32
																		51.12	1.15	52.27	0.06
		20	2								3	3	3	44	24	1		5	5	80	2.61
			6.42								52.52	67.60	400.14	464.02	18.84	126.75		48.31	100.36	1,286.96	1.53
		21												3	2			3	4	12	0.35
														30.18	1.05			67.69	131.15	230.07	0.27
		22									2			2			1			5	0.15
											26.76			19.63			525.05			571.46	0.68
Ⅱa点数合計			2								5	3	3	49	26	1	1	18	10	116	3.42
Ⅱa重量合計			6.42								79.30	67.60	400.14	513.83	19.89	126.75	525.05	167.12	232.66	2,140.76	2.55
Ⅱb		23									1	1	1	13	1					17	0.49
											6.99	0.7	23.02	143.11	0.83					174.65	0.21
		24	1									3		6	1					11	0.32
			1.84									118.17		63.12	0.08					184.21	0.22
		25	1						1		5	10	3	72	21			1	2	116	3.36
			8.31						383.39		90.59	122.14	519.80	385.57	11.79			5.01	10.12	1,536.72	1.83
		26										4	1	5						10	0.29
												109.67	77.47	67.8						274.94	0.33
Ⅱb点数合計			2						1		6	18	5	96	23			1	2	154	4.47
Ⅱb重量合計			10.15						383.39		97.58	351.66	620.29	679.60	12.70			5.01	10.12	2,170.52	2.59
Ⅲ		27													1				5	6	0.17
															0.47				300.05	300.52	0.36
Ⅲ点数合計															1				5	6	0.17
Ⅲ重量合計															0.47				300.05	300.52	0.36
Ⅳa		28					1				2	1		8	2					14	0.41
							1.83				16.62	2.98		21.57	0.56					43.36	0.05
		29					3		1		11	5		25	15			1		61	1.77
							33.8		429		85.91	16.07		94.15	11.93			0.15		671.01	0.80
		30	1			1	6	1	1	1	7	2		61	31			2		114	3.31
			18.32			13.26	67.78	26.52	490.00	1,297.00	73.66	28.06		240.92	12.31			185.00		2,453.83	2.92
		31									4	5	4	22	6			1	1	43	1.25
											45.86	72.23	94.18	126.1	2.94			18	8.2	367.51	0.44
		32					1		1		6	5		15	5			7	4	44	1.28
							1.91		210		117.78	144.18		79.74	1.23			205.13	172.8	2487.97	2.96
		33					1		1		1	1	1	14	4			3	2	28	0.81
							1.07		212		8.83	19.89	187	184.25	1.91			152.04	225	991.99	1.18
		34	2				7				24	8	2	46	14			7		110	3.19
			10.79				38.46				168.89	23.2	25.61	113.44	13.1			56.59		448.08	0.53

第３表　文化層別器種組成表（２）

文化層	ユニット	ブロック	ナイフ形石器	台形様石器	尖頭状石器	彫器	楔形石器	削器	敲石	台石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	局部磨製石斧	磨製	礫片	礫	総計	組成比（％）
Ⅳa データの点数			3			1	19	1	4	1	55	27	7	191	77			21	7	414	12.01
Ⅳa 合計 / 重量			29.11			13.26	142.65	26.52	1,341.00	1,297.00	517.55	307.61	306.79	860.17	43.88			616.91	1,981.20	7,463.75	8.89
Ⅳb	35												1	7					1	9	0.26
													19.3	47.46					23.93	90.69	0.11
Ⅳb 点数合計													1	7					1	9	0.26
Ⅳb 重量合計													19.3	47.46					23.93	90.69	0.11
Ⅴa	36						2		2				2	7	1					14	0.41
							139.36		128.16				122.23	38.38	0.63					428.76	0.51
Ⅴa 点数合計							2		2				2	7	1					14	0.41
Ⅴa 重量合計							139.36		128.16				122.23	38.38	0.63					428.76	0.51
Ⅴb	37										2	1	1	5	2			1		12	0.35
											7.68	1.48	18.89	65.8	1.65			5.5		101	0.12
	38																	10	1	11	0.32
																		51.12	1.15	52.27	0.08
Ⅴb 点数合計											2	1	1	5	2			11	1	23	0.67
Ⅴb 重量合計											7.68	1.48	18.89	65.8	1.65			56.62	1.15	153.27	0.18
Ⅴc	39													3	2					5	0.15
														77.52	0.62					78.14	0.09
	40												1	2	1			1	1	6	0.17
													32.29	12.86	0.82			200.38	450.96	697.31	0.83
	41	5									8	15	13	137	56		1	2	14	251	7.28
		35.02									165.54	240.67	2,317.81	1,342.67	22.25		251.95	119.79	3,158.94	7,654.64	9.12
	42													1						1	0.03
														4.95						4.95	0.01
	43										8			1						9	0.26
											74.81			19.94						94.75	0.11
Ⅴc 点数合計		5									16	15	14	144	59		1	3	15	272	7.89
Ⅴc 重量合計		35.02									240.35	240.67	2,350.10	1,457.94	23.89		251.95	320.17	3,608.80	8,529.79	10.16
Ⅴd	44	1									2		2	12	3				1	21	0.81
		5.02									4.88		154.33	55.92	6.32				187.6	394.07	0.47
	45										2		3	8					3	16	0.46
											7.68		32.82	11.51					401.82	453.63	0.54
	46																	1		1	0.03
																		5.57		5.57	0.01
Ⅴd 点数合計		1									4		5	20	3			1	4	38	1.10
Ⅴd 重量合計		5.02									12.56		187.15	67.43	6.32			5.57	568.22	853.27	1.02
Ⅴe	47											1	1						1	3	0.09
												9.12	14.82						171.91	195.85	0.23
Ⅴe 点数合計												1	1						1	3	0.09
Ⅴe 重量合計												9.12	14.82						171.91	195.85	0.23
Ⅵ	48													1						1	0.03
														7.88						7.88	0.01
	49								2			1		5	2				1	11	0.32
									131.25			38.61		56.82	0.54				38.43	264.65	0.32
	50			1																1	0.03
				2.73																2.73	0.00
Ⅵ 点数合計				1					2			1		6	2				1	13	0.38
Ⅵ 重量合計				2.73					131.25			38.61		64.7	0.54				38.43	275.26	0.33
Ⅶ	51	1				1		2			4	1	8	61	5			294	30	407	11.80
		2.86				5.90		537.00			144.86	19.29	587.70	925.53	3.33			16,062.66	3,892.98	22,182.19	26.42
	52										1	1	1	4				2		9	0.26
											28.71	47.81	43.6	81.53				623		824.45	0.98
	53													4				68	4	74	2.15
														39.68				1,620.85	557.58	2,217.91	2.64
	54										1		1	11	3			60	2	78	2.26
											6.09		1,420.00	217.15	4.17			1,766.64	194.02	3,628.07	4.32
	55					1		1			1		6	53	6			240	25	333	9.66
						5.48		483.00			9.68		277.23	948.45	3.88			9,497.78	2,793.69	13,999.19	16.67
Ⅶ 点数合計		1				2		3			7	2	16	133	14			662	61	901	26.13
Ⅶ 重量合計		2.86				11.38		1,000.00			189.44	66.90	2,328.53	2,212.34	11.38			29,580.73	7,438.25	42,851.81	51.04
Ⅷ	56												2	2						4	0.12
													33.18	23.16						56.34	0.07
	57			1																1	0.03
				4.42																4.42	0.01
	58																1			1	0.03
																	435.28			435.28	0.52
Ⅷ 点数合計				1									2	2			1			6	0.17
Ⅷ 重量合計				4.42									33.18	23.16			435.28			496.04	0.59
全体の点数合計		21	13	2	1	41	1	32	1	156	124	136	1,458	540	3	3	741	175	3,448	100.00	
全体の重量合計		109	83	7	13	417	27	5,225	1,297	1,747	1,578	12,245	10,613	319	200	1,212	30,996	17,876	83,962	100.00	
点数組成比(%)		0.61	0.38	0.06	0.03	1.19	0.03	0.93	0.03	4.52	3.60	3.94	42.29	15.66	0.09	0.09	21.49	5.08	100.00		
重量組成比(%)		0.13	0.10	0.01	0.02	0.50	0.03	6.22	1.54	2.08	1.88	14.58	12.64	0.38	0.24	1.44	36.92	21.29	100.00		

〔上段：点数、下段：重量(g)〕

第4表　文化層別石材組成表（1）

文化層	ユニット	ブロック	黒曜石	安山岩	ガラス質黒色安山岩	トロトロ石（安山岩）	ホルンフェルス	流紋岩	碧玉（赤玉）	碧玉（黄玉）	頁岩	珪質頁岩	珪質頁岩（横岡産）	珪岩	チャート	玉髄（メノウ含む）類	オパール	砂岩	粘板岩	凝灰岩	角閃片岩	総計	組成比（%）
Ⅰa	A	1			5	4	6	2			4	2	226		8	4		4				265	7.69
					13.38	1.48	153.92	16.6			142.44	174.08	1142.09		390.07	8.73		78.05				2120.84	2.53
		2	1		31		3	5			2	2	73		4	5		3				129	3.74
			0.36		164.36		102.81	14.9			53.4	8.92	261.63		42.66	92.07		132.8				873.91	1.04
		3			4		2	7				2	150		9	5		2		1		182	5.26
					129.6		11.16	109.76				64.31	1411.79		140.66	107.02		5.44		0.1		1979.24	2.36
		4	4				4	6			9	15	87		13	8						146	4.23
			4.92				10.84	95			465.93	188.94	493.4		458.06	365.82						2082.91	2.48
		5			4	2		2	2			4	54		2	4		3				77	2.23
					43.84	0.94		38	13.52			8.96	2173.85		41	20.04		55.35				2395.5	2.85
		6			7			5	1		2		6		3	1				1		26	0.75
					28.9			125.34	1.91		10.16		45.44		24.87	2.27				37.56		277.45	0.33
	A点数合計		5		51	6	15	27	3		17	25	596		39	27		12		2		825	23.93
	A重量合計		5.28		381.08	2.42	278.73	398.6	15.43		671.93	445.21	5528.2		1066.72	585.95		271.64		37.66		9728.85	11.59
	B	7	14		17	2		16			7		13	5	5							79	2.29
			28.55		72.67	12.08		456.29			29.75		247.19	193.79	33.97							1074.27	1.28
		8	14		26	5	19	36			5		57	1	1	30		3		1		198	5.74
			40.52		92.7	25.72	264	257.74			26.12		630.3	102.16	85.03	80.54		506.22		5.61		2118.66	2.52
		9	5		6	7	17	3			9		58		1	8		2				116	3.36
			57.77		20.01	5.29	192.78	99.71			139.69		613.22		4.14	36.85		114.33				1283.8	1.53
		10	3		1	2	5	1				2	30		3	20		2		3		72	2.09
			4.62		3.1	4.12	937.02	137.04				21.87	158.6		43.73	88.74		204.46		2.39		1603.69	1.91
		11	1		8	4	2				1		35		5	3						59	1.71
			1.62		10.49	11.6	21.06				8.05		152.72		58.13	20.86						284.53	0.34
		12	1		1		3				1		1									7	0.20
			4.64		13.9		30.43				47.8		26.19									122.96	0.15
		13	3		5		3						2		6	3				1	2	25	0.73
			9.87		13.38		24.31						12.07		912.76	17.31				0.12	70.77	1060.59	1.26
	B点数合計		41		64	20	49	56			23	2	198	6	21	64		7		5	2	556	16.13
	B重量合計		147.59		226.25	58.79	1469.61	950.78			251.41	21.87	1840.29	295.95	1137.76	242.3		827.01		8.12	70.77	7548.5	8.99
Ⅰa点数合計			46		115	26	64	83	3		40	27	792	6	60	91		19		7	2	1381	40.05
Ⅰa重量合計			152.87		607.33	61.21	1748.34	1350.38	15.43		923.34	467.08	7368.49	295.95	2234.48	838.25		1098.65		45.78	70.77	17278.35	20.58
Ⅰb	C	14					1					2			5	3		1				12	0.35
							1.01					2.3			21.28	2.38		46.9				73.87	0.09
		15			1			1				22			3	2						29	0.84
					2.98			35.01				42.93			43.16	9.83						133.91	0.16
		16			1						1	3				1						6	0.17
					14.32						4.79	2.18				1.39						22.68	0.03
		17						3			27	3				13						46	1.33
								200.44			84.15	27.82				22.85						335.26	0.40
		18						2							1							3	0.09
								14.82							153.24							168.06	0.20
Ⅰb点数合計					2		1	6			28	30			9	19		1				98	2.78
Ⅰb重量合計					17.3		1.01	250.27			88.94	75.23			217.66	36.45		46.9				733.78	0.87
Ⅱa		19					1	2							1			7				11	0.32
							1.66	12.31							1.15			37.15				52.27	0.06
		20	4		25	4	1	12			5		28		3	1		7				90	2.61
			8.41		139.55	62.77	53.74	190.28			57.06		588.07		3.99	0.47		182.62				1286.96	1.53
		21	2	1	1	1		3			1				2			1				12	0.35
			3.18	88.53	15.84	11.75		71.75			0.46				15.69			21.87				230.07	0.27
		22						1					4									5	0.15
								525.05					46.41									571.46	0.68
Ⅱa点数合計			6	1	26	5	2	18			6		32		6	1		15				118	3.42
Ⅱa重量合計			11.59	88.53	155.39	74.52	55.4	788.39			57.52		634.48		20.83	0.47		241.64				2140.78	2.55
Ⅱb		23	1				2				5		6						1			17	0.49
			0.7				77.88				9.87		74.05						12.15			174.65	0.21
		24	1								4	2							4			11	0.32
			0.08								30.59	2.87							150.67			184.21	0.22
		25	9				19	9			40	1	6		7	19		3	3			116	3.36
			15.78				130.89	174.26			559.49	9.04	72.61		104.8	48.64		389.48	31.73			1536.72	1.83
		26	1				1	1			1	1			2				3			10	0.29
			1.25				18.51	0.68			22.67	77.47			73.64				80.72			274.94	0.33
Ⅱb点数合計			12				22	10			50	4	14		9	19		3	11			154	4.47
Ⅱb重量合計			17.81				227.28	174.94			622.62	89.38	146.66		178.44	48.64		389.48	275.27			2170.52	2.59
Ⅲ		27						3							1			2				6	0.17
								149.47							45			106.05				300.52	0.36
Ⅲ点数合計								3							1			2				6	0.17
Ⅲ重量合計								149.47							45			106.05				300.52	0.36
Ⅳa		28											12		2							14	0.41
													38.26		7.1							43.36	0.05
		29									3		56			1		1				61	1.77
											6.27		230.73			5.01		429				671.01	0.80
		30			2	2	4	1				1	101		2			1				114	3.31
					16.32	185	4.8	490				18.32	416.34		26.05			1297				2453.83	2.92
		31	1		1	1						3	28		4	3		2				43	1.25
			7.86		14.51	2.03						25.55	255.6		30.26	5.5		26.2				367.51	0.44
		32	1					12				1	24		5			1				44	1.28
			1.46					1940.49				1.91	325.76		8.35			210				2487.97	2.96

第５表　文化層別石材組成表（２）

文化層	ユニット	ブロック	黒曜石	安山岩	ガラス質黒色安山岩	トロトロ石（玄山岩）	ホルンフェルス	頁岩	碧玉（赤玉）	碧玉（黄玉）	頁岩	珪質頁岩	珪質頁岩	珪岩	チャート	玉髄（メノウ含む）	オパール	砂岩	粘板岩	凝灰岩	角閃片岩	総計	組成比（％）
		33	3		6		1	2				1	4		10			1				28	0.81
			1.83		31.15		13.22	41.04				7.32	57.86		627.57			212				991.99	1.16
		34	2				3	2					99		2			2				110	3.19
			1.12				12.54	7.13					382.42		11.97			32.9				448.08	0.53
Ⅳa 点数合計			7		9	3	8	17			3	6	324		25	4		8				414	12.01
Ⅳa 重量合計			12.27		61.98	187.03	30.56	2478.66			6.27	53.1	1704.97		711.3	10.51		2207.1				7463.75	8.89
Ⅳb		35	1				1	1			1	4	1									9	0.26
			19.3				7.39	23.93			17.31	16.37	6.39									90.69	0.11
Ⅳb 点数合計			1				1	1			1	4	1									9	0.26
Ⅳb 重量合計			19.3				7.39	23.93			17.31	16.37	6.39									90.69	0.11
Ⅴa		36						1			9	1	1					2				14	0.41
								3.62			290.21	0.81	5.96					128.16				428.76	0.51
Ⅴa 点数合計								1			9	1	1					2				14	0.41
Ⅴa 重量合計								3.62			290.21	0.81	5.96					128.16				428.76	0.51
Ⅴb		37	1								1	1	8					1				12	0.35
			0.86								1.56	1.48	91.6					5.5				101	0.12
		38					1	2							1			7				11	0.32
							1.86	12.31							1.15			37.15				52.27	0.06
Ⅴb 点数合計			1				1	2			1	1	8		1			8				23	0.67
Ⅴb 重量合計			0.86				1.86	12.31			1.56	1.48	91.6		1.15			42.65				153.27	0.18
Ⅴc		39					1				1		1					2				5	0.15
							0.49				72.14		3.18					2.33				78.14	0.09
		40						1					4					1				6	0.17
								450.96					45.97					200.38				697.31	0.83
		41			10		2	7		25	18	1	167		6	8		7				251	7.28
					119.65		43.65	1262		119.55	271.3	5.77	3439.2		24.09	104.49		2264.94				7654.64	9.12
		42											1									1	0.03
													4.95									4.95	0.01
		43	6										3									9	0.26
			57.28										37.47									94.75	0.11
Ⅴc 点数合計			6		10		3	8		25	19	1	176		6	8		10				272	7.69
Ⅴc 重量合計			57.28		119.65		44.14	1712.96		119.55	343.44	5.77	3530.77		24.09	104.49		2467.65				8529.79	10.16
Ⅴd		44	1					1					5		2		10	2				21	0.61
			2.42					167.6					87.03		17.59		113.24	8.19				384.07	0.47
		45	13												1	1		1				16	0.46
			52.01												76.68	248.01		76.93				453.63	0.54
		46									1											1	0.03
											5.57											5.57	0.01
Ⅴd 点数合計			14					1			1		5		3	1	10	3				38	1.10
Ⅴd 重量合計			54.43					167.6			5.57		87.03		94.27	248.01	113.24	83.12				853.27	1.02
Ⅴe		47						1			1	1										3	0.09
								171.91			9.12	14.82										195.85	0.23
Ⅴe 点数合計								1			1	1										3	0.09
Ⅴe 重量合計								171.91			9.12	14.82										195.85	0.23
Ⅵ		48											1									1	0.03
													7.88									7.88	0.01
		49					2						5		3			1				11	0.32
							131.25						92.38		40.7			0.32				264.65	0.32
		50									1											1	0.03
											2.73											2.73	0.00
Ⅵ 点数合計							2				1		6		3			1				13	0.38
Ⅵ 重量合計							131.25				2.73		100.26		40.7			0.32				275.26	0.33
Ⅶ		51			7	1	87	129			5	2	29		13	3		113		18		407	11.80
					195.97	109	3461.05	9307.16			216.46	8.76	361.57		1252.66	14.22		6882.59		372.75		22182.19	26.42
		52					7	1												1		9	0.26
							201.45	595												28		824.45	0.98
		53		1	1		8	36							3			23		2		74	2.15
				5.8	6.48		114.2	1203.93							74.51			796.93		16.06		2217.91	2.64
		54			3		18	21			1		4		3	1		24		4		78	2.26
					15.59		1932.92	502.88			1.6		23.61		54.14			906.25		191.08		3628.07	4.32
		55	1		12		58	102			2		17		25	2		109		5		333	9.66
			5.48		110.39		2482.68	5133.955			95.35		394.95		950.94	35.5		4714.68		75.26		13999.185	16.67
Ⅶ 点数合計			1	1	23	1	178	289			8	2	50		44	5		269		30		901	26.13
Ⅶ 重量合計			5.48	5.8	328.43	109	8192.3	16742.925			313.41	8.76	780.13		2332.25	49.72		13300.45		663.15		42851.805	51.04
Ⅷ		56											3							1		4	0.12
													36.23							20.11		56.34	0.07
		57																		1		1	0.03
																				4.42		4.42	0.01
		58													1							1	0.03
															435.28							435.28	0.52
Ⅷ 点数合計													3		1					2		6	0.17
Ⅷ 重量合計													36.23		435.28					24.53		496.04	0.59
全体の点数合計			94	2	185	35	282	440	3	25	168	77	1412	6	168	148	10	341	11	39	2	3448	100.00
全体の重量合計			331.89	95.33	1290.08	431.76	10439.33	24038.385	15.43	119.55	2682.04	732.8	14492.97	295.95	6335.47	1336.54	113.24	20112.17	275.27	753.46	70.77	83962.415	100.00
点数組成比(％)			2.73	0.06	5.37	1.02	8.18	12.76	0.09	0.73	4.87	2.23	40.95	0.17	4.87	4.29	0.29	9.89	0.32	1.13	0.06	100.00	
重量組成比(％)			0.40	0.11	1.54	0.51	12.43	28.63	0.02	0.14	3.19	0.87	17.26	0.35	7.55	1.59	0.13	23.95	0.33	0.90	0.08	100.00	

［上段：点数、下段：重量(g)］

礫器で構成されている。主要石材は，嶺岡産珪質頁岩が多用されており，碧玉（黄玉）・頁岩が用いられている。

④**第Ⅴd文化層**：第44～46ブロックの３ブロックで構成される。調査区中央の南側の台地平坦部に立地し，第Ⅱb文化層の南東側，第Ⅴc文化層の南側に分布している。ブロック間接合はみられない。出土層位は，Ⅴ層～Ⅳ層にかけて出土しており，Ⅴ層に集中することから，生活面はⅤ層に持つと推定される。出土点数は38点である。主要器種は，ナイフ形石器・二次加工のある剥片である。主要石材は，黒曜石が多用されており，オパール・嶺岡産珪質頁岩が用いられている。第Ⅴ文化層のうち，黒曜石が多用されているのは，本文化層のみである。

⑤**第Ⅴe文化層**：第47ブロックの１ブロックのみである。調査区南側の南斜面に分布する。出土層位は，Ⅴ層～Ⅳ層にかけて出土しており，Ⅳ層下部に集中することから，生活面はⅣ層下部と推定される。出土点数は３点である。特徴的な石器が出土していないので，石器群の内容は，明確でない。

（６） **第Ⅵ文化層**：調査区南西部の南斜面に立地している。調査区の南西部の南斜面に，第48～50ブロックの３ブロックがまとまって分布している。出土層位は，Ⅳ層～Ⅲ層下部にかけて出土しており，Ⅳ層上部に集中することから，Ⅳ層上部に生活面を持つと思われる。分布域が，調査区南西部に集中し，出土層位も同一層準から出土していることから，文化層の細分は行っていない。ブロック間の接合はみられない。出土点数は13点である。３ブロックで構成されている文化層ではあるが，出土点数は，それぞれのブロックにおいて少数であることが特徴である。主要器種は，槍先形尖頭器・敲石である。主要石材は，嶺岡産珪質頁岩・チャートである。

（７） **第Ⅶ文化層**：礫群を伴う文化層である。調査区北側に位置し，密集して出土している。第51～55ブロックの５ブロックで構成され，ブロック間の接合がみられ，ブロック内の接合関係も頻繁にみられる。平面的には，本文化層の下位にⅣa文化層とⅤb文化層が分布するが，明確に出土層位に間層がみられ，平面分布の集中地点も多少異なる。調査区北側以外では，礫群を伴う文化層がみられない。第Ⅶ文化層の石器群は同時期に形成されたものと思われる。出土層位は，Ⅲ層から出土しており，Ⅲ層下部に集中がみられ，Ⅲ層下部に生活面を持つと思われる。出土点数は901点で，出土点数の多い文化層といえる。主要器種は，礫片662点，礫61点で圧倒的に礫片・礫の占める割合が高い。特に礫の特徴は，肉眼観察において，火熱を受けた形跡がみられ，赤化している。組成比からみてもわかるように，ほとんどのものは，礫片で構成されており，火熱により破砕されたか，分割されたものと思われる。礫片・礫以外の石器は，ナイフ形石器・楔形石器・敲石がみられる，少数ながら，本文化層を特徴付ける石器が出土している。主要石材は，礫片・礫は流紋岩・砂岩・ホルンフェルスの占める割合が圧倒的に高い。石器においては，黒曜石・珪質頁岩・チャートが搬入石材として，持ち込まれているという特徴がみられる。

（８） **第Ⅷ文化層**：本文化層は，単独出土したものをまとめたものである。そのため，厳密に言えば，文化層として識別されるものではない。第56～58ブロックの３ブロックで構成される。すべての遺物は，出土層位が不明で，石器の形態からみると，Ⅲ層から出土したものと思われることから，第Ⅷ文化層として捉えた。出土点数は６点である。主要器種は，槍先形尖頭器・礫器である。主要石材は，嶺岡産珪質頁岩・凝灰岩である。

3　第Ⅰ文化層

（1）第Ⅰ文化層の概要（第11・12・71・113図，第6・7・18・28表）

X層～Ⅸa層にかけて出土した。ブロックごとに集中する層位は，微妙に異なるが，大半のブロックでは，X層中部からⅨa層に集中する。石器の平面分布は，第10・11図のように，第1～18ブロックの18ブロックで構成されるが，ブロックの集中地点やブロック間の接合関係から，第Ⅰ文化層を，第Ⅰa文化層と第Ⅰb文化層の2文化層に細分した。層位的には，第Ⅰa文化層は第Ⅰb文化層に比べて，若干下位の層から出土してことから，第Ⅰa文化層と第Ⅰb文化層に細分した。

第Ⅰ文化層は，石器総数1,477点出土した。母岩数は378母岩である。接合する母岩は，65母岩で，接合する点数は215点である。そのうち，ブロック間で共有する母岩数は，43母岩あり。ブロック間で母岩を共有する割合が高いことを示している。これらのことは，ブロック間接合が多いことからも裏付けられる。

第Ⅰa文化層は，ブロックの分布の形状から，調査区北東端の本調査区域に所在する第1～6ブロックをAユニットとして呼称し，それより南側約50mに位置する第7～13ブロックをBブロックと呼称することにする。両ユニットは出土層位がX層上部～Ⅸc層下部に集中する傾向があり，約60mはなれて接合したユニット間接合が，1資料（4点接合，敲石）検出していることから，同時期に形成されたものと思われる。両ユニットは，ブロック間の接合が頻繁にみられるという共通した特徴がみられる。

第Ⅰb文化層は，本調査区域が5区域のブロックで形成されており，第14～18ブロックの5ブロックで構成される。ブロック間の接合はみられない。ブロック内の接合がみられるのは，第15ブロックのみである。出土層位も，集中する層位がⅨc層上部～Ⅸa層下部にみられることから，第Ⅰa文化層よりも上位の文化層の可能性がある。また，接合関係が第Ⅰa文化層では，頻繁に接合しているのと対照的に，ほとんど接合関係がみられないという特徴がある。

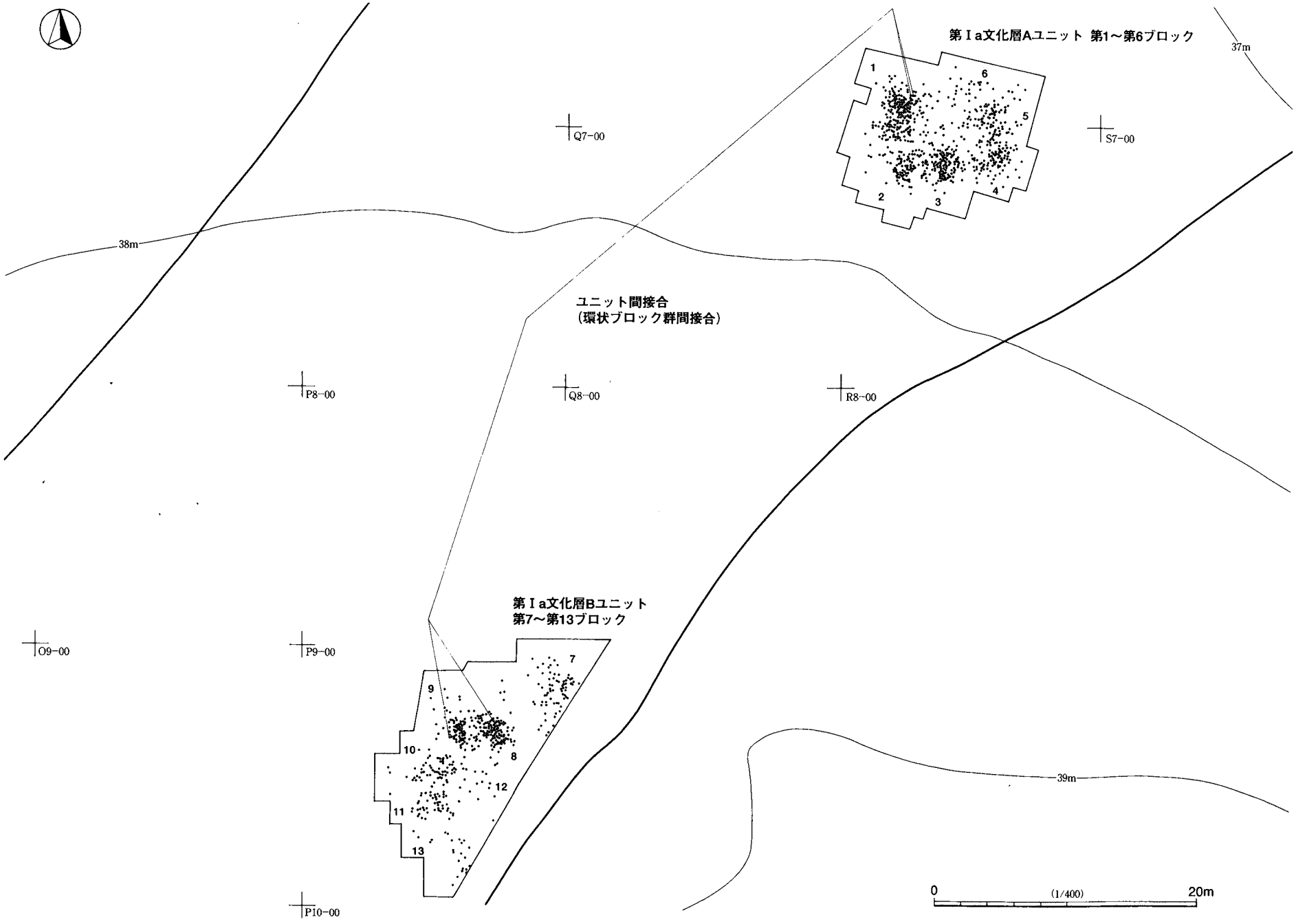
①第Ⅰa文化層（第11・12・71図，第6・7・18表）

第Ⅰa文化層の概要　第1～13ブロックの13ブロックで構成される。第11図のように，AユニットとBユニットの2ユニットで形成されており，ユニット間の接合資料が1資料ある。第Ⅰa文化層の石材器種組成は，第6表のとおりである。総計1,381点（総重量17,278.35g）出土している。

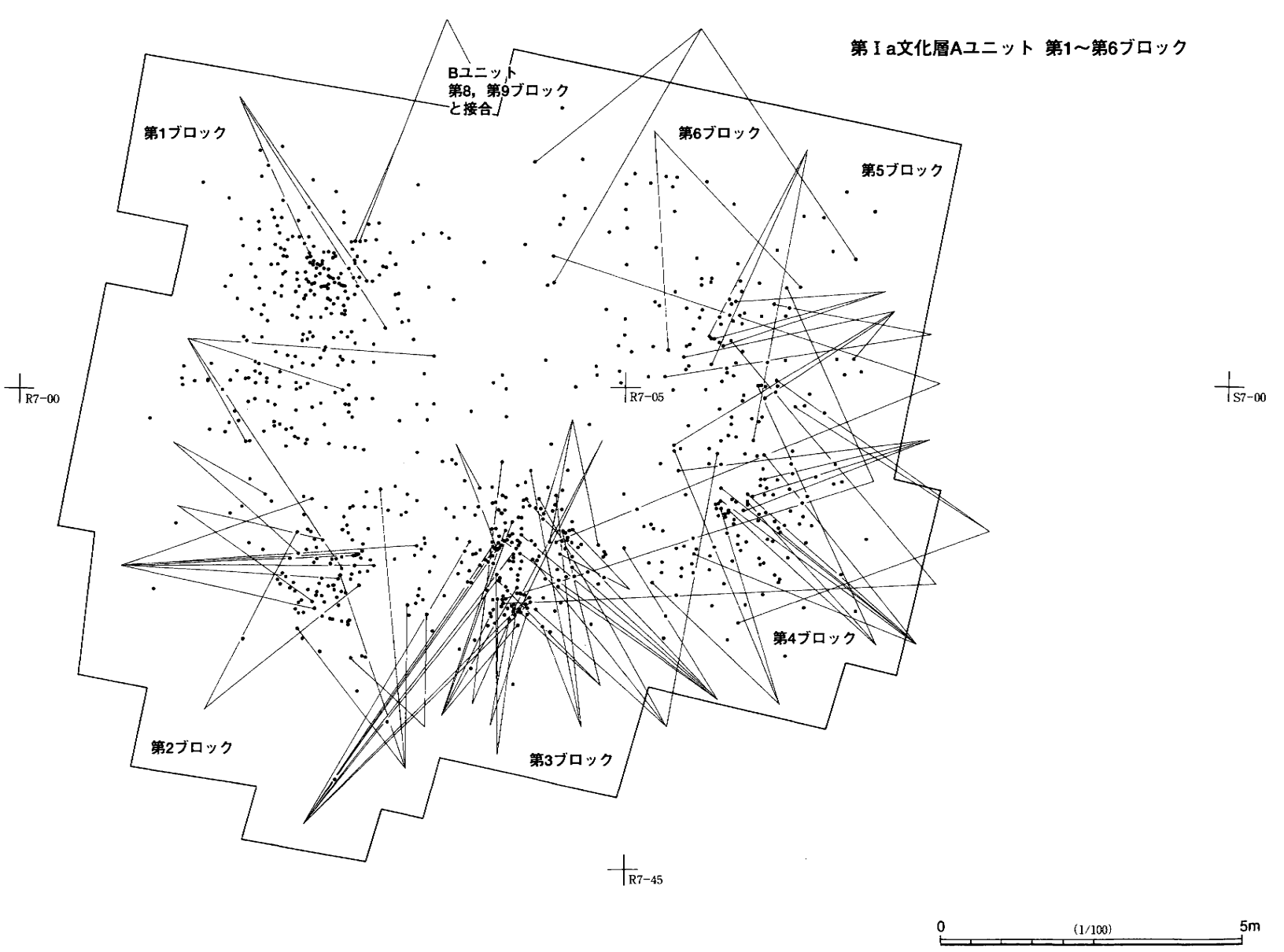
Aユニットは，第12図のように，第1～6ブロックの6ブロックで構成され，総計825点（総重量9,729.85g）である。

Bユニットは，第71図のように，第7～13ブロックの7ブロックで構成され，総計556点（総重量7,548.5g）である。

Aユニットのほうが出土点数が多いが，Bユニットについては，東側の調査区域外にも遺物の広がりがあることが推定されることから，Aユニットと同形態のユニットであったと推定される。また，遺物の広がりについても，両ユニットともに，いわゆる環状ブロックとして捉えることが可能である。そのうえ，二つの環状ブロックにおいて，約60m離れて接合した資料がみられ，環状ブロック同士の接合関係を示す資料が検出されたことは，貴重な資料といえよう。全国的にみても，環状ブロック間の接合関係を示す資料は，ほとんど検出されていない。



第11図　第Ⅰa文化層分布状況



第12図　第Ⅰa文化層Aユニット分布状況

（1）Aユニット（第11・12図，第7～17表）

Aユニットの概要　Aユニットの石材器種組成は第7表のとおりである。主要器種は，ナイフ形石器・台形様石器・楔形石器・敲石で構成される。主要石材は，嶺岡産珪質頁岩が圧倒的に多く，72.24%を占め

第6表　第Ⅰa文化層石材器種組成表

石材＼器種	ナイフ形石器	台形様石器	楔形石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	局部磨製石斧	礫片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	1 6.42	3 21.84	1 1.97		2 9.95	4 11.18	2 65.95	17 30.74	16 4.82				46 152.87	3.33 0.88
ガラス質黒色安山岩		2 2.13	1 3.75		2 8.49		6 200.37	68 311.89	35 15.83			1 64.87	115 607.33	8.33 3.51
トロトロ石（安山岩）								13 56.42	13 4.79				26 61.21	1.88 0.35
ホルンフェルス					3 36.79	2 50.44	1 51.73	45 501.91	5 4.31		1 2.58	7 1100.58	64 1748.34	4.63 10.12
流紋岩		2 11.83		4 527.62	2 16.31		1 110.83	37 204.05	16 11.3		6 51.8	15 416.64	83 1350.38	6.01 7.82
碧玉（赤玉）					3 15.43								3 15.43	0.22 0.09
頁岩				2 134.62		3 17.36	5 619.97	21 112.4	7 3.79		1 20.2	1 15	40 923.34	2.90 5.34
珪質頁岩				1 153		3 23.39	6 212.84	15 76.09	2 1.76				27 467.08	1.96 2.70
嶺岡産珪質頁岩	3 6.08	5 45.78	9 69.63	1 53	38 450.56	29 243.21	47 3771.81	462 2596.11	192 125.57		6 6.74		792 7368.49	57.35 42.65
珪岩						1 39.08		5 256.87					6 295.95	0.43 1.71
チャート			5 44.83	1 297		1 35.3	4 350.78	12 77	3 2.91		3 18.02	31 1408.64	60 2234.48	4.34 12.93
玉髄（メノウ含む）	1 3.23	1 1.6	2 3.61	1 84	7 36.29	5 34.36	5 401.04	51 208.02	16 11.51			2 54.59	91 838.25	6.59 4.85
砂岩				10 992.02							4 58.19	5 48.44	19 1098.65	1.38 6.36
凝灰岩								4 7.79	2 0.43		1 37.56		7 45.78	0.51 0.26
角閃片岩										2 70.77			2 70.77	0.14 0.41
点数合計	5	13	18	20	57	48	77	750	307	2	22	62	1381	100.00
重量合計	15.73	83.18	123.79	2,241.26	573.82	454.32	5,785.32	4,439.29	187.02	70.77	195.09	3,108.76	17,278.35	100.00
点数組成比（%）	0.36	0.94	1.30	1.45	4.13	3.48	5.58	54.31	22.23	0.14	1.59	4.49	100.00	
重量組成比（%）	0.09	0.48	0.72	12.97	3.32	2.63	33.48	25.69	1.08	0.41	1.13	17.99	100.00	

［上段：点数、下段：重量(g)］

第7表　第Ⅰa文化層Aユニット石材器種組成表

石材＼器種	ナイフ形石器	台形様石器	楔形石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石						1 2.59		1 1.42	3 1.27			5 5.28	0.61 0.05
ガラス質黒色安山岩		2 2.13	1 3.75		2 8.49		5 156.83	32 140.53	8 4.48		1 64.87	51 381.08	6.18 3.92
トロトロ石（安山岩）								1 0.36	5 2.06			6 2.42	0.73 0.02
ホルンフェルス						1 24.37		7 237.72	2 2.84	1 2.58	4 11.22	15 278.73	1.82 2.86
流紋岩								2 5.41	6 4.61	6 51.8	13 337.78	27 399.6	3.27 4.11
碧玉（赤玉）					3 15.43							3 15.43	0.36 0.16
頁岩				1 86.82			4 510.74	9 58.4	2 0.97		1 15	17 671.93	2.06 6.91
珪質頁岩				1 153		3 23.39	5 199.6	14 67.46	2 1.76			25 445.21	3.03 4.58
嶺岡産珪質頁岩	3 6.08	5 45.78	9 69.63	1 53	34 385.63	15 74.78	32 2873.51	345 1916.24	146 96.81	6 6.74		596 5528.2	72.24 56.82
チャート			3 24.87	1 297		1 35.3	4 350.78	5 33.66	3 2.91	2 7.6	20 344.6	39 1096.72	4.73 11.27
玉髄（メノウ含む）		1 1.6	2 3.61	1 84	2 5.98		4 371.01	11 72.06	4 3.1		2 54.59	27 595.95	3.27 6.12
砂岩				4 190.61						3 32.59	5 48.44	12 271.64	1.45 2.79
凝灰岩									1 0.1	1 37.56		2 37.66	0.24 0.39
点数合計	3	8	15	9	41	21	54	427	182	19	46	825	100.00
重量合計	6.08	49.51	101.86	864.43	415.53	160.43	4462.47	2533.26	120.91	138.87	876.5	9729.85	100.00
点数組成比（%）	0.36	0.97	1.82	1.09	4.97	2.55	6.55	51.76	22.06	2.30	5.58	100.00	
重量組成比（%）	0.06	0.51	1.05	8.88	4.27	1.65	45.86	26.04	1.24	1.43	9.01	100.00	

［上段：点数、下段：重量(g)］

る。このことは，Aユニットの石材使用の最大の特徴といえよう。続いて，ガラス質黒色安山岩・チャート・珪質頁岩が多く用いられている。そのほか，わずかではあるが，黒曜石が5点，碧玉（赤玉）が3点用いられている。

総計825点出土した。母岩数は，220母岩である。ブロック間で共有する母岩数は，25母岩である。Bユニット同様に，ブロック間の接合関係も頻繁にみられることから，ブロック間で共有する母岩が多いことがうかがえる。

平面分布の傾向は，ブロック間接合が非常に頻繁にみられる。特に，敲石のブロック間の接合がみられるという特徴がみられる。通常，ブロック間接合において，剥片・石核等の接合関係資料は多くみられるが，敲石のブロック間接合は，あまりみられない。また，敲石の接合資料のなかで，Bユニットとユニット間接合を示す資料があることは，大変貴重な資料といえよう。出土層位は，X層中部～Ⅸc層にかけて出土しているが，X層上部～Ⅸc層下部に集中する傾向がある。

a．**第1ブロック**（第13～23図，第8・9・88～90表，図版21・25）

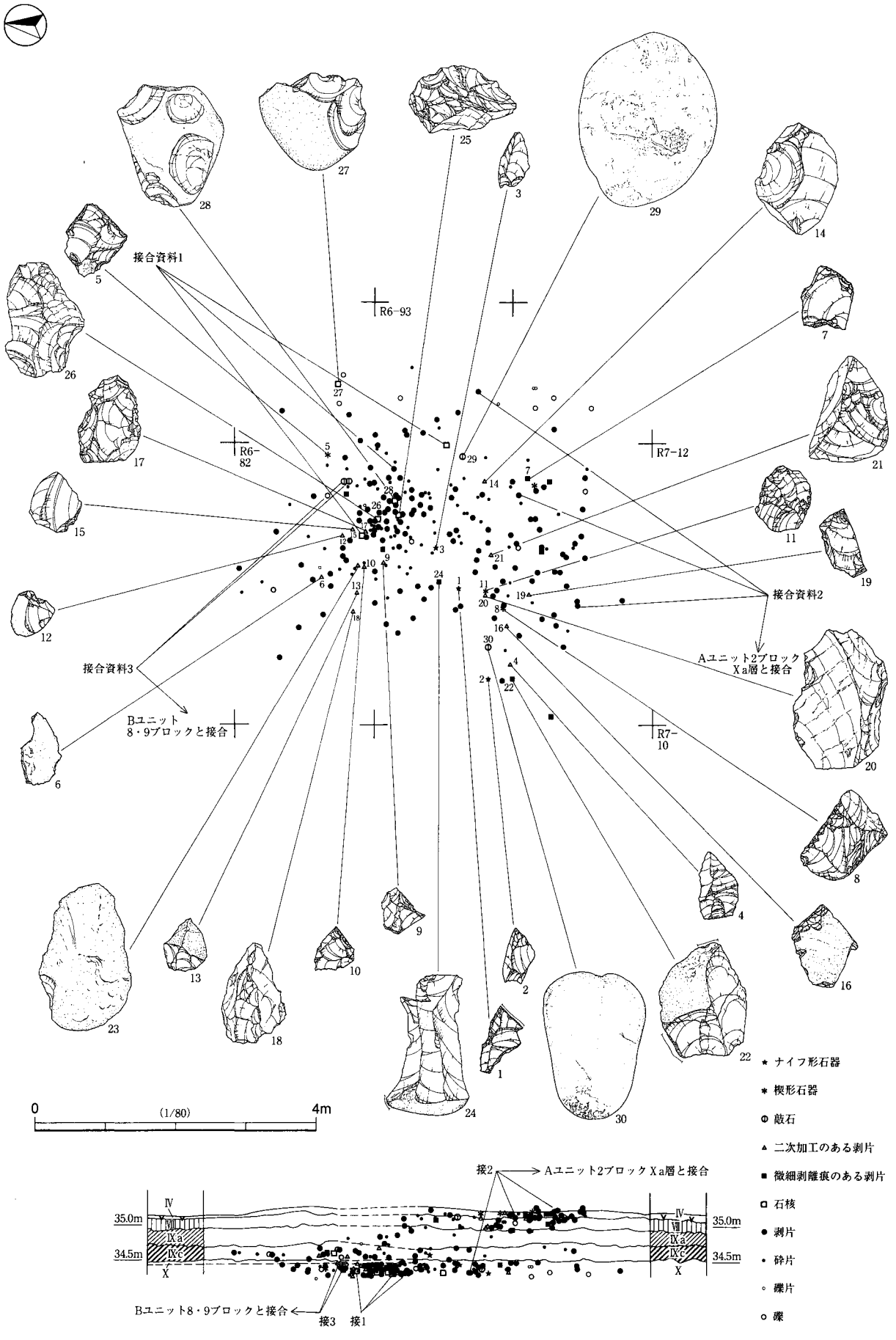
出土状況　平面分布は，約6m×6mの円形の範囲から密集して分布している。出土層位は，南西部の集中地点は，Ⅸa層上部～Ⅵ層にかけて出土している。北東部の集中地点は，X層～Ⅸa層下部にかけて出土している。この出土状況からは，二つの異なる時期の石器が出土しているように解釈することもできるが，以下のことから，本ブロックから出土した石器はすべて同時期に形成されたものと考えられる。

その理由としては，第1番目に，接合資料2において，南西部の集中地点のⅨa層上部～Ⅵ層にかけて出土したものと，北東部の集中地点のX層から出土したものとの接合資料があり，その上，第2ブロックとも接合しており，第2ブロックと接合している石器の出土層位は，Ⅸc層下部である。第2ブロックはXa層（X層上部）に遺物が集中する。第2番目に，第1ブロックを含むAユニットの出土層位は，ほとんどのブロックがX層上部に遺物が集中する。これらのことから，第1ブロックの南西部の遺物集中地点は，自然の影響か人為的な影響かは不明であるが，上部に遺物が移動したと思われる。

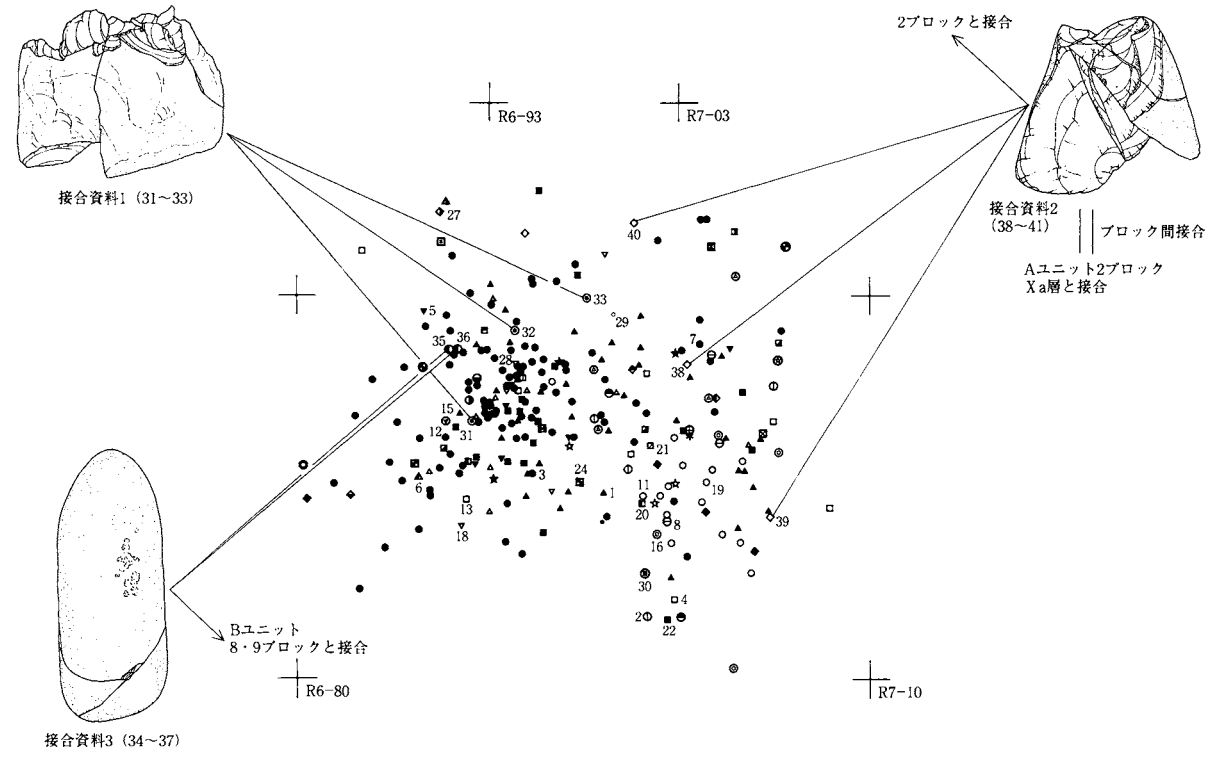
器種別分布（第13図）の特徴は，敲石の分布状況に特色がある。敲石が4点出土しているが，ブロックの中心部から離れた場所から，ブロックを取り巻くように4点出土している。敲石と石器の分布の関連をみると，敲石が出土している近辺には遺物の空白地点があり，少し離れて中心部に向かってそれぞれ遺物の集中地点がみられる。このことは，敲石の付近が石器を製作した人間が位置し，それより少し離れた地点に石器製作された剥片などが散布したことが想定される。

また，接合資料3の敲石の接合関係は，特に興味深い特徴がみられる。接合資料3は，Aユニットの第1ブロックとBユニットの第8・9ブロックと約60m離れて接合しており，AユニットとBユニットの同時期に形成された可能性を高く示す資料として貴重な資料である。その上，接合資料3の敲石を詳しく観察すると，Aユニットの第1ブロックから出土している35・36の資料は，火熱によって赤化している。それに対して，Bユニットの第8・9ブロックから出土している34・37の資料は，火熱の痕跡がみられない。この火熱の痕跡の有無だけでは，明確なことはいえないが，AユニットとBユニットの同時期に形成された可能性は高いが，わずかではあるが，時間差・時期差がある可能性も考慮しておく必要がある。

母岩別分布（第14図）の特徴は，接合資料が，接合資料1～3があり，これらの分布はブロックの外周に分布している。接合資料を各母岩単位でみると，2～3mの小範囲に分布している。ここの接合資料の



第13図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック器種別分布図



- ガラス質黒色安山岩001
- ガラス質黒色安山岩002
- ガラス質黒色安山岩003
- ガラス質黒色安山岩004
- トロトロ石（安山岩）001
- ホルンフェルス001
- ホルンフェルス002
- 流紋岩001
- 流紋岩002
- 頁岩001
- 頁岩002
- 頁岩003
- 頁岩004
- 嶺岡産珪質頁岩001
- 嶺岡産珪質頁岩002
- 嶺岡産珪質頁岩003
- 嶺岡産珪質頁岩004
- 嶺岡産珪質頁岩005
- 嶺岡産珪質頁岩006
- 嶺岡産珪質頁岩007
- 嶺岡産珪質頁岩008
- 嶺岡産珪質頁岩009
- 嶺岡産珪質頁岩010
- 嶺岡産珪質頁岩011
- 嶺岡産珪質頁岩012
- 嶺岡産珪質頁岩013
- 嶺岡産珪質頁岩014
- 嶺岡産珪質頁岩015
- 嶺岡産珪質頁岩016
- 嶺岡産珪質頁岩017
- 嶺岡産珪質頁岩018
- 嶺岡産珪質頁岩019
- 嶺岡産珪質頁岩020
- 嶺岡産珪質頁岩021
- 嶺岡産珪質頁岩A

第14図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック母岩別分布図

中心付近には，敲石が出土する特徴がみられる。嶺岡産珪質頁岩のうち，よく似た石質のものを一括して，嶺岡産珪質頁岩Aとしたが，これらは，北東部に集中する特徴がある。嶺岡産珪質頁岩002は南西部に集中する。接合資料2を含むホルンフェルス002は，南部に集中する。

出土遺物　総計265点出土した。母岩器種組成は，第8・9表のとおりである。器種組成の特徴は，ナイフ形石器3点，楔形石器4点，敲石4点出土しており，これらの比率が高いといえる。特に，ナイフ形石器は，Aユニットからは，5点出土しており，本ブロックのみで60%の高い割合を占める。また，他のブロックでみられる台形様石器が，本ブロックで出土しておらず，ナイフ形石器の高い出土率が際立っている。母岩（石材）組成は，嶺岡産珪質頁岩が，多くの母岩で持ち込まれ，226点（85.28%，総重量1,142.09g）で非常に高い比率を示す。また，ナイフ形石器3点，楔形石器4点とも，すべて嶺岡産珪質頁岩が用いられている。他の石材は，すべて10点以下で構成されるが，多種の石材が用いられている。

1～3はナイフ形石器である。形態的には，3点ともまとまりがないが，サイズは3～4cmで小型である。石材は嶺岡産珪質頁岩を用いている。1は縦長の薄い剥片を素材として，左側縁は大きく折断後に，上半部を腹面側から調整加工が行われ，下半部は背面から調整加工が行われている。2は横長剥片を素材として，打面部にあたる右側縁下部を腹面から折断して，右側縁上部に細かい調整加工が施されている。3は縦長剥片を素材として，主要剥離面の方向と主軸が一致する。打面を先端部に用いている。背面両側縁下部にやや粗い調整加工が施され，腹面基部に器体の奥まで入る平坦な調整加工が入念に施されている。左側縁上部に細かい調整加工が施されている。打面はこの調整加工で除去されている。

5・7・8・11は楔形石器である。いずれも四角形・五角形の素材を用いて，両極剥離が行われている。5・7は両極剥離によって，先端部を尖らすような加工となっている。8は左側面上部と右側面下部に器体の中央まで入り込む両極剥離が施されている。11は全周にわたって両極剥離が施され，器体の中央部まで剥離が及んでいる。

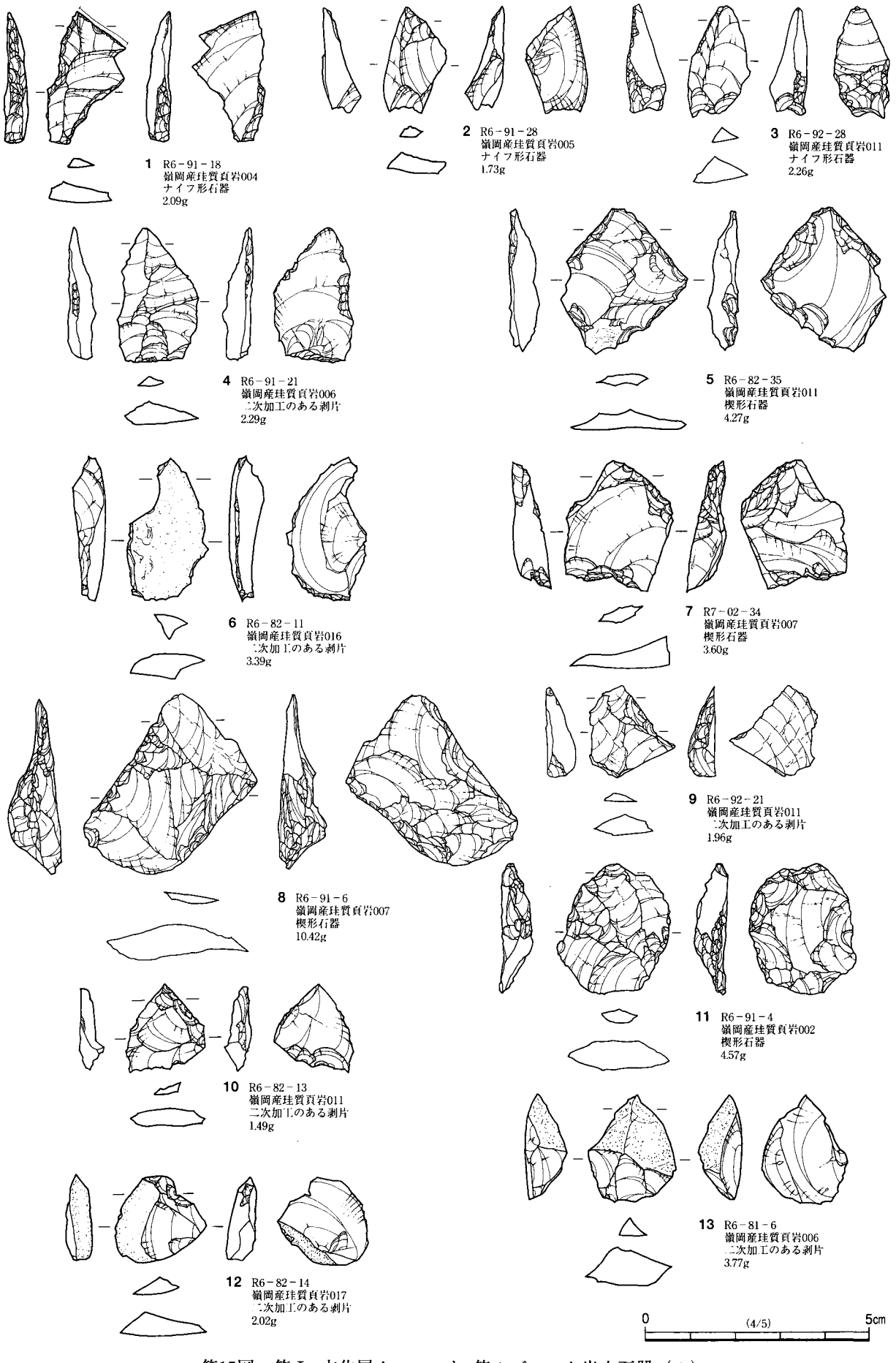
4・6・9・10・12～21・23は二次加工のある剥片である。いずれも，三角形を呈する剥片を素材として，三角形の尖った箇所に二次加工を施して，さらに先端を尖らせる加工が施されている。この傾向は，4・10・14・16において顕著にみられる。22・24は微細剥離痕のある剥片である。いずれも，剥片の角張った部位に微細剥離痕がみられるという特徴がある。

25～28は石核である。26は剥片を素材として，腹面から背面に向かって剥片を剥離後，背面から腹面に向かって剥片を剥離している。25・27・28は自然面を大きく残している。25は自然面を打面として，全周から剥片を剥離している。27は円礫を素材として，上半部の打面を交互剥離によって，貝殻状の剥片を剥離している。28は楕円形礫を素材として，左上半部と左下部に剥離が行われている。石核として分類したが，敲石の可能性がある。

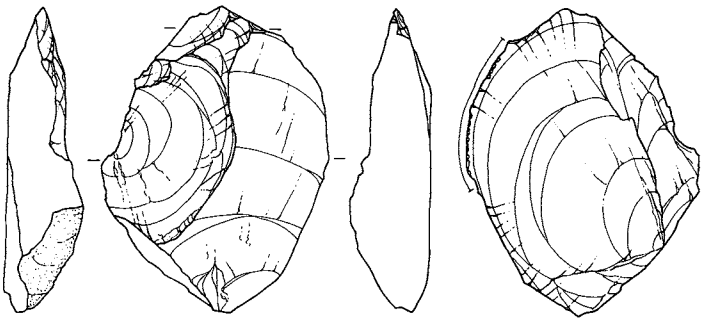
29・30は敲石である。いずれも楕円形礫を素材としている。29は下端部と器体中央部両面に顕著な敲打痕がみられる。30は上下両端部に敲打痕がみられ，下端部の敲打痕は顕著である。

31～41は接合資料である。31～33の接合資料1は，扁平な円礫を素材として，31と32＋33に2分割したものを素材として，剥片を剥離している。31は分割面側から，3枚程度の不定形の剥片を剥離している。32＋33は比較的大きな分割剥片を素材として，上端部から32の横長剥片を剥離し，左側面は背腹両面から交互剥離を行って剥片を剥離している。

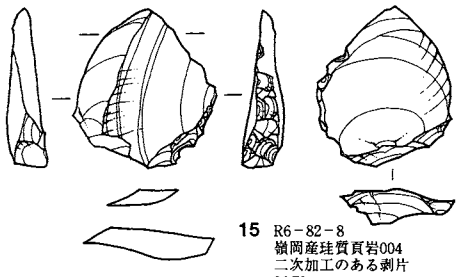
34～37の接合資料3は，AユニットとBユニットの接合関係を示す資料である。ユニット間の接合距離



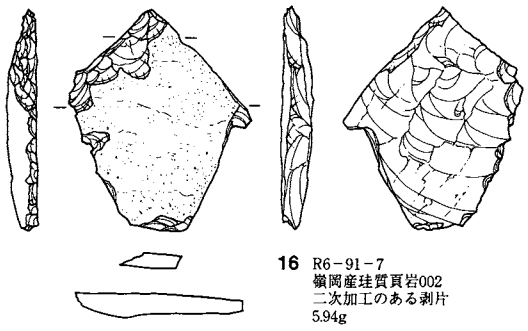
第15図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック出土石器（1）



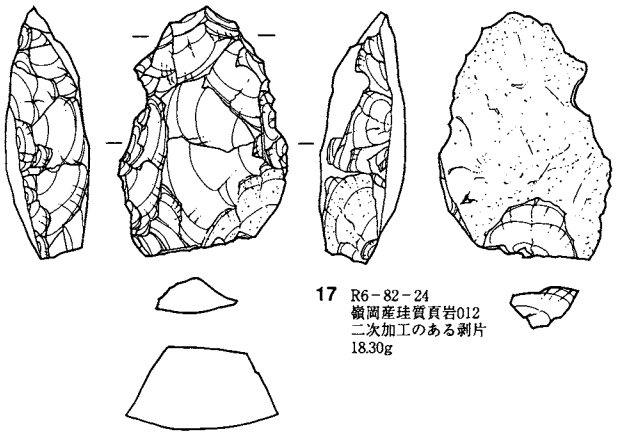
14 R6－92－11
嶺岡産珪質頁岩004
二次加工のある剥片
18.48g



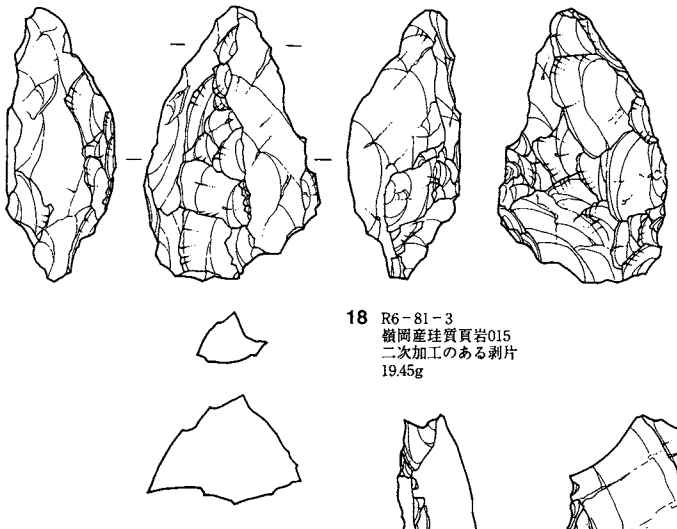
15 R6－82－8
嶺岡産珪質頁岩004
二次加工のある剥片
36.70g



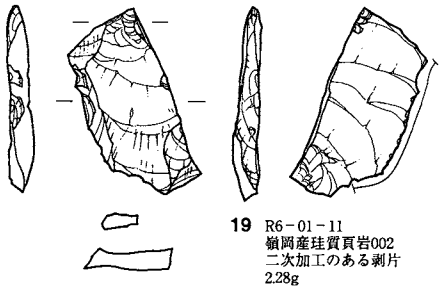
16 R6－91－7
嶺岡産珪質頁岩002
二次加工のある剥片
5.94g



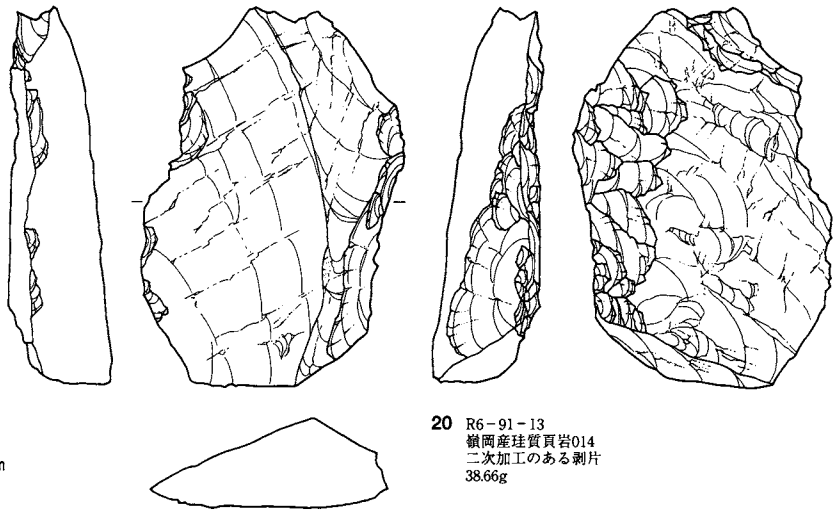
17 R6－82－24
嶺岡産珪質頁岩012
二次加工のある剥片
18.30g



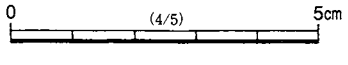
18 R6－81－3
嶺岡産珪質頁岩015
二次加工のある剥片
19.45g



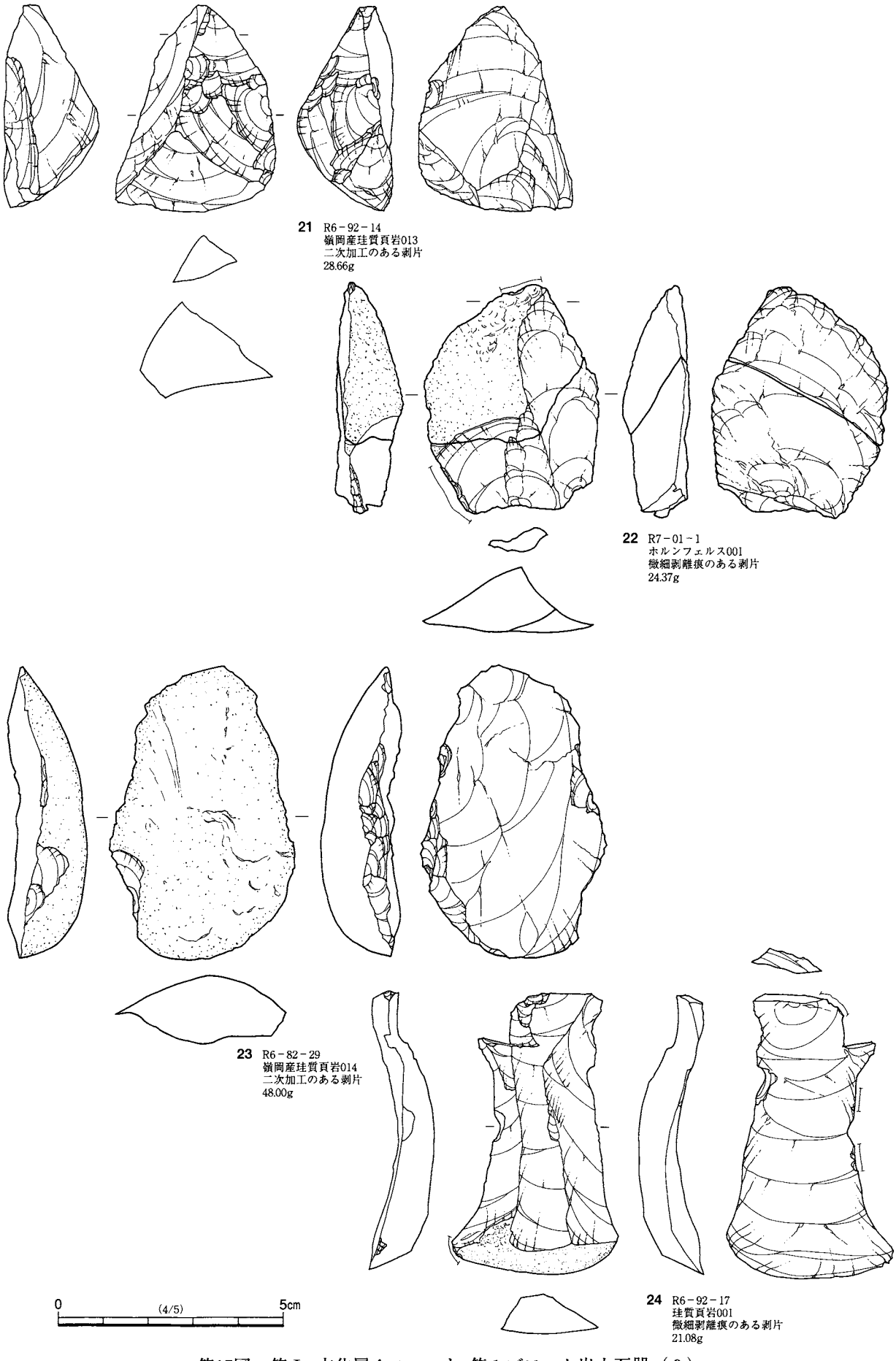
19 R6－01－11
嶺岡産珪質頁岩002
二次加工のある剥片
2.28g



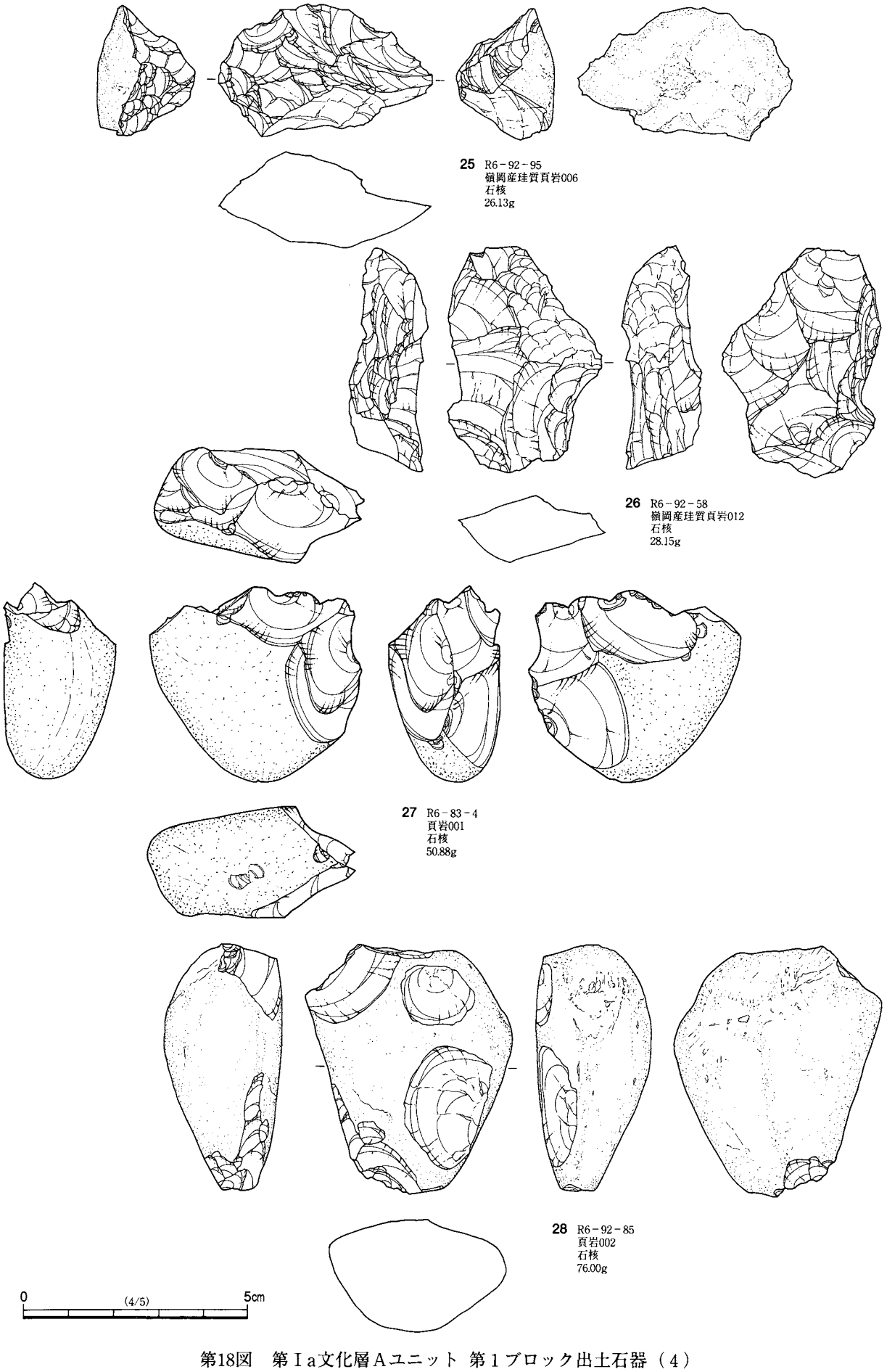
20 R6－91－13
嶺岡産珪質頁岩014
二次加工のある剥片
38.66g



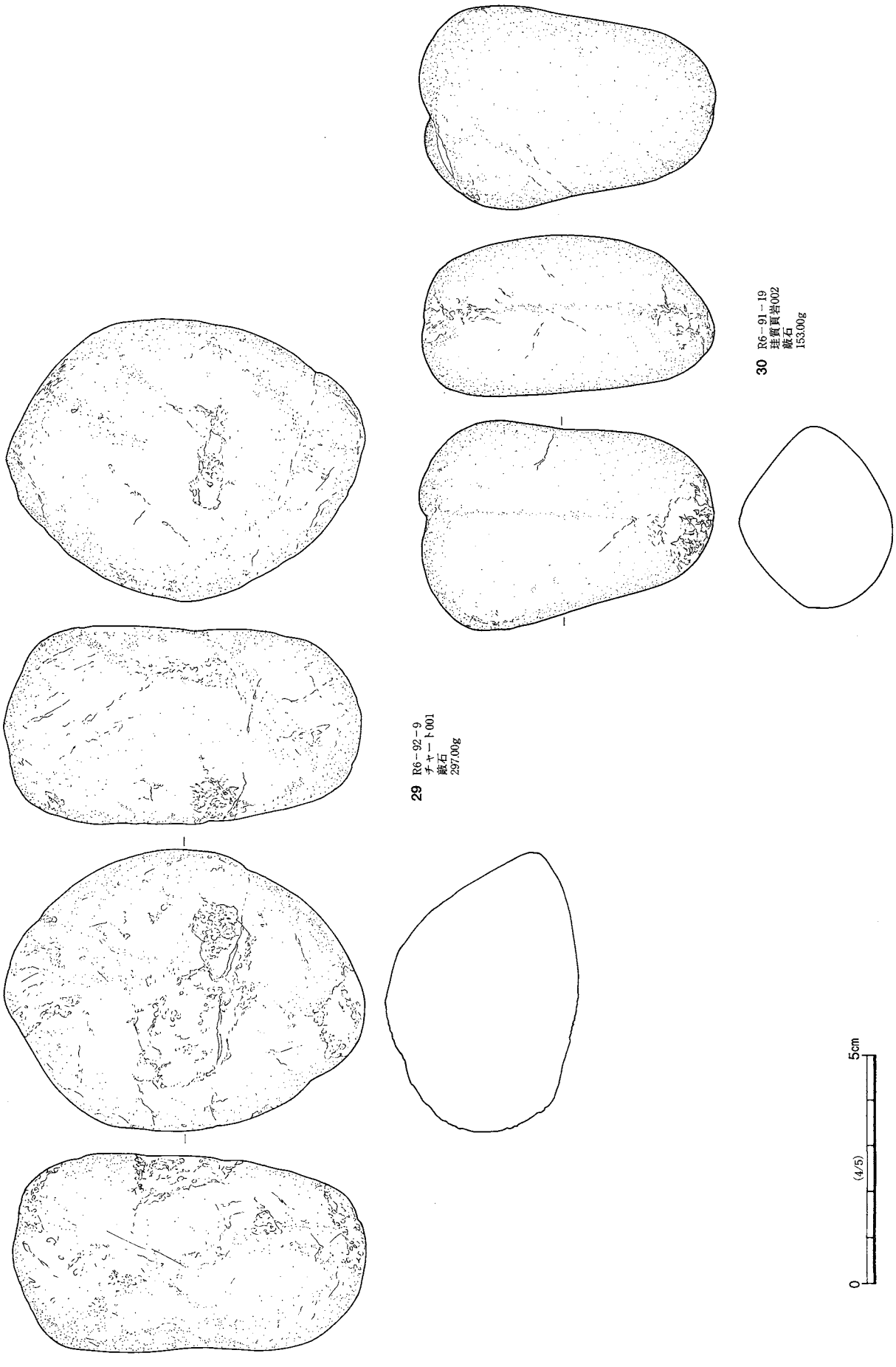
第16図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック出土石器（2）



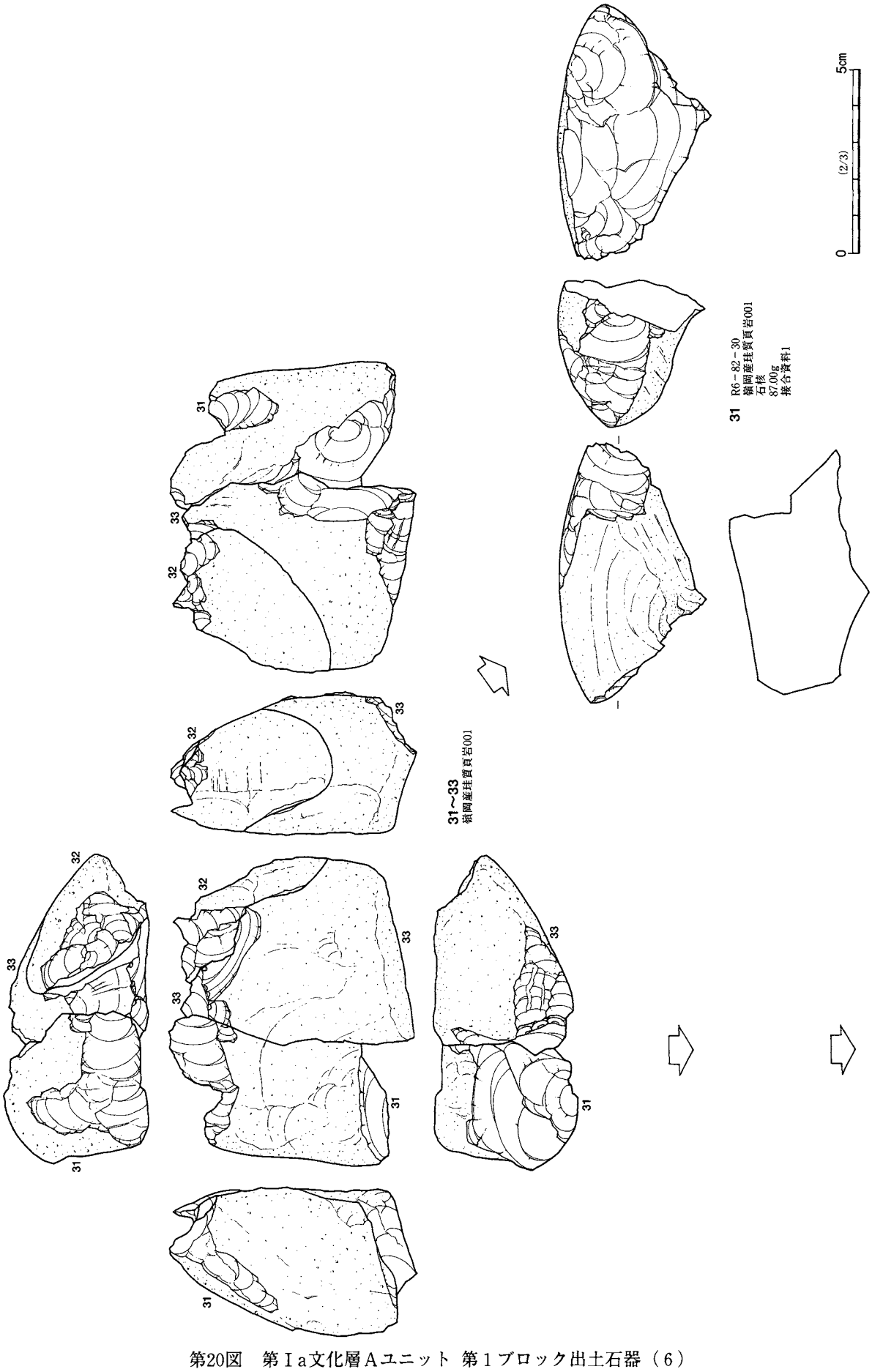
第17図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック出土石器（3）



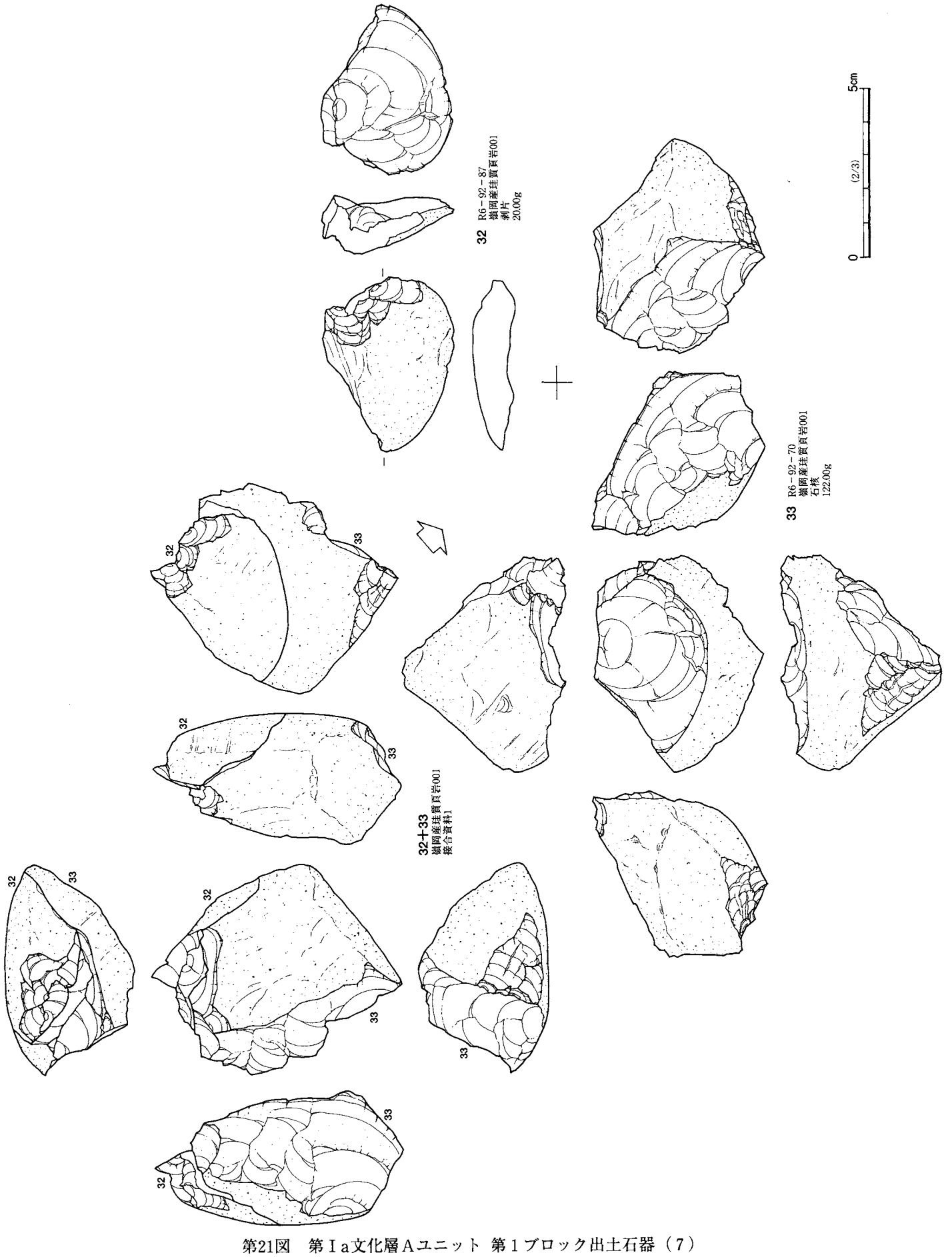
第18図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック出土石器（4）



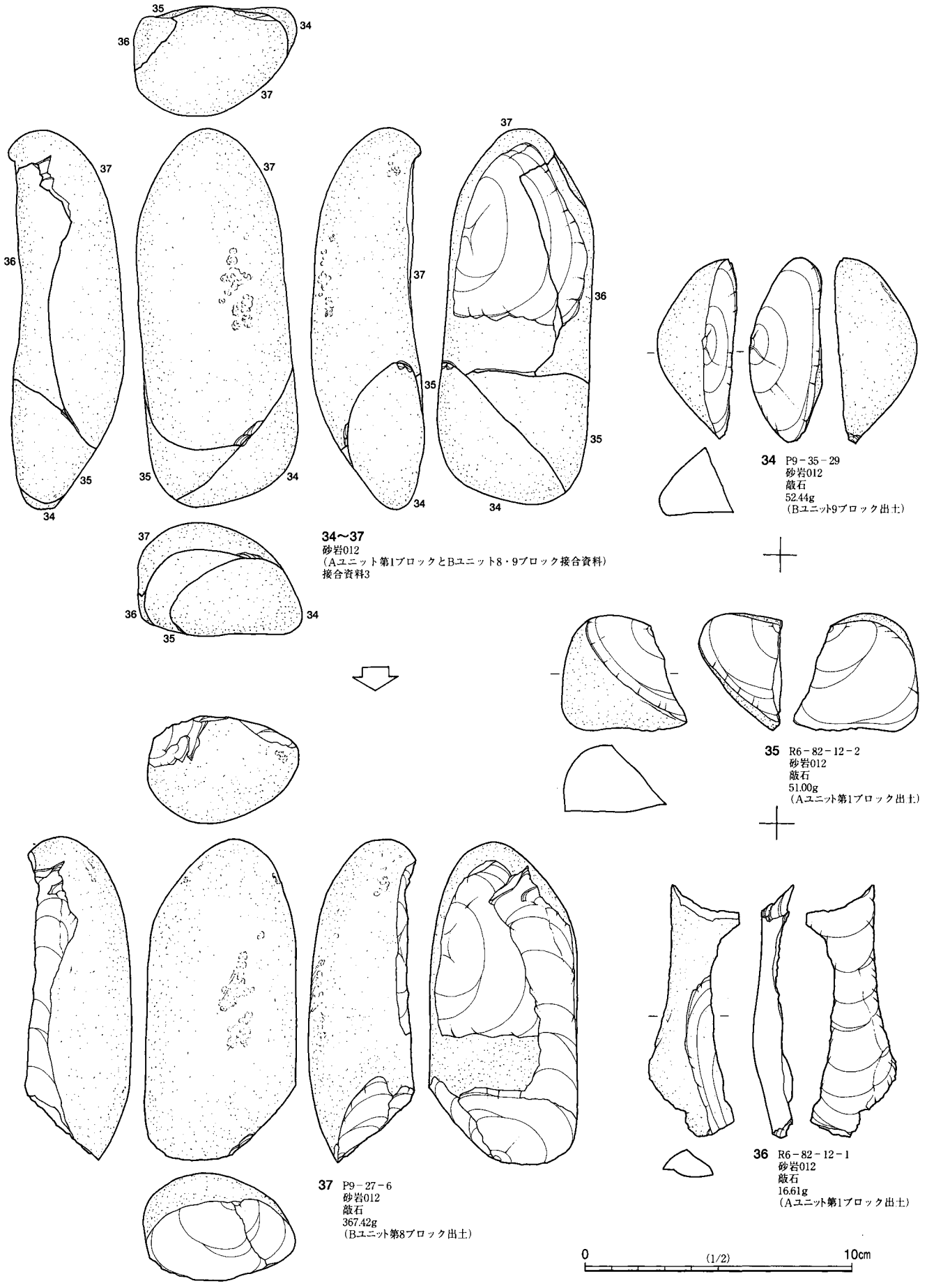
第19図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック出土石器（5）



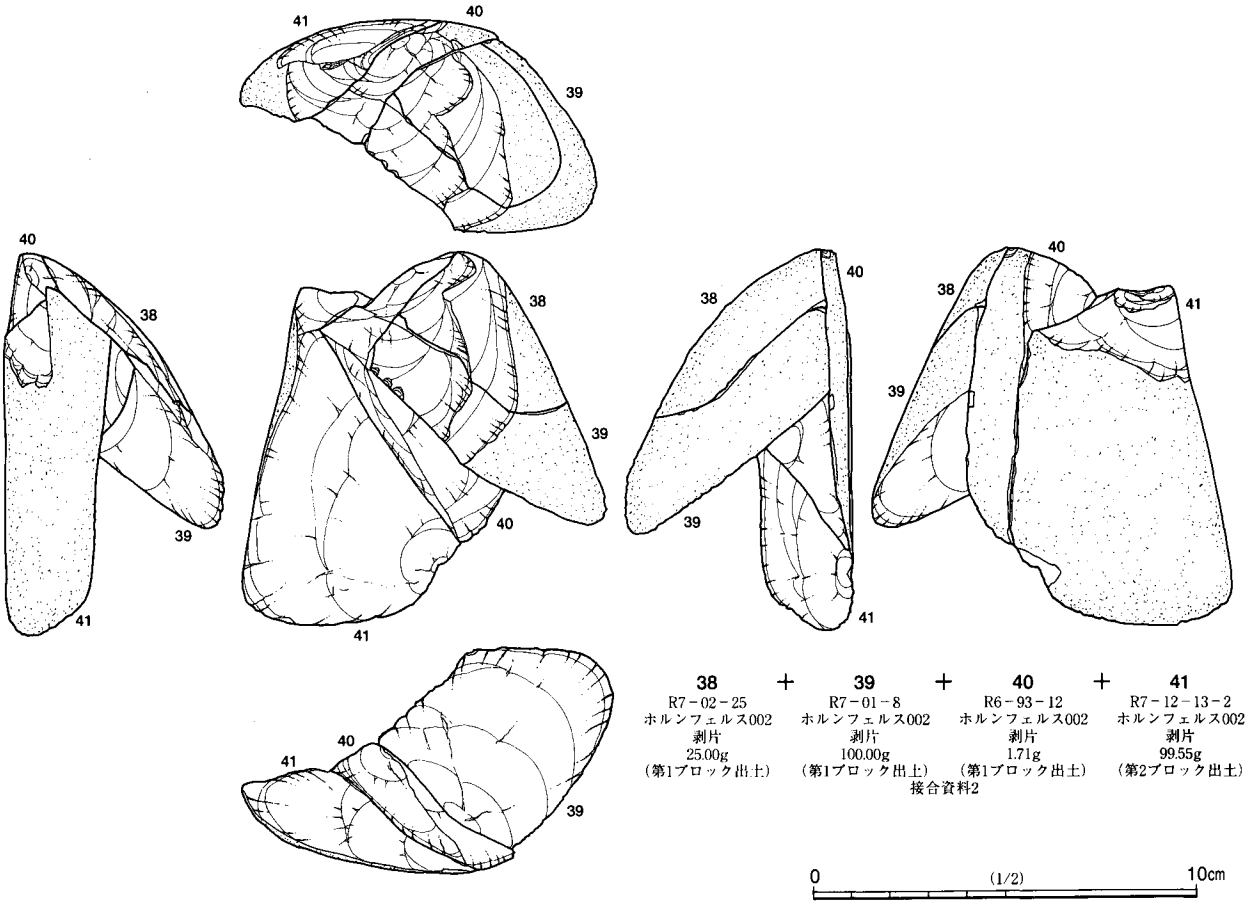
第20図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック出土石器（6）



第21図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック出土石器（7）



第22図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック出土石器（8）



第23図　第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック出土石器（9）

は，約60m離れており，同時期に両ユニットが形成されたことを示す貴重な資料である。器種としては，34～37の接合資料で敲石である。37は敲打痕が顕著にみられる。Aユニット出土のものは，35・36の資料で，第1ブロックから出土している。Aユニットから出土している35・36の資料は，火熱を受けた痕跡がみられ，赤化している。それに対して，Bユニットから出土している34・37の資料は，火熱を受けた痕跡がみられない。また，34は第9ブロックから出土しており，37は第8ブロックから出土している。剥離の順序は，明確なことはいえないが，37の資料に敲打痕が顕著にみられ，敲打により34・35・36の資料が剥離されたことが推察される。このことから，おそらく，34～37の接合した状態で，Aユニットの第1ブロックでにおいて，敲打等の行為を行い，35・36が剥離されている。剥離後，Aユニットにおいて，35・36は火熱を受けて赤化している。その後，34・37の状態で，Bユニットに移動して持ち込まれて，第9ブロックにおいて，敲打によって34が剥離されている。最終的には，第8ブロックに37が持ち込まれている。37は，35～36剥離後に，下端部に加撃痕がみられることから，第8ブロックにおいても敲石として機能していた可能性が高い。接合資料3は，AユニットとBユニットの接合関係を有する資料であることから，非常に重要な資料である。両ユニットの形成過程を推測するためにも重要な資料と思われるので，もう一度，観察された事項から推測されることをまとめると以下のとおりになる。

接合資料3は，楕円形礫を素材とした敲石である。まず，Aユニットの第1ブロックにおいて，おそらく敲石の完形品で持ち込み，敲打を行い35・36が剥離されて，第1ブロックに残され，35・36の資料は，

第８表　第Ｉａ文化層Ａユニット 第１ブロック母岩器種組成表（１）

母岩名	母岩番号	ナイフ形石器	楔形石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（％）
ガラス質黒色安山岩	001							2 7.42				2 7.42	0.75 0.35
	002							1 2.55				1 2.55	0.38 0.12
	003							1 1.65				1 1.65	0.38 0.08
	004							1 1.76				1 1.76	0.38 0.08
ガラス質黒色安山岩 点数合計 ガラス質黒色安山岩 重量合計								5 13.38				5 13.38	1.89 0.63
トロトロ石（安山岩）	001								4 1.48			4 1.48	1.51 0.07
トロトロ石（安山岩）点数合計 トロトロ石（安山岩）重量合計									4 1.48			4 1.48	1.51 0.07
ホルンフェルス	001					1 24.37			1 0.42			2 24.79	0.75 1.17
	002							3 126.71	1 2.42			4 129.13	1.51 6.09
ホルンフェルス 点数合計 ホルンフェルス 重量合計						1 24.37		3 126.71	2 2.84			6 153.92	2.26 7.26
流紋岩	001									1 8.6		1 8.6	0.38 0.41
	002										1 8	1 8	0.38 0.38
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計										1 8.6	1 8	2 16.6	0.75 0.78
頁岩	001						1 50.88					1 50.88	0.38 2.40
	002						1 76					1 76	0.38 3.58
	003										1 15	1 15	0.38 0.71
	004								1 0.56			1 0.56	0.38 0.03
頁岩 点数合計 頁岩 重量合計							2 126.88		1 0.56		1 15	4 142.44	1.51 6.72
珪質頁岩	001					1 21.08						1 21.08	0.38 0.99
	002			1 153								1 153	0.38 7.21
珪質頁岩 点数合計 珪質頁岩 重量合計				1 153		1 21.08						2 174.08	0.75 8.21
嶺岡産珪質頁岩	001						2 209	1 20				3 229	1.13 10.80
	002		1 4.57		2 8.22			11 22.17	1 1.6			15 36.56	5.66 1.72
	003					1 6.85		3 30.37				4 37.22	1.51 1.75
	004	1 2.09			2 55.18	1 2.06		19 54.45	14 6.48			37 120.26	13.96 5.67
	005	1 1.73						3 10.48				4 12.21	1.51 0.58
	006				2 6.69		1 26.13	4 10.37	1 0.81			8 44	3.02 2.07
	007		2 14.02			1 3.19						3 17.21	1.13 0.81
	008							1 2.17				1 2.17	0.38 0.10
	009							4 14.89				4 14.89	1.51 0.70
	010							1 2.24	2 1.2			3 3.44	1.13 0.16
	011	1 2.26	1 4.27		2 3.45	1 2.6		1 2.26				6 14.84	2.26 0.70
	012				1 18.3		1 28.15	6 83.97	1 3.97			9 134.39	3.40 6.34
	013				1 28.66							1 28.66	0.38 1.35
	014				2 86.66							2 86.66	0.75 4.09
	015				1 19.45			4 41.88				5 61.33	1.89 2.89
	016				1 3.39							1 3.39	0.38 0.16
	017				1 2.02							1 2.02	0.38 0.10
	018							7 21.79	11 6.27			18 28.06	6.79 1.32

第９表　第Ｉａ文化層Ａユニット 第１ブロック母岩器種組成表（２）

母岩名	母岩番号	ナイフ形石器	楔形石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（％）
	019							1 15.77				1 15.77	0.38 0.74
	020							1 3				1 3	0.38 0.14
	021							1 8.22				1 8.22	0.38 0.39
	A					2 16.12		54 189.98	39 29.58	3 3.11		98 238.79	36.98 11.26
嶺岡産珪質頁岩 点数合計		3	4		15	6	4	122	69	3		226	85.28
嶺岡産珪質頁岩 重量合計		6.08	22.86		232.02	30.82	263.28	534.01	49.91	3.11		1142.09	53.85
チャート	001			1 297								1 297	0.38 14.00
	002										1 54	1 54	0.38 2.55
	003										1 28	1 28	0.38 1.32
	004										1 1.19	1 1.19	0.38 0.06
	005										1 1	1 1	0.38 0.05
	006										1 4	1 4	0.38 0.19
	007										1 1.88	1 1.88	0.38 0.09
	008									1 3		1 3	0.38 0.14
チャート 点数合計				1						1	6	8	3.02
チャート 重量合計				297						3	90.07	390.07	18.39
玉髄(メノウ含む)	001								3 2.73			3 2.73	1.13 0.13
	002										1 6	1 6	0.38 0.28
玉髄(メノウ含む) 点数合計									3		1	4	1.51
玉髄(メノウ含む) 重量合計									2.73		6	8.73	0.41
砂岩	002										1 3.44	1 3.44	0.38 0.16
	003										1 7	1 7	0.38 0.33
	012			2 67.61								2 67.61	0.75 3.19
砂岩 点数合計				2							2	4	1.51
砂岩 重量合計				67.61							10.44	78.05	3.68
全体の点数合計		3	4	4	15	8	6	130	79	5	11	265	100.00
全体の重量合計		6.08	22.86	517.61	232.02	76.27	390.16	674.1	57.52	14.71	129.51	2120.84	100.00
点数組成比(%)		1.13	1.51	1.51	5.66	3.02	2.26	49.06	29.81	1.89	4.15	100.00	
重量組成比(%)		0.29	1.08	24.41	10.94	3.60	18.40	31.78	2.71	0.69	6.11	100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］

その後火熱によって赤化している。次に，34・37の接合資料のかたちで，Ｂユニットに持ち込まれ，第９ブロックにおいて，敲打を行ない34の資料が剥離されている。その後，敲石の最終形態の資料である37は，第８ブロックに持ち込まれ，第８ブロックにおいても敲打を行っている。Ｂユニット出土の34・37の資料は，火熱を受けていない。このことからも，ＡユニットとＢユニットでの接合資料３における，火熱の有無や剥離順序から，多少の時間差が推定できるが，上述のとおり，まずＡユニットに持ち込まれ，35・36の資料を剥離後，Ｂユニットに移動して持ち込み，34を剥離し，最終的に37が敲石の形態で残されている。以上のことが，推察される。

38～41の接合資料２は，大型の円礫を分割した礫を素材としている。分割面を打面として，41と40の大型の幅広剥片を剥離後，打面を90度転移して，40の剥離した面を打面として，38と39のやや縦長剥片を剥離している。いずれの剥片も，背面に大きく自然面を残している。

b．第２ブロック（第24～31図，第10・11・90～92表，図版22・25）

出土状況　平面分布は，約６ｍ×３ｍの長楕円形の範囲に密集して分布している。出土層位は，Ｘｂ層～Ⅸａ層にかけて出土しており，Ｘｂ層～Ｘａ層に集中する。

器種別分布（第24図）の特徴は，敲石は南東部から２点出土している。第１ブロックと同様に，敲石の近辺は遺物の空白部があるが，それよりやや離れた北西部に遺物の集中地点がある。あたかも，遺物の空白部に，石器製作者が位置し，その近辺に敲石を配置し，その前方（この場合は北西部）に，石器製作で作成された石器の集中地点がみられるということも想定することが可能である。また，本ブロックからは，台形様石器が５点出土しているが，それらは，北西部の集中地点の中央部に分布する傾向がある。

母岩別分布（第25図）の特徴は，北西部の集中地点において，接合資料が多くみられる。特に接合資料４･10はその傾向が顕著である。ガラス質黒色安山岩005は31点出土しており，そのほとんどが，北西部から出土している。

出土遺物　総計129点出土した。母岩器種組成は，第10･11表のとおりである。器種組成の特徴は，台形様石器５点，敲石３点，二次加工のある剥片４点出土しており，台形様石器の占める割合が非常に高い。母岩（石材）構成は，第１ブロックと同様に，嶺岡産珪質頁岩が，多くの母岩で持ち込まれ，73点（56.59%，総重量261.63ｇ）で半数以上の高い割合を示す。

１～５は台形様石器である。台形様石器は，Ａユニットから８点出土しており，このうち約62%を占める５点が本ブロックから出土しており，形態も小型の剥片を素材として，両側縁に粗い調整加工が施され，特に，基部が入念に調整加工が施されるという特徴がみられる。この形態は，他のブロックから検出される台形様石器の特徴と異なっていることも注目される。台形様石器の石材は，ガラス質黒色安山岩005を用いて，同一母岩から台形様石器が２点製作されており，その製作に関連する資料である石核・二次加工のある剥片・剥片等が出土していることは，本ブロックで台形様石器を製作したことを強く示唆した資料といえよう。それに対して，玉髄（メノウ含む）010においては，台形様石器１点，二次加工のある剥片１点の２点のみで構成されており，搬入された石器である可能性が高い。その他２点の台形様石器は，嶺岡産珪質頁岩であるが，本ブロックにおいて製作されたか，搬入されたものか明確ではない。

１～５は台形様石器である。上述のとおり，素材の用い方や調整加工技術やサイズが共通する点が多くみられる。１は幅広の剥片を素材として，両側縁を折断後に腹面から急角度の粗い調整加工が施されており，右側縁は鋸歯状の調整加工が施され，左側縁下部は比較的細かい調整加工施され，やや抉れている。このような抉りのある調整加工は，３の台形様石器の右側縁下部にも施されている。基部加工が入念に施されており，腹面基部にも調整加工が施されている。左上半部から右上部にかけて素材面が残されている。２は幅広の剥片を素材として，両側縁と基部を折断後に，左側縁上半部は腹面から調整加工が施され，左側縁下部は背面から調整加工が施されており，対向調整が施されている。右側縁は背面から調整加工が施されている。平面形状は撥形を呈する。背面左側にはポジティヴ面を有している。３は縦長剥片を素材として，左側縁上半部は腹面から調整加工が施され，左側縁下部は背面から調整加工が施され，対向調整が施されている。この調整加工は，２の左側縁の調整加工と共通する。右側縁下部は，折断後にやや抉れた調整加工が施されている。この調整加工は，１の左側縁下部の調整加工と共通する。１～３は素材の剥離方向と石器の主軸が一致しており，素材の末端部を残しており，調整加工の方法もそれぞれ共通する。

４は幅広の剥片を素材として，打面部と左側面下部を折断した後に，左側縁下部と右側縁に腹面から急

角度の粗い調整加工が施されている。素材をやや斜めに用いており，左側縁上部にわずかに素材面を残している。5は幅広の剥片を素材として，打面部を大きく折断後に，左側縁は腹面から調整加工が施され，右側縁中部は腹面から調整加工が施され，右側縁下部は背面から調整加工が施されており，対向調整が施されている。4・5は，素材を斜めに用いており，調整加工の一側面に対向調整が施されているなど共通する点が多い。

6～8は二次加工のある剥片である。6は左上半部と右上半部に調整加工を施して，先端部を尖らせている。7は背面左側にポジティヴ面をもつ剥片を素材として，右上半部を折断して，先端部を尖らせている。8は横長幅広の剥片を素材として，右下半部を折断して，腹面左上半部に調整加工が施されている。さらに，背面左上半部に調整加工が施されている。この加工により，先端部と右側縁は尖った形状を呈している。背面左側にポジティヴ面をもっている。7・8は素材を折断後，折断面の先端をさらに尖らす調整加工が施される点で共通する。

9～13は石核である。9は扁平な円礫から剥離された剥片を素材として，腹面右側縁からと下端部から剥片を剥離した石核である。剥離された剥片は，ポジティヴ面を有する剥片である。おそらく，7・8の素材と同様のものが剥離されたものと思われる。

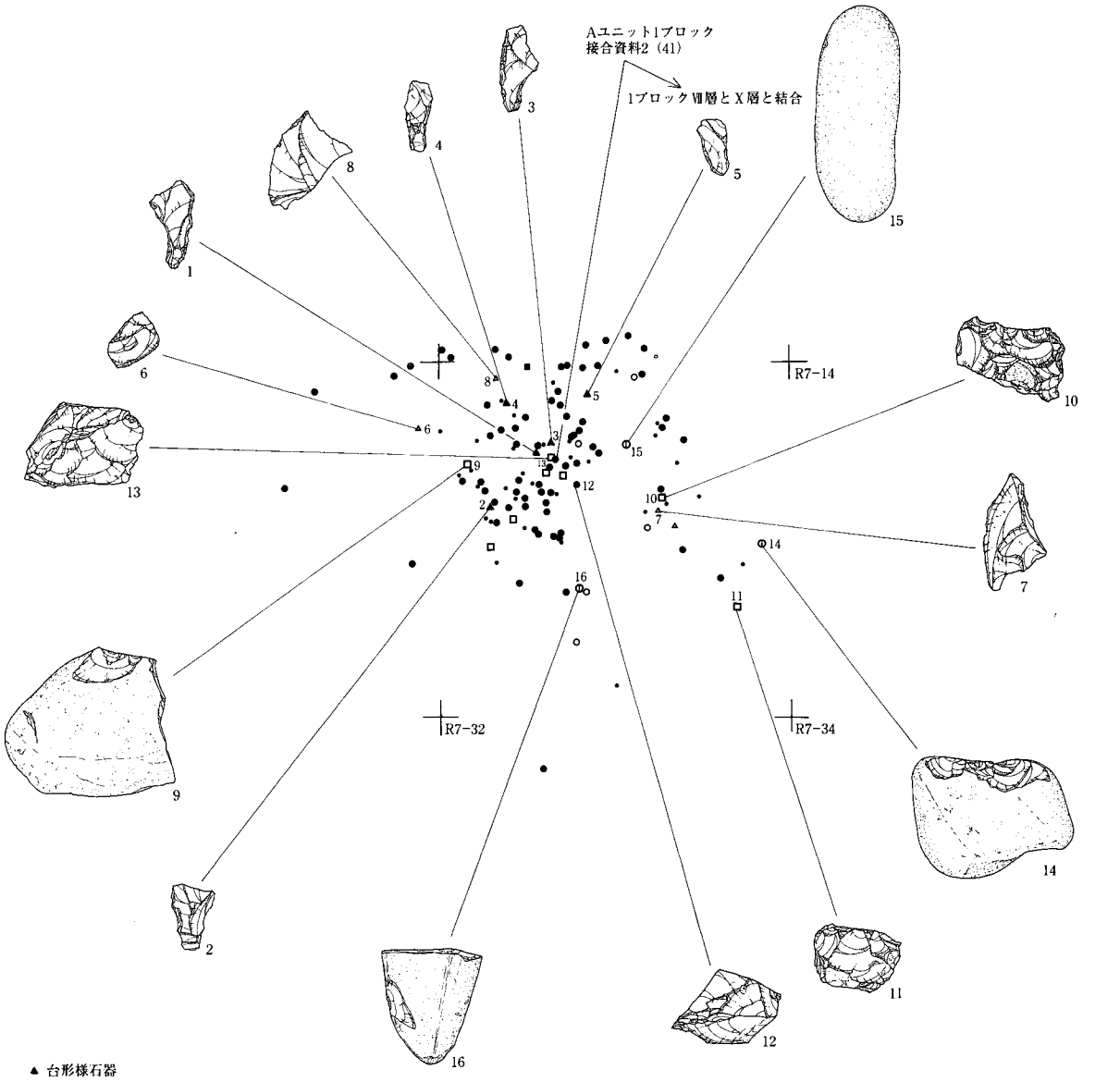
10・11は嶺岡産珪質頁岩を用いており，自然面を背面に大きく残した分割された厚みのある剥片を素材としている。分割面は節理面で構成されており，節理面を打面に設定して，剥片を剥離している。10は左側面から剥離後，上面に打面を移して，小型の貝殻状の剥片を連続的に剥離している。11は裏面を1回剥離した後に，裏面を打面に設定して，左側面から上面にかけて小型の貝殻状の剥片を連続的に剥離後，さらに打面を上面に設定して数枚の剥片を剥離している。最終的な石核の形状は，サイコロ状の形態を呈する。10・11は，石材や素材の用い方や剥片剥離の方法も共通する。

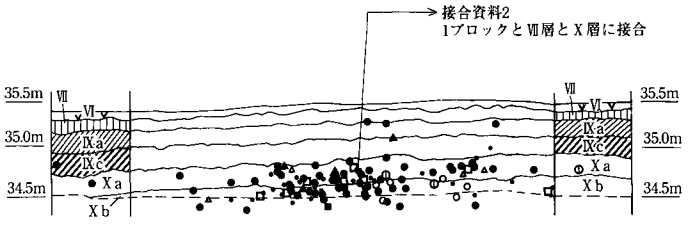
12・13は，ガラス質黒色安山岩を用いており，分割した分厚い剥片を素材としている。左側縁と下面はさらに分割に近い剥離が行われてた後に，上面は右側面から剥離されて，最終的に表面右側面から剥片が剥離されている。13は打面転移を非常に頻繁に行っている石核である。剥離順序は，裏面→左側面→上面→表面の順番に剥離されており，剥離された剥片の形状は，小型の貝殻状の剥片の形態を呈する。

14～16は敲石である。14は良質の玉髄（メノウ含む）を石材として用いて，不定形な扁平な円礫を素材としている。下端部にわずかに敲打痕がみられる。上端部はかなり強い加撃によって剥離されたものと思われる。上端部の剥離から石核として捉えることも可能であるが，剥離された剥片は小型で非常に薄い形状のものであると考えられることから，敲打による剥離として捉えた。

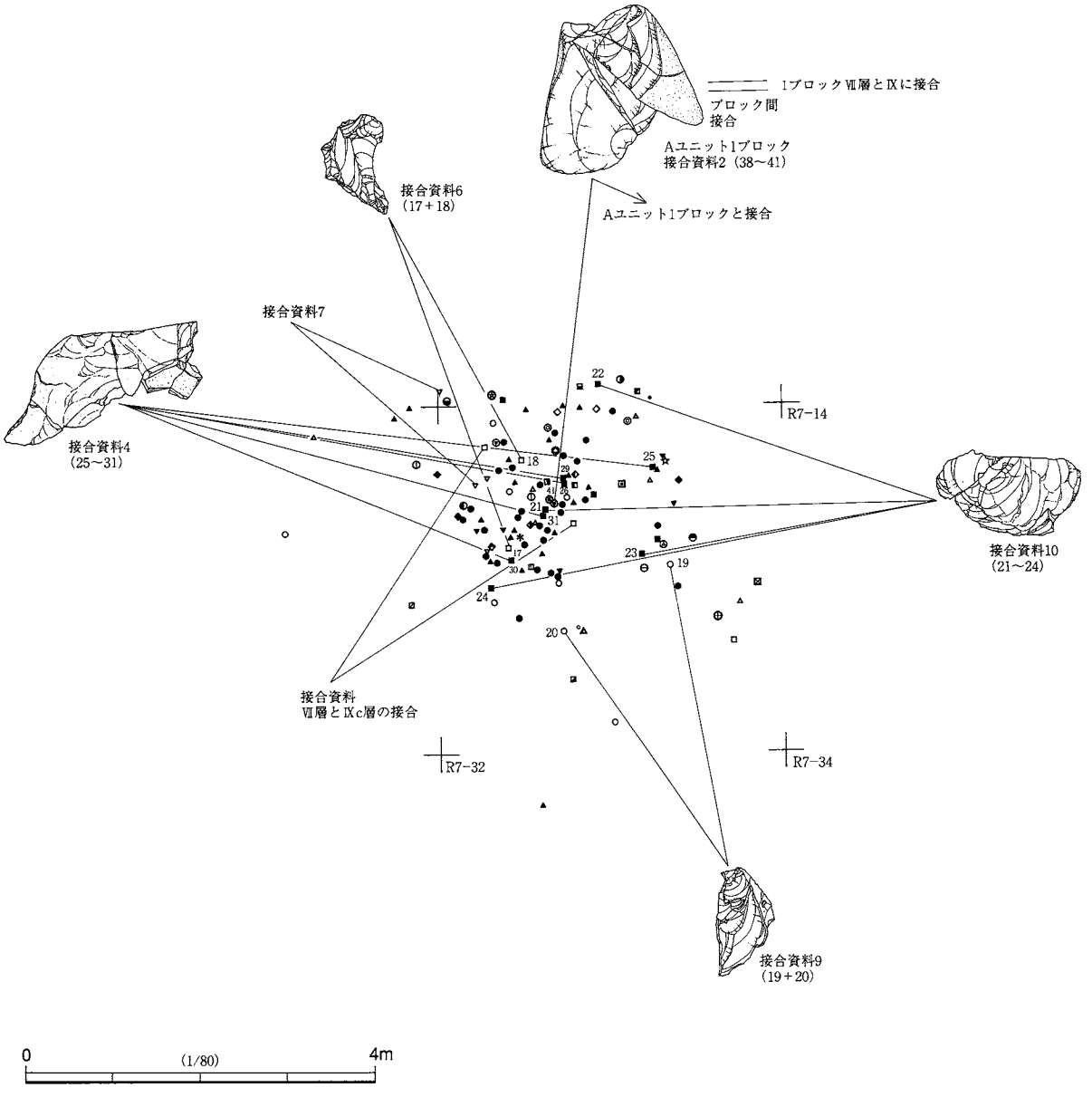
15・16は非常に細かい砂粒でできた砂岩を石材として用いている。細長い楕円形の円礫を素材として，端部の敲打が顕著である。16は破損しており，残存部は，おそらく先端部付近であり，比較的長い敲石であったと思われる。

17～31は接合資料である。17＋18の接合資料6は，打面幅の狭い細長の不定形の剥片が接合した資料である。19＋20の接合資料9は，20を石核から剥離した際に，19も同時割れした接合資料である。19は左側面上部に微細な調整加工が先端部にかけて施されており，先端部が尖った形状を呈する。21～24の接合資料10は，分割された厚みのある剥片を素材として，分割面である上面を打面として，比較的幅広の剥片を剥離した際に，23の小型の砕片が同時割れしている。その後に，左側面から21と22の小型の剥片を剥離した接合資料である。





第24図　第Ⅰa文化層Aユニット 第2ブロック器種別分布図



黒曜石001	流紋岩003	嶺岡産珪質頁岩009	嶺岡産珪質頁岩028	嶺岡産珪質頁岩070	玉髄（メノウ含む）012
ガラス質黒色安山岩005	流紋岩004	嶺岡産珪質頁岩022	嶺岡産珪質頁岩029	チャート009	砂岩001
ホルンフェルス002	流紋岩005	嶺岡産珪質頁岩021	嶺岡産珪質頁岩030	チャート010	砂岩004
ホルンフェルス003	頁岩005	嶺岡産珪質頁岩024	嶺岡産珪質頁岩031	チャート011	砂岩005
ホルンフェルス004	頁岩006	嶺岡産珪質頁岩025	嶺岡産珪質頁岩032	玉髄（メノウ含む）003	珪質頁岩007
ホルンフェルス005	嶺岡産珪質頁岩004	嶺岡産珪質頁岩026	嶺岡産珪質頁岩033	玉髄（メノウ含む）010	珪質頁岩009
ホルンフェルス006	嶺岡産珪質頁岩006	嶺岡産珪質頁岩027	嶺岡産珪質頁岩062	玉髄（メノウ含む）011	

第25図　第Ⅰa文化層Aユニット 第2ブロック母岩別分布図

第10表　第Ⅰa文化層Aユニット 第2ブロック母岩器種組成表（1）

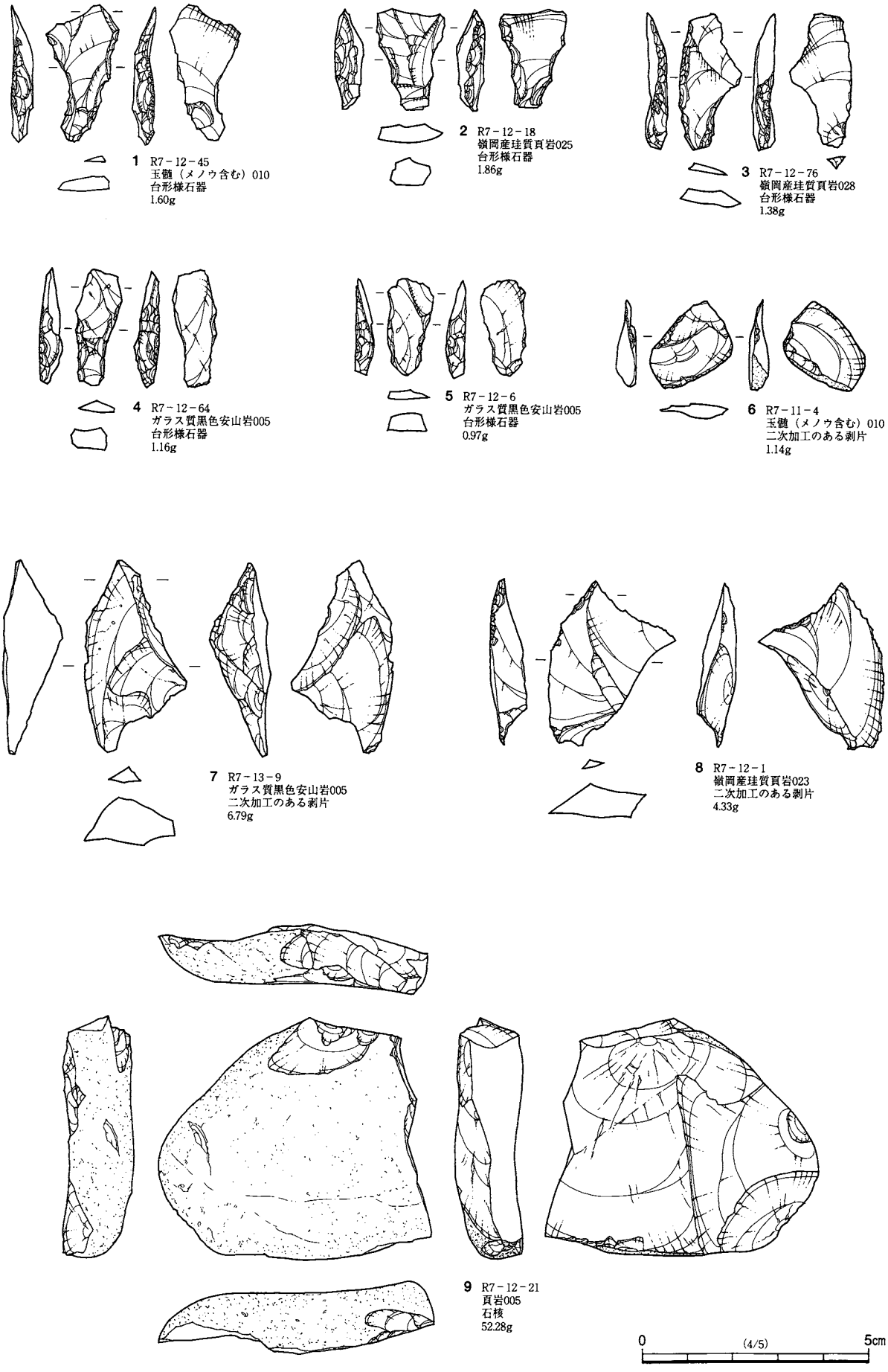
母岩名	母岩番号	台形様石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	001							1 0.36			1 0.36	0.78 0.04
黒曜石 点数合計 黒曜石 重量合計								1 0.36			1 0.36	0.78 0.04
ガラス質黒色安山岩	005	2 2.13		1 6.79		2 57.39	20 94.39	6 3.66			31 164.36	24.03 18.81
ガラス質黒色安山岩 点数合計 ガラス質黒色安山岩 重量合計		2 2.13		1 6.79		2 57.39	20 94.39	6 3.66			31 164.36	24.03 18.81
ホルンフェルス	002						1 99.55				1 99.55	0.78 11.39
	003									1 2.43	1 2.43	0.78 0.28
	006									1 0.83	1 0.83	0.78 0.09
ホルンフェルス 点数合計 ホルンフェルス 重量合計							1 99.55			2 3.26	3 102.81	2.33 11.76
流紋岩	003						1 4	2 0.72			3 4.72	2.33 0.54
	004							1 0.22			1 0.22	0.78 0.03
	005									1 9.96	1 9.96	0.78 1.14
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計							1 4	3 0.94		1 9.96	5 14.9	3.88 1.70
頁岩	005					1 52.28					1 52.28	0.78 5.98
	006						1 1.12				1 1.12	0.78 0.13
頁岩 点数合計 頁岩 重量合計						1 52.28	1 1.12				2 53.4	1.55 6.11
珪質頁岩	007						1 2.96				1 2.96	0.78 0.34
	009						1 5.96				1 5.96	0.78 0.68
珪質頁岩 点数合計 珪質頁岩 重量合計							2 8.92				2 8.92	1.55 1.02
嶺岡産珪質頁岩	004						1 1.27				1 1.27	0.78 0.15
	006						1 1.68				1 1.68	0.78 0.19
	009						1 1.37				1 1.37	0.78 0.16
	022					1 18.92	4 11				5 29.92	3.88 3.42
	023			2 6.5			2 7.81	5 1.59			9 15.9	6.98 1.82
	024					4 108.7	6 15.59	2 1.94			12 126.23	9.30 14.44
	025	1 1.86					2 4.41	1 0.12			4 6.39	3.10 0.73
	026				1 0.88		14 31.48	5 2.29			20 34.65	15.50 3.96
	027						2 13.18				2 13.18	1.55 1.51
	028	1 1.38									1 1.38	0.78 0.16
	029							1 0.37			1 0.37	0.78 0.04
	030						4 6.42	2 1.1			6 7.52	4.65 0.86
	031						1 0.73	4 1.99			5 2.72	3.88 0.31
	032						1 3.44				1 3.44	0.78 0.39
	033						1 0.91				1 0.91	0.78 0.10
	053						1 0.74				1 0.74	0.78 0.08
	062						1 12.3				1 12.3	0.78 1.41
	070						1 1.66				1 1.66	0.78 0.19

第11表　第Ⅰa文化層Aユニット 第2ブロック母岩器種組成表（2）

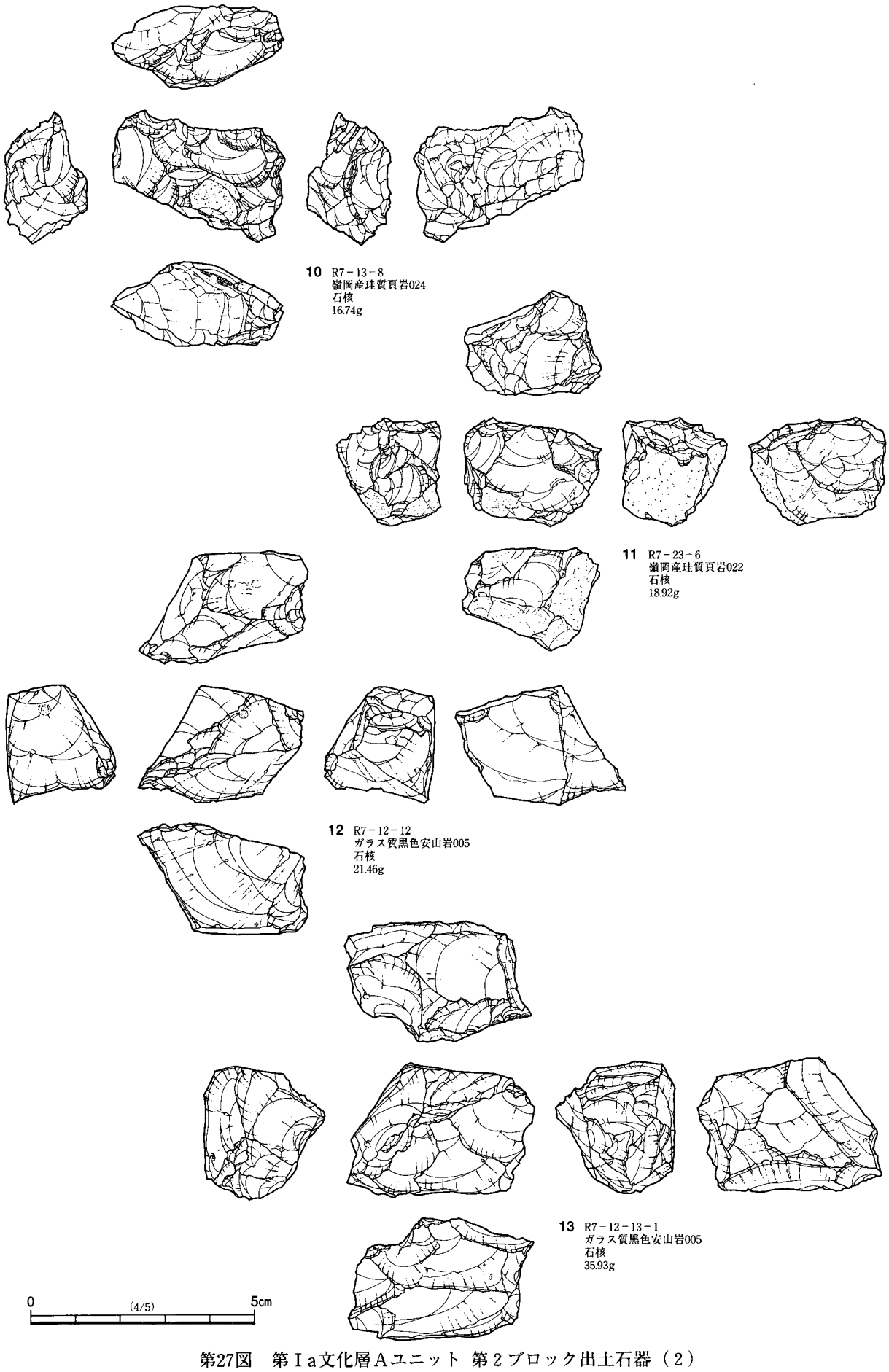
母岩名	母岩番号	台形様石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
嶺岡産珪質頁岩 点数合計		2		2	1	5	43	20			73	56.59
嶺岡産珪質頁岩 重量合計		3.24		6.5	0.88	127.62	113.99	9.4			261.63	29.94
チャート	009						1				1	0.78
							2.87				2.87	0.33
	010							1		1	2	1.55
								0.58		13.21	13.79	1.58
	011									1	1	0.78
										26	26	2.98
チャート 点数合計							1	1		2	4	3.10
チャート 重量合計							2.87	0.58		39.21	42.66	4.88
玉髄(メノウ含む)	003		1								1	0.78
			84								84	9.61
	010	1		1							2	1.55
		1.6		1.14							2.74	0.31
	011						1				1	0.78
							4.96				4.96	0.57
	012							1			1	0.78
								0.37			0.37	0.04
玉髄(メノウ含む) 点数合計		1	1	1			1	1			5	3.88
玉髄(メノウ含む) 重量合計		1.6	84	1.14			4.96	0.37			92.07	10.54
砂岩	001								1		1	0.78
									9.8		9.8	1.12
	004		1								1	0.78
			44								44	5.03
	005		1								1	0.78
			79								79	9.04
砂岩 点数合計			2						1		3	2.33
砂岩 重量合計			123						9.8		132.8	15.20
全体の点数合計		5	3	4	1	8	70	32	1	5	129	100.00
全体の重量合計		6.97	207	14.43	0.88	237.29	329.8	15.31	9.8	52.43	873.91	100.00
点数組成比(%)		3.88	2.33	3.10	0.78	6.20	54.26	24.81	0.78	3.88	100.00	
重量組成比(%)		0.80	23.69	1.65	0.10	27.15	37.74	1.75	1.12	6.00	100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］

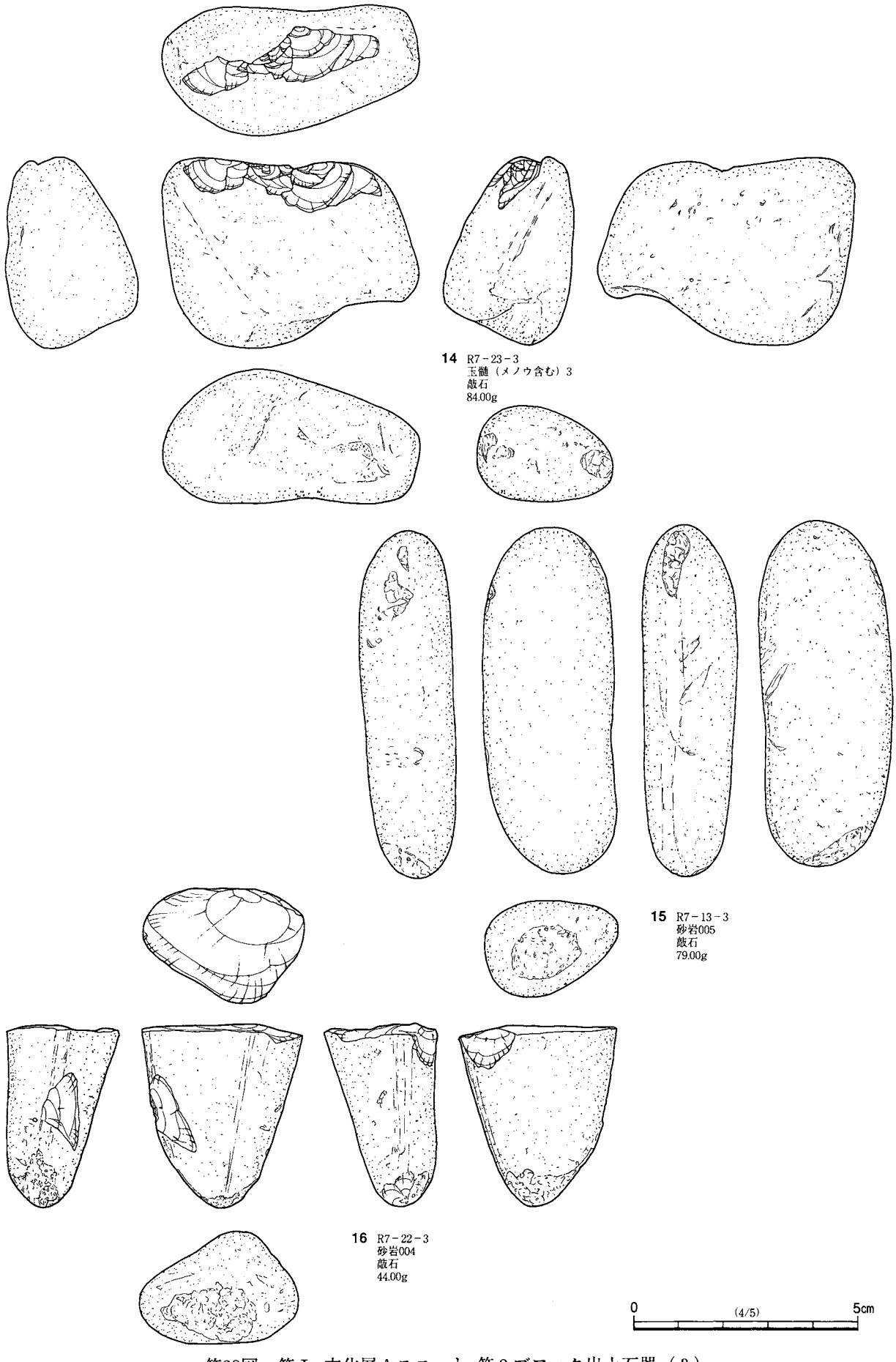
25～28の接合資料は，横長の幅広剥片を素材として，剥片末端部の中央部を背面から26～29の小型の剥片を剥離している。これらの剥離以前に，同様の剥離が数枚剥離されていることも観察される。最終的には，29の剥離の際に，30と31に分割されてその後は剥離されていない。



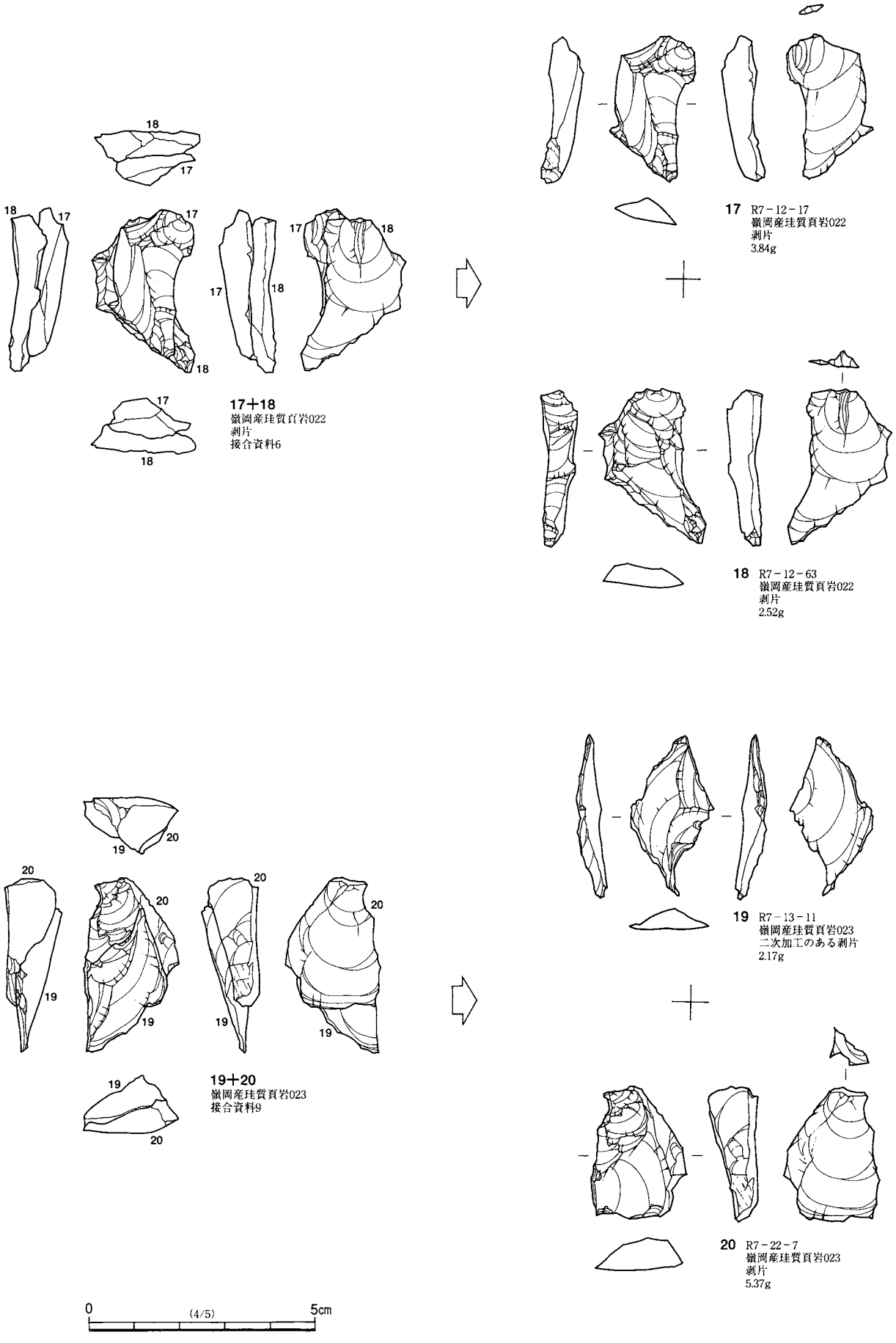
第26図　第Ⅰa文化層Aユニット 第2ブロック出土石器（1）



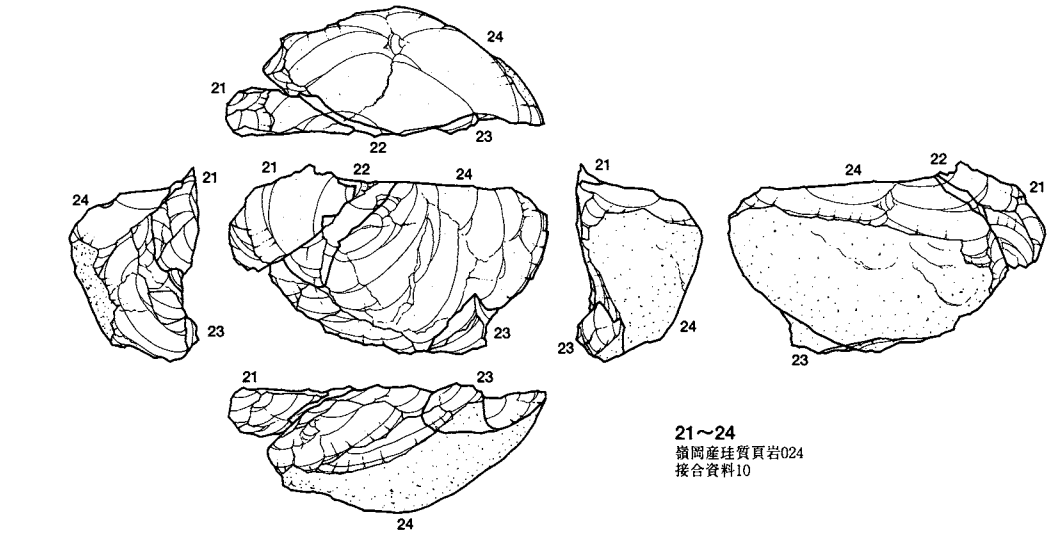
第27図　第Ⅰa文化層Aユニット 第2ブロック出土石器（2）



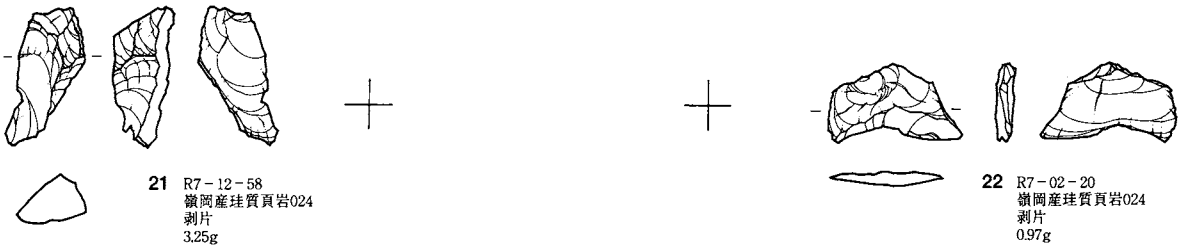
第28図　第Ⅰa文化層Aユニット 第2ブロック出土石器（3）



第29図　第Ⅰa文化層Aユニット 第2ブロック出土石器（4）

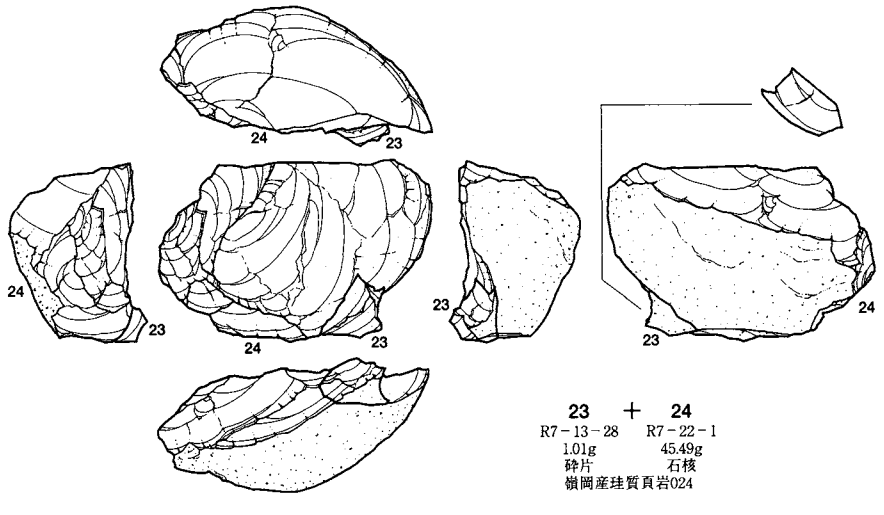


21～24
嶺岡産珪質頁岩024
接合資料10



21 R7－12－58
嶺岡産珪質頁岩024
剥片
3.25g

22 R7－02－20
嶺岡産珪質頁岩024
剥片
0.97g



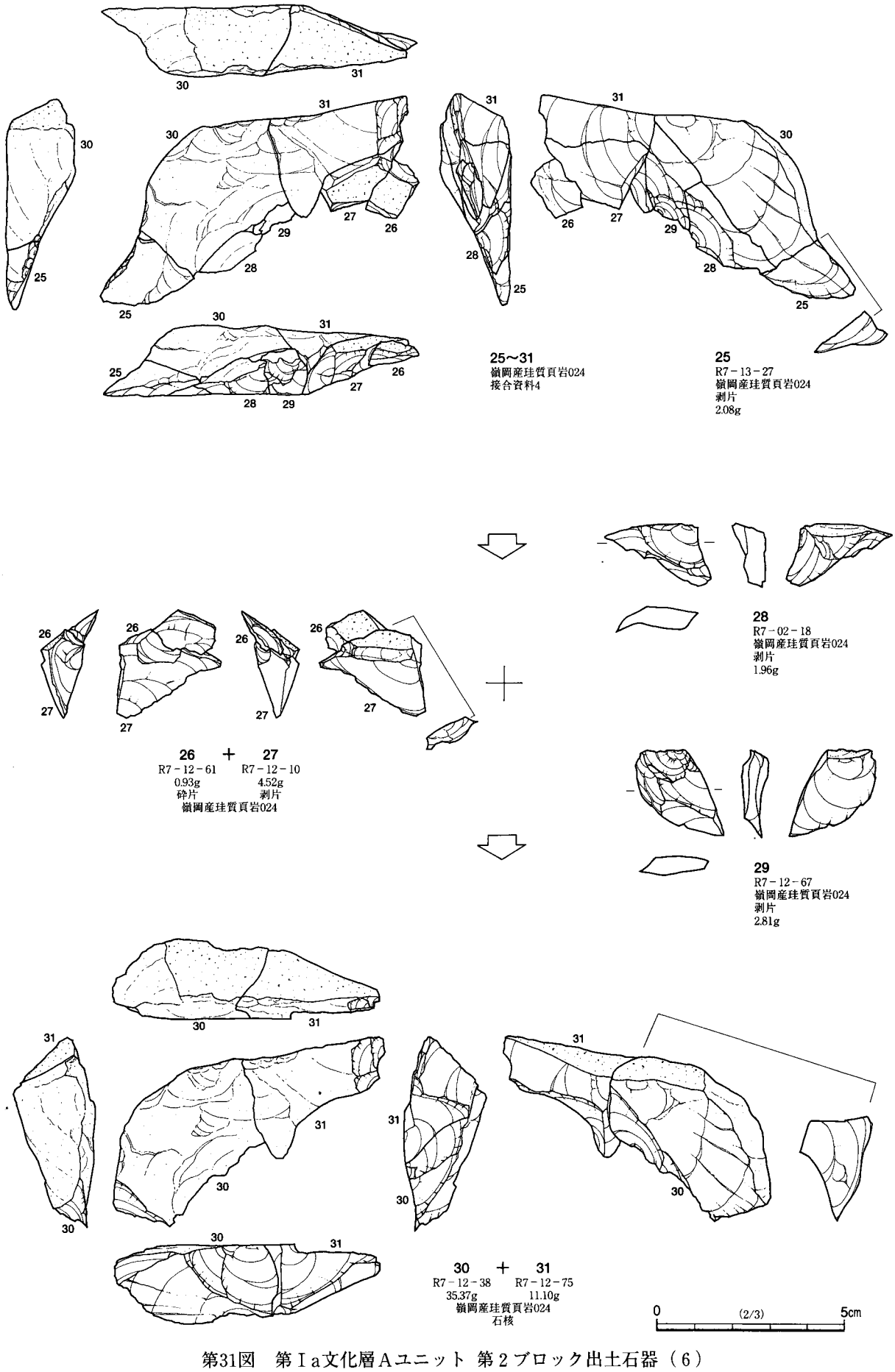
23 R7－13－28
1.01g
砕片

＋

24 R7－22－1
45.49g
石核
嶺岡産珪質頁岩024

0 (2/3) 5cm

第30図　第Ⅰa文化層Aユニット 第2ブロック出土石器（5）



第31図　第Ⅰa文化層Aユニット 第2ブロック出土石器（6）

c．第３ブロック（第32～47図，第12・13・92・93表，図版22・23・25・26）

出土状況　平面分布は，約６ｍ×３ｍの長楕円形の範囲に，かなり密集して分布している。出土層位は，Ⅹａ層からⅦ層にかけて出土し，Ⅹａ層に集中する。

器種別分布（第32図）の特徴は，きわめて小範囲に密集しているが，詳しくみると，南部と北西部と北東部の３箇所の集中地点で形成されている。敲石は１点のみの出土であるが，南部の集中部の外側に分布している。石核は20点出土しているが，敲石が分布している南部に集中して分布している。台形様石器は，２点出土しているが，北西部から出土している。このように，３箇所の集中地点ごとに，器種別分布の偏りがみられる。

母岩別分布（第33図）の特徴は，南部に接合資料が密集する傾向が顕著である。次に，北東部に接合資料が多くみられ，北西部は接合資料がほとんどみられない。これらのことから，南部において，石器製作が頻繁に行われてことが推定でき，敲石も南部から出土していることも，これらのことを裏付けている可能性が高い。

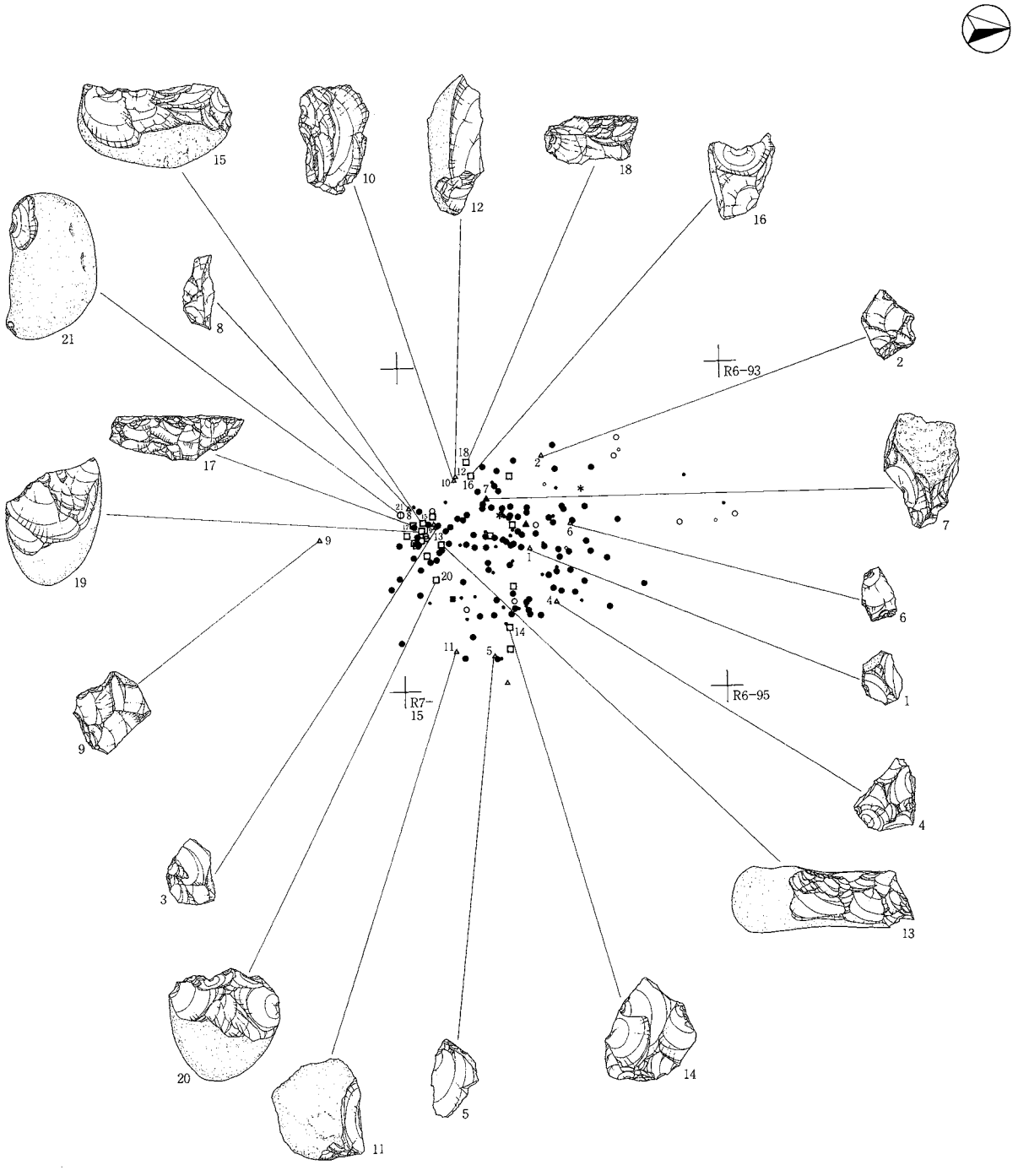
出土遺物　総計58点出土した。母岩器種組成は，第12・13表のとおりである。器種組成の特徴は，台形様石器２点，楔形石器２点，敲石１点，二次加工のある剥片12点，石核20点出土しており，とくに，石核の出土点数は，Ａユニットで飛びぬけた出土点数であり，他の文化層においても，１ブロックでの出土点数は最も多い。また，石核と剥片との接合資料も多くみられ，本ブロックにおいて，石器製作が盛んに行われたことが推定される。石材（母岩）構成は，第１ブロックと同様に嶺岡産珪質頁岩が，150点（82.42%，総重量1,411.79ｇ）と占める割合が圧倒的に高く，母岩器種組成から，台形様石器や楔形石器が本ブロックで製作していることが推定される。

１～６，８～12は二次加工のある剥片である。１～６，９，11は，小型の三角形の剥片を素材として，１・３・６・９は左側縁上半部に調整加工が施され，２・４・５・11は右側縁上半部に調整加工が施されており，三角形の角部をさらに尖らせるような調整加工が施されている。８・10・12は不定形の剥片を素材として，一側縁を分割後に，分割面の角部に調整加工を施して，角部をさらに尖らせるような調整加工が施されている。

７は台形様石器として識別したが，第２ブロックで５点ほどまとまって出土した台形様石器とは，素材の用い方や調整加工がまったく異なる。器種分類についても，基部加工の調整を重視して台形様石器と識別したが，二次加工のある剥片，あるいは，石核として識別したほうが妥当かもしれない。分厚い幅広の剥片を素材として，腹面側に平坦な剥離を施した後に，背面側に急角度の粗い調整加工を施している。基部は，比較的細かい調整加工が集中的に行われている。上半部は素材剥片の縁辺が残されている。

13～20は石核である。13・15は扁平な円礫を素材として，扁平な円礫を横位に用いて，上端部から交互剥離を行っている。交互剥離は，片側面を２・３枚の比較的大きな剥片を剥離して，打面を180度転移して，片側面の剥離面を打面として，小型の貝殻状の剥片を多く剥離している。

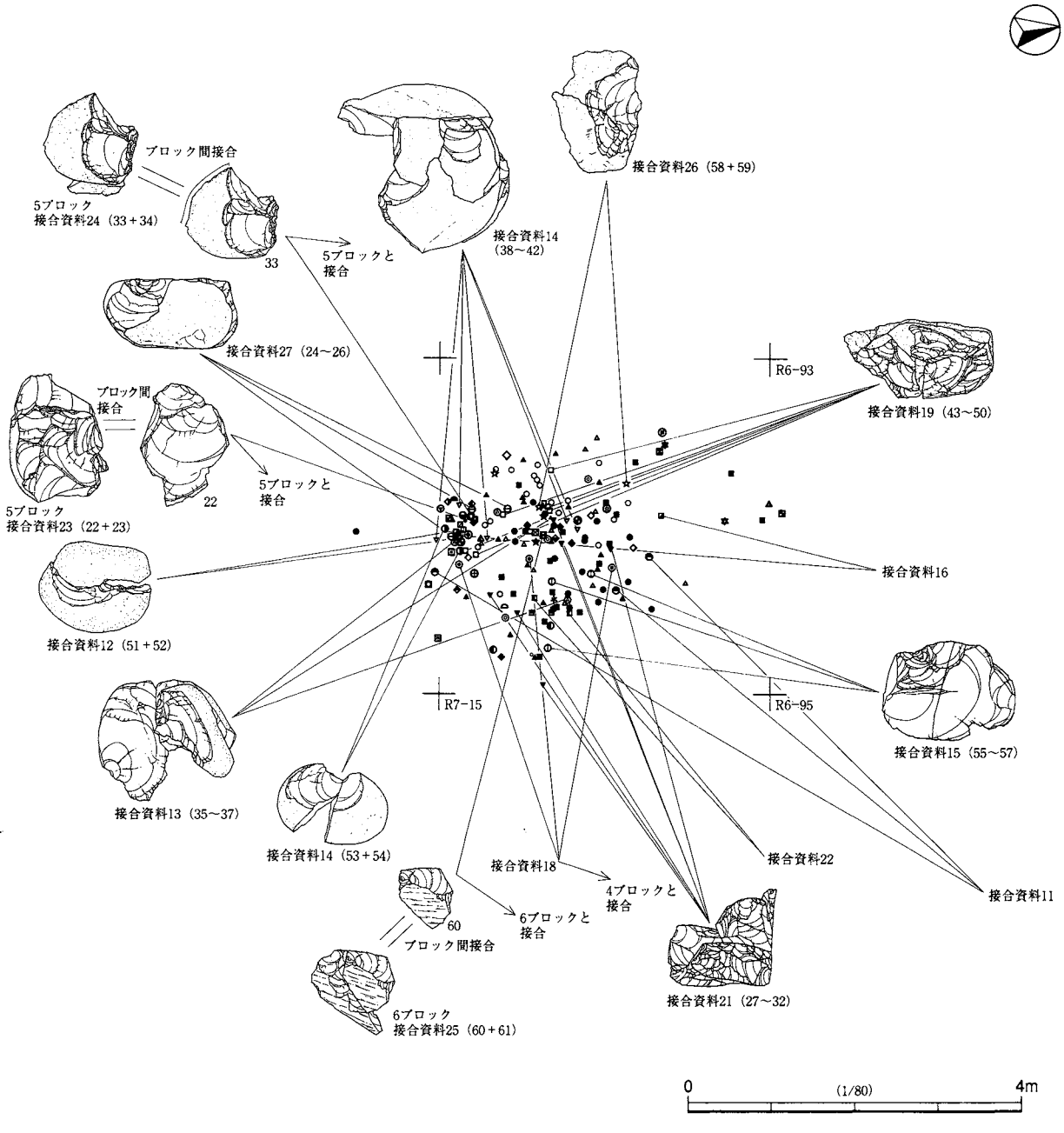
14・16・19・20は楕円形礫を母岩として用いている。14・16は楕円形礫を分割した分厚い剥片を素材としている。14は自然面を打面として，順次打面をずらしながら貝殻状の剥片を剥離している。剥離された剥片の背面は，ポジティヴ面を有する。16も同様に自然面を打面として，両側面は折断に近い剥離が行われ，上端からは幅広の剥片を剥離している。19・20は楕円形礫を素材としている。19は裏面上端部から２回の平坦な剥離を行い，打面を180度転移して，表面に小型の幅広剥片を数回剥離している。20は表面上半



▲ 台形様石器
✱ 楔形石器
Φ 敲石
▵ 二次加工のある剥片
■ 微細剥離痕のある剥片
□ 石核
● 剥片
• 砕片
◦ 礫片
○ 礫

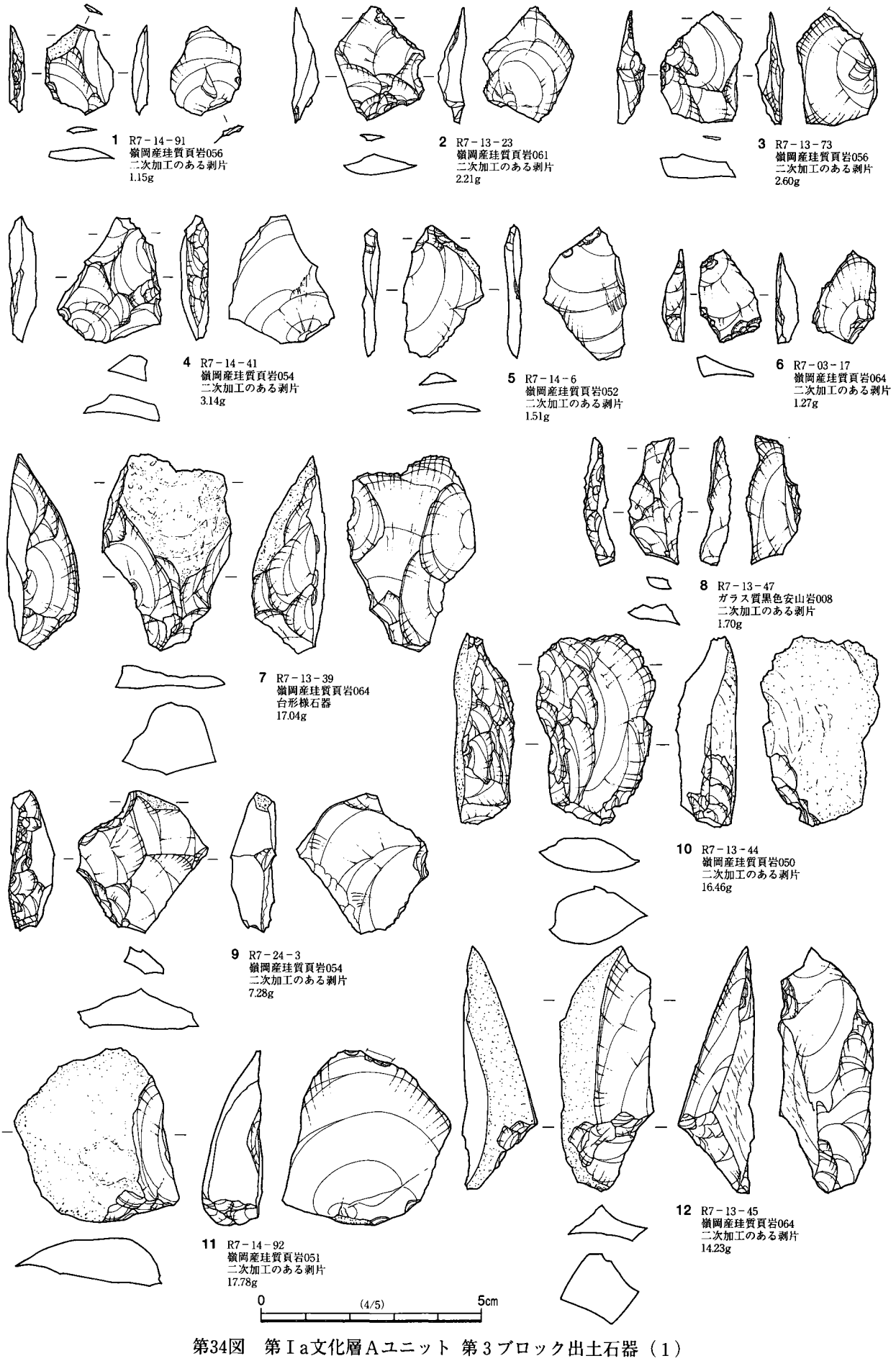
0 (1/80) 4m

第32図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック器種別分布図

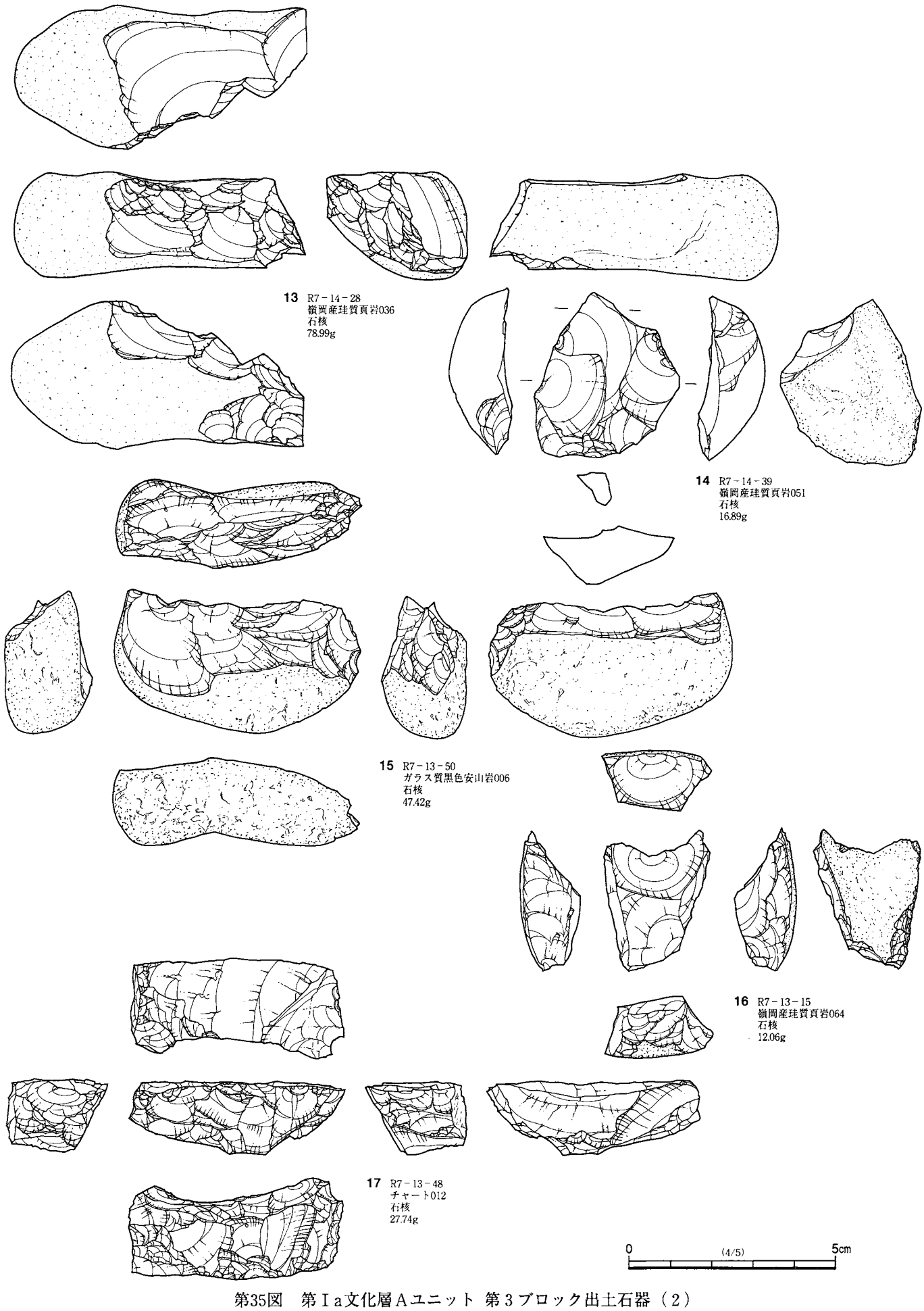


- ガラス質黒色安山岩006
- ガラス質黒色安山岩007
- ガラス質黒色安山岩008
- ガラス質黒色安山岩009
- ホルンフェルス004
- ホルンフェルス005
- 流紋岩006
- 流紋岩007
- 流紋岩008
- 流紋岩009
- 嶺岡産珪質頁岩034
- 嶺岡産珪質頁岩035
- 嶺岡産珪質頁岩036
- 嶺岡産珪質頁岩037
- 嶺岡産珪質頁岩038
- 嶺岡産珪質頁岩039
- 嶺岡産珪質頁岩040
- 嶺岡産珪質頁岩041
- 嶺岡産珪質頁岩042
- 嶺岡産珪質頁岩043
- 嶺岡産珪質頁岩044
- 嶺岡産珪質頁岩045
- 嶺岡産珪質頁岩046
- 嶺岡産珪質頁岩047
- 嶺岡産珪質頁岩048
- 嶺岡産珪質頁岩049
- 嶺岡産珪質頁岩050
- 嶺岡産珪質頁岩051
- 嶺岡産珪質頁岩052
- 嶺岡産珪質頁岩053
- 嶺岡産珪質頁岩054
- 嶺岡産珪質頁岩055
- 嶺岡産珪質頁岩056
- 嶺岡産珪質頁岩057
- 嶺岡産珪質頁岩058
- 嶺岡産珪質頁岩059
- 嶺岡産珪質頁岩060
- 嶺岡産珪質頁岩061
- 嶺岡産珪質頁岩062
- 嶺岡産珪質頁岩063
- 嶺岡産珪質頁岩064
- 嶺岡産珪質頁岩078
- 嶺岡産珪質頁岩124
- チャート012
- チャート013
- チャート014
- チャート015
- チャート016
- チャート017
- チャート018
- チャート019
- 玉髄（メノウ含む）004
- 玉髄（メノウ含む）005
- 玉髄（メノウ含む）007
- 砂岩006
- 砂岩007
- 凝灰岩001
- 珪質頁岩003

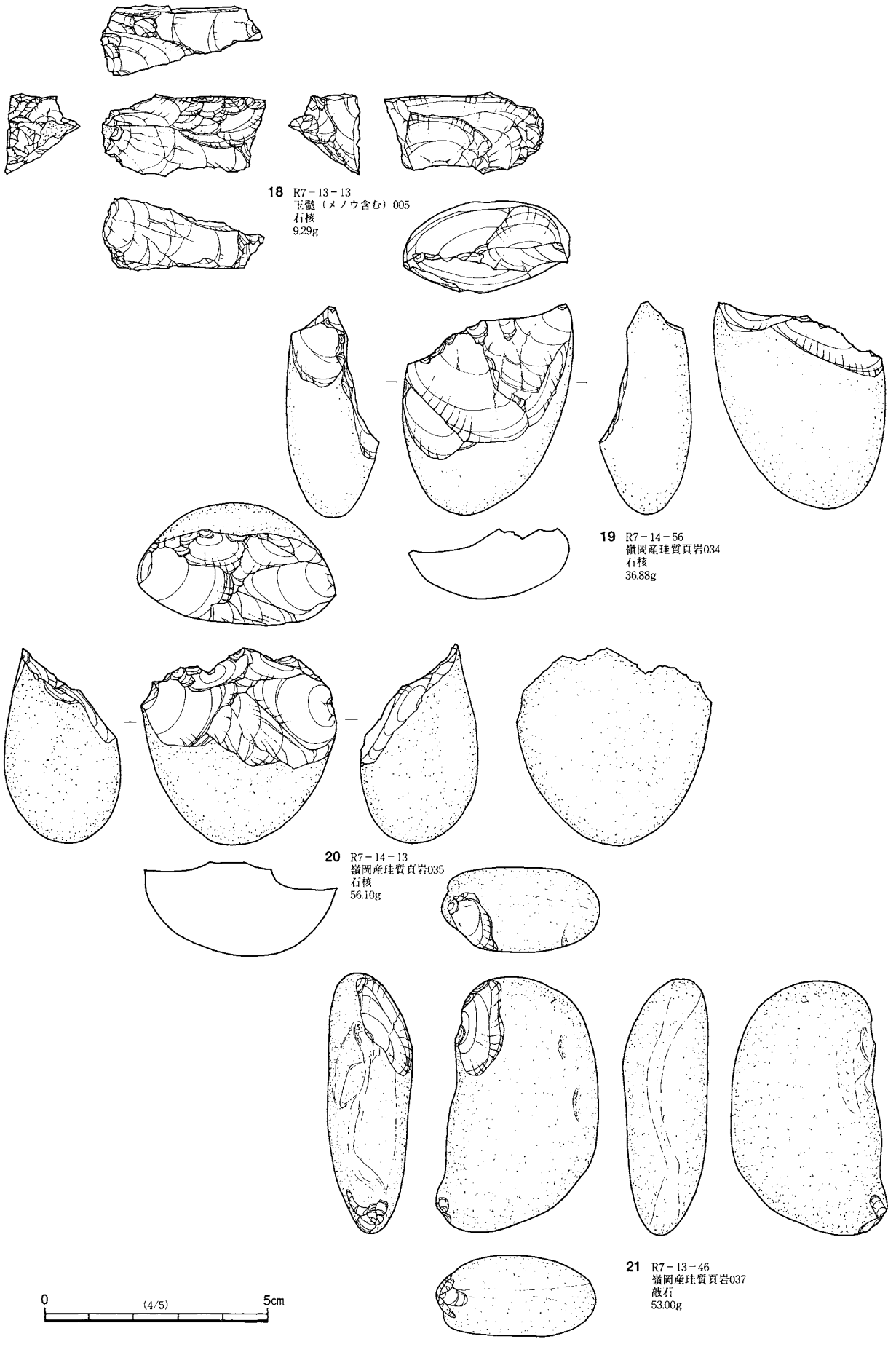
第33図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック母岩別分布図



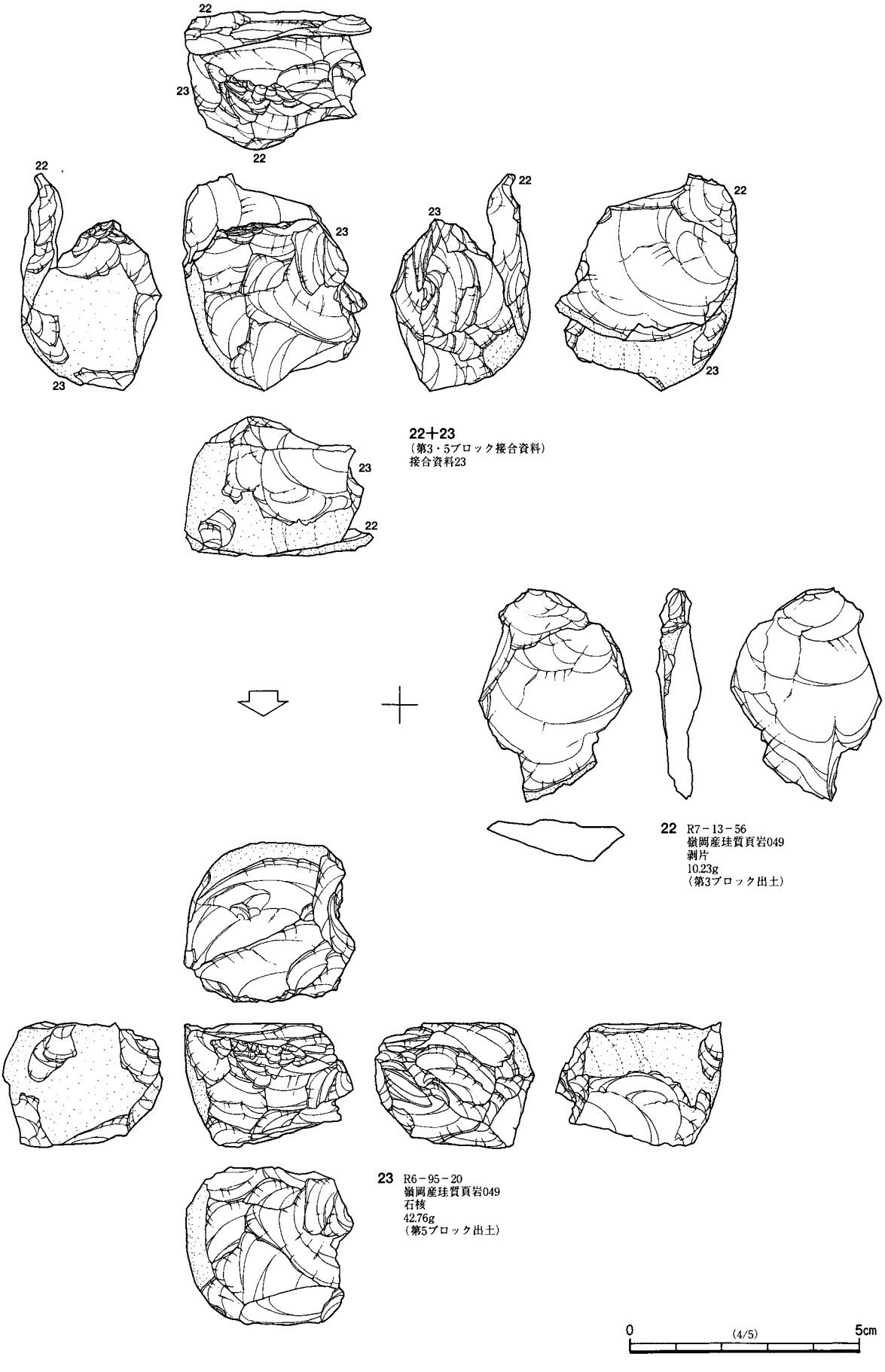
第34図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（1）



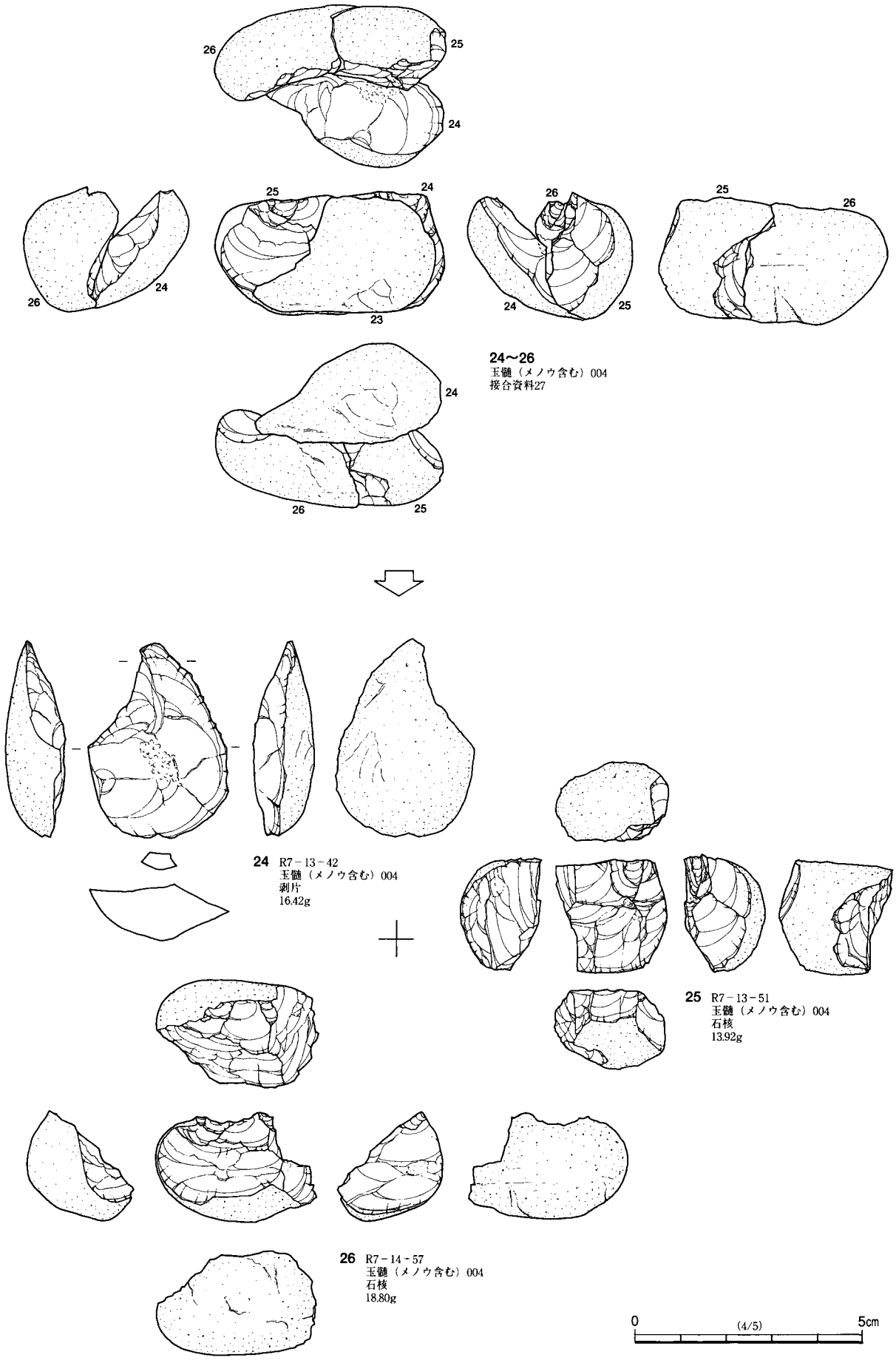
第35図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（2）



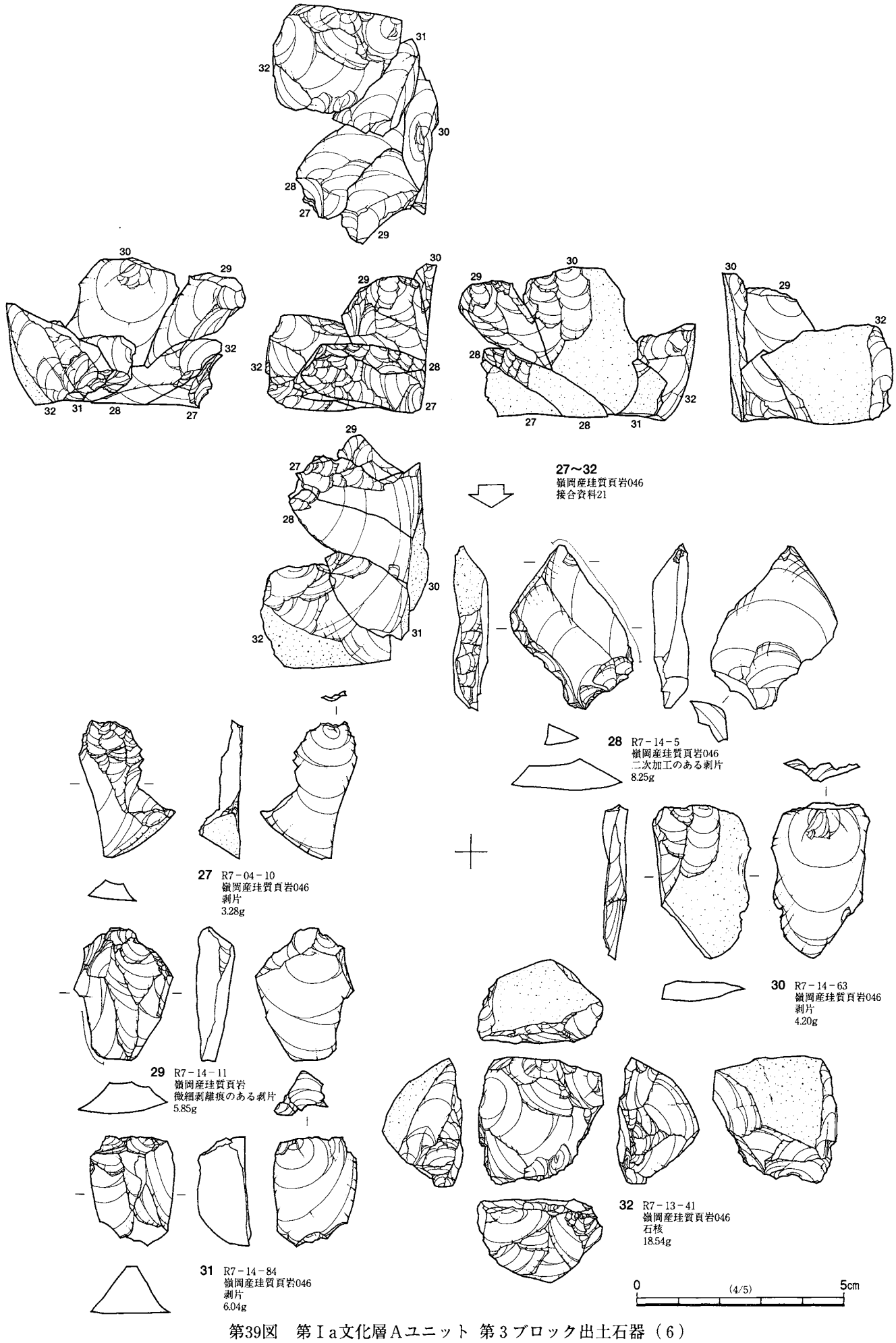
第36図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（3）



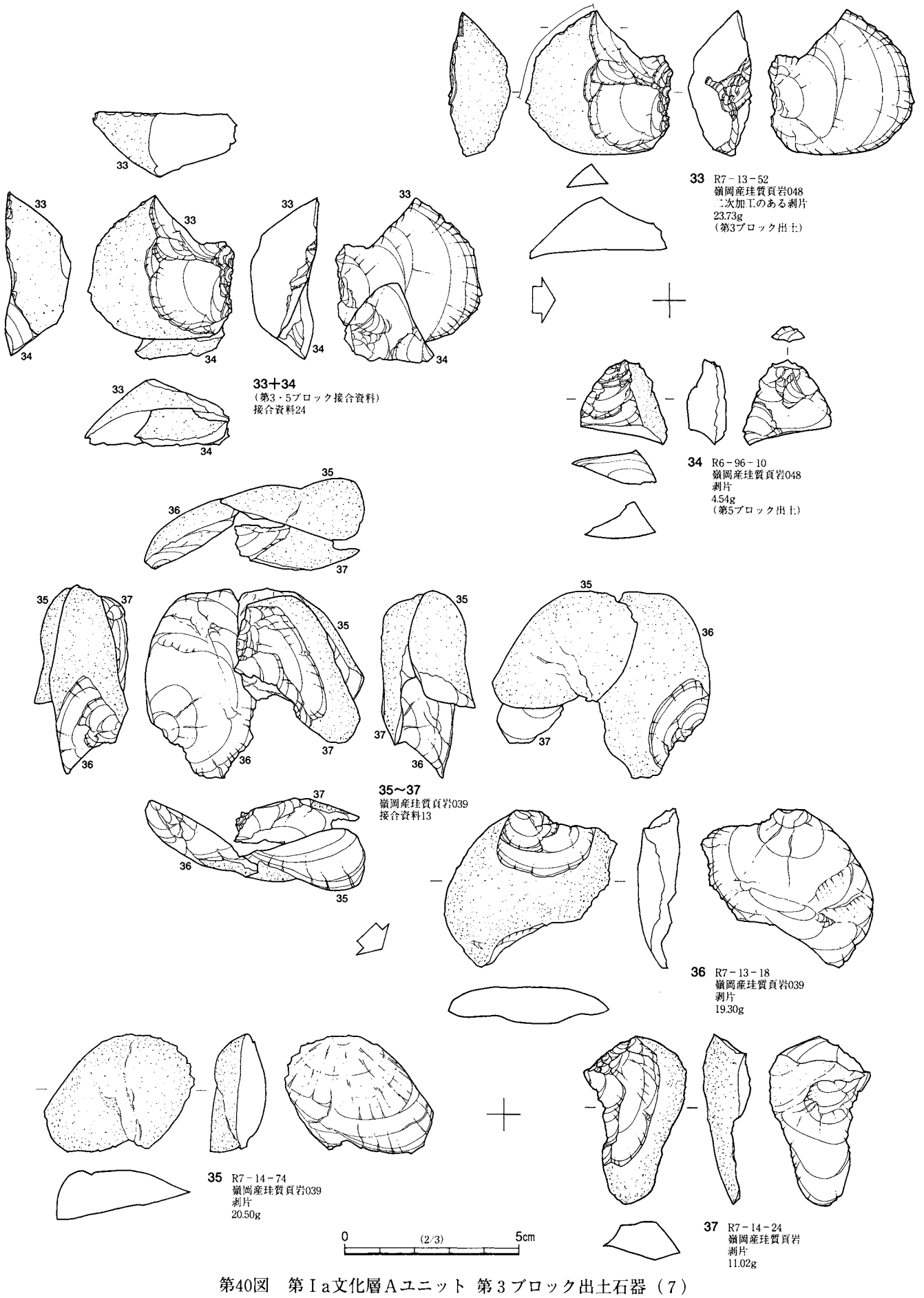
第37図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（4）



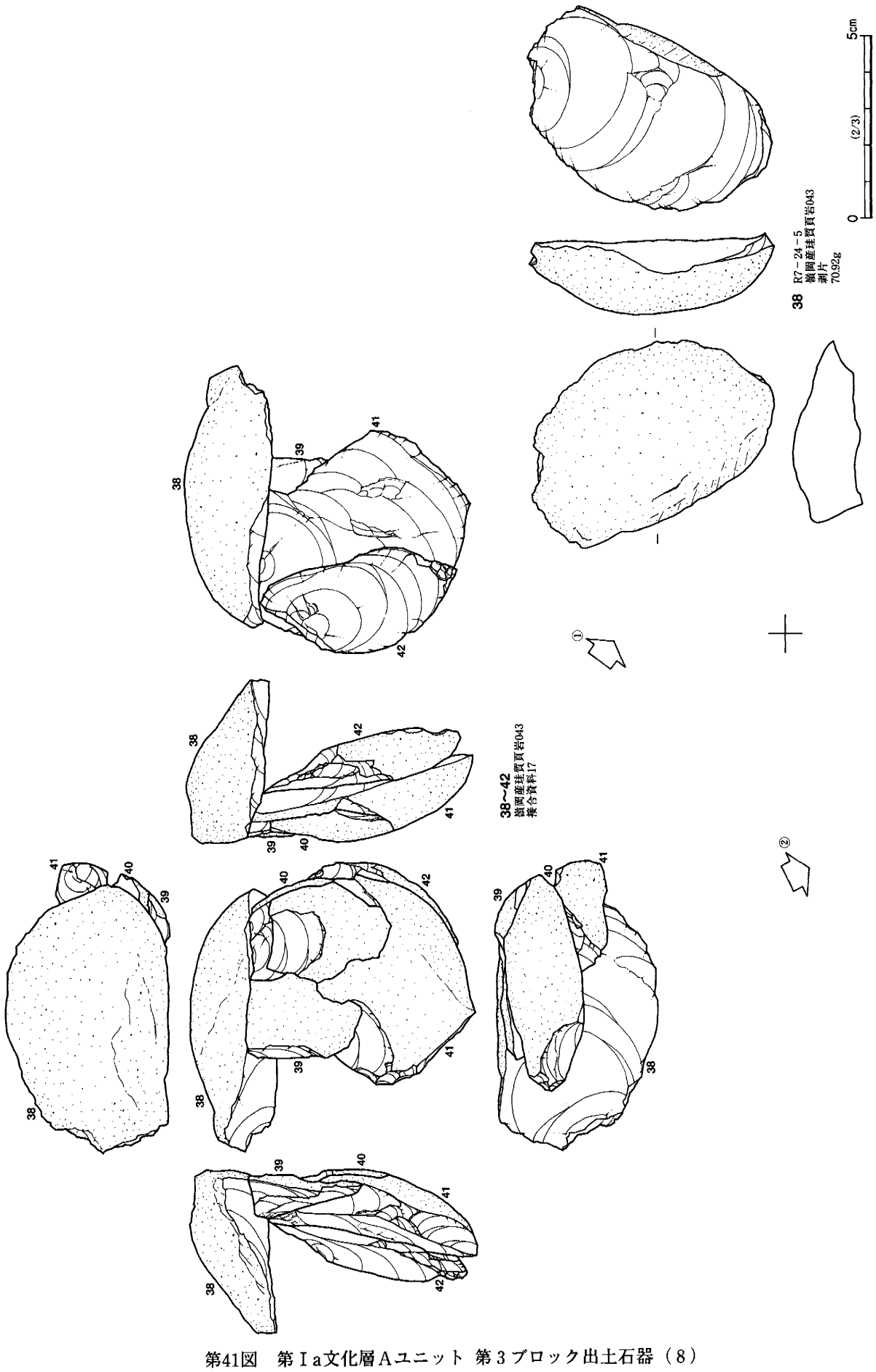
第38図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（5）



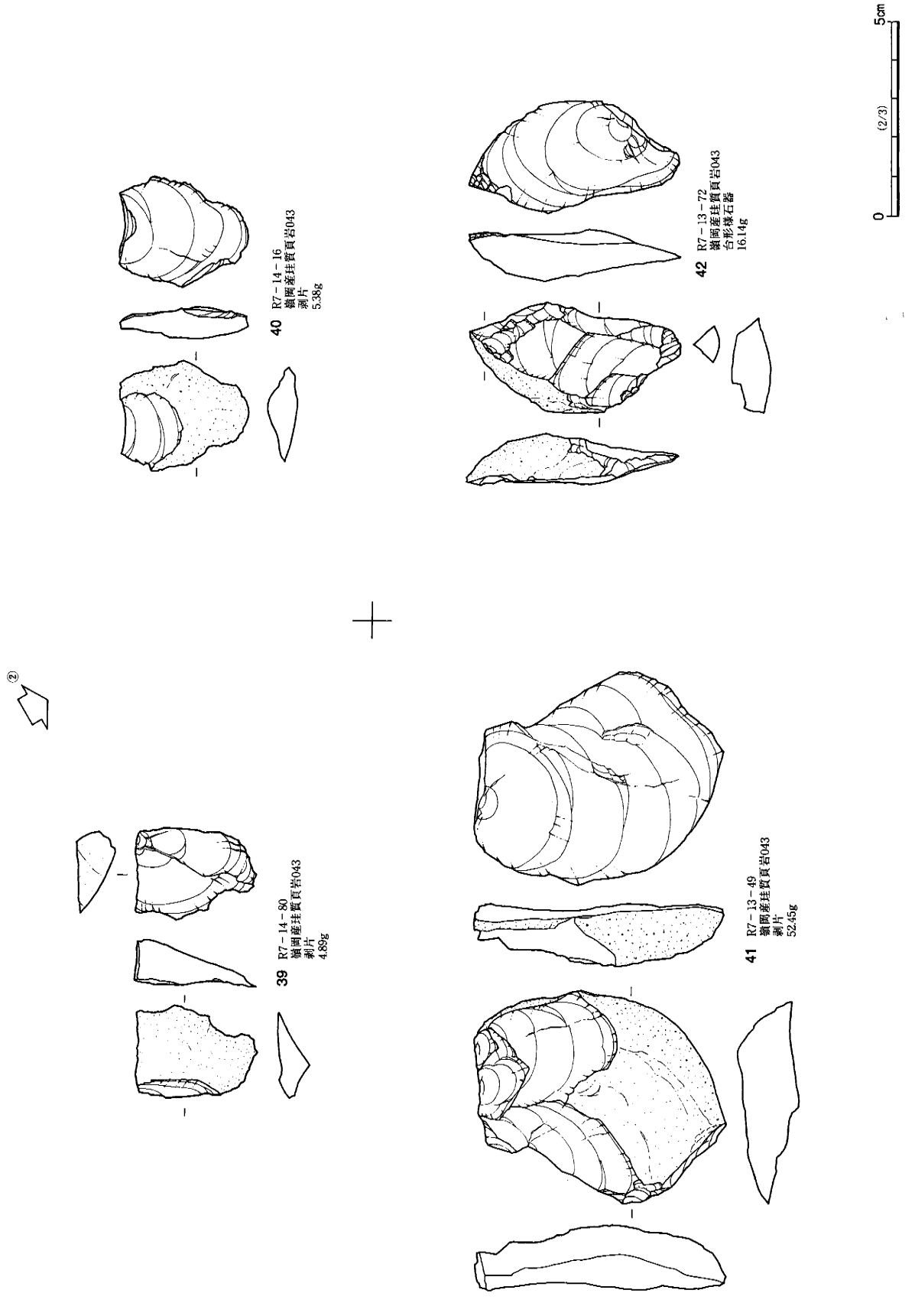
第39図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（6）



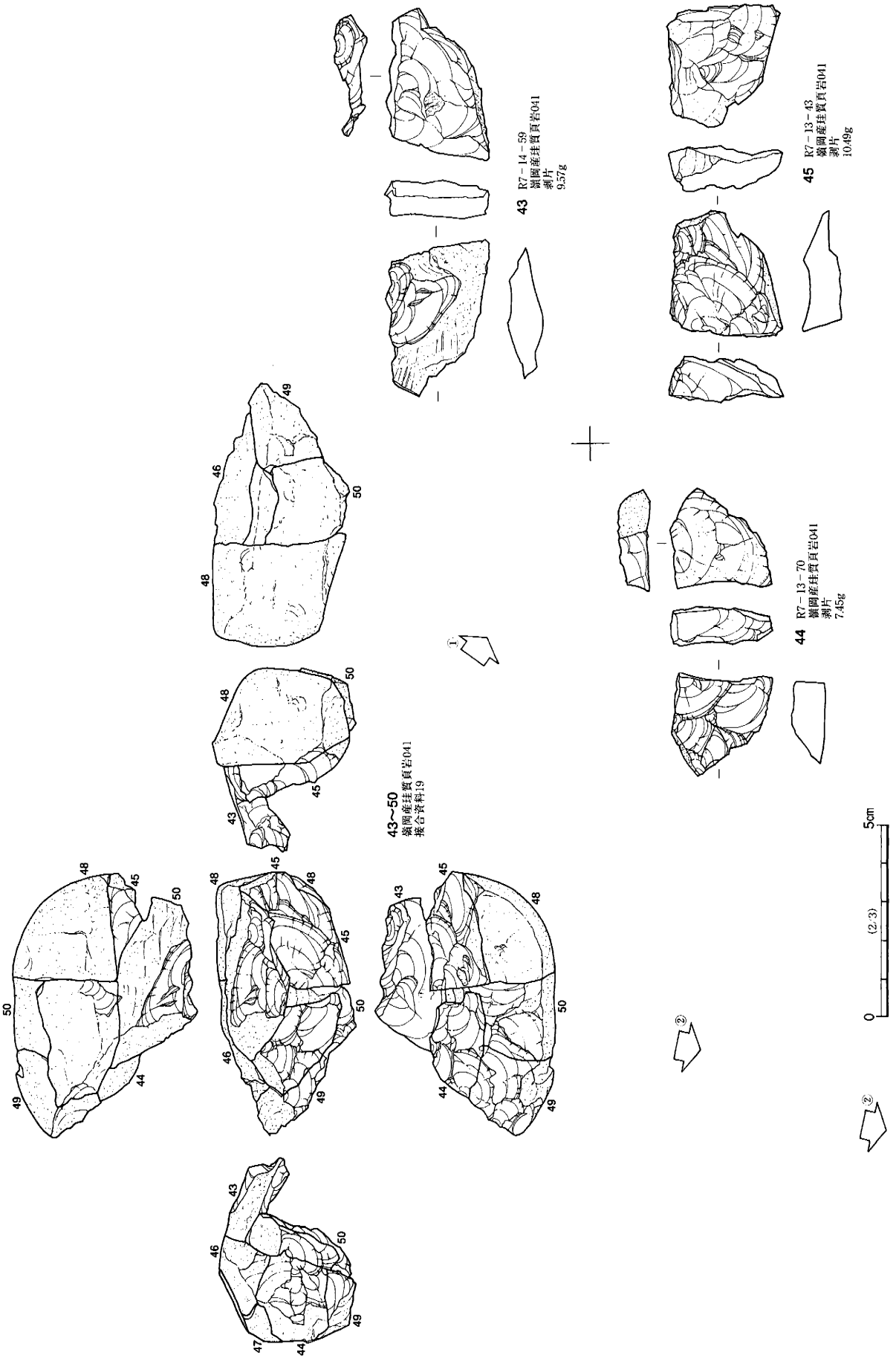
第40図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（7）



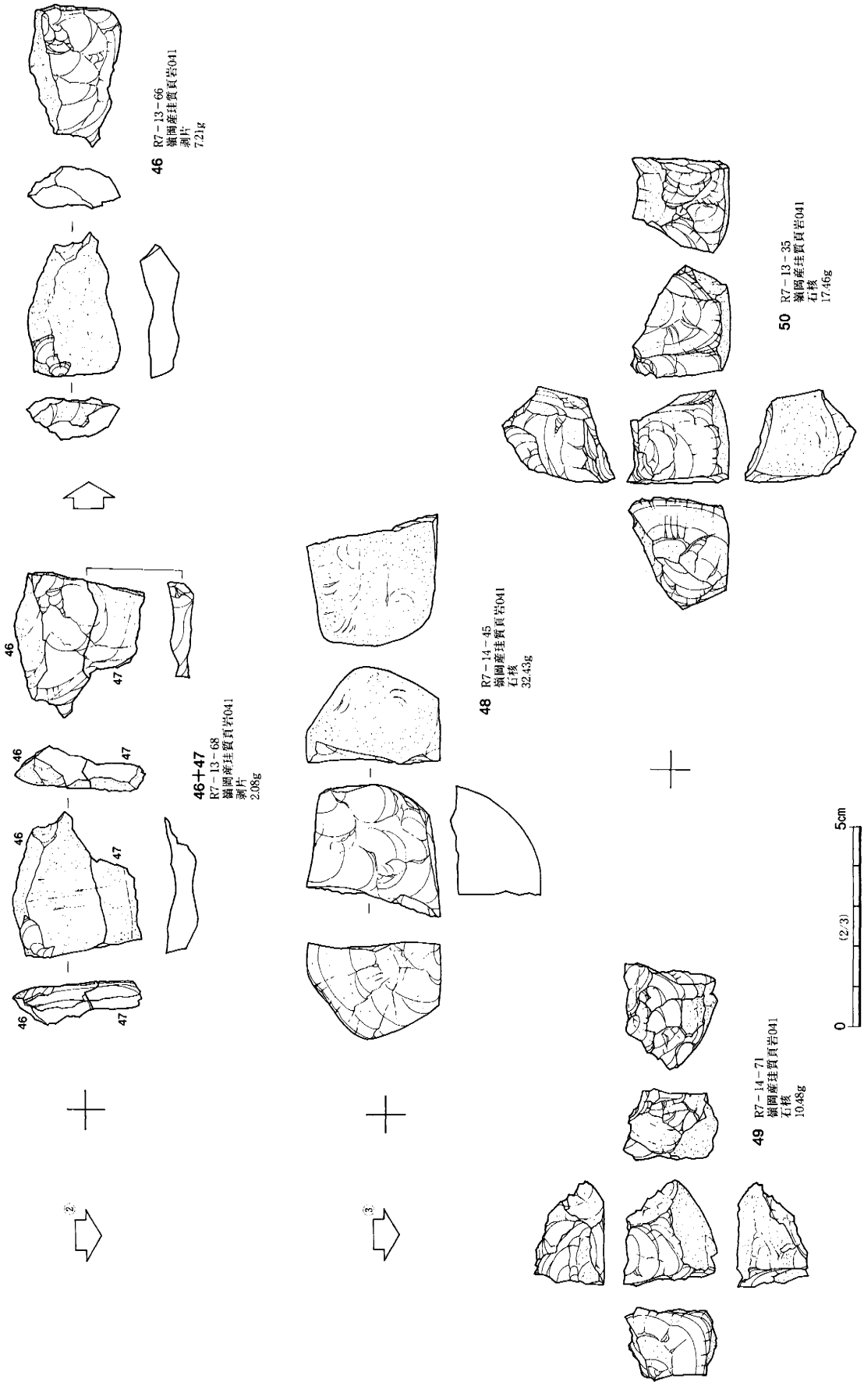
第41図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（8）



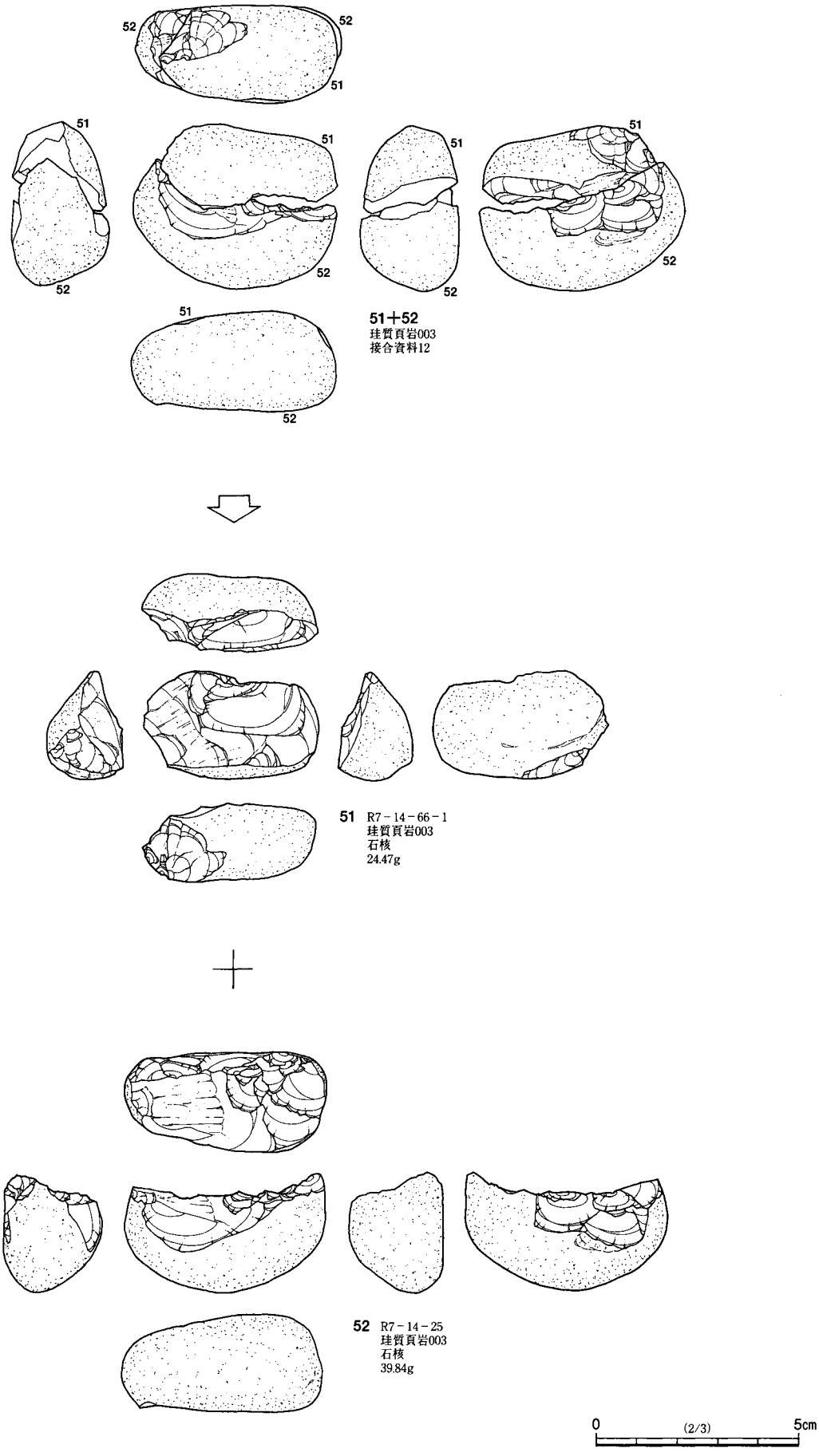
第42図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（9）



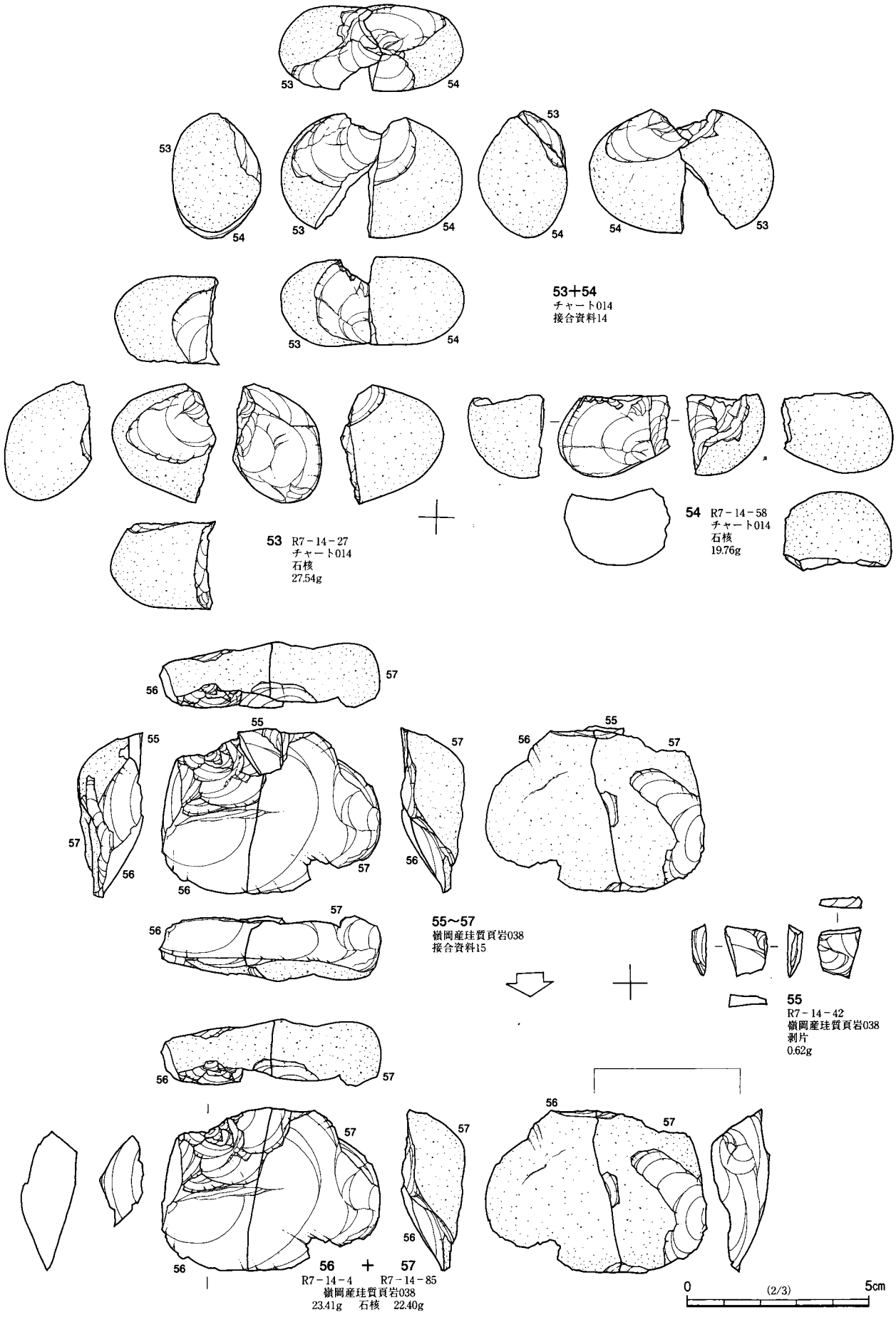
第43図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（10）



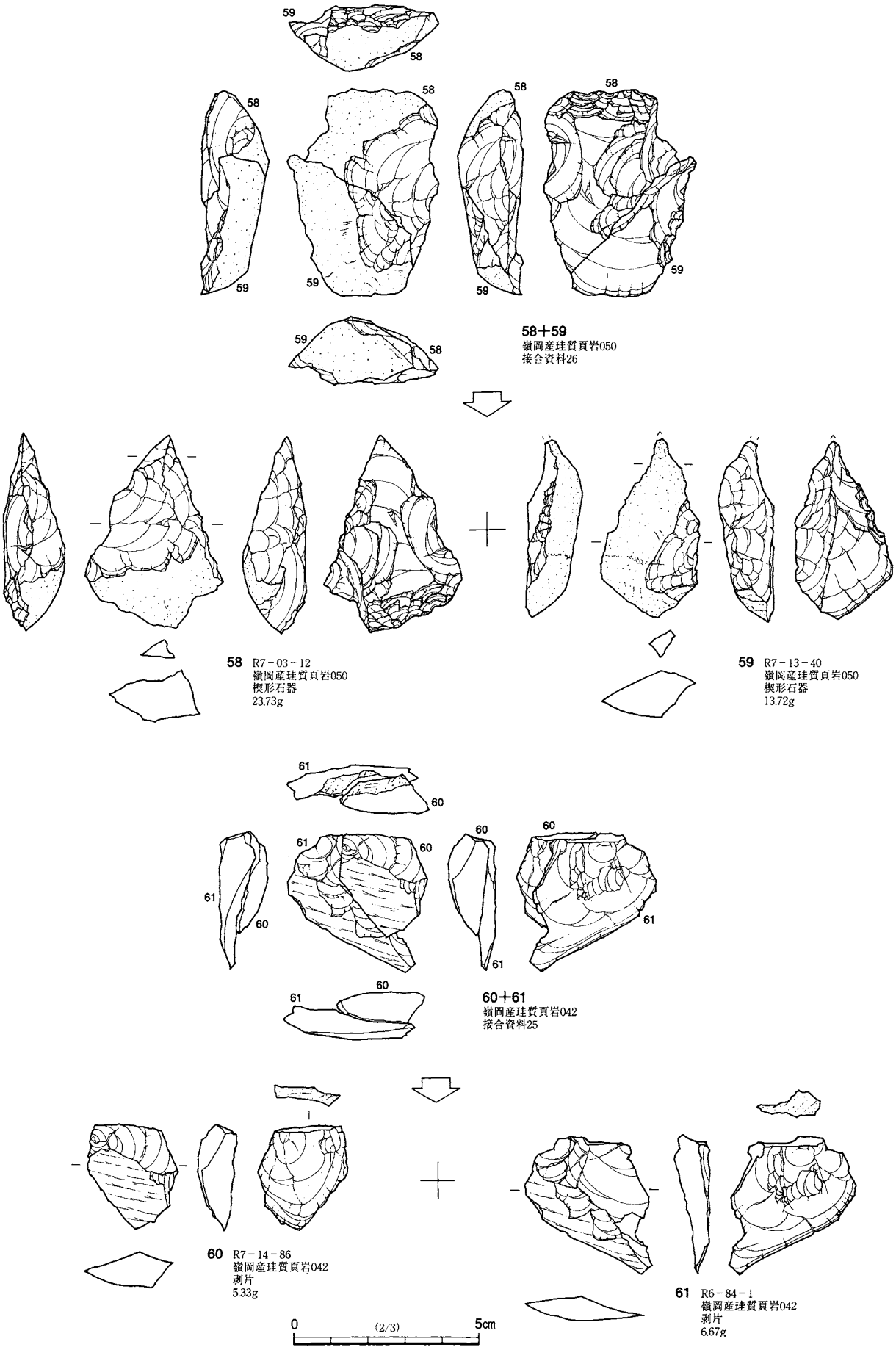
第44図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（11）



第45図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（12）



第46図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（13）



第47図　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック出土石器（14）

部のみで剥片剥離を行っている。打面は，左側縁→右側縁→上端部の順番に転移して剥離が行われている。

17・18は，縦長の分割剥片を素材としている。自然面は残っていない。17は分割面を打面として設定している。裏面と両側面は折断に近い剥離を行っており，石核成形に近い剥離を行った後に，表面に数枚の寸詰まりの剥片を数枚剥離している。18は裏面下部から横長幅広剥片を1枚剥離し，表面右上半部から小型の剥片を数枚剥離している。

21は不定形で扁平な楕円形礫を素材として，やや尖っている左側縁上部と下部に敲打痕がみられる。

22～61は接合資料23・27・21・24・13・17・19・12・14・15・26・25である。

22＋23の接合資料23は，円礫を母岩として用いており，分割した分厚い剥片を素材としている。分割面の剥離方向と同一方向から22の剥片を剥離している。その後，22を剥離した剥離面を打面として剥片を剥離していることから，22は打面を新たに作出するための剥片であるか，あるいは，打面再生剥片の可能性がある。22の剥離面を打面として剥片を剥離後に，右側に打面を転移して剥片を剥離している。裏面下半部からの剥離もみられ，最終的な残核の形状はサイコロ状を呈する。

24～26の接合資料27は，楕円形礫を母岩として用いており，分割した厚みのある剥片を素材として，剥片を剥離している。最初の分割は，24と25＋26の二つに分割されている。24はその後加工が行われていない。25＋26は分割した後に，自然面を打面として，数枚の小型の剥片が数枚剥離されている。その際の最終的な剥離で，25と26に分割されて，25はさらに裏面右側面から剥片が剥離されている。

27～32の接合資料21は，分割剥片を素材として，正面左側面に打面を設定して27・28を剥離して，その後，打面を90度転移して，正面上端部から29・30を剥離している。再度，打面を90転移して正面左側面から31を剥離している。28は，左側面下部が対向調整の調整加工が施されており，右側面下部が腹面から粗い調整加工が施されている。先端部には顕著な微細剥離痕がみられ，右側縁上半部全体に微細剥離痕が連続的にみられる。表面上端部からの一連の剥離によって，27～31の縦長剥片が生産されているとともに，母岩の表皮部分が剥離され，母岩の良質な部位が残存するような剥離が行われている。32はその良質な石材であり，この接合資料の最終形態の残核を示している。正面の中央部には，大きく分割した剥離面が大きく残されており，この面はポジティヴ面である。下面は多方向からの剥離で剥片が剥離されており，正面上端部は，自然面を打面として，小型の貝殻状の剥片が数枚剥離されている。32から剥離された剥片の背面は，ポジティヴ面を有する。

33＋34の接合資料24は，礫面を大きく残し，不定形な剥片の接合資料である。33は先端部から左側縁上半部に連続的に二次加工が施されている。

35～37の接合資料13は，扁平な小型の円礫を素材としている。自然面を打面として，順次打面を転移して，剥片を剥離している。剥片剥離の初期の剥離である35・36は，幅広の不定形の剥片である。剥片剥離がある程度進んだ段階の37は，平坦打面で，頭部調整が顕著な縦長剥片である。

38～42の接合資料42は，楕円形礫を素材としている。正面左側部上部から，打面作出のために38の幅広の剥片が剥離されている。38の剥離面を打面として，39～41の剥片を連続的に剥離している。42は，剥離の進行中に新たに打面を設定して，剥離された縦長剥片を素材としている。裏面先端部左先端部に調整加工が施されていることから，台形様石器として器種認定した。38～41は，背面に大きく自然面を残しており，不定形の剥片である。42の剥片は，自然面を左側面に少しだけ残しており，目的的剥片であると思われる。

第12表　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック母岩器種組成表（1）

母岩名	母岩番号	台形様石器	楔形石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
ガラス質黒色安山岩	006						1 47.42					1 47.42	0.55 2.40
	007							1 15.61				1 15.61	0.55 0.79
	008				1 1.7							1 1.7	0.55 0.09
	009										1 64.87	1 64.87	0.55 3.28
ガラス質黒色安山岩 点数合計					1		1	1			1	4	2.20
ガラス質黒色安山岩 重量合計					1.7		47.42	15.61			64.87	129.6	6.55
ホルンフェルス	004							1 3.54				1 3.54	0.55 0.18
	005							1 7.62				1 7.62	0.55 0.38
ホルンフェルス 点数合計								2				2	1.10
ホルンフェルス 重量合計								11.16				11.16	0.56
流紋岩	006							1 1.41	1 1.1	1 31.52		3 34.03	1.65 1.72
	007								2 2.57			2 2.57	1.10 0.13
	008										1 43.16	1 43.16	0.55 2.18
	009										1 30	1 30	0.55 1.52
流紋岩 点数合計								1	3	1	2	7	3.85
流紋岩 重量合計								1.41	3.67	31.52	73.16	109.76	5.55
珪質頁岩	003						2 64.31					2 64.31	1.10 3.25
珪質頁岩 点数合計							2					2	1.10
珪質頁岩 重量合計							64.31					64.31	3.25
嶺岡産珪質頁岩	034						1 36.88					1 36.88	0.55 1.86
	035						1 56.1					1 56.1	0.55 2.83
	036						1 78.99					1 78.99	0.55 3.99
	037			1 53								1 53	0.55 2.68
	038						2 45.81	1 0.62				3 46.43	1.65 2.35
	039							3 50.82				3 50.82	1.65 2.57
	040							2 4.42				2 4.42	1.10 0.22
	041						3 60.37	5 36.8				8 97.17	4.40 4.91
	042							1 5.33				1 5.33	0.55 0.27
	043	1 16.14						4 133.64				5 149.78	2.75 7.57
	044							3 31.3				3 31.3	1.65 1.58
	045							3 39.28				3 39.28	1.65 1.98
	046				1 8.25	1 5.85	1 18.54	3 13.52				6 46.16	3.30 2.33
	047							2 12.26				2 12.26	1.10 0.62
	048				1 23.73							1 23.73	0.55 1.20
	049							1 1.26				1 1.26	0.55 0.06
	050		2 37.45		1 16.46							3 53.91	1.65 2.72
	051				1 17.78		1 16.89					2 34.67	1.10 1.75
	052				1 1.51							1 1.51	0.55 0.08
	053							3 4.57				3 4.57	1.65 0.23
	054				2 10.42			12 17.81	5 3.04			19 31.27	10.44 1.58
	055							1 16.15				1 16.15	0.55 0.82
	056				2 3.75			2 4.74	1 0.48			5 8.97	2.75 0.45
	057							1 0.53				1 0.53	0.55 0.03

第13表　第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック母岩器種組成表（2）

母岩名	母岩番号	台形様石器	楔形石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
	058							12 18.14	7 2.48			19 20.62	10.44 1.04
	059							1 12				1 12	0.55 0.61
	060							2 1.65				2 1.65	1.10 0.08
	061				1 2.21			6 6.89	4 2.07			11 11.17	6.04 0.56
	062							11 368.2	6 2.57	2 1.77		19 372.54	10.44 18.82
	063							1 13.49				1 13.49	0.55 0.68
	064	1 17.04			2 15.5		1 12.06	12 40.29	2 0.25			18 85.14	9.89 4.30
	078							1 7.88				1 7.88	0.55 0.40
	124							1 2.81				1 2.81	0.55 0.14
嶺岡産珪質頁岩 点数合計		2	2	1	12	1	11	94	25	2		150	82.42
嶺岡産珪質頁岩 重量合計		33.18	37.45	53	99.61	5.85	325.64	844.4	10.89	1.77		1411.79	71.33
チャート	012						1 27.74					1 27.74	0.55 1.40
	013								1 0.66			1 0.66	0.55 0.03
	014						2 47.3					2 47.3	1.10 2.39
	015										1 20	1 20	0.55 1.01
	016										1 38.5	1 38.5	0.55 1.95
	017										1 4	1 4	0.55 0.20
	018										1 0.73	1 0.73	0.55 0.04
	019										1 1.13	1 1.13	0.55 0.06
チャート 点数合計							3		1		5	9	4.95
チャート 重量合計							75.04		0.66		64.36	140.06	7.08
玉髄(メノウ含む)	004						2 32.72	1 16.42				3 49.14	1.65 2.48
	005						1 9.29					1 9.29	0.55 0.47
	007										1 48.59	1 48.59	0.55 2.45
玉髄(メノウ含む) 点数合計							3	1			1	5	2.75
玉髄(メノウ含む) 重量合計							42.01	16.42			48.59	107.02	5.41
砂岩	006									1 0.44		1 0.44	0.55 0.02
	007										1 5	1 5	0.55 0.25
砂岩 点数合計										1	1	2	1.10
砂岩 重量合計										0.44	5	5.44	0.27
凝灰岩	001								1 0.1			1 0.1	0.55 0.01
凝灰岩 点数合計									1			1	0.55
凝灰岩 重量合計									0.1			0.1	0.01
全体の点数合計		2	2	1	13	1	20	99	30	4	10	182	100.00
全体の重量合計		33.18	37.45	53	101.31	5.85	554.42	889	15.32	33.73	255.98	1979.24	100.00
点数組成比(%)		1.10	1.10	0.55	7.14	0.55	10.99	54.40	16.48	2.20	5.49	100.00	
重量組成比(%)		1.68	1.89	2.68	5.12	0.30	28.01	44.92	0.77	1.70	12.93	100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］

43～50の接合資料19は，楕円形の亜角礫を素材としている。正面上部の43の剥片を剥離することにより，打面を作出している。43の剥離面を打面として，数枚の剥片を剥離後に，44・45を剥離しているが，44・45の剥離時に，節理面が著しい石材のために，46～50も同時に割れていると思われる。最終的には，44・45以前に剥離された剥片が，ある程度規格的な剥片であることが推定される。44～50は，節理面によるアクシデンタルな剥離により，分割されたものと思われ，これらを素材として，加工された痕跡はみられない。

51＋52の接合資料12は，楕円形礫を素材として，中央部から二分割した分割剥片を石核として用いている。51は分割後に，自然面を打面として用いて，左側縁下部と上端部から，小型の貝殻状の剥片を剥離している。52は自然面を打面として，上面右側から小型の貝殻状の剥片を剥離後，90度打面を転移して，分割面を打面として，５・６枚の小型の貝殻状の剥片を剥離している。接合資料12から剥離された剥片は，いずれも，小型の貝殻状の剥片が剥離されている。

53＋54の接合資料14は，良質の赤色のチャートを石材として用いており，小型の円礫を素材としている。53＋54の段階では，まず，円礫の状態で，表面から比較的大きな幅広な剥片を剥離後に，90度打面を転移して，上端部を正面から幅広の剥片を剥離している。その剥離の際に，器体が大きく三分割されている。残存する資料は，53と54であるが，その中間にも分割された剥片があることが観察される。分割後は，剥離が行われておらず，53＋54の剥離以前に剥離された剥片が目的的な剥片であったことが推定される。

55～57の接合資料15は，厚みのある縦長剥片を素材としている。縦長剥片を横位に用いて，自然面を打面として，背面側から腹面側にかけて，55の剥片のような小型の貝殻状の剥片を４・５枚程度剥離している。これらの剥片は，背面にはポジティヴ面を有するものとなっている。

58＋59の接合資料26は，58＋59の接合した状態では，縦長剥片を素材として，石核として用いている資料である。背面から腹面にかけて剥離を行っている。打面部を大きく除去した後に，腹面左上部に比較的大きな幅広剥片を剥離した後に，右側面上部から中間部にかけて，剥片を剥離している途中に，58と59に分割されている。腹面の両側面の剥離が両極剥離で剥離されている可能性が高く，58と59は両極剥離によって分割されたと考えられることから楔形石器として識別した。58は分割後に，腹面左中間部に二次加工が施されている。59は腹面左側縁中間部から上部にかけて，細かい調整加工が連続的に施されている。

60＋61の接合資料26は，自然面を打面とした幅広の剥片の接合資料である。

ｄ．第４ブロック（第48～60，第14・15・94・95表，図版23・24・26・27）

出土状況　平面分布は約６ｍ×４ｍの楕円形の範囲に，やや密集して出土している。南東部にやや密集しており，北西部に遺物分布の空白地点がみられる。Ⅹa層からⅨa層上部にかけて出土しており，Ⅹa層上部に集中する。

器種別分布（第48図）の特徴は，敲石は１点出土しているが，遺物がやや密集する南東部から出土している。楔形石器は，4点出土しているが，南東部からは出土しておらず，南西部に集中して出土している。

母岩別分布（第49図）の特徴は，接合資料28・29・32は，目的的剥片が生産され，石核と接合して，原石に近い状況まで接合した資料であるが，これらの資料は，ブロックの中心部に分布しており，他のブロックとの接合がみられない資料である。これらの資料から，本ブロックに，原石の状態で持ち込まれ，剥片生産を行った可能性が高いことを示していると思われる。ブロックの外周部に分布する接合資料20･30･31・33は，剥片を素材としており，他のブロックとの接合関係にある資料がみられる。特に，接合資料20は，接合した状況で，幅広の剥片で左側縁に，使用されたと思われる痕跡があり，第５ブロックと接合関係があり，第４ブロックにおいて分割して剥片を再利用している資料が出土している。このように，ブロックの中心部と外周部において，接合資料の素材が異なることは興味深い事例といえよう。

出土遺物　総計146点出土した。母岩器種組成は第14･15表のとおりである。器種組成の特徴は，製品の比率が極めて低く，台形様石器１点，楔形石器４点，敲石１点出土しているのみである。母岩（石材）組

成は，嶺岡産珪質頁岩の比率（59.59%）が圧倒的に高く，次に珪質頁岩・チャートが用いられている。多数の母岩で構成されている。嶺岡産珪質頁岩065は台形様石器を単体で搬入しており，嶺岡産珪質頁岩072は楔形石器が3点出土しており，この母岩は両極剥離を多用したことがうかがわれる。

1～4は楔形石器である。1～4は両極剥離によって，剥離された剥片を素材としている。さらに，両極剥離によって，調整加工を施している。1は表面右上部と左下部から両極剥離を行い。その後，裏面右先端部に調整加工を施して，先端部を尖らせるような調整加工が施されている。2は表面左下部と右下部に両極剥離を行っている。3は表面上下両端から両極剥離を施している。左側面上端部は，調整加工が施されており，1と同様に，尖った形状になっている。4は上下両端部から両極剥離が行われている。

5・6・14は二次加工のある剥片である。5は不定形の板状の剥片を素材として，左側縁と右側縁下部を折断により成形後に，左側面下部と右側面下半部に急角度の調整加工が施されている。6は幅広の剥片を素材として，左側縁下部にやや粗い調整加工が施されている。14は不定形な剥片を素材として，素材の打面部と左側縁を折断により成形後に，基部側に階段状の粗い調整加工が施されている。

7～13は微細剥離痕のある剥片である。いずれも不定形の剥片を素材としているが，薄い剥片を素材として用いている。剥片の末端部，および，側縁部の縁辺の鋭角な部位に微細剥離痕がみられる。

15は剥片である。自然面打面で，頭部調整が顕著に行われている。末端部は蝶番剥離の形状を呈する。

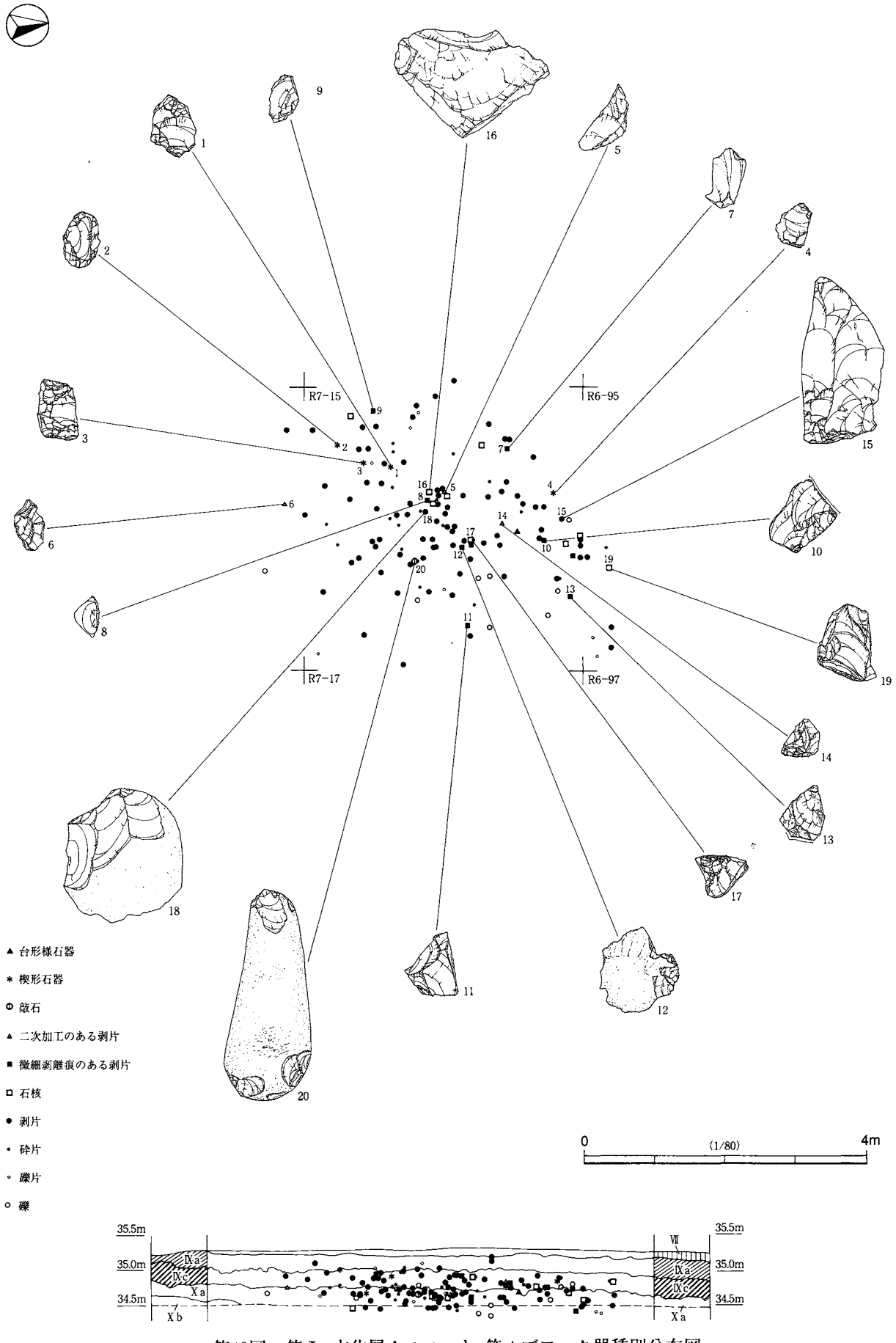
16～19は石核である。素材の形状や大きさがそれぞれ異なる。16は板状の大きな剥片を素材として，右上端部と正面上端部から剥片が剥離されている。17は分割された小型の剥片を素材として，自然面を打面として，打面を約270度まで順次移動して小型の剥片を剥離している。下端部からの細かい調整加工がみられるが，両極剥離による下端部からの反発撃である可能性が高い。18は非常に良質な緑色の珪質頁岩を石材として用いている。幅広の分厚い剥片を素材として，背面と腹面からの交互剥離によって剥片が剥離されている。腹面側は，背面側から打面を順次転移して，ほぼ全周から剥離が行われている。背面は，左側縁中央部から上半部にかけて剥離が行われている。残核の形状は，円盤状の形態を呈する。剥離された剥片の形状は，背面にポジティヴ面を有する剥片が量産されており，台形状の剥片が剥離されている。本文化層において，目的的剥片を剥離した石核のなかでは，本文化層を特徴付ける典型的な石核の形状といえる。19は良質の珪質頁岩を石材として用いている。分厚い剥片を素材としており，左側縁上部と下部と表面下部から小型の剥片が剥離されている。

20は敲石である。細粒の頁岩を石材として用いている。平面形状は撥形の長楕円形礫を素材として用いている。敲打痕は，上下両端にみられる。敲打痕には，剥離痕がみられ，非常に強い敲打が行われたと思われる。下端部の敲打は，左下部と右下部が非常に顕著である。また，両側面と正面平坦面の下部には，擦痕と思われる線状痕がみられる。とくに，正面平坦面の下部の線状痕は非常に顕著である。

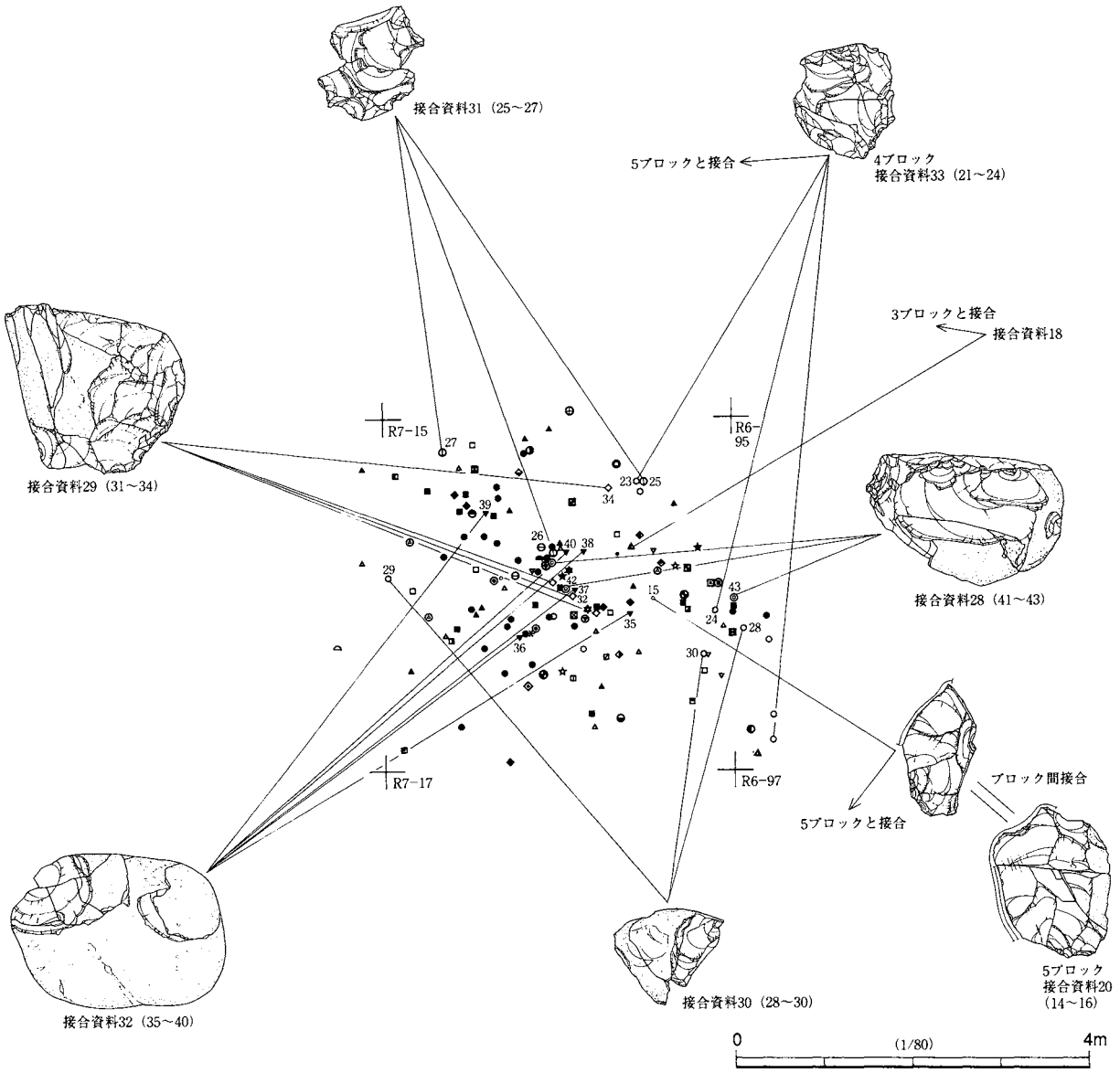
21～43は接合資料33・31・30・29・32・28である。

21～24は接合資料33である。円礫を分割した分厚い剥片を素材としている。まず，21～24の状態から，表面下端部から21の横長剥片を剥離している。22～24の状態で，右側縁から比較的大きな剥片を剥離後に，打面を90度転移して，上端部の自然面を打面とし，小型の剥片を連続的に剥離している。その後，下端部から，自然面を打面として，22と23の幅広の剥片を剥離して，最終的な残核である24のようなサイコロ状の形態をした石核の形状を呈している。

25～27は接合資料31である。素材は不明であるが，おそらく分割したぶ厚い剥片を素材としているもの



第48図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック器種別分布図



▿ 黒曜石002	◆ 頁岩009	■ 嶺岡産珪質頁岩070	▲ チャート023
◪ ホルンフェルス007	◪ 頁岩010	▲ 嶺岡産珪質頁岩071	◉ チャート024
◓ ホルンフェルス008	◉ 頁岩011	■ 嶺岡産珪質頁岩072	◙ チャート025
◘ ホルンフェルス009	⊕ 嶺岡産珪質頁岩044	◉ 嶺岡産珪質頁岩073	◙ チャート026
◐ ホルンフェルス010	▲ 嶺岡産珪質頁岩045	◆ 嶺岡産珪質頁岩074	◉ チャート027
◘ 流紋岩012	◉ 嶺岡産珪質頁岩052	◉ 嶺岡産珪質頁岩075	⌓ チャート028
◑ 流紋岩013	◙ 嶺岡産珪質頁岩058	⊖ 嶺岡産珪質頁岩076	◈ チャート029
◘ 流紋岩010	◘ 嶺岡産珪質頁岩062	☆ 嶺岡産珪質頁岩077	★ 玉髄（メノウ含む）012
◓ 流紋岩011	• 嶺岡産珪質頁岩064	● 嶺岡産珪質頁岩078	▾ 玉髄（メノウ含む）008
◘ 流紋岩014	◦ 嶺岡産珪質頁岩065	◙ 嶺岡産珪質頁岩079	◉ 珪質頁岩004
◆ 流紋岩015	◔ 嶺岡産珪質頁岩066	◉ 嶺岡産珪質頁岩083	✱ 珪質頁岩008
◘ 頁岩012	◙ 嶺岡産珪質頁岩067	◇ チャート020	○ 珪質頁岩007
◎ 頁岩013	▲ 嶺岡産珪質頁岩068	◆ チャート021	✲ 珪質頁岩008
✱ 頁岩008	◘ 嶺岡産珪質頁岩069	◙ チャート022	◓ 珪質頁岩009

第49図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック母岩別分布図

第14表　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック母岩器種組成表（1）

母岩名	母岩番号	台形様石器	楔形石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	002					1 2.59		1 1.42	2 0.91			4 4.92	2.74 0.24
黒曜石 点数合計 黒曜石 重量合計						1 2.59		1 1.42	2 0.91			4 4.92	2.74 0.24
ホルンフェルス	007										1 6.79	1 6.79	0.68 0.33
	008									1 2.58		1 2.58	0.68 0.12
	009							1 0.3				1 0.3	0.68 0.01
	010										1 1.17	1 1.17	0.68 0.06
ホルンフェルス 点数合計 ホルンフェルス 重量合計								1 0.3		1 2.58	2 7.96	4 10.84	2.74 0.52
流紋岩	010									1 6		1 6	0.68 0.29
	011										1 15	1 15	0.68 0.72
	012										1 19.21	1 19.21	0.68 0.92
	013									1 4.79		1 4.79	0.68 0.23
	014										1 19	1 19	0.68 0.91
	015										1 31	1 31	0.68 1.49
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計										2 10.79	4 84.21	6 95	4.11 4.56
頁岩	008			1 86.82								1 86.82	0.68 4.17
	009							1 13.89				1 13.89	0.68 0.67
	010							1 5.91				1 5.91	0.68 0.28
	011							1 2.36	1 0.41			2 2.77	1.37 0.13
	012							1 4.16				1 4.16	0.68 0.20
	013						1 331.58	2 20.8				3 352.38	2.05 16.92
頁岩 点数合計 頁岩 重量合計				1 86.82			1 331.58	6 47.12	1 0.41			9 465.93	6.16 22.37
珪質頁岩	004						1 93.81					1 93.81	0.68 4.50
	005							1 3.83				1 3.83	0.68 0.18
	007					1 1.54	2 41.48	8 39.75				11 82.77	7.53 3.97
	008							1 7.76				1 7.76	0.68 0.37
	009					1 0.77						1 0.77	0.68 0.04
珪質頁岩 点数合計 珪質頁岩 重量合計						2 2.31	3 135.29	10 51.34				15 188.94	10.27 9.07
嶺岡産珪質頁岩	045							1 26.35				1 26.35	0.68 1.27
	052					1 7						1 7	0.68 0.34
	054							1 1.1				1 1.1	0.68 0.05
	058							1 2.28				1 2.28	0.68 0.11
	062							1 8.08				1 8.08	0.68 0.39
	064							1 10.92				1 10.92	0.68 0.52
	065	1 9.36										1 9.36	0.68 0.45
	066						1 7.14	2 6.76				3 13.9	2.05 0.67
	067							1 50.51				1 50.51	0.68 2.42
	068				2 5.23	1 9.32		5 22.41	1 0.93			9 37.89	6.16 1.82
	069					2 5.95		2 3.39	2 0.98			6 10.32	4.11 0.50
	070						1 8.53	3 14.18				4 22.71	2.74 1.09

第15表　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック母岩器種組成表（2）

母岩名	母岩番号	台形様石器	楔形石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
	071				1			9	1			11	7.53
					1.69			45.07	1			47.76	2.29
	072		3			1		5	2			11	7.53
			9.32			4.24		12.73	9.53			35.82	1.72
	073							1				1	0.68
								4.26				4.26	0.20
	074							1				1	0.68
								1.61				1.61	0.08
	075							1	1			2	1.37
								3.1	0.2			3.3	0.16
	076						1	1				2	1.37
							88.45	59.4				147.85	7.10
	077							1		1		2	1.37
								1		1.86		2.86	0.14
	078							16	9			25	17.12
								34.65	3.68			38.33	1.84
	079							1				1	0.68
								6.99				6.99	0.34
	083							1				1	0.68
								4.2				4.2	0.20
嶺岡産珪質頁岩 点数合計		1	3		3	5	3	55	16	1		87	59.59
嶺岡産珪質頁岩 重量合計		9.36	9.32		6.92	26.51	104.12	318.99	16.32	1.86		493.4	23.69
チャート	020					1	1	2				4	2.74
						35.3	275.74	16.06				327.1	15.70
	021									1		1	0.68
										4.6		4.6	0.22
	022								1			1	0.68
									1.67			1.67	0.08
	023										1	1	0.68
											2.49	2.49	0.12
	024							1				1	0.68
								3.99				3.99	0.19
	025							1				1	0.68
								10.74				10.74	0.52
	026										1	1	0.68
											19.47	19.47	0.93
	027										1	1	0.68
											29	29	1.39
	028										1	1	0.68
											37	37	1.78
	029										1	1	0.68
											22	22	1.06
チャート 点数合計						1	1	4	1	1	5	13	8.90
チャート 重量合計						35.3	275.74	30.79	1.67	4.6	109.96	458.06	21.99
玉髄(メノウ含む)	008						1	5				6	4.11
							329	32.51				361.51	17.36
	012		1					1				2	1.37
			1.34					2.97				4.31	0.21
玉髄(メノウ含む) 点数合計			1				1	6				8	5.48
玉髄(メノウ含む) 重量合計			1.34				329	35.48				365.82	17.56
全体の点数合計		1	4	1	3	9	9	83	20	5	11	146	100.00
全体の重量合計		9.36	10.66	86.82	6.92	66.71	1175.73	485.44	19.31	19.83	202.13	2082.91	100.00
点数組成比(%)		0.68	2.74	0.68	2.05	6.16	6.16	56.85	13.70	3.42	7.53	100.00	
重量組成比(%)		0.45	0.51	4.17	0.33	3.20	56.45	23.31	0.93	0.95	9.70	100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］

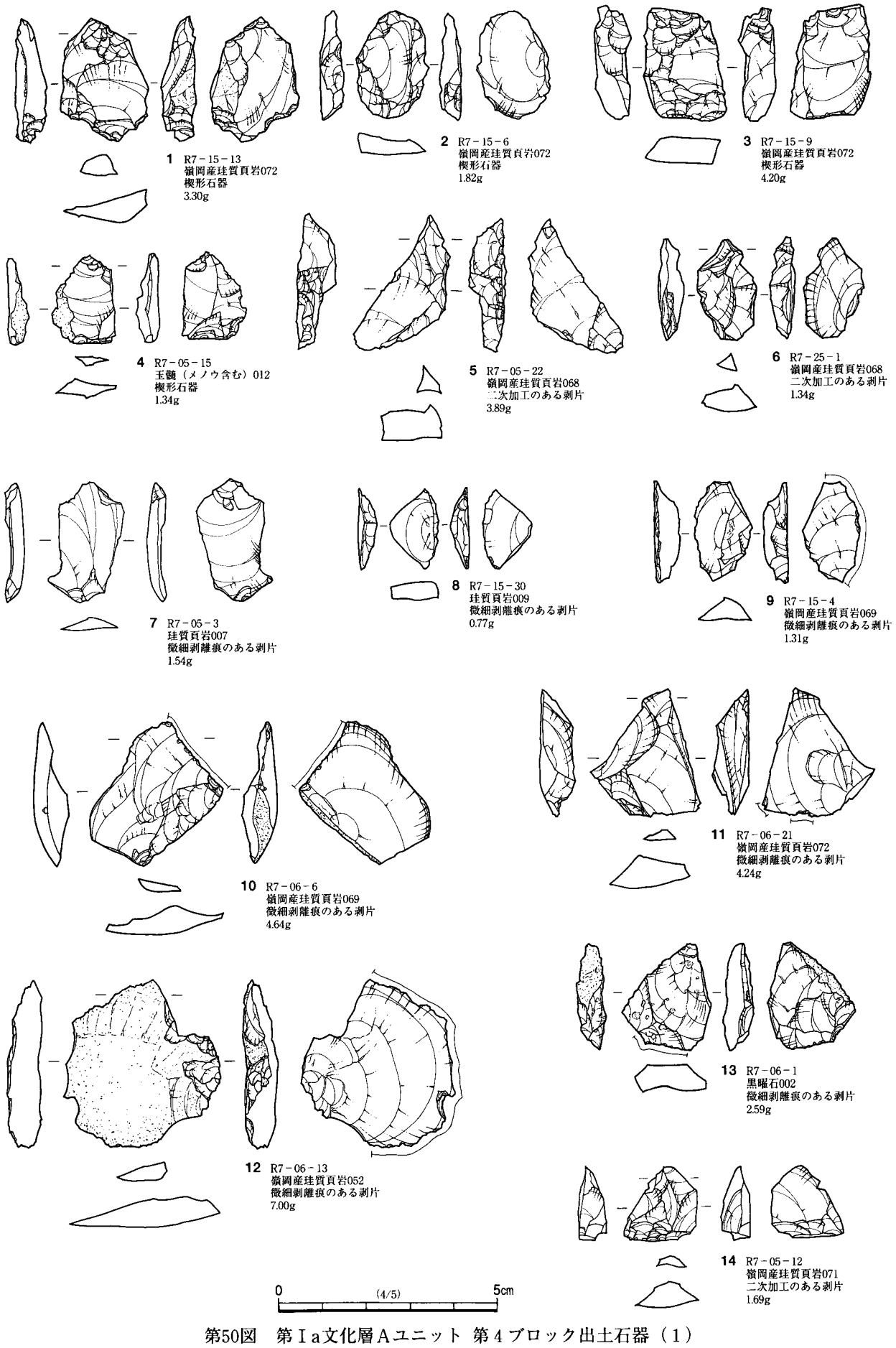
と思われる。25・26は背面に礫面を大きく残した縦長剥片である。27は，25・26の剥離によって礫面が除去された厚みのある剥片を素材として，石核として用いている。自然面を打面としているが，上端部から厚みのある貝殻状の剥片を剥離後に，打面を下端部に移し，その後，左右両側縁から小型の貝殻状の剥片を剥離している。小型の円盤状の石核の形状を呈している。剥離された剥片は，背面にポジティヴ面を有する剥片が剥離されている。

28～30の接合資料30は，背面に大きく自然面を残す幅広剥片の接合資料である。まず，28と29は同時に割れた剥片である。その後，30の剥片が剥離されたものと思われる。あるいは，30についても，28・29が剥離された際の同時割れの可能性がある資料である。

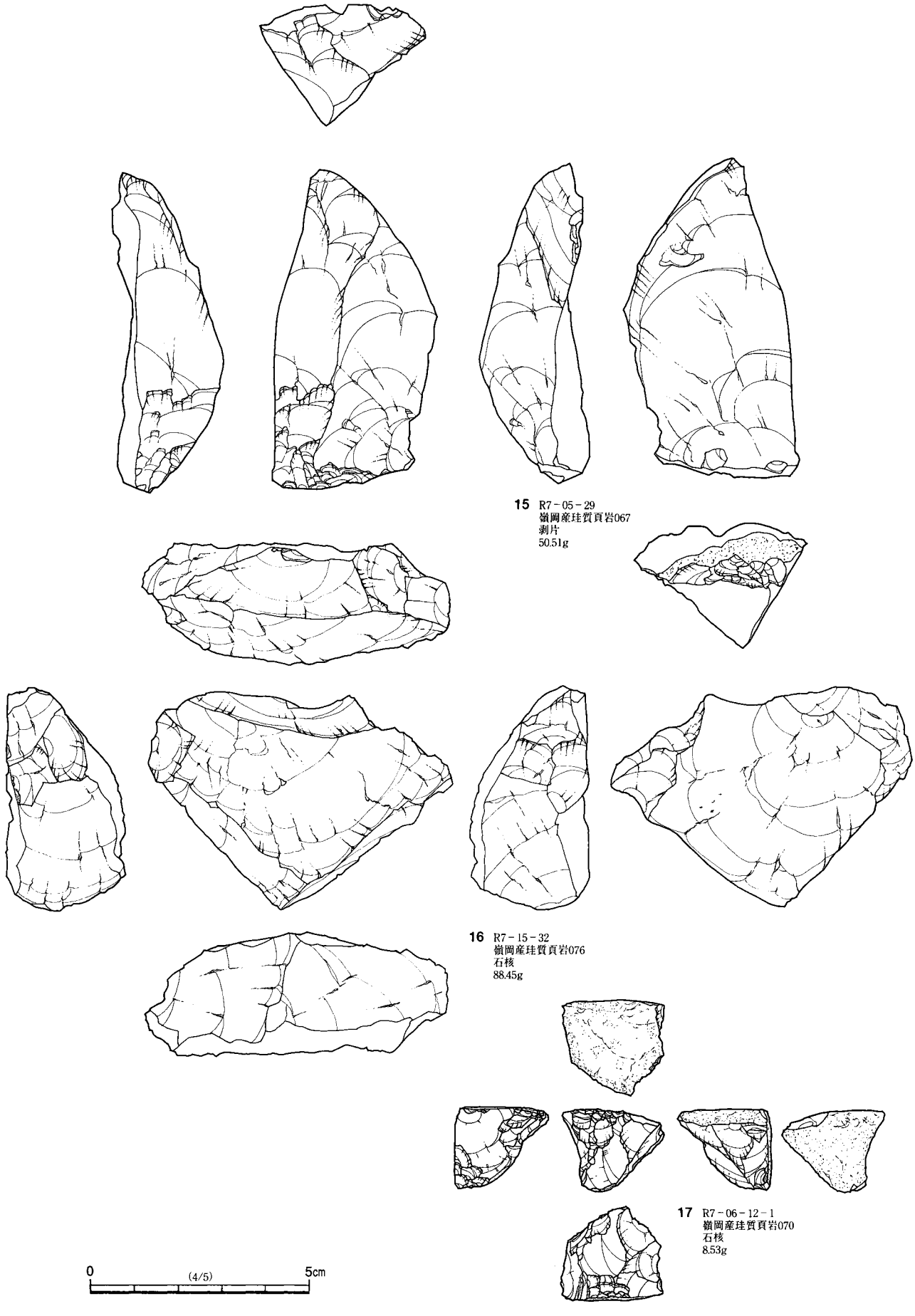
31～34は厚みのある原石である円礫にほぼ復元できる接合資料29である。31～34の接合した状態の前に，正面図下端部と右側縁から横長幅広剥片が10枚程度剥離されている。本ブロックにおいては，これらの資料は検出されていない。その後，打面を正面図左側面上部に転移して，31～33の縦長剥片が連続的に剥離されている。これらの剥片を剥離する前に，やや粗い剥離ではあるが，打面調整が行われている。その後，2・3枚程同様の剥離が行われているが，その後の剥離は行われていない。残核である34は，裏面に大きく自然面を残しており，直方体の形状を呈する。剥離された剥片は，いずれも，背面に大きく自然面を残す剥片が剥離されている。

35～40は接合資料32である。やや粗悪な玉髄（メノウ含む）の石材を用いており，原石である楕円礫に近い形まで接合された資料である。正面図右上端部から自然面を打面として，35の幅広剥片が剥離されている。左上端部から，自然面を打面として，やや大きめの剥片が剥離された後に，36と37～39の二つの剥片が剥離されている。37～39は，剥離の際に同時割れして，3分割された資料である。残核である40は左上端部と右上端部以外は剥離が行われておらず，礫器状の形態を呈する。石材が良質でなかったために，あまり剥離が行われなかった可能性もある。

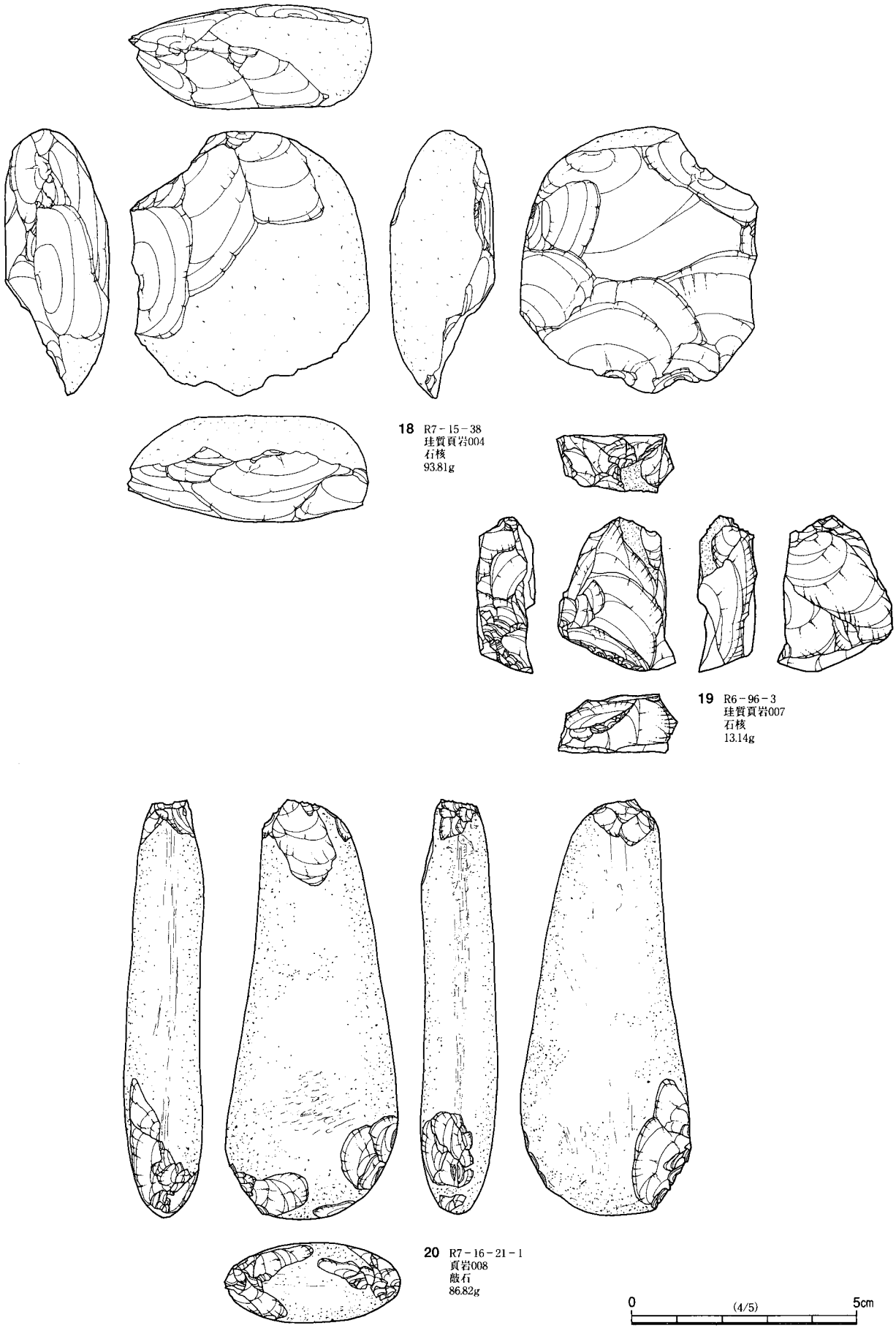
41～43は接合資料28である。41～43の接合された状態よりも前に，まず，上部を2・3回の大きな剥離を行って，打面を作出し，上部を打面として，数回の剥離が行われている。この際に大きな剥片が剥離されたものが41＋42の資料である。41＋42の資料は，末端部が残存している資料で，打面部と末端部が同時割れした資料であるが，本ブロックで残存している資料は末端部の41＋42である。その後，左側面に打面を転移して，小型の剥片を連続的に剥離している。残核である43の形状は，自然面を裏面に大きく残し，表面のみで作業を行っている。接合資料32と同様に，石質がやや粗悪であることから，あまり剥離が行われなかったことが推察される。



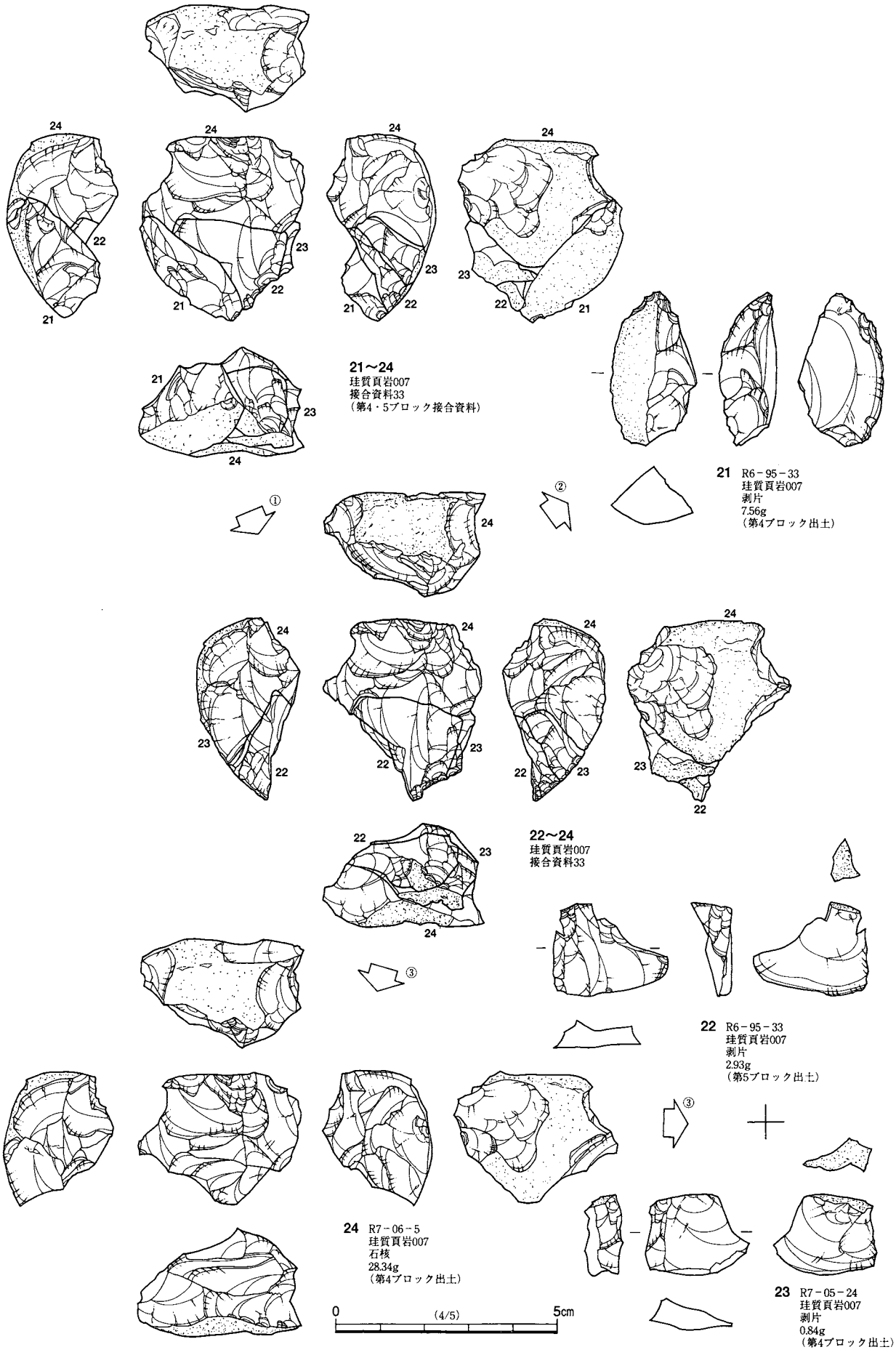
第50図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（1）



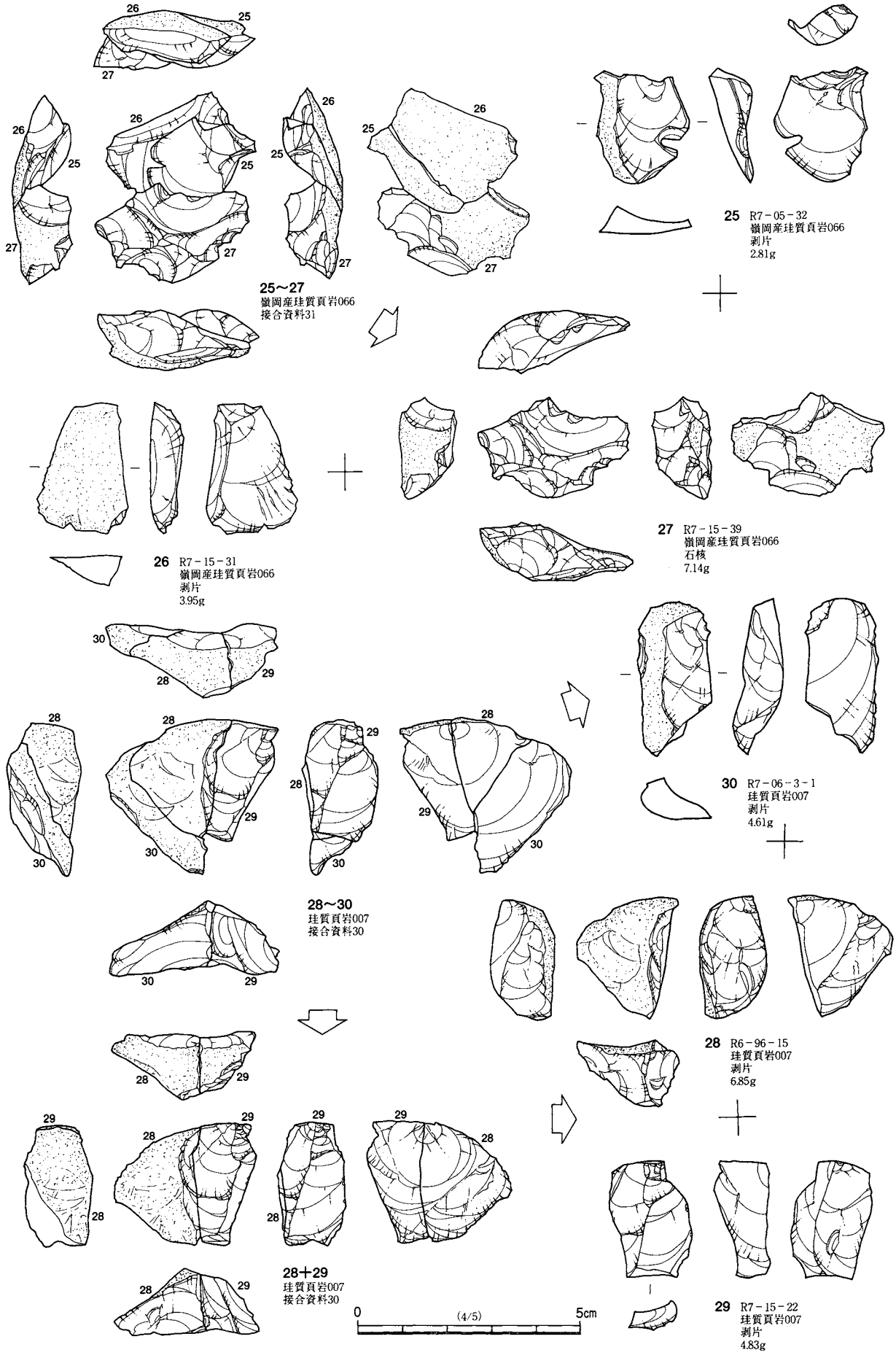
第51図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（2）



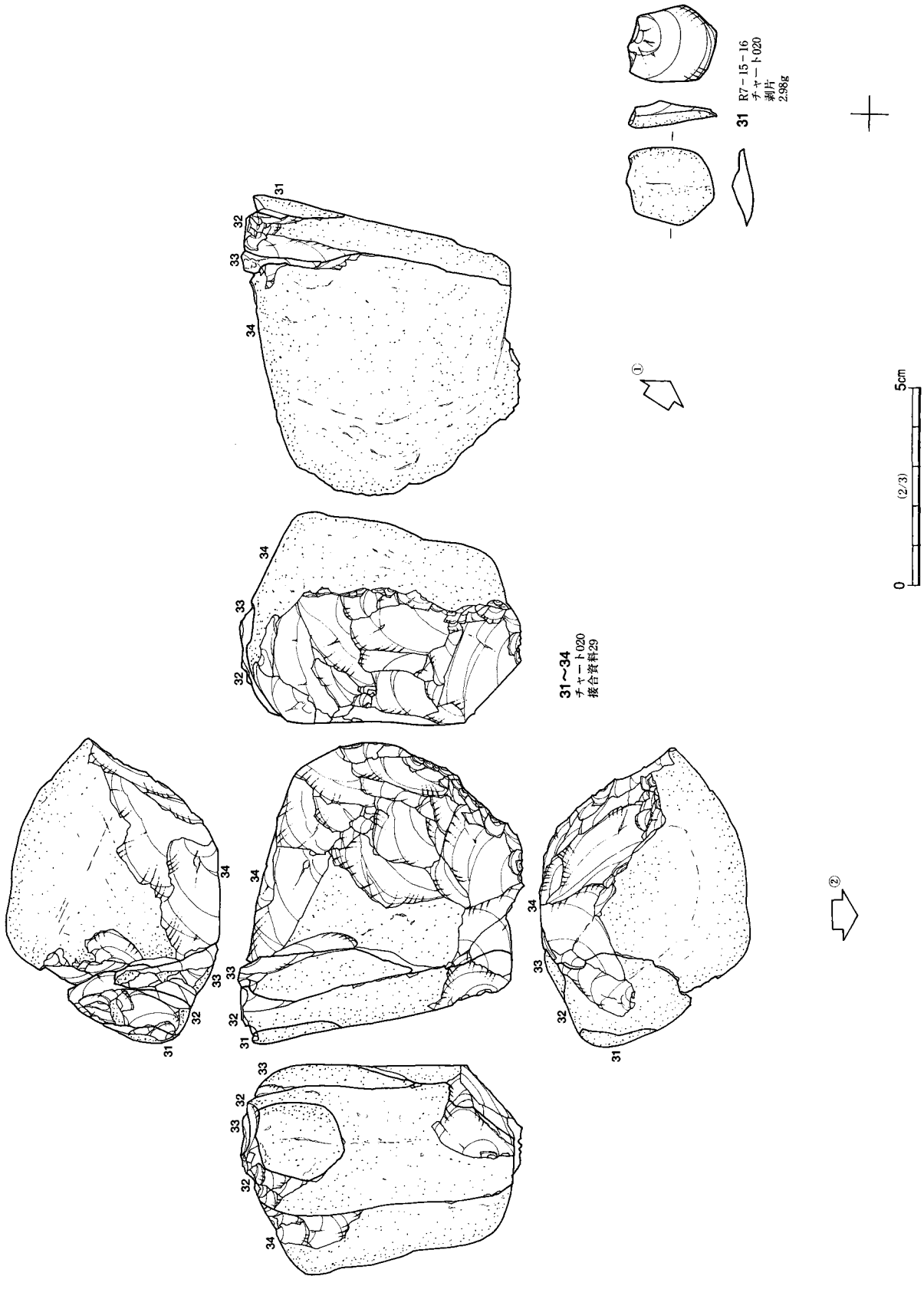
第52図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（3）



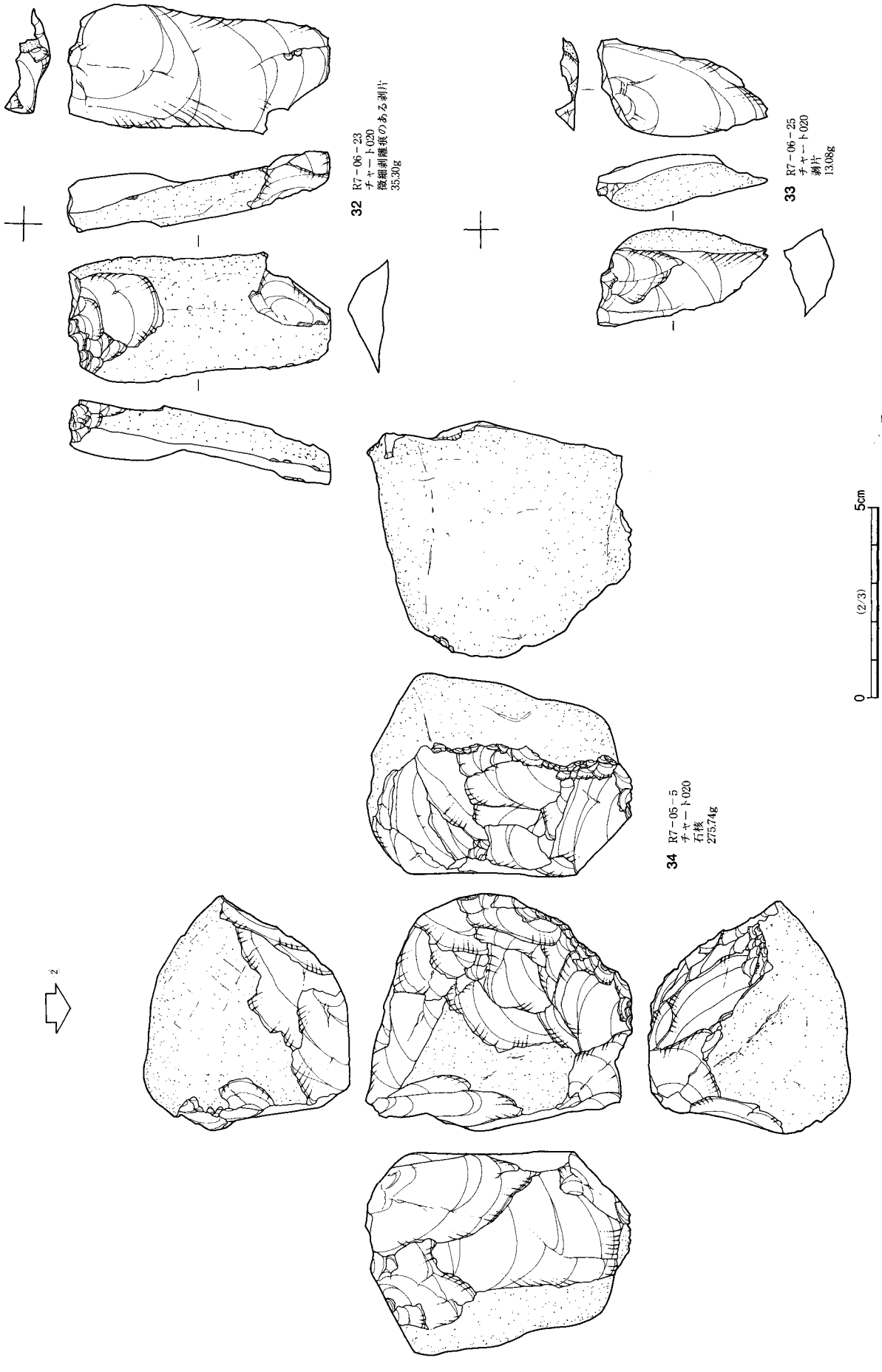
第53図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（4）



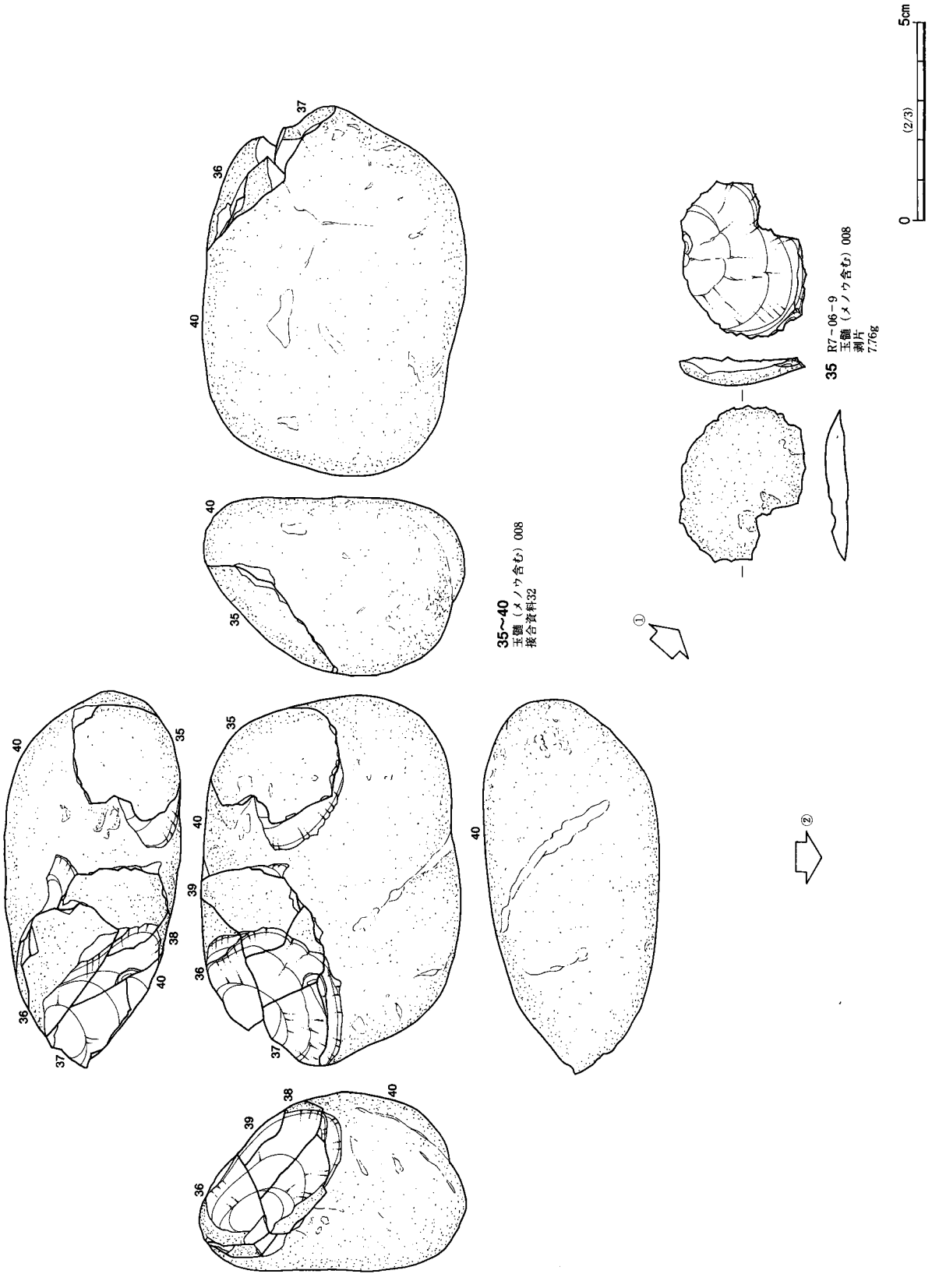
第54図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（5）



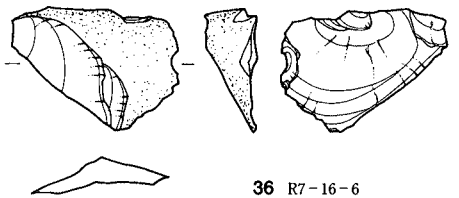
第55図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（6）



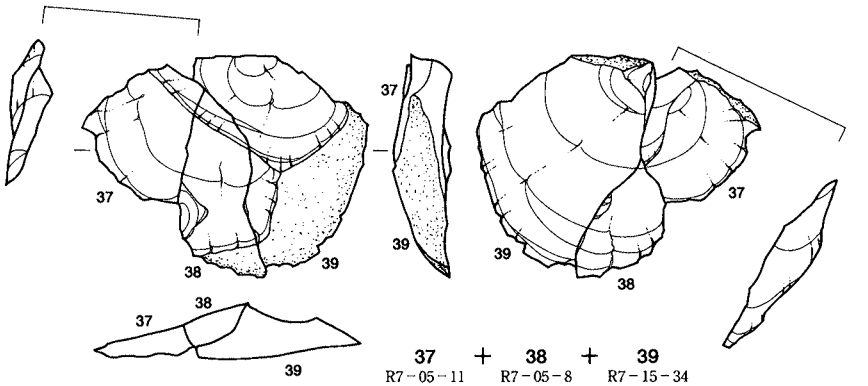
第56図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（7）



第57図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（8）



36 R7－16－6
玉髄（メノウ含む）008
剥片
5.05g



37 R7－05－11
3.50g
剥片

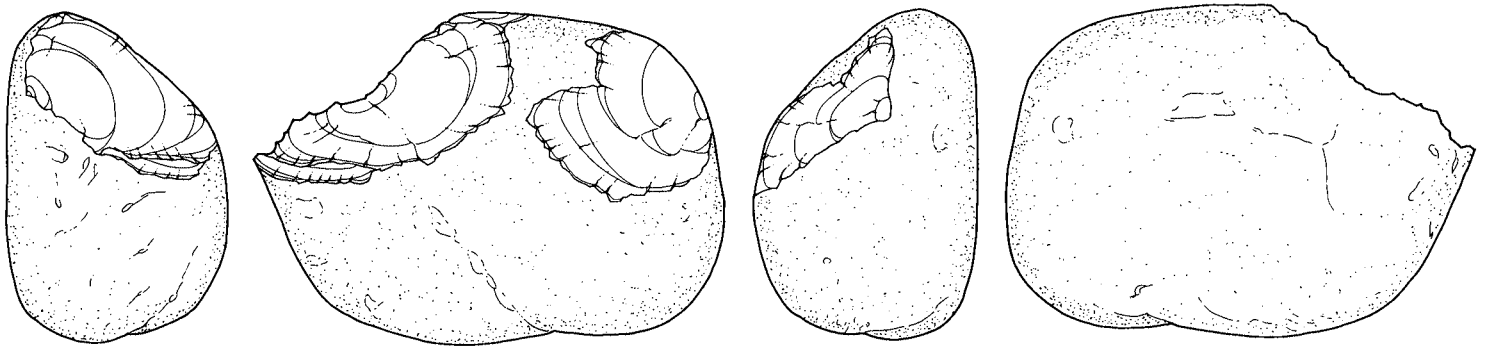
＋

38 R7－05－8
3.07g
剥片

＋

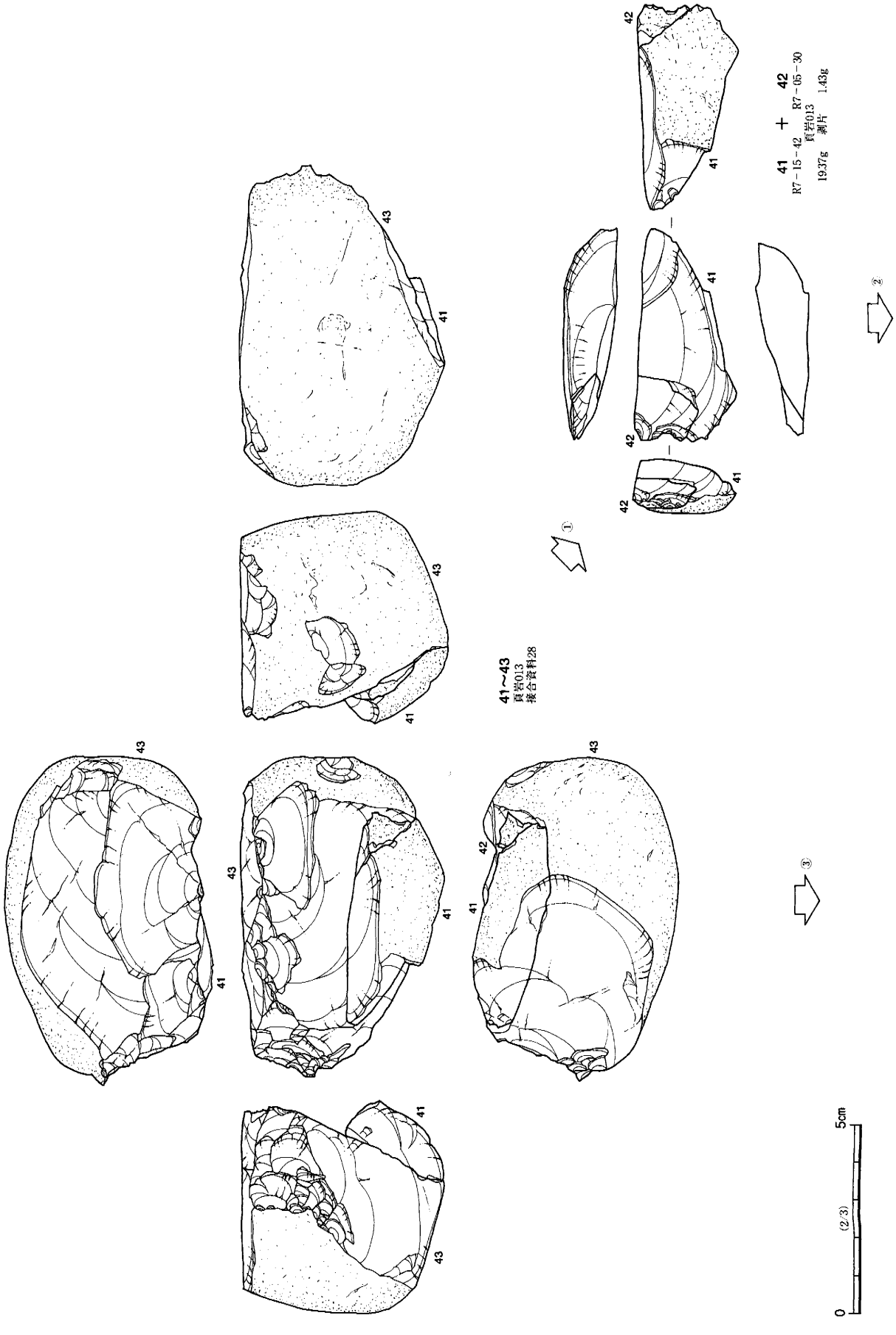
39 R7－15－34
13.13g
剥片

玉髄（メノウ含む）008

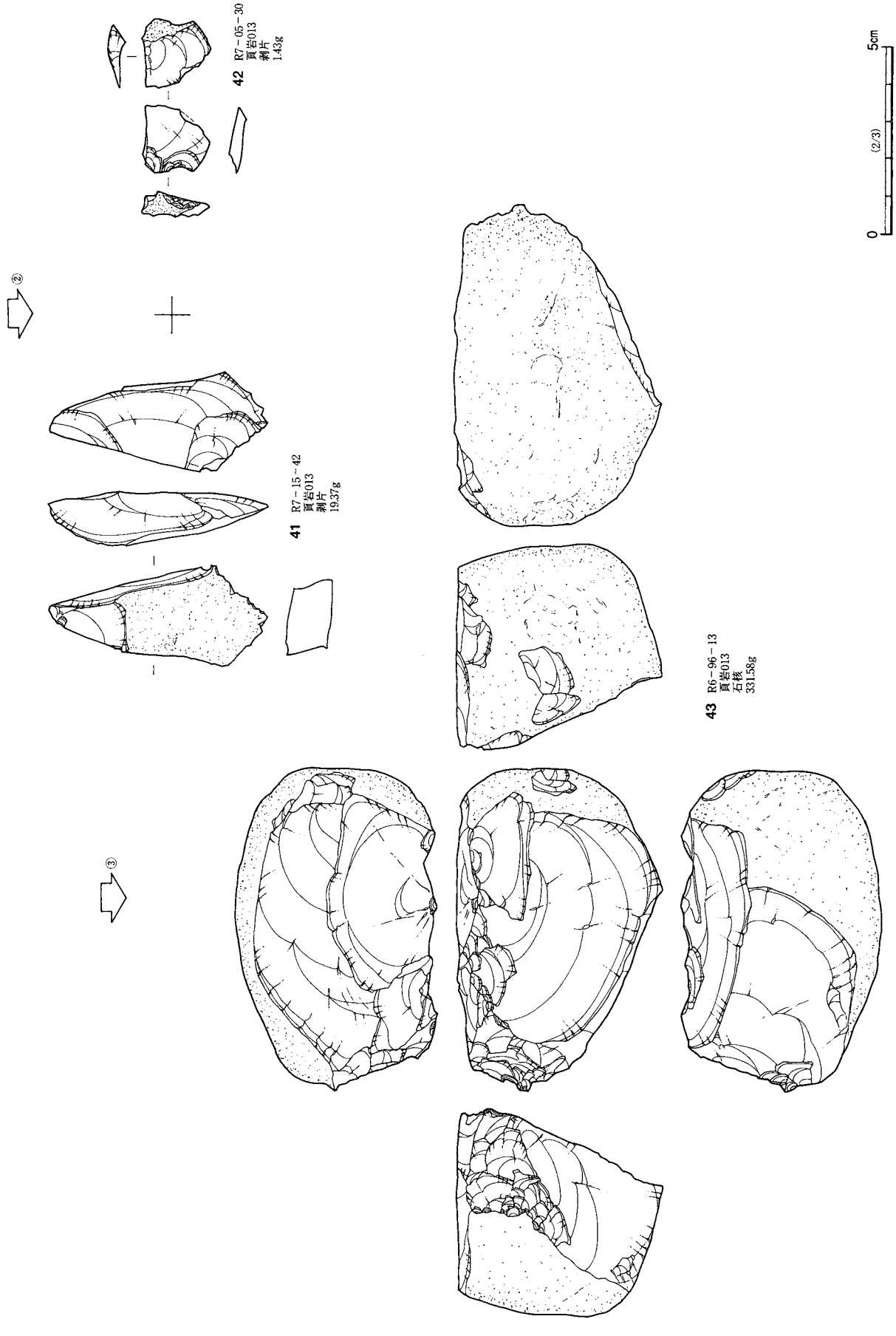


40 R7－05－21
玉髄（メノウ含む）008
石核
329.00g

0　(2/3)　5cm



第59図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（10）



第60図　第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック出土石器（11）

e．第５ブロック（第61～67図，第16・95・96表，図版24・27）

出土状況　平面分布は，約６ｍ×２ｍの長楕円形の範囲にやや密集して出土している。分布状況を細かくみると，ブロックの中心部に，遺物が密集しており，外周部はやや散漫に出土している。出土層位は，Ⅹａ層～Ⅸａ層上部にかけて出土しており，Ⅹａ層上部に集中する。

器種別分布（第61図）の特徴は，中心部の遺物の密集する場所において，19のような非常に大きな石核を含む８点の石核がまとまって出土している。それに対して，二次加工のある剥片や微細剥離痕のある剥片は，ブロックの外周部から出土している。

母岩別分布（第62図）の特徴は，接合資料20・23・33・34のように，ブロック間の接合資料が多くみられる。ブロック間の接合資料は，剥片を素材としたものが多く，ブロックの中心部に多く分布している。これらのことから，他のブロックで剥離された剥片を本ブロックにおいて，刃部再生などを行ったことを示していると思われる。

出土遺物　総計77点出土した。母岩器種組成は第16表のとおりである。器種組成の特徴は，製品の占める割合が極めて低く，二次加工のある剥片が５点出土するのみである。石核が９点出土しており，出土点数に対する比率（11.69％）が高い。母岩（石材）組成は，嶺岡産珪質頁岩の占める割合（70.13％）がきわめて高く，次にガラス質黒色安山岩・玉髄（メノウ含む）が用いられている。また，少量ではあるが，碧玉001は２点出土しているが，どちらも二次加工のある剥片であり，両者が接合している。

１～３は二次加工のある剥片である。１は良質の玉髄（メノウ含む）を石材として用いており，同一方向に連続的に剥離された幅広剥片を素材としている。末端部を背面から数回粗く成形後に，裏面右側面中部から上部にかけて連続的に細かい調整加工が施されている。２は幅広剥片を素材として，打面部側を折断した後に，腹面下半部と左側面上部に調整加工が施されている。３は厚みのある不定形な剥片を素材として，背面左側面を背腹両面から交互剥離を行っている。

４は細長剥片である。同一方向から連続的に剥離された資料である。

５～８は石核である。いずれも，分割した分厚い剥片を素材として，打面を頻繁に転移して，サイコロ状の形態を呈する。５は分割面を打面として，正面から１・２枚の剥片を剥離している。６は分割された剥片を左側面からさらに分割して，正面上部と右側縁上部から剥片を剥離している。７は左側面が分割面で，上部と下部を大きな剥離で成形後に，打面を上端部に設定して，小型の貝殻状の剥片を数枚剥離している。８は分割した面は残存していないが，おそらく分割した剥片を素材としているものと思われる。下端部から剥離後は，180度打面を転移して，自然面を打面として，同一方向に連続的に剥離している。

９～18は接合資料36・37・20・35である。

９＋10は接合資料36である。良質の碧玉（赤玉）を石材として用いている。二次加工のある剥片が接合した資料である。９は幅広の剥片を素材として，打面部を折断によって成形後に，基部にやや粗い調整加工が施され，左側縁下部と右側縁に調整加工が施されている。10は平坦打面の幅広の剥片を素材として，左側縁に調整加工が施されている。裏面右上部は発掘時のガジリ痕である。

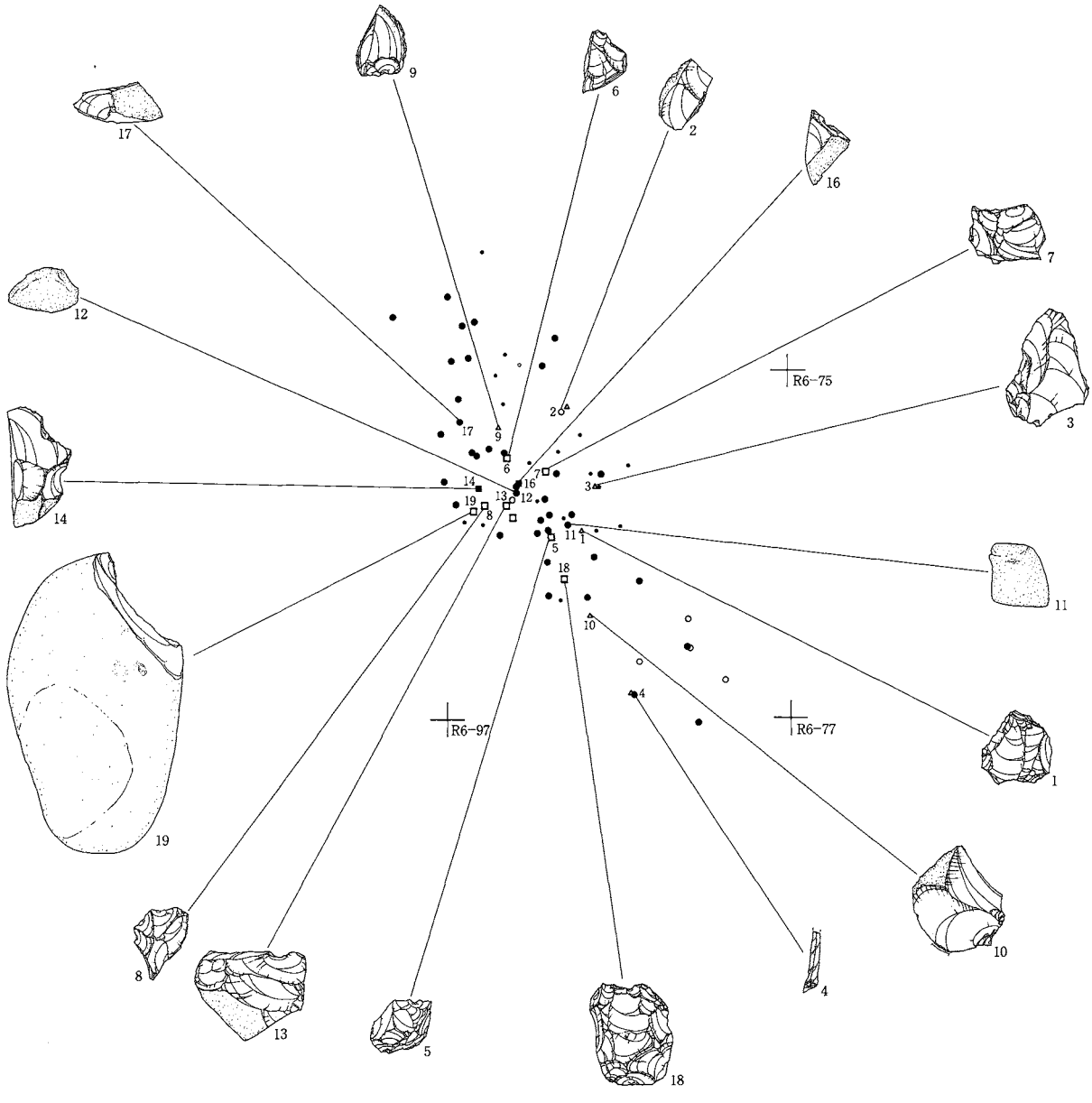
11～13は接合資料37である。扁平な楕円形礫を素材として，上端部を正面側から大きく分割して打面を作出した後に，裏面から横長剥片を５・６枚剥離している。その後，裏面下端部から自然面を打面として，11と12の剥片を剥離している。

14～16は接合資料20である。14～16の状態で，左側縁下部から上端部にかけて，微細剥離痕が非常に顕

第16表　第Ⅰa文化層Aユニット 第5ブロック母岩器種組成表

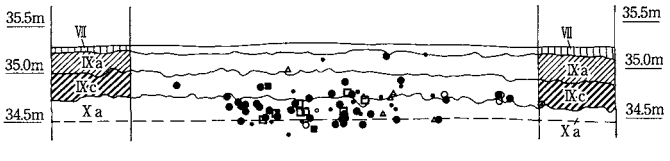
母岩名	母岩番号	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
ガラス質黒色安山岩	005			1 38.9					1 38.9	1.30 1.62
	010				1 0.67				1 0.67	1.30 0.03
	012				1 3.79				1 3.79	1.30 0.16
	013					1 0.48			1 0.48	1.30 0.02
ガラス質黒色安山岩 点数合計				1	2	1			4	5.19
ガラス質黒色安山岩 重量合計				38.9	4.46	0.48			43.84	1.83
トロトロ石(安山岩)	001				1 0.36	1 0.58			2 0.94	2.60 0.04
トロトロ石(安山岩) 点数合計					1	1			2	2.60
トロトロ石(安山岩) 重量合計					0.36	0.58			0.94	0.04
流紋岩	016							1 14	1 14	1.30 0.58
	017							1 24	1 24	1.30 1.00
流紋岩 点数合計								2	2	2.60
流紋岩 重量合計								38	38	1.59
碧玉(赤玉)	001	2 13.52							2 13.52	2.60 0.56
碧玉(赤玉) 点数合計		2							2	2.60
碧玉(赤玉) 重量合計		13.52							13.52	0.56
珪質頁岩	007				2 7.2	2 1.76			4 8.96	5.19 0.37
珪質頁岩 点数合計					2	2			4	5.19
珪質頁岩 重量合計					7.2	1.76			8.96	0.37
嶺岡産珪質頁岩	048				1 4.54				1 4.54	1.30 0.19
	049			1 42.76					1 42.76	1.30 1.79
	064				1 3.25				1 3.25	1.30 0.14
	065		2 10.72						2 10.72	2.60 0.45
	069				1 5.77				1 5.77	1.30 0.24
	080			1 1886					1 1886	1.30 78.73
	081	1 26.9		2 10.91	3 5.89	1 0.98			7 44.68	9.09 1.87
	082			1 32.36	1 6.15				2 38.51	2.60 1.61
	083	1 13.68			18 47.69	12 6.83			31 68.2	40.26 2.85
	084			1 27.37	2 9.74				3 37.11	3.90 1.55
	085			1 15.18					1 15.18	1.30 0.63
	086			1 5.73	1 5.1				2 10.83	2.60 0.45
	087				1 6.3				1 6.3	1.30 0.26
嶺岡産珪質頁岩 点数合計		2	2	8	29	13			54	70.13
嶺岡産珪質頁岩 重量合計		40.58	10.72	2020.31	94.43	7.81			2173.85	90.75
チャート	030							1 15	1 15	1.30 0.63
	031							1 26	1 26	1.30 1.09
チャート 点数合計								2	2	2.60
チャート 重量合計								41	41	1.71
玉髄(メノウ含む)	009				1 8				1 8	1.30 0.33
	011				1 2.95				1 2.95	1.30 0.12
	012				1 4.25				1 4.25	1.30 0.18
	013	1 4.84							1 4.84	1.30 0.20
玉髄(メノウ含む) 点数合計		1			3				4	5.19
玉髄(メノウ含む) 重量合計		4.84			15.2				20.04	0.84
砂岩	008							1 18	1 18	1.30 0.75
	009							1 15	1 15	1.30 0.63
	010						1 22.35		1 22.35	1.30 0.93
砂岩 点数合計							1	2	3	3.90
砂岩 重量合計							22.35	33	55.35	2.31
全体の点数合計		5	2	9	37	17	1	6	77	100.00
全体の重量合計		58.94	10.72	2059.21	121.65	10.63	22.35	112	2395.5	100.00
点数組成比(%)		6.49	2.60	11.69	48.05	22.08	1.30	7.79	100.00	
重量組成比(%)		2.46	0.45	85.96	5.08	0.44	0.93	4.68	100.00	

〔上段:点数、 下段:重量(g)〕

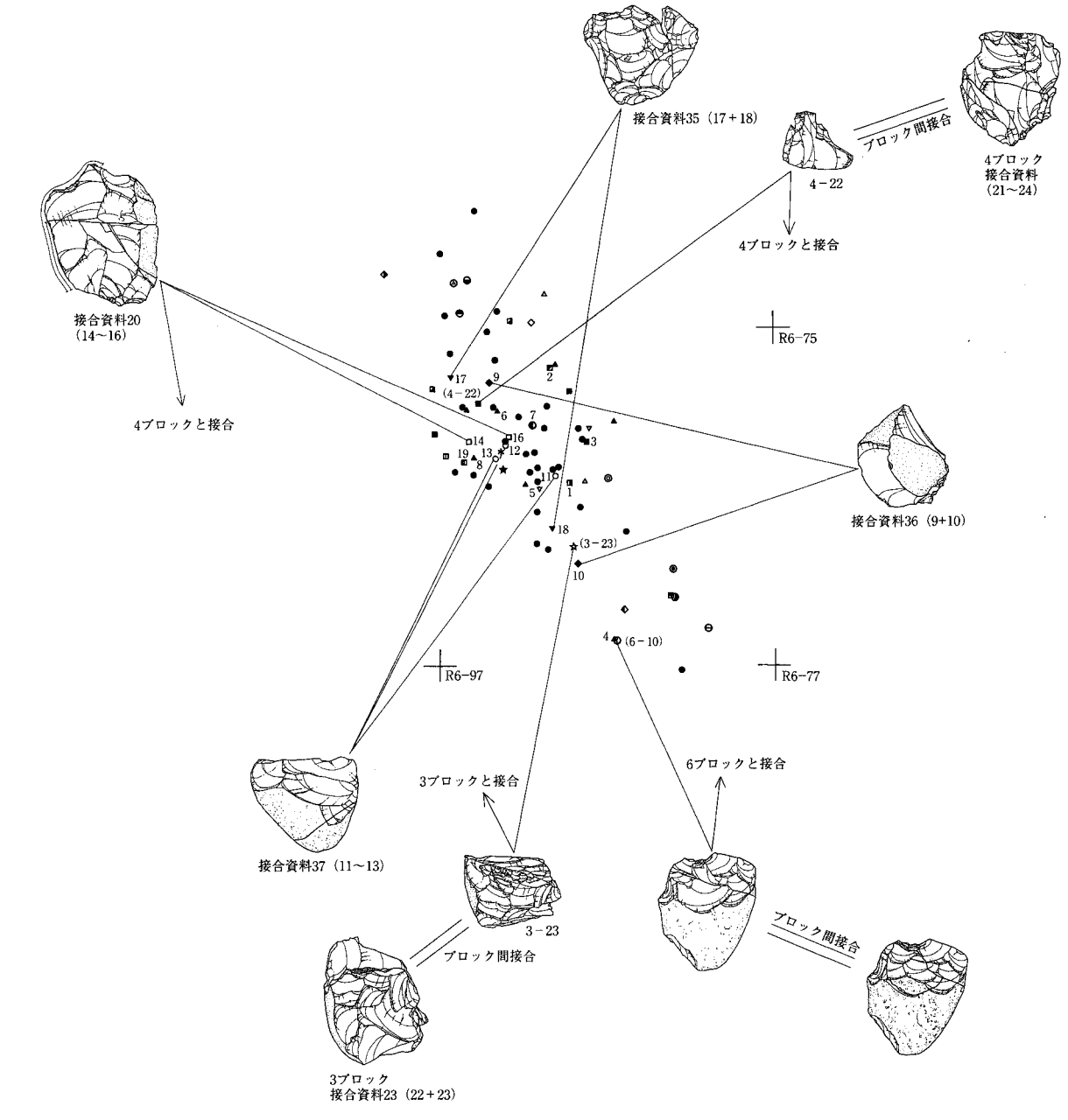


▲ 二次加工のある剥片
■ 微細剥離痕のある剥片
□ 石核
● 剥片
• 砕片
◦ 礫片
○ 礫

0 (1/80) 4m

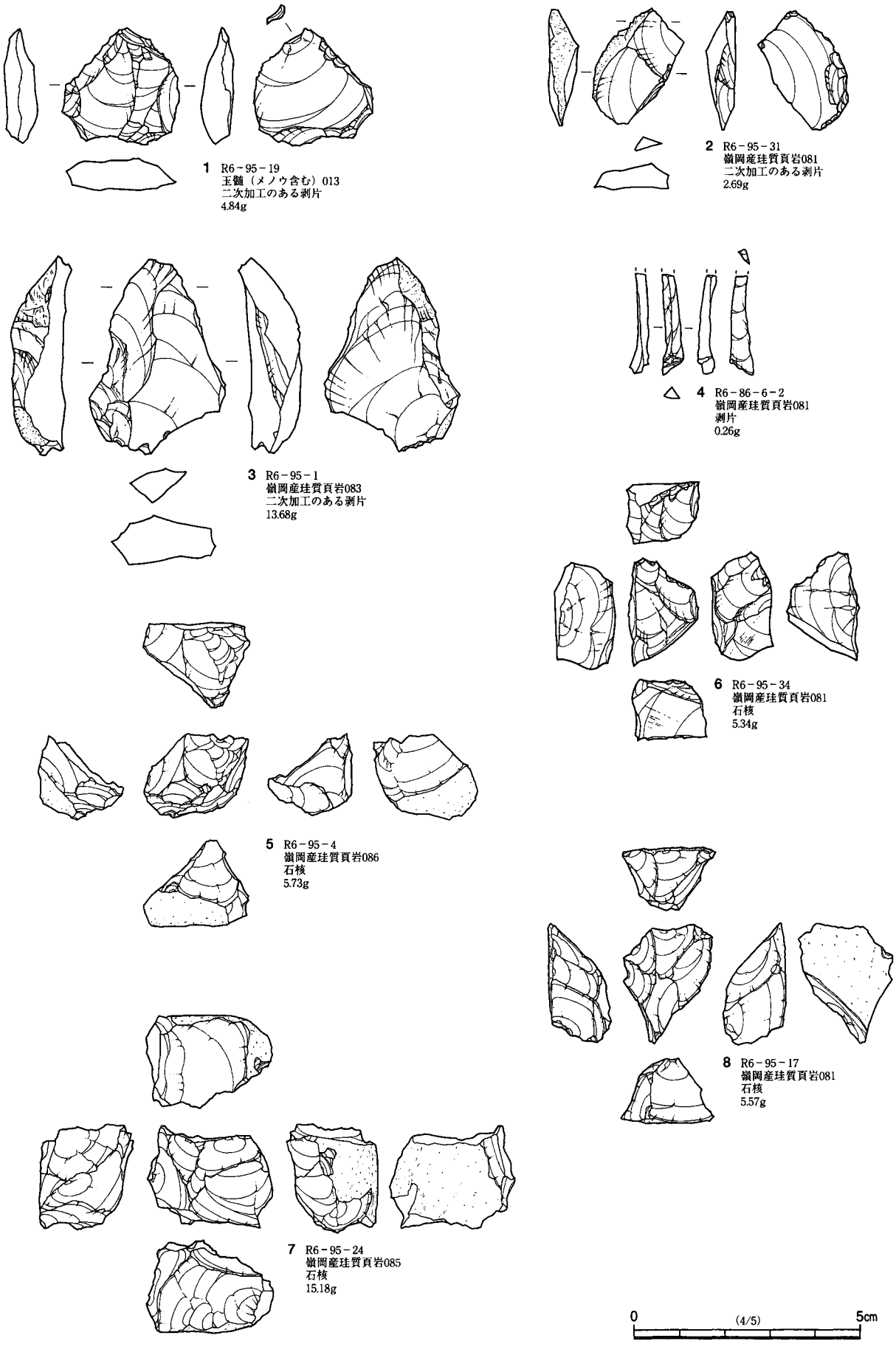


第61図　第Ⅰa文化層Aユニット 第5ブロック器種別分布図

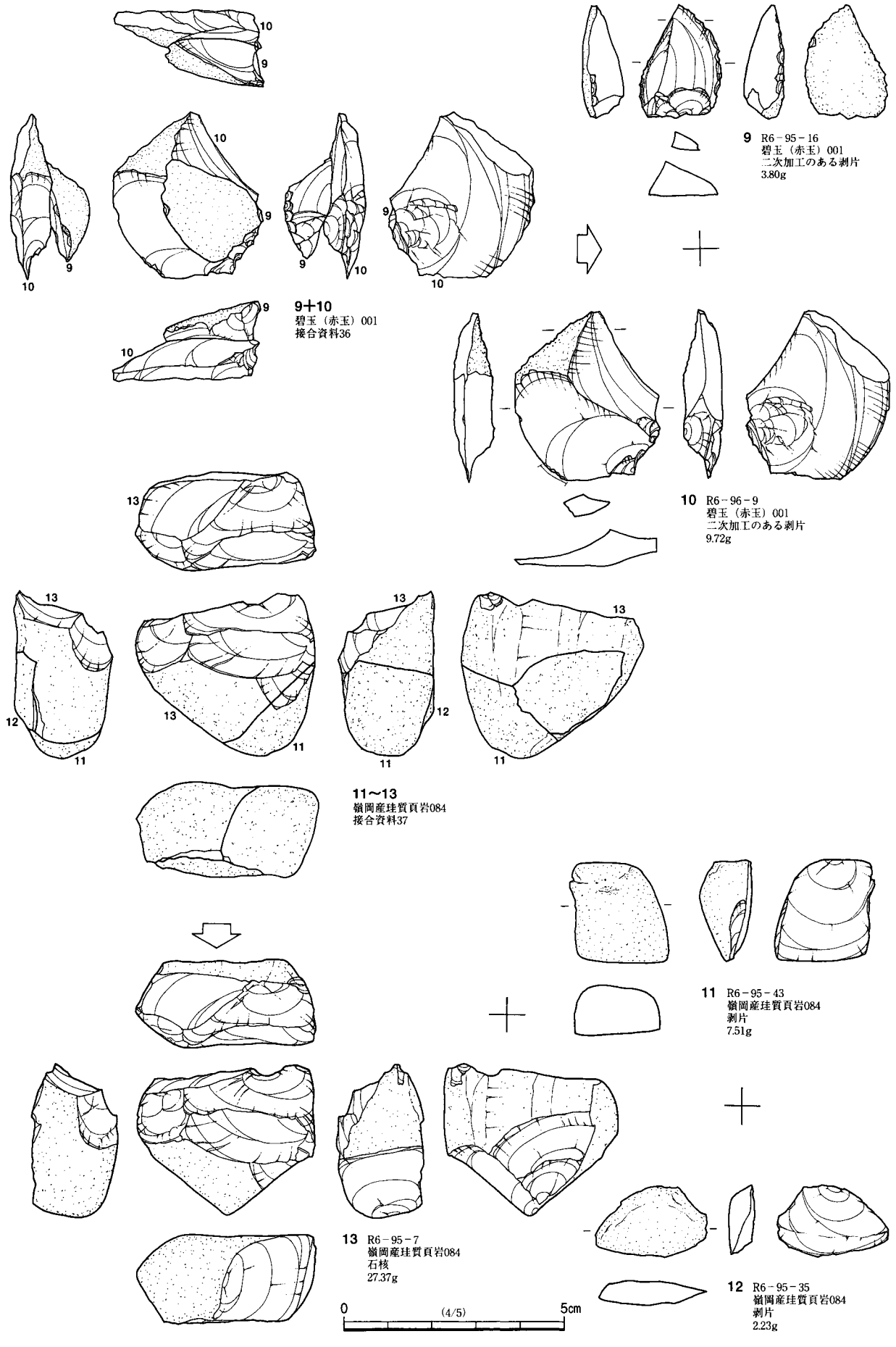


◇ガラス質黒色安山岩012　★嶺岡産珪質頁岩049　○嶺岡産珪質頁岩084　◆玉髄（メノウ含む）009
◎ガラス質黒色安山岩011　◘嶺岡産珪質頁岩064　◐嶺岡産珪質頁岩085　◘玉髄（メノウ含む）011
◐ガラス質黒色安山岩005　□嶺岡産珪質頁岩065　▽嶺岡産珪質頁岩086　＊砂岩008
◉ガラス質黒色安山岩010　◓嶺岡産珪質頁岩069　▪嶺岡産珪質頁岩087　◆砂岩009
▲トロトロ石（安山岩）001　▪嶺岡産珪質頁岩080　◑チャート030　◘砂岩010
◉流紋岩016　▲嶺岡産珪質頁岩081　◘チャート031　■珪質頁岩007
⊖流紋岩017　▼嶺岡産珪質頁岩082　◓玉髄（メノウ含む）012　◆碧岩（赤玉）001
★嶺岡産珪質頁岩048　●嶺岡産珪質頁岩083　◘玉髄（メノウ含む）013

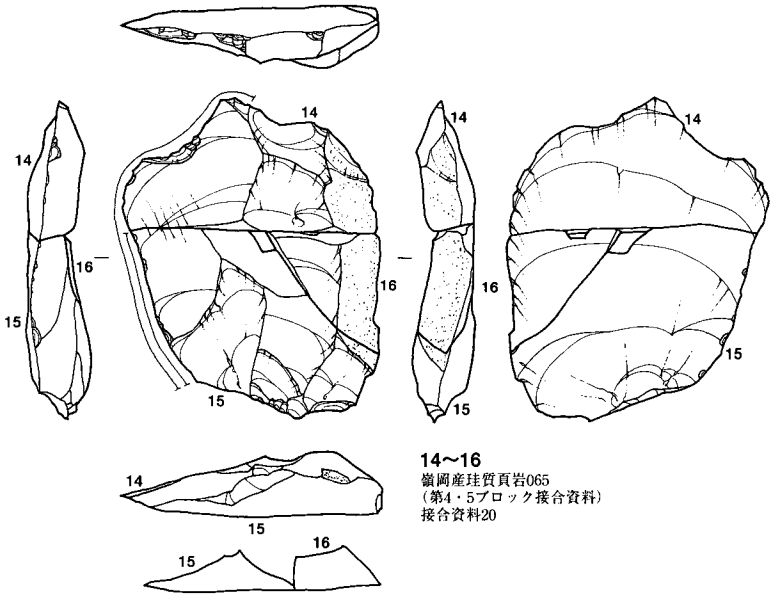
第62図　第Ⅰa文化層Aユニット 第5ブロック母岩別分布図



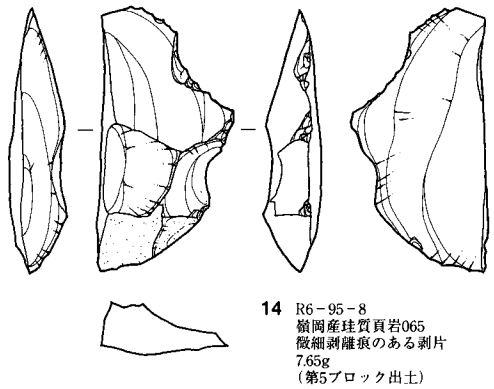
第63図　第Ⅰa文化層Aユニット 第5ブロック出土石器（1）



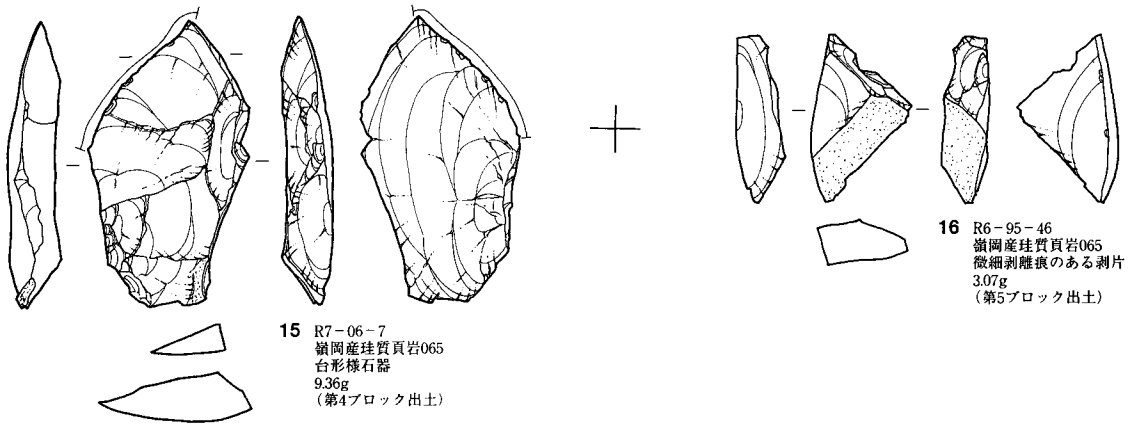
第64図　第Ⅰa文化層Aユニット 第5ブロック出土石器（2）



14～16
嶺岡産珪質頁岩065
（第4・5ブロック接合資料）
接合資料20



14 R6－95－8
嶺岡産珪質頁岩065
微細剥離痕のある剥片
7.65g
（第5ブロック出土）

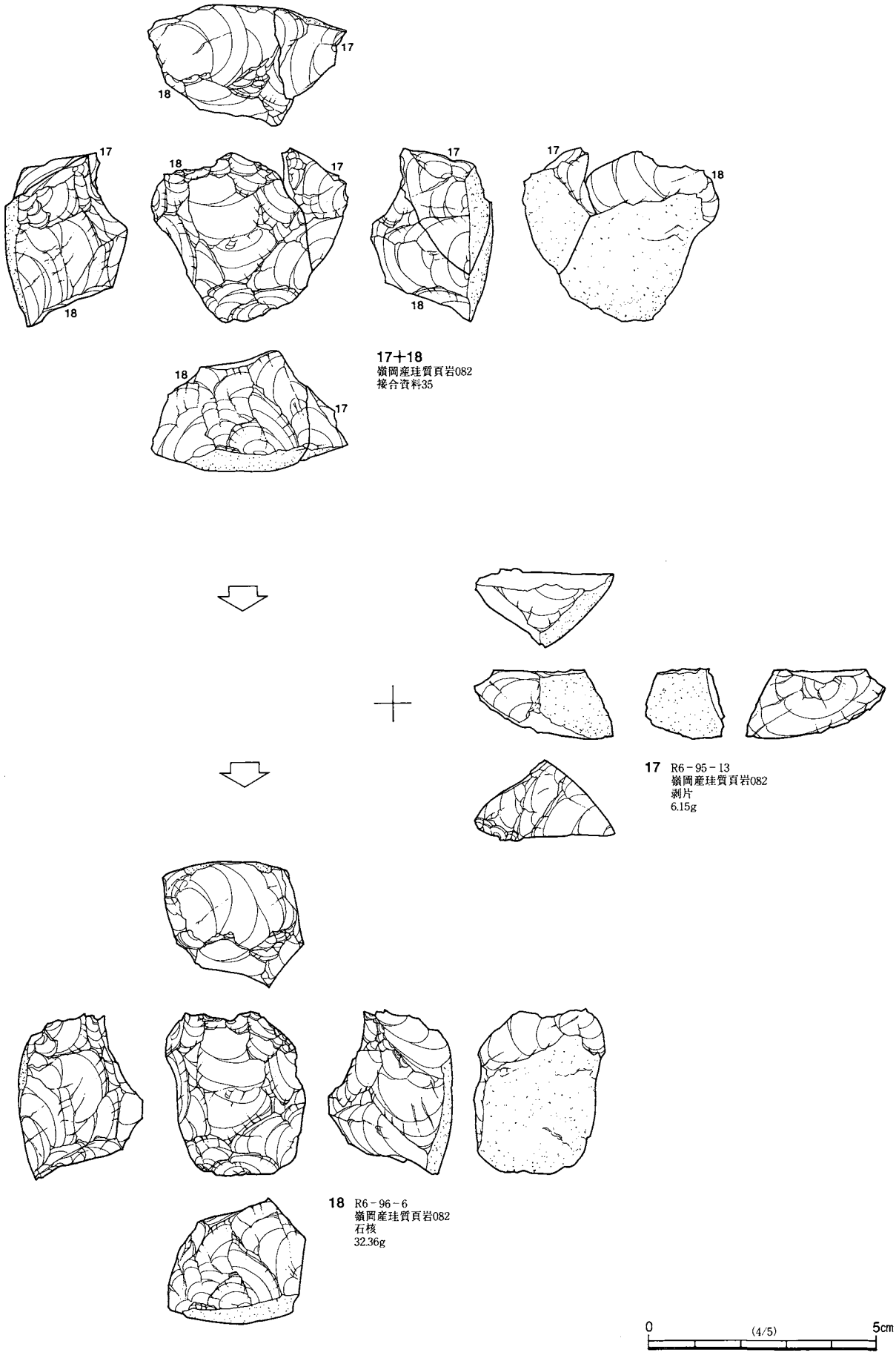


15 R7－06－7
嶺岡産珪質頁岩065
台形様石器
9.36g
（第4ブロック出土）

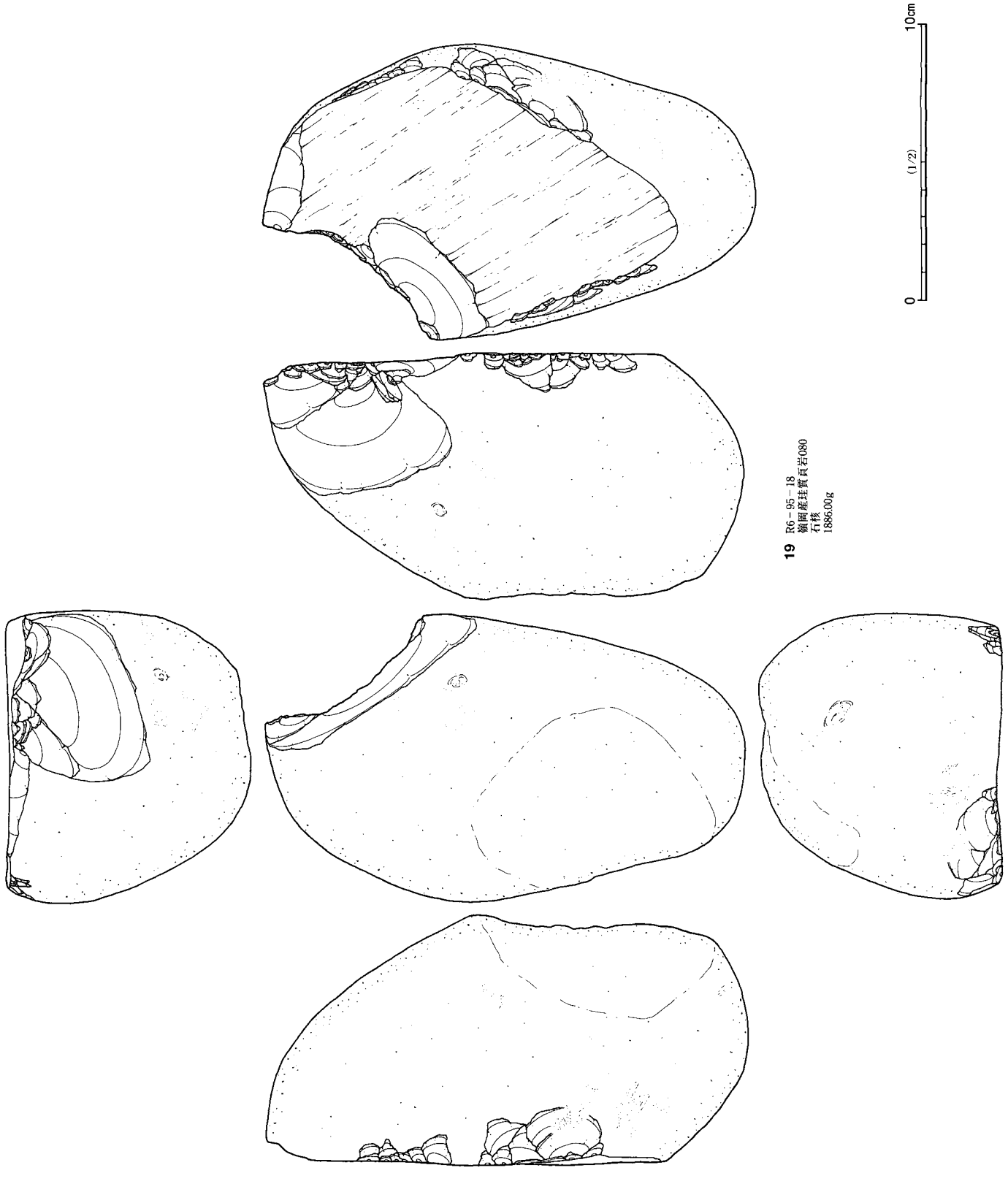
16 R6－95－46
嶺岡産珪質頁岩065
微細剥離痕のある剥片
3.07g
（第5ブロック出土）

0 (4/5) 5cm

第65図　第Ⅰa文化層Aユニット 第5ブロック出土石器（3）



第66図　第Ⅰa文化層Aユニット 第5ブロック出土石器（4）



第67図　第Ⅰa文化層Aユニット 第5ブロック出土石器（5）

著な剥片である。特に，左側縁上端部の微細剥離痕は非常に顕著で連続的な剥離となっている。その後，この微細剥離痕のある剥片を14～16に３分割している。

この分割された剥片のうち，15は非常に注目される特徴を持っている。15は左側縁上半部から先端部にかけて，微細剥離痕が背面と腹面の両方にみられる。この微細剥離痕は，14～16の接合した状態での微細剥離痕と重複するもので，15はさらに顕著な微細剥離痕がみられ，14～16の状態では，腹面には微細剥離痕がみらなかったが，15の状態では腹面と先端部に微細剥離痕が顕著に残されている。また，14～16の接合した状態で，14と15の連続的にみられる微細剥離痕には，15の微細剥離痕の方が，素材をさらに剥離した痕跡がみられ，接合した状態で，14と15の境にわずかに段差がみられる。しかも，肉眼観察ではあるが，15の資料の腹面には光沢がみられ，15の状態で非常に顕著な使用が行われたことがうかがわれる。15は右側縁中央部に調整加工がみられることから，台形様石器として識別した。14～16の縦長剥片を素材として，分割して成形後に，台形様石器を製作している過程がうかがえる貴重な接合資料といえよう。

17＋18は接合資料35である。分割した分厚い剥片を素材として，まず，下端部右側から２・３枚の剥片を剥離した後に，打面を180度転移して上端部に設定している。上端部を右側縁と左側縁から大きく剥離して，打面を作出して，17の剥片を含めて５・６枚の小型の剥片を剥離している。その後，再度打面を180度転移して下端部に打面を設定して，下端部左側に４・５枚の小型の剥片を剥離している。最終的な残核の形状は，裏面に自然面を大きく残すものの，サイコロ状の形状を呈するものになっている。

19は非常に大きな石核である。比較的粗悪な嶺岡産珪質頁岩を石材として用いている。石核として識別したが，非常に大きな原石を用いており，剥片も原石が大きい割には，それほど多く剥離されていないことから，礫器の可能性もある。正面右上部に，裏面にある節理面に１枚の横長剥片を剥離した後に，打面を180度転移して，表面に横長の剥片が数枚剥離されている。節理面の縁辺には，小型の剥離面がみられ，この剥離によって小型の剥片が剥離されたことも考えられるが，非常に薄い剥片が剥離されていることから，おそらく，目的的な剥片は剥離されなかったものと思われる。また，正面平坦部に敲打痕や数条の擦痕がみられる。このことから，台石の可能性もある。このように，19については，石核として識別したが，非常に大型であることから，礫器，あるいは，台石である可能性も考えられる資料である。

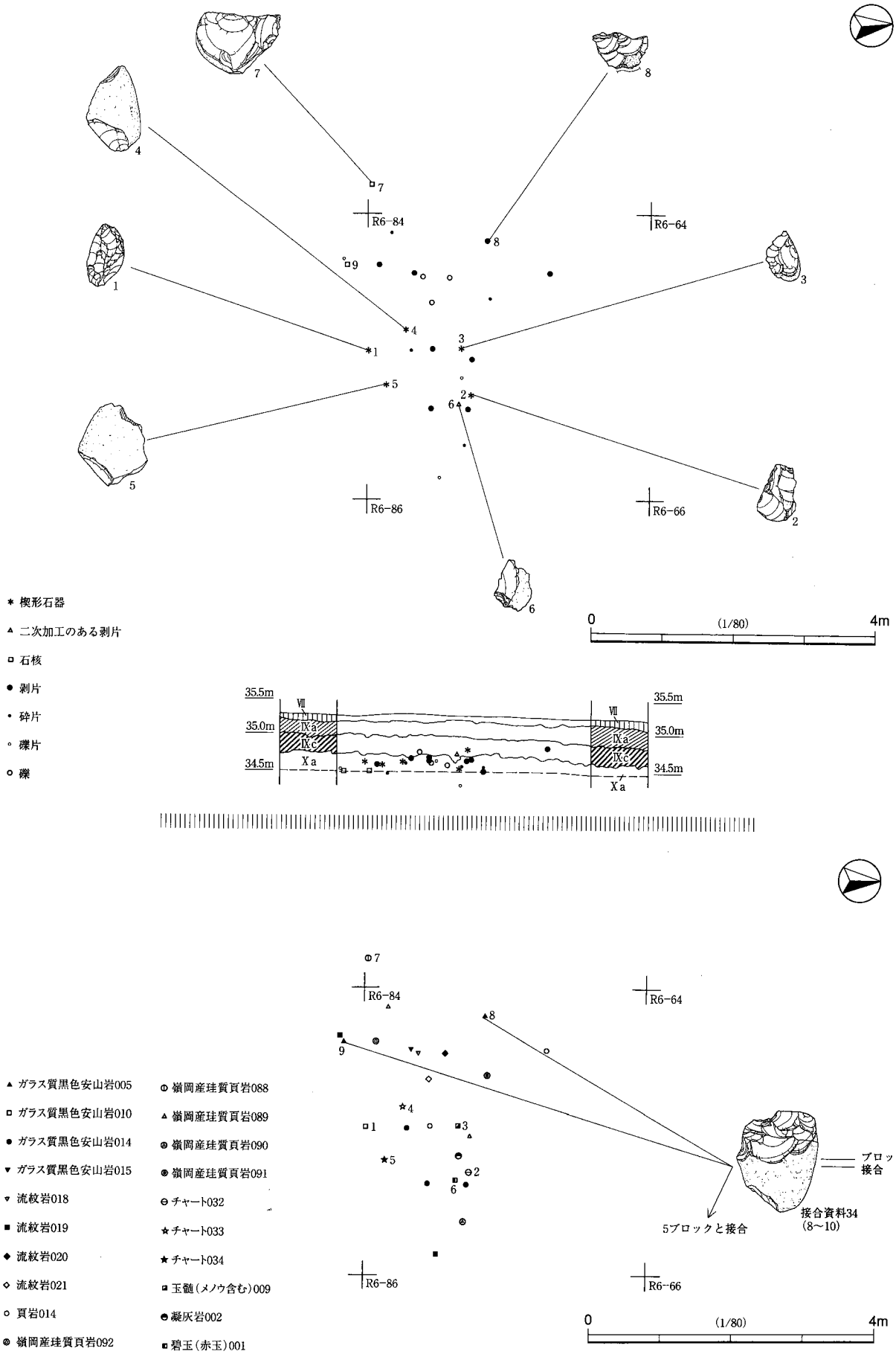
ｆ．第６ブロック（第68～70図，第17・96表，図版24・27）

出土状況　平面分布は，約４ｍ×３ｍの小範囲に散漫にして出土している。出土層位は，Ⅹa層～Ⅸc層下部にかけて出土し，Ⅹa層に集中する。

器種別分布（第68図）の特徴は，ブロックの中心部に，礫片・礫がまとまって出土しており，その周りを取り囲むように，楔形石器・二次加工のある剥片等の石器類が分布している。

母岩別分布（第68図）の特徴は，母岩別には，単品のものがほとんどである。そのうち比較的多くの石器で構成されているガラス質黒色安山岩005は，西部から出土しており，第５ブロックと接合関係のある資料である。

出土遺物　総計26点出土した。母岩器種組成は第17表のとおりである。器種組成の特徴は，製品の比率が極めて低く，楔形石器５点，二次加工のある剥片１点である。楔形石器は，出土点数に対する比率（19.23%）が高い。母岩（石材）組成は，ガラス質黒色安山岩・嶺岡産珪質頁岩・流紋岩という順に用いられている。出土点数が少ないが，他のブロックでは，嶺岡産珪質頁岩が半数以上のブロックがほとんど

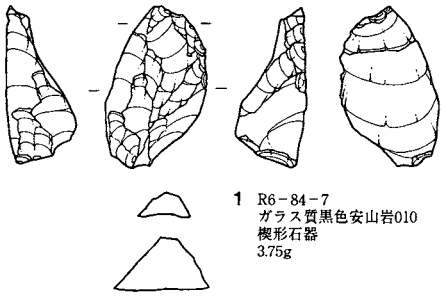


第68図　第Ⅰa文化層Aユニット 第6ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図

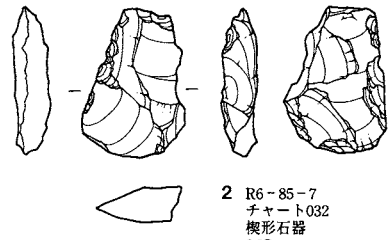
第17表　第Ⅰa文化層Aユニット 第6ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	楔形石器	二次加工のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
ガラス質黒色安山岩	005			1 13.12	1 3.46				2 16.58	7.69 5.98
	010	1 3.75							1 3.75	3.85 1.35
	014				2 4.34	1 0.34			3 4.68	11.54 1.69
	015				1 4.89				1 4.89	3.85 1.76
ガラス質黒色安山岩 点数合計 ガラス質黒色安山岩 重量合計		1 3.75		1 13.12	4 12.69	1 0.34			7 29.9	26.92 10.78
流紋岩	018							1 111	1 111	3.85 40.01
	019						2 0.89		2 0.89	7.69 0.32
	020							1 13	1 13	3.85 4.69
	021							1 0.45	1 0.45	3.85 0.16
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計							2 0.89	3 124.45	5 125.34	19.23 45.18
碧玉(赤玉)	001		1 1.91						1 1.91	3.85 0.69
碧玉(赤玉) 点数合計 碧玉(赤玉) 重量合計			1 1.91						1 1.91	3.85 0.69
頁岩	014				2 10.16				2 10.16	7.69 3.66
頁岩 点数合計 頁岩 重量合計					2 10.16				2 10.16	7.69 3.66
嶺岡産珪質頁岩	042				1 6.67				1 6.67	3.85 2.40
	088			1 32.54					1 32.54	3.85 11.73
	089				1 3.75	1 1.67			2 5.42	7.69 1.95
	090					1 0.39			1 0.39	3.85 0.14
	091					1 0.42			1 0.42	3.85 0.15
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計				1 32.54	2 10.42	3 2.48			6 45.44	23.08 16.38
チャート	032	1 2.37							1 2.37	3.85 0.85
	033	1 10.69							1 10.69	3.85 3.85
	034	1 11.81							1 11.81	3.85 4.26
チャート 点数合計 チャート 重量合計		3 24.87							3 24.87	11.54 8.96
玉髄(メノウ含む)	009	1 2.27							1 2.27	3.85 0.82
玉髄(メノウ含む) 点数合計 玉髄(メノウ含む) 重量合計		1 2.27							1 2.27	3.85 0.82
凝灰岩	002						1 37.56		1 37.56	3.85 13.54
凝灰岩 点数合計 凝灰岩 重量合計							1 37.56		1 37.56	3.85 13.54
全体の点数合計 全体の重量合計		5 30.89	1 1.91	2 45.66	8 33.27	4 2.82	3 38.45	3 124.45	26 277.45	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		19.23 11.13	3.85 0.69	7.69 16.46	30.77 11.99	15.38 1.02	11.54 13.86	11.54 44.85	100.00 100.00	

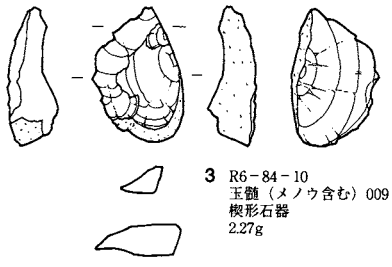
［上段:点数、 下段:重量(g)］



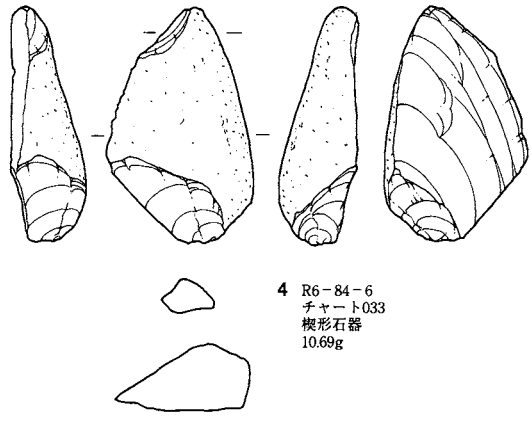
1 R6－84－7
ガラス質黒色安山岩010
楔形石器
3.75g



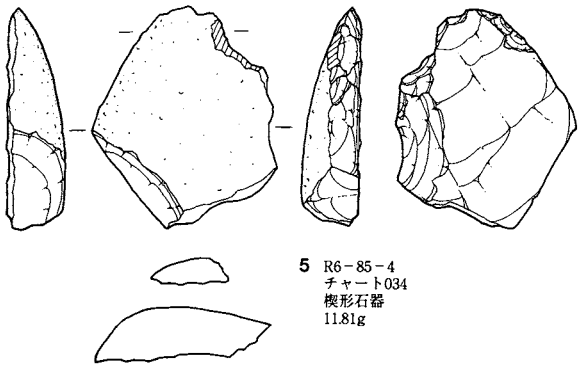
2 R6－85－7
チャート032
楔形石器
2.37g



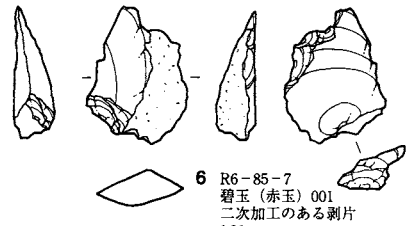
3 R6－84－10
玉髄（メノウ含む）009
楔形石器
2.27g



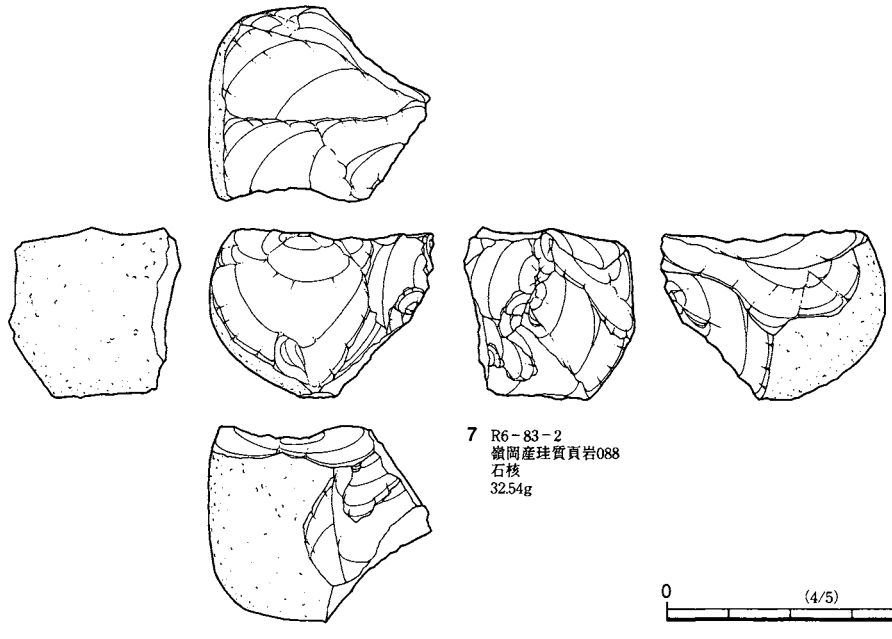
4 R6－84－6
チャート033
楔形石器
10.69g



5 R6－85－4
チャート034
楔形石器
11.81g



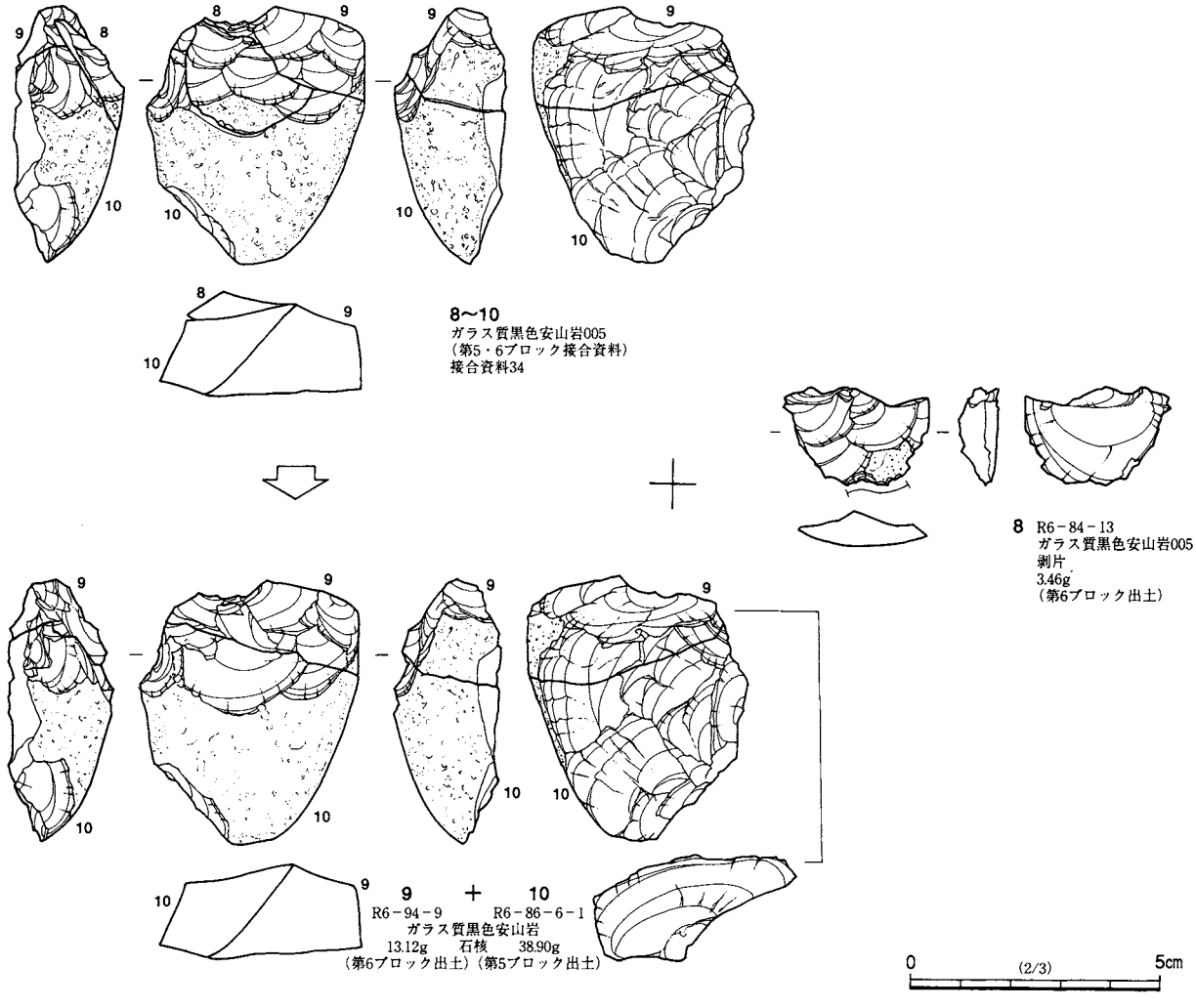
6 R6－85－7
碧玉（赤玉）001
二次加工のある剥片
1.91g



7 R6－83－2
嶺岡産珪質頁岩088
石核
32.54g

0 (4/5) 5cm

第69図　第Ⅰa文化層Aユニット 第6ブロック出土石器（1）



第70図　第Ⅰa文化層Aユニット 第6ブロック出土石器（2）

である中で，石材構成がやや異なる。チャートは3点のみの出土であるが，すべて楔形石器で単独母岩出土であるという特徴がある。

1～5は楔形石器である。1・2は両極剥離によって剥離された剥片を素材として，さらに，両極剥離によって調整された石器である。3は横長剥片を素材として，打面部と末端部から両極剥離が行われている。4・5は背面に自然面を大きく残した剥片を素材として，4は上下両端部から両極剥離が行われており，5は右側縁と左側縁下部から両極剥離を行っている。

6は不定形の剥片の末端部に調整加工が施された二次加工のある剥片である。

7は石核である。上面は3回の大きな剥離した後に，右側縁を裏面にかけて2・3枚の剥片を剥離している。最後に，上端を打面として設定して，横長剥片を数枚剥離している。打面転移の非常に頻繁な石核で，最終形状はサイコロ状の形態を呈する。

9＋10は接合資料34である。分割した厚みのある剥片を素材として，裏面右側縁と上端部から横長剥片を剥離した後に，表面上端部から連続的に小型の横長剥片を6・7枚剥離後に，さらに剥離を行って，8の横長剥片が剥離され，最終的に，9と10に残核が分割されて，その後には剥離が行われていない。

②Bユニット（第11・71図，第18表）

Bユニットの概要　Bユニットは，第7～13ブロックの7ブロックで構成される。Aユニット同様に，第71図のように，ブロック間の接合も頻繁にみられる。南北20m，東西10m（推定20m）の円形のブロック群である。東側の調査区外に遺物が広がることが想定され，いわゆる環状ブロックとして捉えることができる。

出土点数は，556点（総重量7,548.50ｇ）である。Aユニットに比べて出土点数が少ないが，Bユニットは，調査区外の東側にも遺物が広がることが想定され，おそらく，Aユニットと同形態の環状ブロックを形成していたと想定される。

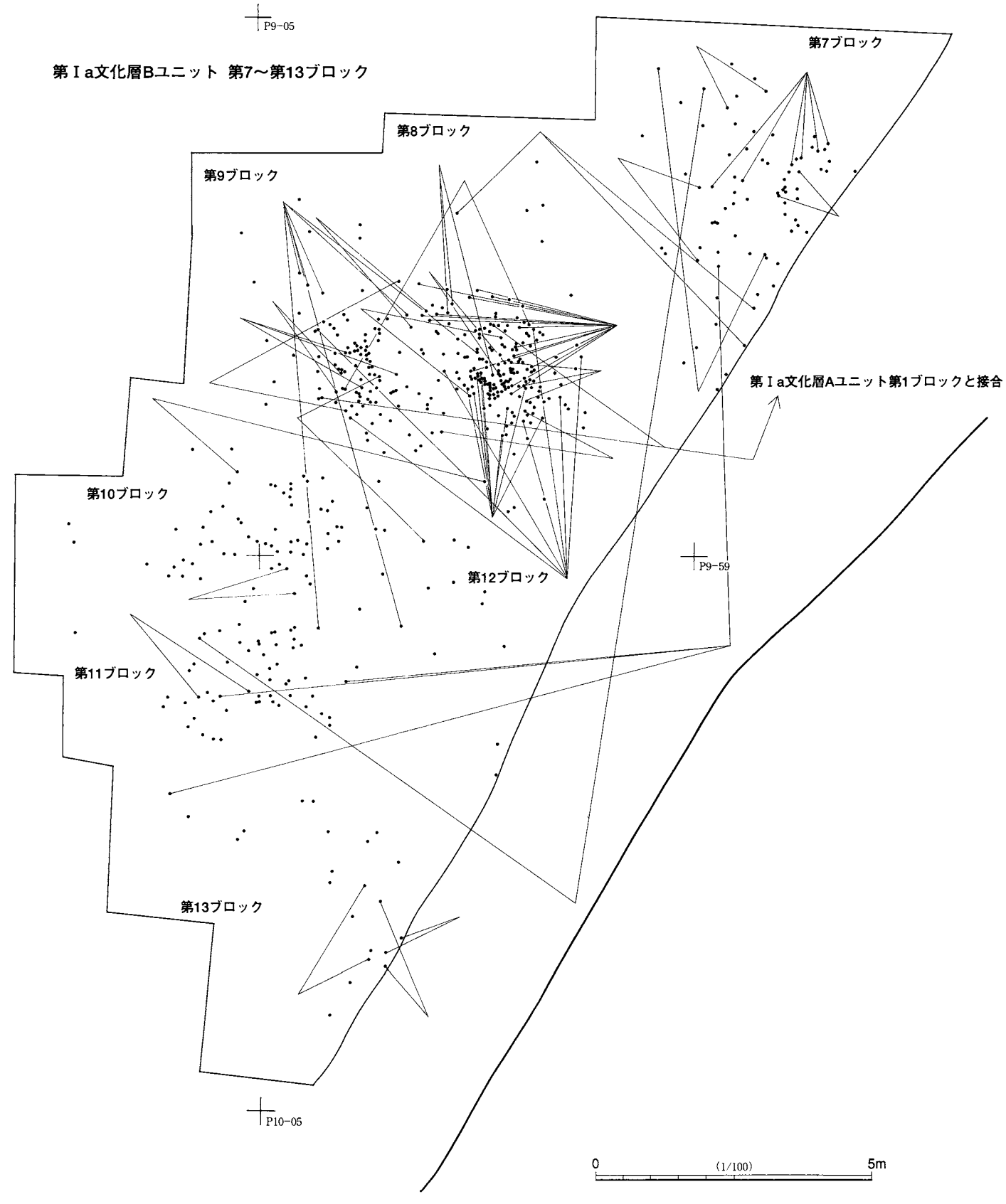
母岩数は，159母岩である。ブロック間で共有する母岩数は，19母岩である。Aユニット同様に，ブロック間の接合関係も頻繁にみられることから，ブロック間で共有する母岩が多いことがうかがえる。

主要器種は，ナイフ形石器・台形様石器・楔形石器・敲石・局部磨製石斧で構成される。局部磨製石斧は，Aユニットから出土しておらず，Bユニットにおいても1個体（2点が接合）のみの出土である。主要石材は，嶺岡産珪質頁岩・ガラス質黒色安山岩・玉髄（メノウ含む）・黒曜石41点で構成され，Aユニットに比べて，嶺岡産珪質頁岩の割合が低く，黒曜石の割合が高いことが特徴としてあげられる。出土層位は，X層上部～Ⅸc層にかけて出土しており，X層上部～Ⅸc層下部に集中することから，生活面は，X層上部～Ⅸc層下部と推定される。前述のとおり，AユニットとBユニットの接合資料がみられることと，出土層位も同様の層準から出土することから，両ユニットを同一文化層として捉えて，Ⅰa文化層として呼称することにした。

第18表　第Ⅰa文化層Bユニット石材器種組成表

石材＼器種	ナイフ形石器	台形様石器	楔形石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	局部磨製石斧	礫片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	1 6.42	3 21.84	1 1.97		2 9.95	3 8.59	2 65.95	16 29.32	13 3.55				41 147.59	7.37 1.96
ガラス質黒色安山							1 43.54	36 171.36	27 11.35				64 226.25	11.51 3.00
トロトロ石（安山岩）								12 56.06	8 2.73				20 58.79	3.60 0.78
ホルンフェルス					3 36.79	1 26.07	1 51.73	38 264.19	3 1.47			3 1089.36	49 1469.61	8.81 19.47
流紋岩		2 11.83		4 527.62	2 16.31		1 110.83	35 198.64	10 6.69			2 78.86	56 950.78	10.07 12.60
頁岩				1 47.8		3 17.36	1 109.23	12 54	5 2.82		1 20.2		23 251.41	4.14 3.33
珪質頁岩							1 13.24	1 8.63					2 21.87	0.36 0.29
嶺岡産珪質頁岩					4 64.93	14 168.43	15 898.3	117 679.87	46 28.76				196 1840.29	35.25 24.38
珪岩						1 39.08		5 256.87					6 295.95	1.08 3.92
チャート			2 19.96					7 43.34			1 10.42	11 1064.04	21 1137.76	3.78 15.07
玉髄（メノウ含む）	1 3.23				5 30.31	5 34.36	1 30.03	40 135.96	12 8.41				64 242.3	11.51 3.21
砂岩				6 801.41							1 25.6		7 827.01	1.26 10.96
凝灰岩								4 7.79	1 0.33				5 8.12	0.90 0.11
角閃片岩										2 70.77			2 70.77	0.36 0.94
点数合計	2	5	3	11	16	27	23	323	125	2	3	16	556	100.00
重量合計	9.65	33.67	21.93	1376.83	158.29	293.89	1322.85	1906.03	66.11	70.77	56.22	2232.26	7548.5	100.00
点数組成比（%）	0.36	0.90	0.54	1.98	2.88	4.86	4.14	58.09	22.48	0.36	0.54	2.88	100.00	
重量組成比（%）	0.13	0.45	0.29	18.24	2.10	3.89	17.52	25.25	0.88	0.94	0.74	29.57	100.00	

［上段：点数、下段：重量(g)］



第71図　第Ⅰa文化層Bユニット分布状況

a．第７ブロック（第72～77図，第19・96・97表，図版２・28・30）

出土状況　平面分布は，約６ｍ×４ｍの楕円形の範囲にやや散漫に分布している。出土層位は，Ⅹａ層上部～Ⅸａ層下部にかけて出土しており，Ⅸｃ層下部に集中する。

器種別分布（第72図）の特徴は，敲石は２点出土しているが，どちらもブロックの外側に分布しており，敲石の近辺には遺物の空白部がみられる。台形様石器や微細剥離痕のある剥片は，ブロックの外周部に分布し，砕片や剥片はブロックの中心部に集中する。

母岩別分布（第73図）の特徴は，接合資料44は嶺岡産珪質頁岩094の母岩が用いられている。接合した状態と他のブロックとのブロック間の接合関係がないことから，本ブロックに原石の形で持ち込まれて，石器製作を行った資料と思われる。本ブロックの中央部に主に分布している。ブロックの外周部から出土している接合資料38・39・44は，素材が剥片であり，ブロック間の接合資料である。このように，ブロックの中央部と外周部での母岩の消費状況が異なることが観察される。

出土遺物　総計79点出土した。母岩器種組成は第19表のとおりである。器種組成の特徴は，製品の割合が低く，台形様石器１点，敲石２点出土している。敲石が２点出土していることと，剥片の占める割合（65.82%）が高いが，それに対して，石核が２点しか出土していない。母岩（石材）組成は，多種の石材が用いられている。多い石材順に記載すると，ガラス質黒色安山岩（21.52%）・流紋岩（20.25%）・黒曜石（17.72%）・嶺岡産珪質頁岩（16.46%）である。Ｂユニットは，Ａユニットに比べて，黒曜石の割合が高いが，本ブロックにおいては，Ｂユニットの中でも黒曜石の占める割合が高い。製品の出土点数が少ないが，流紋岩029は，２点出土しているが，台形様石器と剥片が接合している。

１～３は微細剥離痕のある剥片である。１は幅広の縦長剥片を素材として，先端部が折れている。右側縁中央部に微細剥離痕がみられる。２は右側縁上部に連続的に施されている。背面は，ポジティヴ面を有する剥片である。３は右側縁下部に微細剥離痕が連続的にみられる。

４は石核である。分割した厚みのある剥片を素材としている。分割面を上部に設定し，左側縁を折断後に，下端部を折断して，全体形状を正方体に成形後に，裏面左側面から比較的薄い剥片を剥離した後に，表面に打面を転移して，上端部から幅広の剥片を剥離している。

５＋６は接合資料５である。５・６ともに，幅広の剥片を剥離している。５は台形様石器である。打面部は背腹両面から平坦な調整加工が施されている。左側面上部は，階段状にやや粗い調整加工が施されており，腹面にも調整加工が施されている。６は幅広の剥片を素材として，右側縁に微細剥離痕がみられる。

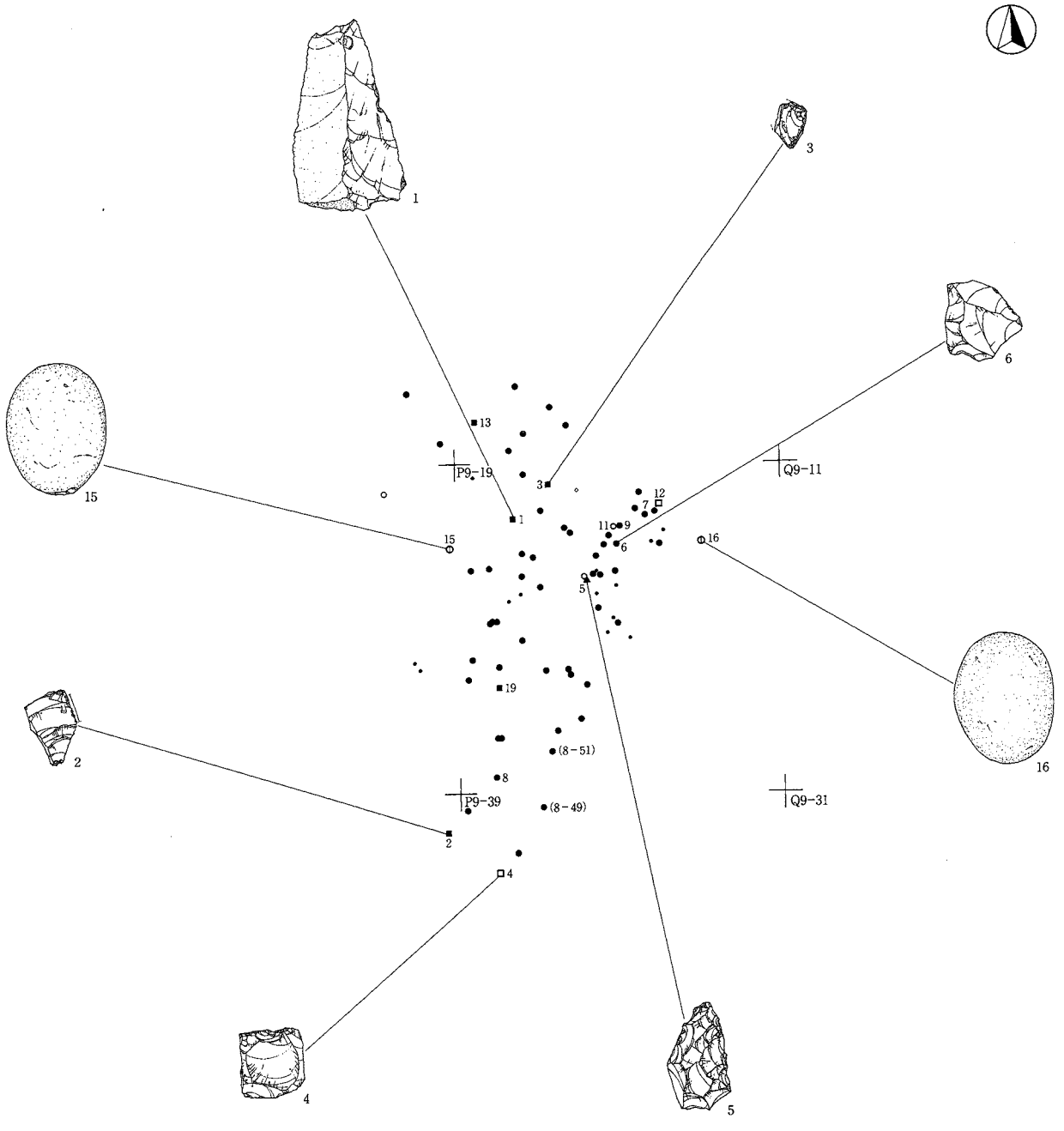
７～12は接合資料44である。円礫を原石として用いており，節理面で大きく分割された厚みのある剥片を素材として，上端部を表面から大きく剥離して，打面を作出して，上端部を打面として設定して，７～11を連続的に剥離している。７＋８は縦長剥片である。７と８は剥離時の同時割れの資料である。９と10は比較的縦長の剥片である。11は右側縁上端部から剥離された不定形な剥片である。12の残核の形状は，チョッピングトゥール状の形状を呈する。上端部は，7～11の資料が接合している。下端部は，３・４枚の不定形な剥片が剥離されている。

13＋14は接合資料40である。ブロック間の接合を示す資料である。13が第７ブロック出土で，14が第11ブロック出土である。13は横長幅広剥片を素材として，右側縁上部に微細剥離痕が連続的にみられる。14はやや厚みのある剥片である。

第19表　第Ⅰa文化層Bユニット　第7ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	台形様石器	敲石	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	003			2 3.95	1 13.06	3 5.89				6 22.9	7.59 2.13
	004					2 1.33	2 0.53			4 1.86	5.06 0.17
	005					2 2.59	2 1.2			4 3.79	5.06 0.35
黒曜石 点数合計 黒曜石 重量合計				2 3.95	1 13.06	7 9.81	4 1.73			14 28.55	17.72 2.66
ガラス質黒色安山岩	018					12 69.76	5 2.91			17 72.67	21.52 6.76
ガラス質黒色安山岩 点数合計 ガラス質黒色安山岩 重量合計						12 69.76	5 2.91			17 72.67	21.52 6.76
トロトロ石(安山岩)	003					1 11.66				1 11.66	1.27 1.09
	005						1 0.4			1 0.4	1.27 0.04
トロトロ石(安山岩) 点数合計 トロトロ石(安山岩) 重量合計						1 11.66	1 0.4			2 12.06	2.53 1.12
流紋岩	028					10 59.03				10 59.03	12.66 5.49
	029	1 7.66				1 3.98				2 11.64	2.53 1.08
	030					1 28.7				1 28.7	1.27 2.67
	031		1 142.41							1 142.41	1.27 13.26
	032		1 152.51							1 152.51	1.27 14.20
	033								1 62	1 62	1.27 5.77
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計		1 7.66	2 294.92			12 91.71			1 62	16 456.29	20.25 42.47
頁岩	018						1 0.48			1 0.48	1.27 0.04
	019					2 2.26	2 0.8			4 3.06	5.06 0.28
	020					1 6.01				1 6.01	1.27 0.56
	021							1 20.2		1 20.2	1.27 1.88
頁岩 点数合計 頁岩 重量合計						3 8.27	3 1.28	1 20.2		7 29.75	8.86 2.77
嶺岡産珪質頁岩	092			1 7.33		4 40.85				5 48.18	6.33 4.48
	093					1 23.47				1 23.47	1.27 2.18
	094				1 135.15	5 11.17				6 146.32	7.59 13.62
	128			1 29.22						1 29.22	1.27 2.72
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計				2 36.55	1 135.15	10 75.49				13 247.19	16.46 23.01
珪岩	001			1 39.08		4 154.71				5 193.79	6.33 18.04
珪岩 点数合計 珪岩 重量合計				1 39.08		4 154.71				5 193.79	6.33 18.04
チャート	039					3 9.25				3 9.25	3.80 0.86
	040								1 11.4	1 11.4	1.27 1.06
	041								1 13.32	1 13.32	1.27 1.24
チャート 点数合計 チャート 重量合計						3 9.25			2 24.72	5 33.97	6.33 3.16
全体の点数合計 全体の重量合計		1 7.66	2 294.92	5 79.58	2 148.21	52 430.66	13 6.32	1 20.2	3 86.72	79 1074.27	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		1.27 0.71	2.53 27.45	6.33 7.41	2.53 13.80	65.82 40.09	16.46 0.59	1.27 1.88	3.80 8.07	100.00 100.00	

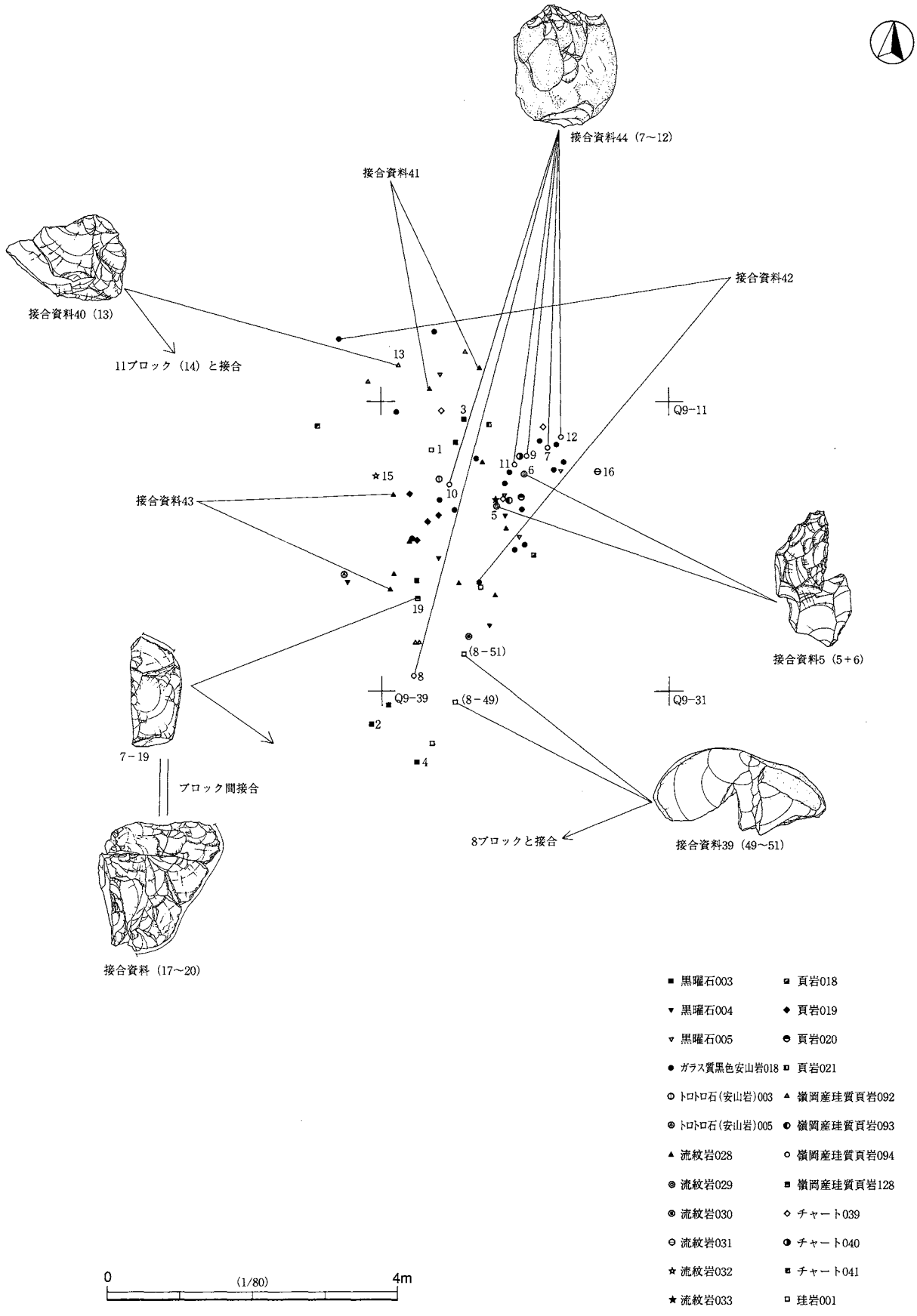
［上段:点数、 下段:重量(g)］



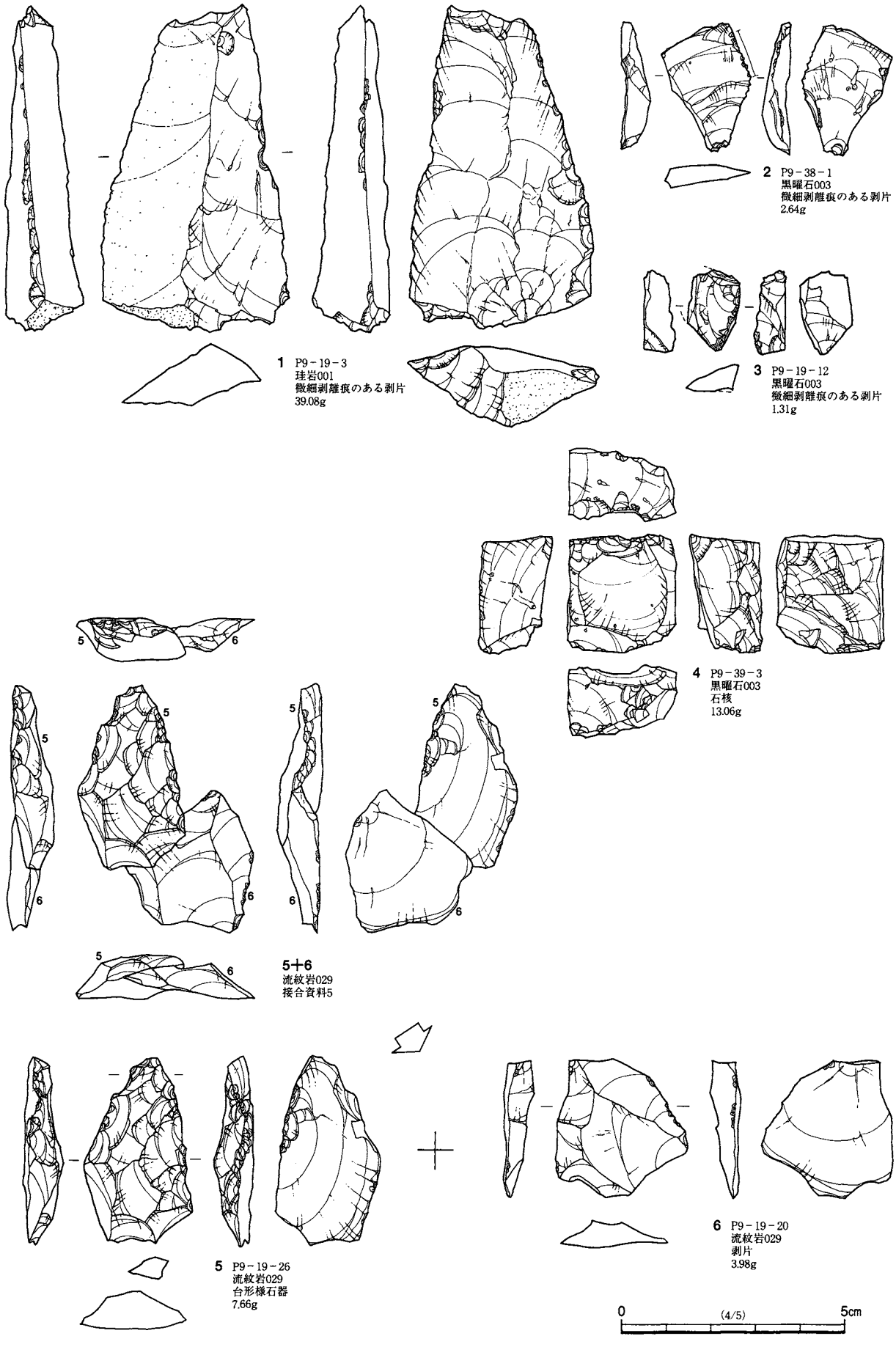
▲ 台形様石器
⊙ 敲石
■ 微細剥離痕のある剥片
□ 石核
● 剥片
• 砕片
◦ 礫片
○ 礫

0 (1/80) 4m

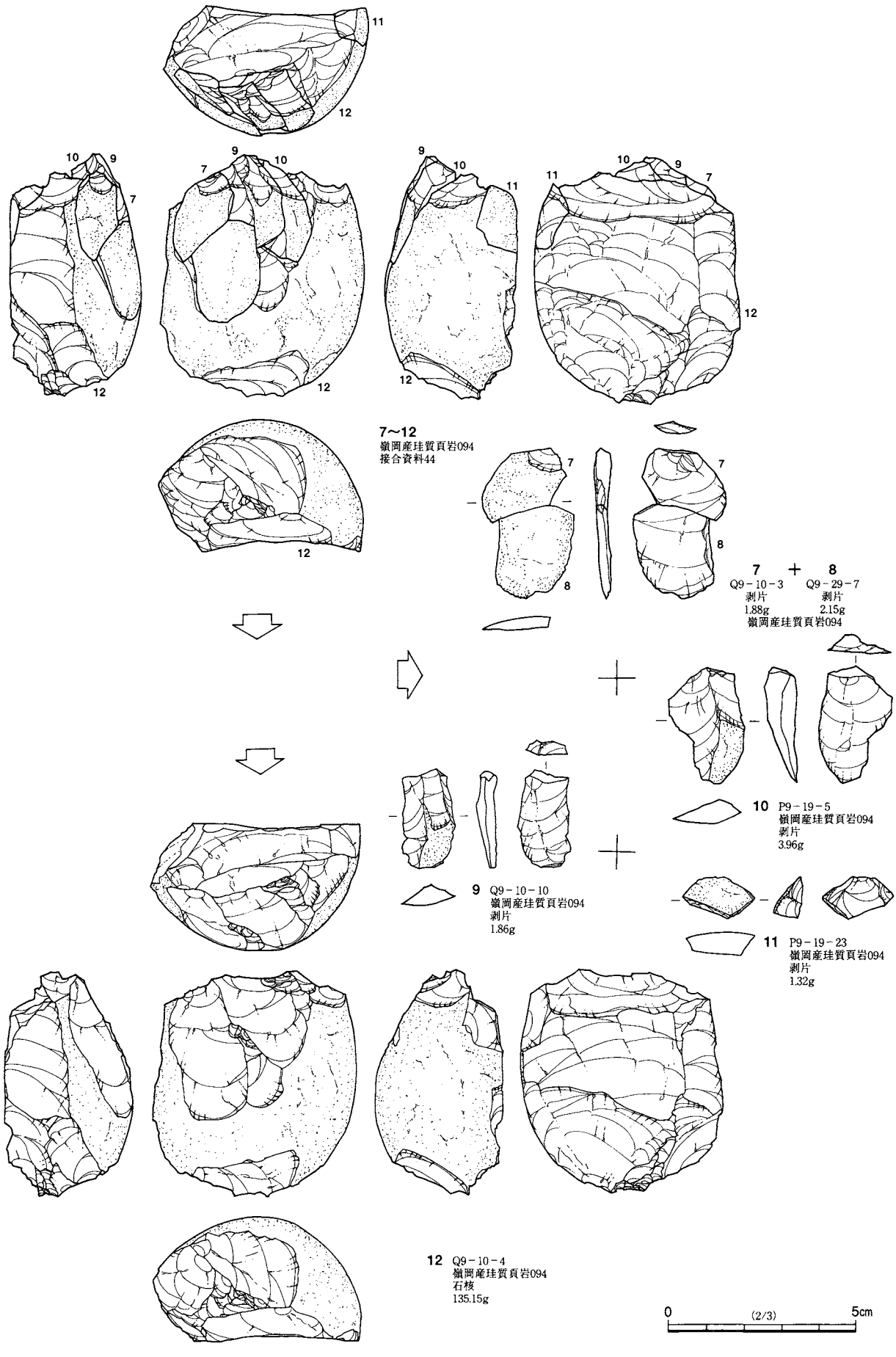
第72図　第Ⅰa文化層Bユニット 第7ブロック器種別分布図



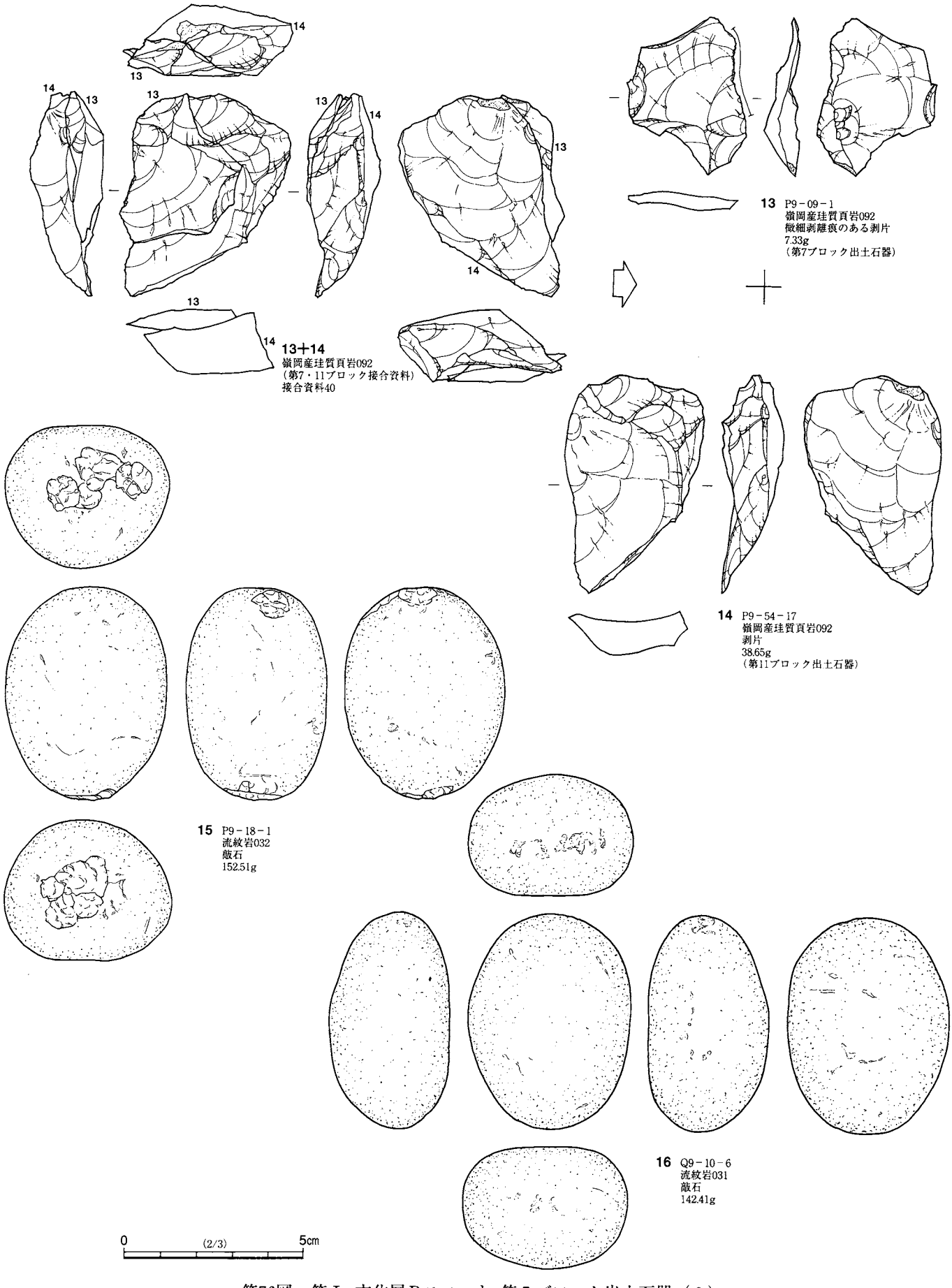
第73図　第Ⅰa文化層Bユニット 第7ブロック母岩別分布図



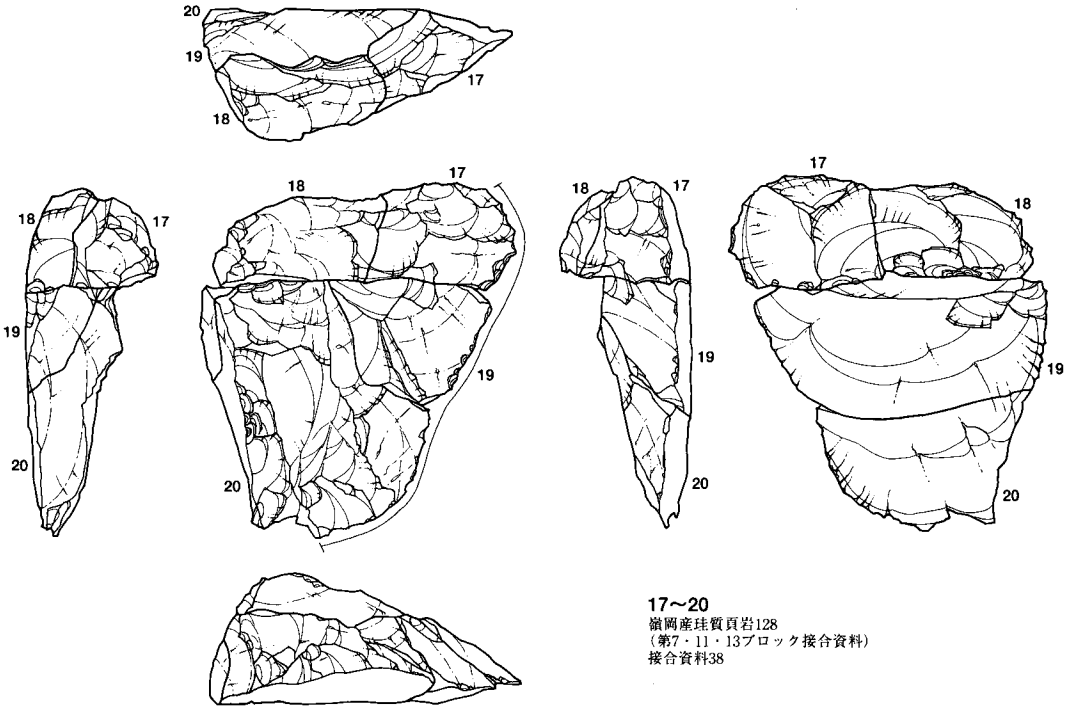
第74図　第Ⅰa文化層Bユニット 第7ブロック出土石器（1）

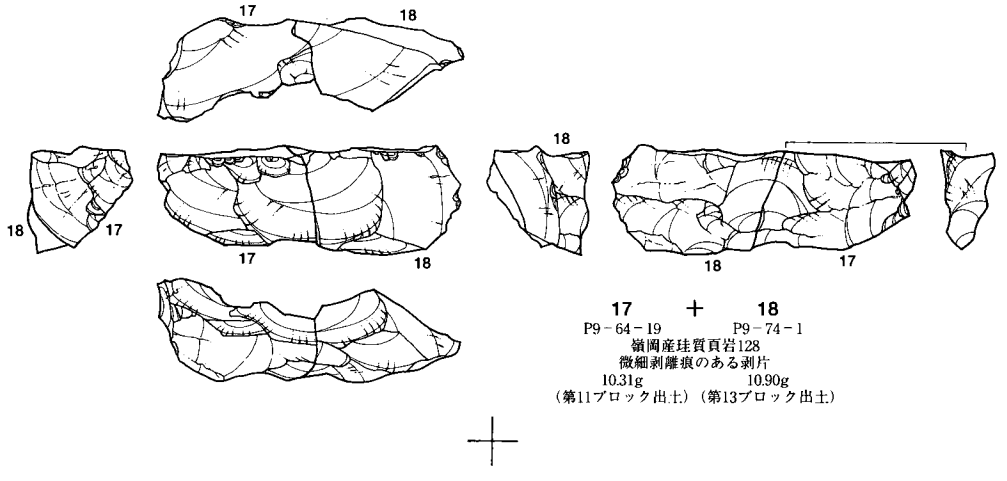


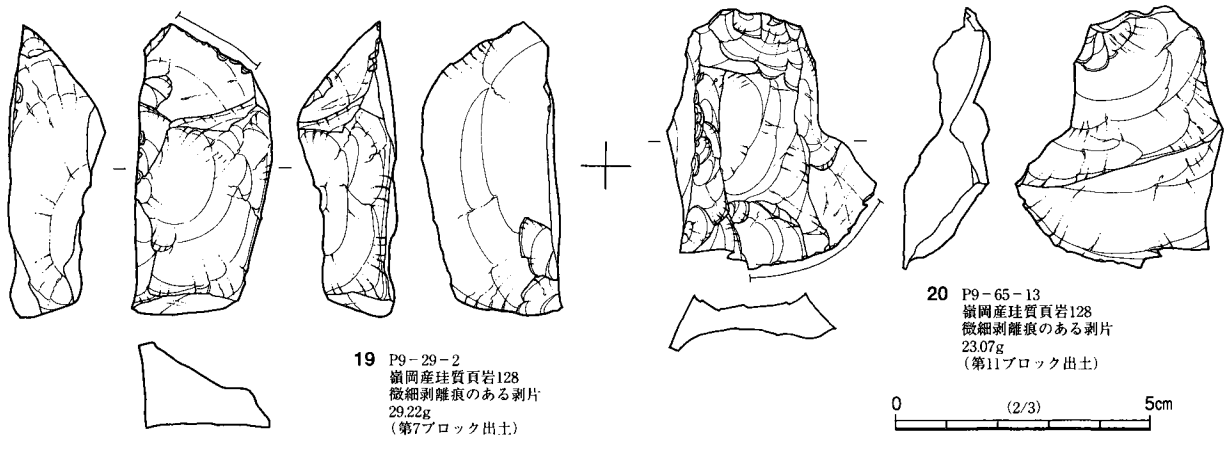
第75図　第Ⅰa文化層Bユニット 第7ブロック出土石器（2）



第76図　第Ⅰa文化層Bユニット 第7ブロック出土石器（3）







第77図　第Ⅰa文化層Bユニット 第7ブロック出土石器（4）

15・16は敲石である。15・16ともに卵型の形状をした円礫を素材としている。15は上下両端部の敲打痕が著しい。16においても上下両端に敲打痕がみられる。15ほど敲打は顕著ではないが，上端部の敲打がやや顕著である。

17～20は接合資料38である。ブロック間の接合関係がある資料である。19が第７ブロック出土，17・20が第11ブロック出土，18が第13ブロック出土である。接合資料38が，幅広の剥片を用いており，これらを分割して，これらの資料が上記のように，三つのブロックから出土している。17～20の接合した状態で，厚みのある幅広剥片である。右側縁全体に連続的に微細剥離痕がみられる。特に，右上半部の剥離痕は非常に顕著である。接合資料38は，頭部と中間部と末端部に，大きく三分割されて使用されている。頭部の分割資料である17＋18は，上端部に位置する分割面を打面として，幅広の剥片を剥離した際に，17と18が同時割れしている。19は中間部の分割資料である。折断後には，左側縁上部と右側縁上部に調整加工がみられる。20は末端部の分割資料である。調整加工は施されていない。

b．第８ブロック（第78～93図，第20・21・97～99表，図版２・28～31）

出土状況　平面分布は，約６ｍ×３ｍの楕円形の範囲に密集して分布している。分布状況を詳細にみると，ブロックの中心部にあたるP9－37グリッドに密集する箇所がみられる。出土層位は，Ⅹa層上部～Ⅸa層にかけて出土しており，Ⅸc層下部に集中する。

器種別分布（第78図）の特徴は，敲石が３点出土しているが，２点は中央部の密集する地点に分布するが，１点は南部の遺物の希薄な箇所に分布している。台形様石器が４点出土しているが，中央部の遺物の密集する地点から出土している。

母岩別分布（第79図）の特徴は，非常に頻繁な接合状況を示す。

敲石は，３点出土しているが，いずれも接合資料であることは，特筆される特徴といえよう。特に，接合資料３は，60m近く離れたＡユニットの第１ブロックと接合関係にあるだけでなく，隣接するＢユニットの第９ブロックの３ブロックにわたって接合がみられる資料である。このうち，最終的な機能を果たしたと思われる大きさを保っている敲石（挿図ではＡユニット第１ブロックの37）が，本ブロックから出土していることは，ＡユニットとＢユニットのわずかな時間差・季節差があるとすれば，本ブロックが最後に形成された可能性が高いといえよう。接合資料52の敲石は，第９ブロックと接合関係がある。接合資料45の敲石は，第10ブロックと接合関係にある。通常，敲石がブロック間で接合するものは，あまりみられない現象であるが，本ブロックにおいて，敲石が３点出土し，その３点全てが，ブロック間の接合を示すことは，ＡユニットとＢユニットのいわゆる「環状ブロック群」が２群検出され，「環状ブロック群」間の接合関係を持つ第Ⅰa文化層において，敲石のこのような接合関係は，敲石の機能だけでなく，集団間の緊密性を示していると考えられる。

敲石以外の接合資料の特徴は，接合資料39・45・46・47・50・53の資料のように，母岩を大きく分割した後に，本ブロックに持ち込まれて，石器製作を行ったことがうかがえる資料が多い。

出土遺物　総計198点出土した。Ｂユニットの中では最も出土点数が多い。母岩器種組成は，第20･21表のとおりである。器種組成の特徴は，製品の占める割合が低いが，製品においては，台形様石器が４点，敲石３点，二次加工のある剥片５点出土しており，台形様石器の占める割合が高い。Ｂユニットにおいて，台形様石器は，５点出土しているが，そのうち４点（80%）という高い割合で，本ブロックから出土して

いることは注目される。母岩（石材）組成は，多種多様の石材が用いられており，石材の多いものの順に記載すると，嶺岡産珪質頁岩・流紋岩・玉髄（メノウ含む）・ガラス質黒色安山岩・ホルンフェルスが用いられている。黒曜石は，少数ではあるが，14点出土しており，Aユニットの中でも出土点数が多い。特に，台形様石器は，4点出土のうち3点が黒曜石を用いている。台形様石器の出土している母岩では，黒曜石006・007が単独出土で，黒曜石008が剥片・砕片1点ずつ出土している。

1～4は台形様石器である。1～3は黒曜石製である。いずれも，透明度がなく黒色で，斑晶が点在する。肉眼観察では，高原山産の黒曜石と思われるが，正式に鉱物分析等を行っていないので，明確なことはいえない。1はペン先形の形状を呈する。左側縁上部は折断によるものと思われる。左側縁下部から右側縁下部にかけては，急角度の階段状の調整加工が施されており，基部がもっとも入念に細かい調整加工が施されている。右側縁上半部は，素材面が大きく残されている。2は横長剥片を素材として，右側縁上部と右側縁下部と左側縁下部に調整加工が施されている。1に比べて素材の形状をほとんど変えないで調整加工が施されている。背面上部はポジティヴ面を有している。3は幅広のやや大きめの剥片を素材としている。右側縁下部の基部側を腹面から背面に向かって折断に近い調整加工によって，素材を大きく修正している。表面の左側縁全体には，平坦な調整加工が器体の中央部付近まで及んでいる。特に，先端部は微細な調整加工が入念に施されている。右側縁は折断されている。4は縦長の剥片を素材として，右側縁上部を腹面側から折断し，右側縁下部は背面側から折断されている。腹面右側縁中央部には，平坦な調整加工が施されている。4は台形様石器としたが，明確な二次加工がみられず，折断によって成形されていることから，二次加工のある剥片と器種認定することも可能である。

5・6は二次加工のある剥片である。5は幅広の剥片を素材として，左側縁・上端部・右側縁を折断により成形後に，右側縁下部に階段状に調整加工が入念に施されている。6は不定形な貝殻状の剥片を素材として，腹面下部に平坦な調整加工が施されている。

7～9は微細剥離痕のある剥片である。7は不定形な剥片を素材として，右側縁上半部に微細剥離痕がみられる。8は横長幅広剥片を素材として，表面先端部に微細剥離痕がみられる。9は不定形な剥片を素材として，右側縁上部に微細剥離痕がみられる。

10～12は接合資料55である。10～12の接合した状態で，上端部を打面に設定して，10と11＋12の2枚の縦長剥片を剥離した資料である。11＋12は剥離時に同時割れした資料である。

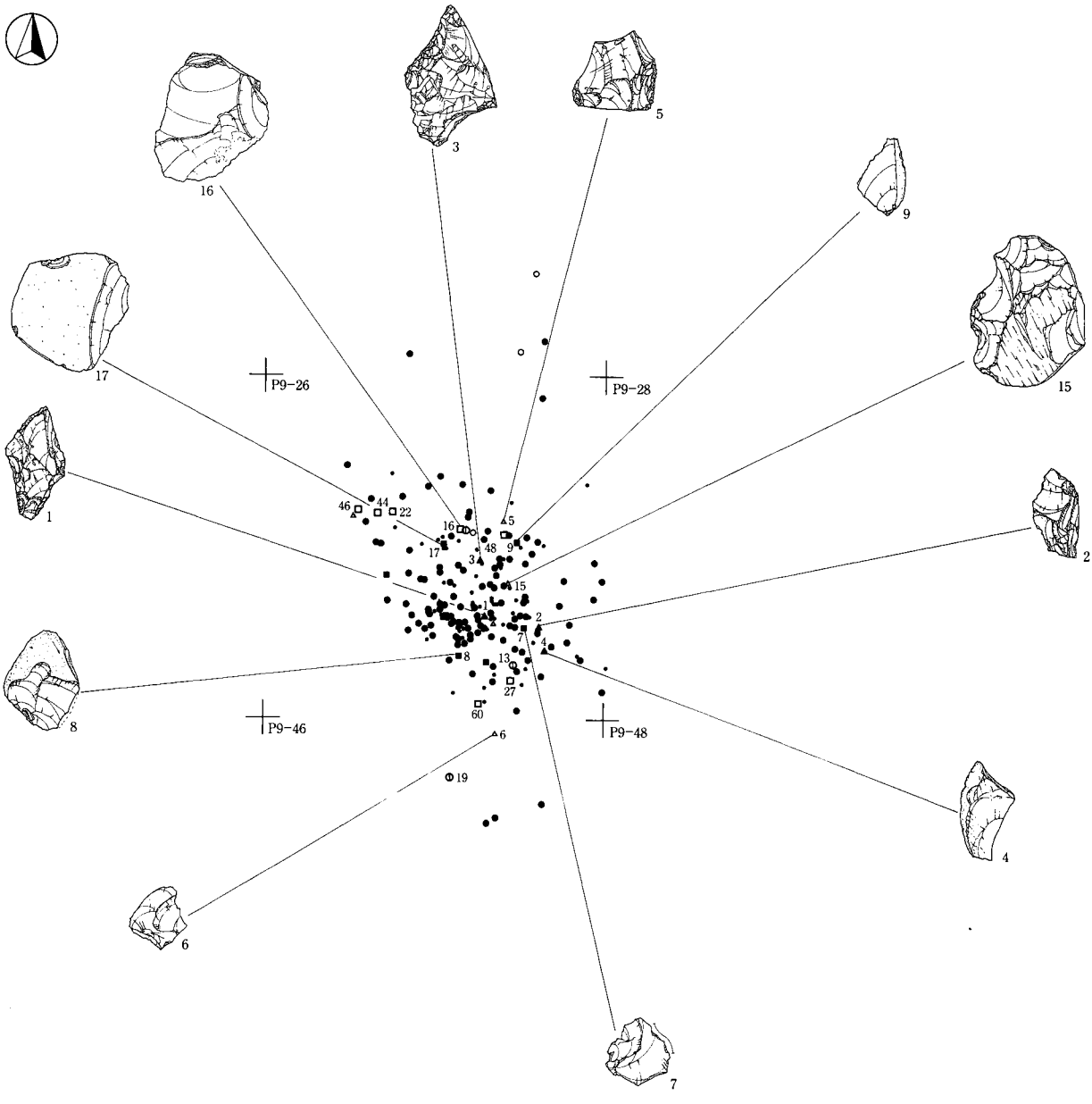
13＋14は敲石が分割された接合資料52である。13＋14の状態で，上下両端部に敲打痕が顕著にみられる。正面下端部からの敲打によって，13と14に分割されている。13が第8ブロック出土，14が第9ブロック出土である。離れたブロックから出土していることから，分割後も，敲石として機能した可能性も高い。

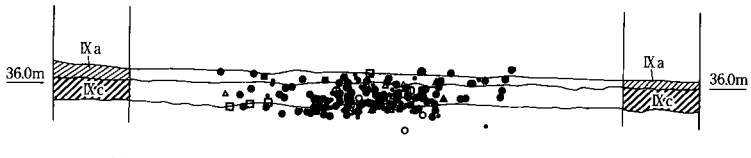
15は二次加工のある剥片である。背面中央部は節理面で構成されている。右側縁上部と左側縁下半部に調整加工が施されている。

16は厚みのある剥片を素材とした石核である。表面右側縁上部から横長の剥片を1枚剥離後，裏面右上半部から不定形な剥片を3・4枚剥離している。

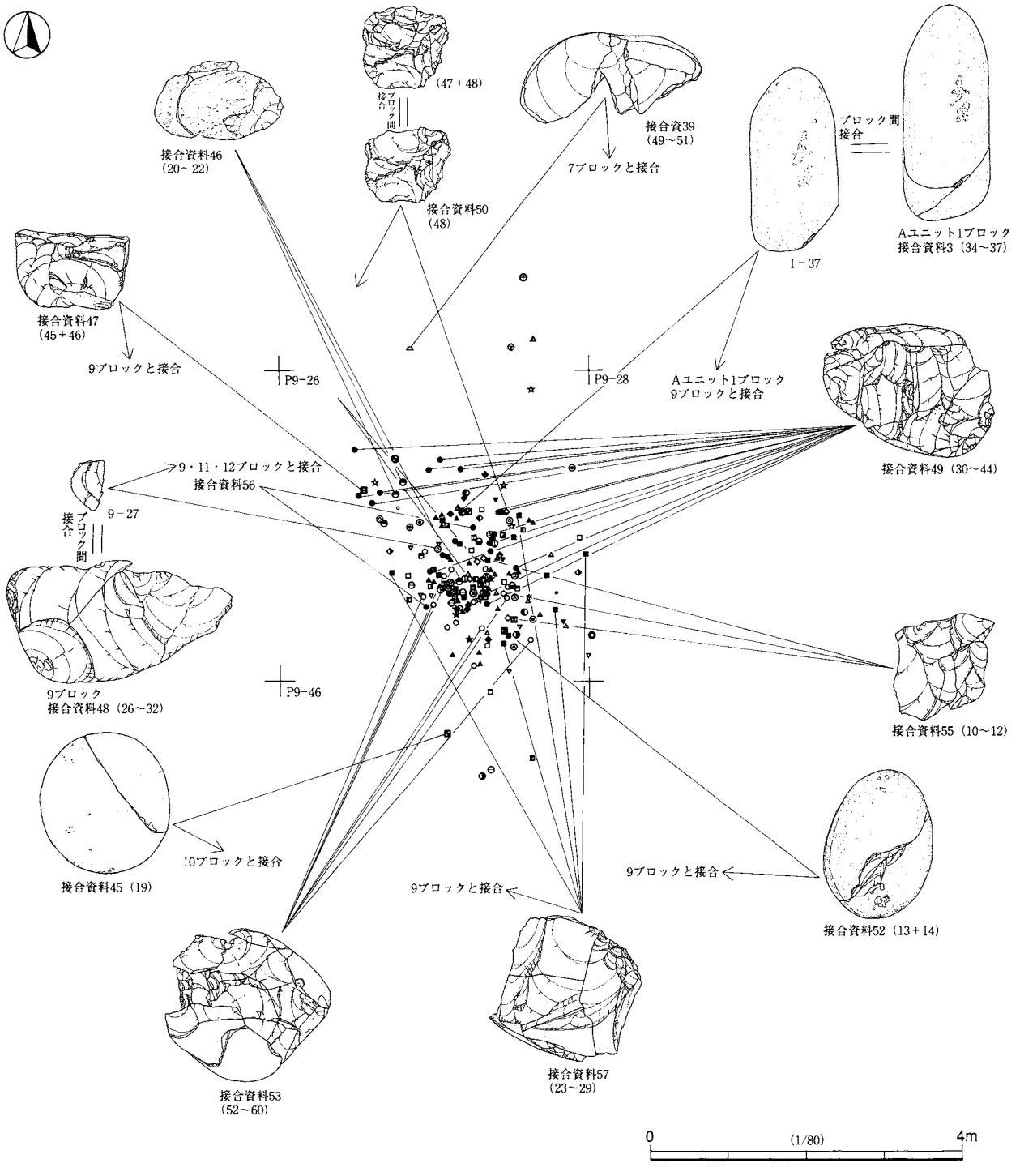
17は幅広の剥片を素材として，末端部に微細剥離痕が連続的にみられる。

18＋19は敲石の接合資料45である。扁平な楕円形礫を素材として，下端部に顕著な敲打痕がみられ，外周部及び中央部に敲打痕がみられる。中央部表面からの加撃によって，18と19に分割されている。18は第10ブロック出土，19は第8ブロック出土である。離れたブロックで両石器が出土していることから，両ブ





第78図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック器種別分布図



- 黒曜石006
- 黒曜石007
- 黒曜石008
- 黒曜石009
- 黒曜石010
- ガラス質黒色安山岩019
- ガラス質黒色安山岩020
- ガラス質黒色安山岩021
- ガラス質黒色安山岩022
- ガラス質黒色安山岩025
- トロトロ石(安山岩)002
- ホルンフェルス012
- ホルンフェルス013
- ホルンフェルス014
- ホルンフェルス017
- 流紋岩034
- 流紋岩035
- 流紋岩036
- 流紋岩037
- 流紋岩038
- 流紋岩040
- 流紋岩041
- 頁岩022
- 嶺岡産珪質頁岩092
- 嶺岡産珪質頁岩095
- 嶺岡産珪質頁岩096
- 嶺岡産珪質頁岩097
- 嶺岡産珪質頁岩098
- 嶺岡産珪質頁岩099
- 嶺岡産珪質頁岩100
- 嶺岡産珪質頁岩101
- 嶺岡産珪質頁岩102
- 嶺岡産珪質頁岩103
- 嶺岡産珪質頁岩104
- 嶺岡産珪質頁岩105
- 嶺岡産珪質頁岩107
- 嶺岡産珪質頁岩113
- 嶺岡産珪質頁岩120
- 嶺岡産珪質頁岩121
- 珪岩001
- チャート042
- 玉髄（メノウ含む）020
- 玉髄（メノウ含む）021
- 玉髄（メノウ含む）022
- 玉髄（メノウ含む）023
- 玉髄（メノウ含む）028
- 玉髄（メノウ含む）030
- 砂岩012
- 砂岩013
- 砂岩014
- 凝灰岩103

第79図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック母岩別分布図

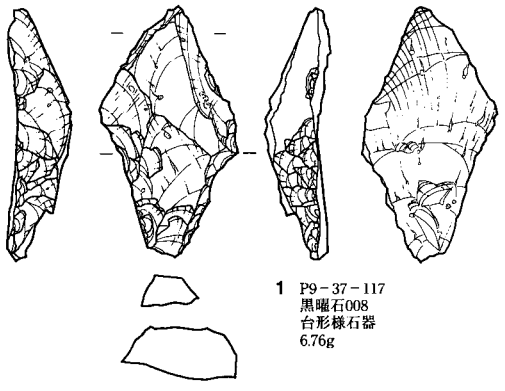
第20表　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック母岩器種組成表（1）

母岩名	母岩番号	台形様石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	006	1 11.73								1 11.73	0.51 0.55
	007	1 3.35								1 3.35	0.51 0.16
	008	1 6.76					1 2.7	1 0.15		3 9.61	1.52 0.45
	009			1 8.69				6 1.12		7 9.81	3.54 0.46
	010						1 5.52	1 0.5		2 6.02	1.01 0.28
黒曜石 点数合計 黒曜石 重量合計		3 21.84		1 8.69			2 8.22	8 1.77		14 40.52	7.07 1.91
ガラス質黒色安山岩	019					1 43.54	3 23.99			4 67.53	2.02 3.19
	020						2 3.43			2 3.43	1.01 0.16
	021						1 12.84			1 12.84	0.51 0.61
	022						2 2.24	16 4.7		18 6.94	9.09 0.33
	025						1 1.96			1 1.96	0.51 0.09
ガラス質黒色安山岩 点数合計 ガラス質黒色安山岩 重量合計						1 43.54	9 44.46	16 4.7		26 92.7	13.13 4.38
トロトロ石(安山岩)	002						5 25.72			5 25.72	2.53 1.21
トロトロ石(安山岩) 点数合計 トロトロ石(安山岩) 重量合計							5 25.72			5 25.72	2.53 1.21
ホルンフェルス	012								1 55.36	1 55.36	0.51 2.61
	013						1 0.79	1 0.27		2 1.06	1.01 0.05
	014				1 26.07	1 51.73	13 127.94			15 205.74	7.58 9.71
	017						1 1.84			1 1.84	0.51 0.09
ホルンフェルス 点数合計 ホルンフェルス 重量合計					1 26.07	1 51.73	15 130.57	1 0.27	1 55.36	19 264	9.60 12.46
流紋岩	034			2 16.31		1 110.83	15 81.28	4 2.94		22 211.36	11.11 9.98
	035	1 4.17					1 6.51	2 0.54		4 11.22	2.02 0.53
	036						2 4.81	1 0.79		3 5.6	1.52 0.26
	037						2 9.19			2 9.19	1.01 0.43
	038								1 16.86	1 16.86	0.51 0.80
	040						1 0.6	2 1.45		3 2.05	1.52 0.10
	041						1 1.46			1 1.46	0.51 0.07
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計		1 4.17		2 16.31		1 110.83	22 103.85	9 5.72	1 16.86	36 257.74	18.18 12.17
頁岩	022				1 1.7		4 24.42			5 26.12	2.53 1.23
頁岩 点数合計 頁岩 重量合計					1 1.7		4 24.42			5 26.12	2.53 1.23
嶺岡産珪質頁岩	092						1 0.26			1 0.26	0.51 0.01
	095				3 48.85	1 147.11	12 109.16			16 305.12	8.08 14.40
	096						1 10.81			1 10.81	0.51 0.51
	097						4 50.23			4 50.23	2.02 2.37
	098						5 49.18	1 0.77		6 49.95	3.03 2.36

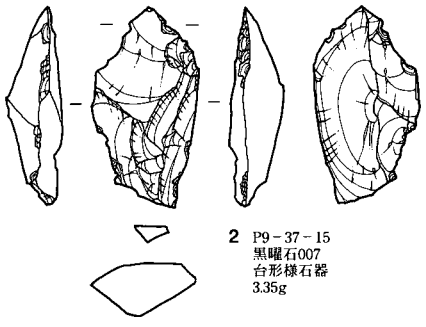
第21表　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック母岩器種組成表（2）

母岩名	母岩番号	台形様石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫	総計	組成比（%）
	099						1 3.39	3 2.41		4 5.8	2.02 0.27
	100			1 1.78			4 15.15	4 3.18		9 20.11	4.55 0.95
	101						3 14.08			3 14.08	1.52 0.66
	102				1 0.63		1 1.22			2 1.85	1.01 0.09
	103							1 0.84		1 0.84	0.51 0.04
	104						3 5.43	1 0.22		4 5.65	2.02 0.27
	105							1 0.11		1 0.11	0.51 0.01
	107			1 36.33						1 36.33	0.51 1.71
	113					1 65.93				1 65.93	0.51 3.11
	118						1 33.94			1 33.94	0.51 1.60
	120							1 0.38		1 0.38	0.51 0.02
	121					1 28.91				1 28.91	0.51 1.36
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計				2 38.11	4 49.48	3 241.95	36 292.85	12 7.91		57 630.3	28.79 29.75
珪岩	001						1 102.16			1 102.16	0.51 4.82
珪岩 点数合計 珪岩 重量合計							1 102.16			1 102.16	0.51 4.82
チャート	042								1 85.03	1 85.03	0.51 4.01
チャート 点数合計 チャート 重量合計									1 85.03	1 85.03	0.51 4.01
玉髄(メノウ含む)	020						1 3.15	4 3.57		5 6.72	2.53 0.32
	021						7 14.42			7 14.42	3.54 0.68
	022				1 2.41		2 2.07	2 0.73		5 5.21	2.53 0.25
	023						8 21.89	3 2.1		11 23.99	5.56 1.13
	028					1 30.03				1 30.03	0.51 1.42
	030							1 0.17		1 0.17	0.51 0.01
玉髄(メノウ含む) 点数合計 玉髄(メノウ含む) 重量合計					1 2.41	1 30.03	18 41.53	10 6.57		30 80.54	15.15 3.80
砂岩	012		1 367.42							1 367.42	0.51 17.34
	013		1 84.4							1 84.4	0.51 3.98
	014		1 56.4							1 56.4	0.51 2.66
砂岩 点数合計 砂岩 重量合計			3 508.22							3 508.22	1.52 23.99
凝灰岩	003						1 5.61			1 5.61	0.51 0.26
凝灰岩 点数合計 凝灰岩 重量合計							1 5.61			1 5.61	0.51 0.26
全体の点数合計 全体の重量合計		4 26.01	3 508.22	5 63.11	7 79.66	7 478.08	113 779.39	56 26.94	3 157.25	198 2118.66	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		2.02 1.23	1.52 23.99	2.53 2.98	3.54 3.76	3.54 22.57	57.07 36.79	28.28 1.27	1.52 7.42	100.00 100.00	

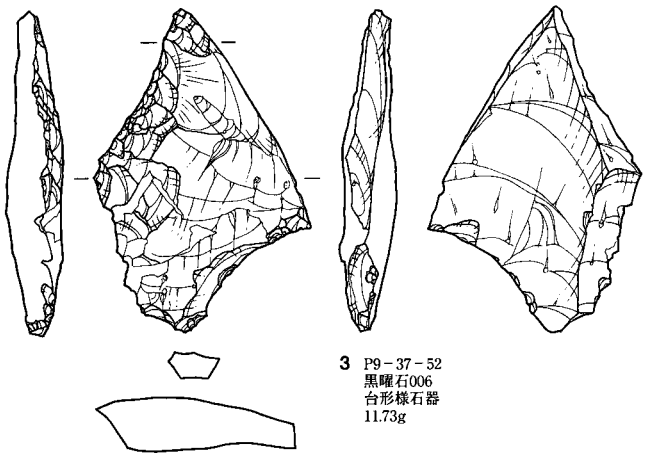
［上段:点数、 下段:重量(g)］



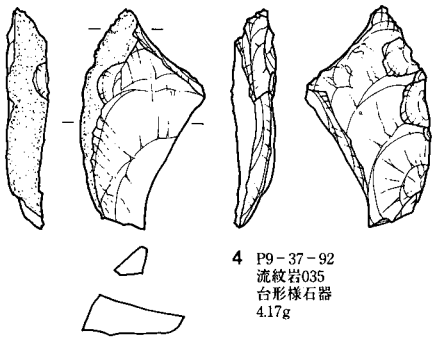
1 P9－37－117
黒曜石008
台形様石器
6.76g



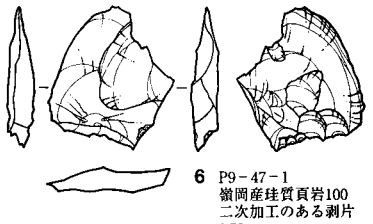
2 P9－37－15
黒曜石007
台形様石器
3.35g



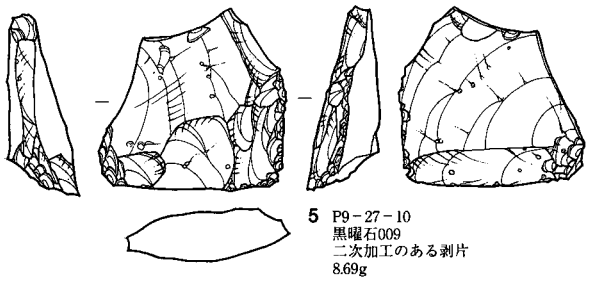
3 P9－37－52
黒曜石006
台形様石器
11.73g



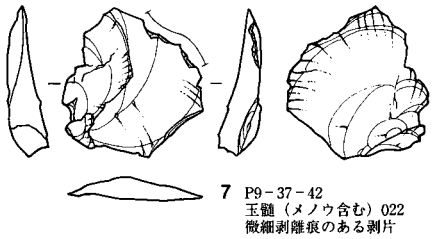
4 P9－37－92
流紋岩035
台形様石器
4.17g



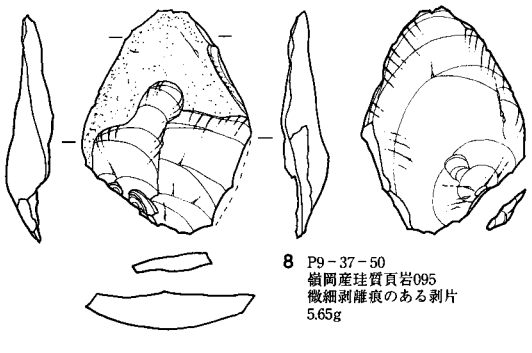
6 P9－47－1
嶺岡産珪質頁岩100
二次加工のある剥片
1.78g



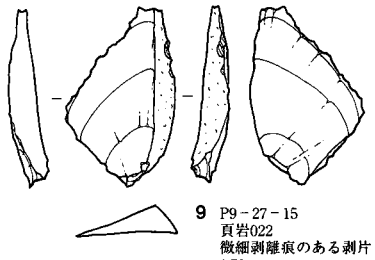
5 P9－27－10
黒曜石009
二次加工のある剥片
8.69g



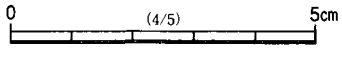
7 P9－37－42
玉髄（メノウ含む）022
微細剥離痕のある剥片
2.41g



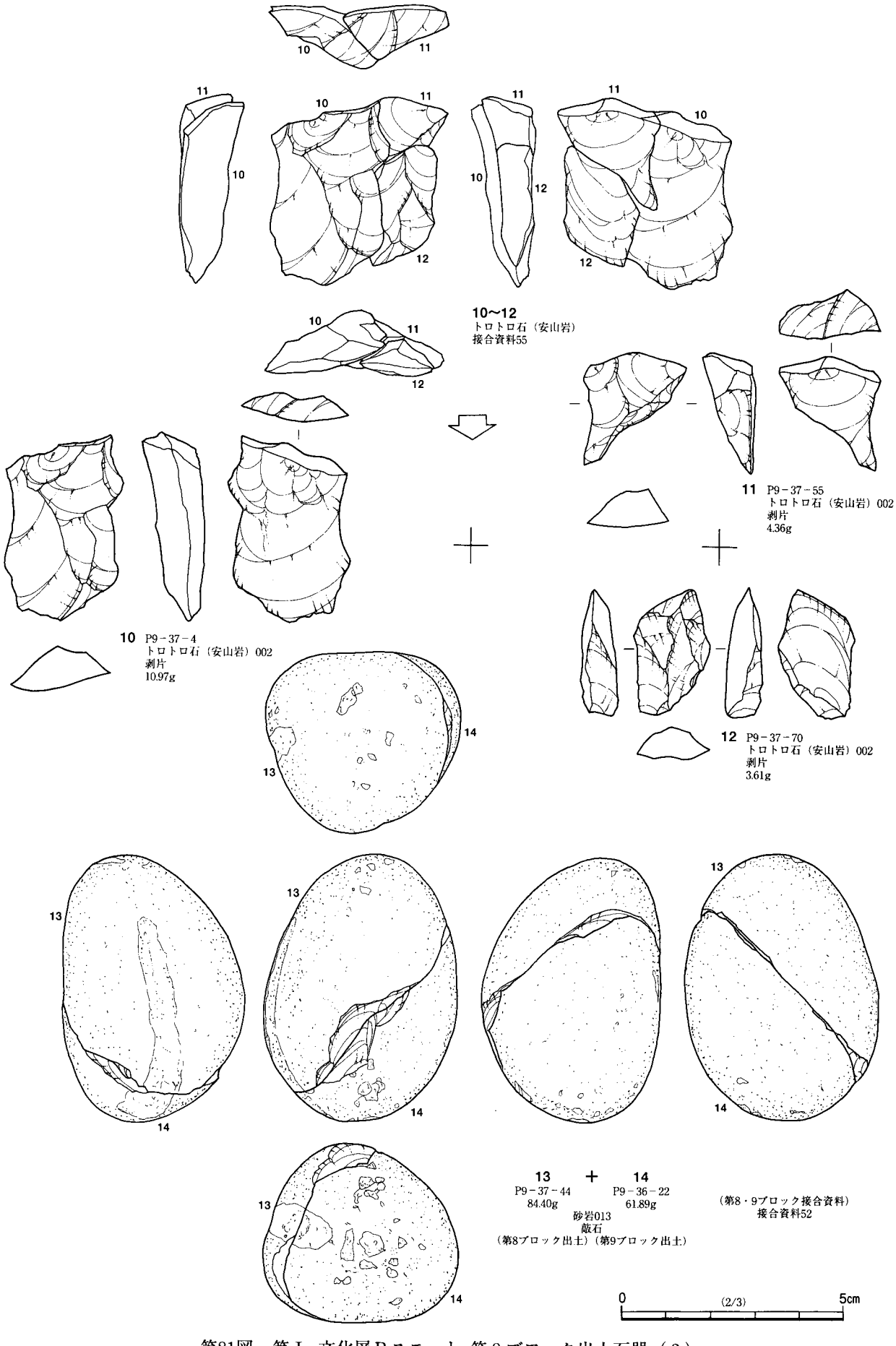
8 P9－37－50
嶺岡産珪質頁岩095
微細剥離痕のある剥片
5.65g



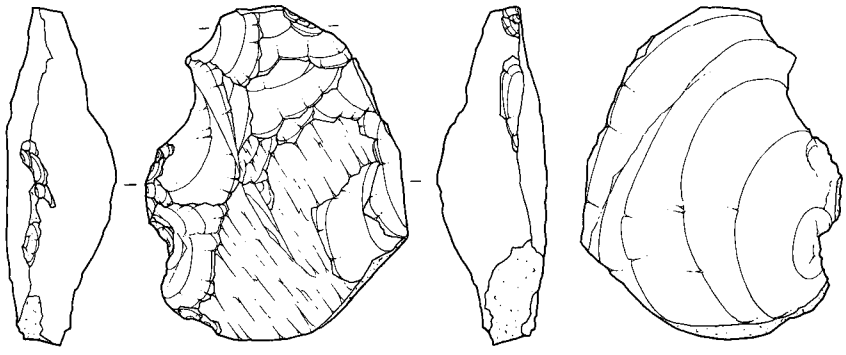
9 P9－27－15
頁岩022
微細剥離痕のある剥片
1.70g



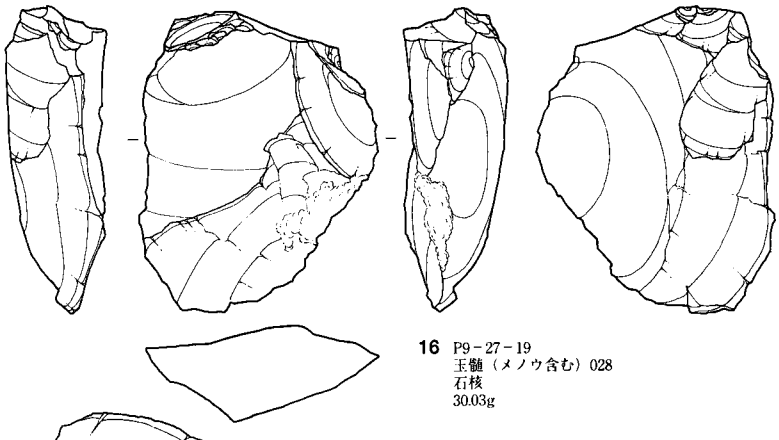
第80図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（1）



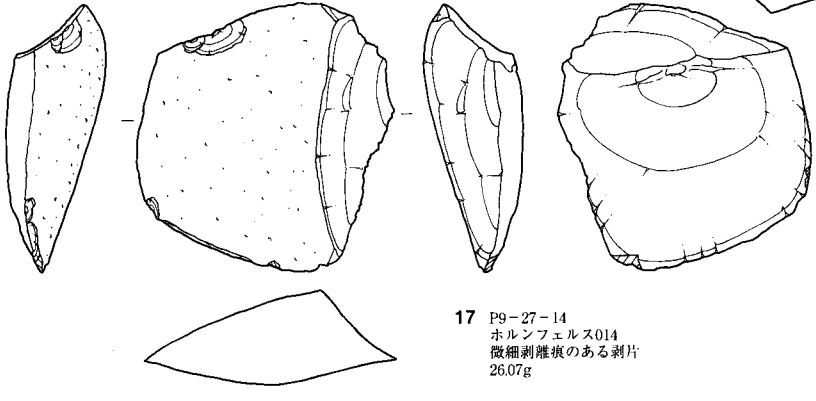
第81図　第Ⅰa文化層Bユニット　第８ブロック出土石器（２）



15 P9－37－39
嶺岡産珪質頁岩107
二次加工のある剥片
36.33g

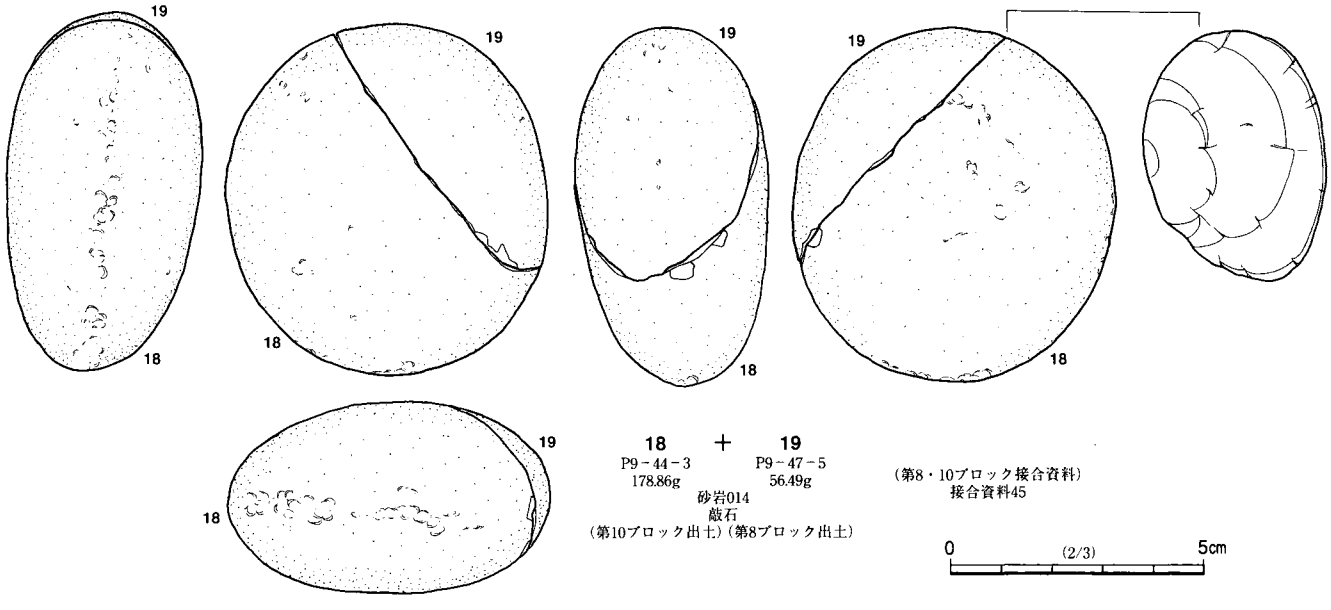


16 P9－27－19
玉髄（メノウ含む）028
石核
30.03g



17 P9－27－14
ホルンフェルス014
微細剥離痕のある剥片
26.07g

0 (4/5) 5cm

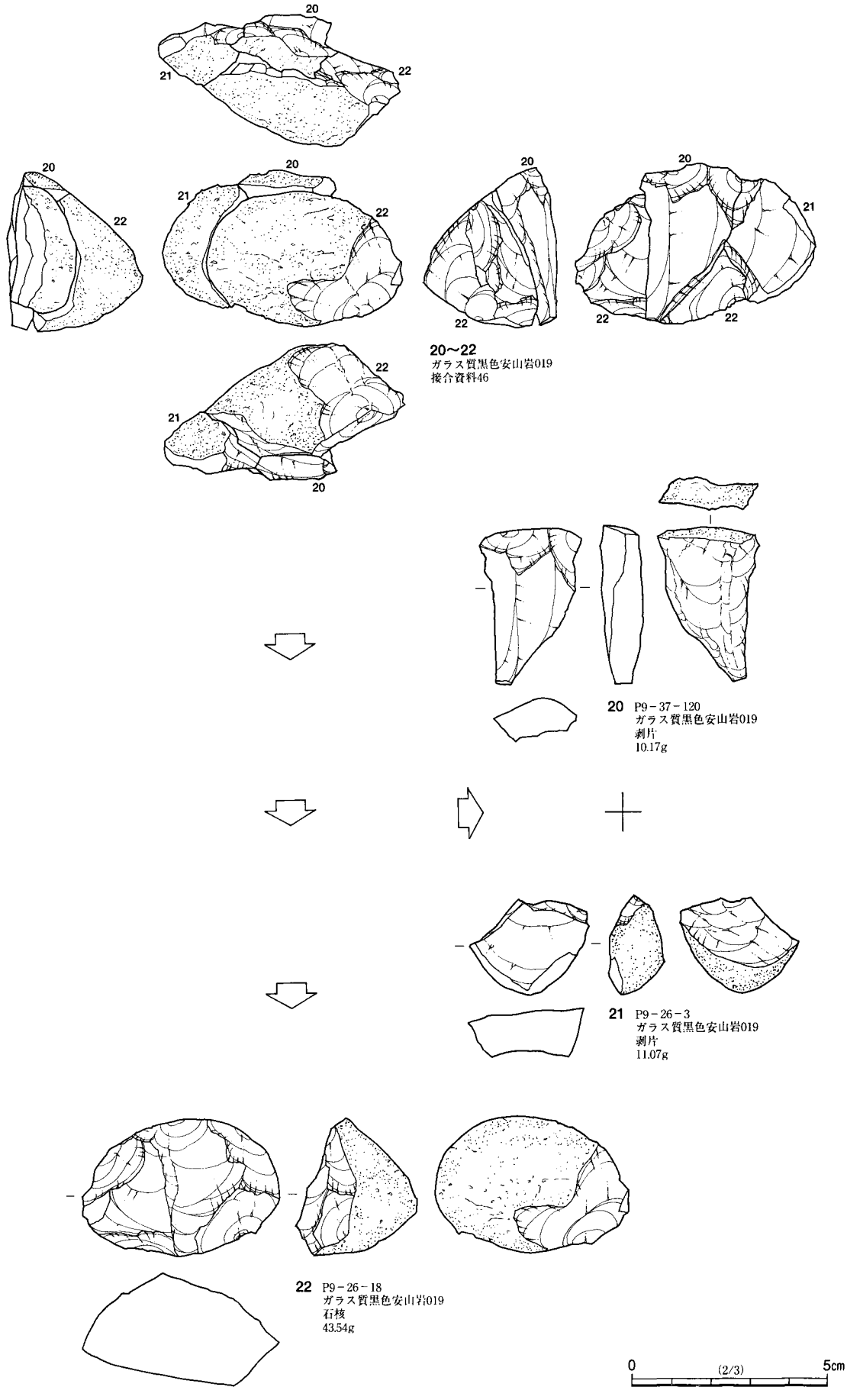


18 ＋ **19**
P9－44－3　P9－47－5
178.86g　56.49g
砂岩014
敲石
（第10ブロック出土）（第8ブロック出土）

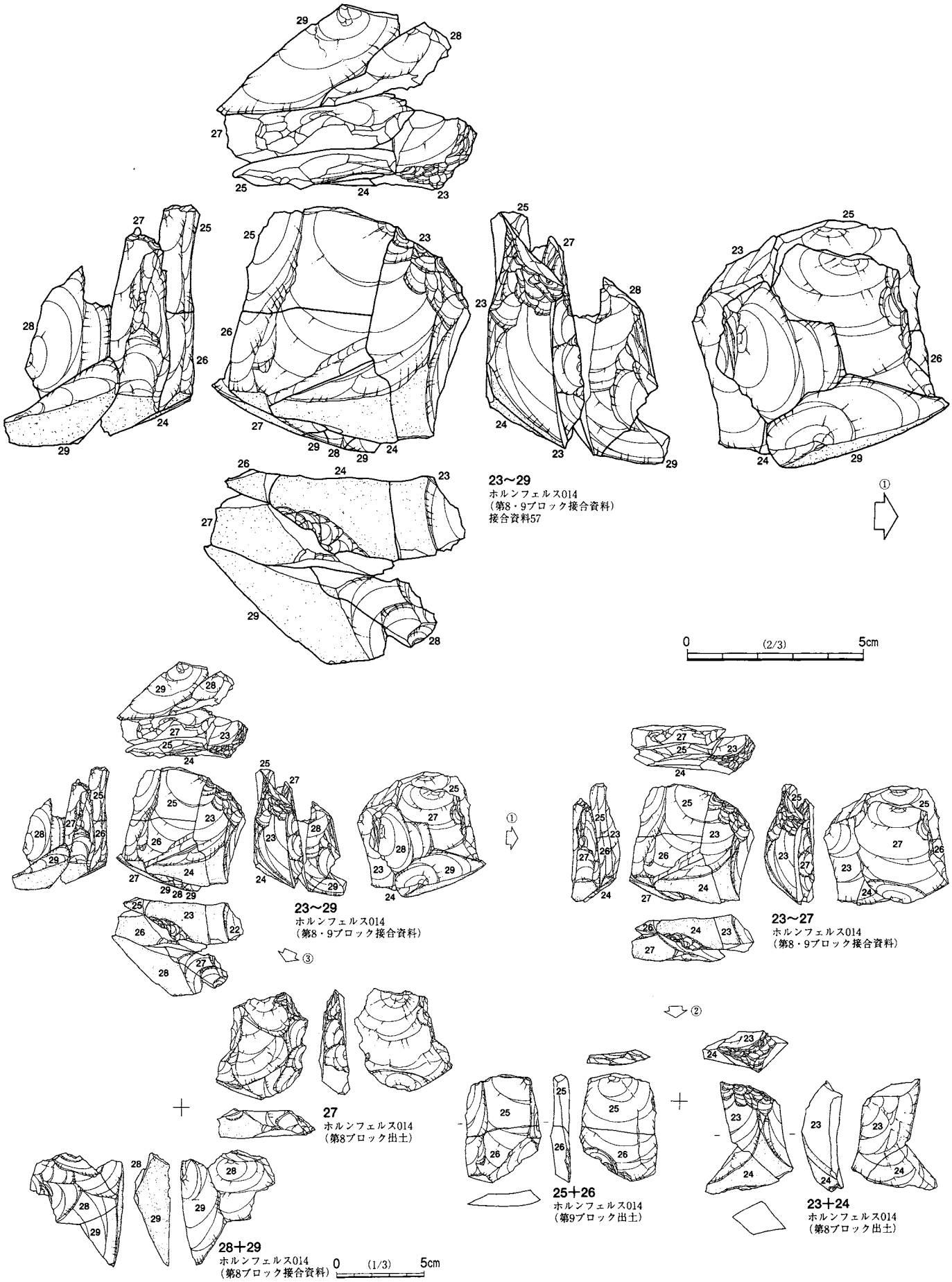
（第8・10ブロック接合資料）
接合資料45

0 (2/3) 5cm

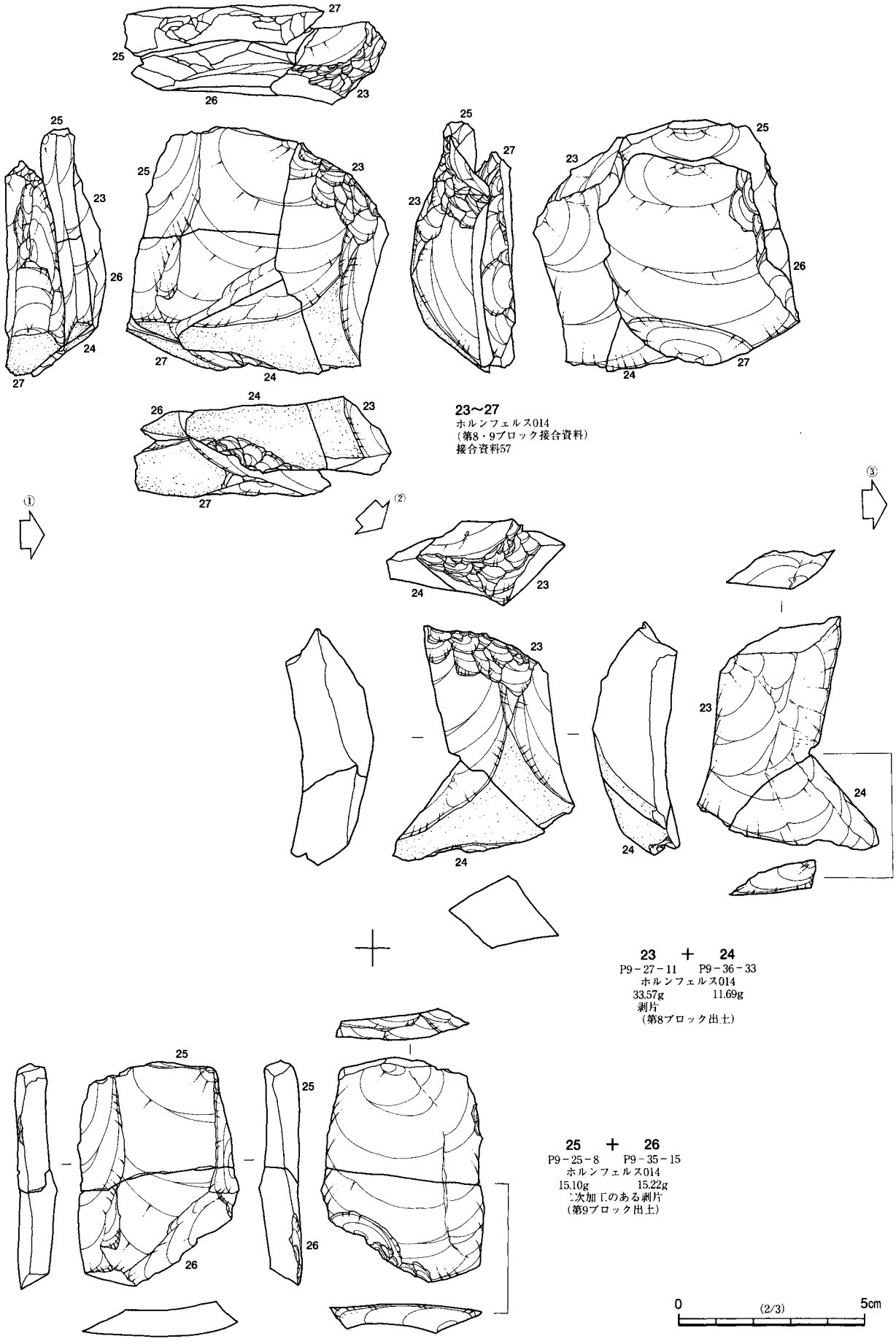
第82図　第Ⅰa文化層Bユニット 第８ブロック出土石器（３）



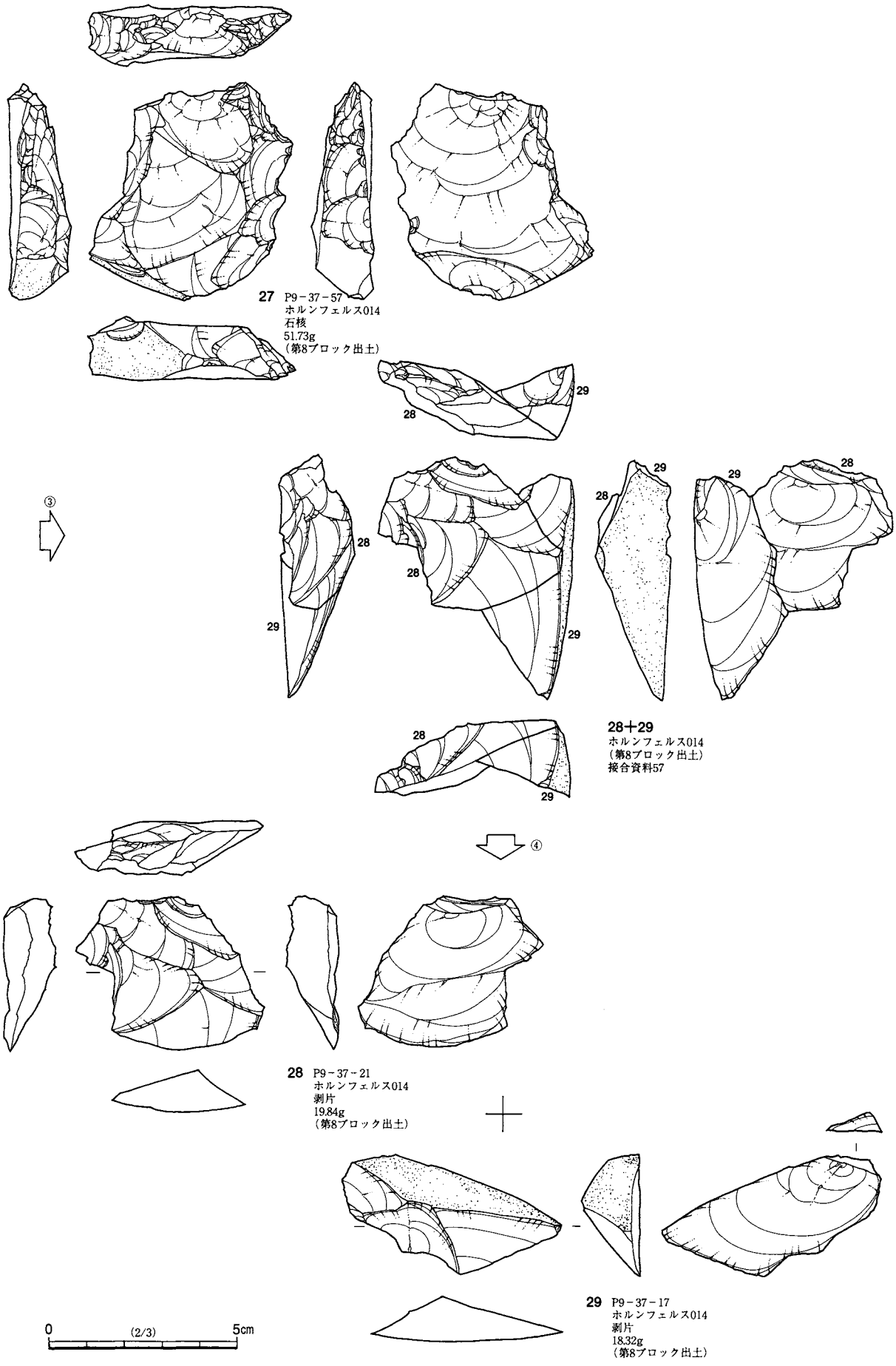
第83図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（4）



第84図　第Ⅰa文化層Bユニット 第８ブロック出土石器（５）



第85図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（6）



第86図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（7）

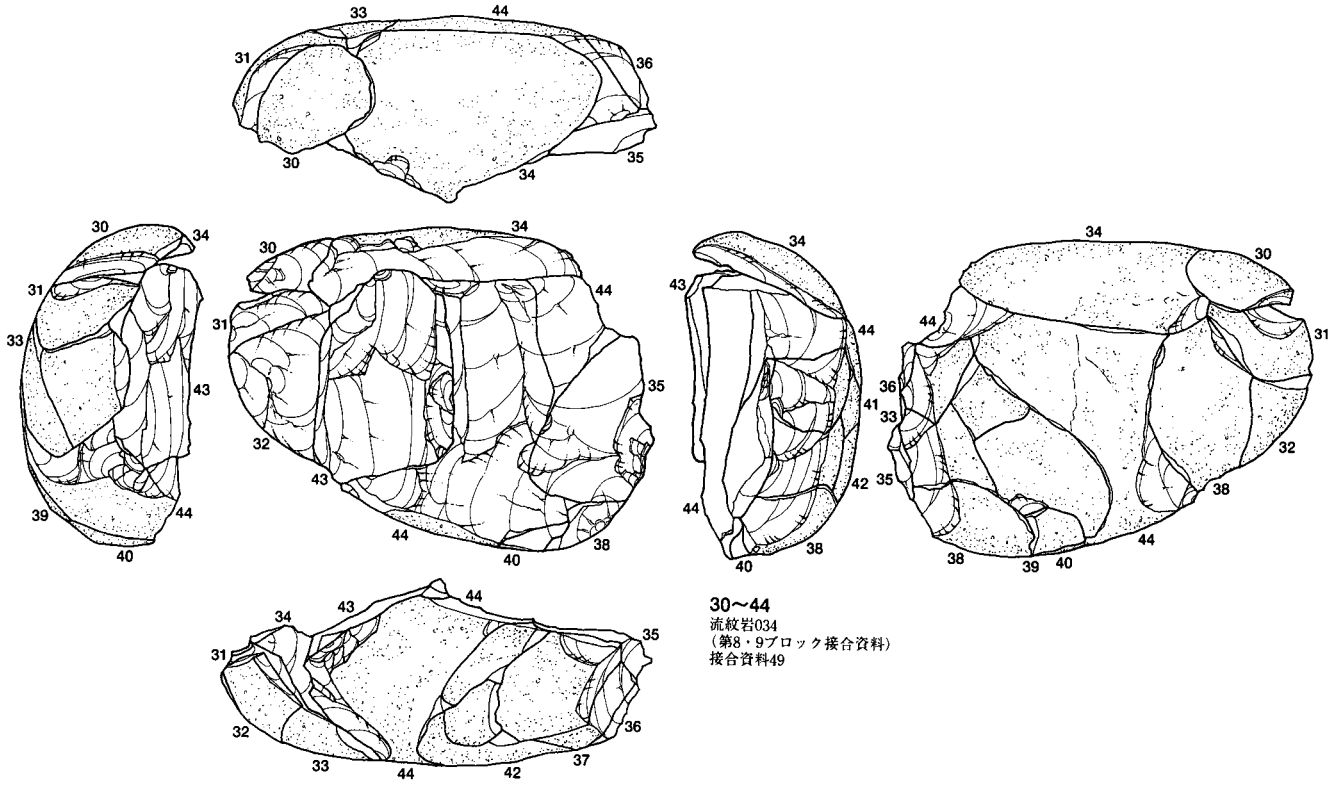
ロックにおいて分割後も敲石として機能した可能性がある。ただし，19は18＋19の接合した状態の1/4（重量比）程度の重さであり，敲打痕があまり顕著でないことから，19は分割後敲石として機能しなかったことが想定される。18は18＋19の接合した状態の3/4程度の重さであり，敲打痕が顕著であることから，分割後も敲石として機能した可能性が高い。このことから，接合資料45の敲石の機能した場所と移動について推定すると，当初は第8ブロックにおいて，18＋19の状態で敲石として機能していたが，敲打を行っている最中に18と19に分割され，19は小型の破片のためその後敲打を行っていない。19は分割後も比較的大きな形状であったため，敲石として機能し，第10ブロックに移動して持ち込まれ，敲石として機能し，最終的に第10ブロックに残されたと推定される。このように，本遺跡においては，敲石が分割された接合資料が比較的多く，ブロック間で接合していることから，接合資料45と同様に，分割後も敲石として機能した資料があるものと思われる。

20～22は接合資料46である。不定形な円礫を原石として用いており，分割した分厚い剥片を素材としているものと思われる。20～22の接合した状態で，裏面上端部の自然面を打面として，20と21の剥片を剥離している。その後，表面右下端部からと裏面右側面から剥片が剥離されている。22の残核の形状は，チョッパー状を呈する。

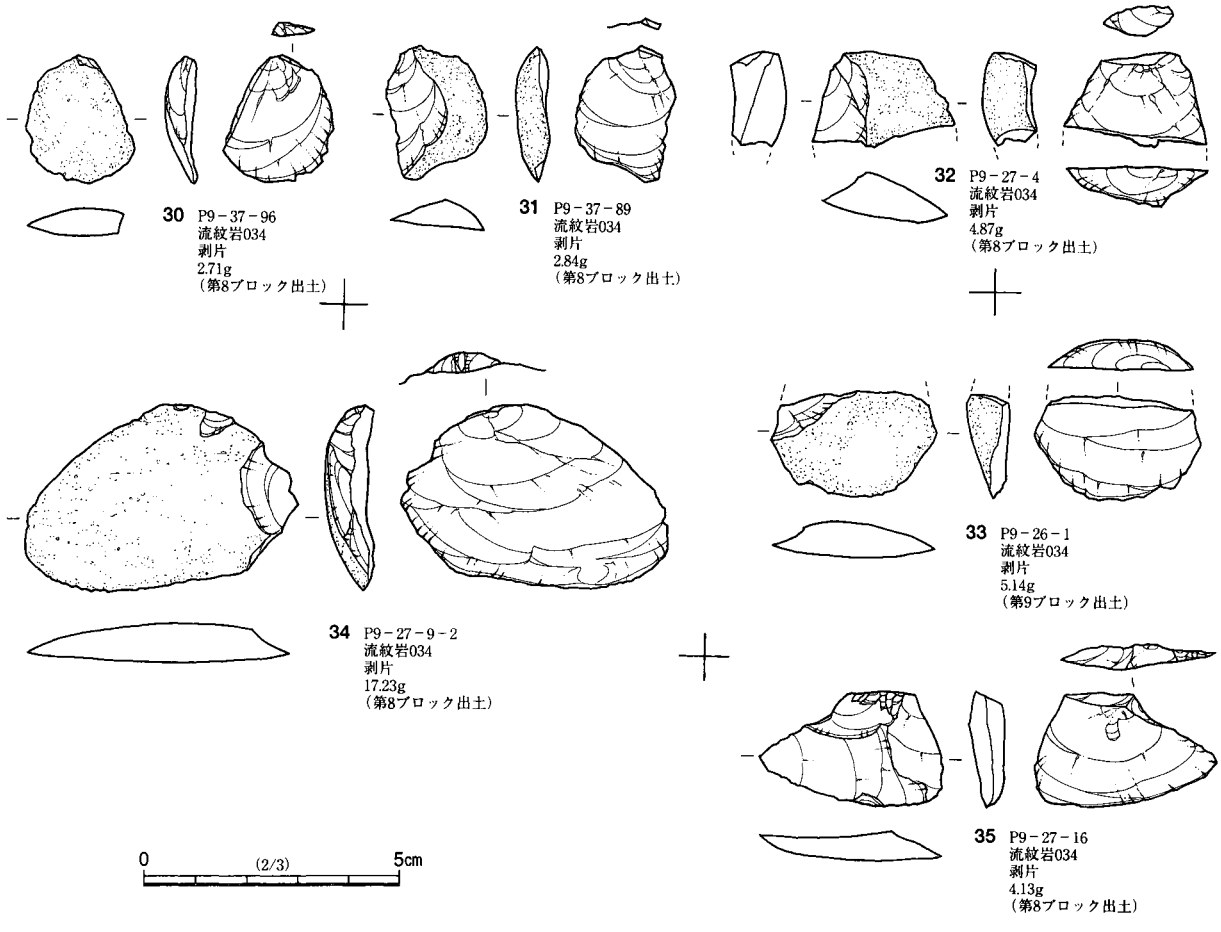
23～29は接合資料57である。23～29の接合した状態で，下端部に自然面がみられるが，そのほかは剥離面で構成されている。第P77図に剥離の順序を1/3の縮尺で示した。まず剥離の順序の概要を23～29の接合した状態をもとに示すと，①上端部右側を打面として，23＋24の剥片を剥離。→②上端部右側を打面として，25＋26の縦長剥片を剥離。→③25＋26の後に，数枚の剥片が上端部から剥離。→④上端部右側を打面として，27の厚みのある剥片を剥離，27はその後石核として用いられる。→⑤打面を90度転移して，右側縁から28を剥離。→⑥打面を90度転移して，下端部から29を剥離。以上のように，6回の大まかな剥離の工程がみられる接合資料である。上述の剥離の順番に，もう少し詳細に記載すると以下のとおりになる。

①上端部右側を右上端部を打面として23＋24が剥離されている。23と24は23＋24の剥片を剥離した際の同時割れの資料である。②次に打面を，上端部左側に移動して，25＋26の縦長剥片を剥離している。25＋26の状態で，裏面末端部と右側面上部に調整加工が施されている。調整加工を行っている時か，あるいは，石器の使用時に，25と26が分割されたものと思われる。③その後，上端部を打面として，数枚の剥片が剥離されているが，接合する資料はみつかっていない。④続けて，上端部左上部を打面として，27の厚みのある幅広の剥片を剥離している。27は背面両側縁と腹面下部に小型の貝殻上の剥片が剥離されている石核である。⑤右側縁から，28の幅広の剥片を剥離している。末端形状は蝶番状を呈する。⑥下端部から，29の幅広の剥片を剥離している。25＋26が第9ブロック出土であるが，それ以外は第8ブロック出土の資料である。

30～44は接合資料49である。拳大の扁平な楕円形礫を原石として用いている。おそらく，原石を素材としていると思われる。30～44の接合した状態で，原石の約3/4が残存しているものと思われる。まず，裏面右側面から30と31と32＋33の3枚の剥片を剥離している。32＋33は剥片剥離時の同時割れの資料である。次に，裏面左側面に打面を転移して，35～42を剥離している。剥離されたものは，小型で不定形な剥片である。41と42は剥離時の同時割れの資料である。30～42の資料は，いずれも背面に自然面を大きく残し，小型の不定形な剥片である。次に，表面上端部に打面を転移して，43の縦長剥片を剥離している。43は右側縁を折断し，左側縁上半部にやや粗い調整加工が施された二次加工のある剥片である。43のみが自然面



30～44
流紋岩034
（第8・9ブロック接合資料）
接合資料49



30 P9－37－96
流紋岩034
剥片
2.71g
（第8ブロック出土）

31 P9－37－89
流紋岩034
剥片
2.84g
（第8ブロック出土）

32 P9－27－4
流紋岩034
剥片
4.87g
（第8ブロック出土）

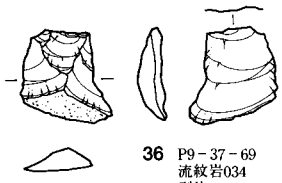
33 P9－26－1
流紋岩034
剥片
5.14g
（第9ブロック出土）

34 P9－27－9－2
流紋岩034
剥片
17.23g
（第8ブロック出土）

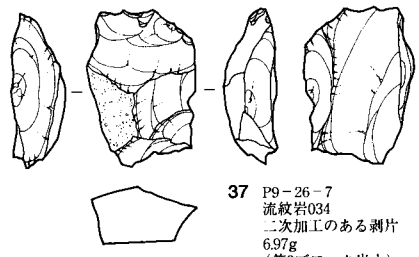
35 P9－27－16
流紋岩034
剥片
4.13g
（第8ブロック出土）

0 (2/3) 5cm

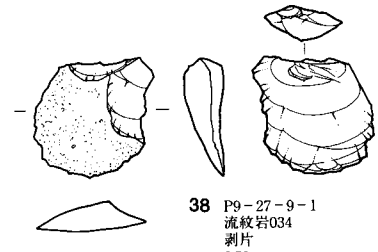
第87図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（8）



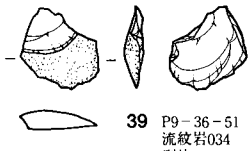
36 P9－37－69
流紋岩034
剥片
1.38g
（第8ブロック出土）



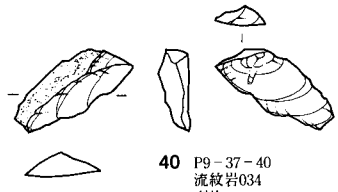
37 P9－26－7
流紋岩034
二次加工のある剥片
6.97g
（第8ブロック出土）



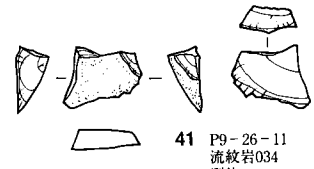
38 P9－27－9－1
流紋岩034
剥片
3.59g
（第8ブロック出土）



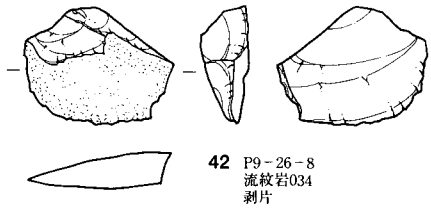
39 P9－36－51
流紋岩034
剥片
0.70g
（第8ブロック出土）



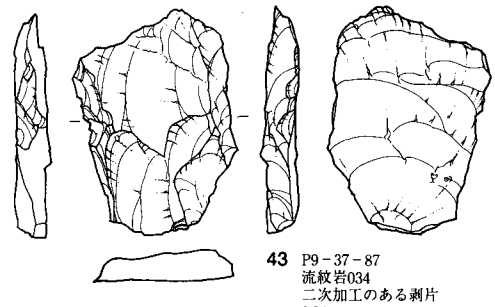
40 P9－37－40
流紋岩034
剥片
1.36g
（第8ブロック出土）



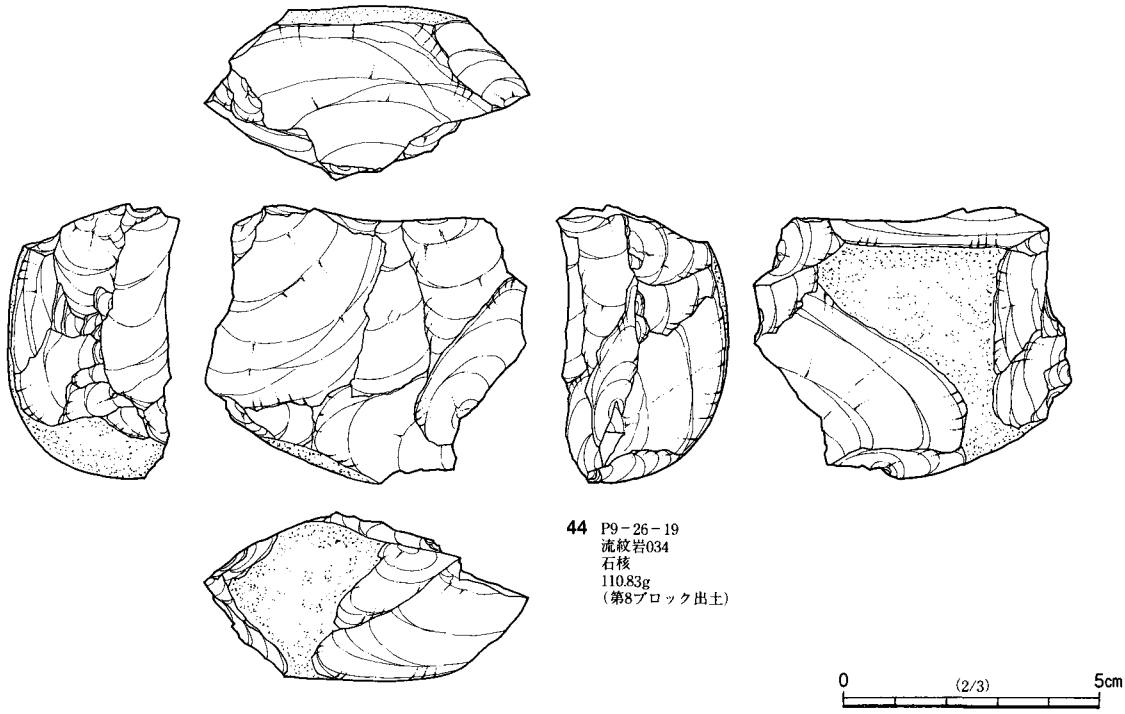
41 P9－26－11
流紋岩034
剥片
0.87g
（第8ブロック出土）



42 P9－26－8
流紋岩034
剥片
5.21g
（第8ブロック出土）



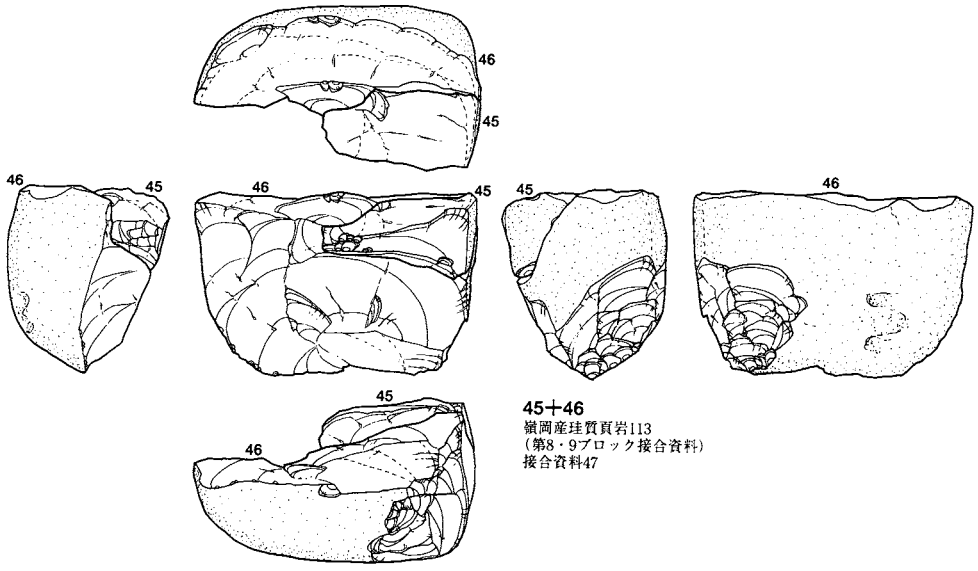
43 P9－37－87
流紋岩034
二次加工のある剥片
9.34g
（第8ブロック出土）

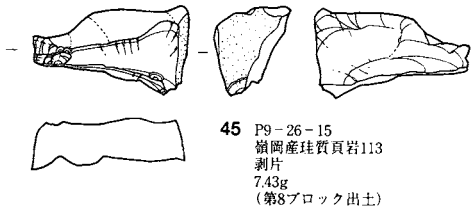


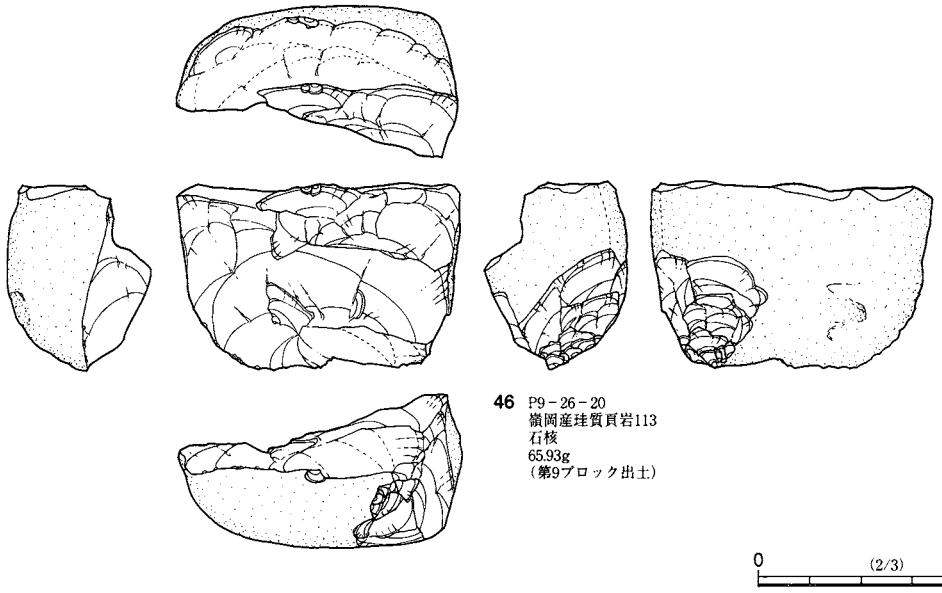
44 P9－26－19
流紋岩034
石核
110.83g
（第8ブロック出土）

0 (2/3) 5cm

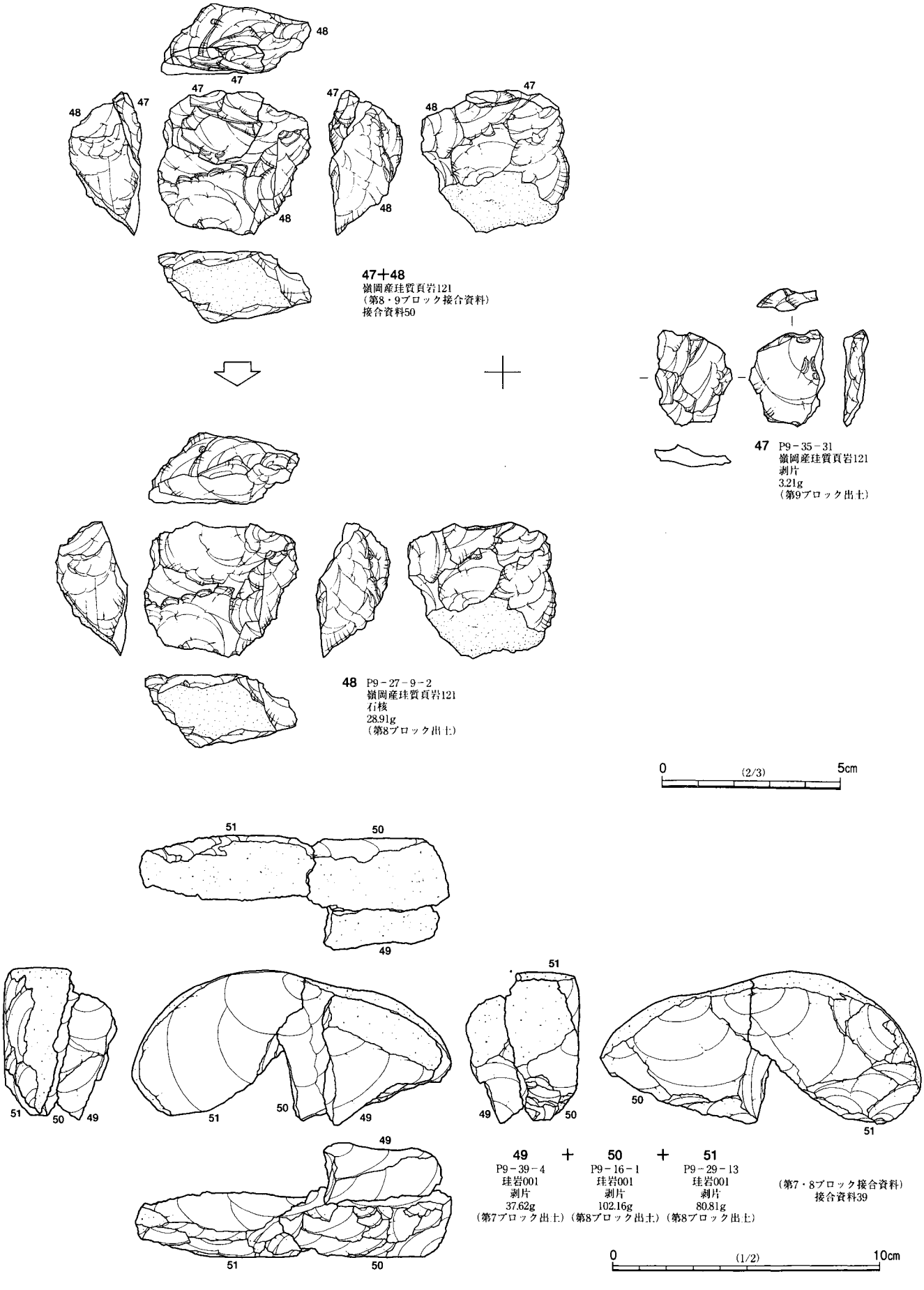
第88図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（9）



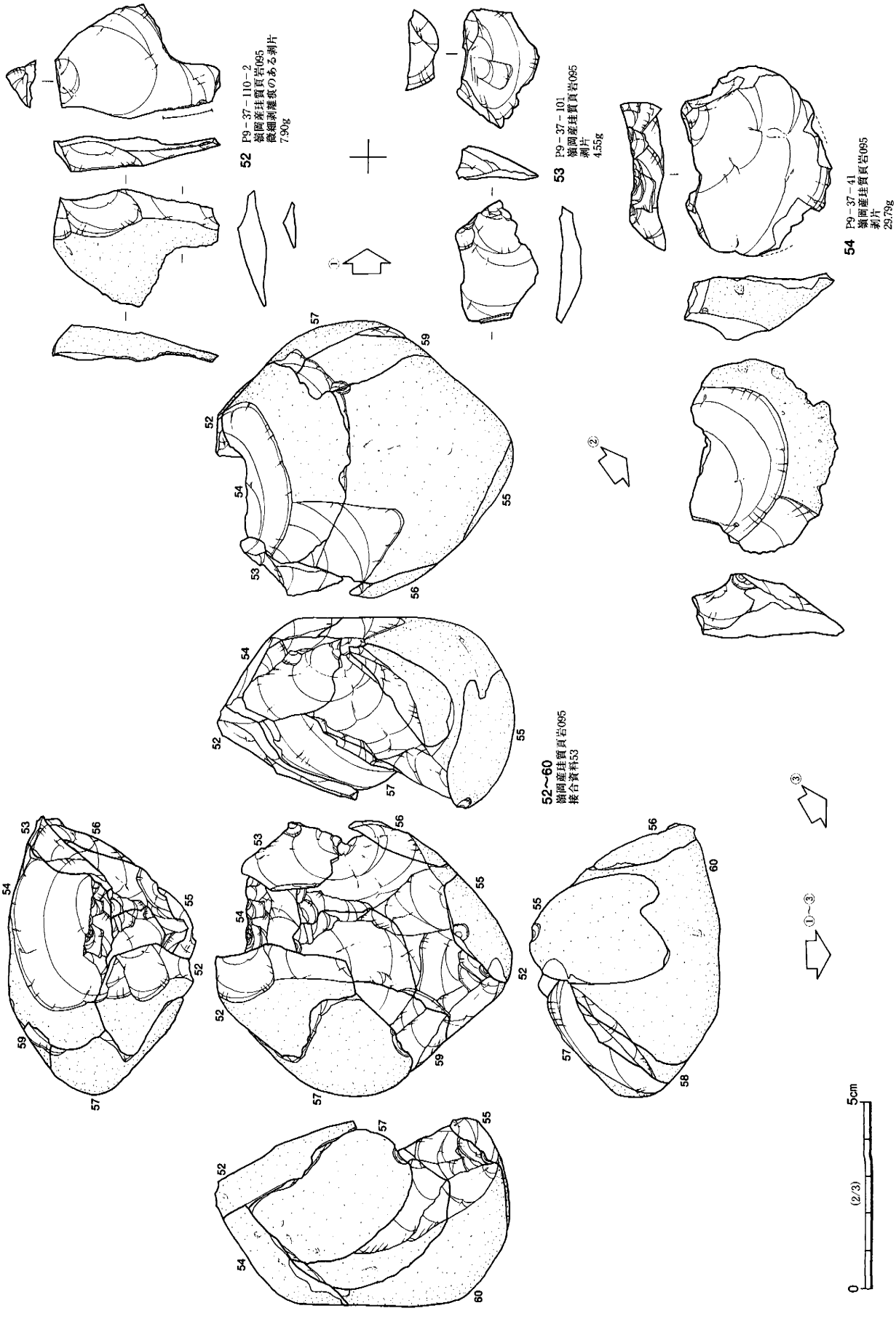




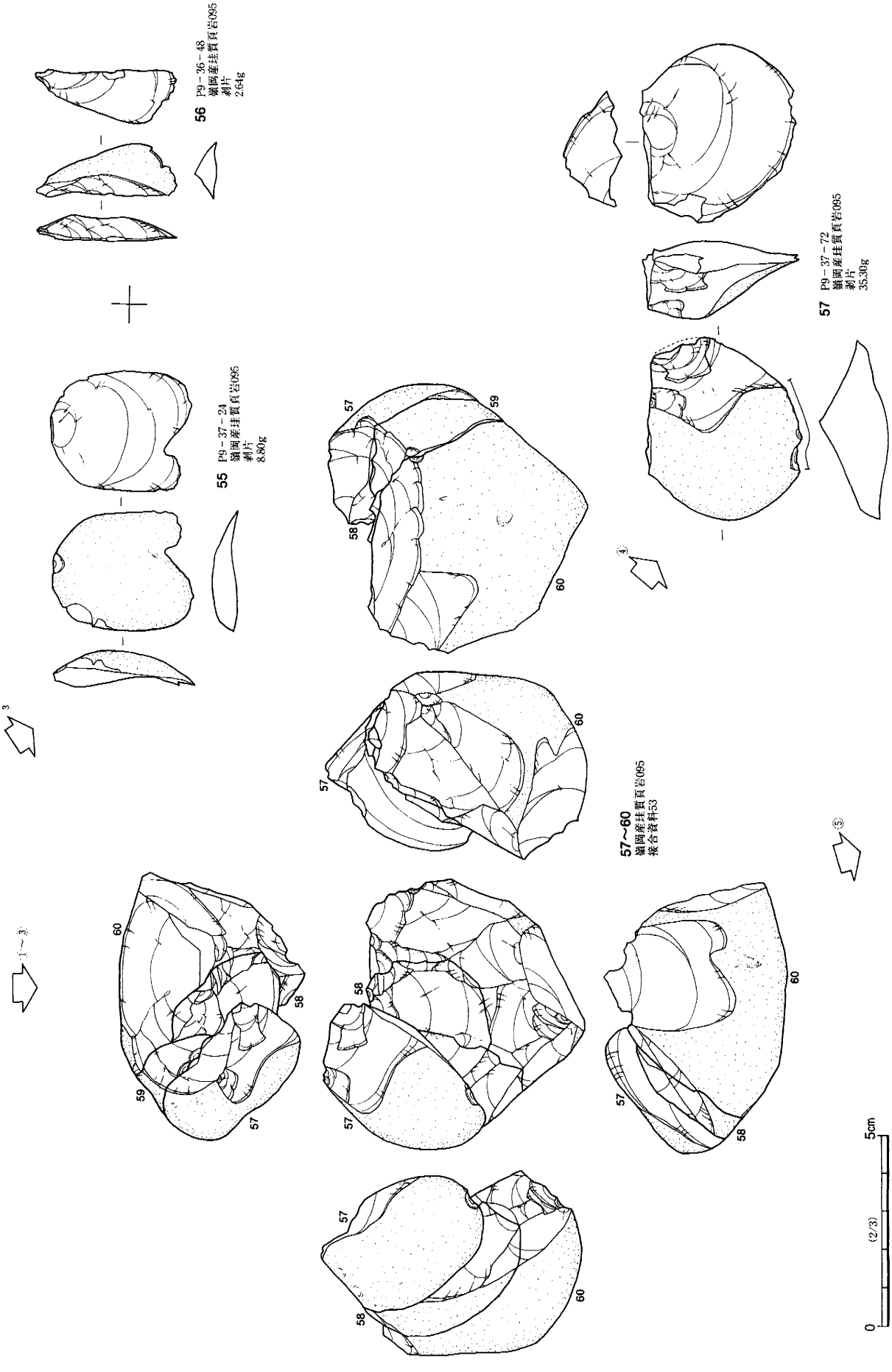
第89図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（10）



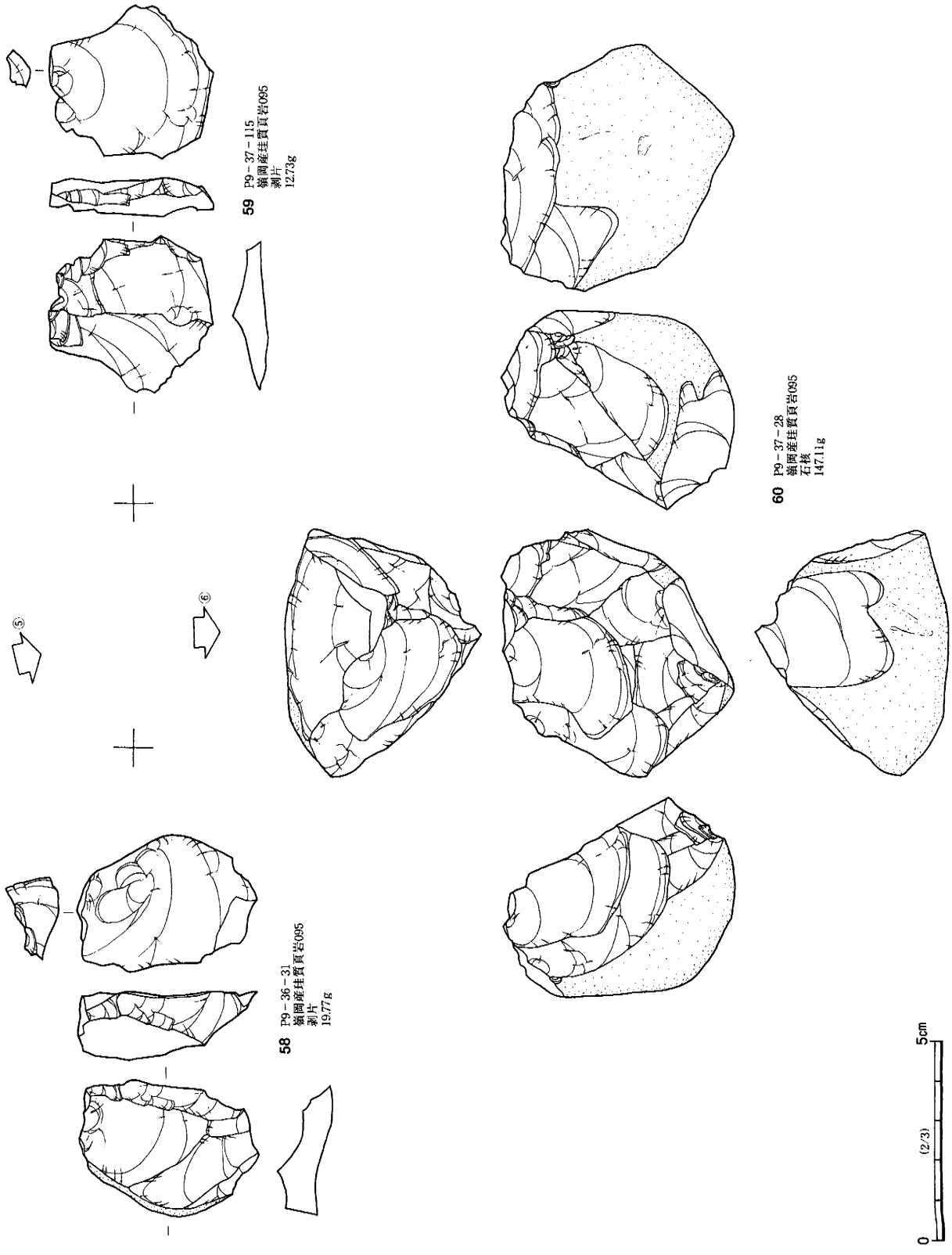
第90図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（11）



第91図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（12）



第92図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（13）



第93図　第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック出土石器（14）

がない剥片であり，縦長剥片で，それを素材として調整加工が施されている。おそらく，30～42の剥片は，不定形な剥片であり，背面に自然面を大きく残し，調整加工が施されていない。このことから，30～42は，原石の自然面を除去し，石核を成形するための剥離であったことが推定される。これとは反対に，43は自然面を持たない目的的剥片が剥離されたものであり，自然面が除去された段階の成形された石核から剥離された縦長剥片である。調整加工も施されている。43の背面構成から，43の剥離の直前に剥離されてものの中にも，縦長剥片が２～３枚剥離されており，43と同様に製品として利用された可能性が高い。

45＋46は接合資料47である。拳大の原石を用いている。節理面に沿って，大きく分割した資料が45＋46である。45＋46を素材として，両極剥離が行われており，45が剥離されている。残核である46の裏面左下端部にも両極剥離時の剥離面がみられる

47＋48は接合資料50である。節理面が多い石質であり，１回の剥離で複数枚の剥片が剥離されたことが推察される資料である。厚みのある剥片を素材として，両極剥離によって，47のような剥片が剥離されている。48は両極剥離によって剥離された残核の資料である。

49～51は接合資料39である。接合資料50と同様に，節理面が非常に多い石質であり，１回の剥離で複数枚の剥片が剥離されている。分割された厚みのある剥片を素材としており，裏面右側面と裏面下端部から横長の厚みのない剥片が剥離されている。裏面の下端部中央部から剥片を剥離した際に，おそらく49･50･51の３枚の剥片が同時割れしたものと思われる資料である。

52～60は接合資料53である。拳大の円礫を素材として用いている。剥片剥離工程の段階は，大きく分けて三つに分かれる。一番目は，自然面を除去するような剥離である。52と53と55の剥片が相当する。表面左上端部から52が剥離され，表面左上端部から53が剥離され，正面下端部から55が剥離されている。二番目は，打面を作出する剥離である。54が相当する。表面正面から裏面にかけて，幅広の厚みのある剥片が剥離されている。三番目に，54の剥離で作出された打面を上部に固定して，56～59の縦長剥片が剥離されている。残核である60は，チョッピングツゥール状の形態を呈する。

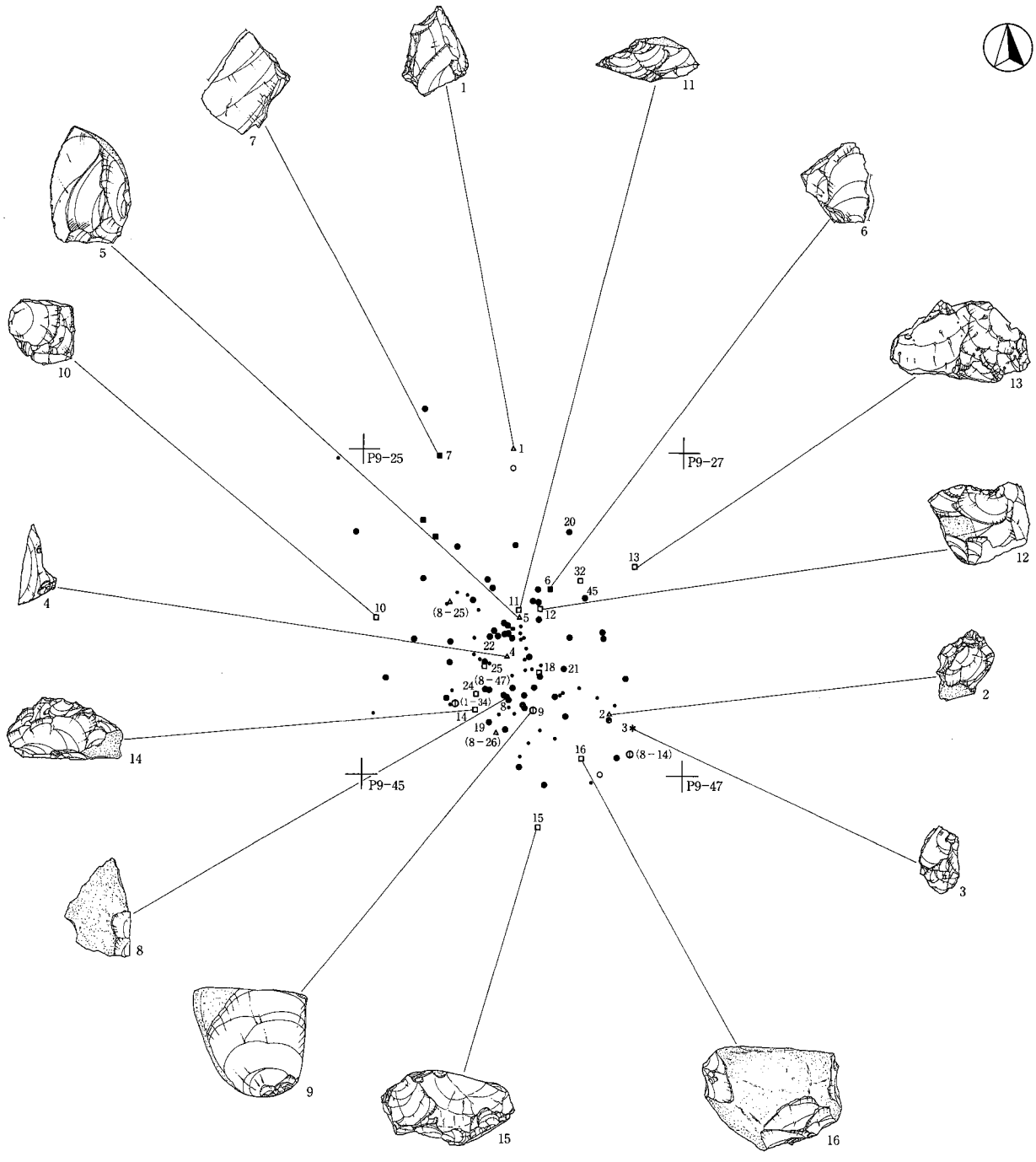
ｃ．第９ブロック（第94～102図，第22・23・99・100表，図版２・29・31）

出土状況　平面分布は，約５ｍ×４ｍの楕円形の範囲にやや密集する。分布状況を詳細にみると，南西部に密集する地点がみられ，北部や東部は散漫に分布していることがうかがえる。出土層位は，Ⅹａ層上部～Ⅶ層にかけて出土しており，Ⅸｃ層下部に集中する。

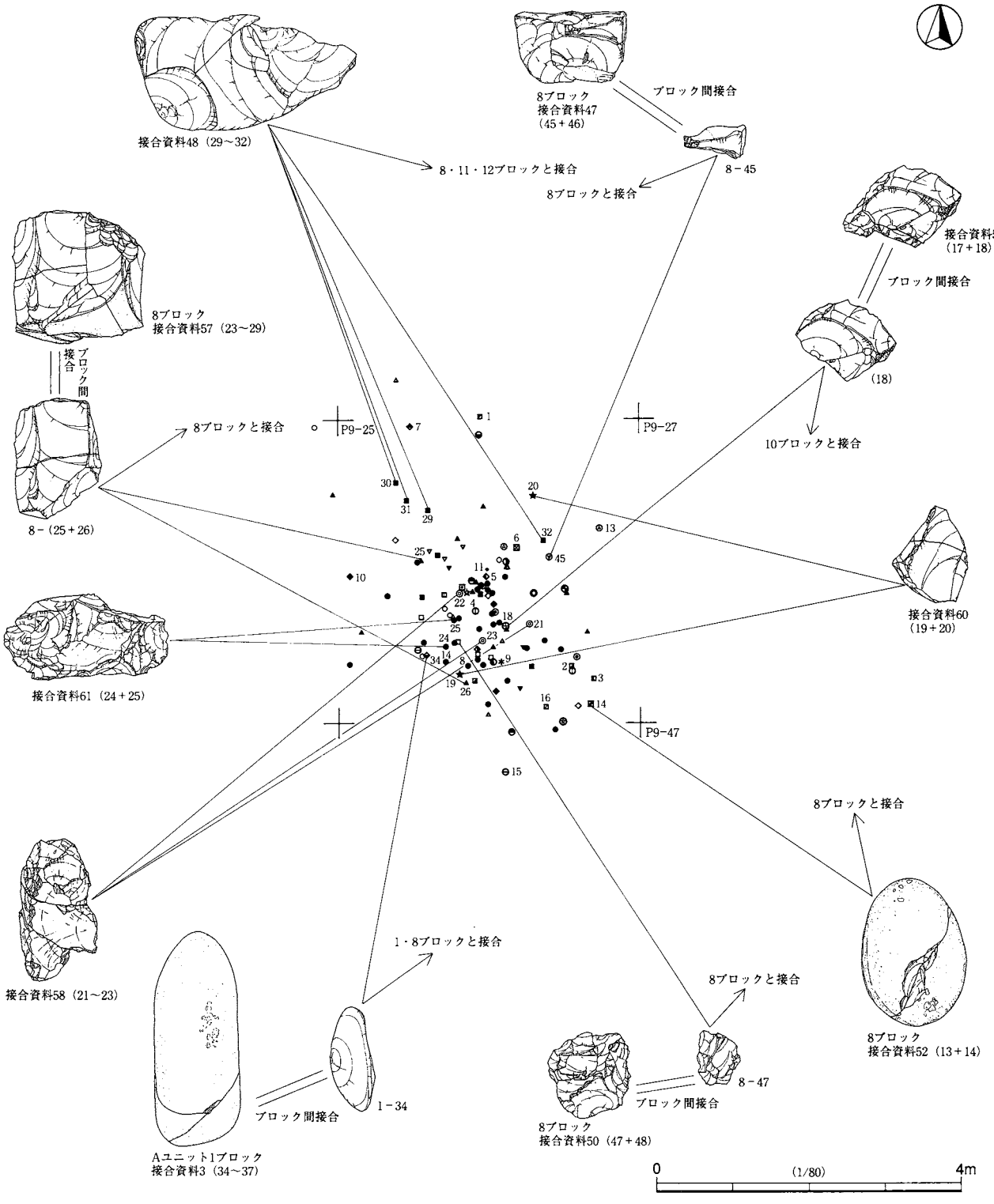
器種別分布（第94図）の特徴は，楔形石器・二次加工のある剥片・微細剥離痕のある剥片がブロックの外周部から出土しているのに対して，敲石や石核が南部の遺物の集中地点から出土している。

母岩別分布（第95図）の特徴は，第８ブロックと同様に接合資料が非常に多く，ブロック間の接合資料も多くみられる。特に，敲石はブロック間接合がみられ，接合資料３は前述のとおりのユニット間の接合関係を示す資料である。接合資料52の敲石は，第８ブロックと接合している。接合資料48は北部に集中して出土しているが，それ以外の接合資料は，南西部の密集する地点から出土している。

出土遺物　総計116点出土した。母岩器種組成は第22･23表のとおりである。器種組成の特徴は，製品がみられず，楔形石器が１点・敲石３点出土しているのみである。石核は11点で点数が多く，剥片・砕片の割合が高い。母岩（石材）組成は，比較的多様の石材が用いられている。そのなかで，嶺岡産珪質頁岩（50%）・ホルンフェルス（14.66%）が比較的多く用いられている。母岩別にみると，黒曜石011は楔形石



第94図　第Ⅰa文化層Bユニット 第9ブロック器種別分布図



- 黒曜石012
- 黒曜石013
- 黒曜石011
- ガラス質黒色安山岩011
- ガラス質黒色安山岩023
- ガラス質黒色安山岩024
- トロトロ石（安山岩）003
- トロトロ石（安山岩）006
- ホルンフェルス014
- ホルンフェルス015
- ホルンフェルス016
- ホルンフェルス018
- 流紋岩039
- 流紋岩041
- 流紋岩042
- 頁岩022
- 嶺岡産珪質頁岩106
- 嶺岡産珪質頁岩108
- 嶺岡産珪質頁岩109
- 嶺岡産珪質頁岩110
- 嶺岡産珪質頁岩111
- 嶺岡産珪質頁岩112
- 嶺岡産珪質頁岩113
- 嶺岡産珪質頁岩114
- 嶺岡産珪質頁岩115
- 嶺岡産珪質頁岩116
- 嶺岡産珪質頁岩117
- 嶺岡産珪質頁岩118
- 嶺岡産珪質頁岩119
- 嶺岡産珪質頁岩121
- 嶺岡産珪質頁岩122
- 嶺岡産珪質頁岩123
- 嶺岡産珪質頁岩124
- チャート043
- 玉髄（メノウ含む）024
- 玉髄（メノウ含む）025
- 玉髄（メノウ含む）026
- 玉髄（メノウ含む）027
- 玉髄（メノウ含む）033
- 砂岩012
- 砂岩013

第95図　第Ⅰa文化層Bユニット 第9ブロック母岩別分布図

器が単独出土している。嶺岡産珪質頁岩122は，石核３点，剥片４点，砕片21点出土していることから，大きな母岩を遺跡内に搬入して，数固体に分割した後に剥片を生産したことがうかがわれる。おそらく，母岩別に見ると，最終的に石核が複数出土しているものは，この母岩でしかみられないが，石核の形状や剥片の形状を見ると母岩を分割してから，剥片を生産したと思われる。

１・２・４・５は二次加工のある剥片である。１は幅広の剥片を素材として，背面右側縁と背面左側縁上部と腹面下端部を折断によって成形後に，背面右側縁下半部と腹面右側縁に平坦でやや粗い調整加工が施されている。２は縦長剥片を素材として，背面右側縁を折断により成形後に，背面先端部に微細な調整加工が施されている。４は細長の剥片を素材として，右側縁下部と中間部にやや粗い調整加工が施されている。５は三角形状の厚みのない剥片を素材として，左側縁全体に連続的に細かい調整加工が入念に施されており，特に，先端部の調整加工は入念に施されている。腹面右下部にも微細な調整加工が施されている。背面左側の剥離面は，ポジティヴ面を有している。

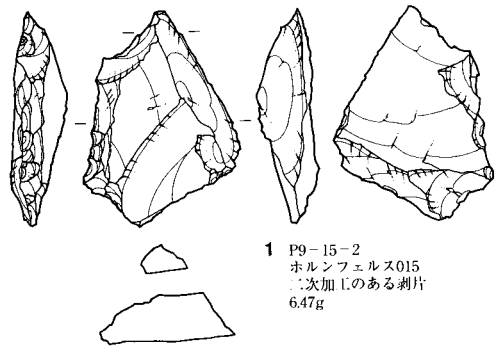
３は楔形石器である。縦長剥片を素材として，長軸方向の両端から両極剥離が行われている。背面上半部の剥離面は，ポジティヴ面を有している。

６・７は微細剥離痕のある剥片である。６は台形状の形態をした剥片を素材として，右側縁下部に微細剥離がみられる。７は良質の玉髄（メノウ含む）を用いており，基部側の背面右側縁上部を折断によって成形後に，背面左側縁上半部に微細剥離が連続的にみられる。特に，先端部付近に微細剥離痕が顕著にみられる。

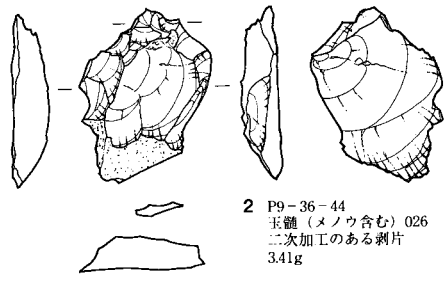
８は背面に大きく自然面を残した厚みのない剥片を素材として，右側縁を折断している。

９は敲石である。楕円形の円礫を原石として用いたものと思われる。表面下端部に顕著な敲打痕がみられる。おそらく，表面の大きな剥離面や上端部の剥離面は，敲打によって剥離，あるいは，折れたものと思われる。このように，下端部からかなり頻繁に敲打を行った後に，大きく剥離面が形成された後にも，敲打を行い，最終的な敲石の形状を呈しているものと思われる。

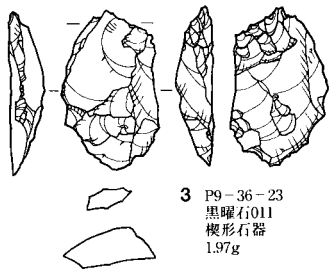
10～16は石核である。10は分割した厚みのある剥片を素材としていると思われる。上端部と下端部を大きく剥離することによって，石核を成形していると思われる。その後，裏面左側縁から小型の貝殻状の剥片を剥離後，裏面上部に打点を転移して，小型の剥片を剥離した後に，表面左側面に打点を転移して，幅広の剥片を剥離している。残核の最終的な形状は，サイコロ状を呈する。11は節理面で分割された厚みのある剥片を素材として，下面右側縁から幅広の剥片を剥離後，上面下部に打点を転移して，横長の剥片を２枚剥離した後に，表面左側縁に打点を転移して，小型の貝殻状の剥片が４・５枚剥離されている。12は節理面で分割された厚みのある剥片を素材として，裏面上端部から横長の剥片を剥離後，裏面左側面に打点を転移して小型の剥片を剥離後，表面左下端部と表面上端部から貝殻状の剥片を剥離している。13は節理面に沿って大きく分割された厚みのある剥片を素材としている。表面上端部から幅広の剥片を３・４枚剥離後に，下端部が大きく折断されている。14は分割した厚みのある剥片を素材として，表面下部から幅広の剥片を剥離後，上面右側縁から縦長の剥片が剥離されている。15は分割した厚みのある剥片を素材として，表面右下半部から小型の貝殻状の剥片を剥離後に，表面上端部に打点を転移して幅広の剥片を剥離している。16は分割礫を素材としたものと思われる。表面右下端部から，幅広の剥片を剥離後，裏面下端部から小型の貝殻状の剥片を剥離し，裏面左側面に打点を転移して，幅広の剥片を剥離後，最後に裏面上端部に打点を転移して，幅広の剥片を６・７枚剥離している。



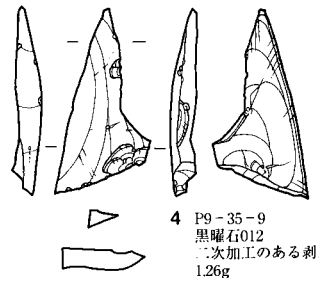
1 P9－15－2
ホルンフェルス015
二次加工のある剥片
6.47g



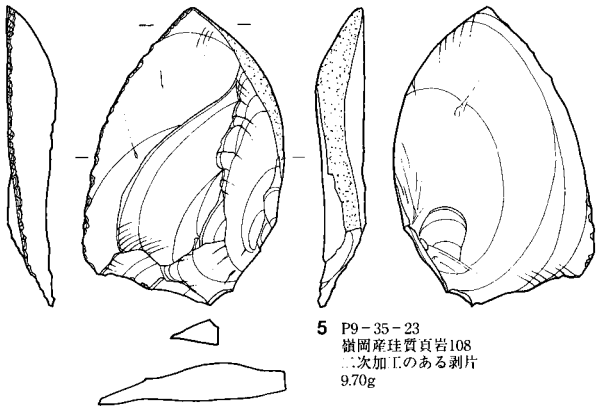
2 P9－36－44
玉髄（メノウ含む）026
二次加工のある剥片
3.41g



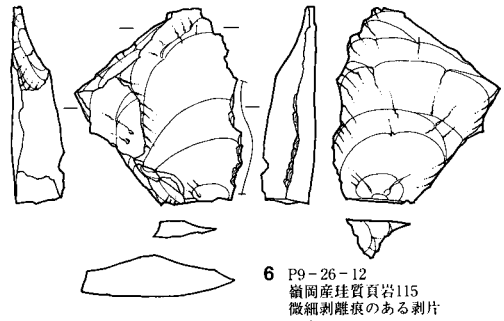
3 P9－36－23
黒曜石011
楔形石器
1.97g



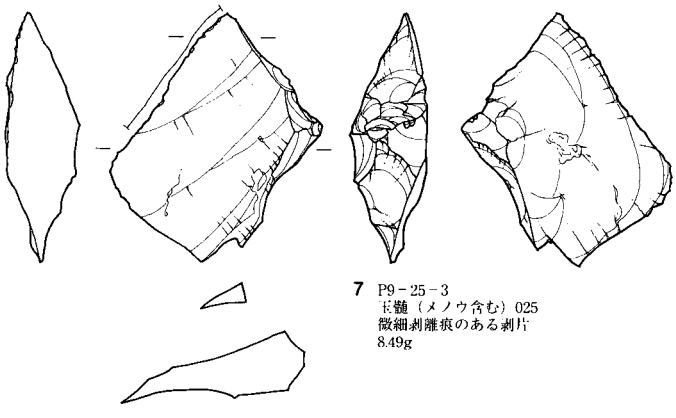
4 P9－35－9
黒曜石012
二次加工のある剥片
1.26g



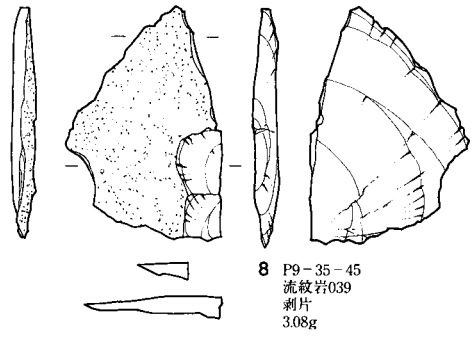
5 P9－35－23
嶺岡産珪質頁岩108
二次加工のある剥片
9.70g



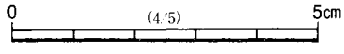
6 P9－26－12
嶺岡産珪質頁岩115
微細剥離痕のある剥片
6.12g



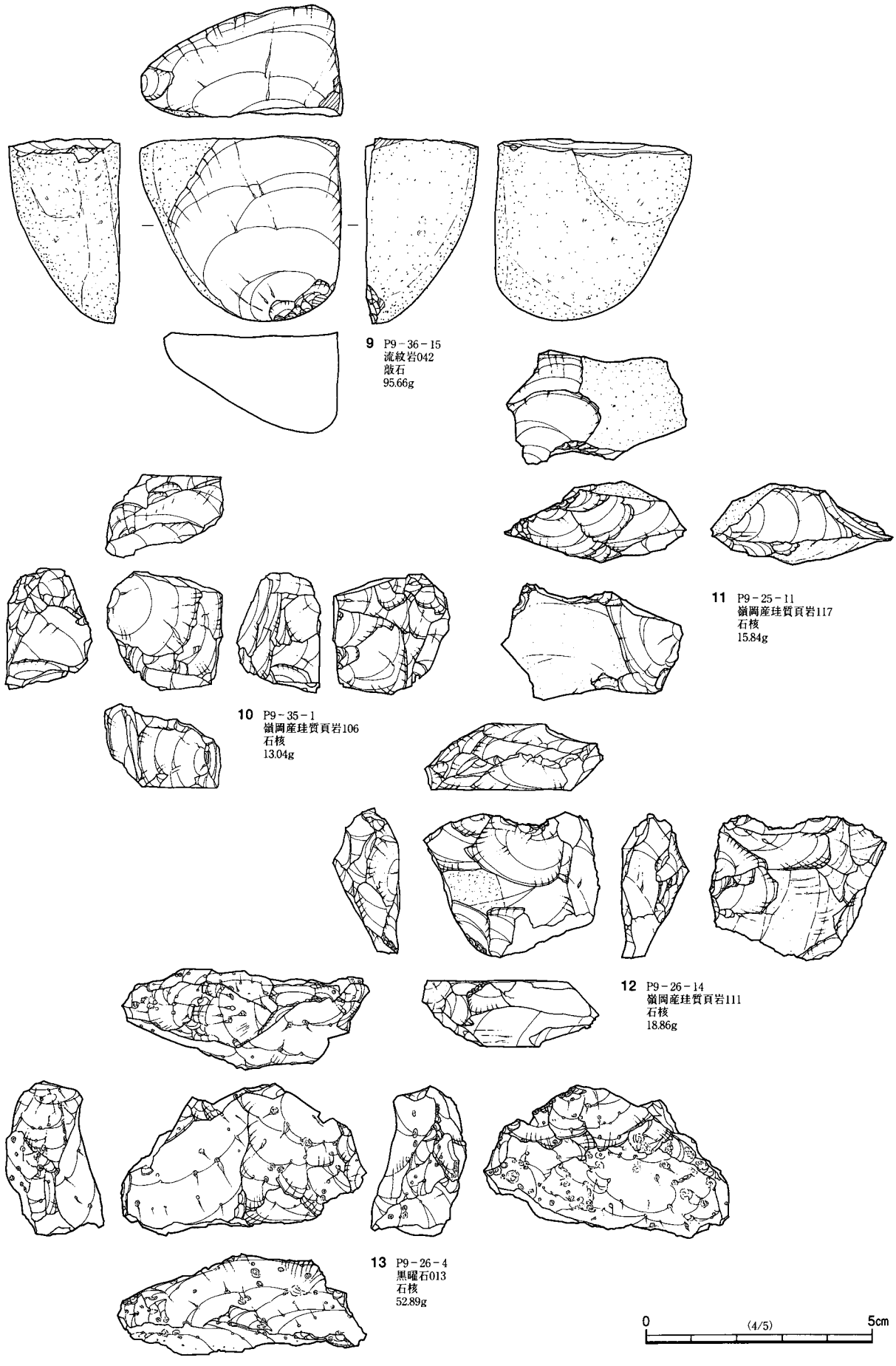
7 P9－25－3
玉髄（メノウ含む）025
微細剥離痕のある剥片
8.49g



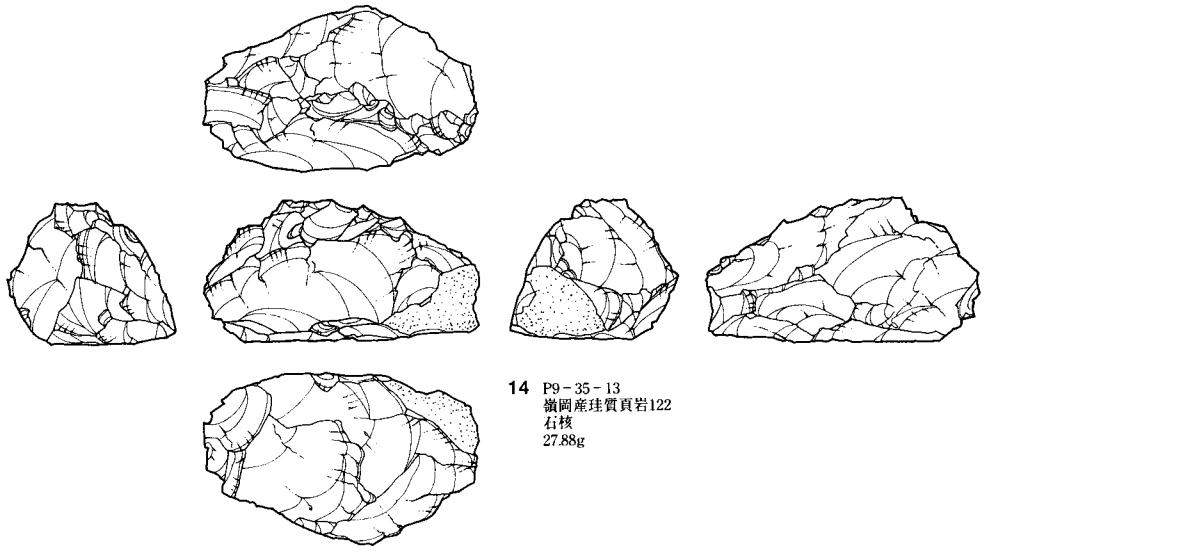
8 P9－35－45
流紋岩039
剥片
3.08g



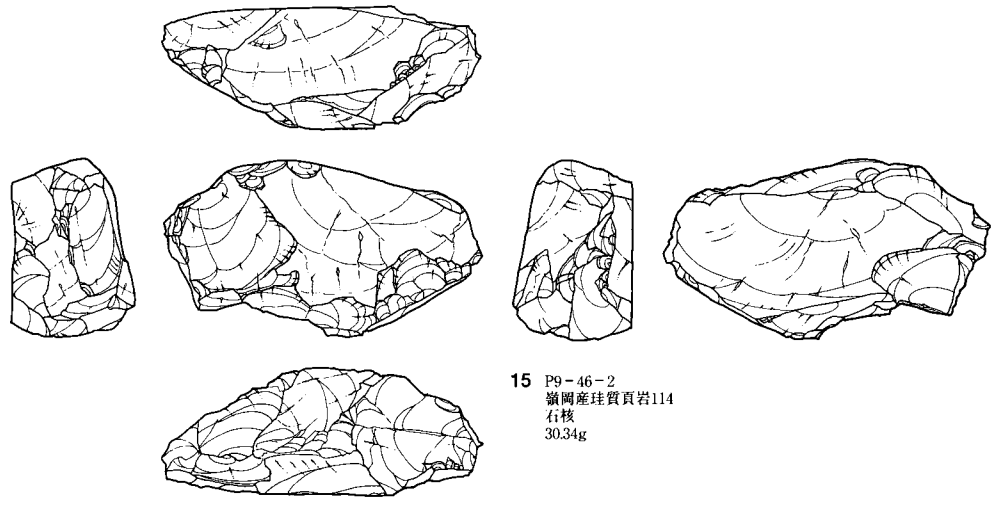
第96図　第Ⅰa文化層Bユニット　第9ブロック出土石器（1）



第97図　第Ⅰa文化層Bユニット 第9ブロック出土石器（2）

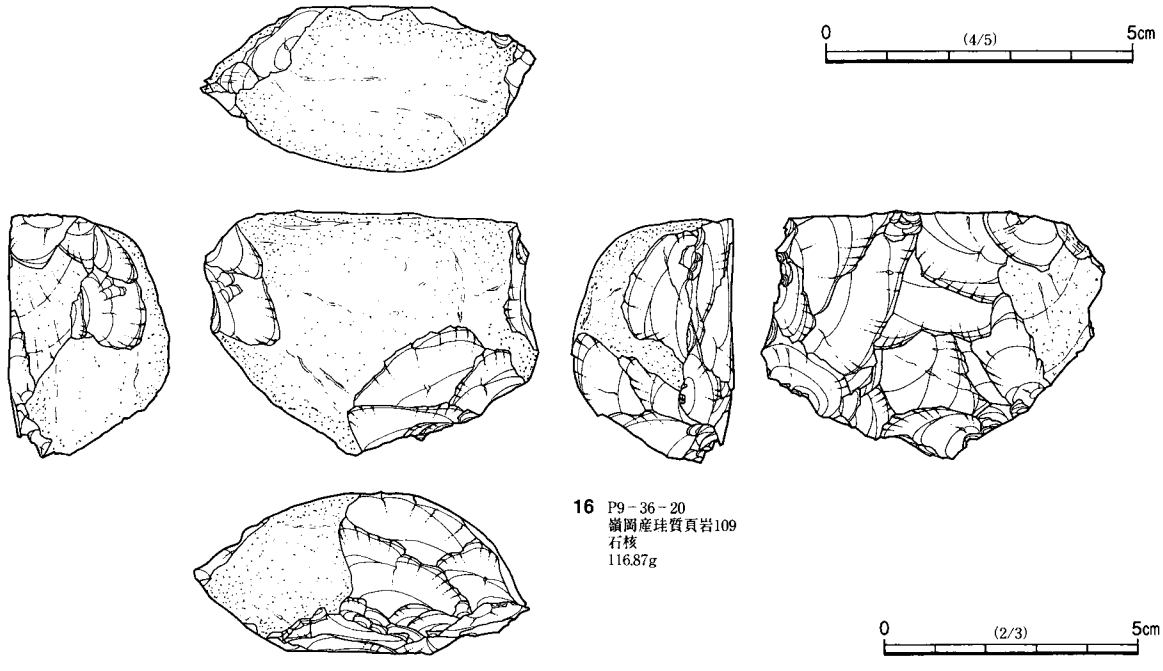


14 P9－35－13
嶺岡産珪質頁岩122
石核
27.88g



15 P9－46－2
嶺岡産珪質頁岩114
石核
30.34g

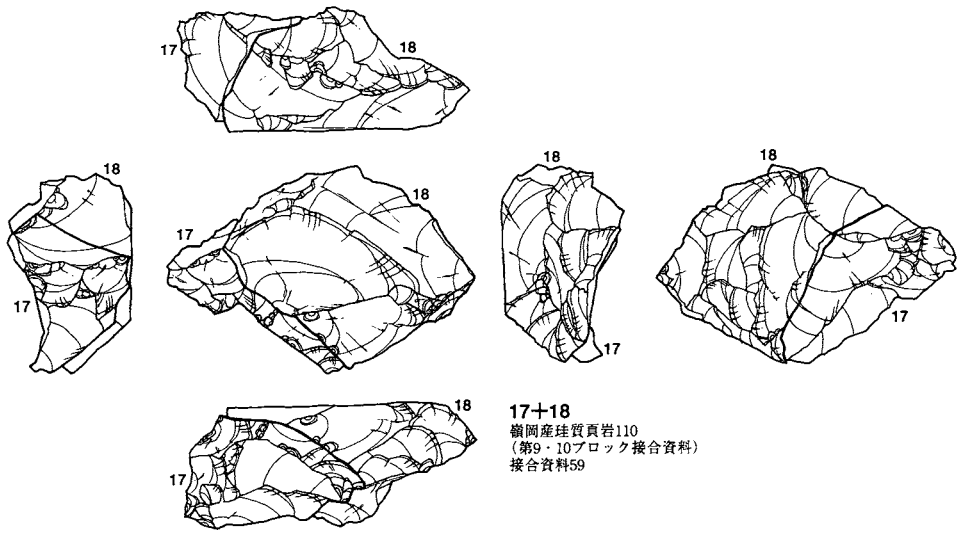
0 (4/5) 5cm



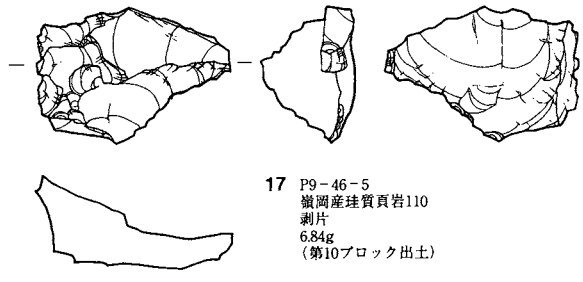
16 P9－36－20
嶺岡産珪質頁岩109
石核
116.87g

0 (2/3) 5cm

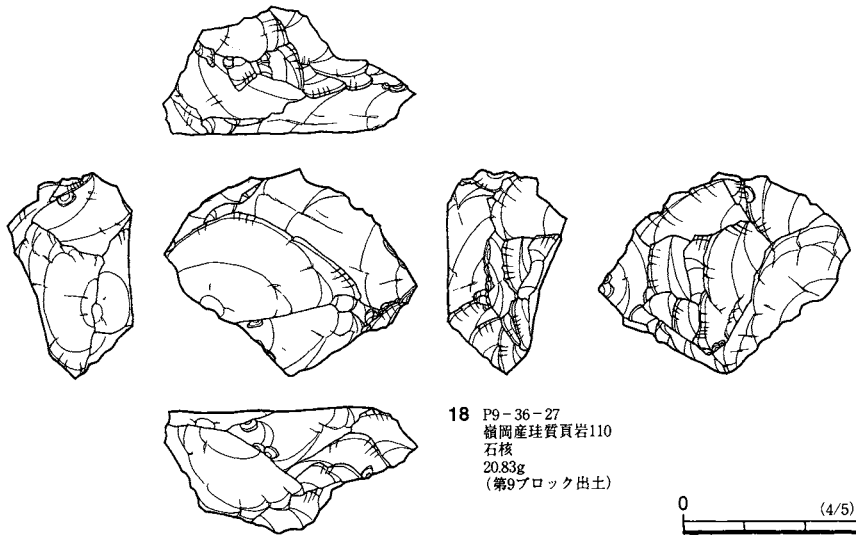
第98図　第Ⅰa文化層Bユニット 第9ブロック出土石器（3）



17＋18
嶺岡産珪質頁岩110
（第9・10ブロック接合資料）
接合資料59



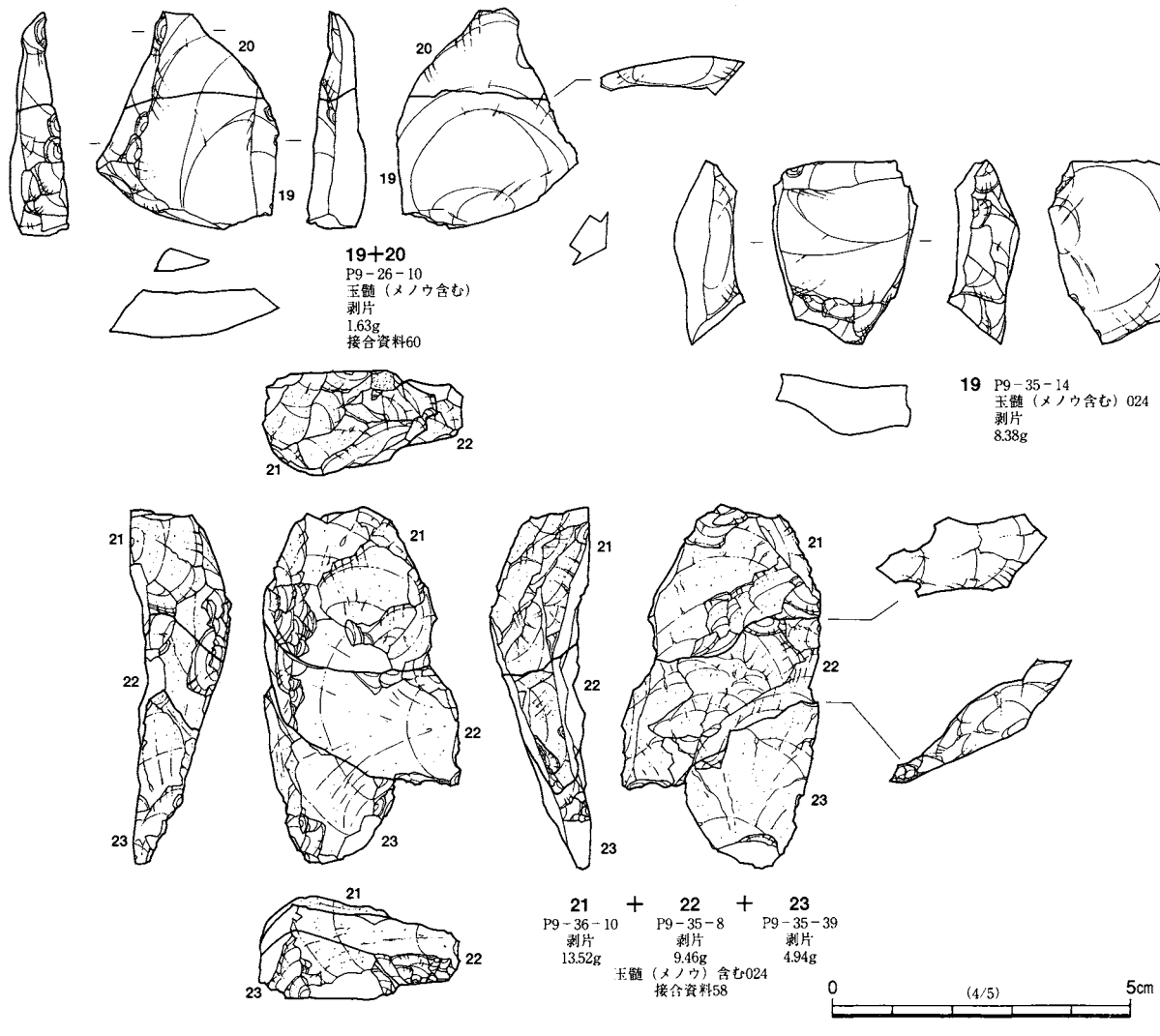
17 P9－46－5
嶺岡産珪質頁岩110
剥片
6.84g
（第10ブロック出土）

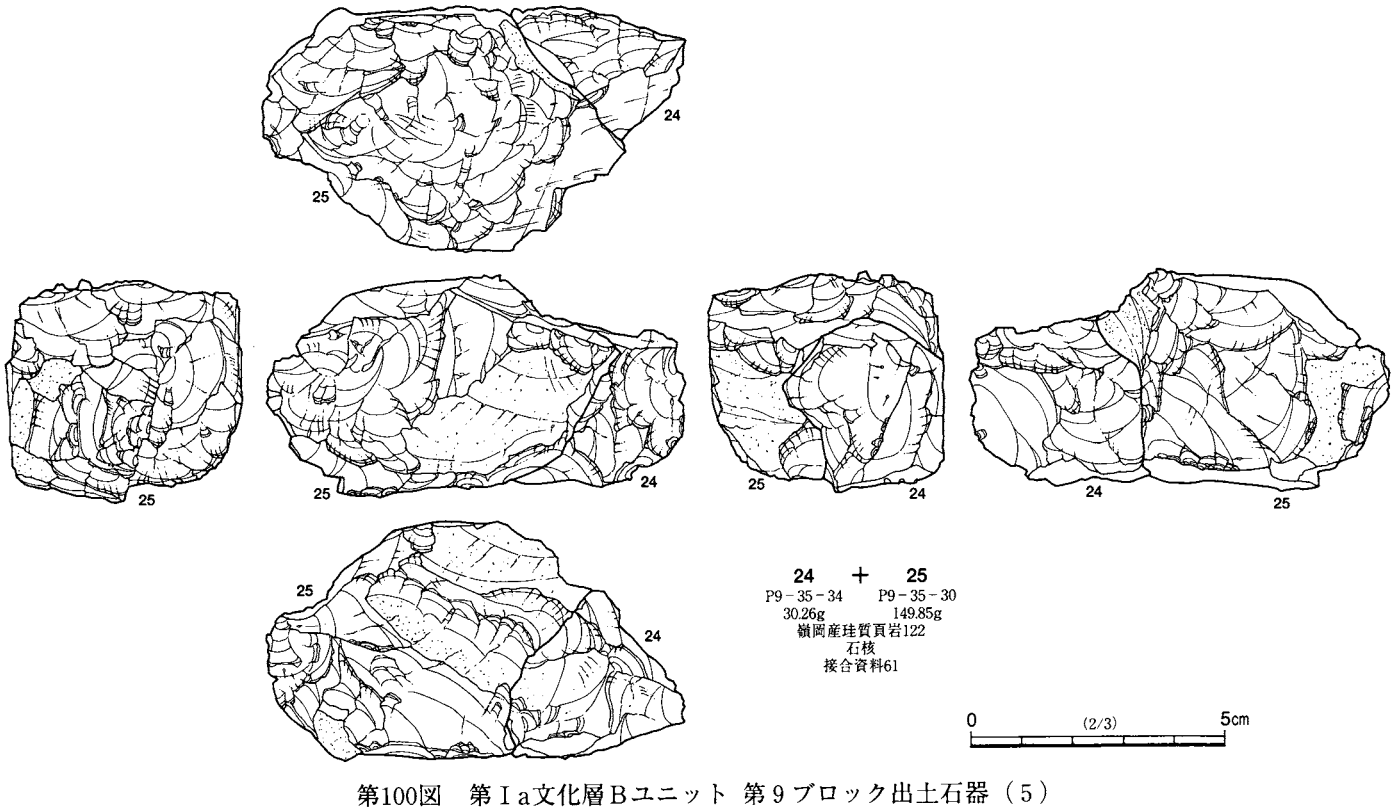


18 P9－36－27
嶺岡産珪質頁岩110
石核
20.83g
（第9ブロック出土）

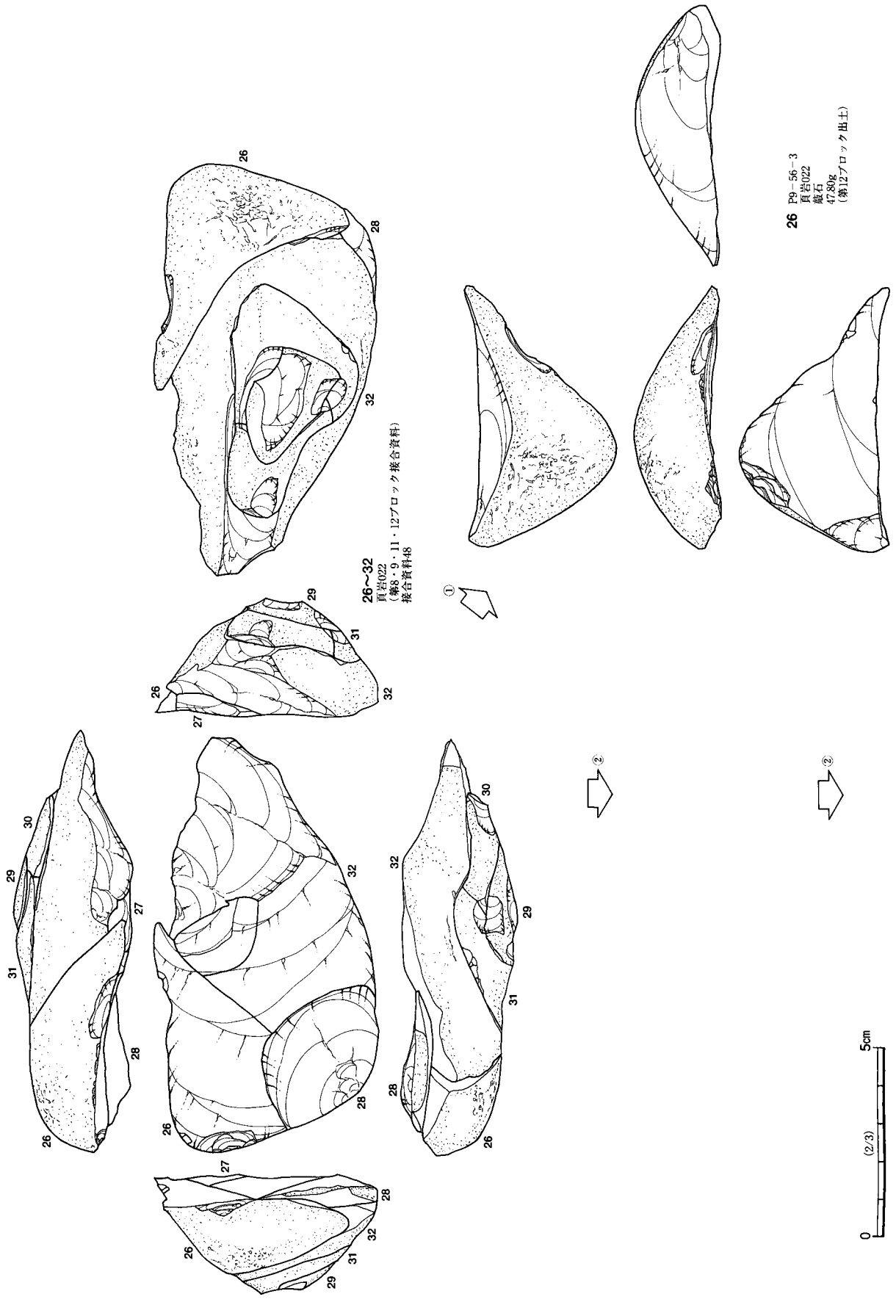
0 (4/5) 5cm

第99図　第Ⅰa文化層Bユニット 第９ブロック出土石器（４）

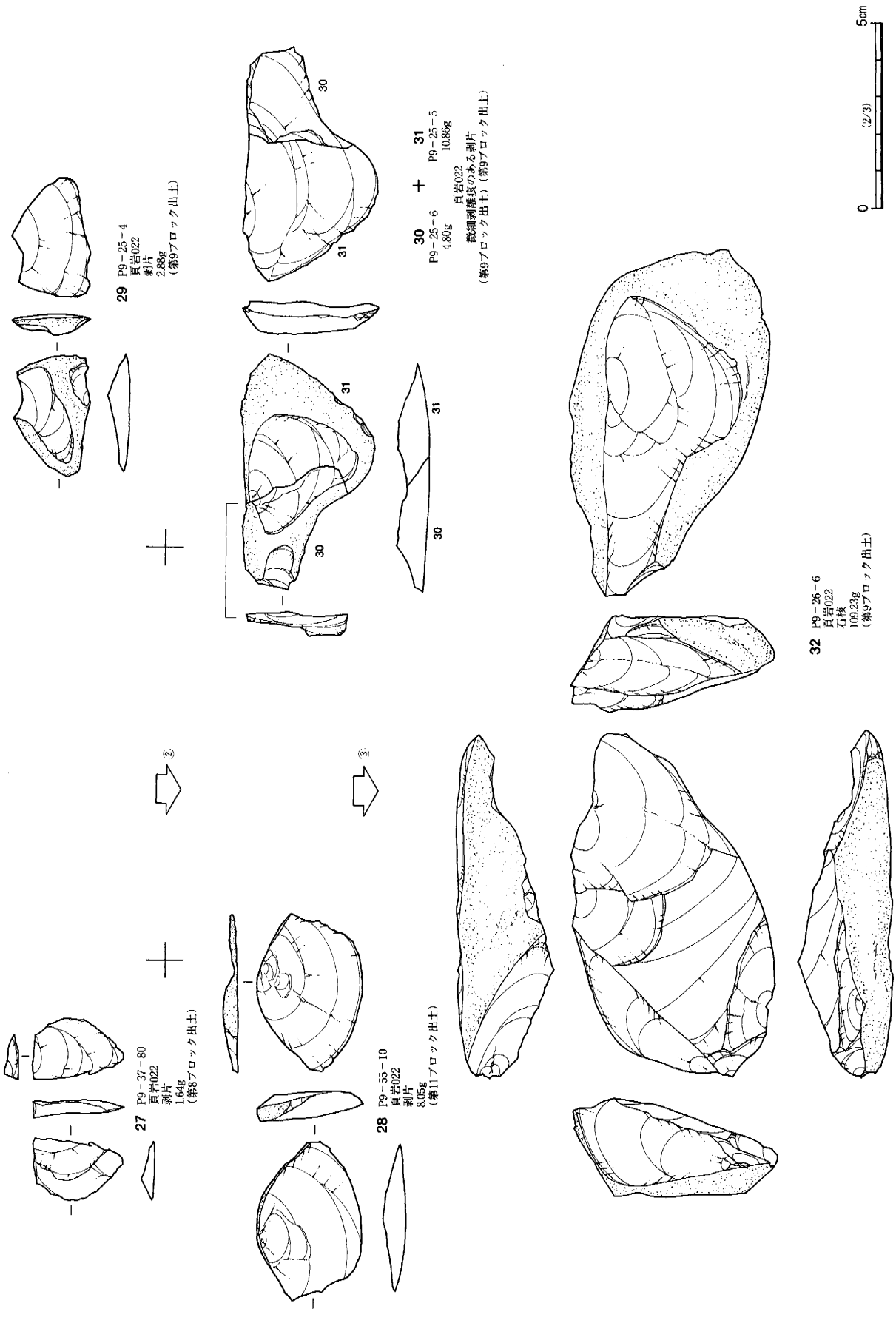




第100図　第Ⅰa文化層Bユニット 第9ブロック出土石器（5）



第101図　第Ⅰa文化層Bユニット 第9ブロック出土石器（6）



第102図　第Ⅰa文化層Bユニット　第9ブロック出土石器（7）

第22表　第Ⅰa文化層Bユニット 第9ブロック母岩器種組成表（1）

母岩名	母岩番号	楔形石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	011	1 1.97								1 1.97	0.86 0.15
	012			1 1.26			1 0.37			2 1.63	1.72 0.13
	013					1 52.89	1 1.28			2 54.17	1.72 4.22
黒曜石 点数合計 黒曜石 重量合計		1 1.97		1 1.26		1 52.89	2 1.65			5 57.77	4.31 4.50
ガラス質黒色安山岩	011						1 12.29			1 12.29	0.86 0.96
	023						1 5.12	1 1.15		2 6.27	1.72 0.49
	024						1 0.73	2 0.72		3 1.45	2.59 0.11
ガラス質黒色安山岩 点数合計 ガラス質黒色安山岩 重量合計							3 18.14	3 1.87		6 20.01	5.17 1.56
トロトロ石(安山岩)	003						1 1.08			1 1.08	0.86 0.08
	006						1 2.26	5 1.95		6 4.21	5.17 0.33
トロトロ石(安山岩) 点数合計 トロトロ石(安山岩) 重量合計							2 3.34	5 1.95		7 5.29	6.03 0.41
ホルンフェルス	014			2 30.32			10 43.04			12 73.36	10.34 5.71
	015			1 6.47						1 6.47	0.86 0.50
	016						2 4.61	1 0.35		3 4.96	2.59 0.39
	018								1 108	1 108	0.86 8.41
ホルンフェルス 点数合計 ホルンフェルス 重量合計				3 36.79			12 47.65	1 0.35	1 108	17 192.79	14.66 15.02
流紋岩	039						1 3.08			1 3.08	0.86 0.24
	041							1 0.97		1 0.97	0.86 0.08
	042		1 95.66							1 95.66	0.86 7.45
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計			1 95.66				1 3.08	1 0.97		3 99.71	2.59 7.77
頁岩	022				2 15.66	1 109.23	4 13.26	2 1.54		9 139.69	7.76 10.88
頁岩 点数合計 頁岩 重量合計					2 15.66	1 109.23	4 13.26	2 1.54		9 139.69	7.76 10.88
嶺岡産珪質頁岩	106					1 13.04		2 1.56		3 14.6	2.59 1.14
	108			1 9.7						1 9.7	0.86 0.76
	109					1 116.87				1 116.87	0.86 9.10
	110					1 20.83				1 20.83	0.86 1.62
	111					1 18.86				1 18.86	0.86 1.47
	112						2 21.88	1 0.38		3 22.26	2.59 1.73
	113						1 7.43			1 7.43	0.86 0.58
	114					1 30.34	1 0.8			2 31.14	1.72 2.43
	115				1 6.12					1 6.12	0.86 0.48
	116						1 5.17			1 5.17	0.86 0.40
	117					1 15.84				1 15.84	0.86 1.23

第23表　第Ⅰa文化層Bユニット 第9ブロック母岩器種組成表（2）

母岩名	母岩番号	楔形石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫	総計	組成比（%）
	118						1 8.31			1 8.31	0.86 0.65
	119						3 27.92			3 27.92	2.59 2.17
	121						4 21.26			4 21.26	3.45 1.66
	122					3 207.99	4 6.54	21 13.51		28 228.04	24.14 17.76
	123						5 48.23			5 48.23	4.31 3.76
	124						1 10.64			1 10.64	0.86 0.83
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計				1 9.7	1 6.12	9 423.77	23 158.18	24 15.45		58 613.22	50.00 47.77
チャート	043								1 4.14	1 4.14	0.86 0.32
チャート 点数合計 チャート 重量合計									1 4.14	1 4.14	0.86 0.32
玉髄(メノウ含む)	024						2 10.01			2 10.01	1.72 0.78
	025				1 8.49					1 8.49	0.86 0.66
	026			1 3.41			1 4.72			2 8.13	1.72 0.63
	027						2 8.86			2 8.86	1.72 0.69
	033						1 1.36			1 1.36	0.86 0.11
玉髄(メノウ含む) 点数合計 玉髄(メノウ含む) 重量合計				1 3.41	1 8.49		6 24.95			8 36.85	6.90 2.87
砂岩	012		1 52.44							1 52.44	0.86 4.08
	013		1 61.89							1 61.89	0.86 4.82
砂岩 点数合計 砂岩 重量合計			2 114.33							2 114.33	1.72 8.91
全体の点数合計 全体の重量合計		1 1.97	3 209.99	6 51.16	4 30.27	11 585.89	53 270.25	36 22.13	2 112.14	116 1283.8	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		0.86 0.15	2.59 16.36	5.17 3.99	3.45 2.36	9.48 45.64	45.69 21.05	31.03 1.72	1.72 8.74	100.00 100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］

17・18は接合資料59である。節理面で分割された厚みのある剥片を素材として，17＋18の状態から，表面左側面から17の横長剥片を剥離している。18は，石核である。17で剥離された剥離面を打面として，横長の剥片が剥離されている。17は第10ブロック出土，18は第9ブロック出土でブロック間接合資料である。

19＋20は接合資料60である。19＋20の状態で，打面部が分厚くて，末端部が薄い三角形状の剥片である。器体の上半部から，19と20に分割されている。

21～23は接合資料58である。21～23の状態で節理面に沿って剥離された縦長剥片である。21～23の縦長剥片を素材として，背面右側面下部と背面右側面中央部に調整加工を施した際に，21と22と23に三分割された資料である。

24＋25は接合資料61である。分割礫を素材としたものと思われる。節理の多い石材であるために，1回の剥離で，数枚の剥片が剥離されている。表面左側縁から，剥離が行われているが，その際にも数枚の不定形な剥片が剥離されている。裏面上端部から，剥離をした際に節理面に沿って，24と25に二分割されている。分割後は，剥片は剥離されていないようである。

26～32は接合資料48である。接合資料48は，当初は楕円形礫の状態で，敲石として機能していたと思われる。26～32の裏面右側に敲打痕が顕著にみられる。26の資料に顕著に敲打の痕跡がみられる。敲打を行ったことによって，分割された資料が26～32の幅広の厚みのある剥片であると思われる。分割後も，表面左側縁に敲打によると思われる剥離痕がみられる。その後，敲石として用いていたものを，用途を変えて，石核として用いたものと思われる。この剥片を素材として，腹面側を剥離して，横長剥片を７・８枚剥離している。これらの剥片の背面には，ポジティヴ面を有する資料となっている。まず，表面左側縁下部から28の貝殻状の剥片を剥離した後に，表面上部に打面を固定し，右上部から順次中央部に打点を移動して，小型の剥片が６・７枚剥離されており，27が最後に剥離されている。その際に，26と29～32が同時割れしている。その後，29～32は赤化しており，被熱を受けていると思われる。特に，29～31は，かなり赤化しており，比熱によるはじけた剥離面と思われるものがみられ，被熱を受けたことによって，29と30と31に三分割されたものと思われる。

ｄ．第10ブロック（第103～106図，第24・100・101表，図版２・32）

出土状況　平面分布は，約８ｍ×３ｍの楕円形の範囲から，やや散漫に分布している。分布状況を詳細にみると，中央部がやや集中するが，西部と東部は散漫に分布している。出土層位は，Ⅹａ層上部～Ⅸａ層上部にかけて出土しており，Ⅸｃ層下部に集中する。

器種別分布（第103図）の特徴は，敲石が２点出土しているが，中央部の集中地点の北側端と南側端にそれぞれ分布しており，敲石の近辺は遺物分布の空白部分があり，空白部に近接して，遺物集中地点がみられる。ナイフ形石器・二次加工のある剥片・微細剥離痕のある剥片・石核は，中央部の石器集中地点に分布している。

母岩別分布（第104図）の特徴は，中央部北側端に分布する敲石が，第８ブロックとブロック間の接合関係がある接合資料45である。接合資料59は，第９ブロックと接合関係がみられる。母岩は単品で持ち込まれたものがほとんどであり，他のブロックに比べて，接合資料が少ない。本ブロックにおいて，母岩別分布の特徴から，石器製作を行った可能性は，他のブロックに比べて低いといえよう。

出土遺物　総計72点出土した。母岩器種組成は，第24表のとおりである。器種組成の特徴は，製品が少なく，ナイフ形石器１点，敲石２点，二次加工のある剥片１点出土している。母岩（石材）組成は，出土点数が少ない割には，多様な石材が用いられており，嶺岡産珪質頁岩・玉髄（メノウ含む）の割合が比較的高い。母岩別にみると，玉髄（メノウ含む）は，ナイフ形石器が１点出土しているが，微細剥離痕のある剥片１点，剥片３点出土しており，目的的剥片として搬入されていることが推察される。

１はナイフ形石器である。良質の玉髄（メノウ含む）を石材として用いている。縦長剥片を素材として，打面部を除去した後に，左側縁下半部と右側縁下部に急角度の調整加工が施されている。先端部は破損している。

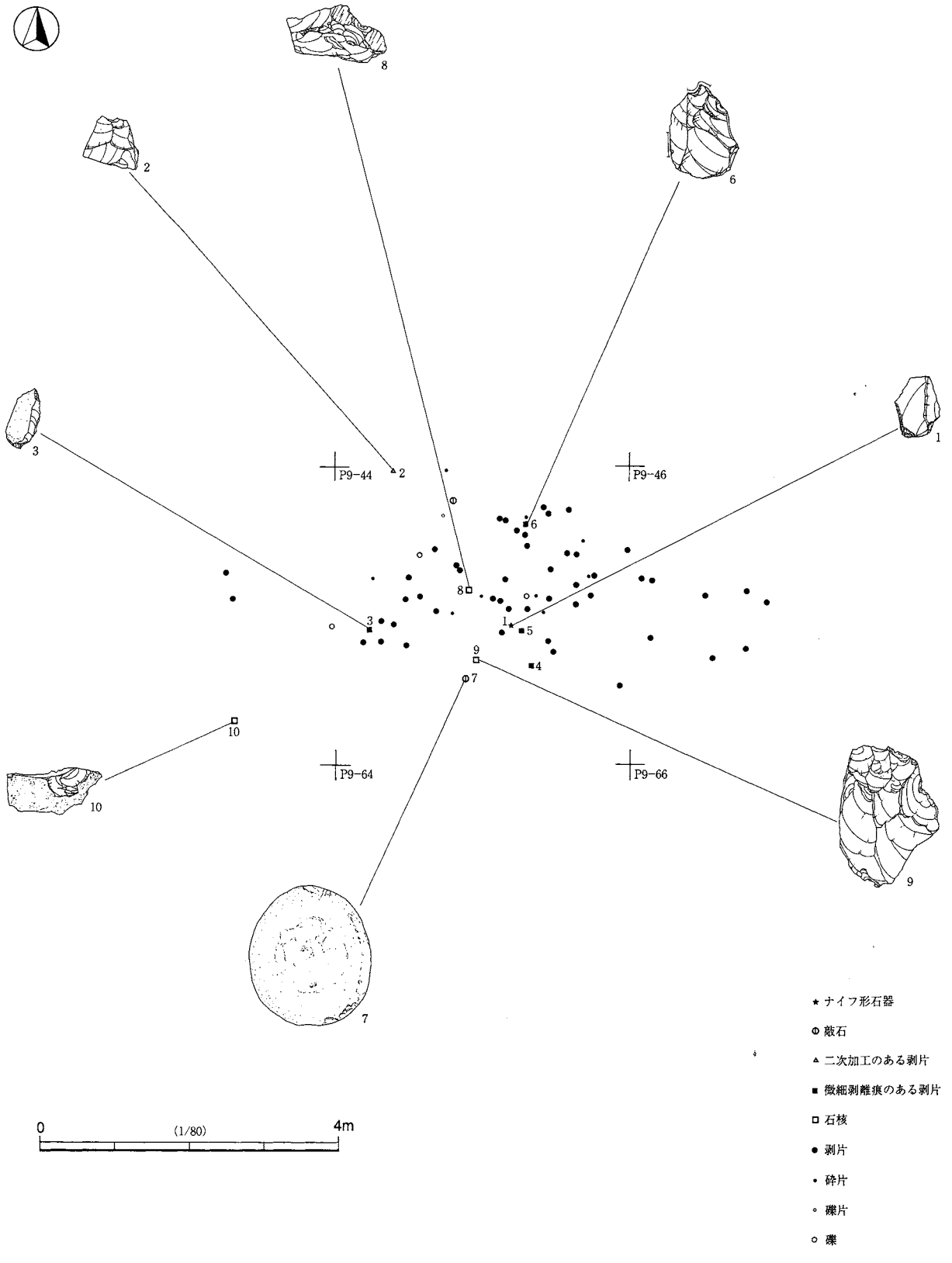
２は二次加工のある剥片である。縦長剥片を素材として下半部を折断した後に，左側縁下部に調整加工が施されている。

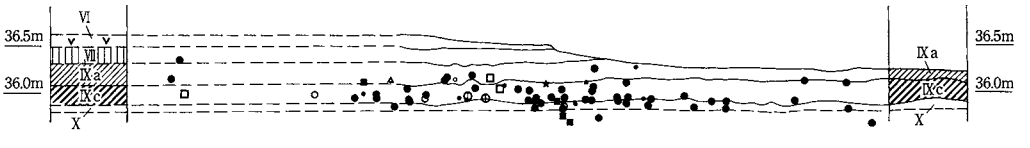
３～６は微細剥離痕のある剥片である。３は小型の縦長剥片を素材として，左側縁を折断し，右側縁上部に微細剥離痕がみられる。４＋５は接合資料62である。良質の玉髄（メノウ含む）を用いている。接合した状態で，縦長剥片である。左側縁上半部に微細剥離痕が連続的にみられる。末端部に，両設打面の石

第24表　第Ⅰa文化層Bユニット 第10ブロック母岩器種組成表

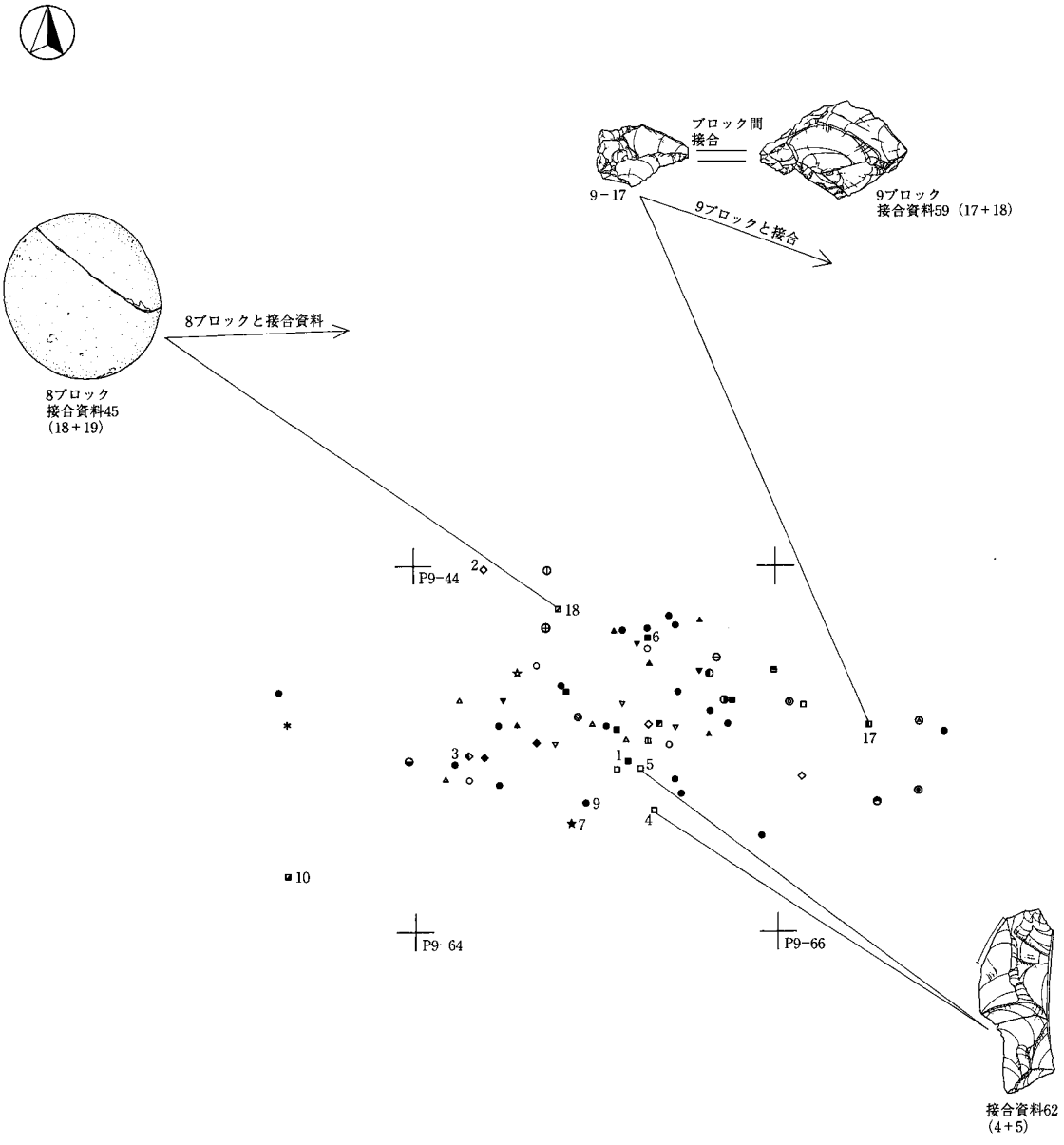
母岩名	母岩番号	ナイフ形石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	014						2 4.57				2 4.57	2.78 0.28
	015							1 0.05			1 0.05	1.39 0.00
黒曜石 点数合計 黒曜石 重量合計							2 4.57	1 0.05			3 4.62	4.17 0.29
ガラス質黒色安山岩	025						1 3.1				1 3.1	1.39 0.19
ガラス質黒色安山岩 点数合計 ガラス質黒色安山岩 重量合計							1 3.1				1 3.1	1.39 0.19
トロトロ石(安山岩)	004						1 3.88				1 3.88	1.39 0.24
	007							1 0.24			1 0.24	1.39 0.01
トロトロ石(安山岩) 点数合計 トロトロ石(安山岩) 重量合計							1 3.88	1 0.24			2 4.12	2.78 0.26
ホルンフェルス	014						3 10.17	1 0.85			4 11.02	5.56 0.69
	019									1 926	1 926	1.39 57.74
ホルンフェルス 点数合計 ホルンフェルス 重量合計							3 10.17	1 0.85		1 926	5 937.02	6.94 58.43
流紋岩	043		1 137.04								1 137.04	1.39 8.55
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計			1 137.04								1 137.04	1.39 8.55
珪質頁岩	017					1 13.24	1 8.63				2 21.87	2.78 1.36
珪質頁岩 点数合計 珪質頁岩 重量合計						1 13.24	1 8.63				2 21.87	2.78 1.36
嶺岡産珪質頁岩	017					1 33.15					1 33.15	1.39 2.07
	100						1 10.07				1 10.07	1.39 0.63
	110						1 6.84				1 6.84	1.39 0.43
	112						1 0.99				1 0.99	1.39 0.06
	123						1 0.55				1 0.55	1.39 0.03
	124				1 1.57	1 64.28	14 32.91	2 0.9			18 99.66	25.00 6.21
	125						5 5.96				5 5.96	6.94 0.37
	126							1 1.12			1 1.12	1.39 0.07
	127							1 0.26			1 0.26	1.39 0.02
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計					1 1.57	2 97.43	23 57.32	4 2.28			30 158.6	41.67 9.89
チャート	044									1 28.39	1 28.39	1.39 1.77
	045						1 12.84				1 12.84	1.39 0.80
	046									1 2.5	1 2.5	1.39 0.16
チャート 点数合計 チャート 重量合計							1 12.84			2 30.89	3 43.73	4.17 2.73
玉髄(メノウ含む)	029				2 14.11		1 3.06				3 17.17	4.17 1.07
	030	1 3.23			1 9.35		3 16.97				5 29.55	6.94 1.84
	031						1 12.88				1 12.88	1.39 0.80
	032						1 2.07				1 2.07	1.39 0.13
	033						1 2.84				1 2.84	1.39 0.18
	034						3 7.5				3 7.5	4.17 0.47
	035			1 6.04			1 0.76				2 6.8	2.78 0.42
	036						2 6.09	2 1.84			4 7.93	5.56 0.49
玉髄(メノウ含む) 点数合計 玉髄(メノウ含む) 重量合計		1 3.23		1 6.04	3 23.46		13 52.17	2 1.84			20 86.74	27.78 5.41
砂岩	014		1 178.86								1 178.86	1.39 11.15
	015								1 25.6		1 25.6	1.39 1.60
砂岩 点数合計 砂岩 重量合計			1 178.86						1 25.6		2 204.46	2.78 12.75
凝灰岩	004						2 2.06	1 0.33			3 2.39	4.17 0.15
凝灰岩 点数合計 凝灰岩 重量合計							2 2.06	1 0.33			3 2.39	4.17 0.15
全体の点数合計 全体の重量合計	1 3.23	2 315.9	1 6.04	4 25.03	3 110.67	47 154.74	10 5.59	1 25.6	3 956.89	72 1603.69	100.00 100.00	
点数組成比(%) 重量組成比(%)	1.39 0.20	2.78 19.70	1.39 0.38	5.56 1.56	4.17 6.90	65.28 9.65	13.89 0.35	1.39 1.60	4.17 59.67	100.00 100.00		

［上段:点数、 下段:重量(g)］



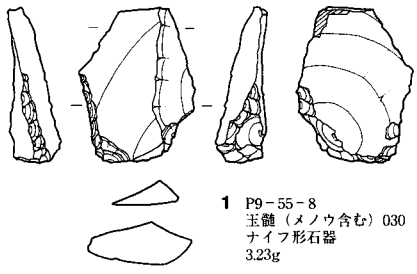


第103図　第Ⅰa文化層Bユニット 第10ブロック器種別分布図

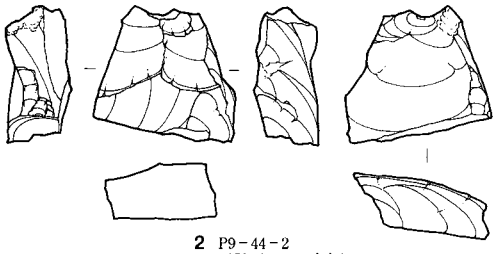


◆ 黒曜石014
◍ 黒曜石015
◉ ガラス質黒色安山岩025
◉ トロトロ石（安山岩）004
⊖ トロトロ石（安山岩）007
○ ホルンフェルス014
☆ ホルンフェルス015
★ 流紋岩043
◘ 嶺岡産珪質頁岩017
⊖ 嶺岡産珪質頁岩100
◘ 嶺岡産珪質頁岩110
◐ 嶺岡産珪質頁岩112
◘ 嶺岡産珪質頁岩123
● 嶺岡産珪質頁岩124
▲ 嶺岡産珪質頁岩125
◑ 嶺岡産珪質頁岩126
■ 嶺岡産珪質頁岩127
⊖ チャート044
■ チャート045
◆ チャート046
▫ 玉髄（メノウ含む）029
■ 玉髄（メノウ含む）030
▫ 玉髄（メノウ含む）031
＊玉髄（メノウ含む）032
▾ 玉髄（メノウ含む）034
◇ 玉髄（メノウ含む）035
▵ 玉髄（メノウ含む）036
◆ 玉髄（メノウ含む）033
◘ 砂岩014
⊕ 砂岩015
▿ 凝灰岩004
◉ 珪質頁岩017

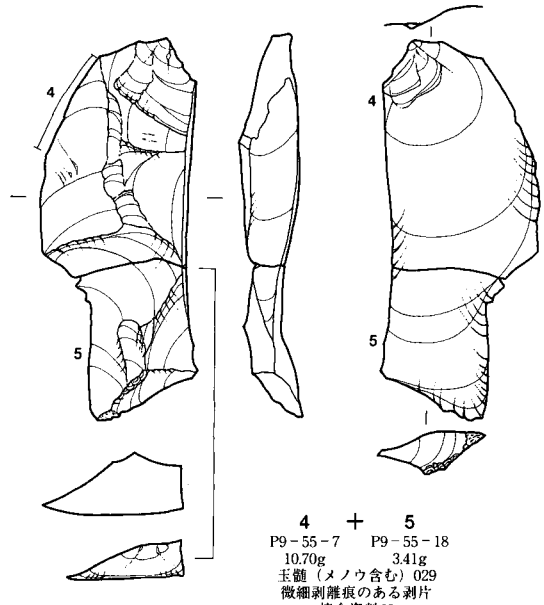
第104図　第Ⅰa文化層Bユニット 第10ブロック母岩別分布図



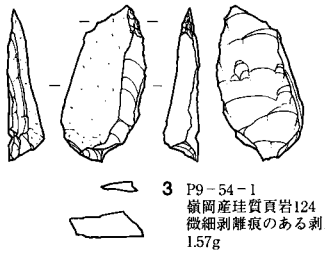
1 P9－55－8
玉髄（メノウ含む）030
ナイフ形石器
3.23g



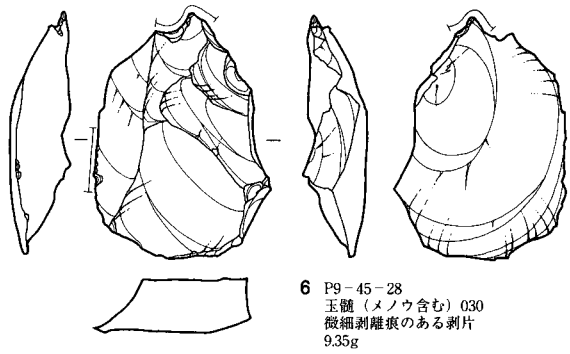
2 P9－44－2
玉髄（メノウ含む）035
二次加工のある剥片
6.04g



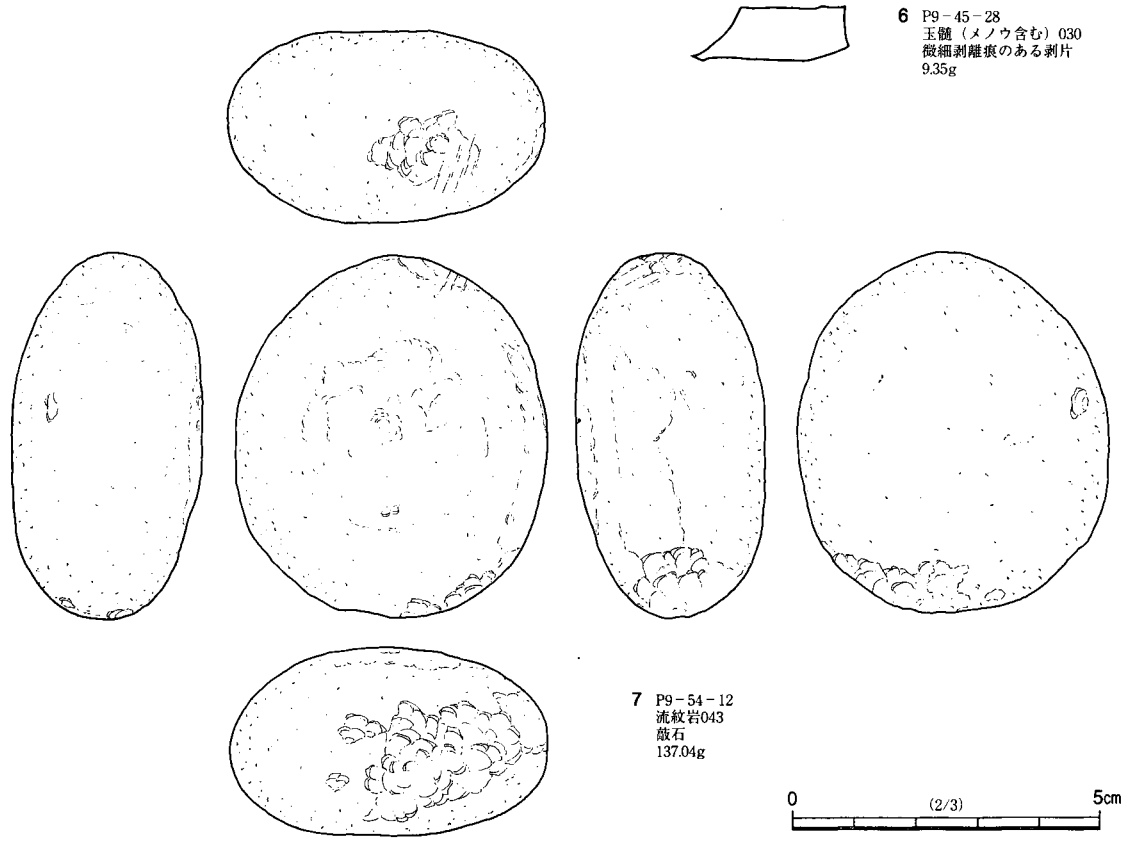
4 ＋ **5**
P9－55－7　P9－55－18
10.70g　3.41g
玉髄（メノウ含む）029
微細剥離痕のある剥片
接合資料62



3 P9－54－1
嶺岡産珪質頁岩124
微細剥離痕のある剥片
1.57g



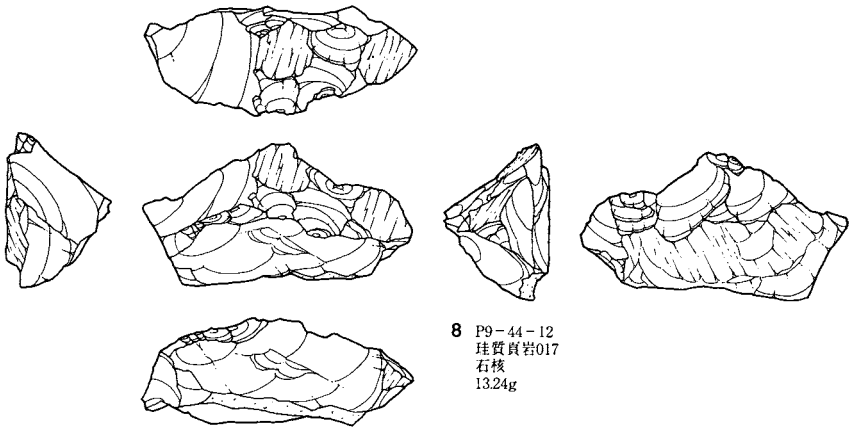
6 P9－45－28
玉髄（メノウ含む）030
微細剥離痕のある剥片
9.35g



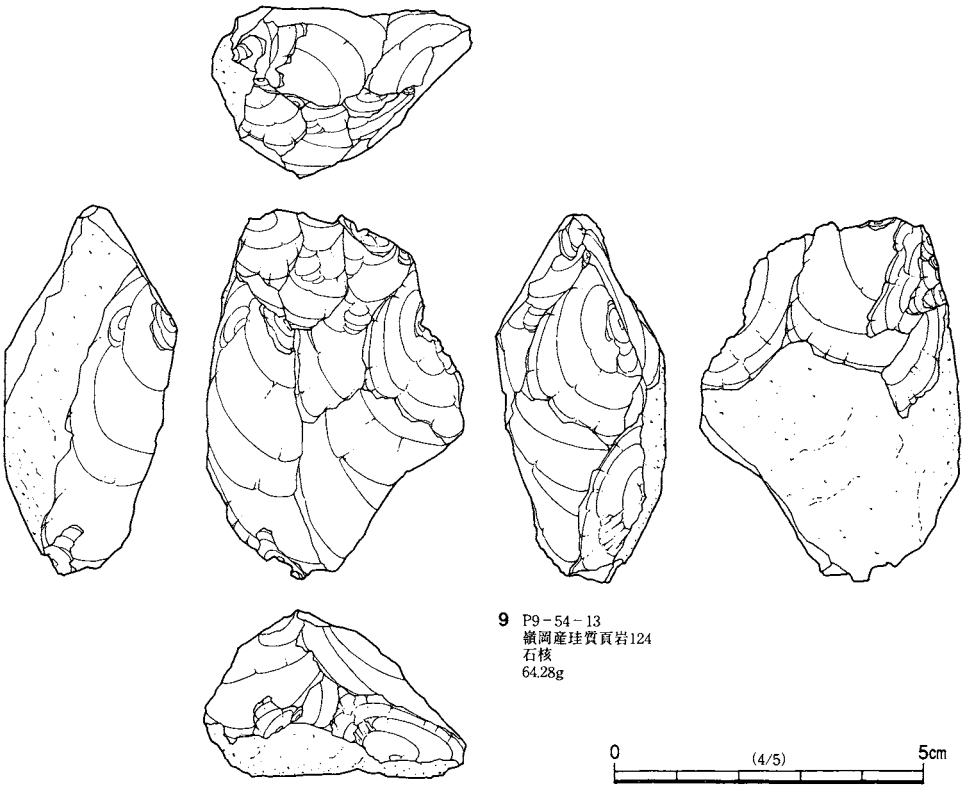
7 P9－54－12
流紋岩043
敲石
137.04g

0　(2/3)　5cm

第105図　第Ⅰa文化層Bユニット 第10ブロック出土石器（1）

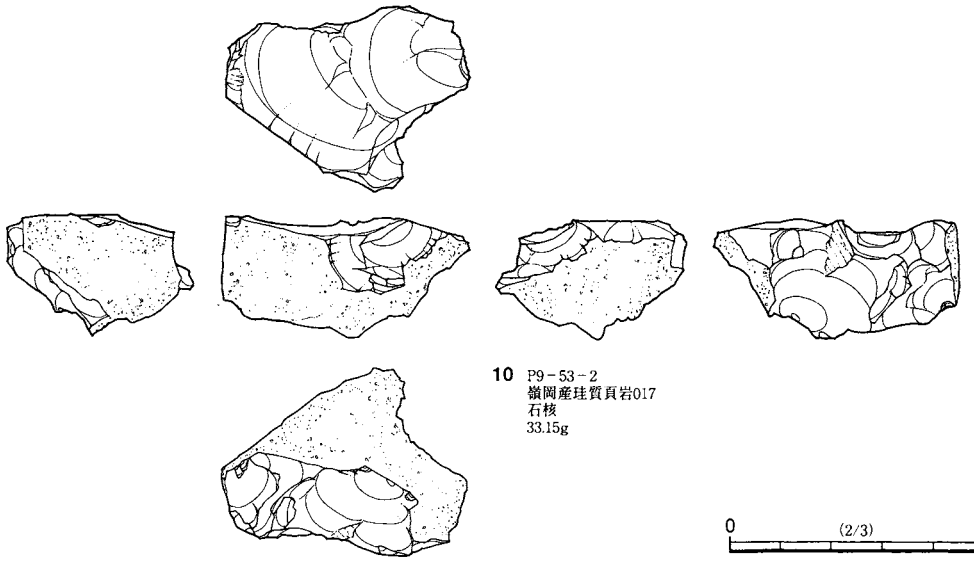


8 P9－44－12
珪質頁岩017
石核
13.24g



9 P9－54－13
嶺岡産珪質頁岩124
石核
64.28g

0 (4/5) 5cm



10 P9－53－2
嶺岡産珪質頁岩017
石核
33.15g

0 (2/3) 5cm

第106図　第Ⅰa文化層Bユニット　第10ブロック出土石器（2）

核から剥離されたことを示す剥離面がみられ，背面に下端部からの石核調整の剥離面がみられる。このことから，両設打面の石核であり，かなり規格的な石核と思われ，4＋5は石刃と識別することが可能である資料である。6は横長剥片を素材として，打面部の側縁を先端に用いて，微細剥離痕が先端部に集中的にみられる。左側縁下部に連続的に微細剥離痕がみられる。

7は敲石である。扁平な円礫を素材として，上下両端部と表面平坦部中央に敲打痕がみられる。下端部と表面中央部に敲打痕が著しい。

8～10は石核である。8は節理面で剥離された厚みのある剥片を素材として，裏面上端部から4・5枚の小型の貝殻状剥片が剥離されている。その後，表面左側から横長の剥片を剥離後，表面右側の上下両端から小型の貝殻状の剥片が剥離されている。9は節理面に沿って分割された楕円形礫を素材として，裏面上部を打面として，左側から右側に順次打点を移して，横長の剥片を剥離している。その後，表面上部を打面として，左側縁に下底面まで達する縦長の剥片を剥離後，中央部から左側に打点を移して，やや縦長の剥片を剥離後，右側縁から横長の剥片を2枚剥離している。残核の形状は，チョッピングツゥール状の形状を呈する。10は分割された厚みのある剥片を素材としている。裏面下部から，横長幅広の剥片を2枚剥離し，表面上端部の分割面を打面として，小型の貝殻状の剥片が剥離されている。

e．第11ブロック（第107・108図，第25・101・102表，図版2・32）

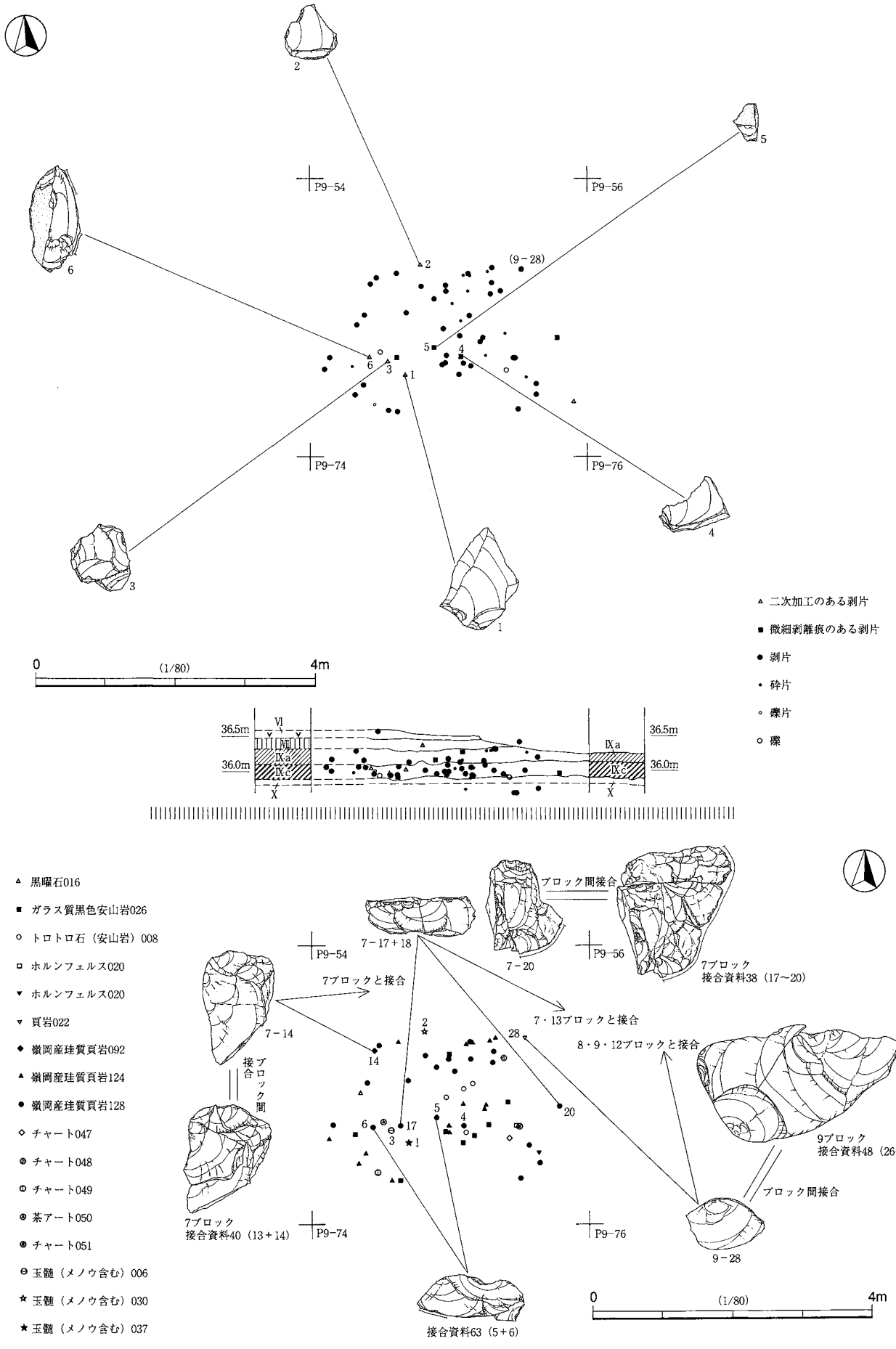
出土状況　平面分布は，約4m×2mの小範囲にやや密集して分布している。分布状況を詳細にみると，中央部に空白部があり，東部に集中地点がみられる。出土層位は，Xa層上部～Ⅵ層にかけて出土しており，Ⅸc層下部に集中する。

器種別分布（第107図）の特徴は，製品・敲石・石核が出土していない。二次加工のある剥片・微細剥離痕のある剥片は，南部に集中する傾向がある。

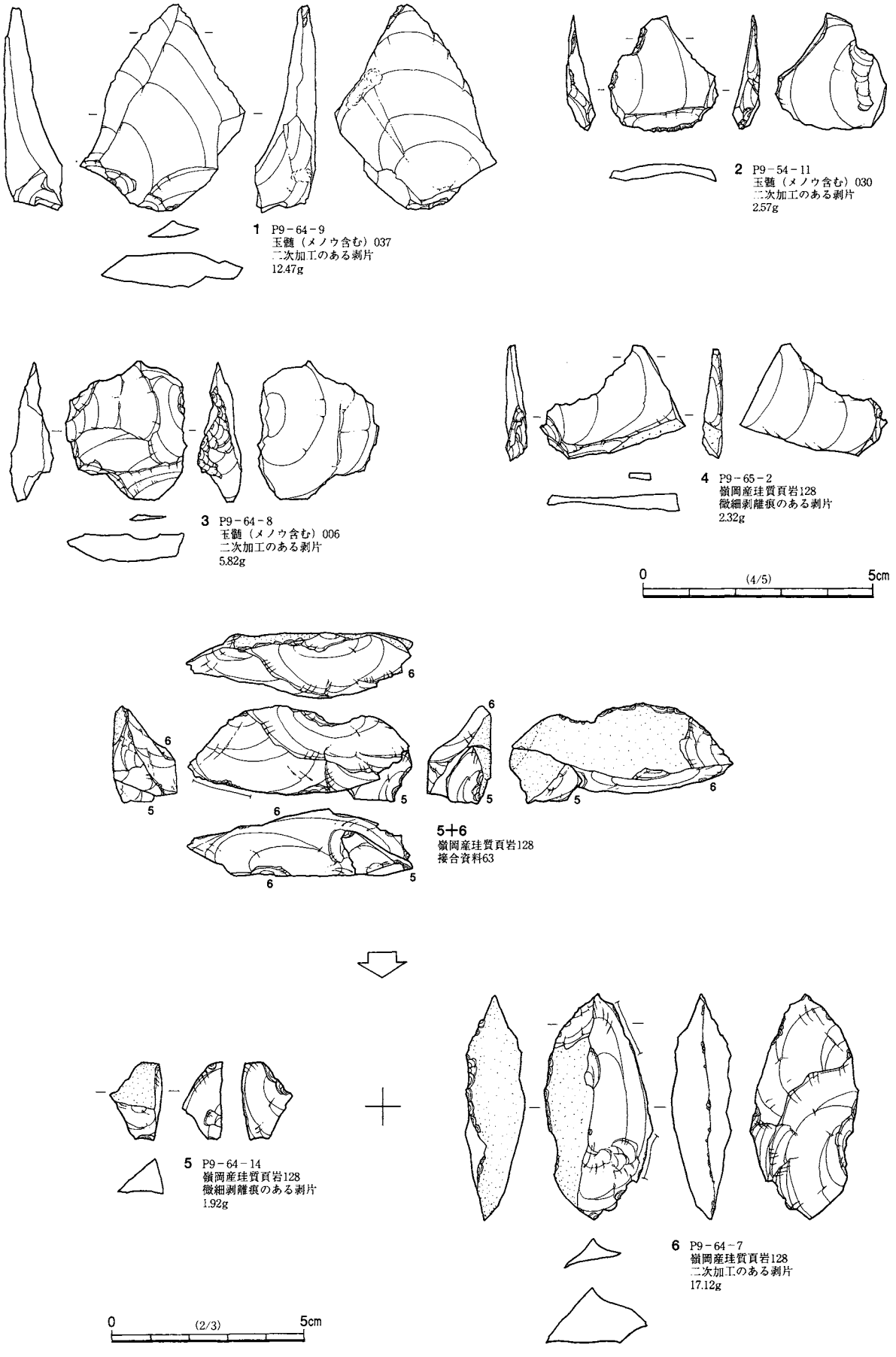
母岩別分布（第107図）の特徴は，接合資料の大半が，他のブロックと接合している。具体的には，接合資料38は，剥片を素材としており，第7・13ブロックとの接合関係がみられる。接合資料48は，本ブロックでは剥片が出土しており，第8・9・12ブロックとの接合関係がみられる。接合資料40は，第13ブロックとの接合関係がみられる。このように，複数のブロックとの接合関係がみられる。接合しない母岩においても，1母岩が複数のブロックにわたって出土しているものも多い。このように，第11ブロックは，他の複数のブロックとの緊密性があることが特徴である。

出土遺物　総計59点出土した。母岩器種組成は第25表のとおりである。器種組成の特徴は，製品と石核が含まれないことである。母岩（石材）組成は，出土点数が少ないが，多種の石材が用いられている。嶺岡産珪質頁岩の占める割合（59.32%）が高い。次に，ガラス質黒色安山岩・チャート・トロトロ石（安山岩）が用いられている。母岩別にみると，嶺岡産珪質頁岩128は，二次加工のある剥片1点，微細剥離痕のある剥片4点，剥片12点で構成されており，目的的剥片が多く剥離されたことがうかがわれる。

1～3は二次加工のある剥片である。1～3は，良質の玉髄（メノウ含む）が用いられている。1は打面部が分厚い三角形の剥片を素材としている。右側縁基部の打面側を折断して成形し，左側縁基部側には細かい調整加工が施されている。2は横長の剥片を素材として，素材の末端部にあたる右側縁を折断によって成形し，左側縁上部と中間部に調整加工が施されている。3は幅広の剥片を素材として，素材の打面部側にあたる右側縁上部に調整加工が施されている。



第107図　第Ⅰa文化層Bユニット 第11ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図



第108図　第Ⅰa文化層Bユニット　第11ブロック出土石器

第25表　第Ⅰa文化層Bユニット 第11ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	016			1 1.62				1 1.62	1.69 0.57
黒曜石 点数合計 黒曜石 重量合計				1 1.62				1 1.62	1.69 0.57
ガラス質黒色安山岩	026			5 8.62	3 1.87			8 10.49	13.56 3.69
ガラス質黒色安山岩 点数合計 ガラス質黒色安山岩 重量合計				5 8.62	3 1.87			8 10.49	13.56 3.69
トロトロ石(安山岩)	008			3 11.46	1 0.14			4 11.6	6.78 4.08
トロトロ石(安山岩) 点数合計 トロトロ石(安山岩) 重量合計				3 11.46	1 0.14			4 11.6	6.78 4.08
ホルンフェルス	020			1 19.46				1 19.46	1.69 6.84
	021			1 1.6				1 1.6	1.69 0.56
ホルンフェルス 点数合計 ホルンフェルス 重量合計				2 21.06				2 21.06	3.39 7.40
頁岩	022			1 8.05				1 8.05	1.69 2.83
頁岩 点数合計 頁岩 重量合計				1 8.05				1 8.05	1.69 2.83
嶺岡産珪質頁岩	092			1 38.65				1 38.65	1.69 13.58
	124			11 29.49	3 1.24			14 30.73	23.73 10.80
	128	1 17.12	4 37.62	12 26.72	3 1.88			20 83.34	33.90 29.29
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計		1 17.12	4 37.62	24 94.86	6 3.12			35 152.72	59.32 53.67
チャート	047						1 28.3	1 28.3	1.69 9.95
	048			1 11.55				1 11.55	1.69 4.06
	049					1 10.42		1 10.42	1.69 3.66
	050						1 6.3	1 6.3	1.69 2.21
	051			1 1.56				1 1.56	1.69 0.55
チャート 点数合計 チャート 重量合計				2 13.11		1 10.42	2 34.6	5 58.13	8.47 20.43
玉髄(メノウ含む)	006	1 5.82						1 5.82	1.69 2.05
	030	1 2.57						1 2.57	1.69 0.90
	037	1 12.47						1 12.47	1.69 4.38
玉髄(メノウ含む) 点数合計 玉髄(メノウ含む) 重量合計		3 20.86						3 20.86	5.08 7.33
全体の点数合計 全体の重量合計		4 37.98	4 37.62	38 158.78	10 5.13	1 10.42	2 34.6	59 284.53	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		6.78 13.35	6.78 13.22	64.41 55.80	16.95 1.80	1.69 3.66	3.39 12.16	100.00 100.00	

[上段:点数、 下段:重量(g)]

4は微細剥離痕のある剥片である。縦長の剥片を素材として，打面部側を折断し，末端部にあたる左側縁下部に微細剥離痕がみられる。

5＋6は接合資料63である。5＋6の状態で，背面には横長幅広の剥片を2・3枚剥離していることがうかがえる。その後，自然面を打面として剥離した際に，5と6が同時に剥離されている。5は打面部側

にあたる腹面右上部に微細剥離痕がみられる。6は表面右側縁上部・中間部と表面左側縁に微細剥離痕がみられる。

f．第12ブロック（第109・110図，第26・102表，図版2・32）

出土状況　平面分布は，約4m×2mの小範囲に散漫に分布している。出土層位は，Ⅸc層上部からⅥ層から出土しており，Ⅸa層上部に集中する。

器種別分布（第110図）の特徴は，製品がほとんど出土していないが，北部に微細剥離痕のある剥片が出土している。母岩別分布図（第110図）の特徴は，ホルンフェルス022以外は単品で出土している。

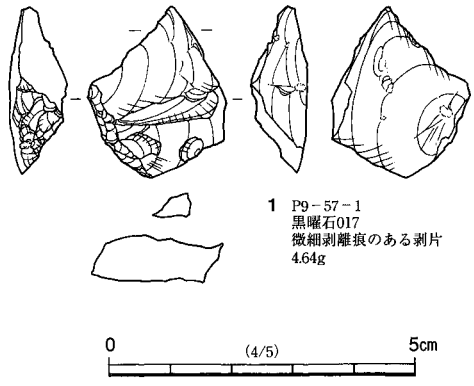
出土遺物　総計7点のみの出土である。母岩器種組成は第26表のとおりである。出土点数が少ないので，ブロックの内容は明確ではない。器種組成の特徴は，敲石が1点出土していることである。母岩（石材）組成は，出土点数が少ないが，5種類の石材が用いられており，ホルンフェルスが多く用いられている。痕のある剥片4点，剥片12点で構成されており，目的的剥片が多く剥離されたことがうかがわれる。母岩別にみると，黒曜石017は，微細剥離痕のある剥片1点のみで，搬入された石器と思われる。

1は微細剥離痕のある剥片である。縦長の剥片を素材として，腹面右上部に微細剥離痕がみられる。素材の中間部は腹面側から折断されている。

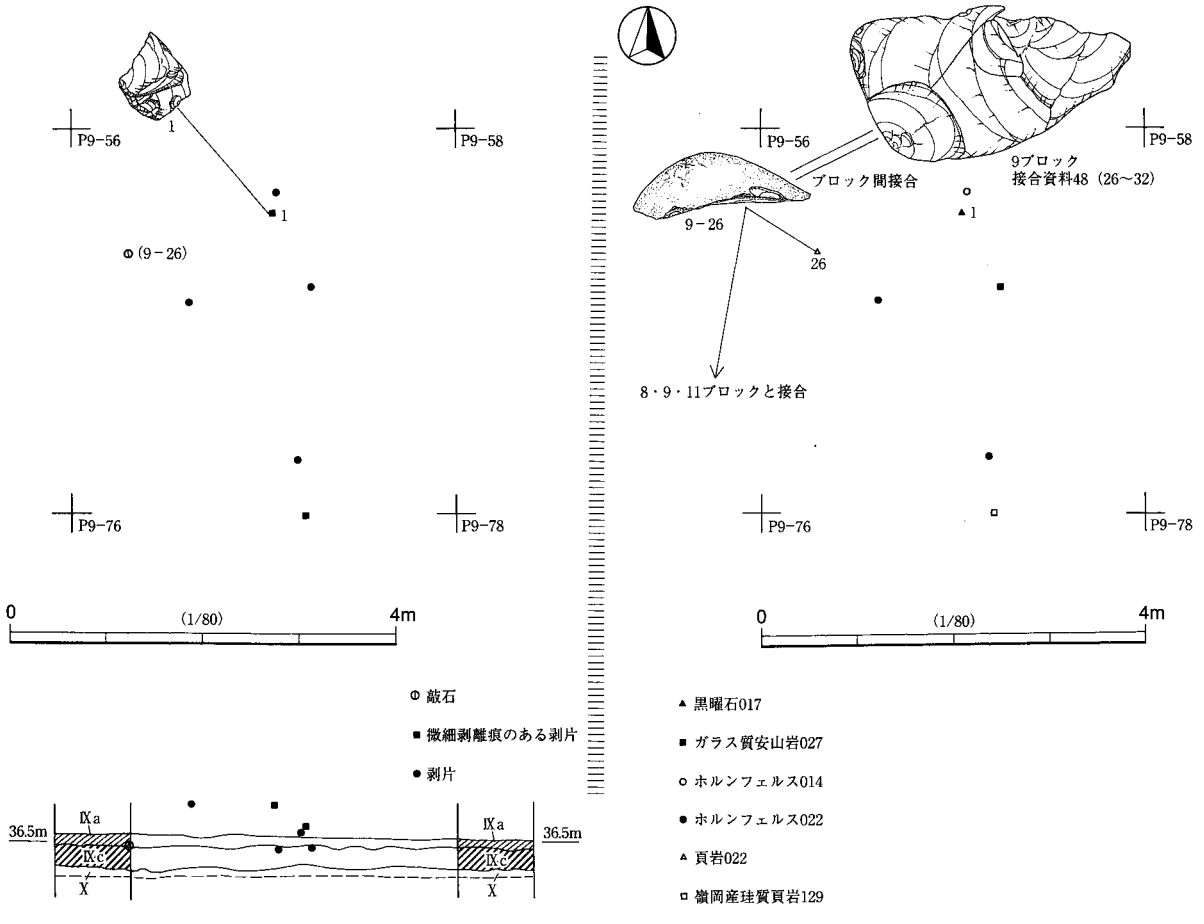
第26表　第Ⅰa文化層Bユニット 第12ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	敲石	微細剥離痕のある剥片	剥片	総計	組成比（%）
黒曜石	017		1 4.64		1 4.64	14.29 3.77
黒曜石 点数合計 黒曜石 重量合計			1 4.64		1 4.64	14.29 3.77
ガラス質黒色安山岩	027			1 13.9	1 13.9	14.29 11.30
ガラス質黒色安山岩 点数合計 ガラス質黒色安山岩 重量合計				1 13.9	1 13.9	14.29 11.30
ホルンフェルス	014			1 17.23	1 17.23	14.29 14.01
	022			2 13.2	2 13.2	28.57 10.74
ホルンフェルス 点数合計 ホルンフェルス 重量合計				3 30.43	3 30.43	42.86 24.75
頁岩	022	1 47.8			1 47.8	14.29 38.87
頁岩 点数合計 頁岩 重量合計		1 47.8			1 47.8	14.29 38.87
嶺岡産珪質頁岩	129		1 26.19		1 26.19	14.29 21.30
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計			1 26.19		1 26.19	14.29 21.30
全体の点数合計 全体の重量合計		1 47.8	2 30.83	4 44.33	7 122.96	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		14.29 38.87	28.57 25.07	57.14 36.05	100.00 100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］



第109図　第Ｉａ文化層Ｂユニット　第12ブロック出土石器



第110図　第Ｉａ文化層Ｂユニット 第12ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図

g．第13ブロック（第111・112図，第27・102表，図版２・32・36）

出土状況　平面分布は，約５ｍ×３ｍの小範囲に散漫に分布する。分布状況を詳細にみると，南東部と北西部に２箇所の遺物集中地点がみられる。出土層位は，Ｘａ層上部～Ⅴ層にかけて出土しており，Ⅸａ層下部に集中する。

器種別分布（第111図）の特徴は，南東部に局部磨製石斧が２点出土している。中央部にナイフ形石器が出土している。

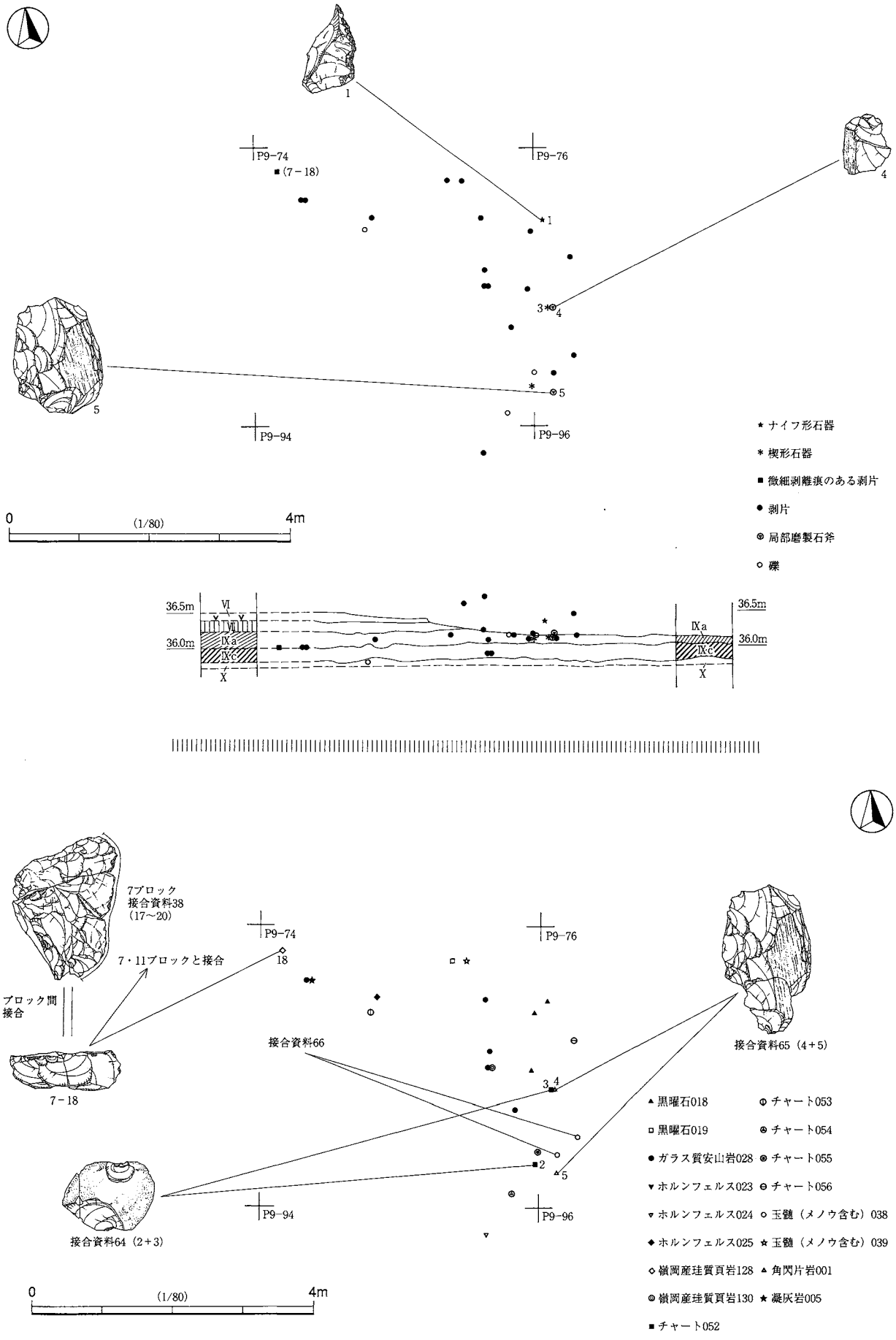
母岩別分布（第111図）の特徴は，南西部の集中地点から接合資料64・65・66が出土しており，これらの接合は，ブロック内の接合資料である。このことから，南西部では，石器製作，あるいは，刃部再生を行った可能性が高い。なかでも，接合資料65は，第Ⅰａ文化層で唯一の局部磨製石斧である。この局部磨製石斧は，角閃片岩001の母岩が用いられているが，２点のみの出土で，この２点が接合している。また，かなり刃部再生を行った形跡が残されており，最終的な刃部再生が行われた剥片と局部磨製石斧が本ブロックから出土している。北西部からは，剥片を素材とした接合資料38が出土しており，第７・11ブロックと接合関係がみられる。

出土遺物　総計25点出土した。母岩器種組成は第27表のとおりである。器種組成の特徴は，ナイフ形石器１点，楔形石器２点，局部磨製石斧２点出土していることである。特に，局部磨製石斧は，第Ⅰａ文化層において，本ブロックのみの出土である。角閃片岩001の母岩が用いられており，２点出土しているが，接合しており，再生剥片が接合した資料である。形態的には，かなり再生加工が進行しており，最終的な局部磨製石斧の形状は，石核のような形状を呈している。ナイフ形石器は，黒曜石018の母岩が用いられている。楔形石器は，チャート052の母岩が用いられ，接合している。母岩（石材）組成は，多種の石材が少量ずつで構成されており，チャート・ガラス質黒色安山岩が多く用いられている。局部磨製石斧は，角閃片岩が用いられており，本文化層だけでなく，他の文化層においてもこの石材は用いられていない。

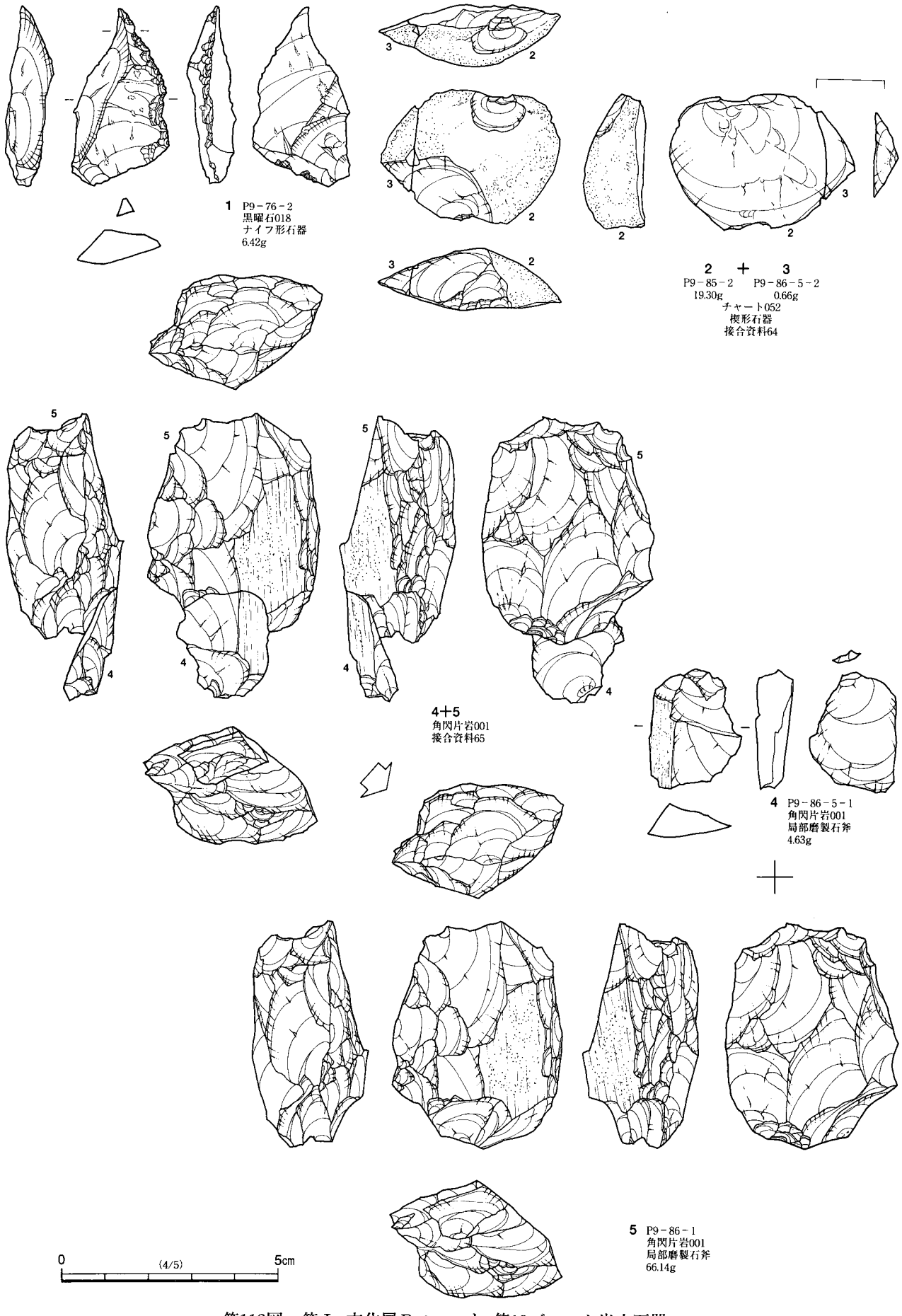
１はナイフ形石器である。幅広の剥片を素材として，打瘤部を除去するように腹面基部に粗い調整加工が３回施された後に，左側面を腹面側から折断して器体を成形している。その後に右側面に急角度の調整加工が連続的に施されている。素材の縁辺が残っていないので，厳密に器種認定するとナイフ形石器として識別できない。ただし，右側縁の調整加工をブランティング加工として捉えることができるので，ナイフ形石器として識別した。

２＋３は接合資料64である。接合した状態で，楔形石器である。小型の分割剥片を素材として，上下両端から両極剥離が施されている。両極剥離の際に，２と３が剥離されている。

４＋５は接合資料65である。局部磨製石斧の接合資料である。楕円形礫を素材としていると推定され，表面右側に自然面が残存しており，自然面が顕著に研磨されている。４＋５の状態では，器体の長さも縦長であったことが判別できる。４は局部磨製石斧の再生剥片である。５は最終的な形状を示しており，刃部再生が繰り返し行われたことがうかがえる資料である。本遺跡においては，この石器の母岩である角閃石001は４と５の２点のみの出土であり，４の刃部再生剥片が１点出土しているものの，出土点数が少ないことから，他の場所で主に，刃部再生が行われたと推定される。４は刃部再生剥片を石器として再利用した可能性が高い。５についても，研磨されている部位は，表面の自然面のみであり，最終的には，石核に転用された可能性のある資料である。第Ⅰａ文化層は，環状ブロックが２箇所形成されているが，局部磨製石斧は，本資料のみの出土であり，他の遺跡では環状ブロックに伴って，比較的多くの局部磨製石斧が



第111図　第Ⅰa文化層Bユニット 第13ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図



第112図　第Ⅰa文化層Bユニット 第13ブロック出土石器

第27表　第Ⅰa文化層Bユニット 第13ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	ナイフ形石器	楔形石器	微細剥離痕のある剥片	剥片	局部磨製石斧	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	018	1 6.42			1 2.05			2 8.47	8.00 0.80
	019				1 1.4			1 1.4	4.00 0.13
黒曜石 点数合計 黒曜石 重量合計		1 6.42			2 3.45			3 9.87	12.00 0.93
ガラス質黒色安山岩	028				5 13.38			5 13.38	20.00 1.26
ガラス質黒色安山岩 点数合計 ガラス質黒色安山岩 重量合計					5 13.38			5 13.38	20.00 1.26
ホルンフェルス	023				1 21.95			1 21.95	4.00 2.07
	024				1 1.01			1 1.01	4.00 0.10
	025				1 1.35			1 1.35	4.00 0.13
ホルンフェルス 点数合計 ホルンフェルス 重量合計					3 24.31			3 24.31	12.00 2.29
嶺岡産珪質頁岩	128			1 10.9				1 10.9	4.00 1.03
	130				1 1.17			1 1.17	4.00 0.11
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計				1 10.9	1 1.17			2 12.07	8.00 1.14
チャート	052		2 19.96					2 19.96	8.00 1.88
	053						1 15.63	1 15.63	4.00 1.47
	054						1 852	1 852	4.00 80.33
	055						1 17.03	1 17.03	4.00 1.61
	056				1 8.14			1 8.14	4.00 0.77
チャート 点数合計 チャート 重量合計			2 19.96		1 8.14		3 884.66	6 912.76	24.00 86.06
玉髄(メノウ含む)	038				2 9.78			2 9.78	8.00 0.92
	039				1 7.53			1 7.53	4.00 0.71
玉髄(メノウ含む) 点数合計 玉髄(メノウ含む) 重量合計					3 17.31			3 17.31	12.00 1.63
凝灰岩	005				1 0.12			1 0.12	4.00 0.01
凝灰岩 点数合計 凝灰岩 重量合計					1 0.12			1 0.12	4.00 0.01
角閃片岩	001					2 70.77		2 70.77	8.00 6.67
角閃片岩 点数合計 角閃片岩 重量合計						2 70.77		2 70.77	8.00 6.67
全体の点数合計 全体の重量合計		1 6.42	2 19.96	1 10.9	16 67.88	2 70.77	3 884.66	25 1060.59	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		4.00 0.61	8.00 1.88	4.00 1.03	64.00 6.40	8.00 6.67	12.00 83.41	100.00 100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］

出土することが多いが，本文化層においては，局部磨製石斧の出土点数が極端に少ないことが特徴となっている。このことは，環状ブロックの形成される段階の時期差をあらわしている可能性も推定される。

（2）第Ⅰb文化層（第113図，第28表）

第Ⅰb文化層の概要　第113図でみられるように，第14～18ブロックの5ブロックで構成される。ブロック間の接合資料はみられない。ブロック内の接合資料も少ない。第15ブロックで接合資料が2資料あるのみである。出土層位は，X層上部～Ⅸc層にかけて出土しているが，Ⅸ層aに遺物が集中する。このことから，生活面は，Ⅸ層aと推定される。Ⅰa文化層と比較すると，出土層位がⅠa文化層のほうが，やや下位の層準に遺物が集中する。第Ⅰa文化層と第Ⅰb文化層に細分したが，先後関係が明確でないことから，第Ⅰ文化層として捉えた。

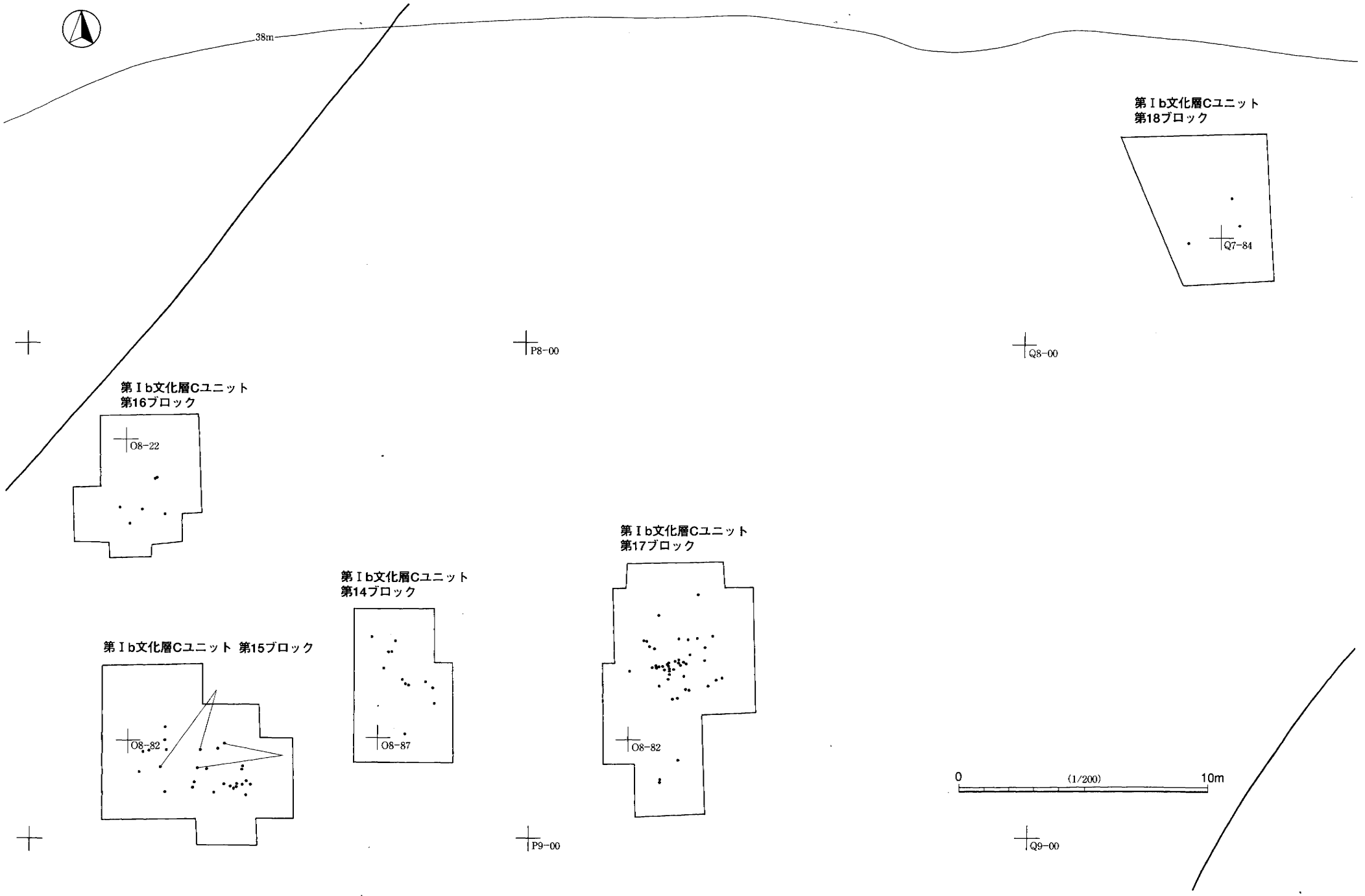
出土点数は，96点（総重量733.78g）でⅠa文化層に比べて少ない。母岩数は，29母岩である。ブロック間で共有する母岩はみられない。このことは，ブロック間の接合関係がみられないことと一致する。第Ⅰb文化層は5ブロックで構成されるが，上記のように，同時期に形成されたという確実な資料がない。ただし，出土層位は，Ⅸa層を主体とし，器種組成や石材組成が類似することから，同一段階に形成された石器群であるか，あるいは，時期差を持って，この遺跡に回帰して5つのブロックが形成されたものと考えられる。接合関係のみられるブロックは，第15ブロックのみである。接合する母岩は，2母岩で，接合点数は4点である。

主要器種は，ナイフ形石器・二次加工のある剥片で構成される。主要石材では，頁岩と玉髄（メノウ含む）で構成されることと，嶺岡産珪質頁岩が出土していないことが，第Ⅰa文化層と大きく異なる特徴である。

第28表　第Ⅰb文化層石材器種組成表

石材＼器種	ナイフ形石器	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
ガラス質黒色安山岩	1 2.98		1 14.32						2 17.3	2.08 2.36
ホルンフェルス					1 1.01				1 1.01	1.04 0.14
流紋岩					1 2.44		2 38.83	3 209	6 250.27	6.25 34.11
頁岩		1 17.81	3 22.26		10 42.79	14 6.08			28 88.94	29.17 12.12
珪質頁岩	1 1.57	1 2.61	4 5	1 24.07	16 39.01	7 2.97			30 75.23	31.25 10.25
チャート		1 5.92		1 34.03	6 24.49			1 153.24	9 217.68	9.38 29.67
玉髄（メノウ含む）		1 2.31			14 32.74	4 1.4			19 36.45	19.79 4.97
砂岩								1 46.9	1 46.9	1.04 6.39
点数合計 重量合計	2 4.55	4 28.65	8 41.58	2 58.1	48 142.48	25 10.45	2 38.83	5 409.14	96 733.78	100.00 100.00
点数組成比（%） 重量組成比（%）	2.08 0.62	4.17 3.90	8.33 5.67	2.08 7.92	50.00 19.42	26.04 1.42	2.08 5.29	5.21 55.76	100.00 100.00	

［上段：点数、下段：重量(g)］



第113図　第Ⅰb文化層Cユニット分布状況

①第14ブロック（第114・115図，第29・102表，図版32）

出土状況　平面分布は，約５ｍ×２ｍの楕円形の範囲にやや密集して分布している。出土層位は，Ⅸc層～Ⅶ層にかけて出土し，Ⅸc層上部～Ⅸa層下部に集中する。

器種別分布（第115図）の特徴は，ナイフ形石器が南部に単独で出土しており，周辺は遺物空白地点がみられる。このナイフ形石器は，単独母岩で搬入された石器であり，集中地点から離れた場所から出土していることは興味深い特徴といえよう。北部には，剥片が集中して出土している。

母岩別部分布（第115図）の特徴は，チャート036が５点出土しているが，北西部にまとまって出土している。その他の母岩は，南部に単品で出土している。

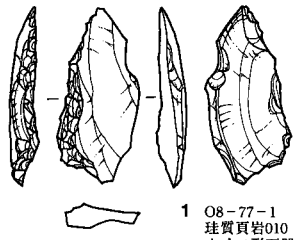
出土遺物　総計12点出土した。母岩器種組成は第29表のとおりである。器種組成は，製品ではナイフ形石器が１点出土しているのみである。剥片の占める割合が高い。母岩（石材）組成は，点数の割には，多種の石材を用いており，チャートを多く用いている。母岩別にみると，珪質頁岩010が，ナイフ形石器が単独で出土しており，製品として単体で搬入されたものと思われる。

１はナイフ形石器である。横長剥片を素材として，素材を横位に用いている。打面部側にあたる表面左側縁は，折断後に細かい調整加工が階段状に施されている。末端部にあたる表面右側縁上部は，やや粗い調整加工が施されている。素材の末端形状は，非常に顕著な蝶番剥離によるものである。背面は，ポジティヴ面を有している。

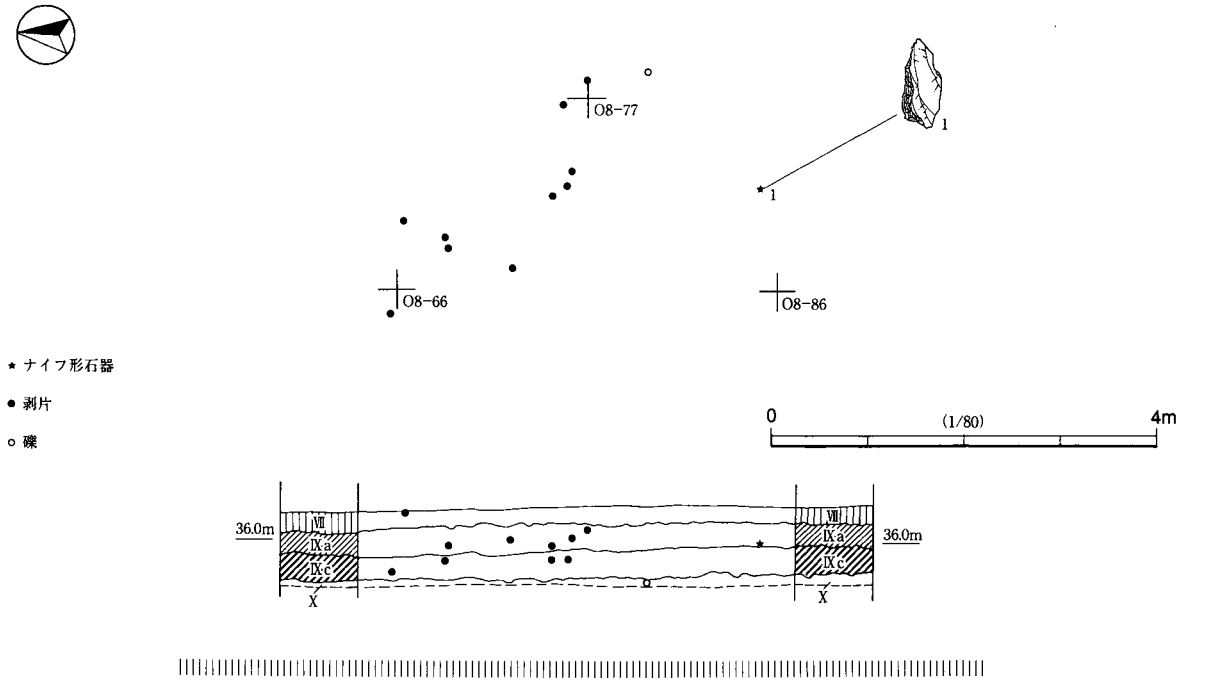
第29表　第Ⅰb文化層Cユニット 第14ブロック母岩器種組成表

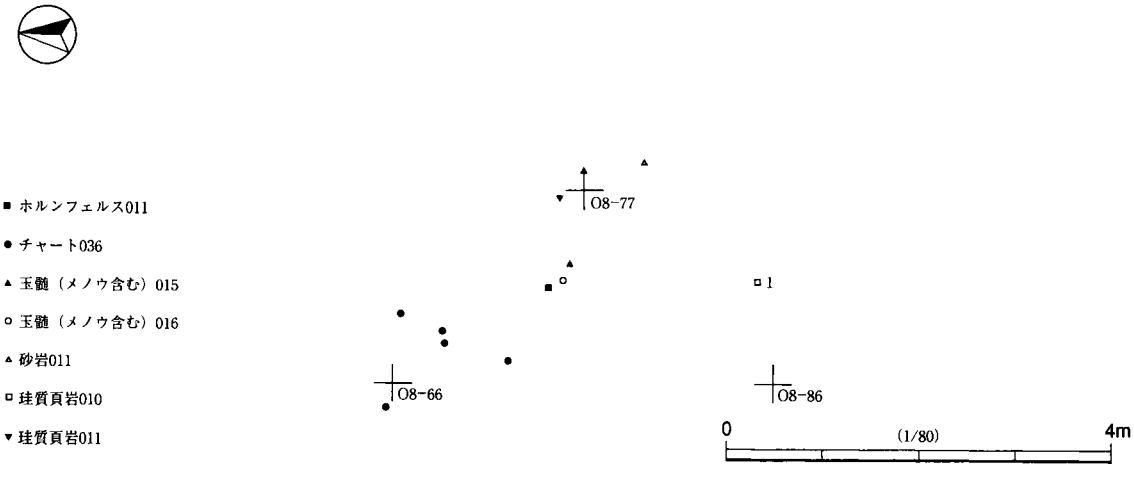
母岩名	母岩番号	ナイフ形石器	剥片	礫	総計	組成比（%）
ホルンフェルス	011		1 1.01		1 1.01	8.33 1.37
ホルンフェルス 点数合計 ホルンフェルス 重量合計			1 1.01		1 1.01	8.33 1.37
珪質頁岩	010	1 1.57			1 1.57	8.33 2.13
	011		1 0.73		1 0.73	8.33 0.99
珪質頁岩 点数合計 珪質頁岩 重量合計		1 1.57	1 0.73		2 2.3	16.67 3.11
チャート	036		5 21.28		5 21.28	41.67 28.81
チャート 点数合計 チャート 重量合計			5 21.28		5 21.28	41.67 28.81
玉髄(メノウ含む)	015		2 1.84		2 1.84	16.67 2.49
	016		1 0.54		1 0.54	8.33 0.73
玉髄(メノウ含む) 点数合計 玉髄(メノウ含む) 重量合計			3 2.38		3 2.38	25.00 3.22
砂岩	011			1 46.9	1 46.9	8.33 63.49
砂岩 点数合計 砂岩 重量合計				1 46.9	1 46.9	8.33 63.49
全体の点数合計 全体の重量合計		1 1.57	10 25.4	1 46.9	12 73.87	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		8.33 2.13	83.33 34.38	8.33 63.49	100.00 100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］



第114図　第Ｉb文化層Ｃユニット 第14ブロック出土石器





第115図　第Ｉb文化層Ｃユニット 第14ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図

②第15ブロック（第116～118図，第30・102表，図版32・36）

出土状況　平面分布は，約５ｍ×３ｍの範囲にやや密集して分布している。分布状況を詳細にみると，北西部と南東部の２箇所に遺物集中地点がみられる。出土層位は，Ⅸc層～Ⅶ層にかけて出土しており，Ⅸa層下部に集中する。

器種別分布（第116図）の特徴は，ナイフ形石器が１点，石核が２点出土しているが，２箇所の集中地点の間のやや空白地点から出土している。２箇所の集中地点からは，製品はほとんど出土しておらず，剥片・砕片が大半を占める。

母岩別分布（第116図）の特徴は，接合資料67･68の二つの接合資料が，ブロック内で接合している。ナイフ形石器・石核と同様に，接合資料は，２箇所の集中地点の間の空白地点から出土している。母岩別にみると，北西部に珪質頁岩014が集中しており，南東部に珪質頁岩012が集中している。

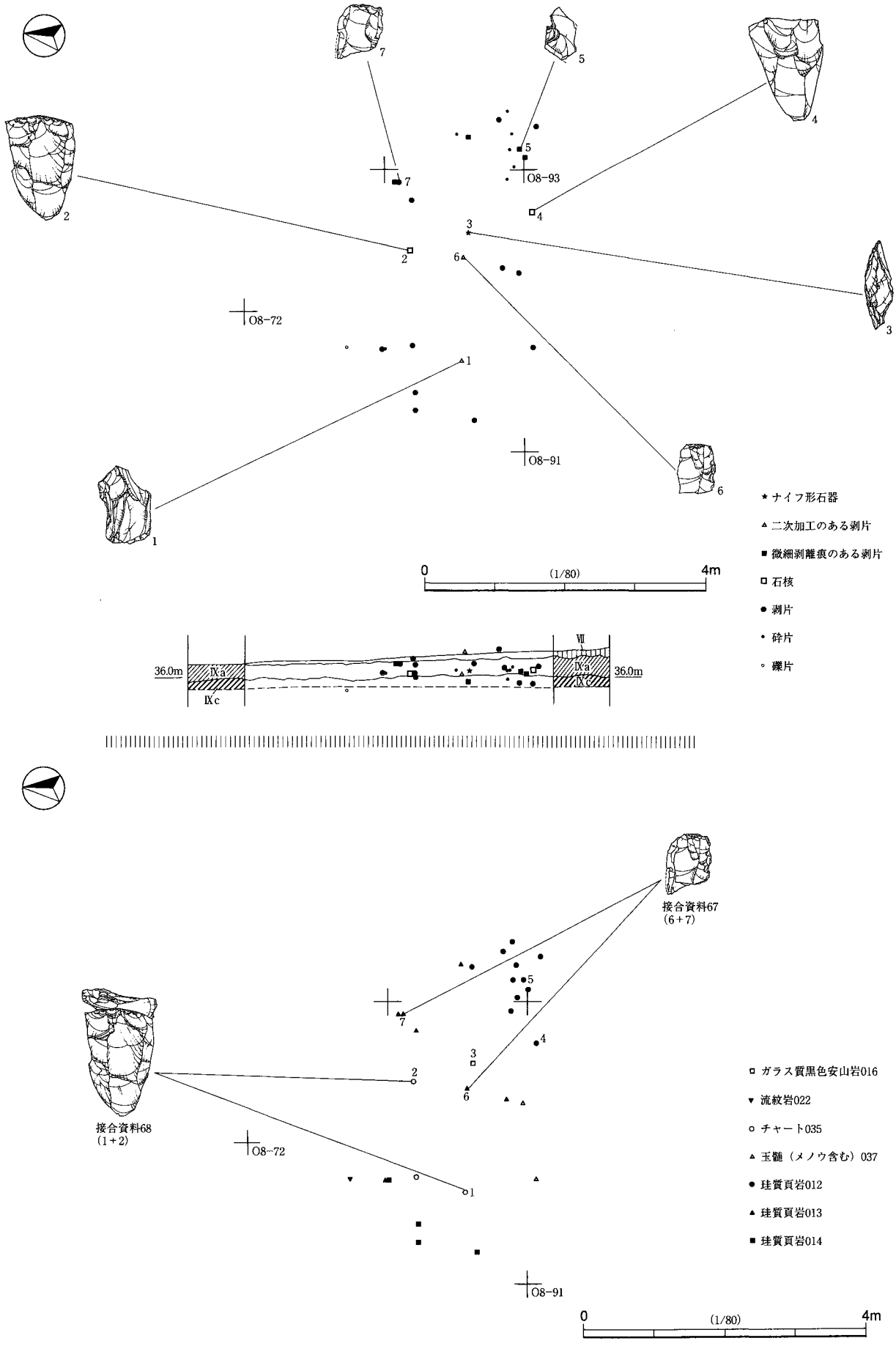
出土遺物　総計29点出土した。母岩器種組成は第30表のとおりである。器種組成は，製品ではナイフ形石器１点，二次加工のある剥片２点出土している。石核・剥片の比率が高い。母岩（石材）組成は，珪質頁岩が22点（75.86%，総重量32.06ｇ）出土しており，非常に高い比率を示す。母岩別にみると，珪質頁岩012は，石核１点と微細剥離痕のある剥片・剥片等11点で構成されている。また，チャート035は，石核１点と二次加工のある剥片・剥片で構成されている。これらの母岩別の組成から，本ブロックにおいて，剥片生産された可能性が高い。

１＋２は接合資料68である。１は打面再生剥片で，２はその後も石刃を連続的に剥離した石刃石核である。かなり規格的な石刃が量産されたことを示す良好な接合資料である。１＋２の状態では，裏面左側面に２・３枚の石刃が剥離され，下端部から石核調整行ったと思われる剥離面も観察される。その後，上面

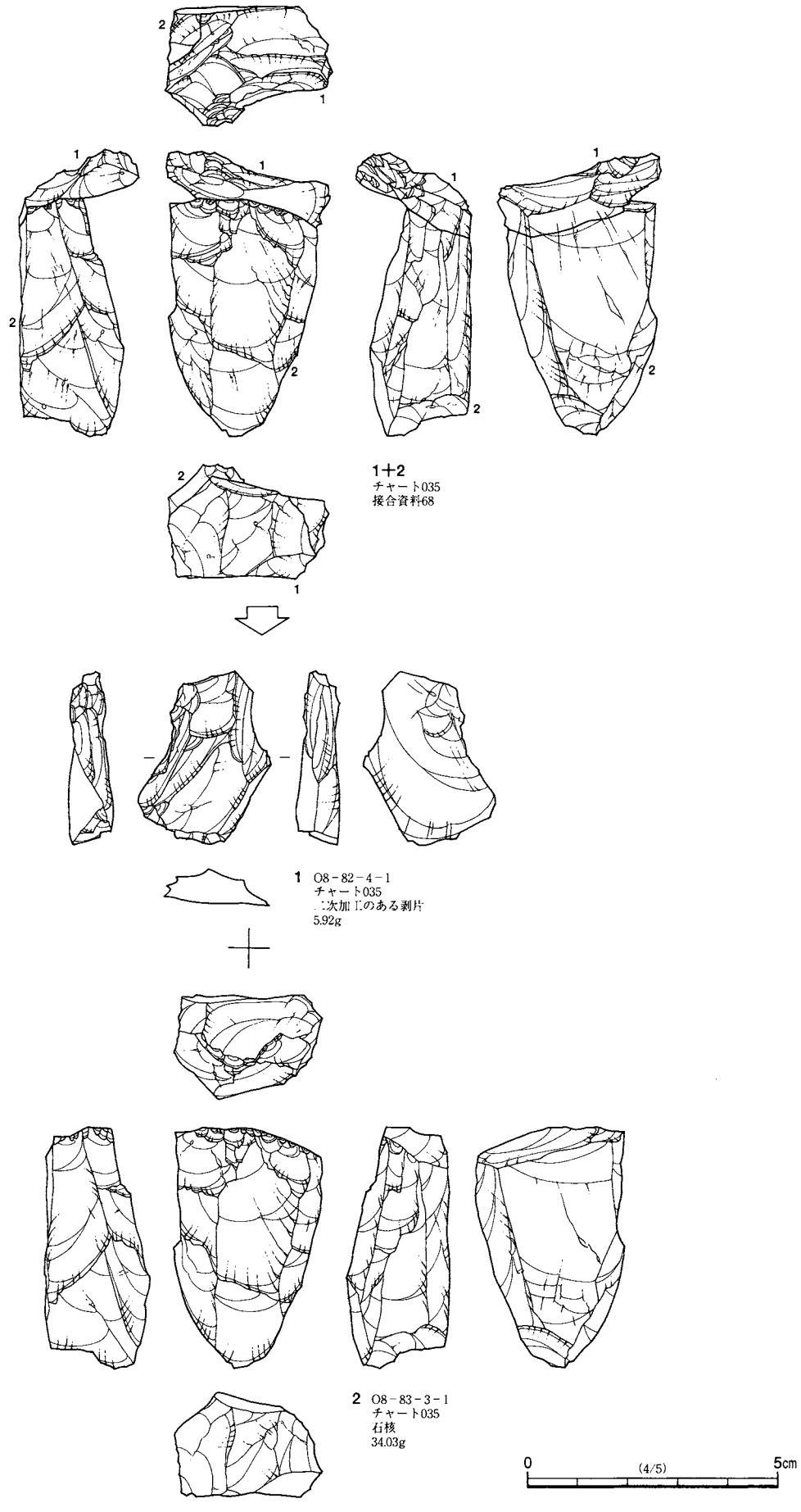
第30表　第Ⅰb文化層Ｃユニット 第15ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	ナイフ形石器	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	総計	組成比（%）
ガラス質黒色安山岩	016	1 2.98							1 2.98	3.45 2.23
ガラス質黒色安山岩 点数合計 ガラス質黒色安山岩 重量合計		1 2.98							1 2.98	3.45 2.23
流紋岩	022							1 35.01	1 35.01	3.45 26.14
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計								1 35.01	1 35.01	3.45 26.14
珪質頁岩	012			3 4.18	1 24.07	2 1.08	5 2.41		11 31.74	37.93 23.70
	013		1 2.61	1 0.82		3 5.09	2 0.56		7 9.08	24.14 6.78
	014					4 2.11			4 2.11	13.79 1.58
珪質頁岩 点数合計 珪質頁岩 重量合計			1 2.61	4 5	1 24.07	9 8.28	7 2.97		22 42.93	75.86 32.06
チャート	035		1 5.92		1 34.03	1 3.21			3 43.16	10.34 32.23
チャート 点数合計 チャート 重量合計			1 5.92		1 34.03	1 3.21			3 43.16	10.34 32.23
玉髄(メノウ含む)	037					2 9.83			2 9.83	6.90 7.34
玉髄(メノウ含む) 点数合計 玉髄(メノウ含む) 重量合計						2 9.83			2 9.83	6.90 7.34
全体の点数合計 全体の重量合計		1 2.98	2 8.53	4 5	2 58.1	12 21.32	7 2.97	1 35.01	29 133.91	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		3.45 2.23	6.90 6.37	13.79 3.73	6.90 43.39	41.38 15.92	24.14 2.22	3.45 26.14	100.00 100.00	

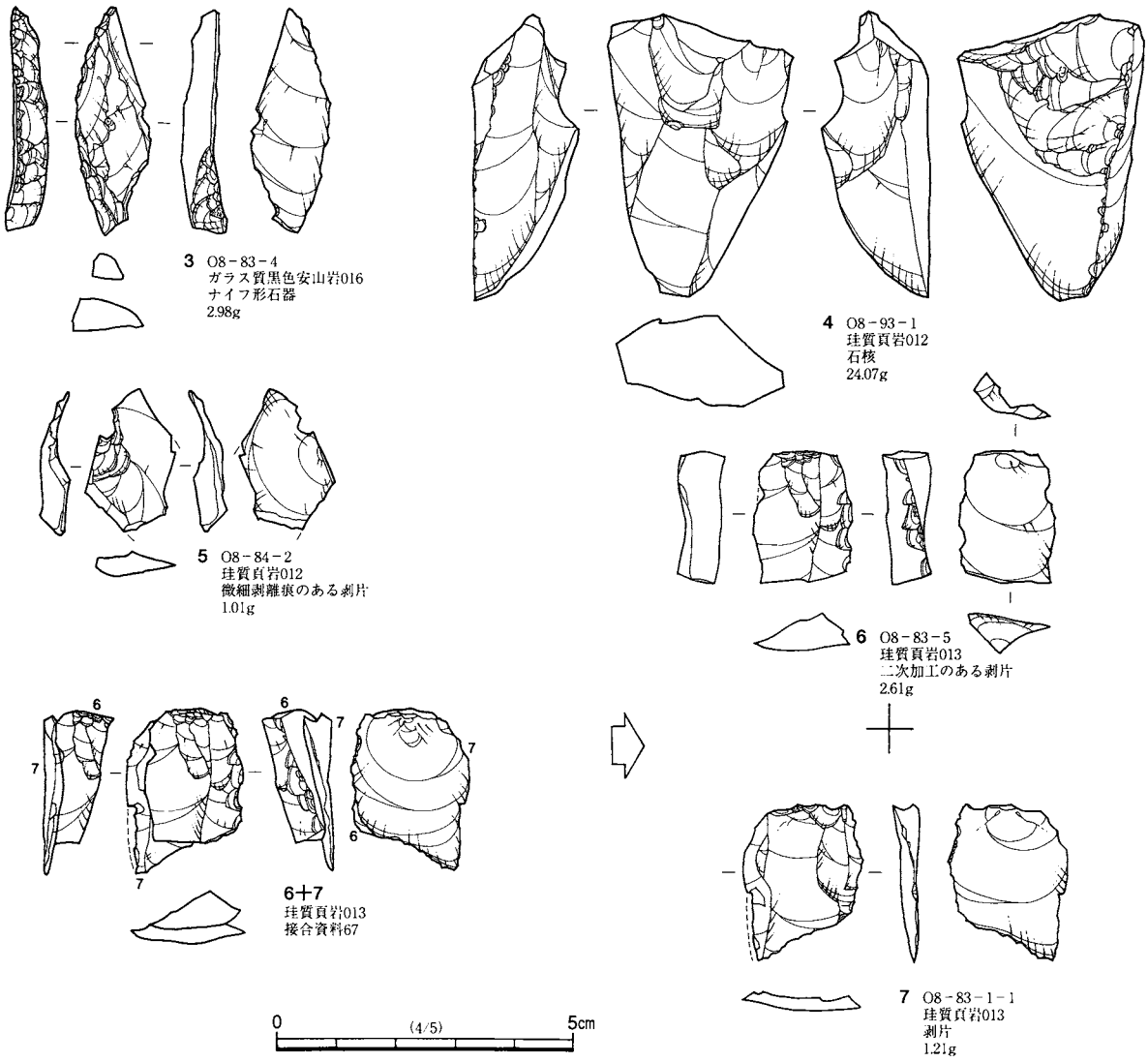
［上段:点数、下段:重量(g)］



第116図　第Ⅰb文化層Cユニット 第15ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図



第117図　第Ⅰb文化層Cユニット 第15ブロック出土石器（1）



第118図　第Ⅰb文化層Cユニット 第15ブロック出土石器（2）

下端部から打面調整が行われた後に，1を剥離することにより，新たな打面が作出されている。新たに作出された打面から，8枚以上の石刃が連続的に剥離されている。最終的な残核である2は，頭部調整が非常に顕著に行われている。

3は石刃を素材としたナイフ形石器である。石刃の主要剥離方向と主軸が同一方向に設定されており，基部側を先端部に用いている。左側縁と右側縁下部に急角度の細かいブランティング加工が施されている。全体形状は，細長い菱形を呈する。特に，基部の調整加工は入念に施されている。

4は良質な珪質頁岩を用いた石核である。厚みのある剥片を素材としており，背面左側面上部から2枚の縦長剥片を剥離後，腹面右側縁上部に打点を移動して，やや小型の剥片を剥離している。最終的には，背面上端部から3・4枚の縦長剥片が剥離されている。剥離された剥片は，背面にポジティヴ面を有するものである。

5は微細剥離痕のある剥片である。横長剥片を素材として，素材の末端部にあたる背面左側縁上部に微細剥離痕がみられる。

6＋7は接合資料67である。小型の縦長剥片が連続的に剥離されたことを示す接合資料である。6は右

側縁にやや粗い調整加工が施されている。その後に，末端部が折断されている。7は線状の打面から剥離された縦長剥片である。

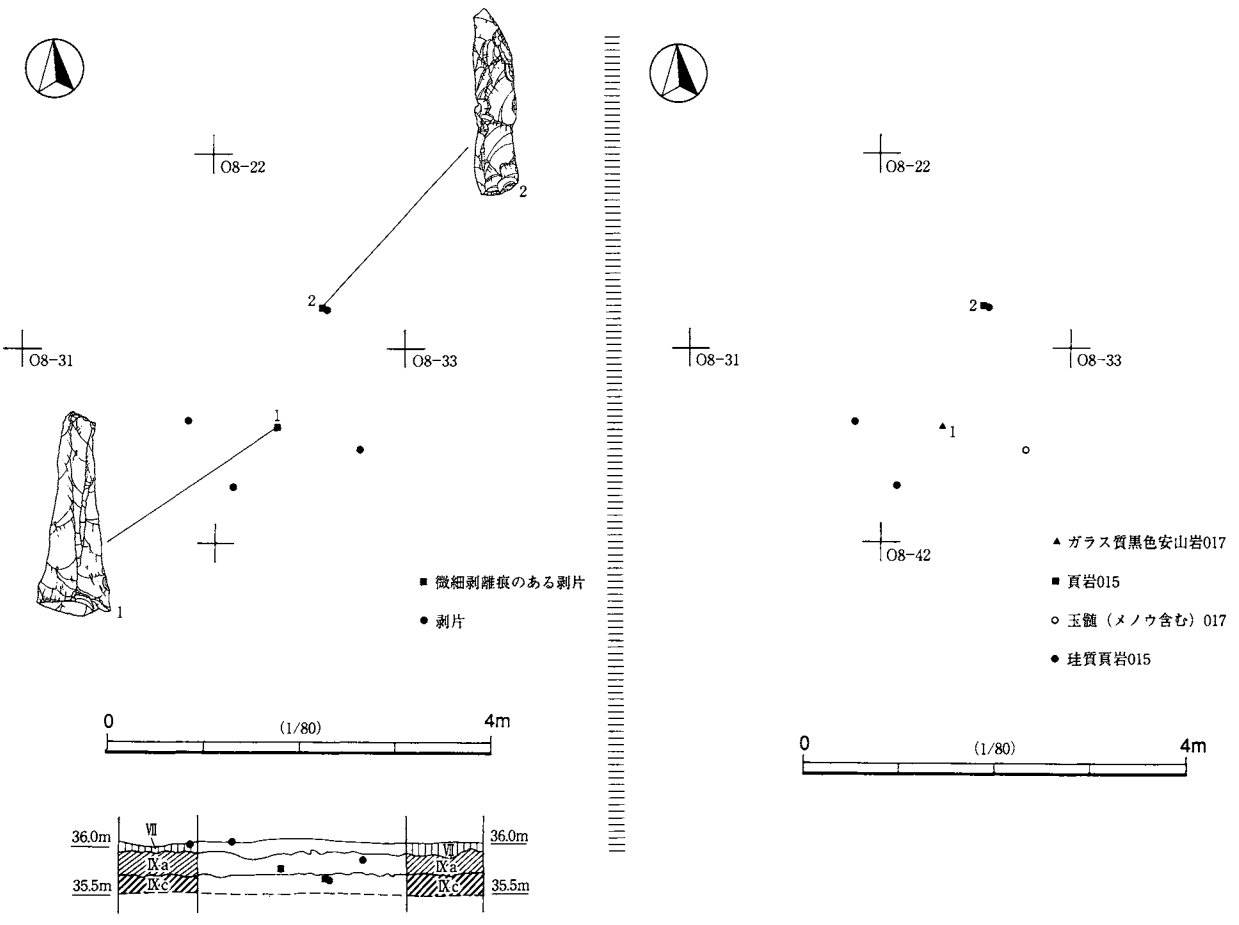
③第16ブロック（第119・120図，第31・102表，図版2・32）

出土状況　平面分布は，約2m×2mの小範囲に散漫に分布している。出土層位は，Ⅸc上部層～Ⅶ層にかけて出土し，Ⅸa層下部に集中する。

器種別分布（第119図）の特徴は，出土点数が少ないので，傾向を把握しにくいが，2点の縦長の目的的剥片が，ブロックの中心付近から出土している。母岩別分布（第119図）の特徴は，珪質頁岩015が複数で構成されているが，ブロックの外周から出土している。

出土遺物　総計6点のみの出土である。母岩器種組成は第31表のとおりである。器種組成は，製品はみられないものの，珪質頁岩・頁岩など比較的良質な石材が用いられ，石刃が出土している点が大きな特徴である。石刃のほとんどのものは，側縁に微細剥離痕がみられる。母岩（石材）組成は，比較的良質な珪質頁岩・頁岩・ガラス質黒色安山岩・玉髄（メノウ含む）が用いられている。

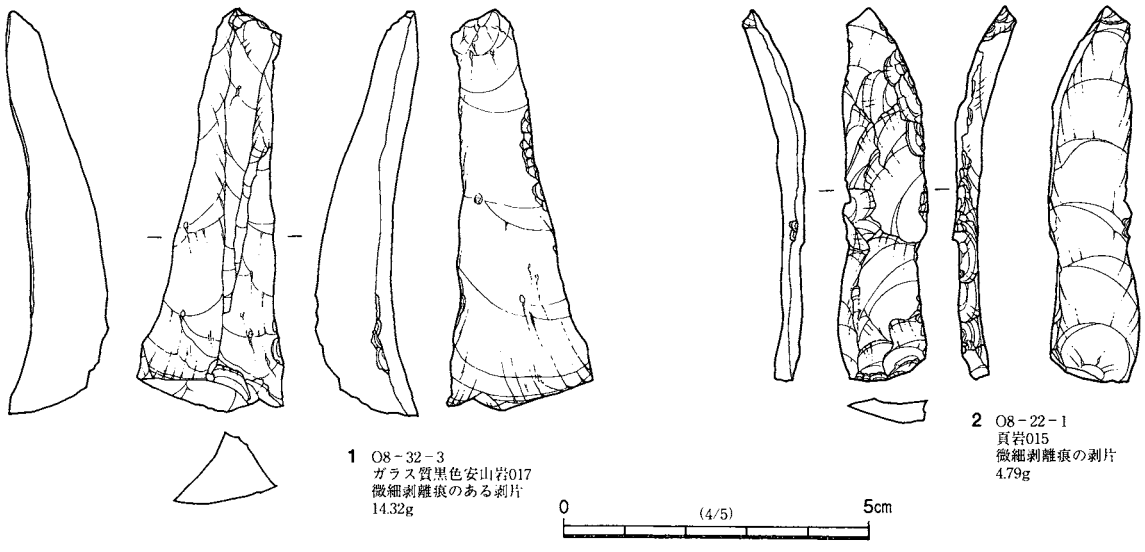
1・2は微細剥離痕のある剥片である。1は背面に縦長の剥片が連続的に剥離されたことを示す剥離で構成されている。下端部は，石核の底面が取り込まれており，6cm前後の石核から石刃が連続的に剥離された資料といえよう。背面右側縁中間部に，微細剥離痕がみられる。2は打面再生剥片と思われる資料で



第119図　第Ⅰb文化層Cユニット 第16ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図

ある。右側縁下半部に，頭部調整と思われる調整加工が顕著にみられる。背面は右側縁から平坦な剥離が施されており，おそらく打面調整の剥離と思われる。

資料が少ないながらも，１・２は石刃を連続的に剥離した痕跡や石刃石核の打面再生剥片と思われる資料が出土していることから，石刃技法を用いて石刃を量産したことが推察される。



第120図　第Ｉb文化層Ｃユニット 第16ブロック出土石器

第31表　第Ｉb文化層Ｃユニット 第16ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	微細剥離痕のある剥片	剥片	総計	組成比（%）
ガラス質黒色安山岩	017	1 14.32		1 14.32	16.67 63.14
ガラス質黒色安山岩 点数合計 ガラス質黒色安山岩 重量合計		1 14.32		1 14.32	16.67 63.14
頁岩	015	1 4.79		1 4.79	16.67 21.12
頁岩 点数合計 頁岩 重量合計		1 4.79		1 4.79	16.67 21.12
珪質頁岩	015		3 2.18	3 2.18	50.00 9.61
珪質頁岩 点数合計 珪質頁岩 重量合計			3 2.18	3 2.18	50.00 9.61
玉髄(メノウ含む)	017		1 1.39	1 1.39	16.67 6.13
玉髄(メノウ含む) 点数合計 玉髄(メノウ含む) 重量合計			1 1.39	1 1.39	16.67 6.13
全体の点数合計 全体の重量合計		2 19.11	4 3.57	6 22.68	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		33.33 84.26	66.67 15.74	100.00 100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］

④第17ブロック（第121・122図，第32・102・103表，図版2・32）

出土状況　平面分布は，約8m×4mの楕円形の範囲にやや密集して分布している。中央部西側に密集する箇所があり，北東部と南部に散漫に分布する地点がみられる。出土層位は，Ⅸc層下部～Ⅶ層上部にかけて出土しており，Ⅸa層下部に集中する。

器種別分布（第121図）の特徴は，中央部西側の集中地点から剥片・砕片が多く出土しており，北東部の散漫な分布を示す地点から二次加工のある剥片や微細剥離痕のある剥片が出土している。

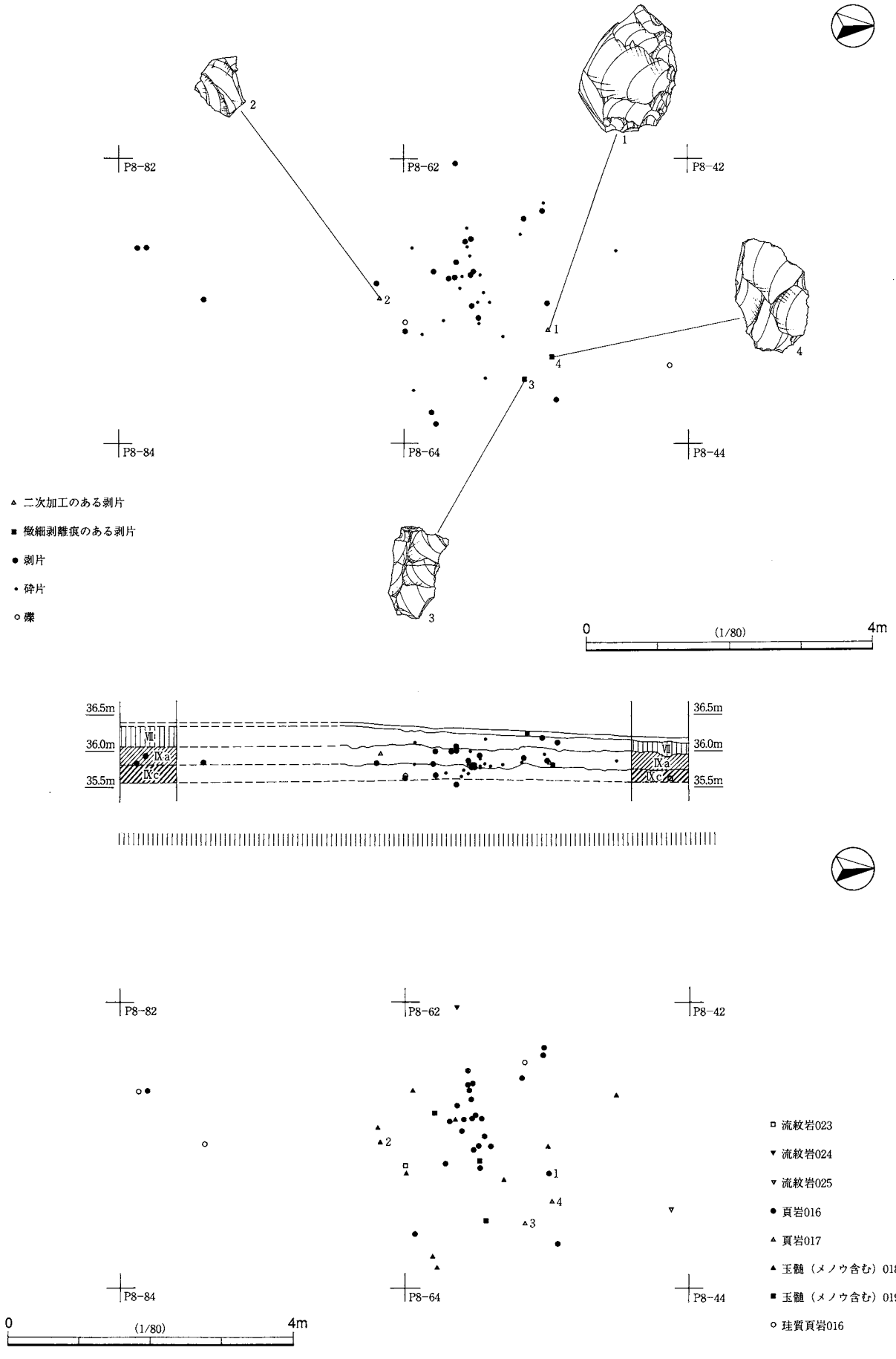
母岩別分布（第121図）の特徴は，接合資料がみられないことがあげられる。頁岩016の母岩は比較的多く出土しており，中央部西側の集中地点からまとまって出土している。北東部と南部の散漫に分布する地点からは，単独母岩が出土している。

出土遺物　総計46点出土した。母岩器種組成は第32表のとおりである。器種組成は，製品はみられないものの，比較的良質な石材が用いられ，縦長剥片が出土している点が大きな特徴である。縦長剥片のほとんどのものは，側縁に二次加工や微細剥離痕がみられる。石材組成は，比較的良質な頁岩が27点（58.7%，総重量25.10g），玉髄（メノウ含む）が13点（28.26%，総重量6.82g）出土しており，これらの良質な石材で約9割を占める。母岩別にみると，頁岩016が，二次加工のある剥片1点，剥片10点，砕片14点で，本ブロックの半数近くを占める。

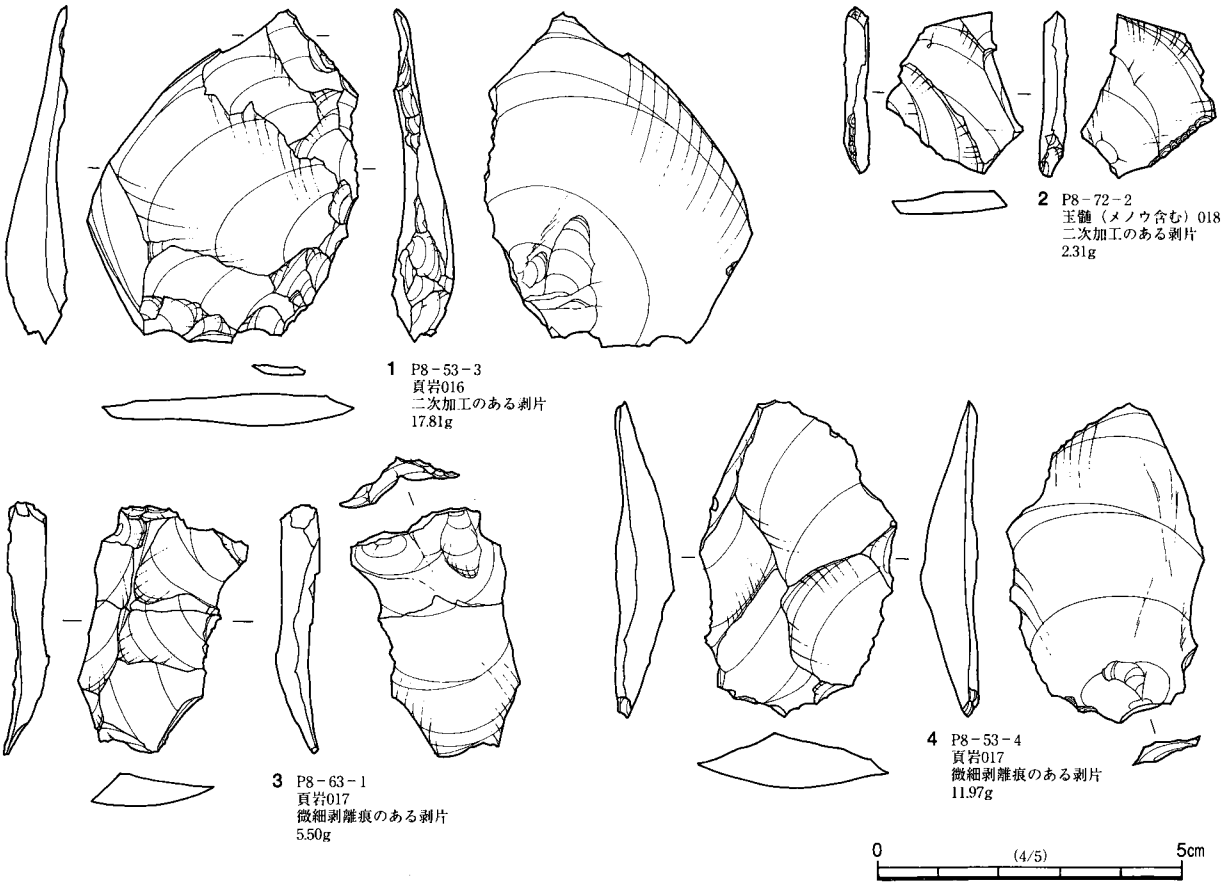
第32表　第Ⅰb文化層Cユニット　第17ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	剥片	砕片	礫	総計	組成比（%）
流紋岩	023					1	1	2.17
						114	114	34.00
	024			1			1	2.17
				2.44			2.44	0.73
	025					1	1	2.17
						84	84	25.06
流紋岩 点数合計				1		2	3	6.52
流紋岩 重量合計				2.44		198	200.44	59.79
頁岩	016	1		10	14		25	54.35
		17.81		42.79	6.08		66.68	19.89
	017		2				2	4.35
			17.47				17.47	5.21
頁岩 点数合計		1	2	10	14		27	58.70
頁岩 重量合計		17.81	17.47	42.79	6.08		84.15	25.10
珪質頁岩	016			3			3	6.52
				27.82			27.82	8.30
珪質頁岩 点数合計				3			3	6.52
珪質頁岩 重量合計				27.82			27.82	8.30
玉髄(メノウ含む)	018	1		6	3		10	21.74
		2.31		16.84	1.25		20.4	6.08
	019			2	1		3	6.52
				2.3	0.15		2.45	0.73
玉髄(メノウ含む) 点数合計		1		8	4		13	28.26
玉髄(メノウ含む) 重量合計		2.31		19.14	1.4		22.85	6.82
全体の点数合計		2	2	22	18	2	46	100.00
全体の重量合計		20.12	17.47	92.19	7.48	198	335.26	100.00
点数組成比(%)		4.35	4.35	47.83	39.13	4.35	100.00	
重量組成比(%)		6.00	5.21	27.50	2.23	59.06	100.00	

［上段:点数、下段:重量(g)］



第121図　第Ⅰb文化層Cユニット 第17ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図



第122図　第Ⅰb文化層Cユニット 第17ブロック出土石器

1・2は二次加工のある剥片である。1は幅広の横長剥片を素材として，右側縁上部と素材の打面部にあたる右側縁下部に調整加工が施されている。素材の末端部は蝶番剥離を呈している。背面は厚みのない幅広の剥片が剥離されている。2は末端部が蝶番剥離を呈する縦長剥片を素材として，打面部を折断後に調整加工が施されている。腹面右側縁下部に連続的に調整加工が施されている。上端部は折断されている。

3・4は微細剥離痕のある剥片である。3は打面調整がわずかにみられる縦長剥片を素材としている。打面部が「く」の字状を呈していることから，打点が二つの打点から剥離されている。腹面右側縁下部に微細剥離痕がみられる。4は打面が狭い縦長剥片を素材としている。厚みがなく，素材の縁辺は鋭角である。背面右側縁下部と左側縁に微細剥離痕が顕著にみられ，その他のほぼ全周にも微細剥離痕がみられる。

⑤第18ブロック（第123図，第33・103表）

出土状況　平面分布は，約２ｍ×１ｍの小範囲に散漫に分布している。出土層位は，Ⅹa層下部～Ⅸc層にかけて出土しており，他のブロックよりも比較的下位の層から出土しているが，ブロックが近接していることから，第Ⅰb文化層の石器として捉えた。ただし，石器の内容が明確でない。

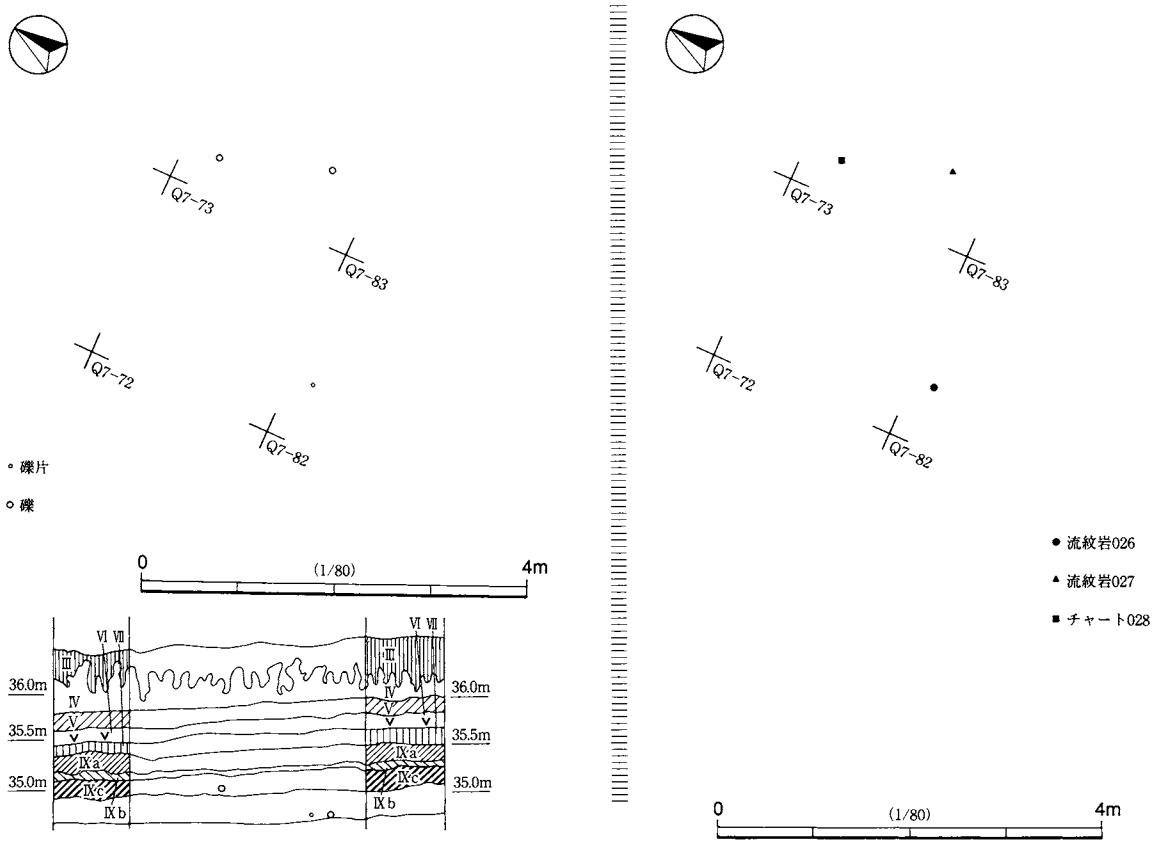
器種別分布（第123図）の特徴は，礫片・礫が散漫に出土している。母岩別分布（第123図）の特徴は，各母岩が単独で出土している。

出土遺物　総計３点のみの出土である。母岩器種組成は第33表のとおりである。器種組成は，製品はみられず，礫片・礫のみで構成されるという特徴がある。母岩（石材）組成は，粗悪な石材である流紋岩・チャートで構成される。他のブロックと対照的な器種組成・石材組成を示す。

第33表　第Ⅰb文化層Ｃユニット 第18ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	礫片	礫	総計	組成比（%）
流紋岩	026	1 3.82		1 3.82	33.33 2.27
	027		1 11	1 11	33.33 6.55
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計		1 3.82	1 11	2 14.82	66.67 8.82
チャート	028		1 153.24	1 153.24	33.33 91.18
チャート 点数合計 チャート 重量合計			1 153.24	1 153.24	33.33 91.18
全体の点数合計 全体の重量合計		1 3.82	2 164.24	3 168.06	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		33.33 2.27	66.67 97.73	100.00 100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］



第123図　第Ⅰb文化層Ｃユニット 第18ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図

4　第Ⅱ文化層

第Ⅱ文化層の概要（第124・125・141図，第34・39表）

第124図でみられるように，調査区南側の南側傾斜面にⅡa文化層が分布し，調査区中央部の南側の平坦面にⅡb文化層が分布する。Ⅱa文化層とⅡb文化層との接合関係を示す資料はみられない。出土層位は，Ⅸc層～Ⅸa層にかけて出土しており，第Ⅰ文化層よりもやや上位の層から出土していることから，第Ⅱ文化層として捉えた。ただし，第Ⅱa文化層と第Ⅱb文化層は，離れて出土しており，第Ⅱa文化層は，傾斜面から出土していることから，出土層位がやや不明確な点がある。これらのことから，第Ⅱa文化層と第Ⅱb文化層を同時期に形成されたものと捉えることができないことから，第Ⅱ文化層を細分した。第Ⅱa文化層と第Ⅱb文化層の先後関係は明確でない。

（1）第Ⅱa文化層（第124・125図，第34表）

第125図でみられるように，第19～22ブロックの4ブロックで構成される。調査区南端の傾斜地に立地し，垂直分布図において，出土層位の上下幅が大きく，集中する層の傾向を把握することが困難である。ブロック間の接合はみられない。ブロック間の距離もやや離れている。出土層位は，Ⅸa層～Ⅴ層にかけて出土しており，Ⅸa層に集中することから，Ⅸa層に生活面を持つと推定される。

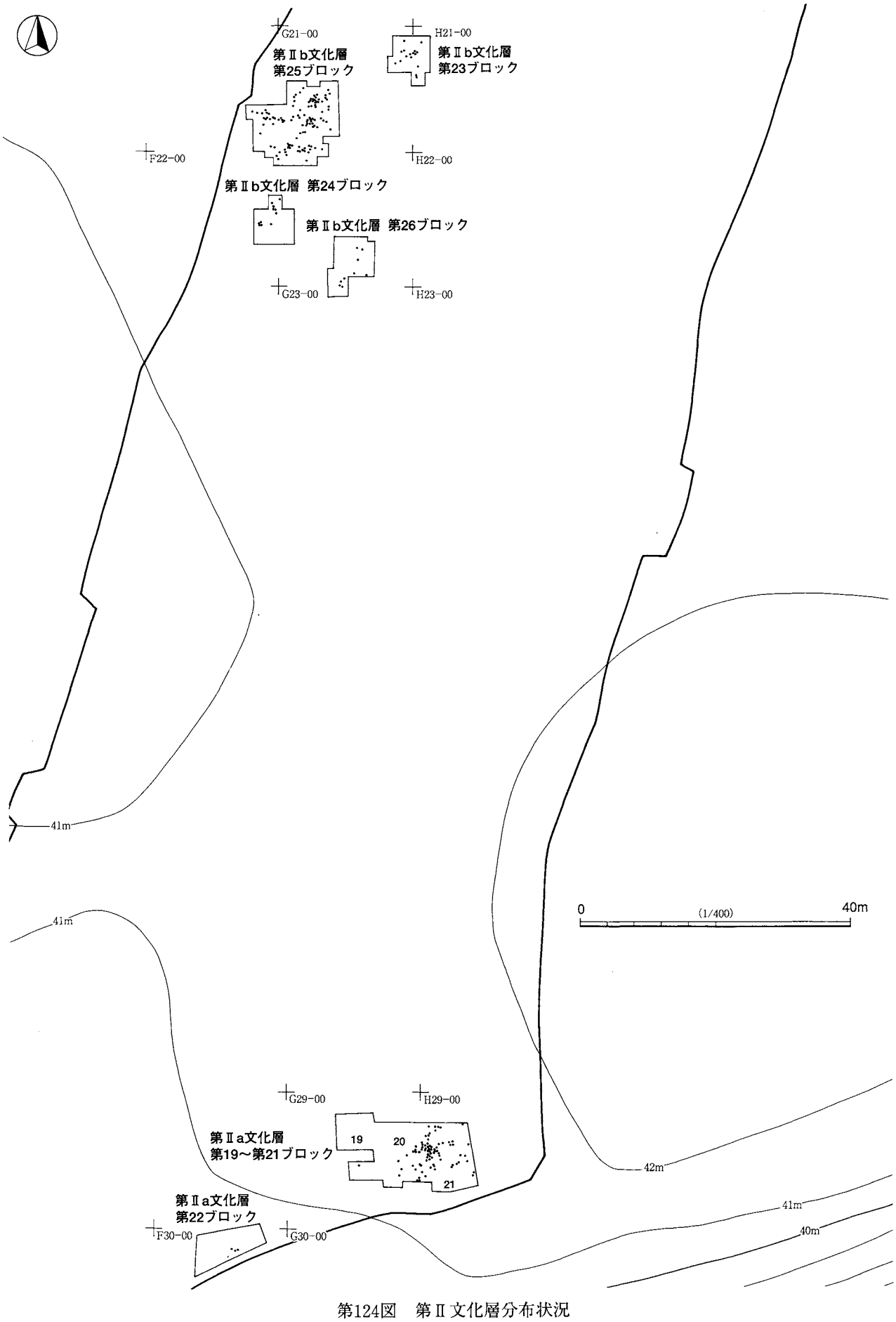
出土点数は，118点（総重量2,140.76ｇ）である。母岩数は，63母岩である。ブロック間で共有する母岩はみられない。4つのブロックで構成されているものの，ブロック間の接合関係もみられないことから，これらのブロックは，同時期に形成されたかどうかは不明である。ただし，第20ブロックと第21ブロックは近接して出土しており，出土層位も同一層準から出土していることから，同時期に形成された可能性が高い。第20ブロックのみで接合資料がみられる。接合する母岩は，5母岩で，接合点数は17点である。

石材器種組成は第34表のとおりである。主要器種は，ナイフ形石器・二次加工のある剥片・局部磨製石斧・礫器である。主要石材は，嶺岡産珪質頁岩・ガラス質黒色安山岩である。

第34表　第Ⅱa文化層石材器種組成表

石材＼器種	ナイフ形石器	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	局部磨製石斧	礫器	礫片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	1 1.75	1 5.95			1 2.59	3 1.3					6 11.59	5.08 0.54
安山岩										1 89.53	1 89.53	0.85 4.18
ガラス質黒色安山岩					12 144.65	14 10.74					26 155.39	22.03 7.26
トロトロ石（安山岩）					5 74.52						5 74.52	4.24 3.48
ホルンフェルス									1 1.66	1 53.74	2 55.4	1.69 2.59
流紋岩		1 38.64	3 67.6		8 84.04			1 525.05	4 64.83	1 19.23	18 799.39	15.25 37.34
頁岩	1 4.67				4 52.39	1 0.46					6 57.52	5.08 2.69
嶺岡産珪質頁岩		3 34.71		3 400.14	18 153.98	5 4.59			3 41.06		32 634.48	27.12 29.64
チャート					1 1.66	2 2.33			1 15.17	2 1.67	6 20.83	5.08 0.97
玉髄（メノウ含む）						1 0.47					1 0.47	0.85 0.02
砂岩							1 128.75		9 44.4	5 68.49	15 241.64	12.71 11.29
点数合計	2	5	3	3	49	26	1	1	18	10	118	100.00
重量合計	6.42	79.3	67.6	400.14	513.83	19.89	128.75	525.05	167.12	232.66	2140.76	100.00
点数組成比（%）	1.69	4.24	2.54	2.54	41.53	22.03	0.85	0.85	15.25	8.47	100.00	
重量組成比（%）	0.30	3.70	3.16	18.69	24.00	0.93	6.01	24.53	7.81	10.87	100.00	

［上段：点数、下段：重量(g)］



第124図　第Ⅱ文化層分布状況

第125図　第Ⅱa文化層分布状況

①第19ブロック（第125図，第35・104表）

出土状況　平面分布は，G9－16・26・36グリッド付近からまとまって出土している。

出土層位は，Ⅸa層～Ⅶ層にかけて出土し，Ⅸa層に集中する。器種別分布は，礫・礫片がまとまって出土している。

出土遺物　総計11点出土した。母岩器種組成は第35表のとおりである。

器種組成は，製品がみられず，礫片・礫が出土しているのみである。

石材組成は，粗悪な石材である砂岩・ホルンフェルス・流紋岩・チャートが用いられており，このうち砂岩が最も多く用いられている。

第35表　第Ⅱa文化層 第19ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	礫片	礫	総計	組成比（%）
ホルンフェルス	004	1 1.66		1 1.66	9.09 3.18
ホルンフェルス 点数合計 ホルンフェルス 重量合計		1 1.66		1 1.66	9.09 3.18
流紋岩	012	1 11.36		1 11.36	9.09 21.73
	013	1 0.95		1 0.95	9.09 1.82
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計		2 12.31		2 12.31	18.18 23.55
チャート	017		1 1.15	1 1.15	9.09 2.20
チャート 点数合計 チャート 重量合計			1 1.15	1 1.15	9.09 2.20
砂岩	010	1 7.67		1 7.67	9.09 14.67
	011	1 9.34		1 9.34	9.09 17.87
	012	2 8.16		2 8.16	18.18 15.61
	013	3 11.98		3 11.98	27.27 22.92
砂岩 点数合計 砂岩 重量合計		7 37.15		7 37.15	63.64 71.07
全体の点数合計 全体の重量合計		10 51.12	1 1.15	11 52.27	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		90.91 97.80	9.09 2.20	100.00 100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］

②第20ブロック（第126～136図，第36・104・105表，図版3・33・36）

出土状況　平面分布は，約7m×7mの円形の範囲にやや密集する。中央部に密集する箇所があり，北部と南部に散漫に分布する地点がみられる。出土層位は，Ⅸc層～Ⅴ層上部にかけて出土しており，Ⅸa層～Ⅵ層にかけて集中する。

器種別分布（第126図）の特徴は，中央部の集中地点から剥片・砕片が多く出土している。北部の散漫な分布を示す地点から，局部磨製石斧や石核が出土している。南部の散漫に分布している地点から，ナイフ形石器が出土している。

母岩別分布（第127図）の特徴は，接合資料が中央部に集中して分布していることがあげられる。中央部には，流紋岩002の接合資料5や頁岩005の接合資料1や流紋岩004の接合資料4が出土している。

出土遺物　総計90点出土した。母岩器種組成は第36表のとおりである。器種組成は，製品では局部磨製石斧1点・ナイフ形石器2点・二次加工のある剥片3点・微細剥離痕のある剥片3点出土している。このうち局部磨製石斧は，完形品で出土しており，両面に研磨痕が顕著にみられる。母岩（石材）組成は，比較的多様な石材が量的にも多寡なく出土している。そのなかで，嶺岡産珪質頁岩・ガラス質黒色安山岩・流紋岩が比較的多く用いられている。母岩別の特徴は，まず，ナイフ形石器は，黒曜石001・頁岩001において，単品で出土しており，製品として搬入されたものと思われる。次に，石核は嶺岡産珪質頁岩においてのみ出土しており，製品はほとんどみられず，剥片・砕片が多いことから，本ブロックにおいて石器製作を行ったことが推定される。局部磨製石斧は，砂岩001で単品で出土しており，再生剥片と思われるものもみられず，製品として持ち込まれたものと思われる。

1・2はナイフ形石器である。1・2の共通する特徴として，縦長剥片を素材としており，背面構成を観察すると主要剥離面とは異なる方向から剥離された面がみられることから，石刃技法によるものではないものと思われる。素材の用い方は，主要剥離面の剥離方向と主軸方向が一致している。基部加工の調整が入念に施されている。打面は残存している。1は右側縁と左側縁下部に急角度のブランティング加工が施されている。左右が対象となる非常に形態が整ったナイフ形石器である。2は左側縁にやや粗い調整加工を施し成形した後に，急角度のブランティング加工が施されている。右側縁下部は階段状に調整加工が施されている。素材の縁辺が，上端部に残っており，全体形状は，台形状の形態を呈する。背面上部の剥離面は，ポジティブ面を有している。

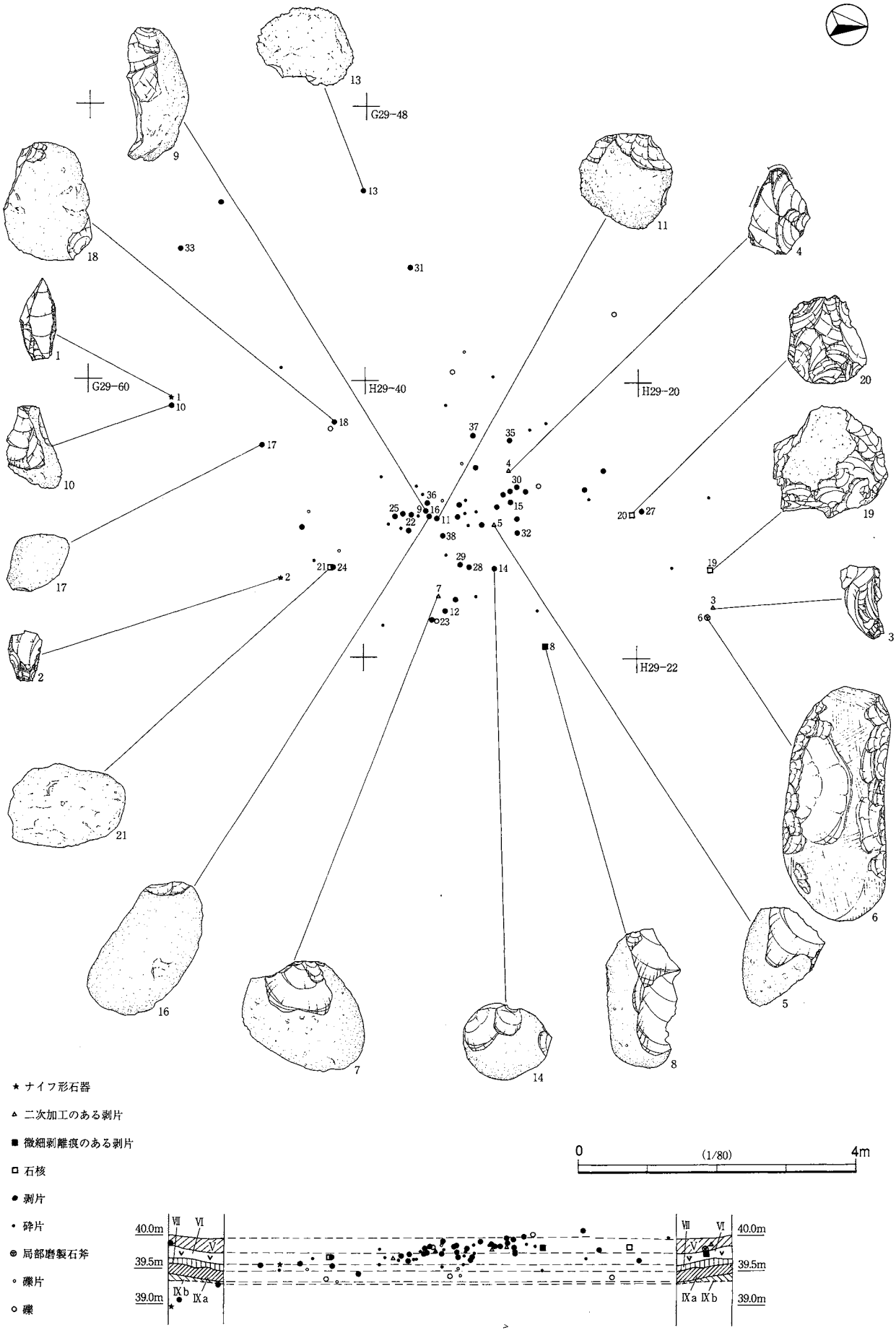
3・4は二次加工のある剥片である。3は節理面で剥離された不定形なやや厚みのある剥片を素材として，右側縁を背面から折断調整し，腹面右中間部に調整加工が施されている。4は打面幅が広くて，打面部が厚く，末端部が薄い三角形状の剥片を素材としている。先端部と左側縁上部に微細剥離痕がみられ，特に，先端部の微細剥離痕は非常に顕著である。5は幅広の剥片を素材として，右側縁中間部に微細剥離痕がみられる。

6は局部磨製石斧である。第Ⅱa文化層で1点のみの出土である。器体のほぼ全面に研磨が行われている。素材は，研磨によって不明な点があるが，おそらく，背面に自然面を大きく残し，分割した分厚い縦長剥片を素材としているものと思われる。左側縁は中間部を腹面側から背面側にかけて器体の奥まで入る平坦な調整加工を施した後に，腹面側にやや平坦な調整加工を施している。その後，背面側の縁辺に細かい調整加工が施されている。右側縁は，背面方向から折断によって成形した後に，折断面を打面として，背面側と腹面側に階段状の調整加工が施されている。これらの調整加工によって成形した後に，研磨が行

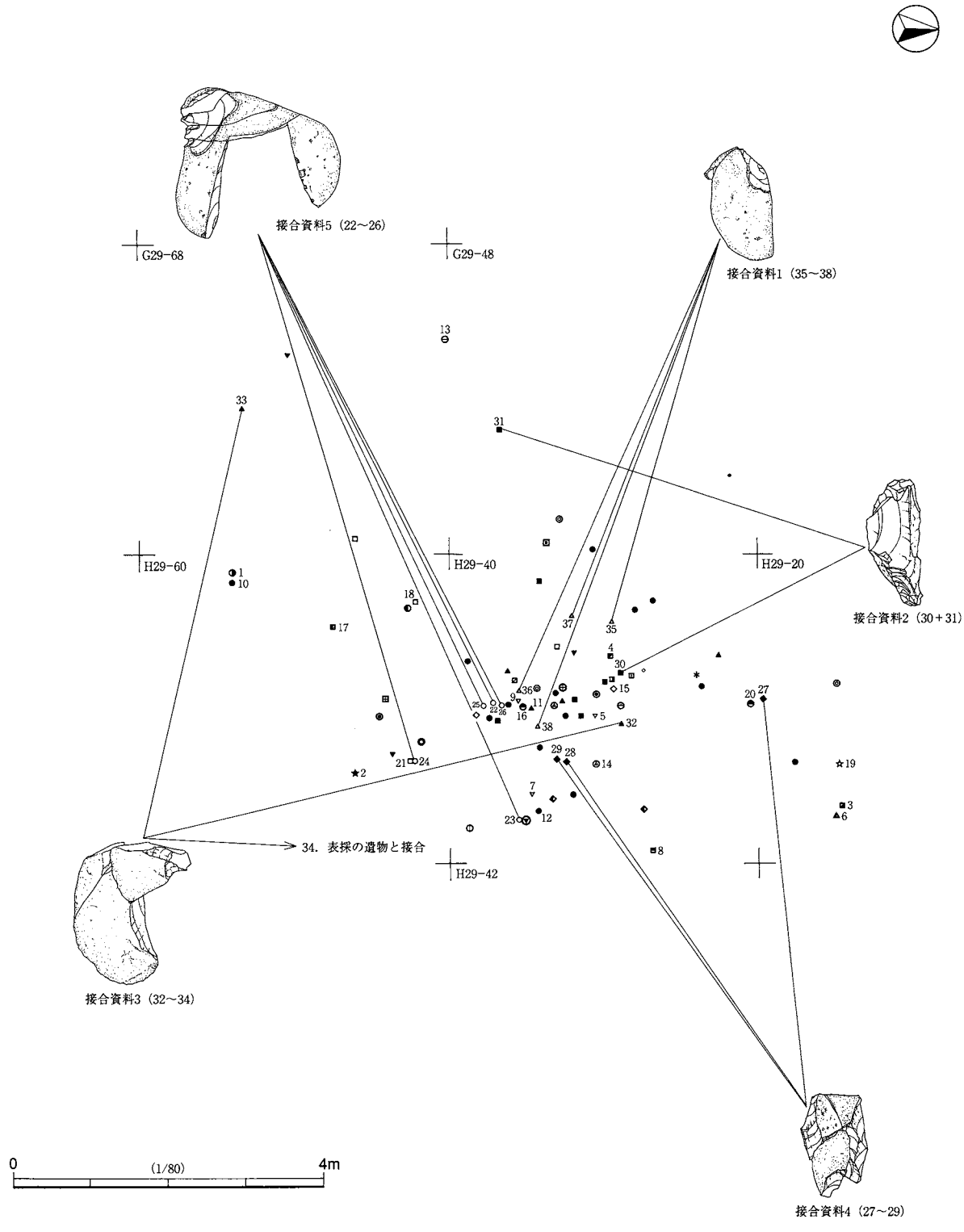
第36表　第Ⅱa文化層 第20ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	ナイフ形石器	二次加工のある剥片	微細剥離のある剥片	石核	剥片	砕片	局部磨製石斧	礫片	礫	総計	組成比(%)
黒曜石	001	1 1.75									1 1.75	1.11 0.14
	002		1 5.95								1 5.95	1.11 0.46
	003						2 0.71				2 0.71	2.22 0.06
黒曜石 点数合計		1	1				2				4	4.44
黒曜石 重量合計		1.75	5.95				0.71				8.41	0.65
ガラス質黒色安山岩	001					6 99.35	2 1.87				8 101.22	8.89 7.87
	002					2 17.57	1 0.4				3 17.97	3.33 1.40
	003					3 11.89	11 8.47				14 20.36	15.56 1.58
ガラス質黒色安山岩 点数合計						11	14				25	27.78
ガラス質黒色安山岩 重量合計						128.81	10.74				139.55	10.84
トロトロ石(安山岩)	001					2 15.02					2 15.02	2.22 1.17
	002					1 41.73					1 41.73	1.11 3.24
	003					1 6.02					1 6.02	1.11 0.47
トロトロ石(安山岩) 点数合計						4					4	4.44
トロトロ石(安山岩) 重量合計						62.77					62.77	4.88
ホルンフェルス	001									1 53.74	1 53.74	1.11 4.18
ホルンフェルス 点数合計										1	1	1.11
ホルンフェルス 重量合計										53.74	53.74	4.18
流紋岩	001		1 38.64	1 13.29		1 19.33					3 71.26	3.33 5.54
	002			1 29.31		4 50.5					5 79.81	5.56 6.20
	003			1 25							1 25	1.11 1.94
	004					3 14.21					3 14.21	3.33 1.10
流紋岩 点数合計			1	3		8					12	13.33
流紋岩 重量合計			38.64	67.6		84.04					190.28	14.79
頁岩	001	1 4.67									1 4.67	1.11 0.36
	002					4 52.39					4 52.39	4.44 4.07
頁岩 点数合計		1				4					5	5.56
頁岩 重量合計		4.67				52.39					57.06	4.43
雄岡産珪質頁岩	001					2 10.89					2 10.89	2.22 0.85
	002		1 7.93								1 7.93	1.11 0.62
	003					2 11.36	1 0.51				3 11.87	3.33 0.92
	004				1 34.53						1 34.53	1.11 2.68
	005				1 284.93	1 29.05	1 0.99		1 26.44		4 341.41	4.44 26.53
	006					5 36.13	2 2.5				7 38.63	7.78 3.00
	007						1 0.59		2 14.62		3 15.21	3.33 1.18
	008					1 19.2					1 19.2	1.11 1.49
	009					2 5.8					2 5.8	2.22 0.45
	010				1 80.68	1 10.4					2 91.08	2.22 7.08
	011					1 4.39					1 4.39	1.11 0.34
	012					1 7.13					1 7.13	1.11 0.55
雄岡産珪質頁岩 点数合計			1		3	16	5		3		28	31.11
雄岡産珪質頁岩 重量合計			7.93		400.14	134.35	4.59		41.06		588.07	45.69
チャート	002					1 1.66					1 1.66	1.11 0.13
	003						1 1.62				1 1.62	1.11 0.13
	004						1 0.71				1 0.71	1.11 0.06
チャート 点数合計						1	2				3	3.33
チャート 重量合計						1.66	2.33				3.99	0.31
玉髄(メノウ含む)	001						1 0.47				1 0.47	1.11 0.04
玉髄(メノウ含む) 点数合計							1				1	1.11
玉髄(メノウ含む) 重量合計							0.47				0.47	0.04
砂岩	001							1 128.75			1 128.75	1.11 10.00
	002									1 13.67	1 13.67	1.11 1.06
	003								1 4.4		1 4.4	1.11 0.34
	004								1 2.85		1 2.85	1.11 0.22
	005									1 4.82	1 4.82	1.11 0.37
	006									1 22	1 22	1.11 1.71
	007									1 6.13	1 6.13	1.11 0.48
砂岩 点数合計								1	2	4	7	7.78
砂岩 重量合計								128.75	7.25	46.62	182.62	14.19
全体の点数合計		2	3	3	3	44	24	1	5	5	90	100.00
全体の重量合計		6.42	52.52	67.6	400.14	464.02	18.84	128.75	48.31	100.36	1286.96	100.00
点数組成比(%)		2.22	3.33	3.33	3.33	48.89	26.67	1.11	5.56	5.56	100.00	
重量組成比(%)		0.50	4.08	5.25	31.09	36.06	1.46	10.00	3.75	7.80	100.00	

[上段:点数、下段:重量(g)]

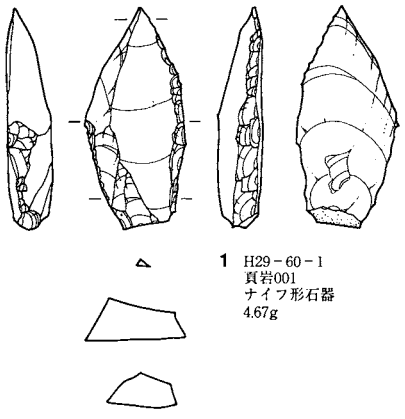


第126図　第Ⅱa文化層 第20ブロック器種別分布図

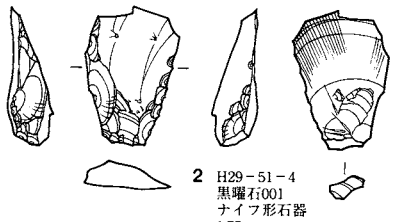


★黒曜石001　◘トロトロ石003　◉嶺岡産珪質頁岩001　⊖嶺岡産珪質頁岩009　⊛砂岩002
◙黒曜石002　◐ホルンフェルス001　◘嶺岡産珪質頁岩002　☆嶺岡産珪質頁岩010　⊠砂岩003
⦶黒曜石003　▽流紋岩001　◇嶺岡産珪質頁岩003　◈嶺岡産珪質頁岩011　◘砂岩004
▲ガラス質黒色安山岩001　○流紋岩002　⊖嶺岡産珪質頁岩004　⊡嶺岡産珪質頁岩012　・砂岩005
▼ガラス質黒色安山岩002　⊡流紋岩003　□嶺岡産珪質頁岩005　＊チャート002　◦砂岩006
●ガラス質黒色安山岩003　◆流紋岩004　■嶺岡産珪質頁岩006　◈チャート003　⊡砂岩007
⊙トロトロ石001　◐頁岩001　◎嶺岡産珪質頁岩007　⊠チャート004
⊖トロトロ石002　▵頁岩005　◘嶺岡産珪質頁岩008　▵砂岩001

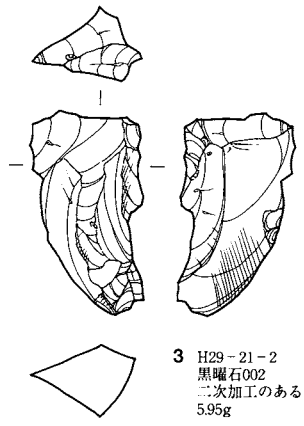
第127図　第Ⅱa文化層 第20ブロック母岩別分布図



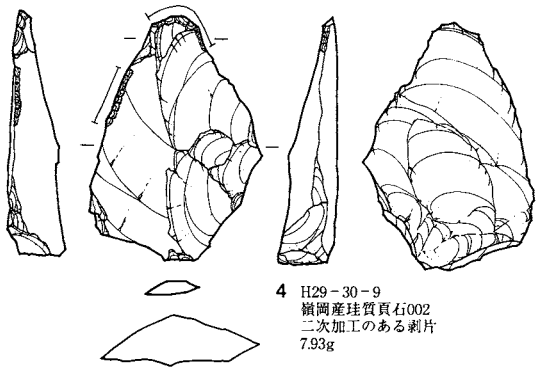
1 H29－60－1
頁岩001
ナイフ形石器
4.67g



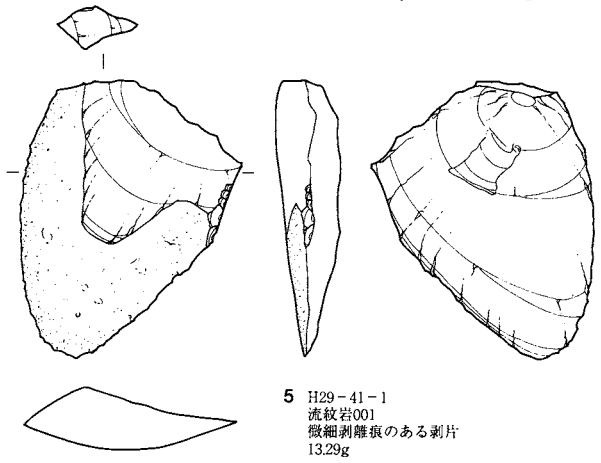
2 H29－51－4
黒曜石001
ナイフ形石器
1.75g



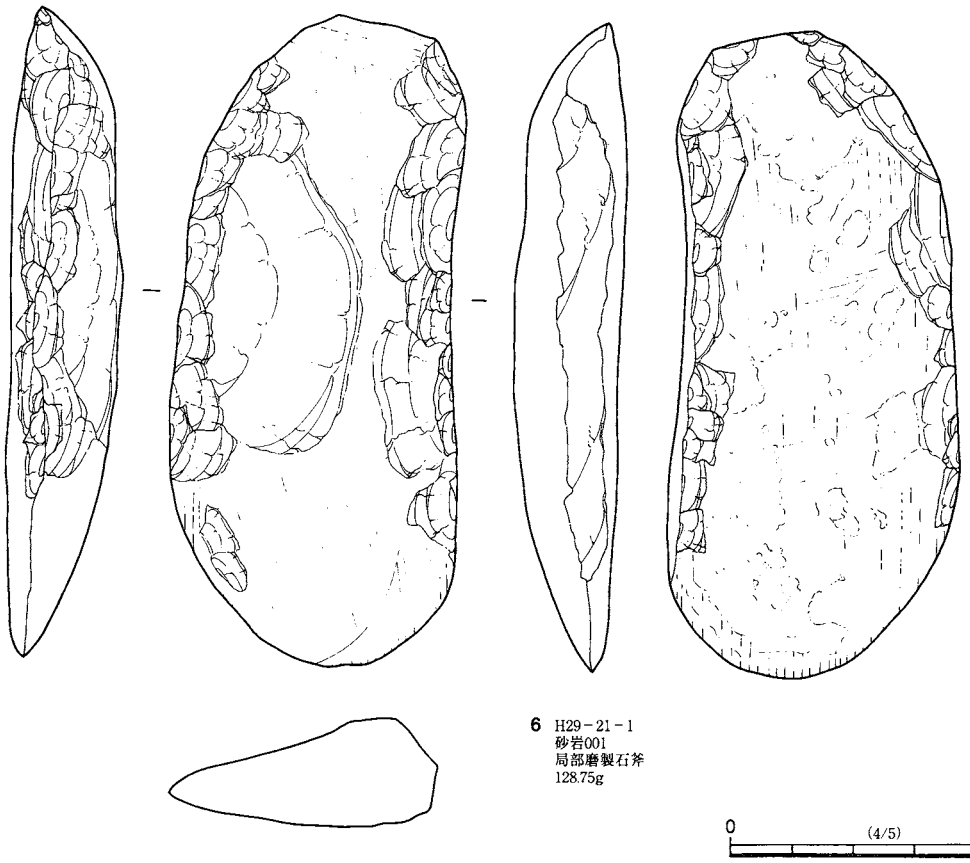
3 H29－21－2
黒曜石002
二次加工のある剥片
5.95g



4 H29－30－9
嶺岡産珪質頁石002
二次加工のある剥片
7.93g



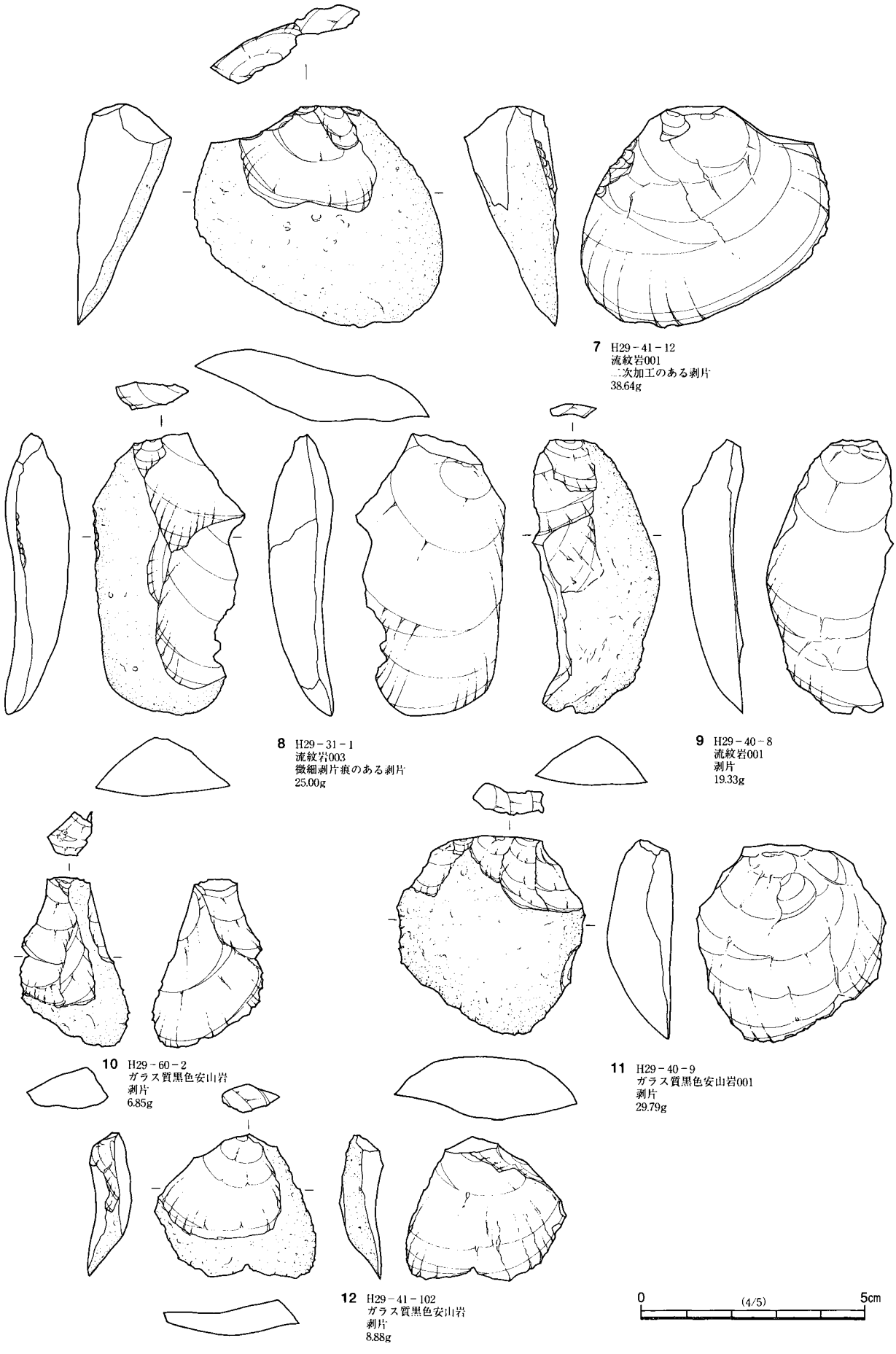
5 H29－41－1
流紋岩001
微細剥離痕のある剥片
13.29g



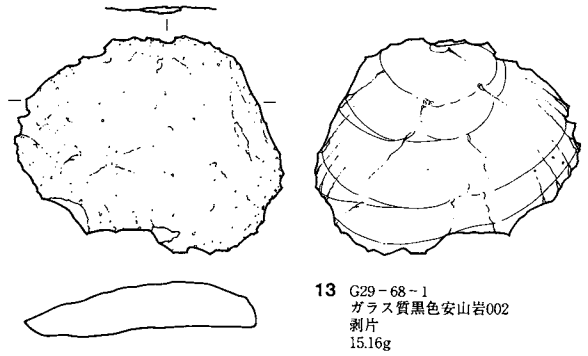
6 H29－21－1
砂岩001
局部磨製石斧
128.75g

0 (4/5) 5cm

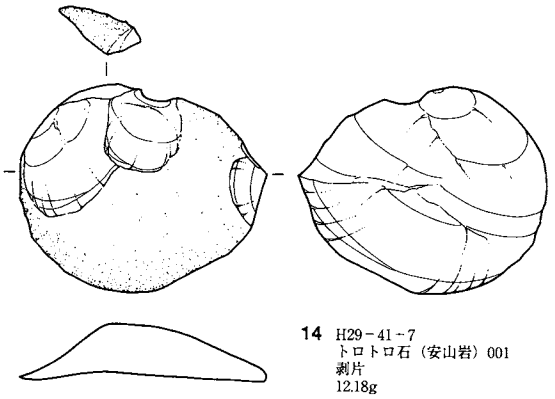
第128図　第Ⅱa文化層 第20ブロック出土石器（1）



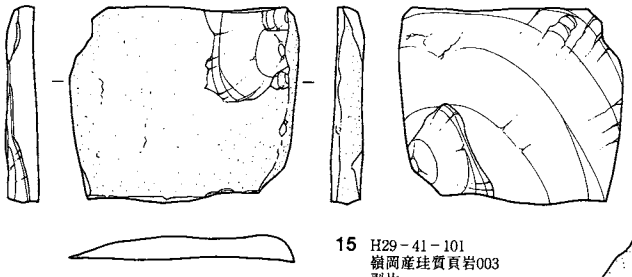
第129図　第Ⅱa文化層 第20ブロック出土石器（2）



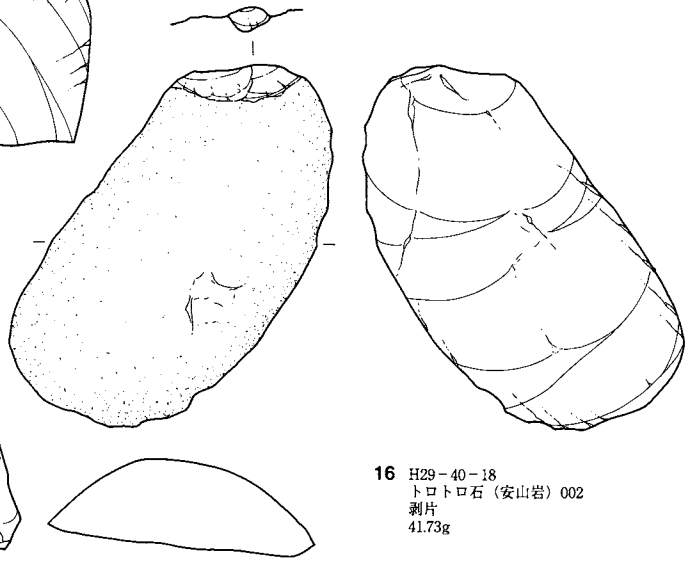
13 G29－68－1
ガラス質黒色安山岩002
剥片
15.16g



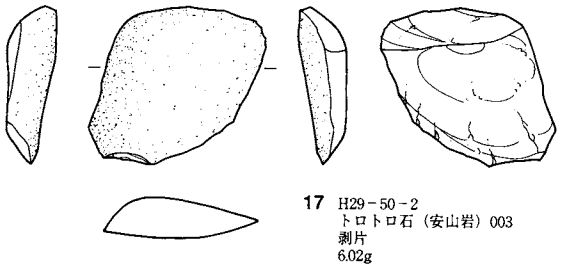
14 H29－41－7
トロトロ石（安山岩）001
剥片
12.18g



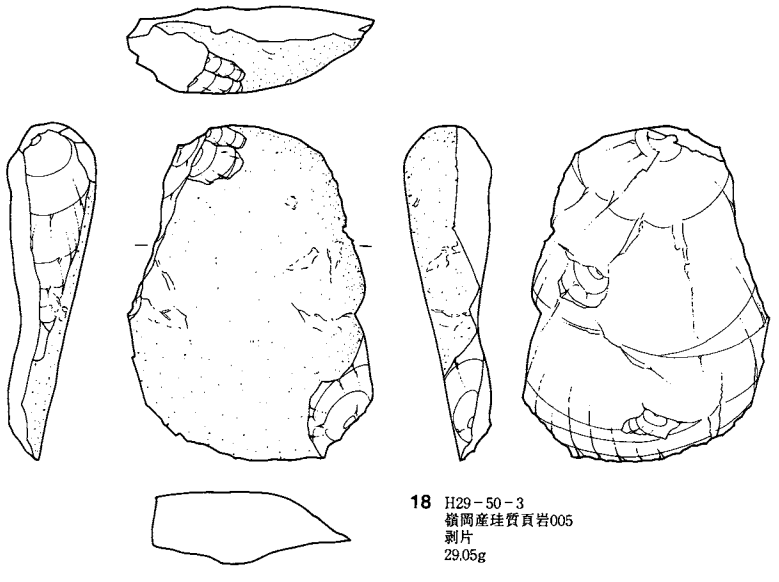
15 H29－41－101
嶺岡産珪質頁岩003
剥片
8.61g



16 H29－40－18
トロトロ石（安山岩）002
剥片
41.73g



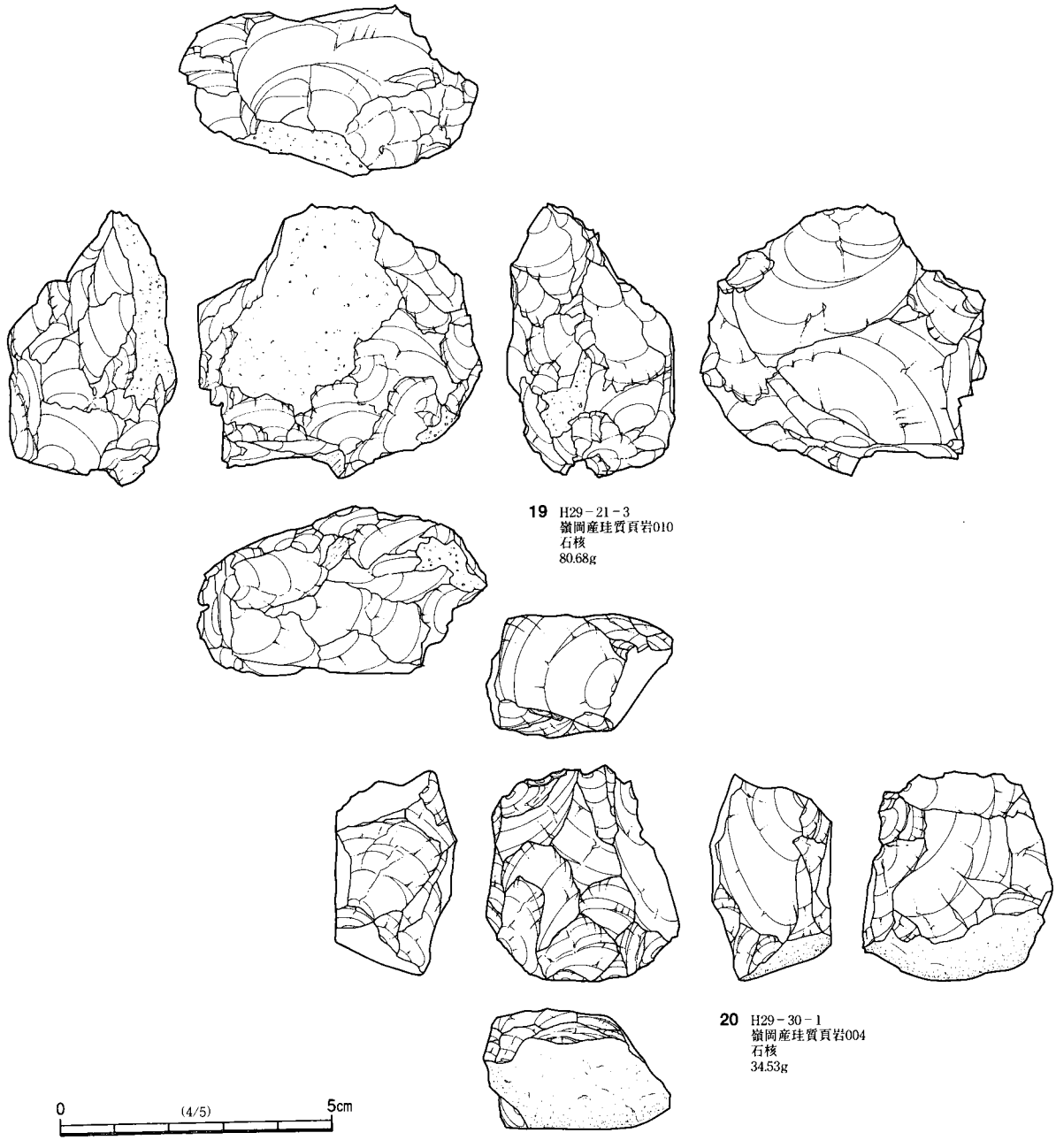
17 H29－50－2
トロトロ石（安山岩）003
剥片
6.02g



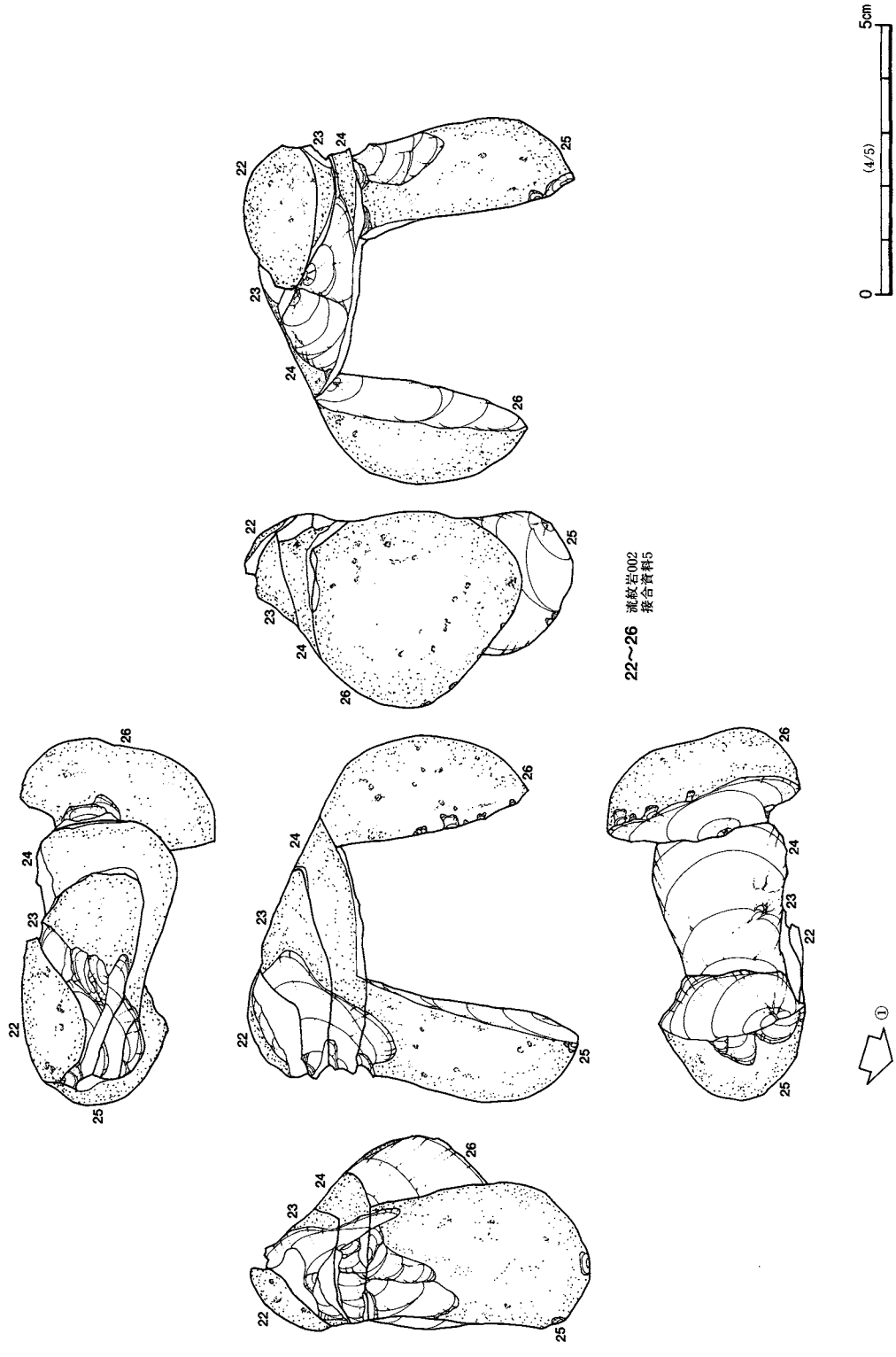
18 H29－50－3
嶺岡産珪質頁岩005
剥片
29.05g

0 (4/5) 5cm

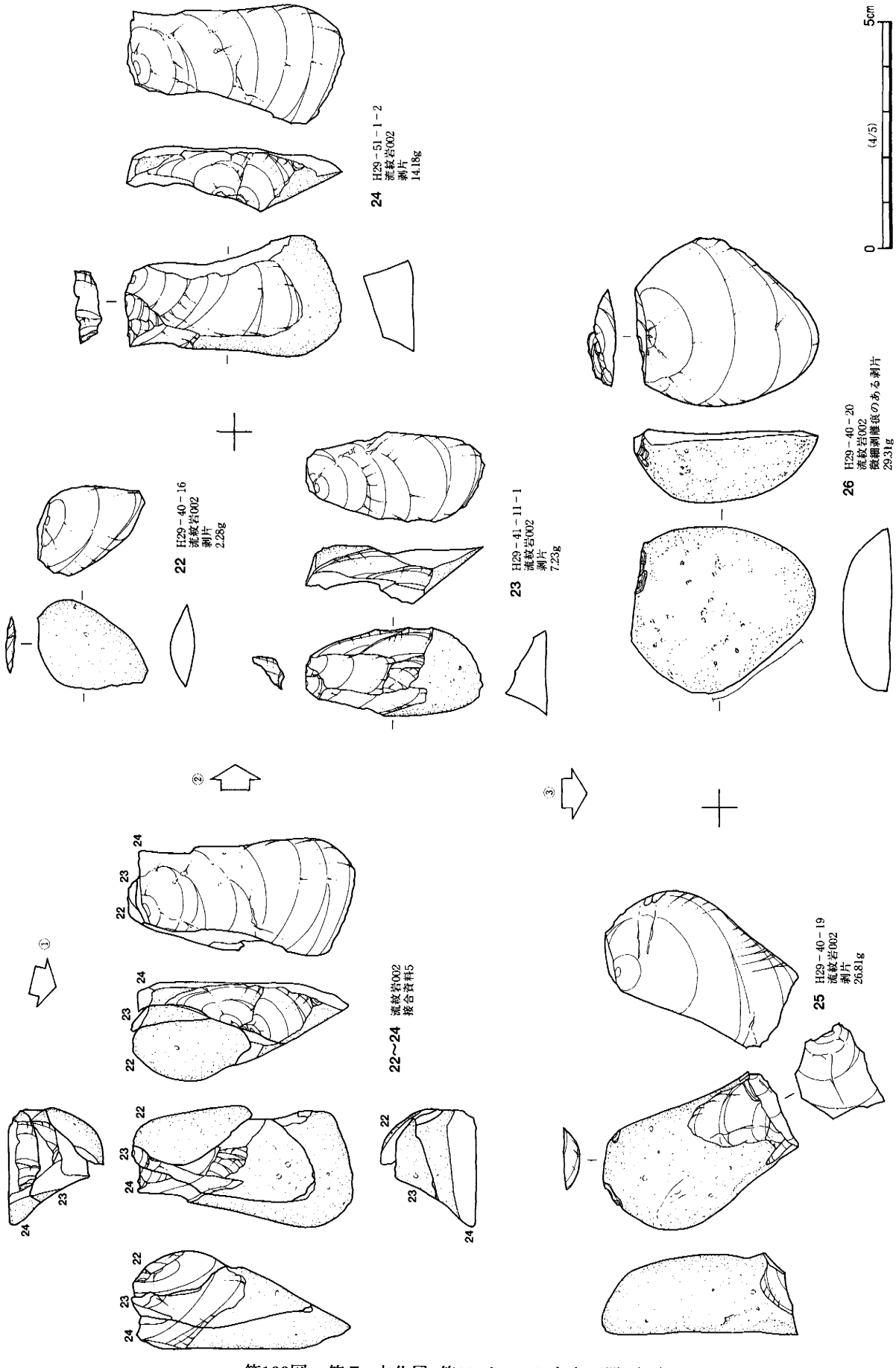
第130図　第Ⅱa文化層 第20ブロック出土石器（3）



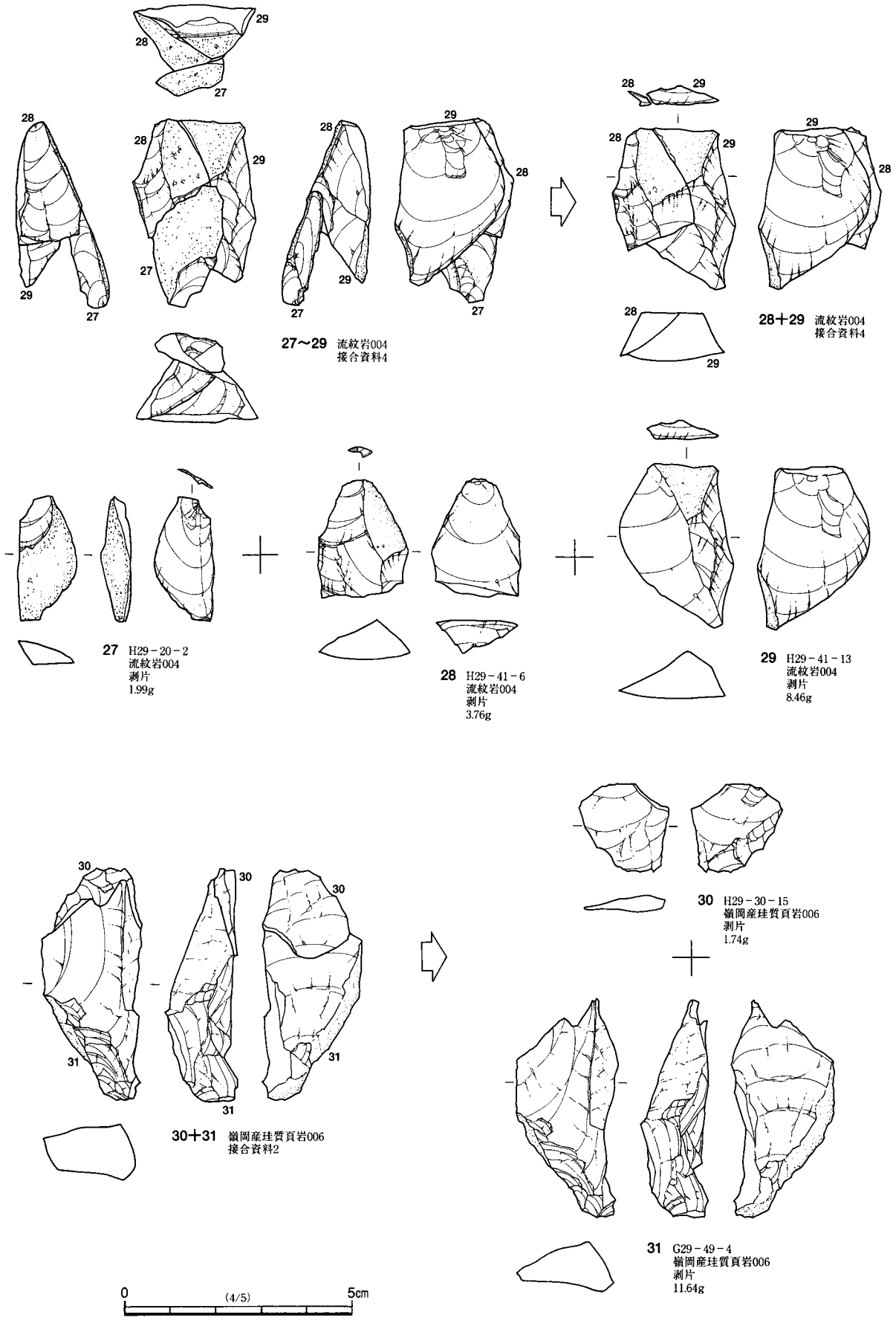
第131図　第Ⅱa文化層 第20ブロック出土石器（4）



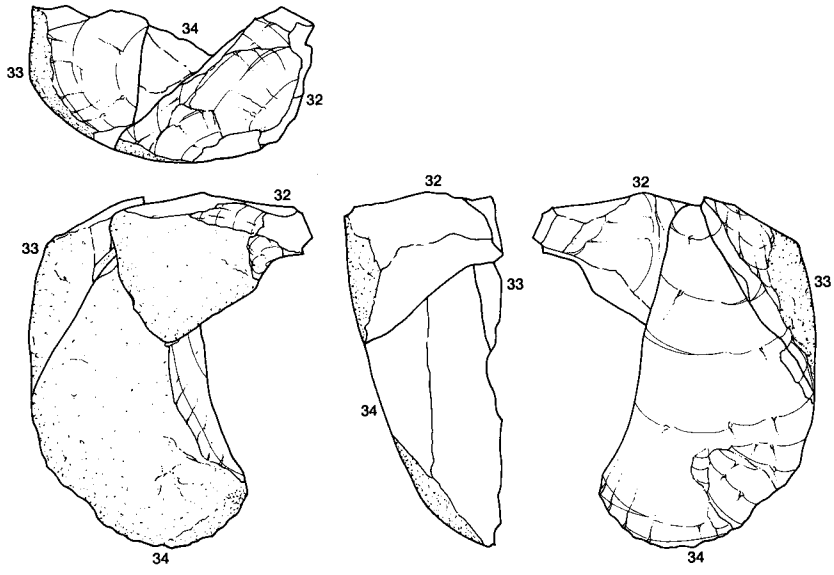
第132図　第Ⅱa文化層 第20ブロック出土石器（5）



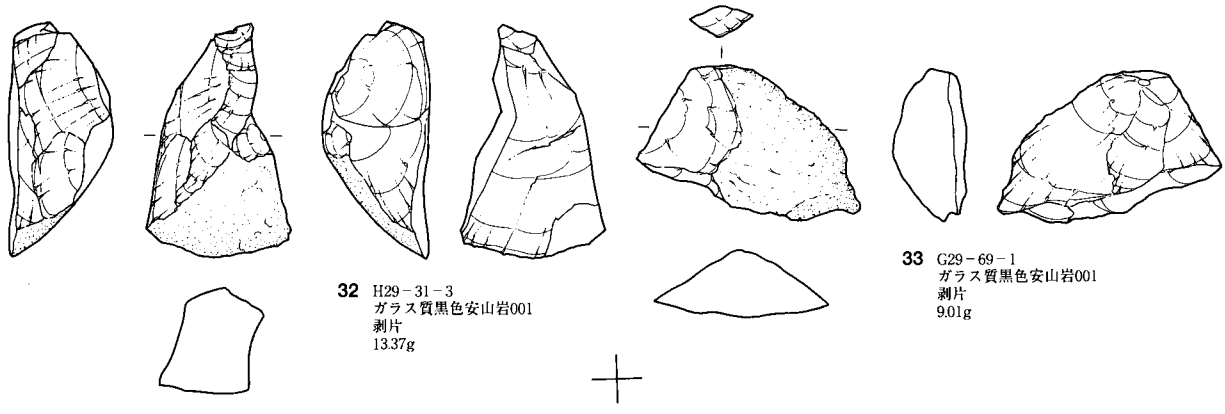
第133図　第Ⅱa文化層 第20ブロック出土石器（6）



第134図　第Ⅱa文化層 第20ブロック出土石器（7）

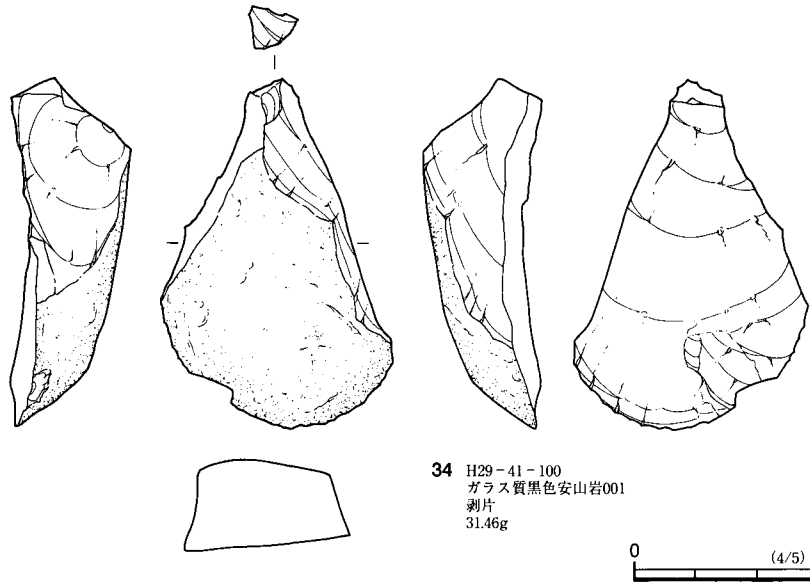


32～34 ガラス質黒色安山岩001
接合資料3



32 H29－31－3
ガラス質黒色安山岩001
剥片
13.37g

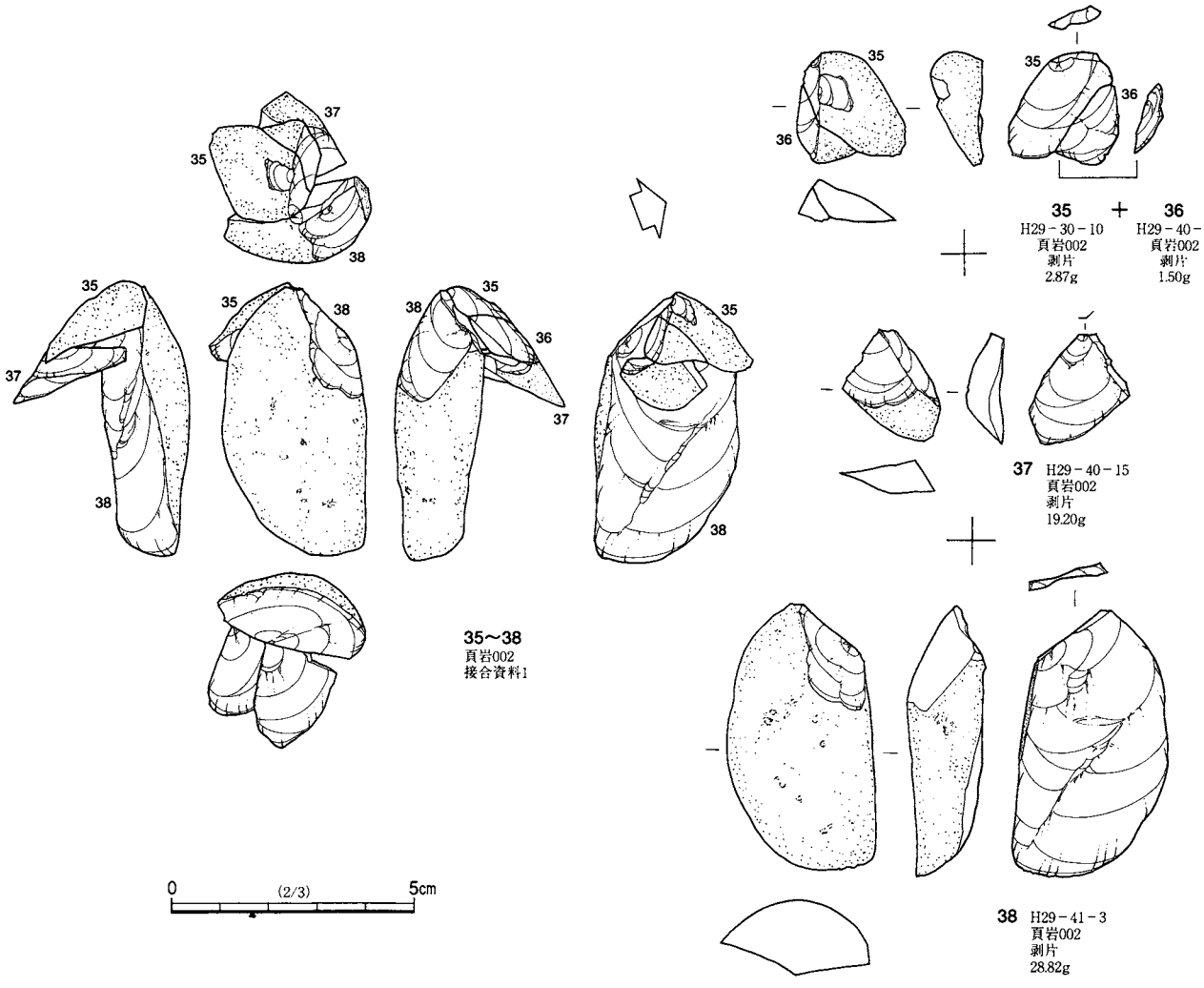
33 G29－69－1
ガラス質黒色安山岩001
剥片
9.01g



34 H29－41－100
ガラス質黒色安山岩001
剥片
31.46g

0 (4/5) 5cm

第135図　第Ⅱa文化層 第20ブロック出土石器（8）



第136図　第Ⅱa文化層 第20ブロック出土石器（9）

われている。特に研磨が顕著な部位は，下端部の両面と上端部の背面が最も顕著であり，次に，腹面の平坦部と自然面の研磨が著しい。

7は二次加工のある剥片である。打面幅が広い横長幅広剥片を素材として，腹面左側縁中部に調整加工が施されている。8は微細剥離痕のある剥片である。背面左側に自然面が大きく残っているものの，同一方向に連続的に縦長剥片が剥離されている。背面左側縁中部に微細剥離痕がみられる。

9～18は，剥片である。いずれの剥片も，背面に自然面を大きく残し，平坦打面で頭部調整が行われていない剥片である。9・10は縦長剥片である。縦長の剥片を連続的に剥離したことがうかがえる。12～14は背面に自然面を大きく残した横長剥片である。15は節理面に沿って剥離された横長剥片である。16～18は背面に自然面を大きく残した縦長剥片である。

19～21は石核である。19は分割した厚みのある剥片を素材としている。正面下半部に背腹両面から小型の貝殻状の剥片が剥離されている。その後，上端部から小型の剥片が剥離されている。剥離された剥片は，いずれも，小型で貝殻状の形態を呈するものが剥離されている。20は分割礫を素材としているものと思われる。右側縁を裏面側から大きく分割した後に，裏面左側面から小型の剥片が剥離されている。その後，打面を表面下端部に転移して貝殻状の剥片を剥離した後に，表面上端部に打面を転移して貝殻状の剥片を剥離している。打面転移の頻繁な剥離を行っているために，残核の形状はサイコロ状を呈する。21は大型の分割礫を素材として，裏面上部から剥片が剥離されている。節理面に沿って剥離されている。

22～26は接合資料5である。楕円形礫を母岩として用いている。剥離の工程は，大きく分けて三つに分かれる。最初の工程は，表面左側面から22～24の縦長剥片を連続的に剥離している。次の工程は，下端部から25の剥片を剥離している。最後の工程は，24の剥離によって剥離された面を打面として，26が剥離されている。いずれの剥片も背面に自然面が大きく残されている。

27～29は接合資料4である。下端部から27の剥片を剥離後，打面を上端部に転移して，28・29の縦長剥片が剥離されている。

30＋31は接合資料2である。節理面に沿って剥離されており，30＋31が剥離された時点で，30と31が同時割れしている。

32～34は接合資料3である。右側面から32の剥片が剥離されている。その後，打面を上端部に転移して，33＋34を剥離している。33と34は同時割れの資料である。

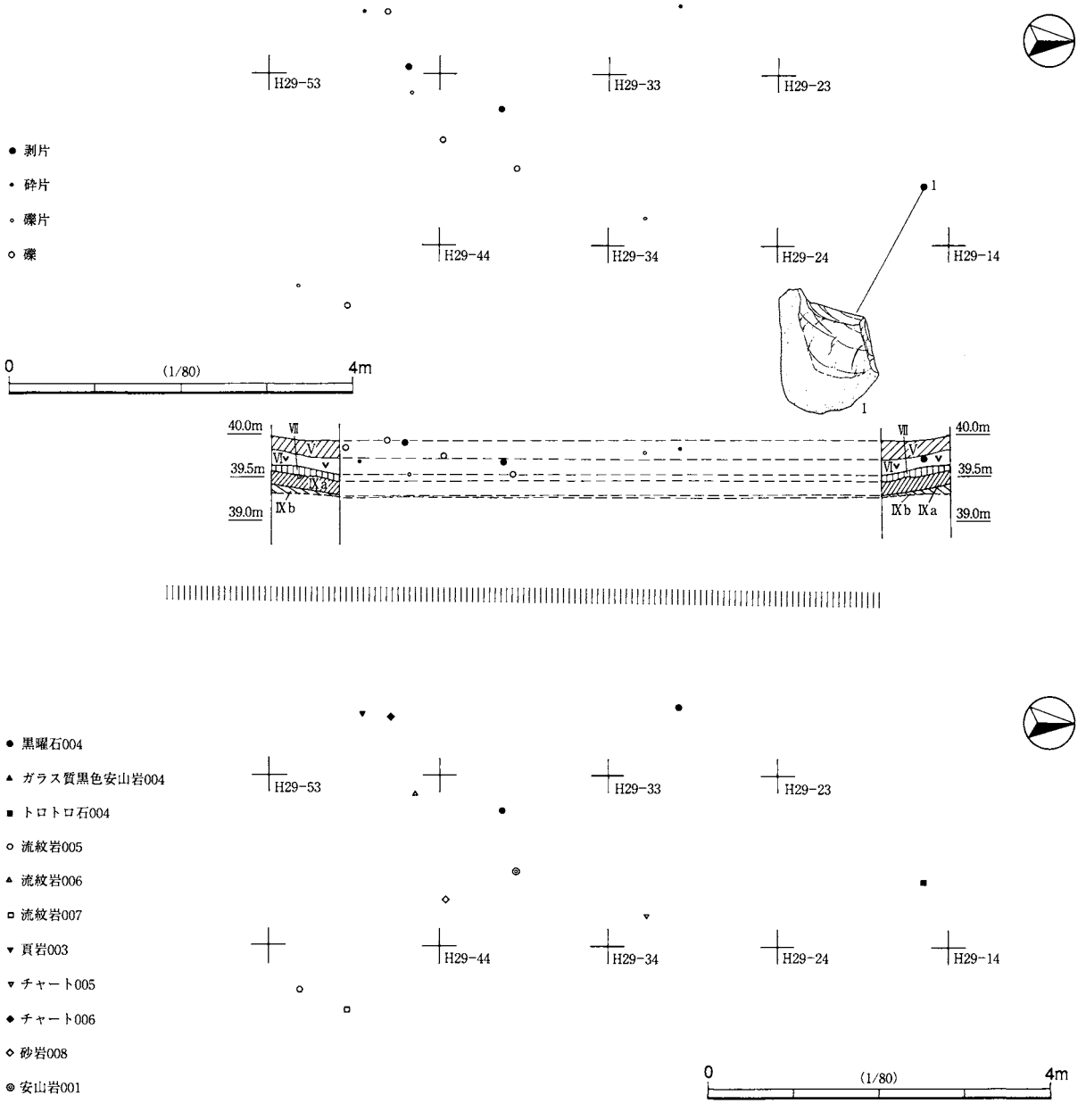
35～38は接合資料1である。上端から38を剥離した後に，38の剥離面を打面として，35＋36と37の小型の剥片を剥離している。35と36は同時割れの資料である。

③第21ブロック（第137・138図，第37・105表，図版３・33）

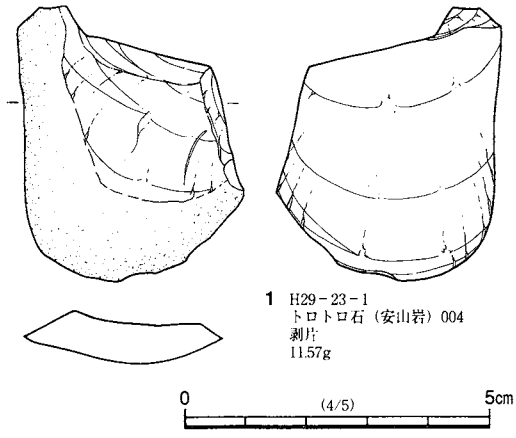
出土状況　平面分布は，約８ｍ×４ｍの楕円形の範囲に散漫に分布する。出土層位は，Ⅸa層～Ⅴ層にかけて出土し，Ⅸa層～Ⅶ層にかけて集中する。

出土遺物　総計12点出土した。母岩器種組成は第37表のとおりである。器種組成は，製品はみられず，礫片・礫の割合が高い。母岩（石材）組成は，点数が少ないが多種の石材で構成されてており，それぞれの母岩においても，少量ずつ持ち込まれていることがうかがえる。

１は剥片である。幅広の剥片であるが，上半部は同時割れで，下半部が残存している。



第137図　第Ⅱa文化層 第21ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図



第138図　第Ⅱa文化層 第21ブロック出土石器

第37表　第Ⅱa文化層 第21ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	004	1 2.59	1 0.59			2 3.18	16.67 1.38
黒曜石 点数合計 黒曜石 重量合計		1 2.59	1 0.59			2 3.18	16.67 1.38
安山岩	001				1 89.53	1 89.53	8.33 38.91
安山岩 点数合計 安山岩 重量合計					1 89.53	1 89.53	8.33 38.91
ガラス質黒色安山岩	004	1 15.84				1 15.84	8.33 6.88
ガラス質黒色安山岩 点数合計 ガラス質黒色安山岩 重量合計		1 15.84				1 15.84	8.33 6.88
トロトロ石(安山岩)	004	1 11.75				1 11.75	8.33 5.11
トロトロ石(安山岩) 点数合計 トロトロ石(安山岩) 重量合計		1 11.75				1 11.75	8.33 5.11
流紋岩	005			1 22.2		1 22.2	8.33 9.65
	006			1 30.32		1 30.32	8.33 13.18
	007				1 19.23	1 19.23	8.33 8.36
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計				2 52.52	1 19.23	3 71.75	25.00 31.19
頁岩	003		1 0.46			1 0.46	8.33 0.20
頁岩 点数合計 頁岩 重量合計			1 0.46			1 0.46	8.33 0.20
チャート	005			1 15.17		1 15.17	8.33 6.59
	006				1 0.52	1 0.52	8.33 0.23
チャート 点数合計 チャート 重量合計				1 15.17	1 0.52	2 15.69	16.67 6.82
砂岩	008				1 21.87	1 21.87	8.33 9.51
砂岩 点数合計 砂岩 重量合計					1 21.87	1 21.87	8.33 9.51
全体の点数合計 全体の重量合計		3 30.18	2 1.05	3 67.69	4 131.15	12 230.07	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		25.00 13.12	16.67 0.46	25.00 29.42	33.33 57.00	100.00 100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］

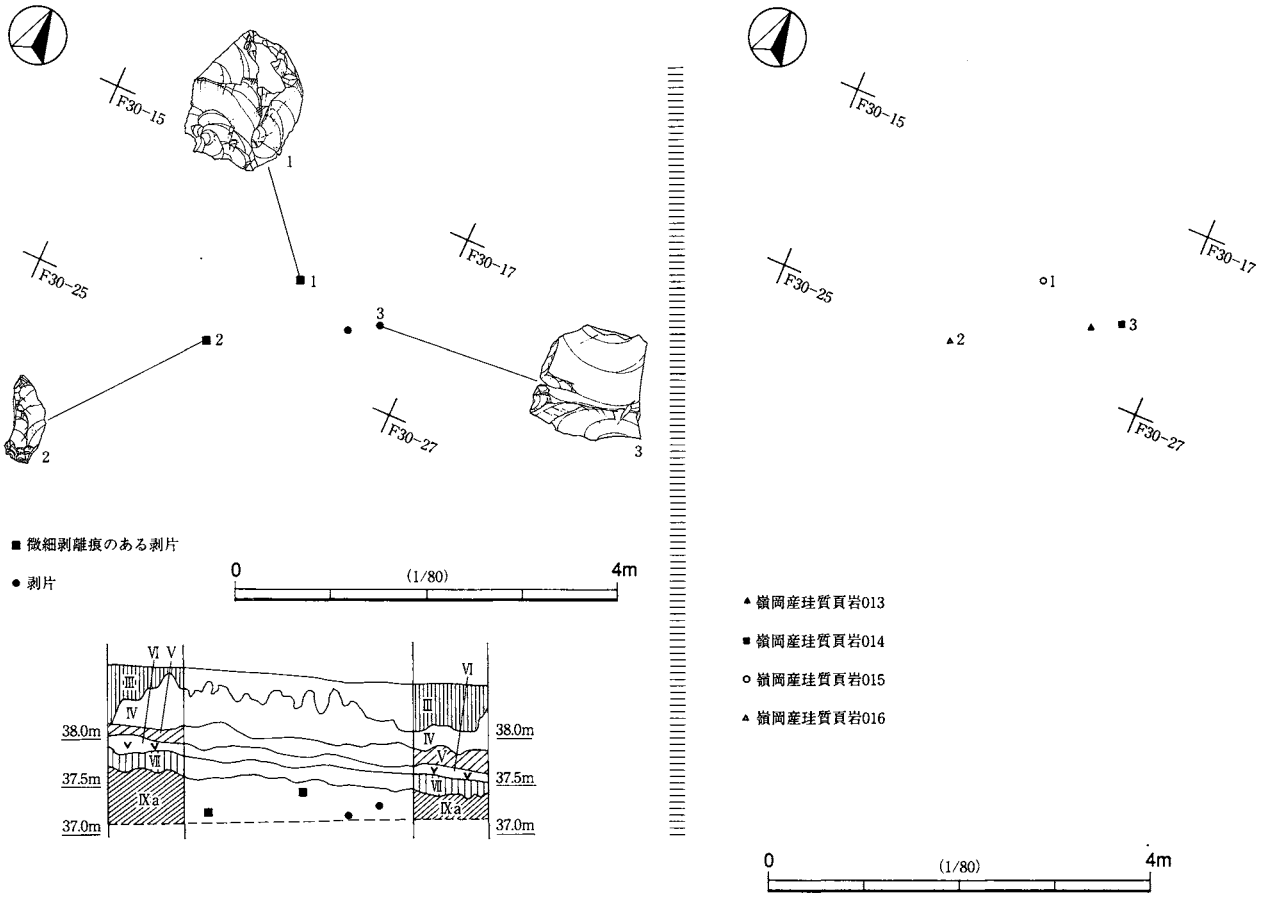
④第22ブロック（第139・140図，第38・105表，図版33）

出土状況　平面分布は，約２ｍ×１ｍの楕円形の小範囲に分布する。出土層位は，Ⅸa層に集中する。

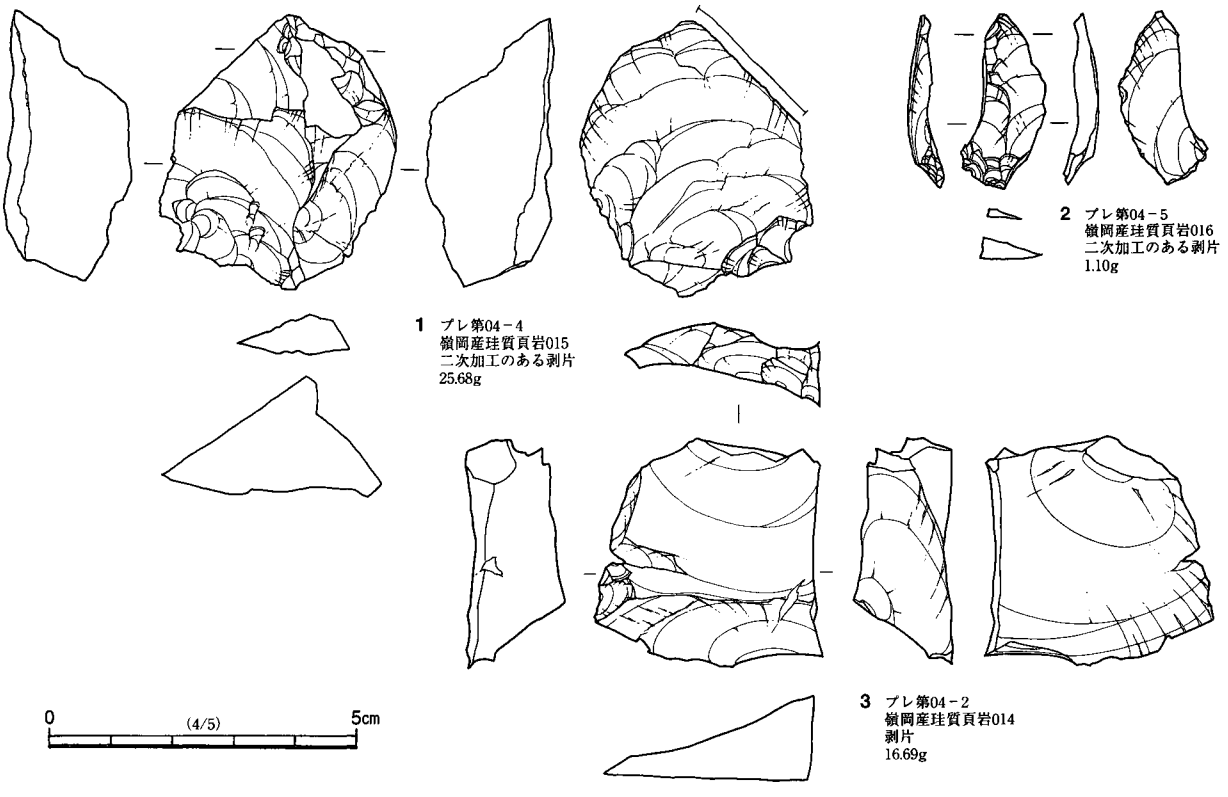
出土遺物　総計５点のみ出の土である。母岩器種組成は第38表のとおりである。器種組成は，礫器が１点出土している。その他，二次加工のある剥片が２点出土している。母岩（石材）組成は，嶺岡産珪質頁岩の割合（80%）が高い。そのほかの石材は，流紋岩が用いられており，礫器が単品で出土している。

１・２は二次加工のある剥片である。１は厚みのある三角形状の剥片を素材として，腹面左上部に調整加工が施されている。２は縦長の剥片を素材として，右側縁を背面から折断後に，右側縁下部に調整加工が施されている。

３は剥片である。幅広の剥片を素材として，右側縁を背面から折断している。



第139図　第Ⅱa文化層 第22ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図



第140図　第Ⅱa文化層 第22ブロック出土石器

第38表　第Ⅱa文化層 第22ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	二次加工のある剥片	剥片	礫器	総計	組成比（%）
流紋岩	008			1 525.05	1 525.05	20.00 91.88
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計				1 525.05	1 525.05	20.00 91.88
嶺岡産珪質頁岩	013		1 2.94		1 2.94	20.00 0.51
	014		1 16.69		1 16.69	20.00 2.92
	015	1 25.68			1 25.68	20.00 4.49
	016	1 1.1			1 1.1	20.00 0.19
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計		2 26.78	2 19.63		4 46.41	80.00 8.12
全体の点数合計 全体の重量合計		2 26.78	2 19.63	1 525.05	5 571.46	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		40.00 4.69	40.00 3.44	20.00 91.88	100.00 100.00	

［上段:点数、下段:重量(g)］

（2）**第Ⅱb文化層**（第141図，第39表）

第Ⅱb文化層の概要　第141図でみられるように，第23～26ブロックの4ブロックで構成される。ブロック間の接合はみられない。台地の中央部の平坦面に立地している。出土層位は，Ⅸc層～Ⅸa層にかけて出土しており，Ⅸa層に集中することから，Ⅸa層に生活面を持つと推定される。

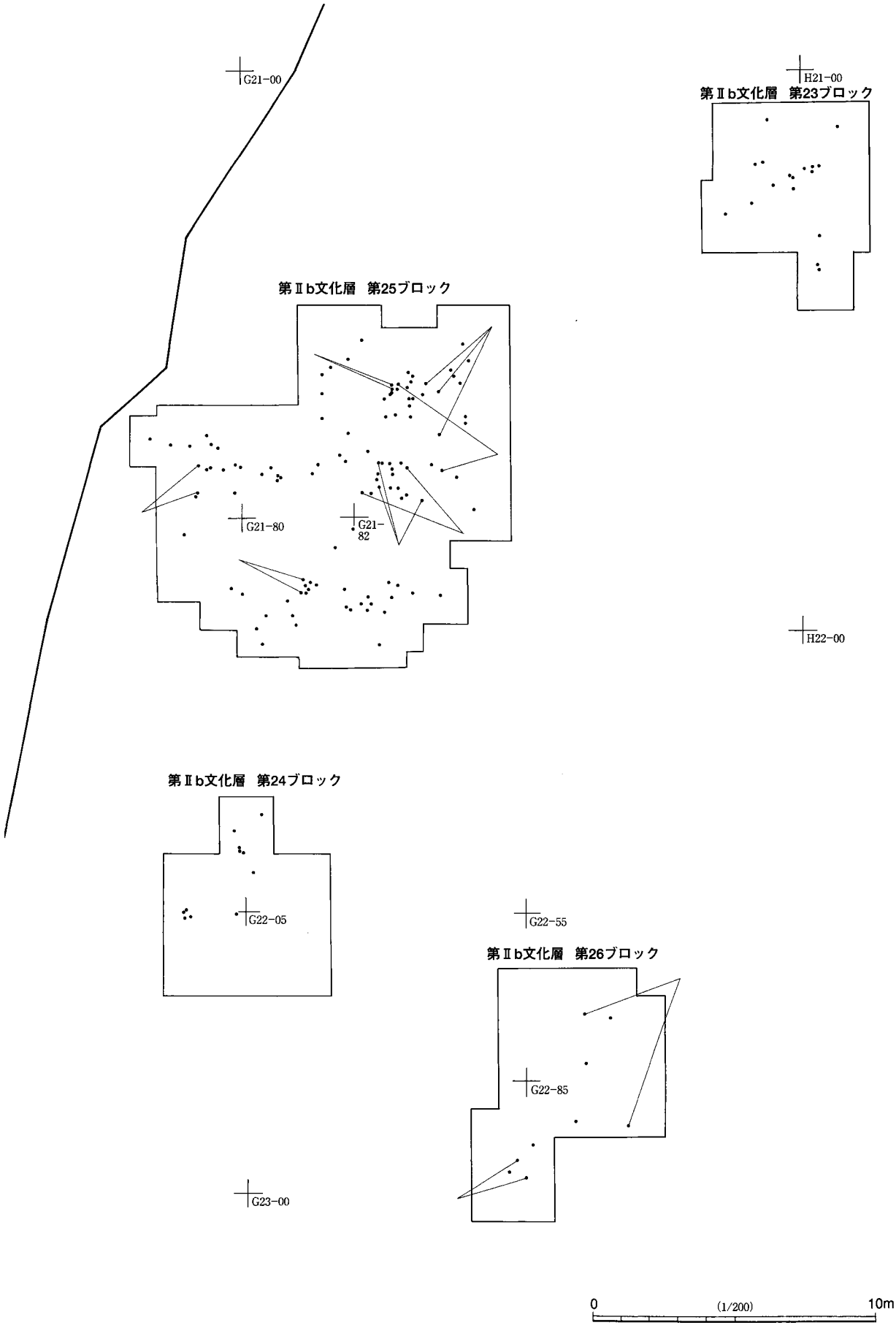
出土点数は，154点（総重量2,170.52ｇ）である。母岩数は，54母岩である。ブロック間で共有する母岩は，4母岩である。接合する母岩は，10母岩で，接合点数は22点である。

石材器種組成は第39表のとおりである。主要器種は，ナイフ形石器・敲石である。Ⅱa文化層で出土している局部磨製石斧は，出土していない。主要石材は，頁岩・ホルンフェルスで構成されている。主要器種と主要石材において，Ⅱa文化層と異なる。

第39表　第Ⅱb文化層石材器種組成表

石材＼器種	ナイフ形石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石			1 2.25	6 14.11		2 1.02	3 0.43			12 17.81	7.79 0.82
ホルンフェルス			1 19.05			14 204.47	7 3.76			22 227.28	14.29 10.47
流紋岩					1 153.29	6 19.23	3 2.42			10 174.94	6.49 8.06
頁岩	1 8.31		1 63.89	1 25.08	2 366.51	37 153.08	8 5.75			50 622.62	32.47 28.69
珪質頁岩	1 1.84				1 77.47	2 10.07				4 89.38	2.60 4.12
嶺岡産珪質頁岩			1 6.99		1 23.02	12 116.65				14 146.66	9.09 6.76
チャート				2 88.71		6 80.69			1 9.04	9 178.44	5.84 8.22
玉髄（メノウ含む）			1 1.71	3 15.43		13 31.16	2 0.34			19 48.64	12.34 2.24
砂岩		1 383.39						1 5.01	1 1.08	3 389.48	1.95 17.94
粘板岩			1 3.69	6 208.35		4 63.23				11 275.27	7.14 12.68
点数合計 重量合計	2 10.15	1 383.39	6 97.58	18 351.68	5 620.29	96 679.6	23 12.7	1 5.01	2 10.12	154 2170.52	100.00 100.00
点数組成比（%） 重量組成比（%）	1.30 0.47	0.65 17.66	3.90 4.50	11.69 16.20	3.25 28.58	62.34 31.31	14.94 0.59	0.65 0.23	1.30 0.47	100.00 100.00	

〔上段：点数、下段：重量(g)〕



第141図　第Ⅱb文化層分布状況

①第23ブロック（第142・143図，第40・105表，図版34）

出土状況　平面分布は，約６ｍ×５ｍの円形の範囲に散漫に分布する。出土層位は，Ⅸa層～Ⅶ層にかけて出土し，Ⅸa層上部に集中する。器種別分布（第142図）の特徴は，石核が集中地点から出土している。母岩別分布（第142図）の特徴は，嶺岡産珪質頁岩001が，中央部の集中地点にまとまって出土している。

出土遺物　総計17点出土した。母岩器種組成は第40表のとおりである。器種組成は，製品がほとんどみられず，二次加工のある剥片が１点出土しているのみである。母岩（石材）組成は，多様な石材が用いられており，そのなかで，嶺岡産珪質頁岩と頁岩が比較的多く用いられている。

１は二次加工のある剥片である。節理面に沿って剥離された厚みのある横長剥片を素材として，打面部にあたる腹面右上部に調整加工が施されている。

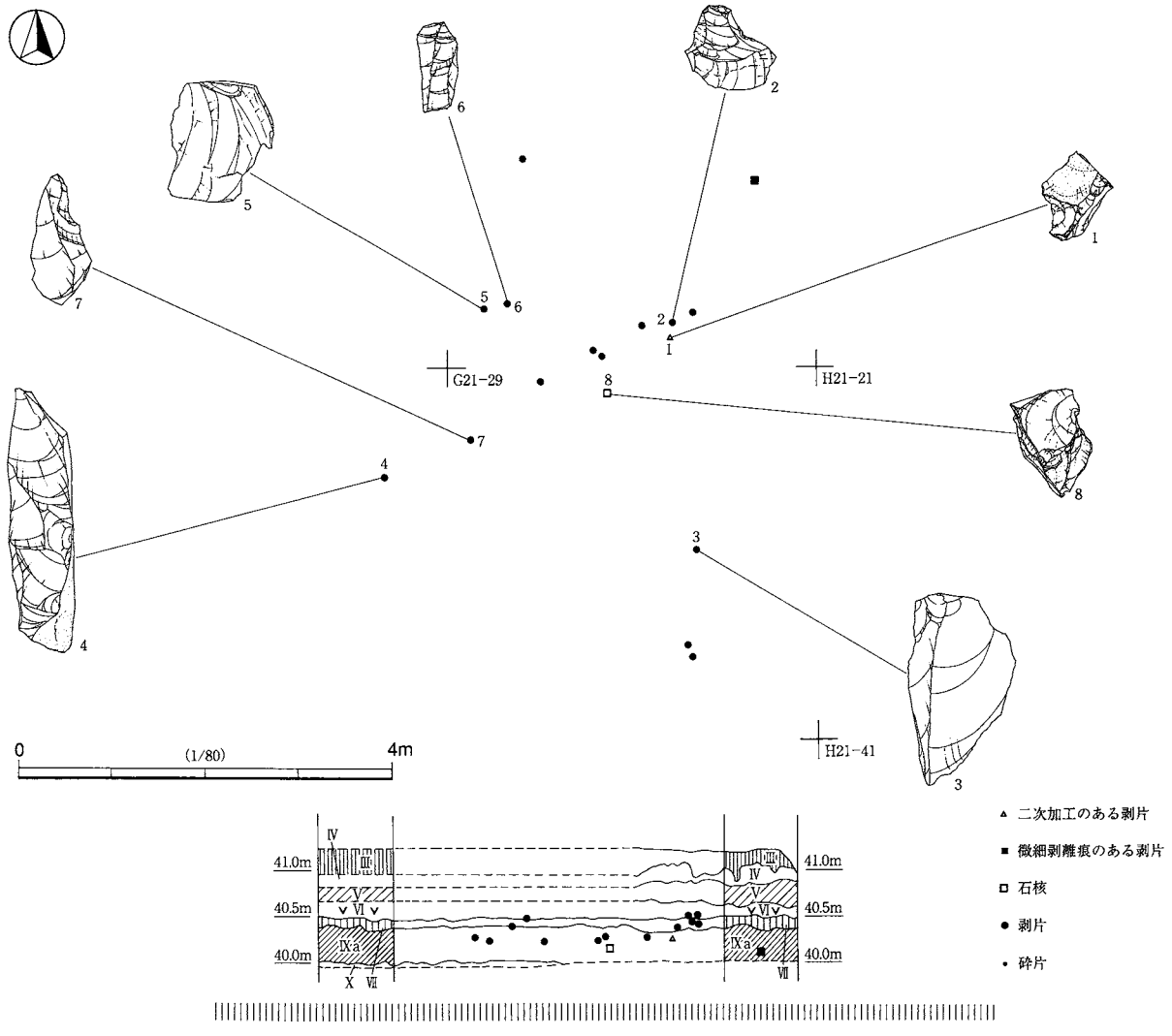
２～７は剥片である。２は線状の打面から剥離された不定形な剥片である。３は平坦な打面で中間部に最大厚のある縦長剥片である。背面構成から，縦長の剥片が連続的に剥離されたことが観察される。４は厚みのある縦長剥片である。背面には主要剥離面と同方向の剥離面で構成された剥離面がみられ，右側面には，他方向からの剥離面がみられる。石核の小口を剥離した石核成形剥片の可能性がある。５は自然面打面から剥離された横長剥片である。末端部は蝶番剥離を呈する。６は打面が平坦で，縦長剥片を連続的に剥離されたことが観察される縦長剥片である。７は点状の打面から剥離された縦長剥片である。

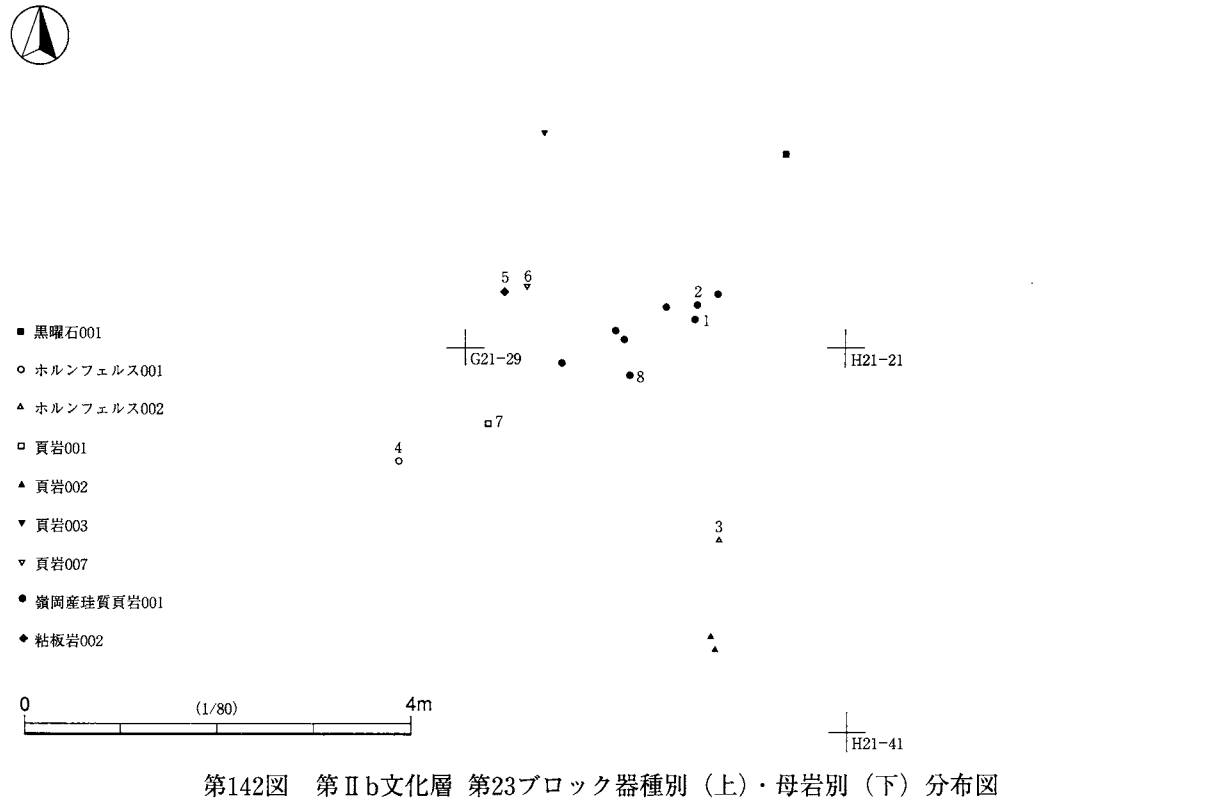
８は石核である。節理面で分割された厚みのある剥片を素材として，右側面から横長の小型の剥片を剥離後に，左側面からやや大きな剥片を剥離している。剥離された剥片は，節理面で剥離されたものが多く，不定形な剥片が剥離されている。

第40表　第Ⅱb文化層　第23ブロック母岩器種組成表

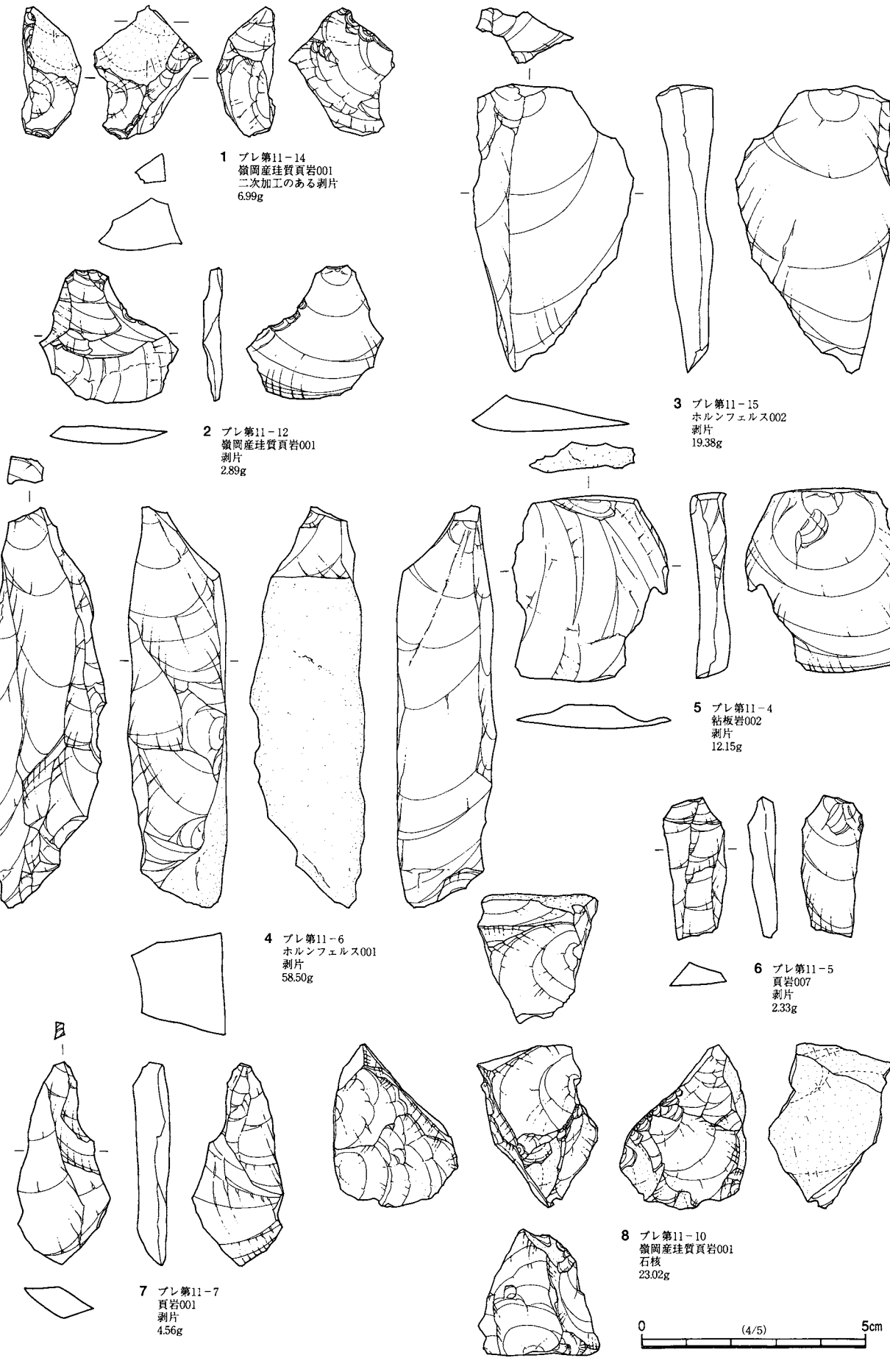
母岩名	母岩番号	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	総計	組成比（%）
黒曜石	001		1 0.7				1 0.7	5.88 0.40
黒曜石 点数合計 黒曜石 重量合計			1 0.7				1 0.7	5.88 0.40
ホルンフェルス	001				1 58.5		1 58.5	5.88 33.50
	002				1 19.38		1 19.38	5.88 11.10
ホルンフェルス 点数合計 ホルンフェルス 重量合計					2 77.88		2 77.88	11.76 44.59
頁岩	001				1 4.56		1 4.56	5.88 2.61
	002				2 2.15		2 2.15	11.76 1.23
	003					1 0.83	1 0.83	5.88 0.48
	007				1 2.33		1 2.33	5.88 1.33
頁岩 点数合計 頁岩 重量合計					4 9.04	1 0.83	5 9.87	29.41 5.65
嶺岡産珪質頁岩	001	1 6.99		1 23.02	6 44.04		8 74.05	47.06 42.40
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計		1 6.99		1 23.02	6 44.04		8 74.05	47.06 42.40
粘板岩	002				1 12.15		1 12.15	5.88 6.96
粘板岩 点数合計 粘板岩 重量合計					1 12.15		1 12.15	5.88 6.96
全体の点数合計 全体の重量合計		1 6.99	1 0.7	1 23.02	13 143.11	1 0.83	17 174.65	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		5.88 4.00	5.88 0.40	5.88 13.18	76.47 81.94	5.88 0.48	100.00 100.00	

［上段：点数、　下段：重量(g)］





第142図　第Ⅱb文化層 第23ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図



第143図　第Ⅱb文化層 第23ブロック出土石器

②第24ブロック（第144～146図，第41・105表，図版34）

出土状況　平面分布は，約４ｍ×２ｍの楕円形の小範囲に散漫に分布する。出土層位は，Ⅸc層に集中する。器種別分布（第144図）の特徴は，北東部の集中地点に微細剥離痕のある剥片がまとまって出土している。母岩別分布（第144図）の特徴は，多種の母岩が少量ずつ持ち込まれている。

出土遺物　総計11点出土した。母岩器種組成は第41表のとおりである。器種組成は，製品では，ナイフ形石器が１点出土している。礫片・礫は出土していない。母岩（石材）組成は，良質な石材が用いられており，頁岩･粘板岩が多く用いられている。ナイフ形石器は，珪質頁岩002を用いているが，単品の出土であり，搬入品と思われる。

１はナイフ形石器である。末端部が蝶番剥離を呈する横長剥片を素材として，打面部にあたる右側縁に細かい剥離を階段状に施している。末端部にあたる左側縁と右側縁上部は折断されている。

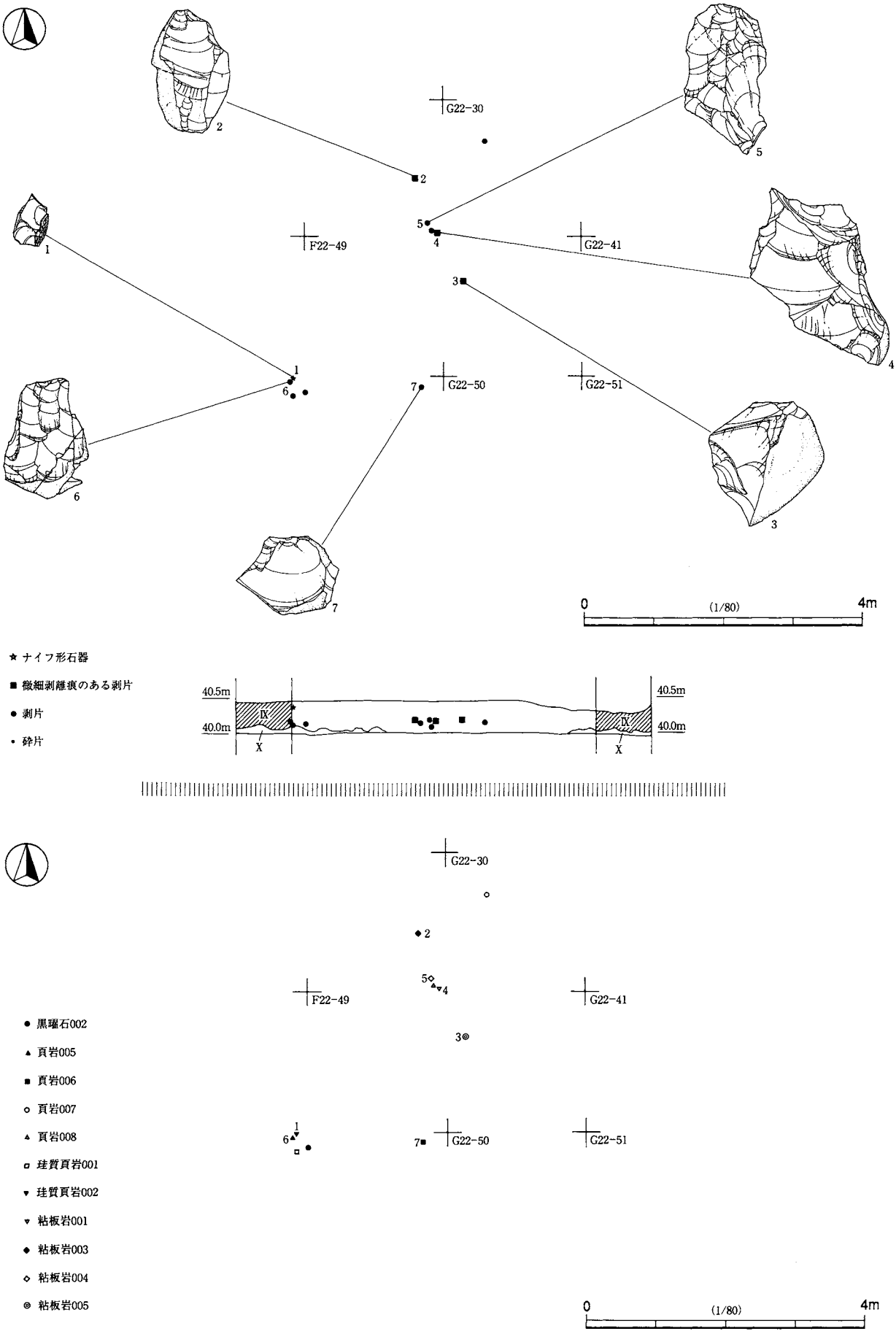
２～４は微細剥離痕のある剥片である。２・３は打面幅が狭く，中間部に最大幅がある縦長剥片を素材としている。２は末端部にあたる腹面下端部に微細剥離痕が連続的にみられる。３は左側面中間部と末端部に微細剥離痕がみられる。４は打面幅が狭い不定形な剥片である。背面構成は多方向からの剥離面で構成されており，打面転移の頻繁な石核から剥離された剥片と思われる。腹面右下端部に微細剥離痕が連続的にみられる。

５～７は剥片である。５は縦長剥片である。頭部調整が施されている。６は打面幅の狭い縦長剥片である。背面の観察から薄い縦長剥片が連続的に剥離されたことがうかがえる。７は平坦打面から剥離された横長剥片である。

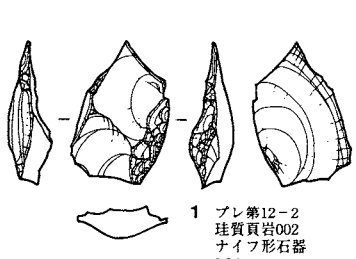
第41表　第Ⅱb文化層 第24ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	ナイフ形石器	微細剥離痕のある剥片	剥片	砕片	総計	組成比（%）
黒曜石	002				1 0.08	1 0.08	9.09 0.04
黒曜石 点数合計 黒曜石 重量合計					1 0.08	1 0.08	9.09 0.04
頁岩	005			1 12.06		1 12.06	9.09 6.55
	006			1 17.22		1 17.22	9.09 9.35
	007			1 0.63		1 0.63	9.09 0.34
	008			1 0.68		1 0.68	9.09 0.37
頁岩 点数合計 頁岩 重量合計				4 30.59		4 30.59	36.36 16.61
珪質頁岩	001			1 1.03		1 1.03	9.09 0.56
	002	1 1.84				1 1.84	9.09 1.00
珪質頁岩 点数合計 珪質頁岩 重量合計		1 1.84		1 1.03		2 2.87	18.18 1.56
粘板岩	001		1 55.58			1 55.58	9.09 30.17
	003		1 16.41			1 16.41	9.09 8.91
	004			1 31.5		1 31.5	9.09 17.10
	005		1 47.18			1 47.18	9.09 25.61
粘板岩 点数合計 粘板岩 重量合計			3 119.17	1 31.5		4 150.67	36.36 81.79
全体の点数合計 全体の重量合計		1 1.84	3 119.17	6 63.12	1 0.08	11 184.21	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		9.09 1.00	27.27 64.69	54.55 34.27	9.09 0.04	100.00 100.00	

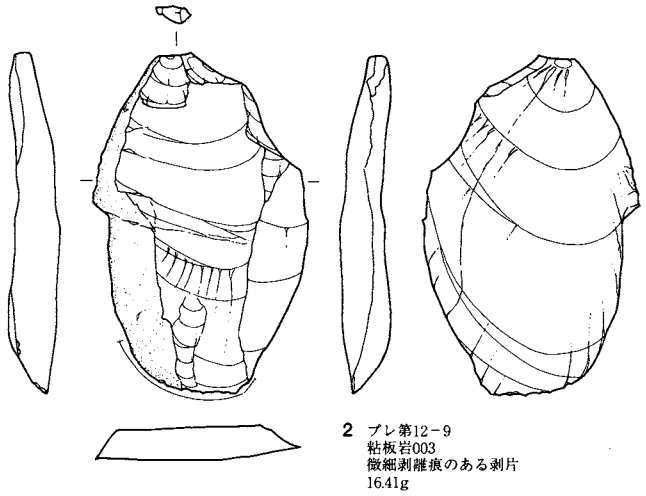
［上段:点数、 下段:重量(g)］



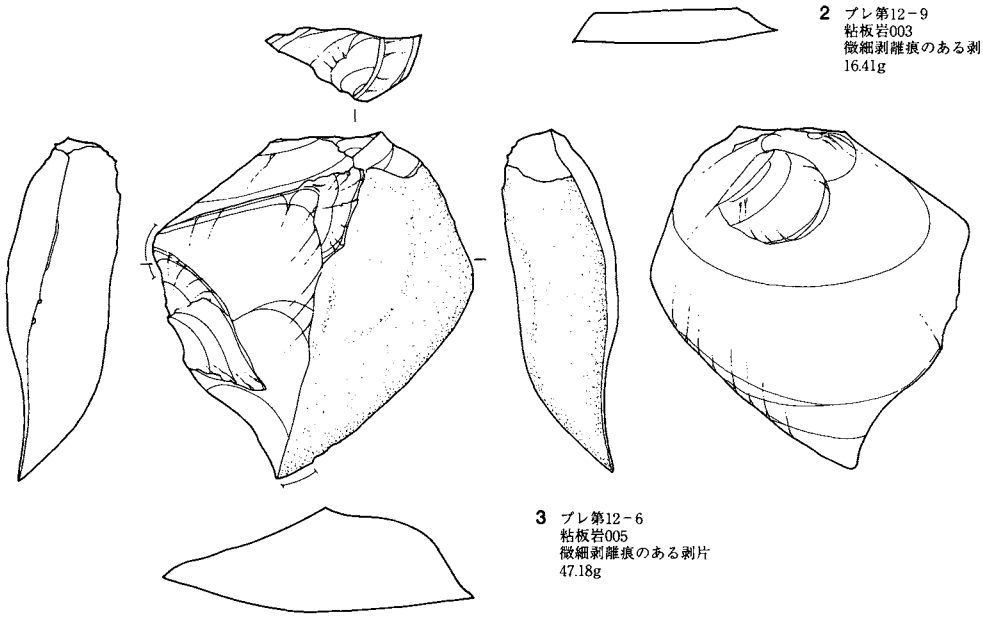
第144図　第Ⅱb文化層 第24ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図



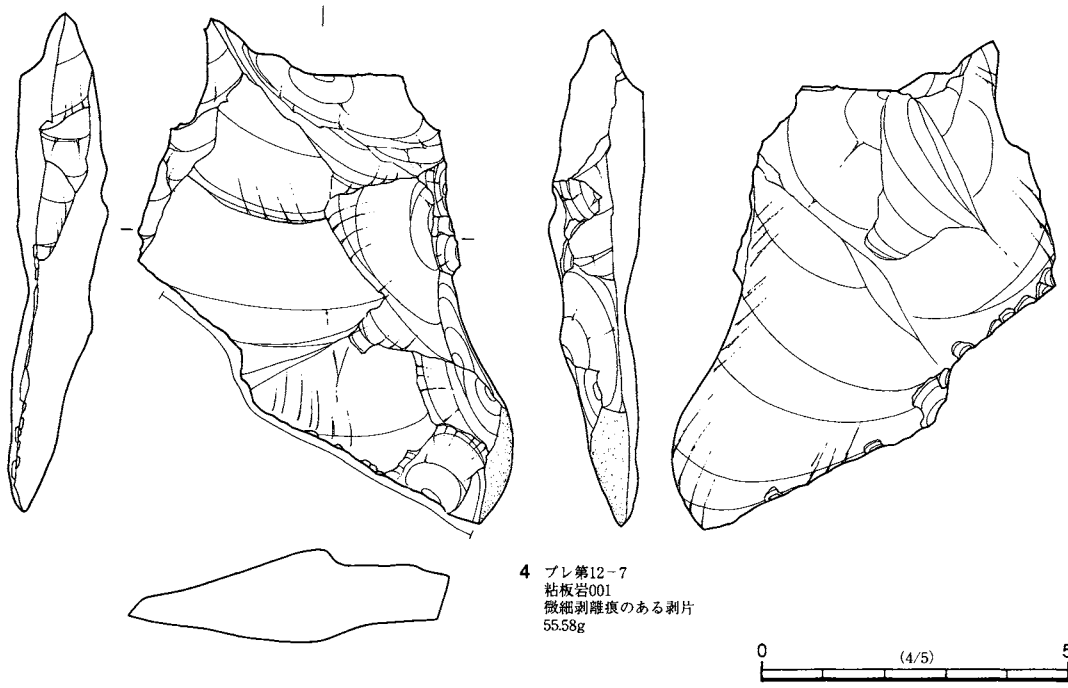
1 ブレ第12－2
珪質頁岩002
ナイフ形石器
1.84g



2 ブレ第12－9
粘板岩003
微細剥離痕のある剥片
16.41g



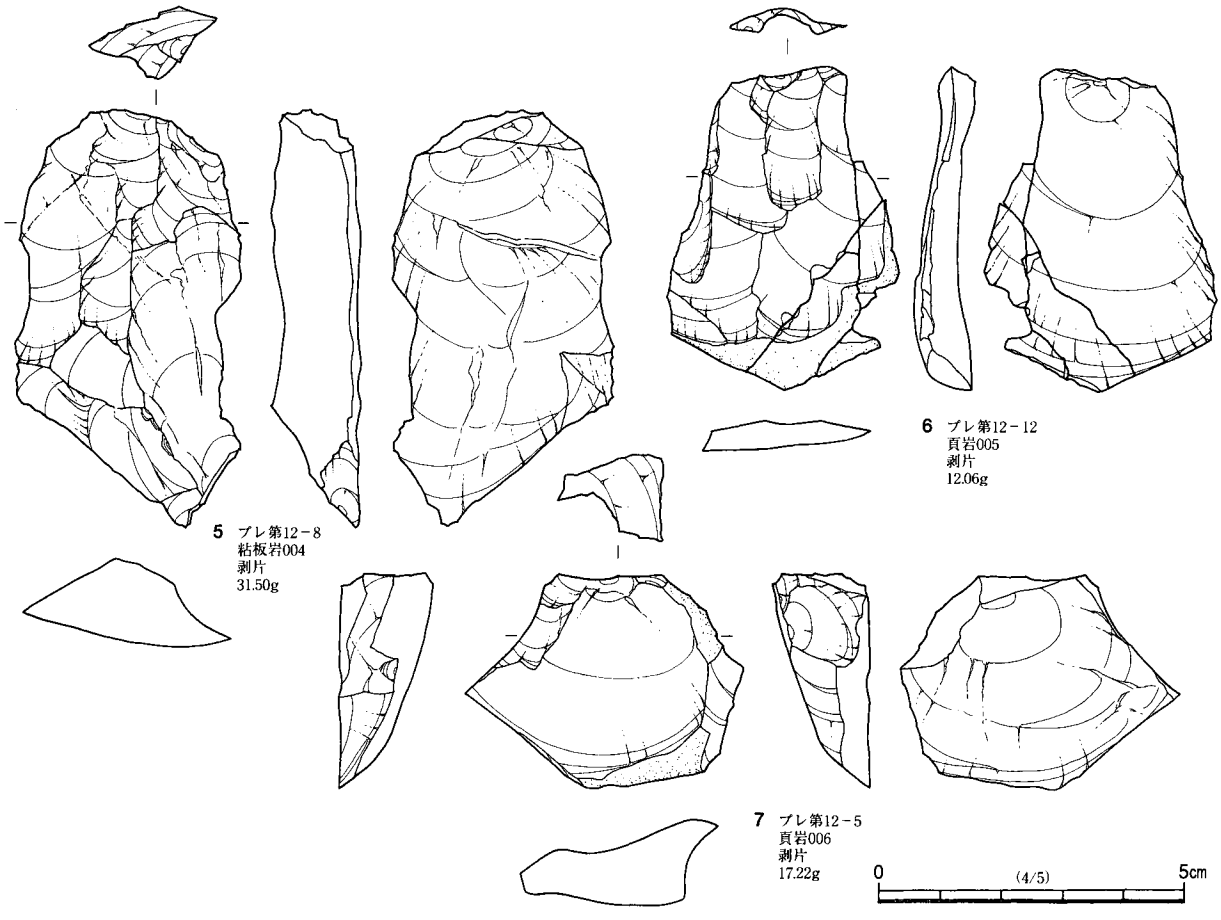
3 ブレ第12－6
粘板岩005
微細剥離痕のある剥片
47.18g



4 ブレ第12－7
粘板岩001
微細剥離痕のある剥片
55.58g

0 (4/5) 5cm

第145図　第Ⅱb文化層 第24ブロック出土石器（1）



第146図　第Ⅱb文化層 第24ブロック出土石器（2）

③第25ブロック（第147～157図，第42・105～107表，図版34～36）

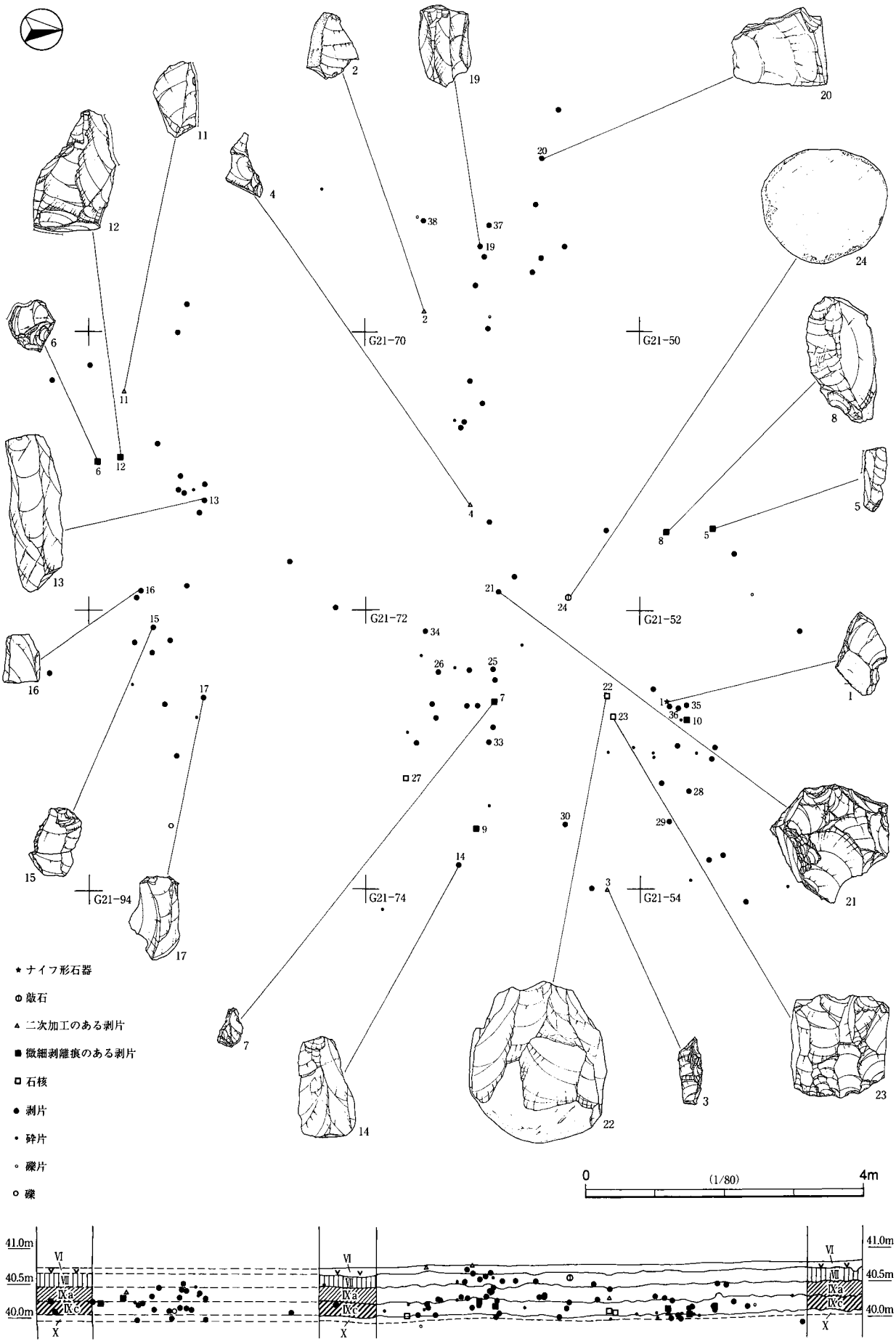
出土状況　平面分布は，約12m×12mの円形の範囲にやや密集する。平面分布を細かくみると，北東部と西部と南部の3箇所の集中地点がみられる。器種別分布（第147図）の特徴は，北東部の中央部に24の特徴的な敲石と石核が2点まとまって出土しており，敲石や石核の周辺には砕片がまとまって出土しているが，やや空白地点があり，その外周にナイフ形石器や二次加工のある剥片や剥片がまとまって出土している。西部は，剥片がまとまって出土している。南部は，中央部に微細剥離痕のある剥片が2点まとまって出土している。この集中地点の中央部に，敲石と石核が出土していることと，これらの接合資料の関連は強いものと思われる。石器製作に関連するブロックの可能性が高い。母岩別分布（第148図）の特徴は，西部は，接合資料4が出土しているのみで，比較的多種の母岩が少量ずつ持ち込まれている。南部は，西部と同様に，接合資料5が出土しているのみで，多種の母岩が少量ずつ持ち込まれている。北東部では，接合資料2・3・6～8の多くの接合資料が，まとまって出土している。出土層位は，Ⅸc層～Ⅵ層にかけて出土し，Ⅸa層に集中する。

出土遺物　総計116点出土した。母岩器種組成は第42表のとおりである。器種組成は，製品ではナイフ形石器1点，敲石1点，二次加工のある剥片5点出土している。その他の器種では，石核3点，微細剥離痕のある剥片10点，剥片72点，砕片21点出土しており，敲石も出土していることから，石器製作に関連する資料が比較的多く出土しているといえよう。母岩（石材）組成は，多様な石材が用いられている。そのなかで，頁岩（34.48%）・ホルンフェルス（16.38%）・玉髄（メノウ含む）（16.38%）が比較的多く用いられ

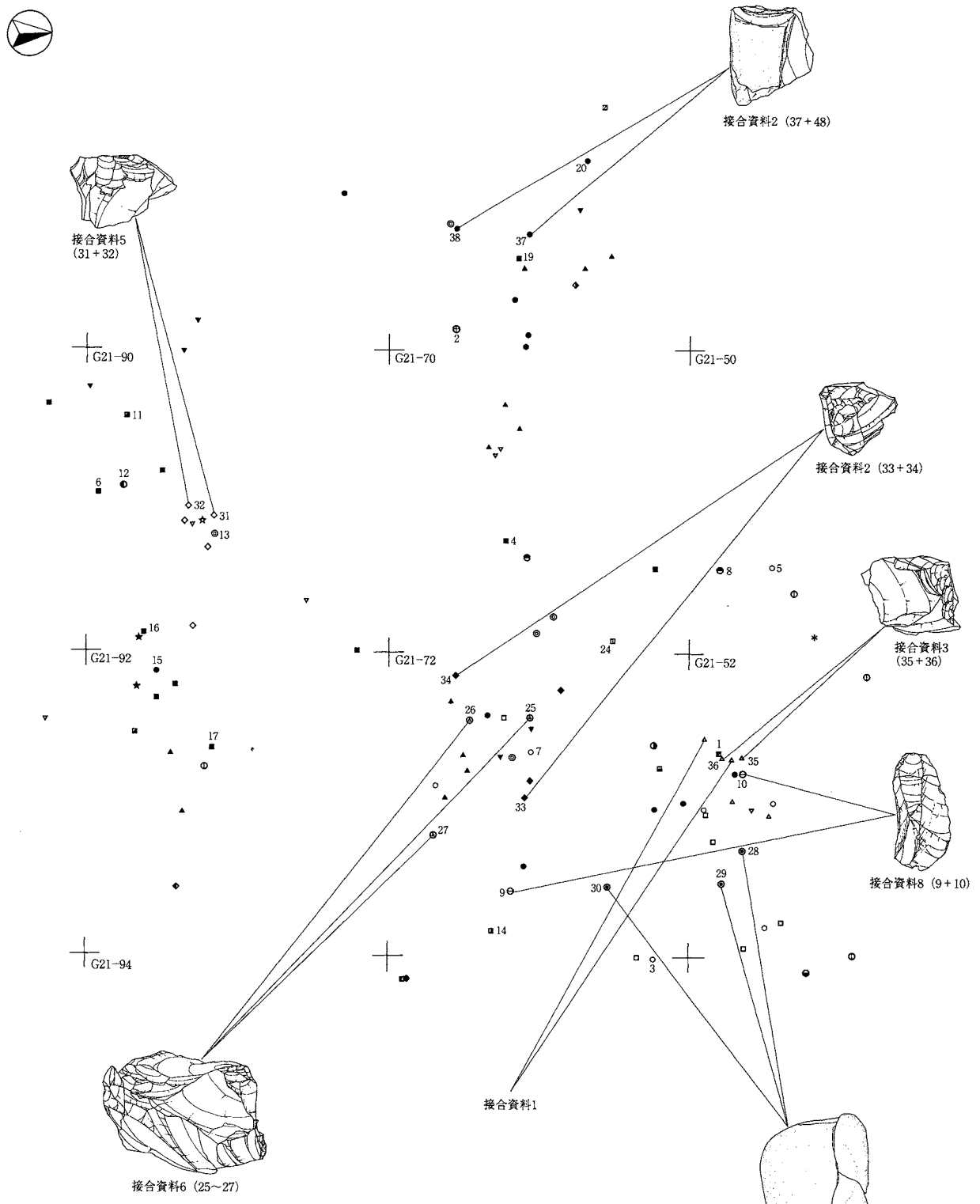
第42表　第Ⅱb文化層 第25ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	ナイフ形石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	001				2						2	1.72
					10.71						10.71	0.70
	003			1	2		2	2			7	6.03
				2.25	1.45		1.02	0.35			5.07	0.33
黒曜石 点数合計				1	4		2	2			9	7.76
黒曜石 重量合計				2.25	12.16		1.02	0.35			15.78	1.03
ホルンフェルス	003			1			5	7			13	11.21
				19.05			28.8	3.76			51.61	3.36
	004						6				6	5.17
							79.28				79.28	5.16
ホルンフェルス 点数合計				1			11	7			19	16.38
ホルンフェルス 重量合計				19.05			108.08	3.76			130.89	8.52
流紋岩	001					1	2				3	2.59
						153.29	5.91				159.2	10.36
	002						3	2			5	4.31
							12.64	1.61			14.25	0.93
	005							1			1	0.86
								0.81			0.81	0.05
流紋岩 点数合計						1	5	3			9	7.76
流紋岩 重量合計						153.29	18.55	2.42			174.26	11.34
頁岩	005				1						1	0.86
					25.08						25.08	1.63
	009					1					1	0.86
						78.76					78.76	5.13
	010			1			2				3	2.59
				63.89			9.68				73.57	4.79
	011					1					1	0.86
						287.75					287.75	18.72
	012	1									1	0.86
		8.31									8.31	0.54
	013						1	1			2	1.72
							2.1	0.91			3.01	0.20
	014						11	2			13	11.21
							40.08	1.11			41.19	2.68
	015						2	2			4	3.45
							9.08	1.86			10.94	0.71
	016						5				5	4.31
							20.19				20.19	1.31
	017						1				1	0.86
							1.6				1.6	0.10
	018						2				2	1.72
							1.64				1.64	0.11
	019						4	2			6	5.17
							6.41	1.04			7.45	0.48
頁岩 点数合計		1		1	1	2	28	7			40	34.48
頁岩 重量合計		8.31		63.89	25.08	366.51	90.78	4.92			559.49	36.41
珪質頁岩	003						1				1	0.86
							9.04				9.04	0.59
珪質頁岩 点数合計							1				1	0.86
珪質頁岩 重量合計							9.04				9.04	0.59
嶺岡産珪質頁岩	002						6				6	5.17
							72.61				72.61	4.72
嶺岡産珪質頁岩 点数合計							6				6	5.17
嶺岡産珪質頁岩 重量合計							72.61				72.61	4.72
チャート	001				1		3			1	5	4.31
					48.38		34.84			9.04	92.26	6.00
	002						1				1	0.86
							9.21				9.21	0.60
	003						1				1	0.86
							3.33				3.33	0.22
チャート 点数合計					1		5			1	7	6.03
チャート 重量合計					48.38		47.38			9.04	104.8	6.82
玉髄（メノウ含む）	001						5	1			6	5.17
							13.29	0.17			13.46	0.88
	002				1			1			2	1.72
					4.36			0.17			4.53	0.29
	003			1	2		8				11	9.48
				1.71	11.07		17.87				30.65	1.99
玉髄（メノウ含む） 点数合計				1	3		13	2			19	16.38
玉髄（メノウ含む） 重量合計				1.71	15.43		31.16	0.34			48.64	3.17
砂岩	001		1								1	0.86
			383.39								383.39	24.95
	002									1	1	0.86
										1.08	1.08	0.07
	003								1		1	0.86
									5.01		5.01	0.33
砂岩 点数合計			1						1	1	3	2.59
砂岩 重量合計			383.39						5.01	1.08	389.48	25.34
粘板岩	006			1							1	0.86
				3.69							3.69	0.24
	007				1		1				2	1.72
					21.09		6.95				28.04	1.82
粘板岩 点数合計				1	1		1				3	2.59
粘板岩 重量合計				3.69	21.09		6.95				31.73	2.06
全体の点数合計		1	1	5	10	3	72	21	1	2	116	100.00
全体の重量合計		8.31	383.39	90.59	122.14	519.8	385.57	11.79	5.01	10.12	1536.72	100.00
点数組成比(%)		0.86	0.86	4.31	8.62	2.59	62.07	18.10	0.86	1.72	100.00	
重量組成比(%)		0.54	24.95	5.90	7.95	33.83	25.09	0.77	0.33	0.66	100.00	

［上段:点数、下段:重量(g)］

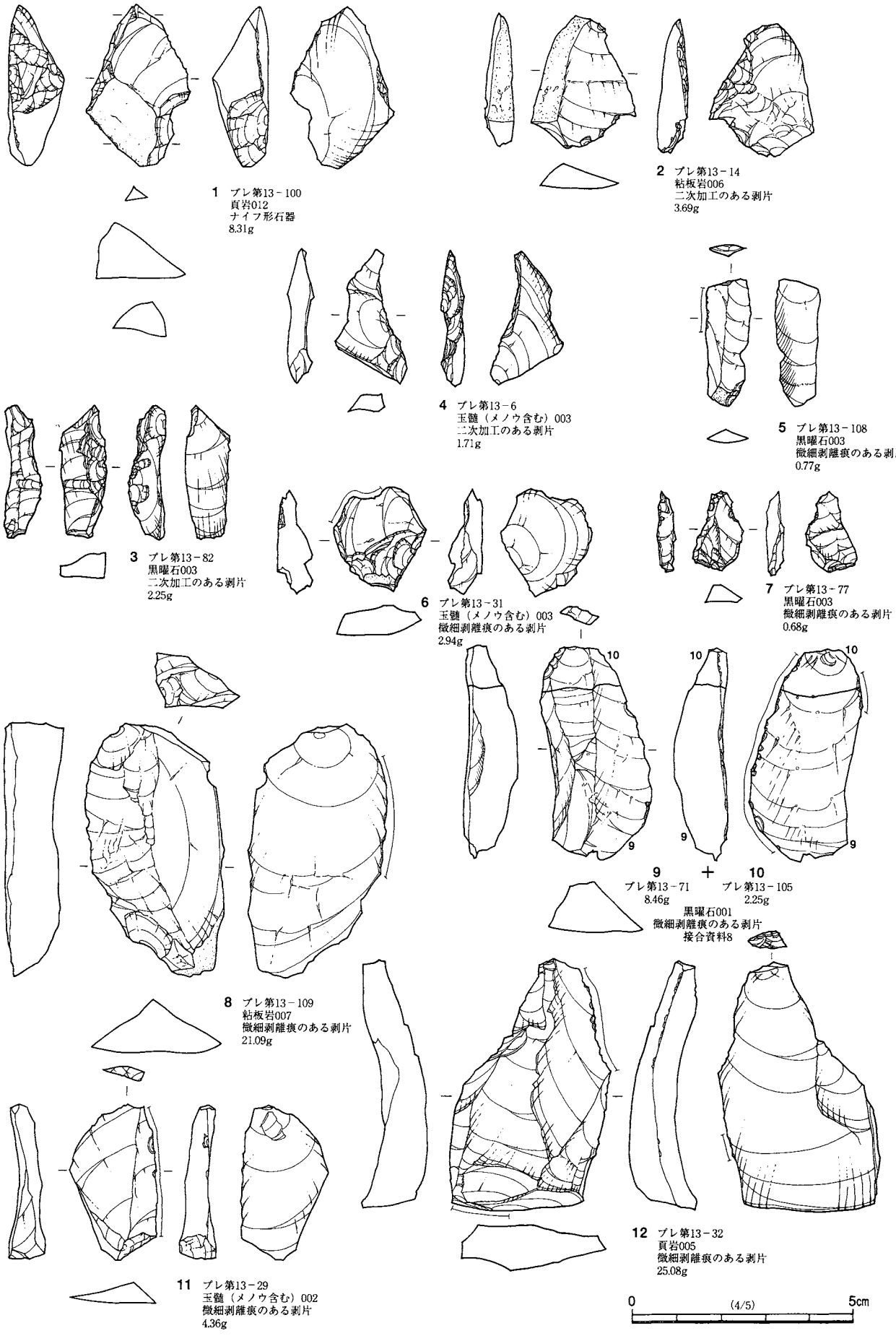


第147図　第Ⅱb文化層 第25ブロック器種別分布図

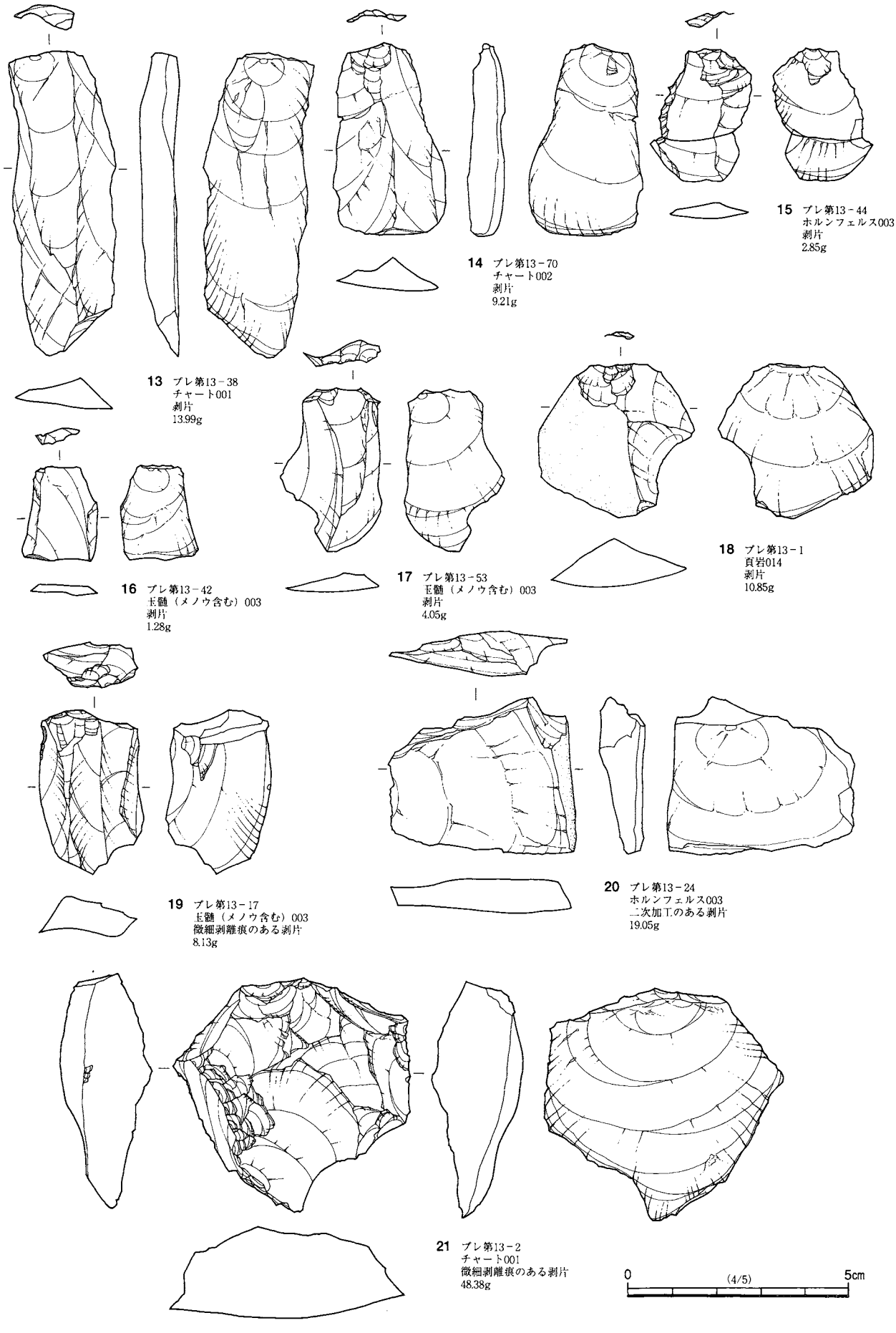


⊖ 黒曜石001
○ 黒曜石003
● ホルンフェルス003
▲ ホルンフェルス004
◎ 流紋岩001
◆ 流紋岩002
▣ 流紋岩005
◐ 頁岩5
▣ 頁岩009
◉ 頁岩010
◑ 頁岩011
◪ 頁岩012
★ 頁岩013
▲ 頁岩014
◍ 頁岩015
◇ 頁岩016
◒ 頁岩017
★ 頁岩018
□ 頁岩019
▼ 嶺岡産珪質頁岩002
◍ チャート001
◘ チャート002
◈ チャート003
▿ 玉髄（メノウ含む）001
◘ 玉髄（メノウ含む）002
■ 玉髄（メノウ含む）003
▥ 砂岩001
＊ 砂岩002
◈ 砂岩003
◘ 珪質頁岩003
⊕ 粘板岩006
◒ 粘板岩007

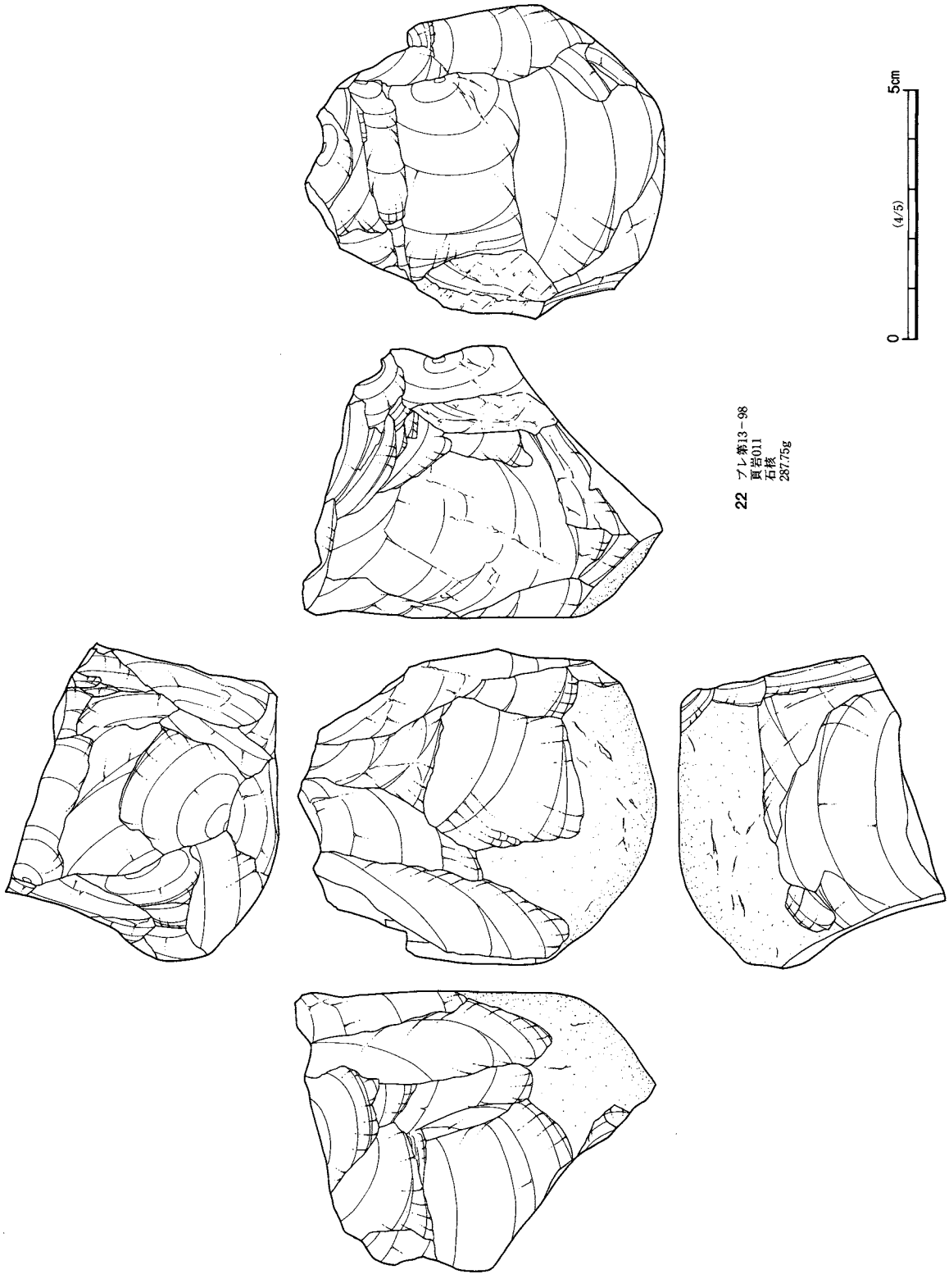
第148図　第Ⅱb文化層 第25ブロック母岩別分布図



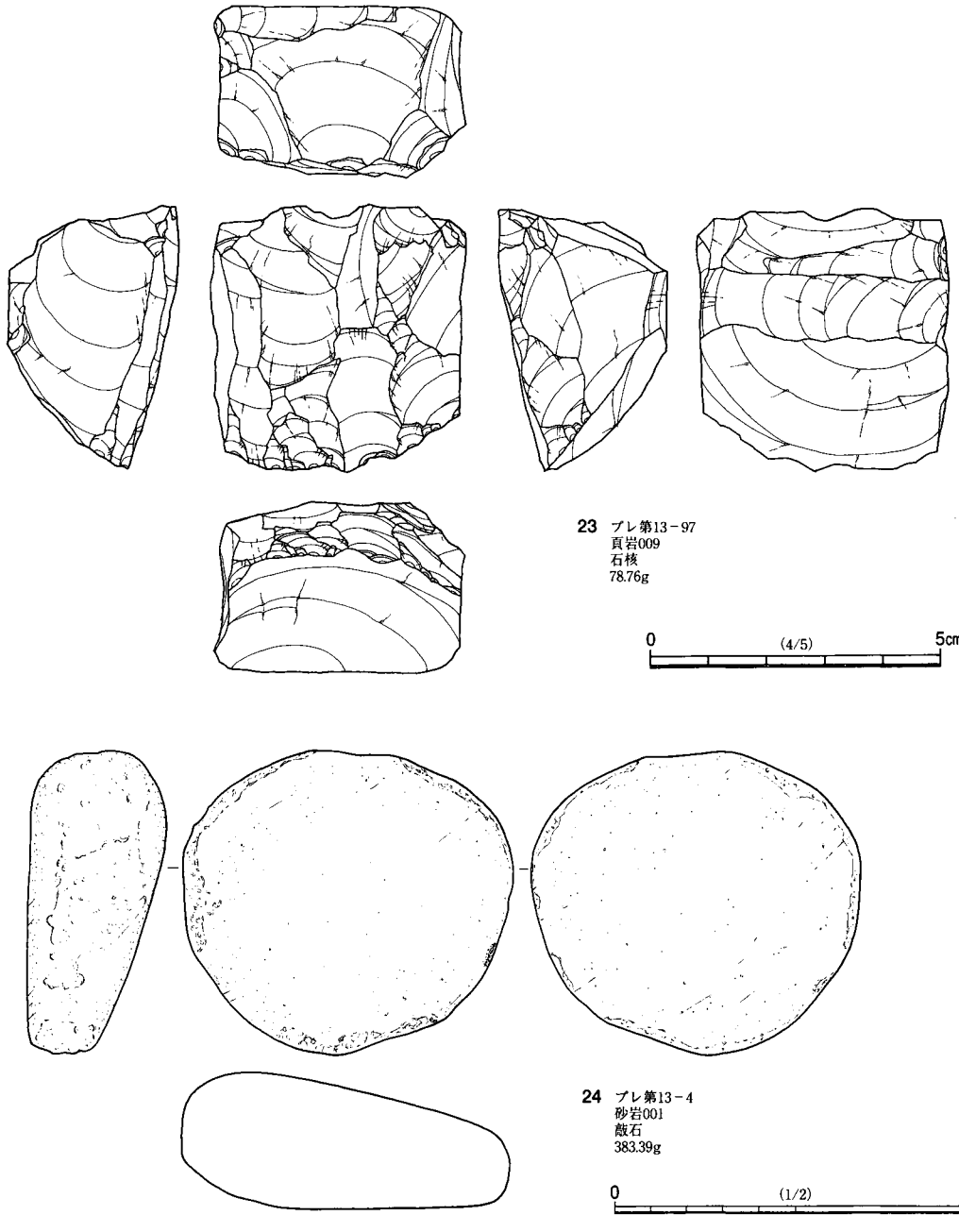
第149図　第Ⅱb文化層 第25ブロック出土石器（1）



第150図　第Ⅱb文化層 第25ブロック出土石器（2）



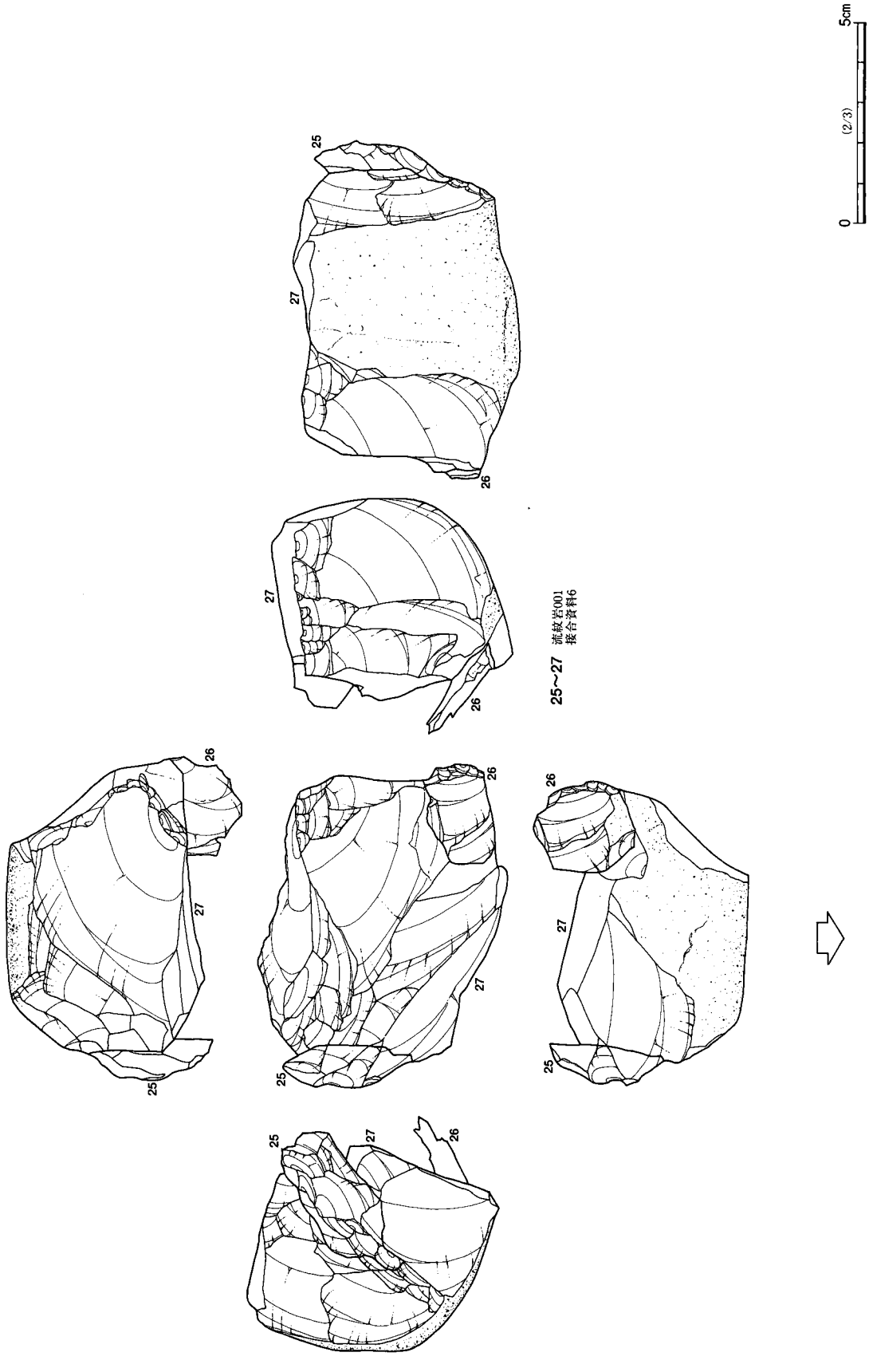
第151図　第Ⅱb文化層 第25ブロック出土石器（3）



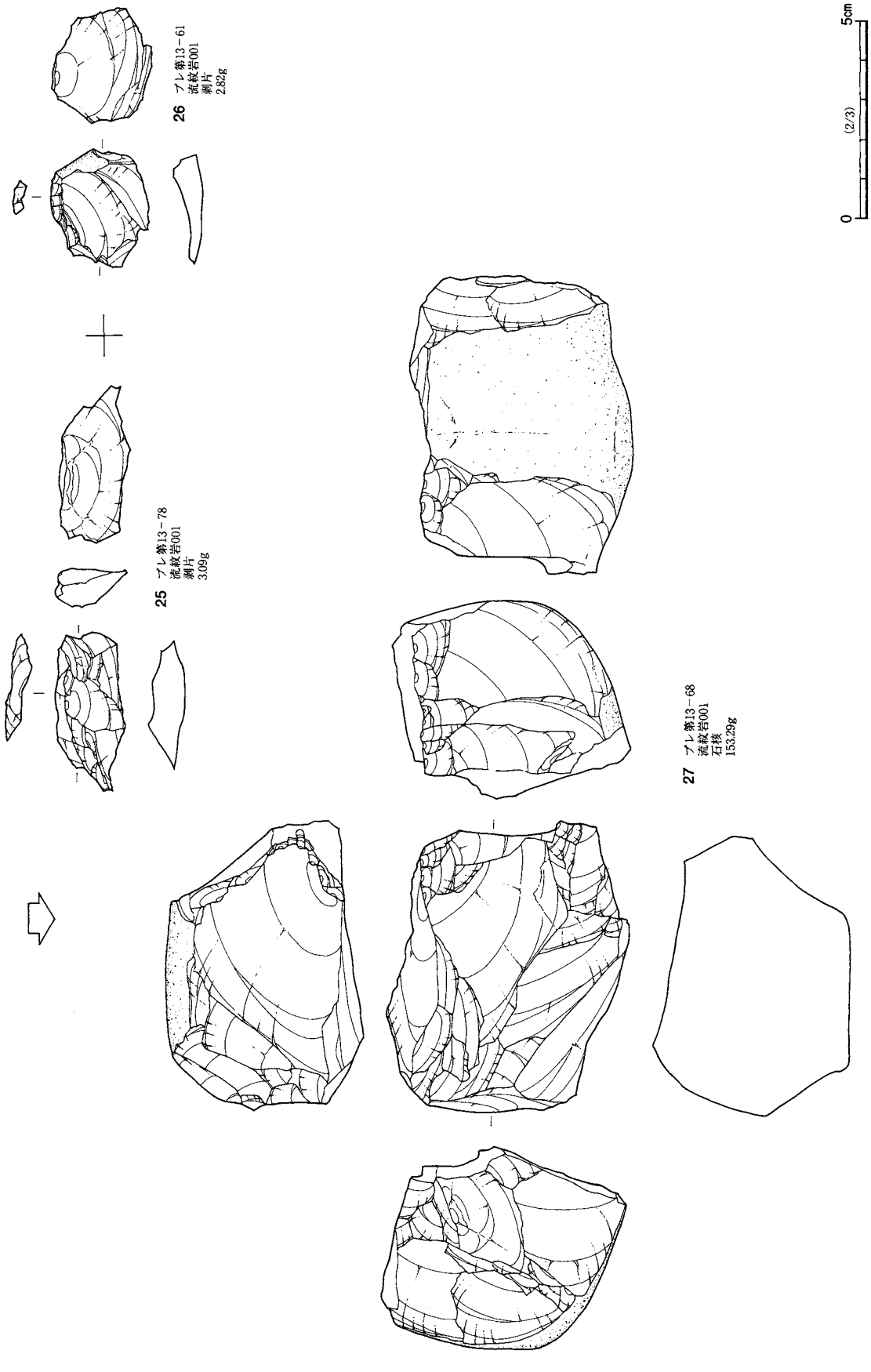
第152図　第Ⅱb文化層 第25ブロック出土石器（4）

ている。母岩別にみると，ナイフ形石器は，頁岩012を用いており，単品で出土していることから，製品で搬入されたと思われる。石核は，頁岩009と頁岩011ともに，単品で出土していることから，石核を持ち込み，本ブロックで剥片を生産していないようである。

1はナイフ形石器である。厚みのある横長剥片を素材としている。調整加工は，末端部にあたる左側縁上部と打面部にあたる右側縁下部にやや粗い調整加工により成形した後に，縁辺に細かい調整加工を入念に施されている。



第153図　第Ⅱb文化層 第25ブロック出土石器（5）



第154図　第Ⅱb文化層 第25ブロック出土石器（6）

2～4は二次加工のある剥片である。2は縦長の剥片を素材としている。調整加工は，打面部にあたる右側縁下部と末端部にあたる左側縁上半部に粗い調整加工が施されている。3は縦長剥片を素材としている。おそらく両極剥離で剥離された剥片であると思われる。右側縁を折断後に，右側縁に調整加工が施されている。4は打面幅の狭い不定形な剥片を素材としている。右側縁をやや粗い調整加工が連続的に施されている。

5～12は微細剥離痕のある剥片である。5は石刃の末端部が残存している資料である。左側縁に微細剥離痕が連続的にみられる。6は平坦打面から剥離された横長剥片を素材としている。末端部にあたる左側面上部に微細剥離痕が連続的にみられる。7は縦長剥片を素材として，左側縁上部に微細剥離痕がみられる。8は打面部が分厚い縦長剥片を素材として，腹面右側縁上部に微細剥離痕がみられる。9＋10は接合資料8である。平坦打面で頭部調整が行われていない。腹面左側面と腹面右上部に微細剥離痕がみられる。9と10は使用時の割れと思われる。11は点状の打面から剥離された縦長剥片を素材として，腹面右側縁に微細剥離痕がみられる。末端部は折断されている。12は縦長剥片を素材として，腹面左末端部・右側縁上部と腹面左側縁下部に微細剥離痕がみられる。打面は小さい打面ではあるが，打面調整が行われている。

13～18は剥片である。13・14は石刃である。平坦打面で，背面構成をみると，石刃が連続的に剥離されたことがうかがえる。14の末端部形状は蝶番剥離を呈する。15・16は厚みのない縦長剥片である。16の末端部の形状は蝶番剥離を呈する。17は複剥離打面から剥離された縦長剥片である。18は点状の打面から剥離された横長剥片である。

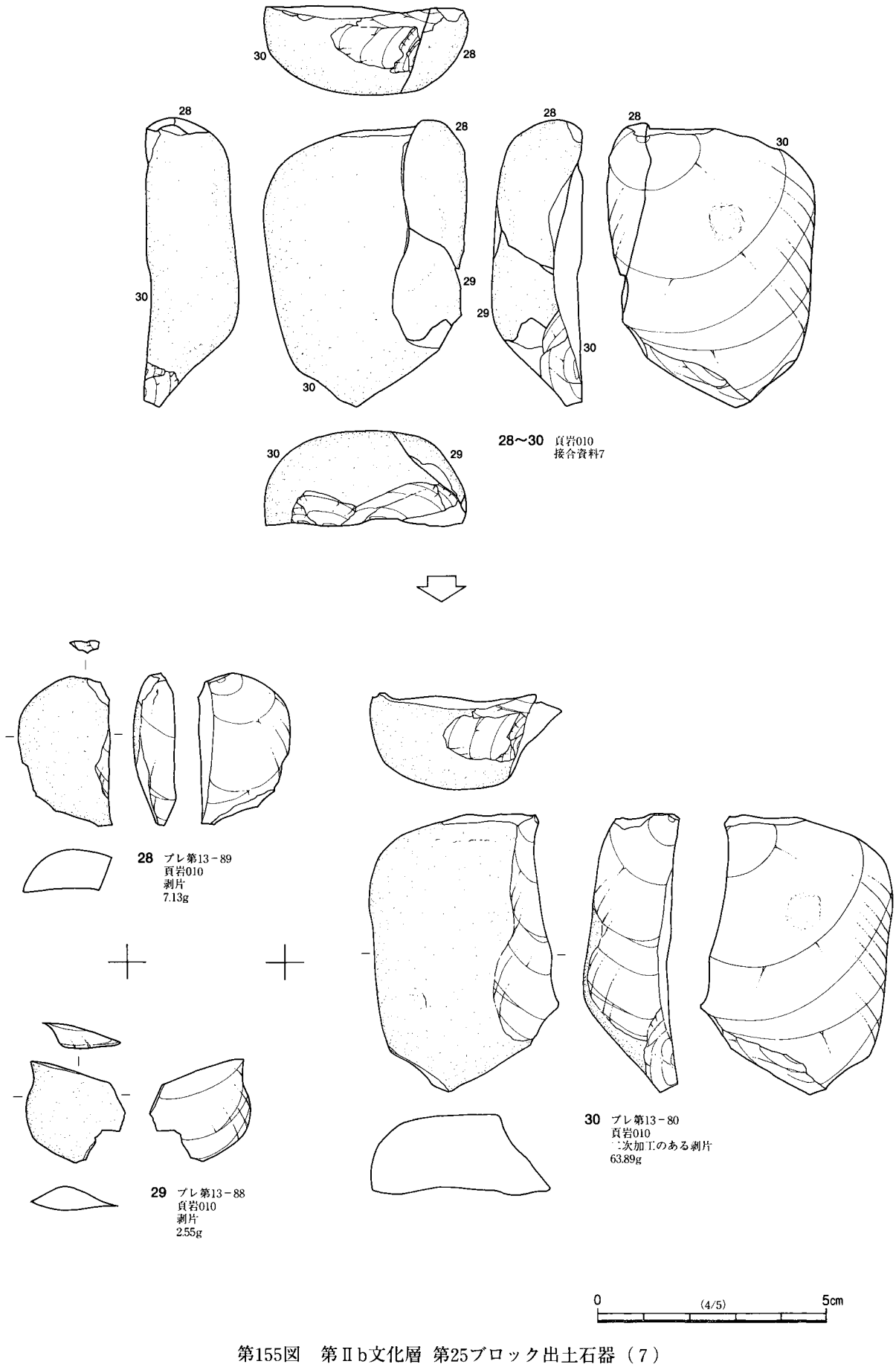
19・21は微細剥離痕のある剥片である。19は横長剥片を素材として，打面部と背面上端部を折断後，背面上端部の折断面に微細剥離痕がみられる。21は複剥離打面から剥離された厚みのある横長剥片を素材として，腹面右側面中間部に微細剥離痕がみられる。

20は二次加工のある剥片である。平坦打面から剥離された横長剥片を素材として，打面部に粗い調整加工が施されている。末端部は折断されている。

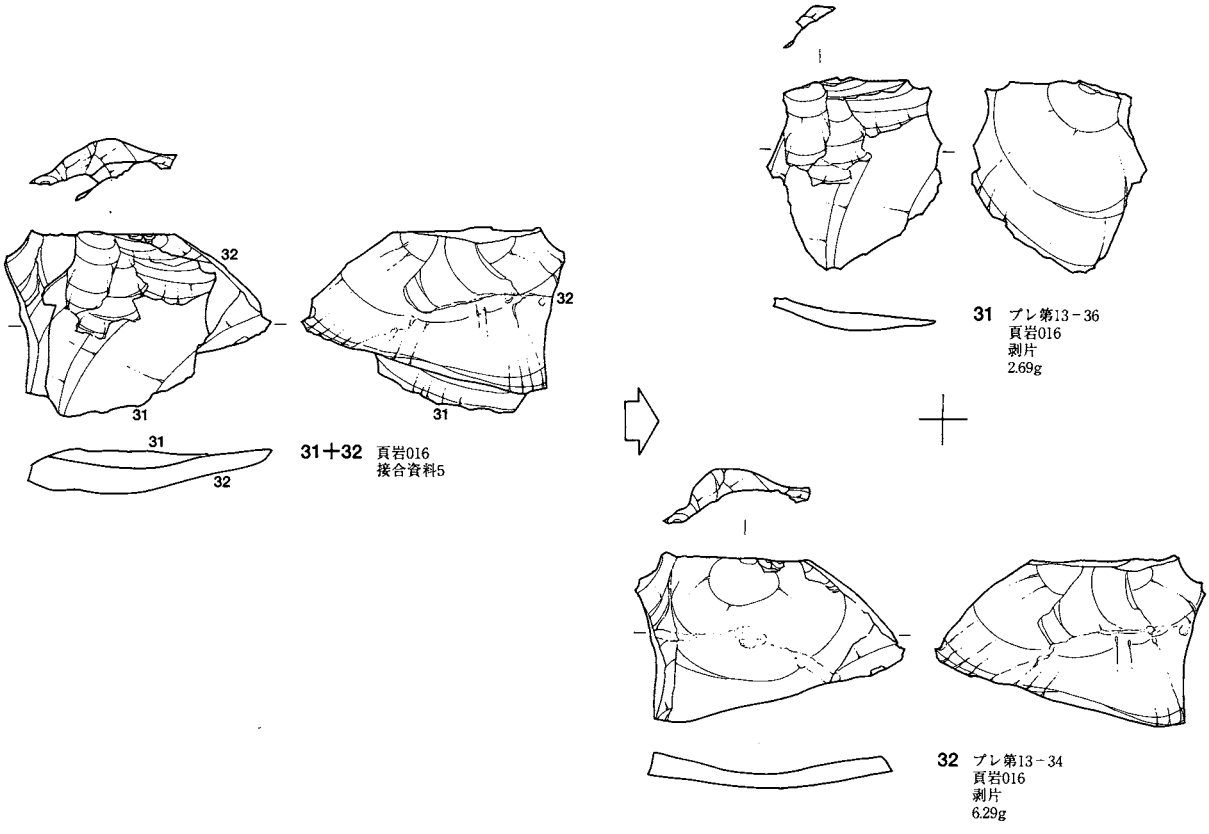
22・23は石核である。22は拳大の円礫を素材としていると思われる。打面転移が頻繁に行われている。縦長剥片が主に剥離されている。右側面と裏面に上端部から大きな剥片が剥離されている。裏面右側面から3枚以上の剥片が剥離されている。その後，表面上端部に打面を転移して，7枚以上の縦長剥片が量産されている。その後，上面下端部から横長剥片が剥離されている。23は節理面で分割された厚みのある剥片を素材としていると思われる。表面左側面に2枚以上の縦長剥片を剥離後，上面下部から横長剥片を剥離している。その後，裏面右側面から3枚程度の縦長剥片を剥離している。表面は下端部から5枚以上の縦長剥片を剥離後，上端部から6枚以上の縦長剥片を剥離している。

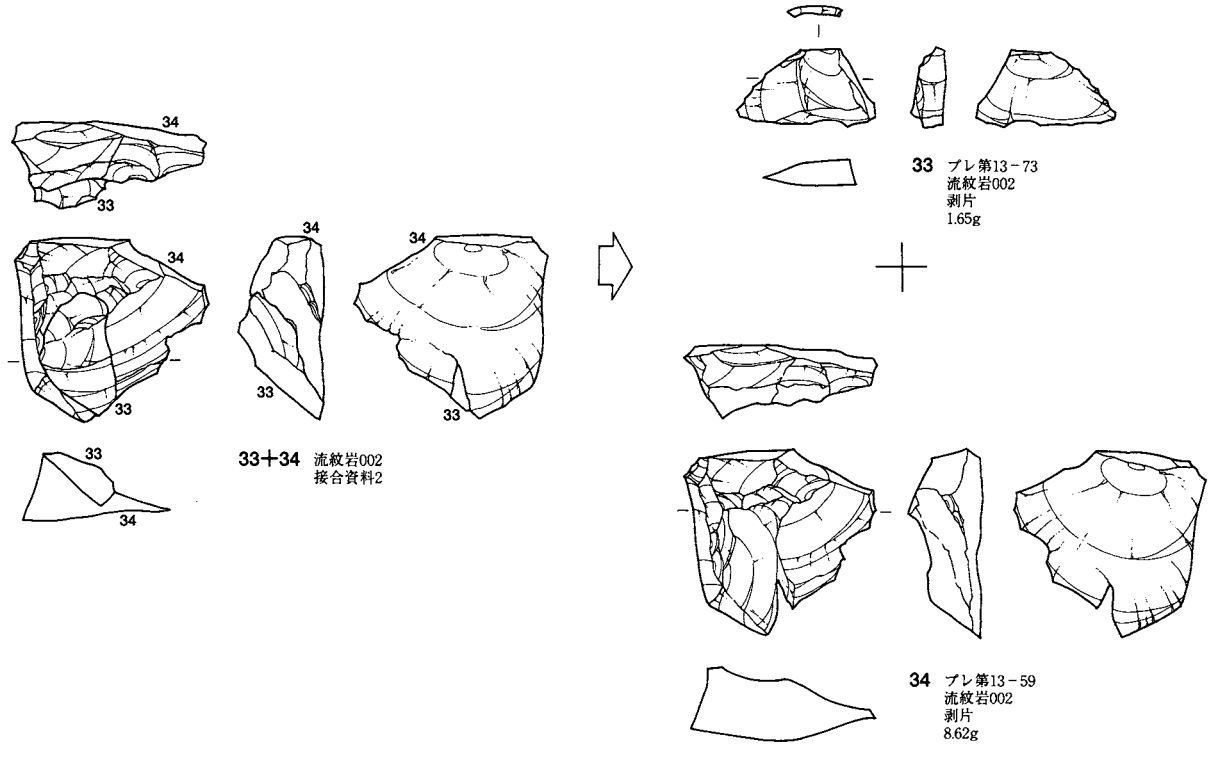
24は敲石である。扁平な円礫を素材としている。礫の全周に非常に顕著な敲打痕がみられ，円礫の外周の断面は角張っている。平坦部は，著しい研磨痕がみられる。

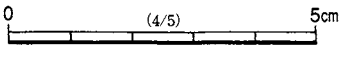
25～27は接合資料6である。石核と剥片2点接合した資料である。円礫を素材として，上面右側縁から大きく分割して打面を作出している。上面を打面として固定して，比較的大型の横長剥片と石核調整を行いなっている。26は表面右側縁下部からの石核調整を行った剥片である。その後，表面右側縁から，縦長の規格的な剥片が剥離されている。表面左側縁は表面からの頭部調整が非常に顕著に行われており，その後，左側縁から頭部調整を行って，25の剥片が剥離されている。25の背面構成から，縦長の剥片を剥離しようとしたことがうかがえるが，規格的な縦長剥片は剥離されていないようである。残核である27は，裏



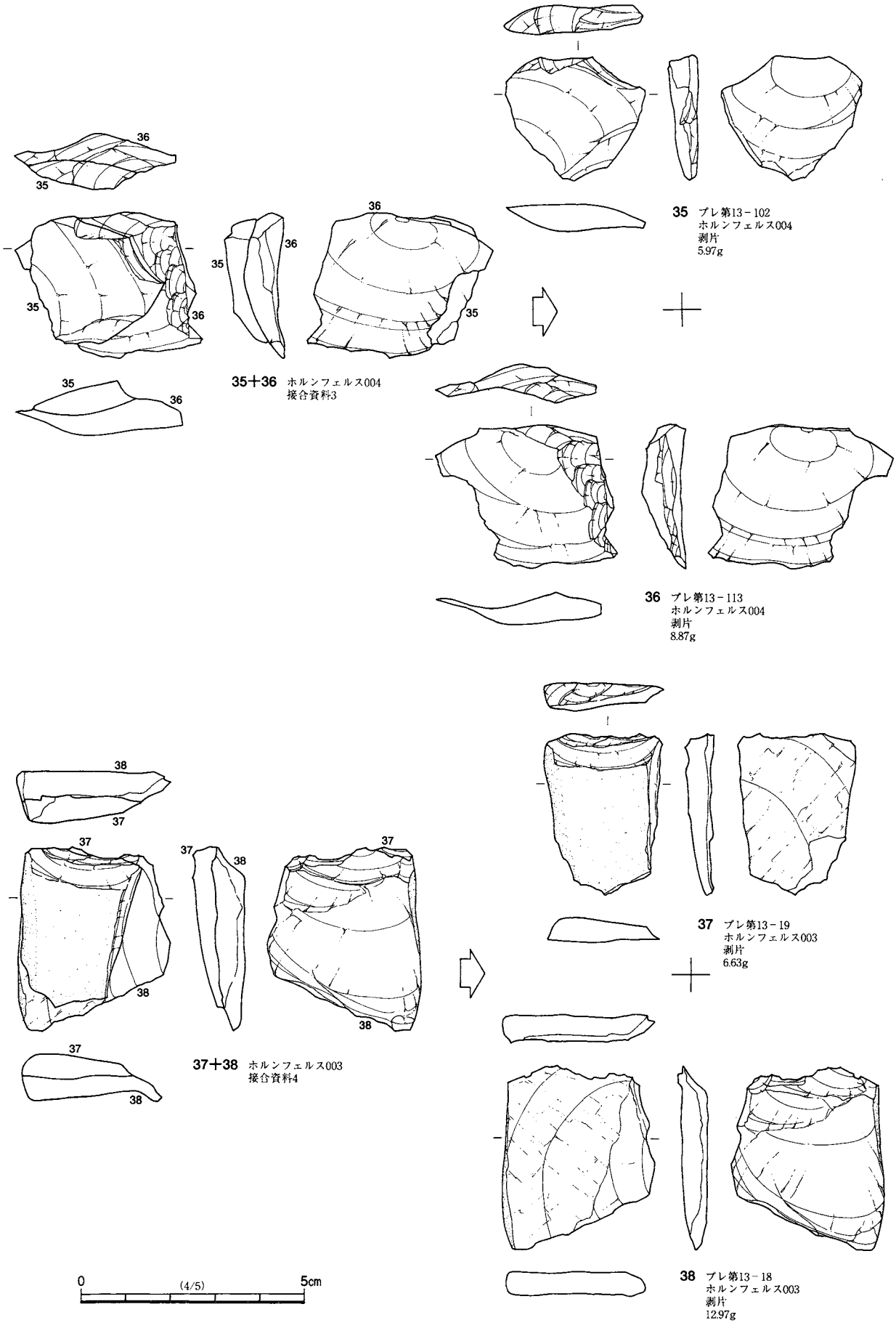
第155図　第Ⅱb文化層 第25ブロック出土石器（7）







第156図　第Ⅱb文化層 第25ブロック出土石器（8）



第157図　第Ⅱb文化層 第25ブロック出土石器（9）

面に自然面を大きく残しており，直方体の形状を呈する。

28～30は接合資料７である。28～30の状態で，背面に大きく自然面を残した幅広の剥片である。28～30の剥片を素材として，剥片の小口にあたる腹面左上端部から，28＋29の縦長剥片を剥離している。28と29は，剥離時に同時割れしている。

31＋32は接合資料５である。横長幅広の剥片が連続的に剥離されたことを示す接合資料である。

33＋34は接合資料２である。33＋34の状態で，左側縁から33の横長剥片を剥離している。その後，打面を90度転移して，上端部から34の横長剥片が剥離されている。背面構成や接合状況から，打面転移が非常に頻繁に行われたこと示す資料である。

35＋36は接合資料３である。35＋36の接合した状態で，背面右側面から，側面調整が階段状に施されている。上端部を打面として，35と36の横長剥片が連続的に剥離されている。

37＋38は接合資料４である。両極剥離によって，37と38の剥片が剥離されている。37と38の上端部の剥離は，両極剥離によるものと思われる。表面の自然面には，研磨痕として捉えることが可能な部位がみられるが，明確ではないので，剥片の接合資料として捉えた。研磨痕として，積極的に捉えるならば，局部磨製石斧の再生剥片である可能性がある。

④**第26ブロック**（第158～161図，第43・107表，図版35・36）

出土状況　平面分布は，約６ｍ×４ｍの楕円形の範囲に散漫に分布する。平面分布を細かくみると，北東部と南西部の２箇所の集中地点がみられる。器種別分布の特徴は出土層位は，Ⅸa層に集中する。器種別分布（第158図）の特徴は，両集中地点の中間部に５の石核が分布しており，石核の周辺には遺物の空白地点がみられる。北東部と南西部の集中地点からは，微細剥離痕のある剥片が１・２点出土している。母岩別分布（第158図）の特徴は，北東部の集中地点においては，接合資料10が出土し，南西部の集中地点では接合資料９がそれぞれ出土している。

出土遺物　総計10点出土した。母岩器種組成は第43表のとおりである。器種組成は，製品がみられないが，微細剥離痕のある剥片４点・剥片５点出土しており，目的的な剥片の割合が高い。石核は１点出土している。母岩（石材）組成は，出土点数が少ないが，比較的多様な石材が量的にも多寡なく出土している。そのなかで，砂岩･チャートが比較的多く用いられている。母岩別にみると，黒曜石004は，微細剥離痕のある剥片が１点のみで単独出土である。同様に，珪質頁岩004は，石核が１点のみで単独出土である。

１は微細剥離痕のある剥片である。基部側を折断した後に，末端部に微細剥離がみられる。

２～４は，剥片である。２は，平坦打面で同一方向から連続的に剥離を行った縦長剥片である。３は平坦打面で，厚みのない縦長剥片である。４は厚みのある剥片で，打面部と末端部が折断されている。

５は石核である。節理面で分割された礫を素材として，節理面を打面に設定して，打点を順次転移して，縦長剥片を量産している。裏面に，自然面が大きく残っている。

６＋７は接合資料９である。背面構成をみると，６＋７の状態で，右側面の大きな剥離面を打面に設定して，７枚以上の横長剥片を剥離している。打面調整も非常に顕著である。その後，打面を上端部に転移して，頭部調整を行った後に，６の縦長剥片と７の横長剥片を連続して剥離している。いずれも，厚みのない剥片を素材としており，良質の粘板岩を用いており，縁辺部に微細剥離がみられる。

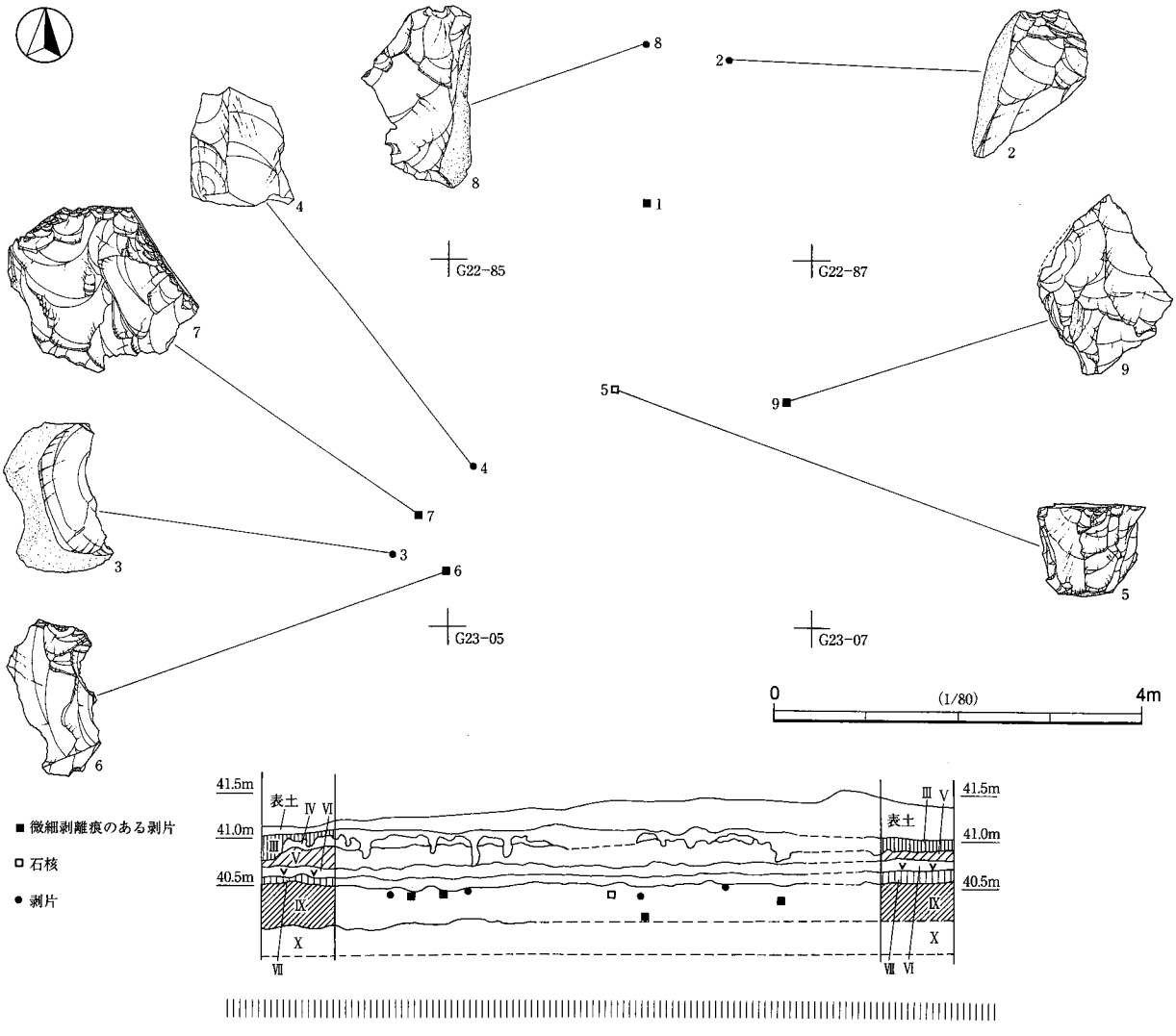
８＋９は接合資料10である。背面構成をみると，上端部を打面として，８・９と同一方向に連続的に剥

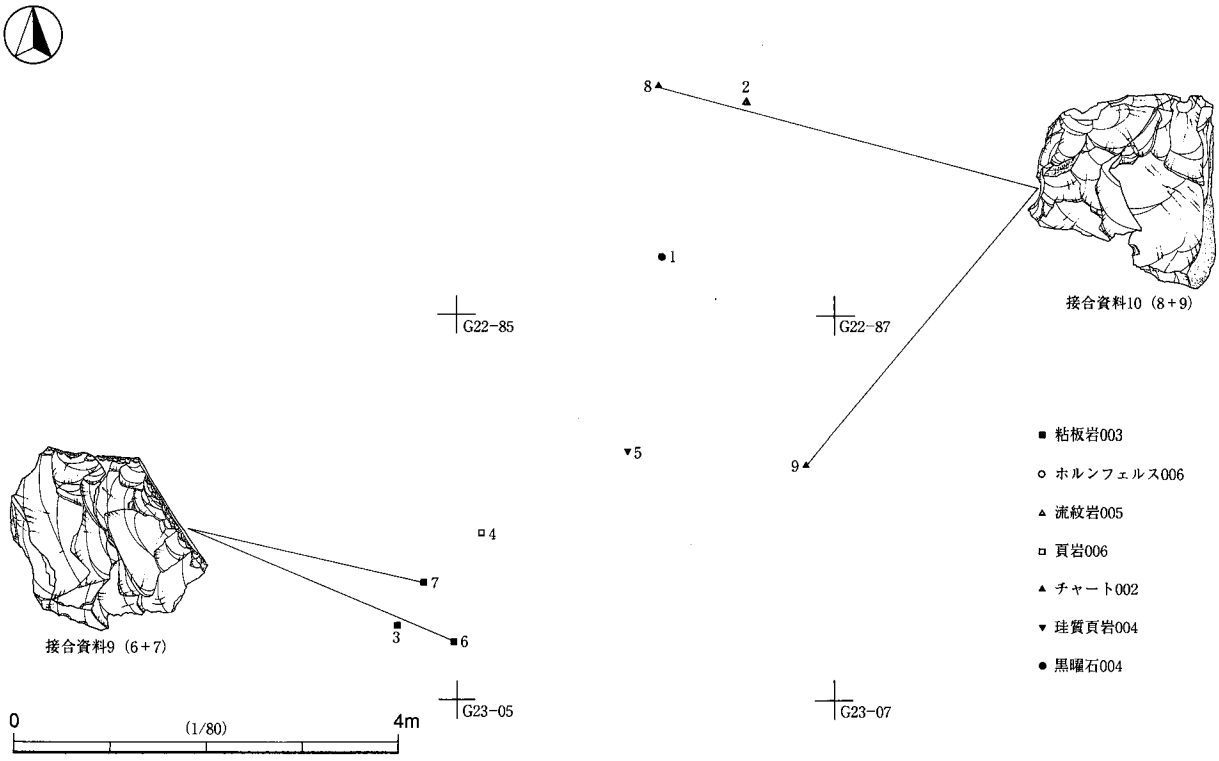
離していることがうかがえる。頭部調整が行われており，比較的厚みのない剥片が量産されている。8は中間部に最大厚のある縦長剥片である。9は横長剥片を素材として，末端部にあたる，右側縁上部を折断によって成形している。先端部に微細剥離痕がみられる。

第43表　第Ⅱb文化層 第26ブロック母岩器種組成表

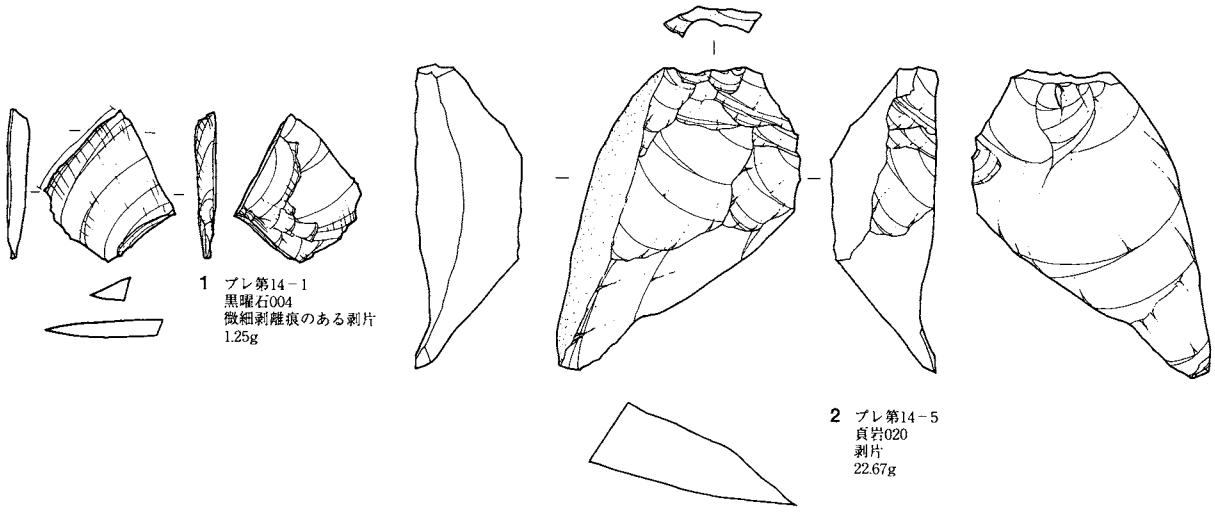
母岩名	母岩番号	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	総計	組成比（%）
黒曜石	004	1 1.25			1 1.25	10.00 0.45
黒曜石 点数合計 黒曜石 重量合計		1 1.25			1 1.25	10.00 0.45
ホルンフェルス	006			1 18.51	1 18.51	10.00 6.73
ホルンフェルス 点数合計 ホルンフェルス 重量合計				1 18.51	1 18.51	10.00 6.73
流紋岩	003			1 0.68	1 0.68	10.00 0.25
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計				1 0.68	1 0.68	10.00 0.25
頁岩	020			1 22.67	1 22.67	10.00 8.25
頁岩 点数合計 頁岩 重量合計				1 22.67	1 22.67	10.00 8.25
珪質頁岩	004		1 77.47		1 77.47	10.00 28.18
珪質頁岩 点数合計 珪質頁岩 重量合計			1 77.47		1 77.47	10.00 28.18
チャート	002	1 40.33		1 33.31	2 73.64	20.00 26.78
チャート 点数合計 チャート 重量合計		1 40.33		1 33.31	2 73.64	20.00 26.78
粘板岩	003	2 68.09		1 12.63	3 80.72	30.00 29.36
粘板岩 点数合計 粘板岩 重量合計		2 68.09		1 12.63	3 80.72	30.00 29.36
全体の点数合計 全体の重量合計		4 109.67	1 77.47	5 87.8	10 274.94	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		40.00 39.89	10.00 28.18	50.00 31.93	100.00 100.00	

〔上段:点数、 下段:重量(g)〕



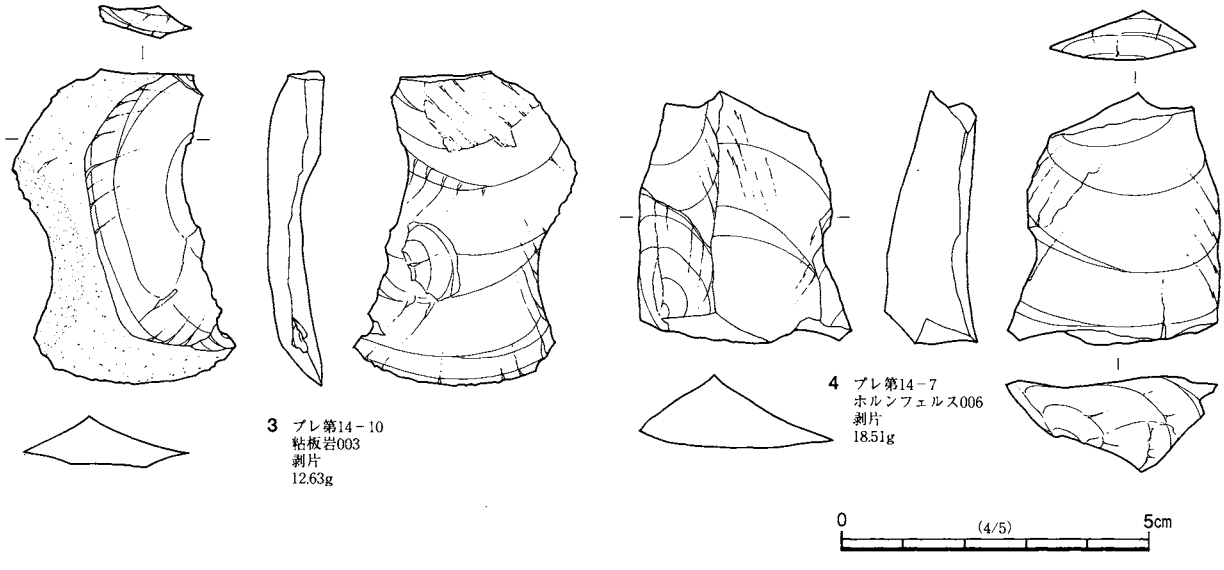


第158図　第Ⅱb文化層 第26ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図



1 ブレ第14－1
黒曜石004
微細剥離痕のある剥片
1.25g

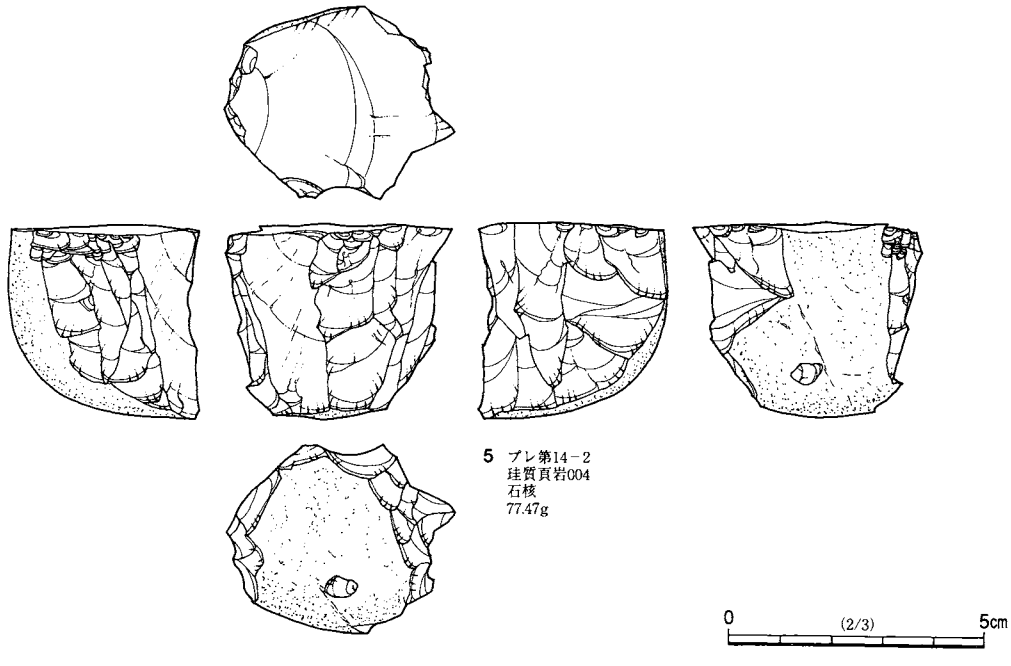
2 ブレ第14－5
頁岩020
剥片
22.67g



3 ブレ第14－10
粘板岩003
剥片
12.63g

4 ブレ第14－7
ホルンフェルス006
剥片
18.51g

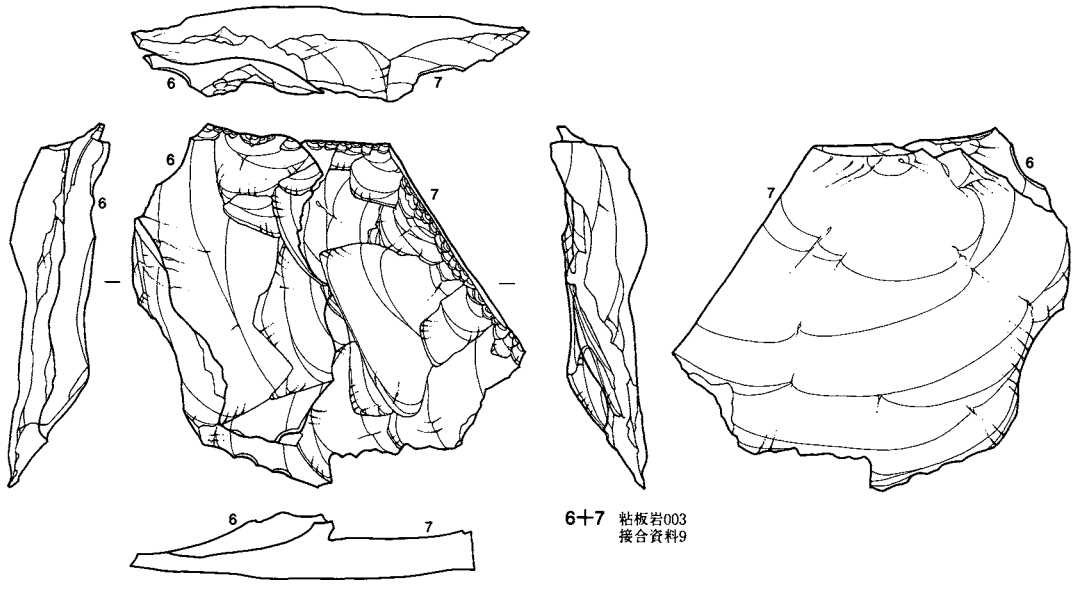
0 (4/5) 5cm



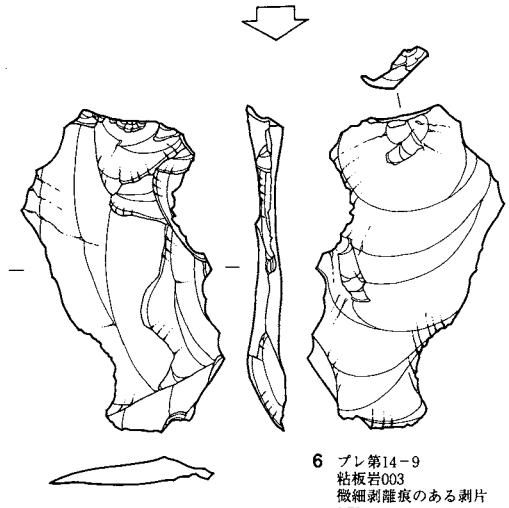
5 ブレ第14－2
珪質頁岩004
石核
77.47g

0 (2/3) 5cm

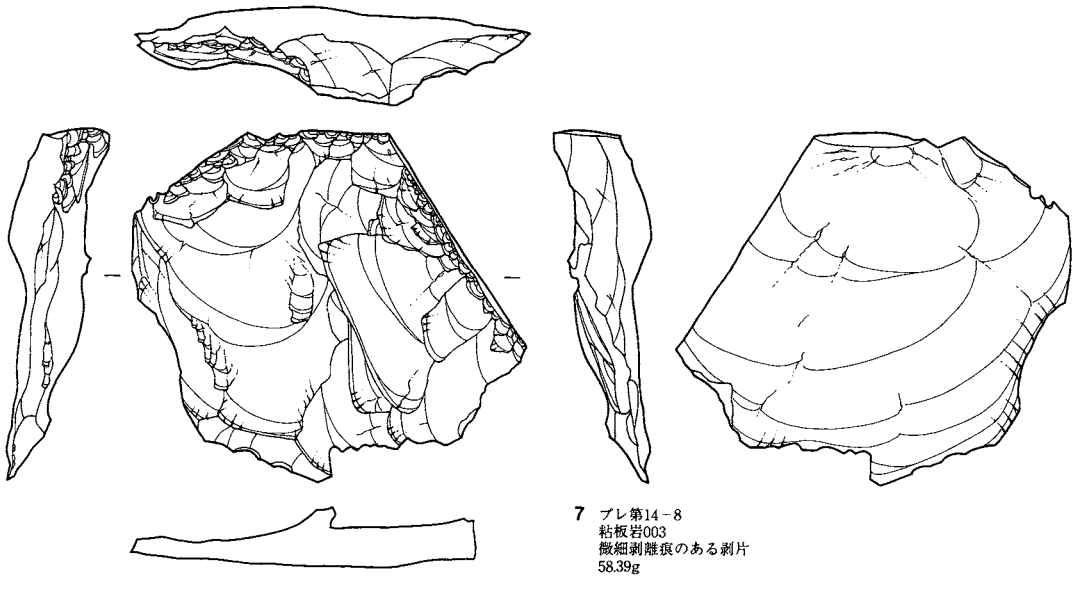
第159図　第Ⅱb文化層 第26ブロック出土石器（1）



6+7 粘板岩003
接合資料9



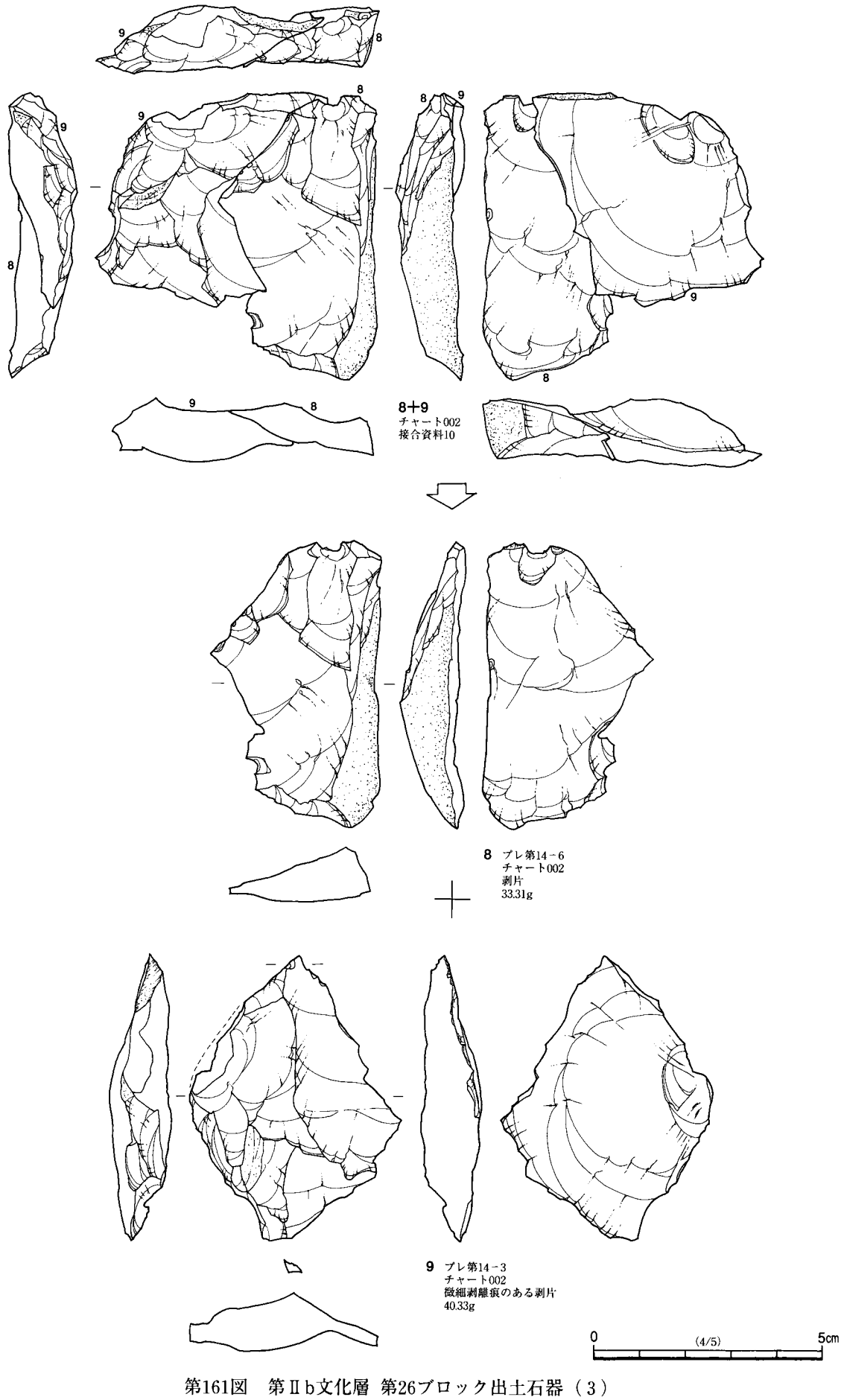
6 プレ第14－9
粘板岩003
微細剥離痕のある剥片
9.70g



7 プレ第14－8
粘板岩003
微細剥離痕のある剥片
58.39g

0 (4/5) 5cm

第160図　第Ⅱb文化層 第26ブロック出土石器（2）



第161図　第Ⅱb文化層 第26ブロック出土石器（3）

5　第Ⅲ文化層

第Ⅲ文化層の概要（第162図，第44表）

第162図でみられるように，第27ブロックの１ブロックのみで構成される。調査区北側の台地の平坦面に立地する。出土層位は，Ⅸa層～Ⅶ層にかけて出土する。Ⅸａ層に集中することから，Ⅸa層に生活面を持つと推定される。

出土点数は，６点（総重量300.52ｇ）である。母岩数は，5母岩である。接合する母岩は１母岩で，接合する点数は２点である。

石材器種組成は第44表のとおりである。器種は，砕片と礫のみの出土であるため，石器群の内容が明確でない。石材は，流紋岩・砂岩・チャートで構成される。

第44表　第Ⅲ文化層石材器種組成表

石材＼器種	砕片	礫	総計	組成比（%）
流紋岩	1 0.47	2 149	3 149.47	50.00 49.74
チャート		1 45	1 45	16.67 14.97
砂岩		2 106.05	2 106.05	33.33 35.29
点数合計 重量合計	1 0.47	5 300.05	6 300.52	100.00 100.00
点数組成比（%） 重量組成比（%）	16.67 0.16	83.33 99.84	100.00 100.00	

［上段:点数、下段:重量(g)］

①第27ブロック（第162図，第45・108表）

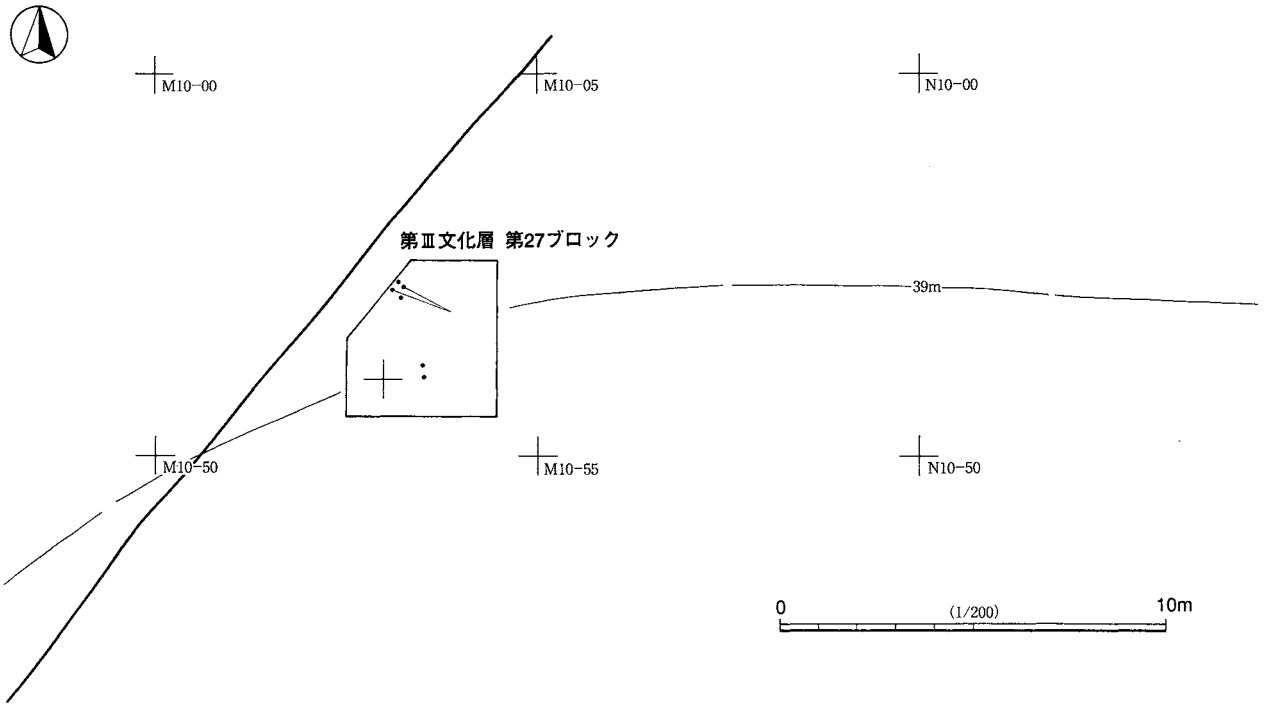
出土状況　平面分布は，約２ｍ×１ｍの楕円形の小範囲に分布する。器種別分布（第162図）の特徴は，礫･礫片で全て構成されることである。母岩別分布（第162図）の特徴は，接合資料１が出土している。出土層位は，Ⅸa層～Ⅶ層にかけて出土し，Ⅸa層に集中する。

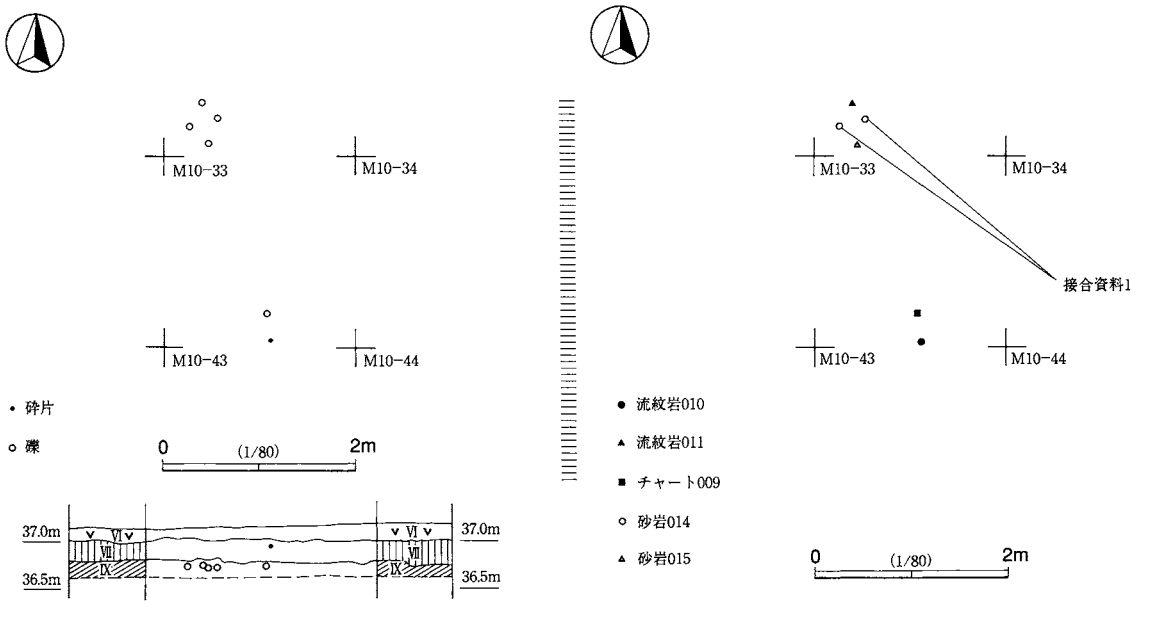
出土遺物　総計６点のみの出土である。母岩器種組成は第45表のとおりである。器種組成は，製品がみられず，砕片が１点，礫が５点出土しているのみである。石材組成は，粗悪な石材である流紋岩・チャート・砂岩が用いられている。礫が大半を占めることから，ブロックの内容は明確ではない。

第45表　第Ⅲ文化層 第27ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	砕片	礫	総計	組成比（%）
流紋岩	010	1 0.47	1 51	2 51.47	33.33 17.13
	011		1 98	1 98	16.67 32.61
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計		1 0.47	2 149	3 149.47	50.00 49.74
チャート	009		1 45	1 45	16.67 14.97
チャート 点数合計 チャート 重量合計			1 45	1 45	16.67 14.97
砂岩	014		1 1.05	1 1.05	16.67 0.35
	015		1 105	1 105	16.67 34.94
砂岩 点数合計 砂岩 重量合計			2 106.05	2 106.05	33.33 35.29
全体の点数合計 全体の重量合計		1 0.47	5 300.05	6 300.52	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		16.67 0.16	83.33 99.84	100.00 100.00	

［上段:点数、下段:重量(g)］





第162図　第Ⅲ文化層分布状況

6　第Ⅳ文化層

第Ⅳ文化層の概要（第163図，第46・54表）

第Ⅳ文化層は，第Ⅳa文化層と第Ⅳb文化層の２文化層に分離される。第163図でみられるように，調査区北側に第Ⅳa文化層が分布し，調査区南側に第Ⅳb文化層が分布する。出土層位は，Ⅸa層～Ⅵ層にかけて出土している。第Ⅳa文化層と第Ⅳb文化層の出土層位は，ほぼ同一層準のⅦ層に集中している。分布も調査区の北側と南側でかなり離れていることから，先後関係は明確ではない。

（１）第Ⅳa文化層（第163・164図，第46表）

第Ⅳa文化層の概要

第28～34ブロックの７ブロックで構成される。調査区北側に分布し，平面的には，礫群を主体とする第Ⅶ文化層と重複するが，出土層位が第Ⅶ文化層がⅢ層から出土しており，第Ⅳa文化層がⅦ層～Ⅵ層にかけて出土しており，明確に下位に分布することから，第Ⅶ文化層と分離することができた。Ⅶ層に集中することから，Ⅶ層に生活面を持つと推定される。ブロック間の接合がみられることから，同一時期に形成されたと推定できる。

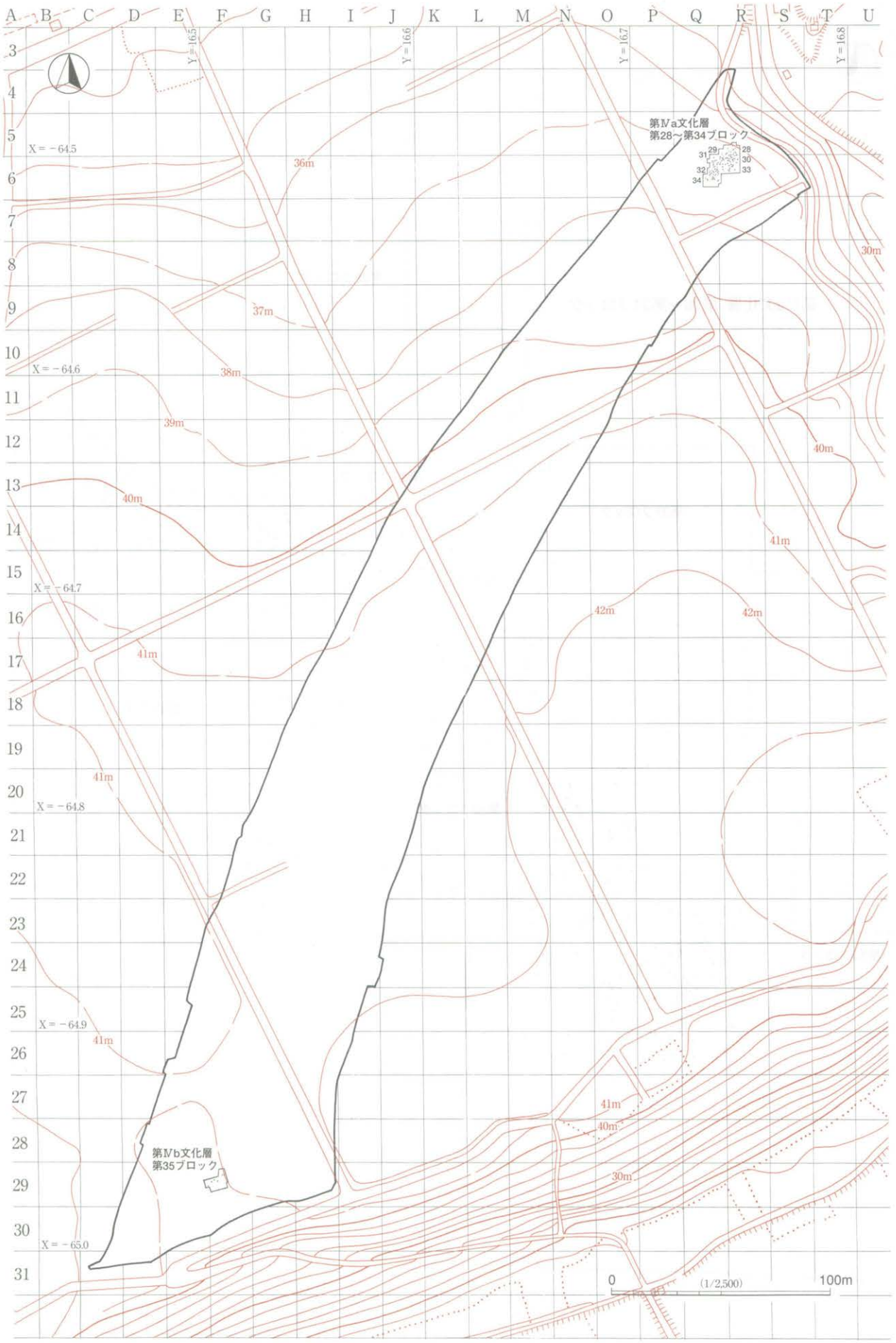
出土点数は，414点（総重量7,463.75ｇ）である。母岩数は121母岩である。ブロック間で共有する母岩は20母岩である。接合する母岩は15母岩で，接合する点数は41点である。ブロック間接合がみられる母岩は，３母岩みられる。このように，第164図でみられるように，ブロック間の接合が多くみられることやブロック間で共有する母岩が多いことから，第Ⅳa文化層の石器群は，同時期に形成されたものと思われる。

石材器種組成は第46表のとおりである。主要器種は，ナイフ形石器・彫器・削器・楔形石器・敲石・台石で構成されており，他の文化層に比べて多種で構成されているという特徴がある。主要石材は，嶺岡産珪質頁岩・頁岩で構成されている。

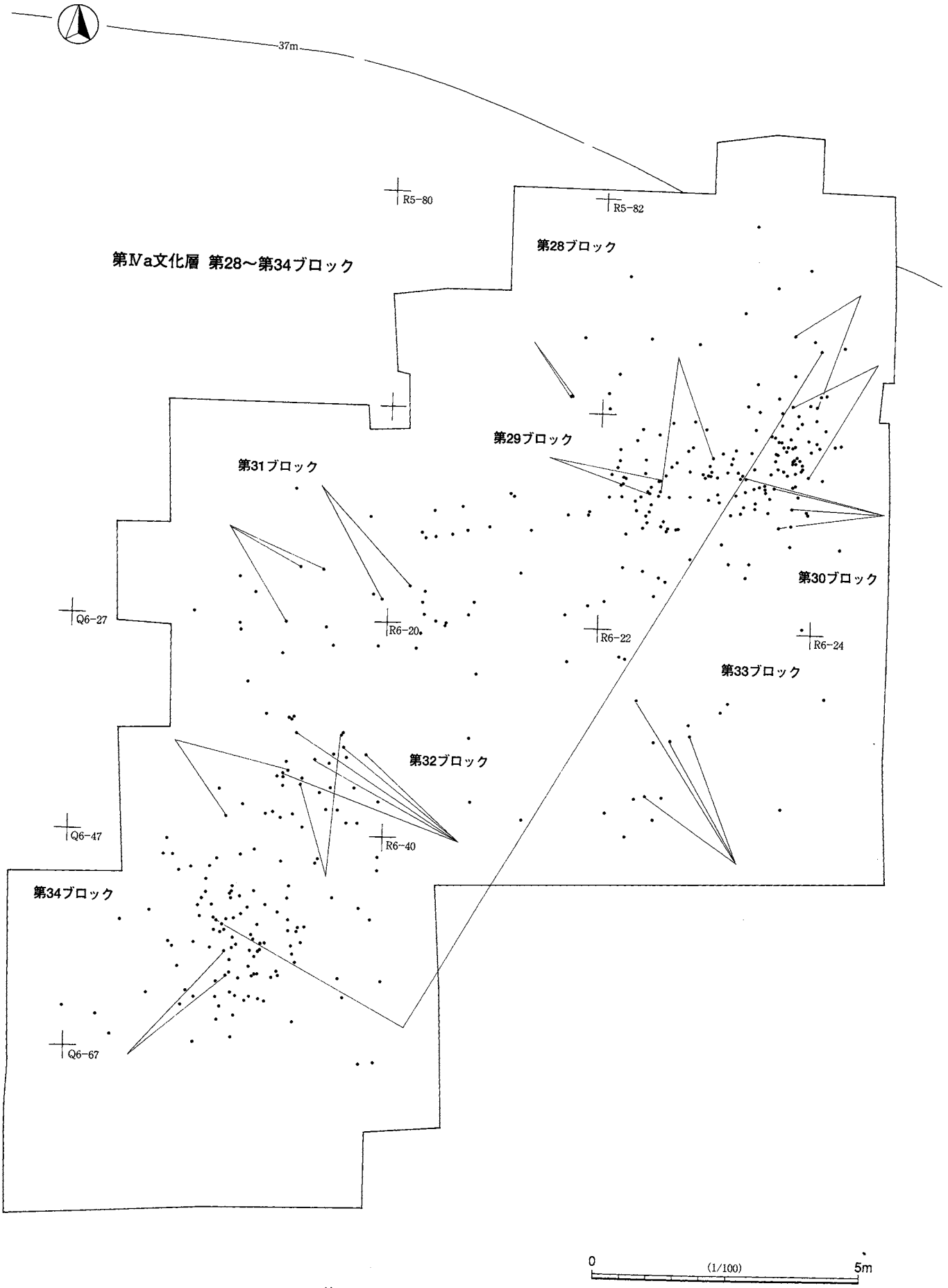
第46表　第Ⅳa文化層石材器種組成表

石材＼器種	ナイフ形石器	彫器	楔形石器	削器	敲石	台石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（％）
黒曜石			1 1.07				1 1.46	3 8.98		1 0.58	1 0.18			7 12.27	1.69 0.16
ガラス質黒色安山岩										9 61.98				9 61.98	2.17 0.83
トロトロ石（安山岩）										1 2.03		2 185		3 187.03	0.72 2.51
ホルンフェルス										4 17.15	2 1.49	2 11.92		8 30.56	1.93 0.41
流紋岩					1 490					1 7.36		11 253.3	4 1728	17 2478.66	4.11 33.21
頁岩								1 4.17			2 2.1			3 6.27	0.72 0.08
珪質頁岩	1 18.32		1 1.91							3 31.66	1 1.21			6 53.1	1.45 0.71
嶺岡産珪質頁岩	2 10.79	1 13.26	15 120.44	1 26.52			51 493.8	23 294.46	6 119.79	158 588.48	66 37.28	1 0.15		324 1704.97	78.26 22.84
チャート			2 19.23				2 17.28		1 187	12 145.52	4 1.63	2 115.64	2 225	25 711.3	6.04 9.53
玉髄（メノウ含む）							1 5.01			2 5.41	1 0.09			4 10.51	0.97 0.14
砂岩					3 851	1 1297						3 50.9	1 8.2	8 2207.1	1.93 29.57
点数合計 重量合計	3 29.11	1 13.26	19 142.65	1 26.52	4 1341	1 1297	55 517.55	27 307.61	7 306.79	191 860.17	77 43.98	21 616.91	7 1961.2	414 7463.75	100.00 100.00
点数組成比（％） 重量組成比（％）	0.72 0.39	0.24 0.18	4.59 1.91	0.24 0.36	0.97 17.97	0.24 17.38	13.29 6.93	6.52 4.12	1.69 4.11	46.14 11.52	18.60 0.59	5.07 8.27	1.69 26.28	100.00 100.00	

［上段：点数、　下段：重量(g)］



第163図　第Ⅳ文化層分布状況



第164図　第Ⅳa文化層分布状況

①第28ブロック（第165・166図，第47・109表，図版３・37）

出土状況　平面分布は，約５ｍ×２ｍの楕円形の範囲に散漫に分布する。分布の状況を詳細にみると，北東部と南西部の２箇所に集中地点がみられる。出土層位は，Ⅸa層上部からⅤ層にかけて出土しており，Ⅶ層に集中する。

器種別分布（第165図）の特徴は，北東部の集中地点から楔形石器･二次加工のある剥片が点数が少ないながらもまとまって出土している。南西部からは，剥片・砕片がまとまって出土している。

母岩別分布（第165図）の特徴は，接合資料がわずかに接合資料９の１資料のみの出土であるが，非常に近接して出土した資料である。嶺岡産珪質頁岩002はブロック全体に分布しているが，嶺岡産珪質頁岩001は南西部にまとまって出土している。

出土遺物　総計14点出土した。母岩器種組成は第47表のとおりである。器種組成は，製品がほとんどみられず，楔形石器１点，二次加工のある剥片２点が出土しているのみである。母岩（石材）組成は，嶺岡産珪質頁岩12点とチャート２点出土しており，石材の種類は非常に少ない。母岩別にみると，チャート001は，楔形石器が単独出土である。

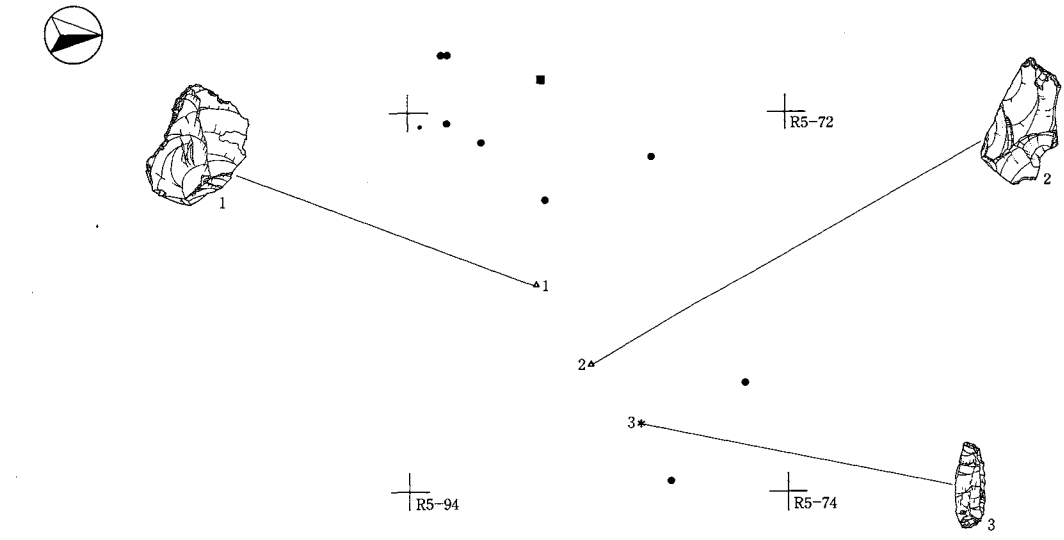
１・２は二次加工のある剥片である。１は，幅広の打面で，三角形状の剥片を素材としている。打面部にあたる右側縁下部に，粗い調整加工を階段状に施し，先端部を尖らせるような細かい調整加工が施されている。２は横長剥片を素材としている。打面部にあたる右側縁中部から上部にかけて，背面側から折断して成形した後に，先端部を尖らせるような調整加工が施されている。１・２とも，先端部を尖らせるような調整加工が施されることと，素材の打面部を粗く調整して成形加工している点で共通する特徴がある。

３は楔形石器である。両極剥離によって剥離された縦長剥片を素材として，さらに上下両端部に両極剥離が施されている。

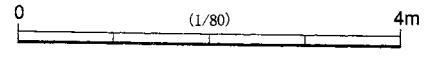
第47表　第Ⅳa文化層 第28ブロック母岩器種組成表

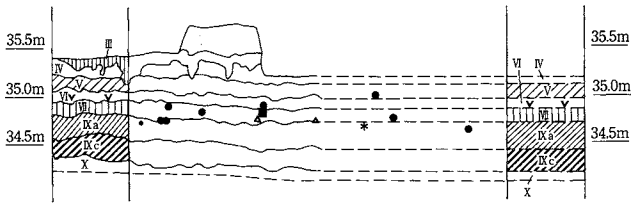
母岩名	母岩番号	楔形石器	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	剥片	砕片	総計	組成比（%）
嶺岡産珪質頁岩	001				3 9.61	1 0.22	4 9.83	28.57 22.67
	002		2 16.62	1 2.98	4 6.49		7 26.09	50.00 60.17
	012					1 0.34	1 0.34	7.14 0.78
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計			2 16.62	1 2.98	7 16.1	2 0.56	12 36.26	85.71 83.63
チャート	001	1 1.63					1 1.63	7.14 3.76
	002				1 5.47		1 5.47	7.14 12.62
チャート 点数合計 チャート 重量合計		1 1.63			1 5.47		2 7.1	14.29 16.37
全体の 点数合計 全体の 重量合計		1 1.63	2 16.62	1 2.98	8 21.57	2 0.56	14 43.36	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		7.14 3.76	14.29 38.33	7.14 6.87	57.14 49.75	14.29 1.29	100.00 100.00	

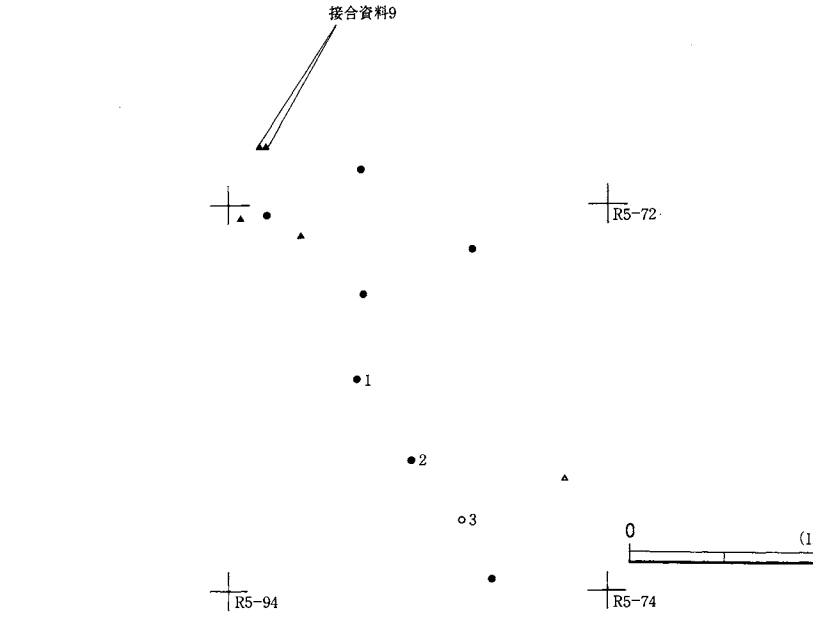
［上段:点数、 下段:重量(g)］



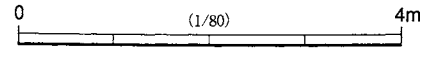
＊ 楔形石器
▲ 二次加工のある剥片
■ 微細剥離痕のある剥片
● 剥片
• 砕片



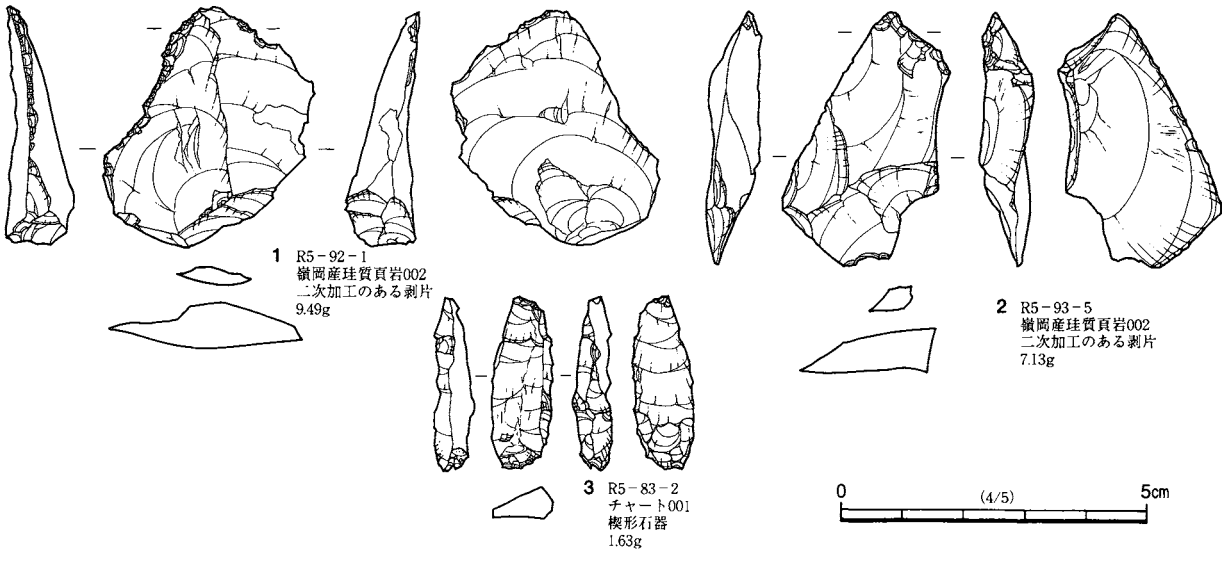




▲ 嶺岡産珪質頁岩001
● 嶺岡産珪質頁岩002
■ 嶺岡産珪質頁岩012
○ チャート001
△ チャート002



第165図　第Ⅳa文化層 第28ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図



第166図　第Ⅳa文化層 第28ブロック出土石器

②第29ブロック（第167～170図，第48・109・110表，図版３・37・40）

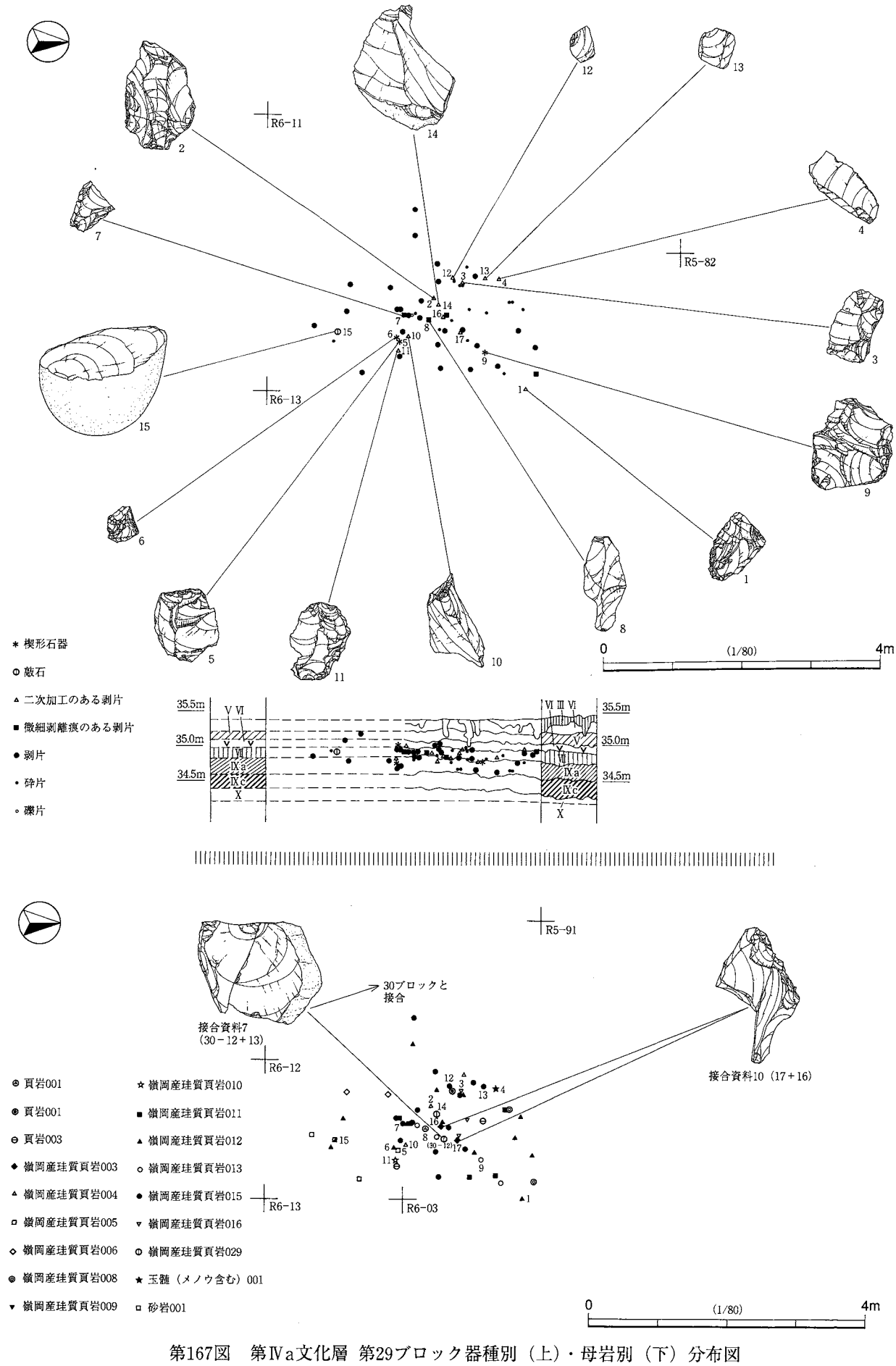
出土状況　平面分布は，約４ｍ×３ｍの円形の小範囲に密集する。分布状況を詳細にみると，南部と中央部と北部の３箇所の集中地点がみられる。出土層位は，Ⅸａ層下部からⅤ層にかけて出土しており，Ⅶ層に集中する。

器種別分布（第167図）の特徴は，中央部に比較的多くの製品が出土しており，北部はあまり製品がみられない。南部から敲石は１点出土しているが，敲石の出土している近辺には遺物の空白地点がみられる。

母岩別分布（第167図）の特徴は，中央部から接合資料が２資料ほど中央部から出土している。接合資料７は，第30ブロックと接合関係がみられる。接合資料10は，剥片を素材としており，折断剥離を行って製品を作出している。

出土遺物　総計29点出土した。母岩器種組成は第48表のとおりである。器種組成は，製品では楔形石器２点，二次加工のある剥片11点，敲石１点出土している。母岩（石材）組成は，４種類の石材で構成されており，比較的，石材の種類が少ない。そのなかで，嶺岡産珪質頁岩が大部（91.8%，総重量34.39ｇ）を占める。母岩別にみると，嶺岡産珪質頁岩は，複数の石器で構成されており，本ブロックで石器製作を行った可能性が高い。それに対して，頁岩・玉髄（メノウ含む）・砂岩は，すべて単品で出土しており，製品として搬入されたものと思われる。

１～４は二次加工のある剥片である。１は器体全面に及ぶ調整加工が施されているため，素材は不明である。表面右側縁に階段状の加工を施した後に，裏面右側縁に鋸歯状の調整加工を施している。その後，裏面左側面下部に平坦で大きな剥離を行った後に，折断に近い調整加工が施されている。最後に，表面左側面下部に細かい調整加工が施されている。２は縦長剥片を素材として，打面部に集中的に調整加工が施されている。最初に，打瘤部を除去するように，腹面右側縁下部から，器体の中間部まで及ぶ平坦な調整加工を施した後に，腹面下部から比較的大きな剥離が２回以上施されている。これらの調整加工によって，打瘤部をほぼ除去する成形加工が行われている。その後，腹面右側縁中部と腹面左側縁中部に細かい調整



第167図　第Ⅳa文化層 第29ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図

加工が連続的に施されている。最後に，背面左側縁下部に細かい調整加工が施されている。1・2ともに，器体の中央部まで及ぶ平坦な調整加工を行って，打瘤を除去するとともに，器体を成形している。

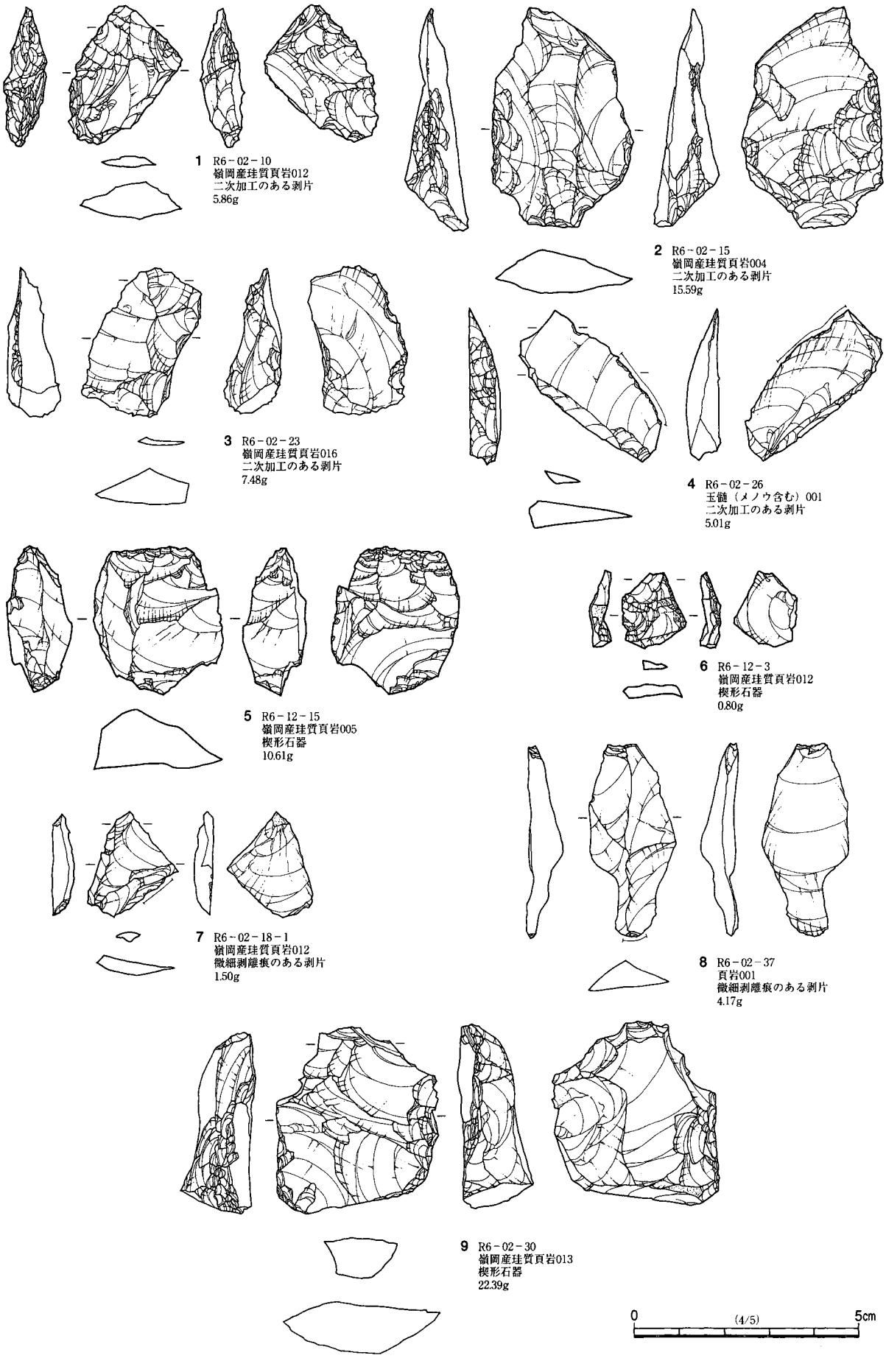
3は横長剥片を素材として，打面部にあたる右側縁を腹面側から折断に近い調整加工によって，成形されている。素材の末端部にあたる腹面右側縁に急角度で粗い調整加工が連続的に施されている。先端部は折断に近い調整加工が施されている。4は横長剥片を素材としている。打面部側から，折断に近い調整加工が施されている。この折断された剥離面の上部から折断調整が施され，下部には平坦な調整加工が施され，中間部には背面側から急角度の調整加工が施されている。素材の縁辺にあたる背面右側縁には，微細剥離が背腹両面にみられる。

5・6・9は楔形石器である。5は厚みのある剥片を素材として，上下両端から両極剥離を顕著に行っている。両側縁には，微細な剥離がみられる。6は小型の貝殻状の剥片を用いて，打面部と末端部を対に

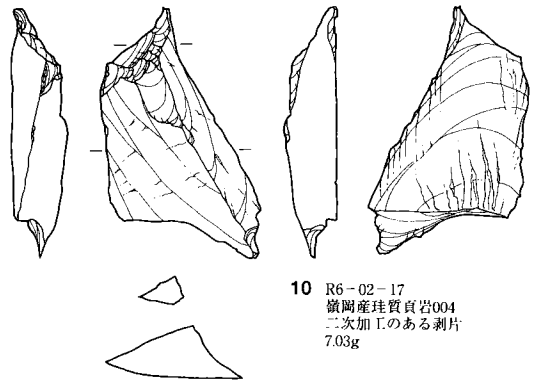
第48表　第Ⅳa文化層 第29ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	楔形石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	剥片	砕片	礫片	総計	組成比（%）
頁岩	001				1 4.17				1 4.17	1.64 0.62
	002						1 1.93		1 1.93	1.64 0.29
	003						1 0.17		1 0.17	1.64 0.03
頁岩 点数合計 頁岩 重量合計					1 4.17		2 2.1		3 6.27	4.92 0.93
嶺岡産珪質頁岩	003			2 11.47					2 11.47	3.28 1.71
	004			2 22.62			1 1.61		3 24.23	4.92 3.61
	005	1 10.61				2 9.57			3 20.18	4.92 3.01
	006					2 4.68			2 4.68	3.28 0.70
	008				1 1.59		1 0.55		2 2.14	3.28 0.32
	009					3 13			3 13	4.92 1.94
	010			1 5.45					1 5.45	1.64 0.81
	011					3 6.39	1 0.21	1 0.15	5 6.75	8.20 1.01
	012	1 0.8		1 5.86	2 3.33	3 13.57	3 1.82		10 25.38	16.39 3.78
	013	1 22.39				1 18.23	2 2.04		4 42.66	6.56 6.36
	015			2 1.66		10 27.22	4 3.34		16 32.22	26.23 4.80
	016			1 7.48		1 1.49	1 0.26		3 9.23	4.92 1.38
	029			1 26.36	1 6.98				2 33.34	3.28 4.97
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計		3 33.8		10 80.9	4 11.9	25 94.15	13 9.83	1 0.15	56 230.73	91.80 34.39
玉髄(メノウ含む)	001			1 5.01					1 5.01	1.64 0.75
玉髄(メノウ含む) 点数合計 玉髄(メノウ含む) 重量合計				1 5.01					1 5.01	1.64 0.75
砂岩	001		1 429						1 429	1.64 63.93
砂岩 点数合計 砂岩 重量合計			1 429						1 429	1.64 63.93
全体の点数合計 全体の重量合計		3 33.8	1 429	11 85.91	5 16.07	25 94.15	15 11.93	1 0.15	61 671.01	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		4.92 5.04	1.64 63.93	18.03 12.80	8.20 2.39	40.98 14.03	24.59 1.78	1.64 0.02	100.00 100.00	

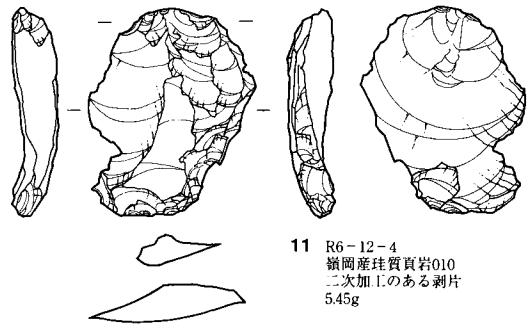
［上段:点数、下段:重量(g)］



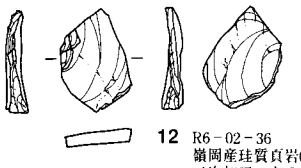
第168図　第Ⅳa文化層 第29ブロック出土石器（1）



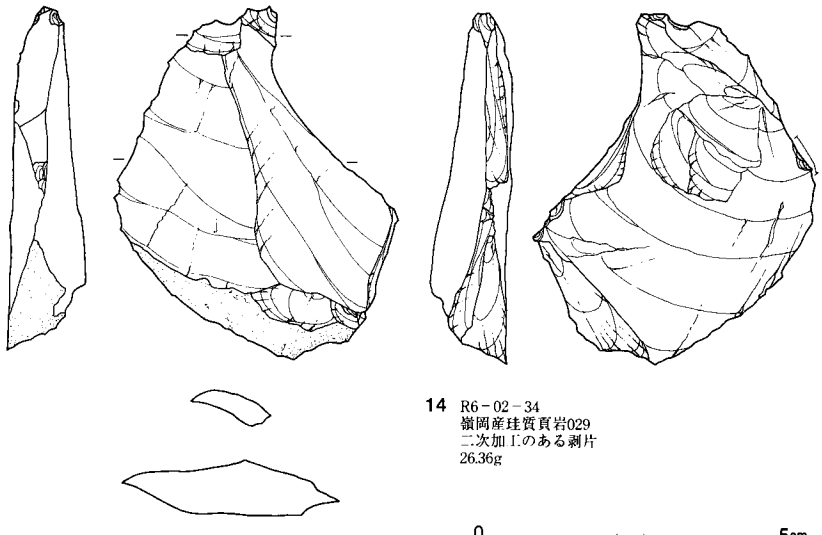
10 R6－02－17
嶺岡産珪質頁岩004
二次加工のある剥片
7.03g



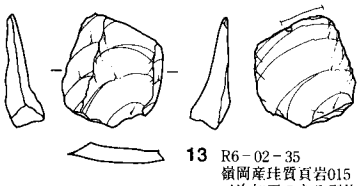
11 R6－12－4
嶺岡産珪質頁岩010
二次加工のある剥片
5.45g



12 R6－02－36
嶺岡産珪質頁岩015
二次加工のある剥片
0.59g

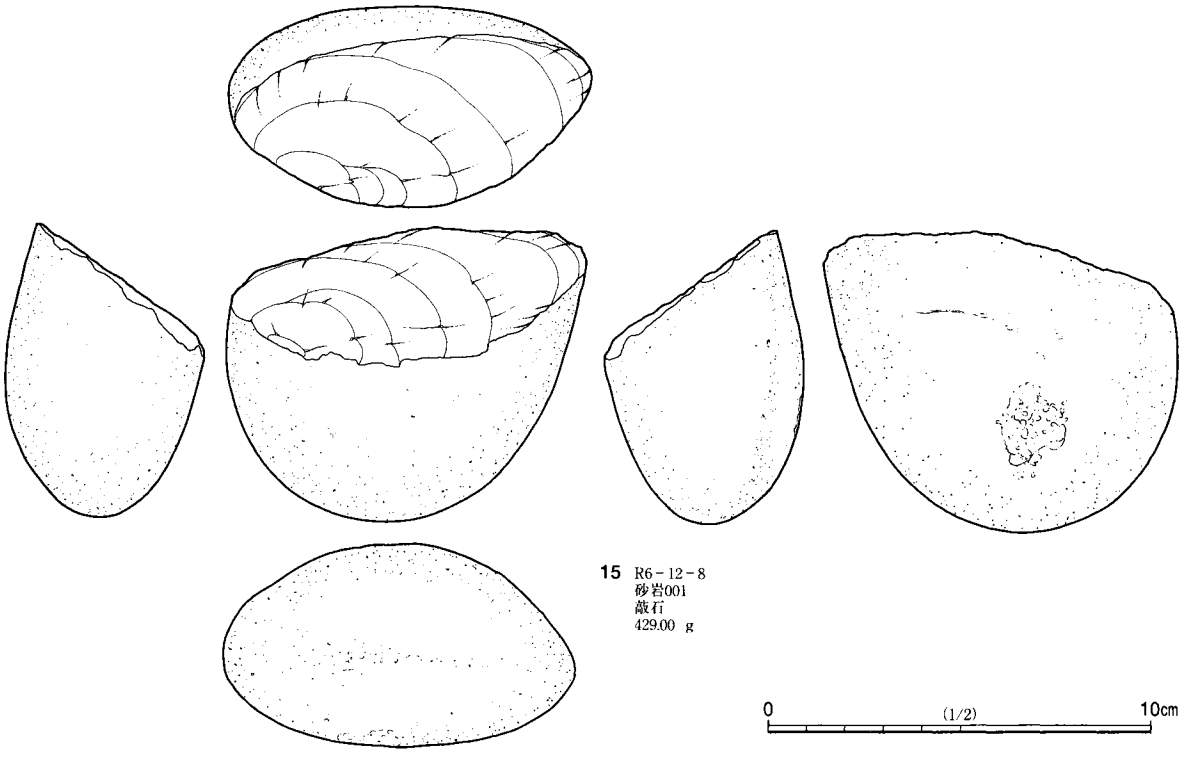


14 R6－02－34
嶺岡産珪質頁岩029
二次加工のある剥片
26.36g



13 R6－02－35
嶺岡産珪質頁岩015
二次加工のある剥片
1.07g

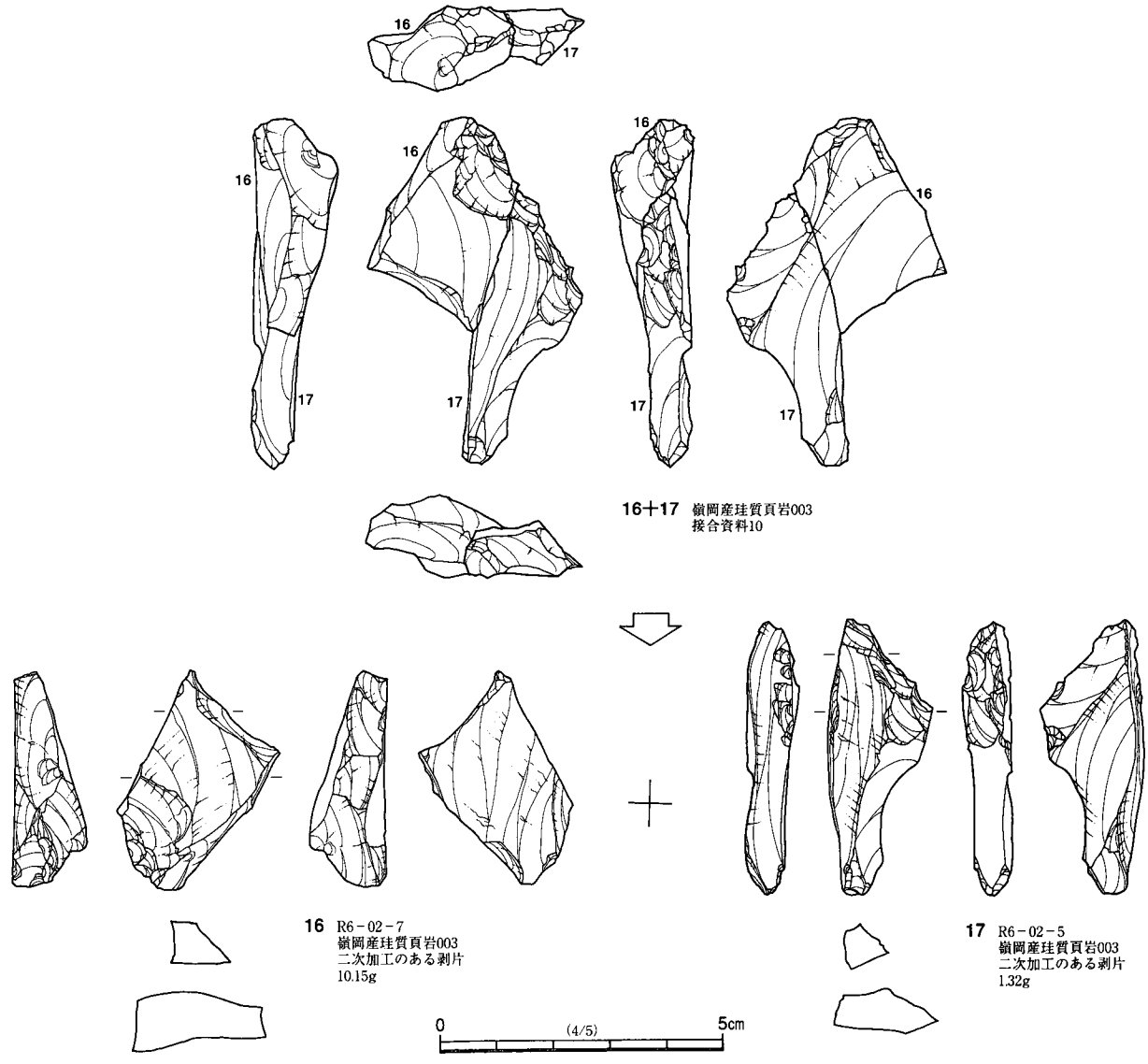
0 (4/5) 5cm



15 R6－12－8
砂岩001
敲石
429.00 g

0 (1/2) 10cm

第169図　第Ⅳa文化層 第29ブロック出土石器（2）



第170図　第Ⅳa文化層 第29ブロック出土石器（3）

して両極剥離が行われている。9は厚みのある剥片を素材として，左右両端から両極剥離が繰り返し行われている。先端部は，背腹両面から，鋸歯状の調整加工が行われている。

7・8は微細剥離痕のある剥片である。7は小型の剥片を素材として，末端部に微細剥離がみられる。8は中間部に最大厚のある縦長剥片を素材として，末端部に微細剥離がみられる。打面部も折断に近い剥離がみられる。両極剥離が行われた可能性もある。

10～14は二次加工のある剥片である。いずれも，不定形な剥片を素材としており，サイズも異なる。10は，打面部と背面左側縁上部が折断されている。背面左側面上部は，折断後に細かい調整加工が施されている。11は打面が線状の幅広の剥片を素材としている。右側縁を腹面側から折断後に，下端部に背腹両面から粗い調整加工が施されている。12は横長剥片を素材として，打面部と末端部を折断して成形した後に，背面右側縁下部に細かい調整加工が施されている。13は幅広の剥片を素材として，末端部にあたる腹面左側面上部に，細かい調整加工が施されている。14は厚みのある幅広の剥片を素材としている。末端部にあたる右側縁を背腹両面から折断して成形した後に，先端部を尖らせるような調整加工が施されている。

15は敲石である。比較的大きくて，扁平な円礫を素材として，裏面平坦部の下部に著しい敲打痕がみられる。下端部の縁辺部には，敲打痕とも捉えることができる凹みがみられる。器体の中央部から大きく破損している。表面中央部を強く敲打した際に，破損した可能性もある。

16＋17は接合資料10である。16＋17の接合した状態で，横長剥片を素材として，右側縁上部を背腹両面から鋸歯状の粗い調整加工が集中的に施されている。左側縁上部は折断されている。その後，左側縁下端部から調整加工を施した際に，16と17が分割されたものと思われる。分割後，16と17は，折断面に調整加工が施されている。16は右側縁上部に粗い調整加工を施した後に，先端部に細かい調整加工が施されている。17は折断面である左側縁上部に，背面側から細かい調整加工が施されており，左側縁下端部にも細かい調整加工が施されている。

③第30ブロック（第171～177図，第49・110・111表，図版３・37・38・40）

出土状況　平面分布は，約５ｍ×３ｍの楕円形の範囲に密集する。分布状況を詳細にみると，北東部と南西部の２箇所の集中地点がある。出土層位は，Ⅸa層下部～Ⅴ層にかけて出土しており，Ⅸa層上部～Ⅶ層下部に集中する。

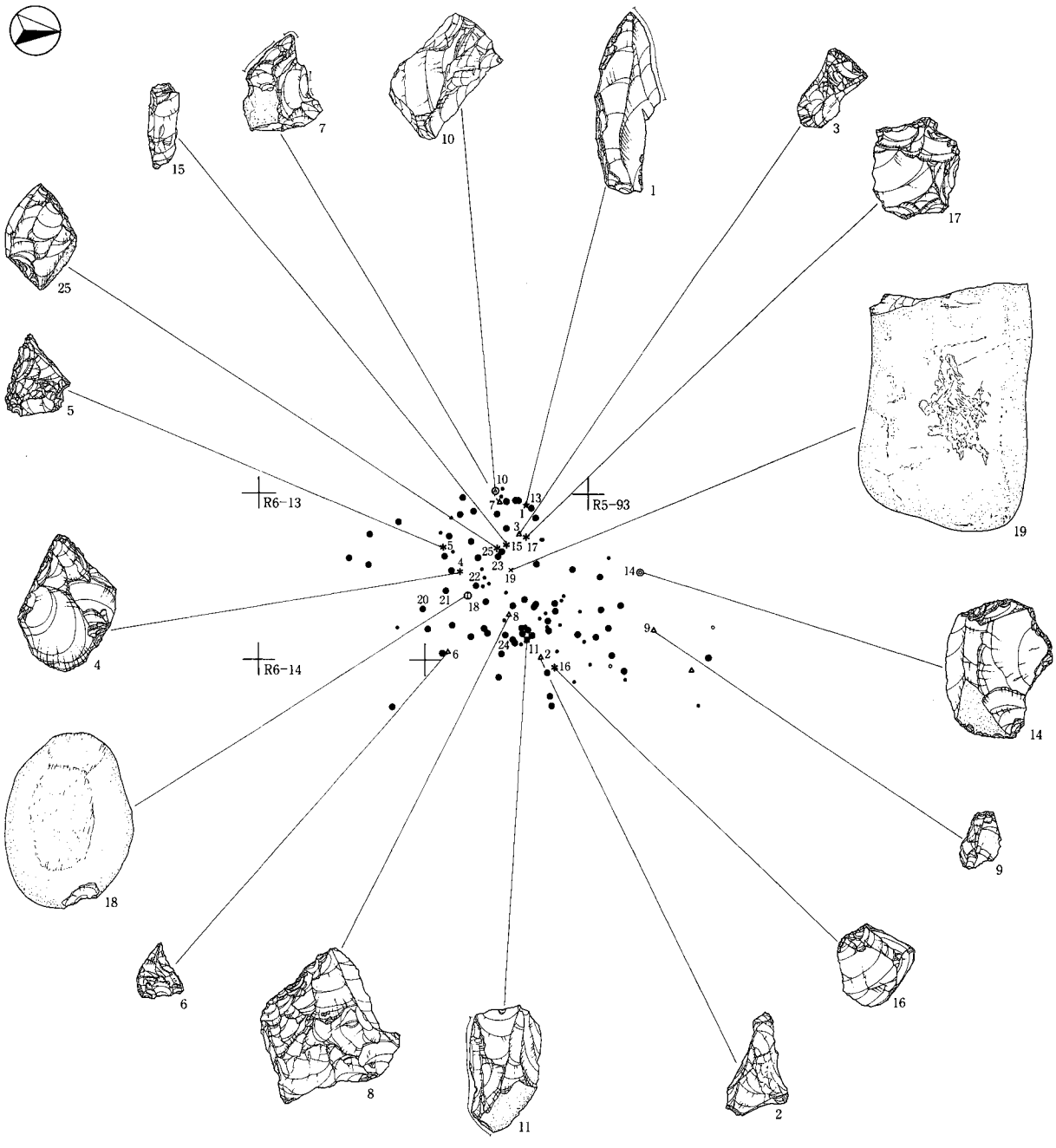
器種別分布（第171図）の特徴は，台石１点･敲石１点出土しているが，いずれも，ブロックの中心部から出土しており，台石・敲石の近辺には遺物の空白地点がみられる。楔形石器は，台石と敲石の周辺に分布しており，楔形石器と台石・敲石との強い関連が想定される。ナイフ形石器・彫器・二次加工のある剥片等の製品の大半は，南西部の集中地点にまとまって出土している。北東部は，剥片・砕片がまとまって出土している。

母岩別分布（第172図）の特徴は，南西部に接合資料が多くみられる。接合資料14は，両極剥離によって作出された楔形石器の接合資料であるが，台石を中心にして，楔形石器が接合している。接合資料６・７は，剥片を素材としており，折断により分割された剥片が他のブロックと接合している。本ブロックで比較的多い13点で構成されている嶺岡産珪質頁岩026はブロック全体に散漫に分布している。

出土遺物　総計114点出土した。母岩器種組成は第49表のとおりである。器種組成は，製品では，ナイフ形石器１点，彫器１点，楔形石器６点，削器１点，敲石１点，台石１点，二次加工のある剥片７点である。特に，楔形石器と敲石・台石とのセット関係は，両極剥離で石器を生産したことを示している。台石は，大型の扁平な楕円形礫を用いており，両極剥離の際に台石の上に石器を置いたときの傷跡と思われる１㎜程度の幅を持つ線状痕が多数みられる。また，二次加工のある剥片や剥片も，両極剥離で生産されたと思われる末端部からの反発痕がみられるものが多い。このように本ブロックにおける剥片生産の特徴は，両極剥離を多用して，石器を生産していることといえよう。

母岩（石材）組成は，多種の石材で構成されているが，嶺岡産珪質頁岩が101点（88.6%，総重量416.34ｇ）出土しており，非常に多く用いられている。母岩別にみると，嶺岡産珪質頁岩はほとんどの母岩が複数で構成されており，本ブロックで石器製作を行った可能性が高い。それに対して，その他の石材は母岩単位でみると，ほとんどのものが，単品で出土しており，多くても３点で構成されており，製品で搬入されたものである可能性が高い。

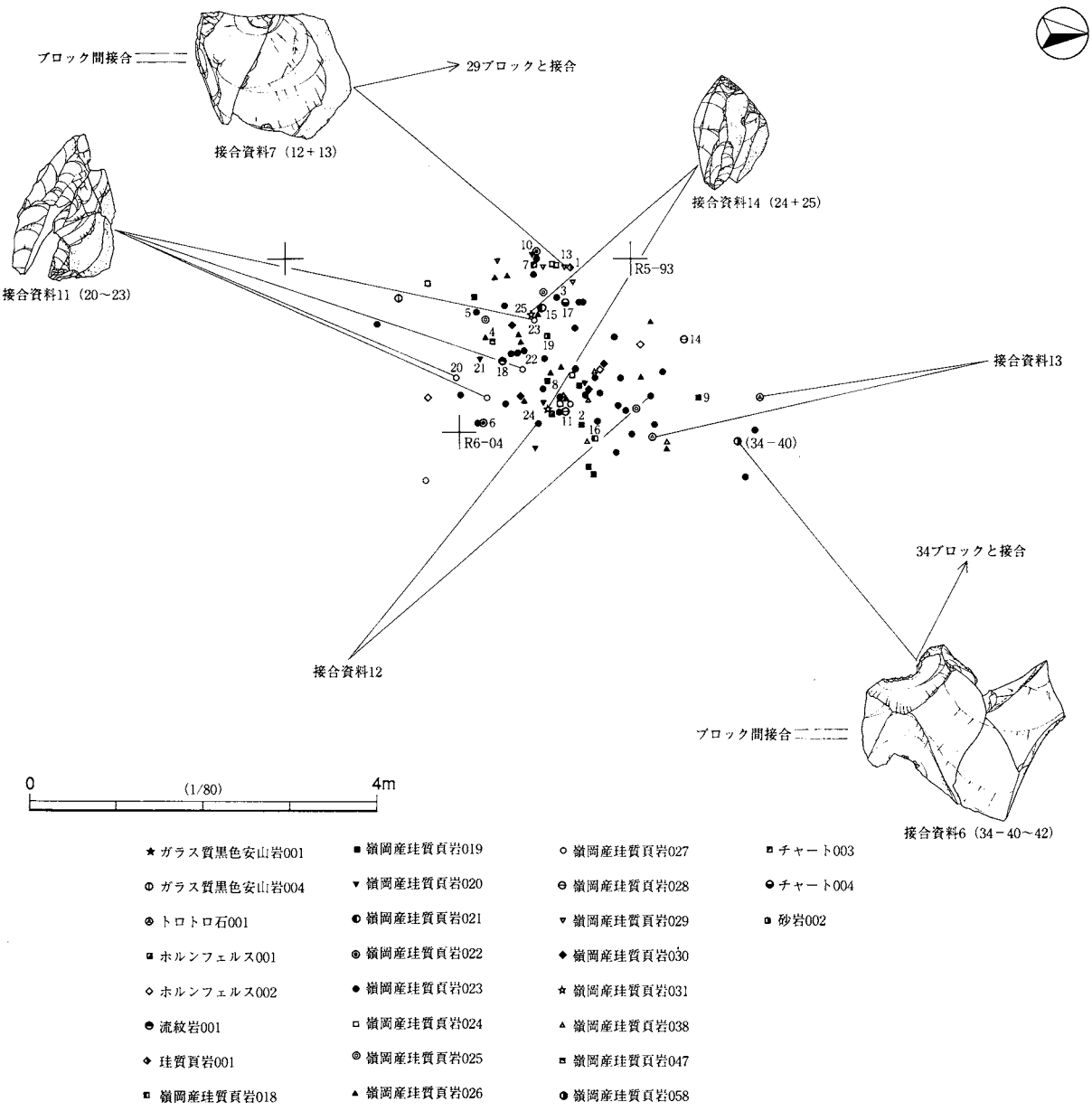
１はナイフ形石器である。打点部が分厚く，末端部が薄い石刃を素材としている。主軸と主要剥離面方向が一致し，打面を基部に設定している。腹面左側縁下部から２・３枚剥離して打瘤を除去している。左



★ ナイフ形石器
◎ 彫器
✱ 楔形石器
◎ 削器
⊕ 敲石
× 台石
△ 二次加工のある剥片
■ 微細剥離痕のある剥片
● 剥片
• 砕片
◦ 礫片

0 (1/80) 4m

第171図　第Ⅳa文化層 第30ブロック器種別分布図



第172図　第Ⅳa文化層 第30ブロック母岩別分布図

側縁は，急角度のブランティング加工が施されている。左側縁下部は，打点部が厚みがあるために，背腹両面から急角度の調整加工が施されている。右側縁下半部は，背面側からやや粗い調整加工が施されている。右側縁上半部は，微細剥離がみられる。

2・3は，二次加工のある剥片である。横長剥片を素材として，打面部側を折断に近い調整加工を施し，先端部にやや粗い調整加工が施されている。3は幅広の剥片を素材として，右側縁下部を折断に近い調整加工を施した後に，右側縁上半部と先端部を背腹両面から細かい調整加工が施されている。

4・5は楔形石器である。4・5ともに，両極剥離を行うことによって，全体形状が尖頭状を呈する石器が作出されている。4は厚みのある剥片を素材としている。最初の調整は，表面右側縁下部からやや大きな剥離を行い，次に，左側面上部から下部に打点を順次転移して，大きな剥離を行っている。特に，左側縁下部の調整加工は器体の半分近い剥離面である。これらの調整加工によって，器体を菱形に成形して

いる。その後の調整加工は，菱形の先端部を尖らせるような両極剥離が行われている。まず，裏面右側面上部と左側面下部を対にして，両極剥離が行われており，厚みのある右側縁上部の剥離は背腹両面に階段状に顕著に行われている。最後に，先端部や表面右側縁中央部の縁辺部に調整加工が施されている。5は横長剥片を素材として，打面部を折断した後に，腹面左側面と右側縁下部を対にして，両極剥離が行われている。特に，左側縁の両極剥離は顕著である。最後に，先端部を尖らせるような細かい調整加工が施されている。

6～9は二次加工のある剥片である。6は小型で薄い幅広の剥片を素材として，打面部にあたる腹面下端部にやや粗い調整加工が施されている。7は平坦打面から剥離された幅広の剥片を素材としている。背面左側縁上部に細かい調整加工がみられ，中間部に急角度の調整加工が施されている。8は幅広の不定形な剥片を素材としている。素材の末端部にあたる腹面下端部は折断調整されている。素材の打面部側にあたる右側縁上部は，背腹両面から細かい調整加工が施されている。この調整加工は，4・5の調整加工と共通する特徴があることから，両極剥離によるものである可能性もある。最後に，先端部を尖らせるような細かい調整加工が施されている。9は両極剥離によって剥離された剥片を素材にしているものと思われる。裏面右側縁に平坦な調整加工が施されている。

10は彫器である。縦長剥片を素材として，素材の末端部である左側縁下部を折断調整している。背面左側縁中間部は急角度の調整加工が施されている。その後，打面部左側縁に背面側からやや細かい調整加工を行った後に，調整面を打点として，左側縁上部に樋状剥離を1条施している。樋状剥離が行われた打点部には，微細剥離痕がみられる。樋状剥離が施されている部位は，打面部の小口から剥離されている。

11は微細剥離痕のある剥片である。縦長剥片を素材として，背面左側面と腹面左側面下部に微細剥離がみられる。

12＋13は接合資料7である。12＋13の状態で，細長い自然面打面から剥離された横長剥片を素材として，腹面左側面と下端部に微細剥離がみられる。下端からの剥離が行われた際に，12と13が剥離されたものと思われる。

14は削器である。幅広の剥片を素材として，腹面左下部に幅広の剥離を行い，打面部にあたる腹面上部を打瘤を除去するような剥離を行っている。その後，腹面下部に階段状のやや粗い調整加工が施され，背面上部から右側縁上半部にかけて，非常に入念に細かい調整加工が連続的に施されている。特に，右側縁上半部の調整加工は，特に入念に細かい調整加工が施されている。

15～17は楔形石器である。15は両極剥離によって剥離された角柱状の剥片を素材として，上下両端からさらに両極剥離を行っている。16はやや厚みのある剥片を素材として，腹面右側縁上部と左側縁下部を対として，両極剥離を行っている。右側縁上部の剥離は，特に入念に行われている。最後に，腹面左側縁上部に細かい調整加工が施され，先端部がやや尖るような形状を呈する。17は素材は不明であるが，おそらく，両極剥離によって剥離された剥片を素材としているものと思われる。左右を対にして両極剥離を行った後に，上下を対にして両極剥離を行っている。

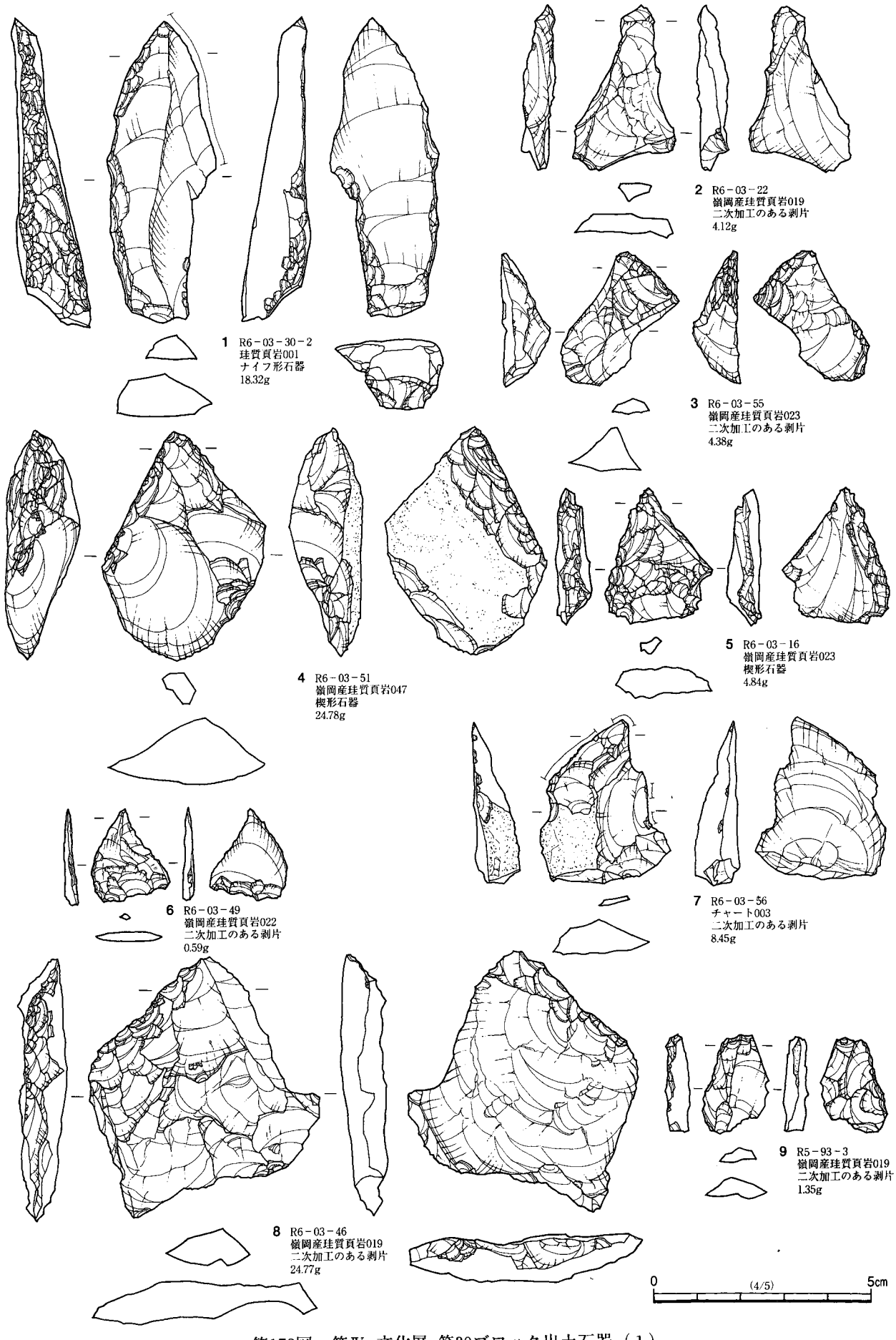
18は敲石である。楕円形礫を素材としており，上下両端を強く敲打している。特に，下端部は敲打によって，敲打点から表裏両面に剥離面がみられる。また，表面中央部の平坦面と上部や裏面中央部の平坦面に，研磨面がみられる。特に，表面中央部の平坦面の研磨は顕著である。

19は台石である。大型の扁平な円礫を素材としている。表裏両面の平坦面に線状の敲打痕が非常に顕著

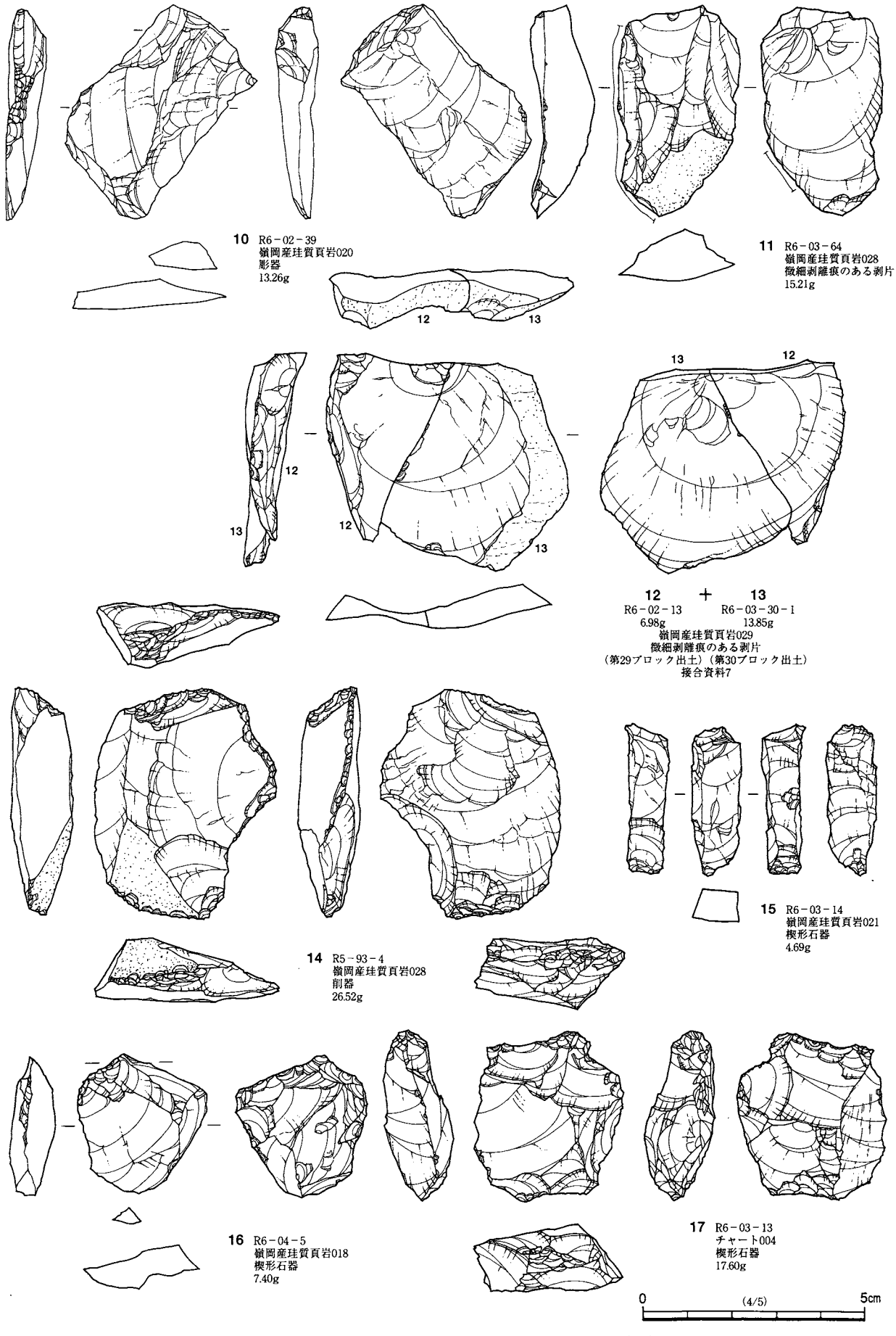
第49表　第Ⅳa文化層 第30ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	ナイフ形石器	彫器	楔形石器	削器	敲石	台石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	剥片	砕片	礫片	総計	組成比（%）
ガラス質黒色安山岩	001									1			1	0.88
										14.18			14.18	0.58
	004									1			1	0.88
										2.14			2.14	0.09
ガラス質黒色安山岩 点数合計										2			2	1.75
ガラス質黒色安山岩 重量合計										16.32			16.32	0.67
トロトロ石（安山岩）	001											2	2	1.75
												185	185	7.54
トロトロ石（安山岩）点数合計												2	2	1.75
トロトロ石（安山岩）重量合計												185	185	7.54
ホルンフェルス	001									1			1	0.88
										2.96			2.96	0.12
	002									1	2		3	2.63
										0.35	1.49		1.84	0.07
ホルンフェルス 点数合計										2	2		4	3.51
ホルンフェルス 重量合計										3.31	1.49		4.8	0.20
流紋岩	001					1							1	0.88
						490							490	19.97
流紋岩 点数合計						1							1	0.88
流紋岩 重量合計						490							490	19.97
珪質頁岩	001	1											1	0.88
		18.32											18.32	0.75
珪質頁岩 点数合計		1											1	0.88
珪質頁岩 重量合計		18.32											18.32	0.75
嶺岡産珪質頁岩	012										1		1	0.88
											0.32		0.32	0.01
	015										1		1	0.88
											0.62		0.62	0.03
	018			1									1	0.88
				7.4									7.4	0.30
	019							3		2	2		7	6.14
								30.24		8.78	0.35		39.37	1.60
	020		1							3			4	3.51
			13.26							2.3			15.56	0.63
	021			1									1	0.88
				4.69									4.69	0.19
	022							1			1		2	1.75
								0.59			0.66		1.25	0.05
	023			1				1		18	17		37	32.46
				4.84				4.38		40.5	5.48		55.2	2.25
	024									5			5	4.39
										10.38			10.38	0.42
	025									2	1		3	2.63
										13.11	0.29		13.4	0.55
	026									9	4		13	11.40
										12.91	1.98		14.89	0.61
	027									6			6	5.26
										43.29			43.29	1.76
	028				1				1				2	1.75
					26.52				15.21				41.73	1.70
	029								1	3			4	3.51
									13.85	39.71			53.56	2.18
	030									3	1		4	3.51
										36.48	0.53		37.01	1.51
	031			1						1			2	1.75
				8.47						4.53			13	0.53
	038									5	1		6	5.26
										9.3	0.59		9.89	0.40
	047			1									1	0.88
				24.78									24.78	1.01
	058							1					1	0.88
								30					30	1.22
嶺岡産珪質頁岩 点数合計			1	5	1			6	2	57	29		101	88.60
嶺岡産珪質頁岩 重量合計			13.26	50.18	26.52			65.21	29.06	221.29	10.82		416.34	16.97
チャート	003							1					1	0.88
								8.45					8.45	0.34
	004			1									1	0.88
				17.6									17.6	0.72
チャート 点数合計				1				1					2	1.75
チャート 重量合計				17.6				8.45					26.05	1.06
砂岩	002						1						1	0.88
							1297						1297	52.86
砂岩 点数合計							1						1	0.88
砂岩 重量合計							1297						1297	52.86
全体の点数合計		1	1	6	1	1	1	7	2	61	31	2	114	100.00
全体の重量合計		18.32	13.26	67.78	26.52	490	1297	73.66	29.06	240.92	12.31	185	2453.83	100.00
点数組成比(%)		0.88	0.88	5.26	0.88	0.88	0.88	6.14	1.75	53.51	27.19	1.75	100.00	
重量組成比(%)		0.75	0.54	2.76	1.08	19.97	52.86	3.00	1.18	9.82	0.50	7.54	100.00	

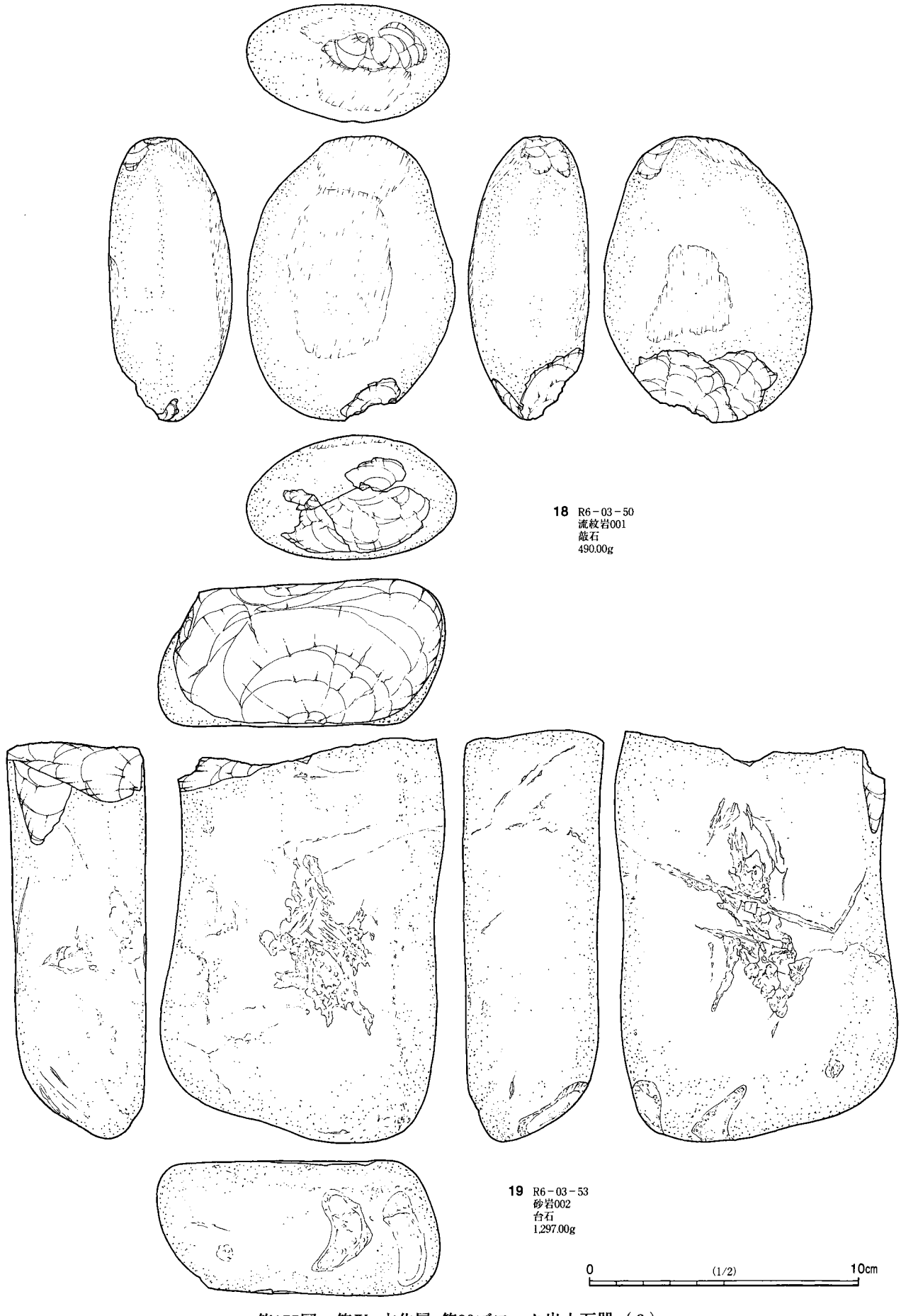
［上段：点数、 下段：重量(g)］



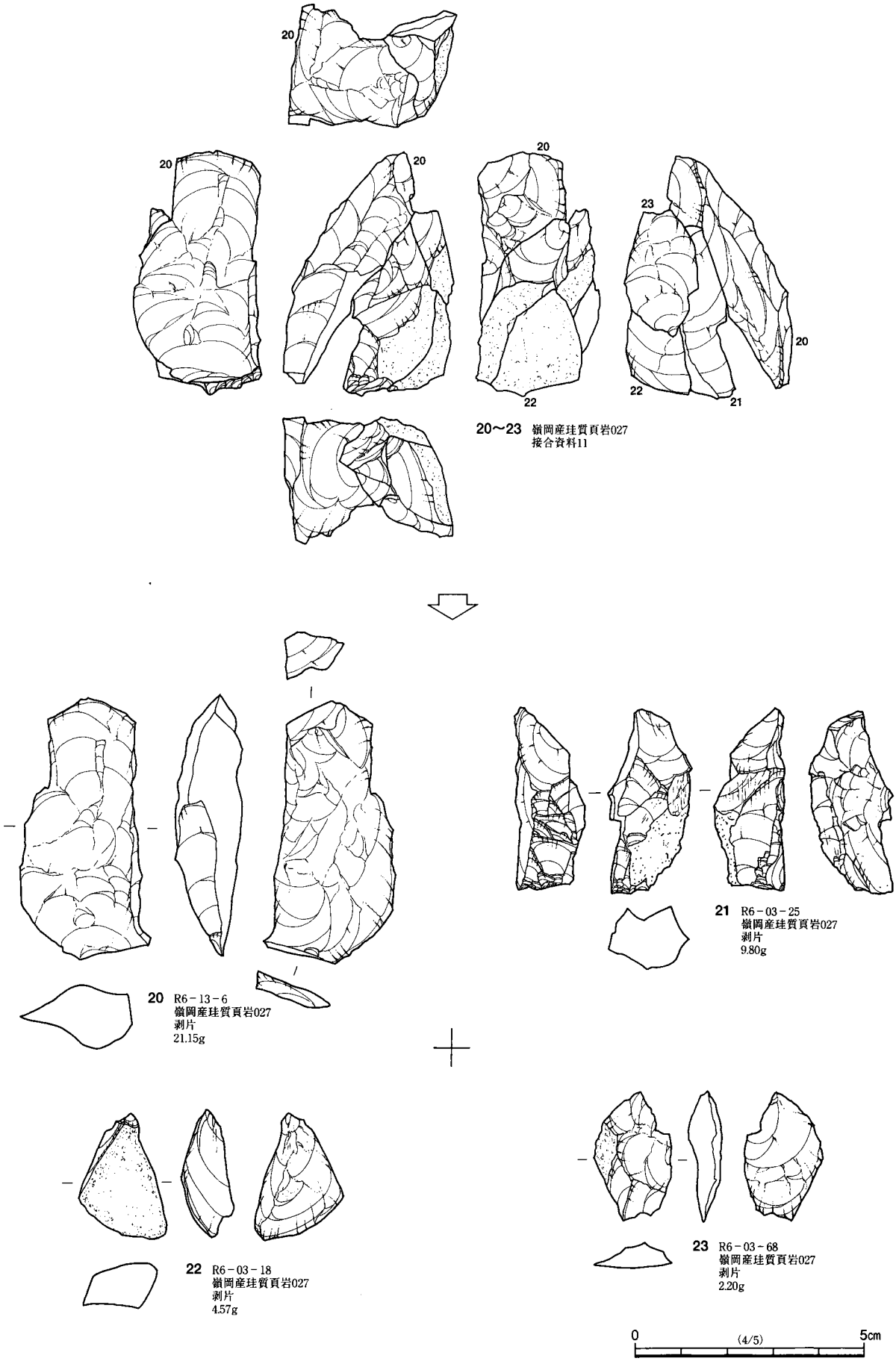
第173図　第Ⅳa文化層 第30ブロック出土石器（1）



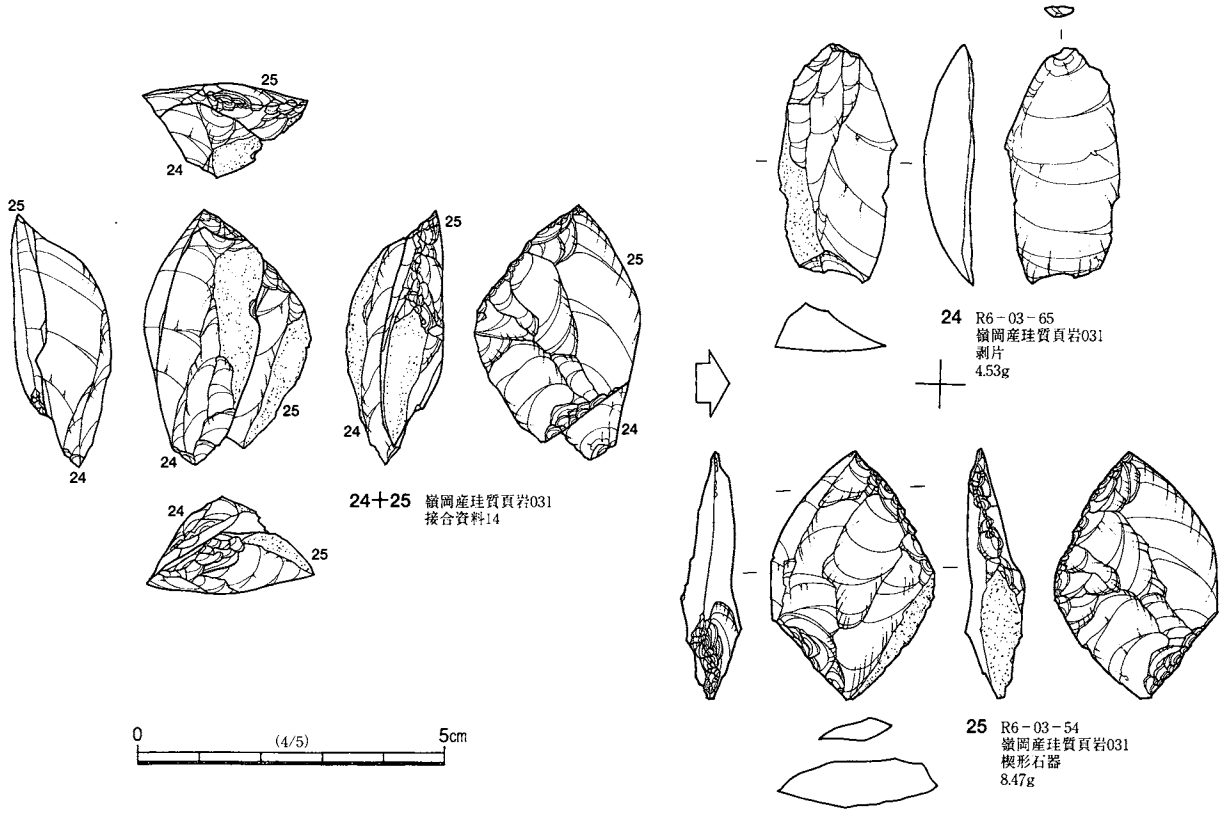
第174図　第Ⅳa文化層 第30ブロック出土石器（2）



第175図　第Ⅳa文化層 第30ブロック出土石器（3）



第176図　第Ⅳa文化層 第30ブロック出土石器（4）



第177図　第Ⅳa文化層 第30ブロック出土石器（5）

にみられる。下端部は突出した箇所が研磨されている。基本的に，線状の敲打痕で構成されており，中央部の敲打痕が特に顕著である。第30ブロックをはじめとする第Ⅳa文化層は，楔形石器が多量に出土しており，楔形石器以外にも両極剥離を行った資料が多くみられる。第30ブロックをはじめとした第Ⅳa文化層において，19のような台石を用いて，両極剥離を頻繁に行ったことが推察される。

20～23は接合資料11である。節理面の発達した石材を用いており，1回の剥離で数枚の剥片が剥離されていることがうかがえる。剥離された剥片は，不定形な剥片が多い。20～23の状態で，20は上端部から剥離されており，比較的規格的な縦長剥片が剥離されている。21・22は上端部から剥離されているが，剥離時に同時割れした資料と思われる。23は下端部から剥離されている。

24＋25は接合資料14である。24＋25の接合した状態で，厚みのある幅広の剥片を素材として，上下両端を対にして両極剥離が行われて，24の縦長剥片が剥離されている。24を剥離することによって，25は厚みのない石器となり，さらに，25は腹面左上半部と右下半部を対にして，両極剥離を行っている。素材の厚みのある右下半部は，器体の奥まで入るような調整加工が施され，さらに素材が薄くなっている。最後に，先端部を尖らせるように，先端部付近に細かい調整加工が施されている。この石器と同様の作出方法によると思われるものは，４の石器である。４や25だけが，単体で出土していれば，特徴的な石器として捉えることは，困難であった。しかしながら，接合資料14の25のように，24と接合している資料であることにより，４と25の石器の記載であらわしたように，菱形の形状をして，両極剥離を用いて，先端部を尖らせる石器の製作工程が明らかになった。今後は，両極剥離を多用して，単に楔形石器として捉えるだけではなく，このような形態の石器の類例を抽出する必要があるように思われる。

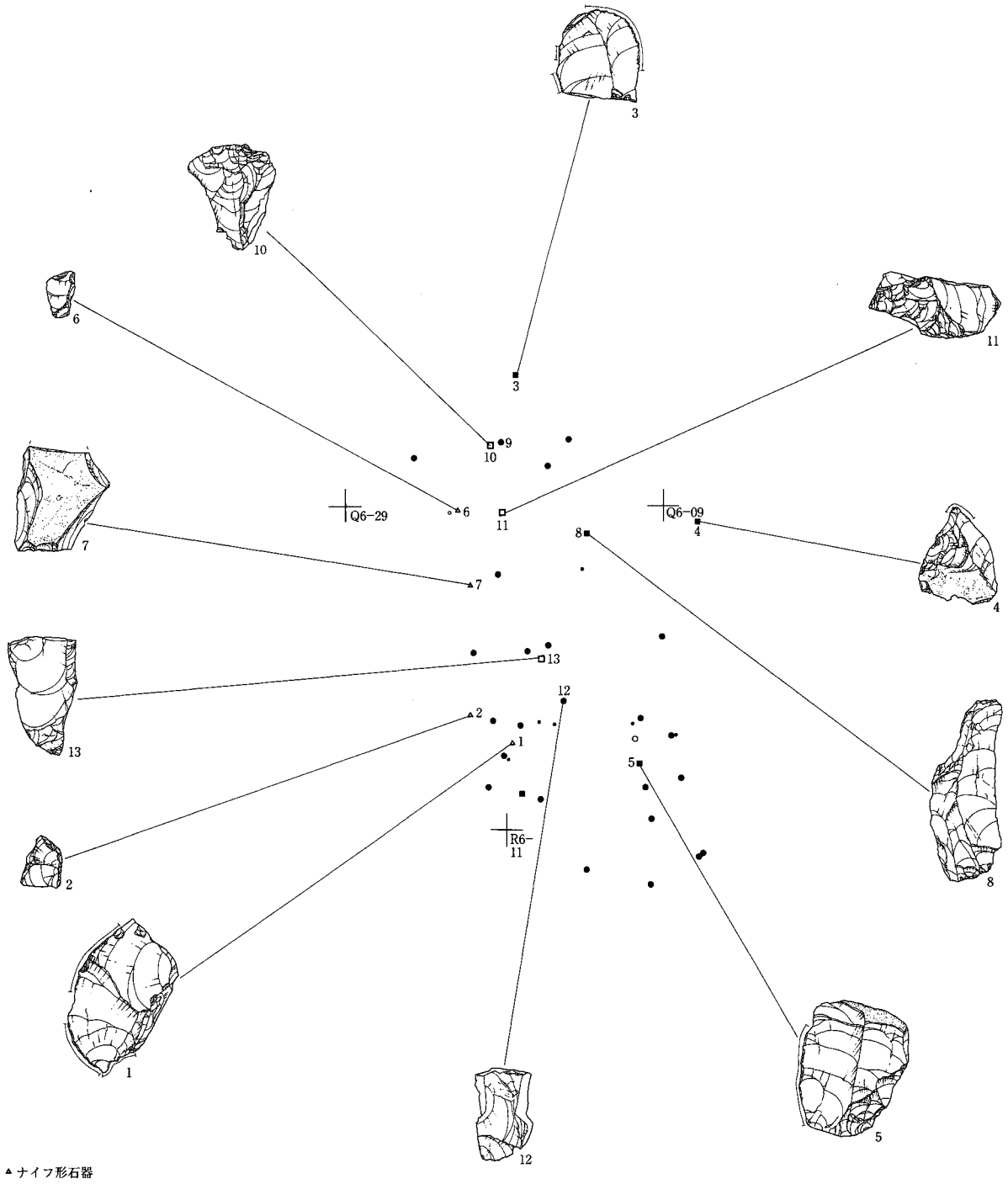
④第31ブロック（第178～182図，第50・111表，図版3・38・40）

出土状況　平面分布は，約7m×3mの楕円形の範囲に散漫に分布している。分布状況を詳細にみると，西部と東部の2箇所に遺物集中地点がみられる。出土層位は，Ⅸa層上部～Ⅵ層にかけて出土し，Ⅶ層に集中する。

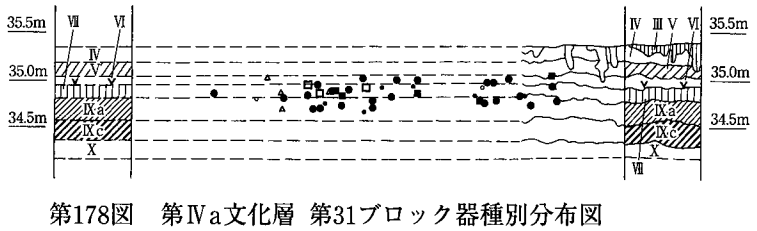
第50表　第Ⅳa文化層 第31ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	001		1 7.86						1 7.86	2.33 2.14
黒曜石 点数合計 黒曜石 重量合計			1 7.86						1 7.86	2.33 2.14
ガラス質黒色安山岩	002				1 14.51				1 14.51	2.33 3.95
ガラス質黒色安山岩 点数合計 ガラス質黒色安山岩 重量合計					1 14.51				1 14.51	2.33 3.95
トロトロ石(安山岩)	002				1 2.03				1 2.03	2.33 0.55
トロトロ石(安山岩) 点数合計 トロトロ石(安山岩) 重量合計					1 2.03				1 2.03	2.33 0.55
珪質頁岩	002				1 23.69	1 1.21			2 24.9	4.65 6.78
	003				1 0.65				1 0.65	2.33 0.18
珪質頁岩 点数合計 珪質頁岩 重量合計					2 24.34	1 1.21			3 25.55	6.98 6.95
嶺岡産珪質頁岩	017			2 25.45					2 25.45	4.65 6.92
	020				2 14.39				2 14.39	4.65 3.92
	025				1 12.16				1 12.16	2.33 3.31
	032		1 10.73						1 10.73	2.33 2.92
	033		1 8.91						1 8.91	2.33 2.42
	034					2 1.33			2 1.33	4.65 0.36
	035		1 20.83						1 20.83	2.33 5.67
	036	1 1.06			1 1.37				2 2.43	4.65 0.66
	037				2 4.34				2 4.34	4.65 1.18
	038	2 44.26	1 23.9		2 6.37				5 74.53	11.63 20.28
	039				1 1.07				1 1.07	2.33 0.29
	041				2 2.95	1 0.07			3 3.02	6.98 0.82
	042	1 0.54							1 0.54	2.33 0.15
	043					1 0.24			1 0.24	2.33 0.07
	046			2 68.73	1 6.9				3 75.63	6.98 20.58
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計		4 45.86	4 64.37	4 94.18	12 49.55	4 1.64			28 255.6	65.12 69.55
チャート	005				2 18.93				2 18.93	4.65 5.15
	006				1 5.55				1 5.55	2.33 1.51
	009				1 5.78				1 5.78	2.33 1.57
チャート 点数合計 チャート 重量合計					4 30.26				4 30.26	9.30 8.23
玉髄(メノウ含む)	002				2 5.41	1 0.09			3 5.5	6.98 1.50
玉髄(メノウ含む) 点数合計 玉髄(メノウ含む) 重量合計					2 5.41	1 0.09			3 5.5	6.98 1.50
砂岩	003							1 8.2	1 8.2	2.33 2.23
	004						1 18		1 18	2.33 4.90
砂岩 点数合計 砂岩 重量合計							1 18	1 8.2	2 26.2	4.65 7.13
全体の点数合計 全体の重量合計		4 45.86	5 72.23	4 94.18	22 126.1	6 2.94	1 18	1 8.2	43 367.51	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		9.30 12.48	11.63 19.65	9.30 25.63	51.16 34.31	13.95 0.80	2.33 4.90	2.33 2.23	100.00 100.00	

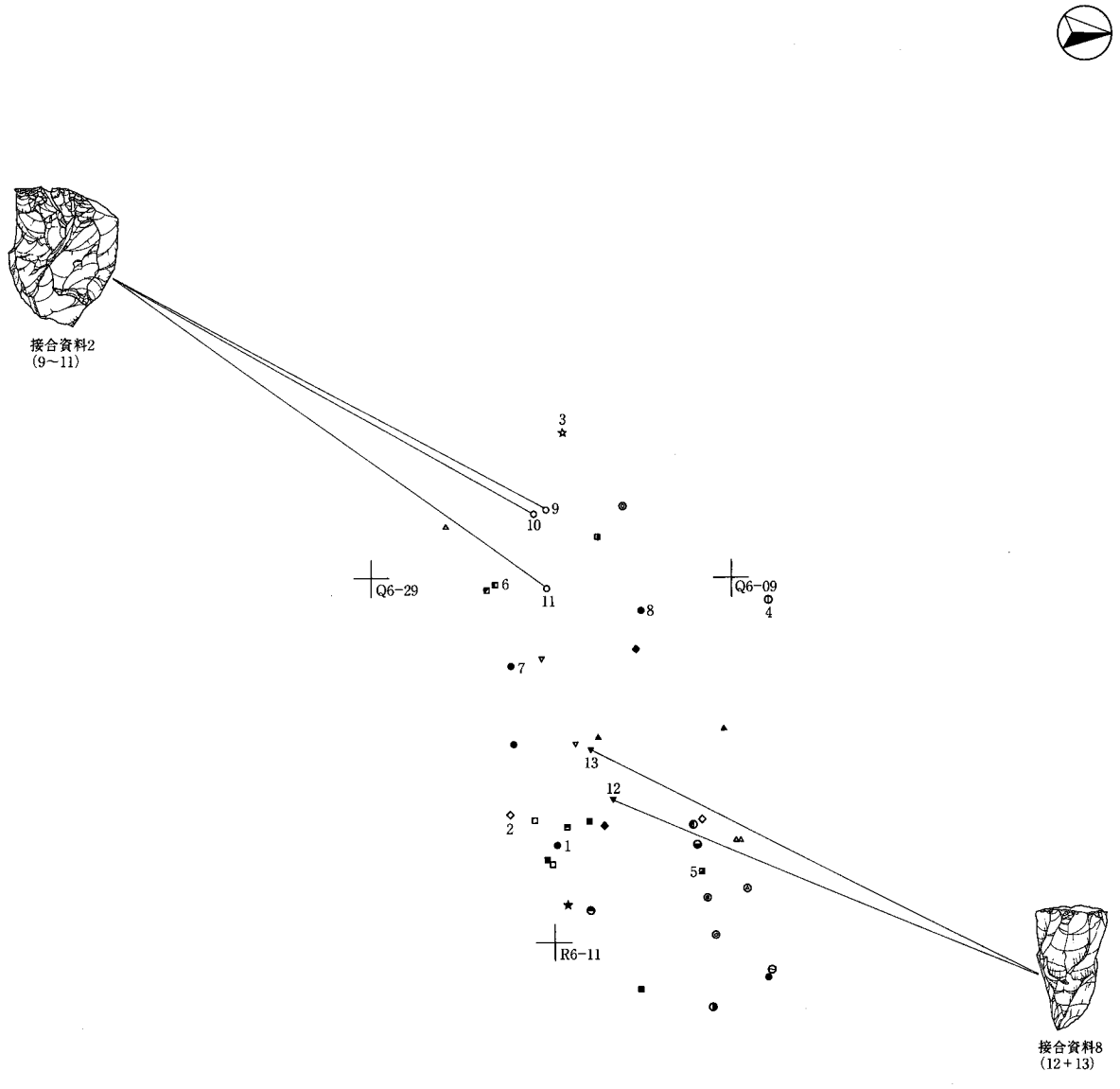
［上段:点数、 下段:重量(g)］



▲ ナイフ形石器
■ 微細剥離痕のある剥片
□ 石核
● 剥片
• 砕片
◦ 礫片
○ 礫



第178図　第Ⅳa文化層 第31ブロック器種別分布図



- 黒曜石001
- ガラス質安山岩002
- トロトロ石（安山岩）
- 嶺岡産珪質頁岩017
- 嶺岡産珪質頁岩020
- 嶺岡産珪質頁岩025
- 嶺岡産珪質頁岩032
- 嶺岡産珪質頁岩033
- 嶺岡産珪質頁岩034
- 嶺岡産珪質頁岩035
- 嶺岡産珪質頁岩036
- 嶺岡産珪質頁岩037
- 嶺岡産珪質頁岩038
- 嶺岡産珪質頁岩039
- 嶺岡産珪質頁岩041
- 嶺岡産珪質頁岩042
- 嶺岡産珪質頁岩043
- 嶺岡産珪質頁岩046
- チャート005
- チャート006
- チャート009
- 玉髄（メノウ含む）
- 砂岩003
- 砂岩004
- 珪質頁岩002
- 珪質頁岩003

0 (1/80) 4m

第179図　第Ⅳa文化層 第31ブロック母岩別分布図

器種別分布（第178図）の特徴は，石核・二次加工のある剥片・微細剥離痕のある剥片が西部にまとまって出土しており，東部には，製品がほとんどみられず，剥片・砕片が多く出土している。

母岩別分布（第179図）の特徴は，ブロック間の接合資料がみられない。ブロック内の接合資料は，2資料出土しているが，いずれも近接して接合している。単品で出土している母岩が多い。本ブロックで比較的多い5点で構成されている嶺岡産珪質頁岩038はブロックの中心付近にまとまって出土している。

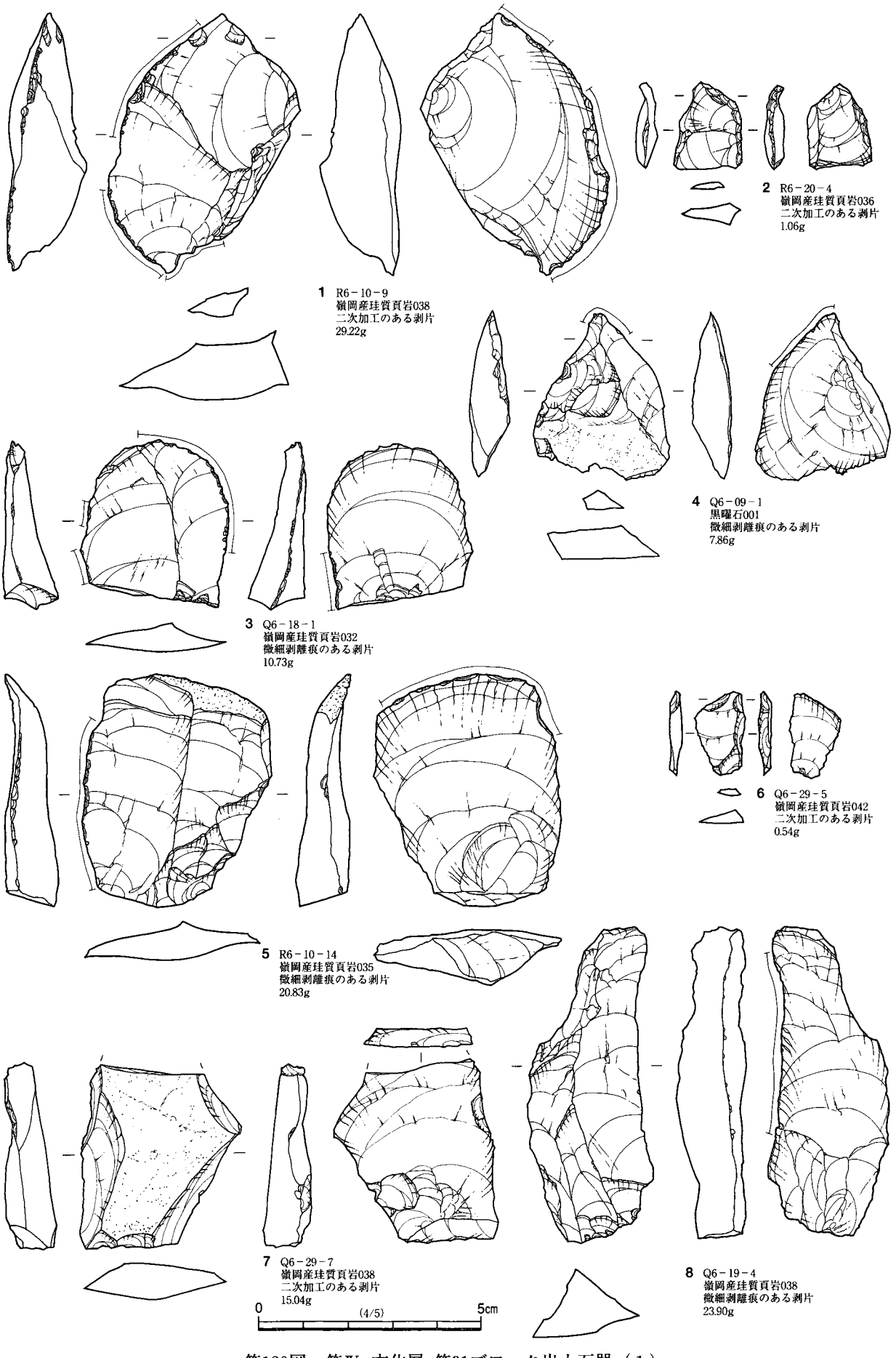
出土遺物　総計43点出土した。母岩器種組成は第50表のとおりである。器種組成は，製品がほとんどみられず，二次加工のある剥片が4点出土しているのみである。石核が4点出土しており，出土点数の割には高い比率（9.30%）を示す。母岩（石材）組成は，比較的多様な石材が用いられている。そのなかで，嶺岡産珪質頁岩は，28点（65.12%，総重量255.6ｇ）で非常に多く用いられている。そのほかの石材は，数量的に少なく，母岩単位でみても，ほとんどのものが単品で用いられており，多くても2点で構成されている母岩であることから，製品として搬入された石器である可能性が高い。

1・2・6・7は二次加工のある剥片である。1は横長剥片を素材として，素材を横位に用いて，先端部を尖らせるような調整加工が施されている。素材の縁辺部にあたる腹面右側縁は連続的に細かい調整加工が施されており，特に中間部の調整加工が顕著である。また，背面左側縁上半部と下部にも，細かい調整加工が施されており，下部の調整加工は非常に入念に施されている。2は小型の剥片を素材として，右側縁に粗い調整加工が連続的に施されている。6は小型の縦長剥片を素材として，右側縁と左側縁上部を折断調整が施されている。7は平坦打面から剥離された幅広の剥片を素材として，末端部を折断している。腹面左側縁下部と腹面右側縁中部に調整加工が施されている。

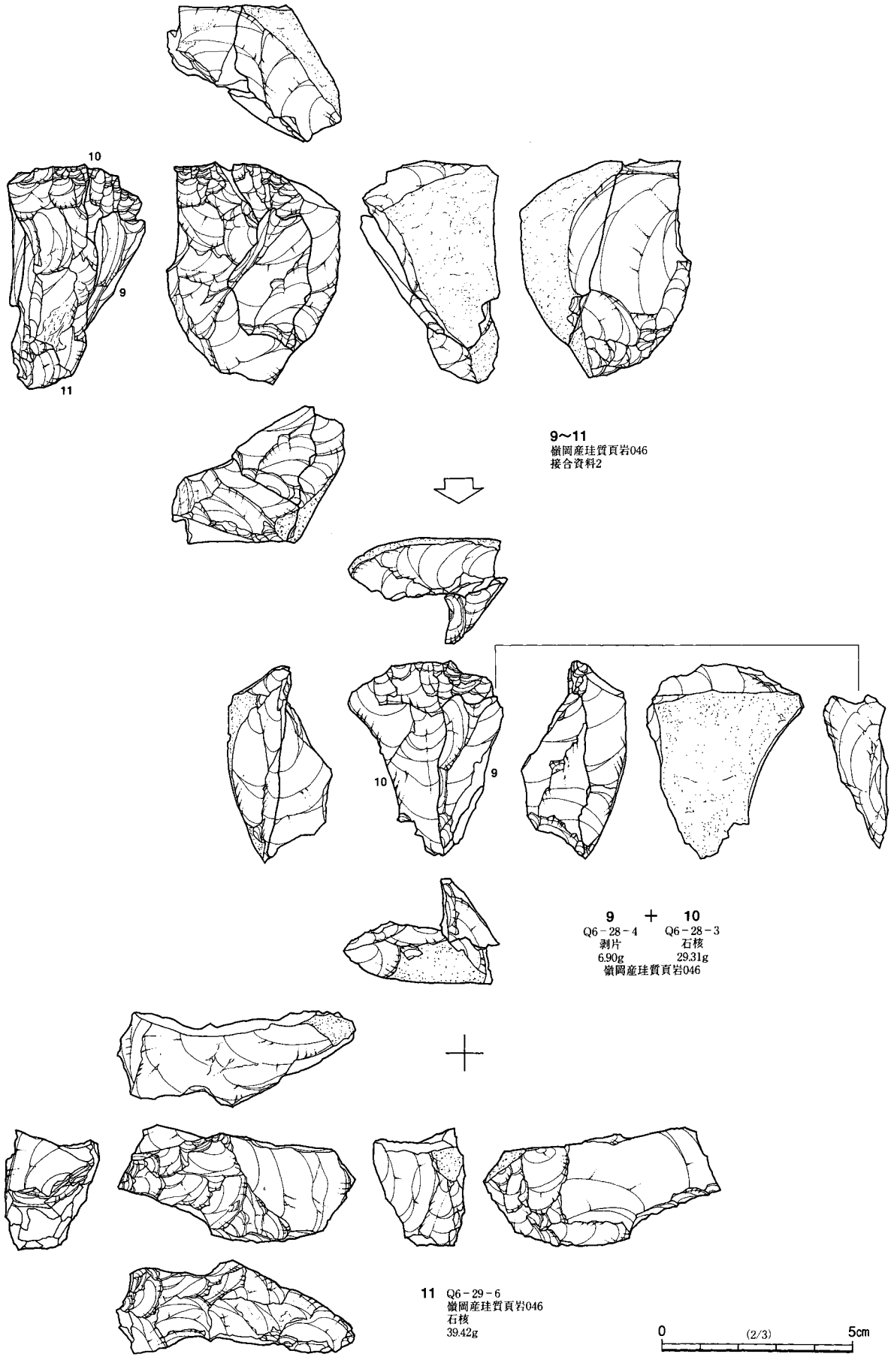
3～5・8は微細剥離痕のある剥片である。3は平坦打面から剥離された幅広の剥片を素材として，末端部にあたる腹面上端部から右上半部にかけてと腹面右下部に顕著な微細剥離がみられる。4は幅広の平坦打面から剥離された三角形状の剥片を素材として，素材を横位に用いて，先端部に背腹両面に顕著な微細剥離がみられる。5は平坦打面から剥離された幅広の剥片を素材として，末端部にあたる腹面上端部に微細剥離が連続的にみられる。8は平坦打面から剥離された縦長剥片を素材としている。腹面左側縁に微細剥離が連続的にみられる。

9～11は接合資料12である。節理面の発達したあまり良質ではない石材を用いている。分割した厚みのある剥片を素材にしているものと思われる。9～11の接合した状態で，頭部調整がかなり頻繁に行われていることがうかがわれる。上端部から加撃を加えた際に，9＋10の状態で剥離され，節理面が発達した石材であることから，剥離時に9と10が同時割れした資料であると思われる。その後，11は石核として用いられている。9＋10の剥離面を打面として，小型の貝殻状の剥片が6枚以上剥離されている。

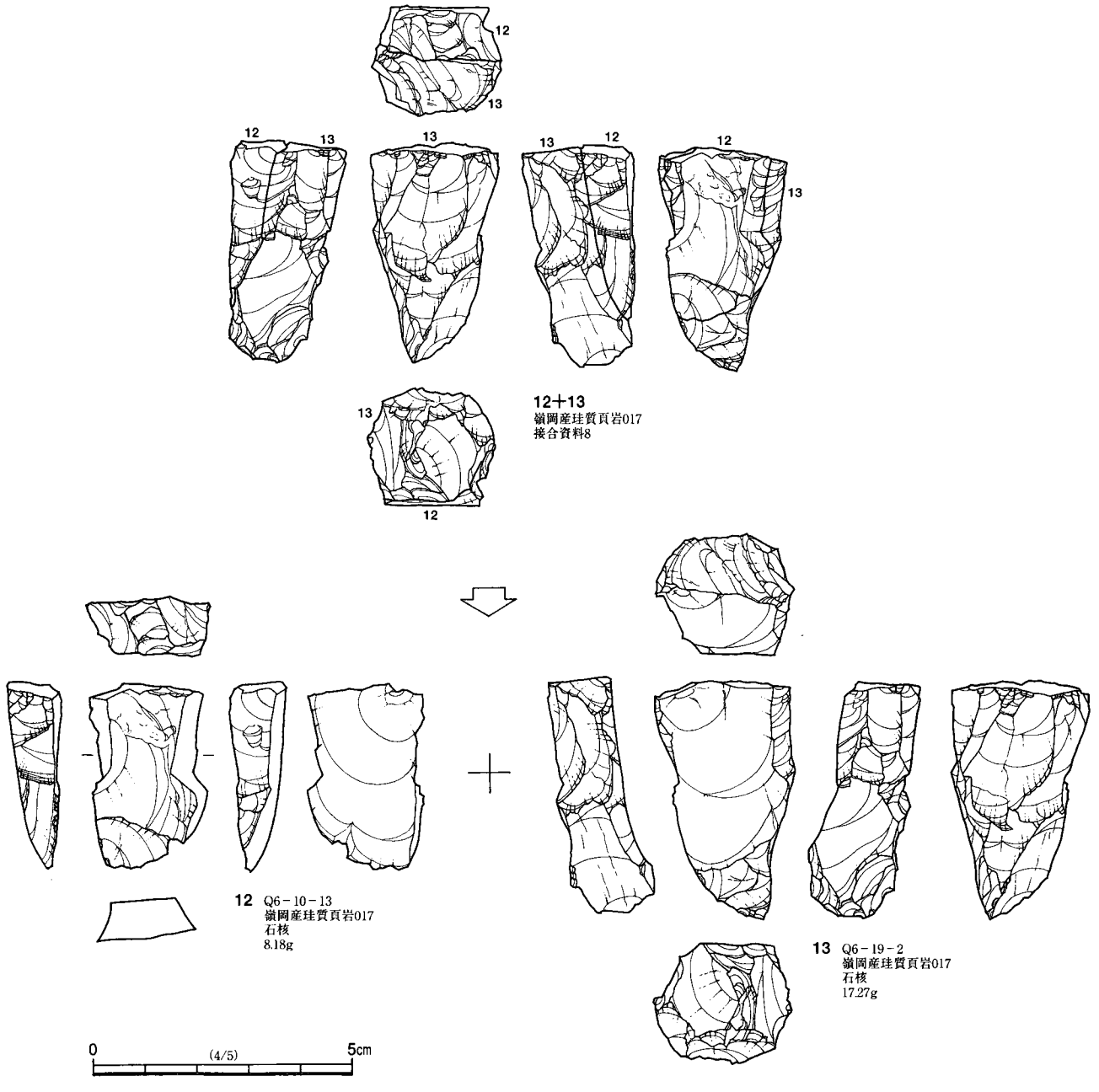
12＋13は接合資料8である。12＋13の状態で，単設打面の石刃石核と思われる資料である。下端部から石核成形の剥離があり，残核の形状は，円錐形に近い形状を呈している。上面の大きな剥離面を打面に設定して，打点を順次転移しながら，石刃を量産している資料である。最終的には，12が剥離されたことで，13の残核の形状が不定形になったことにより，これ以上剥離が行われていない。



第180図　第Ⅳa文化層 第31ブロック出土石器（1）



第181図　第Ⅳa文化層 第31ブロック出土石器（2）



第182図　第Ⅳa文化層 第31ブロック出土石器（3）

②第32ブロック（第183～186図，第51・111・112表，図版3・38・40）

出土状況　平面分布は，約4m×3mの円形の小範囲にやや密集する。分布状況を詳細にみると，北部と中央部と南部の3箇所の集中地点がみられる。出土層位は，Ⅸa層上部～Ⅳ層にかけて上下幅を持って出土しているが，Ⅶ層に集中する。

器種別分布（第183図）の特徴は，北部の集中地点は小範囲にまとまって出土しており，敲石1点と礫3点がまとまって出土しており，製品はほとんどみられない。中央部に，楔形石器・二次加工のある剥片がまとまって出土している。南部は剥片・砕片がまとまって出土している。

母岩別分布（第183図）の特徴は，中央部に接合資料3～5の3資料が出土しており，ブロック間接合はみられず，ブロック内で接合している。複数の点数で構成されている嶺岡産珪質頁岩044も中央部から出土している。

出土遺物　総計44点出土した。母岩器種組成は第51表のとおりである。器種組成は，製品がほとんどみられず，楔形石器1点，敲石1点，二次加工のある剥片6点出土している。製品以外では，礫片7点(15.91%)，礫4点（9.09%）で高い比率を示し，第Ⅳa文化層のうちで最も礫片・礫の点数が多い。母岩（石材）組成は，比較的多様な石材が用いられている。そのなかで，嶺岡産珪質頁岩が24点（54.55%，総重量325.76g）で半数以上の比率を示す。次に，流紋岩・チャートが用いられている。母岩別にみると，製品が含まれる母岩においては，黒曜石008は二次加工のある剥片が単品で出土しており，珪質頁岩004は楔形石器が単品で出土している。

1は二次加工のある剥片である。横長剥片を素材として，打面部と末端部を折断して成形した後に，背面下端部にやや粗い調整加工が施されている。

2・4・10は微細剥離痕のある剥片である。2は幅広の打面から剥離された三角形状の剥片を素材としている。腹面右側縁に微細剥離がみられる。4は節理面に沿って剥離された縦長剥片素材として，腹面左上部に微細剥離がみられる。10は線状の打面から剥離された厚みのある横長剥片を素材として，腹面右側縁上部に微細剥離がみられる。

3は楔形石器である。両極剥離で剥離された剥片を素材として，上下両端からさらに両極剥離を行っている。

5～7・9は二次加工のある剥片である。5は打面部が分厚い縦長剥片を素材として，腹面右側縁下部に調整加工が施されている。6は背面左側縁下部に，6を剥離する以前の頭部調整のような剥離がみられる剥片で，打面再生剥片の可能性がある。縦長状の剥片を素材として，背面左側縁上部に調整加工が施されている。7は縦長剥片を素材としている。背面右下半部に細かい調整加工が連続的に施されている。腹面右側縁下部にはやや粗い調整加工が施されている。打面部が折断されている。9は幅広の剥片を素材として，腹面左上半部と腹面下端部に折断調整が施されており，腹面左下部にやや粗い調整加工が施されている。

8は剥片である。幅広の打面から剥離された横長剥片である。末端部は，発掘時の破損である。

11・12は微細剥離痕のある剥片である。11は背面に大きく自然面を残した厚みの横長剥片を素材として，背面下部に微細剥離がみられる。12は幅広の打面から剥離された横長剥片を素材として，背面下端部と腹面右側縁中間部に微細剥離痕がみられる。

13は敲石である。先細りの楕円形礫を素材としている。先が細まった先端部に，敲打痕がみられる。裏

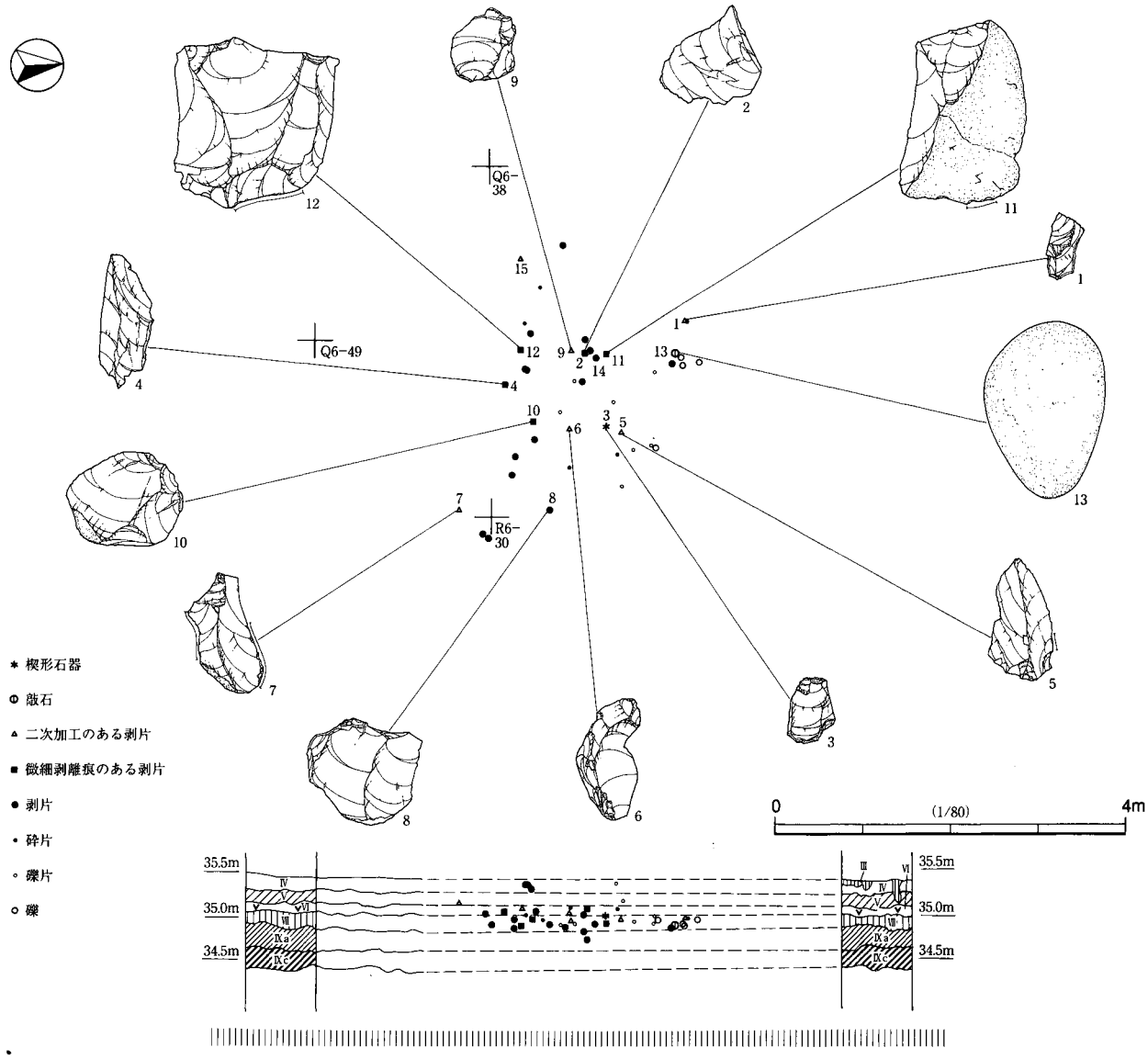
面の平坦面上部に，横方向の線状の敲打痕もみられ，裏面平坦部下部に敲打痕がみられる。

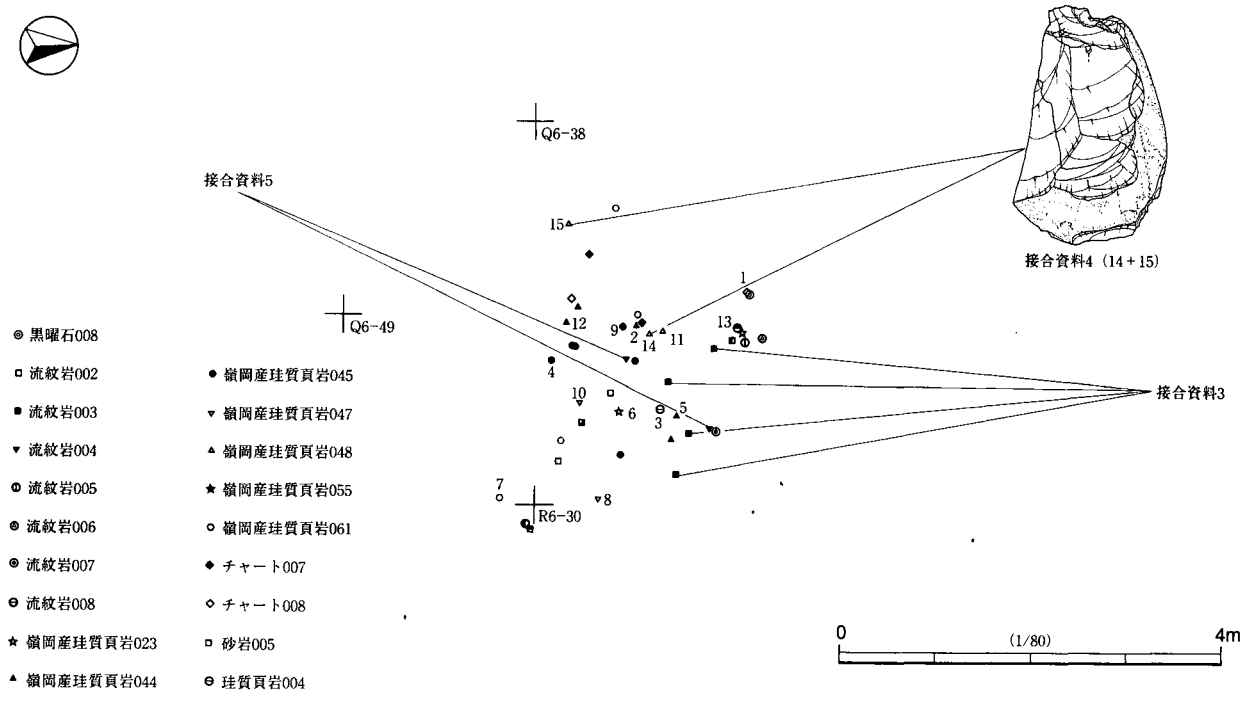
14＋15は接合資料４である。14＋15の状態で剥離された際に，14と15が同時割れした資料と思われる。打面は平坦打面で非常に小さい打面である。頭部調整は非常に顕著である。背面に大きく自然面を残し，厚みのある縦長剥片が剥離されている。

第51表　第Ⅳａ文化層 第32ブロック母岩器種組成表

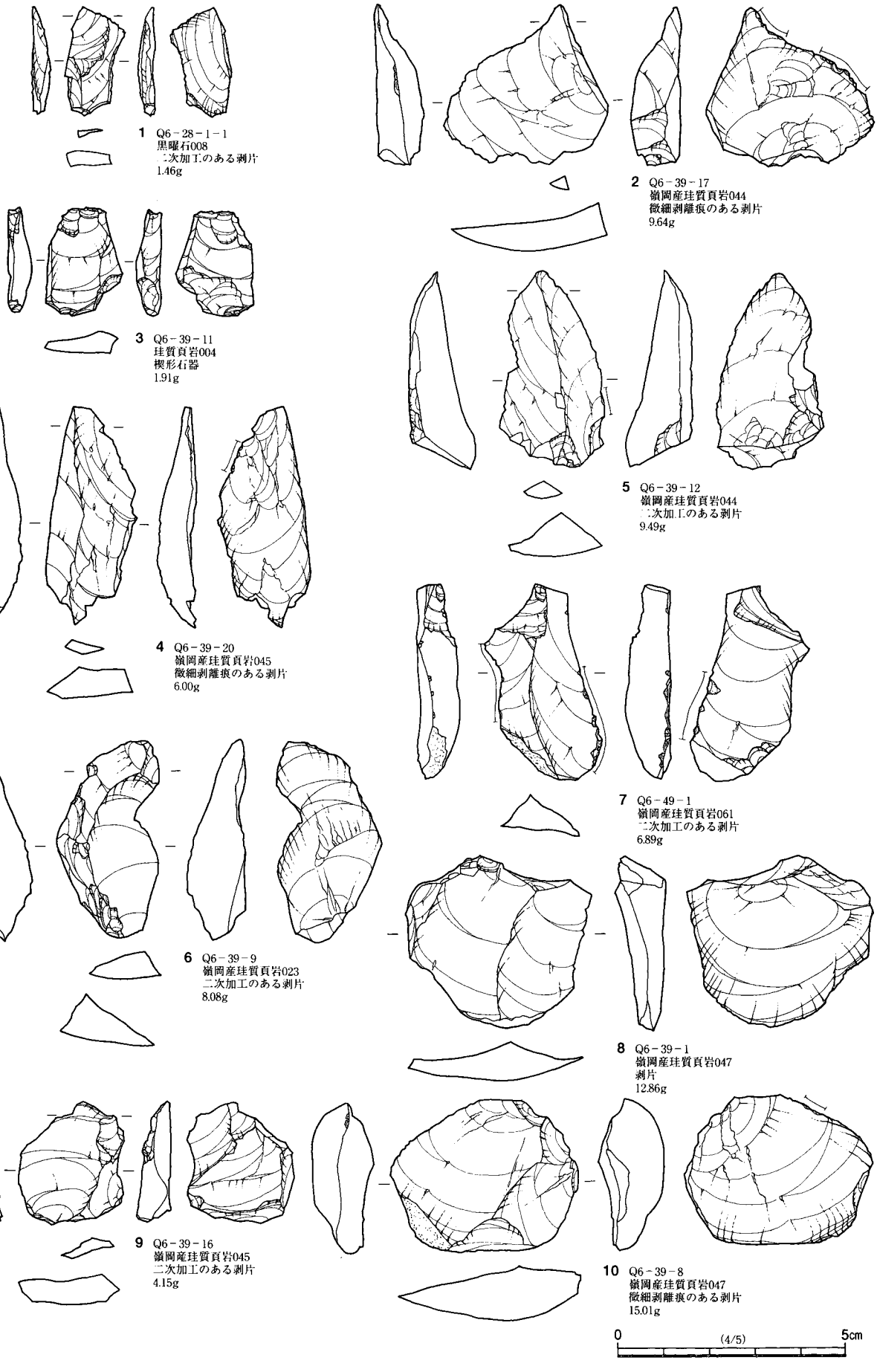
母岩名	母岩番号	楔形石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	008			1 1.46						1 1.46	2.27 0.06
黒曜石 点数合計 黒曜石 重量合計				1 1.46						1 1.46	2.27 0.06
流紋岩	002					1 7.36		1 16.46		2 23.82	4.55 0.96
	003							4 34.42		4 34.42	9.09 1.38
	004							2 154.25		2 154.25	4.55 6.20
	005								1 541	1 541	2.27 21.74
	006								1 374	1 374	2.27 15.03
	007								1 239	1 239	2.27 9.61
	008								1 574	1 574	2.27 23.07
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計						1 7.36		7 205.13	4 1728	12 1940.49	27.27 77.99
珪質頁岩	004	1 1.91								1 1.91	2.27 0.08
珪質頁岩 点数合計 珪質頁岩 重量合計		1 1.91								1 1.91	2.27 0.08
嶺岡産珪質頁岩	019					1 4.81				1 4.81	2.27 0.19
	023			1 8.08						1 8.08	2.27 0.32
	037					1 1.39				1 1.39	2.27 0.06
	044			1 9.49	2 54.88	1 3.12	1 0.47			5 67.96	11.36 2.73
	045			1 4.15	1 6	3 1.87	1 0.02			6 12.04	13.64 0.48
	047				1 15.01	1 12.86				2 27.87	4.55 1.12
	048			1 87.71	1 68.29	1 18.81				3 174.81	6.82 7.03
	055					1 7.9				1 7.9	2.27 0.32
	061			1 6.89		3 14.01				4 20.9	9.09 0.84
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計				5 116.32	5 144.18	12 64.77	2 0.49			24 325.76	54.55 13.09
チャート	007					1 4.93	1 0.13			2 5.06	4.55 0.20
	008						2 0.61			2 0.61	4.55 0.02
	010					1 2.68				1 2.68	2.27 0.11
チャート 点数合計 チャート 重量合計						2 7.61	3 0.74			5 8.35	11.36 0.34
砂岩	005		1 210							1 210	2.27 8.44
砂岩 点数合計 砂岩 重量合計			1 210							1 210	2.27 8.44
全体の点数合計 全体の重量合計		1 1.91	1 210	6 117.78	5 144.18	15 79.74	5 1.23	7 205.13	4 1728	44 2487.97	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		2.27 0.08	2.27 8.44	13.64 4.73	11.36 5.80	34.09 3.21	11.36 0.05	15.91 8.24	9.09 69.45	100.00 100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］

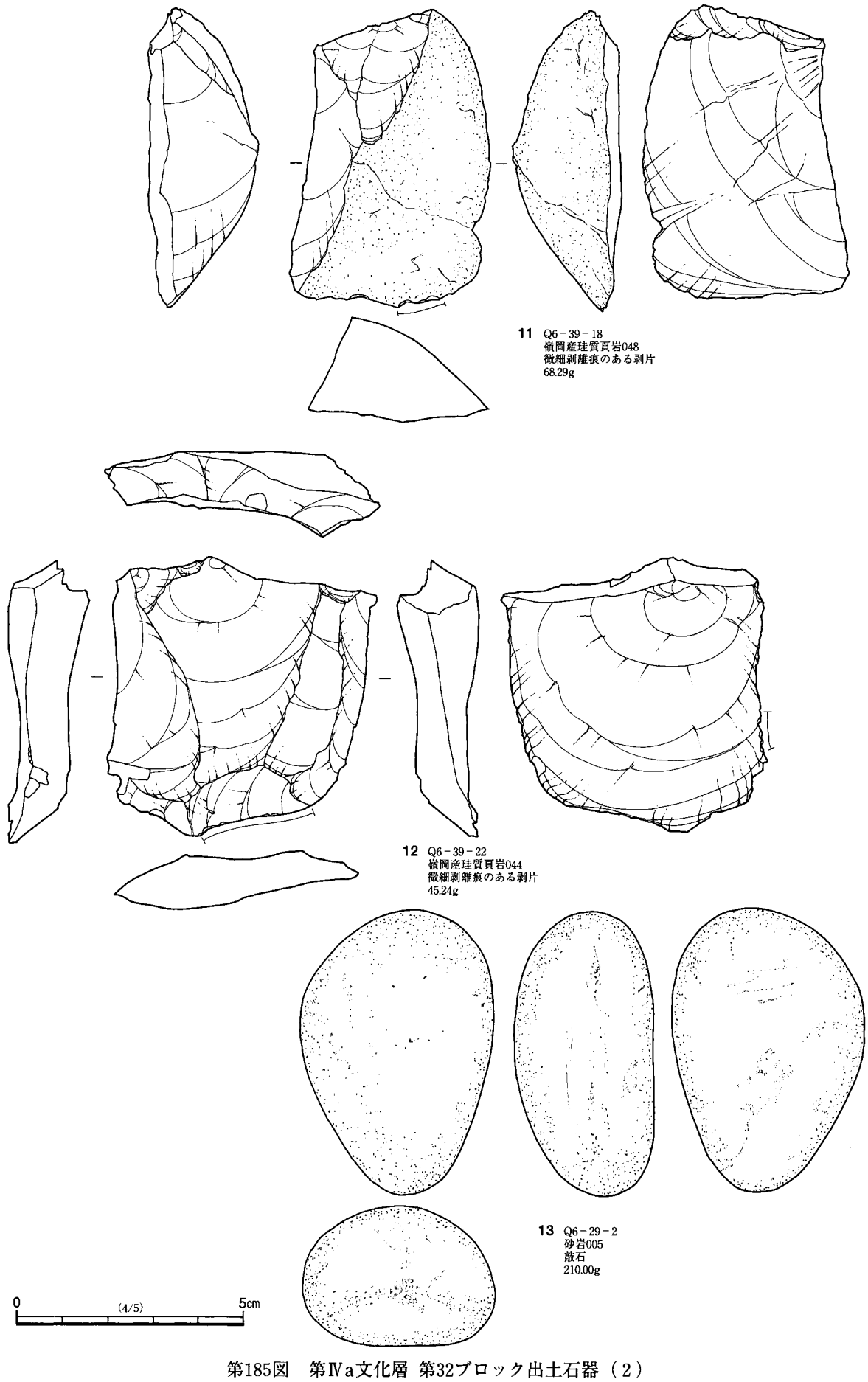




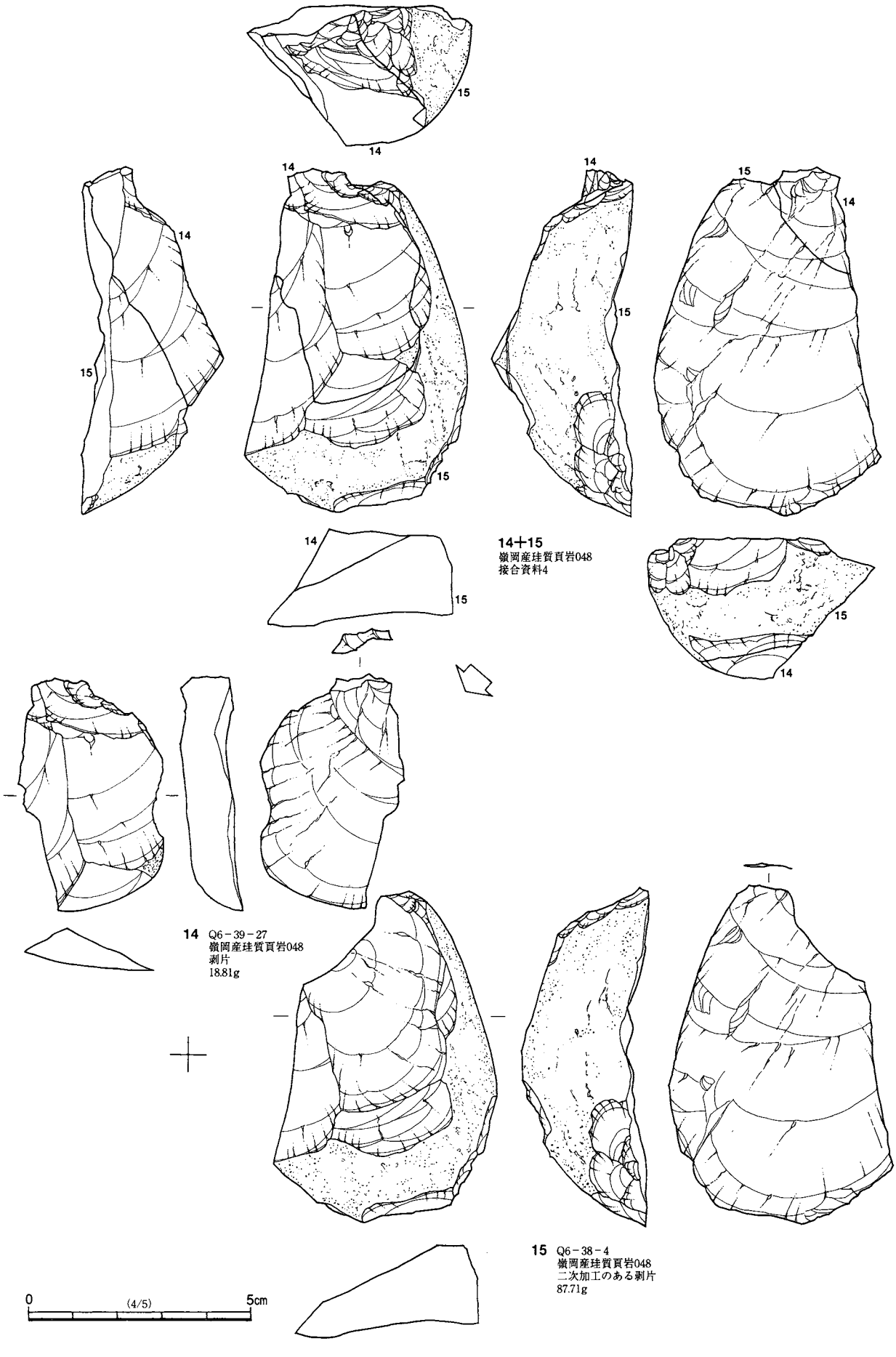
第183図　第Ⅳa文化層 第32ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図



第184図　第Ⅳa文化層 第32ブロック出土石器（1）



第185図　第Ⅳa文化層 第32ブロック出土石器（2）



第186図　第Ⅳa文化層 第32ブロック出土石器（３）

⑥第33ブロック（第187～189図，第52・112表，図版3・39・40）

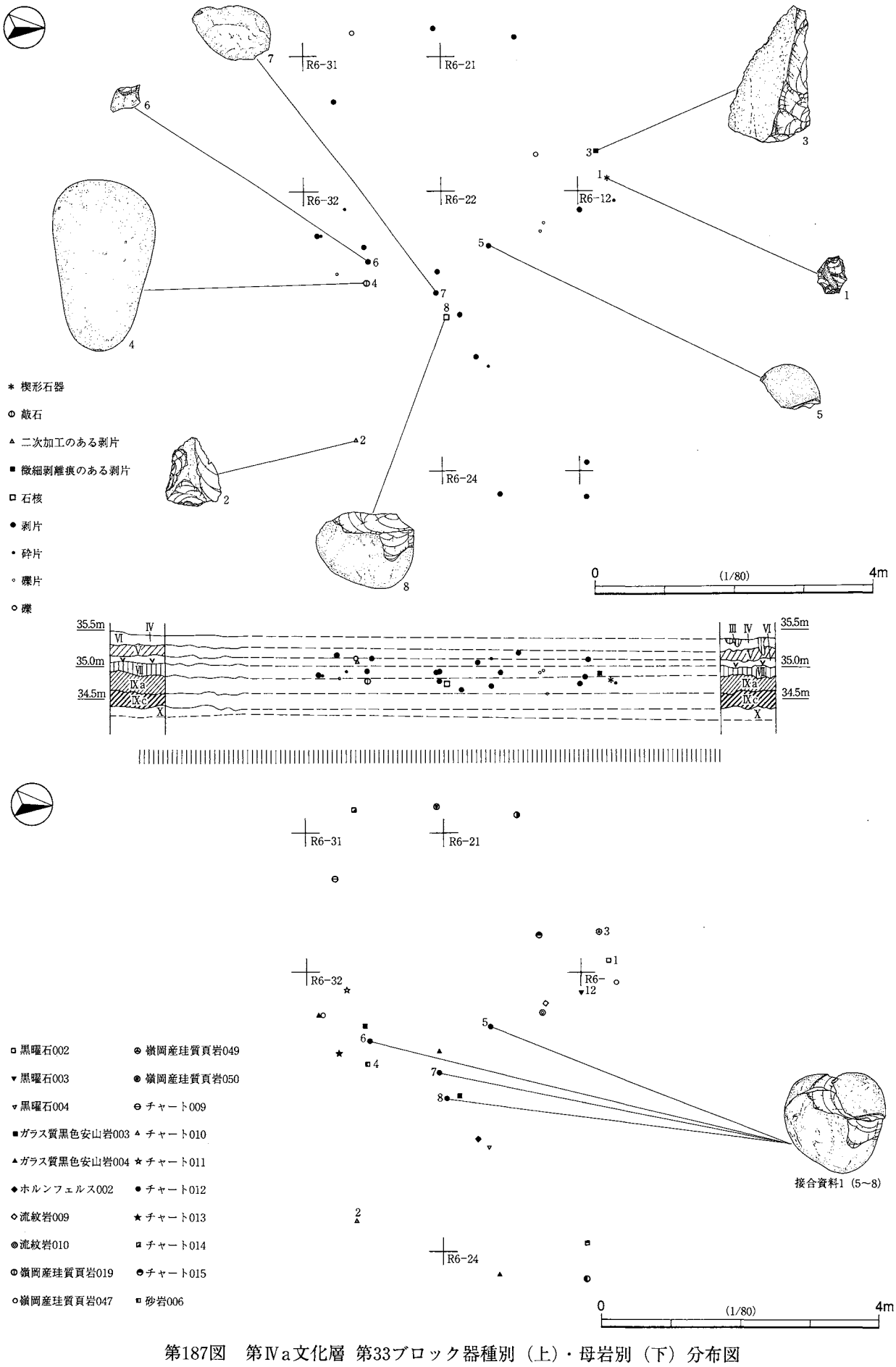
出土状況　平面分布は，約7m×6mの円形の範囲に散漫に分布する。分布状況を詳細にみると，南部と北部の2箇所に集中地点がみられる。西部と東部は遺物が散漫に分布している。出土層位は，Ⅸa層上部～Ⅴ層にかけて出土しており，Ⅶ層に集中する。

器種別分布（第187図）の特徴は，敲石が1点南部の端から出土している。石核は南部の中央部付近から出土している。北部からは，楔形石器が出土している。ブロック全体に，剥片が散漫に分布している。

第52表　第Ⅳa文化層 第33ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	楔形石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	002	1 1.07									1 1.07	3.57 0.11
	003						1 0.58				1 0.58	3.57 0.06
	004							1 0.18			1 0.18	3.57 0.02
黒曜石 点数合計 黒曜石 重量合計		1 1.07					1 0.58	1 0.18			3 1.83	10.71 0.18
ガラス質黒色安山岩	003						2 11.44				2 11.44	7.14 1.15
	004						4 19.71				4 19.71	14.29 1.99
ガラス質黒色安山岩 点数合計 ガラス質黒色安山岩 重量合計							6 31.15				6 31.15	21.43 3.14
ホルンフェルス	002						1 13.22				1 13.22	3.57 1.33
ホルンフェルス 点数合計 ホルンフェルス 重量合計							1 13.22				1 13.22	3.57 1.33
流紋岩	009								1 17		1 17	3.57 1.71
	010								1 24.04		1 24.04	3.57 2.42
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計									2 41.04		2 41.04	7.14 4.14
珪質頁岩	002						1 7.32				1 7.32	3.57 0.74
珪質頁岩 点数合計 珪質頁岩 重量合計							1 7.32				1 7.32	3.57 0.74
嶺岡産珪質頁岩	047							2 0.84			2 0.84	7.14 0.08
	049				1 19.89						1 19.89	3.57 2.01
	050						1 37.13				1 37.13	3.57 3.74
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計					1 19.89		1 37.13	2 0.84			4 57.86	14.29 5.83
チャート	009						1 2.98				1 2.98	3.57 0.30
	010			1 8.83							1 8.83	3.57 0.89
	011							1 0.89			1 0.89	3.57 0.09
	012					1 187	3 91.87				4 278.87	14.29 28.11
	013								1 111		1 111	3.57 11.19
	014									1 149	1 149	3.57 15.02
	015									1 76	1 76	3.57 7.66
チャート 点数合計 チャート 重量合計				1 8.83		1 187	4 94.85	1 0.89	1 111	2 225	10 627.57	35.71 63.26
砂岩	006		1 212								1 212	3.57 21.37
砂岩 点数合計 砂岩 重量合計			1 212								1 212	3.57 21.37
全体の点数合計 全体の重量合計		1 1.07	1 212	1 8.83	1 19.89	1 187	14 184.25	4 1.91	3 152.04	2 225	28 991.99	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		3.57 0.11	3.57 21.37	3.57 0.89	3.57 2.01	3.57 18.85	50.00 18.57	14.29 0.19	10.71 15.33	7.14 22.68	100.00 100.00	

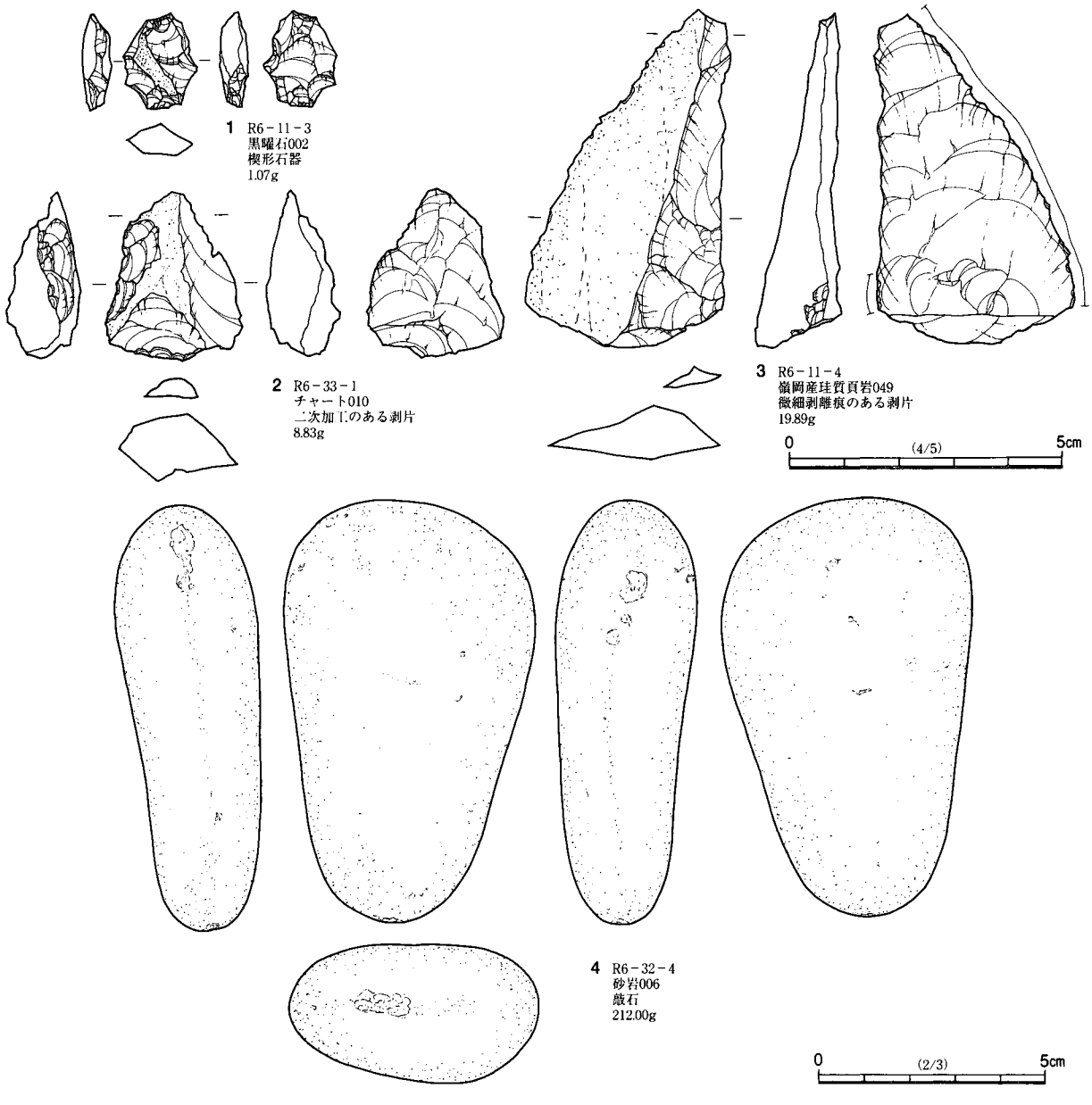
［上段：点数、下段：重量(g)］



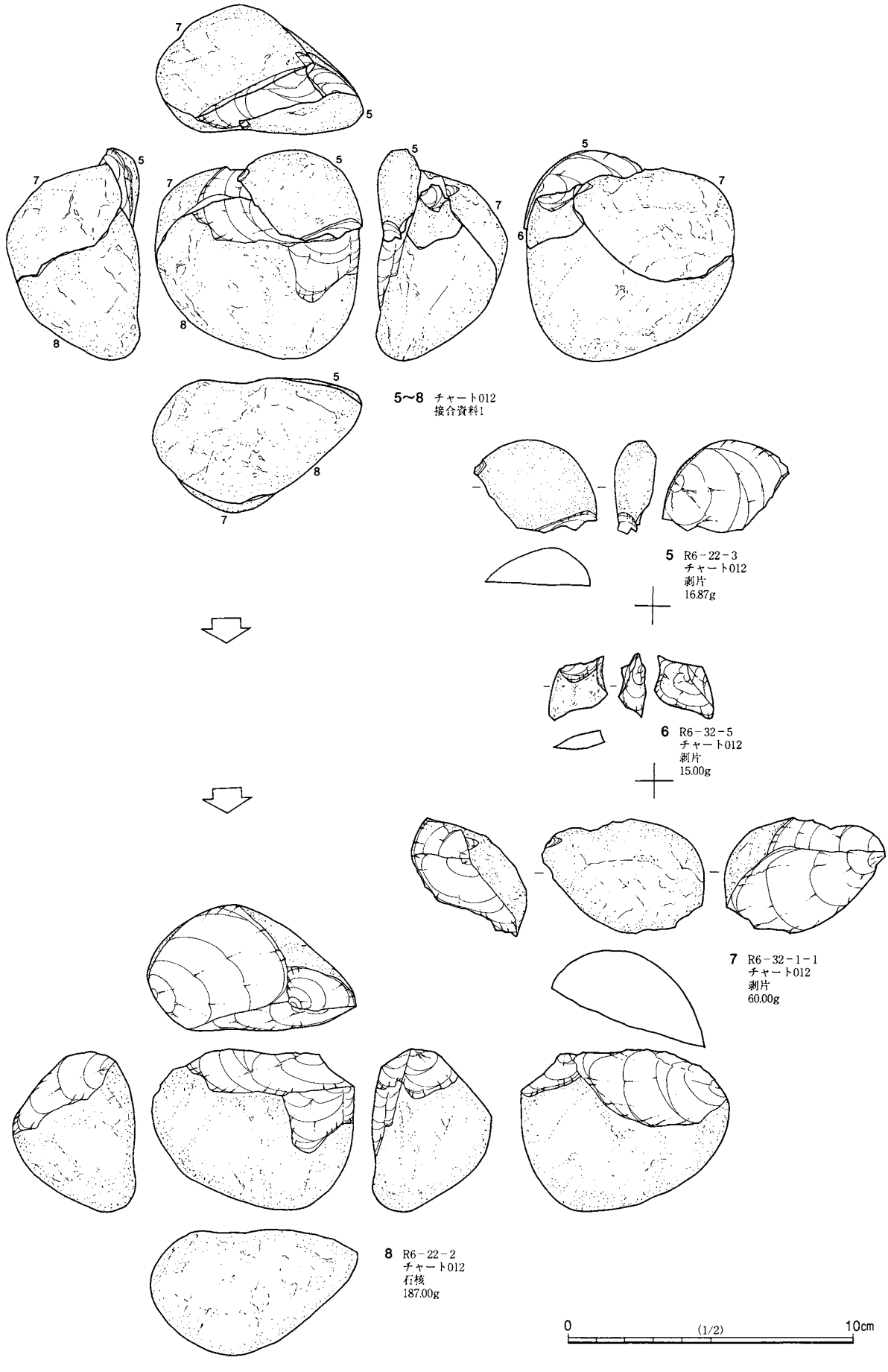
第187図　第Ⅳa文化層 第33ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図

母岩別分布（第187図）の特徴は，ブロック間接合はみられず，ブロック内で接合する接合資料１が，南部にまとまって出土している。これ以外の母岩は，ほとんどのものが単品で出土しており，散漫に分布している。

出土遺物　総計28点出土した。母岩器種組成は第52表のとおりである。器種組成は，製品がほとんどみられず，楔形石器１点，二次加工のある剥片１点，敲石１点が出土している。母岩（石材）組成は，比較的多様な石材が量的にも多寡なく出土している。そのなかで，チャートが10点（35.71%）で比較的多く用いられている。第Ⅳa文化層においては，他のブロックにおいては，嶺岡産珪質頁岩が最も多かったが，本ブロックにおいては，４点（14.29%）しか用いられておらず，低い比率を示す。母岩単位でみると，黒曜石002は楔形石器が単品で出土しており，搬入品と思われる。また，このほかの母岩においても，単品の



第188図　第Ⅳa文化層 第33ブロック出土石器（１）



第189図　第Ⅳa文化層 第33ブロック出土石器（2）

ものも多く，多くても４点で構成されているように，本ブロックにおいて，石器製作を行ったと思われる形跡が少ない。

１は楔形石器である。小型の剥片を素材として，上下両端から両極剥離を行っている。

２は二次加工のある剥片である。厚みのある剥片を素材としている。背面下部に打面を除去するような粗い加工が施されている。背面左側縁中部に階段状の粗い調整加工が施されている。

３は微細剥離痕のある剥片である。平坦打面で，打面部が最も厚みのある縦長剥片を素材としている。腹面右側縁に連続的に微細剥離がみられ，腹面左側縁下部にやや大きめな剥離がみられる。

４は敲石である。先細りの楕円形礫を素材としている。先が細まった先端部に顕著な敲打痕がみられる。右側縁上部にも３・４箇所敲打した痕跡がみられる。

５～８は接合資料１である。ほぼ円礫に復元可能になるほどに接合した資料である。まず，自然面を打面として，上端部から５が剥離されている。５の剥離の際に，末端部の左右が同時に折れており，５～８の状態で，５の左側と右下の剥離は，同時割れしたときの剥離面と思われる。その後，５の剥離面を打面として，６の小型の剥片が剥離され，続けて，７の横長剥片が剥離されている。石質が粗悪であったためか，これ以上の剥離は行われておらず，８の残核の形状は，チョッピングツゥール状を呈する。

⑦**第34ブロック**（第190～195図，第53・112・113表，図版３・39・40）

出土状況　平面分布は，約５ｍ×４ｍの円形の小範囲に密集する。分布状況を詳細にみると，ブロックの中心に遺物が集中するが，西部と東部にやや集中地点よりはなれて散漫に遺物が分布している。出土層位は，Ⅸa層上部～Ⅵ層にかけて上下幅を持って出土しており，Ⅶ層～Ⅵ層にかけて集中する。

器種別分布（第190図）の特徴は，ナイフ形石器・楔形石器・二次加工のある剥片・微細剥離痕のある剥片・石核が遺物集中地点の中心部にまとまって出土している。他のブロックに比べて，製品の割合が高く，小範囲に製品がまとまって出土している。西部と東部の遺物が散漫な地点からは，製品がほとんど出土していない。

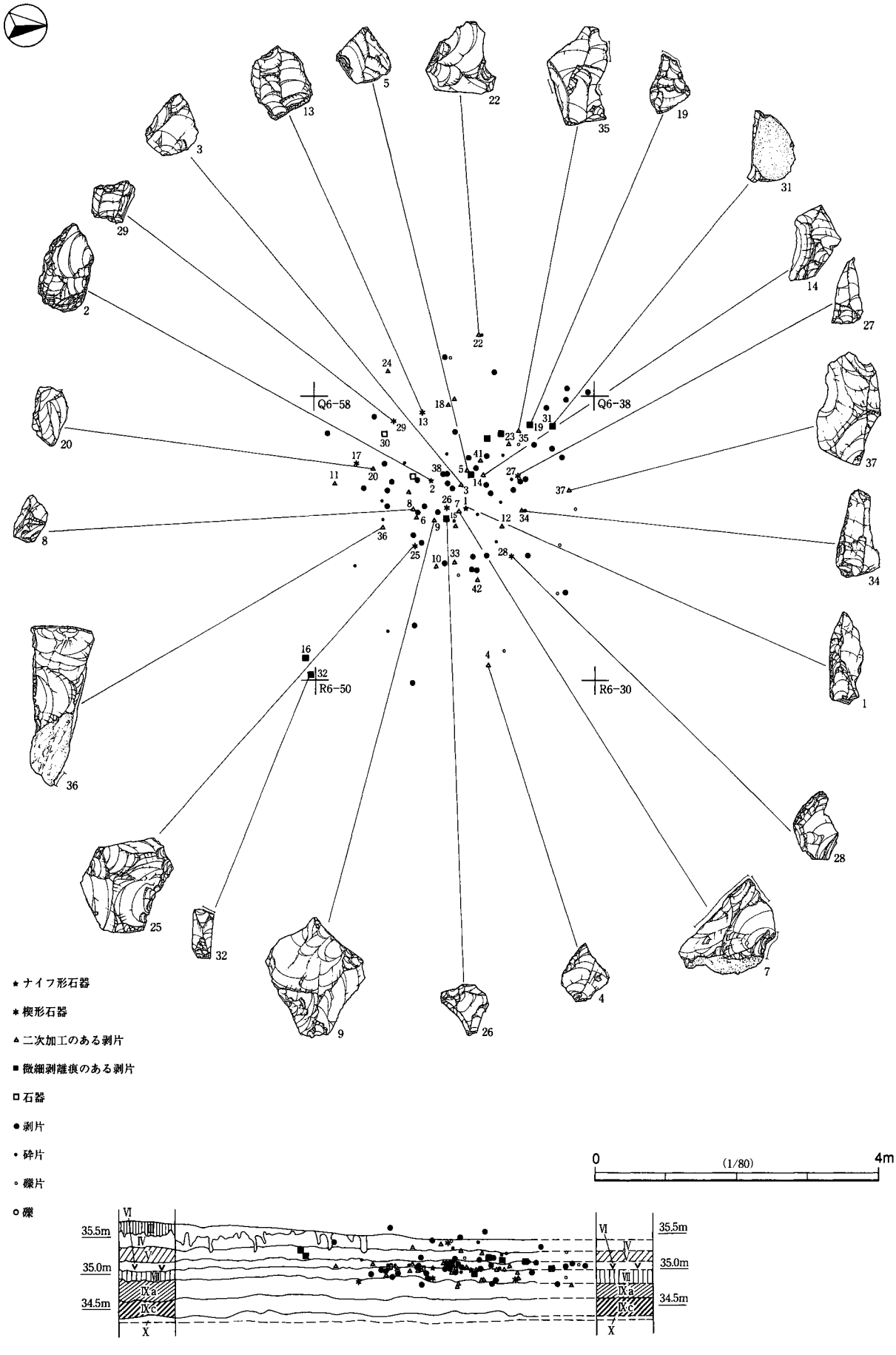
母岩別分布（第191図）の特徴は，接合資料が３資料あり，そのうち接合資料３・６の２資料は，ブロック間接合がみられる。嶺岡産珪質頁岩は，複数の点数で構成された母岩が多くみられ，製品の大半を占める。嶺岡産珪質頁岩053・054・055・061は，10点以上で構成される母岩であり，それぞれに製品がみられる。これらの分布は，ブロックの中心部にまとまって出土している。このような母岩分布状況から，本ブロックでは，敲石が出土していないが，本ブロックに嶺岡産珪質頁岩の母岩を持ち込んで石器製作をした可能性が高いといえよう。他の母岩は，単品で出土するものがほとんどであり，製品もほとんどみられない。

出土遺物　総計110点出土した。母岩器種組成は第53表のとおりである。第Ⅳa文化層においては，最も出土点数が多い。器種組成においても本文化層のうちで最も製品の数が多く，ナイフ形石器２点，楔形石器７点，二次加工のある剥片24点である。母岩（石材）組成は，出土点数が多い割には，比較的少数の石材で構成されている。そのなかで，嶺岡産珪質頁岩は99点（90%，総重量382.42ｇ）と極めて高い比率を示す。母岩別にみると，嶺岡産珪質頁岩以外の石材の母岩は，単品か，２点で構成され，搬入されたものである可能性が高い。反対に，嶺岡産珪質頁岩は，母岩単位でみても複数で構成されるものが多い。なかでも，嶺岡産珪質頁岩059・061は，ナイフ形石器を含み，二次加工のある剥片など多様な器種で構成され

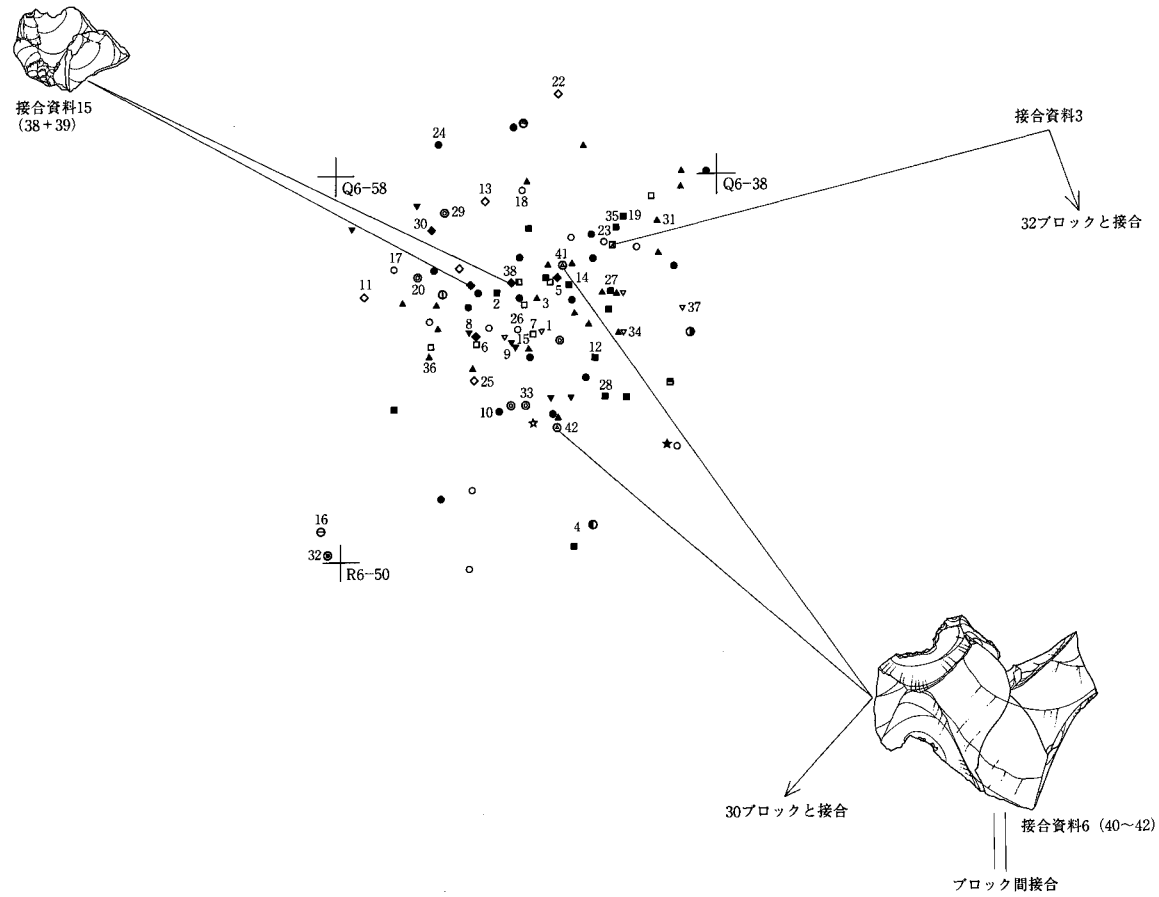
第53表　第Ⅳa文化層 第34ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	ナイフ形石器	楔形石器	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	総計	組成比（%）
黒曜石	005				1 0.65					1 0.65	0.91 0.15
	006				1 0.47					1 0.47	0.91 0.10
黒曜石 点数合計 黒曜石 重量合計					2 1.12					2 1.12	1.82 0.25
ホルンフェルス	003								1 6.13	1 6.13	0.91 1.37
	004						1 0.62			1 0.62	0.91 0.14
	005								1 5.79	1 5.79	0.91 1.29
ホルンフェルス 点数合計 ホルンフェルス 重量合計							1 0.62		2 11.92	3 12.54	2.73 2.80
流紋岩	003								1 3.68	1 3.68	0.91 0.82
	011								1 3.45	1 3.45	0.91 0.77
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計									2 7.13	2 7.13	1.82 1.59
嶺岡産珪質頁岩	051					2 25.61	3 9.78			5 35.39	4.55 7.90
	052			2 20.26	1 6.99		3 12.06	2 5.25		8 44.56	7.27 9.94
	053			4 24.82	1 3.09		8 18.25	4 1.02		17 47.18	15.45 10.53
	054		2 6.37	2 2.38	1 6.33		5 10.26	1 0.11		11 25.45	10.00 5.68
	055			3 54.42			8 15.16	1 3.72		12 73.3	10.91 16.36
	056		2 19.97	2 6.25				1 0.35		5 26.57	4.55 5.93
	057		1 4.93	1 3.34			2 4.66	1 0.34		5 13.27	4.55 2.96
	058			2 16.22						2 16.22	1.82 3.62
	059	1 3.7		2 18.04			3 9.42			6 31.16	5.45 6.95
	060				1 3.59		5 5.73	3 2.14		9 11.46	8.18 2.56
	061	1 7.09	2 5.19	5 21.58	1 1.58		2 6.14	1 0.17		12 41.75	10.91 9.32
	062			1 1.58	1 0.5		5 14.03			7 16.11	6.36 3.60
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計		2 10.79	7 36.46	24 168.89	6 22.08	2 25.61	44 105.49	14 13.1		99 382.42	90.00 85.35
チャート	008						1 7.33			1 7.33	0.91 1.64
	016								1 4.64	1 4.64	0.91 1.04
チャート 点数合計 チャート 重量合計							1 7.33		1 4.64	2 11.97	1.82 2.67
砂岩	007								1 7.76	1 7.76	0.91 1.73
	008								1 25.14	1 25.14	0.91 5.61
砂岩 点数合計 砂岩 重量合計									2 32.9	2 32.9	1.82 7.34
全体の点数合計 全体の重量合計		2 10.79	7 36.46	24 168.89	8 23.2	2 25.61	46 113.44	14 13.1	7 56.59	110 448.08	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		1.82 2.41	6.36 8.14	21.82 37.69	7.27 5.18	1.82 5.72	41.82 25.32	12.73 2.92	6.36 12.63	100.00 100.00	

［上段：点数、 下段：重量(g)］



第190図　第Ⅳa文化層 第34ブロック器種別分布図



- 黒曜石005
- 黒曜石006
- ホルンフェルス003
- ホルンフェルス004
- ホルンフェルス005
- 流紋岩003
- 流紋岩011
- 嶺岡産珪質頁岩051
- 嶺岡産珪質頁岩052
- 嶺岡産珪質頁岩053
- 嶺岡産珪質頁岩054
- 嶺岡産珪質頁岩055
- 嶺岡産珪質頁岩056
- 嶺岡産珪質頁岩057
- 嶺岡産珪質頁岩058
- 嶺岡産珪質頁岩059
- 嶺岡産珪質頁岩060
- 嶺岡産珪質頁岩061
- 嶺岡産珪質頁岩062
- チャート008
- チャート016
- 砂岩007
- 砂岩008

0 (1/80) 4m

第191図　第Ⅳa文化層 第34ブロック母岩別分布図

ている。おそらく，本ブロックか本遺跡において，石器製作が行われた可能性が高い。

1・2はナイフ形石器である。1は縦長剥片を素材として，主軸方向と主要剥離面方向が一致する。左側縁下部は腹面から急角度に調整加工が施されている。右側縁下部は，背面から打面部と基部に急角度の調整加工を入念に施している。打面は残存している。2は縦長剥片を素材として，主軸方向と主要剥離面方向が一致する。背面右側縁上部に平坦で大きな調整が施されている。その後，腹面左側縁に階段状の粗い調整加工が施されている。続いて，背面右側縁下部から下端部にかけて，細かい調整加工が入念に施されている。腹面右側縁にやや粗い調整加工が施された後に，背面左側面上部に粗い調整加工が連続的に施されている。厳密に器種認定するのであれば，第一次剥離面の縁辺が残っていないので，ナイフ形石器と認定できない。槍先形尖頭器と器種認定するには，調整加工が先端部に集中していない。これらの要素から，2は1のナイフ形石器と同様の素材の用い方をしていることから，2はナイフ形石器として製作された後に，刃部再生を行った結果，第一次剥離面の縁辺を残さない石器になったと解釈を行うことにする。

3～12・14は二次加工のある剥片である。3～8は比較的広い打面から剥離された三角形状の剥片を素材として，三角形の先端部を尖らせるような調整加工や微細剥離がみられる。3は右側縁上部を折断した後に，左側縁上部に調整加工が施されている。4も3と同様に，右側縁上部を折断した後に，左側縁に粗い調整加工が連続的に施されている。5は左側縁を折断した後に，右側縁上部に細かい調整加工が施されている。6は左側縁上半部を折断し，右側縁上部に粗い調整加工が施されている。7は右側縁中間部に粗い調整加工が施されており，先端部は左側縁と右側縁上部に微細剥離痕がみられる。8は縦長剥片を素材として，腹面左上部に調整加工が施されている。9は厚みのある剥片を素材としている。打面部と末端部にあたる右側縁上部と左側縁下部を対として，両極剥離が行われている。楔形石器として器種認定したほうが妥当かもしれない。菱形状の形態をしており，先端部が尖るような調整加工が施されている。この石器と類似する石器としては，第30ブロックの4と25の石器が，素材の用い方や両極剥離によって調整加工が施されており，菱形の形態を呈して，先端部が尖っている。10は小型の薄い剥片を素材として，左側縁と右側縁と下端部を折断して，三角形状の石器を作り出している。11は薄い剥片を素材として，右側縁上部を折断し，左側縁下部に細かい調整加工が施されている。12は薄い剥片を素材として，右側縁上部を折断して，右側縁下部に細かい調整加工が施されている。14は素材の打面部と末端部を折断調整した後に，右側縁下部にやや粗い調整加工が施されている。

13・17は楔形石器である。13は素材は不明であるが，おそらく，両極剥離で剥離された剥片を素材としているものと思われる。左側縁上部と右側縁下部を対として両極剥離が行われているとともに，右側縁上部と左側縁下部を対として両極剥離が行われている。その結果，先端部が尖った形状を呈している。全体形状は，菱形の形状を呈しており，前述の9の石器や第30ブロックの4と25と類似する。17は厚みのある剥片を素材として，上下両端と左右両端から両極剥離が行われている。

15・16・19は微細剥離痕のある剥片である。15は素材の末端部に微細剥離がみられる。16は打面部を折断した後に，微細剥離がみられる。19はおそらく両極剥離で剥離された剥片を素材としている。上下両端に微細剥離がみられる。

18・20～24は二次加工のある剥片ある。18は薄い剥片を素材として，右側縁と左側縁上部を折断調整している。20は左側縁上部に急角度の粗い調整加工が施されている。21は縦長剥片を素材として，右側縁上部に粗い調整加工が施されている。22は薄い剥片を素材として，打面部を折断調整した後に，腹面右側縁

上半部を階段状の粗い調整加工を施した後に，背面左側縁中部に細かい調整加工が施されている。23は小型の縦長剥片を素材として，末端部に粗い調整加工が施されている。24は右側縁下部に急角度の調整加工が施されている。

25～29は楔形石器である。幅広の剥片を素材として，末端部と右側縁上部が折断されている。左側縁上部と右側縁下部を対として，両極剥離が行われている。26は厚みのある剥片を素材として，上下両端部を対にして，両極剥離が行われている。27は両極剥離によって剥離された角柱状の剥片を素材として，上下両端から両極剥離を行っている。28は薄い剥片を素材として，左側縁上部と右側縁下部を対として，両極剥離が行われている。29は厚みのある剥片を素材として，上下両端から両極剥離を繰り返し行われている。

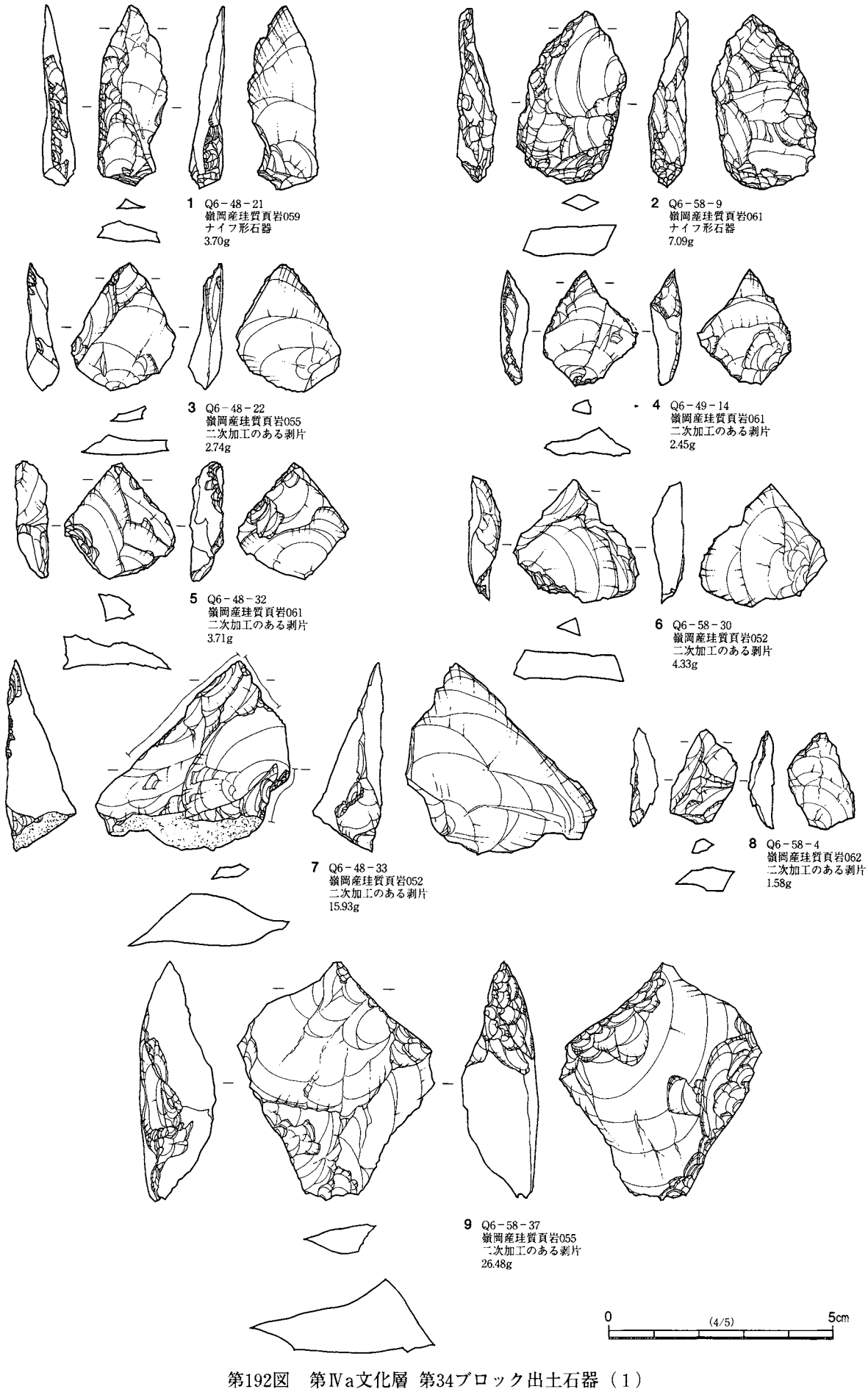
30は石核である。厚みのある剥片を素材として，左側縁と上下両端を剥離している。石核として器種認定したが，剥離された剥片の形状が不定形であることが推定されるため，折断を行っただけの剥片である可能性がある。

31～33は微細剥離痕のある剥片である。31は打面部を折断している。末端部には微細剥離がみられる。31は縦長剥片を素材として，末端部に微細剥離がみられる。33は厚みのある撥形の剥片を素材として，右側縁下部に微細剥離がみられる。

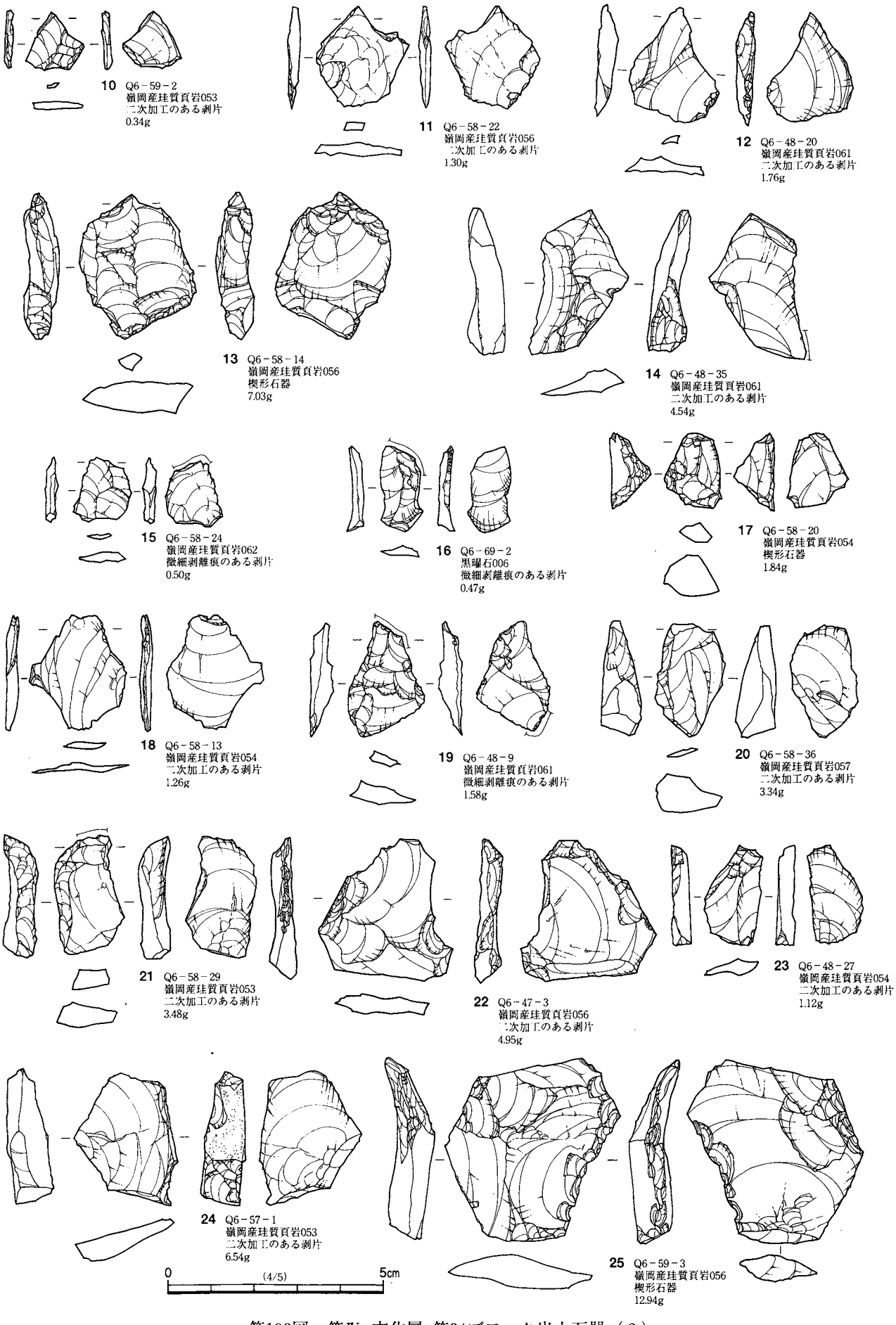
34～37は二次加工のある剥片である。34は縦長剥片を素材として，左側縁に連続的に細かい調整加工が施されている。35は縦長剥片を素材として，末端部と左側面下部を折断している。右側縁上半部は粗い調整加工が施されている。36は自然面打面から剥離された縦長剥片を素材として，左側縁中部から上部にかけて細かい調整加工が連続的に施されている。37は縦長剥片を素材として，右側縁を折断して，末端部に細かい調整加工が施されている。

38＋39は接合資料15である。分割された厚みのある剥片を素材として，38のような幅広の剥片を剥離している。残核である39は，剥離された剥片は少ないものの，他方向から剥離されたことがうかがえる。

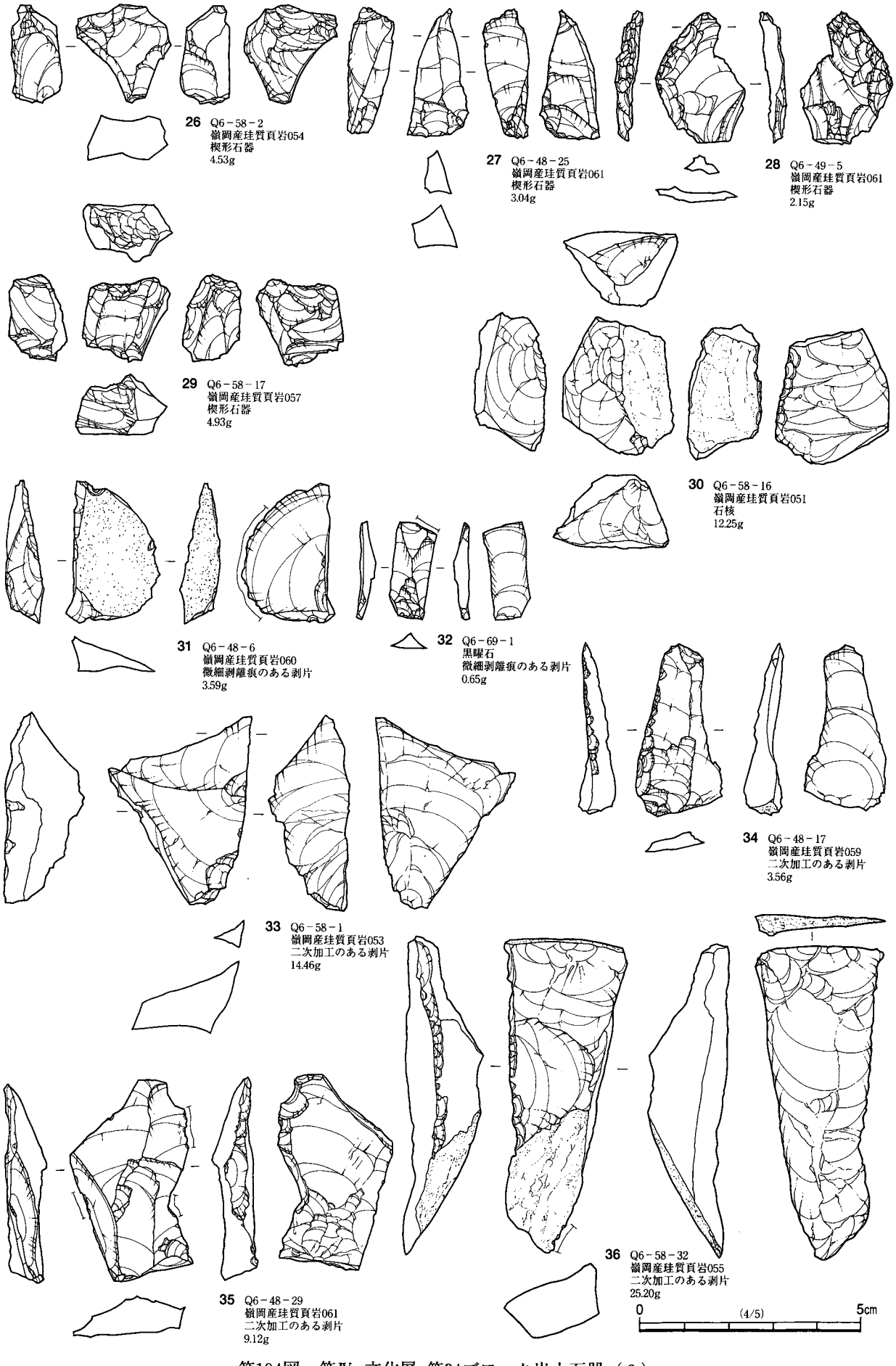
40＋41＋42は接合資料６である。40＋41＋42の状態で，幅広の大きな剥片を素材として，左側縁上部と左側縁下部に横長剥片を剥離した痕跡がみられ，石核として利用された可能性がある。その後，剥片が剥離できなくなったので，40と41と42に分割した可能性がある。分割された剥片は，打面部付近にもあったことが推察されるが，本遺跡では接合する資料がなかった。また，40が第30ブロック出土で，41と42が第34ブロック出土であることから，分割後に移動して使用されたことが推定される。



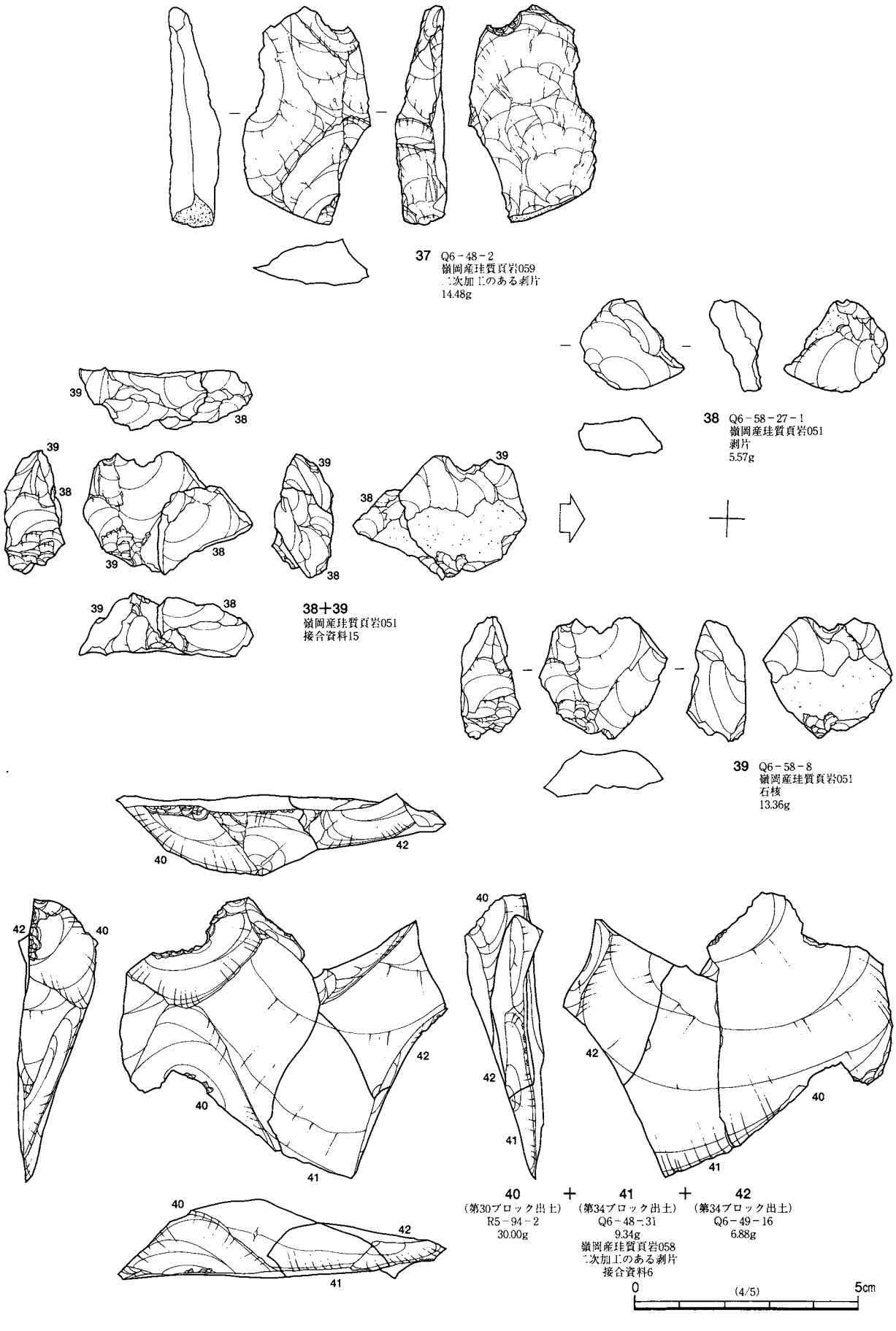
第192図　第Ⅳa文化層 第34ブロック出土石器（1）



第193図　第Ⅳa文化層 第34ブロック出土石器（2）



第194図　第Ⅳa文化層 第34ブロック出土石器（3）



第195図　第Ⅳa文化層 第34ブロック出土石器（4）

（2）**第Ⅳb文化層**（第196図，第54表）

第Ⅳb文化層の概要　第196図でみられるように，第35ブロックの1ブロックのみである。調査区南側の南斜面に分布する。出土層位は，Ⅶ～Ⅵ層にかけて出土している。Ⅶ層に集中することから，Ⅶ層に生活面を持つと推定される。

出土点数は，9点（総重量90.69ｇ）である。母岩数は6母岩である。接合資料はみられない。

石材器種組成は第54表のとおりである。主要器種は，石核・剥片で製品は出土していない。主要石材は，珪質頁岩を用いている。

第54表　第Ⅳb文化層石材器種組成表

石材＼器種	石核	剥片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	1 19.3			1 19.3	11.11 21.28
ホルンフェルス		1 7.39		1 7.39	11.11 8.15
流紋岩			1 23.93	1 23.93	11.11 26.39
頁岩		1 17.31		1 17.31	11.11 19.09
珪質頁岩		4 16.37		4 16.37	44.44 18.05
嶺岡産珪質頁岩		1 6.39		1 6.39	11.11 7.05
点数合計	1	7	1	9	100.00
重量合計	19.3	47.46	23.93	90.69	100.00
点数組成比（%）	11.11	77.78	11.11	100.00	
重量組成比（%）	21.28	52.33	26.39	100.00	

［上段：点数、下段：重量(g)］

①**第35ブロック**（第197・198図，第55・113表，図版39）

出土状況　平面分布は，約7ｍ×2ｍの楕円形の範囲に散漫に分布する。器種別分布（第197図）の特徴は，石核が北東部に出土しており，剥片が南西部にややまとまって出土している。母岩別分布（第197図）の特徴は，ほとんどの母岩が単品で持ち込まれている。出土層位は，Ⅸａ層からⅥ層にかけて出土し，Ⅶ層に集中する。

出土遺物　総計9点のみの出土である。母岩器種組成は第55表のとおりである。器種組成は，製品がみられず，石核1点，剥片7点，礫1点である。出土点数が少ないが，縦長剥片が多く出土している。母岩（石材）組成は，比較的多様な石材が量的にも多寡なく出土している。そのなかで，珪質頁岩が比較的多く用いられている。母岩別にみると，黒曜石001は石核が単品で出土している。そのほかの母岩も珪質頁岩001以外は，単品で出土している。

第196図　第Ⅳb文化層分布状況

1～4は剥片である。1は打面が非常に小さく，頭部調整は縁辺にわずかに施されている。背面構成を観察すると，同一方向に縦長剥片が連続的に剥離されていることがうかがえる。下端部からの剥離もみられることから，石核が行われた可能性もある。これらのことから，石刃技法によって剥離された石刃と考えられる。2は線状の打面から剥離された縦長剥片である。3は小さい打面から剥離された縦長剥片である。4は剥片として器種認定したが，大型の剥片の小口から剥離された削片である可能性が高い。左側面が削片の主要剥離面で，末端部に背面側から調整加工が施されている。

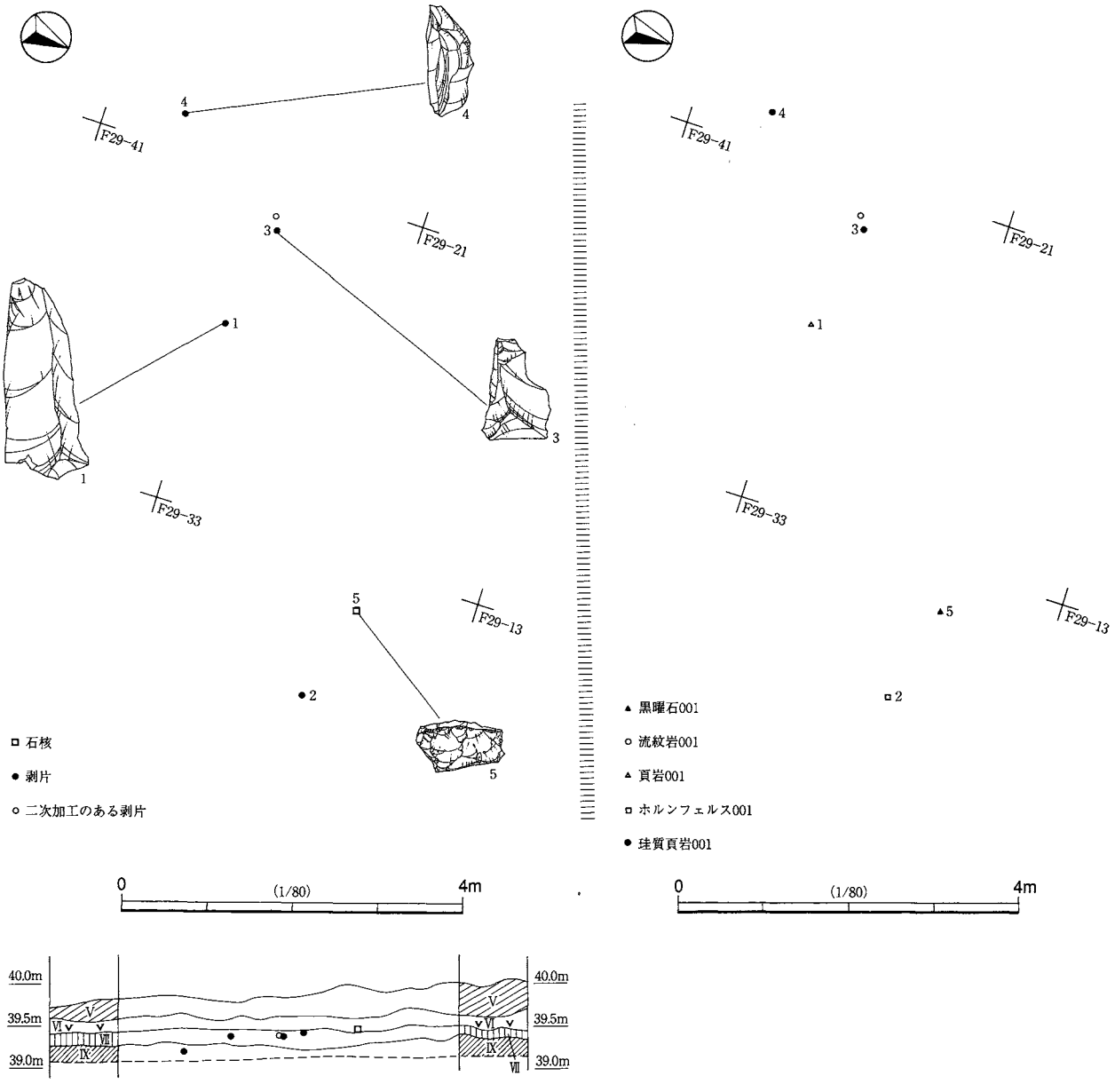
1～4は良質の石材を用いており，石刃技法によって剥離された可能性のある資料である。特に，1の石刃や4の削片と捉えることができる資料は，点数が少ないながらも，本文化層の位置づけを考える上で重要な資料といえよう。

5は石核である。厚みのある剥片を素材として，上端部の大きな剥離面を打面として固定して，打点を順次転移して，小型の貝殻状の剥片を剥離している。残核の形状は，円盤状の形態に近い。

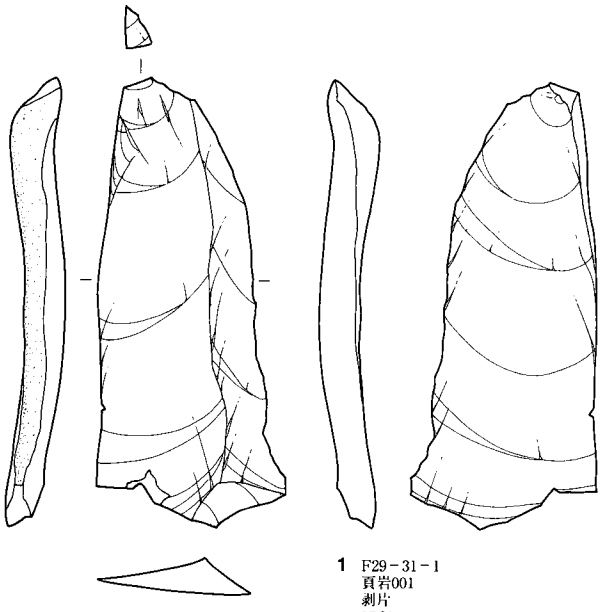
第55表　第Ⅳb文化層 第35ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	石核	剥片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	001	1 19.3			1 19.3	11.11 21.28
黒曜石 点数合計 黒曜石 重量合計		1 19.3			1 19.3	11.11 21.28
ホルンフェルス	001		1 7.39		1 7.39	11.11 8.15
ホルンフェルス 点数合計 ホルンフェルス 重量合計			1 7.39		1 7.39	11.11 8.15
流紋岩	001			1 23.93	1 23.93	11.11 26.39
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計				1 23.93	1 23.93	11.11 26.39
頁岩	001		1 17.31		1 17.31	11.11 19.09
頁岩 点数合計 頁岩 重量合計			1 17.31		1 17.31	11.11 19.09
珪質頁岩	001		4 16.37		4 16.37	44.44 18.05
珪質頁岩 点数合計 珪質頁岩 重量合計			4 16.37		4 16.37	44.44 18.05
嶺岡産珪質頁岩	001		1 6.39		1 6.39	11.11 7.05
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計			1 6.39		1 6.39	11.11 7.05
全体の点数合計 全体の重量合計		1 19.3	7 47.46	1 23.93	9 90.69	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		11.11 21.28	77.78 52.33	11.11 26.39	100.00 100.00	

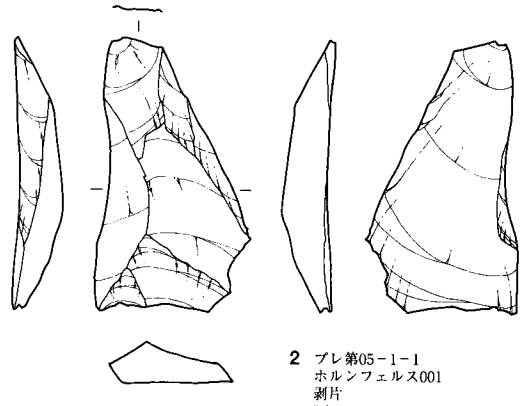
［上段:点数、 下段:重量(g)］



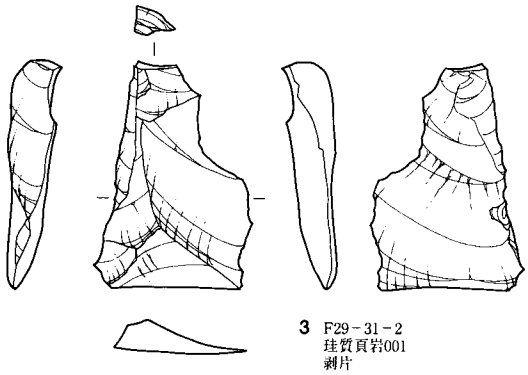
第197図　第Ⅳb文化層 第35ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図



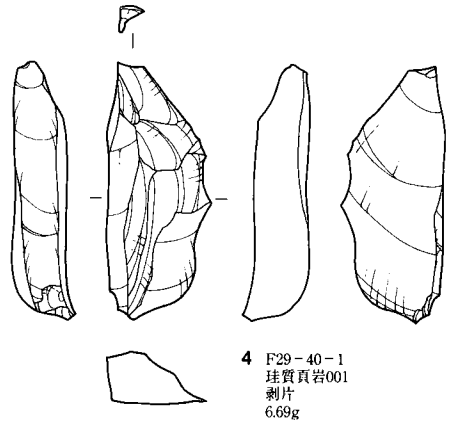
1 F29－31－1
頁岩001
剥片
17.31g



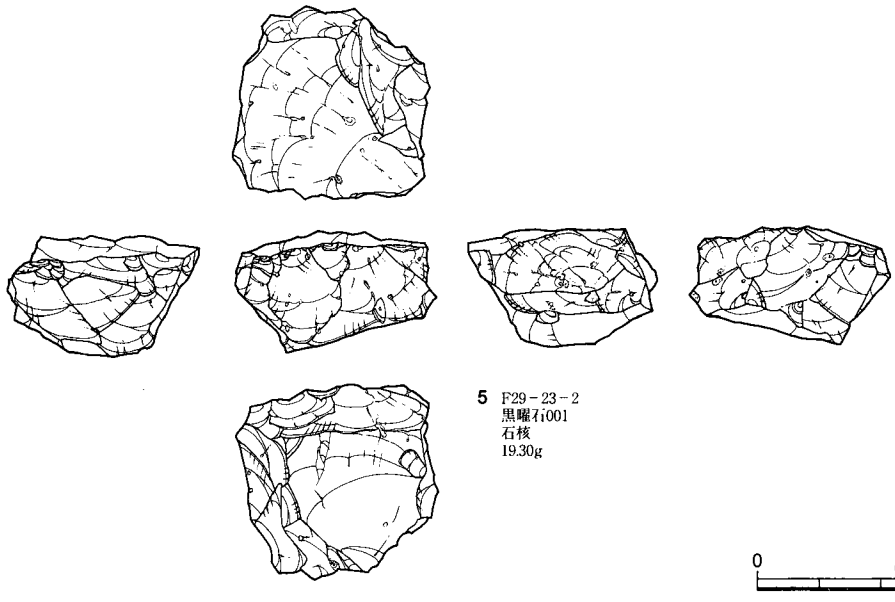
2 ブレ第05－1－1
ホルンフェルス001
剥片
7.39g



3 F29－31－2
珪質頁岩001
剥片
4.88g



4 F29－40－1
珪質頁岩001
剥片
6.69g



5 F29－23－2
黒曜石001
石核
19.30g

0 (4/5) 5cm

第198図　第Ⅳb文化層 第35ブロック出土石器

7　第Ⅴ文化層

第Ⅴ文化層の概要（第199図，第56・58・61・68・72表）

第Ⅴ文化層は，第Ⅴa文化層・第Ⅴb文化層・第Ⅴc文化層・第Ⅴd文化層・第Ⅴe文化層の５文化層に分離される。第199図でみられるように，調査区全体に，第Ⅴ文化層の石器群が広がっている。このうち，調査区中央部の南側に位置する第Ⅴc文化層は，ブロック間の接合がみられ，石器群の内容も充実している。これ以外の文化層は，ブロック間接合がみられない。出土層位は，Ⅴ層～Ⅲ層にかけて出土しており，Ⅴ層～Ⅳ層下部にかけて集中する。各文化層においては，それぞれ集中する出土層位が微妙に異なる。

（１）第Ⅴa文化層（第200図，第56表）

第Ⅳa文化層の概要　第36ブロックの１ブロックのみである。調査区北側の台地の平坦部にかかる地点にに分布する。出土層位は，Ⅴ層～Ⅳ層にかけて出土しており，Ⅴ層に集中することから，Ⅴ層に生活面があると推定される。

出土点数は，14点（総重量428.76ｇ）である。母岩数は７母岩である。接合する母岩は３母岩で，接合する点数は６点である。接合率の高い文化層といえる。

石材器種組成は第56表のとおりである。主要器種は，楔形石器・敲石で構成される。主要石材は，頁岩である。

①第36ブロック（第201～203図，第57・114表，図版41・43）

出土状況　平面分布は，約５ｍ×３ｍの楕円形の範囲に散漫に分布する。分布状況を詳細にみると，北部と南部と南東部の３箇所の遺物集中地点がみられる。出土層位は，Ⅵ層～Ⅳ層にかけて出土しており，Ⅴ層に集中する。

器種別分布（第201図）の特徴は，北部には石核と剥片・砕片が出土し，南部には敲石・楔形石器が出土し，南東部には敲石が出土している。

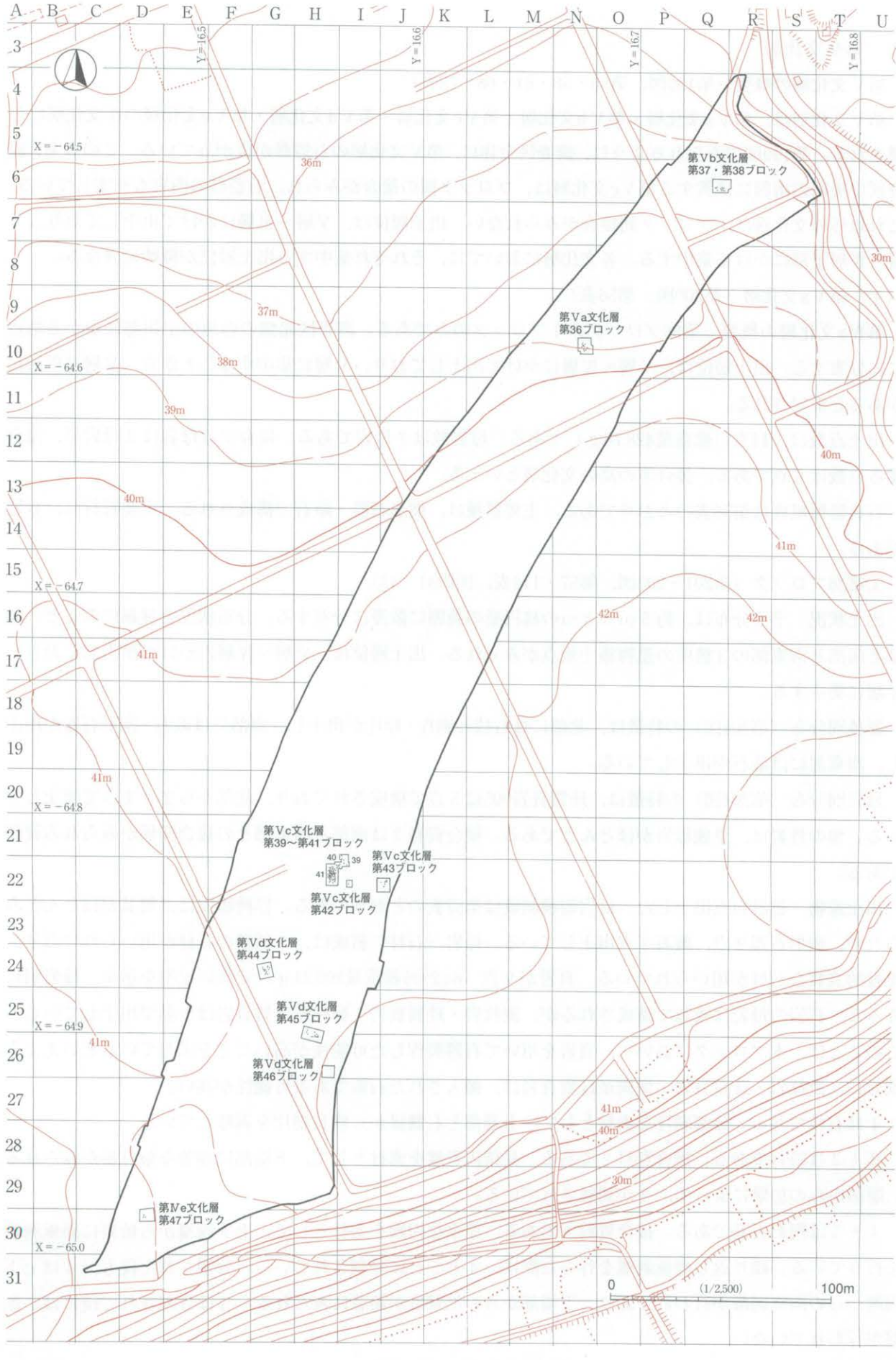
母岩別分布（第201図）の特徴は，珪質頁岩005は５点で構成されており，北部からまとまって出土している。他の母岩は，単独母岩がほとんどである。接合資料３は南部と南東部との接合関係がみられる資料である。

出土遺物　総計14点出土した。母岩器種組成は第57表のとおりである。器種組成は，製品がほとんどみられず，楔形石器２点，敲石２点出土している。母岩（石材）組成は，５種類の石材が用いられており，比較的良質な石材が用いられている。頁岩が９点（64.29%総重量290.21ｇ）で高い比率を示す。母岩別にみると，頁岩の母岩は複数で構成されるが，流紋岩・珪質頁岩・嶺岡産珪質頁岩は単品で出土している。このことは，本ブロックにおいて，頁岩を用いて石器製作した可能性が高いことを示しているといえよう。反対に，流紋岩・珪質頁岩・嶺岡産珪質頁岩は，搬入された石器である可能性が高い。

１は石核である。分割剥片を素材として，上端部と右側縁から横長剥片を剥離している。

２＋３は敲石である。接合資料２である。長楕円形礫を素材として，下端部に顕著な敲打痕がみられる。上端部からの加撃によって，２が剥離されている。

４＋５は楔形石器である。接合資料１である。扁平な円礫を素材として，上下両端から頻繁に両極剥離を行っている。繰り返し両極剥離を行った際に，４と５とに分割されている。分割された後も，４は上下両端からの両極剥離が行われており，下端部からの加撃痕が顕著にみられる。５は分割されて後には，加撃が行われていない。



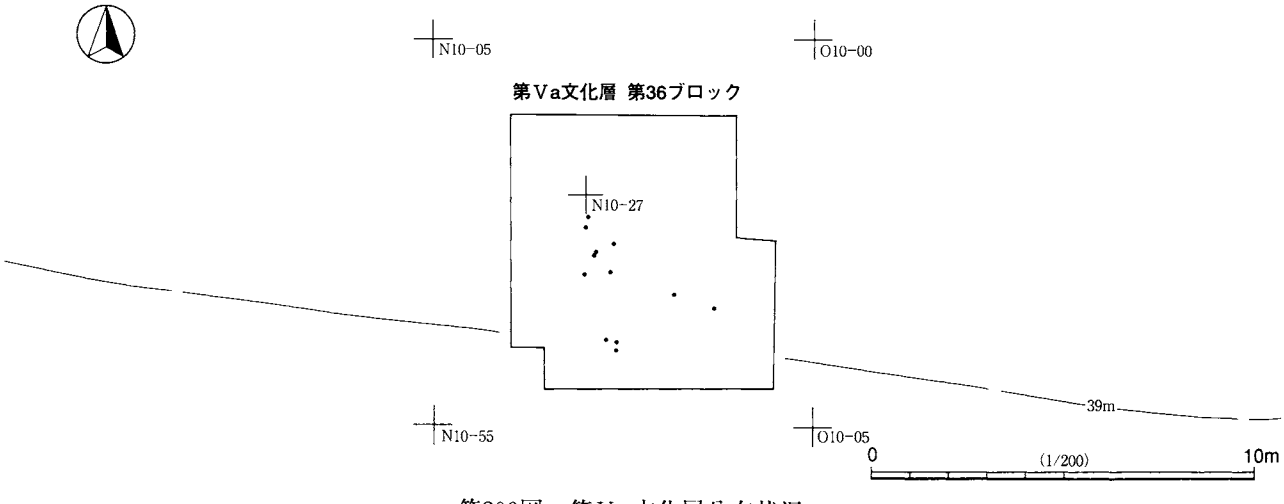
第199図　第Ⅴ文化層分布状況

6 + 7は接合資料2である。分割礫を素材として，打面を頻繁に転移しながら，横長剥片を剥離している。最初に，上面を表面側から2・3枚の横長剥片を剥離している。その際に，6が剥離されている。次に，下端部を打面として，2枚以上の横長剥片が剥離されている。最後に，6を含む上面の剥離面を打面として，上端部から3枚以上の横長剥片が剥離されている。

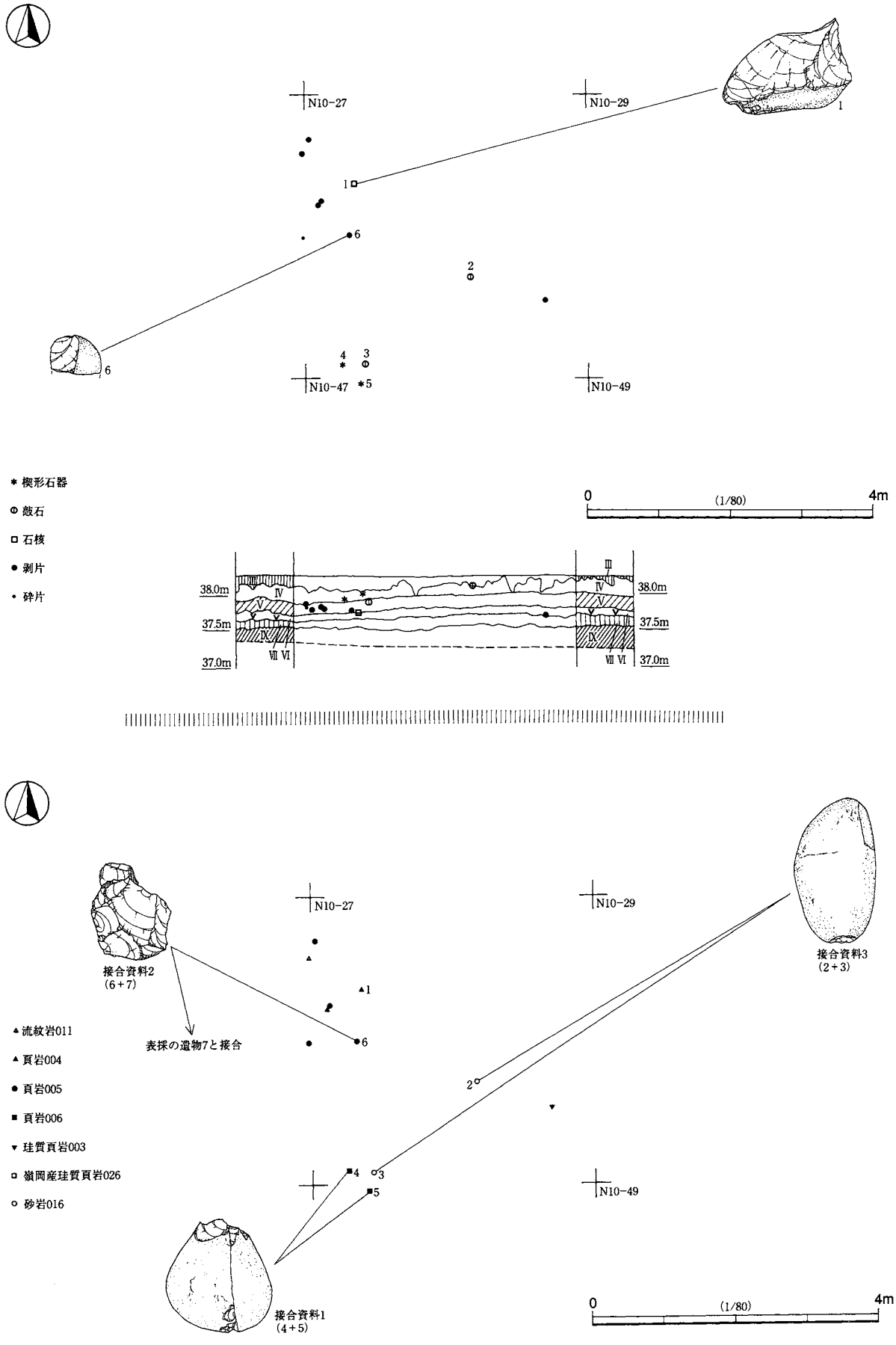
第56表　第Va文化層石材器種組成表

石材＼器種	楔形石器	敲石	石核	剥片	砕片	総計	組成比（%）
流紋岩				1 3.62		1 3.62	7.14 0.84
頁岩	2 139.36		2 122.23	4 27.99	1 0.63	9 290.21	64.29 67.69
珪質頁岩				1 0.81		1 0.81	7.14 0.19
嶺岡産珪質頁岩				1 5.96		1 5.96	7.14 1.39
砂岩		2 128.16				2 128.16	14.29 29.89
点数合計 重量合計	2 139.36	2 128.16	2 122.23	7 38.38	1 0.63	14 428.76	100.00 100.00
点数組成比（%） 重量組成比（%）	14.29 32.50	14.29 29.89	14.29 28.51	50.00 8.95	7.14 0.15	100.00 100.00	

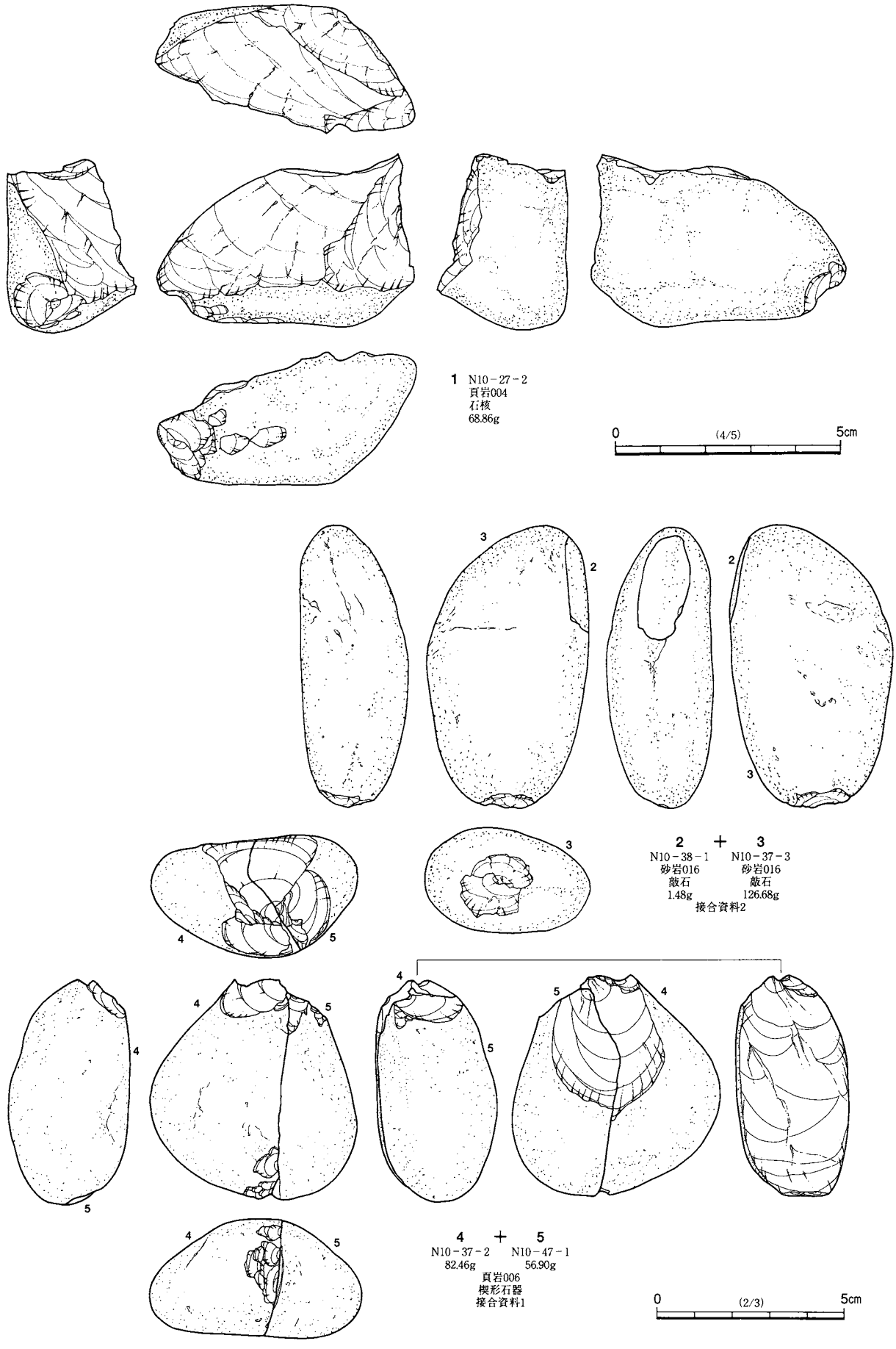
［上段：点数、下段：重量(g)］



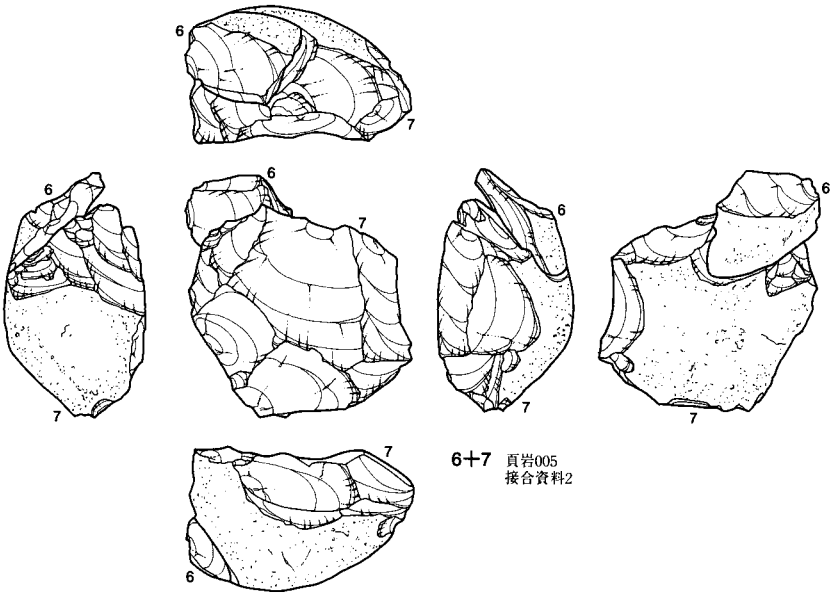
第200図　第Va文化層分布状況



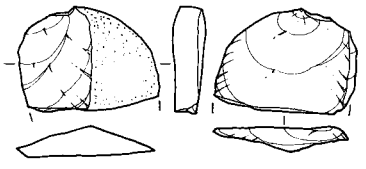
第201図　第Ⅴa文化層 第36ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図



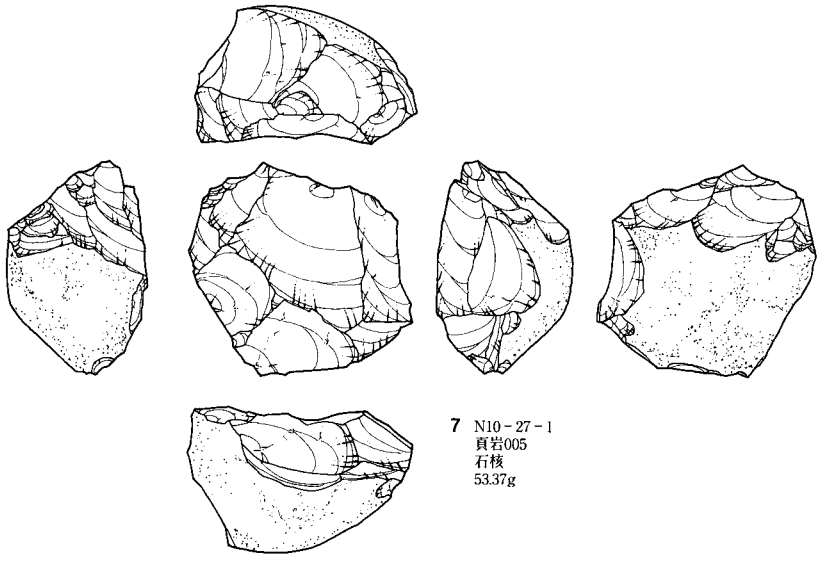
第202図　第Ｖa文化層 第36ブロック出土石器（１）



6+7 頁岩005
接合資料2



6 N10－37－1
頁岩005
剥片
4.44g



7 N10－27－1
頁岩005
石核
53.37g

0 (2/3) 5cm

第203図　第Ⅴa文化層 第36ブロック出土石器（2）

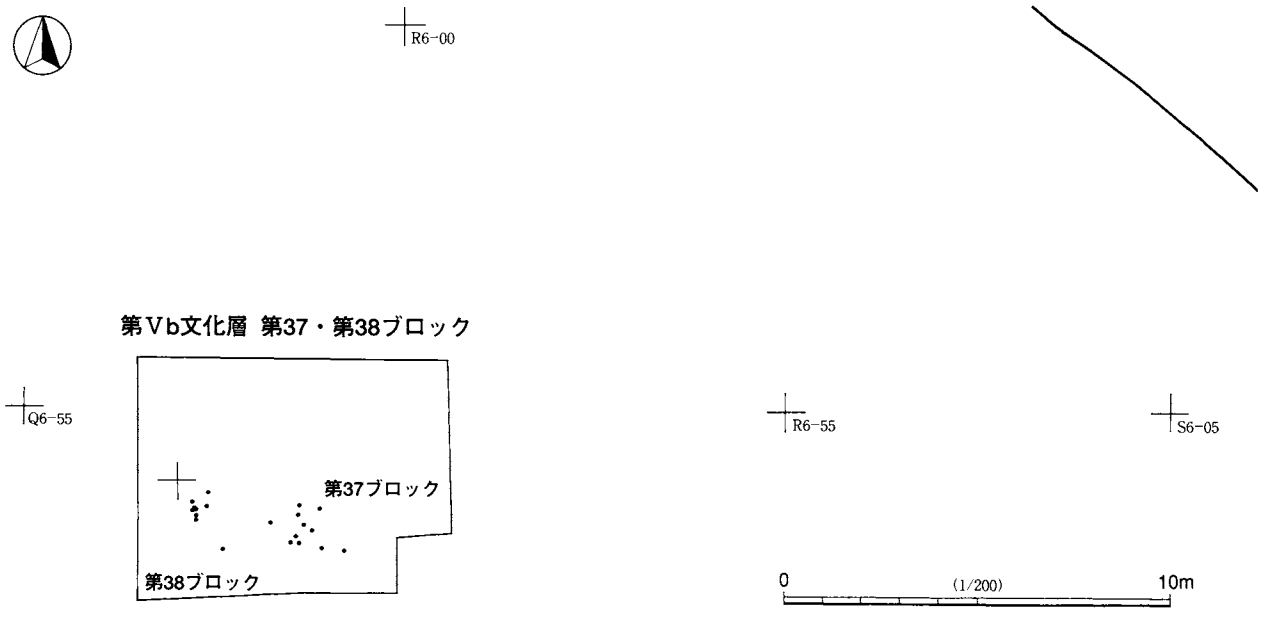
第57表　第Ｖa文化層 第36ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	楔形石器	敲石	石核	剥片	砕片	総計	組成比（%）
流紋岩	011				1 3.62		1 3.62	7.14 0.84
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計					1 3.62		1 3.62	7.14 0.84
頁岩	004			1 68.86	1 20.12		2 88.98	14.29 20.75
	005			1 53.37	3 7.87	1 0.63	5 61.87	35.71 14.43
	006	2 139.36					2 139.36	14.29 32.50
頁岩 点数合計 頁岩 重量合計		2 139.36		2 122.23	4 27.99	1 0.63	9 290.21	64.29 67.69
珪質頁岩	003				1 0.81		1 0.81	7.14 0.19
珪質頁岩 点数合計 珪質頁岩 重量合計					1 0.81		1 0.81	7.14 0.19
嶺岡産珪質頁岩	026				1 5.96		1 5.96	7.14 1.39
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計					1 5.96		1 5.96	7.14 1.39
砂岩	016		2 128.16				2 128.16	14.29 29.89
砂岩 点数合計 砂岩 重量合計			2 128.16				2 128.16	14.29 29.89
全体の点数合計 全体の重量合計		2 139.36	2 128.16	2 122.23	7 38.38	1 0.63	14 428.76	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		14.29 32.50	14.29 29.89	14.29 28.51	50.00 8.95	7.14 0.15	100.00 100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］

（2）第Ｖb文化層（第204図，第58表）

第Ｖb文化層の概要　第204図でみられるように，第37・38ブロックの２ブロックで構成される。調査区北側の第Ⅳa文化層の南側に分布する。出土層位は，Ⅵ層～Ⅲ層かけて出土しており，Ⅴ層に集中することから，Ⅴ層に生活面を持つと推定される。ブロック間接合はみられない。



第204図　第Ｖb文化層分布状況

出土点数は，23点（総重量153.27ｇ）である。母岩数は13母岩である。ブロック間で共有する母岩はみられない。

石材器種組成は第58表のとおりである。主要器種は，二次加工のある剥片で，製品の割合が極めて低い。主要石材は，嶺岡産珪質頁岩・砂岩で構成されている。

第58表　第Ⅴb文化層石材器種組成表

石材＼器種	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（％）
黒曜石	1 0.86							1 0.86	4.35 0.56
ホルンフェルス						1 1.66		1 1.66	4.35 1.08
流紋岩						2 12.31		2 12.31	8.70 8.03
頁岩				1 1.56				1 1.56	4.35 1.02
珪質頁岩		1 1.48						1 1.48	4.35 0.97
嶺岡産珪質頁岩	1 6.82		1 18.89	4 64.24	2 1.65			8 91.6	34.78 59.76
チャート							1 1.15	1 1.15	4.35 0.75
砂岩						8 42.65		8 42.65	34.78 27.83
点数合計 重量合計	2 7.68	1 1.48	1 18.89	5 65.8	2 1.65	11 56.62	1 1.15	23 153.27	100.00 100.00
点数組成比（％） 重量組成比（％）	8.70 5.01	4.35 0.97	4.35 12.32	21.74 42.93	8.70 1.08	47.83 36.94	4.35 0.75	100.00 100.00	

［上段：点数、　下段：重量(g)］

①**第37ブロック**（第205・206図，第59・114表，図版41）

出土状況　平面分布は，約３ｍ×２ｍの小範囲にやや密集する。分布状況を詳細にみると，南西部に集中地点がみられ，その周辺に散漫に分布している。出土層位は，Ⅸa層～Ⅲ層にかけて出土しており，Ⅴ層～Ⅲ層下部に集中する。

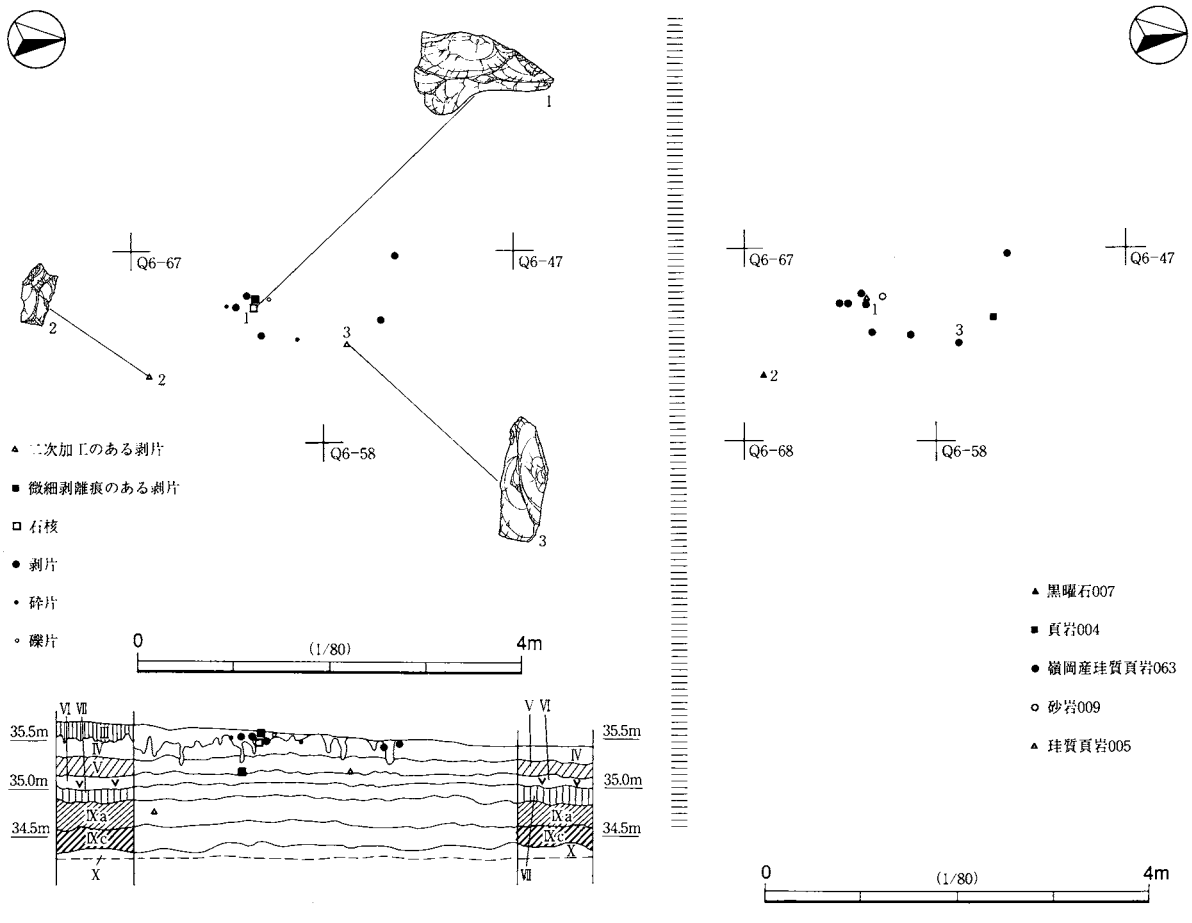
器種別分布（第205図）の特徴は，南西部の集中部地点から石核・剥片・砕片が出土しており，その周辺から二次加工のある剥片が出土している。

母岩別分布（第205図）の特徴は，嶺岡産珪質頁岩063は８点で構成されており，南西部の集中地点からまとまって出土しており，それ以外の母岩は，単独出土で，集中地点の周辺から出土している。

出土遺物　総計12点出土した。母岩器種組成は第59表のとおりである。器種組成は，製品がほとんどみられず，二次加工のある剥片が１点出土しているのみである。母岩（石材）組成は，５種類の石材が用いられており，嶺岡産珪質頁岩が８点（66.67％，総重量91.6ｇ）で半数以上を占める。母岩別にみると，嶺岡産珪質頁岩以外は単品で出土している。嶺岡産珪質頁岩063は８点で構成されており，二次加工のある剥片１点，石核１点，剥片４点，砕片２点で構成されており，本ブロックにおいて，石器製作を行った母岩と思われる。

1は石核である。節理面に沿って剥離された厚みのある剥片を素材としている。裏面上部を大きく分割後に，分割した剥離面を打面として，表面上部から横長剥片を剥離している。

2・3は二次加工のある剥片である。2は小型の縦長剥片を素材として，打面部を折断した後に，左側縁上部に急角度の細かい調整加工が施されている。3は横長剥片を素材として，腹面左側縁中部と背面左側縁上部に調整加工が施されている。

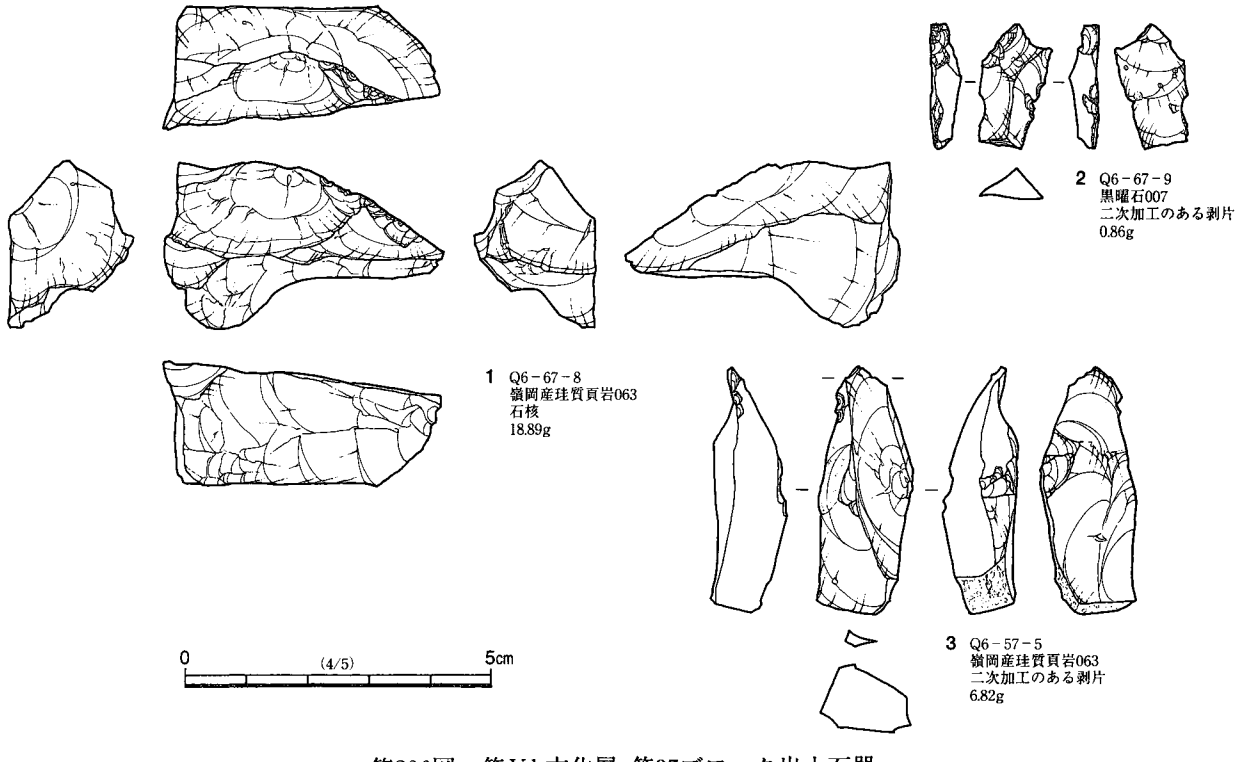


第205図　第Ⅴb文化層 第37ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図

第59表　第Ｖb文化層 第37ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	総計	組成比（%）
黒曜石	007	1						1	8.33
		0.86						0.86	0.85
黒曜石 点数合計		1						1	8.33
黒曜石 重量合計		0.86						0.86	0.85
頁岩	004				1			1	8.33
					1.56			1.56	1.54
頁岩 点数合計					1			1	8.33
頁岩 重量合計					1.56			1.56	1.54
珪質頁岩	005		1					1	8.33
			1.48					1.48	1.47
珪質頁岩 点数合計			1					1	8.33
珪質頁岩 重量合計			1.48					1.48	1.47
嶺岡産珪質頁岩	063	1		1	4	2		8	66.67
		6.82		18.89	64.24	1.65		91.6	90.69
嶺岡産珪質頁岩 点数合計		1		1	4	2		8	66.67
嶺岡産珪質頁岩 重量合計		6.82		18.89	64.24	1.65		91.6	90.69
砂岩	009						1	1	8.33
							5.5	5.5	5.45
砂岩 点数合計							1	1	8.33
砂岩 重量合計							5.5	5.5	5.45
全体の点数合計		2	1	1	5	2	1	12	100.00
全体の重量合計		7.68	1.48	18.89	65.8	1.65	5.5	101	100.00
点数組成比(%)		16.67	8.33	8.33	41.67	16.67	8.33	100.00	
重量組成比(%)		7.60	1.47	18.70	65.15	1.63	5.45	100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］



第206図　第Ｖb文化層 第37ブロック出土石器

②**第38ブロック**（第207図，第60・114表）

出土状況　平面分布は，約２ｍ×２ｍの円形の小範囲にやや密集する。出土層位は，Ⅵ層～Ⅴ層にかけて出土しており，Ⅴ層に集中する。

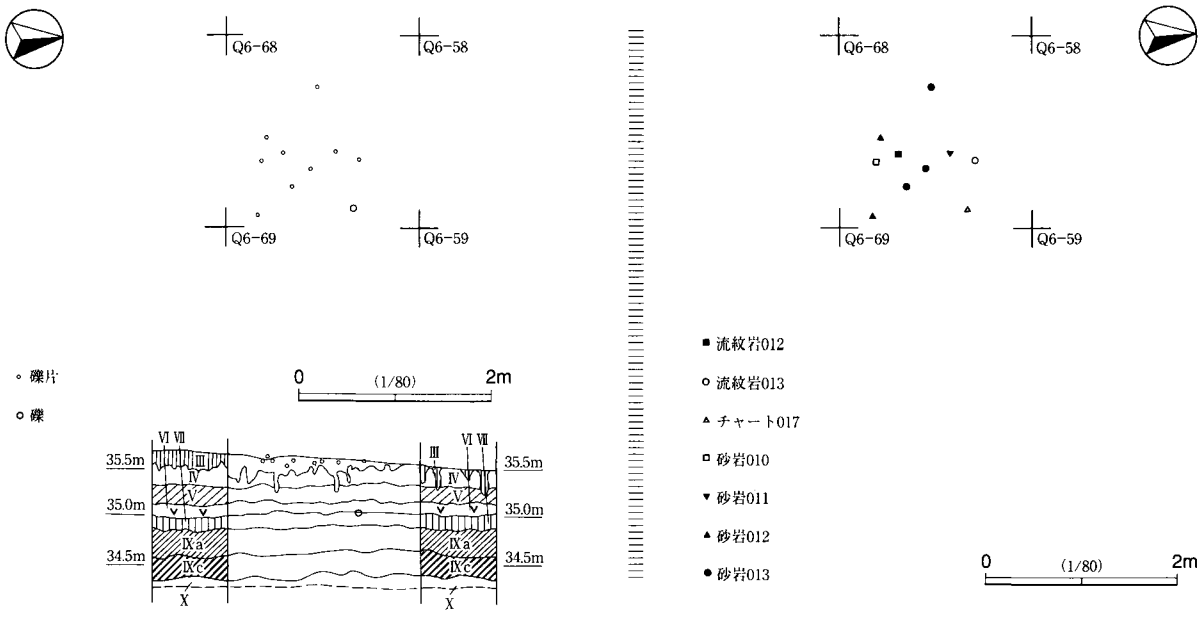
器種別分布（第207図）の特徴は，礫片・礫ですべて構成されており，石器はまったく出土していない。母岩別分布（第207図）の特徴は，砂岩012が２点，砂岩013が３点で構成されており，まとまって出土している。そのほかの母岩は単独出土である。

出土遺物　総計11点出土した。母岩器種組成は第60表のとおりである。器種組成は，製品がみられず，礫片10点，礫１点である。母岩（石材）組成は，粗悪な石材を用いており，砂岩が７点（63.34%，総重量37.15ｇ）出土しており，高い割合を占める。

第60表　第Ⅴb文化層 第38ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	礫片	礫	総計	組成比（%）
ホルンフェルス	004	1 1.66		1 1.66	9.09 3.18
ホルンフェルス 点数合計 ホルンフェルス 重量合計		1 1.66		1 1.66	9.09 3.18
流紋岩	012	1 11.36		1 11.36	9.09 21.73
	013	1 0.95		1 0.95	9.09 1.82
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計		2 12.31		2 12.31	18.18 23.55
チャート	017		1 1.15	1 1.15	9.09 2.20
チャート 点数合計 チャート 重量合計			1 1.15	1 1.15	9.09 2.20
砂岩	010	1 7.67		1 7.67	9.09 14.67
	011	1 9.34		1 9.34	9.09 17.87
	012	2 8.16		2 8.16	18.18 15.61
	013	3 11.98		3 11.98	27.27 22.92
砂岩 点数合計 砂岩 重量合計		7 37.15		7 37.15	63.64 71.07
全体の点数合計 全体の重量合計		10 51.12	1 1.15	11 52.27	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		90.91 97.80	9.09 2.20	100.00 100.00	909.09 191.31

［上段:点数、 下段:重量(g)］



第207図　第Ⅴb文化層 第38ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図

（3）第Ⅴc文化層（第208図，第61表）

第Ⅴc文化層の概要　第208図のように，第39～43ブロックの5ブロックで構成される。調査区中央の南側の台地平坦部に立地し，第Ⅱb文化層の東側，第Ⅴd文化層の北側に分布している。ブロック間の接合が頻繁であることが，特徴としてあげられる。出土層位は，Ⅵ層～Ⅳ層にかけて出土しており，Ⅴ層に集中することから，Ⅴ層に生活面を持つと推定される。

出土点数は，272点（総重量8,529.79ｇ）である。母岩数は55母岩である。ブロック間で共有する母岩は5母岩である。接合する母岩は18母岩で，接合する点数は78点である。ブロック間接合を示す母岩は3母岩みられる。第39～41ブロックにおいて，接合する資料が極めて高く，第208図のように，ブロック間の接合関係が緊密であることから，第39～41ブロックは同時期に形成されたものと思われる。このほかのブロックの第42・43ブロックは，ブロック間の接合関係がみられないことから，同時期に形成されたかどうかは不明である。

石材器種組成は第61表のとおりである。主要器種は，ナイフ形石器・礫器で構成されている。主要石材は，嶺岡産珪質頁岩が多用されており，碧玉（黄玉）・頁岩が用いられている。

第61表　第Ⅴc文化層石材器種組成表

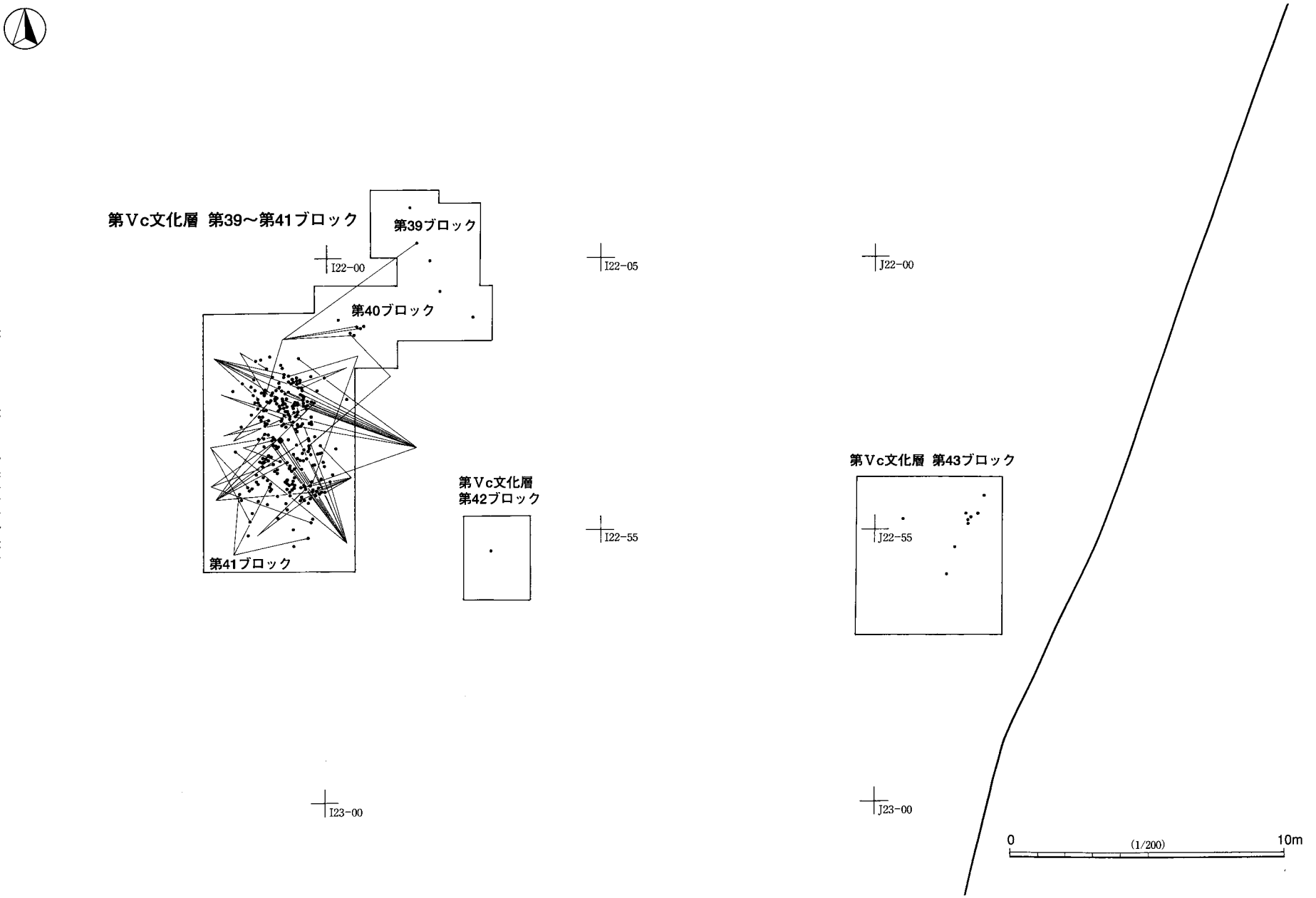
石材＼器種	ナイフ形石器	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫器	礫片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石		6 57.28								6 57.28	2.21 0.67
ガラス質黒色安山岩			1 2.21		8 117.35	1 0.09				10 119.65	3.68 1.40
ホルンフェルス					2 43.65	1 0.49				3 44.14	1.10 0.52
流紋岩									8 1712.96	8 1712.96	2.94 20.08
碧玉（黄玉）		1 28.53	4 30.55		10 56.56	10 3.91				25 119.55	9.19 1.40
頁岩			3 16.94	1 143.63	15 182.87					19 343.44	6.99 4.03
珪質頁岩		1 5.77								1 5.77	0.37 0.07
嶺岡産珪質頁岩	2 14.19	7 144.15	6 183.55	12 2140.41	103 1028.97	44 17.62		1 0.39	1 1.49	176 3530.77	64.71 41.39
チャート	3 20.83				1 0.93	1 0.47			1 1.86	6 24.09	2.21 0.28
玉髄（メノウ含む）		1 4.62	1 7.42	1 66.06	4 25.41	1 0.98				8 104.49	2.94 1.23
砂岩					1 2.2	1 0.13	1 251.95	2 319.78	5 1893.59	10 2467.65	3.68 28.93
点数合計 重量合計	5 35.02	16 240.35	15 240.67	14 2350.1	144 1457.94	59 23.69	1 251.95	3 320.17	15 3609.9	272 8529.79	100.00 100.00
点数組成比（%） 重量組成比（%）	1.84 0.41	5.88 2.82	5.51 2.82	5.15 27.55	52.94 17.09	21.69 0.28	0.37 2.95	1.10 3.75	5.51 42.32	100.00 100.00	

［上段：点数、下段：重量(g)］

①第39ブロック（第209図，第62・114表）

出土状況　平面分布は，約5ｍ×1ｍの長楕円形の範囲に散漫に分布する。出土層位は，Ⅴ層～Ⅳ層下部にかけて出土しており，Ⅴ層に集中する。

器種別分布（第209図）の特徴は，製品は出土しておらず，剥片・砕片のみが出土している。母岩別分布（第209図）の特徴は，接合資料が2資料みられるが，いずれもブロック間の接合関係のある資料であり，剥片が単体で出土している。



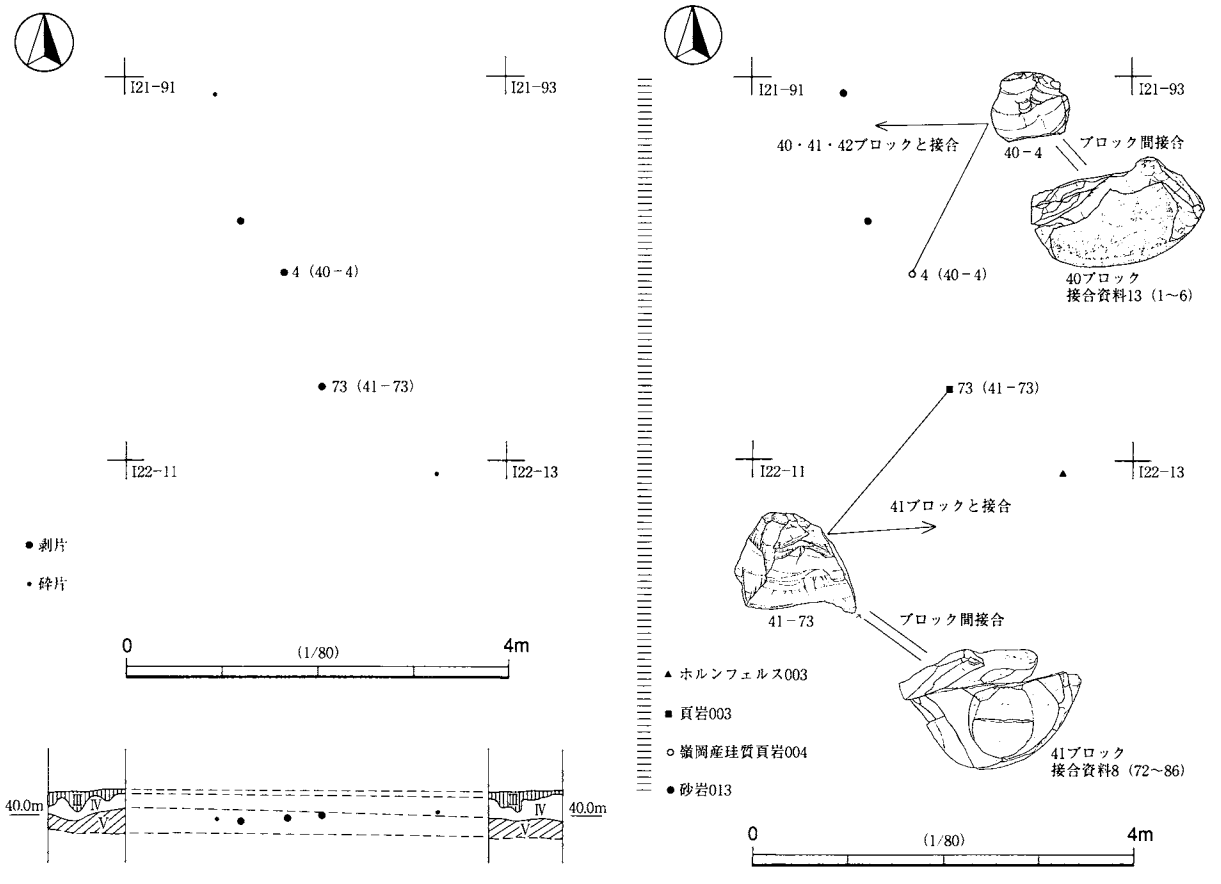
第208図　第Ⅴc文化層分布状況

出土遺物　総計５点のみの出土である。母岩器種組成は第62表のとおりである。器種組成は，製品がみられず，剥片３点，砕片２点出土しているのみである。母岩（石材）組成は，ホルンフェルス・頁岩・嶺岡産珪質頁岩・砂岩が用いられている。

第62表　第Ⅴc文化層 第39ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	剥片	砕片	総計	組成比（%）
ホルンフェルス	003		1	1	20.00
			0.49	0.49	0.63
ホルンフェルス 点数合計			1	1	20.00
ホルンフェルス 重量合計			0.49	0.49	0.63
頁岩	003	1		1	20.00
		72.14		72.14	92.32
頁岩 点数合計		1		1	20.00
頁岩 重量合計		72.14		72.14	92.32
嶺岡産珪質頁岩	004	1		1	20.00
		3.18		3.18	4.07
嶺岡産珪質頁岩 点数合計		1		1	20.00
嶺岡産珪質頁岩 重量合計		3.18		3.18	4.07
砂岩	013	1	1	2	40.00
		2.2	0.13	2.33	2.98
砂岩 点数合計		1	1	2	40.00
砂岩 重量合計		2.2	0.13	2.33	2.98
全体の点数合計		3	2	5	100.00
全体の重量合計		77.52	0.62	78.14	100.00
点数組成比(%)		60.00	40.00	100.00	
重量組成比(%)		99.21	0.79	100.00	

〔上段:点数、 下段:重量(g)〕



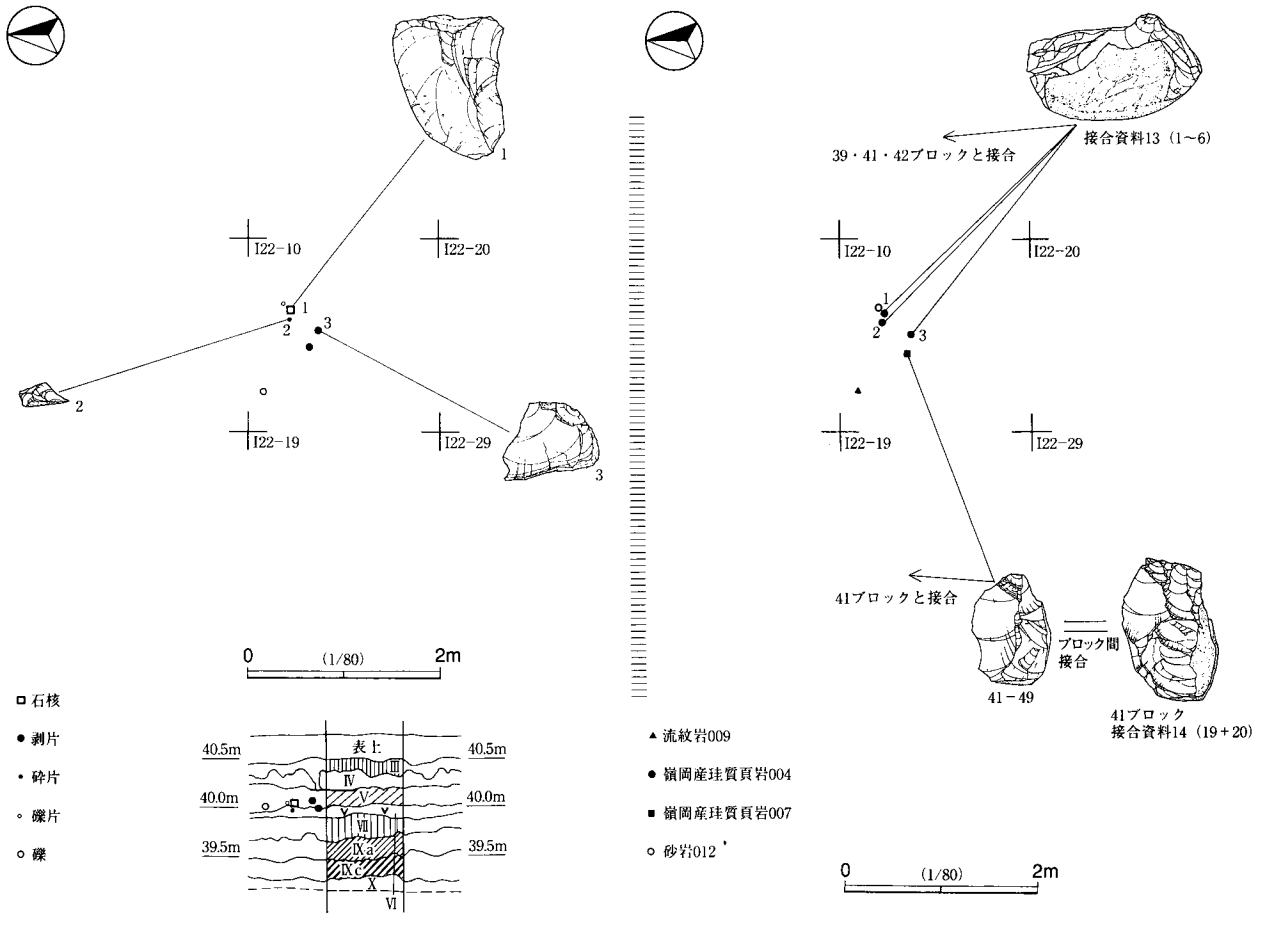
第209図　第Ⅴc文化層 第39ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図

②第40ブロック（第210～212図，第63・114表，図版41・43）

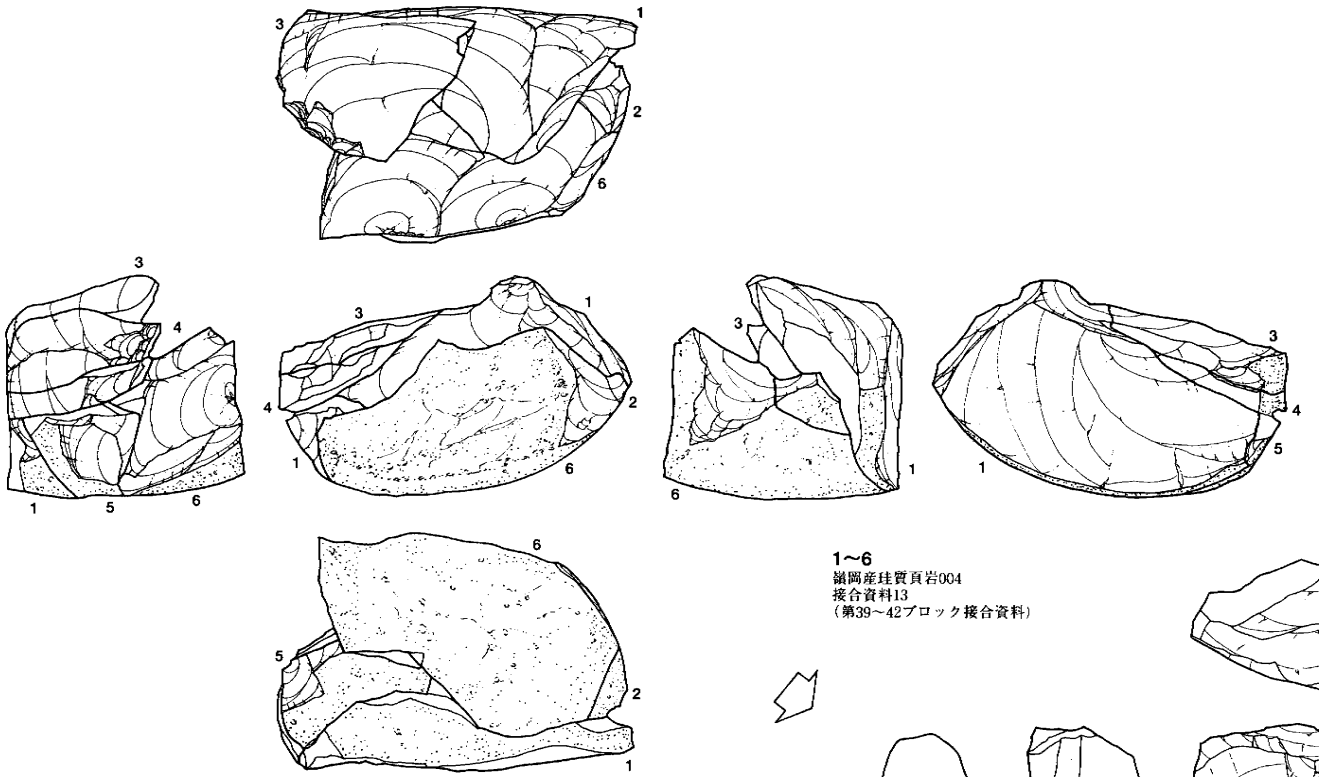
出土状況　平面分布は，約１ｍ×１ｍの円形の小範囲にやや密集する。出土層位は，Ⅵ層上部～Ⅴ層下部にかけて出土しており，Ⅴ層下部に集中する。

器種別分布（第210図）の特徴は，石核がブロックの中心から出土しており，その周辺から剥片･砕片が出土している。母岩別分布（第210図）の特徴は，接合資料が２資料みられるが，いずれもブロック間の接合関係のある資料であり，微細剥離痕のある剥片と剥片がそれぞれ単体で出土している。このような接合関係，母岩分布のあり方は，第39ブロックと類似している。

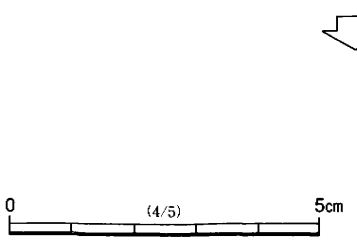
出土遺物　総計６点のみの出土である。母岩器種組成は第63表のとおりである。器種組成は，製品がみられない。母岩（石材）組成は，流紋岩・嶺岡産珪質頁岩・砂岩が用いられている。母岩別にみると，嶺岡産珪質頁岩004は，石核１点，剥片１点，砕片１点出土しており，本ブロックで石器製作を行った可能性が高い。

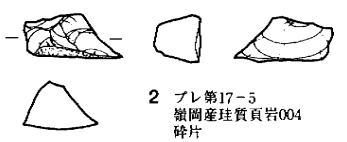


第210図　第Ⅴc文化層 第40ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図

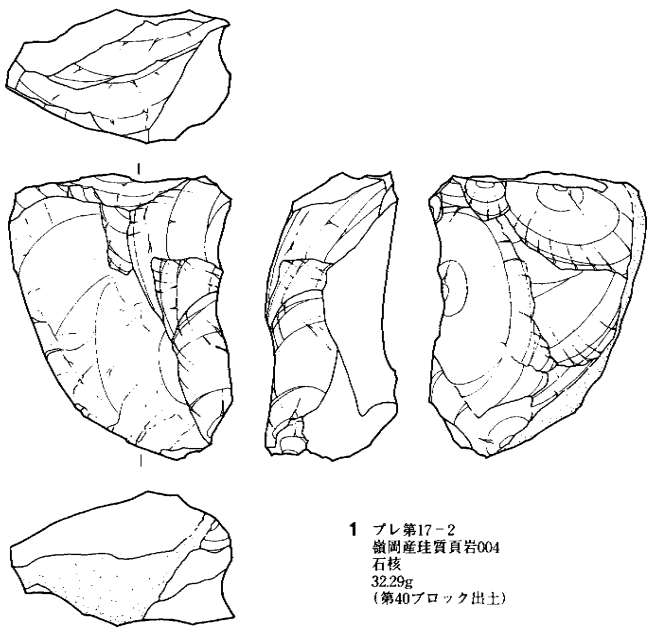


1～6
嶺岡産珪質頁岩004
接合資料13
（第39～42ブロック接合資料）

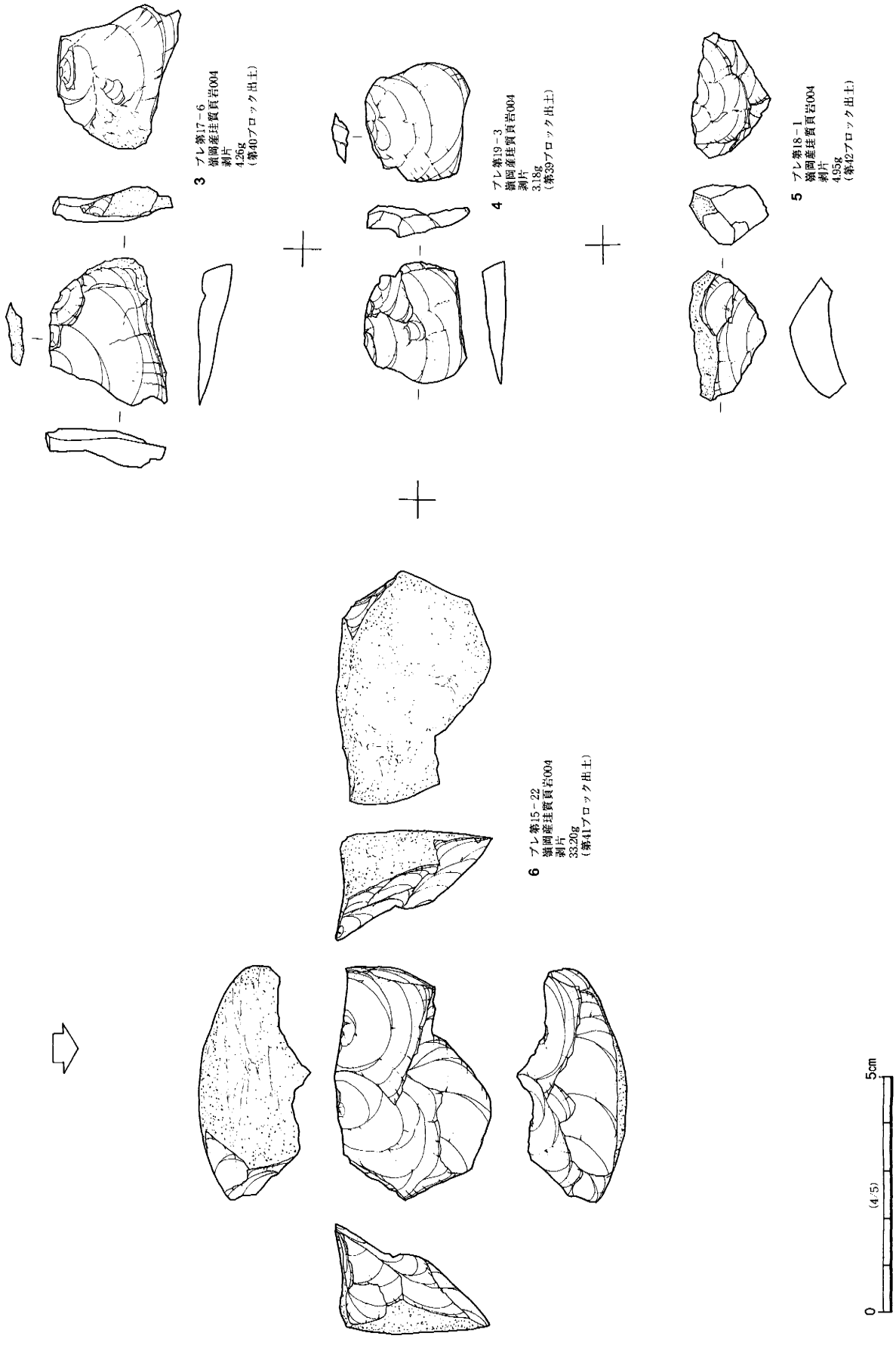




2　プレ第17－5
嶺岡産珪質頁岩004
砕片
0.82g
（第40ブロック出土）



1　プレ第17－2
嶺岡産珪質頁岩004
石核
32.29g
（第40ブロック出土）



第212図　第Ⅴc文化層 第40ブロック出土石器（2）

1～6は接合資料13である。1～3は第40ブロック，4は第39ブロック，5は第42ブロック，6は第41ブロック出土で，4ブロックにわたって出土している。1～6の接合した状態で，分割した厚みのある礫を素材としている。この分割礫をさらに二分割していて，それぞれ剥離を行っている。1＋3＋4＋5の資料と，2＋6の資料に分割している。1＋3＋4＋5は，分割面を打面として，3～5の横長剥片が剥離されている。1は石核である。3～5の剥片を剥離した後にも，3～5の剥離面を打面として，数枚の剥片が剥離されている。2＋6は，分割した後に，自然面を打面として，比較的幅広の剥片が3枚以上剥離されている。2は6の石核の左上端部からの剥離時の同時割れの資料である。

第63表　第Vc文化層 第40ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
流紋岩	009					1 450.96	1 450.96	16.67 64.67
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計						1 450.96	1 450.96	16.67 64.67
嶺岡産珪質頁岩	004	1 32.29	1 4.26	1 0.82			3 37.37	50.00 5.36
	007		1 8.6				1 8.6	16.67 1.23
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計		1 32.29	2 12.86	1 0.82			4 45.97	66.67 6.59
砂岩	012				1 200.38		1 200.38	16.67 28.74
砂岩 点数合計 砂岩 重量合計					1 200.38		1 200.38	16.67 28.74
全体の点数合計 全体の重量合計		1 32.29	2 12.86	1 0.82	1 200.38	1 450.96	6 697.31	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		16.67 4.63	33.33 1.84	16.67 0.12	16.67 28.74	16.67 64.67	100.00 100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］

③第41ブロック（第213～234図，第64・65・114～117表，図版41～44）

出土状況　平面分布は，約7m×4mの楕円形の範囲に密集する。分布状況を詳細にみると，北部と中央部と南部の3箇所の集中地点がみられる。北部は非常に密集しており，中央部はやや密集しており，南部は散漫に分布している。出土層位は，Ⅵ層上部～Ⅳ層下部にかけて出土し，Ⅴ層下部に集中する。

器種別分布（第213図）の特徴は，ナイフ形石器が5点出土しているが，3箇所の集中地点から出土している。二次加工のある剥片・微細剥離痕のある剥片・石核についても，同様に3箇所の集中地点から出土している。このなかで，石核は，北西部に3点，北東部に3点，中央部に3点近接して出土している。

母岩別分布（第214図）の特徴は，接合資料が非常に多く，3箇所の集中地点間で接合する資料は，ほとんどない。それぞれの集中地点内で接合が完結する資料が比較的多い。集中地点別に，接合資料をみると，北部は接合資料2・5・6・8が出土し，中央部は接合資料3・10・11・16が出土し，南部は接合資料4・9の資料が出土している。母岩別にみても，接合資料でみられた分布の傾向と一致する。ブロック間接合は，接合資料8・13・14の3資料があるが，本ブロックにおいて，石核が出土しており，接合資料の大半を本ブロックに残している。この傾向は，第39・40ブロックと対照的である。

出土遺物　総計251点出土した。母岩器種組成は第64･65表のとおりである。器種組成は，製品はナイフ形石器5点，二次加工のある剥片8点，礫器1点で，製品の出土量が多い。特に，ナイフ形石器は，5点で，第Vc文化層の全点が本ブロックから出土している。製品以外においては，石核13点，剥片137点，砕

片56点出土しており，石器製作に関連する器種も多く出土している。母岩（石材）組成は，多様な石材が用いられている。嶺岡産珪質頁岩が167点出土しており，非常に高い比率を占める。次に，碧玉（黄玉）25点，頁岩18点，ガラス質黒色安山岩10点が用いられている。このなかで，碧玉（黄玉）は，本文化層だけでなく，本遺跡においても，第41ブロックのみの出土であり，良質な石質である。母岩別にみても碧玉（黄玉）は，碧玉（黄玉）001のみの母岩で持ち込まれており，二次加工のある剥片１点，微細剥離痕のある剥片４点，剥片10点，砕片10点で構成されており，石核は残っていないものの，本ブロックにおいて，石器製作が行われたと思われる。

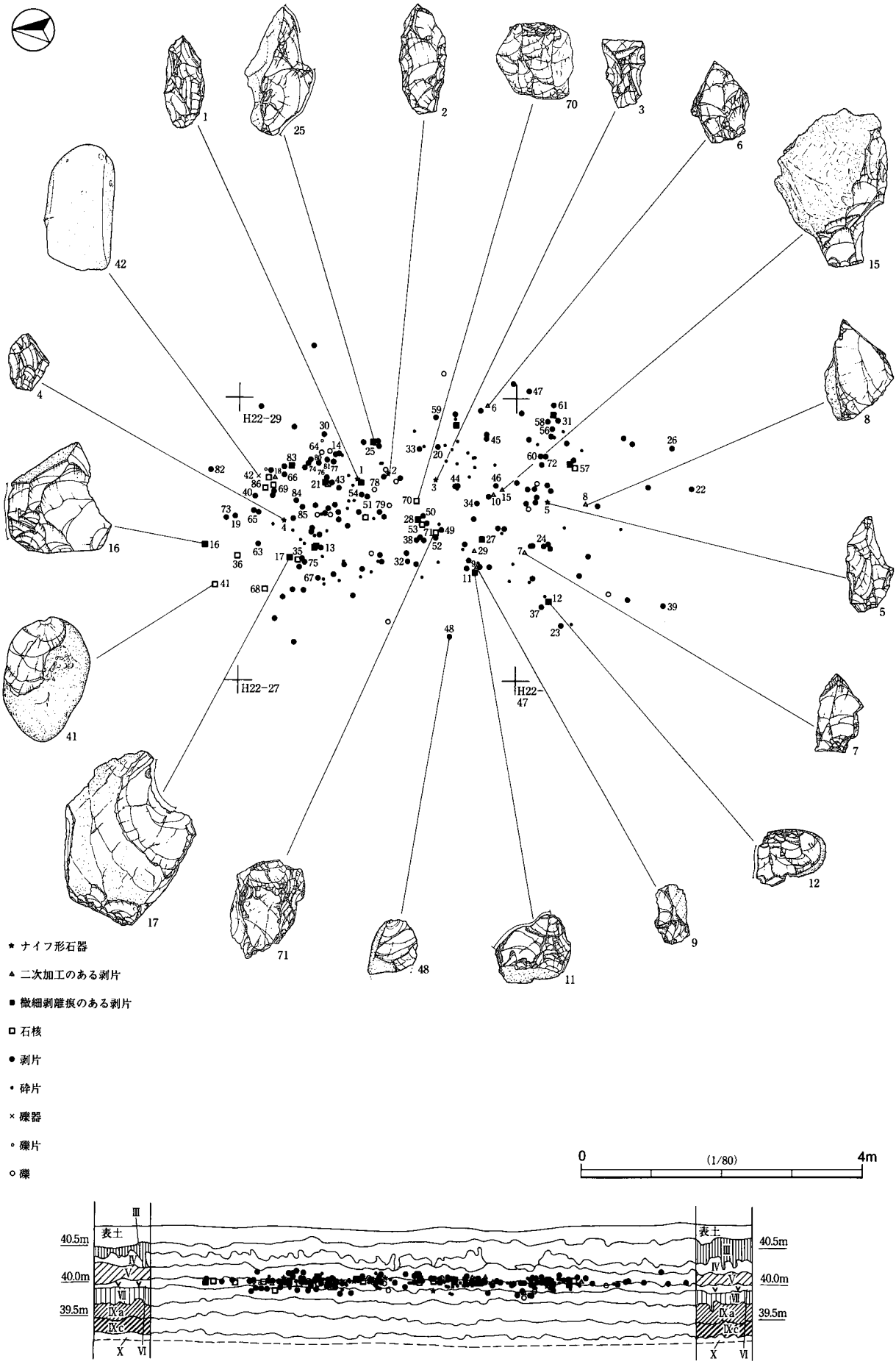
母岩別にみると，複数で構成される母岩は，嶺岡産珪質頁岩の各母岩・碧玉（黄玉）001・ガラス質黒色安山岩002・頁岩002・玉髄（メノウ含む）002であり，他のブロックよりも，複数で構成されている母岩の数量が多い。このことは，多種の母岩を本ブロックに持ち込んで，石器製作を行ったことが推定される。ただし，これ以外の母岩は，ほとんど単品で出土しており，搬入石材も多くみられる。

１～５はナイフ形石器である。１・２・４はチャート004の同一母岩が用いられており，ナイフ形石器のみで構成される母岩である。良質のチャートを用いており，ナイフ形石器で搬入されている。特に，１と２は，縦長剥片を素材として，主要剥離面方向と主軸が一致し，打面部を基部として用いている。一側縁と反対側の側縁の中間部から基部まで，急角度でやや粗い調整加工が施されており，先端部に素材の縁辺を少し残す。角錐状石器として捉えることも可能である。このように，素材の用い方や調整加工に共通した特徴を持つ。本文化層の位置づけを考える上でも，特徴的な形態のナイフ形石器といえよう。

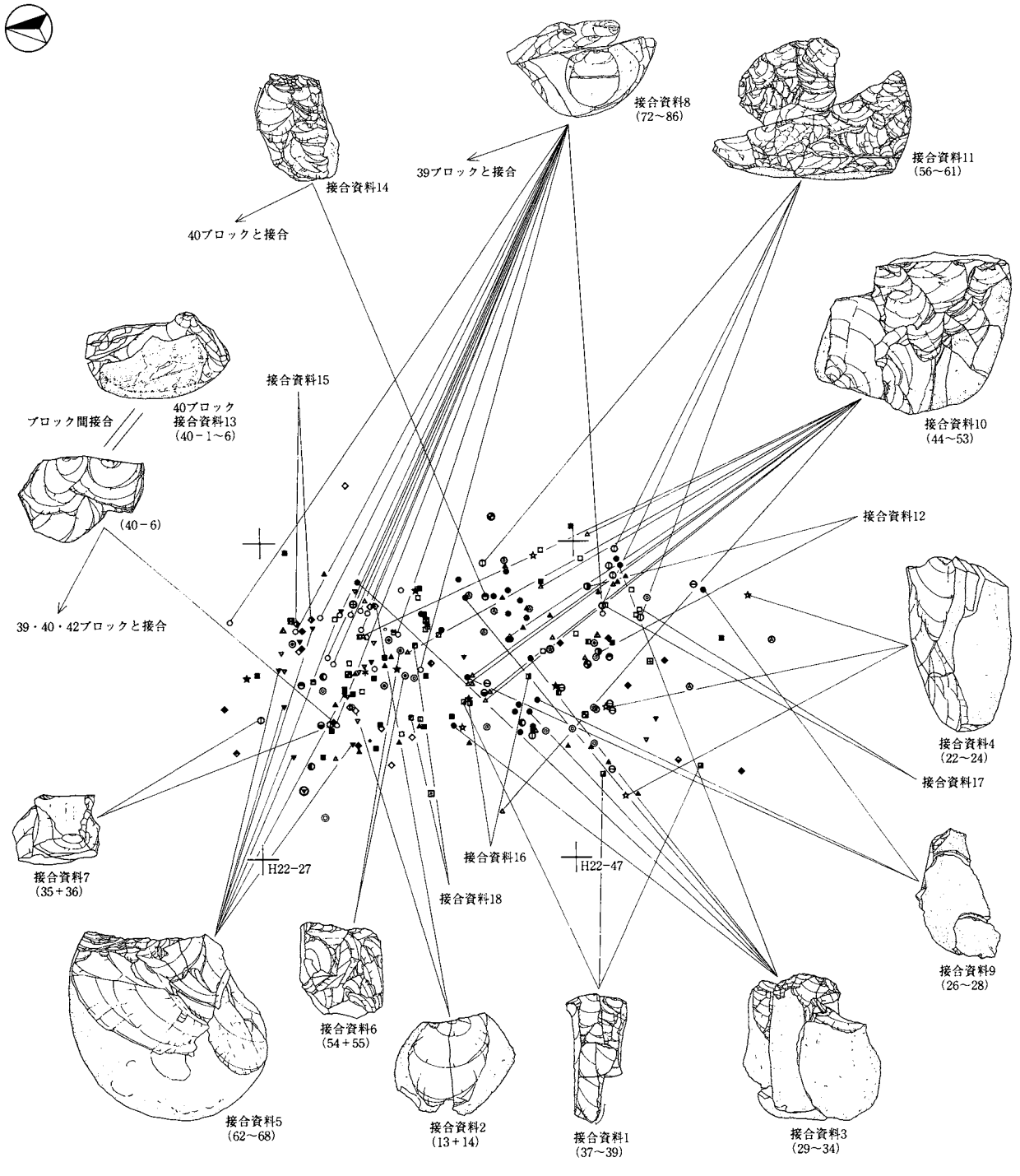
１は縦長剥片を素材として，左側縁下部は背面に平坦な調整加工が施され，左側縁中間部には急角度の粗い調整加工によって成形した後に，縁辺部に細かい調整加工が施されている。右側縁全体に粗い調整加工が施されている。左側縁上部に素材の縁辺がわずかに残っている。打面は左側縁の調整加工によって除去されている。２は縦長剥片を素材として，左側縁全体に急角度の粗い調整によって成形した後に，細かい調整加工が施されている。右側縁は，中間部から下部にかけて急角度の調整加工が施されている。右側縁上部に素材の縁辺が残されている。打面はわずかに残っている。

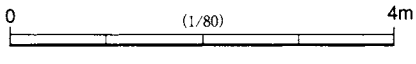
３は切出形の形態をしたナイフ形石器である。横長剥片を素材として，素材を横位に用いて，打面部にあたる右側縁を折断した後に，器体の奥にまで入るようなやや粗い調整加工が施されている。末端部にあたる左側縁は，器体の奥にまで入るよな折断に近い，粗い調整加工が施されている。上部と下部に，素材の縁辺が残されている。４は幅広の剥片を素材として，腹面右側縁全体にやや平坦な調整加工が施されている。５は厚みのある縦長剥片を素材として，主要剥離面方向と主軸方向が一致し，打面部を基部として用いている。左側縁中部から基部にかけて，急角度の粗い加工の後に，縁辺部に細かい調整加工が施されている。右側縁中部に細かい調整加工をした後に，右側面上部に背面から粗くて大きい調整加工が施されている。左側縁上部に素材の縁辺が残されている。この素材の用い方や調整加工の方法は１・２と共通する。角錐状石器として分類することも可能である。

６～10は二次加工のある剥片である。６は横長の厚みのある剥片を素材として，左側縁下部と右側縁下半部には，背腹両面から粗い調整加工が施されている。７は両極剥離によって剥離されたと思われる厚みのある剥片を素材として，右側縁下部に急角度で階段状の調整加工が施され，右側縁上部に細かい調整加工が連続的に施されている。左側縁下部は，やや粗い調整加工が施されている。８は厚みのある横長剥片を素材として，左側縁上部と右側縁上部に折断に近い調整加工を施した後に，腹面中間部から基部にかけ



第213図　第Ⅴc文化層 第41ブロック器種別分布図





- ガラス質黒色安山岩001
- ガラス質黒色安山岩002
- ホルンフェルス002
- 流紋岩003
- 流紋岩004
- 流紋岩005
- 流紋岩006
- 流紋岩007
- 流紋岩008
- 頁岩003
- 碧玉（黄玉）001
- 珪質頁岩002
- 嶺岡産珪質頁岩012
- 嶺岡産珪質頁岩013
- 嶺岡産珪質頁岩003
- 嶺岡産珪質頁岩004
- 嶺岡産珪質頁岩005
- 嶺岡産珪質頁岩006
- 嶺岡産珪質頁岩007
- 嶺岡産珪質頁岩008
- 嶺岡産珪質頁岩009
- 嶺岡産珪質頁岩010
- 嶺岡産珪質頁岩011
- 嶺岡産珪質頁岩012
- 嶺岡産珪質頁岩015
- 嶺岡産珪質頁岩016
- 嶺岡産珪質頁岩017
- 嶺岡産珪質頁岩018
- 嶺岡産珪質頁岩019
- 嶺岡産珪質頁岩020
- 嶺岡産珪質頁岩021
- 嶺岡産珪質頁岩022
- 嶺岡産珪質頁岩023
- 嶺岡産珪質頁岩024
- 嶺岡産珪質頁岩025
- チャート004
- チャート005
- チャート006
- チャート007
- 玉髄（メノウ含む）002
- 玉髄（メノウ含む）003
- 玉髄（メノウ含む）004
- 砂岩004
- 砂岩006
- 砂岩007
- 砂岩008
- 砂岩009
- 砂岩010
- 砂岩011

第214図　第Ⅴc文化層 第41ブロック母岩別分布図

第64表　第Ⅴc文化層 第41ブロック母岩器種組成表（1）

母岩名	母岩番号	ナイフ形石器	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫器	礫片	礫	総計	組成比（%）
ガラス質黒色安山岩	001					1 93.17					1 93.17	0.40 1.22
	002			1 2.21		7 24.18	1 0.09				9 26.48	3.59 0.35
ガラス質黒色安山岩 点数合計				1		8	1				10	3.98
ガラス質黒色安山岩 重量合計				2.21		117.35	0.09				119.65	1.56
ホルンフェルス	002					2 43.65					2 43.65	0.80 0.57
ホルンフェルス 点数合計						2					2	0.80
ホルンフェルス 重量合計						43.65					43.65	0.57
流紋岩	003									1 395	1 395	0.40 5.16
	004									1 221	1 221	0.40 2.89
	005									1 352	1 352	0.40 4.60
	006									2 200	2 200	0.80 2.61
	007									1 83	1 83	0.40 1.08
	008									1 11	1 11	0.40 0.14
流紋岩 点数合計										7	7	2.79
流紋岩 重量合計										1262	1262	16.49
碧玉(黄玉)	001		1 28.53	4 30.55		10 56.56	10 3.91				25 119.55	9.96 1.56
碧玉(黄玉) 点数合計			1	4		10	10				25	9.96
碧玉(黄玉) 重量合計			28.53	30.55		56.56	3.91				119.55	1.56
頁岩	003			3 16.94	1 143.63	14 110.73					18 271.3	7.17 3.54
頁岩 点数合計				3	1	14					18	7.17
頁岩 重量合計				16.94	143.63	110.73					271.3	3.54
珪質頁岩	002		1 5.77								1 5.77	0.40 0.08
珪質頁岩 点数合計			1								1	0.40
珪質頁岩 重量合計			5.77								5.77	0.08
嶺岡産珪質頁岩	003				2 305.08	14 116.18					16 421.26	6.37 5.50
	004		2 97.06	1 22.6		5 53.92	2 0.54				10 174.12	3.98 2.27
	005					3 20.28					3 20.28	1.20 0.26
	006			1 72.55	1 198.88						2 271.43	0.80 3.55
	007	1 9.93				1 16.75	1 0.71				3 27.39	1.20 0.36
	008					5 81.18					5 81.18	1.99 1.06
	009				3 1409.09	8 199.68					11 1608.77	4.38 21.02
	010			1 17.63		4 17.54					5 35.17	1.99 0.46
	011		1 9.83	1 4.29		11 62.03	1 0.12				14 76.27	5.58 1.00
	012		1 2.19			15 47.94	4 0.86				20 50.99	7.97 0.67
	013					4 7.36	5 2.73				9 10.09	3.59 0.13
	014	1 4.26				3 2.7	4 1.32				8 8.28	3.19 0.11
	015					1 3.45					1 3.45	0.40 0.05
	016				2 76.13	3 24.14	1 5.37				6 105.64	2.39 1.38
	017					6 49.11	3 0.51		1 0.39	1 1.49	11 51.5	4.38 0.67
	018		1 17.54								1 17.54	0.40 0.23
	019					2 19.51					2 19.51	0.80 0.25
	020			1 51.43		1 4.31	1 0.68				3 56.42	1.20 0.74
	021					2 17.75					2 17.75	0.80 0.23
	022					1 19.14					1 19.14	0.40 0.25
	023					3 16.82					3 16.82	1.20 0.22

第65表　第Ⅴc文化層 第41ブロック母岩器種組成表（2）

母岩名	母岩番号	ナイフ形石器	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫器	礫片	礫	総計	組成比（%）
	024			1 15.05	3 118.94	5 207.02					9 341.01	3.59 4.45
	025					1 1.23	21 3.96				22 5.19	8.76 0.07
嶺岡産珪質頁岩 点数合計		2	5	6	11	98	43		1	1	167	66.53
嶺岡産珪質頁岩 重量合計		14.19	126.62	183.55	2108.12	988.04	16.8		0.39	1.49	3439.2	44.93
チャート	004	3 20.83									3 20.83	1.20 0.27
	005					1 0.93					1 0.93	0.40 0.01
	006						1 0.47				1 0.47	0.40 0.01
	007									1 1.86	1 1.86	0.40 0.02
チャート 点数合計		3				1	1			1	6	2.39
チャート 重量合計		20.83				0.93	0.47			1.86	24.09	0.31
玉髄（メノウ含む）	002			1 7.42		4 25.41	1 0.98				6 33.81	2.39 0.44
	003		1 4.62								1 4.62	0.40 0.06
	004				1 66.06						1 66.06	0.40 0.86
玉髄（メノウ含む） 点数合計			1	1	1	4	1				8	3.19
玉髄（メノウ含む） 重量合計			4.62	7.42	66.06	25.41	0.98				104.49	1.37
砂岩	004								1 119.4		1 119.4	0.40 1.56
	006									1 1.73	1 1.73	0.40 0.02
	007									1 30.86	1 30.86	0.40 0.40
	008									1 291	1 291	0.40 3.80
	009							1 251.95			1 251.95	0.40 3.29
	010									1 1213	1 1213	0.40 15.85
	011									1 357	1 357	0.40 4.66
砂岩 点数合計								1	1	5	7	2.79
砂岩 重量合計								251.95	119.4	1893.59	2264.94	29.59
全体の点数合計		5	8	15	13	137	56	1	2	14	251	100.00
全体の重量合計		35.02	165.54	240.67	2317.81	1342.67	22.25	251.95	119.79	3158.94	7654.64	100.00
点数組成比（%）		1.99	3.19	5.98	5.18	54.58	22.31	0.40	0.80	5.58	100.00	
重量組成比（%）		0.46	2.16	3.14	30.28	17.54	0.29	3.29	1.56	41.27	100.00	

［上段：点数、下段：重量（g）］

て平坦な調整加工が連続的に施されている。腹面右側縁中間部から基部にかけて，器体の奥まで入る平坦な調整加工が施されている。9は縦長剥片を素材として，左側縁中間部から基部にかけて急角度で粗い調整加工が施されている。10は背面に自然面を大きく残す剥片を素材として，腹面のほぼ全周に，平坦で粗い調整加工が施されている。

11・12は微細剥離痕のある剥片である。11は両極剥離によって剥離されたと思われる厚みのある剥片を素材としている。素材の末端部にあたる左側縁全体に微細剥離が連続的にみられる。12は左側縁に微細剥離痕がみられる。

13＋14は接合資料2である。幅広の打面から剥離された横長剥片で，13と14は同時割れの資料である。

15は二次加工のある剥片である。節理面の打面から剥離された幅広の剥片を素材として，右側縁下部を折断調整によって成形し，腹面左側面中間部と腹面右側縁上部に，平坦な調整加工が施されている。

16・17は微細剥離痕のある剥片である。16は幅広の節理面を打面とした横長剥片を素材として，素材の末端部にあたる腹面上部に微細剥離が連続的にみられる。17は節理面を打面として，打面調整がわずかに

施され，頭部調整の顕著な幅広の剥片を素材として，背面右上部と腹面右側面下部に連続的に微細剥離がみられる。

18は節理面を打面とした幅広の剥片を素材として，右側縁上部に急角度の調整加工が入念に施されている。背面右側面下半部と腹面左側面下半部に顕著な微細剥離がみられる。

19＋20は接合資料14である。19は第40ブロック出土で，20は第41ブロック出土でブロック間の接合資料である。19＋20の状態で，上端部を打面に設定して，縦長剥片が連続的に剥離されたことを示す接合資料である。19は線状の打面で，頭部調整がわずかにみられる。20は頭部調整が顕著で，縦長剥片を素材として，背面左側縁上部と腹面右側縁上部に微細剥離が連続的にみられる。

21は自然面を打面として，打面調整と頭部調整が行われた縦長剥片を素材として，右側縁下部に微細剥離がみられる。

22～24は接合資料４である。平坦打面で，頭部調整がわずかに行われた縦長剥片が連続的に剥離されてたことを示す接合資料である。22の剥離以前にも，縦長剥片を剥離したことが観察される。

25は微細剥離痕のある剥片である。厚みのある縦長剥片を素材として，右側縁下半部と上部に微細剥離がみられる。

26～28は接合資料９である。良質な碧玉（黄玉）001が用いられている。26～28の状態で，背面に大きく自然面を残す資料である。下端部から26と27が剥離され，上端部から28が剥離されている。27は腹面左側縁と背面右側縁下部に微細剥離がみられる。28は背面にわずかに自然面が残る縦長剥片を素材として，腹面左側縁中央部に微細剥離がみられる。

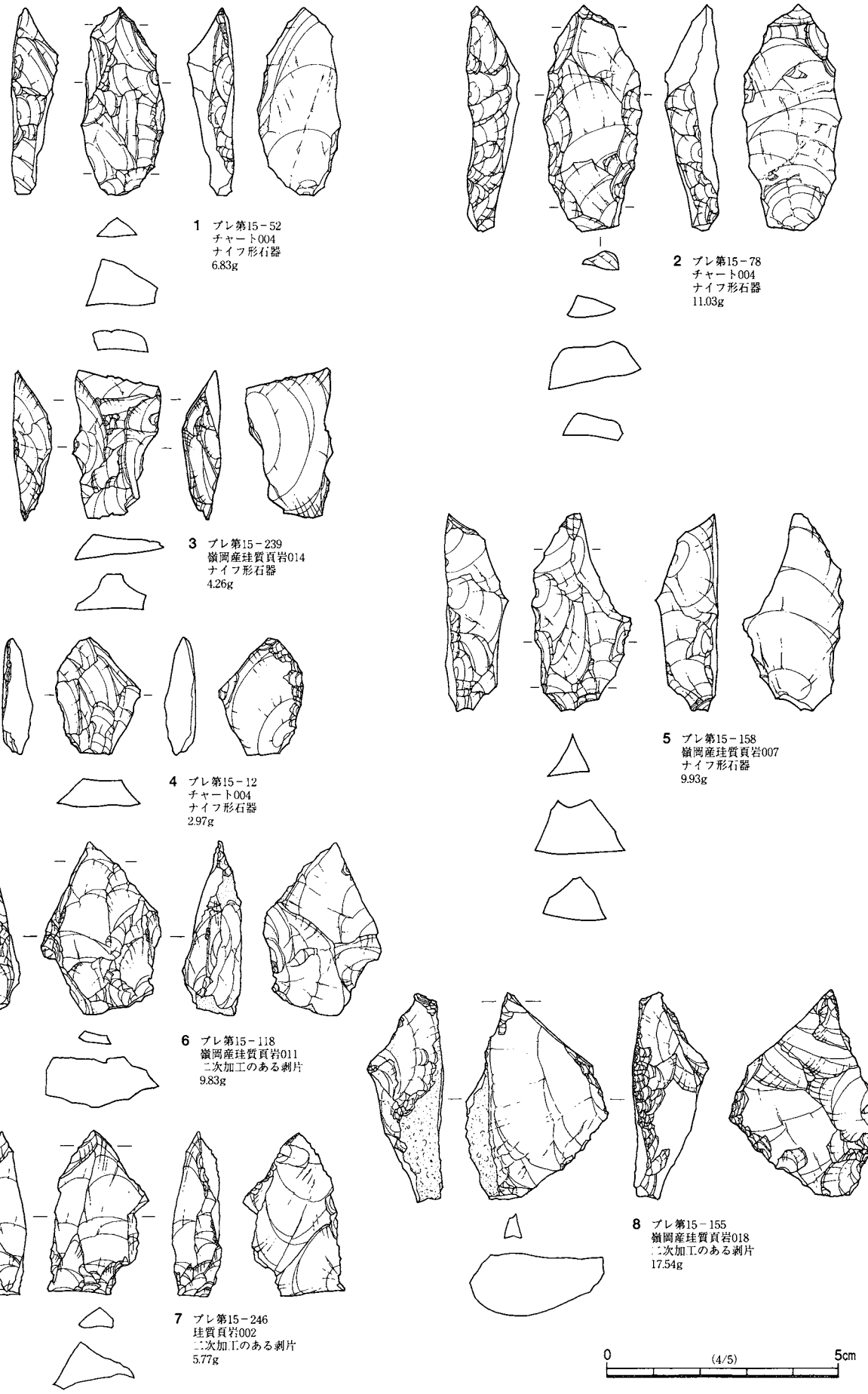
29～34は接合資料３である。26～28の接合資料９と同一母岩の碧玉（黄玉）001が用いられている。29～34の状態で，背面に大きく自然面を残し，頭部調整を行い，打面を頻繁に転移しながら剥片を剥離したことがうかがえる接合資料である。まず，右側縁下部から29を剥離している。次に，打面を90度転移して上端部から31～33の剥片を剥離している。最後に，下端部から34を剥離している。29は上端部と右側縁下部に粗い調整加工が施されている。

接合資料９と接合資料３は，碧玉（黄玉）001を用いており，いずれも，背面に大きく自然面を残し，頭部調整を行い，打面を頻繁に転移していることがうかがえる。また，本遺跡においては，接合資料からわかるように，自然面を取り除くような剥離が行われているが，自然面が取り除かれた後の資料は本遺跡では，発見されておらず，母岩の最終的な剥離を示す資料がみつかっていない。

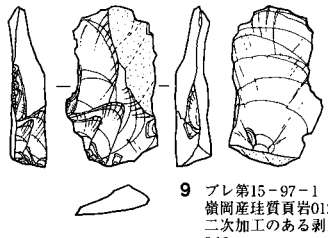
35＋36は接合資料７である。節理面で分割された厚みのある剥片を素材としている。35＋36の状態で，石核である。右側縁下部から貝殻状の小型の剥片を４枚以上剥離している。右側縁は，下端部から節理面に沿って剥離されている。最終的に，上面から剥離を行った際に，35と36に分割されている。分割後に剥離は行われていない。

37～39は接合資料１である。平坦剥離面を打面として，頭部調整をわずかに行って，縦長剥片を連続的に剥離している。37～39の状態で，背面構成をみると縦長剥片が連続的に剥離されていることがうかがえる。37は縦長剥片の末端部が残存している。中間部から頭部は破損している。38は規格的な縦長剥片である。右側縁下部に微細剥離がみられる。39は先端がやや細まった縦長剥片である。

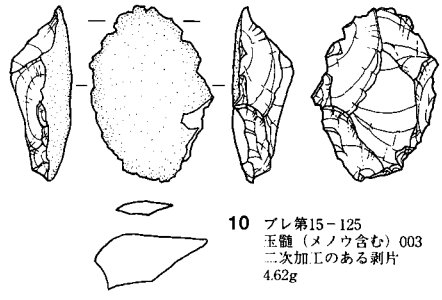
40・41は石核である。40は節理面に沿って分割された剥片を素材として，表面下端部から剥片を剥離している。41は楕円形礫を素材として，上端部から縦長剥片が１枚剥離されている。右側面と裏面にわずか



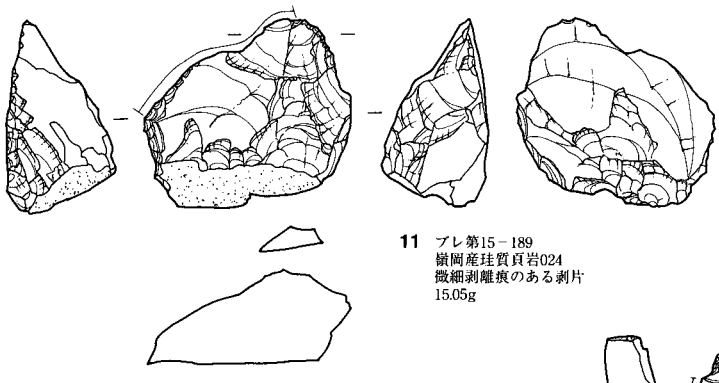
第215図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（1）



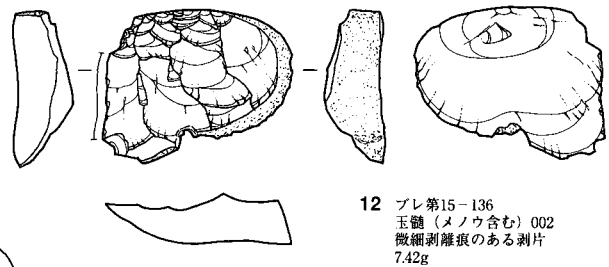
9 ブレ第15－97－1
嶺岡産珪質頁岩012
二次加工のある剥片
2.19g



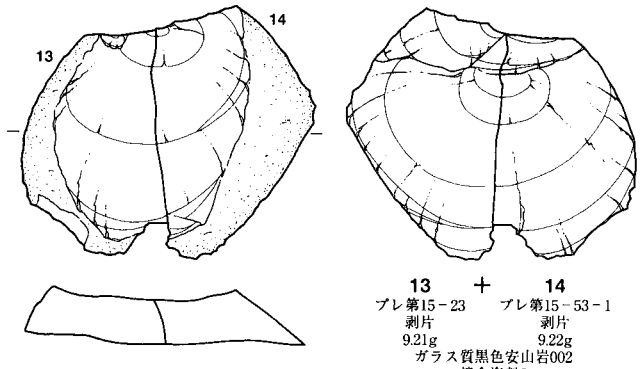
10 ブレ第15－125
玉髄（メノウ含む）003
二次加工のある剥片
4.62g



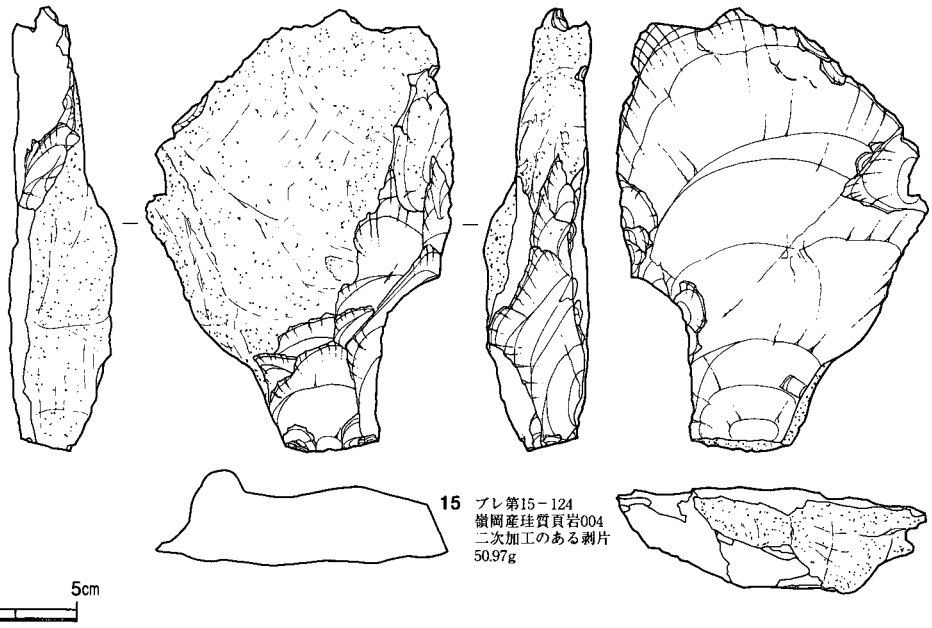
11 ブレ第15－189
嶺岡産珪質頁岩024
微細剥離痕のある剥片
15.05g



12 ブレ第15－136
玉髄（メノウ含む）002
微細剥離痕のある剥片
7.42g

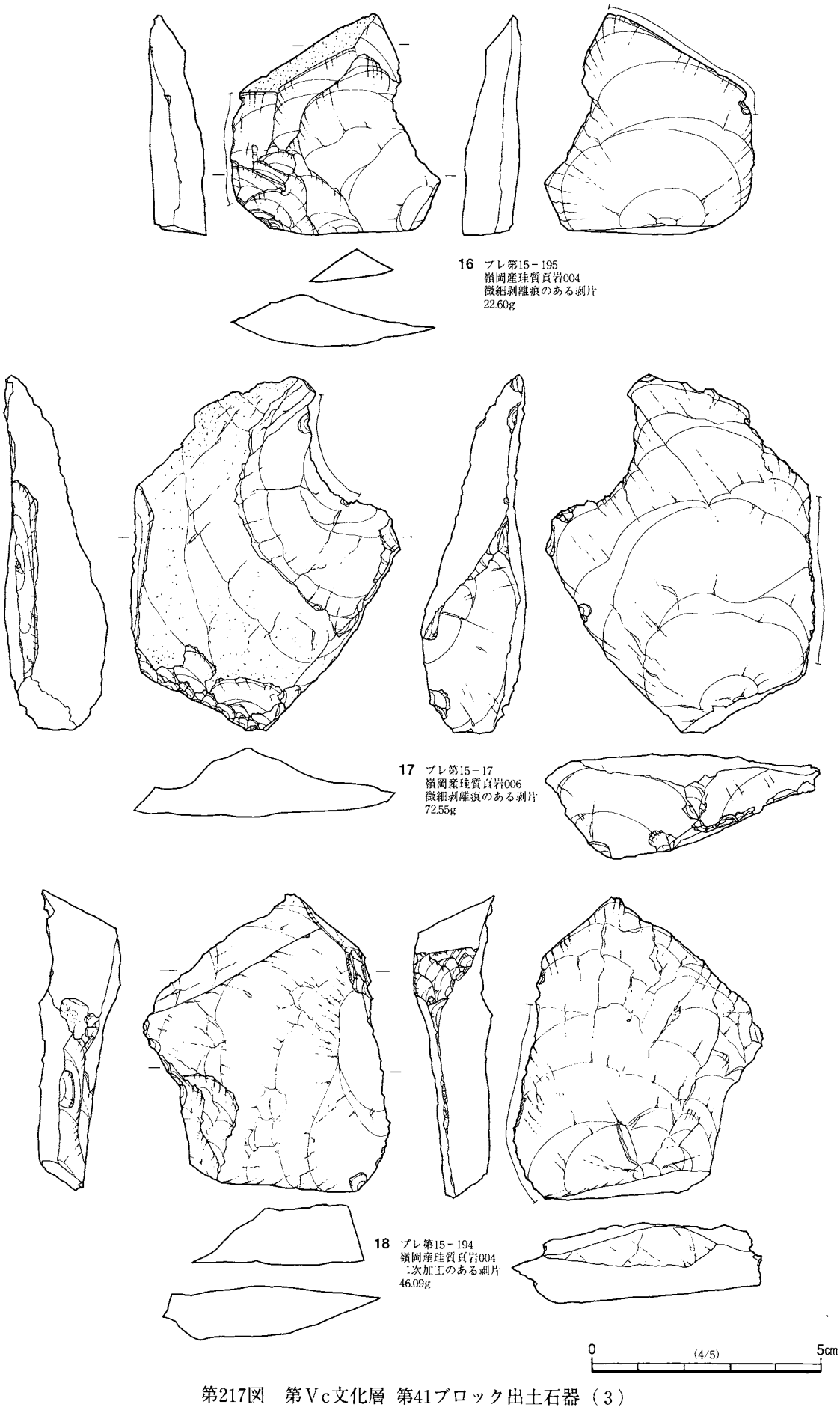


13 ＋ **14**
ブレ第15－23　ブレ第15－53－1
剥片　剥片
9.21g　9.22g
ガラス質黒色安山岩002
接合資料2

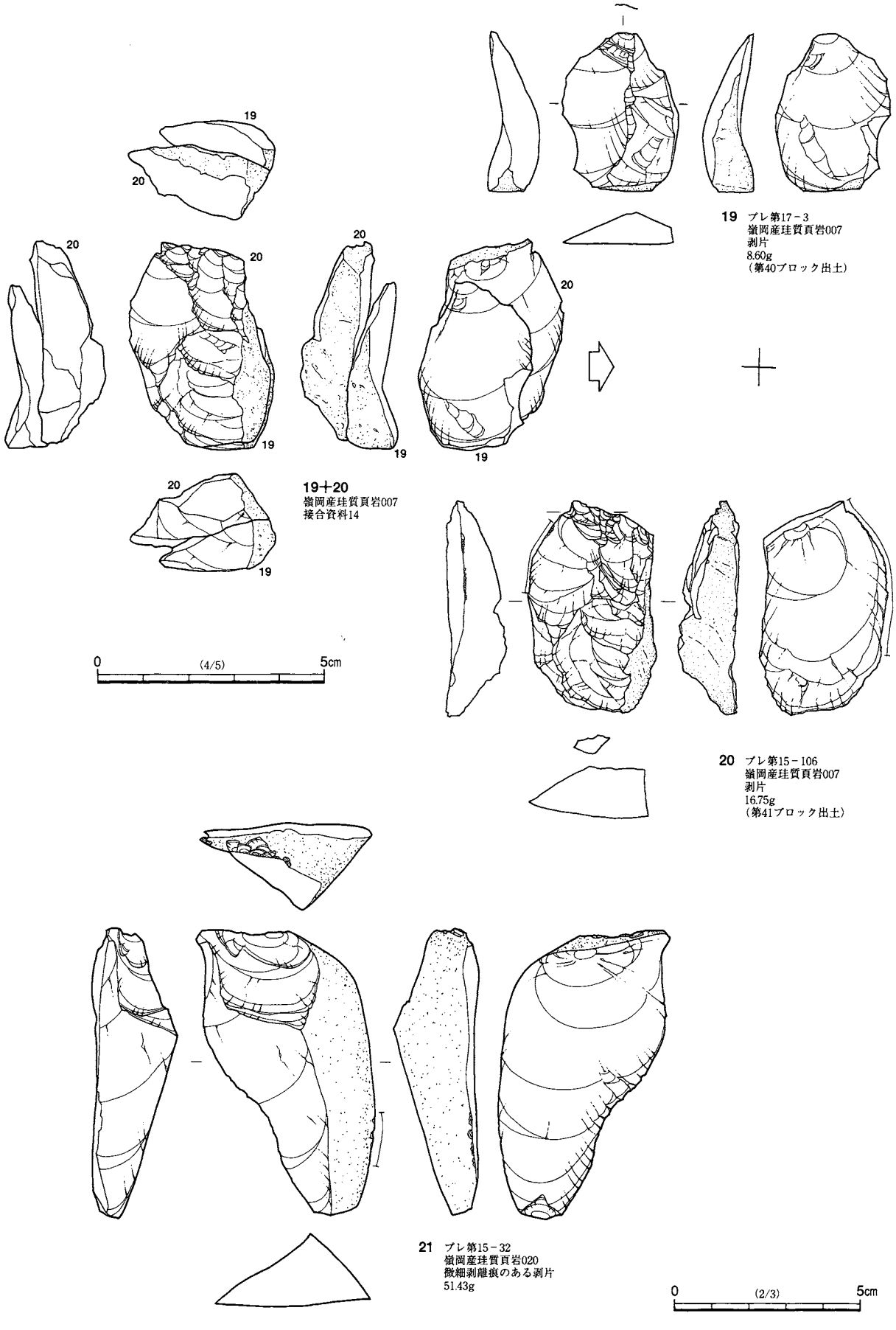


15 ブレ第15－124
嶺岡産珪質頁岩004
二次加工のある剥片
50.97g

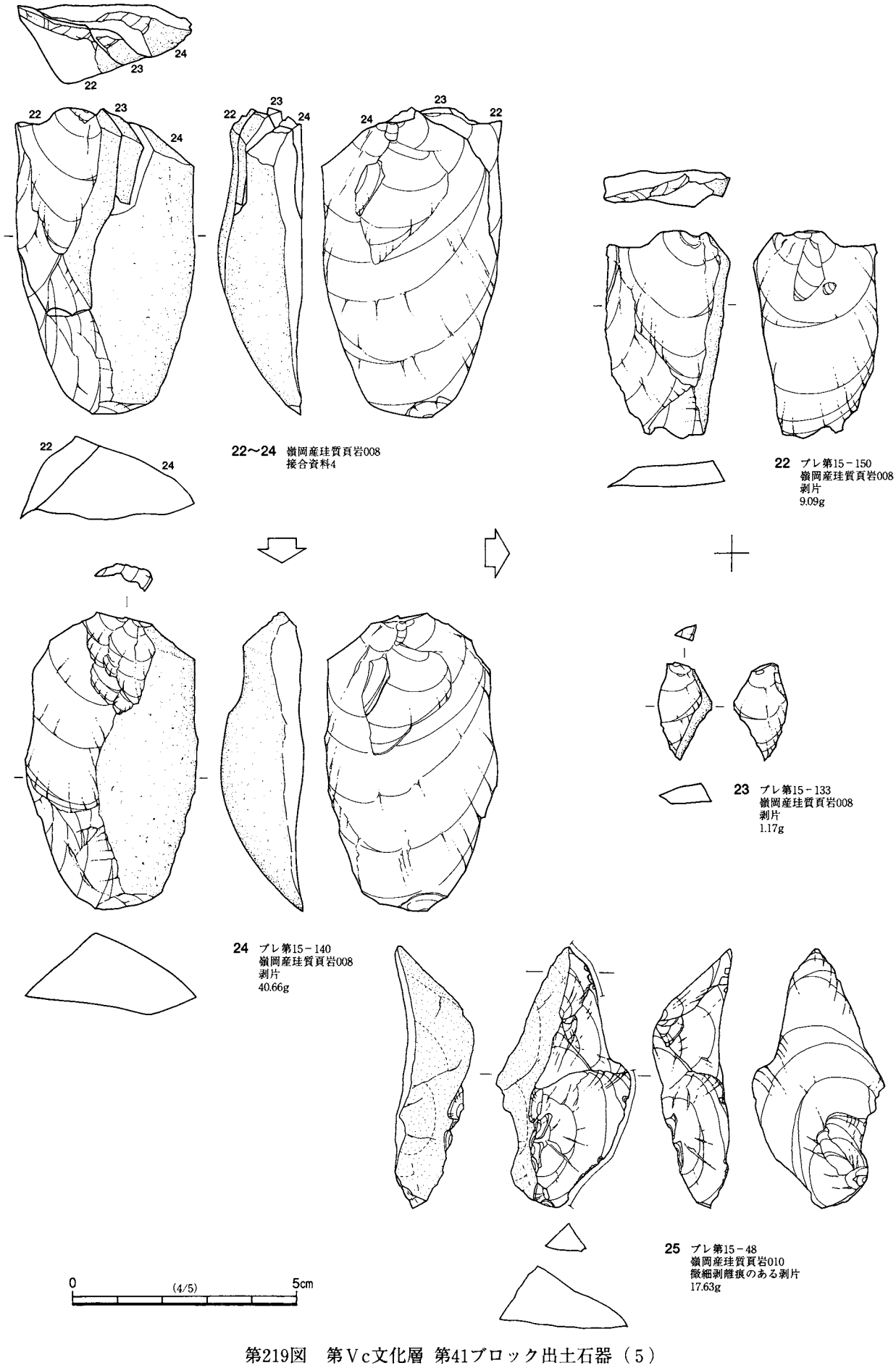
第216図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（2）



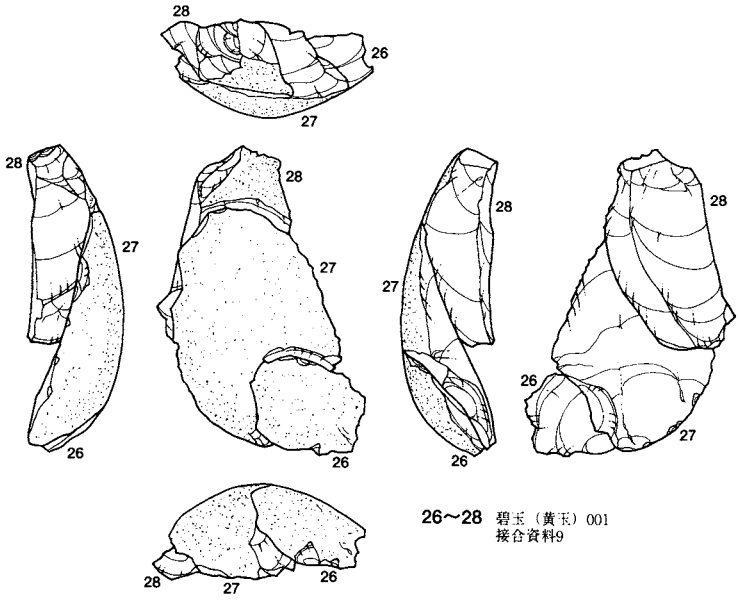
第217図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（３）



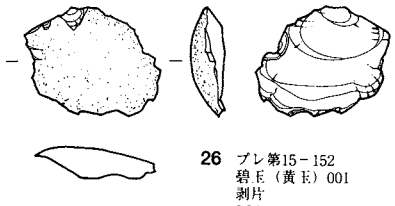
第218図　第Ｖc文化層 第41ブロック出土石器（４）



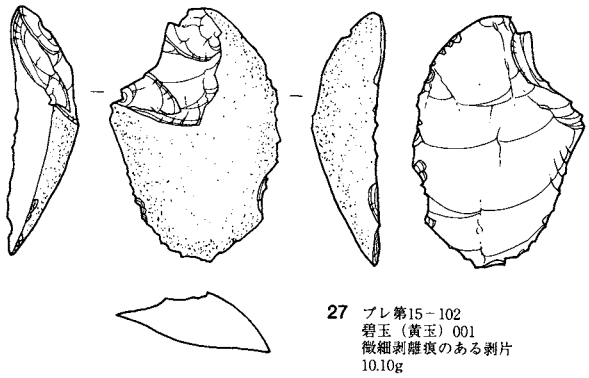
第219図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（5）



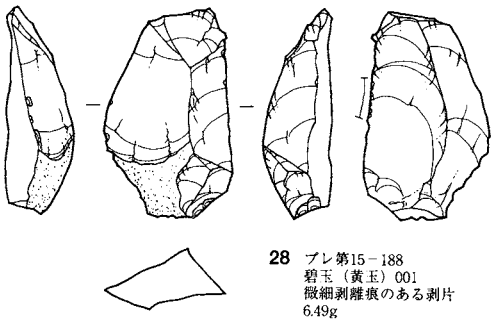
26～28 碧玉（黄玉）001
接合資料9



26 プレ第15－152
碧玉（黄玉）001
剥片
2.04g



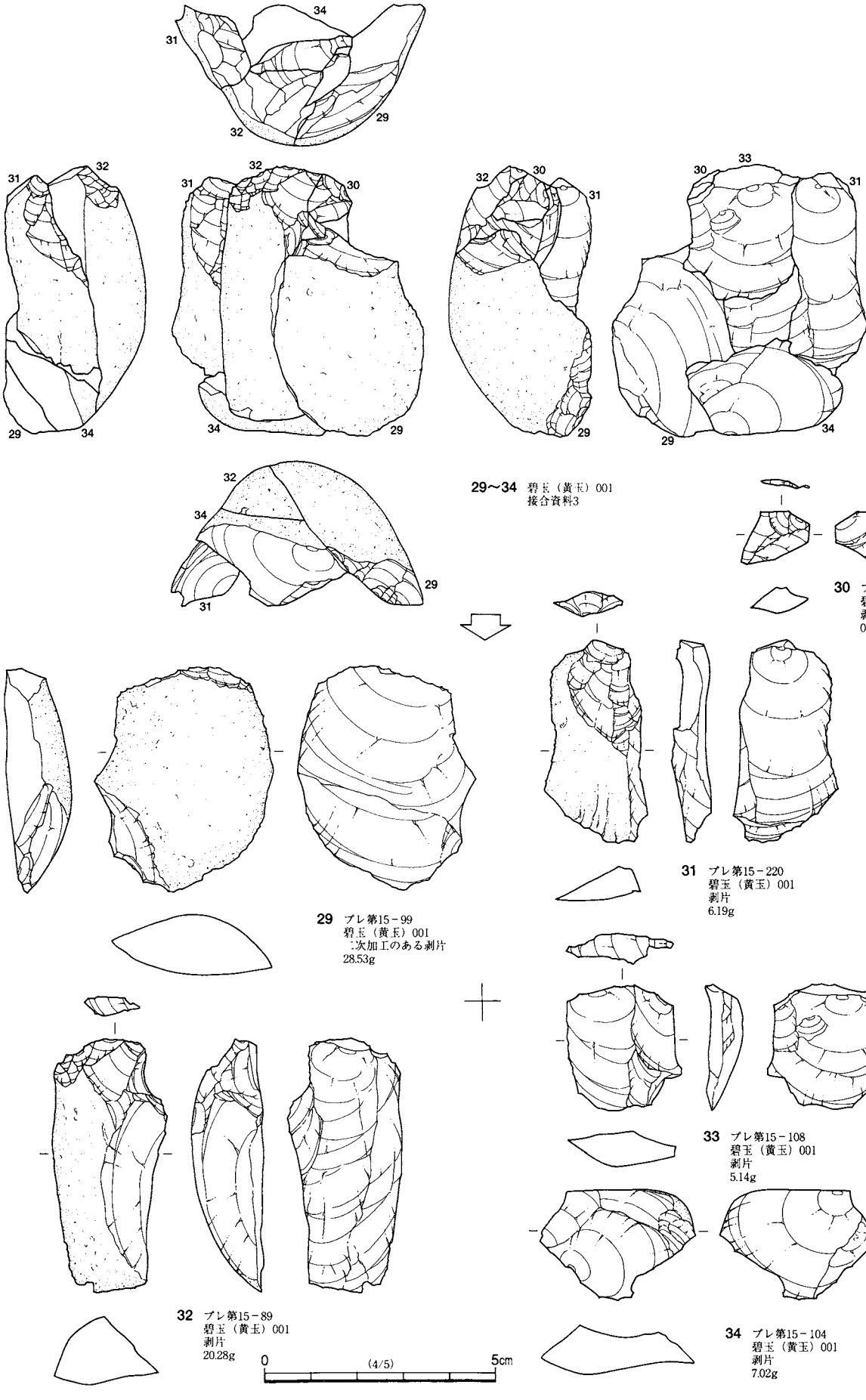
27 プレ第15－102
碧玉（黄玉）001
微細剥離痕のある剥片
10.10g



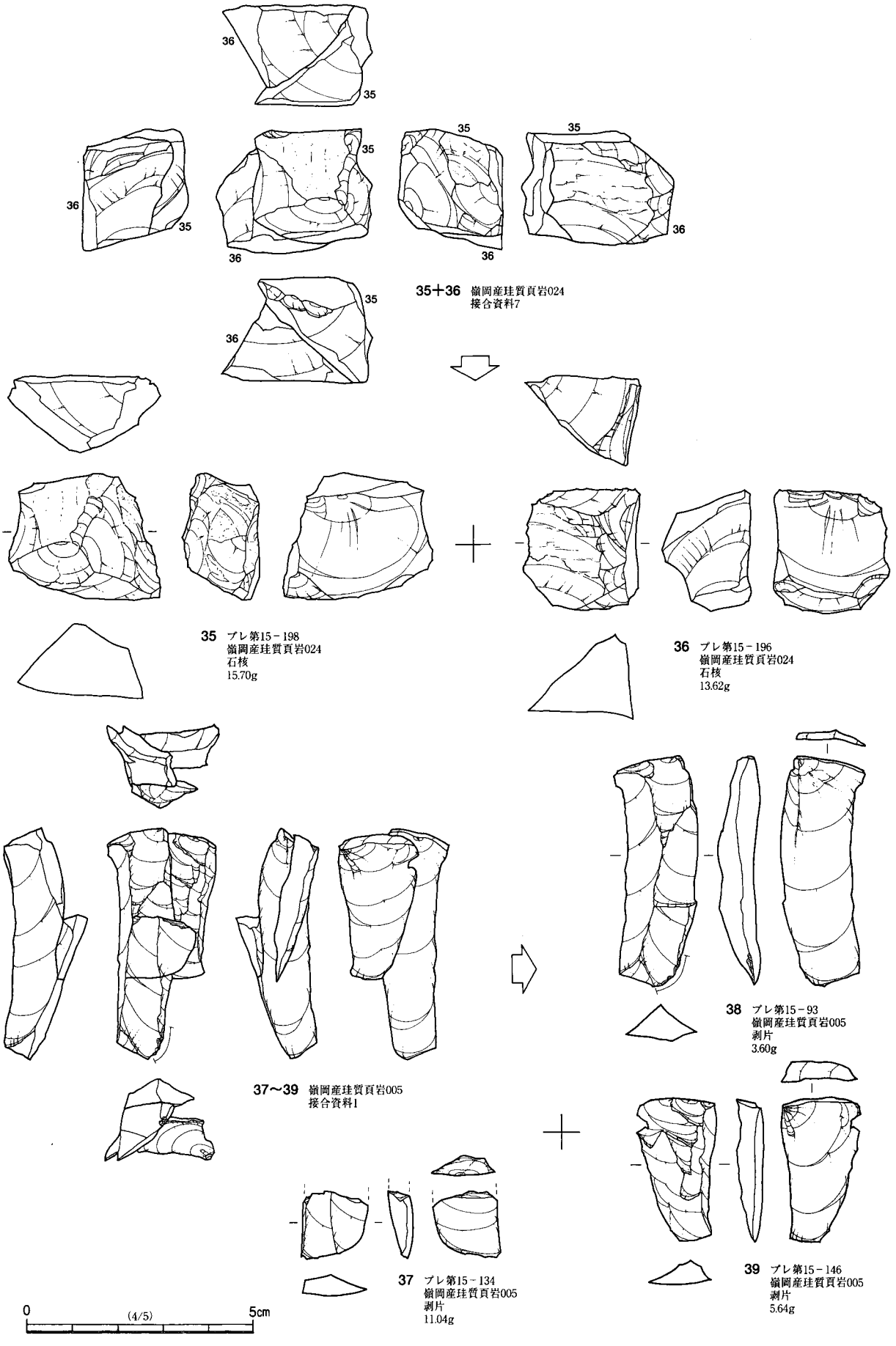
28 プレ第15－188
碧玉（黄玉）001
微細剥離痕のある剥片
6.49g

0 (4/5) 5cm

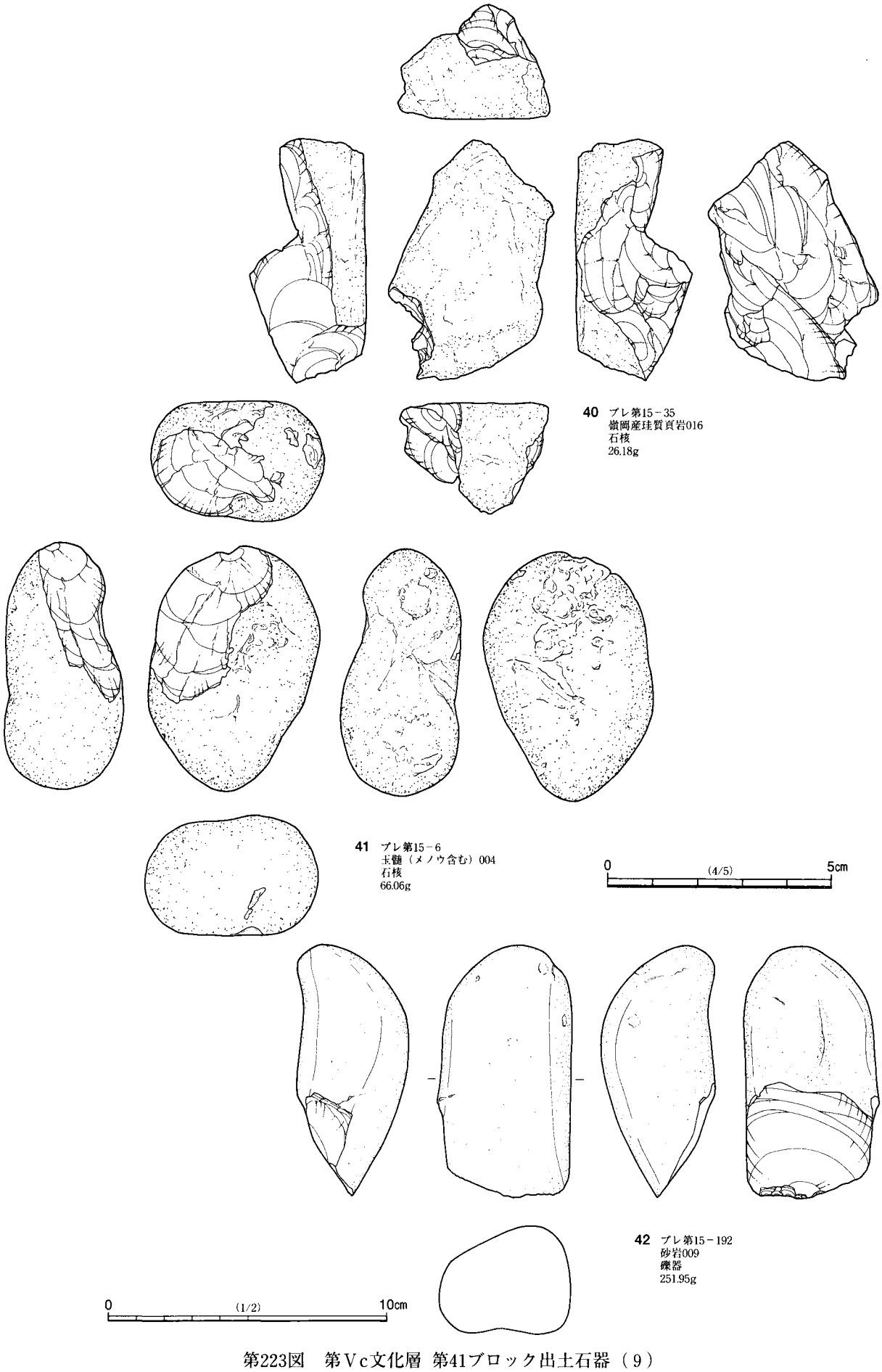
第220図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（6）



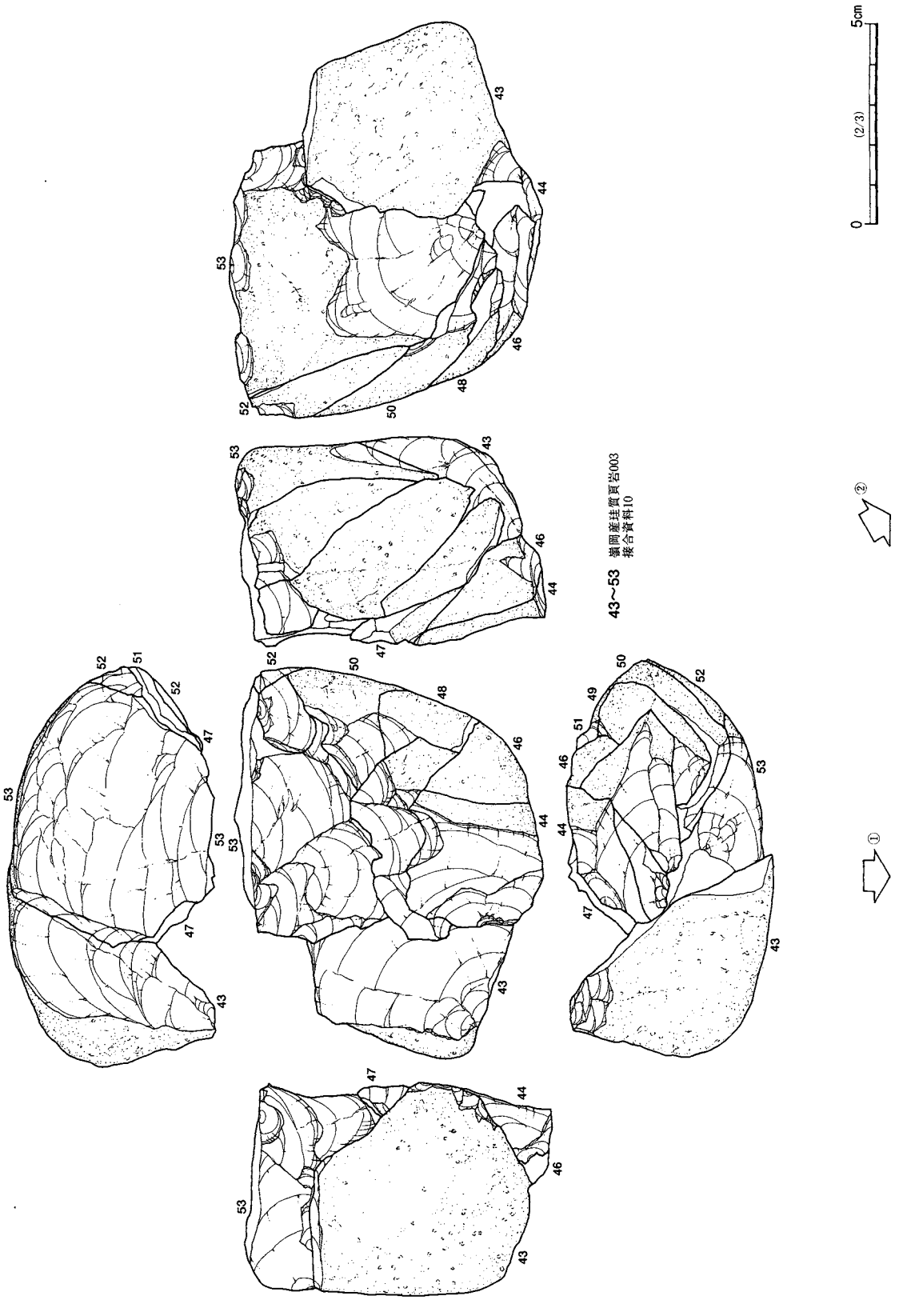
第221図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（7）



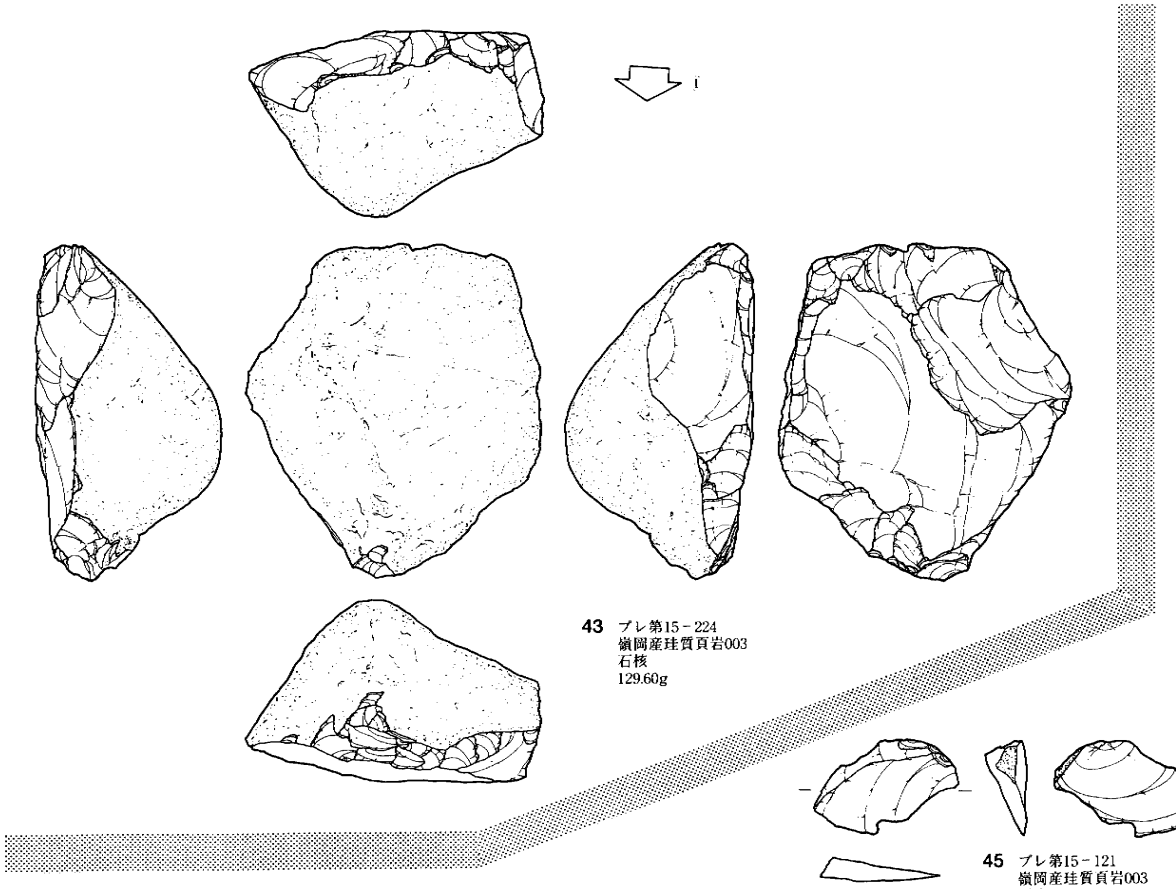
第222図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（8）



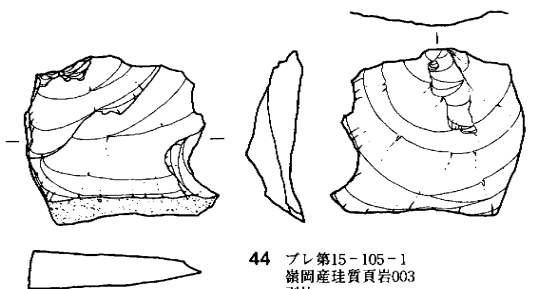
第223図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（9）



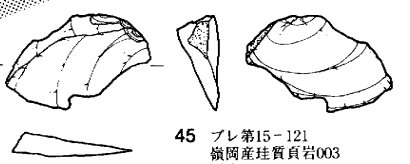
第224図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（10）



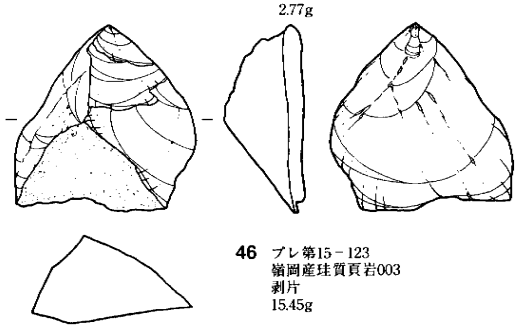
43 ブレ第15－224
嶺岡産珪質頁岩003
石核
129.60g



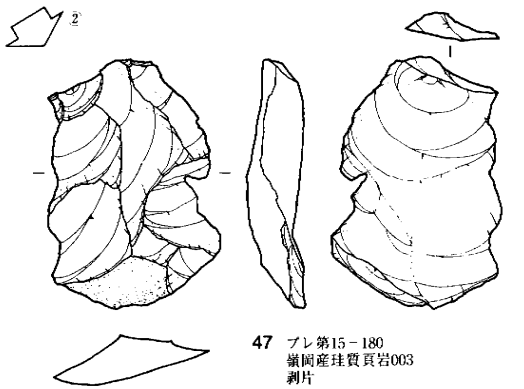
44 ブレ第15－105－1
嶺岡産珪質頁岩003
剥片
9.94g



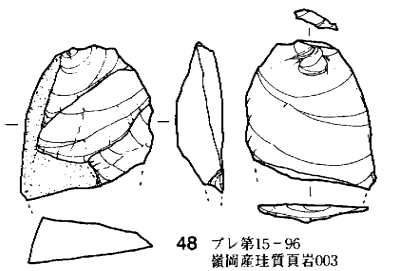
45 ブレ第15－121
嶺岡産珪質頁岩003
剥片
2.77g



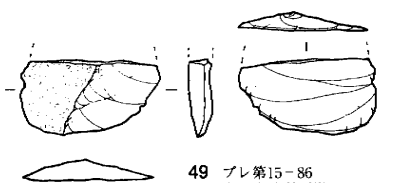
46 ブレ第15－123
嶺岡産珪質頁岩003
剥片
15.45g



47 ブレ第15－180
嶺岡産珪質頁岩003
剥片
14.58g

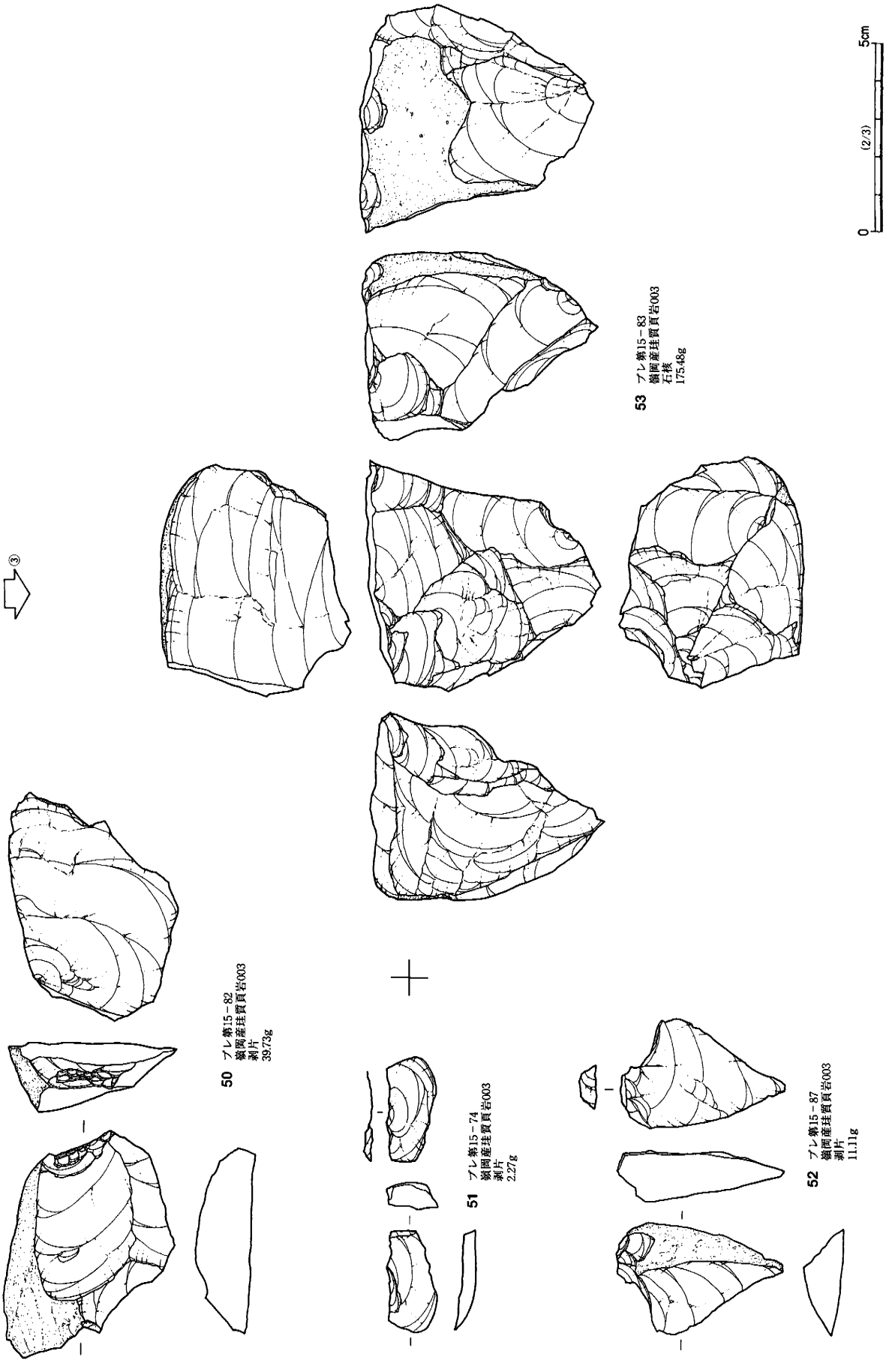


48 ブレ第15－96
嶺岡産珪質頁岩003
剥片
7.34g

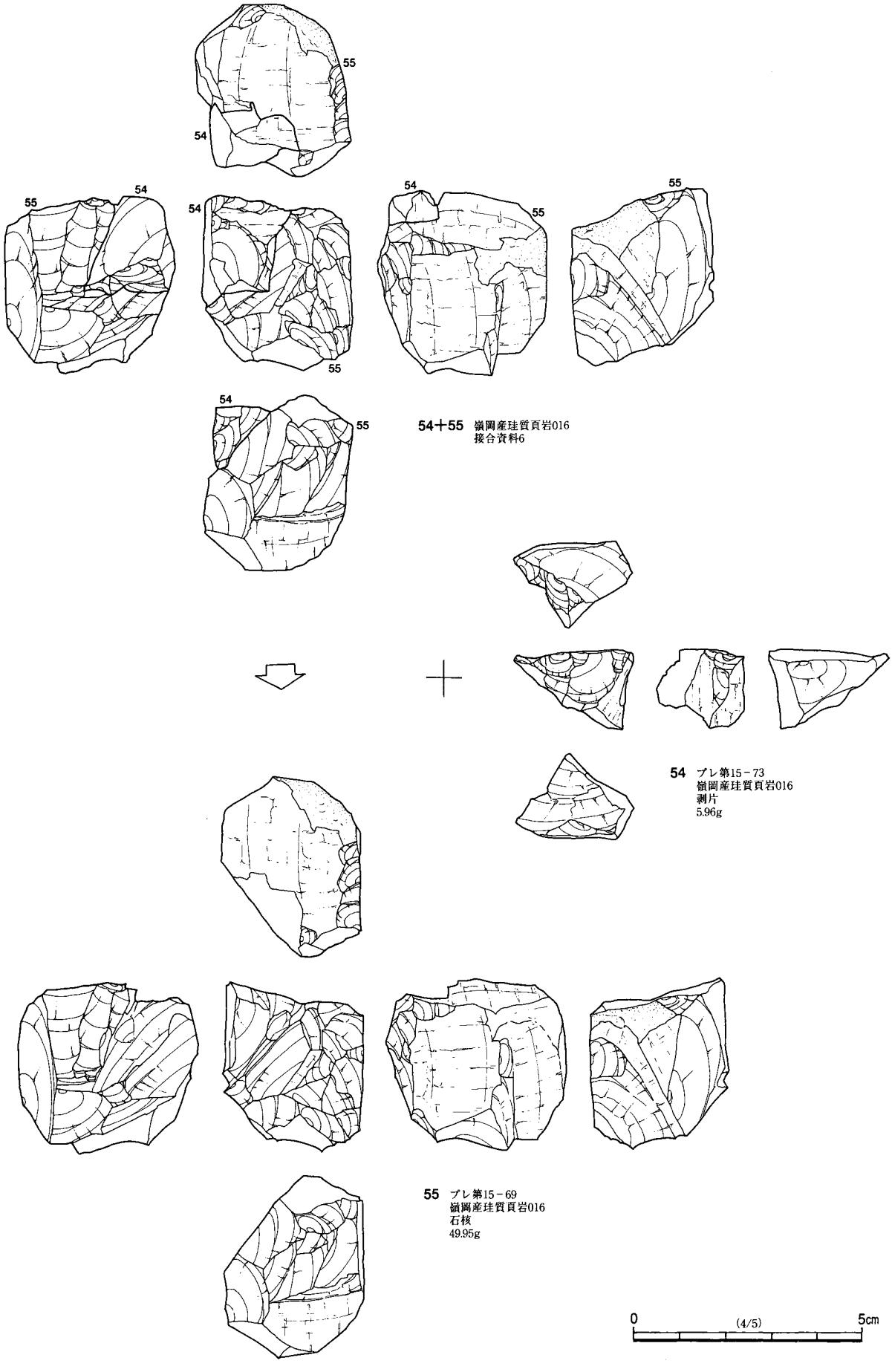


49 ブレ第15－86
嶺岡産珪質頁岩003
剥片
1.95g

0　(2/3)　5cm



第226図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（12）

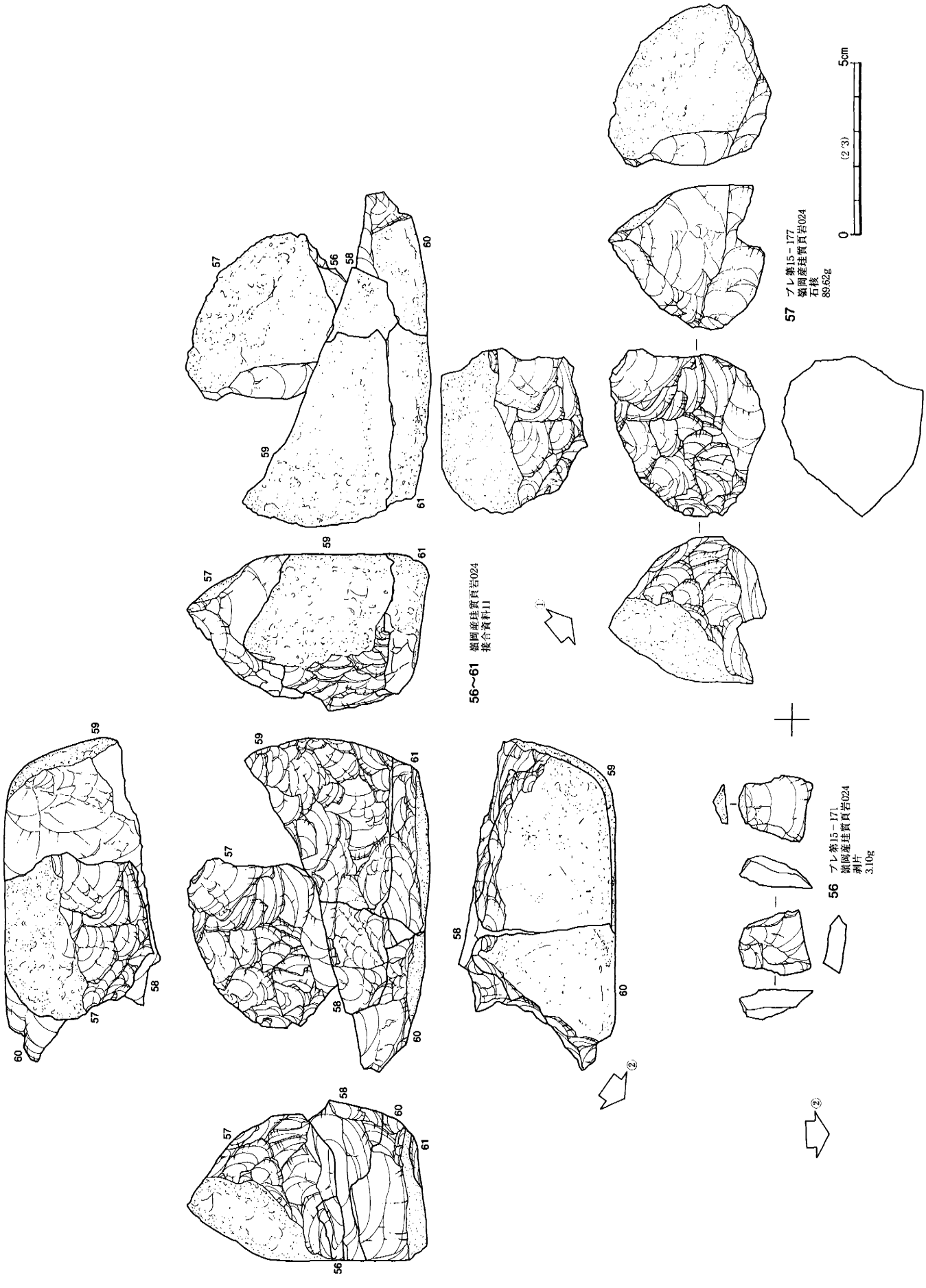


54＋55 嶺岡産珪質頁岩016
接合資料6

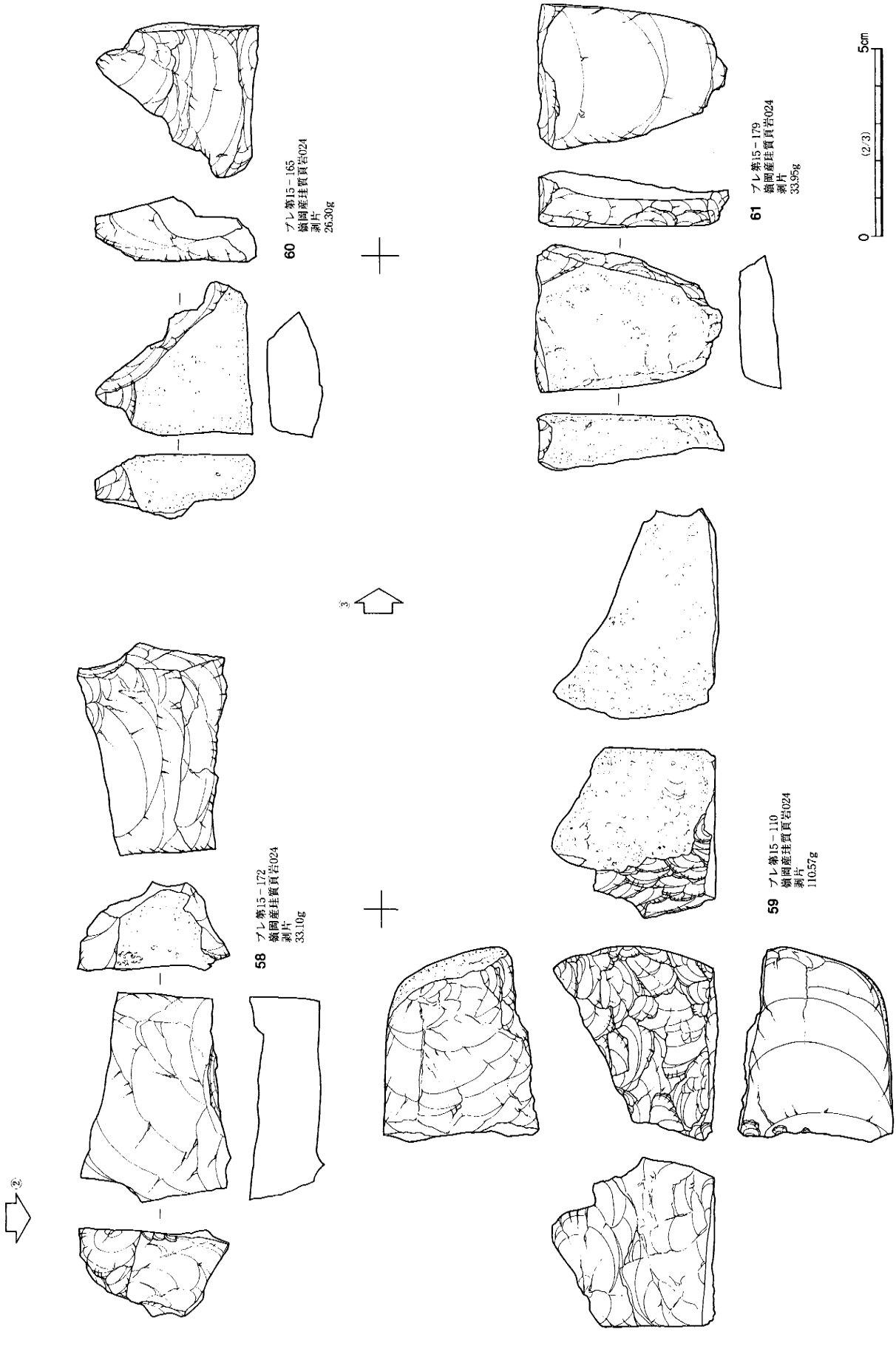
54 プレ第15－73
嶺岡産珪質頁岩016
剥片
5.96g

55 プレ第15－69
嶺岡産珪質頁岩016
石核
49.95g

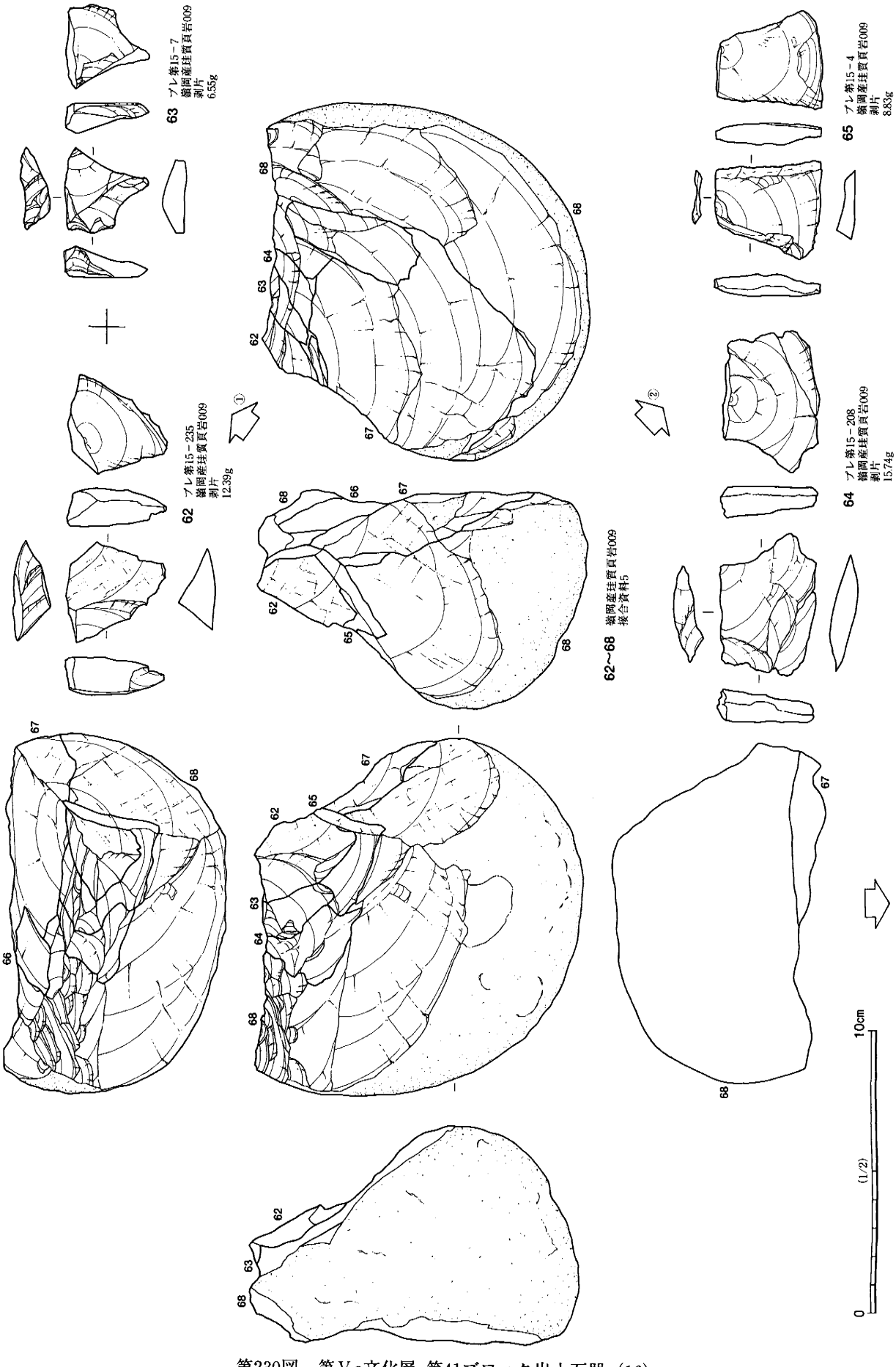
第227図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（13）



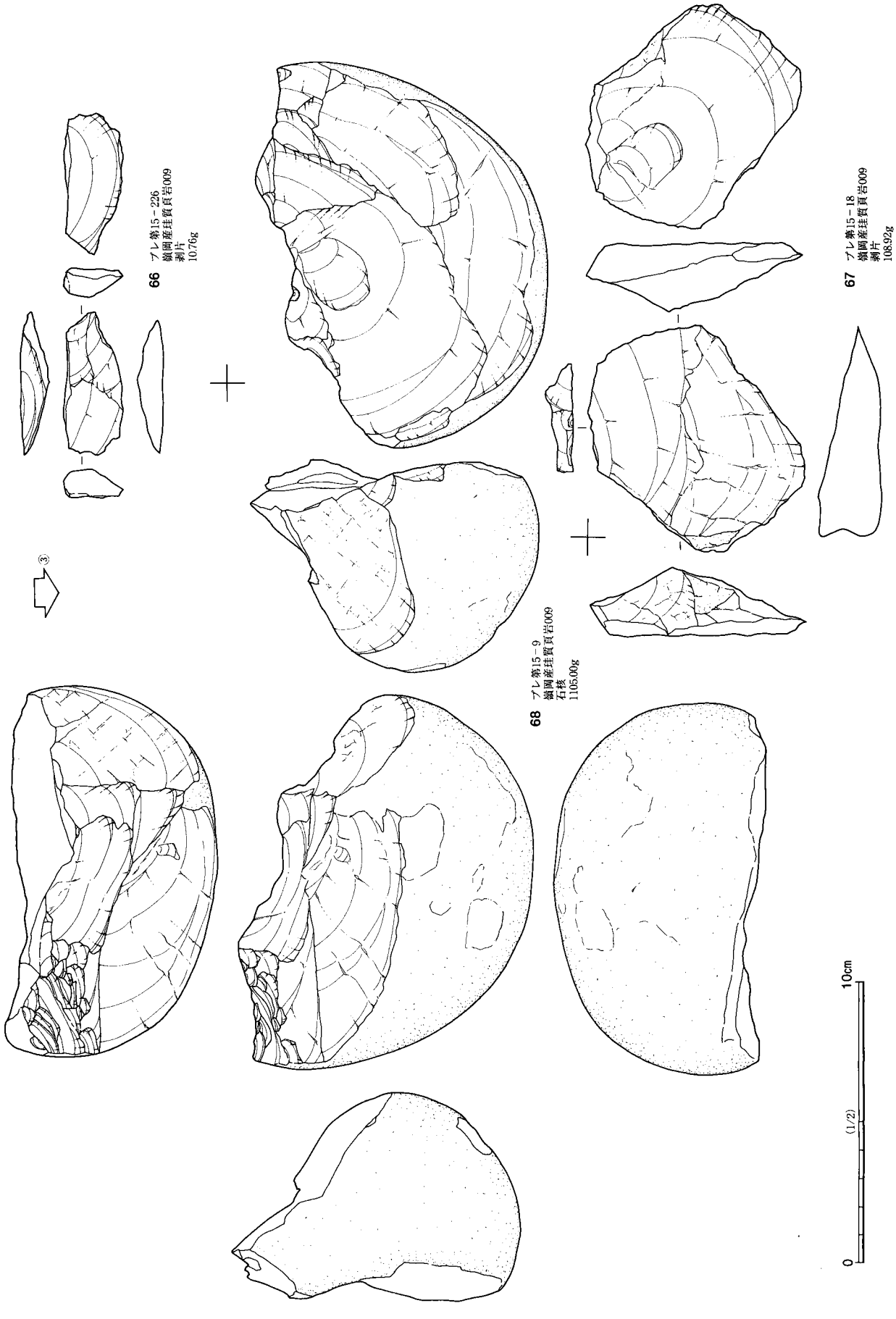
第228図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（14）



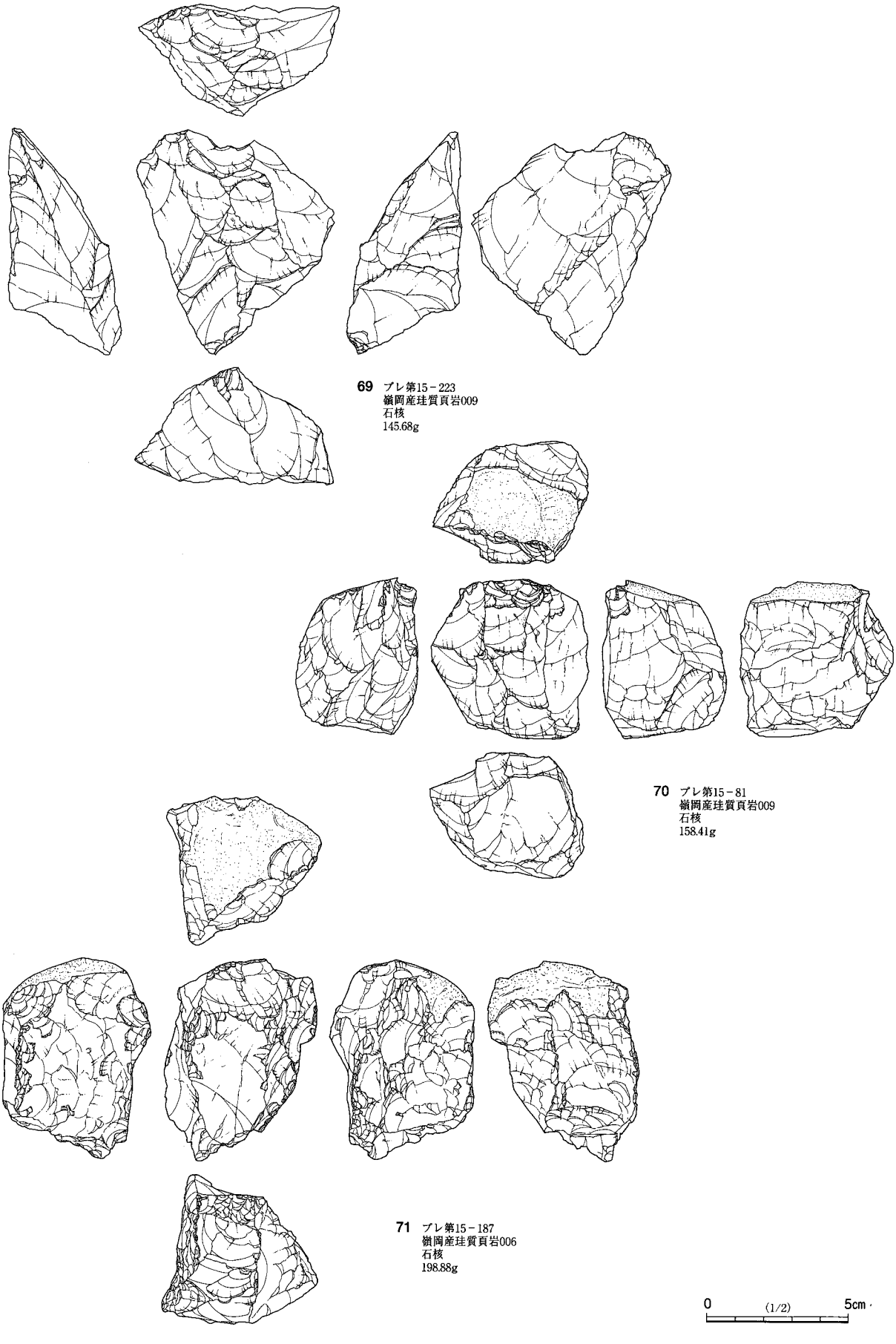
第229図　第Ｖc文化層 第41ブロック出土石器（15）



第230図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（16）



第231図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（17）



第232図　第Ⅴc文化層 第41ブロック出土石器（18）

に敲打痕がみられることから，敲石の可能性もあるが，剥離されている剥片の形状が敲石で，良質の玉髄（メノウ含む）が用いられていることから石核として捉えた。

42は礫器である。楕円形礫を素材として，裏面下端部から大きく剥離して，下端部に刃部を作出している。下端部の刃部には，敲打の衝撃とおもわれる微細な剥離がみられる。

43～53は接合資料10である。拳大の分割礫を素材としている。43～53は，さらに，43と44～53との二つに分割され，それぞれ剥片が剥離されている。43は接合資料はみられないが，裏面下端部と裏面上端部から右側縁上部にかけて，横長剥片が剥離されている。44～53は分割後に，9枚の剥片が接合している。43～53の接合図から剥離の方法を記述すると，左側縁下部から44～46の幅広剥片が連続的に剥離されている。打面を下端部から49・50が剥離されている。次に，打面を上端部に転移して，数枚の幅広剥片を剥離した後に，51・52の剥片を剥離している。残核である53の形状は，円錐状の形態を呈している。

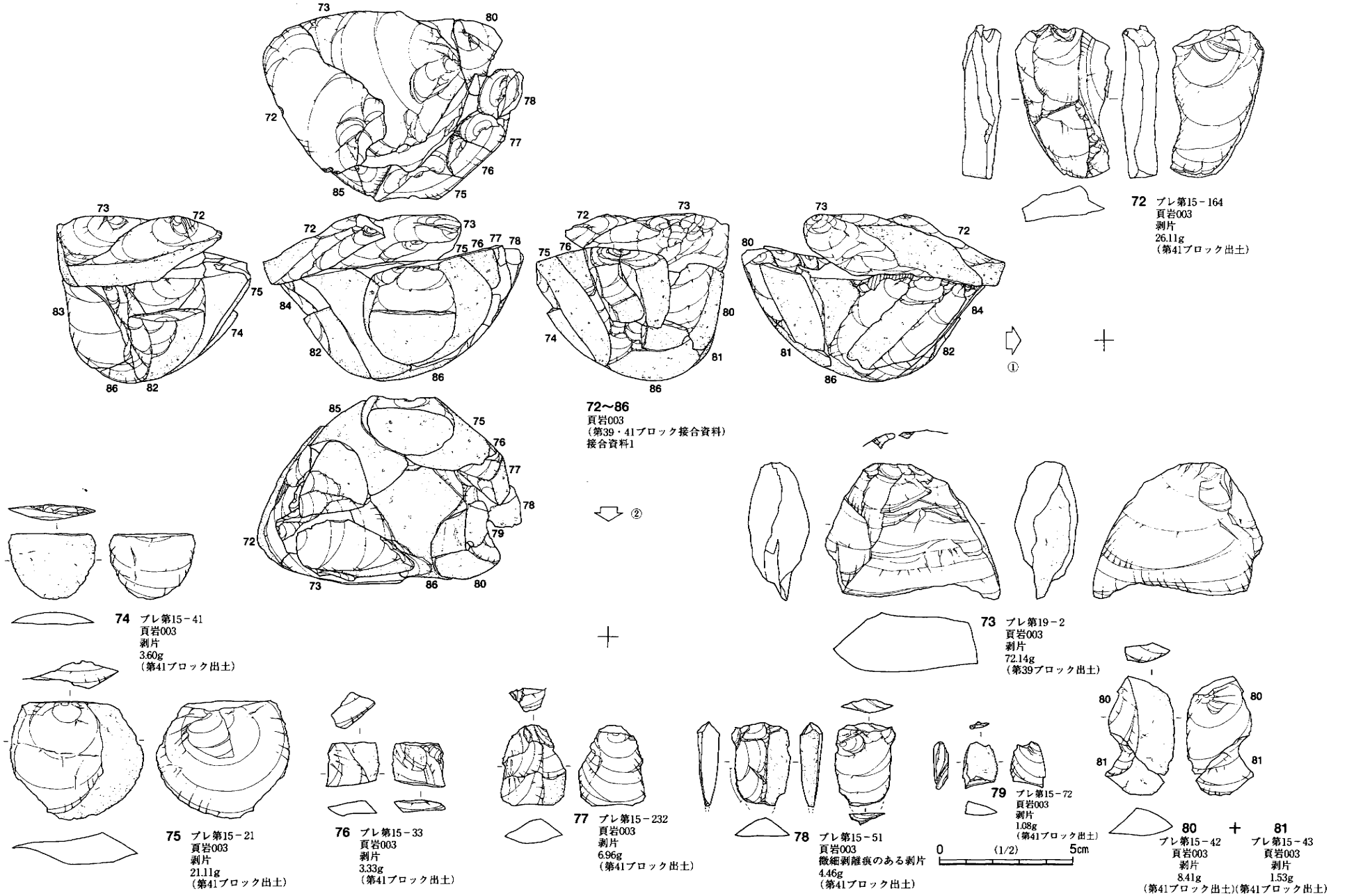
54＋55は接合資料6である。節理が多い石材である。節理面に沿って剥離された分割礫を素材として，左側縁上部から54の小型の横長剥片を剥離している。その後，左側縁や上端部を打面として，数回剥離しているが，いずれの剥片も節理面で割れて，不定形の剥片が剥離されている。残核である55の形態は，サイコロ状を呈するが，規格的な剥片はほとんど剥離されていない。

56～61は接合資料11である。大型礫を分割して，拳大の分割礫を素材としている。43～53の接合資料10と同様に，さらに，56～61の状態で，左側縁から大きく分割して，56＋57と58～61との二つに分割して，剥片が剥離されている。56＋57は，両側縁が分割され，正方体に近い形状の石核に成形してから，左側縁下部から56が剥離されている。57は上端部から貝殻状の剥片を連続的に剥離されている。58～61は，56～61の状態で，右側縁から分割して，58＋59と60＋61との二つに分割されている。58＋59は，分割時に58と59とに同時割れしている。60＋61は，分割時に60と61とに同時割れしている。

62～68は接合資料5である。幼児の頭大の大きな円礫を母岩として，裏面側を大きく分割している。裏面の分割面を打面として，62～65の幅広の剥片が連続的に剥離されている。次に，表面を打面として，66と67の剥片が剥離されている。66は剥片の末端部が残存しており，剥離の形状から67と同様の大きさの剥片が剥離されたことがうかがえる。残核である68は，チョッピングツゥール状を呈する。

69～71は石核である。いずれも，節理面の多い石材を用いているために，不定形な剥片が剥離されている。69は節理面に沿って剥離された厚みのある剥片を素材として，上端部を打面として，5枚以上の横長剥片が剥離されている。70は拳大の礫を素材としている。裏面と右側面は上下両端から剥離を行っており，節理面に沿って剥離されている。表面上端部から，縦長剥片が連続的に剥離されている。残核の形状は，サイコロ状を呈する。71は節理面で分割された拳大の礫を素材としている。残核の形状は角柱状に近い。角張った縁辺の各所に，頭部調整のような調整加工がみられることから，剥片を剥離しようとしたことがうかがえるが，規格的な剥片は剥離されていないようである。

72～86は接合資料1である。73のみが第39ブロック出土で，そのほかのものは第41ブロックから出土している。非常に良質な頁岩を用いている。母岩の大きさは，おそらく，15cm前後の大きなものであると思われる。分割された礫を素材としている。剥片剥離の工程は，大きく分けて二つの工程に分かれる。一回目の工程は，分割された礫から，平坦で大きな打面を作出する工程である。72～86の接合図でこの工程を示す資料は，72＋73であり，右側縁から大きく分割することによって，平坦で大きな打面が作出されている。分割されたものは，72＋73と74～86との二つに分割されている。72＋73は接合されたものは，2枚の



72 ブレ第15－164
頁岩003
剥片
26.11g
（第41ブロック出土）

72～86
頁岩003
（第39・41ブロック接合資料）
接合資料1

73 ブレ第19－2
頁岩003
剥片
72.14g
（第39ブロック出土）

74 ブレ第15－41
頁岩003
剥片
3.60g
（第41ブロック出土）

75 ブレ第15－21
頁岩003
剥片
21.11g
（第41ブロック出土）

76 ブレ第15－33
頁岩003
剥片
3.33g
（第41ブロック出土）

77 ブレ第15－232
頁岩003
剥片
6.96g
（第41ブロック出土）

78 ブレ第15－51
頁岩003
微細剥離痕のある剥片
4.46g
（第41ブロック出土）

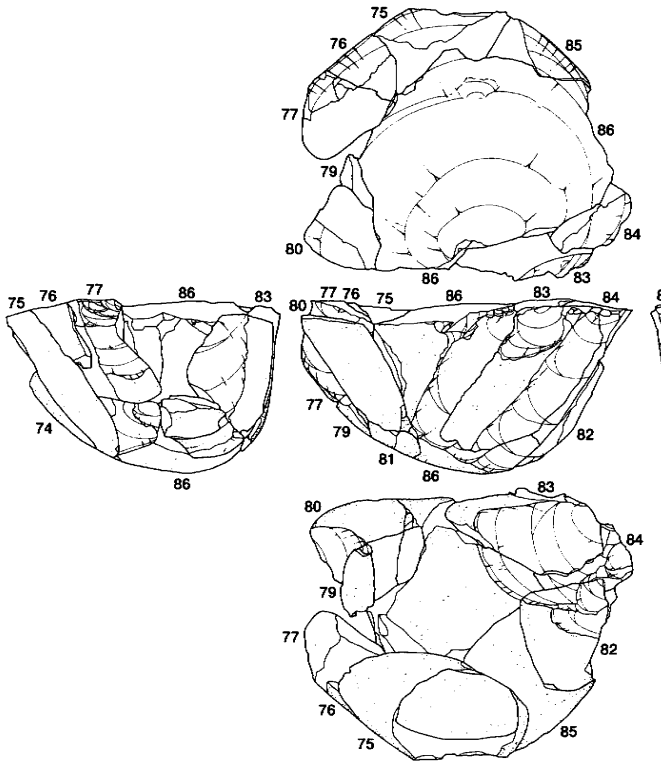
79 ブレ第15－72
頁岩003
剥片
1.08g
（第41ブロック出土）

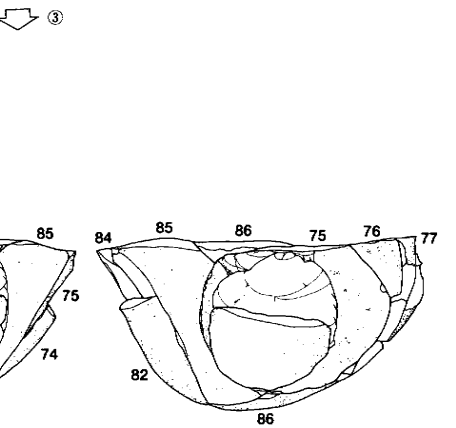
0 (1/2) 5cm

80 ブレ第15－42
頁岩003
剥片
8.41g
（第41ブロック出土）

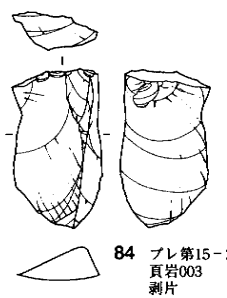
＋

81 ブレ第15－43
頁岩003
剥片
1.53g
（第41ブロック出土）

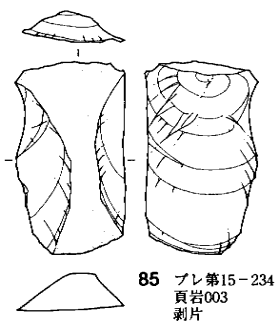




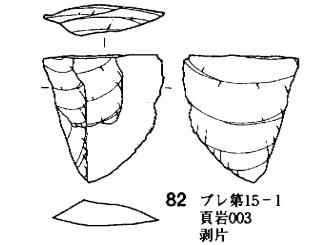
74～86
頁岩003
（第41ブロック接合資料）
接合資料8



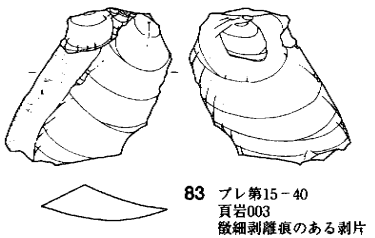
84 プレ第15－28
頁岩003
剥片
9.57g
（第41ブロック出土）



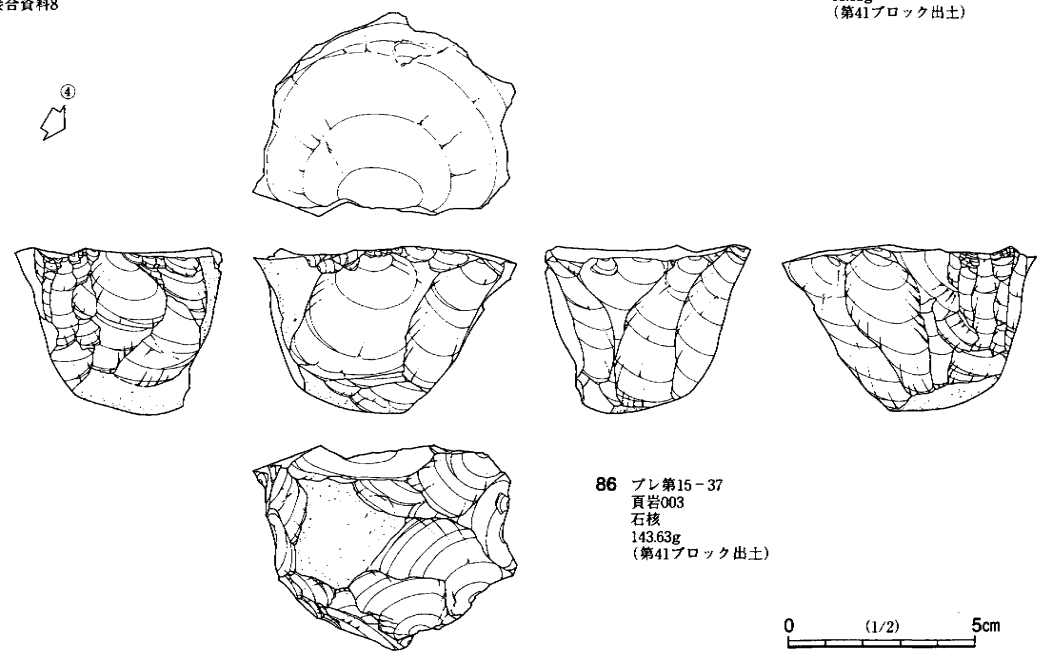
85 プレ第15－234
頁岩003
剥片
18.74g
（第41ブロック出土）



82 プレ第15－1
頁岩003
剥片
6.32g
（第41ブロック出土）



83 プレ第15－40
頁岩003
微細剥離痕のある剥片
11.68g
（第41ブロック出土）



86 プレ第15－37
頁岩003
石核
143.63g
（第41ブロック出土）

0 (1/2) 5cm

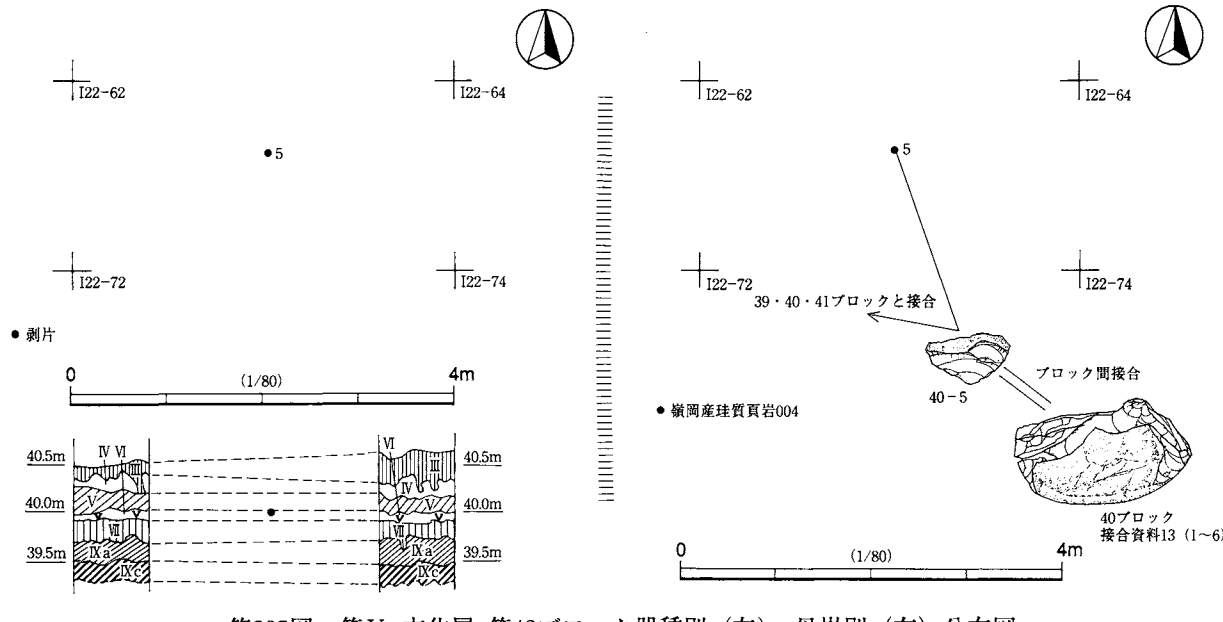
剥片のみであるが，分割後に，72のような比較的大きな縦長剥片が剥離されているようである。次に，二回目の工程は，72＋73で剥離された平坦で大きな剥離面を打面として固定し，ほぼ全周に打点を順次転移して，規格的な縦長剥片（石刃）が連続的に剥離されている。この工程は，石刃技法と捉えてよいものと思われる。接合状況をみると，75～78の石刃と残核である86との間に空白があり，残核の剥離面から接合していないが，おそらく10枚程度の石刃が剥離されたことが推察される。おそらく，74～85をあわせると約20枚以上の石刃が剥離されたと思われる。本遺跡で検出されている石刃は，背面に大きく自然面を残すものが出土していいるが，背面に自然面が残っていない石刃は，10枚程度剥離されていることが推定されるが，本遺跡においていは出土していない。このことは，おそらく，背面に自然面が残っていない石刃が規格的な形状を持っているために，他の遺跡か，あるいは，他のブロックに持ち出されたことを意味していると推定することも可能である。これらをもう一度まとめると，72～86の接合資料１は，石刃技法によるものである。打面作出の工程を示すものは，72＋73の資料である。石刃作出の工程を示すものは，74～86である。自然面を残す石刃は，本ブロックに残されている。背面に自然面を残さない石刃は，本ブロックに残されておらず，他のブロックか，あるいは，他の遺跡に持ち出されたものと思われる。

④**第42ブロック**（第235図，第66・117表）

出土状況　単独出土である。本来は，ブロックとして，識別しないほうがよいかもしれないが，第Ｖｃ文化層の出土層位と同一層準から出土していることと，第Ｖc文化層のブロック群と隣接して出土していることから，あえて１点のみの出土であるが，ブロックとして識別した。

出土層位は，Ⅵ層上部から出土している。剥片が単独出土であるが，第39～41ブロックとブロック間の接合を示す資料である。

出土遺物　総計１点のみの出土である。母岩器種組成は第66表のとおりである。嶺岡産珪質頁岩を用いた剥片が１点出土しているのみである。ブロックの内容は明確ではない。



第235図　第Ｖc文化層 第42ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図

第66表　第Ⅴc文化層 第42ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	剥片	総計	組成比（%）
嶺岡産珪質頁岩	004	1 4.95	1 4.95	100.00 100.00
嶺岡産珪質頁岩 点数合計		1	1	100.00
嶺岡産珪質頁岩 重量合計		4.95	4.95	100.00
全体の点数合計		1	1	100.00
全体の重量合計		4.95	4.95	100.00
点数組成比(%)		100.00	100.00	
重量組成比(%)		100.00	100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］

⑤第43ブロック（第236・237図，第67・117表，図版45）

出土状況　平面分布は，約３ｍ×３ｍの円形の範囲に散漫に出土している。分布状況を詳細にみると，北東部に集中しており，南部に散漫に分布しており，北西部は単独で１点のみ出土している。出土層位は，Ⅴ層下部～Ⅳ層上部にかけて出土しており，Ⅴ層下部に集中する。

器種別分布（第236図）の特徴は，出土点数が少ないが，1点の剥片を除いて，他はすべて二次加工のある剥片である。母岩別分布（第236図）の特徴は，黒曜石007・008，嶺岡産珪質頁岩011が複数固体で構成される母岩であり，すべて二次加工のある剥片である。嶺岡産珪質頁岩011の母岩のみが，西側に単独出土しており，そのほかは，東側に列状にまとまって出土している。

出土遺物　総計９点のみの出土である。母岩器種組成は第67表のとおりである。器種組成は，製品がほとんどみられず，二次加工のある剥片が２点出土しているのみである。石材組成は，黒曜石と嶺岡産珪質頁岩の２種類で構成されている。母岩別にみると，黒曜石007・008は，すべて二次加工のある剥片である。製品として，搬入されたものと思われる。

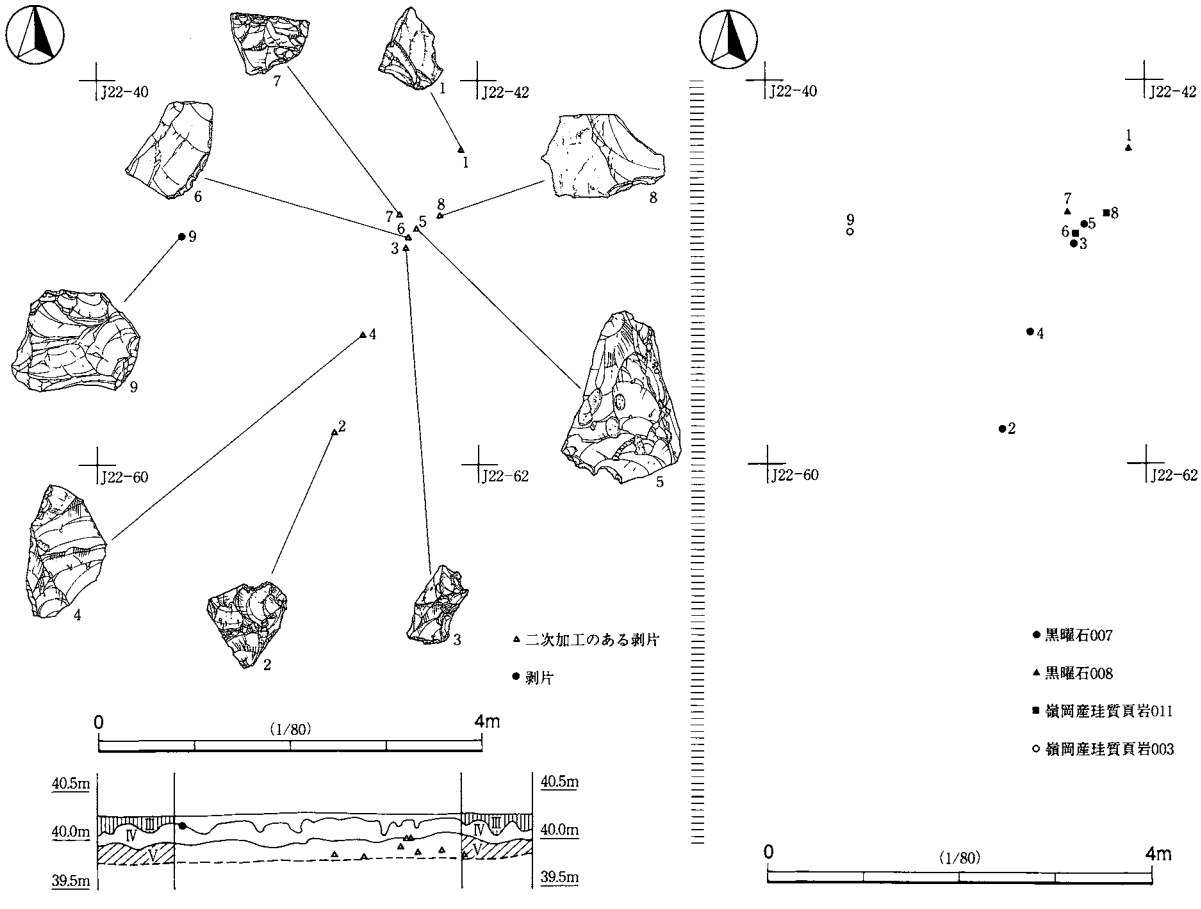
１～８は二次加工のある剥片である。１は幅広剥片を素材として，打面部にあたる左側面を折断し，末端部にあたる右側縁に急角度の細かい調整加工が施されている。これらの調整加工により，三角形状の形態に成形し，先端部が尖るような形状を呈する。２は厚みのある幅広の剥片を素材として，両側縁を折断して，末端部を残している。右側縁は折断後にさらに細かい調整加工が施されている。末端部中央部に細かい調整加工が施されている。３は縦長剥片を素材として，右側縁に急角度で粗い調整加工が施されている。４は幅広の厚みのある剥片を素材として，左側縁を下端部から大きく折断している。折断面を打面として，左側縁上部と中間部に細かい調整加工が施されている。５は厚みのある縦長剥片を素材として，腹面右側縁から，器体の奥まで入る加工が施されている。右側縁は背面から平坦な加工が施されている。下端部は，折断後に調整加工が施されている。６は幅広の剥片を素材として，左側縁と末端部が折断されている。右側縁は背腹両面から細かい調整加工が施されている。７は厚みのある幅広の剥片を素材として，上端部と左側縁を折断後に，右側縁と下端部に細かい調整加工が施されている。８は幅広の剥片を素材として，末端部を折断後に，背腹両面から調整加工が施されている。

９は剥片である。厚みのある横長の剥片である。背面構成から多方向から剥離されたことがうかがえる。

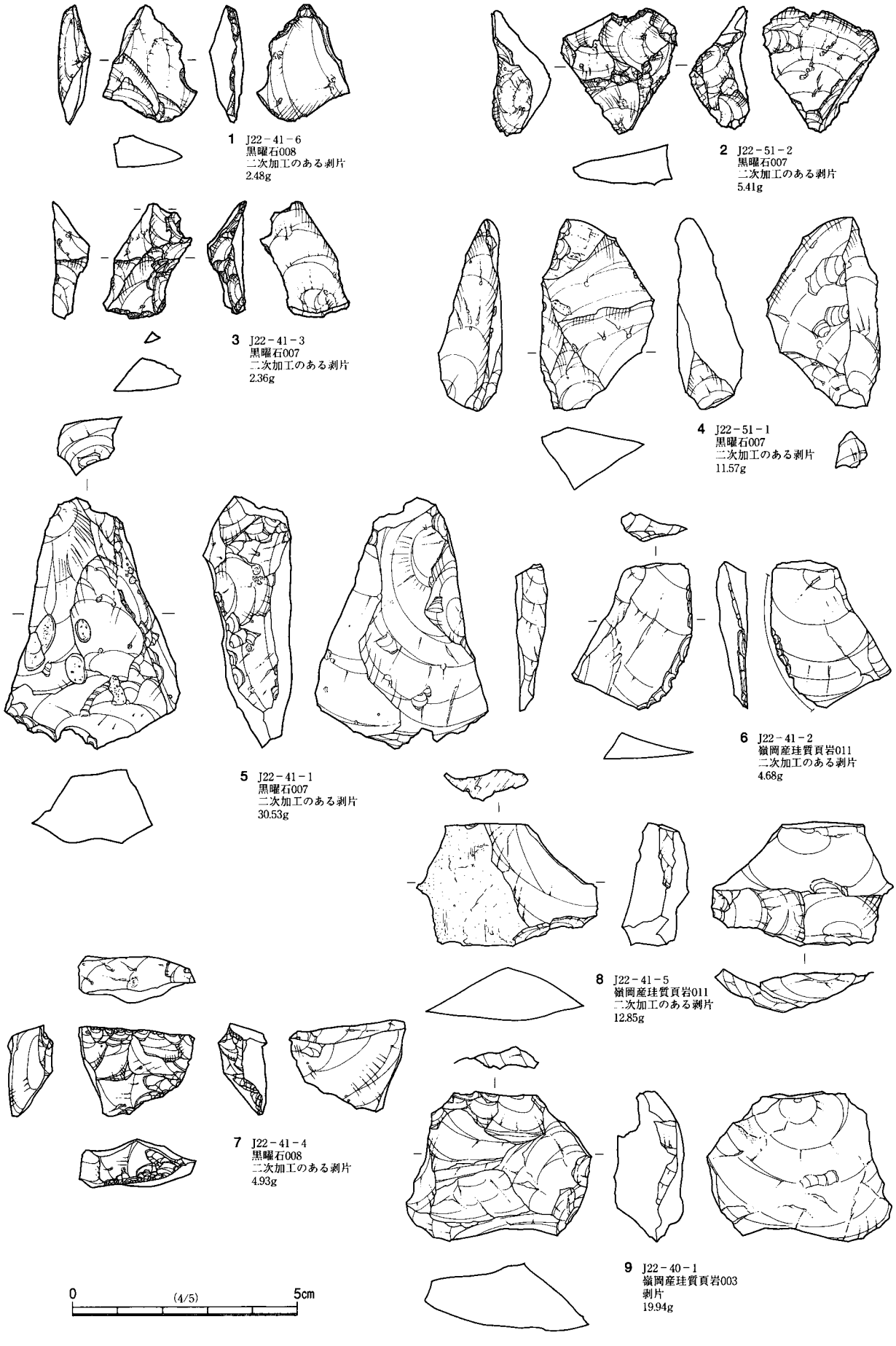
第67表　第Ⅴc文化層 第43ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	二次加工のある剥片	剥片	総計	組成比（%）
黒曜石	007	4 49.87		4 49.87	44.44 52.63
	008	2 7.41		2 7.41	22.22 7.82
黒曜石 点数合計 黒曜石 重量合計		6 57.28		6 57.28	66.67 60.45
嶺岡産珪質頁岩	003		1 19.94	1 19.94	11.11 21.04
	011	2 17.53		2 17.53	22.22 18.50
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計		2 17.53	1 19.94	3 37.47	33.33 39.55
全体の点数合計 全体の重量合計		8 74.81	1 19.94	9 94.75	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		88.89 78.96	11.11 21.04	100.00 100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］



第236図　第Ⅴc文化層 第43ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図



第237図　第Ⅴc文化層 第43ブロック出土石器

（4）**第Ⅴd文化層**（第238図，第68表）

第Ⅴd文化層の概要　第238図のように，第44～46ブロックの3ブロックで構成される。調査区中央の南側の台地平坦部に立地し，第Ⅱb文化層の南東側，第Ⅴc文化層の南側に分布している。ブロック間接合はみられない。出土層位は，Ⅴ層～Ⅳ層にかけて出土しており，Ⅴ層に集中することから，生活面はⅤ層に持つと推定される。

出土点数は，38点（853.27ｇ）である。母岩数は18母岩である。ブロック間で共有する母岩は1母岩である。接合する母岩は2母岩で，接合する点数は3点である。

石材器種組成は第68表のとおりである。主要器種は，ナイフ形石器・二次加工のある剥片である。主要石材は，黒曜石が多用されており，オパール・嶺岡産珪質頁岩が用いられている。第Ⅴ文化層のうち，黒曜石が多用されているのは，本文化層のみである。

第68表　第Ⅴd文化層石材器種組成表

石材＼器種	ナイフ形石器	二次加工のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石		2 7.68	3 32.82	9 13.93				14 54.43	36.84 6.38
流紋岩							1 167.6	1 167.6	2.63 19.64
頁岩						1 5.57		1 5.57	2.63 0.65
嶺岡産珪質頁岩		1 2.62	1 75.02	1 3.4	2 5.99			5 87.03	13.16 10.20
チャート		1 2.26		1 15.33			1 76.68	3 94.27	7.89 11.05
玉髄（メノウ含む）							1 248.01	1 248.01	2.63 29.07
オパール	1 5.02		1 79.31	7 28.58	1 0.33			10 113.24	26.32 13.27
砂岩				2 6.19			1 76.93	3 83.12	7.89 9.74
点数合計 重量合計	1 5.02	4 12.56	5 187.15	20 67.43	3 6.32	1 5.57	4 569.22	38 853.27	100.00 100.00
点数組成比（%） 重量組成比（%）	2.63 0.59	10.53 1.47	13.16 21.93	52.63 7.90	7.89 0.74	2.63 0.65	10.53 66.71	100.00 100.00	

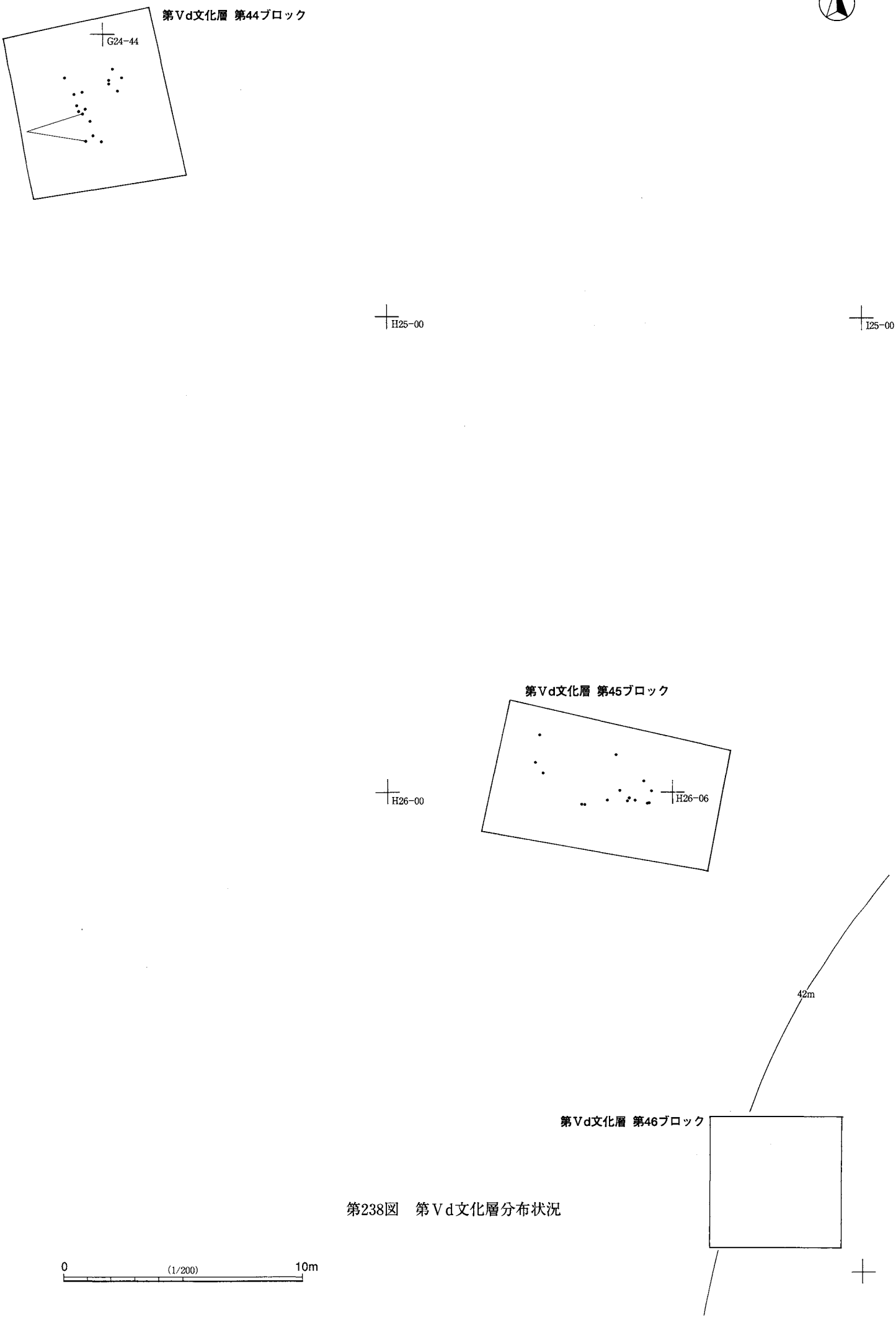
〔上段：点数、下段：重量(g)〕

①**第44ブロック**（第239～241図，第69・117表，図版45）

出土状況　平面分布は，約3ｍ×3ｍの小円形の範囲にやや密集する。分布状況を詳細にみると，北東部と北西部と南西部の3箇所の集中地点がみられる。出土層位は，Ⅴ層上部からⅣ層にかけて出土しており，Ⅴ層上部に集中する。

器種別分布（第239図）の特徴は，北西部から，ナイフ形石器が1点，二次加工のある剥片が1点出土している。南西部からは，石核が2点近接して出土している。北東部は，二次加工のある剥片が1点出土しているものの，剥片・砕片がまとまって出土している。

母岩別分布（第239図）の特徴は，オパール001が10点出土しているが，3箇所の集中地点から出土している。また，オパール001は，ナイフ形石器1点，石核1点，剥片7点，砕片1点で構成されており，原石に近い状況の母岩を持ち込んで，本ブロックにおいて，石器製作を行った可能性が高い。



第238図　第Ⅴd文化層分布状況

出土遺物　総計21点出土した。母岩器種組成は第69表のとおりである。器種組成は，製品ではナイフ形石器１点，二次加工のある剥片２点出土している。母岩（石材）組成は，比較的多様な石材が用いられており，オパールが10点（47.62%，総重量113.24ｇ）出土しており，高い比率を示す。次に，嶺岡産珪質頁岩が用いられている。母岩別にみると，オパール001は，ナイフ形石器１点，石核１点，剥片７点，砕片１点で構成されており，本ブロックで石器製作が行われたことが推定される。また，オパールは，石材的にみても，本遺跡において，第44ブロックのみの出土であり，特殊な石材が用いられている。

１はナイフ形石器である。良質のオパールが用いられている。縦長剥片を素材として，主要剥離面と主軸方向が一致する。末端部を基部として用いている。左側縁中間部から先端部にかけてブランティング加工が施されている。右側縁上部は，微細剥離が連続的にみられる。右側縁下部は，節理面で折れている。

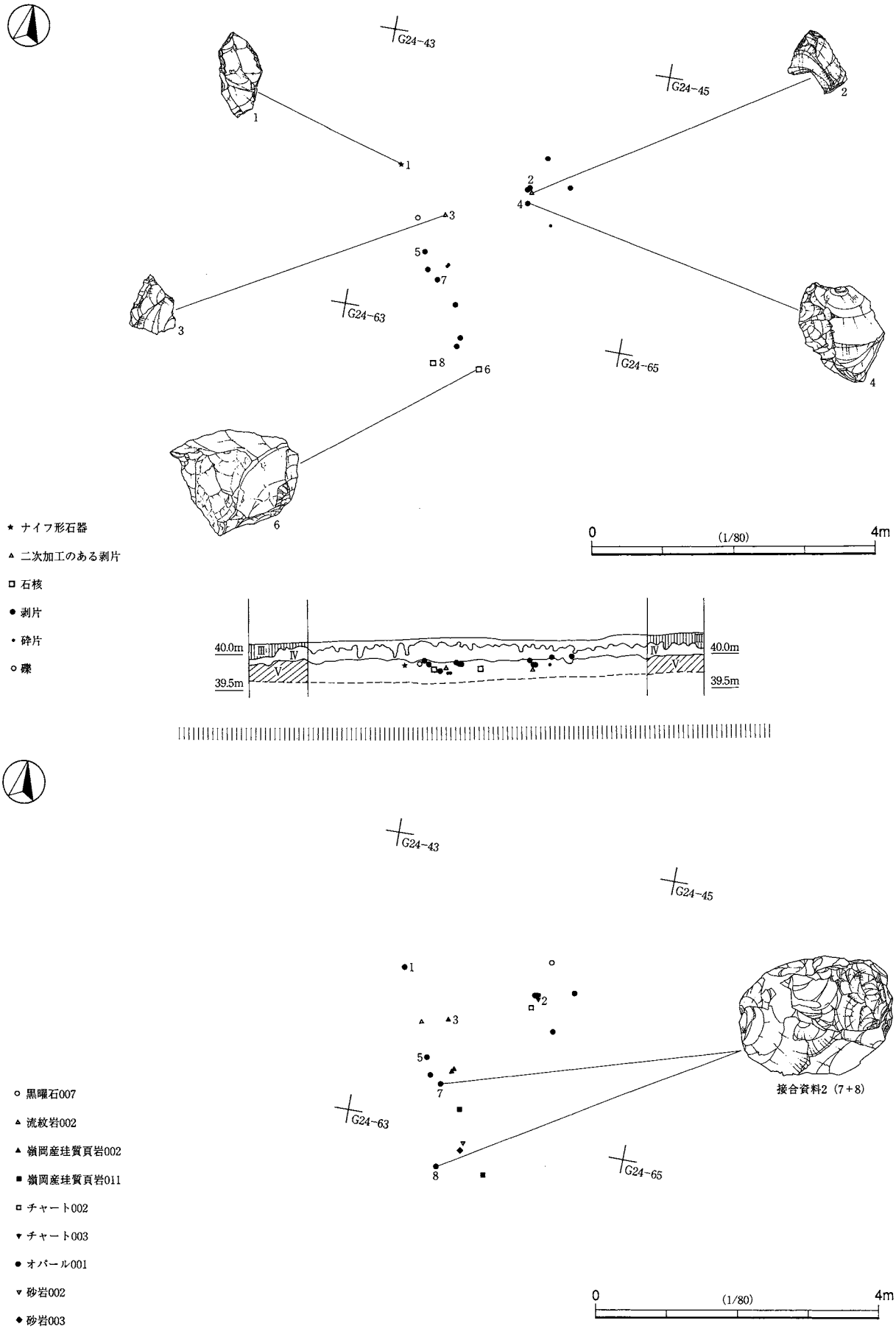
２・３は二次加工のある剥片である。２は幅広の薄い剥片を素材として，末端部を折断し，先端部にあたる素材の基部側に両側縁から細かい調整加工が施されている。３は薄い幅広の剥片を素材として，素材末端部にあたる右側縁上部が折断されている。右側縁下部の調整加工は，急角度で入念な調整加工が施され，左側縁に細かい調整加工が施されている。

４・５は剥片である。４は打面部が折断されている縦長剥片である。５は打面が平坦打面で，細長い形状をした剥片である。末端部は折断されている。

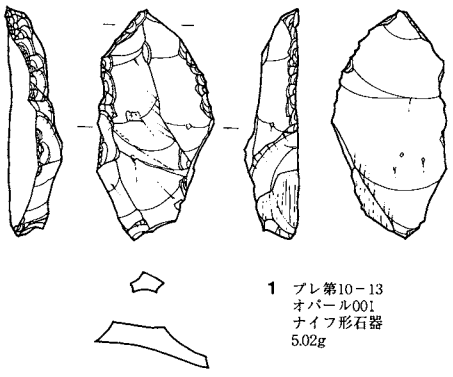
第69表　第Ｖd文化層 第44ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	ナイフ形石器	二次加工のある剥片	石核	剥片	砕片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	007				1			1	4.76
					2.42			2.42	0.61
黒曜石 点数合計					1			1	4.76
黒曜石 重量合計					2.42			2.42	0.61
流紋岩	002						1	1	4.76
							167.6	167.6	42.53
流紋岩 点数合計							1	1	4.76
流紋岩 重量合計							167.6	167.6	42.53
嶺岡産珪質頁岩	002		1			2		3	14.29
			2.62			5.99		8.61	2.18
	011			1	1			2	9.52
				75.02	3.4			78.42	19.90
嶺岡産珪質頁岩 点数合計			1	1	1	2		5	23.81
嶺岡産珪質頁岩 重量合計			2.62	75.02	3.4	5.99		87.03	22.08
チャート	002				1			1	4.76
					15.33			15.33	3.89
	003		1					1	4.76
			2.26					2.26	0.57
チャート 点数合計			1		1			2	9.52
チャート 重量合計			2.26		15.33			17.59	4.46
オパール	001	1		1	7	1		10	47.62
		5.02		79.31	28.58	0.33		113.24	28.74
オパール 点数合計		1		1	7	1		10	47.62
オパール 重量合計		5.02		79.31	28.58	0.33		113.24	28.74
砂岩	002				1			1	4.76
					3.27			3.27	0.83
	003				1			1	4.76
					2.92			2.92	0.74
砂岩 点数合計					2			2	9.52
砂岩 重量合計					6.19			6.19	1.57
全体の点数合計		1	2	2	12	3	1	21	100.00
全体の重量合計		5.02	4.88	154.33	55.92	6.32	167.6	394.07	100.00
点数組成比(%)		4.76	9.52	9.52	57.14	14.29	4.76	100.00	
重量組成比(%)		1.27	1.24	39.16	14.19	1.60	42.53	100.00	

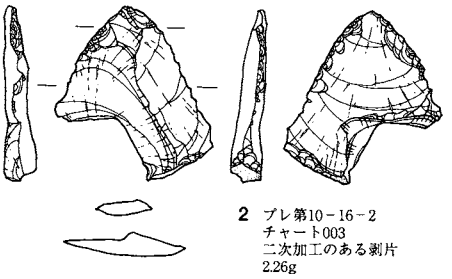
［上段:点数、 下段:重量(g)］



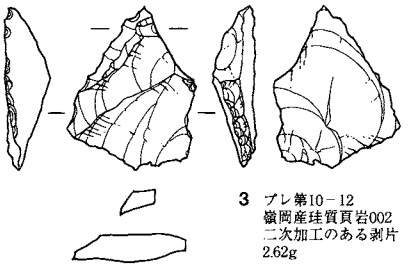
第239図　第Ｖd文化層 第44ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図



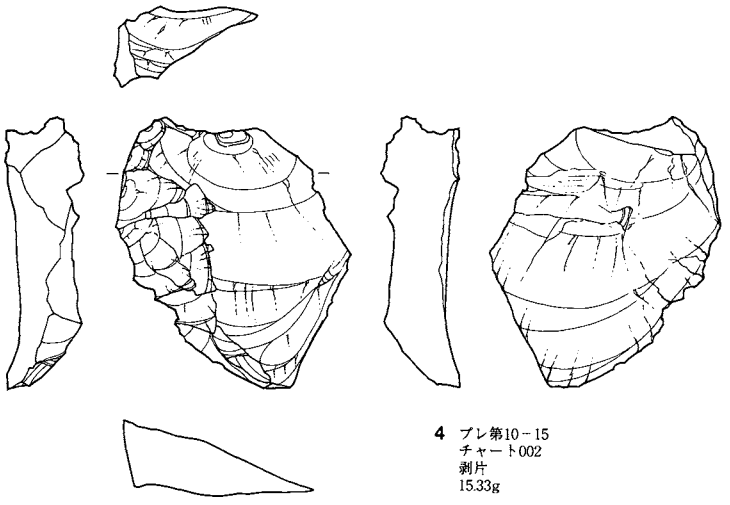
1 ブレ第10－13
オパール001
ナイフ形石器
5.02g



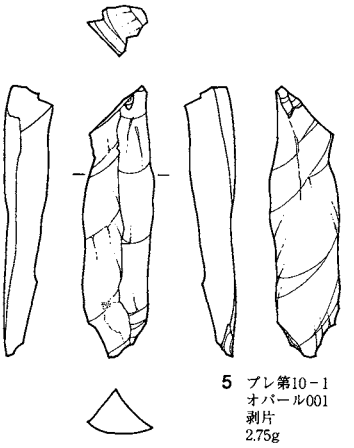
2 ブレ第10－16－2
チャート003
二次加工のある剥片
2.26g



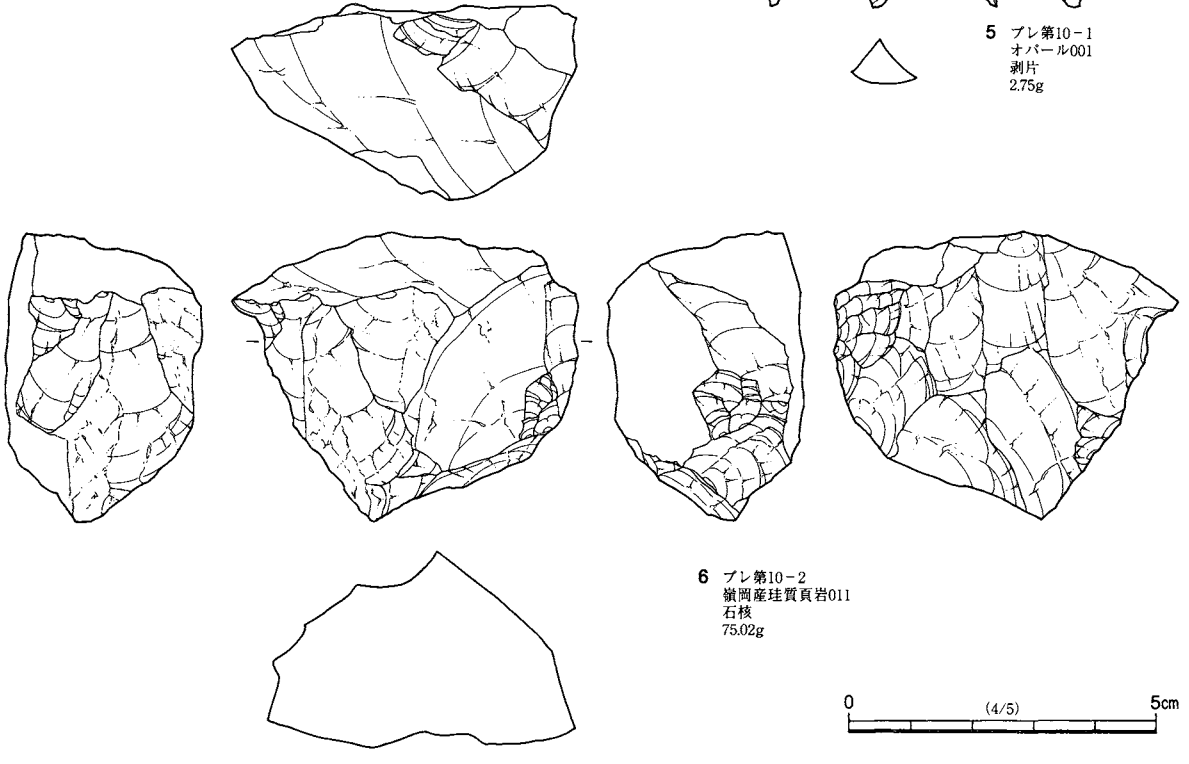
3 ブレ第10－12
嶺岡産珪質頁岩002
二次加工のある剥片
2.62g



4 ブレ第10－15
チャート002
剥片
15.33g



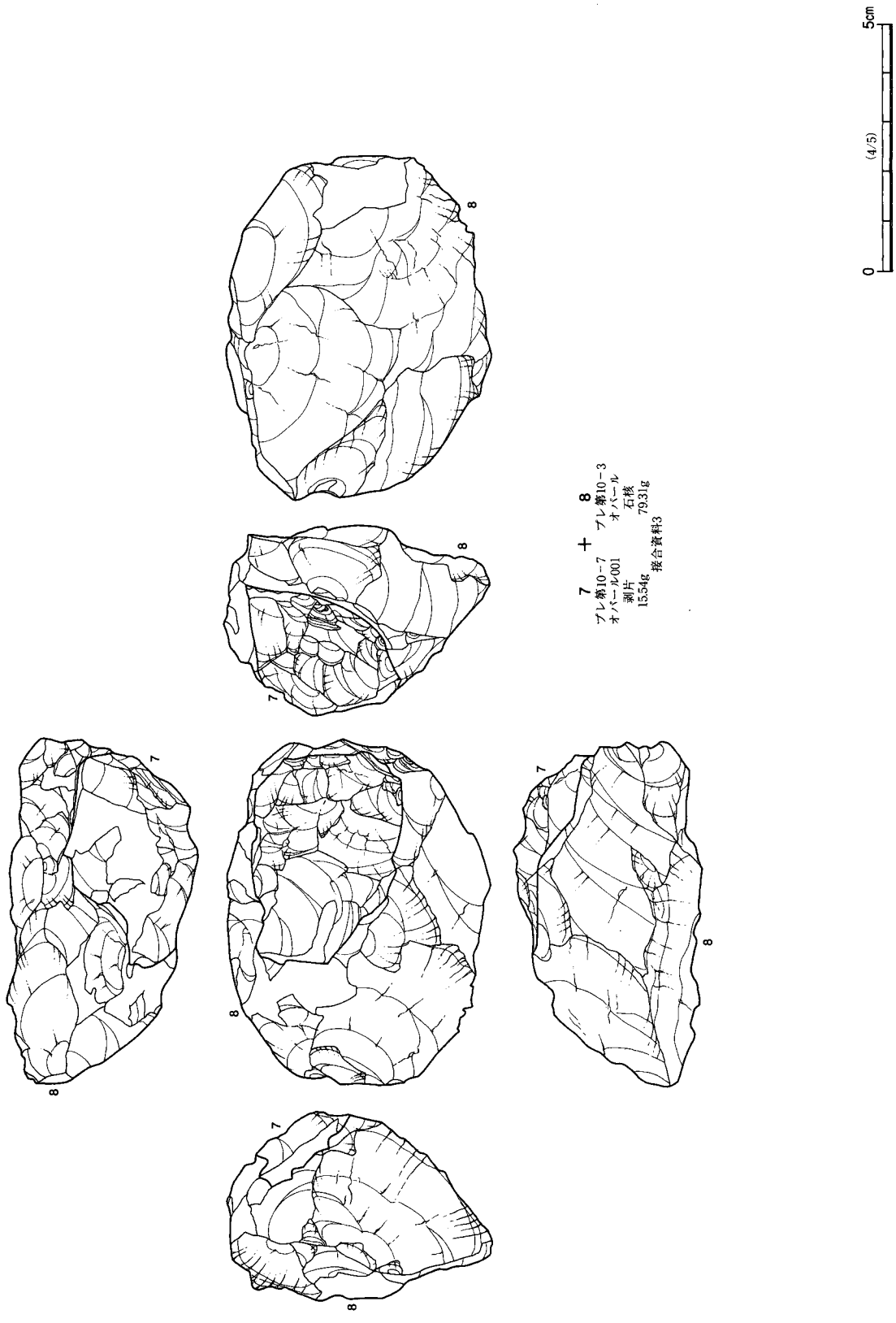
5 ブレ第10－1
オパール001
剥片
2.75g



6 ブレ第10－2
嶺岡産珪質頁岩011
石核
75.02g

0 (4/5) 5cm

第240図　第Ｖd文化層 第44ブロック出土石器（１）



第241図　第Ｖｄ文化層 第44ブロック出土石器（２）

6は石核である。節理面で剥離された厚みのある剥片を素材としている。まず，裏面左下部から幅広の剥片を剥離している。その後，裏面上部から剥離を行っている。次に，表面右側縁下部から幅広の剥片を剥離した後に，腹面左側縁から小型の剥片を剥離している。最後に，表面上端部から幅広の剥片が3枚以上剥離されている。石材が粗悪なために，剥離された剥片の形状はいずれも不定形な幅広の剥片が剥離されている。

7＋8は接合資料3である。オパールの表皮の比較的石質の悪い部位を用いている。風化が著しい。オパール001を用いており，同一母岩と思われる1のナイフ形石器は良質の石質の部位を用いている。打面を頻繁に転移して，横長幅広の剥片を剥離している。まず，裏面上端部から幅広の大きな剥片を剥離後，裏面左側縁から2枚程度の剥片が剥離されている。その後，表面左側縁から3枚程度の幅広の剥片を剥離後，表面右側縁から幅広の剥片を連側的に剥離して，その際に7の剥片が剥離されている。

②第45ブロック（第242・243図，第70・117表，図版45）

出土状況　平面分布は，約6m×3mの楕円形の範囲に散漫に分布する。分布状況を詳細にみると，北西部と南東部の2箇所に集中地点がみられる。出土層位は，Ⅴ層～Ⅳ層にかけて出土しており，Ⅳ層下部に集中する。

器種別分布（第242図）の特徴は，北西部は，礫がまとまって出土しており，南東部は，二次加工のある剥片や石核や剥片がまとまって出土しており，対照的な分布状況を示している。

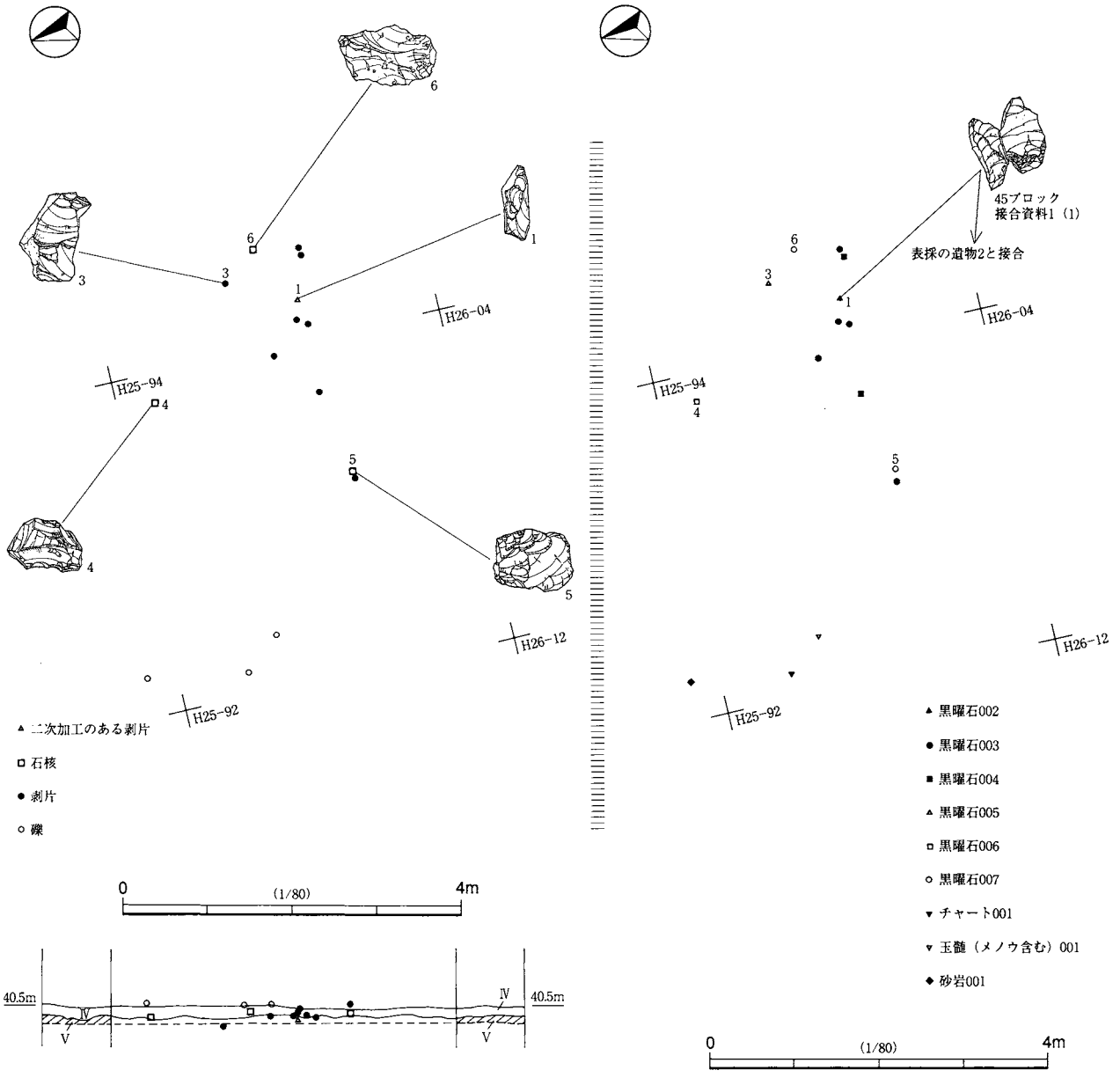
母岩別分布（第242図）の特徴は，黒曜石が複数で構成されている母岩がみられ，黒曜石003・004・005は南西部にまとまって出土している。

第70表　第Ⅴd文化層 第45ブロック母岩器種組成表

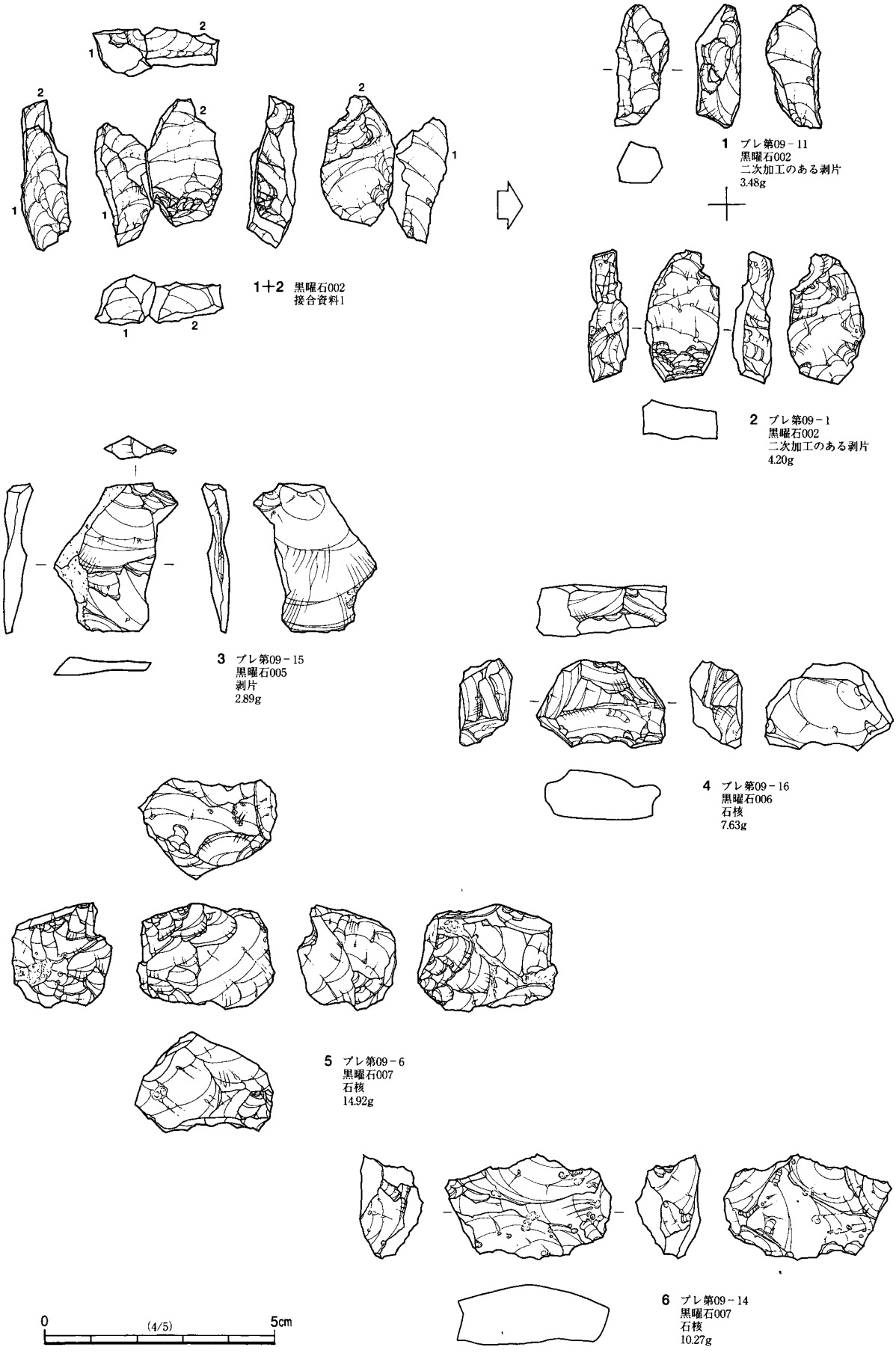
母岩名	母岩番号	二次加工のある剥片	石核	剥片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	002	2 7.68				2 7.68	12.50 1.69
	003			5 4.75		5 4.75	31.25 1.05
	004			2 3.87		2 3.87	12.50 0.85
	005			1 2.89		1 2.89	6.25 0.64
	006		1 7.63			1 7.63	6.25 1.68
	007		2 25.19			2 25.19	12.50 5.55
黒曜石 点数合計 黒曜石 重量合計		2 7.68	3 32.82	8 11.51		13 52.01	81.25 11.47
チャート	001				1 76.68	1 76.68	6.25 16.90
チャート 点数合計 チャート 重量合計					1 76.68	1 76.68	6.25 16.90
玉髄(メノウ含む)	001				1 248.01	1 248.01	6.25 54.67
玉髄(メノウ含む) 点数合計 玉髄(メノウ含む) 重量合計					1 248.01	1 248.01	6.25 54.67
砂岩	001				1 76.93	1 76.93	6.25 16.96
砂岩 点数合計 砂岩 重量合計					1 76.93	1 76.93	6.25 16.96
全体の点数合計 全体の重量合計		2 7.68	3 32.82	8 11.51	3 401.62	16 453.63	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		12.50 1.69	18.75 7.23	50.00 2.54	18.75 88.53	100.00 100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］

出土遺物　総計16点出土した。母岩器種組成は第70表のとおりである。器種組成は，製品がほとんどみられず，二次加工のある剥片が２点出土しているのみである。母岩（石材）組成は，４種類の石材が用いられている。黒曜石が，13点（81.25%，52.01ｇ）出土しており，非常に高い比率を示す。母岩別にみると，黒曜石以外の母岩は，単品で出土しており，黒曜石の母岩は複数で構成されているものが多い。



第242図　第Ｖd文化層 第45ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図



第243図　第Ⅴd文化層 第45ブロック出土石器

1＋2は接合資料2である。1＋2は幅広の平坦な打面から剥離された幅広の剥片を素材としている。左側縁は折断されている。中間部から分割して1と2が剥離されている。1・2は二次加工のある剥片である。1は両側面を折断して，右側縁上部に粗い調整加工が施されている。2は左側面を折断後に，左側縁下部に急角度の調整加工が施されている。右側縁上部は，背面から階段状の剥離が行われている。基部は背面に細かい調整加工が施されている。

3は剥片である。平坦打面で，わずかに頭部調整が行われた縦長剥片である。右側縁は背面から折断されている。

4～6は石核である。4は分割された厚みのある剥片を素材として，左側縁から3枚程度の横長剥片を剥離している。その後，下端部から幅広の剥片を剥離した後に，上端部から小型の剥片が剥離されている。5は厚みのある剥片を素材として，打面転移を頻繁に繰り返し行って，小型の貝殻状の剥片を剥離している。残核の形状は，サイコロ状を呈する。まず，裏面下部から剥離した後に，裏面左側縁から小型の貝殻状の剥片を連続的に剥離している。最後に，表面上端部から6枚以上の小型の剥片を剥離している。6は厚みのある剥片を素材として，表面上部と下部を幅広の剥片を剥離して，これらの剥離面を打面として，裏面下端部から左側面と上端部にかけて順次打面を転移して，小型の剥片を剥離している。

③第46ブロック（第238図，第71・117表）

出土状況　H26－80グリッド付近から単独出土した。本来は，ブロックとして，識別しないほうがよいかもしれないが，第Vd文化層の出土層位と同一層準のV層から出土していることと，第Vd文化層のブロック群と隣接して出土していることから，あえて1点のみの出土であるが，ブロックとして識別した。

出土遺物　総計1点のみの出土である。母岩器種組成は第71表のとおりである。頁岩を用いた礫片が1点のみ出土している。ブロックの内容は，明確ではない。

第71表　第Vd文化層 第46ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	礫片	総計	組成比（%）
頁岩	002	1 5.57	1 5.57	100.00 100.00
頁岩 点数合計 頁岩 重量合計		1 5.57	1 5.57	100.00 100.00
全体の点数合計 全体の重量合計		1 5.57	1 5.57	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		100.00 100.00	100.00 100.00	

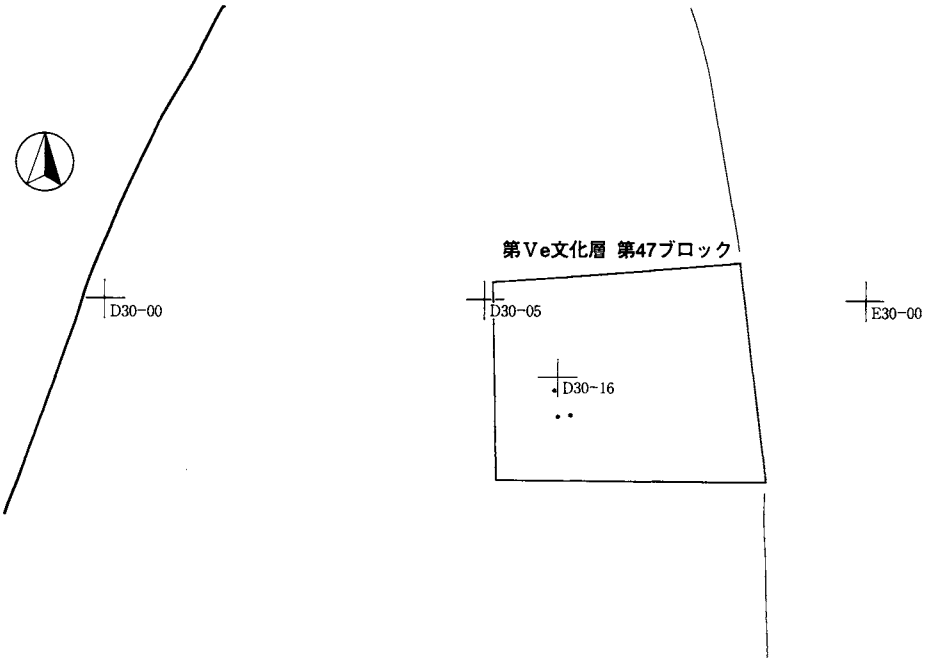
［上段:点数、 下段:重量(g)］

（５）第Ｖe文化層（第244図，第72表）

第Ｖe文化層の概要　第47ブロックの１ブロックのみである。調査区南側の南斜面に分布する。出土層位は，Ｖ層～Ⅳ層にかけて出土しており，Ⅳ層下部に集中することから，生活面はⅣ層下部と推定される。

出土点数は，３点（総重量195.85ｇ）である。母岩数は３母岩である。接合資料はみられない。

石材器種組成は第72表のとおりである。特徴的な石器が出土していないので，石器群の内容は，明確でない。



第244図　第Ｖe文化層分布状況

第72表　第Ｖe文化層石材器種組成表

石材＼器種	微細剥離痕のある剥片	石核	礫	総計	組成比（％）
流紋岩			1 171.91	1 171.91	33.33 87.78
頁岩	1 9.12			1 9.12	33.33 4.66
珪質頁岩		1 14.82		1 14.82	33.33 7.57
点数合計 重量合計	1 9.12	1 14.82	1 171.91	3 195.85	100.00 100.00
点数組成比（％） 重量組成比（％）	33.33 4.66	33.33 7.57	33.33 87.78	100.00 100.00	

〔上段:点数、下段:重量(g)〕

①**第47ブロック**（第245・246図，第73・117表，図版45）

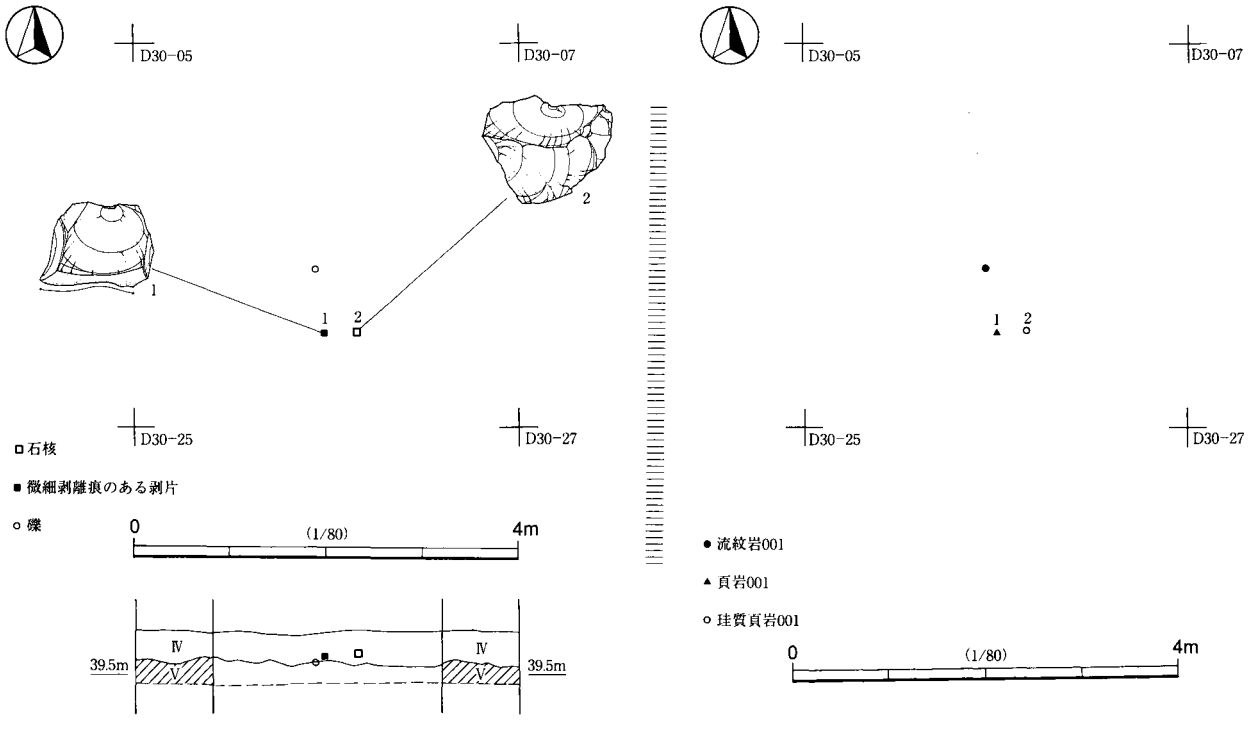
出土状況　平面分布は，約１ｍ×１ｍの小範囲に散漫に分布する。出土層位は，Ⅴ層上部～Ⅳ層下部にかけて出土しており，Ⅳ層下部に集中する。

器種別分布（第245図）の特徴は，石核・微細剥離痕のある剥片・礫がそれぞれ１点ずつ出土している。母岩別分布（第245図）の特徴は，すべての母岩が単独出土している。

出土遺物　総計３点のみの出土である。母岩器種組成は第73表のとおりである。器種組成は，製品がみられず，微細剥離痕のある剥片１点，石核１点，礫１点である。母岩（石材）組成は，流紋岩・頁岩・珪質頁岩が各１点ずつ用いられている。

１は平坦で幅広の打面から剥離された横長剥片を素材として，素材の末端部に微細剥離がみられる。

２は石核である。節理面に沿って剥離された剥片を素材として，裏面下端部左側と上端部と右側縁上部から剥片を剥離している。その後，表面左側縁からやや縦長の剥片を剥離後に，表面上端部から幅広の横長剥片を剥離している。

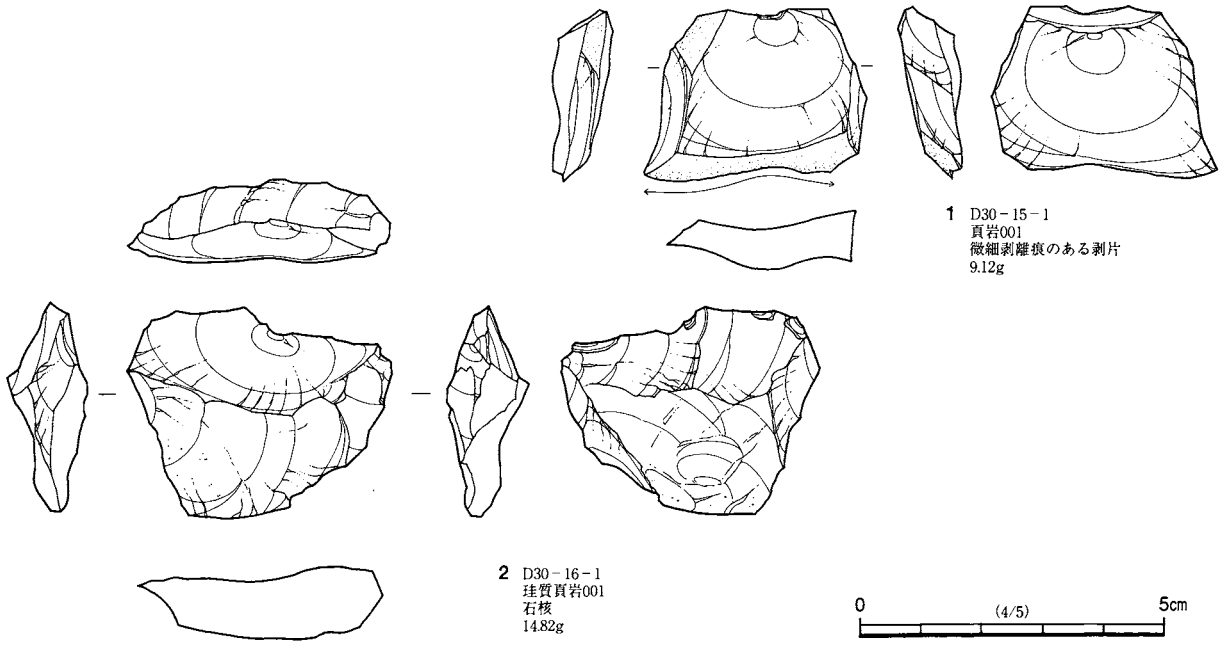


第245図　第Ve文化層 第47ブロック器種別（左）・母岩別（右）分布図

第73表　第Ve文化層 第47ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	微細剥離痕のある剥片	石核	礫	総計	組成比（%）
流紋岩	001			1 171.91	1 171.91	33.33 87.78
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計				1 171.91	1 171.91	33.33 87.78
頁岩	001	1 9.12			1 9.12	33.33 4.66
頁岩 点数合計 頁岩 重量合計		1 9.12			1 9.12	33.33 4.66
珪質頁岩	001		1 14.82		1 14.82	33.33 7.57
珪質頁岩 点数合計 珪質頁岩 重量合計			1 14.82		1 14.82	33.33 7.57
全体の点数合計 全体の重量合計		1 9.12	1 14.82	1 171.91	3 195.85	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		33.33 4.66	33.33 7.57	33.33 87.78	100.00 100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］



第246図　第Ve文化層 第47ブロック出土石器

8　第Ⅵ文化層（第247図，第74表）

第Ⅵ文化層の概要　調査区南西部の南斜面に立地している。第247図のように，調査区の南西部の南斜面に，第48～50ブロックの3ブロックがまとまって分布している。出土層位は，Ⅳ層～Ⅲ層下部にかけて出土しており，Ⅳ層上部に集中することから，Ⅳ層上部に生活面を持つと思われる。分布域が，調査区南西分に集中し，出土層位も同一層準から出土していることから，文化層の細分は行っていない。ブロック間の接合はみられない。

出土点数は，13点である。母岩数は6母岩である。ブロック間で共有する母岩は1母岩である。接合する母岩は2母岩で，接合する点数は6点である。出土点数の割には，接合する点数の割合が高い文化層であるといえる。

石材器種組成は第74表のとおりである。3ブロックで構成されている文化層ではあるが，出土点数は，それぞれのブロックにおいて少数であることが特徴である。主要器種は，槍先形尖頭器・敲石である。主要石材は，嶺岡産珪質頁岩・チャートである。

第74表　第Ⅵ文化層石材器種組成表

石材＼器種	槍先形尖頭器	敲石	微細剥離痕のある剥片	剥片	砕片	礫	総計	組成比（%）
ホルンフェルス		2 131.25					2 131.25	15.38 47.68
頁岩	1 2.73						1 2.73	7.69 0.99
嶺岡産珪質頁岩			1 36.61	5 63.65			6 100.26	46.15 36.42
チャート				1 1.05	1 0.22	1 39.43	3 40.7	23.08 14.79
砂岩					1 0.32		1 0.32	7.69 0.12
点数合計 重量合計	1 2.73	2 131.25	1 36.61	6 64.7	2 0.54	1 39.43	13 275.26	100.00 100.00
点数組成比（%） 重量組成比（%）	7.69 0.99	15.38 47.68	7.69 13.30	46.15 23.51	15.38 0.20	7.69 14.32	100.00 100.00	

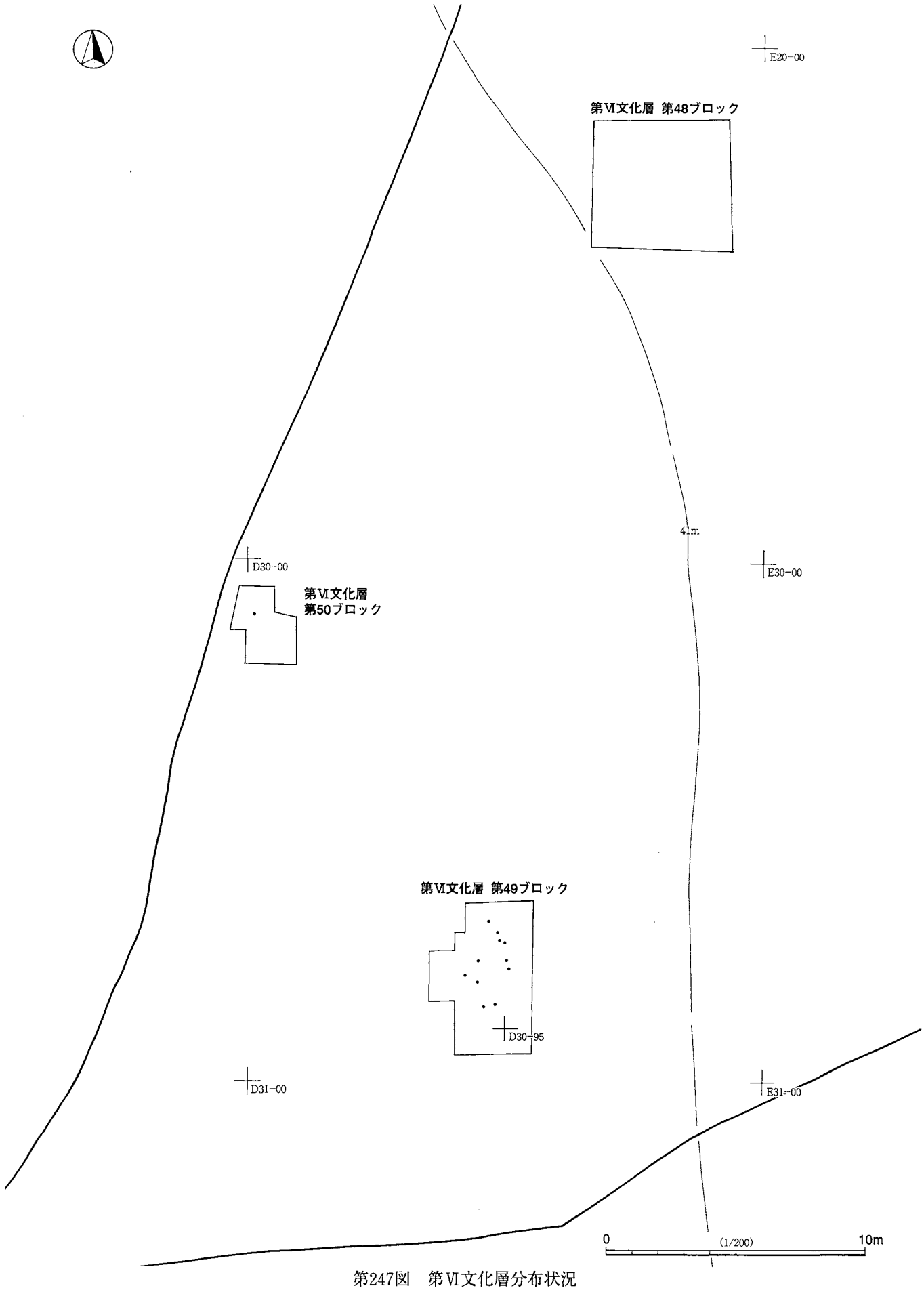
［上段：点数、下段：重量(g)］

①第48ブロック（第247・248図，第75・118表，図版45）

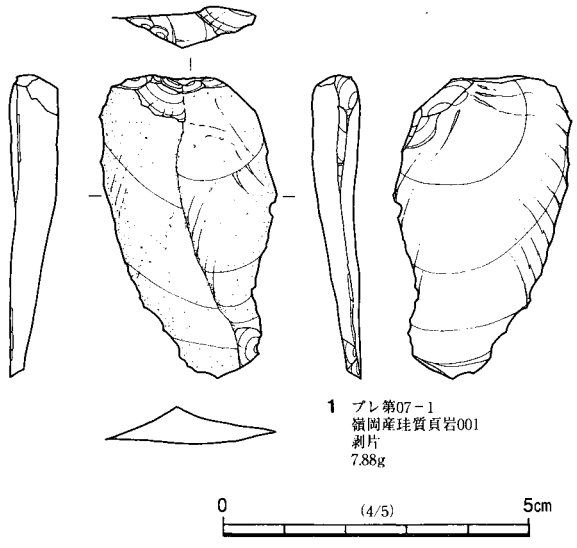
出土状況　D20－18グリッド付近で単独出土した。本来は，ブロックとして，識別しないほうがよいかもしれないが，第Ⅵ文化層の出土層位と同一層準から出土していることと，第Ⅵ文化層のブロック群と隣接して出土していることから，あえて1点のみの出土であるが，ブロックとして識別した。

出土遺物　総計1点のみの出土である。母岩器種組成は第75表のとおりである。嶺岡産珪質頁岩を用いた剥片が1点のみ出土している。

1は剥片である。頭部調整が行われた縦長剥片である。背面に大きく自然面を残している。



第247図　第Ⅵ文化層分布状況



第248図　第Ⅵ文化層 第48ブロック出土石器

第75表　第Ⅵ文化層 第48ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	剥片	総計	組成比（%）
嶺岡産珪質頁岩	001	1 7.88	1 7.88	100.00 100.00
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計		1 7.88	1 7.88	100.00 100.00
全体の点数合計 全体の重量合計		1 7.88	1 7.88	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		100.00 100.00	100.00 100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］

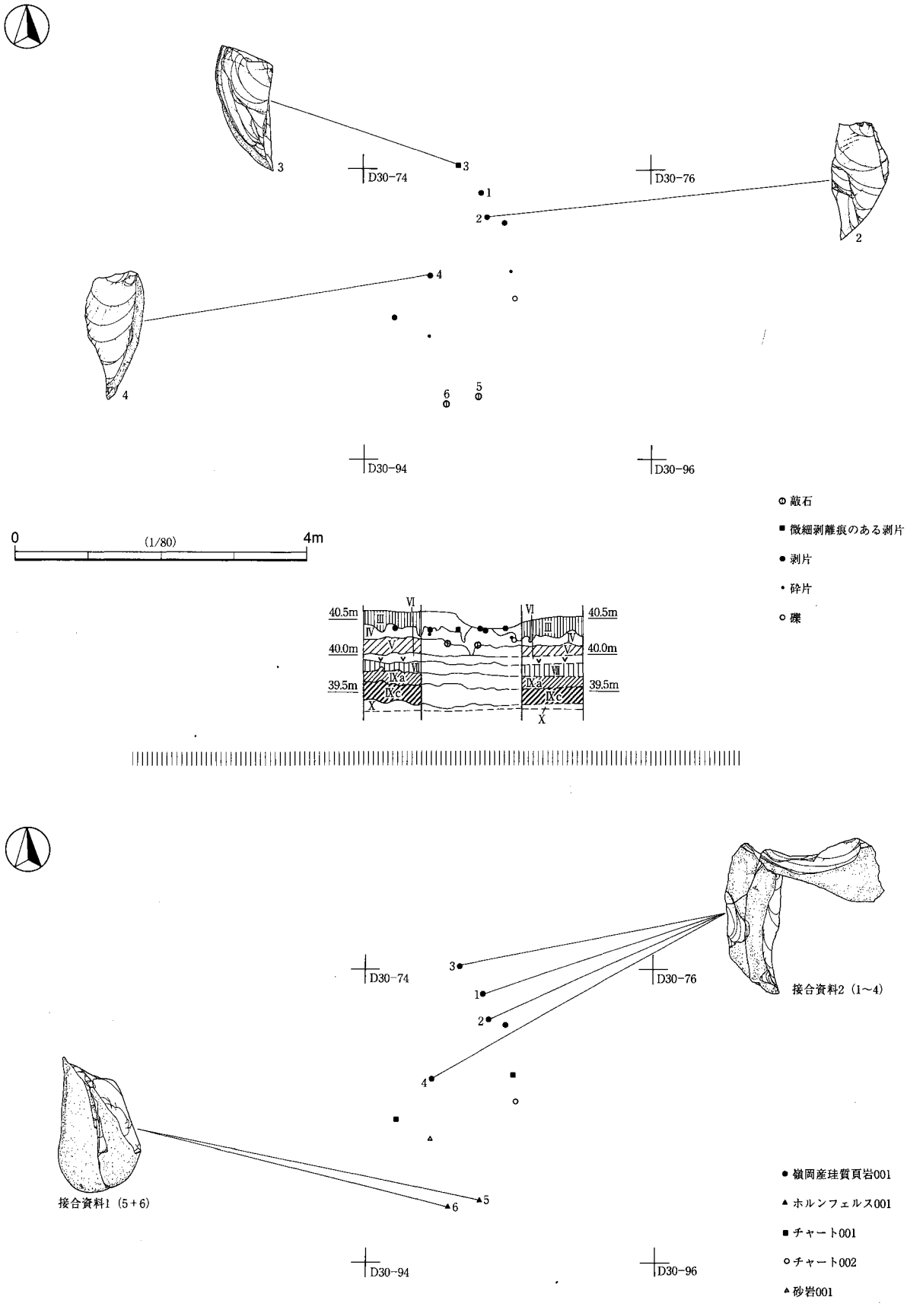
②**第49ブロック**（第249～251図，第76・118表，図版4・45・48）

出土状況　平面分布は，約4m×2mの楕円形の範囲にやや密集する。分布状況を詳細にみると，北部と中央部と南部の3箇所の集中地点がみられる。出土層位は，Ⅴ層上部からⅢ層下部にかけて出土し，Ⅳ層上部に集中する。

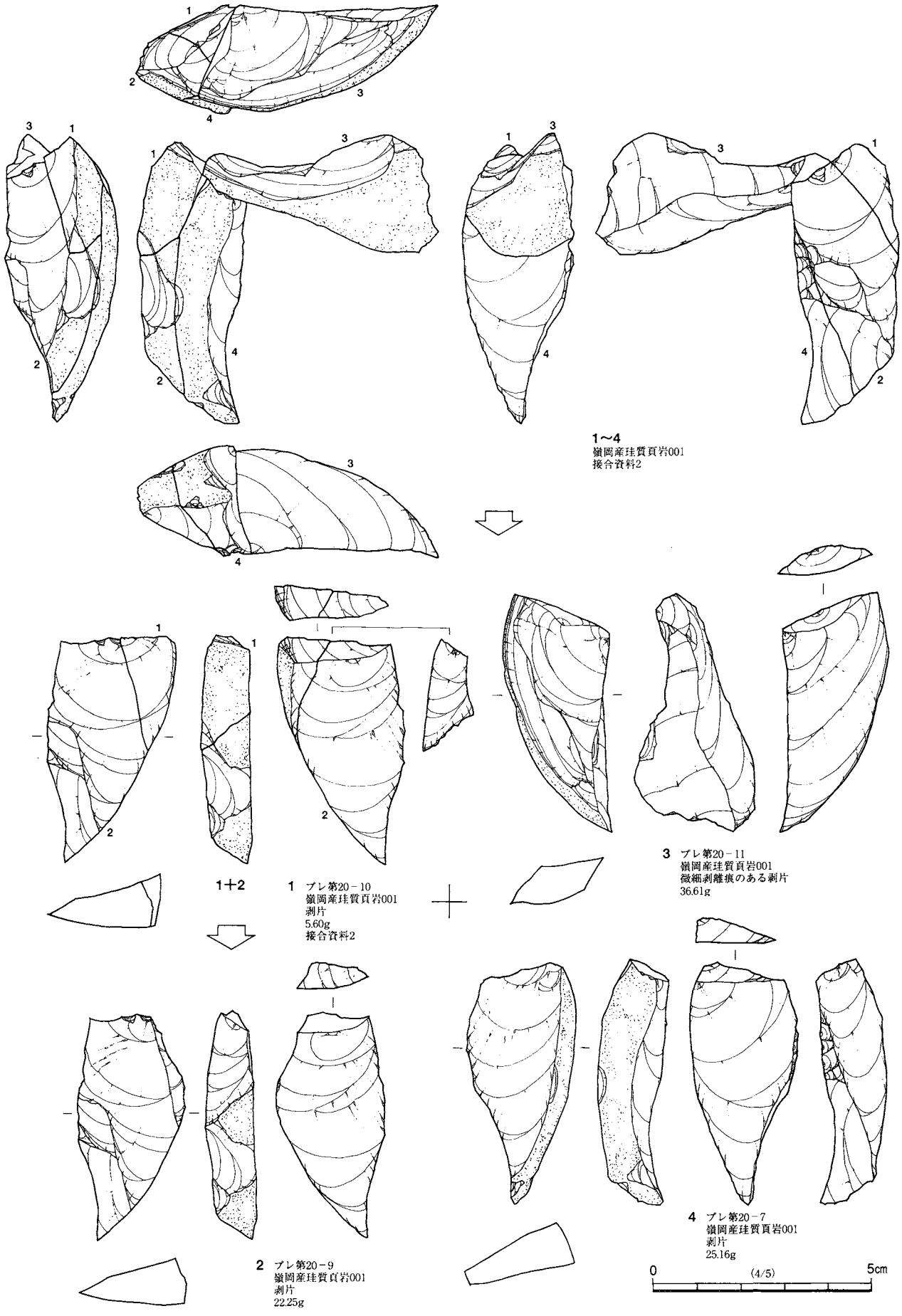
器種別分布（第249図）の特徴は，北部は剥片がまとまって出土し，中央部は剥片・砕片・礫片が出土し，南部は敲石が出土している。敲石の近辺には遺物の空白地点がみられ，少し離れた中央部に剥片・砕片が出土している。

母岩別分布（第249図）の特徴は，北部は嶺岡産珪質頁岩001がまとまって出土し，接合資料2のように，礫面を大きく持つ剥片が4点接合している。南部は，ホルンフェルス001が2点出土しており，接合資料1で敲石が分割された資料である。

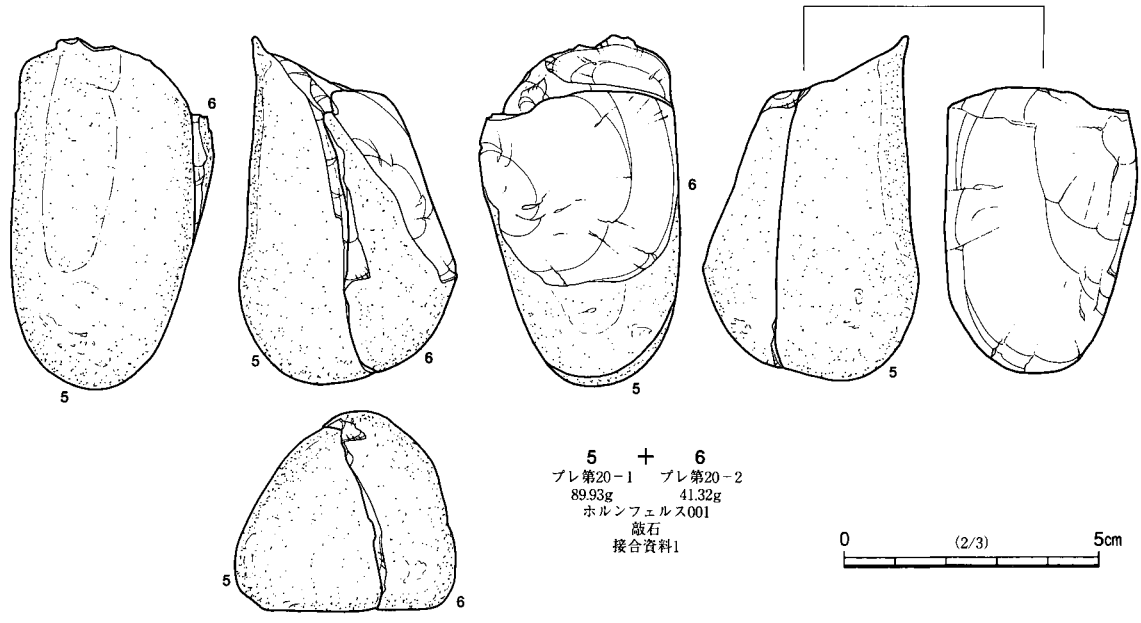
出土遺物　総計11点出土した。母岩器種組成は第76表のとおりである。器種組成は，製品がほとんどみられず，敲石が2点出土しているのみである。母岩（石材）組成は，4種類の石材で構成されており，嶺岡産珪質頁岩が5点出土しており，高い比率（45.45%，総重量92.38g）を示す。



第249図　第Ⅵ文化層 第49ブロック器種別（上）・母岩別（下）分布図



第250図　第Ⅵ文化層 第49ブロック出土石器（1）



第251図　第Ⅵ文化層 第49ブロック出土石器（２）

第76表　第Ⅵ文化層 第49ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	敲石	微細剥離痕のある剥片	剥片	砕片	礫	総計	組成比（%）
ホルンフェルス	001	2 131.25					2 131.25	18.18 49.59
ホルンフェルス 点数合計 ホルンフェルス 重量合計		2 131.25					2 131.25	18.18 49.59
嶺岡産珪質頁岩	001		1 36.61	4 55.77			5 92.38	45.45 34.91
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計			1 36.61	4 55.77			5 92.38	45.45 34.91
チャート	001			1 1.05	1 0.22		2 1.27	18.18 0.48
	002					1 39.43	1 39.43	9.09 14.90
チャート 点数合計 チャート 重量合計				1 1.05	1 0.22	1 39.43	3 40.7	27.27 15.38
砂岩	001				1 0.32		1 0.32	9.09 0.12
砂岩 点数合計 砂岩 重量合計					1 0.32		1 0.32	9.09 0.12
全体の点数合計 全体の重量合計		2 131.25	1 36.61	5 56.82	2 0.54	1 39.43	11 264.65	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		18.18 49.59	9.09 13.83	45.45 21.47	18.18 0.20	9.09 14.90	100.00 100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］

１～４は接合資料２である。１～４の接合図で剥離順序を記載する。まず，表面右側縁から３の剥片を剥離している。その後，３の剥離面を打面として,1＋２と４の剥片を剥離している。１と２は剥離時の同時割れの資料である。３は打面が折断されている。

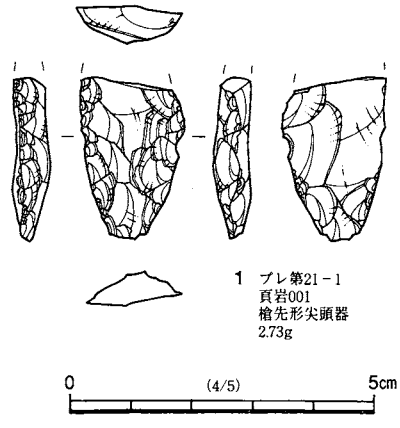
５＋６は接合資料１である。楕円形礫を素材として，下端部に敲打痕がみられる敲石である。右側縁中部から大きく剥離されている。その後，同方向から，剥離を行って，５と６が分割されている。

③第50ブロック（第247・252図，第77・118表，図版45）

出土状況　D30－10グリッド付近で単独出土した。本来は，ブロックとして，識別しないほうがよいかもしれないが，第Ⅵ文化層の出土層位と同一層準から出土していることと，第Ⅵ文化層のブロック群と隣接して出土していることから，あえて１点のみの出土であるが，ブロックとして識別した。

出土遺物　総計１点のみの出土である。母岩器種組成は第77表のとおりである。頁岩製の槍先形尖頭器が単独出土している。

１は槍先形尖頭器である。器体の中央部から大きく破損している。厚みのない剥片を素材として，腹面左側縁と右側縁下部に平坦な調整加工が施された後に，背面の全周に器体の奥にまで入る平坦剥離が入念に施されている。



第252図　第Ⅵ文化層 第50ブロック出土石器

第77表　第Ⅵ文化層 第50ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	槍先形尖頭器	総計	組成比（%）
頁岩	001	1 2.73	1 2.73	100.00 100.00
頁岩 点数合計		1	1	100.00
頁岩 重量合計		2.73	2.73	100.00
全体の点数合計		1	1	100.00
全体の重量合計		2.73	2.73	100.00
点数組成比(%)		100.00	100.00	
重量組成比(%)		100.00	100.00	

［上段:点数、下段:重量(g)］

9　第Ⅶ文化層

第Ⅶ文化層の概要（第253図，第78表）

礫群を伴う文化層である。調査区北側に位置し，密集して出土している。第253図でみられるように，第51～55ブロックの５ブロックで構成され，ブロック間の接合がみられ，ブロック内の接合関係も頻繁にみられる。平面的には，本文化層の下位にⅣa文化層とⅤb文化層が分布するが，明確に出土層位に間層がみられ，平面分布の集中地点も多少異なる。調査区北側以外では，礫群を伴う文化層がみられないことから，本遺跡において，第Ⅶ文化層の石器群は同時期に形成されたものと思われる。出土層位は，Ⅲ層から出土しており，Ⅲ層下部に集中がみられ，Ⅲ層下部に生活面を持つと思われる。

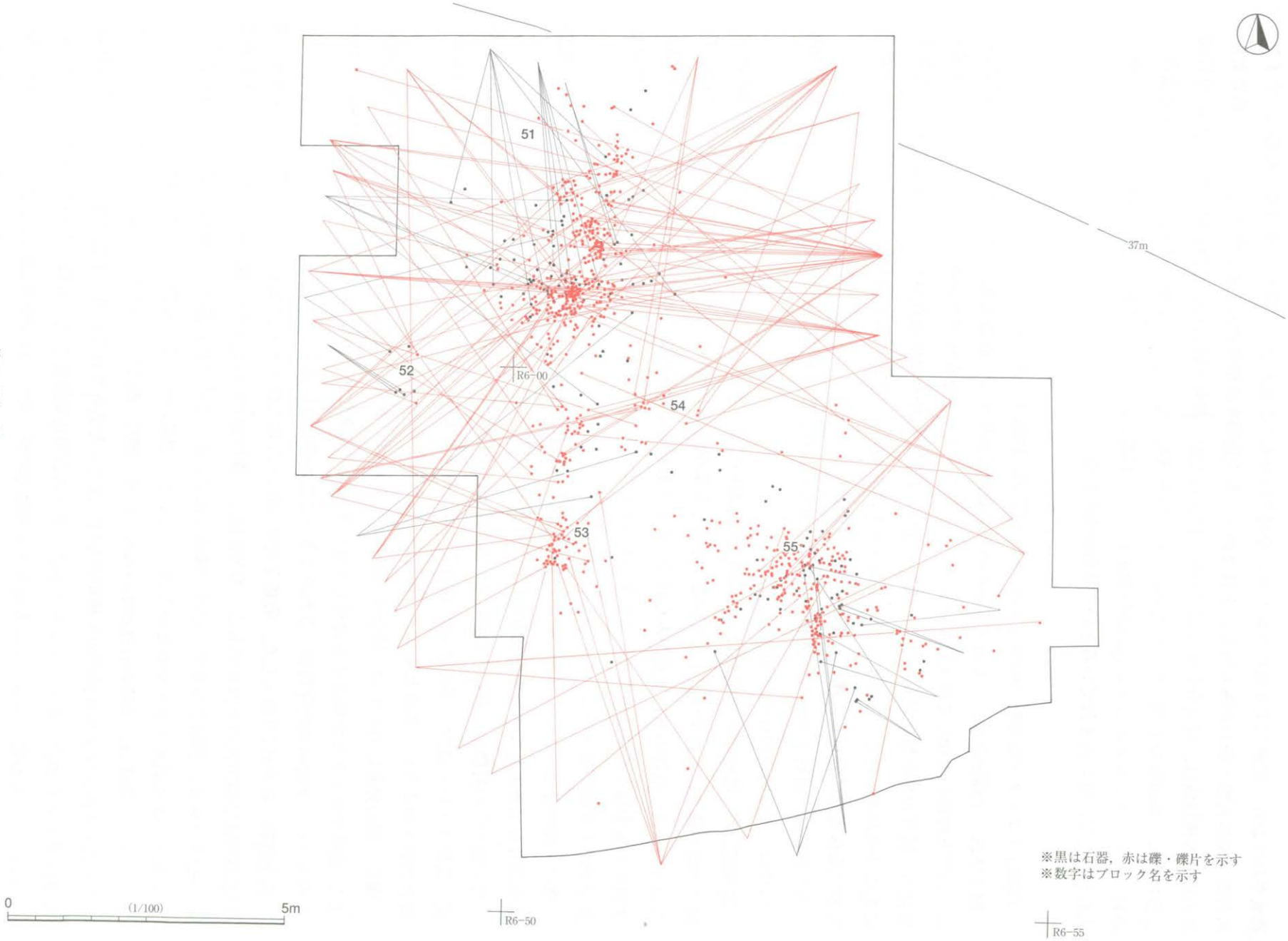
出土点数は，901点（総重量42,851ｇ）で，出土点数の多い文化層といえる。石器は178点で，礫・礫片は723点である。礫が大半を占めるために，母岩分類を行ったのは，石器についてのみ行った。礫については，石材の分類を行ったのみである。石器の母岩は32母岩である。石器において，ブロックの共有がみられる母岩は，２母岩である。礫・礫片の石材数は13石材である。接合資料は，ほとんどが礫片で占められる。接合する個体は113個体で，接合する点数は350点である。接合率は，38.8%もの高い比率を示す。ブロック間接合を示す接合資料は，38個体みられる。

石材器種組成は第78表のとおりである。主要器種は，礫片662点（73.47%，総重量9,590.73ｇ），礫61点（6.77%，総重量7,438.25ｇ）で圧倒的に礫片・礫の占める割合が高い。礫の特徴は，肉眼観察において，火熱を受けた形跡がみられ，赤化している。組成比からみてもわかるように，ほとんどのものは，礫片で

第78表　第Ⅶ文化層石材器種組成表

石材＼器種	ナイフ形石器	楔形石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石		1 5.48									1 5.48	0.11 0.01
安山岩									1 5.8		1 5.8	0.11 0.01
ガラス質黒色安山岩						4 194.68	14 127.71	5 6.04			23 328.43	2.55 0.77
トロトロ石（安山岩）									1 109		1 109	0.11 0.25
ホルンフェルス				3 164.83	1 47.61	3 1647.36	64 1394.53	1 0.99	103 4625.38	3 311.6	178 8192.3	19.76 19.12
流紋岩			1 227				1 2.59		254 11986.61	33 4526.73	289 16742.93	32.08 39.07
頁岩					1 19.29	3 255.35	4 38.77				8 313.41	0.89 0.73
珪質頁岩	1 2.86			1 5.9							2 8.76	0.22 0.02
嶺岡産珪質頁岩				2 9.03		4 194.08	42 575.32	2 1.7			50 780.13	5.55 1.82
チャート		1 5.9					5 69.15	2 0.61	20 844.39	16 1412.2	44 2332.25	4.88 5.44
玉髄（メノウ含む）				1 9.68		2 37.06	2 2.98				5 49.72	0.55 0.12
砂岩			2 773						260 11525.08	7 1002.37	269 13300.45	29.86 31.04
凝灰岩							1 1.29	4 2.04	23 494.47	2 185.35	30 683.15	3.33 1.59
点数合計 重量合計	1 2.86	2 11.38	3 1000	7 189.44	2 66.9	16 2328.53	133 2212.34	14 11.38	662 29590.73	61 7438.25	901 42851.81	100.00 100.00
点数組成比（%） 重量組成比（%）	0.11 0.01	0.22 0.03	0.33 2.33	0.78 0.44	0.22 0.16	1.78 5.43	14.76 5.16	1.55 0.03	73.47 69.05	6.77 17.36	100.00 100.00	

［上段：点数、下段：重量(g)］



第253図　第Ⅶ文化層分布状況

構成されており，比熱により破砕されたか，分割されたものと思われる。礫片・礫以外の石器は，ナイフ形石器・楔形石器・敲石がみられる，少数ながら，本文化層を特徴付ける石器が出土している。第Ⅶ文化層の母岩器種組成は，母岩分類を石器については行ったが，礫片・礫については石材分類を行い，母岩別に分けることが困難な石質であったために，母岩分類は行っていない。主要石材は，礫片・礫は流紋岩・砂岩・ホルンフェルスの占める割合が圧倒的に高い。石器においては，黒曜石・珪質頁岩・チャートが搬入石材として，持ち込まれているという特徴がみられる。

①第51ブロック（第254～263図，第79・119～123表，図版4・46・48）

出土状況　平面分布は，約5m×5mの円形の範囲に密集する。石器と礫片・礫が重複して分布している。石器と礫群が重複して出土しているブロックといえよう。分布状況を詳細にみると，石器は，西部と東部の2箇所の集中地点がみられる。礫片・礫は，石器とはやや集中地点が異なり，南部と北部の2箇所に集中地点がみられる。このように，平面分布上は，本ブロックは円形に分布しているようにみえるが，石器は東西方向に分布し，礫片・礫は南北方向に分布している。

出土層位は，Ⅲ層下部からⅢ層中部にかけて出土しおり，Ⅲ層下部に集中する。石器と礫片・礫との出土層位は，ほぼ同一の層準から出土している。

器種別分布（第254図）の特徴は，石器の分布においては，敲石が2点出土しているが，西部と東部の2箇所の集中地点に1点ずつ出土している。2点とも集中地点より少しはなれた場所から出土しており，敲石の近辺には，遺物の空白地点がみられる。ナイフ形石器は西部の集中地点から出土している。石核は，2箇所の集中地点のほぼ中央部にまとまって出土している。このように，敲石と製品類・石核とは集中地点での出土位置が異なっている。

礫片・礫の分布においては，2箇所の集中地点がみられ，南部がきわめて密集して出土しており，北部は南部ほどは密集しておらず南北方向に細長く分布している。

母岩別分布の特徴は，石器の分布においては，接合関係が頻繁で，第53・54ブロックと接合関係のある接合資料7・10・112の3資料ある。接合資料は，西部と東部の集中地点内で完結するものもみられるが，接合資料8のように，西部と東部との接合がみられる資料もある。

礫片・礫の分布においては，接合する資料が，きわめて多く，北部と南部との接合資料も多くみられる。また，他のブロックとの接合する資料も非常に多い。第Ⅶ文化層の中でも，本ブロックは接合資料がブロック内とブロック間の接合資料が，きわめて多いことが特色といえよう。

出土遺物　総計407点出土した。第Ⅶ文化層において，最も質量ともに充実しているブロックである。母岩器種組成は第79表のとおりである。器種組成は，礫片294点（72.24%），礫30点（7.37%）が，きわめて高い比率を示す。製品では多種の器種で構成されている。ナイフ形石器1点，楔形石器1点，敲石2点，二次加工のある剥片4点で少数ながら出土している。製品以外では，石核8点，剥片61点出土している。母岩（石材）構成は，多種の石材が用いられている。礫片・礫に用いられている石材は，流紋岩127点・砂岩112点・ホルンフェルス58点の3種類の石材でほとんど構成されている。石器に用いられている石材は，嶺岡産珪質頁岩29点・ホルンフェルス28点・ガラス質黒色安山岩7点・頁岩5点が主に用いられている。

1はナイフ形石器である。主軸方向と主要剥離方向が一致し，打面を基部側に設定している。縦長剥片を素材として，右側縁中部に粗い調整加工を施した後に，右側縁上部と下部に細かい調整加工が施されて

★ ナイフ形石器
⊙ 敲石
△ 二次加工のある剥片
■ 微細剥離痕のある剥片
□ 石核
● 剥片
○ 礫
◦ 礫片

0 (1/60) 4m

35.5m
35.0m
Ⅲ
Ⅳ
Ⅴ

第254図　第Ⅶ文化層 第51ブロック器種別分布図

いる。左側縁下部は粗い調整加工が施されている。左側縁上部に素材の縁辺が残っている。

2は二次加工のある剥片である。末端部を折断した後に，右側縁下部と左側縁上部に細かい調整加工が施されている。

3は楔形石器である。小型の円礫を素材にして，両極剥離によって剥離された扁平な剥片を素材として，両下両端からさらに両極剥離が行われている。

4・5は剥片である。4・5とも自然面を打面としている。

6は二次加工のある剥片である。厚みのある剥片を素材として，器体の中央部から折断して，背面上部を背面左側縁に粗い加工が施されている。

7は微細剥離痕のある剥片である。打面調整が顕著に行われ，点状に近い打面から剥離された縦長剥片を素材として，左側縁下半部に連続した微細剥離がみられる。

8～12は石核である。8は大型で扁平な剥片を素材として，腹面右上部から2・3枚の剥片を剥離後，背面左側縁から縦長状の剥片を3枚程度剥離した後に，腹面下部から横長剥片を5枚程度剥離している。9は厚みのある縦長剥片を素材として，主要剥離面を打面として固定して，裏面から表面にかけてほぼ全周に，横長剥片が剥離されている。10は小型の円礫を素材として，打面転移を頻繁に行った石核である。石核の形状は，サイコロ状を呈する。表面両左側縁に2枚程度の横長剥片を剥離し，表面右側縁に1枚の横長剥片を剥離している。その後，裏面に右側縁から剥離した後に，左側縁に打面を転移して剥離し，最後に，上端部から剥離が行われている。裏面から剥離された剥片は，小型の貝殻状の剥片が剥離されている。11はおそらく分割した礫を素材としているものと思われる。表面上部と下部から小型の剥片を剥離後，表面右側縁に貝殻状の剥片が4・5枚程度剥離されている。その後，裏面左側縁から裏面上端部まで順次打点を転移して，ほぼ全周に小型の横長剥片が剥離されている。12は良質な石材である玉髄（メノウを含む）を石材として用いている。厚みのある剥片を素材として，裏面左側縁を右側縁から1・2程度の剥片を剥離した後に，上面に縦長状の剥片を剥離している。最後に，表面上端部から縦長状の剥片が2枚程度剥離されている。

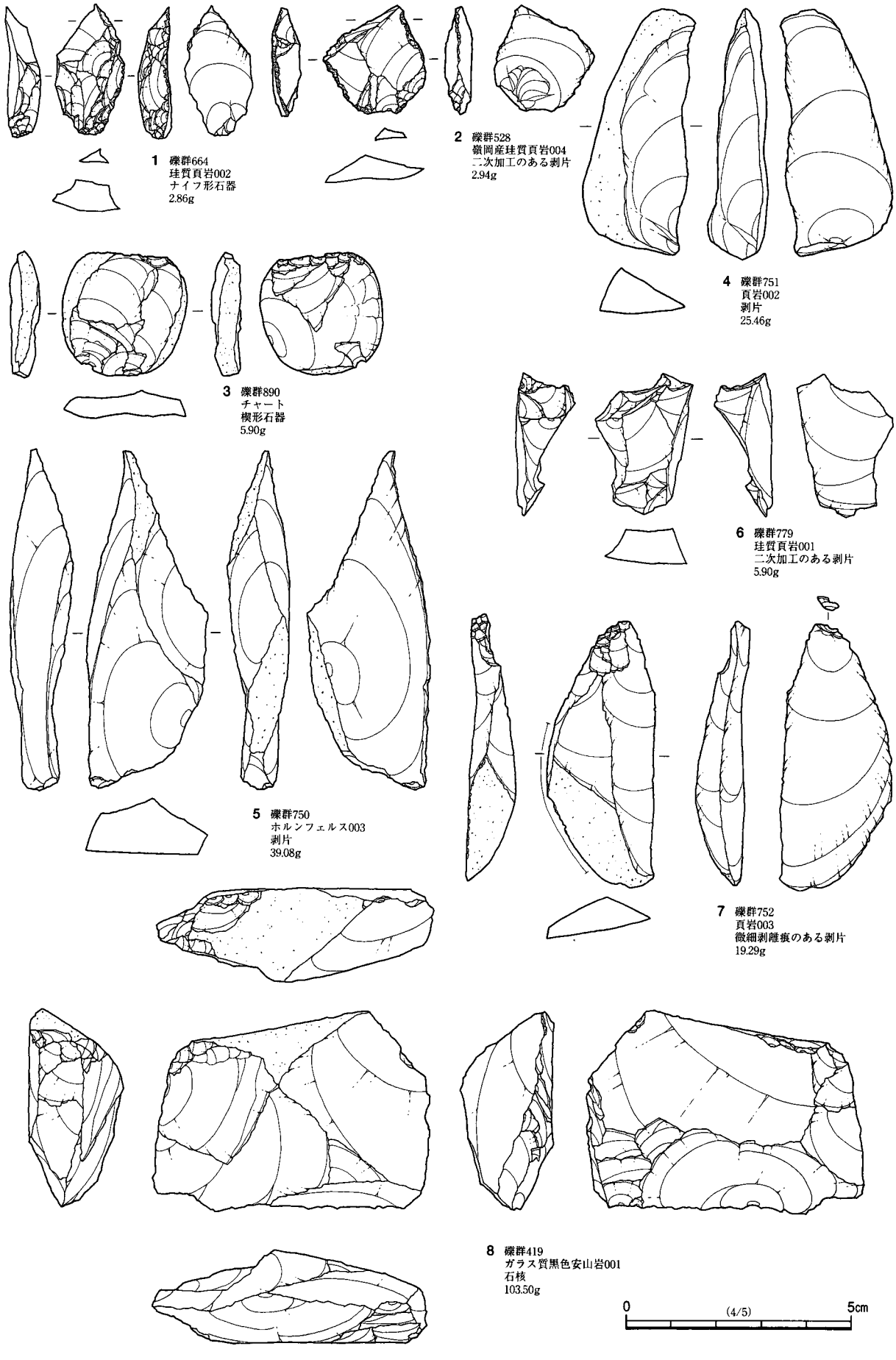
13・14は敲石である。13・14ともに楕円形礫を素材としている。13は上下両端部に敲打痕がみられる。14は下端部に敲打痕がみられる。

15＋16は接合資料113である。大型の分割礫を素材としているものと思われる。15＋16の状態では，右側縁から頭部調整を行いながら，15をはじめとした横長剥片が連続的に剥離されている。その後，裏面上端部を打面として，左側から右側に向かって，順次打点を転移して，幅広の剥片が剥離されている。

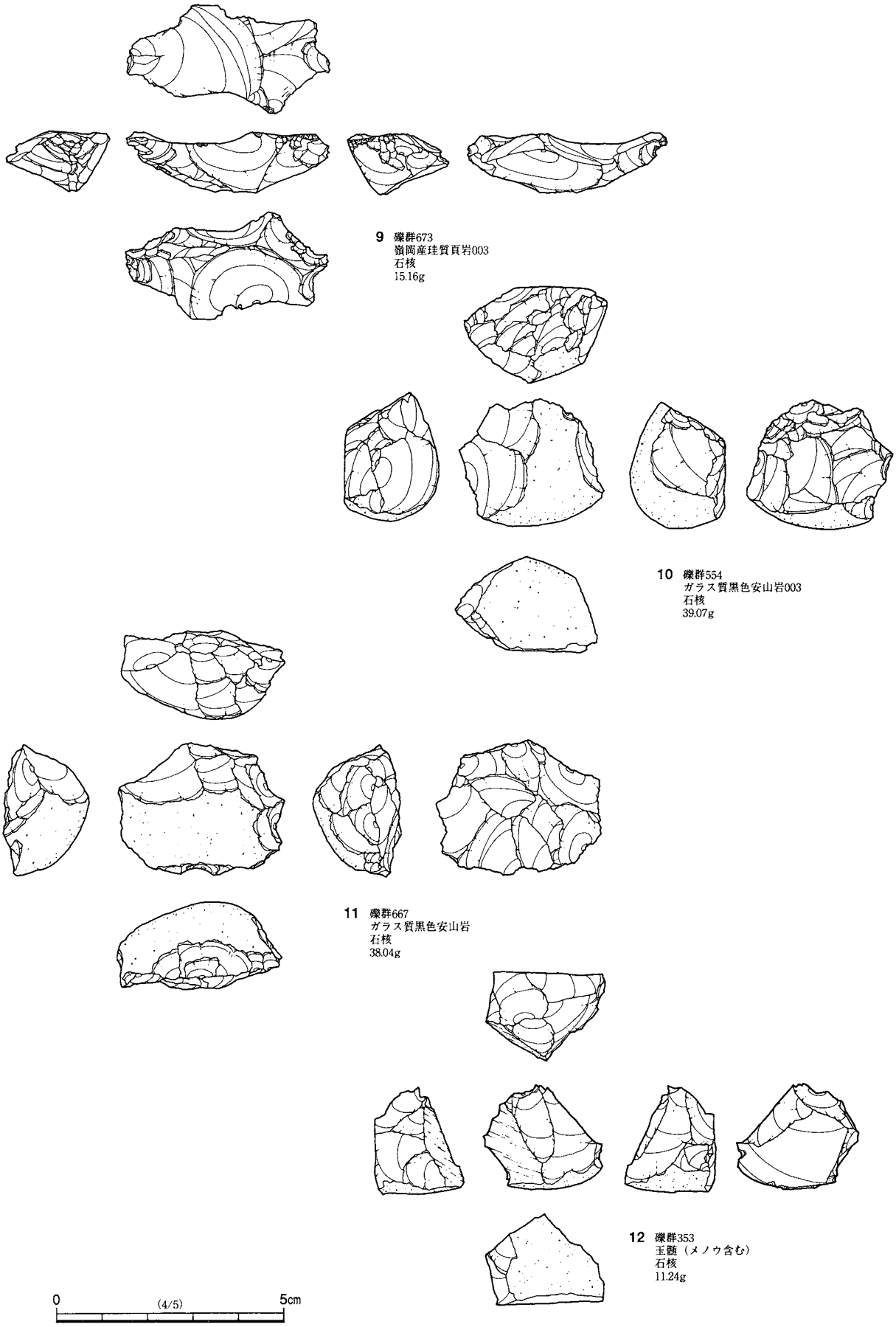
17～20は大型の楕円形礫を素材として，下端部から大きく加撃して，17＋19と18と20の剥片が同時割れした資料である。節理面が多くみられ，節理面に沿って剥離されたことがうかがえる。その後，17＋19は上部に小型の剥片を剥離した後に，17の縦長剥片を剥離している。17・19は第51ブロック出土で，18・20は第54ブロック出土である。

21～26は接合資料112である。おそらく分割礫を素材としているものと思われる。21～26の接合図の状態で，上端部から21～24と25＋26の二つに分割している。分割後に，21・22・23の順番に幅広の剥片が剥離されている。25＋26は分割時の同時割れの資料である。

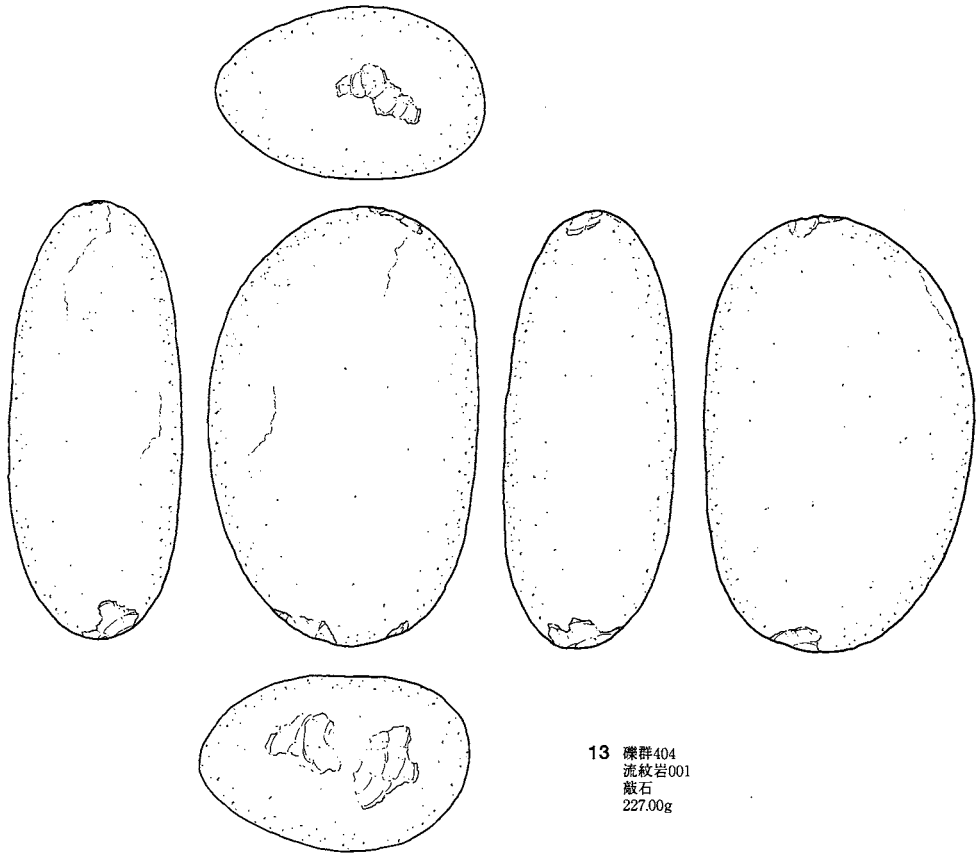
27～36は接合資料8である。節理の非常に多い石材を用いている。おそらく分割礫を素材としているものと思われる。まず，27＋28の縦長剥片が剥離され，27＋28は剥離時に中央部から同時割れしている。次

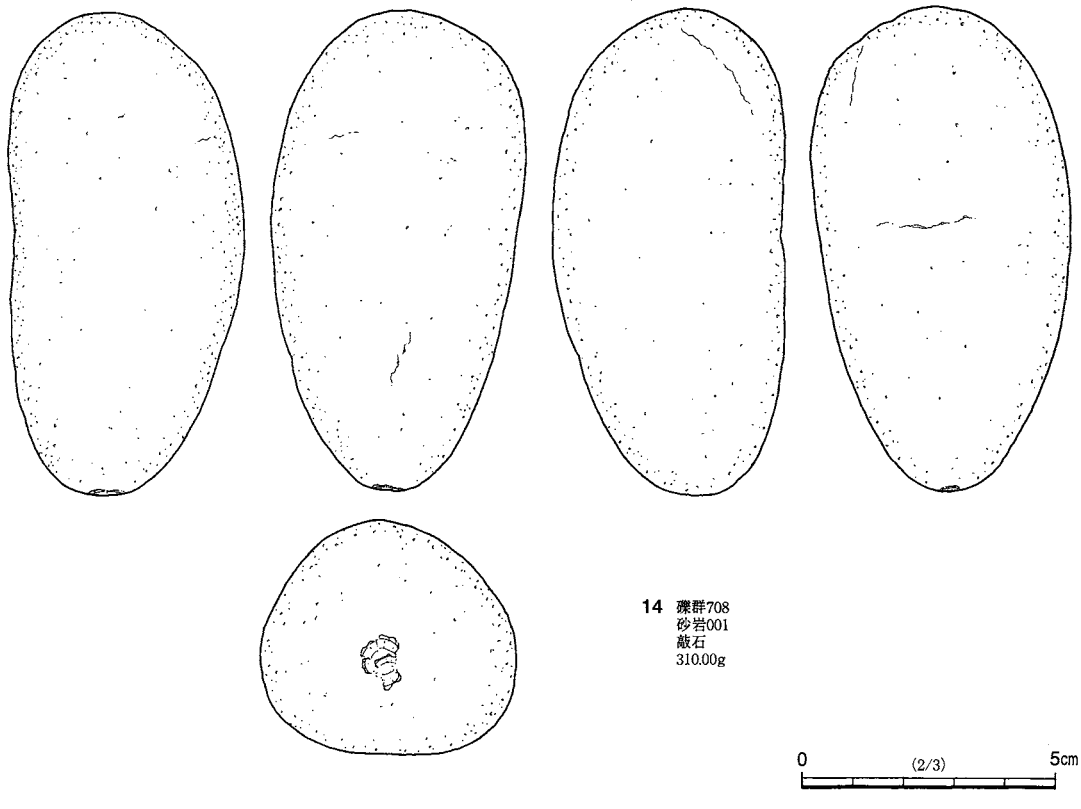


第255図　第Ⅶ文化層 第51ブロック出土石器（1）

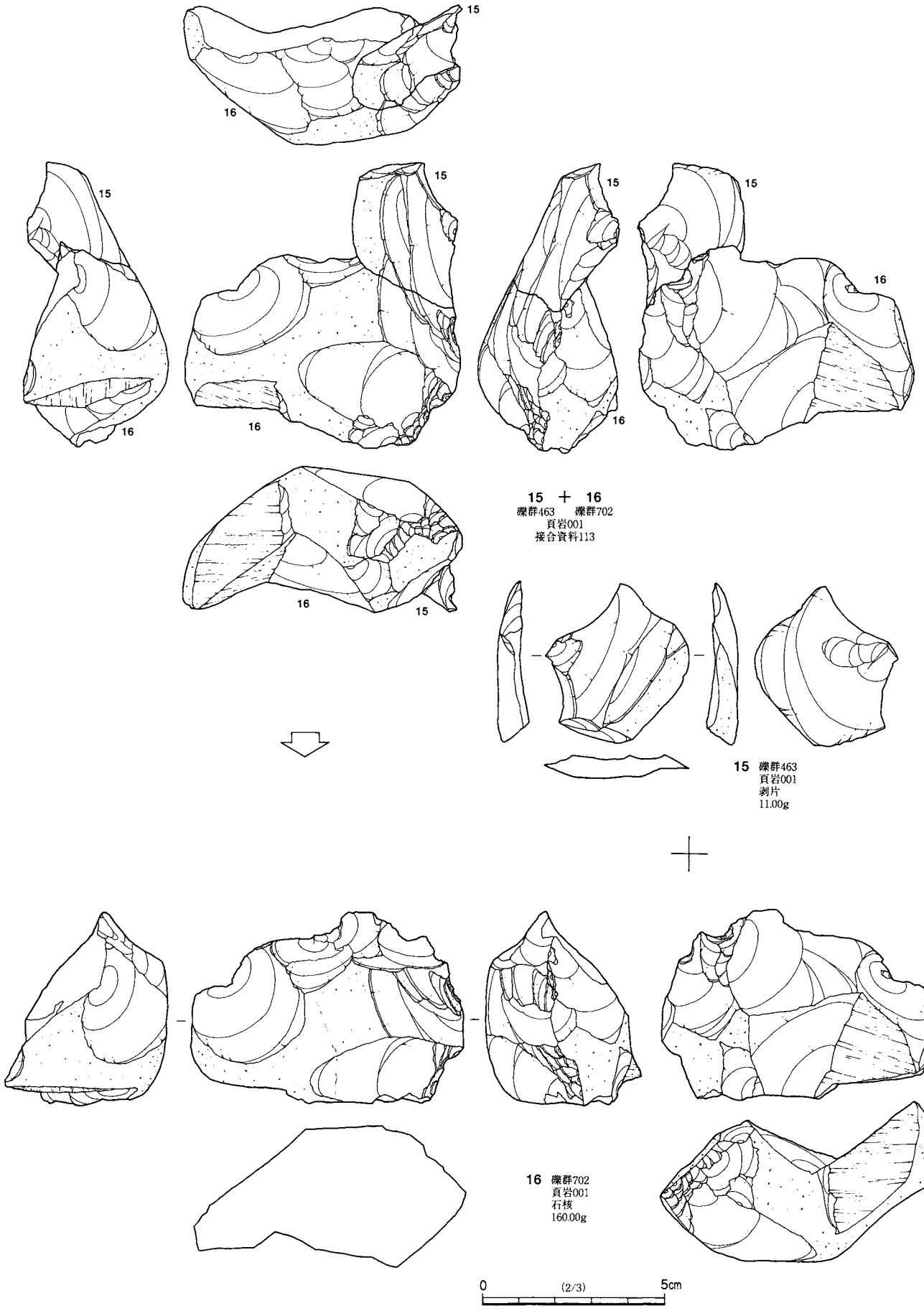


第256図　第Ⅶ文化層 第51ブロック出土石器（2）

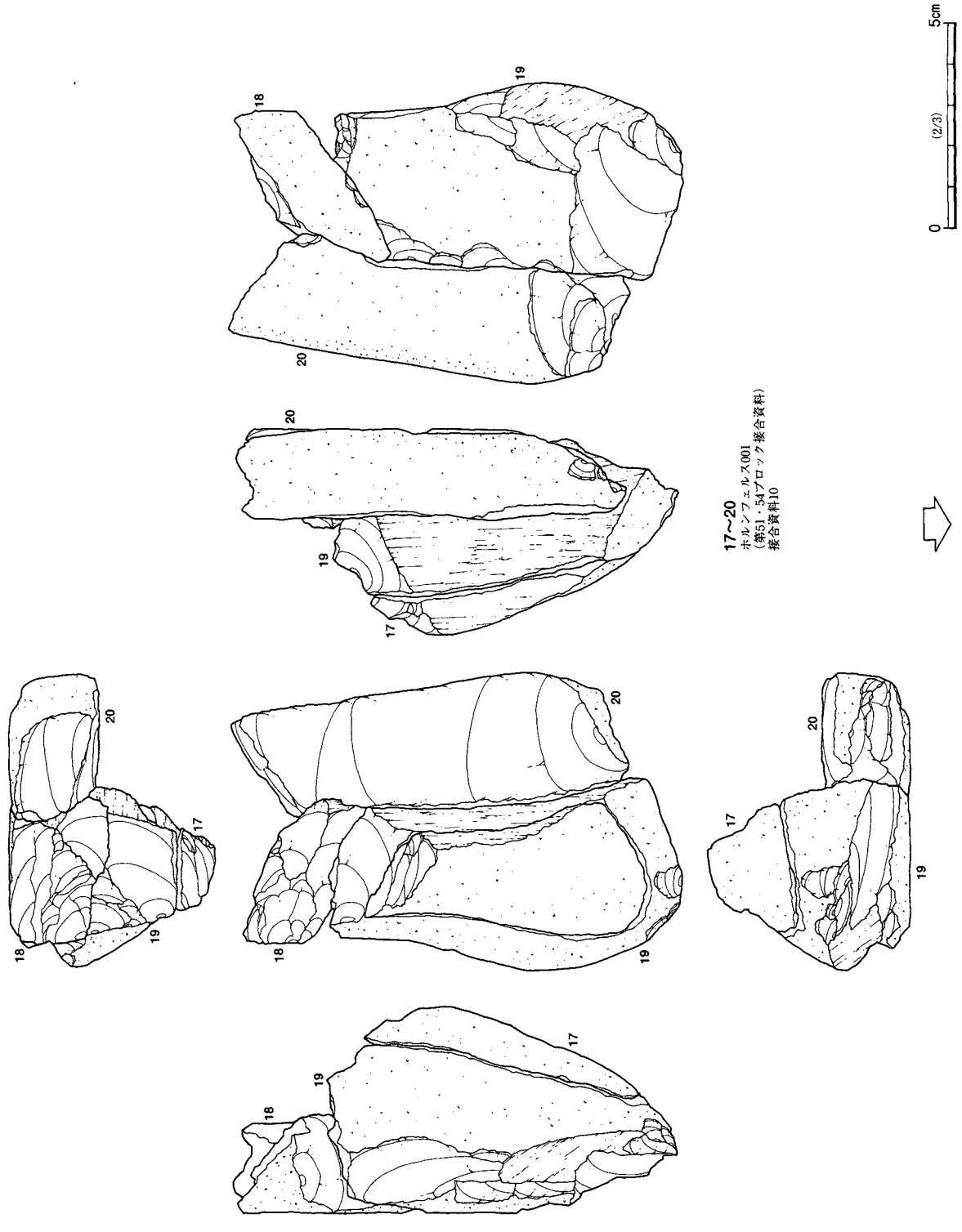




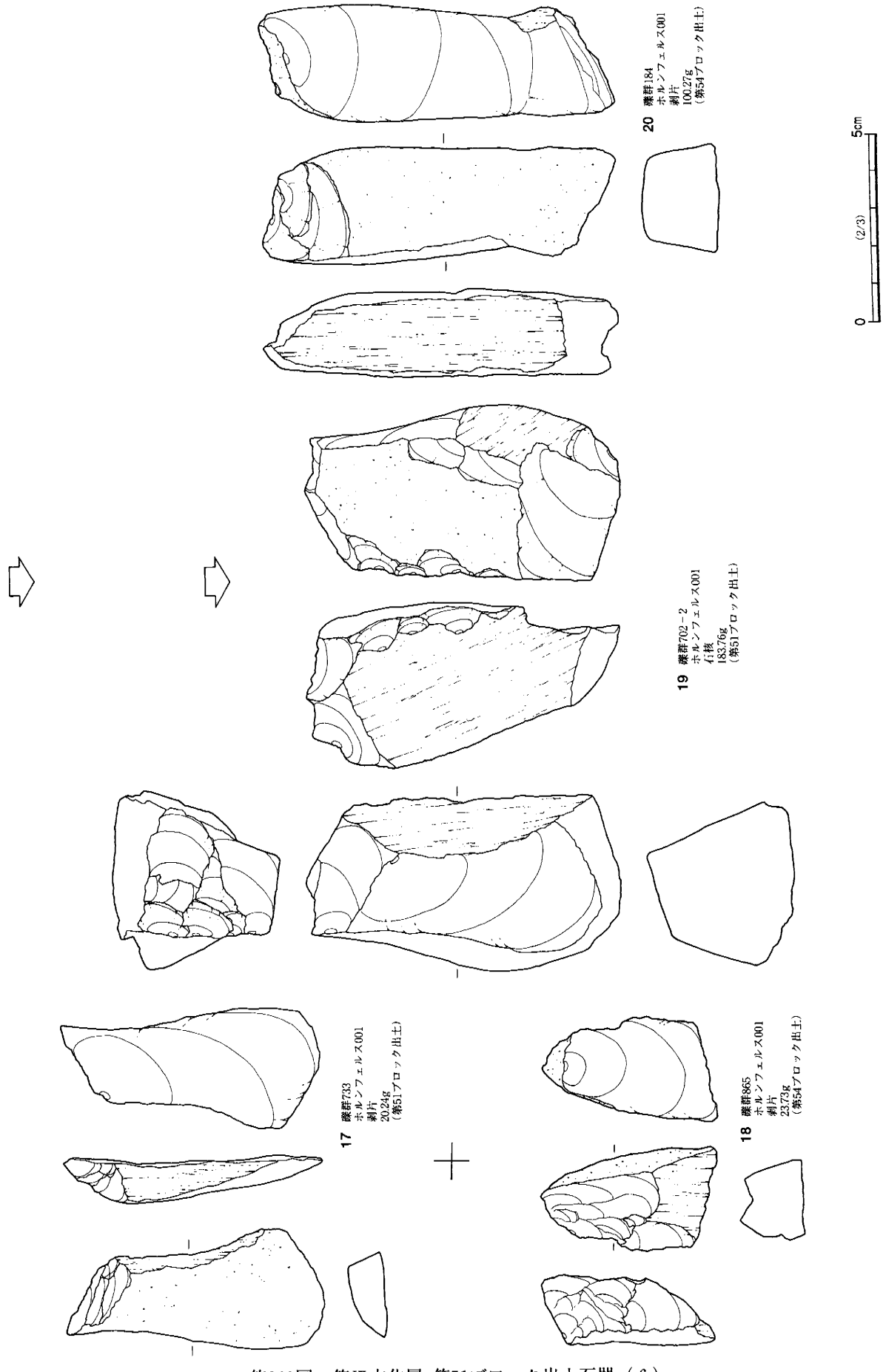
第257図　第Ⅶ文化層 第51ブロック出土石器（3）



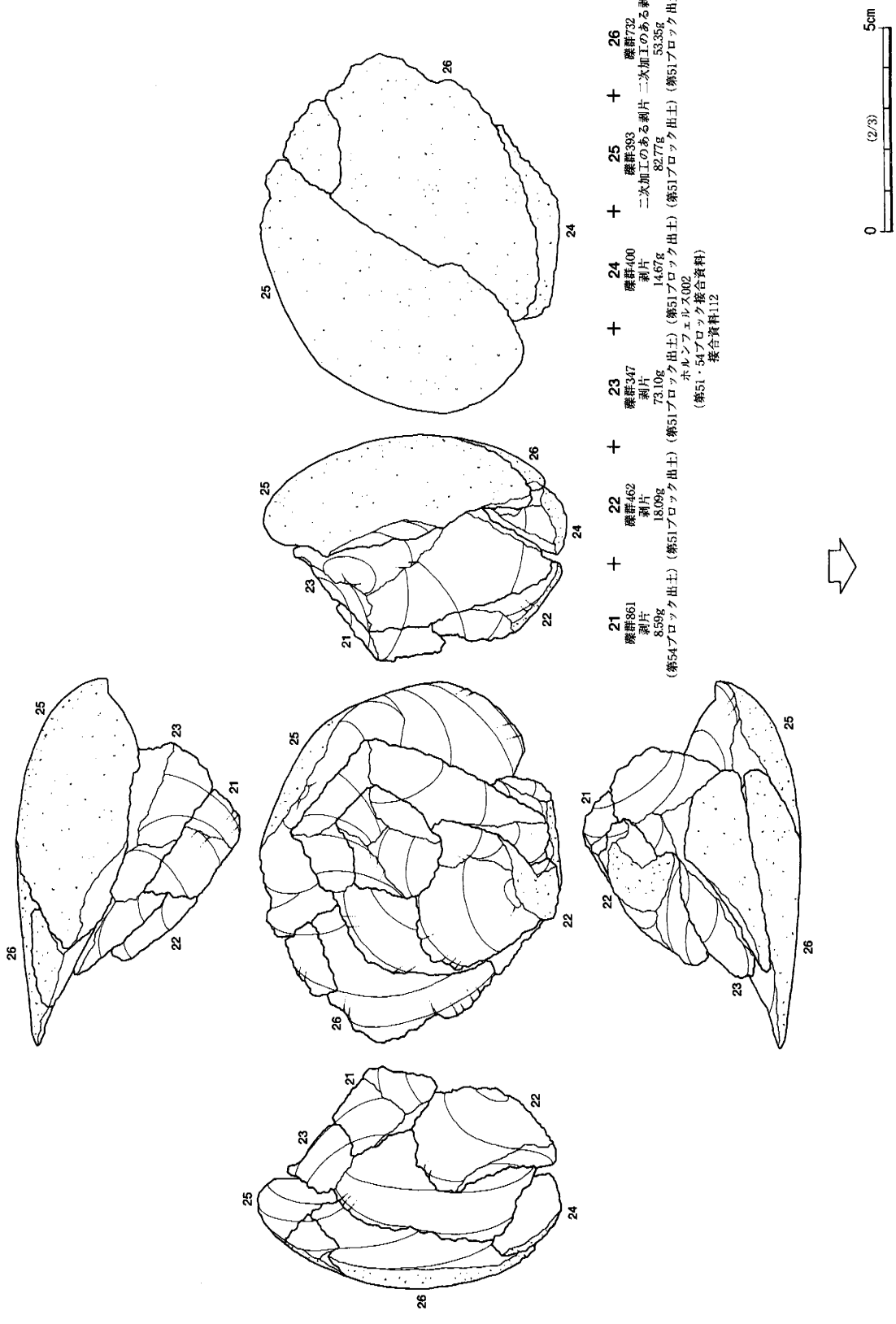
第258図　第Ⅶ文化層 第51ブロック出土石器（4）



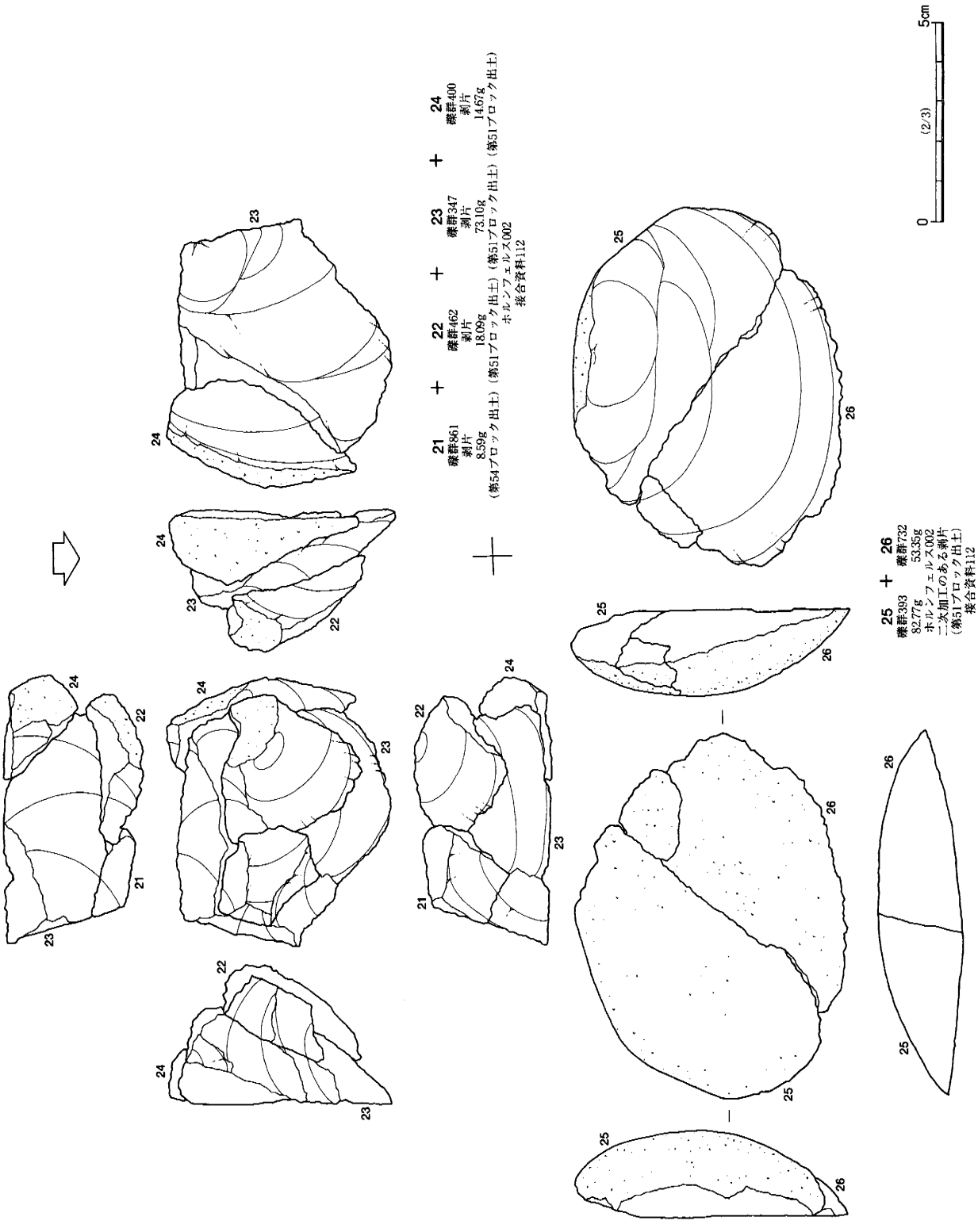
第259図　第Ⅶ文化層 第51ブロック出土石器（5）



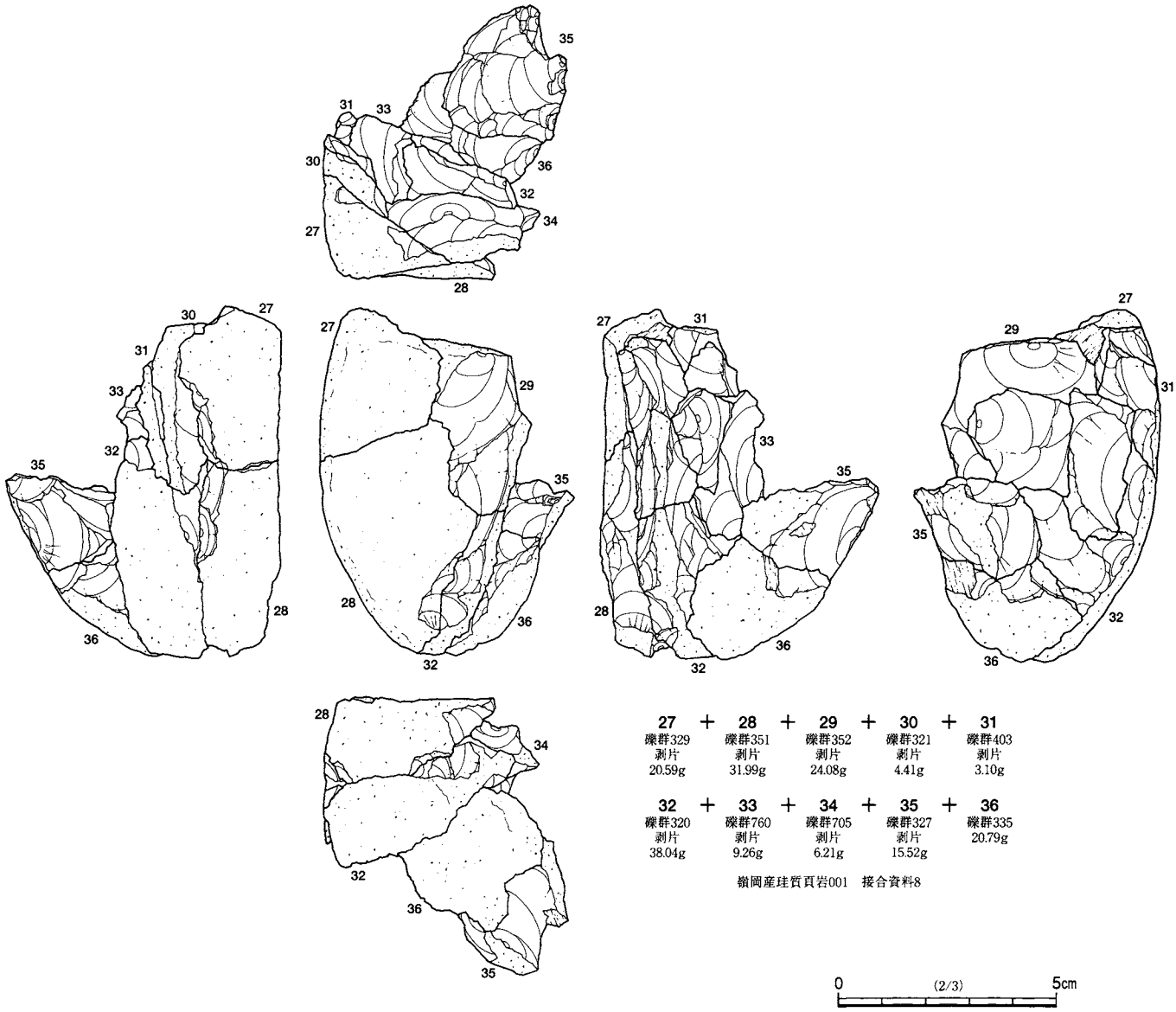
第260図　第Ⅶ文化層 第51ブロック出土石器（6）

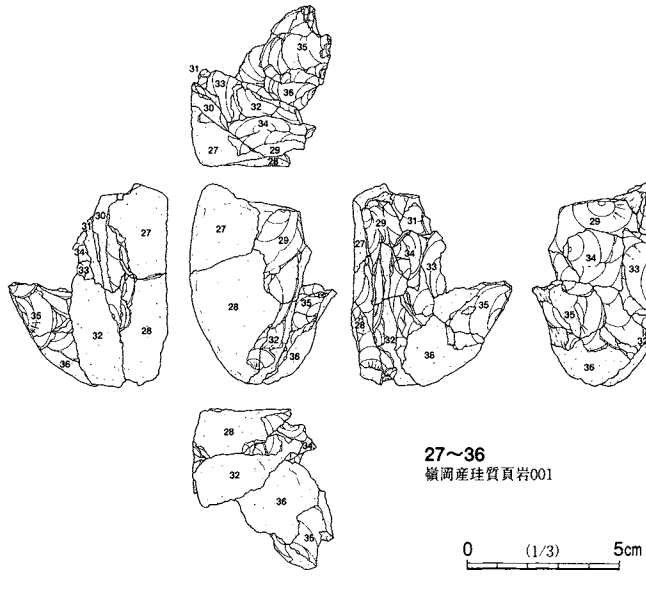


第261図　第Ⅶ文化層 第51ブロック出土石器（7）



第262図　第Ⅶ文化層 第51ブロック出土石器（8）





第263図　第Ⅶ文化層 第51ブロック出土石器（9）

第79表　第Ⅶ文化層 第51ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	ナイフ形石器	楔形石器	敲石	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
ガラス質黒色安山岩	001						1 103.5					1 103.5	0.25 0.47
	002						1 38.04					1 38.04	0.25 0.17
	003						1 39.07					1 39.07	0.25 0.18
								4 15.36				4 15.36	0.98 0.07
ガラス質黒色安山岩 点数合計							3	4				7	1.72
ガラス質黒色安山岩 重量合計							180.61	15.36				195.97	0.88
トロトロ石（安山岩）										1 109		1 109	0.25 0.49
トロトロ石（安山岩）点数合計										1		1	0.25
トロトロ石（安山岩）重量合計										109		109	0.49
ホルンフェルス	001						1 183.76	1 20.24				2 204	0.49 0.92
	002				2 136.12			3 105.86				5 241.98	1.23 1.09
	003							1 39.08				1 39.08	0.25 0.18
								20 395.5	1 0.99	55 2267.9	3 311.6	79 2975.99	19.41 13.42
ホルンフェルス 点数合計					2		1	25	1	55	3	87	21.38
ホルンフェルス 重量					136.12		183.76	560.68	0.99	2267.9	311.6	3461.05	15.60
流紋岩	001			1 227								1 227	0.25 1.02
								1 2.59		113 7126.34	14 1951.23	128 9080.16	31.45 40.93
流紋岩 点数合計				1				1		113	14	129	31.70
流紋岩 重量合計				227				2.59		7126.34	1951.23	9307.16	41.96
頁岩	001						1 160	1 11				2 171	0.49 0.77
	002							1 25.46				1 25.46	0.25 0.11
	003					1 19.29						1 19.29	0.25 0.09
								1 0.71				1 0.71	0.25 0.00
頁岩 点数合計						1	1	3				5	1.23
頁岩 重量合計						19.29	160	37.17				216.46	0.98
珪質頁岩	001				1 5.9							1 5.9	0.25 0.03
	002	1 2.86										1 2.86	0.25 0.01
珪質頁岩 点数合計		1			1							2	0.49
珪質頁岩 重量合計		2.86			5.9							8.76	0.04
嶺岡産珪質頁岩	001							10 173.99				10 173.99	2.46 0.78
	002						1 36.93	4 63.09				5 100.02	1.23 0.45
	003						1 15.16					1 15.16	0.25 0.07
	004				1 2.94							1 2.94	0.25 0.01
								11 68.38	1 1.08			12 69.46	2.95 0.31
嶺岡産珪質頁岩 点数合計					1		2	25	1			29	7.13
嶺岡産珪質頁岩 重量合計					2.94		52.09	305.46	1.08			361.57	1.63
チャート			1 5.9						1 0.4	3 329	8 917.36	13 1252.66	3.19 5.65
チャート 点数合計			1						1	3	8	13	3.19
チャート 重量合計			5.9						0.4	329	917.36	1252.66	5.65
玉髄（メノウ含む）	001						1 11.24					1 11.24	0.25 0.05
								2 2.98				2 2.98	0.49 0.01
玉髄（メノウ含む）点数合計							1	2				3	0.74
玉髄（メノウ含む）重量合計							11.24	2.98				14.22	0.06
砂岩	001			1 310								1 310	0.25 1.40
										108 5,939.17	4 633.42	112 6,572.59	27.52 29.63
砂岩 点数合計				1						108	4	113	27.76
砂岩 重量合計				310						5,939.17	633.42	6,882.59	31.03
凝灰岩								1 1.29	2 0.86	14 291.25	1 79.35	18 372.75	4.42 1.68
凝灰岩 点数合計								1	2	14	1	18	4.42
凝灰岩 重量合計								1.29	0.86	291.25	79.35	372.75	1.68
全体の点数合計		1	1	2	4	1	8	61	5	294	30	407	100.00
全体の重量合計		2.86	5.90	537.00	144.96	19.29	587.70	925.53	3.33	16,062.66	3,892.96	22,182.19	100.00
点数組成比（%）		0.25	0.25	0.49	0.98	0.25	1.97	14.99	1.23	72.24	7.37	100.00	
重量組成比（%）		0.01	0.03	2.42	0.65	0.09	2.65	4.17	0.02	72.41	17.55	100.00	

［上段：点数、 下段：重量(g)］

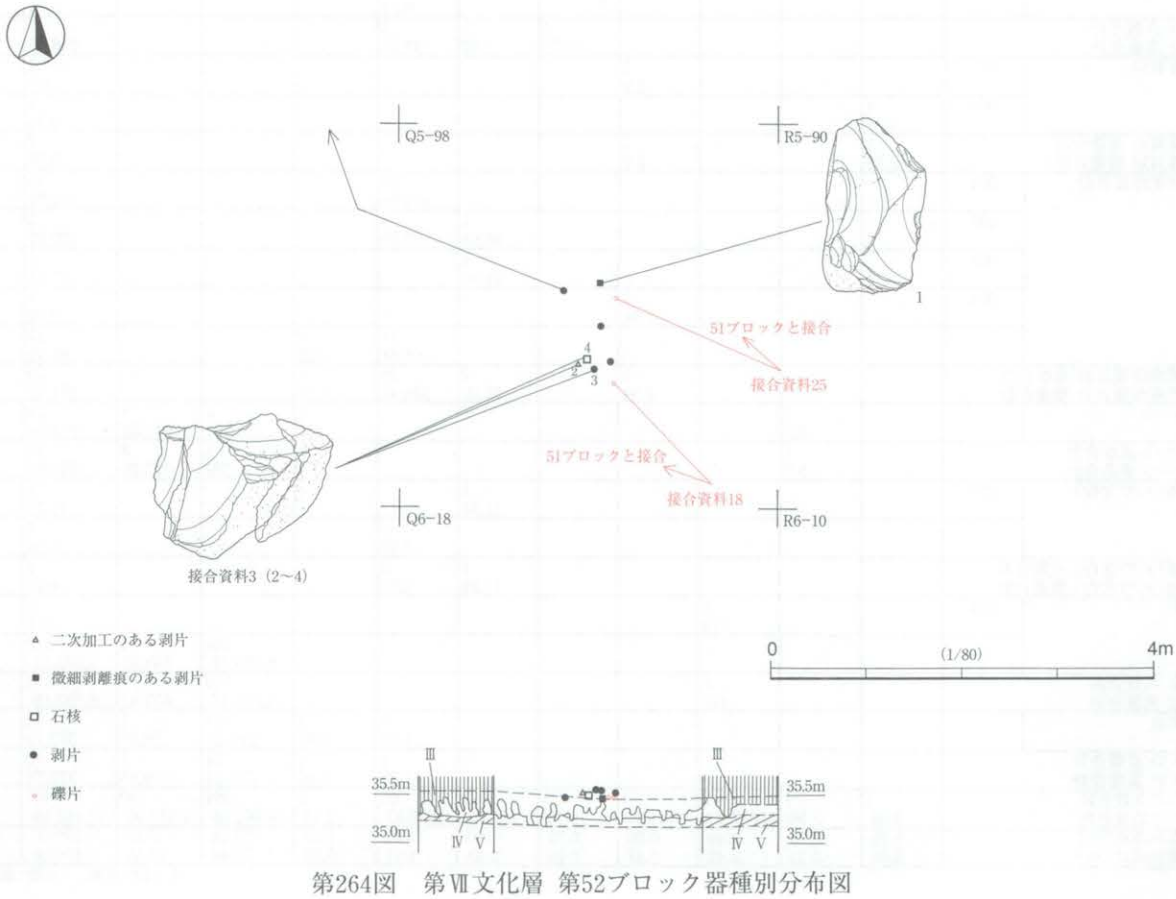
に，29の縦長剥片を剥離しているが，32もこの剥離の際に同時割れしているものと思われる。その後，31～36が剥離されているが，節理面に沿って剥離されており，これらは１回あるいは２回の剥離で，同時割れした資料であることが推察される。

②**第52ブロック**（第264・265図，第80・123表，図版４・47・48）

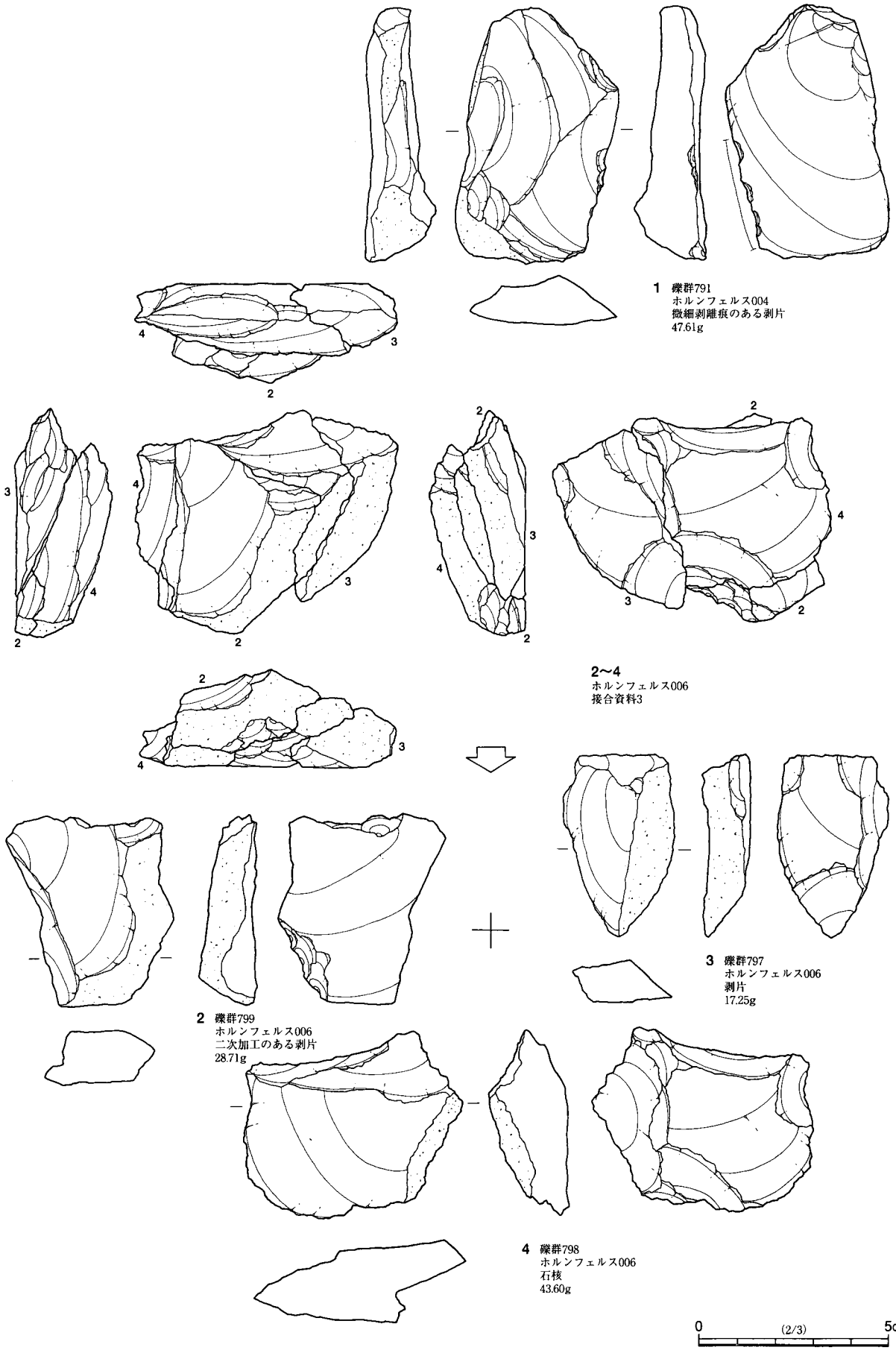
出土状況　平面分布は，約１ｍ×１ｍの小範囲に散漫に分布する。出土点数が少ないが，石器と礫片・礫の分布は重複している。出土層位は，Ⅲ層下部に集中する。石器と礫片・礫との出土層位は，ほぼ同一の層準から出土している。

器種別分布（第264図）の特徴は，石器においては，石核がブロックの中心に分布し，その周辺に剥片が出土している。南側で３点の剥片が接合している接合資料10が出土している。礫片・礫は出土点数が少ないものの，第51ブロックと接合関係を示す資料が２資料出土している。

出土遺物　総計９点のみの出土である。母岩器種組成は第80表のとおりである。器種組成は，第51ブロックとは対照的に，礫片が２点（22.22%）で，礫片・礫の占める割合が極めて低い。製品はほとんどみられず，二次加工のある剥片が１点出土している。そのほか，石核１点，剥片４点出土している。母岩（石材）組成は，石器においては，ホルンフェルスが用いられており，礫片においては流紋岩・砂岩が用いられている。



第264図　第Ⅶ文化層 第52ブロック器種別分布図



第265図　第Ⅶ文化層 第52ブロック出土石器

1は微細剥離痕のある剥片である。縦長剥片を素材として，腹面左側縁下部に微細剥離がみられる。

2～4は接合資料3である。厚みのある剥片を素材としている。2～4の状態で，上端部を折断して，折断面を打面として，2・3の剥片が剥離されている。2は腹面左下部に階段状の剥離が施されている。4は石核である。盤状剥片の石核の形状を呈する。

第80表　第Ⅶ文化層 第52ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	二次加工のある剥片	微細剥離痕のある剥片	石核	剥片	礫片	総計	組成比（%）
ホルンフェルス	004		1 47.61				1 47.61	11.11 5.77
	006	1 28.71		1 43.6	1 17.25		3 89.56	33.33 10.86
					3 64.28		3 64.28	33.33 7.80
ホルンフェルス 点数合計		1	1	1	4		7	77.78
ホルンフェルス 重量合計		28.71	47.61	43.6	81.53		201.45	24.43
流紋岩						1 595	1 595	11.11 72.17
流紋岩 点数合計						1	1	11.11
流紋岩 重量合計						595	595	72.17
凝灰岩						1 28	1 28	11.11 3.40
凝灰岩 点数合計						1	1	11.11
凝灰岩 重量合計						28	28	3.40
全体の点数合計		1	1	1	4	2	9	100.00
全体の重量合計		28.71	47.61	43.6	81.53	623	824.45	100.00
点数組成比(%)		11.11	11.11	11.11	44.44	22.22	100.00	
重量組成比(%)		3.48	5.77	5.29	9.89	75.57	100.00	

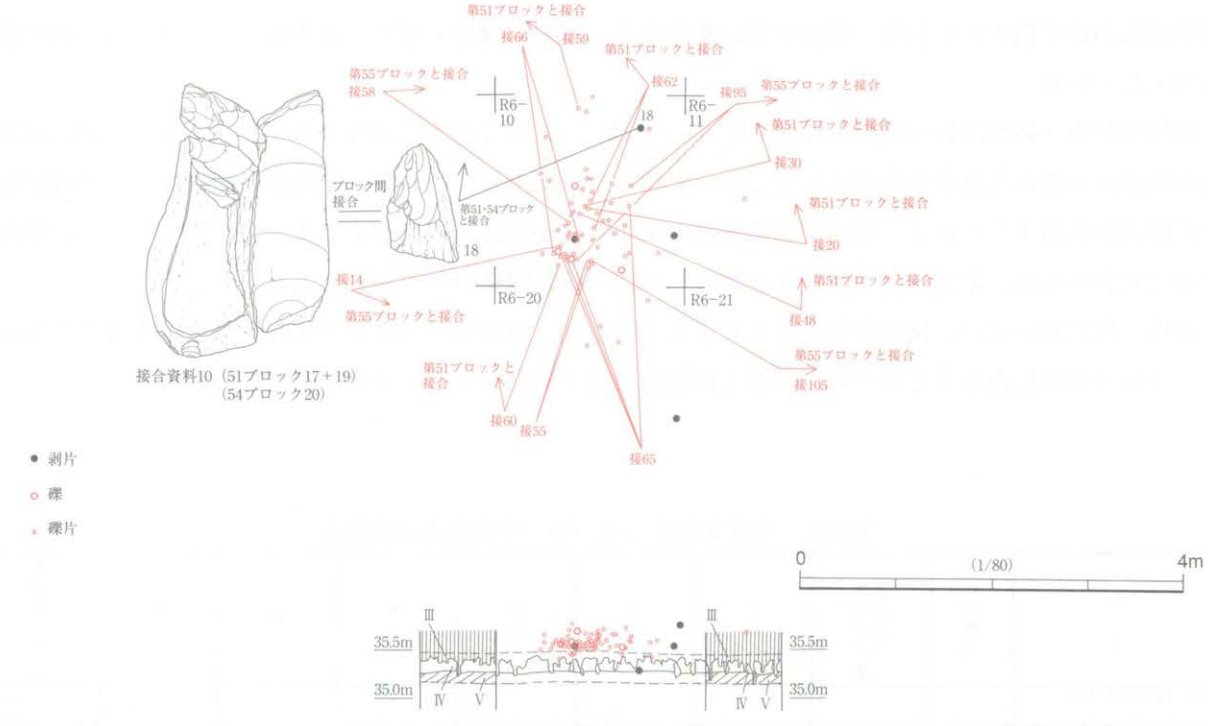
［上段:点数、 下段:重量(g)］

③第53ブロック（第266図，第81・123・124表，図版4）

出土状況　平面分布は，約3m×3mの円形の範囲にやや密集する。出土層位は，Ⅲ層下部からⅢ層中部にかけて出土しており，Ⅲ層下部に集中する。石器と礫片・礫との出土層位は，ほぼ同一の層準から出土している。

器種別分布（第266図）の特徴は，石器においては，剥片が散漫に分布しており，北端から出土している接合資料10が，第51・54ブロックと接合関係がみられる。礫片・礫においては，南西部に集中地点がみられ，その周辺に散漫に分布する。接合資料が多くみられ，南部側は，その傾向が顕著である。ブロック間の接合資料も多くみられ，第51・55ブロックとの接合関係がみられる。

出土遺物　総計74点出土した。母岩器種組成は第81表のとおりである。器種組成は，製品がみられず，礫片66点（89.19%），礫4点（5.14%）でほとんどを占める。石器では，わずかに剥片が4点出土しているのみである。母岩（石材）組成は，礫片・礫においては，ホルンフェルス36点・チャート23点が主に用いられており，石器においてはホルンフェルス3点・ガラス質黒色安山岩1点が用いられている。



第266図　第Ⅶ文化層 第53ブロック器種別分布図

第81表　第Ⅶ文化層 第53ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	剥片	礫片	礫	総計	組成比（%）
安山岩			1		1	1.35
			5.8		5.8	0.26
安山岩 点数合計			1		1	1.35
安山岩 重量合計			5.8		5.8	0.26
ガラス質黒色安山岩		1			1	1.35
		6.48			6.48	0.29
ガラス質黒色安山岩 点数合計		1			1	1.35
ガラス質黒色安山岩 重量合計		6.48			6.48	0.29
ホルンフェルス	001	1			1	1.35
		23.73			23.73	1.07
		2	5		7	9.46
		9.47	81		90.47	4.08
ホルンフェルス 点数合計		3	5		8	10.81
ホルンフェルス 重量合計		33.2	81		114.2	5.15
流紋岩			32	4	36	48.65
			646.35	557.58	1203.93	54.28
流紋岩 点数合計			32	4	36	48.65
流紋岩 重量合計			646.35	557.58	1203.93	54.28
チャート			3		3	4.05
			74.51		74.51	3.36
チャート 点数合計			3		3	4.05
チャート 重量合計			74.51		74.51	3.36
砂岩			23		23	31.08
			796.93		796.93	35.93
砂岩 点数合計			23		23	31.08
砂岩 重量合計			796.93		796.93	35.93
凝灰岩			2		2	2.70
			16.06		16.06	0.72
凝灰岩 点数合計			2		2	2.70
凝灰岩 重量合計			16.06		16.06	0.72
全体の点数合計		4	66	4	74	100.00
全体の重量合計		39.68	1620.65	557.58	2217.91	100.00
点数組成比(%)		5.41	89.19	5.41	100.00	
重量組成比(%)		1.79	73.07	25.14	100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］

④第54ブロック（第267～268図，第82・124表，図版4・47）

出土状況　平面分布は，約4m×3mの円形の範囲に密集する。分布状況を詳細にみると，南西部と南東部の2箇所の集中地点がみられる。石器と礫片・礫との分布が重複している。出土層位は，Ⅳ層からⅢ層中部にかけて出土しており，Ⅲ層下部に集中する。石器と礫片・礫との出土層位は，ほぼ同一の層準から出土している。

器種別分布（第267図）の特徴は，石器においては，二次加工のある剥片が1点出土しているが，北部に集中地点から離れた位置から出土している。石核も1点出土しているが，北西部に同様に集中地点から離れた位置から出土している。南西部と南東部の集中地点からは，剥片がまとまって出土しており，接合資料が2資料みられ，第51・53ブロックとブロック間の接合関係のある資料である。

礫片・礫においては，接合資料がきわめて多くみられ，南西部と南東部の接合関係を示す資料もみられる。ブロック間接合も多くみられ，石器と同様に第51・55ブロックとブロック間接合がみられる。

第82表　第Ⅶ文化層 第54ブロック母岩器種組成表

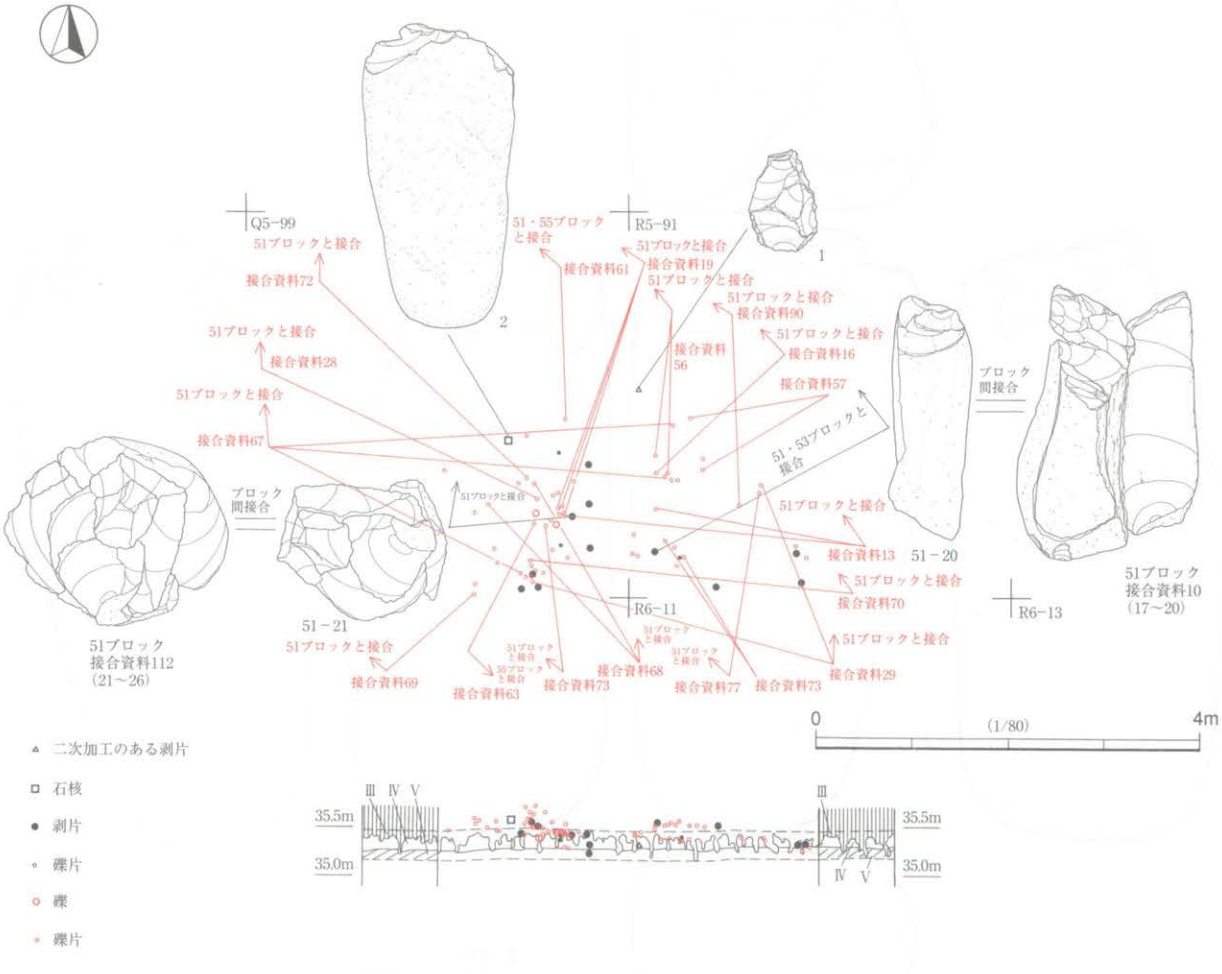
母岩名	母岩番号	二次加工のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
ガラス質黒色安山岩				1 12.29	2 3.3			3 15.59	3.85 0.43
ガラス質黒色安山岩 点数合計 ガラス質黒色安山岩 重量合計				1 12.29	2 3.3			3 15.59	3.85 0.43
ホルンフェルス	001			1 100.27				1 100.27	1.28 2.76
	002			1 8.59				1 8.59	1.28 0.24
	008		1 1420					1 1420	1.28 39.14
				3 37.18		12 366.88		15 404.06	19.23 11.14
ホルンフェルス 点数合計 ホルンフェルス 重量合計			1 1420	5 146.04		12 366.88		18 1932.92	23.08 53.28
流紋岩						20 414.86	1 88.02	21 502.88	26.92 13.86
流紋岩 点数合計 流紋岩 重量合計						20 414.86	1 88.02	21 502.88	26.92 13.86
頁岩				1 1.6				1 1.6	1.28 0.04
頁岩 点数合計 頁岩 重量合計				1 1.6				1 1.6	1.28 0.04
嶺岡産珪質頁岩	002			1 12.89				1 12.89	1.28 0.36
	006	1 6.09						1 6.09	1.28 0.17
				2 4.63				2 4.63	2.56 0.13
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計		1 6.09		3 17.52				4 23.61	5.13 0.65
チャート				1 39.7		2 14.44		3 54.14	3.85 1.49
チャート 点数合計 チャート 重量合計				1 39.7		2 14.44		3 54.14	3.85 1.49
砂岩						24 906.25		24 906.25	30.77 24.98
砂岩 点数合計 砂岩 重量合計						24 906.25		24 906.25	30.77 24.98
凝灰岩					1 0.87	2 84.21	1 106	4 191.08	5.13 5.27
凝灰岩 点数合計 凝灰岩 重量合計					1 0.87	2 84.21	1 106	4 191.08	5.13 5.27
全体の点数合計 全体の重量合計	1 6.09	1 1420	11 217.15	3 4.17	60 1786.64	2 194.02	78 3628.07	100.00 100.00	
点数組成比(%) 重量組成比(%)	1.28 0.17	1.28 39.14	14.10 5.99	3.85 0.11	76.92 49.24	2.56 5.35	100.00 100.00		

［上段:点数、 下段:重量(g)］

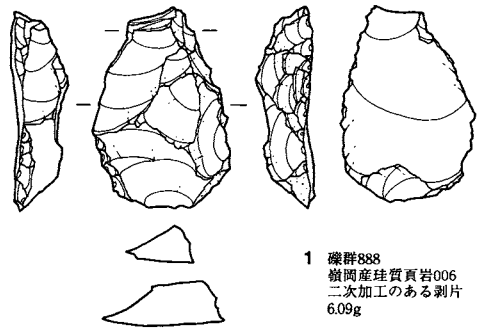
出土遺物　総計78点出土した。母岩器種組成は第82表のとおりである。器種組成は，製品がわずかに二次加工のある剥片が１点出土しているのみである。礫片60点（76.92%），礫２点（2.56%）出土しており，礫片・礫でほとんど占められている。母岩（石材）組成は，礫片・礫においては，主な石材は砂岩・流紋岩・ホルンフェルスが用いられており，石器においては，主な石材は，ホルンフェルス・嶺岡産珪質頁岩が用いれらている。

１は二次加工のある剥片である。幅広の剥片を素材として，右側縁に急角度の調整加工が施されている。左側縁下部と上部に細かい調整加工が施されている。先端部は折れている。

２は石核である。大型の角柱状の礫を素材として，上端部裏面から縦長上の剥片が３枚程度剥離されている。ただし，上端部から剥離が粗い加工であり，大型の石材であるにもかかわらず，剥離されている剥片が少ないことから，片刃礫器として捉えることも可能である。

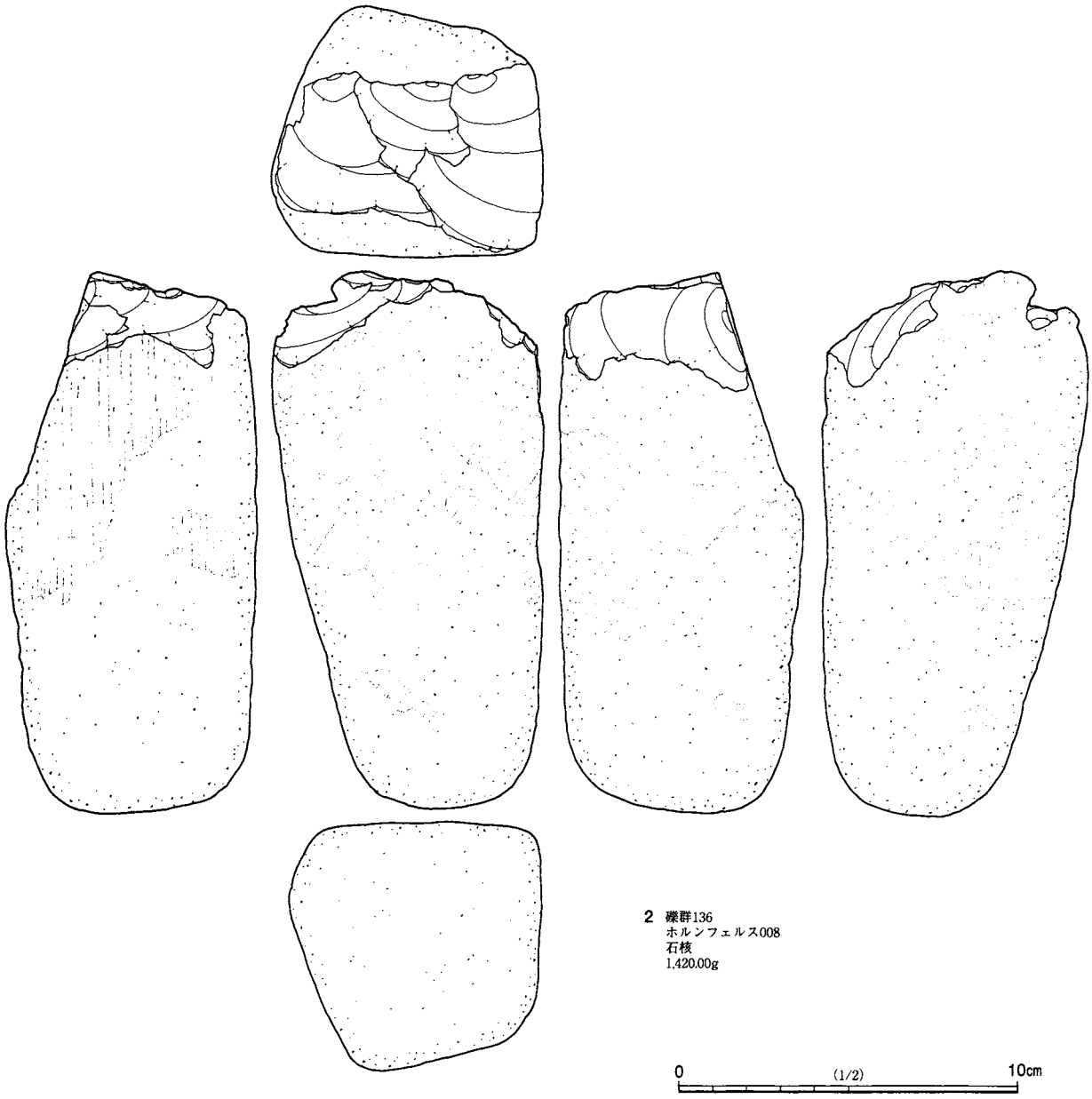


第267図　第Ⅶ文化層 第54ブロック器種別分布図



1 礫群888
頁岩006
二次加工のある剥片
6.09g

0 (4/5) 5cm



2 礫群136
ホルンフェルス008
石核
1,420.00g

0 (1/2) 10cm

第268図　第Ⅶ文化層 第54ブロック出土石器

⑤第55ブロック（第269～274図，第83・124～128表，図版4・47・48）

出土状況　平面分布は，約5m×4mの円形の範囲に密集する。分布状況を詳細にみると，石器は中央部に分布するが，礫片・礫は中央部に最も集中するものの，西部と東部に集中地点がみられ，石器とはやや異なる分布を示す。出土層位は，Ⅳ層下部からⅢ層中部にかけて出土しており，Ⅲ層下部に集中する。石器と礫片・礫との出土層位は，ほぼ同一の層準から出土している。

器種別分布（第269図）の特徴は，石器においては，敲石が1点出土しているが，石器の集中地点の中央部から出土しており，その周辺に石核が3点まとまって出土している。楔形石器や二次加工のある剥片も集中地点の中央部に分布しており，剥片が集中地点の外側に分布する傾向がみられる。

第83表　第Ⅶ文化層 第55ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	楔形石器	敲石	二次加工のある剥片	石核	剥片	砕片	礫片	礫	総計	組成比（%）
黒曜石	001	1								1	0.30
		5.48								5.48	0.04
黒曜石 点数合計		1								1	0.30
黒曜石 重量合計		5.48								5.48	0.04
ガラス質黒色安山岩	004				1					1	0.30
					14.07					14.07	0.10
						8	3			11	3.30
						93.58	2.74			96.32	0.69
ガラス質黒色安山岩 点数合計					1	8	3			12	3.60
ガラス質黒色安山岩 重量合計					14.07	93.58	2.74			110.39	0.79
ホルンフェルス	005					4				4	1.20
						82.36				82.36	0.59
	007					2				2	0.60
						46.3				46.3	0.33
						21		31		52	15.62
						444.42		1909.6		2354.02	16.82
ホルンフェルス 点数合計						27		31		58	17.42
ホルンフェルス 重量合計						573.08		1909.6		2482.68	17.73
流紋岩								88	14	102	30.63
								3204.055	1929.9	5133.955	36.67
流紋岩 点数合計								88	14	102	30.63
流紋岩 重量合計								3204.055	1929.9	5133.955	36.67
頁岩	004				1					1	0.30
					71.77					71.77	0.51
	005				1					1	0.30
					23.58					23.58	0.17
頁岩 点数合計					2					2	0.60
頁岩 重量合計					95.35					95.35	0.68
嶺岡産珪質頁岩	005					2				2	0.60
						16.56				16.56	0.12
					2	12	1			15	4.50
					141.99	235.78	0.62			378.39	2.70
嶺岡産珪質頁岩 点数合計					2	14	1			17	5.11
嶺岡産珪質頁岩 重量合計					141.99	252.34	0.62			394.95	2.82
チャート						4	1	12	8	25	7.51
						29.45	0.21	426.44	494.84	950.94	6.79
チャート 点数合計						4	1	12	8	25	7.51
チャート 重量合計						29.45	0.21	426.44	494.84	950.94	6.79
玉髄(メノウ含む)	002			1	1					2	0.60
				9.68	25.82					35.5	0.25
玉髄(メノウ含む) 点数合計				1	1					2	0.60
玉髄(メノウ含む) 重量合計				9.68	25.82					35.5	0.25
砂岩	002		1							1	0.30
			463							463	3.31
								105	3	108	32.43
								3882.73	368.95	4251.68	30.37
砂岩 点数合計			1					105	3	109	32.73
砂岩 重量合計			463.00					3,882.73	368.95	4,714.68	33.68
凝灰岩							1	4		5	1.50
							0.31	74.95		75.26	0.54
凝灰岩 点数合計							1	4		5	1.50
凝灰岩 重量合計							0.31	74.95		75.26	0.54
全体の点数合計		1	1	1	6	53	6	240	25	333	100.00
全体の重量合計		5.48	463.00	9.68	277.23	948.45	3.88	9,497.78	2,793.69	13,999.19	100.00
点数組成比(%)		0.30	0.30	0.30	1.80	15.92	1.80	72.07	7.51	100.00	
重量組成比(%)		0.04	3.31	0.07	1.98	6.78	0.03	67.85	19.96	100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］

礫片・礫においては，前述のとおり，中央部と西部と東部の3箇所に集中地点がみられる。接合資料が非常に多くみられ，3箇所にまたがって接合している資料もみられる。ブロック間の接合も多くみられ，第51・53・54ブロックとブロックと接合する資料がみられる。

出土遺物　総計333点出土した。第Ⅶ文化層においては，2番目に出土量の多いブロックである。母岩器種組成は第83表のとおりである。器種組成は，製品がほとんどみられず，楔形石器1点，敲石1点出土しているのみである。器種組成のほとんどは，礫片（2.07%）・礫（7.51%）で占められる。母岩（石材）組成は，礫片・礫においては，主な石材は砂岩・流紋岩・ホルンフェルス・チャートが用いられている。石器においては，嶺岡産珪質頁岩・ガラス質黒色安山岩・チャートが用いられている。母岩別にみると，黒曜石001は，楔形石器が単品で出土しており，搬入されたものと思われる。

1は楔形石器である。縦長の剥片を素材として，上下両端から両極剥離が行われている。

2～4は石核である。2は小型の厚みのある剥片を素材として，腹面上部から幅広の剥片を剥離した後に，腹面左側縁から小型の貝殻状の剥片が剥離されている。その後，背面下端部から左側縁と上端部にかけて，順次打点を転移して，小型の貝殻状の剥片を剥離している。3は敲石の破損した分厚い分割礫を素材としている。裏面平坦面右側に敲石として機能していた時の敲打痕がみられる。背面上部を打面として，左側から右側へ順次打点を転移して，横長剥片を剥離している。4は腹面左下端部から小型の貝殻状の剥片が剥離されている。その後，上端部を折断して，折断面を打面として，表面上部に2枚程度の横長剥片が剥離されている。

5は敲石である。大型の楕円形礫を素材として，上下両端に敲打痕がみられる。

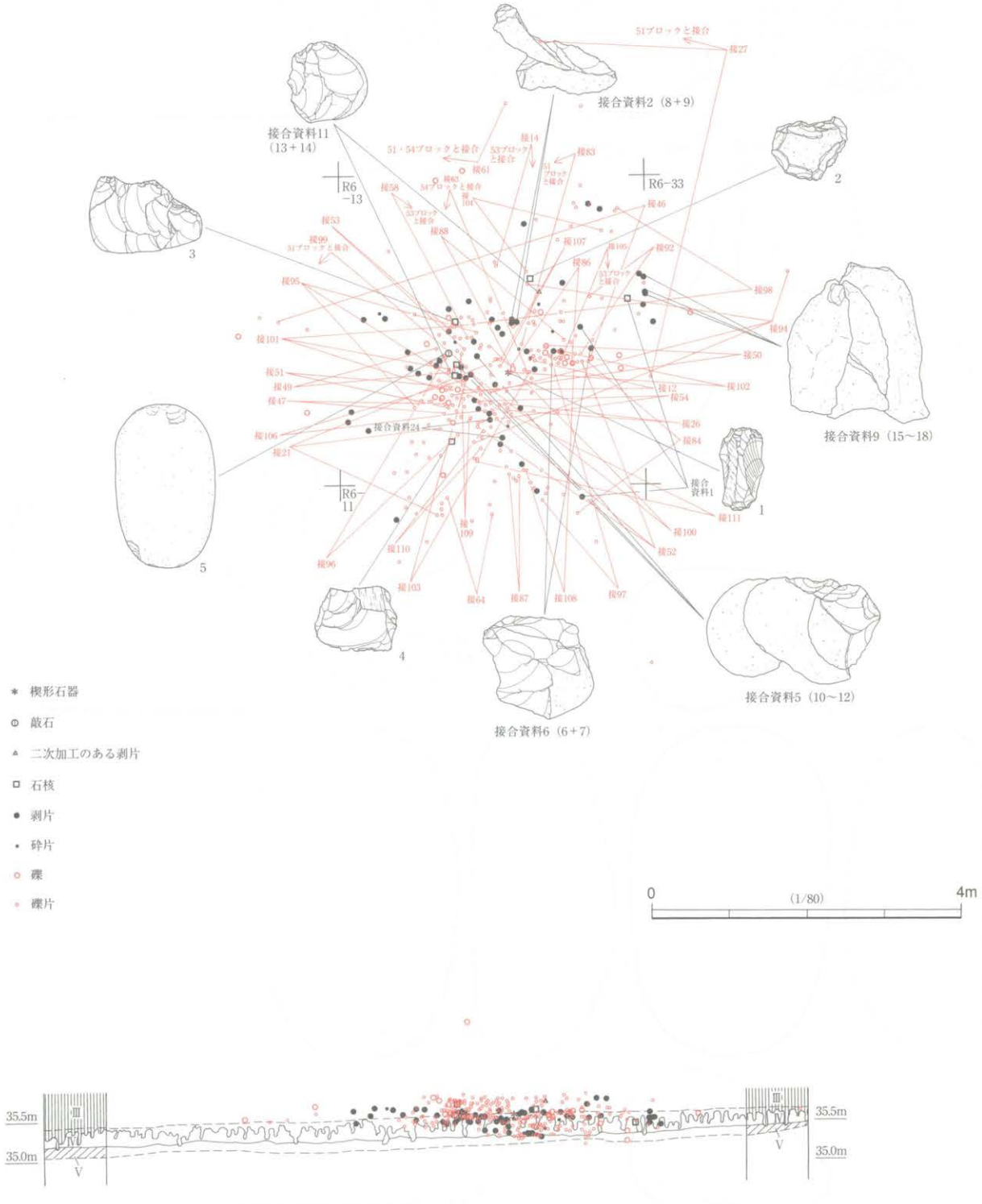
6＋7は接合資料6である。6＋7の接合図で剥離の方法を説明すると，裏面右側縁から加撃して6と7の縦長剥片が同時割れしている。打点は6・7ともに，点状の打面を呈する。

8＋9は接合資料2である。節理の多い石材と用いているために，節理面に沿って剥片が剥離されている。8は節理面に沿って同時割れした資料である。9は線状の打面から剥離された横長剥片である。

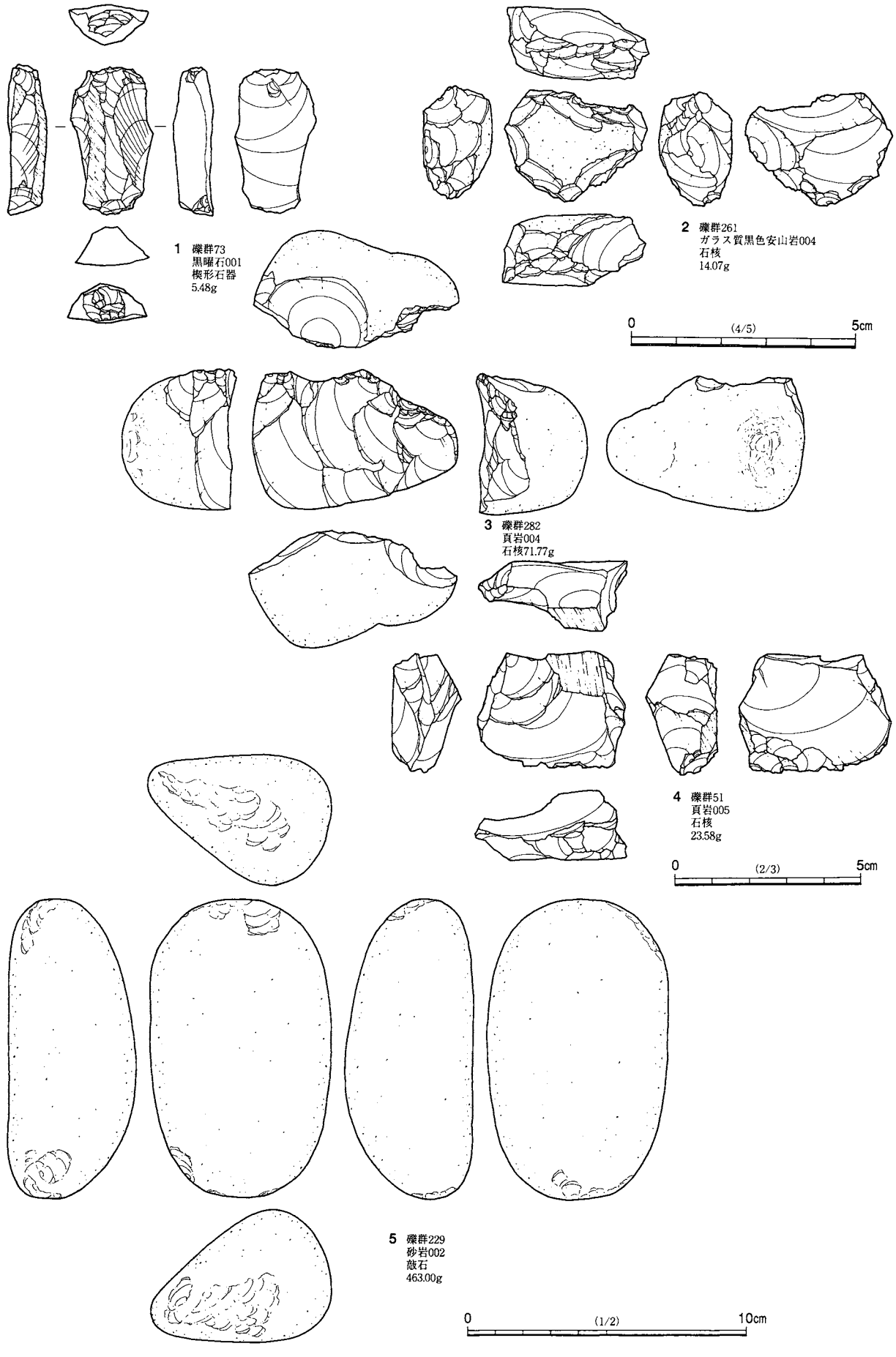
10～12は接合資料5である。大きな円礫を母岩としていると思われる。平坦な打面で，頭部調整をわずかに行っている。10～12の接合図で剥離の方法を説明すると，上端部の大きな剥離面を打面として，背面左側から右側に打点を順次移動して，幅広の剥片を剥離している。背面に自然面を大きく残しており，剥片剥離の初期段階の剥離を示す接合資料である。

13＋14は接合資料11である。小形の円礫を母岩としている。13＋14の接合図で説明すると，裏面右上部から13の横長剥片を剥離している。13で剥離された剥離面を打面として，裏面右側縁から小型の剥片が連続的に剥離されている。

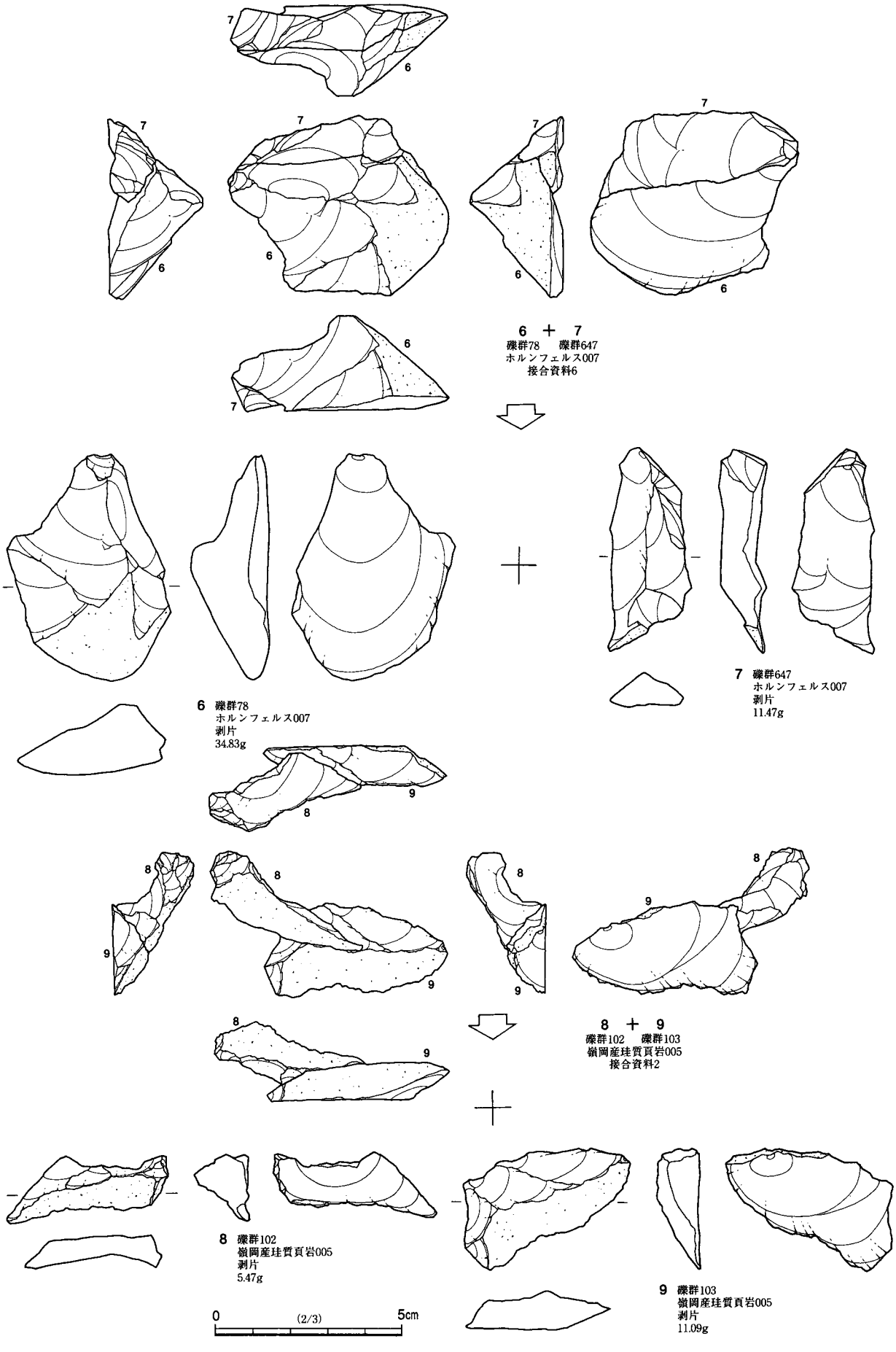
15～18は接合資料9である。節理の多い石材を用いている。15～18の接合図の上端部から剥離を行っており，15～18が同時割れしている。18は比較的厚い剥片で，側面から小型の剥片が数枚剥離されている。



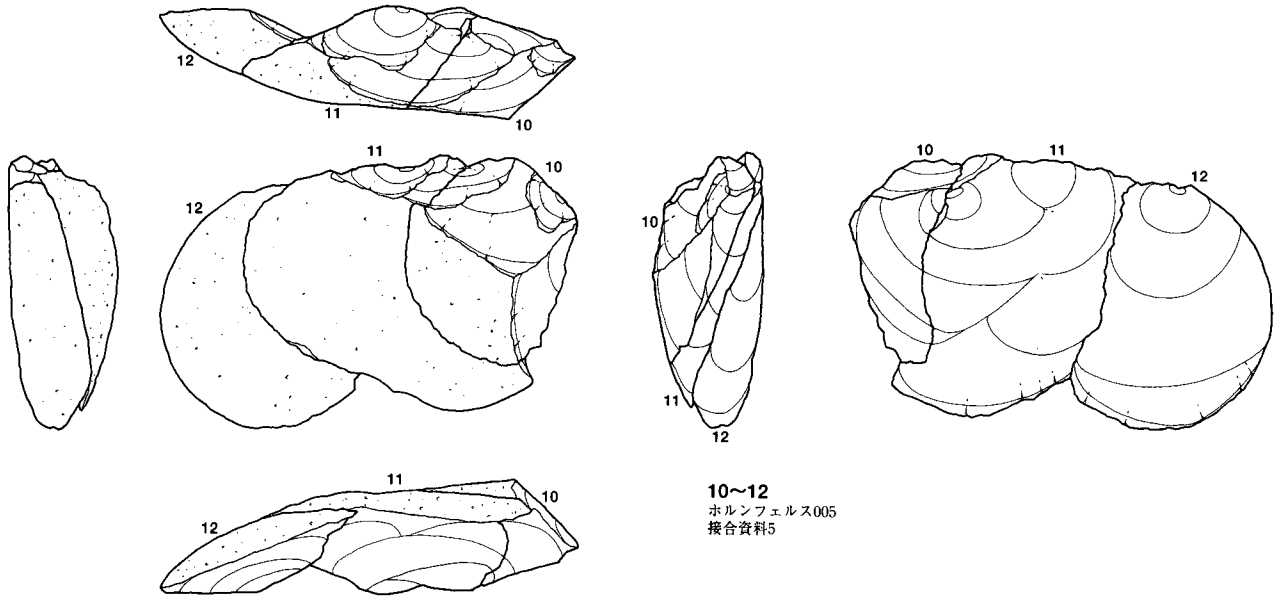
第269図　第Ⅶ文化層 第55ブロック器種別分布図



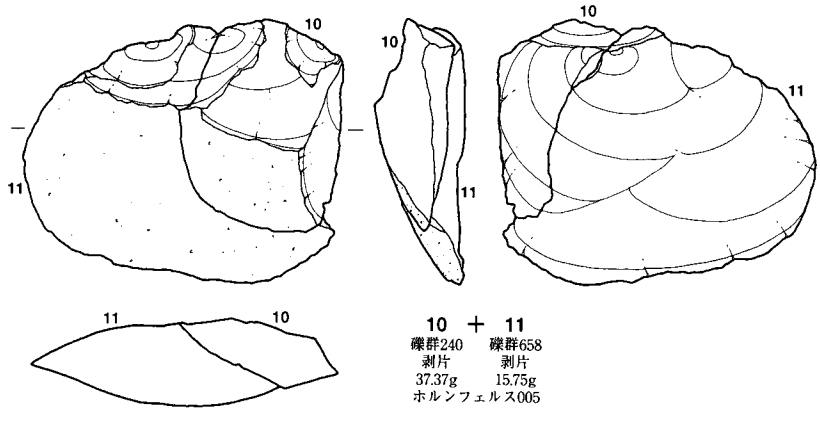
第270図　第Ⅶ文化層 第55ブロック出土石器（1）



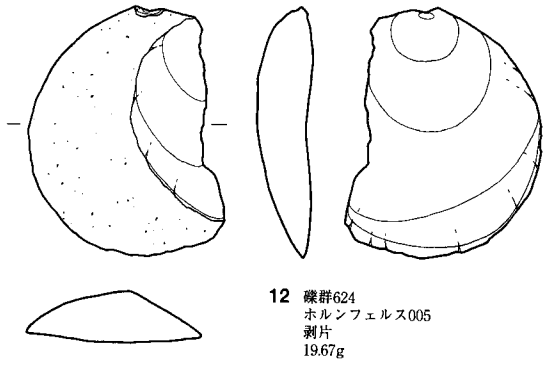
第271図　第Ⅶ文化層 第55ブロック出土石器（2）



10～12
ホルンフェルス005
接合資料5



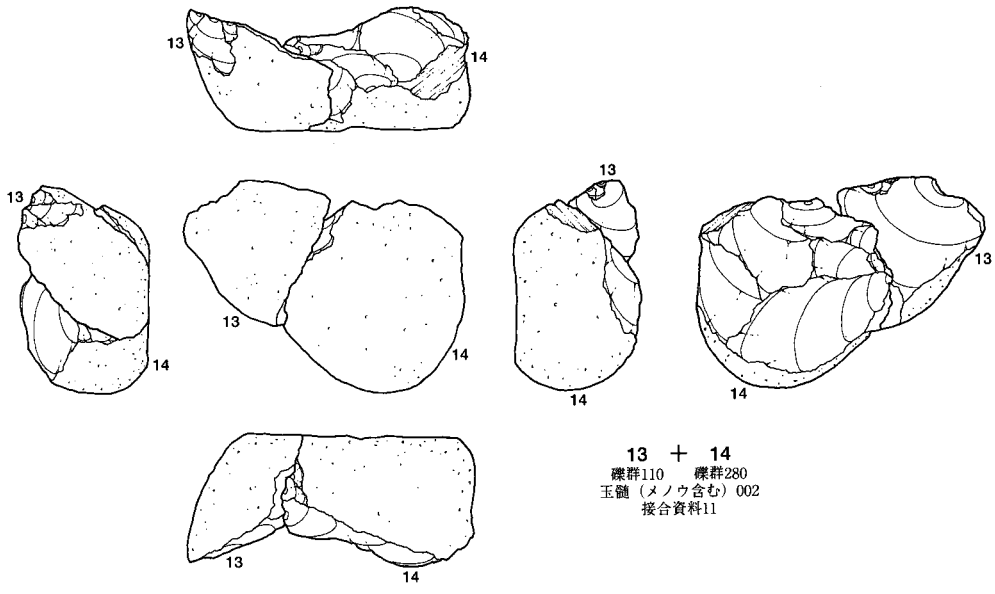
10 ＋ 11
礫群240　礫群658
剥片　剥片
37.37g　15.75g
ホルンフェルス005

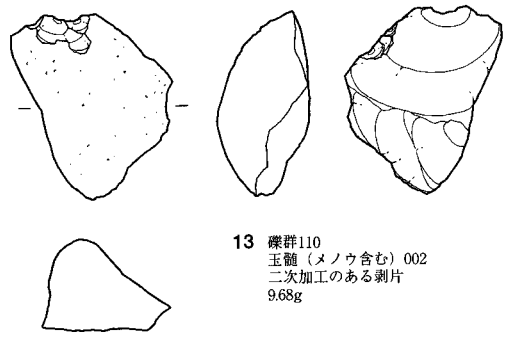


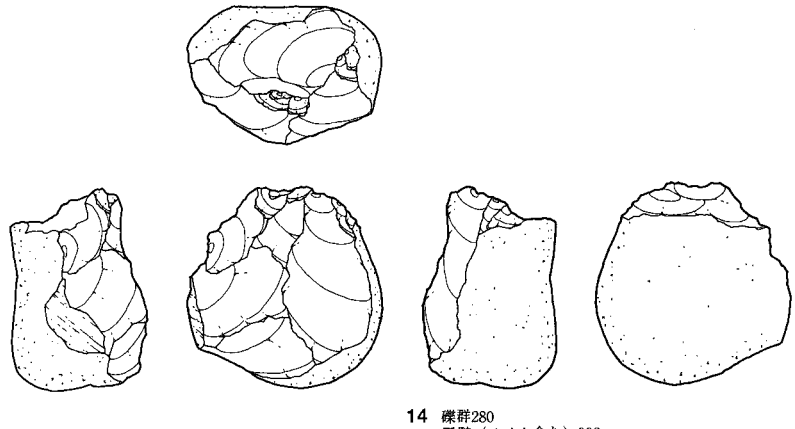
12 礫群624
ホルンフェルス005
剥片
19.67g

0　(2/3)　5cm

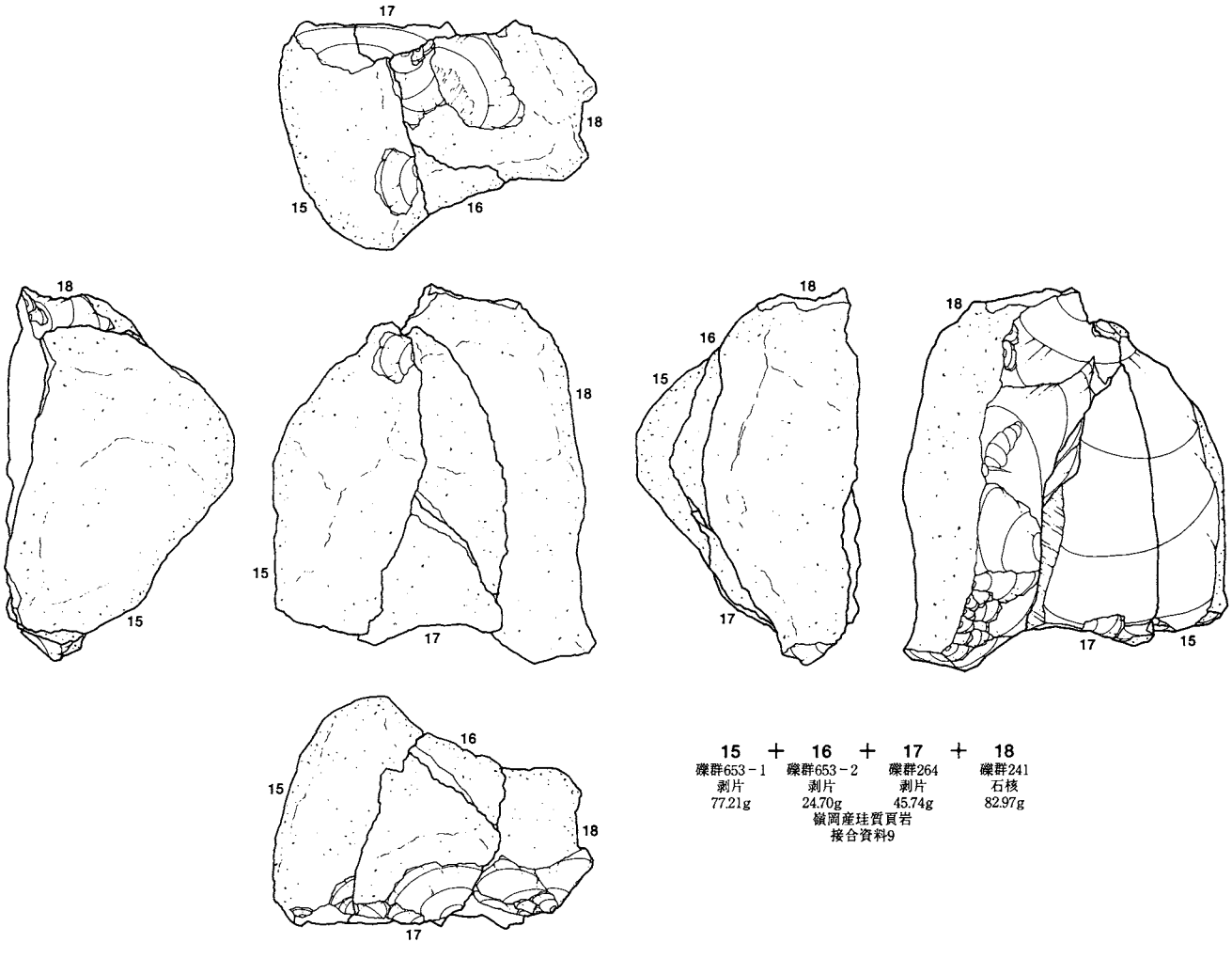
第272図　第Ⅶ文化層 第55ブロック出土石器（3）







第273図　第Ⅶ文化層 第55ブロック出土石器（4）



第274図　第Ⅶ文化層 第55ブロック出土石器（5）

10　第Ⅷ文化層

第Ⅷ文化層の概要（第84表）

本文化層は，単独出土したものをまとめたものである。そのため，厳密に言えば，文化層として識別されるものではない。第56～58ブロックの3ブロックで構成される。すべての遺物は，出土層位が不明で，石器の形態からみると，Ⅲ層から出土したものと思われることから，第Ⅷ文化層として捉えた。出土点数は，6点（総重量496.04ｇ）である。石材器種組成は第84表のとおりである。主要器種は，槍先形尖頭器・礫器である。主要石材は，嶺岡産珪質頁岩・凝灰岩である。

第84表　第Ⅷ文化層石材器種組成表

石材＼器種	槍先形尖頭器	石核	剥片	礫器	総計	組成比（%）
嶺岡産珪質頁岩		2 33.18	1 3.05		3 36.23	50.00 7.30
チャート				1 435.28	1 435.28	16.67 87.75
凝灰岩	1 4.42		1 20.11		2 24.53	33.33 4.95
点数合計 重量合計	1 4.42	2 33.18	2 23.16	1 435.28	6 496.04	100.00 100.00
点数組成比（%） 重量組成比（%）	16.67 0.89	33.33 6.69	33.33 4.67	16.67 87.75	100.00 100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］

①第56ブロック（第275図，第85・129表，図版47）

出土状況　単独出土したもののうち，Q4・5グリッド付近から出土したものをまとめて第56ブロックとして捉えた。

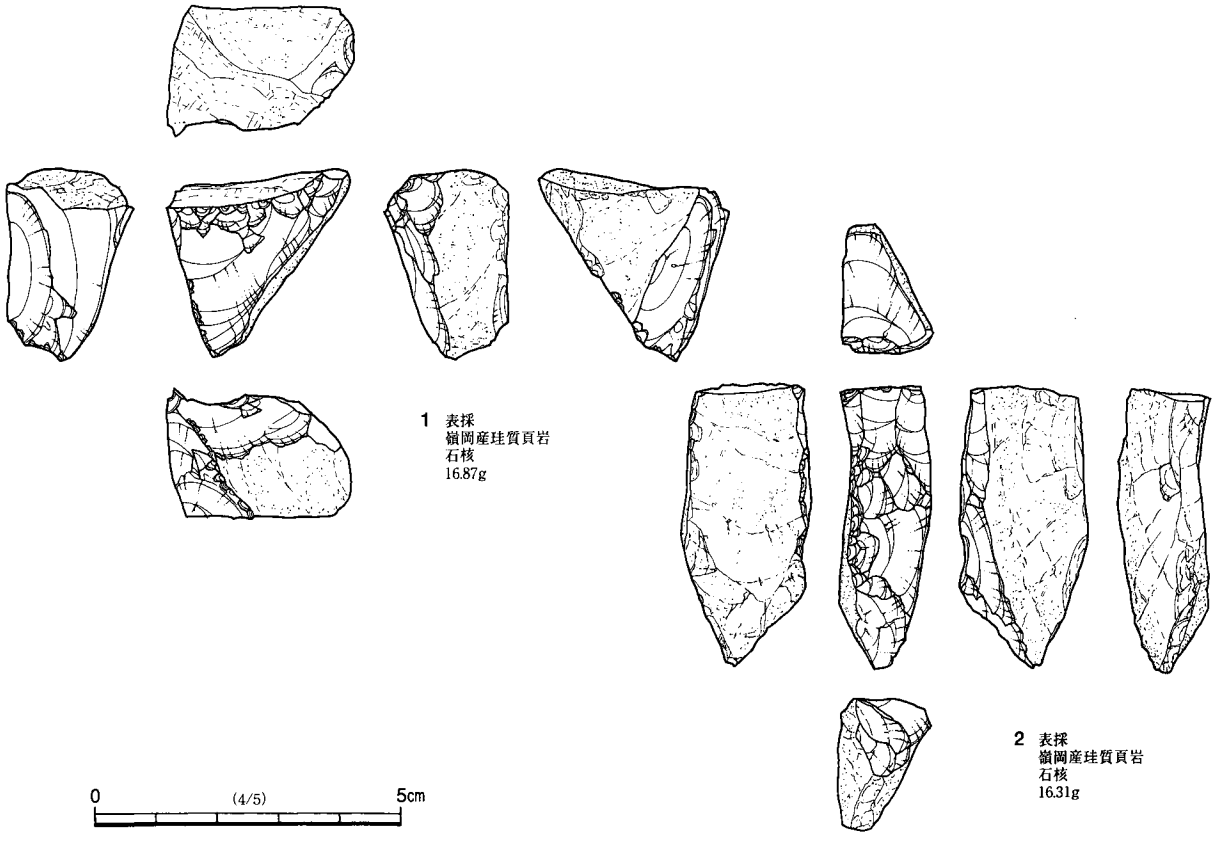
出土遺物　総計4点出土した。母岩器種組成は第85表のとおりである。器種組成は，製品がみられず，石核2点，剥片2点出土しており，石核の割合が高いブロックである。母岩（石材）組成は，嶺岡産珪質頁岩と凝灰岩が用いられている。

第85表　第Ⅷ文化層 第56ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	石核	剥片	総計	組成比（%）
嶺岡産珪質頁岩		2 33.18	1 3.05	3 36.23	75.00 64.31
嶺岡産珪質頁岩 点数合計 嶺岡産珪質頁岩 重量合計		2 33.18	1 3.05	3 36.23	75.00 64.31
凝灰岩			1 20.11	1 20.11	25.00 35.69
凝灰岩 点数合計 凝灰岩 重量合計			1 20.11	1 20.11	25.00 35.69
全体の点数合計 全体の重量合計		2 33.18	2 23.16	4 56.34	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		50.00 58.89	50.00 41.11	100.00 100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］

1・2は石核である。1・2ともに，小型のやや厚みのない扁平な礫を素材としている。1は左側面から2枚の横長剥片が剥離されている。その後，表面上部の自然面を打面として，幅広の剥片が剥離されている。頭部調整が顕著な石核である。2は表面左側縁から自然面を打面として，横長剥片を数枚剥離している。頭部調整が顕著にみられる。その後，表面上端部を折断して，打面を作出し，小型の縦長剥片が3枚程度剥離されている。



第275図　第Ⅷ文化層 第56ブロック出土石器

②第57ブロック（第276図，第86・129表，図版47）

出土状況　単独出土である。本来ならば，ブロックとして捉えないほうが妥当かもしれないが，特徴的な形態を示す槍先形尖頭器が出土していることから，あえて，第57ブロックとして捉えた。第Ⅵ文化層のD30グリッド付近から出土している。第Ⅵ文化層は，Ⅳ層からⅢ層下部にかけて出土しており，調査時の石器の出土層位が，Ⅲ層と記載されていることから，第Ⅷ文化層として捉えたが，第Ⅵ文化層に帰属する石器である可能性もある。

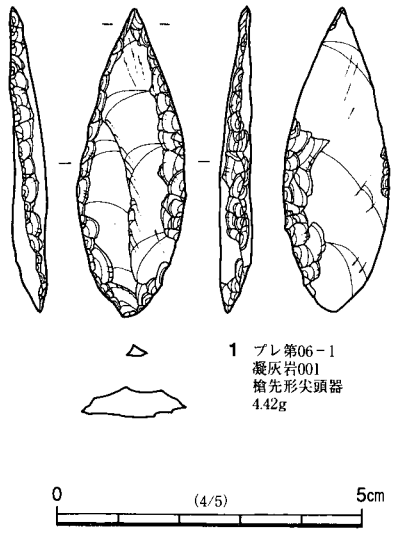
出土遺物　総計１点のみの出土である。母岩器種組成は第86表のとおりである。凝灰岩製の槍先形尖頭器が単独出土している。

１は槍先形尖頭器である。縦長剥片を素材として，主軸方向と主要剥離方向とが一致し，打面を基部に設定している。背面の縁辺部の全周に平坦な調整加工が入念に施されている。腹面左側縁中間部に，平坦な調整加工がみられる。いずれの調整加工も器体の中央部まで及ぶものはなく，縁辺部に加工が施されている。素材の打面は背面と覆面の調整加工によって除去されている。

第86表　第Ⅷ文化層 第57ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	槍先形尖頭器	総計	組成比（%）
凝灰岩	001	1 4.42	1 4.42	100.00 100.00
凝灰岩 点数合計		1	1	100.00
凝灰岩 重量合計		4.42	4.42	100.00
全体の点数合計		1	1	100.00
全体の重量合計		4.42	4.42	100.00
点数組成比(%)		100.00	100.00	
重量組成比(%)		100.00	100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］



第276図　第Ⅷ文化層 第57ブロック出土石器

③第58ブロック（第277図，第87・129表，図版47）

出土状況　F30グリッド付近で，単独出土したものを第58ブロックとして捉えた。出土層位が不明であるので，帰属する文化層が不明であるために，単独出土の石器のものを第Ⅷ文化層として捉えた。ただし，平面分布では，第Ⅱa文化層の第20～22ブロックに近い地点から出土しており，第Ⅱa文化層に帰属させるべき遺物である可能性もある。

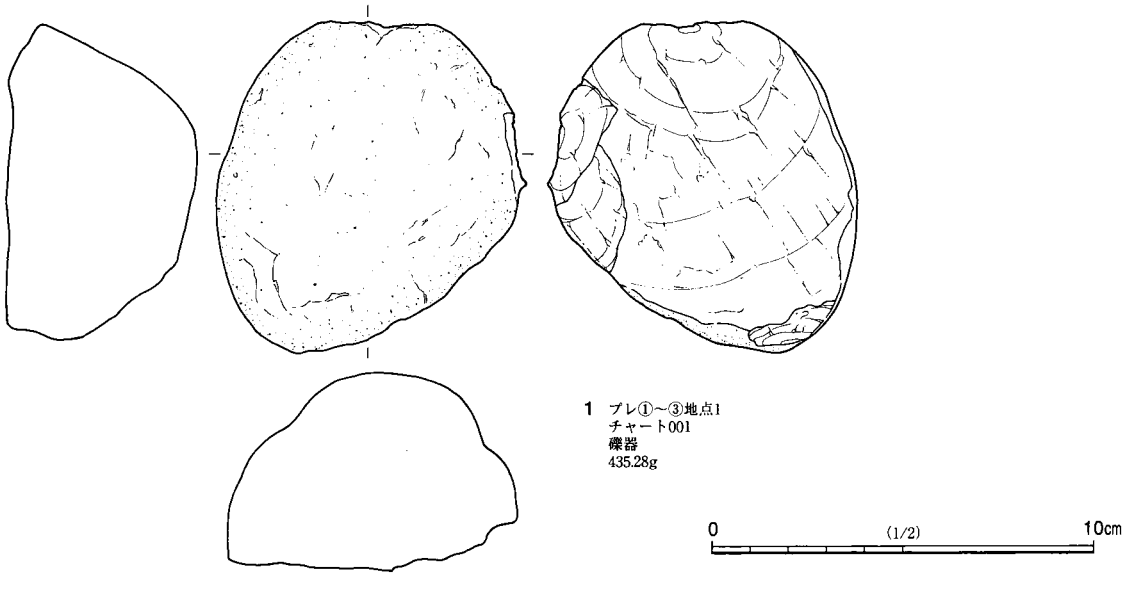
出土遺物　総計１点のみの出土である。母岩器種組成は第87表のとおりである。チャート製の礫器が単独出土している。

１は礫器である。大型の円礫を母岩として用いている。おそらく両極剥離で分割した礫を素材として，腹面左側縁と下端部に粗い調整加工がみられる。

第87表　第Ⅷ文化層 第58ブロック母岩器種組成表

母岩名	母岩番号	礫器	総計	組成比（%）
チャート	001	1 435.28	1 435.28	100.00 100.00
チャート 点数合計 チャート 重量合計		1 435.28	1 435.28	100.00 100.00
全体の点数合計 全体の重量合計		1 435.28	1 435.28	100.00 100.00
点数組成比(%) 重量組成比(%)		100.00 100.00	100.00 100.00	

［上段:点数、 下段:重量(g)］



第277図　第Ⅷ文化層 第58ブロック出土石器

第88表　第Ⅰ文化層石器属性表（1）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ia	A	1	R6-81	1				剥片	頁岩	A	36.21	32.69	8.11	8.26	34.525	X
Ia	A	1	R6-81	2				剥片	頁岩	A	22.16	14.76	7.10	2.06	34.510	X
Ia	A	1	R6-81	3		01-18		二次加工のある剥片	頁岩	015	45.00	28.29	18.62	19.45	34.481	X
Ia	A	1	R6-81	4				砕片	トロトロ石（安山岩）	001	10.64	9.04	5.06	0.47	34.615	Ⅸc
Ia	A	1	R6-81	5				礫	チャート	007	14.90	13.60	6.90	1.88	34.615	X
Ia	A	1	R6-81	6		01-13		二次加工のある剥片	頁岩	006	24.28	20.07	10.84	3.77	34.394	X
Ia	A	1	R6-81	7				剥片	頁岩	A	24.25	30.90	6.36	3.88	34.343	X
Ia	A	1	R6-81	8				剥片	頁岩	A	42.83	34.14	11.26	6.72	34.350	X
Ia	A	1	R6-81	9				剥片	頁岩	A	27.98	20.87	7.40	4.29	34.275	X
Ia	A	1	R6-82	1				砕片	頁岩	A	10.00	13.50	3.10	0.46	34.815	Ⅸc
Ia	A	1	R6-82	2				礫	流紋岩	001	45.30	47.90	30.40	8.60	34.755	Ⅸc
Ia	A	1	R6-82	3				剥片	頁岩	A	15.70	23.60	3.20	0.92	34.567	X
Ia	A	1	R6-82	4				微細剥離痕のある剥片	頁岩	A	43.00	35.00	13.60	13.73	34.585	X
Ia	A	1	R6-82	5				砕片	頁岩	A	15.90	18.20	4.30	0.85	34.602	X
Ia	A	1	R6-82	6				剥片	頁岩	A	17.70	21.60	12.50	5.06	34.544	X
Ia	A	1	R6-82	7				剥片	頁岩	A	25.60	16.60	9.60	3.25	34.676	Ⅸc
Ia	A	1	R6-82	8		01-15		二次加工のある剥片	頁岩	004	26.83	23.70	6.36	36.70	34.590	X
Ia	A	1	R6-82	9				剥片	頁岩	A	11.90	20.40	5.50	1.56	34.695	Ⅸc
Ia	A	1	R6-82	10				砕片	頁岩	A	8.80	14.10	4.60	0.42	34.587	X
Ia	A	1	R6-82	11		01-06		二次加工のある剥片	頁岩	016	32.28	18.40	7.92	3.39	34.573	X
Ia	A	1	R6-82	12	1	01-36	I-003	敲石	砂岩	012	18.90	92.90	12.20	16.61	34.478	X
Ia	A	1	R6-82	12	2	01-35	I-003	敲石	砂岩	012	39.10	56.80	33.40	51.00	34.478	X
Ia	A	1	R6-82	13		01-10		二次加工のある剥片	頁岩	011	18.87	18.33	4.89	1.49	34.496	Ⅸc
Ia	A	1	R6-82	14		01-12		二次加工のある剥片	頁岩	017	19.43	20.76	6.15	2.02	34.492	Ⅸc
Ia	A	1	R6-82	15				剥片	ガラス質黒色安山岩	001	28.30	37.20	9.30	6.84	34.523	Ⅸc
Ia	A	1	R6-82	16				剥片	頁岩	012	36.30	50.70	20.50	26.87	34.440	X
Ia	A	1	R6-82	17				剥片	頁岩	A	16.60	18.30	5.10	1.10	34.457	X
Ia	A	1	R6-82	18				砕片	頁岩	A	12.40	6.30	2.20	0.22	34.603	Ⅸc
Ia	A	1	R6-82	19				剥片	頁岩	020	26.50	17.50	5.30	3.00	34.622	Ⅸc
Ia	A	1	R6-82	20				剥片	頁岩	A	14.90	25.40	17.30	2.34	34.603	Ⅸc
Ia	A	1	R6-82	21				砕片	頁岩	A	14.60	16.00	2.70	0.57	34.596	Ⅸc
Ia	A	1	R6-82	22				砕片	頁岩	018	16.40	10.40	3.00	0.56	34.406	X
Ia	A	1	R6-82	23				剥片	頁岩	018	26.80	24.90	9.30	6.50	34.432	X
Ia	A	1	R6-82	24		01-17		二次加工のある剥片	頁岩	012	41.92	28.89	14.45	18.30	34.416	X
Ia	A	1	R6-82	25				砕片	頁岩	A	7.00	11.00	3.40	0.36	34.377	X
Ia	A	1	R6-82	26				剥片	頁岩	A	21.80	36.00	8.40	7.67	34.426	X
Ia	A	1	R6-82	27				剥片	頁岩	A	30.20	15.70	4.50	2.54	34.390	X
Ia	A	1	R6-82	28				剥片	頁岩	A	16.30	10.80	19.20	2.18	34.376	X
Ia	A	1	R6-82	29		01-23		二次加工のある剥片	頁岩	014	65.18	42.14	16.84	48.00	34.297	X
Ia	A	1	R6-82	30		01-31	I-001	石核	頁岩	001	37.32	66.61	36.66	87.00	34.337	X
Ia	A	1	R6-82	31				剥片	頁岩	A	39.80	26.00	12.30	8.93	34.392	X
Ia	A	1	R6-82	32				剥片	ガラス質黒色安山岩	003	22.30	13.60	5.00	1.65	34.343	X
Ia	A	1	R6-82	33				剥片	頁岩	A	11.40	25.10	7.30	2.92	34.400	X
Ia	A	1	R6-82	34				砕片	頁岩	A	12.80	6.70	4.20	0.31	34.368	X
Ia	A	1	R6-82	35		01-05		楔形石器	頁岩	011	32.38	28.94	6.66	4.27	34.382	X
Ia	A	1	R6-82	36				砕片	頁岩	A	10.50	15.50	3.70	0.64	34.303	X
Ia	A	1	R6-82	37				砕片	頁岩	A	9.00	7.50	5.60	0.41	34.413	X
Ia	A	1	R6-82	38				剥片	頁岩	A	12.80	16.70	16.00	2.98	34.361	X
Ia	A	1	R6-82	39				砕片	頁岩	A	13.40	15.50	4.00	0.77	34.388	X
Ia	A	1	R6-82	40				砕片	頁岩	A	14.60	8.20	6.50	0.71	34.403	X
Ia	A	1	R6-82	41				砕片	頁岩	A	10.80	7.80	1.70	0.17	34.380	X
Ia	A	1	R6-82	42				礫	チャート	006	16.50	18.40	9.50	4.00	34.364	X
Ia	A	1	R6-82	43				砕片	頁岩	A	11.20	5.90	1.50	0.07	34.307	X
Ia	A	1	R6-82	44				砕片	頁岩	004	11.50	19.20	1.90	0.21	34.365	X
Ia	A	1	R6-82	45				剥片	頁岩	A	10.30	25.50	2.00	0.74	34.332	X
Ia	A	1	R6-82	46				剥片	ガラス質黒色安山岩	002	20.90	24.20	4.10	2.55	34.325	X
Ia	A	1	R6-82	47				剥片	頁岩	A	33.00	10.30	8.50	3.03	34.300	X
Ia	A	1	R6-82	48				礫	チャート	008	14.80	20.80	10.00	3.00	34.270	X
Ia	A	1	R6-83	1				礫	チャート	002	41.60	43.20	18.70	54.00	34.670	Ⅸc
Ia	A	1	R6-83	3				礫	玉髄（メノウ含む）	002	23.40	16.50	12.40	6.00	34.534	X
Ia	A	1	R6-83	4		01-27		石核	頁岩	001	44.00	47.34	25.57	50.88	34.610	X
Ia	A	1	R6-83	5				剥片	頁岩	A	21.80	17.50	7.40	1.95	34.684	Ⅸc
Ia	A	1	R6-83	6				剥片	頁岩	A	34.60	22.80	19.60	5.03	34.486	Ⅸc
Ia	A	1	R6-83	7				剥片	頁岩	006	25.00	18.20	5.90	2.49	34.463	X
Ia	A	1	R6-91	1				剥片	頁岩	004	19.20	21.10	4.60	1.80	34.858	Ⅸc
Ia	A	1	R6-91	2				剥片	頁岩	018	18.70	24.60	9.50	4.98	34.938	Ⅸa
Ia	A	1	R6-91	3				剥片	頁岩	A	9.20	17.10	6.00	0.95	34.750	Ⅸc
Ia	A	1	R6-91	4		01-11		楔形石器	頁岩	002	29.88	23.31	6.60	4.57	35.176	Ⅶ
Ia	A	1	R6-91	5				剥片	頁岩	010	8.00	19.70	6.80	2.24	35.135	Ⅶ
Ia	A	1	R6-91	6		01-08		楔形石器	頁岩	007	40.23	40.68	11.44	10.42	35.184	Ⅶ
Ia	A	1	R6-91	7		01-16		二次加工のある剥片	頁岩	002	36.20	30.37	5.84	5.94	35.185	Ⅶ
Ia	A	1	R6-91	8				剥片	頁岩	003	33.70	47.60	9.80	12.59	34.995	Ⅸa
Ia	A	1	R6-91	9				砕片	頁岩	004	5.80	10.60	1.30	0.13	35.075	Ⅸa
Ia	A	1	R6-91	10				剥片	頁岩	A	15.80	24.00	6.30	2.17	34.692	Ⅸc
Ia	A	1	R6-91	11				剥片	頁岩	018	19.20	19.20	3.90	1.32	34.477	X
Ia	A	1	R6-91	12				剥片	頁岩	002	15.10	26.20	4.30	2.23	35.093	Ⅶ
Ia	A	1	R6-91	13		01-20		二次加工のある剥片	頁岩	014	62.99	40.10	15.23	38.66	35.022	Ⅶ
Ia	A	1	R6-91	14				剥片	頁岩	002	9.00	24.50	1.40	0.39	35.123	Ⅶ
Ia	A	1	R6-91	15				剥片	頁岩	015	14.40	28.20	11.70	3.13	34.513	Ⅸc
Ia	A	1	R6-91	16				剥片	頁岩	004	14.00	36.20	6.60	2.25	34.417	X
Ia	A	1	R6-91	17				剥片	頁岩	A	11.50	25.20	5.00	1.84	34.423	X
Ia	A	1	R6-91	18		01-01		ナイフ形石器	頁岩	004	30.51	19.13	5.20	2.09	34.468	X
Ia	A	1	R6-91	19		01-30		敲石	珪質頁岩	002	65.86	45.20	35.80	153.00	34.365	X
Ia	A	1	R6-91	20				砕片	頁岩	A	14.40	13.00	7.00	0.94	34.386	X
Ia	A	1	R6-91	21		01-04		二次加工のある剥片	頁岩	006	30.43	18.23	6.78	2.92	34.369	X
Ia	A	1	R6-91	22				剥片	頁岩	021	30.80	27.90	12.30	8.22	34.364	X
Ia	A	1	R6-91	23				剥片	頁岩	004	14.60	28.60	11.00	3.36	34.396	X
Ia	A	1	R6-91	24				砕片	頁岩	A	17.30	15.40	7.80	1.98	34.375	X
Ia	A	1	R6-91	25				剥片	頁岩	012	43.90	20.90	31.40	10.00	34.353	X
Ia	A	1	R6-91	28		01-02		ナイフ形石器	頁岩	005	24.94	15.16	5.99	1.73	34.325	X
Ia	A	1	R6-92	1				剥片	頁岩	018	18.20	20.00	6.10	1.74	34.830	Ⅸc
Ia	A	1	R6-92	2				砕片	頁岩	A	13.70	16.00	4.40	1.02	34.860	Ⅸc
Ia	A	1	R6-92	3				砕片	頁岩	A	12.60	23.40	5.50	2.39	35.169	Ⅶ
Ia	A	1	R6-92	4				砕片	頁岩	A	15.80	25.50	6.20	2.11	35.089	Ⅸa
Ia	A	1	R6-92	5				砕片	玉髄（メノウ含む）	001	24.30	10.20	5.10	1.11	35.088	Ⅶ
Ia	A	1	R6-92	6				砕片	頁岩	A	18.60	6.50	4.30	0.44	35.170	Ⅶ

第89表　第Ⅰ文化層石器属性表（2）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ia	A	1	R6-92	7				剥片	珪質頁岩	004	24.40	16.60	7.50	2.58	35.195	Ⅶ
Ia	A	1	R6-92	8				剥片	珪質頁岩	004	18.90	17.70	4.80	0.99	35.019	Ⅸa
Ia	A	1	R6-92	9		01-29		敲石	チャート	001	79.96	64.26	47.98	297.00	35.146	Ⅶ
Ia	A	1	R6-92	10				剥片	珪質頁岩	004	14.20	14.90	3.90	0.81	35.180	Ⅶ
Ia	A	1	R6-92	11		01-14		二次加工のある剥片	珪質頁岩	004	51.81	39.20	10.14	18.48	35.162	Ⅶ
Ia	A	1	R6-92	12				剥片	珪質頁岩	002	9.20	17.10	5.20	2.42	35.139	Ⅶ
Ia	A	1	R6-92	13	2			剥片	フェルサイト質頁岩	001	9.20	17.10	2.30	0.42	35.078	Ⅸa
Ia	A	1	R6-92	13	1			剥片	珪質頁岩	012	22.80	23.60	7.20	3.97	35.078	Ⅸa
Ia	A	1	R6-92	14		01-21		二次加工のある剥片	珪質頁岩	013	47.61	35.77	24.28	28.66	35.052	Ⅸa
Ia	A	1	R6-92	15				剥片	珪質頁岩	002	12.00	18.70	6.00	1.60	35.155	Ⅶ
Ia	A	1	R6-92	16				剥片	珪質頁岩	010	21.70	9.30	3.50	0.94	35.173	Ⅶ
Ia	A	1	R6-92	17		01-24		微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩（メノウ含む）	001	62.82	37.99	9.97	21.08	35.088	Ⅸa
Ia	A	1	R6-92	18				剥片	珪質頁岩（メノウ含む）	001	13.00	12.20	3.00	0.54	35.173	Ⅶ
Ia	A	1	R6-92	19				剥片	珪質頁岩	012	36.60	19.50	5.50	3.22	34.570	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	20				剥片	珪質頁岩	A	14.80	20.30	6.00	1.79	34.627	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	21		01-09		二次加工のある剥片	珪質頁岩	011	19.58	19.70	6.62	1.96	34.664	Ⅸc
Ia	A	1	R6-92	22				剥片	珪質頁岩（メノウ含む）	001	18.20	12.70	4.30	1.08	34.577	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	23				剥片	珪質頁岩（メノウ含む）	002	21.30	30.00	7.30	4.46	34.593	Ⅸc
Ia	A	1	R6-92	24				剥片	珪質頁岩	A	14.70	21.00	5.40	1.41	35.107	Ⅶ
Ia	A	1	R6-92	25				剥片	珪石（珪質安山岩）	001	7.00	10.30	2.40	0.25	34.875	Ⅸa
Ia	A	1	R6-92	26				剥片	珪質頁岩	006	8.23	19.50	4.20	0.81	34.593	Ⅸc
Ia	A	1	R6-92	27				剥片	珪質頁岩	A	14.60	14.60	1.70	0.46	34.993	Ⅸa
Ia	A	1	R6-92	28	1	01-03		ナイフ形石器	珪質頁岩	011	26.60	13.90	9.60	2.26	34.510	Ⅸc
Ia	A	1	R6-92	28	2			剥片	珪質頁岩	A	19.00	26.30	9.20	3.42	34.676	Ⅸc
Ia	A	1	R6-92	29				剥片	珪質頁岩	004	9.00	19.00	3.90	0.55	34.734	Ⅸc
Ia	A	1	R6-92	30				微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩	004	20.80	22.30	4.80	2.06	34.472	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	31				剥片	珪質頁岩	002	32.20	27.80	4.40	3.74	35.104	Ⅶ
Ia	A	1	R6-92	32				剥片	珪質頁岩	A	13.90	21.60	7.50	2.93	34.680	Ⅸc
Ia	A	1	R6-92	33				剥片	珪質頁岩	009	9.40	19.30	5.50	1.31	34.527	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	34				剥片	珪質頁岩	010	10.00	15.50	1.50	0.26	34.621	Ⅸc
Ia	A	1	R6-92	35	2			剥片	珪質頁岩	A	11.40	13.80	5.20	1.00	34.450	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	35	1			剥片	珪質頁岩	004	15.80	19.10	3.40	1.08	34.450	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	36				剥片	珪質頁岩	A	9.90	14.20	4.80	0.88	34.505	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	37	1			剥片	珪質頁岩	A	28.70	33.90	8.50	6.64	34.460	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	37	2			剥片	珪質頁岩	A	17.40	23.70	5.60	1.83	34.460	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	38				剥片	珪質頁岩	011	26.60	13.90	9.60	2.26	34.510	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	39				剥片	珪質頁岩	015	27.80	30.00	11.20	10.07	34.476	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	40				剥片	珪質頁岩	A	21.80	10.10	6.90	1.27	34.455	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	41				剥片	珪質頁岩	015	7.90	22.80	5.90	1.73	34.454	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	42				剥片	珪質頁岩	A	11.80	16.40	2.40	0.55	34.472	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	43				剥片	珪質頁岩	A	5.00	11.70	4.70	1.16	34.808	Ⅸc
Ia	A	1	R6-92	44				剥片	珪質頁岩	A	29.20	35.60	8.00	8.78	34.440	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	45				剥片	珪質頁岩	A	21.50	14.00	3.70	1.04	34.436	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	46				剥片	珪質頁岩	A	22.20	28.20	7.40	3.44	34.450	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	47				剥片	珪質頁岩	018	7.00	10.40	1.80	0.19	34.478	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	48				剥片	珪質頁岩	004	20.20	8.00	2.80	0.44	34.700	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	49				剥片	珪質頁岩	A	28.20	15.40	5.20	2.38	34.465	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	50				剥片	珪質頁岩	005	26.00	26.00	4.20	3.94	34.515	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	51				剥片	珪質頁岩	005	28.50	26.80	7.80	4.55	34.465	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	52				剥片	珪質頁岩	012	45.80	36.50	13.50	30.97	34.352	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	53				剥片	珪質頁岩	018	10.30	13.60	3.00	0.34	34.400	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	54				剥片	珪質頁岩	018	19.20	14.20	3.30	0.86	34.403	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	55				剥片	珪質頁岩	018	12.30	19.10	5.50	0.68	34.404	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	56				礫	チャート	005	12.70	9.60	4.80	1.00	34.406	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	57				剥片	珪質頁岩	A	22.70	24.50	8.50	4.57	34.404	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	58		01-26		石核	珪質頁岩	012	50.97	36.08	17.89	28.15	34.400	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	59				剥片	珪質頁岩	012	24.60	35.30	11.70	9.50	34.408	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	60				剥片	珪質頁岩	A	17.60	20.80	6.10	1.64	34.393	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	61				剥片	珪質頁岩	018	12.40	23.40	4.10	1.64	34.418	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	62				剥片	珪質頁岩	004	29.60	20.40	8.80	5.04	34.420	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	63				剥片	珪質頁岩	009	9.20	21.80	7.90	1.44	34.432	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	64				剥片	珪質頁岩	A	27.60	16.00	5.60	3.05	34.508	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	65				剥片	珪質頁岩	004	6.00	16.00	3.40	0.32	34.408	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	66				剥片	珪質頁岩	A	18.20	29.10	6.80	2.73	34.448	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	67				剥片	珪質頁岩	A	12.50	14.80	3.30	0.63	34.437	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	68				剥片	珪質頁岩	004	15.10	29.80	7.60	4.23	34.418	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	69				剥片	珪質頁岩	004	23.40	31.80	7.50	5.70	34.362	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	70		01-33	I-001	石核	珪質頁岩	001	62.11	55.33	38.55	122.00	34.356	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	71				剥片	珪質頁岩	004	12.50	14.00	4.80	0.54	34.347	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	72				剥片	珪質頁岩	A	25.10	35.00	16.80	10.87	34.360	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	73				剥片	珪質頁岩	A	11.20	13.60	4.40	0.66	34.338	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	74				剥片	珪質頁岩	A	17.10	24.20	7.70	2.76	34.340	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	75				剥片	珪質頁岩	A	8.80	20.00	2.90	0.44	34.365	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	76				剥片	珪質頁岩	A	13.50	18.00	5.60	1.34	34.360	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	77				剥片	珪質頁岩	A	21.60	35.50	9.70	6.94	34.360	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	78				剥片	珪質頁岩	A	27.60	24.50	5.20	5.74	34.348	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	79				剥片	珪質頁岩	A	21.20	32.00	10.80	4.62	34.347	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	80				剥片	珪質頁岩	A	13.40	15.20	4.10	0.76	34.398	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	81				剥片	珪質頁岩	004	20.90	14.00	5.60	1.89	34.327	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	82				剥片	珪質頁岩	A	14.50	20.80	6.40	1.68	34.337	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	83				剥片	珪質頁岩	A	16.40	20.80	8.00	2.74	34.364	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	84				剥片	珪質頁岩	018	10.30	19.50	4.80	0.98	34.337	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	85		01-28		石核	頁岩	002	56.03	48.38	25.98	76.00	34.332	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	86				剥片	珪質頁岩	A	32.70	24.10	11.10	8.87	34.378	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	87		01-32	I-001	剥片	珪質頁岩	001	50.05	36.73	21.95	20.00	34.337	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	88				剥片	珪質頁岩	004	12.20	15.30	3.00	0.51	34.358	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	89				剥片	珪質頁岩	018	14.60	10.20	12.00	0.55	34.330	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	90				剥片	珪質頁岩	A	5.60	8.00	1.80	0.07	34.338	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	91				剥片	珪質頁岩	A	14.80	12.80	3.30	0.48	34.359	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	92				剥片	珪質頁岩	A	4.80	11.50	2.40	0.19	34.348	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	93				剥片	珪質頁岩	004	18.30	33.60	12.20	5.94	34.337	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	94				剥片	珪質頁岩	004	28.50	19.20	4.80	2.33	34.337	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	95		01-25		石核	珪質頁岩	006	29.87	49.21	20.39	26.13	34.300	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	96				剥片	珪質頁岩	004	7.30	10.10	3.10	0.28	34.344	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	97				剥片	珪質頁岩	A	8.50	5.00	2.10	0.28	34.353	Ⅹ
Ia	A	1	R6-92	98				剥片	珪質頁岩	A	14.00	9.50	4.20	0.38	34.334	Ⅹ

第90表　第Ⅰ文化層石器属性表（3）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ia	A	1	R6-92	99				砕片	頁岩	018	16.90	16.70	7.00	1.49	34.308	X
Ia	A	1	R6-92	100				砕片	頁岩	A	10.60	12.00	2.20	0.49	34.313	X
Ia	A	1	R6-92	101				剥片	頁岩	A	19.60	19.30	11.10	4.78	34.284	X
Ia	A	1	R6-92	102				剥片	頁岩	004	23.40	32.00	7.50	4.11	34.283	X
Ia	A	1	R6-92	103				剥片	頁岩	006	23.00	29.10	6.30	4.99	34.300	X
Ia	A	1	R6-92	104				剥片	ガラス質黒色安山岩	001	9.10	19.10	3.00	0.58	34.303	X
Ia	A	1	R6-92	105				剥片	頁岩	004	15.80	26.80	8.80	2.61	34.270	X
Ia	A	1	R6-93	1				砕片	頁岩	018	10.70	18.40	2.00	0.29	34.968	Ⅸa
Ia	A	1	R6-93	2				剥片	頁岩	A	27.50	13.20	5.40	1.77	34.999	Ⅸa
Ia	A	1	R6-93	3				剥片	頁岩	A	22.20	18.10	5.00	1.72	35.084	Ⅸa
Ia	A	1	R6-93	4				剥片	頁岩	A	30.40	24.60	6.80	6.23	35.207	Ⅶ
Ia	A	1	R6-93	5				砕片	頁岩	018	12.00	17.50	1.12	0.12	35.113	Ⅶ
Ia	A	1	R6-93	6				剥片	頁岩	015	51.50	35.70	17.50	26.95	34.487	X
Ia	A	1	R6-93	8				礫	頁岩	A	18.00	18.00	7.50	1.97	34.400	X
Ia	A	1	R6-93	9				剥片	頁岩	A	22.90	14.90	6.10	2.07	34.425	X
Ia	A	1	R6-93	10				剥片	頁岩	004	26.50	14.90	6.00	2.17	34.375	X
Ia	A	1	R6-93	12		01-40	Ⅰ-002	剥片	ホルンフェルス	002	26.50	14.10	4.90	1.71	34.342	X
Ia	A	1	R6-93	13				礫	チャート	004	16.40	11.30	4.20	1.19	34.320	X
Ia	A	1	R7-01	1		01-22		微細剥離痕のある剥片	ホルンフェルス	001	52.41	39.81	14.73	24.37	34.974	Ⅸa
Ia	A	1	R7-01	2				微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩	003	40.00	24.70	8.20	6.85	35.087	Ⅶ
Ia	A	1	R7-01	3				剥片	頁岩	A	11.70	18.80	4.30	0.62	34.987	Ⅸa
Ia	A	1	R7-01	4				剥片	頁岩	002	20.00	7.00	3.50	0.63	35.104	Ⅶ
Ia	A	1	R7-01	5				剥片	頁岩	004	21.20	21.30	2.50	0.65	35.198	Ⅶ
Ia	A	1	R7-01	6				剥片	頁岩	002	17.50	16.90	2.70	0.96	35.206	Ⅶ
Ia	A	1	R7-01	7				剥片	頁岩	002	21.60	18.30	4.70	1.59	35.170	Ⅶ
Ia	A	1	R7-01	8		01-39	Ⅰ-002	剥片	ホルンフェルス	002	79.10	45.50	16.40	100.00	35.087	Ⅶ
Ia	A	1	R7-01	9				砕片	トロトロ石（安山岩）	001	6.60	7.20	1.50	0.12	34.688	Ⅸc
Ia	A	1	R7-01	10				剥片	珪質頁岩	006	17.50	10.60	4.80	0.68	34.365	X
Ia	A	1	R7-01	11		01-19		二次加工のある剥片	珪質頁岩	002	29.72	28.07	4.75	2.28	35.090	Ⅸa
Ia	A	1	R7-01	12				剥片	珪質頁岩	004	14.30	23.40	3.00	0.86	35.105	Ⅶ
Ia	A	1	R7-01	13				剥片	珪質頁岩	004	16.90	16.20	4.30	1.46	34.630	Ⅸc
Ia	A	1	R7-01	14				砕片	トロトロ石（安山岩）	001	14.20	7.60	4.80	0.64	34.938	Ⅸa
Ia	A	1	R7-02	1				剥片	珪質頁岩	002	10.80	24.30	5.00	1.20	34.954	Ⅸa
Ia	A	1	R7-02	2				剥片	珪質頁岩	002	29.10	15.60	6.30	2.24	35.077	Ⅸa
Ia	A	1	R7-02	3				剥片	珪質頁岩	002	14.90	20.10	5.90	1.98	35.120	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	4	2			剥片	珪質頁岩	018	6.80	25.90	9.50	1.62	35.156	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	4	1			剥片	珪質頁岩	008	24.90	18.50	5.40	2.17	35.156	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	5				微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩	007	31.20	18.90	5.80	3.19	35.188	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	6				剥片	珪質頁岩	A	18.50	12.60	6.60	1.20	35.210	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	7				砕片	珪質頁岩	004	13.00	4.20	1.40	0.18	35.195	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	8				砕片	珪質頁岩	004	14.60	7.70	4.00	0.27	35.169	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	9				微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩	A	12.70	16.10	9.70	2.39	35.168	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	10				砕片	珪質頁岩	A	13.50	9.00	3.20	0.27	35.120	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	11				微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩	011	24.00	23.20	4.10	2.60	35.139	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	12				砕片	珪質頁岩	018	10.10	9.00	1.50	0.21	35.205	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	14				剥片	珪質頁岩	003	14.20	12.20	2.40	0.51	35.167	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	15				剥片	珪質頁岩	004	12.36	33.99	9.48	4.38	35.202	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	21				砕片	珪質頁岩	A	14.10	7.50	1.70	0.18	35.109	Ⅸa
Ia	A	1	R7-02	22				剥片	ガラス質黒色安山岩	004	16.70	22.50	5.10	1.76	35.192	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	23				剥片	珪質頁岩	005	24.30	20.40	4.80	1.99	34.458	X
Ia	A	1	R7-02	24				礫	チャート	003	44.40	28.90	17.80	28.00	34.730	Ⅸc
Ia	A	1	R7-02	25		01-38	Ⅰ-002	剥片	ホルンフェルス	002	47.20	27.60	13.20	25.00	35.113	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	26				剥片	珪質頁岩	004	13.30	12.70	5.80	1.63	35.037	Ⅸa
Ia	A	1	R7-02	27				剥片	珪質頁岩	002	17.40	28.80	5.10	2.75	35.118	Ⅸ
Ia	A	1	R7-02	28				剥片	珪質頁岩	018	23.20	18.10	7.80	3.99	35.099	Ⅸ
Ia	A	1	R7-02	29				砕片	珪質頁岩	004	14.20	17.60	1.80	0.17	35.090	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	30				剥片	珪質頁岩	019	22.20	34.50	24.80	15.77	35.130	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	31				剥片	珪質頁岩	003	47.60	25.40	14.40	17.27	34.953	Ⅸa
Ia	A	1	R7-02	32	1			剥片	珪質頁岩	009	24.80	34.20	13.90	9.72	35.144	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	32	2			砕片	頁岩	004	6.50	21.60	4.20	0.56	35.144	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	33				剥片	珪質頁岩	004	13.20	21.40	4.40	1.46	35.136	Ⅸa
Ia	A	1	R7-02	34		01-07		楔形石器	珪質頁岩	007	30.93	25.39	6.49	3.60	35.145	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	35				剥片	珪質頁岩	A	14.50	10.30	3.80	0.60	35.127	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	36				礫	頁岩	003	29.30	27.20	12.90	15.00	35.118	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	37				剥片	珪質頁岩	012	30.60	16.50	5.00	3.41	35.070	Ⅸa
Ia	A	1	R7-02	38				剥片	珪質頁岩	A	16.20	19.30	5.10	2.00	35.127	Ⅶ
Ia	A	1	R7-02	39				剥片	珪質頁岩	006	19.80	17.20	5.80	2.21	34.412	X
Ia	A	1	R7-03	1				剥片	珪質頁岩	009	19.00	25.70	48.20	2.42	34.965	Ⅸa
Ia	A	1	R7-03	16	2			剥片	珪質頁岩	A	19.30	5.60	4.60	0.35	34.427	X
Ia	A	1	R7-03	16	1			礫	珪質頁岩	A	13.60	8.20	5.10	0.79	34.427	X
Ia	A	1	R7-03	18				礫	砂岩	002	25.10	16.80	6.10	3.44	34.318	X
Ia	A	1	R7-03	20				礫	流紋岩	002	33.20	19.80	11.80	8.00	34.339	X
Ia	A	1	R7-03	21				礫	砂岩	003	21.40	19.00	13.20	7.00	34.285	X
Ia	A	2	R7-02	16			Ⅰ-007	剥片	珪質頁岩	025	20.30	19.20	8.50	2.64	34.641	Ⅸc
Ia	A	2	R7-02	17				剥片	珪質頁岩	007	12.60	23.20	8.60	2.96	34.622	Ⅸc
Ia	A	2	R7-02	18		02-28	Ⅰ-004	剥片	珪質頁岩	024	16.50	28.20	7.50	1.96	34.645	Ⅸc
Ia	A	2	R7-02	19				剥片	頁岩	006	14.20	21.10	3.20	1.12	34.428	X
Ia	A	2	R7-02	20		02-22	Ⅰ-010	剥片	珪質頁岩	024	13.90	25.20	3.00	0.97	34.577	X
Ia	A	2	R7-02	40				剥片	珪質頁岩	009	15.30	16.60	4.50	1.37	34.310	X
Ia	A	2	R7-03	6				剥片	珪質頁岩	004	19.59	18.61	6.28	1.27	34.729	Ⅸc
Ia	A	2	R7-03	8				剥片	珪質頁岩	006	28.50	13.80	4.80	1.68	34.758	Ⅸa
Ia	A	2	R7-03	14				礫	砂岩	001	36.40	15.10	12.40	9.80	34.593	X
Ia	A	2	R7-11	1				剥片	珪質頁岩	030	19.80	18.20	4.80	1.74	34.615	Ⅸc
Ia	A	2	R7-11	2				剥片	珪質頁岩	026	21.90	18.20	5.30	1.84	34.680	Ⅸc
Ia	A	2	R7-11	3				剥片	珪質頁岩	026	17.50	25.50	8.70	3.54	34.525	X
Ia	A	2	R7-11	4		02-06		二次加工のある剥片	玉髄（メノウ含む）	010	21.00	17.59	4.75	1.14	34.484	X
Ia	A	2	R7-11	5				剥片	珪質頁岩	023	25.50	18.80	5.30	2.44	34.806	Ⅸc
Ia	A	2	R7-12	1		02-08		二次加工のある剥片	珪質頁岩	023	35.95	32.68	7.91	4.33	34.748	Ⅸc
Ia	A	2	R7-12	2				微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩	026	17.40	15.00	3.00	0.88	34.368	X
Ia	A	2	R7-12	3				剥片	珪質頁岩	027	22.40	19.50	5.10	1.56	34.830	Ⅸc
Ia	A	2	R7-12	4				剥片	珪質頁岩	026	17.00	15.00	5.90	0.91	34.879	Ⅸc
Ia	A	2	R7-12	5				剥片	珪質頁岩	027	30.40	27.30	11.50	11.62	34.815	Ⅸc
Ia	A	2	R7-12	6		02-05		台形様石器	ガラス質黒色安山岩	005	21.26	10.49	4.45	0.97	35.084	Ⅸa
Ia	A	2	R7-12	7				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	23.90	15.80	5.80	1.53	35.219	Ⅶ
Ia	A	2	R7-12	8				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	41.50	27.70	7.70	7.97	35.250	Ⅶ
Ia	A	2	R7-12	9				剥片	珪質頁岩	026	36.10	19.70	8.30	4.88	34.614	Ⅸc

第91表　第Ⅰ文化層石器属性表（4）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ia	A	2	R7-12	10		02-27	I-004	剥片	嶺岡産珪質頁岩	024	29.70	18.90	10.20	4.52	34.648	IXc
Ia	A	2	R7-12	11			I-008	剥片	嶺岡産珪質頁岩	022	31.40	22.60	5.00	3.26	34.650	IXc
Ia	A	2	R7-12	12		02-12		石核	ガラス質黒色安山岩	005	26.22	31.37	27.95	21.46	34.675	IXc
Ia	A	2	R7-12	13	1	02-13		石核	ガラス質黒色安山岩	005	29.17	36.85	26.79	35.93	34.776	IXc
Ia	A	2	R7-12	13	2	01-41	I-002	剥片	ホルンフェルス	002	86.97	61.30	16.27	99.55	34.776	IXc
Ia	A	2	R7-12	14				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	22.70	8.60	4.00	0.52	34.811	IXc
Ia	A	2	R7-12	15				砕片	嶺岡産珪質頁岩	029	11.60	18.90	1.70	0.37	34.667	IXc
Ia	A	2	R7-12	16				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	19.40	9.60	3.60	0.66	34.658	IXc
Ia	A	2	R7-12	17		02-17	I-006	剥片	嶺岡産珪質頁岩	022	36.00	20.80	6.80	3.84	34.662	IXc
Ia	A	2	R7-12	18		02-02		台形様石器	嶺岡産珪質頁岩	025	102.83	15.23	6.37	1.86	34.765	IXc
Ia	A	2	R7-12	19				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	22.80	14.00	9.80	2.40	34.746	IXc
Ia	A	2	R7-12	20				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	12.20	20.40	5.20	1.05	34.633	IXc
Ia	A	2	R7-12	21		02-09		石核	頁岩	005	51.95	61.67	13.43	52.28	34.500	X
Ia	A	2	R7-12	22				砕片	嶺岡産珪質頁岩	025	5.50	11.70	2.30	0.12	34.550	X
Ia	A	2	R7-12	23			I-007	剥片	嶺岡産珪質頁岩	025	22.40	14.80	5.40	1.77	34.573	IXc
Ia	A	2	R7-12	24				剥片	嶺岡産珪質頁岩	026	19.00	9.00	4.60	0.59	34.788	IXc
Ia	A	2	R7-12	25				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	21.20	14.30	6.60	1.49	34.644	Ⅶ
Ia	A	2	R7-12	26			I-008	剥片	嶺岡産珪質頁岩	022	27.70	11.00	3.20	1.38	35.194	Ⅶ
Ia	A	2	R7-12	27				砕片	流紋岩	003	11.70	8.10	2.20	0.33	34.455	X
Ia	A	2	R7-12	28				砕片	嶺岡産珪質頁岩	026	10.30	17.40	3.10	0.61	34.597	IXc
Ia	A	2	R7-12	29				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	25.70	16.30	8.70	3.12	34.608	IXc
Ia	A	2	R7-12	30				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	25.90	13.20	4.60	1.70	34.700	IXc
Ia	A	2	R7-12	31				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	27.40	18.10	5.30	3.38	34.794	IXc
Ia	A	2	R7-12	32				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	40.30	25.60	8.40	6.52	34.700	IXc
Ia	A	2	R7-12	33				砕片	ガラス質黒色安山岩	005	16.20	12.80	2.00	0.46	34.506	X
Ia	A	2	R7-12	34				砕片	ガラス質黒色安山岩	005	19.30	11.80	4.30	0.68	34.536	X
Ia	A	2	R7-12	35				砕片	流紋岩	003	13.90	12.50	2.30	0.39	34.477	X
Ia	A	2	R7-12	36				剥片	嶺岡産珪質頁岩	026	22.00	14.20	8.80	3.17	34.730	IXc
Ia	A	2	R7-12	37				砕片	嶺岡産珪質頁岩	031	10.80	15.80	3.70	0.50	34.648	IXc
Ia	A	2	R7-12	38		02-30	I-004	石核	嶺岡産珪質頁岩	024	41.99	47.66	19.35	35.37	34.637	IXc
Ia	A	2	R7-12	39				剥片	嶺岡産珪質頁岩	032	24.00	20.50	6.10	3.44	34.625	X
Ia	A	2	R7-12	40				剥片	嶺岡産珪質頁岩	031	17.70	7.10	3.10	0.73	34.617	X
Ia	A	2	R7-12	41				砕片	嶺岡産珪質頁岩	026	15.80	11.30	3.00	0.47	34.743	IXc
Ia	A	2	R7-12	42				剥片	嶺岡産珪質頁岩	026	25.70	14.00	4.60	1.15	34.515	X
Ia	A	2	R7-12	43				砕片	ガラス質黒色安山岩	005	8.10	19.30	9.20	1.01	34.537	X
Ia	A	2	R7-12	44				剥片	嶺岡産珪質頁岩	062	35.90	39.60	8.10	12.30	34.613	X
Ia	A	2	R7-12	45		02-01		台形様石器	玉髄（メノウ含む）	010	31.35	15.95	5.14	1.60	34.725	IXc
Ia	A	2	R7-12	46				砕片	嶺岡産珪質頁岩	023	12.80	4.70	4.60	0.26	34.604	X
Ia	A	2	R7-12	47				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	41.10	34.60	10.80	12.52	34.513	X
Ia	A	2	R7-12	48				砕片	玉髄（メノウ含む）	012	19.80	5.80	2.80	0.37	34.675	IXc
Ia	A	2	R7-12	49				剥片	玉髄（メノウ含む）	011	27.80	23.30	7.70	4.96	34.587	X
Ia	A	2	R7-12	50				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	23.40	8.30	3.80	0.79	34.610	X
Ia	A	2	R7-12	51				剥片	嶺岡産珪質頁岩	026	16.30	11.20	2.70	0.59	34.734	IXc
Ia	A	2	R7-12	52				砕片	嶺岡産珪質頁岩	031	10.00	5.10	0.90	0.09	34.718	IXc
Ia	A	2	R7-12	53				剥片	珪質頁岩	009	31.30	24.80	6.50	5.96	34.538	IXc
Ia	A	2	R7-12	54				剥片	嶺岡産珪質頁岩	026	19.10	12.80	1.70	0.42	34.620	X
Ia	A	2	R7-12	55				砕片	嶺岡産珪質頁岩	026	7.90	11.10	1.90	0.18	34.528	X
Ia	A	2	R7-12	56				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	30.60	20.60	6.00	3.71	34.602	X
Ia	A	2	R7-12	57				砕片	ガラス質黒色安山岩	005	7.80	5.50	1.30	0.08	34.600	X
Ia	A	2	R7-12	58		02-21	I-010	剥片	嶺岡産珪質頁岩	024	28.10	13.20	9.50	3.25	34.678	X
Ia	A	2	R7-12	59				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	43.10	36.00	14.60	26.15	34.630	X
Ia	A	2	R7-12	60				砕片	嶺岡産珪質頁岩	023	14.00	12.00	4.80	0.56	34.655	X
Ia	A	2	R7-12	61		02-26	I-004	砕片	嶺岡産珪質頁岩	024	15.20	9.60	5.20	0.93	34.630	X
Ia	A	2	R7-12	62				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	14.00	19.50	4.70	1.03	34.720	X
Ia	A	2	R7-12	63		02-18	I-006	剥片	嶺岡産珪質頁岩	022	32.40	20.00	4.90	2.52	34.497	X
Ia	A	2	R7-12	64		02-04		台形様石器	ガラス質黒色安山岩	005	25.56	10.12	5.46	1.16	34.566	X
Ia	A	2	R7-12	65				砕片	チャート	010	16.60	11.30	3.30	0.58	34.618	X
Ia	A	2	R7-12	66				砕片	嶺岡産珪質頁岩	026	11.40	15.10	6.10	0.53	34.567	X
Ia	A	2	R7-12	67		02-29	I-004	剥片	嶺岡産珪質頁岩	024	30.60	16.90	6.40	2.81	34.610	X
Ia	A	2	R7-12	68				砕片	嶺岡産珪質頁岩	026	10.30	15.90	5.20	0.50	34.473	X
Ia	A	2	R7-12	69				剥片	嶺岡産珪質頁岩	026	29.20	20.30	7.40	3.17	34.520	X
Ia	A	2	R7-12	70				剥片	嶺岡産珪質頁岩	030	24.70	21.00	7.20	2.46	34.607	X
Ia	A	2	R7-12	71				剥片	嶺岡産珪質頁岩	030	19.70	15.50	4.00	1.68	34.665	X
Ia	A	2	R7-12	72				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	30.60	27.10	7.70	3.39	34.508	X
Ia	A	2	R7-12	73				剥片	嶺岡産珪質頁岩	033	16.90	17.90	2.80	0.91	34.500	X
Ia	A	2	R7-12	74				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	26.80	25.80	7.10	4.19	34.568	X
Ia	A	2	R7-12	75		02-31	I-004	石核	嶺岡産珪質頁岩	024	26.92	40.90	16.68	11.10	34.607	X
Ia	A	2	R7-12	76		02-03		台形様石器	嶺岡産珪質頁岩	028	30.79	14.05	4.27	1.38	34.636	X
Ia	A	2	R7-12	77				剥片	嶺岡産珪質頁岩	026	27.80	13.90	5.20	1.84	34.612	X
Ia	A	2	R7-12	78				礫	流紋岩	005	31.40	20.00	12.20	9.96	34.421	X
Ia	A	2	R7-12	79				剥片	嶺岡産珪質頁岩	026	26.50	14.40	8.50	4.16	34.356	X
Ia	A	2	R7-13	1				剥片	嶺岡産珪質頁岩	030	18.60	8.30	4.70	0.54	34.753	IXc
Ia	A	2	R7-13	2				砕片	嶺岡産珪質頁岩	031	8.10	16.90	5.20	0.95	34.862	IXc
Ia	A	2	R7-13	3		02-15		石核	砂岩	005	77.77	30.66	21.36	79.00	34.648	X
Ia	A	2	R7-13	4				砕片	嶺岡産珪質頁岩	030	12.60	13.20	1.60	0.34	34.627	X
Ia	A	2	R7-13	5				砕片	流紋岩	003	21.20	27.30	6.70	4.00	34.751	IXc
Ia	A	2	R7-13	6				砕片	嶺岡産珪質頁岩	031	18.10	7.20	4.20	0.45	34.955	IXa
Ia	A	2	R7-13	7				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	25.40	24.80	12.80	8.54	34.768	IXc
Ia	A	2	R7-13	8		02-10		石核	嶺岡産珪質頁岩	024	25.57	39.21	19.82	16.74	34.762	IXc
Ia	A	2	R7-13	9		02-07		二次加工のある剥片	ガラス質黒色安山岩	005	42.27	23.04	12.21	6.79	34.750	IXc
Ia	A	2	R7-13	10				二次加工のある礫	ホルンフェルス	003	23.20	13.00	5.70	2.43	34.462	X
Ia	A	2	R7-13	11		02-19	I-009	二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	023	36.41	19.09	5.59	2.17	34.796	IXc
Ia	A	2	R7-13	12				砕片	流紋岩	004	9.60	7.10	1.90	0.22	34.625	X
Ia	A	2	R7-13	25				砕片	ガラス質黒色安山岩	005	16.50	8.90	3.60	0.40	34.600	X
Ia	A	2	R7-13	26				礫	チャート	010	32.30	24.70	13.10	13.21	34.638	X
Ia	A	2	R7-13	27		02-25	I-004	剥片	嶺岡産珪質頁岩	024	23.40	18.30	7.20	2.08	34.776	IXc
Ia	A	2	R7-13	28		02-23	I-010	砕片	嶺岡産珪質頁岩	024	14.80	7.50	7.70	1.01	34.607	X
Ia	A	2	R7-13	29				砕片	黒曜石	001	10.70	12.20	3.20	0.36	34.492	X
Ia	A	2	R7-13	54				剥片	嶺岡産珪質頁岩	053	11.70	24.50	2.60	0.74	34.726	IXc
Ia	A	2	R7-13	67				剥片	嶺岡産珪質頁岩	026	15.30	34.70	6.20	2.79	34.492	X
Ia	A	2	R7-21	1				剥片	嶺岡産珪質頁岩	070	12.90	22.50	10.10	1.66	34.384	X
Ia	A	2	R7-22	1		02-24	I-010	石核	嶺岡産珪質頁岩	024	33.84	55.65	27.29	45.49	34.505	X
Ia	A	2	R7-22	2				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	23.80	18.90	5.70	2.83	34.705	IXc
Ia	A	2	R7-22	3		02-16		敲石	砂岩	004	40.98	36.29	25.38	44.00	34.715	IXc
Ia	A	2	R7-22	4				礫	チャート	011	45.00	35.60	11.00	26.00	34.644	X
Ia	A	2	R7-22	5				礫	ホルンフェルス	006	17.41	11.00	4.10	0.83	34.625	X

第92表　第Ⅰ文化層石器属性表（5）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ia	A	2	R7-22	6				砕片	頁岩質珪質岩	023	9.90	4.10	1.70	0.05	34.410	X
Ia	A	2	R7-22	7		02-20	I-009	剥片	頁岩質珪質岩	023	32.40	29.00	10.30	5.37	34.500	X
Ia	A	2	R7-22	8				砕片	頁岩質珪質岩	023	9.20	14.40	3.20	0.37	34.598	X
Ia	A	2	R7-23	1				砕片	頁岩質珪質岩	023	10.40	14.20	1.90	0.35	34.734	Ⅸc
Ia	A	2	R7-23	2				剥片	ガラス質黒色安山岩	005	21.50	14.10	6.50	1.93	35.215	Ⅶ
Ia	A	2	R7-23	3		02-14		敲石	玉髄（メノウ含む）	003	42.42	55.28	29.33	84.00	34.764	X
Ia	A	2	R7-23	4				砕片	頁岩質珪質岩	030	12.70	13.20	4.40	0.76	34.596	Ⅸc
Ia	A	2	R7-23	5				剥片	チャート	009	23.00	12.60	7.20	2.87	34.755	Ⅸc
Ia	A	2	R7-23	6		02-11		石核	頁岩質珪質岩	022	24.04	24.90	28.19	18.92	34.552	X
Ia	A	2	R7-32	1				剥片	頁岩質珪質岩	026	22.86	12.88	10.65	2.43	34.407	X
Ia	A	3	R6-93	7				砕片	チャート	013	18.20	9.30	4.00	0.66	34.485	X
Ia	A	3	R6-93	11				礫	チャート	017	19.40	6.00	10.60	4.00	34.328	X
Ia	A	3	R7-03	2				砕片	頁岩質珪質岩	062	16.80	13.00	2.80	0.51	34.608	X
Ia	A	3	R7-03	3			I-016	剥片	頁岩質珪質岩	040	15.00	15.60	6.20	2.64	34.758	Ⅸc
Ia	A	3	R7-03	4				剥片	頁岩質珪質岩	062	13.80	23.60	10.40	1.36	34.791	Ⅸc
Ia	A	3	R7-03	5				剥片	頁岩質珪質岩	064	15.80	16.90	11.00	3.14	35.032	Ⅸa
Ia	A	3	R7-03	7				礫	砂岩	006	12.50	8.80	2.60	0.44	35.197	Ⅶ
Ia	A	3	R7-03	9				剥片	頁岩質珪質岩	062	33.00	20.00	16.00	312.00	34.716	Ⅸa
Ia	A	3	R7-03	10	1			礫	頁岩質珪質岩	062	12.90	5.50	4.90	0.48	34.484	Ⅸa
Ia	A	3	R7-03	11				礫	チャート	016	17.90	19.00	7.80	38.50	34.600	X
Ia	A	3	R7-03	12		03-58	I-026	楔形石器	頁岩質珪質岩	050	51.90	38.07	16.83	23.73	34.673	X
Ia	A	3	R7-03	13				剥片	頁岩質珪質岩	057	20.50	14.30	2.00	0.53	34.824	Ⅸc
Ia	A	3	R7-03	15				剥片	頁岩質珪質岩	062	27.60	19.70	5.00	1.97	34.806	Ⅸc
Ia	A	3	R7-03	17		03-06		二次加工のある剥片	頁岩質珪質岩	064	21.04	14.79	5.39	1.27	34.433	X
Ia	A	3	R7-03	19				礫	チャート	018	16.40	9.80	3.40	0.73	34.356	X
Ia	A	3	R7-03	22				礫	砂岩	007	24.80	17.20	7.10	5.00	34.379	X
Ia	A	3	R7-04	1				剥片	頁岩質珪質岩	061	26.50	15.10	5.00	1.44	34.744	Ⅸc
Ia	A	3	R7-04	3				剥片	頁岩質珪質岩	054	22.20	19.40	5.50	2.45	34.870	Ⅸc
Ia	A	3	R7-04	4			I-011	剥片	頁岩質珪質岩	044	30.30	22.90	7.80	5.00	34.935	Ⅸc
Ia	A	3	R7-04	5			I-011	剥片	頁岩質珪質岩	044	28.20	21.80	11.00	4.90	34.758	Ⅸc
Ia	A	3	R7-04	6				剥片	頁岩質珪質岩	054	16.80	8.50	3.40	0.49	34.800	Ⅸc
Ia	A	3	R7-04	8				砕片	頁岩質珪質岩	058	12.10	7.40	1.20	0.17	34.660	X
Ia	A	3	R7-04	9				剥片	頁岩質珪質岩	054	14.60	19.80	5.50	2.51	34.574	X
Ia	A	3	R7-04	10		03-27	I-021	剥片	頁岩質珪質岩	046	32.40	19.00	10.20	3.28	34.620	X
Ia	A	3	R7-04	11				剥片	頁岩質珪質岩	053	11.60	12.20	2.70	0.57	34.537	X
Ia	A	3	R7-04	12				礫剥片	頁岩質珪質岩	062	10.20	10.80	9.40	1.29	34.560	X
Ia	A	3	R7-04	13			I-018	剥片	頁岩質珪質岩	045	36.40	16.50	6.80	3.76	34.434	X
Ia	A	3	R7-13	13		03-18		石核	玉髄（メノウ含む）	005	19.63	35.83	16.13	9.29	34.807	Ⅸc
Ia	A	3	R7-13	14				剥片	頁岩質珪質岩	058	25.00	18.50	6.80	3.20	34.819	Ⅸc
Ia	A	3	R7-13	15		03-16		石核	頁岩質珪質岩	064	35.23	26.65	13.58	12.06	34.817	Ⅸc
Ia	A	3	R7-13	16				剥片	頁岩質珪質岩	064	30.90	17.50	6.00	3.11	35.103	Ⅸa
Ia	A	3	R7-13	17				剥片	頁岩質珪質岩	054	23.50	27.10	8.60	4.13	34.830	Ⅸc
Ia	A	3	R7-13	18		03-36	I-013	剥片	頁岩質珪質岩	039	46.70	36.30	10.60	19.30	34.739	Ⅸc
Ia	A	3	R7-13	19				砕片	頁岩質珪質岩	058	13.70	7.10	2.40	0.21	34.657	X
Ia	A	3	R7-13	20				砕片	凝灰岩	001	10.40	9.40	1.70	0.10	34.749	Ⅸc
Ia	A	3	R7-13	21				剥片	頁岩質珪質岩	058	14.50	14.30	3.30	0.59	34.757	X
Ia	A	3	R7-13	22				礫	流紋岩	006	52.70	32.50	14.80	31.52	35.244	Ⅶ
Ia	A	3	R7-13	23		03-02		二次加工のある剥片	頁岩質珪質岩	061	26.75	22.56	6.08	2.21	34.845	Ⅸc
Ia	A	3	R7-13	24				剥片	頁岩質珪質岩	061	17.10	15.20	3.50	0.88	35.267	Ⅶ
Ia	A	3	R7-13	30				剥片	頁岩質珪質岩	064	32.20	23.30	9.80	6.02	34.657	X
Ia	A	3	R7-13	31				砕片	頁岩質珪質岩	058	12.50	9.30	3.70	0.31	34.774	Ⅸc
Ia	A	3	R7-13	32				剥片	頁岩質珪質岩	054	16.90	17.80	4.50	1.36	34.734	X
Ia	A	3	R7-13	33				剥片	頁岩質珪質岩	064	25.30	23.30	7.90	4.47	34.675	X
Ia	A	3	R7-13	34				剥片	頁岩質珪質岩	058	21.50	17.10	3.10	1.16	34.748	Ⅸc
Ia	A	3	R7-13	35		03-50	I-019	石核	頁岩質珪質岩	041	24.54	22.26	33.28	17.46	34.745	Ⅸc
Ia	A	3	R7-13	36				剥片	頁岩質珪質岩	064	31.50	30.70	8.60	4.39	34.764	Ⅸc
Ia	A	3	R7-13	37				剥片	頁岩質珪質岩	064	27.20	18.50	6.60	3.64	34.687	X
Ia	A	3	R7-13	38				剥片	頁岩質珪質岩	062	17.20	19.10	5.40	1.87	34.717	X
Ia	A	3	R7-13	39		03-07		台形様石器	頁岩質珪質岩	064	44.82	31.29	15.93	17.04	34.617	Ⅸc
Ia	A	3	R7-13	40		03-59	I-026	楔形石器	頁岩質珪質岩	050	47.93	26.86	11.61	13.72	34.738	X
Ia	A	3	R7-13	41		03-32	I-021	石核	頁岩質珪質岩	046	31.79	30.33	19.22	18.54	34.723	X
Ia	A	3	R7-13	42		03-24	I-027	剥片	玉髄（メノウ含む）	004	42.91	32.07	13.31	16.42	34.670	X
Ia	A	3	R7-13	43		03-45	I-019	剥片	頁岩質珪質岩	041	38.45	31.81	10.99	10.49	34.555	X
Ia	A	3	R7-13	44		03-10		二次加工のある剥片	頁岩質珪質岩	050	42.39	27.61	13.93	16.46	34.622	X
Ia	A	3	R7-13	45		03-12		二次加工のある剥片	頁岩質珪質岩	064	55.32	22.54	17.33	14.23	34.617	X
Ia	A	3	R7-13	46		03-21		敲石	頁岩質珪質岩	037	57.73	35.82	18.94	53.00	34.620	X
Ia	A	3	R7-13	47		03-08		二次加工のある剥片	ガラス質黒色安山岩	008	29.03	12.96	5.71	1.70	34.617	X
Ia	A	3	R7-13	48		03-17		石核	チャート	012	17.15	52.19	22.89	27.74	34.662	Ⅸc
Ia	A	3	R7-13	49		03-41	I-017	剥片	頁岩質珪質岩	043	64.73	56.41	16.11	52.45	34.630	Ⅸc
Ia	A	3	R7-13	50		03-15		石核	ガラス質黒色安山岩	006	33.11	60.26	21.82	47.42	34.674	Ⅸc
Ia	A	3	R7-13	51		03-25	I-027	石核	玉髄（メノウ含む）	004	26.03	24.63	18.40	13.92	34.704	Ⅸc
Ia	A	3	R7-13	52		03-33	I-024	二次加工のある剥片	頁岩質珪質岩	048	42.47	42.67	16.18	23.73	34.760	Ⅸc
Ia	A	3	R7-13	53				剥片	頁岩質珪質岩	064	24.00	13.10	5.00	1.35	34.716	Ⅸc
Ia	A	3	R7-13	55				剥片	頁岩質珪質岩	058	13.80	23.40	3.10	1.10	34.643	X
Ia	A	3	R7-13	56		03-22	I-023	剥片	頁岩質珪質岩	049	32.30	45.30	8.80	1.26	34.664	X
Ia	A	3	R7-13	57				礫	流紋岩	009	52.70	34.00	12.60	30.00	34.555	X
Ia	A	3	R7-13	58				剥片	流紋岩質頁岩	058	17.50	12.90	6.30	1.69	34.634	X
Ia	A	3	R7-13	59				砕片	頁岩質珪質岩	064	11.80	5.60	2.80	0.19	34.665	X
Ia	A	3	R7-13	60				剥片	頁岩質珪質岩	064	42.11	26.90	8.70	4.91	34.696	X
Ia	A	3	R7-13	61				砕片	頁岩質珪質岩	058	9.43	11.28	2.15	0.16	34.717	X
Ia	A	3	R7-13	62				剥片	頁岩質珪質岩	064	26.50	17.20	5.00	2.65	34.675	X
Ia	A	3	R7-13	63				剥片	頁岩質珪質岩	053	19.10	24.90	3.80	1.54	34.667	X
Ia	A	3	R7-13	64				剥片	ガラス質黒色安山岩	007	39.10	32.10	13.00	15.61	34.635	X
Ia	A	3	R7-13	65				剥片	頁岩質珪質岩	058	12.70	20.00	2.80	0.62	34.636	X
Ia	A	3	R7-13	66		03-46	I-019	剥片	頁岩質珪質岩	041	33.90	22.30	9.50	7.21	34.690	X
Ia	A	3	R7-13	68		03-47	I-019	剥片	頁岩質珪質岩	041	16.00	22.50	5.10	2.08	34.705	X
Ia	A	3	R7-13	69				砕片	頁岩質珪質岩	061	6.90	18.30	1.70	0.30	34.604	X
Ia	A	3	R7-13	70		03-44	I-019	剥片	頁岩質珪質岩	041	25.10	26.00	8.60	7.45	34.615	X
Ia	A	3	R7-13	71	2			砕片	流紋岩	007	9.40	13.20	5.10	0.59	34.568	X
Ia	A	3	R7-13	71	1			砕片	流紋岩質頁岩	054	12.50	17.00	5.70	1.22	34.568	X
Ia	A	3	R7-13	72		03-42	I-017	台形様石器	頁岩質珪質岩	043	54.96	28.37	12.66	16.14	34.579	X
Ia	A	3	R7-13	73		03-03		二次加工のある剥片	頁岩質珪質岩	056	26.39	20.78	6.43	2.60	34.470	X
Ia	A	3	R7-13	74				礫	チャート	015	35.60	25.50	16.00	20.00	34.395	X
Ia	A	3	R7-14	1				剥片	頁岩質珪質岩	058	23.60	35.10	6.50	5.13	34.816	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	2				剥片	頁岩質珪質岩	062	25.50	30.60	14.10	9.93	35.187	Ⅶ
Ia	A	3	R7-14	3				剥片	頁岩質珪質岩	054	14.80	20.60	4.40	1.11	35.185	Ⅶ

第93表　第Ⅰ文化層石器属性表（6）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ia	A	3	R7-14	4		03-56	I-015	石核	頁岩	038	36.00	46.70	16.20	23.41	34.855	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	5		03-28	I-021	二次加工のある剥片	頁岩	046	39.28	31.02	8.51	8.25	34.587	X
Ia	A	3	R7-14	6		03-05		二次加工のある剥片	頁岩	052	29.75	19.42	3.06	1.51	34.884	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	7				剥片	頁岩	056	17.80	24.60	3.10	3.10	34.710	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	8				剥片	頁岩	058	21.50	32.00	7.00	1.32	34.836	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	9				剥片	頁岩	060	30.60	22.20	8.30	1.12	34.850	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	10			I-022	剥片	頁岩	047	28.50	33.90	13.80	4.57	34.919	Ⅸa
Ia	A	3	R7-14	11		03-29	I-021	微細剥離痕のある剥片	頁岩	046	21.90	45.40	20.50	5.85	35.036	Ⅸa
Ia	A	3	R7-14	12				剥片	頁岩	059	29.89	33.34	11.87	12.00	34.679	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	13		03-20		石核	頁岩	035	45.58	44.42	27.02	56.10	34.711	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	14				剥片	頁岩	055	45.53	22.37	21.02	16.15	34.790	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	15				剥片	頁岩	061	18.30	4.50	1.30	0.09	34.861	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	16		03-40	I-017	剥片	頁岩	043	32.70	28.50	7.60	5.38	34.864	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	17				砕片	頁岩	058	8.10	15.00	6.30	0.64	34.838	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	18				砕片	流紋岩	007	17.10	21.20	6.70	1.98	35.069	Ⅸa
Ia	A	3	R7-14	19				砕片	頁岩	054	11.60	10.70	2.50	0.35	34.805	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	20				砕片	頁岩	061	14.50	15.50	5.20	1.15	34.833	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	21			I-016	剥片	頁岩	040	25.30	13.30	6.20	1.78	34.851	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	22			I-018	剥片	頁岩	045	18.30	62.00	14.00	13.16	34.687	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	23				剥片	頁岩	053	15.20	28.10	6.30	2.46	34.722	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	24		03-37	I-013	剥片	頁岩	039	46.20	29.30	11.90	11.02	34.685	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	25		03-52	I-012	石核	珪質頁岩	003	23.80	50.82	24.57	39.84	34.748	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	26				礫	ガラス質黒色安山岩	009	42.20	43.20	23.10	64.87	34.727	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	27		03-53	I-014	石核	チャート	014	28.00	34.80	23.10	27.54	34.702	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	28		03-13		石核	珪質頁岩	036	39.88	70.05	26.98	78.99	34.682	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	29				砕片	珪質頁岩	058	10.90	16.50	2.20	0.37	34.577	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	30				砕片	流紋岩	006	27.20	9.20	6.60	1.10	34.663	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	31				礫	チャート	019	28.70	9.70	4.50	1.13	34.780	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	32				剥片	珪質頁岩	058	17.10	21.40	5.40	1.10	34.754	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	33				剥片	珪質頁岩	062	40.70	41.10	11.90	15.46	34.695	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	34				剥片	珪質頁岩	062	22.20	22.50	5.70	2.49	34.775	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	35				剥片	珪質頁岩	061	22.00	14.20	2.40	0.80	34.788	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	36				礫	流紋岩	008	40.30	38.90	20.50	43.16	34.887	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	37				剥片	珪質頁岩	054	11.80	22.30	2.10	0.73	34.867	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	38			I-022	剥片	珪質頁岩	047	19.30	31.20	14.00	7.69	34.857	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	39		03-14		石核	珪質頁岩	051	40.30	36.41	14.23	16.89	34.758	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	40				剥片	珪質頁岩	058	21.50	15.00	5.50	0.81	34.800	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	41		03-04		二次加工のある剥片	珪質頁岩	054	28.76	23.37	5.61	3.14	34.647	X
Ia	A	3	R7-14	42		03-55	I-015	剥片	珪質頁岩	038	10.80	12.60	3.30	0.62	34.807	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	43				剥片	珪質頁岩	058	13.40	11.60	4.80	0.58	34.675	X
Ia	A	3	R7-14	44				剥片	珪質頁岩	064	18.80	12.40	4.20	0.88	34.677	X
Ia	A	3	R7-14	45		03-48	I-019	石核	珪質頁岩	041	33.09	36.30	25.52	32.43	34.680	X
Ia	A	3	R7-14	46				剥片	珪質頁岩	054	20.10	21.90	3.80	1.06	34.548	X
Ia	A	3	R7-14	47				剥片	珪質頁岩	054	21.10	12.40	5.00	1.30	34.745	X
Ia	A	3	R7-14	48				剥片	珪質頁岩	054	9.70	17.50	2.40	0.38	34.647	X
Ia	A	3	R7-14	49				砕片	珪質頁岩	062	4.30	10.40	1.00	0.02	34.762	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	50				剥片	珪質頁岩	054	14.50	25.60	2.80	0.97	34.630	X
Ia	A	3	R7-14	51				砕片	珪質頁岩	061	7.10	14.50	2.00	0.14	34.796	X
Ia	A	3	R7-14	52				剥片	珪質頁岩	060	13.60	18.40	2.90	0.53	34.844	Ⅸc
Ia	A	3	R7-14	53				砕片	珪質頁岩	061	7.20	18.20	4.50	0.48	34.727	X
Ia	A	3	R7-14	54				砕片	珪質頁岩	064	4.80	6.20	2.00	0.06	34.674	X
Ia	A	3	R7-14	55				砕片	珪質頁岩	062	10.00	10.60	3.30	0.42	34.663	X
Ia	A	3	R7-14	56		03-19		石核	珪質頁岩	034	42.84	37.97	18.20	36.88	34.620	X
Ia	A	3	R7-14	57		03-26	I-027	石核	玉髄（メノウ含む）	004	25.73	36.71	15.79	18.80	34.657	X
Ia	A	3	R7-14	58		03-54	I-014	石核	チャート	014	22.30	32.04	21.65	19.76	34.608	X
Ia	A	3	R7-14	59		03-43	I-019	剥片	珪質頁岩	041	26.70	45.20	8.20	9.57	34.617	X
Ia	A	3	R7-14	60				砕片	珪質頁岩	056	19.60	8.60	3.10	0.48	34.692	X
Ia	A	3	R7-14	61			I-018	剥片	珪質頁岩	045	34.90	38.00	19.00	22.36	34.622	X
Ia	A	3	R7-14	62				剥片	珪質頁岩	062	31.50	16.80	12.00	7.60	34.540	X
Ia	A	3	R7-14	63		03-30	I-021	剥片	珪質頁岩	046	36.80	23.10	4.70	4.20	34.580	X
Ia	A	3	R7-14	64				剥片	珪質頁岩	054	27.50	15.40	3.20	1.32	34.782	X
Ia	A	3	R7-14	65				砕片	珪質頁岩	054	14.40	7.50	2.60	0.24	34.727	X
Ia	A	3	R7-14	66	1	03-51	I-012	石核	珪質頁岩	003	24.94	44.05	18.57	24.47	34.516	X
Ia	A	3	R7-14	66	2			剥片	珪質頁岩	062	27.60	10.90	3.60	1.15	34.516	X
Ia	A	3	R7-14	67				礫	玉髄（メノウ含む）	007	35.20	43.70	22.90	48.59	34.647	X
Ia	A	3	R7-14	68				剥片	珪質頁岩	064	23.10	16.20	8.60	2.38	34.545	X
Ia	A	3	R7-14	69				剥片	珪質頁岩	064	22.20	26.90	6.40	3.35	34.555	X
Ia	A	3	R7-14	70				剥片	珪質頁岩	061	18.90	11.30	4.10	0.96	34.570	X
Ia	A	3	R7-14	71		03-49	I-019	石核	珪質頁岩	041	23.80	24.90	17.80	10.48	34.652	X
Ia	A	3	R7-14	72				剥片	珪質頁岩	062	36.30	29.90	11.70	9.60	34.616	X
Ia	A	3	R7-14	73				剥片	珪質頁岩	061	32.30	18.60	4.50	2.72	34.647	X
Ia	A	3	R7-14	74		03-35	I-013	剥片	珪質頁岩	039	44.00	31.80	16.40	20.50	34.790	X
Ia	A	3	R7-14	75				砕片	珪質頁岩	062	9.90	18.50	3.40	0.52	34.616	X
Ia	A	3	R7-14	76				砕片	珪質頁岩	062	12.00	9.10	4.50	0.35	34.548	X
Ia	A	3	R7-14	77				剥片	珪質頁岩	078	34.90	28.20	11.00	7.88	34.625	X
Ia	A	3	R7-14	78				剥片	珪質頁岩	056	16.60	19.60	4.40	1.64	34.648	X
Ia	A	3	R7-14	79				砕片	珪質頁岩	062	9.00	16.50	4.10	0.75	34.770	X
Ia	A	3	R7-14	80		03-39	I-017	剥片	珪質頁岩	043	30.80	23.10	10.40	4.89	34.605	X
Ia	A	3	R7-14	81				砕片	珪質頁岩	058	14.00	4.90	2.90	0.62	34.621	X
Ia	A	3	R7-14	82				砕片	珪質頁岩	054	12.80	11.80	4.30	0.61	34.628	X
Ia	A	3	R7-14	83				剥片	珪質頁岩	063	38.81	18.26	16.39	13.49	34.610	X
Ia	A	3	R7-14	84		03-31	I-021	剥片	珪質頁岩	046	24.73	26.03	12.47	6.04	34.569	X
Ia	A	3	R7-14	85		03-57	I-015	石核	珪質頁岩	038	46.92	28.50	15.02	22.40	34.667	X
Ia	A	3	R7-14	86		03-60	I-025	剥片	珪質頁岩	042	23.90	25.90	12.00	5.33	34.542	X
Ia	A	3	R7-14	87				剥片	流紋岩	006	23.60	7.80	8.50	1.41	34.603	X
Ia	A	3	R7-14	88				剥片	珪質頁岩	062	35.60	25.80	8.00	4.77	34.600	X
Ia	A	3	R7-14	89				剥片	珪質頁岩	058	11.30	20.10	4.00	0.84	34.624	X
Ia	A	3	R7-14	90				剥片	珪質頁岩	124	22.70	18.80	5.90	2.81	34.505	X
Ia	A	3	R7-14	91		03-01		二次加工のある剥片	珪質頁岩	056	19.79	17.22	4.23	1.15	34.458	X
Ia	A	3	R7-14	92		03-11		二次加工のある剥片	珪質頁岩	051	40.25	42.35	13.68	17.78	34.390	X
Ia	A	3	R7-14	93				砕片	珪質頁岩	054	17.00	4.70	6.00	0.62	34.417	X
Ia	A	3	R7-24	1				剥片	ホルンフェルス	004	21.00	26.30	5.30	3.54	34.717	Ⅸc
Ia	A	3	R7-24	2				剥片	ホルンフェルス	005	32.20	20.00	11.00	7.62	35.066	Ⅸa
Ia	A	3	R7-24	3		03-09		二次加工のある剥片	頁岩	054	32.18	30.75	9.54	7.28	34.922	Ⅸc
Ia	A	3	R7-24	4			I-011	剥片	頁岩	044	31.30	49.90	16.20	21.40	34.595	X
Ia	A	3	R7-24	5		03-38	I-017	剥片	頁岩	043	67.30	45.50	18.90	70.92	34.610	X

第94表　第Ⅰ文化層石器属性表（7）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ia	A	4	R6-96	1				砕片	黒曜石産頁岩	078	12.60	14.60	4.50	0.80	34.840	Ⅸc
Ia	A	4	R6-96	2				剥片	黒曜石産頁岩	078	23.70	23.80	5.50	2.88	34.761	Ⅸc
Ia	A	4	R6-96	3		04-19		石核	珪質頁岩	007	32.37	30.18	13.41	13.14	34.840	Ⅸc
Ia	A	4	R6-96	4				剥片	珪質頁岩	007	17.70	23.50	4.20	1.53	34.677	X
Ia	A	4	R6-96	8		04-21	Ⅰ-033	剥片	珪質頁岩	007	19.20	34.30	13.00	7.56	34.522	X
Ia	A	4	R6-96	13		04-43	Ⅰ-028	石核	頁岩	013	81.19	56.32	48.72	331.58	34.567	X
Ia	A	4	R6-96	14				剥片	黒曜石産珪質頁岩	079	31.80	27.20	9.50	6.99	34.500	X
Ia	A	4	R6-96	15		04-28	Ⅰ-030	剥片	珪質頁岩	007	26.48	23.70	14.82	6.85	34.560	X
Ia	A	4	R6-96	16				剥片	黒曜石産珪質頁岩	072	24.10	11.50	11.80	1.76	34.520	X
Ia	A	4	R6-96	17				礫	チャート	023	20.20	11.10	7.80	2.49	34.385	X
Ia	A	4	R6-96	18				礫	ホルンフェルス	010	21.60	10.30	4.70	1.17	34.401	X
Ia	A	4	R7-04	7				剥片	黒曜石産珪質頁岩	054	19.70	13.00	8.00	1.10	34.965	Ⅸa
Ia	A	4	R7-05	2				剥片	黒曜石産珪質頁岩	071	24.30	46.30	20.00	19.03	34.587	X
Ia	A	4	R7-05	3		04-07		微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩	007	28.17	15.46	4.46	1.54	34.783	Ⅸc
Ia	A	4	R7-05	4				剥片	黒曜石産珪質頁岩	062	18.80	27.80	16.50	8.08	35.186	Ⅶ
Ia	A	4	R7-05	5		04-34	Ⅰ-029	石核	チャート	020	71.56	53.74	61.69	275.74	34.619	X
Ia	A	4	R7-05	6				砕片	黒曜石産珪質頁岩	069	9.50	14.60	2.20	0.33	35.141	Ⅶ
Ia	A	4	R7-05	7				剥片	黒曜石産珪質頁岩	064	25.70	38.20	10.90	10.92	35.140	Ⅶ
Ia	A	4	R7-05	8		04-38	Ⅰ-032	剥片	玉髄（メノウ含む）	008	15.10	30.40	5.50	3.07	34.860	Ⅸc
Ia	A	4	R7-05	9				剥片	黒曜石産珪質頁岩	071	21.60	27.10	10.10	5.99	34.806	Ⅸc
Ia	A	4	R7-05	10				剥片	珪質頁岩	005	39.20	13.70	18.30	3.83	34.900	Ⅸa
Ia	A	4	R7-05	11		04-37	Ⅰ-032	剥片	玉髄（メノウ含む）	008	22.10	26.00	6.80	3.50	34.933	Ⅸa
Ia	A	4	R7-05	12		04-14		二次加工のある剥片	黒曜石産珪質頁岩	071	17.50	17.18	6.59	1.69	34.817	Ⅸc
Ia	A	4	R7-05	13				砕片	黒曜石産珪質頁岩	078	11.40	11.40	2.60	0.37	34.782	Ⅸc
Ia	A	4	R7-05	14				剥片	黒曜石	002	13.50	12.80	6.80	1.42	34.855	Ⅸc
Ia	A	4	R7-05	15		04-04		楔形石器	玉髄（メノウ含む）	012	19.63	14.73	5.38	1.34	34.834	Ⅸc
Ia	A	4	R7-05	17				礫	チャート	027	41.30	24.20	17.60	29.00	34.781	Ⅸc
Ia	A	4	R7-05	18				剥片	黒曜石産珪質頁岩	083	27.00	21.30	8.40	4.20	34.728	Ⅸc
Ia	A	4	R7-05	19				砕片	黒曜石産珪質頁岩	072	15.20	10.40	3.10	0.66	34.685	X
Ia	A	4	R7-05	20				剥片	玉髄（メノウ含む）	012	23.70	26.00	5.20	2.97	34.770	Ⅸc
Ia	A	4	R7-05	21		04-40	Ⅰ-032	石核	玉髄（メノウ含む）	008	65.26	93.62	45.63	329.00	34.596	X
Ia	A	4	R7-05	22		04-05		二次加工のある剥片	黒曜石産珪質頁岩	068	34.00	15.06	8.86	3.89	34.675	X
Ia	A	4	R7-05	23				砕片	チャート	022	19.90	9.70	5.70	1.67	34.460	X
Ia	A	4	R7-05	24		04-23	Ⅰ-033	剥片	珪質頁岩	007	12.40	12.60	5.10	0.84	34.554	X
Ia	A	4	R7-05	25				剥片	頁岩	009	25.30	40.00	13.60	13.89	34.775	Ⅸc
Ia	A	4	R7-05	26				剥片	黒曜石産珪質頁岩	074	21.50	17.40	4.60	1.61	34.793	Ⅸc
Ia	A	4	R7-05	27				剥片	黒曜石産珪質頁岩	077	2.00	18.30	5.70	1.00	34.710	X
Ia	A	4	R7-05	28				剥片	頁岩	010	14.10	43.30	7.60	5.91	34.700	X
Ia	A	4	R7-05	29		04-15		剥片	黒曜石産珪質頁岩	067	73.92	36.36	23.31	50.51	34.693	X
Ia	A	4	R7-05	30		04-42	Ⅰ-028	剥片	頁岩	013	17.09	8.27	5.22	1.43	34.484	X
Ia	A	4	R7-05	31			Ⅰ-018	剥片	黒曜石産珪質頁岩	045	46.80	61.20	13.10	26.35	34.616	X
Ia	A	4	R7-05	32		04-25	Ⅰ-031	剥片	黒曜石産珪質頁岩	066	24.60	19.90	5.50	2.81	34.451	X
Ia	A	4	R7-06	1		04-13		微細剥離痕のある剥片	黒曜石	002	24.34	20.24	6.17	2.59	34.741	Ⅸc
Ia	A	4	R7-06	2				礫	ホルンフェルス	007	25.80	22.50	7.50	6.79	34.753	Ⅸc
Ia	A	4	R7-06	3	1	04-30	Ⅰ-030	剥片	珪質頁岩	007	34.30	15.80	8.30	4.61	34.878	Ⅸc
Ia	A	4	R7-06	3	2			砕片	黒曜石	002	13.70	11.30	6.40	0.82	34.878	Ⅸc
Ia	A	4	R7-06	4				礫	流紋岩	012	36.60	26.30	15.00	19.21	34.580	X
Ia	A	4	R7-06	5		04-24	Ⅰ-033	石核	珪質頁岩	007	40.69	35.83	22.77	28.34	34.687	X
Ia	A	4	R7-06	6		04-10		微細剥離痕のある剥片	黒曜石産珪質頁岩	069	33.15	31.75	7.92	4.64	34.745	Ⅸc
Ia	A	4	R7-06	7		05-15	Ⅰ-020	台形様石器	黒曜石産珪質頁岩	065	46.52	26.18	7.46	9.36	34.680	X
Ia	A	4	R7-06	8				剥片	黒曜石産珪質頁岩	070	34.40	32.30	10.40	10.34	34.776	Ⅸc
Ia	A	4	R7-06	9		04-35	Ⅰ-032	剥片	玉髄（メノウ含む）	008	30.00	40.40	6.40	7.76	34.587	X
Ia	A	4	R7-06	10				剥片	黒曜石産珪質頁岩	068	50.00	21.30	9.90	8.38	34.780	Ⅸc
Ia	A	4	R7-06	11				剥片	黒曜石産珪質頁岩	069	15.50	16.50	9.20	1.12	34.845	Ⅸc
Ia	A	4	R7-06	12	1	04-17		石核	黒曜石産珪質頁岩	070	18.74	23.40	22.78	8.53	34.894	Ⅸa
Ia	A	4	R7-06	12	2			砕片	黒曜石産珪質頁岩	072	7.80	15.20	2.40	8.87	34.892	Ⅸa
Ia	A	4	R7-06	13		04-12		微細剥離痕のある剥片	黒曜石産珪質頁岩	052	38.69	36.15	7.53	7.00	34.892	Ⅸa
Ia	A	4	R7-06	14				剥片	黒曜石産珪質頁岩	078	19.50	22.70	4.40	1.33	34.939	Ⅸa
Ia	A	4	R7-06	15				剥片	黒曜石産珪質頁岩	068	39.30	17.70	7.90	5.13	34.598	X
Ia	A	4	R7-06	16				剥片	珪質頁岩	007	47.40	15.00	18.20	12.92	34.657	X
Ia	A	4	R7-06	17				礫	黒曜石産珪質頁岩	077	15.70	15.80	9.40	1.86	34.643	X
Ia	A	4	R7-06	18				剥片	頁岩	012	21.50	16.60	8.90	4.16	34.646	X
Ia	A	4	R7-06	19				砕片	黒曜石産珪質頁岩	071	13.90	14.30	5.10	1.00	34.701	Ⅸc
Ia	A	4	R7-06	20				礫	流紋岩	011	32.20	17.50	17.50	15.00	35.000	Ⅸc
Ia	A	4	R7-06	21		04-11		微細剥離痕のある剥片	黒曜石産珪質頁岩	072	30.04	26.54	7.63	4.24	34.792	Ⅸc
Ia	A	4	R7-06	22				剥片	黒曜石産珪質頁岩	068	15.90	18.30	7.70	1.69	34.567	X
Ia	A	4	R7-06	23		04-32	Ⅰ-029	微細剥離痕のある剥片	チャート	020	70.65	32.70	14.10	35.30	34.612	X
Ia	A	4	R7-06	24				剥片	黒曜石産珪質頁岩	058	24.60	26.50	6.50	2.28	34.707	X
Ia	A	4	R7-06	25		04-33	Ⅰ-029	剥片	チャート	020	46.64	26.21	11.34	13.08	34.653	X
Ia	A	4	R7-06	26				剥片	黒曜石産珪質頁岩	072	24.60	28.10	7.10	4.58	34.557	X
Ia	A	4	R7-06	27				剥片	珪質頁岩	008	27.60	36.00	7.90	7.76	34.668	X
Ia	A	4	R7-06	28				礫	チャート	026	28.30	24.10	13.20	19.47	34.395	X
Ia	A	4	R7-06	29				礫	流紋岩	015	38.20	29.00	19.20	31.00	34.377	X
Ia	A	4	R7-06	30				微細剥離痕のある剥片	黒曜石産珪質頁岩	068	36.70	24.30	11.40	9.32	34.426	X
Ia	A	4	R7-15	1				礫	流紋岩	013	18.00	20.80	8.40	4.79	35.095	Ⅶ
Ia	A	4	R7-15	2				剥片	黒曜石産珪質頁岩	078	17.70	20.20	5.50	2.06	35.005	Ⅸa
Ia	A	4	R7-15	3				礫	チャート	021	14.10	20.40	14.40	4.60	34.555	X
Ia	A	4	R7-15	4		04-09		微細剥離痕のある剥片	黒曜石産珪質頁岩	069	23.22	13.22	6.14	1.31	34.950	Ⅸa
Ia	A	4	R7-15	5				剥片	ホルンフェルス	009	12.00	9.80	3.00	0.30	35.106	Ⅶ
Ia	A	4	R7-15	6		04-02		楔形石器	珪質頁岩	072	24.76	17.01	4.54	1.82	34.990	Ⅸa
Ia	A	4	R7-15	7				剥片	黒曜石産珪質頁岩	070	10.70	18.30	6.50	1.25	34.655	Ⅸc
Ia	A	4	R7-15	8				剥片	黒曜石産珪質頁岩	072	23.70	17.60	3.80	1.21	34.577	X
Ia	A	4	R7-15	9		04-03		楔形石器	黒曜石産珪質頁岩	072	28.54	17.92	6.85	4.20	34.660	X
Ia	A	4	R7-15	10				礫	ホルンフェルス	008	15.00	21.60	5.10	2.58	35.029	Ⅸa
Ia	A	4	R7-15	11				砕片	黒曜石産珪質頁岩	078	15.10	10.40	3.60	0.43	34.725	Ⅸc
Ia	A	4	R7-15	12				砕片	黒曜石産珪質頁岩	078	10.00	10.60	2.30	0.31	34.587	X
Ia	A	4	R7-15	13		04-01		楔形石器	黒曜石産珪質頁岩	072	29.08	19.95	6.27	3.30	34.889	Ⅸc
Ia	A	4	R7-15	14				剥片	黒曜石産珪質頁岩	071	21.40	27.90	9.80	5.53	34.567	X
Ia	A	4	R7-15	15				砕片	黒曜石産珪質頁岩	078	13.80	11.90	3.40	0.56	34.799	Ⅸc
Ia	A	4	R7-15	16		04-31	Ⅰ-029	剥片	チャート	020	22.00	20.50	6.50	2.98	35.016	Ⅸa
Ia	A	4	R7-15	17				剥片	珪質頁岩	078	15.50	19.80	5.80	2.14	34.657	X
Ia	A	4	R7-15	18				砕片	黒曜石産珪質頁岩	078	12.50	10.60	4.60	0.54	34.786	Ⅸc
Ia	A	4	R7-15	19				剥片	黒曜石産珪質頁岩	078	19.60	10.60	3.70	0.67	34.727	Ⅸc
Ia	A	4	R7-15	20				剥片	黒曜石産珪質頁岩	078	18.20	11.20	2.60	0.76	34.727	Ⅸc
Ia	A	4	R7-15	21				剥片	頁岩	011	16.90	18.00	8.50	2.36	34.961	Ⅸa
Ia	A	4	R7-15	22		04-29	Ⅰ-030	剥片	珪質頁岩	007	27.33	19.88	11.57	4.83	34.853	Ⅸc

第95表　第Ⅰ文化層石器属性表（8）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ia	A	4	R7-15	23				砕片	頁岩	069	9.30	16.30	4.50	0.65	34.755	Ⅸc
Ia	A	4	R7-15	24				剥片	珪質頁岩	078	18.40	15.10	4.90	1.32	34.925	Ⅸa
Ia	A	4	R7-15	25				剥片	珪質頁岩	069	20.60	17.40	6.30	2.27	34.954	Ⅸa
Ia	A	4	R7-15	26				砕片	珪質頁岩	068	20.20	14.20	4.80	0.93	34.960	Ⅸa
Ia	A	4	R7-15	27				剥片	珪質頁岩	071	27.40	14.70	9.00	2.51	34.551	Ⅹ
Ia	A	4	R7-15	28				剥片	珪質頁岩	076	40.10	58.00	20.40	59.40	34.655	Ⅹ
Ia	A	4	R7-15	29				砕片	珪質頁岩	075	8.50	8.60	2.20	0.20	34.757	Ⅸc
Ia	A	4	R7-15	30		04-08		微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩	009	18.22	11.28	4.07	0.77	34.674	Ⅹ
Ia	A	4	R7-15	31		04-26	Ⅰ-031	剥片	珪質頁岩	066	29.80	19.30	6.70	3.95	34.617	Ⅹ
Ia	A	4	R7-15	32		04-16		石核	珪質頁岩	076	50.72	70.43	24.10	88.45	34.634	Ⅹ
Ia	A	4	R7-15	33				剥片	珪質頁岩	078	20.80	24.80	9.30	2.07	34.625	Ⅹ
Ia	A	4	R7-15	34		04-39	Ⅰ-032	剥片	玉髄（メノウ含む）	008	46.07	33.06	9.41	13.13	34.665	Ⅹ
Ia	A	4	R7-15	35				剥片	珪質頁岩	071	30.60	23.20	5.30	3.12	34.922	Ⅸc
Ia	A	4	R7-15	36				剥片	珪質頁岩	073	21.30	22.00	7.50	4.26	34.648	Ⅹ
Ia	A	4	R7-15	37				砕片	黒曜石	002	3.80	13.80	1.70	0.09	34.587	Ⅹ
Ia	A	4	R7-15	38		04-18		石核	珪質頁岩	004	59.52	57.62	24.20	93.81	34.616	Ⅹ
Ia	A	4	R7-15	39		04-27	Ⅰ-031	石核	珪質頁岩	066	22.61	35.09	12.62	7.14	34.466	Ⅹ
Ia	A	4	R7-15	40				剥片	珪質頁岩	068	19.40	22.30	7.00	2.70	34.478	Ⅹ
Ia	A	4	R7-15	41				剥片	珪質頁岩	078	29.60	13.80	6.90	2.37	34.488	Ⅹ
Ia	A	4	R7-15	42		04-41	Ⅰ-028	剥片	頁岩	013	25.85	57.65	13.27	19.37	34.568	Ⅹ
Ia	A	4	R7-15	43				剥片	チャート	025	42.40	25.30	13.90	10.74	34.460	Ⅹ
Ia	A	4	R7-16	1				剥片	珪質頁岩	072	23.10	20.90	8.40	3.02	34.730	Ⅸc
Ia	A	4	R7-16	2				剥片	珪質頁岩	075	18.60	33.20	7.60	3.10	34.715	Ⅸc
Ia	A	4	R7-16	4				剥片	チャート	024	28.00	25.10	5.40	3.99	34.640	Ⅹ
Ia	A	4	R7-16	5				砕片	珪質頁岩	078	9.40	7.20	1.80	0.20	34.678	Ⅹ
Ia	A	4	R7-16	6		04-36	Ⅰ-032	剥片	玉髄（メノウ含む）	008	23.20	31.60	8.20	5.05	34.706	Ⅹ
Ia	A	4	R7-16	7				砕片	珪質頁岩	078	6.30	9.70	2.00	0.14	35.000	Ⅸa
Ia	A	4	R7-16	8				剥片	珪質頁岩	078	16.50	12.10	4.00	0.98	34.828	Ⅸc
Ia	A	4	R7-16	9				剥片	珪質頁岩	071	12.50	16.90	3.50	0.65	34.859	Ⅸc
Ia	A	4	R7-16	10				剥片	珪質頁岩	078	12.60	12.30	5.60	0.86	34.858	Ⅸc
Ia	A	4	R7-16	11				剥片	珪質頁岩	072	16.70	26.20	4.00	2.16	34.679	Ⅹ
Ia	A	4	R7-16	12				剥片	珪質頁岩	068	24.70	27.20	7.60	4.51	34.646	Ⅹ
Ia	A	4	R7-16	13				砕片	頁岩	011	11.30	12.10	3.70	0.41	34.778	Ⅸc
Ia	A	4	R7-16	14				剥片	珪質頁岩	070	17.40	16.20	8.30	2.59	34.526	Ⅹ
Ia	A	4	R7-16	15				剥片	珪質頁岩	078	24.80	28.10	6.60	4.76	34.815	Ⅹ
Ia	A	4	R7-16	16				礫	流紋岩	010	16.00	26.80	10.30	6.00	34.627	Ⅹ
Ia	A	4	R7-16	17				剥片	流紋珪質頁岩	071	13.30	18.00	6.00	1.49	34.665	Ⅹ
Ia	A	4	R7-16	18				剥片	珪質頁岩	078	29.80	26.80	11.50	10.25	34.716	Ⅹ
Ia	A	4	R7-16	19				礫	チャート	029	41.50	21.20	16.40	22.00	34.787	Ⅸc
Ia	A	4	R7-16	21	1	04-20		敲石	頁岩	008	92.65	38.99	17.45	86.82	34.664	Ⅹ
Ia	A	4	R7-16	21	2			砕片	珪質頁岩	078	9.45	1.50	1.70	0.33	34.664	Ⅹ
Ia	A	4	R7-16	22				剥片	珪質頁岩	078	10.60	17.10	2.10	0.45	34.958	Ⅸc
Ia	A	4	R7-16	23				剥片	珪質頁岩	071	22.50	26.40	7.90	5.57	34.690	Ⅹ
Ia	A	4	R7-16	24				礫	流紋岩	014	35.30	27.80	4.50	19.00	34.598	Ⅹ
Ia	A	4	R7-16	25				剥片	流紋珪質頁岩	078	15.50	13.20	3.60	0.75	34.602	Ⅹ
Ia	A	4	R7-16	26	2			剥片	珪質頁岩	007	18.30	9.70	2.40	0.61	34.442	Ⅹ
Ia	A	4	R7-16	26	1			剥片	珪質頁岩	078	19.70	13.00	4.40	1.00	34.442	Ⅹ
Ia	A	4	R7-25	1		04-06		二次加工のある剥片	珪質頁岩	068	22.94	13.55	6.01	1.34	34.753	Ⅸc
Ia	A	4	R7-25	2				剥片	珪質頁岩	071	14.82	18.73	5.39	1.18	34.930	Ⅸa
Ia	A	4	R7-26	1				礫	チャート	028	52.70	30.90	12.70	37.00	34.653	Ⅹ
Ia	A	5	R6-85	2				砕片	ガラス質黒色安山岩	013	16.20	12.30	3.00	0.48	35.158	Ⅸa
Ia	A	5	R6-85	3				砕片	珪質頁岩	081	15.00	16.20	4.30	0.98	34.737	Ⅸc
Ia	A	5	R6-86	1				礫	流紋岩	017	32.00	26.60	21.30	24.00	34.660	Ⅸc
Ia	A	5	R6-86	2				礫	砂岩	009	36.50	19.80	15.50	15.00	34.742	Ⅸc
Ia	A	5	R6-86	3	1			剥片	珪質頁岩	087	30.60	34.00	10.70	6.30	34.744	Ⅸc
Ia	A	5	R6-86	3	2			礫	チャート	030	36.20	26.80	10.00	15.00	34.744	Ⅸc
Ia	A	5	R6-86	4				礫	流紋岩	016	50.00	23.50	9.40	14.00	34.700	Ⅸc
Ia	A	5	R6-86	5				剥片	珪質頁岩	083	25.20	23.60	9.30	4.22	34.677	Ⅸc
Ia	A	5	R6-86	6	1	06-10	Ⅰ-034	石核	ガラス質黒色安山岩	005	47.60	43.25	21.12	38.90	34.495	Ⅹ
Ia	A	5	R6-86	6	2	05-04		剥片	珪質頁岩	081	22.31	4.96	2.84	0.26	34.495	Ⅹ
Ia	A	5	R6-87	1				剥片	珪質頁岩	083	13.70	28.20	17.80	2.11	34.708	Ⅸc
Ia	A	5	R6-94	1				礫	砂岩	010	41.60	29.40	13.60	22.35	34.597	Ⅸc
Ia	A	5	R6-94	2				剥片	珪質頁岩	069	25.40	30.30	6.40	5.77	34.835	Ⅸa
Ia	A	5	R6-94	3				剥片	珪質頁岩	083	14.90	13.20	5.50	1.15	34.632	Ⅸc
Ia	A	5	R6-94	4				剥片	珪質頁岩	083	11.50	17.60	6.50	1.13	34.647	Ⅸc
Ia	A	5	R6-94	5				砕片	珪質頁岩	083	10.00	5.60	1.60	0.13	34.586	Ⅸc
Ia	A	5	R6-94	6				剥片	ガラス質黒色安山岩	010	14.80	12.80	3.40	0.67	34.659	Ⅸc
Ia	A	5	R6-94	7				剥片	玉髄（メノウ含む）	012	15.40	32.00	7.70	4.25	34.589	Ⅹ
Ia	A	5	R6-94	8				剥片	トロトロ石（安山岩）	001	7.50	13.60	3.60	0.36	34.580	Ⅹ
Ia	A	5	R6-94	11				剥片	ガラス質黒色安山岩	012	28.60	20.40	5.40	3.79	34.474	Ⅹ
Ia	A	5	R6-94	12				砕片	珪質頁岩	083	13.30	8.70	2.10	0.16	34.485	Ⅹ
Ia	A	5	R6-95	1		05-03		二次加工のある剥片	珪質頁岩	083	43.37	30.09	10.82	13.68	34.743	Ⅸc
Ia	A	5	R6-95	2				剥片	珪質頁岩	083	29.70	15.50	8.50	2.90	34.742	Ⅸc
Ia	A	5	R6-95	3				剥片	珪質頁岩	083	20.00	18.40	14.00	0.73	34.854	Ⅸc
Ia	A	5	R6-95	4		05-05		石核	珪質頁岩	086	14.39	26.28	21.58	5.73	34.776	Ⅸc
Ia	A	5	R6-95	5				剥片	珪質頁岩	081	38.10	18.20	8.70	4.05	34.762	Ⅸc
Ia	A	5	R6-95	6				剥片	珪質頁岩	083	9.30	15.40	5.10	0.84	34.615	Ⅹ
Ia	A	5	R6-95	7		05-13	Ⅰ-037	石核	珪質頁岩	084	33.41	40.55	28.75	27.37	34.642	Ⅹ
Ia	A	5	R6-95	8		05-14	Ⅰ-020	微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩	065	22.50	42.70	8.40	7.65	34.846	Ⅸc
Ia	A	5	R6-95	9				剥片	珪質頁岩	083	13.20	20.10	9.10	1.53	34.730	Ⅸc
Ia	A	5	R6-95	10				砕片	珪質頁岩	083	11.00	18.00	5.70	0.59	35.133	Ⅶ
Ia	A	5	R6-95	11				剥片	珪質頁岩	083	20.40	17.00	8.70	2.23	34.666	Ⅸc
Ia	A	5	R6-95	12				剥片	珪質頁岩	083	14.00	21.90	6.00	2.27	34.625	Ⅹ
Ia	A	5	R6-95	13		05-17	Ⅰ-035	剥片	珪質頁岩	082	10.50	31.50	6.10	6.15	34.594	Ⅹ
Ia	A	5	R6-95	14				剥片	珪質頁岩	083	13.00	14.20	4.50	0.91	34.650	Ⅸc
Ia	A	5	R6-95	15				砕片	珪質頁岩	083	16.40	10.30	5.00	0.99	34.790	Ⅸc
Ia	A	5	R6-95	16		05-09	Ⅰ-036	二次加工のある剥片	碧玉（赤玉）	001	26.20	19.41	9.61	3.80	35.004	Ⅸa
Ia	A	5	R6-95	17		05-08		石核	珪質頁岩	081	30.24	20.89	14.54	5.57	34.579	Ⅹ
Ia	A	5	R6-95	18		05-19		石核	珪質頁岩	080	175.00	102.80	91.30	1886.00	34.511	Ⅹ
Ia	A	5	R6-95	19		05-01		二次加工のある剥片	玉髄（メノウ含む）	013	26.17	26.90	6.79	4.84	34.563	Ⅹ
Ia	A	5	R6-95	20		03-23	Ⅰ-023	石核	珪質頁岩	049	29.01	40.53	32.44	42.76	34.597	Ⅹ
Ia	A	5	R6-95	21				砕片	珪質頁岩	083	10.20	16.70	2.50	0.41	34.606	Ⅹ
Ia	A	5	R6-95	22				砕片	珪質頁岩	083	6.50	15.50	5.00	0.86	34.550	Ⅹ
Ia	A	5	R6-95	23				剥片	珪質頁岩	083	30.10	34.60	13.50	9.79	34.650	Ⅹ
Ia	A	5	R6-95	24		05-07		石核	珪質頁岩	085	21.31	27.99	21.01	15.18	34.612	Ⅹ
Ia	A	5	R6-95	25				砕片	珪質頁岩	083	6.20	17.50	4.30	0.51	34.690	Ⅸc

第96表　第Ⅰ文化層石器属性表（9）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ia	A	5	R6-95	26				砕片	珪質頁岩	007	18.00	24.90	6.50	1.40	34.820	Ⅸc
Ia	A	5	R6-95	27				砕片	嶺岡産珪質頁岩	083	16.10	12.00	3.50	0.64	34.645	Ⅸc
Ia	A	5	R6-95	28				剥片	嶺岡産珪質頁岩	086	18.30	25.20	12.00	5.10	34.843	Ⅸc
Ia	A	5	R6-95	29				砕片	珪質頁岩	007	10.30	14.50	2.10	0.36	34.715	Ⅸc
Ia	A	5	R6-95	30				礫	チャート	031	38.10	28.00	16.20	26.00	34.977	Ⅸc
Ia	A	5	R6-95	31		05-02		二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	081	27.03	22.64	6.23	2.69	34.722	Ⅸ
Ia	A	5	R6-95	32				剥片	嶺岡産珪質頁岩	081	16.30	25.60	4.10	1.58	34.536	X
Ia	A	5	R6-95	33		04-22	Ⅰ-033	剥片	珪質頁岩	007	22.30	24.90	9.00	2.93	34.528	X
Ia	A	5	R6-95	34		05-06		石核	嶺岡産珪質頁岩	081	22.17	18.95	13.44	5.34	34.577	X
Ia	A	5	R6-95	35		05-12	Ⅰ-037	剥片	嶺岡産珪質頁岩	084	25.00	15.40	5.00	2.23	34.511	X
Ia	A	5	R6-95	36				剥片	嶺岡産珪質頁岩	083	23.60	17.30	6.00	2.04	34.500	X
Ia	A	5	R6-95	37				剥片	嶺岡産珪質頁岩	083	27.30	15.50	5.20	2.20	34.541	X
Ia	A	5	R6-95	38				砕片	トロトロ石（安山岩）	001	13.20	9.10	4.90	0.58	34.600	X
Ia	A	5	R6-95	39				砕片	嶺岡産珪質頁岩	083	17.50	17.60	7.60	1.51	34.495	X
Ia	A	5	R6-95	40				砕片	嶺岡産珪質頁岩	083	7.50	13.40	3.40	0.56	34.445	X
Ia	A	5	R6-95	41				剥片	玉髄（メノウ含む）	011	21.60	25.00	5.70	2.95	34.465	X
Ia	A	5	R6-95	42				礫	砂岩	008	39.20	24.80	12.60	18.00	34.454	X
Ia	A	5	R6-95	43		05-11	Ⅰ-037	剥片	嶺岡産珪質頁岩	084	20.70	23.10	11.50	7.51	34.427	X
Ia	A	5	R6-95	44				剥片	嶺岡産珪質頁岩	083	25.40	15.20	6.80	3.56	34.429	X
Ia	A	5	R6-95	45				砕片	嶺岡産珪質頁岩	083	9.30	7.20	3.50	0.16	34.342	X
Ia	A	5	R6-95	46		05-16	Ⅰ-020	微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	065	26.91	16.07	7.34	3.07	34.415	X
Ia	A	5	R6-96	5				砕片	嶺岡産珪質頁岩	083	11.20	12.60	2.30	0.31	34.799	Ⅸc
Ia	A	5	R6-96	6		05-18	Ⅰ-035	石核	嶺岡産珪質頁岩	082	34.69	33.84	25.03	32.36	34.700	Ⅸc
Ia	A	5	R6-96	7				剥片	嶺岡産珪質頁岩	083	24.40	26.20	7.30	4.07	34.560	X
Ia	A	5	R6-96	9		05-10	Ⅰ-036	二次加工のある剥片	碧玉（赤玉）	001	38.65	34.25	9.00	9.72	34.712	Ⅸc
Ia	A	5	R6-96	10		03-34	Ⅰ-024	剥片	嶺岡産珪質頁岩	048	21.00	24.70	10.30	4.54	35.156	Ⅸa
Ia	A	5	R6-96	11				剥片	嶺岡産珪質頁岩	083	21.20	30.40	4.20	2.83	34.504	X
Ia	A	5	R6-96	12				剥片	嶺岡産珪質頁岩	083	18.20	24.00	15.80	3.18	34.533	X
Ia	A	5	R7-04	2				剥片	玉髄（メノウ含む）	009	38.20	20.20	10.20	8.00	34.851	Ⅸc
Ia	A	5	R7-05	1				剥片	嶺岡産珪質頁岩	064	20.30	24.00	11.00	3.25	34.733	Ⅸc
Ia	A	5	R7-05	16				剥片	珪質頁岩	007	23.70	24.80	13.00	4.27	34.624	X
Ia	A	6	R6-74	1				剥片	頁岩	014	23.60	14.80	10.60	3.81	34.814	Ⅸc
Ia	A	6	R6-83	2		06-07		石核	嶺岡産珪質頁岩	088	27.44	38.35	32.31	32.54	34.506	X
Ia	A	6	R6-84	1		03-61	Ⅰ-025	剥片	嶺岡産珪質頁岩	042	34.50	33.60	6.10	6.67	34.612	X
Ia	A	6	R6-84	2				砕片	嶺岡産珪質頁岩	089	12.60	18.50	15.60	1.67	34.476	X
Ia	A	6	R6-84	3				礫	流紋岩	018	83.60	47.40	22.60	111.00	34.750	Ⅸc
Ia	A	6	R6-84	4				礫	流紋岩	020	40.10	23.20	10.30	13.00	34.584	X
Ia	A	6	R6-84	5				礫	流紋岩	021	11.70	5.80	4.50	0.45	34.627	X
Ia	A	6	R6-84	6		06-04		楔形石器	チャート	033	38.42	25.02	12.20	10.69	34.624	X
Ia	A	6	R6-84	7		06-01		楔形石器	ガラス質黒色安山岩	010	27.70	16.53	11.47	3.75	34.626	X
Ia	A	6	R6-84	8				砕片	ガラス質黒色安山岩	014	10.20	12.70	2.60	0.34	34.637	X
Ia	A	6	R6-84	9				剥片	頁岩	014	31.70	16.70	11.80	6.35	34.665	X
Ia	A	6	R6-84	10		06-03		楔形石器	玉髄（メノウ含む）	009	23.18	15.08	7.33	2.27	34.540	X
Ia	A	6	R6-84	11				砕片	嶺岡産珪質頁岩	091	10.80	18.60	2.40	0.42	34.566	X
Ia	A	6	R6-84	12				剥片	ガラス質黒色安山岩	015	22.60	29.00	7.60	4.89	34.638	X
Ia	A	6	R6-84	13		06-08	Ⅰ-034	剥片	ガラス質黒色安山岩	005	19.75	27.44	4.22	3.46	34.513	X
Ia	A	6	R6-85	1				礫	流紋岩	019	8.10	10.20	7.70	0.69	34.666	Ⅸc
Ia	A	6	R6-85	4		06-05		楔形石器	チャート	034	36.48	31.15	9.35	11.81	34.585	X
Ia	A	6	R6-85	5				剥片	ガラス質黒色安山岩	014	17.00	17.80	6.00	1.09	34.646	Ⅸc
Ia	A	6	R6-85	6		06-06		二次加工のある剥片	碧玉（赤玉）	001	22.33	16.86	7.07	1.91	34.724	Ⅸc
Ia	A	6	R6-85	7		06-02		楔形石器	チャート	032	24.46	18.22	6.33	2.37	34.795	Ⅸc
Ia	A	6	R6-85	8				剥片	ガラス質黒色安山岩	014	27.70	19.70	5.10	3.25	34.644	Ⅸc
Ia	A	6	R6-85	9				砕片	嶺岡産珪質頁岩	090	12.40	6.30	5.50	0.39	34.580	X
Ia	A	6	R6-85	10				剥片	嶺岡産珪質頁岩	089	21.80	22.80	7.10	3.75	34.656	Ⅸc
Ia	A	6	R6-85	11				礫	凝灰岩	002	29.30	49.30	23.40	37.56	34.303	X
Ia	A	6	R6-94	9		06-09	Ⅰ-034	石核	ガラス質黒色安山岩	005	22.79	40.85	19.77	13.12	34.500	X
Ia	A	6	R6-94	10				礫	流紋岩	019	5.30	8.00	3.80	0.20	34.504	X
Ia	B	7	P9-08	1			Ⅰ-042	剥片	ガラス質黒色安山岩	018	38.50	12.30	7.40	5.02	35.838	X
Ia	B	7	P9-08	2				剥片	嶺岡産珪質頁岩	092	39.30	60.40	7.60	17.36	35.873	X
Ia	B	7	P9-09	1		07-13	Ⅰ-040	微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	092	35.52	38.84	8.64	7.33	35.918	Ⅸc
Ia	B	7	P9-09	2				剥片	ガラス質黒色安山岩	018	39.80	46.10	11.30	20.03	35.843	X
Ia	B	7	P9-09	3			Ⅰ-041	剥片	流紋岩	028	59.30	36.30	14.30	23.84	35.887	Ⅸc
Ia	B	7	P9-09	4				剥片	嶺岡産珪質頁岩	092	60.40	33.60	7.50	14.98	35.868	Ⅸc
Ia	B	7	P9-09	5			Ⅰ-041	剥片	流紋岩	028	24.30	27.80	7.30	3.76	35.971	Ⅸc
Ia	B	7	P9-09	6				剥片	黒曜石	005	18.00	11.30	10.60	1.79	35.669	X
Ia	B	7	P9-18	1		07-15		敲石	流紋岩	032	59.53	45.82	41.27	152.51	35.982	Ⅸc
Ia	B	7	P9-18	2				礫	チャート	041	35.70	23.40	13.50	13.32	35.687	X
Ia	B	7	P9-19	1				砕片	ガラス質黒色安山岩	018	14.10	17.30	4.60	0.89	35.916	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	2				剥片	チャート	039	19.50	15.20	4.80	1.53	36.000	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	3		07-01		微細剥離痕のある剥片	珪岩	001	72.46	41.71	16.57	39.08	35.910	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	4				剥片	トロトロ石（安山岩）	003	28.80	35.90	11.00	11.66	35.908	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	5		07-10	Ⅰ-044	剥片	嶺岡産珪質頁岩	094	31.50	18.90	7.50	3.96	35.906	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	6				剥片	ガラス質黒色安山岩	018	16.60	28.50	6.00	2.59	36.096	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	7				剥片	頁岩	019	13.80	22.30	5.60	1.78	36.067	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	8			Ⅰ-043	剥片	流紋岩	028	20.60	36.80	8.30	5.60	35.970	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	9				砕片	頁岩	019	9.60	15.70	2.40	0.52	35.827	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	10				剥片	ガラス質黒色安山岩	018	27.30	30.30	6.50	7.65	36.048	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	11				礫	頁岩	021	50.30	8.80	14.50	20.20	35.920	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	12		07-03		微細剥離痕のある剥片	黒曜石	003	18.23	14.03	6.64	1.31	35.903	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	13				剥片	黒曜石	003	18.40	16.20	7.50	1.44	35.843	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	14				剥片	ガラス質黒色安山岩	018	39.10	26.60	12.60	12.63	36.003	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	15				剥片	流紋岩	028	31.80	38.20	5.40	4.43	36.015	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	16				礫	流紋岩	033	49.30	42.20	19.60	62.00	35.917	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	17				剥片	嶺岡産珪質頁岩	093	39.20	47.00	16.80	23.47	35.940	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	18				剥片	ガラス質黒色安山岩	018	49.40	25.30	11.70	12.71	35.964	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	19				礫	チャート	040	29.50	16.60	16.00	11.40	35.885	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	20		07-06	Ⅰ-005	剥片	流紋岩	029	33.10	28.80	6.10	3.98	35.953	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	21				剥片	頁岩	020	28.90	23.10	12.00	6.01	35.888	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	22				剥片	流紋岩	028	20.00	22.70	5.50	1.95	36.080	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	23		07-11	Ⅰ-044	剥片	嶺岡産珪質頁岩	094	17.20	10.20	6.00	1.32	35.872	X
Ia	B	7	P9-19	24				剥片	ガラス質黒色安山岩	018	21.80	14.70	5.50	1.56	35.741	X
Ia	B	7	P9-19	25				砕片	黒曜石	005	14.80	11.40	3.30	0.47	35.924	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	26		07-05	Ⅰ-005	台形様石器	流紋岩	029	41.72	25.60	8.31	7.66	35.836	X
Ia	B	7	P9-19	27				砕片	黒曜石	004	10.30	3.40	1.50	0.10	35.955	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	28				剥片	ガラス質黒色安山岩	018	19.20	11.70	5.20	1.08	35.995	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	29				剥片	頁岩	019	14.00	11.10	2.00	0.48	35.863	X

第97表　第Ⅰ文化層石器属性表（10）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ia	B	7	P9-19	30				剥片	流紋岩	028	18.00	9.40	3.80	0.67	35.867	X
Ia	B	7	P9-19	31				砕片	黒曜石	005	11.10	13.00	5.10	0.73	35.967	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	32				剥片	ガラス質黒色安山岩	018	9.90	21.00	3.30	0.97	35.981	Ⅸc
Ia	B	7	P9-19	33				剥片	チャート	039	16.30	33.80	5.40	2.49	35.821	X
Ia	B	7	P9-19	34				砕片	ガラス質黒色安山岩	018	9.20	15.80	4.20	0.45	35.765	X
Ia	B	7	P9-19	35				砕片	頁岩	019	8.90	15.50	1.30	0.28	35.695	X
Ia	B	7	P9-28	1				砕片	トロトロ石（安山岩）	005	7.70	11.50	3.90	0.40	36.018	Ⅸc
Ia	B	7	P9-28	2				砕片	黒曜石	004	11.20	13.90	3.80	0.43	35.995	Ⅸc
Ia	B	7	P9-29	1			I-043	剥片	流紋岩	028	12.00	29.10	4.90	1.82	36.025	Ⅸc
Ia	B	7	P9-29	2		07-19	I-038	微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	128	57.29	33.26	15.60	29.22	35.996	Ⅸc
Ia	B	7	P9-29	3				剥片	黒曜石	003	15.00	23.80	4.70	1.25	35.911	X
Ia	B	7	P9-29	4				剥片	流紋岩	028	28.20	17.20	3.50	1.20	35.832	X
Ia	B	7	P9-29	5				剥片	黒曜石	004	18.00	15.20	6.20	0.97	36.086	Ⅸc
Ia	B	7	P9-29	6	1			剥片	嶺岡産珪質頁岩	092	22.60	45.70	7.90	6.33	36.090	Ⅸc
Ia	B	7	P9-29	6	2			剥片	嶺岡産珪質頁岩	092	14.40	27.50	5.00	2.18	36.090	Ⅸc
Ia	B	7	P9-29	7		07-08	I-044	剥片	嶺岡産珪質頁岩	094	25.80	10.20	3.20	2.15	36.063	Ⅸc
Ia	B	7	P9-29	8				砕片	ガラス質黒色安山岩	018	6.90	15.80	2.40	0.28	36.037	Ⅸc
Ia	B	7	P9-29	9				剥片	流紋岩	028	40.00	30.90	8.10	8.58	35.977	Ⅸc
Ia	B	7	P9-29	10			I-042	剥片	ガラス質黒色安山岩	018	31.50	13.40	6.80	2.73	36.083	Ⅸc
Ia	B	7	P9-29	11				剥片	流紋岩	028	45.40	21.60	9.60	7.18	35.798	X
Ia	B	7	P9-29	12				剥片	黒曜石	004	18.30	8.40	4.30	0.36	36.080	Ⅸc
Ia	B	7	P9-29	13		08-51	I-039	剥片	珪岩	001	74.20	43.00	23.40	80.81	36.098	Ⅸc
Ia	B	7	P9-29	14				剥片	珪岩	001	38.80	53.90	14.60	28.84	35.806	X
Ia	B	7	P9-29	15				剥片	流紋岩	030	29.30	16.00	5.20	28.70	35.865	Ⅸc
Ia	B	7	P9-38	1		07-02		微細剥離痕のある剥片	黒曜石	003	29.56	20.62	5.28	2.64	36.029	Ⅸc
Ia	B	7	P9-39	1				剥片	黒曜石	003	25.20	21.50	8.40	3.20	36.075	Ⅸc
Ia	B	7	P9-39	2				剥片	珪岩	001	34.50	28.20	9.60	7.44	36.155	Ⅸc
Ia	B	7	P9-39	3		07-04		石核	黒曜石	003	27.27	27.62	15.96	13.06	36.115	Ⅸc
Ia	B	7	P9-39	4		08-49	I-039	剥片	珪岩	001	40.40	46.40	17.20	37.62	36.087	Ⅸc
Ia	B	7	Q9-10	1				剥片	ガラス質黒色安山岩	018	20.00	20.60	4.30	1.47	35.975	Ⅸc
Ia	B	7	Q9-10	2				剥片	黒曜石	005	18.00	9.30	7.40	0.80	35.894	Ⅸc
Ia	B	7	Q9-10	3		07-07	I-044	剥片	嶺岡産珪質頁岩	094	24.50	17.60	4.10	1.88	35.937	Ⅸc
Ia	B	7	Q9-10	4		07-12	I-044	石核	嶺岡産珪質頁岩	094	58.91	57.87	38.91	135.15	35.905	Ⅸc
Ia	B	7	Q9-10	5				砕片	ガラス質黒色安山岩	018	17.30	16.80	2.20	0.56	36.000	Ⅸc
Ia	B	7	Q9-10	6		07-16		石核	流紋岩	031	60.73	46.73	35.36	142.41		Ⅸc
Ia	B	7	Q9-10	7				剥片	チャート	039	36.80	20.30	8.10	5.23	35.809	X
Ia	B	7	Q9-10	8				剥片	ガラス質黒色安山岩	018	19.50	13.30	5.50	1.32	35.844	X
Ia	B	7	Q9-10	9				砕片	ガラス質黒色安山岩	018	17.60	11.50	4.30	0.73	35.830	X
Ia	B	7	Q9-10	10		07-09	I-044	剥片	嶺岡産珪質頁岩	094	26.40	14.50	4.20	1.86	35.888	X
Ia	B	7	Q9-20	1				砕片	頁岩	018	14.30	11.70	2.70	0.48	36.040	Ⅸc
Ia	B	8	P9-16	1		08-50	I-039	剥片	珪岩	001	63.00	59.70	23.80	102.16	35.817	Ⅸc
Ia	B	8	P9-17	1				礫	ホルンフェルス	012	52.60	33.20	23.50	55.36	35.822	Ⅸc
Ia	B	8	P9-17	2				剥片	ホルンフェルス	017	21.00	31.10	1.70	1.84	35.802	Ⅸc
Ia	B	8	P9-17	3				礫	流紋岩	038	39.50	30.10	10.00	16.86	35.646	X
Ia	B	8	P9-26	1		08-33	I-049	剥片	流紋岩	034	19.77	32.81	8.53	5.14	35.994	Ⅸc
Ia	B	8	P9-26	2				砕片	玉髄（メノウ含む）	030	9.80	11.10	1.20	0.17	35.984	Ⅸc
Ia	B	8	P9-26	3		08-21	I-046	剥片	ガラス質黒色安山岩	019	24.89	31.91	14.16	11.07	36.010	Ⅸc
Ia	B	8	P9-26	5				砕片	嶺岡産珪質頁岩	120	9.30	12.50	4.70	0.38	36.107	Ⅸa
Ia	B	8	P9-26	7		08-37	I-049	二次加工のある剥片	流紋岩	034	31.58	22.17	10.59	6.97	36.005	Ⅸc
Ia	B	8	P9-26	8		08-42	I-049	剥片	流紋岩	034	23.28	30.44	8.95	5.21	36.000	Ⅸc
Ia	B	8	P9-26	9				剥片	嶺岡産珪質頁岩	118	50.47	31.43	19.59	33.94	35.868	Ⅸc
Ia	B	8	P9-26	11		08-41	I-049	剥片	流紋岩	034	14.46	14.46	6.28	0.87	36.238	Ⅸa
Ia	B	8	P9-26	16				剥片	ガラス質黒色安山岩	019	26.20	16.50	4.70	2.75	36.208	Ⅸc
Ia	B	8	P9-26	17				砕片	流紋岩	035	11.70	8.70	1.60	0.22	35.860	Ⅸc
Ia	B	8	P9-26	18		08-22	I-046	石核	ガラス質黒色安山岩	019	35.81	50.97	24.67	43.54	35.919	Ⅸc
Ia	B	8	P9-26	19		08-44	I-049	石核	流紋岩	034	51.96	64.26	32.32	110.83	35.905	Ⅸc
Ia	B	8	P9-26	20		08-46	I-047	石核	嶺岡産珪質頁岩	113	36.23	56.23	26.10	65.93	35.881	Ⅸc
Ia	B	8	P9-26	21				剥片	頁岩	022	23.80	33.70	4.20	3.44	36.067	X
Ia	B	8	P9-27	1				剥片	嶺岡産珪質頁岩	099	16.00	25.60	8.80	3.39	35.853	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	2				砕片	嶺岡産珪質頁岩	099	13.20	6.70	6.10	0.81	35.875	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	3				剥片	嶺岡産珪質頁岩	098	63.10	32.70	19.50	24.01	35.925	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	4		08-32	I-049	剥片	流紋岩	034	18.07	28.41	10.18	4.87	35.948	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	5				剥片	流紋岩	040	18.20	15.80	2.00	0.60	35.890	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	6		01-37	I-003	敲石	砂岩	012	121.50	55.42	36.67	367.42	35.872	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	7				礫	チャート	042	49.70	43.70	29.40	85.03	35.880	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	8				剥片	嶺岡産珪質頁岩	100	16.90	24.90	4.80	2.85	35.910	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	9	3	08-48	I-050	石核	嶺岡産珪質頁岩	121	39.28	46.74	17.59	28.91	35.923	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	9	1	08-38	I-049	剥片	流紋岩	034	24.35	22.75	7.65	3.59	35.923	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	9	2	08-34	I-049	剥片	流紋岩	034	36.05	54.59	8.13	17.23	35.923	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	10		08-05		二次加工のある剥片	黒曜石	009	34.68	30.35	9.61	8.69	35.990	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	11		08-23	I-057	剥片	ホルンフェルス	014	53.69	31.68	20.84	33.57	35.973	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	12				剥片	ガラス質黒色安山岩	022	30.20	11.30	3.20	1.43	35.935	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	13				砕片	ガラス質黒色安山岩	022	11.70	6.50	2.00	0.23	35.822	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	14		08-17		微細剥離痕のある剥片	ホルンフェルス	014	43.25	44.11	14.29	26.07	36.171	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	15		08-09		微細剥離痕のある剥片	頁岩	022	29.29	18.74	4.81	1.70	35.902	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	16		08-35	I-049	剥片	流紋岩	034	22.19	36.07	6.75	4.13	35.875	X
Ia	B	8	P9-27	17				砕片	嶺岡産珪質頁岩	099	12.70	16.80	1.90	0.45	35.867	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	18				剥片	嶺岡産珪質頁岩	098	33.80	25.10	5.70	4.22	35.851	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	19		08-16		石核	玉髄（メノウ含む）	028	49.24	39.19	21.46	30.03	35.875	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	20				剥片	ガラス質黒色安山岩	021	42.80	24.80	11.40	12.84	35.894	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	21				剥片	嶺岡産珪質頁岩	098	77.20	21.04	10.21	13.28	35.892	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	22				砕片	ガラス質黒色安山岩	022	10.40	10.40	2.80	0.35	35.874	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	23				砕片	ガラス質黒色安山岩	022	12.20	7.70	1.00	0.17	35.871	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	24				砕片	ガラス質黒色安山岩	022	25.40	21.40	1.90	0.41	35.844	Ⅸc
Ia	B	8	P9-27	25				砕片	流紋岩	035	16.58	8.59	2.72	0.32	35.699	X
Ia	B	8	P9-36	4				微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	102	20.20	15.60	2.00	0.63	36.203	Ⅸa
Ia	B	8	P9-36	5				剥片	嶺岡産珪質頁岩	101	10.60	20.90	2.80	0.64	36.190	Ⅸa
Ia	B	8	P9-36	6				砕片	ガラス質黒色安山岩	022	9.00	9.60	1.70	0.19	36.033	Ⅸc
Ia	B	8	P9-36	7				剥片	嶺岡産珪質頁岩	097	27.50	24.20	5.80	3.99	36.096	Ⅸa
Ia	B	8	P9-36	8				剥片	流紋岩	036	21.30	16.90	3.60	1.36	36.064	Ⅸa
Ia	B	8	P9-36	24				剥片	流紋岩	035	44.30	19.90	6.90	6.51	35.897	Ⅸc
Ia	B	8	P9-36	30				剥片	流紋岩	037	46.30	25.00	5.90	6.40	35.904	Ⅸc
Ia	B	8	P9-36	31		08-58	I-053	剥片	嶺岡産珪質頁岩	095	35.59	45.32	14.18	19.77	35.951	Ⅸc
Ia	B	8	P9-36	32				剥片	玉髄（メノウ含む）	021	17.50	33.50	12.40	7.68	35.882	Ⅸc
Ia	B	8	P9-36	33		08-24	I-057	剥片	ホルンフェルス	014	34.01	32.80	12.49	11.69	35.878	Ⅸc
Ia	B	8	P9-36	39				剥片	嶺岡産珪質頁岩	095	22.20	14.40	6.00	1.37	35.834	X

第98表　第Ⅰ文化層石器属性表（11）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ia	B	8	P9-36	46				剥片	嶺岡産珪質頁岩	100	15.50	11.40	1.80	0.31	35.955	Ⅸc
Ia	B	8	P9-36	47				剥片	玉髄（メノウ含む）	021	22.10	10.10	6.40	1.47	35.883	Ⅸc
Ia	B	8	P9-36	48		08-56	Ⅰ-053	剥片	嶺岡産珪質頁岩	095	36.98	14.40	6.20	2.64	35.880	Ⅸc
Ia	B	8	P9-36	49			Ⅰ-056	砕片	流紋岩	034	15.90	2.70	5.00	1.21	35.817	Ⅸc
Ia	B	8	P9-36	50				砕片	ガラス質黒色安山岩	022	11.80	20.10	3.30	0.77	35.967	Ⅸc
Ia	B	8	P9-36	51		08-39	Ⅰ-049	剥片	流紋岩	034	12.90	16.11	4.17	0.70	35.986	Ⅸc
Ia	B	8	P9-36	52				剥片	玉髄（メノウ含む）	021	16.70	14.60	2.50	0.67	35.905	Ⅸc
Ia	B	8	P9-36	55				剥片	流紋岩	037	16.20	18.60	6.80	2.79	35.886	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	1				剥片	流紋岩	036	28.20	17.40	7.00	3.45	35.950	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	2				砕片	玉髄（メノウ含む）	020	17.80	4.30	5.20	0.38	36.060	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	3				砕片	黒曜石	009	8.50	10.30	2.00	0.13	36.060	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	4		08-10	Ⅰ-055	剥片	トロトロ石（安山岩）	002	39.70	28.30	9.40	10.97	36.079	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	5				砕片	ホルンフェルス	013	8.60	8.00	4.10	0.27	36.233	Ⅸa
Ia	B	8	P9-37	6				砕片	ガラス質黒色安山岩	022	9.50	5.50	2.00	0.15	36.240	Ⅸa
Ia	B	8	P9-37	7				砕片	玉髄（メノウ含む）	023	11.00	6.00	1.70	0.12	36.207	Ⅸa
Ia	B	8	P9-37	8				砕片	流紋岩	034	13.50	10.20	2.40	0.38	36.226	Ⅸa
Ia	B	8	P9-37	9				剥片	嶺岡産珪質頁岩	097	16.00	15.70	4.10	1.12	36.049	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	10				剥片	嶺岡産珪質頁岩	097	29.70	34.20	18.40	14.33	36.086	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	11				剥片	ガラス質黒色安山岩	020	27.30	14.20	6.50	1.62	36.060	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	12				剥片	頁岩	022	24.10	31.30	5.10	2.89	36.036	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	13				剥片	ホルンフェルス	013	15.60	11.30	6.80	0.79	36.167	Ⅸa
Ia	B	8	P9-37	14				剥片	玉髄（メノウ含む）	022	10.60	24.80	4.50	1.20	36.090	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	15		08-02		台形様石器	黒曜石	007	32.66	18.42	8.80	3.35	36.026	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	16				剥片	玉髄（メノウ含む）	023	20.80	14.20	8.50	2.64	36.028	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	17		08-29	Ⅰ-057	剥片	ホルンフェルス	014	24.00	60.20	17.10	18.32	36.027	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	18				剥片	嶺岡産珪質頁岩	096	45.40	26.30	8.50	10.81	36.030	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	19				剥片	玉髄（メノウ含む）	023	24.80	22.30	7.20	3.12	35.884	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	20				剥片	嶺岡産珪質頁岩	102	24.00	11.00	5.40	1.22	35.950	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	21		08-28	Ⅰ-057	剥片	ホルンフェルス	014	40.90	52.60	13.00	19.84	36.068	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	22				剥片	嶺岡産珪質頁岩	100	20.10	7.50	1.80	0.36	35.909	Ⅹ
Ia	B	8	P9-37	23				剥片	玉髄（メノウ含む）	021	19.40	16.50	6.00	1.10	35.960	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	24		08-55	Ⅰ-053	剥片	嶺岡産珪質頁岩	095	37.81	32.05	7.95	8.80	36.050	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	25				剥片	ホルンフェルス	014	15.60	23.20	4.00	1.63	36.082	Ⅸa
Ia	B	8	P9-37	26				砕片	嶺岡産珪質頁岩	098	16.60	11.70	4.20	0.77	35.915	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	27				剥片	嶺岡産珪質頁岩	100	33.70	35.30	9.40	11.63	35.907	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	28		08-60	Ⅰ-053	石核	嶺岡産珪質頁岩	095	46.25	53.72	13.26	147.11	36.100	Ⅸa
Ia	B	8	P9-37	29				砕片	ガラス質黒色安山岩	022	15.30	8.30	3.30	0.59	36.100	Ⅸa
Ia	B	8	P9-37	30				剥片	嶺岡産珪質頁岩	095	21.00	13.50	5.80	2.04	36.043	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	31				剥片	玉髄（メノウ含む）	021	17.70	13.80	2.40	0.77	35.739	Ⅹ
Ia	B	8	P9-37	32				剥片	流紋岩	041	31.70	10.70	9.30	1.46	35.934	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	33				砕片	黒曜石	009	8.60	15.00	3.50	0.36	36.079	Ⅸa
Ia	B	8	P9-37	34				剥片	玉髄（メノウ含む）	023	25.00	24.20	9.90	3.66	36.086	Ⅸa
Ia	B	8	P9-37	35				剥片	玉髄（メノウ含む）	021	17.00	9.70	2.30	0.51	36.016	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	36				剥片	ホルンフェルス	014	34.40	26.50	6.70	6.02	35.884	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	37				剥片	ホルンフェルス	014	28.40	54.50	7.20	12.05	35.876	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	38				剥片	黒曜石	008	22.50	14.50	8.70	2.70	36.019	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	39		08-15		二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	107	55.95	44.83	18.07	36.33	35.986	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	40		08-40	Ⅰ-049	剥片	流紋岩	034	25.01	11.44	6.27	1.36	35.938	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	41		08-54	Ⅰ-053	剥片	嶺岡産珪質頁岩	095	44.18	53.91	12.68	29.79	35.932	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	42		08-07		微細剥離痕のある剥片	玉髄（メノウ含む）	022	23.59	23.48	7.60	2.41	35.947	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	43				剥片	玉髄（メノウ含む）	023	25.50	28.00	12.10	6.18	35.914	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	44		08-13	Ⅰ-052	敲石	砂岩	013	56.34	41.30	28.03	84.40	35.912	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	45				砕片	黒曜石	010	13.00	9.70	3.40	0.50	35.909	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	46				砕片	玉髄（メノウ含む）	022	9.28	13.11	2.22	0.29	35.988	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	47			Ⅰ-056	砕片	流紋岩	034	12.40	17.00	4.00	0.92	36.050	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	48				剥片	流紋岩	034	20.40	22.60	4.90	3.19	36.088	Ⅸa
Ia	B	8	P9-37	49				砕片	黒曜石	009	8.80	10.40	1.40	0.13	36.032	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	50		08-08		微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	095	36.07	26.73	6.92	5.65	35.876	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	51	2			砕片	黒曜石	008	9.36	5.94	4.00	0.15	35.882	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	51	1			砕片	ガラス質黒色安山岩	022	8.25	8.16	2.16	0.13	35.882	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	52		08-03		台形様石器	黒曜石	006	52.68	35.98	10.24	11.73	35.943	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	53	1			剥片	玉髄（メノウ含む）	022	12.60	16.30	4.60	0.87	36.004	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	53	2			砕片	流紋岩	034	0.63	13.40	4.00	0.43	36.004	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	54				砕片	ガラス質黒色安山岩	022	14.80	11.30	3.00	0.37	35.916	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	55		08-11	Ⅰ-055	剥片	トロトロ石（安山岩）	002	30.80	20.30	10.30	4.36	35.976	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	56				剥片	嶺岡産珪質頁岩	095	19.60	14.60	2.60	1.09	36.046	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	57		08-27	Ⅰ-057	石核	ホルンフェルス	014	60.98	47.32	15.61	51.73	35.924	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	58				剥片	嶺岡産珪質頁岩	104	17.90	26.30	3.30	1.98	35.818	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	59				砕片	黒曜石	009	6.80	10.60	1.00	0.11	35.800	Ⅹ
Ia	B	8	P9-37	60				砕片	玉髄（メノウ含む）	023	10.60	14.70	2.30	0.48	35.759	Ⅹ
Ia	B	8	P9-37	61				砕片	玉髄（メノウ含む）	020	8.20	11.40	1.70	0.20	36.166	Ⅸa
Ia	B	8	P9-37	62				砕片	流紋岩	036	18.00	13.20	3.50	0.79	36.125	Ⅸa
Ia	B	8	P9-37	63				砕片	玉髄（メノウ含む）	023	12.50	21.20	6.10	1.50	35.988	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	64				砕片	嶺岡産珪質頁岩	100	11.60	18.30	2.90	0.52	35.926	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	65				剥片	嶺岡産珪質頁岩	095	28.50	24.20	6.00	3.81	35.897	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	66				剥片	嶺岡産珪質頁岩	101	16.90	18.30	6.10	1.67	35.886	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	67				砕片	黒曜石	009	14.30	7.30	2.40	0.25	35.928	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	68				剥片	玉髄（メノウ含む）	023	10.95	15.86	4.18	0.45	35.916	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	69		08-36	Ⅰ-049	剥片	流紋岩	034	19.35	17.17	5.32	1.38	35.913	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	70		08-12	Ⅰ-055	剥片	トロトロ石（安山岩）	002	29.63	17.52	7.51	3.61	35.856	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	71				剥片	玉髄（メノウ含む）	023	19.20	8.40	5.10	0.76	35.877	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	72		08-57	Ⅰ-053	微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	095	40.32	48.05	19.97	35.30	35.886	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	73				剥片	嶺岡産珪質頁岩	104	19.22	13.50	3.54	0.55	35.988	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	74				剥片	玉髄（メノウ含む）	021	17.69	21.40	12.26	2.22	35.976	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	75			Ⅰ-054	剥片	トロトロ石（安山岩）	002	34.31	23.36	6.36	4.74	36.174	Ⅸa
Ia	B	8	P9-37	76				砕片	ガラス質黒色安山岩	022	14.16	9.25	2.60	0.35	35.973	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	77				砕片	嶺岡産珪質頁岩	100	78.10	15.00	4.00	1.13	35.924	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	78				剥片	ホルンフェルス	014	29.40	11.20	5.60	2.07	35.892	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	79			Ⅰ-054	剥片	トロトロ石（安山岩）	002	33.60	14.50	3.60	2.04	36.056	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	80		09-27	Ⅰ-048	剥片	頁岩	022	24.70	16.48	3.31	1.64	35.801	Ⅹ
Ia	B	8	P9-37	81				剥片	ホルンフェルス	014	36.30	20.60	7.20	5.25	35.993	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	82				剥片	ホルンフェルス	014	26.60	28.10	15.60	6.75	35.787	Ⅹ
Ia	B	8	P9-37	83				剥片	流紋岩	034	14.70	24.40	4.50	1.27	35.949	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	84				剥片	ホルンフェルス	014	17.30	8.00	3.20	0.47	35.978	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	85				砕片	流紋岩	040	12.00	16.10	3.00	0.58	35.993	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	86				剥片	玉髄（メノウ含む）	020	24.30	17.10	11.10	3.15	36.045	Ⅸc

第99表　第Ⅰ文化層石器属性表（12）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ia	B	8	P9-37	87		08-43	Ⅰ-049	二次加工のある剥片	流紋岩	034	44.60	33.63	6.67	9.34	35.891	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	88				砕片	嶺岡産珪質頁岩	099	24.00	11.00	5.80	1.15	36.014	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	89		08-31	Ⅰ-049	剥片	流紋岩	034	26.68	19.79	6.53	2.84	35.871	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	90				剥片	玉髄（メノウ含む）	023	13.00	28.60	9.60	4.24	35.863	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	91				砕片	流紋岩	040	23.40	10.30	3.60	0.87	35.843	X
Ia	B	8	P9-37	92		08-04		台形様石器	流紋岩	035	36.14	21.63	7.89	4.17	35.855	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	93				剥片	嶺岡産珪質頁岩	095	25.00	11.10	5.50	1.69	36.010	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	94				剥片	ガラス質黒色安山岩	022	20.90	12.00	3.40	0.81	35.858	X
Ia	B	8	P9-37	95				剥片	嶺岡産珪質頁岩	104	20.70	10.00	11.60	2.90	35.831	X
Ia	B	8	P9-37	96		08-30	Ⅰ-049	剥片	流紋岩	034	25.00	21.00	5.40	2.71	35.888	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	97				砕片	玉髄（メノウ含む）	022	7.60	11.10	4.30	0.44	35.926	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	98				砕片	ガラス質黒色安山岩	022	7.40	10.50	1.60	0.20	35.988	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	99				剥片	ホルンフェルス	014	32.70	22.30	7.90	5.87	35.946	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	100				砕片	嶺岡産珪質頁岩	105	10.80	6.00	2.23	0.11	35.988	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	101		08-53	Ⅰ-053	剥片	嶺岡産珪質頁岩	095	21.23	32.63	7.86	4.55	35.915	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	102				剥片	嶺岡産珪質頁岩	098	36.09	21.98	9.61	5.57	35.874	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	103				剥片	玉髄（メノウ含む）	023	20.69	15.63	4.95	0.84	35.854	X
Ia	B	8	P9-37	104	1			砕片	嶺岡産珪質頁岩	103	16.80	16.90	2.80	0.84	35.935	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	104	2			砕片	玉髄（メノウ含む）	020	17.50	18.20	6.50	2.63	35.935	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	105				砕片	嶺岡産珪質頁岩	100	13.87	19.70	3.61	0.62	35.862	X
Ia	B	8	P9-37	106				砕片	嶺岡産珪質頁岩	104	8.33	7.62	3.71	0.22	35.865	X
Ia	B	8	P9-37	107				砕片	嶺岡産珪質頁岩	100	19.30	16.00	4.80	0.91	35.950	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	108				剥片	嶺岡産珪質頁岩	101	57.20	17.50	17.20	11.77	35.914	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	109				剥片	嶺岡産珪質頁岩	098	16.26	18.54	7.59	2.10	35.848	X
Ia	B	8	P9-37	110	2	08-52	Ⅰ-053	微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	095	43.89	32.96	9.39	7.90	35.948	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	110	1			剥片	嶺岡産珪質頁岩	095	46.44	44.15	11.16	20.88	35.948	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	111				砕片	ガラス質黒色安山岩	022	8.50	12.00	1.50	0.17	35.877	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	112				剥片	ガラス質黒色安山岩	025	14.00	38.00	4.10	1.96	35.872	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	113				剥片	ホルンフェルス	014	21.10	28.80	8.60	4.41	35.882	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	114	2			砕片	ガラス質黒色安山岩	022	11.72	7.18	1.64	0.14	35.933	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	114	1			砕片	玉髄（メノウ含む）	020	10.30	4.70	3.50	0.36	35.933	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	115		08-59	Ⅰ-053	剥片	嶺岡産珪質頁岩	095	40.90	38.80	8.80	12.73	35.915	Ⅸc
Ia	B	8	P9-37	116				剥片	凝灰岩	003	26.80	30.10	13.00	5.61	35.840	X
Ia	B	8	P9-37	117		08-01		台形様石器	黒曜石	008	41.70	23.51	10.80	6.76	35.848	X
Ia	B	8	P9-37	118				砕片	ガラス質黒色安山岩	022	18.90	5.00	2.60	0.24	35.790	X
Ia	B	8	P9-37	119				砕片	ガラス質黒色安山岩	022	10.50	10.80	2.00	0.24	35.837	X
Ia	B	8	P9-37	120		08-20	Ⅰ-046	剥片	ガラス質黒色安山岩	019	38.70	24.40	10.20	10.17	35.829	X
Ia	B	8	P9-37	121				砕片	黒曜石	009	11.40	4.90	1.30	0.14	35.860	X
Ia	B	8	P9-37	122				剥片	流紋岩	034	49.50	45.90	10.10	26.79	35.830	X
Ia	B	8	P9-37	123				剥片	頁岩	022	50.40	29.50	11.70	16.45	35.812	X
Ia	B	8	P9-38	2				剥片	嶺岡産珪質頁岩	092	13.90	6.40	3.00	0.26	36.157	Ⅸa
Ia	B	8	P9-47	1		08-06		二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	100	23.01	21.84	4.68	1.78	35.923	Ⅸc
Ia	B	8	P9-47	2				剥片	ガラス質黒色安山岩	020	32.60	14.70	3.60	1.81	36.098	Ⅸc
Ia	B	8	P9-47	3				剥片	嶺岡産珪質頁岩	097	31.60	35.80	28.90	30.79	35.993	Ⅸc
Ia	B	8	P9-47	4				剥片	黒曜石	010	19.00	25.70	10.89	5.52	36.073	Ⅸc
Ia	B	8	P9-47	5		08-19	Ⅰ-045	敲石	砂岩	014	59.57	24.99	36.04	56.40	35.920	Ⅸc
Ia	B	9	P9-15	1				剥片	嶺岡産珪質頁岩	123	34.20	18.70	12.00	9.69	36.208	Ⅸa
Ia	B	9	P9-15	2		09-01		二次加工のある剥片	ホルンフェルス	015	35.99	26.74	8.75	6.47	35.785	Ⅸa
Ia	B	9	P9-24	1				砕片	トロトロ石（安山岩）	006	8.50	16.10	6.20	0.76	36.178	Ⅸa
Ia	B	9	P9-24	2				剥片	ホルンフェルス	014	11.70	2.10	4.10	0.65	36.390	Ⅶ
Ia	B	9	P9-25	1				礫	ホルンフェルス	018	45.40	58.70	26.60	108.00	35.825	X
Ia	B	9	P9-25	2				剥片	ホルンフェルス	014	25.30	14.20	5.50	1.89	35.898	Ⅸc
Ia	B	9	P9-25	3		09-07		微細剥離痕のある剥片	玉髄（メノウ含む）	025	40.94	36.66	12.13	8.49	35.933	Ⅸc
Ia	B	9	P9-25	4		09-29	Ⅰ-048	剥片	頁岩	022	22.00	32.22	6.29	2.88	35.950	Ⅸc
Ia	B	9	P9-25	5		09-31	Ⅰ-048	微細剥離痕のある剥片	頁岩	022	36.71	39.04	8.29	10.86	35.983	Ⅸc
Ia	B	9	P9-25	6		09-30	Ⅰ-048	微細剥離痕のある剥片	頁岩	022	7.12	24.99	7.04	4.80	35.960	Ⅸc
Ia	B	9	P9-25	7				剥片	嶺岡産珪質頁岩	112	23.20	13.00	2.70	1.10	36.143	Ⅸa
Ia	B	9	P9-25	8		08-25	Ⅰ-057	二次加工のある剥片	ホルンフェルス	014	31.49	42.35	8.71	15.10	35.968	Ⅸa
Ia	B	9	P9-25	9				剥片	ホルンフェルス	016	29.50	25.30	3.50	2.27	35.963	Ⅸa
Ia	B	9	P9-25	10				剥片	ホルンフェルス	016	17.20	26.60	4.50	2.34	36.019	Ⅸa
Ia	B	9	P9-25	11		09-11		石核	嶺岡産珪質頁岩	117	19.80	26.50	23.50	15.84	36.164	Ⅸa
Ia	B	9	P9-25	12				剥片	ホルンフェルス	014	16.30	22.10	4.90	1.84	36.094	Ⅸa
Ia	B	9	P9-25	13				砕片	ガラス質黒色安山岩	024	6.90	12.10	3.90	0.33	35.899	Ⅸc
Ia	B	9	P9-25	14				砕片	頁岩	022	10.60	20.60	4.00	0.80	35.816	X
Ia	B	9	P9-25	15				砕片	ホルンフェルス	016	13.80	8.10	2.80	0.35	35.920	Ⅸc
Ia	B	9	P9-25	16				砕片	嶺岡産珪質頁岩	122	12.00	15.70	6.50	1.24	35.934	Ⅸc
Ia	B	9	P9-26	4		09-13		石核	黒曜石	013	40.69	66.73	27.85	52.89	35.953	Ⅸc
Ia	B	9	P9-26	6		09-32	Ⅰ-048	石核	頁岩	022	6.87	96.72	25.11	109.23	35.868	Ⅸc
Ia	B	9	P9-26	10		09-20	Ⅰ-060	剥片	玉髄（メノウ含む）	024	15.77	24.18	6.74	1.63	35.945	Ⅸc
Ia	B	9	P9-26	12		09-06		微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	115	31.62	29.53	8.29	6.12	35.963	Ⅸc
Ia	B	9	P9-26	13				剥片	トロトロ石（安山岩）	006	15.00	15.00	15.20	2.26	35.947	Ⅸc
Ia	B	9	P9-26	14		09-12		石核	嶺岡産珪質頁岩	111	35.71	42.63	15.08	18.86	35.936	Ⅸc
Ia	B	9	P9-26	15		08-45	Ⅰ-047	剥片	嶺岡産珪質頁岩	113	30.55	19.47	10.80	7.43	36.204	Ⅸc
Ia	B	9	P9-26	22				剥片	黒曜石	013	14.70	16.20	7.10	1.28	35.890	Ⅸc
Ia	B	9	P9-26	23				剥片	トロトロ石（安山岩）	003	13.40	23.60	3.50	1.08	35.834	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	1		09-10		石核	嶺岡産珪質頁岩	106	25.61	30.79	16.24	13.04	35.955	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	2				剥片	嶺岡産珪質頁岩	122	12.50	23.20	13.00	1.97	36.017	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	3				剥片	ホルンフェルス	014	9.40	17.70	2.20	0.45	35.956	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	4				剥片	頁岩	022	46.30	16.80	6.90	4.08	35.980	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	5				剥片	嶺岡産珪質頁岩	121	31.50	20.50	13.70	6.98	35.908	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	6				砕片	トロトロ石（安山岩）	006	10.40	3.00	4.60	0.14	36.042	Ⅸa
Ia	B	9	P9-35	7				砕片	流紋岩	041	9.30	22.30	6.20	0.97	36.081	Ⅸa
Ia	B	9	P9-35	8		09-22	Ⅰ-058	剥片	嶺岡産珪質頁岩	119	38.75	21.82	13.70	9.46	36.166	Ⅸa
Ia	B	9	P9-35	9		09-04		二次加工のある剥片	黒曜石	012	31.70	14.55	4.21	1.26	36.027	Ⅸa
Ia	B	9	P9-35	10				剥片	頁岩	022	16.52	21.67	5.46	1.79	36.165	Ⅸa
Ia	B	9	P9-35	11				剥片	嶺岡産珪質頁岩	122	19.30	10.20	6.00	1.01	35.968	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	12				砕片	トロトロ石（安山岩）	006	12.59	8.85	8.85	0.52	36.218	Ⅸa
Ia	B	9	P9-35	13		09-14		石核	嶺岡産珪質頁岩	122	24.17	44.39	25.69	27.88	35.915	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	14		09-19	Ⅰ-060	剥片	玉髄（メノウ含む）	024	23.93	31.66	9.86	8.38	35.920	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	15		08-26	Ⅰ-057	二次加工のある剥片	ホルンフェルス	014	29.18	45.20	9.08	15.22	35.922	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	16				剥片	玉髄（メノウ含む）	026	29.80	24.50	7.90	4.72	36.110	Ⅸa
Ia	B	9	P9-35	17				砕片	嶺岡産珪質頁岩	122	21.70	13.70	4.20	1.04	36.202	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	18				砕片	嶺岡産珪質頁岩	122	21.50	11.40	6.50	1.33	35.990	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	19				剥片	嶺岡産珪質頁岩	122	15.80	9.00	10.70	1.84	36.057	Ⅸa
Ia	B	9	P9-35	20				剥片	嶺岡産珪質頁岩	118	27.80	17.30	13.90	8.31	36.006	Ⅸa
Ia	B	9	P9-35	21				剥片	嶺岡産珪質頁岩	124	34.10	27.40	12.40	10.64	35.951	Ⅸc

第100表　第Ⅰ文化層石器属性表（13）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ia	B	9	P9-35	22				剥片	玉髄（メノウ含む）	027	24.30	16.00	3.60	1.65	35.919	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	23		09-05		二次加工のある剥片	頁岩	108	49.51	34.48	7.28	9.70	35.905	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	24				砕片	頁岩	122	17.00	11.30	9.80	1.59	35.956	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	26				砕片	頁岩	122	12.70	10.00	4.00	0.80	35.953	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	27				砕片	頁岩	122	9.40	7.00	4.40	0.25	35.906	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	28				剥片	頁岩	114	25.80	17.40	11.60	0.80	35.961	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	29		01-34	Ⅰ-003	敲石	砂岩	012	67.75	26.06	28.97	52.44	35.897	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	30		09-25	Ⅰ-061	石核	頁岩	122	42.81	70.24	48.10	149.85	35.906	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	31		08-47	Ⅰ-050	剥片	頁岩	121	26.62	25.41	6.55	3.21	35.932	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	32				剥片	頁岩	123	41.20	22.50	8.80	7.60	35.896	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	33				剥片	頁岩	123	47.70	30.30	14.00	26.04	36.065	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	34		09-24	Ⅰ-061	石核	頁岩	122	34.16	30.06	35.55	30.26	35.879	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	35				剥片	ホルンフェルス	014	17.70	13.30	2.70	0.69	35.916	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	36	2			砕片	トロトロ石（安山岩）	006	6.90	10.30	4.40	0.25	35.922	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	36	1			砕片	頁岩	122	7.90	12.20	1.10	0.14	35.922	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	37				砕片	頁岩	122	11.10	16.30	3.00	0.41	35.916	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	38				砕片	頁岩	112	10.30	13.90	3.90	0.38	35.920	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	39		09-23	Ⅰ-058	剥片	頁岩	119	30.65	20.72	9.16	4.94	35.906	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	40				剥片	頁岩	123	38.80	10.80	9.40	2.81	35.881	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	41				砕片	頁岩	122	8.50	10.10	3.00	0.35	35.892	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	42				砕片	トロトロ石（安山岩）	006	7.40	8.00	3.00	0.28	35.751	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	43				剥片	頁岩	121	18.70	18.10	7.20	2.98	35.892	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	44				砕片	頁岩	122	17.20	5.30	4.50	0.35	35.875	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	45		09-08		剥片	流紋岩	039	37.80	27.30	3.80	3.08	35.885	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	46	2			砕片	頁岩	122	14.00	5.80	3.10	0.35	35.864	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	47				砕片	頁岩	122	10.20	15.20	9.00	1.18	35.841	Ⅸc
Ia	B	9	P9-35	48				剥片	ホルンフェルス	014	24.78	41.20	8.00	7.68	35.812	Ⅹ
Ia	B	9	P9-36	1				剥片	頁岩	122	16.80	12.50	7.10	1.72	35.938	Ⅸc
Ia	B	9	P9-36	2				剥片	頁岩	116	25.40	40.60	6.80	5.17	35.933	Ⅸc
Ia	B	9	P9-36	3				剥片	ホルンフェルス	014	25.50	32.90	3.80	2.80	36.155	Ⅸc
Ia	B	9	P9-36	9				剥片	ホルンフェルス	014	51.70	28.90	7.40	9.92	35.918	Ⅸc
Ia	B	9	P9-36	10		09-21	Ⅰ-058	剥片	頁岩	119	30.08	32.02	13.34	13.52	35.909	Ⅸa
Ia	B	9	P9-36	11				砕片	頁岩	022	10.20	18.80	3.20	0.74	35.982	Ⅸa
Ia	B	9	P9-36	12				砕片	頁岩	122	11.60	18.70	3.90	0.71	35.958	Ⅸa
Ia	B	9	P9-36	13				剥片	ガラス質黒色安山岩	023	19.50	24.70	10.60	5.12	36.210	Ⅸa
Ia	B	9	P9-36	14				剥片	頁岩	123	19.90	13.40	7.90	2.09	35.950	Ⅸa
Ia	B	9	P9-36	15		09-09		敲石	流紋岩	042	53.17	54.00	28.14	95.66	35.923	Ⅸa
Ia	B	9	P9-36	16				砕片	頁岩	122	14.20	7.80	6.60	0.84	36.084	Ⅸa
Ia	B	9	P9-36	17				砕片	頁岩	106	13.90	20.80	5.00	1.13	36.145	Ⅸa
Ia	B	9	P9-36	18				剥片	頁岩	022	32.10	25.70	6.20	4.51	36.073	Ⅸa
Ia	B	9	P9-36	19				剥片	黒曜石	012	20.60	7.20	2.50	0.37	36.170	Ⅸa
Ia	B	9	P9-36	20		09-16		石核	頁岩	109	47.99	68.33	32.00	116.87	35.912	Ⅸa
Ia	B	9	P9-36	21				礫	チャート	043	17.00	19.60	10.30	4.14	36.005	Ⅸa
Ia	B	9	P9-36	22		08-14	Ⅰ-052	敲石	砂岩	013	52.83	40.94	30.90	61.89	35.924	Ⅸc
Ia	B	9	P9-36	23		09-03		楔形石器	黒曜石	011	26.29	16.20	5.49	1.97	35.865	Ⅸc
Ia	B	9	P9-36	25				剥片	玉髄（メノウ含む）	033	11.20	7.50	4.20	1.36	35.886	Ⅸc
Ia	B	9	P9-36	26				剥片	頁岩	112	65.60	25.50	11.40	20.78	35.765	Ⅹ
Ia	B	9	P9-36	27		09-18	Ⅰ-059	石核	頁岩	110	28.82	36.93	23.20	20.83	35.885	Ⅸc
Ia	B	9	P9-36	28				剥片	ホルンフェルス	014	35.40	23.20	11.40	8.37	35.876	Ⅸc
Ia	B	9	P9-36	29				砕片	頁岩	122	13.80	5.70	3.30	0.24	35.886	Ⅸc
Ia	B	9	P9-36	34				砕片	頁岩	122	9.30	16.10	5.50	0.83	35.953	Ⅸc
Ia	B	9	P9-36	35				砕片	ガラス質黒色安山岩	024	11.10	9.70	2.60	0.39	35.906	Ⅸc
Ia	B	9	P9-36	36				砕片	頁岩	106	16.10	9.60	2.50	0.43	35.828	Ⅸc
Ia	B	9	P9-36	37				剥片	ホルンフェルス	014	21.30	38.80	9.00	8.75	35.903	Ⅸc
Ia	B	9	P9-36	38				剥片	ガラス質黒色安山岩	011	37.20	32.60	18.00	12.29	35.990	Ⅸc
Ia	B	9	P9-36	40				砕片	頁岩	122	12.80	6.60	2.90	0.23	35.774	Ⅹ
Ia	B	9	P9-36	41				砕片	頁岩	122	48.90	14.00	4.50	0.72	35.813	Ⅹ
Ia	B	9	P9-36	42				剥片	ガラス質黒色安山岩	024	10.40	9.80	2.70	0.73	35.935	Ⅸc
Ia	B	9	P9-36	43				砕片	頁岩	122	9.00	13.00	3.10	0.45	35.871	Ⅸc
Ia	B	9	P9-36	44		09-02		二次加工のある剥片	玉髄（メノウ含む）	026	28.62	21.63	5.90	3.41	35.813	Ⅹ
Ia	B	9	P9-36	45				砕片	ガラス質黒色安山岩	023	19.60	13.10	4.10	1.15	35.799	Ⅹ
Ia	B	9	P9-36	53				砕片	頁岩	122	16.50	7.20	3.70	0.33	35.776	Ⅹ
Ia	B	9	P9-36	54				剥片	頁岩	121	16.80	32.80	15.30	8.09	35.873	Ⅹ
Ia	B	9	P9-46	1				剥片	玉髄（メノウ含む）	027	24.50	28.30	7.20	7.21	36.197	Ⅸa
Ia	B	9	P9-46	2		09-15		石核	頁岩	114	27.38	53.18	20.49	30.34	35.964	Ⅸc
Ia	B	9	P9-46	8				砕片	頁岩	122	5.60	8.00	3.30	0.13	36.004	Ⅸc
Ia	B	10	P9-43	1				剥片	玉髄（メノウ含む）	032	21.00	17.50	8.40	2.07	36.342	Ⅸ
Ia	B	10	P9-43	2				剥片	頁岩	124	27.80	36.00	8.40	5.50	36.140	Ⅸc
Ia	B	10	P9-44	1				砕片	黒曜石	015	7.20	7.60	0.90	0.05	35.957	Ⅸc
Ia	B	10	P9-44	2		10-02		二次加工のある剥片	玉髄（メノウ含む）	035	21.78	23.99	10.80	6.04	36.125	Ⅸc
Ia	B	10	P9-44	3		08-18	Ⅰ-045	敲石	砂岩	014	68.60	61.02	38.14	178.86	35.966	Ⅸc
Ia	B	10	P9-44	4				礫	砂岩	015	55.10	34.80	10.70	25.60	36.104	Ⅸc
Ia	B	10	P9-44	5				礫	ホルンフェルス	019	146.50	78.20	57.30	926.00	35.935	Ⅸc
Ia	B	10	P9-44	6				剥片	ホルンフェルス	014	37.80	16.00	6.10	2.96	36.129	Ⅸc
Ia	B	10	P9-44	7				剥片	頁岩	124	21.40	16.50	6.00	1.66	36.188	Ⅸa
Ia	B	10	P9-44	8				剥片	玉髄（メノウ含む）	030	17.80	30.40	5.10	2.14	36.045	Ⅸc
Ia	B	10	P9-44	9				剥片	黒曜石	014	17.40	17.50	7.30	1.75	36.160	Ⅸa
Ia	B	10	P9-44	10				剥片	凝灰岩	125	16.80	25.70	9.20	2.89	35.974	Ⅸc
Ia	B	10	P9-44	11				砕片	凝灰岩	004	11.30	16.20	2.30	0.33	35.955	Ⅸc
Ia	B	10	P9-44	12		10-08		石核	珪質頁岩	017	20.29	44.31	24.71	13.24	36.142	Ⅸa
Ia	B	10	P9-44	13				砕片	玉髄（メノウ含む）	036	21.60	10.10	5.60	0.89	36.083	Ⅸa
Ia	B	10	P9-44	14				砕片	玉髄（メノウ含む）	036	20.20	12.00	4.40	0.95	35.992	Ⅹ
Ia	B	10	P9-44	15				剥片	頁岩	124	30.70	17.00	10.60	4.95	36.037	Ⅸc
Ia	B	10	P9-44	16				剥片	玉髄（メノウ含む）	034	28.20	20.20	6.00	2.96	35.941	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	1				砕片	トロトロ石（安山岩）	007	8.40	10.90	2.40	0.24	36.276	Ⅸa
Ia	B	10	P9-45	2				剥片	頁岩	125	21.80	9.80	2.20	0.73	35.934	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	3				剥片	頁岩	124	19.30	22.20	4.30	1.47	35.933	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	4				剥片	頁岩	124	21.70	12.10	5.90	1.46	35.926	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	5				砕片	頁岩	124	15.10	8.00	2.40	0.33	35.920	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	6				剥片	頁岩	124	30.00	12.80	6.30	2.24	35.909	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	7				剥片	頁岩	125	14.40	21.80	2.80	1.35	35.916	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	8				剥片	ホルンフェルス	014	23.60	33.50	4.20	3.35	36.038	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	9				剥片	頁岩	125	16.80	11.10	2.10	0.55	35.796	Ⅹ
Ia	B	10	P9-45	10				剥片	頁岩	124	13.60	15.40	2.00	0.43	36.260	Ⅸa
Ia	B	10	P9-45	11				剥片	頁岩	112	15.50	22.20	4.70	0.99	36.087	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	12				剥片	凝灰岩	004	14.80	19.00	4.50	1.37	35.925	Ⅸc

第101表　第Ⅰ文化層石器属性表（14）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ia	B	10	P9-45	13				剥片	玉髄（メノウ含む）	030	22.00	17.50	9.00	3.23	36.010	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	14				剥片	嶺岡産珪質頁岩	124	19.60	10.00	4.50	1.18	36.019	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	15				礫	チャート	046	18.30	11.10	8.80	2.50	35.860	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	16				剥片	凝灰岩	004	7.50	15.40	3.00	0.69	36.015	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	17				砕片	ホルンフェルス	014	11.50	23.60	4.00	0.85	36.113	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	18				剥片	嶺岡産珪質頁岩	125	24.60	6.30	5.00	0.44	35.914	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	19				剥片	嶺岡産珪質頁岩	124	24.20	7.30	7.50	1.30	35.953	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	20				砕片	嶺岡産珪質頁岩	126	10.00	14.60	9.30	1.12	35.954	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	21				剥片	玉髄（メノウ含む）	030	47.00	35.80	8.40	11.60	35.923	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	22				剥片	嶺岡産珪質頁岩	124	11.80	13.70	2.50	0.49	35.873	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	23				剥片	嶺岡産珪質頁岩	123	8.80	15.30	3.60	0.55	35.855	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	24				剥片	玉髄（メノウ含む）	036	27.60	28.50	6.60	5.03	35.879	X
Ia	B	10	P9-45	25				剥片	玉髄（メノウ含む）	031	42.60	36.80	9.50	12.88	35.944	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	26				剥片	玉髄（メノウ含む）	034	19.90	9.00	8.00	1.62	35.960	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	27				剥片	玉髄（メノウ含む）	034	23.70	30.70	4.10	2.92	35.945	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	28		10-06		微細剥離痕のある剥片	玉髄（メノウ含む）	030	40.13	28.51	8.68	9.35	35.765	Ⅸc
Ia	B	10	P9-45	29				砕片	嶺岡産珪質頁岩	127	10.50	14.30	1.40	0.26	35.885	Ⅸc
Ia	B	10	P9-46	3				剥片	珪質頁岩	017	30.10	33.30	9.80	8.63	35.910	Ⅸc
Ia	B	10	P9-46	4				剥片	玉髄（メノウ含む）	029	25.60	19.50	9.80	3.06	35.908	Ⅸc
Ia	B	10	P9-46	5		09-17	I-059	剥片	嶺岡産珪質頁岩	110	32.58	20.80	18.41	6.84	35.920	Ⅸc
Ia	B	10	P9-46	6				剥片	ガラス質黒色安山岩	025	34.90	17.10	8.70	3.10	36.114	Ⅸa
Ia	B	10	P9-46	7				剥片	嶺岡産珪質頁岩	124	19.00	23.80	6.70	3.45	35.696	X
Ia	B	10	P9-53	1				礫	チャート	044	41.30	27.80	19.00	28.39	36.000	Ⅸc
Ia	B	10	P9-53	2		10-10		石核	嶺岡産珪質頁岩	017	39.01	48.20	23.65	33.15	36.058	Ⅸc
Ia	B	10	P9-54	1		10-03		微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	124	25.46	13.62	4.45	1.57	36.141	Ⅸc
Ia	B	10	P9-54	2				剥片	玉髄（メノウ含む）	033	29.00	16.00	6.10	2.84	35.969	Ⅸc
Ia	B	10	P9-54	3				剥片	ホルンフェルス	014	15.83	26.31	7.93	3.86	36.009	Ⅸc
Ia	B	10	P9-54	4				剥片	玉髄（メノウ含む）	036	21.60	12.20	5.00	1.06	35.960	Ⅸc
Ia	B	10	P9-54	5				剥片	嶺岡産珪質頁岩	124	33.00	6.70	5.00	3.34	35.945	Ⅸc
Ia	B	10	P9-54	12		10-07		敲石	流紋岩	043	59.00	52.24	31.66	137.04	35.949	Ⅸc
Ia	B	10	P9-54	13		10-09		石核	嶺岡産珪質頁岩	124	59.51	45.05	26.92	64.28	36.060	Ⅸc
Ia	B	10	P9-54	18				剥片	黒曜石	014	16.70	24.60	9.10	2.82	35.885	X
Ia	B	10	P9-55	7		10-04	I-062	微細剥離痕のある剥片	玉髄（メノウ含む）	029	42.49	25.27	9.75	10.70	35.719	X
Ia	B	10	P9-55	8		10-01		ナイフ形石器	玉髄（メノウ含む）	030	26.08	19.13	7.42	3.23	36.117	Ⅸc
Ia	B	10	P9-55	9				砕片	嶺岡産珪質頁岩	124	13.20	17.60	2.30	0.57	36.085	Ⅸc
Ia	B	10	P9-55	11				剥片	嶺岡産珪質頁岩	124	13.20	22.30	10.50	3.70	35.991	Ⅸc
Ia	B	10	P9-55	15				剥片	チャート	045	30.30	34.80	18.00	12.84	35.865	X
Ia	B	10	P9-55	16				剥片	嶺岡産珪質頁岩	124	18.70	22.70	5.10	1.74	35.766	X
Ia	B	10	P9-55	18		10-05	I-062	微細剥離痕のある剥片	玉髄（メノウ含む）	029	29.04	25.45	6.80	3.41	35.927	X
Ia	B	10	P9-56	1				剥片	玉髄（メノウ含む）	035	17.70	13.50	3.00	0.76	35.850	X
Ia	B	10	P9-56	2				剥片	嶺岡産珪質頁岩	100	25.00	31.30	12.10	10.07	36.142	Ⅸa
Ia	B	10	P9-56	4				剥片	トロトロ石（安山岩）	004	30.60	20.30	7.50	3.88	35.849	X
Ia	B	11	P9-54	6				剥片	嶺岡産珪質頁岩	128	23.90	13.60	3.20	0.99	36.571	Ⅶ
Ia	B	11	P9-54	7				剥片	嶺岡産珪質頁岩	128	24.60	28.40	18.30	3.24	36.053	Ⅸc
Ia	B	11	P9-54	8				剥片	嶺岡産珪質頁岩	128	14.30	19.80	4.50	1.07	36.132	Ⅸc
Ia	B	11	P9-54	9				剥片	嶺岡産珪質頁岩	128	29.60	33.10	8.90	5.08	36.010	Ⅸc
Ia	B	11	P9-54	10				剥片	嶺岡産珪質頁岩	124	25.70	31.50	8.00	5.40	35.940	Ⅸc
Ia	B	11	P9-54	11		11-02		二次加工のある剥片	玉髄（メノウ含む）	030	26.22	24.08	4.85	2.57	36.307	Ⅸa
Ia	B	11	P9-54	14				剥片	ガラス質黒色安山岩	026	26.70	18.20	3.80	2.49	35.960	Ⅸc
Ia	B	11	P9-54	15				剥片	嶺岡産珪質頁岩	128	20.90	8.70	6.00	1.92	35.987	Ⅸc
Ia	B	11	P9-54	16				剥片	嶺岡産珪質頁岩	128	23.30	18.30	5.40	2.68	35.962	Ⅸc
Ia	B	11	P9-54	17		07-14	I-040	剥片	嶺岡産珪質頁岩	092	43.78	64.37	20.06	38.65	35.976	Ⅸc
Ia	B	11	P9-55	1				砕片	嶺岡産珪質頁岩	128	10.13	14.75	3.76	0.53	36.027	Ⅸc
Ia	B	11	P9-55	2				砕片	嶺岡産珪質頁岩	128	15.40	10.60	3.20	0.48	35.895	X
Ia	B	11	P9-55	3	2			剥片	嶺岡産珪質頁岩	128	16.10	30.80	3.10	1.43	36.048	Ⅸc
Ia	B	11	P9-55	3	1			砕片	嶺岡産珪質頁岩	124	14.20	13.00	2.40	0.41	36.048	Ⅸc
Ia	B	11	P9-55	4				剥片	嶺岡産珪質頁岩	128	16.00	22.50	6.60	1.86	36.320	Ⅸa
Ia	B	11	P9-55	5				剥片	嶺岡産珪質頁岩	128	9.50	31.50	5.10	0.93	36.305	Ⅸa
Ia	B	11	P9-55	6				砕片	嶺岡産珪質頁岩	124	10.60	9.00	1.40	0.20	36.292	Ⅸa
Ia	B	11	P9-55	10		09-28	I-048	剥片	頁岩	022	28.00	43.20	7.10	8.05	36.015	Ⅸc
Ia	B	11	P9-55	12				剥片	トロトロ石（安山岩）	008	12.00	14.80	2.70	0.83	35.935	Ⅸc
Ia	B	11	P9-55	13				剥片	チャート	048	40.40	23.20	12.10	11.55	35.961	Ⅸc
Ia	B	11	P9-55	14				剥片	嶺岡産珪質頁岩	124	15.50	23.10	4.90	1.30	35.990	Ⅸc
Ia	B	11	P9-55	17				砕片	嶺岡産珪質頁岩	124	15.60	13.90	2.90	0.63	35.736	X
Ia	B	11	P9-64	1				剥片	嶺岡産珪質頁岩	124	22.40	12.80	5.00	1.01	36.277	Ⅸa
Ia	B	11	P9-64	2				剥片	嶺岡産珪質頁岩	124	34.20	9.80	7.40	2.21	36.045	Ⅸc
Ia	B	11	P9-64	3				剥片	嶺岡産珪質頁岩	128	10.60	26.40	5.20	1.30	35.998	Ⅸc
Ia	B	11	P9-64	4				剥片	嶺岡産珪質頁岩	124	41.20	18.40	10.10	6.33	36.127	Ⅸc
Ia	B	11	P9-64	5				剥片	黒曜石	016	13.00	23.80	6.40	1.62	36.066	Ⅸc
Ia	B	11	P9-64	6				砕片	ガラス質黒色安山岩	026	13.30	10.20	3.50	0.53	35.964	Ⅸc
Ia	B	11	P9-64	7		11-06	I-063	二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	128	26.85	58.23	14.09	17.12	36.034	Ⅸc
Ia	B	11	P9-64	8		11-03		二次加工のある剥片	玉髄（メノウ含む）	006	30.25	27.44	9.22	5.82	35.943	Ⅸc
Ia	B	11	P9-64	9		11-01		二次加工のある剥片	玉髄（メノウ含む）	037	46.42	37.70	11.30	12.47	36.008	Ⅸc
Ia	B	11	P9-64	10				礫	チャート	049	21.60	24.90	15.00	10.42	35.984	Ⅸc
Ia	B	11	P9-64	11				剥片	嶺岡産珪質頁岩	124	29.80	20.70	9.00	3.54	35.945	Ⅸc
Ia	B	11	P9-64	12				剥片	ガラス質黒色安山岩	026	21.90	10.30	4.20	1.02	36.049	Ⅸc
Ia	B	11	P9-64	13				剥片	トロトロ石（安山岩）	008	15.40	10.90	3.20	0.65	35.972	Ⅸc
Ia	B	11	P9-64	14		11-05	I-063	微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	128	17.78	20.45	15.72	1.92	36.155	Ⅸc
Ia	B	11	P9-64	15				剥片	ガラス質黒色安山岩	026	22.10	16.80	3.80	1.37	35.988	Ⅸc
Ia	B	11	P9-64	16				剥片	嶺岡産珪質頁岩	124	22.30	12.70	6.20	1.13	36.082	Ⅸc
Ia	B	11	P9-64	17				剥片	嶺岡産珪質頁岩	124	13.50	11.80	3.40	0.44	36.173	Ⅸc
Ia	B	11	P9-64	18				礫	チャート	050	23.20	21.30	11.80	6.30	35.925	X
Ia	B	11	P9-64	19		07-17	I-038	微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	128	17.74	32.75	18.86	10.31	35.905	X
Ia	B	11	P9-65	1				剥片	ガラス質黒色安山岩	026	20.20	15.60	6.60	2.10	36.115	Ⅸc
Ia	B	11	P9-65	2		11-04		微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	128	23.67	32.21	4.67	2.32	36.272	Ⅸa
Ia	B	11	P9-65	3				剥片	嶺岡産珪質頁岩	124	27.50	18.30	5.50	2.91	36.028	Ⅸc
Ia	B	11	P9-65	4				砕片	トロトロ石（安山岩）	008	5.50	9.90	2.00	0.14	36.154	Ⅸc
Ia	B	11	P9-65	5				砕片	ガラス質黒色安山岩	026	18.60	7.70	3.40	0.46	36.280	Ⅸa
Ia	B	11	P9-65	6				剥片	嶺岡産珪質頁岩	124	23.60	19.10	8.00	3.50	36.113	Ⅸc
Ia	B	11	P9-65	7				剥片	嶺岡産珪質頁岩	124	27.50	12.30	5.70	1.72	36.096	Ⅸc
Ia	B	11	P9-65	8				砕片	ガラス質黒色安山岩	026	13.80	17.70	5.00	0.88	35.924	Ⅸc
Ia	B	11	P9-65	9				礫	チャート	047	42.00	26.30	21.60	28.30	35.910	Ⅸc
Ia	B	11	P9-65	10				剥片	嶺岡産珪質頁岩	128	31.70	14.70	5.00	2.59	36.418	Ⅸa
Ia	B	11	P9-65	11				剥片	ホルンフェルス	021	13.30	16.10	5.30	1.60	36.188	Ⅸc
Ia	B	11	P9-65	12				砕片	嶺岡産珪質頁岩	128	14.50	16.30	4.70	0.87	36.275	Ⅸa
Ia	B	11	P9-65	13		07-20	I-038	微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	128	51.32	41.47	12.19	23.07	35.969	Ⅸc

第102表　第Ⅰ文化層石器属性表（15）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ia	B	11	P9-65	14				剥片	トロトロ石（安山岩）	008	36.40	29.00	11.20	9.98	35.965	X
Ia	B	11	P9-65	15				剥片	ガラス質黒色安山岩	026	27.10	16.60	3.00	1.64	35.935	X
Ia	B	11	P9-65	16				剥片	嶺岡産珪質頁岩	128	16.10	46.20	6.90	3.63	35.726	X
Ia	B	11	P9-65	18	1			剥片	ホルンフェルス	020	41.50	28.70	11.00	19.46	35.674	X
Ia	B	11	P9-65	18	2			剥片	チャート	051	10.90	9.30	8.90	1.56	35.674	X
Ia	B	12	P9-56	3		09-26	Ⅰ-048	敲石	頁岩	022	66.25	48.86	23.64	47.80	35.960	Ⅸc
Ia	B	12	P9-56	5				剥片	ホルンフェルス	022	32.90	23.20	14.80	10.72	36.387	Ⅶ
Ia	B	12	P9-57	1		12-01		微細剥離痕のある剥片	黒曜石	017	28.25	23.08	9.39	4.64	36.396	Ⅶ
Ia	B	12	P9-57	2				剥片	ホルンフェルス	014	34.50	36.90	13.10	17.23	35.902	X
Ia	B	12	P9-57	3				剥片	ガラス質黒色安山岩	027	44.20	33.50	10.60	13.90	35.927	Ⅸc
Ia	B	12	P9-67	1				剥片	ホルンフェルス	022	23.50	11.54	4.40	2.48	36.095	Ⅸc
Ia	B	12	P9-67	2				微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	129	38.80	58.40	11.30	26.19	36.150	Ⅸc
Ia	B	13	P9-74	1		07-18	Ⅰ-038	微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	128	21.35	34.36	12.89	10.90	36.000	X
Ia	B	13	P9-74	2				剥片	ホルンフェルス	025	19.90	13.20	9.00	1.35	36.100	Ⅸc
Ia	B	13	P9-74	3	1			剥片	ガラス質黒色安山岩	028	16.00	11.40	3.90	0.73	35.989	X
Ia	B	13	P9-74	3	2			剥片	凝灰岩	005	8.90	8.50		0.12	35.989	X
Ia	B	13	P9-74	4				礫	チャート	053	44.20	20.30	10.60	15.63	35.795	X
Ia	B	13	P9-75	1				剥片	黒曜石	019	22.00	11.50	6.70	1.40	36.181	Ⅸc
Ia	B	13	P9-75	2				剥片	玉髄（メノウ含む）	039	28.30	29.20	11.00	7.53	36.512	Ⅸa
Ia	B	13	P9-75	3				剥片	ガラス質黒色安山岩	028	40.10	29.80	4.70	5.78	36.239	Ⅸc
Ia	B	13	P9-75	4				剥片	ガラス質黒色安山岩	028	38.30	16.50	7.30	4.16	36.102	Ⅸc
Ia	B	13	P9-75	5				剥片	黒曜石	018	27.00	20.00	5.30	2.05	36.176	Ⅸc
Ia	B	13	P9-76	1				剥片	チャート	056	35.80	23.40	10.90	8.14	36.462	Ⅸc
Ia	B	13	P9-76	2		13-01		ナイフ形石器	黒曜石	018	41.77	26.01	9.75	6.42	36.357	Ⅸc
Ia	B	13	P9-85	1				礫	チャート	054	101.70	73.50	82.30	852.00	36.164	Ⅸc
Ia	B	13	P9-85	2		13-02	Ⅰ-064	楔形石器	チャート	052	33.00	35.56	14.60	19.30	36.289	Ⅸc
Ia	B	13	P9-85	3				剥片	ガラス質黒色安山岩	028	25.00	16.40	5.70	2.23	36.175	Ⅸc
Ia	B	13	P9-85	4	2			剥片	ガラス質黒色安山岩	028	16.30	11.40	3.10	0.48	35.895	Ⅸc
Ia	B	13	P9-85	4	1			剥片	嶺岡産珪質頁岩	130	17.00	21.10	4.70	1.17	35.895	Ⅸc
Ia	B	13	P9-85	5				剥片	ホルンフェルス	023	44.10	18.10	20.80	21.95	36.087	Ⅸc
Ia	B	13	P9-86	1		13-05	Ⅰ-065	局部磨製石斧	角閃片岩	001	51.64	42.91	25.44	66.14	36.139	Ⅸc
Ia	B	13	P9-86	2			Ⅰ-066	剥片	玉髄（メノウ含む）	038	18.50	10.40	10.80	2.12	36.176	Ⅸc
Ia	B	13	P9-86	3			Ⅰ-066	剥片	玉髄（メノウ含む）	038	34.10	25.20	12.30	7.66	36.158	Ⅸc
Ia	B	13	P9-86	4				礫	チャート	055	40.10	18.30	17.30	17.03	36.156	Ⅸc
Ia	B	13	P9-86	5	2	13-03	Ⅰ-064	楔形石器	チャート	052	19.50	8.50	5.00	0.66	36.120	Ⅸc
Ia	B	13	P9-86	5	1	13-04	Ⅰ-065	局部磨製石斧	角閃片岩	001	25.00	21.40	6.60	4.63	36.120	Ⅸc
Ia	B	13	P9-95	1				剥片	ホルンフェルス	024	18.40	10.20	4.50	1.01	36.705	Ⅵ
Ib	C	14	O8-56	1				剥片	チャート	036	34.00	26.70	7.80	5.17	35.658	Ⅸc
Ib	C	14	O8-67	1				剥片	チャート	036	29.80	28.80	10.10	4.64	36.268	Ⅶ
Ib	C	14	O8-67	2				剥片	チャート	036	21.10	27.60	7.80	3.00	35.780	Ⅸa
Ib	C	14	O8-67	3				剥片	チャート	036	38.50	19.00	10.00	5.10	35.918	Ⅸa
Ib	C	14	O8-67	4				剥片	チャート	036	30.70	17.00	7.80	3.37	36.055	Ⅸa
Ib	C	14	O8-67	5				剥片	ホルンフェルス	011	19.80	12.30	5.10	1.01	35.795	Ⅸc
Ib	C	14	O8-67	6				剥片	玉髄（メノウ含む）	016	15.80	12.00	2.60	0.54	35.801	Ⅸc
Ib	C	14	O8-67	7				剥片	玉髄（メノウ含む）	015	17.00	11.80	2.20	0.45	36.018	Ⅸa
Ib	C	14	O8-67	8				剥片	珪質頁岩	011	22.50	15.20	2.70	0.73	35.944	Ⅸa
Ib	C	14	O8-77	1		14-01		ナイフ形石器	珪質頁岩	010	29.73	13.97	4.55	1.57	35.992	Ⅸa
Ib	C	14	O8-78	1				剥片	玉髄（メノウ含む）	015	16.50	19.90	4.40	1.39	36.060	Ⅸa
Ib	C	14	O8-78	2				礫	砂岩	011	39.50	42.60	22.00	46.90	35.581	X
Ib	C	15	O8-72	1	1			剥片	珪質頁岩	014	13.33	17.72	2.70	0.57	36.030	Ⅸc
Ib	C	15	O8-72	1	2			砕片	珪質頁岩	013	5.03	9.48	2.47	0.30	36.030	Ⅸc
Ib	C	15	O8-72	2				礫片	流紋岩	022	27.00	37.90	26.90	35.01	35.809	Ⅸc
Ib	C	15	O8-82	1				剥片	珪質頁岩	014	24.30	9.30	3.20	0.61	36.036	Ⅸc
Ib	C	15	O8-82	2				剥片	珪質頁岩	014	21.10	5.20	1.60	0.28	36.028	Ⅸc
Ib	C	15	O8-82	3				剥片	チャート	035	39.10	16.30	7.20	3.21	36.192	Ⅸa
Ib	C	15	O8-82	4	1	15-01	Ⅰ-068	二次加工のある剥片	チャート	035	22.48	33.62	7.04	5.92	36.033	Ⅸa
Ib	C	15	O8-82	5				剥片	珪質頁岩	014	21.20	10.90	1.80	0.65	36.187	Ⅸa
Ib	C	15	O8-83	1	2			微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩	013	20.40	15.40	3.80	0.82	36.228	Ⅸa
Ib	C	15	O8-83	1	1	15-07	Ⅰ-067	剥片	珪質頁岩	013	25.07	20.53	3.65	1.21	36.228	Ⅸa
Ib	C	15	O8-83	2				剥片	珪質頁岩	013	22.30	17.40	6.40	2.17	36.268	Ⅸa
Ib	C	15	O8-83	3	1	15-02	Ⅰ-068	石核	チャート	035	47.52	28.60	20.02	34.03	36.052	Ⅸc
Ib	C	15	O8-83	4		15-03		ナイフ形石器	ガラス質黒色安山岩	016	38.21	14.10	6.10	2.98	36.091	Ⅶ
Ib	C	15	O8-83	5		15-06	Ⅰ-067	二次加工のある剥片	珪質頁岩	013	21.61	17.68	7.48	2.61	36.340	Ⅶ
Ib	C	15	O8-83	6				剥片	珪質頁岩	013	24.70	8.20	7.40	1.71	36.129	Ⅸa
Ib	C	15	O8-83	7				剥片	玉髄（メノウ含む）	037	31.10	20.30	4.80	3.97	35.948	Ⅸc
Ib	C	15	O8-83	8				砕片	珪質頁岩	012	10.20	14.20	1.80	0.34	36.109	Ⅸa
Ib	C	15	O8-84	1				砕片	珪質頁岩	012	12.00	15.80	2.40	0.32	36.145	Ⅸa
Ib	C	15	O8-84	2		15-05		微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩	012	23.45	14.96	4.64	1.01	36.099	Ⅸa
Ib	C	15	O8-84	3				砕片	珪質頁岩	012	10.90	16.20	4.90	0.71	36.104	Ⅸa
Ib	C	15	O8-84	4				砕片	珪質頁岩	012	14.30	18.70	1.70	0.42	36.156	Ⅸa
Ib	C	15	O8-84	5				砕片	珪質頁岩	012	11.60	18.10	3.70	0.62	36.144	Ⅸa
Ib	C	15	O8-84	6				剥片	珪質頁岩	012	12.90	24.30	3.30	0.73	36.418	Ⅶ
Ib	C	15	O8-84	7				微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩	012	21.20	20.40	6.00	1.67	36.333	Ⅶ
Ib	C	15	O8-84	8				砕片	珪質頁岩	013	12.90	11.50	1.50	0.26	35.994	Ⅸc
Ib	C	15	O8-92	1				剥片	玉髄（メノウ含む）	037	32.70	31.30	6.20	5.86	35.915	Ⅸc
Ib	C	15	O8-93	1		15-04		石核	珪質頁岩	012	49.08	32.30	17.98	24.07	36.095	Ⅸa
Ib	C	15	O8-94	1				剥片	珪質頁岩	012	15.80	8.00	2.40	0.35	36.157	Ⅸa
Ib	C	15	O8-94	2				微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩	012	20.00	24.90	3.90	1.50	36.072	Ⅸa
Ib	C	16	O8-22	1		16-02		微細剥離痕のある剥片	頁岩	015	60.36	14.76	3.37	4.79	0.000	Ⅸa
Ib	C	16	O8-22	1				剥片	珪質頁岩	015	20.80	10.40	1.60	0.35	35.665	Ⅸc
Ib	C	16	O8-31	1				剥片	珪質頁岩	015	25.50	15.50	3.20	1.18	36.040	Ⅸa
Ib	C	16	O8-32	1				剥片	珪質頁岩	015	12.60	19.20	2.70	0.65	36.060	Ⅸa
Ib	C	16	O8-32	2				剥片	玉髄（メノウ含む）	017	23.00	15.00	4.40	1.39	35.807	Ⅸc
Ib	C	16	O8-32	3		16-01		微細剥離痕のある剥片	ガラス質黒ノウ色安山岩	017	65.37	24.62	14.49	14.32	35.775	Ⅸc
Ib	C	17	P8-52	1				砕片	玉髄（メノウ含む）	018	10.90	16.40	1.50	0.29	35.870	Ⅸa
Ib	C	17	P8-53	1				礫	流紋岩	025	59.70	34.20	31.10	84.00	35.611	Ⅸc
Ib	C	17	P8-53	2				剥片	玉髄（メノウ含む）	018	20.70	7.70	1.80	0.34	35.837	Ⅸa
Ib	C	17	P8-53	3		17-01		二次加工のある剥片	頁岩	016	55.69	45.21	10.08	17.81	35.836	Ⅸa
Ib	C	17	P8-53	4		17-04		微細剥離痕のある剥片	頁岩	017	50.37	33.26	9.53	11.97	35.801	Ⅸa
Ib	C	17	P8-53	5				剥片	頁岩	016	24.80	23.50	3.40	1.98	36.066	Ⅶ
Ib	C	17	P8-62	1				剥片	頁岩	016	26.50	18.40	5.20	1.86	36.178	Ⅶ
Ib	C	17	P8-62	2				剥片	珪質頁岩	016	20.60	16.50	2.00	0.59	35.897	Ⅸa
Ib	C	17	P8-62	3				砕片	頁岩	016	16.50	10.20	4.30	0.54	35.825	Ⅸc
Ib	C	17	P8-62	4				砕片	頁岩	016	11.50	4.50	4.00	0.20	35.675	Ⅸc
Ib	C	17	P8-62	5				剥片	頁岩	016	36.40	56.50	14.10	27.55	35.849	Ⅸa
Ib	C	17	P8-62	6				砕片	頁岩	016	16.50	17.10	5.40	1.16	35.977	Ⅸa

第103表　第Ⅰ文化層石器属性表（16）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅰb	C	17	P8-62	7				剥片	頁岩	016	22.10	20.50	5.80	1.72	36.055	Ⅶ
Ⅰb	C	17	P8-62	8				剥片	玉髄（メノウ含む）	018	20.20	24.70	3.50	2.35	36.061	Ⅶ
Ⅰb	C	17	P8-62	9				剥片	頁岩	016	9.20	24.90	4.40	0.67	35.785	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-62	10				砕片	頁岩	016	19.90	15.90	6.40	1.42	35.768	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-62	11				砕片	頁岩	016	15.10	11.00	3.00	0.44	35.818	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-62	12				剥片	玉髄（メノウ含む）	019	22.50	22.00	4.30	1.72	35.660	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-62	13				砕片	玉髄（メノウ含む）	018	8.90	17.90	2.30	0.38	35.806	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-62	14				砕片	頁岩	016	11.00	7.70	1.80	0.23	35.930	Ⅸa
Ⅰb	C	17	P8-62	15				剥片	頁岩	016	15.80	24.80	2.60	1.06	35.776	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-62	16				砕片	頁岩	016	8.80	12.70	3.10	0.35	35.820	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-62	17				剥片	頁岩	016	29.80	20.60	5.40	3.65	36.000	Ⅸa
Ⅰb	C	17	P8-62	18				剥片	頁岩	016	18.50	11.80	4.50	0.79	35.758	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-62	19				砕片	頁岩	016	7.50	8.50	2.00	0.19	35.717	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-62	20				砕片	頁岩	016	10.10	13.20	2.00	0.35	35.637	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-62	21				剥片	流紋岩	024	13.60	15.70	7.40	2.44	35.538	X
Ⅰb	C	17	P8-63	1		17-03		微細剥離痕のある剥片	頁岩	017	39.80	24.65	6.66	5.50	36.239	Ⅶ
Ⅰb	C	17	P8-63	2				砕片	玉髄（メノウ含む）	019	7.60	13.00	1.20	0.15	36.152	Ⅶ
Ⅰb	C	17	P8-63	3				砕片	玉髄（メノウ含む）	018	17.80	13.00	2.20	0.58	35.808	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-63	4				砕片	頁岩	016	12.00	11.90	1.30	0.20	35.777	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-63	5				砕片	頁岩	016	8.30	12.10	1.70	0.50	35.883	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-63	6				剥片	玉髄（メノウ含む）	019	13.10	15.80	2.50	0.58	35.895	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-63	7				砕片	頁岩	016	9.50	13.10	12.00	0.20	35.753	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-63	8				砕片	頁岩	016	9.60	6.60	2.40	0.16	35.677	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-63	9				礫	流紋岩	023	65.30	41.50	27.80	114.00	35.660	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-63	10				剥片	玉髄（メノウ含む）	018	20.30	9.90	2.60	0.62	35.636	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-63	11				砕片	頁岩	016	10.40	6.10	1.60	0.14	36.108	Ⅶ
Ⅰb	C	17	P8-63	12				剥片	玉髄（メノウ含む）	018	29.50	28.90	5.50	1.95	35.970	Ⅸa
Ⅰb	C	17	P8-63	13				剥片	頁岩	016	18.70	20.60	7.60	2.04	35.800	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-63	14				剥片	玉髄（メノウ含む）	018	42.60	26.30	8.20	7.94	35.804	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-72	1				剥片	玉髄（メノウ含む）	018	29.80	14.60	6.70	3.64	35.807	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-72	2		17-02		二次加工のある剥片	玉髄（メノウ含む）	018	27.08	22.60	3.47	2.31	35.963	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-82	1				剥片	珪質頁岩	016	45.60	43.50	11.10	21.64	35.820	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-82	2				剥片	頁岩	016	27.30	15.50	3.60	1.47	35.894	Ⅸc
Ⅰb	C	17	P8-82	3				剥片	珪質頁岩	016	33.40	36.40	6.90	5.59	35.821	Ⅸc
Ⅰb	C	18	Q7-74	1				礫	チャート	028	57.50	56.30	31.50	153.24	35.018	Ⅸc
Ⅰb	C	18	Q7-74	2				礫	流紋岩	027	32.00	22.60	10.40	11.00	34.756	X
Ⅰb	C	18	Q7-83	1				礫	流紋岩	026	32.00	17.50	7.10	3.82	34.760	X

第104表　第Ⅱ文化層石器属性表（1）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅱa		19	Q6-68	1				礫	流紋岩	013	10.80	10.70	5.40	0.95	35.588	Ⅳ
Ⅱa		19	Q6-68	2				礫	チャート	017	16.50	10.50	4.60	1.15	35.073	Ⅶ
Ⅱa		19	Q6-68	3				礫片	砂岩	011	25.40	30.30	10.20	9.34	35.562	Ⅳ
Ⅱa		19	Q6-68	4				礫片	砂岩	013	29.20	28.40	7.80	6.27	35.554	Ⅳ
Ⅱa		19	Q6-68	5				礫片	砂岩	013	12.50	17.50	12.20	2.21	35.580	Ⅳ
Ⅱa		19	Q6-68	6				礫片	砂岩	012	34.10	14.50	10.20	4.89	35.587	Ⅳ
Ⅱa		19	Q6-68	7				礫片	砂岩	010	34.50	28.90	7.20	7.67	35.611	Ⅳ
Ⅱa		19	Q6-68	8				礫片	砂岩	012	16.90	23.60	7.50	3.27	35.567	Ⅳ
Ⅱa		19	Q6-68	9				礫片	流紋岩	012	36.60	22.40	12.40	11.36	35.518	Ⅳ
Ⅱa		19	Q6-68	10				礫片	砂岩	013	29.50	14.20	7.70	3.50	35.577	Ⅳ
Ⅱa		19	Q6-69	3				礫片	ホルンフェルス	004	18.70	13.40	10.30	1.66	34.860	Ⅸa
Ⅱa		20	G29-39	1				礫	砂岩	005	16.50	18.00	10.90	4.82	39.390	
Ⅱa		20	G29-49					剥片	嶺岡産珪質頁岩	010	38.10	17.30	13.70	10.40		
Ⅱa		20	G29-49	1				砕片	ガラス質黒色安山岩	003	19.60	15.80	3.10	0.91	39.830	
Ⅱa		20	G29-49	2				礫片	嶺岡産珪質頁岩	007	23.80	12.70	13.70	5.65	39.410	
Ⅱa		20	G29-49	3				礫	砂岩	007	30.80	17.40	7.50	6.13	39.395	
Ⅱa		20	G29-49	4		20-31	Ⅱa-002	剥片	嶺岡産珪質頁岩	006	49.49	28.02	12.89	11.64	39.605	
Ⅱa		20	G29-58	1				剥片	嶺岡産珪質頁岩	009	22.50	32.90	5.40	3.72	39.450	
Ⅱa		20	G29-59	1				砕片	嶺岡産珪質頁岩	005	10.70	17.60	7.60	0.99	39.480	
Ⅱa		20	G29-68	1		20-13		剥片	ガラス質黒色安山岩	002	36.13	44.59	9.29	15.16	39.280	
Ⅱa		20	G29-69	1		20-33	Ⅱa-003	剥片	ガラス質黒色安山岩	001	23.64	37.55	11.78	9.01	39.085	
Ⅱa		20	H29-20	1				砕片	嶺岡産珪質頁岩	007	18.80	8.90	4.10	0.59	39.805	
Ⅱa		20	H29-20	2		20-27	Ⅱa-004	剥片	流紋岩	004	27.60	13.90	6.10	1.99	39.620	
Ⅱa		20	H29-21	1		20-06		局部磨製石斧	砂岩	001	104.60	46.90	17.70	128.75	39.780	
Ⅱa		20	H29-21	2		20-03		二次加工のある剥片	黒曜石	002	34.00	19.64	12.38	5.95	39.855	
Ⅱa		20	H29-21	3		20-19		石核	嶺岡産珪質頁岩	010	50.30	52.42	31.36	80.68	39.730	
Ⅱa		20	H29-21	4				砕片	ガラス質黒色安山岩	003	17.00	18.20	3.90	1.35	39.950	
Ⅱa		20	H29-30	1		20-20		石核	嶺岡産珪質頁岩	004	39.87	36.20	23.36	34.53	39.810	
Ⅱa		20	H29-30	2				砕片	ガラス質黒色安山岩	003	20.90	10.40	4.00	0.89	39.630	
Ⅱa		20	H29-30	3				剥片	チャート	002	18.70	14.20	4.80	1.66	40.650	
Ⅱa		20	H29-30	4				剥片	ガラス質黒色安山岩	001	31.10	22.30	10.30	6.84	39.755	
Ⅱa		20	H29-30	5				礫	砂岩	006	49.30	30.40	10.60	22.00	39.980	
Ⅱa		20	H29-30	6				剥片	嶺岡産珪質頁岩	012	16.30	35.80	13.10	7.13	39.850	
Ⅱa		20	H29-30	7				剥片	嶺岡産珪質頁岩	008	31.30	44.50	20.30	19.20	39.790	
Ⅱa		20	H29-30	8				剥片	嶺岡産珪質頁岩	009	13.80	16.00	7.50	2.08	39.935	
Ⅱa		20	H29-30	9		20-04		二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	002	40.66	29.80	8.80	7.93	39.830	
Ⅱa		20	H29-30	10		20-35	Ⅱa-001	剥片	頁岩	002	17.80	28.20	6.40	2.87	39.945	
Ⅱa		20	H29-30	11				砕片	ガラス質黒色安山岩	003	7.00	8.80	3.40	0.30	39.850	
Ⅱa		20	H29-30	12				砕片	ガラス質黒色安山岩	003	9.70	12.40	1.30	0.18	39.475	
Ⅱa		20	H29-30	13				剥片	嶺岡産珪質頁岩	003	24.90	20.40	9.30	2.75	39.835	
Ⅱa		20	H29-30	14				剥片	嶺岡産珪質頁岩	006	29.20	41.80	16.00	16.03	39.800	
Ⅱa		20	H29-30	15		20-30	Ⅱa-002	剥片	嶺岡産珪質頁岩	006	19.47	20.30	4.89	1.74	39.720	
Ⅱa		20	H29-31	1		20-08		微細剥離痕のある剥片	流紋岩	003	63.54	40.69	14.92	25.00	39.810	
Ⅱa		20	H29-31	2				砕片	チャート	003	18.90	15.90	4.80	1.62	39.830	
Ⅱa		20	H29-31	3		20-32	Ⅱa-003	剥片	ガラス質黒色安山岩	001	38.86	23.91	17.24	13.37	39.730	
Ⅱa		20	H29-32	1				砕片	黒曜石	003	15.50	5.30	4.50	0.34	40.070	
Ⅱa		20	H29-40	1				剥片	嶺岡産珪質頁岩	001	35.20	16.90	5.50	3.52	39.840	
Ⅱa		20	H29-40	2				砕片	嶺岡産珪質頁岩	006	14.10	18.20	7.80	1.56	39.720	
Ⅱa		20	H29-40	3				剥片	トロトロ石（安山岩）	001	18.30	29.80	5.20	2.84	39.830	
Ⅱa		20	H29-40	4				砕片	玉髄（メノウ含む）	001	13.90	15.80	3.10	0.47	39.680	
Ⅱa		20	H29-40	5				剥片	ガラス質黒色安山岩	003	28.30	17.60	10.10	4.33	39.730	

第105表　第Ⅱ文化層石器属性表（2）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅱa		20	H29-40	6				礫片	嶺岡産珪質頁岩	007	39.60	23.60	10.20	8.97	39.840	
Ⅱa		20	H29-40	7		20-36	Ⅱa-001	剥片	頁岩	002	8.70	16.50	7.90	1.50	39.720	
Ⅱa		20	H29-40	8		20-09		剥片	流紋岩	001	61.84	27.74	11.00	19.33	39.795	
Ⅱa		20	H29-40	9		20-11		剥片	ガラス質黒色安山岩	001	44.17	42.93	15.34	29.79	39.790	
Ⅱa		20	H29-40	10				砕片	ガラス質黒色安山岩	003	13.70	18.60	2.50	0.58	39.560	
Ⅱa		20	H29-40	11				砕片	ガラス質黒色安山岩	001	25.70	11.50	4.10	1.22	39.630	
Ⅱa		20	H29-40	12				砕片	嶺岡産珪質頁岩	006	19.60	19.20	4.60	0.94	39.530	
Ⅱa		20	H29-40	13				礫片	嶺岡産珪質頁岩	005	52.60	32.10	19.80	26.44	39.490	
Ⅱa		20	H29-40	14				剥片	ガラス質黒色安山岩	002	24.20	12.30	6.10	2.41	39.660	
Ⅱa		20	H29-40	15		20-37	Ⅱa-001	剥片	頁岩	002	15.80	24.00	6.40	19.20	39.620	
Ⅱa		20	H29-40	16		20-22	Ⅱa-005	剥片	流紋岩	002	24.54	19.94	5.90	2.28	39.695	
Ⅱa		20	H29-40	17				砕片	チャート	004	13.40	13.90	5.20	0.71	39.745	
Ⅱa		20	H29-40	18		20-16		剥片	トロトロ石（安山岩）	002	63.81	63.00	13.31	41.73	39.735	
Ⅱa		20	H29-40	19		20-25	Ⅱa-005	剥片	流紋岩	002	41.10	33.42	17.07	26.81	39.630	
Ⅱa		20	H29-40	20		20-26	Ⅱa-005	微細剥離痕のある剥片	流紋岩	002	39.80	37.20	15.30	29.31	39.700	
Ⅱa		20	H29-40	21				砕片	ガラス質黒色安山岩	001	13.30	15.40	4.50	0.65	39.565	
Ⅱa		20	H29-40	22				砕片	ガラス質黒色安山岩	003	16.40	13.90	3.60	1.02	39.630	
Ⅱa		20	H29-41	1		20-05		微細剥離痕のある剥片	流紋岩	001	45.42	41.98	9.33	13.29	39.790	
Ⅱa		20	H29-41	2				剥片	嶺岡産珪質頁岩	006	25.47	30.80	8.55	2.91	39.900	
Ⅱa		20	H29-41	3		20-38	Ⅱa-001	剥片	頁岩	002	55.90	29.70	16.70	28.82	39.730	
Ⅱa		20	H29-41	4				砕片	ガラス質黒色安山岩	003	11.50	11.80	6.10	0.82	39.750	
Ⅱa		20	H29-41	5				砕片	ガラス質黒色安山岩	003	12.10	13.80	4.20	0.79	39.755	
Ⅱa		20	H29-41	6		20-28	Ⅱa-004	剥片	流紋岩	004	25.40	20.40	8.83	3.76	39.795	
Ⅱa		20	H29-41	7		20-14		剥片	トロトロ石（安山岩）	001	34.70	39.49	10.78	12.18	39.860	
Ⅱa		20	H29-41	8				砕片	ガラス質黒色安山岩	003	17.30	21.40	5.60	1.47	39.830	
Ⅱa		20	H29-41	9				剥片	嶺岡産珪質頁岩	011	34.80	23.50	10.10	4.39	39.820	
Ⅱa		20	H29-41	10				剥片	ガラス質黒色安山岩	003	21.80	10.70	3.40	0.71	39.890	
Ⅱa		20	H29-41	11	1	20-23	Ⅱa-005	剥片	流紋岩	002	39.57	20.12	13.12	7.23	39.825	
Ⅱa		20	H29-41	11	2			礫	砂岩	002	27.40	28.60	12.50	13.67	39.825	
Ⅱa		20	H29-41	12		20-07		二次加工のある剥片	流紋岩	001	51.13	57.21	13.54	38.64	39.775	
Ⅱa		20	H29-41	13		20-29	Ⅱa-004	剥片	流紋岩	004	35.92	23.92	11.36	8.46	39.645	
Ⅱa		20	H29-41	14				剥片	嶺岡産珪質頁岩	006	20.70	25.20	8.40	3.81	39.700	
Ⅱa		20	H29-41	15				砕片	ガラス質黒色安山岩	003	9.43	10.80	1.96	0.16	39.710	
Ⅱa		20	H29-41	16				砕片	嶺岡産珪質頁岩	003	15.50	11.20	2.00	0.51	39.665	
Ⅱa		20	H29-41	17				砕片	黒曜石	003	16.80	8.00	3.10	0.37	39.780	
Ⅱa		20	H29-41	100		20-34	Ⅱa-003	剥片	ガラス質黒色安山岩	001	56.20	36.60	14.80	31.46	0.000	
Ⅱa		20	H29-41	101		20-15		剥片	嶺岡産珪質頁岩	003	32.58	37.27	4.51	8.61	0.000	
Ⅱa		20	H29-41	102		20-12		剥片	ガラス質黒色安山岩	001	33.88	37.88	6.70	8.88	0.000	
Ⅱa		20	H29-50	1				礫片	砂岩	003	18.10	23.50	12.90	4.40	39.500	
Ⅱa		20	H29-50	2		20-17		剥片	トロトロ石（安山岩）	003	27.54	31.36	7.85	6.02	39.550	
Ⅱa		20	H29-50	3		20-18		剥片	嶺岡産珪質頁岩	005	55.44	40.06	14.99	29.05	39.525	
Ⅱa		20	H29-50	4				礫	ホルンフェルス	001	67.70	34.80	14.00	53.74	39.368	
Ⅱa		20	H29-51	1	1	20-21		石核	嶺岡産珪質頁岩	005	60.49	84.20	57.03	284.93	39.670	
Ⅱa		20	H29-51	1	2	20-24	Ⅱa-005	剥片	流紋岩	002	46.70	27.30	14.72	14.18	39.670	
Ⅱa		20	H29-51	2				砕片	ガラス質黒色安山岩	002	28.00	9.70	2.90	0.40	39.645	
Ⅱa		20	H29-51	3				剥片	嶺岡産珪質頁岩	001	36.50	20.00	14.20	7.37	39.570	
Ⅱa		20	H29-51	4		20-02		ナイフ形石器	黒曜石	001	23.28	15.28	7.01	1.75	39.575	
Ⅱa		20	H29-51	5				礫片	砂岩	004	11.50	20.40	10.80	2.85	39.305	
Ⅱa		20	H29-60	1		20-01		ナイフ形石器	頁岩	001	37.11	16.35	7.36	4.67	38.995	
Ⅱa		20	H29-60	2		20-10		剥片	ガラス質黒色安山岩	003	40.01	22.40	9.09	6.85	39.010	
Ⅱa		21	H29-23	1		21-01		剥片	トロトロ石（安山岩）	004	44.72	35.50	7.75	11.75	39.707	
Ⅱa		21	H29-32	2				砕片	黒曜石	004	11.30	16.90	5.60	0.59	39.820	
Ⅱa		21	H29-33	1				礫片	チャート	005	27.30	26.80	13.80	15.17	39.750	
Ⅱa		21	H29-43	1				礫	砂岩	008	30.60	26.00	21.40	21.87	39.720	
Ⅱa		21	H29-43	2				礫	安山岩	001	78.10	35.30	20.80	89.53	39.500	
Ⅱa		21	H29-43	3				剥片	黒曜石	004	20.40	21.10	4.50	2.59	39.725	
Ⅱa		21	H29-52	1				剥片	ガラス質黒色安山岩	004	26.60	71.90	11.90	15.84	39.910	
Ⅱa		21	H29-52	2				礫	チャート	006	9.29	11.95	3.96	0.52	39.735	
Ⅱa		21	H29-52	3				砕片	頁岩	003	13.50	22.50	1.40	0.46	39.700	
Ⅱa		21	H29-53	1				礫片	流紋岩	006	23.60	34.40	24.30	30.32	39.510	
Ⅱa		21	H29-54	1				礫片	流紋岩	005	35.30	31.50	12.70	22.20	39.520	
Ⅱa		21	H29-54	2				礫	流紋岩	007	48.80	30.60	10.70	19.23	39.795	
Ⅱa		22	プレ第04地点	1				礫器	流紋岩	008	109.30	74.20	47.10	525.05		Ⅸa上部
Ⅱa		22	プレ第04地点	2		22-03		剥片	嶺岡産珪質頁岩	014	37.29	37.77	15.07	16.69	37.300	Ⅸa上部
Ⅱa		22	プレ第04地点	3				剥片	嶺岡産珪質頁岩	013	17.70	19.80	9.70	2.94	37.200	Ⅸa上部
Ⅱa		22	プレ第04地点	4		22-01		二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	015	46.61	38.11	19.97	25.68	37.415	Ⅸa上部
Ⅱa		22	プレ第04地点	5		22-02		二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	016	28.50	11.92	3.66	1.10	37.220	Ⅸa上部
Ⅱb		23	プレ第11地点	1				剥片	嶺岡産珪質頁岩	001	40.60	31.40	17.20	25.59	40.275	Ⅸ
Ⅱb		23	プレ第11地点	2				砕片	頁岩	003	12.50	16.00	4.40	0.83	40.465	Ⅸ
Ⅱb		23	プレ第11地点	3				微細剥離痕のある剥片	黒曜石	001	18.60	15.40	2.70	0.70	40.125	Ⅸ
Ⅱb		23	プレ第11地点	4		23-05		剥片	粘板岩	002	41.44	38.69	8.43	12.15	40.220	Ⅸ
Ⅱb		23	プレ第11地点	5		23-06		剥片	頁岩	007	29.97	15.74	5.73	2.33	40.375	Ⅸ
Ⅱb		23	プレ第11地点	6		23-04		剥片	ホルンフェルス	001	89.23	25.96	21.49	58.50	40.240	Ⅸ
Ⅱb		23	プレ第11地点	7		23-07		剥片	頁岩	001	45.32	21.26	7.03	4.56	40.257	Ⅸ
Ⅱb		23	プレ第11地点	8				剥片	嶺岡産珪質頁岩	001	28.80	11.80	5.10	1.36	40.206	Ⅸ
Ⅱb		23	プレ第11地点	9				剥片	嶺岡産珪質頁岩	001	18.83	21.79	7.79	3.47	40.230	Ⅸ
Ⅱb		23	プレ第11地点	10		23-08		石核	嶺岡産珪質頁岩	001	27.02	34.81	23.39	23.02	40.147	Ⅸ
Ⅱb		23	プレ第11地点	11				剥片	嶺岡産珪質頁岩	001	29.10	29.90	17.00	8.97	40.260	Ⅸ
Ⅱb		23	プレ第11地点	12		23-02		剥片	嶺岡産珪質頁岩	001	29.72	31.02	3.53	2.89	40.380	Ⅸ
Ⅱb		23	プレ第11地点	13				剥片	嶺岡産珪質頁岩	001	24.30	10.60	8.80	1.76	40.430	Ⅸ
Ⅱb		23	プレ第11地点	14		23-01		二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	001	30.25	23.86	12.96	6.99	40.240	Ⅸ
Ⅱb		23	プレ第11地点	15		23-03		剥片	ホルンフェルス	002	64.36	37.52	11.53	19.38	40.500	Ⅸ
Ⅱb		23	プレ第11地点	16				剥片	頁岩	002	18.90	11.40	3.00	0.83	40.500	Ⅸ
Ⅱb		23	プレ第11地点	17				剥片	頁岩	002	17.70	16.00	4.00	1.32	40.430	Ⅸ
Ⅱb		24	プレ第12地点	2		24-01		ナイフ形石器	珪質頁岩	002	24.35	17.53	5.51	1.84	40.375	Ⅸ
Ⅱb		24	プレ第12地点	3				剥片	珪質頁岩	001	16.50	17.30	3.30	1.03	40.134	Ⅸ
Ⅱb		24	プレ第12地点	4				砕片	黒曜石	002	5.00	6.70	1.50	0.08	40.147	Ⅸ
Ⅱb		24	プレ第12地点	5		24-07		剥片	頁岩	006	36.69	45.64	15.42	17.22	40.138	Ⅸ
Ⅱb		24	プレ第12地点	6		24-03		微細剥離痕のある剥片	粘板岩	005	58.70	51.10	15.90	47.18	40.182	Ⅸ
Ⅱb		24	プレ第12地点	7		24-04		微細剥離痕のある剥片	粘板岩	001	79.34	62.40	16.09	55.58	40.159	Ⅸ
Ⅱb		24	プレ第12地点	8		24-05		剥片	粘板岩	004	69.00	37.40	12.80	31.50	40.169	Ⅸ
Ⅱb		24	プレ第12地点	9		24-02		微細剥離痕のある剥片	粘板岩	003	56.90	35.50	7.40	16.41	40.207	Ⅸ
Ⅱb		24	プレ第12地点	10				剥片	頁岩	007	13.80	18.10	2.80	0.63	40.135	Ⅸ
Ⅱb		24	プレ第12地点	11				剥片	頁岩	008	13.00	11.30	4.00	0.68	40.094	Ⅸ
Ⅱb		24	プレ第12地点	12		24-06		剥片	頁岩	005	53.00	36.70	5.90	12.06	40.170	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	1		25-18		剥片	頁岩	014	35.39	35.84	10.82	10.85	40.147	Ⅸ

第106表　第Ⅱ文化層石器属性表（3）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅱb		25	プレ第13地点	2		25-21		微細剥離痕のある剥片	チャート	001	51.77	55.59	19.16	48.38	40.525	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	3				剥片	チャート	001	45.30	37.30	9.40	17.24	40.525	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	4		25-24		敲石	砂岩	001	93.50	84.80	34.50	383.39	40.570	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	5				剥片	粘板岩	007	15.80	13.20	3.50	6.95	40.550	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	6		25-04		二次加工のある剥片	玉髄（メノウ含む）	003	30.65	20.49	5.32	1.71	40.720	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	7				剥片	玉髄（メノウ含む）	001	19.70	12.10	7.30	1.67	40.645	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	8				剥片	玉髄（メノウ含む）	001	18.20	19.80	8.00	2.15	40.510	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	9				砕片	頁岩	014	13.30	7.90	2.70	0.83	40.515	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	10				剥片	頁岩	014	14.60	13.30	2.60	0.77	40.570	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	11				剥片	頁岩	014	28.60	23.10	9.00	4.63	40.625	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	12				剥片	ホルンフェルス	003	22.50	16.40	5.10	2.28	40.620	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	13				砕片	ホルンフェルス	003	14.30	15.70	2.90	0.33	40.554	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	14		25-02		二次加工のある剥片	粘板岩	006	30.46	24.27	6.72	3.69	40.690	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	15				剥片	ホルンフェルス	003	33.60	17.50	6.30	4.07	40.515	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	16				剥片	頁岩	014	27.70	27.40	7.80	7.97	40.336	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	17		25-19		微細剥離痕のある剥片	玉髄（メノウ含む）	003	37.98	23.38	10.35	8.13	40.278	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	18		25-38	Ⅱb-004	剥片	ホルンフェルス	003	42.44	35.33	7.35	12.97	40.166	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	19		25-37	Ⅱb-004	剥片	ホルンフェルス	003	36.71	26.04	7.18	6.63	40.415	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	20				剥片	チャート	003	21.00	24.40	7.70	3.33	40.498	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	21				剥片	頁岩	014	16.30	22.20	8.70	1.71	40.264	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	22				剥片	頁岩	014	29.00	32.00	5.00	3.92	40.184	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	23				剥片	凝灰岩質頁岩	002	48.60	32.70	13.00	18.08	40.275	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	24		25-20		二次加工のある剥片	ホルンフェルス	003	36.81	42.51	10.16	19.05	40.330	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	25				砕片	ホルンフェルス	003	9.10	17.10	3.60	0.55	40.435	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	26				剥片	凝灰岩質頁岩	002	37.90	30.23	7.86	5.36	40.096	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	27				剥片	凝灰岩質頁岩	002	21.10	30.60	10.50	6.10	40.260	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	28				剥片	凝灰岩質頁岩	002	48.50	29.00	9.50	9.85	40.195	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	29		25-11		微細剥離痕のある剥片	玉髄（メノウ含む）	002	34.69	20.22	8.54	4.36	40.340	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	30				剥片	玉髄（メノウ含む）	003	22.00	31.70	6.50	3.50	40.085	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	31		25-06		微細剥離痕のある剥片	玉髄（メノウ含む）	003	22.57	21.17	8.29	2.94	40.180	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	32		25-12		微細剥離痕のある剥片	頁岩	005	56.48	33.71	17.01	25.08	40.280	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	33				剥片	玉髄（メノウ含む）	003	16.40	25.70	7.80	2.49	40.400	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	34		25-32	Ⅱb-005	剥片	頁岩	016	28.05	43.59	4.60	6.29	40.474	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	35				剥片	頁岩	016	16.50	31.10	6.10	2.73	40.410	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	36		25-31	Ⅱb-005	剥片	頁岩	016	31.62	28.15	5.15	2.69	40.230	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	37				砕片	頁岩	013	17.00	15.40	3.50	0.91	40.390	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	38		25-13		剥片	チャート	001	69.86	23.55	8.15	13.99	40.235	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	39				剥片	頁岩	016	33.80	20.40	6.70	6.33	40.330	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	40				剥片	玉髄（メノウ含む）	001	23.40	23.70	4.90	2.43	40.385	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	41				剥片	頁岩	016	26.20	17.10	5.70	2.15	40.124	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	42		25-16		剥片	玉髄（メノウ含む）	003	22.06	16.91	3.29	1.28	40.160	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	43				剥片	頁岩	018	11.00	27.10	2.40	0.61	40.155	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	44		25-15		剥片	ホルンフェルス	003	31.79	20.51	4.72	2.85	40.125	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	45				剥片	珪質頁岩	003	57.60	56.20	15.80	9.04	40.005	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	46				礫	チャート	001	19.20	24.10	14.50	9.04	39.381	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	47				剥片	玉髄（メノウ含む）	001	25.00	18.70	7.70	3.12	40.226	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	48				砕片	玉髄（メノウ含む）	002	9.40	9.30	1.20	0.17	40.198	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	49				剥片	頁岩	018	23.40	13.90	4.30	1.03	39.980	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	50				剥片	玉髄（メノウ含む）	003	21.10	19.00	4.60	0.87	40.306	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	51				剥片	玉髄（メノウ含む）	003	11.50	18.50	3.20	0.68	40.037	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	52				剥片	頁岩	014	24.50	4.00	5.30	5.00	40.110	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	53		25-17		剥片	玉髄（メノウ含む）	003	37.31	22.80	5.46	4.05	39.999	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	54				砕片	頁岩	015	6.40	9.50	1.40	0.17	40.309	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	55				剥片	頁岩	014	17.80	17.60	2.80	0.82	40.105	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	56				礫	砂岩	003	29.40	12.90	9.80	5.01	40.128	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	57				剥片	玉髄（メノウ含む）	001	14.90	28.30	7.80	3.92	40.045	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	58				剥片	玉髄（メノウ含む）	003	15.20	29.67	7.53	3.87	40.150	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	59		25-34	Ⅱb-002	剥片	流紋岩	002	30.56	32.10	11.51	8.62	40.136	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	60				砕片	頁岩	014	8.30	12.90	1.90	0.28	40.095	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	61		25-26	Ⅱb-006	剥片	流紋岩	001	20.40	24.57	6.81	2.82	40.209	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	62				砕片	ホルンフェルス	003	11.90	12.50	3.50	1.14	40.221	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	63				剥片	頁岩	019	29.40	16.60	7.20	4.09	40.117	Ⅶ
Ⅱb		25	プレ第13地点	64				剥片	頁岩	014	27.70	23.90	5.20	3.12	40.013	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	65				剥片	頁岩	014	18.00	14.20	3.00	0.86	40.238	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	66				砕片	黒曜石	003	5.70	13.80	1.10	0.10	40.177	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	67				剥片	頁岩	014	24.80	7.80	3.70	0.43	40.015	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	68		25-27	Ⅱb-006	石核	流紋岩	001	50.42	61.22	41.37	153.29	40.046	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	69	2			砕片	流紋岩	002	7.60	10.80	9.40	0.47	40.097	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	69	1			砕片	流紋岩	005	8.80	11.80	8.30	0.81	40.097	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	70		25-14		剥片	チャート	002	45.18	26.05	9.07	9.21	40.296	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	71		25-09	Ⅱb-008	微細剥離痕のある剥片	黒曜石	001	41.14	24.17	11.82	8.46	40.239	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	72				砕片	ホルンフェルス	003	16.30	18.20	3.50	0.80	40.358	Ⅶ
Ⅱb		25	プレ第13地点	73		25-33	Ⅱb-002	剥片	流紋岩	002	13.00	23.10	5.80	1.65	40.310	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	74				剥片	流紋岩	002	16.30	22.40	10.60	2.37	40.005	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	75				剥片	凝灰岩質頁岩	002	37.30	28.60	9.30	9.32	40.248	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	76				剥片	チャート	001	41.10	19.20	7.50	3.61	40.165	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	77		25-07		微細剥離痕のある剥片	黒曜石	003	18.15	11.68	3.77	0.68	40.147	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	78		25-25	Ⅱb-006	剥片	流紋岩	001	15.25	32.76	8.37	3.09	40.210	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	79				砕片	流紋岩	002	15.10	12.50	5.30	1.14	40.120	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	80		25-30	Ⅱb-007	二次加工のある剥片	頁岩	010	61.07	42.74	20.88	63.89	40.149	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	81				剥片	頁岩	019	16.75	15.89	5.14	1.29	40.473	Ⅶ
Ⅱb		25	プレ第13地点	82		25-03		二次加工のある剥片	黒曜石	003	29.94	9.91	8.33	2.25	40.240	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	83				砕片	頁岩	019	7.70	11.10	2.40	0.29	40.027	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	84				剥片	黒曜石	003	19.60	17.90	3.20	0.71	40.105	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	85				剥片	頁岩	019	16.00	14.30	3.00	0.77	40.433	Ⅶ
Ⅱb		25	プレ第13地点	86				剥片	頁岩	017	23.30	20.70	3.20	1.60	40.154	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	87				砕片	頁岩	015	7.10	9.50	3.20	1.69	40.307	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	88		25-29	Ⅱb-007	剥片	頁岩	010	22.73	21.86	6.28	2.55	40.230	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	89		25-28	Ⅱb-007	剥片	頁岩	010	32.92	20.38	9.66	7.13	40.119	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	90				剥片	頁岩	019	20.40	8.20	1.50	0.26	40.255	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	91				剥片	ホルンフェルス	004	67.00	34.50	20.70	42.04	40.116	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	92				剥片	黒曜石	003	23.60	9.40	2.50	0.31	40.474	Ⅶ
Ⅱb		25	プレ第13地点	93				剥片	ホルンフェルス	004	41.10	57.60	10.80	13.96	40.045	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	94				砕片	頁岩	019	19.20	9.40	4.20	0.75	40.058	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	95				砕片	ホルンフェルス	003	10.60	6.50	1.10	0.09	40.025	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	96				砕片	ホルンフェルス	003	9.70	11.20	3.80	0.47	39.947	Ⅸ

第107表　第Ⅱ文化層石器属性表（4）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅱb		25	プレ第13地点	97		25-23		石核	頁岩	009	46.10	44.20	30.00	78.76	40.051	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	98		25-22		石核	頁岩	011	72.13	62.22	54.69	287.75	40.087	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	99			Ⅱb-001	剥片	ホルンフェルス	004	34.30	16.30	4.20	2.70	40.280	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	100		25-01		ナイフ形石器	頁岩	012	37.27	22.66	13.01	8.31	40.055	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	101			Ⅱb-001	剥片	ホルンフェルス	004	39.50	26.60	8.10	5.74	39.999	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	102		25-35	Ⅱb-003	剥片	ホルンフェルス	004	29.00	32.40	7.00	5.97	40.124	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	103				砕片	ホルンフェルス	003	15.60	9.50	2.10	0.38	40.056	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	104				剥片	頁岩	013	25.70	19.90	4.20	2.10	40.015	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	105		25-10	Ⅱb-008	微細剥離痕のある剥片	黒曜石	001	10.90	18.03	6.88	2.25	40.038	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	106				礫	砂岩	002	12.50	14.40	3.50	1.08	40.181	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	107				剥片	頁岩	015	30.60	33.10	7.20	8.02	40.230	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	108		25-05		微細剥離痕のある剥片	黒曜石	003	28.78	10.05	2.93	0.77	40.185	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	109		25-08		微細剥離痕のある剥片	粘板岩	007	55.80	30.60	12.39	21.09	40.136	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	110				剥片	玉髄（メノウ含む）	003	25.40	14.50	2.50	1.13	40.401	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	111				剥片	嶺岡産珪質頁岩	002	45.10	40.00	18.90	23.90	40.030	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	112				砕片	黒曜石	003	12.80	12.80	3.50	0.25	39.997	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	113		25-36	Ⅱb-003	剥片	ホルンフェルス	004	33.00	39.67	8.46	8.87	39.981	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	114				砕片	玉髄（メノウ含む）	001	9.50	9.40	3.70	0.17	40.022	Ⅸ
Ⅱb		25	プレ第13地点	115				剥片	頁岩	015	21.80	10.20	4.80	1.06	39.950	Ⅸ
Ⅱb		26	プレ第14地点	1		26-01		微細剥離痕のある剥片	黒曜石	004	24.41	21.39	3.47	1.25	40.106	Ⅸ
Ⅱb		26	プレ第14地点	2		26-05		石核	珪質頁岩	004	36.90	42.40	37.20	77.47	41.180	Ⅸ
Ⅱb		26	プレ第14地点	3		26-09	Ⅱb-010	微細剥離痕のある剥片	チャート	002	55.40	75.00	15.10	40.33	41.130	Ⅸ
Ⅱb		26	プレ第14地点	4				剥片	流紋岩	003	16.92	9.44	5.34	0.68	40.970	Ⅸ
Ⅱb		26	プレ第14地点	5		26-02		剥片	頁岩	020	51.11	41.14	13.27	22.67	41.280	Ⅸ
Ⅱb		26	プレ第14地点	6		26-08	Ⅱb-010	剥片	チャート	002	75.20	44.00	13.80	33.31	41.194	Ⅸ
Ⅱb		26	プレ第14地点	7		26-04		剥片	ホルンフェルス	006	43.79	33.62	15.54	18.51	41.227	Ⅸ
Ⅱb		26	プレ第14地点	8		26-07	Ⅱb-009	微細剥離痕のある剥片	粘板岩	003	62.50	74.90	13.20	58.39	41.180	Ⅸ
Ⅱb		26	プレ第14地点	9		26-06	Ⅱb-009	微細剥離痕のある剥片	粘板岩	003	60.20	45.50	5.90	9.70	41.200	Ⅸ
Ⅱb		26	プレ第14地点	10		26-03		剥片	粘板岩	003	51.38	37.71	7.89	12.63	41.145	Ⅸ

第108表　第Ⅲ文化層石器属性表

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅲ		27	M10-23	1				礫	流紋岩	011	59.10	45.40	24.80	98.00	36.733	Ⅶ
Ⅲ		27	M10-23	2			Ⅲ-001	礫	砂岩	014	42.25	36.57	20.89	51.00	36.714	Ⅶ
Ⅲ		27	M10-23	3				礫	砂岩	015	62.60	41.70	32.00	105.00	36.724	Ⅶ
Ⅲ		27	M10-23	4			Ⅲ-001	礫	砂岩	014	43.00	37.40	23.90	1.05	36.729	Ⅶ
Ⅲ		27	M10-33	1				礫	チャート	009	47.90	41.10	15.90	45.00	36.741	Ⅵ
Ⅲ		27	M10-33	2				砕片	流紋岩	010	12.00	11.40	2.40	0.47	36.944	Ⅶ

第109表　第Ⅳ文化層石器属性表（1）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅳa		28	R5-82	1				剥片	嶺岡産珪質頁岩	002	12.00	30.90	5.00	1.78	34.985	Ⅵ
Ⅳa		28	R5-83	1				剥片	チャート	002	19.40	33.30	8.40	5.47	34.658	Ⅶ
Ⅳa		28	R5-83	2		28-03		楔形石器	チャート	001	28.21	10.39	5.84	1.63	34.667	Ⅶ
Ⅳa		28	R5-83	3				剥片	嶺岡産珪質頁岩	002	34.00	17.70	5.00	2.30	34.780	Ⅵ
Ⅳa		28	R5-91	1				微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	002	18.50	29.70	6.00	2.98	34.828	Ⅶ
Ⅳa		28	R5-91	2	1		IVa-009	剥片	嶺岡産珪質頁岩	001	15.70	28.00	11.00	3.77	34.750	Ⅶ
Ⅳa		28	R5-91	2	2		IVa-009	剥片	嶺岡産珪質頁岩	001	8.20	16.50	3.00	0.61	34.750	Ⅶ
Ⅳa		28	R5-92	1		28-01		二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	002	39.76	37.70	11.19	9.49	34.751	Ⅶ
Ⅳa		28	R5-92	2				剥片	嶺岡産珪質頁岩	002	19.00	13.60	2.00	0.59	34.900	Ⅵ
Ⅳa		28	R5-92	3				剥片	嶺岡産珪質頁岩	001	32.50	20.40	9.20	5.23	34.825	Ⅶ
Ⅳa		28	R5-92	4				剥片	嶺岡産珪質頁岩	002	22.40	16.60	7.30	1.82	34.889	Ⅵ
Ⅳa		28	R5-92	5				砕片	嶺岡産珪質頁岩	001	9.70	9.50	3.20	0.22	34.725	Ⅶ
Ⅳa		28	R5-93	5		28-02		二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	002	42.64	31.99	8.61	7.13	34.745	Ⅶ
Ⅳa		28	R6-01	1				砕片	嶺岡産珪質頁岩	012	6.60	17.50	2.20	0.34	34.975	Ⅵ
Ⅳa		29	R6-01	2				剥片	嶺岡産珪質頁岩	009	16.30	35.70	8.30	4.12	34.904	Ⅵ
Ⅳa		29	R6-01	4				剥片	嶺岡産珪質頁岩	015	40.60	44.50	10.40	14.81	34.885	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	1				剥片	嶺岡産珪質頁岩	015	16.00	12.40	2.00	0.51	35.150	Ⅴ
Ⅳa		29	R6-02	2				剥片	嶺岡産珪質頁岩	009	28.20	14.50	5.20	1.58	34.896	Ⅵ
Ⅳa		29	R6-02	3				微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	008	21.80	16.90	6.10	1.59	34.935	Ⅵ
Ⅳa		29	R6-02	4				砕片	嶺岡産珪質頁岩	013	12.10	18.30	3.10	0.73	34.879	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	5		29-17	IVa-010	二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	003	48.30	18.34	9.17	1.32	34.920	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	6				砕片	嶺岡産珪質頁岩	015	8.00	13.90	9.30	1.12	34.950	Ⅵ
Ⅳa		29	R6-02	7		29-16	IVa-010	二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	003	38.40	30.29	12.54	10.15	34.892	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	8				剥片	嶺岡産珪質頁岩	015	19.20	11.80	2.20	0.71	34.925	Ⅵ
Ⅳa		29	R6-02	10		29-01		二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	012	32.66	26.98	8.45	5.86	34.965	Ⅵ
Ⅳa		29	R6-02	11				砕片	頁岩	003	14.50	8.20	2.10	0.17	34.845	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	12				微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	012	19.60	16.20	6.00	1.83	34.860	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	13		30-12	IVa-007	微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	029	41.54	31.17	5.91	6.98	34.859	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	14				砕片	嶺岡産珪質頁岩	013	14.50	12.20	5.00	1.31	34.880	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	15		29-02		二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	004	51.53	32.23	11.65	15.59	34.917	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	16				剥片	嶺岡産珪質頁岩	015	19.40	24.40	2.80	1.44	34.941	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	17		29-10		二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	004	41.64	30.12	9.43	7.03	34.955	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	18	1	29-07		微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	012	23.69	20.84	4.58	1.50	34.965	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	18	2			剥片	嶺岡産珪質頁岩	015	18.30	22.00	7.20	2.94	34.965	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	18	3			礫片	嶺岡産珪質頁岩	011	5.40	12.20	3.00	0.15	34.965	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	19				剥片	嶺岡産珪質頁岩	011	19.20	18.50	2.20	0.50	34.830	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	20				剥片	嶺岡産珪質頁岩	009	41.10	24.60	9.30	7.30	35.222	Ⅳ
Ⅳa		29	R6-02	21				剥片	嶺岡産珪質頁岩	015	21.20	14.80	5.20	1.12	35.047	Ⅴ
Ⅳa		29	R6-02	22				砕片	頁岩	002	13.40	16.80	7.80	1.93	34.945	Ⅵ
Ⅳa		29	R6-02	23		29-03		二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	016	32.21	22.42	11.71	7.48	34.925	Ⅵ
Ⅳa		29	R6-02	24				砕片	嶺岡産珪質頁岩	004	16.90	16.00	6.80	1.61	34.982	Ⅵ
Ⅳa		29	R6-02	25				剥片	嶺岡産珪質頁岩	015	21.60	16.00	3.60	1.13	34.985	Ⅵ
Ⅳa		29	R6-02	26		29-04		二次加工のある剥片	玉髄（メノウ含む）	001	34.75	30.34	7.22	5.01	34.843	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	27				砕片	嶺岡産珪質頁岩	012	17.30	10.60	2.23	0.53	34.800	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	28				砕片	嶺岡産珪質頁岩	016	8.50	11.30	2.00	0.26	34.805	Ⅶ

第110表　第Ⅳ文化層石器属性表（2）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅳa		29	R6-02	29				剥片	頁岩	012	24.50	34.60	8.70	6.25	34.781	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	30		29-09		楔形石器	頁岩	013	40.83	43.37	14.92	22.39	34.732	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	31				剥片	頁岩	012	36.40	26.80	10.00	5.79	34.695	Ⅸ
Ⅳa		29	R6-02	32				剥片	頁岩	016	19.20	18.40	4.50	1.49	34.890	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	33				砕片	頁岩	015	11.80	15.70	5.00	1.05	34.784	Ⅸa
Ⅳa		29	R6-02	34		29-14		二次加工のある剥片	頁岩	029	57.53	47.16	13.01	26.36	34.847	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	35		29-13		二次加工のある剥片	頁岩	015	19.22	18.82	6.21	1.07	34.755	Ⅸa
Ⅳa		29	R6-02	36		29-12		二次加工のある剥片	頁岩	015	17.42	13.05	3.26	0.59	34.785	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	37		29-08		微細剥離痕のある剥片	頁岩	001	42.07	19.65	8.56	4.17	34.890	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	38				剥片	頁岩	013	38.50	41.80	16.30	18.23	34.842	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	40	2			砕片	頁岩	012	11.40	11.40	4.60	0.42	34.700	Ⅸa
Ⅳa		29	R6-02	40	1			砕片	頁岩	015	17.10	18.20	3.20	0.90	34.700	Ⅸa
Ⅳa		29	R6-02	41				砕片	頁岩	015	8.20	16.50	2.60	0.27	34.815	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-02	42	2			砕片	頁岩	011	14.30	9.80	2.00	0.21	34.670	Ⅸa
Ⅳa		29	R6-02	42	1			砕片	頁岩	008	9.90	8.80	4.30	0.55	34.670	Ⅸa
Ⅳa		29	R6-02	43				剥片	頁岩	011	18.80	29.90	4.90	2.52	34.655	Ⅸa
Ⅳa		29	R6-12	1				剥片	頁岩	005	22.20	28.50	11.80	4.48	35.185	Ⅴ
Ⅳa		29	R6-12	3		29-06		楔形石器	頁岩	012	17.41	14.97	4.23	0.80	35.013	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-12	4		29-11		二次加工のある剥片	頁岩	010	34.90	27.77	6.76	5.45	34.997	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-12	5				剥片	頁岩	012	28.50	16.70	5.00	1.53	35.085	Ⅵ
Ⅳa		29	R6-12	6				砕片	頁岩	012	7.90	16.50	5.40	0.87	34.943	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-12	7				剥片	頁岩	005	30.50	34.00	5.30	5.09	34.890	Ⅵ
Ⅳa		29	R6-12	8		29-15		敲石	砂岩	001	79.76	94.73	53.34	429.00	34.915	Ⅵ
Ⅳa		29	R6-12	10				剥片	頁岩	006	21.80	12.10	8.40	1.34	34.810	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-12	11				剥片	頁岩	006	22.10	28.10	7.30	3.34	34.832	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-12	13	1			剥片	頁岩	011	24.80	21.80	8.30	3.37	34.800	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-12	13	2			剥片	頁岩	015	21.10	12.90	4.00	0.92	34.800	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-12	14				剥片	頁岩	015	27.10	14.50	5.30	1.51	34.743	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-12	15		29-05		楔形石器	頁岩	005	32.82	31.06	13.50	10.61	34.732	Ⅶ
Ⅳa		29	R6-12	16				剥片	頁岩	015	27.40	15.40	5.20	2.13	34.723	Ⅸa
Ⅳa		30	R5-93	1				剥片	頁岩	023	26.00	6.90	7.30	2.21	34.921	Ⅵ
Ⅳa		30	R5-93	2			IVa-013	礫片	トロトロ石（安山岩）	001	54.00	54.20	36.50	134.00	34.727	Ⅶ
Ⅳa		30	R5-93	3		30-09		二次加工のある剥片	頁岩	019	22.39	15.56	6.18	1.35	34.895	Ⅵ
Ⅳa		30	R5-93	4		30-14		削器	頁岩	028	51.48	41.45	13.74	26.52	34.861	Ⅶ
Ⅳa		30	R5-93	6			IVa-012	剥片	頁岩	023	28.10	24.10	8.70	5.35	34.920	Ⅵ
Ⅳa		30	R5-93	7				剥片	頁岩	026	18.10	8.80	5.30	0.82	34.775	Ⅶ
Ⅳa		30	R5-93	8				剥片	頁岩	023	20.20	9.80	4.90	0.72	34.695	Ⅸ
Ⅳa		30	R5-93	9				剥片	ホルンフェルス	002	19.70	8.10	3.10	0.35	34.909	Ⅵ
Ⅳa		30	R5-93	10				砕片	珪質頁岩	026	16.40	11.10	7.00	1.09	34.940	Ⅵ
Ⅳa		30	R5-93	11				剥片	頁岩	023	35.60	20.00	9.40	2.47	34.887	Ⅵ
Ⅳa		30	R5-93	12				剥片	頁岩	025	30.70	15.50	9.40	5.74	34.817	Ⅶ
Ⅳa		30	R5-94	1				砕片	頁岩	023	17.50	9.30	2.10	0.35	34.845	Ⅵ
Ⅳa		30	R5-94	2		34-40	IVa-006	二次加工のある剥片	頁岩	058	57.03	45.14	14.11	30.00	34.731	Ⅶ
Ⅳa		30	R5-94	3				砕片	頁岩	026	12.90	15.00	2.00	0.30	34.877	Ⅵ
Ⅳa		30	R5-94	4			IVa-013	礫片	トロトロ石（安山岩）	001	32.30	45.50	37.70	51.00	34.925	Ⅵ
Ⅳa		30	R5-94	5				剥片	頁岩	038	23.70	21.20	4.80	2.30	34.885	Ⅶ
Ⅳa		30	R5-94	6				砕片	頁岩	023	11.10	8.50	4.00	0.29	34.763	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-02	9				砕片	頁岩	022	8.70	24.00	5.30	0.66	34.982	Ⅵ
Ⅳa		30	R6-02	39		30-10		彫器	頁岩	020	49.41	27.51	9.20	13.26	34.720	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	1				剥片	頁岩	026	9.30	18.50	6.10	1.33	35.145	Ⅴ
Ⅳa		30	R6-03	2				剥片	頁岩	026	10.50	22.90	3.70	0.79	35.366	Ⅳ
Ⅳa		30	R6-03	3				剥片	頁岩	023	12.20	16.10	9.70	1.46	35.220	Ⅳ
Ⅳa		30	R6-03	4				剥片	頁岩	030	12.60	33.60	6.20	2.75	35.105	Ⅴ
Ⅳa		30	R6-03	5				剥片	頁岩	024	33.50	38.20	8.60	7.96	35.266	Ⅳ
Ⅳa		30	R6-03	6				剥片	頁岩	023	16.30	20.20	6.30	1.48	35.185	Ⅳ
Ⅳa		30	R6-03	7	1			剥片	頁岩	024	11.20	28.30	3.00	0.74	34.857	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	7	2			剥片	頁岩	024	17.60	6.70	2.00	0.33	34.857	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	8				剥片	頁岩	029	33.20	24.30	9.10	5.55	34.980	Ⅵ
Ⅳa		30	R6-03	9				砕片	頁岩	023	15.70	9.70	4.40	0.40	34.950	Ⅵ
Ⅳa		30	R6-03	10				剥片	頁岩	025	38.30	35.70	11.50	7.37	34.977	Ⅵ
Ⅳa		30	R6-03	11				剥片	頁岩	029	19.30	28.90	8.10	4.06	34.877	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	12	2			砕片	頁岩	023	8.60	9.50	1.80	0.14	35.028	Ⅵ
Ⅳa		30	R6-03	12	1			砕片	頁岩	023	9.30	12.60	2.30	0.30	35.028	Ⅵ
Ⅳa		30	R6-03	13		30-17		楔形石器	チャート	004	37.07	36.63	14.55	17.60	34.872	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	14		30-15		楔形石器	頁岩	021	32.94	12.50	9.30	4.69	34.920	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	15				砕片	頁岩	025	13.20	11.50	2.10	0.29	34.971	Ⅵ
Ⅳa		30	R6-03	16		30-05		楔形石器	頁岩	023	30.52	25.63	7.91	4.84	34.991	Ⅵ
Ⅳa		30	R6-03	17				剥片	頁岩	023	17.00	13.00	1.50	0.39	35.000	Ⅵ
Ⅳa		30	R6-03	18		30-22	IVa-011	剥片	頁岩	027	25.70	18.50	12.00	4.57	34.942	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	19				砕片	頁岩	023	17.60	11.30	6.20	0.82	34.970	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	20				剥片	頁岩	023	22.30	14.40	4.50	1.59	34.940	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	21				剥片	頁岩	027	23.00	29.90	5.60	3.92	34.890	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	22		30-02		二次加工のある剥片	頁岩	019	39.89	23.15	6.76	4.12	34.851	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	23				剥片	頁岩	026	20.60	20.80	2.40	0.98	34.970	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	24				剥片	頁岩	023	24.60	5.80	4.70	0.66	34.966	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	25		30-21	IVa-011	剥片	頁岩	027	40.35	18.10	17.51	9.80	34.938	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	26				剥片	頁岩	023	34.60	12.50	7.20	2.01	34.984	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	27				剥片	頁岩	029	57.90	58.60	12.50	30.10	34.850	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	28				剥片	頁岩	026	17.50	20.10	5.20	1.88	34.860	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	29				剥片	頁岩	023	23.70	10.10	3.00	0.99	34.826	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	30	2	30-01		ナイフ形石器	珪質頁岩	001	70.71	25.71	14.13	18.32	34.800	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	30	1	30-13	IVa-007	微細剥離痕のある剥片	頁岩	029	46.33	44.87	9.44	13.85	34.800	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	31				剥片	頁岩	023	14.30	18.40	5.00	1.36	34.844	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	32				砕片	ホルンフェルス	002	12.50	18.20	5.00	1.41	34.820	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	33				剥片	珪質頁岩	023	10.20	18.80	2.10	0.22	34.798	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	34				剥片	頁岩	026	17.70	28.80	5.80	2.42	34.827	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	35				剥片	頁岩	026	16.80	14.80	7.30	1.65	34.856	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	36				剥片	頁岩	023	13.40	11.50	5.50	1.15	34.851	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	37				剥片	頁岩	020	14.60	15.80	3.70	0.65	34.828	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	38				剥片	頁岩	026	15.20	14.40	3.40	0.53	34.784	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	39				砕片	頁岩	023	8.30	4.80	1.20	0.06	34.795	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	40				砕片	頁岩	023	11.10	14.40	3.50	0.28	34.713	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	41				剥片	頁岩	038	22.20	17.20	10.30	3.74	34.743	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	42				剥片	頁岩	038	25.40	19.10	5.00	1.61	34.794	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	43				砕片	頁岩	030	10.30	17.60	2.80	0.53	34.745	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	44				剥片	頁岩	026	21.70	15.00	8.60	2.51	34.788	Ⅶ

第111表　第Ⅳ文化層石器属性表（3）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅳa		30	R6-03	45				剥片	輝岡産珪質頁岩	024	16.40	13.60	12.30	0.50	34.764	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	46		30-08		二次加工のある剥片	輝岡産珪質頁岩	019	60.64	53.80	9.81	24.77	34.790	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	47			Ⅳa-012	剥片	輝岡産珪質頁岩	023	45.90	24.20	11.60	13.52	34.743	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	48				剥片	輝岡産珪質頁岩	030	42.50	46.20	18.80	33.22	34.882	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	49		30-06		二次加工のある剥片	輝岡産珪質頁岩	022	20.95	17.41	2.95	0.59	35.056	Ⅵ
Ⅳa		30	R6-03	50		30-18		敲石	流紋岩	001	103.80	76.30	44.90	490.00	34.755	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	51		30-04		楔形石器	輝岡産珪質頁岩	047	52.08	38.95	17.16	24.78	34.753	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	52				砕片	輝岡産珪質頁岩	026	15.20	12.10	2.20	0.37	34.826	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	53		30-19		台石	砂岩	002	142.40	104.00	50.40	1297.00	34.755	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	54		30-25	Ⅳa-014	楔形石器	輝岡産珪質頁岩	031	40.30	27.43	9.65	8.47	34.815	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	55		30-03		二次加工のある剥片	輝岡産珪質頁岩	023	30.44	30.72	11.18	4.38	34.770	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	56		30-07		二次加工のある剥片	チャート	003	36.96	29.50	11.03	8.45	34.735	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	57				砕片	輝岡産珪質頁岩	023	10.50	8.50	1.80	0.10	34.693	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	58				砕片	輝岡産珪質頁岩	023	12.70	5.80	1.20	0.17	34.713	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	59				砕片	輝岡産珪質頁岩	023	10.30	12.80	1.70	0.17	34.690	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	60				砕片	輝岡産珪質頁岩	019	13.60	8.50	4.00	0.23	34.699	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	61				剥片	輝岡産珪質頁岩	023	24.20	16.40	8.70	3.32	34.735	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	62				剥片	輝岡産珪質頁岩	023	16.70	26.60	2.90	1.03	34.732	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	63				剥片	ホルンフェルス	001	19.10	24.50	5.60	2.96	34.755	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	64		30-11		微細剥離痕のある剥片	輝岡産珪質頁岩	028	49.33	28.22	13.71	15.21	34.745	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	65		30-24	Ⅳa-014	剥片	輝岡産珪質頁岩	031	37.80	18.70	7.80	4.53	34.745	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	66				剥片	輝岡産珪質頁岩	020	19.80	16.30	3.20	0.59	34.775	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	67				砕片	輝岡産珪質頁岩	023	11.70	7.00	2.00	0.20	34.785	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	68		30-23	Ⅳa-011	剥片	輝岡産珪質頁岩	027	24.80	17.60	8.30	2.20	34.799	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-03	69				砕片	輝岡産珪質頁岩	019	11.30	12.90	1.00	0.12	34.674	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	70				剥片	輝岡産珪質頁岩	030	15.10	16.20	2.80	0.51	34.634	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	71				砕片	輝岡産珪質頁岩	026	11.90	10.10	1.60	0.22	34.628	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	72				砕片	輝岡産珪質頁岩	023	8.40	10.80	4.00	0.38	34.588	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	73				砕片	輝岡産珪質頁岩	038	7.70	18.80	4.10	0.59	34.672	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	74				砕片	輝岡産珪質頁岩	023	11.60	7.10	2.00	0.26	34.620	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	75				砕片	輝岡産珪質頁岩	023	8.20	8.80	1.60	0.17	34.619	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-03	76				砕片	輝岡産珪質頁岩	023	9.40	18.50	6.10	1.29	34.522	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-04	1				剥片	輝岡産珪質頁岩	020	18.20	15.10	3.20	1.06	34.922	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-04	2				砕片	輝岡産珪質頁岩	023	8.40	6.50	1.20	0.10	34.757	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-04	3				剥片	輝岡産珪質頁岩	019	24.30	23.80	11.70	4.37	34.750	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-04	4				剥片	輝岡産珪質頁岩	019	18.60	21.40	13.70	4.41	34.731	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-04	5		30-16		楔形石器	輝岡産珪質頁岩	018	30.29	31.74	10.79	7.40	34.661	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-04	6				剥片	輝岡産珪質頁岩	038	12.70	17.40	3.40	0.81	34.678	Ⅸa
Ⅳa		30	R6-12	2	2			砕片	輝岡産珪質頁岩	012	12.20	13.60	2.30	0.32	35.325	Ⅴ
Ⅳa		30	R6-12	2	1			砕片	輝岡産珪質頁岩	015	13.50	15.10	2.80	0.62	35.325	Ⅴ
Ⅳa		30	R6-13	1				剥片	輝岡産珪質頁岩	024	16.10	18.10	4.20	0.85	35.263	Ⅴ
Ⅳa		30	R6-13	2				砕片	ホルンフェルス	002	7.20	5.30	1.90	0.08	34.948	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-13	3				剥片	ガラス質黒色安山岩	004	16.70	19.60	5.50	2.14	34.911	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-13	4				剥片	輝岡産珪質頁岩	038	22.10	12.40	4.10	0.84	34.842	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-13	5				剥片	輝岡産珪質頁岩	023	13.10	14.20	3.30	0.57	34.934	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-13	6		30-20	Ⅳa-011	剥片	輝岡産珪質頁岩	027	55.80	26.30	16.20	21.15	34.820	Ⅶ
Ⅳa		30	R6-14	1				剥片	輝岡産珪質頁岩	027	23.10	16.10	8.10	1.65	35.200	Ⅴ
Ⅳa		30	R6-14	2				剥片	ガラス質黒色安山岩	001	39.40	38.80	9.00	14.18	34.815	Ⅶ
Ⅳa		31	Q6-09	1		31-04		微細剥離痕のある剥片	黒曜石	001	37.73	31.35	9.17	7.86	35.058	Ⅵ
Ⅳa		31	Q6-18	1		31-03		微細剥離痕のある剥片	輝岡産珪質頁岩	032	34.51	34.49	12.92	10.73	34.890	Ⅶ
Ⅳa		31	Q6-18	2				剥片	珪質頁岩	003	21.40	14.70	4.50	0.65	34.766	Ⅸa
Ⅳa		31	Q6-18	3				剥片	チャート	005	24.90	15.20	8.90	4.41	34.988	Ⅵ
Ⅳa		31	Q6-19	1				剥片	輝岡産珪質頁岩	020	42.40	21.30	19.60	10.18	34.910	Ⅶ
Ⅳa		31	Q6-19	2		31-13	Ⅳa-008	石核	輝岡産珪質頁岩	017	43.66	25.78	20.54	17.27	34.916	Ⅶ
Ⅳa		31	Q6-19	3				砕片	輝岡産珪質頁岩	034	16.40	7.30	5.40	0.51	34.962	Ⅶ
Ⅳa		31	Q6-19	4		31-08		微細剥離痕のある剥片	輝岡産珪質頁岩	038	68.68	25.95	15.09	23.90	34.875	Ⅶ
Ⅳa		31	Q6-19	5				剥片	輝岡産珪質頁岩	037	31.60	22.30	2.70	2.60	35.054	Ⅵ
Ⅳa		31	Q6-19	6				剥片	輝岡産珪質頁岩	037	12.90	21.20	6.20	1.74	34.747	Ⅶ
Ⅳa		31	Q6-28	2				剥片	玉髄（メノウ含む）	002	30.10	18.30	8.20	4.67	34.837	Ⅶ
Ⅳa		31	Q6-28	3		31-10	Ⅳa-002	石核	輝岡産珪質頁岩	046	49.88	40.65	14.65	29.31	34.954	Ⅶ
Ⅳa		31	Q6-28	4		31-09	Ⅳa-002	剥片	輝岡産珪質頁岩	046	39.47	21.82	8.40	6.90	34.951	Ⅶ
Ⅳa		31	Q6-29	5		31-06		二次加工のある剥片	輝岡産珪質頁岩	042	18.78	11.33	2.74	0.54	35.055	Ⅵ
Ⅳa		31	Q6-29	6		31-11	Ⅳa-002	石核	輝岡産珪質頁岩	046	27.35	61.76	20.10	39.42	34.887	Ⅶ
Ⅳa		31	Q6-29	7		31-07		二次加工のある剥片	輝岡産珪質頁岩	038	46.90	36.02	9.85	15.04	34.711	Ⅸa
Ⅳa		31	Q6-29	8				剥片	輝岡産珪質頁岩	020	25.40	27.30	7.20	4.21	34.710	Ⅶ
Ⅳa		31	Q6-29	9				剥片	輝岡産珪質頁岩	038	30.00	16.60	15.60	4.05	34.817	Ⅶ
Ⅳa		31	Q6-29	11				礫	砂岩	003	32.90	20.60	7.60	8.20	34.826	Ⅶ
Ⅳa		31	R6-00	1				剥片	ガラス質黒色安山岩	002	46.80	30.70	8.80	14.51	34.755	Ⅶ
Ⅳa		31	R6-00	2	2			剥片	玉髄（メノウ含む）	002	26.00	10.40	2.80	0.74	34.815	Ⅶ
Ⅳa		31	R6-00	2	1			砕片	玉髄（メノウ含む）	002	0.90	0.60	1.50	0.09	34.815	Ⅶ
Ⅳa		31	R6-01	3				剥片	輝岡産珪質頁岩	038	29.80	21.30	3.80	2.32	34.930	Ⅵ
Ⅳa		31	R6-01	5				剥片	輝岡産珪質頁岩	025	45.20	15.50	18.00	12.16	34.778	Ⅸa
Ⅳa		31	R6-10	1				剥片	トロトロ石（安山岩）	002	16.30	14.30	7.70	2.03	34.980	Ⅵ
Ⅳa		31	R6-10	2				剥片	チャート	005	32.10	35.30	19.10	14.52	34.797	Ⅶ
Ⅳa		31	R6-10	3				剥片	輝岡産珪質頁岩	039	20.00	15.20	5.30	1.07	35.095	Ⅴ
Ⅳa		31	R6-10	4				礫	砂岩	004	20.00	14.80	4.10	18.00	34.918	Ⅶ
Ⅳa		31	R6-10	5				剥片	輝岡産珪質頁岩	036	13.70	24.00	4.60	1.37	34.975	Ⅶ
Ⅳa		31	R6-10	6				砕片	輝岡産珪質頁岩	043	10.10	11.80	1.60	0.24	34.837	Ⅶ
Ⅳa		31	R6-10	7				微細剥離痕のある剥片	輝岡産珪質頁岩	033	24.10	47.30	7.50	8.91	34.820	Ⅶ
Ⅳa		31	R6-10	8				砕片	珪質頁岩	002	14.60	17.60	5.80	1.21	34.777	Ⅸa
Ⅳa		31	R6-10	9		31-01		二次加工のある剥片	輝岡産珪質頁岩	038	61.12	37.91	17.58	29.22	34.865	Ⅶ
Ⅳa		31	R6-10	10				剥片	チャート	006	26.80	20.20	10.10	5.55	34.749	Ⅸa
Ⅳa		31	R6-10	11				砕片	輝岡産珪質頁岩	041	7.50	8.30	1.00	0.07	34.686	Ⅸa
Ⅳa		31	R6-10	12				砕片	輝岡産珪質頁岩	034	14.10	10.60	7.10	0.82	34.930	Ⅶ
Ⅳa		31	R6-10	13		31-12	Ⅳa-008	石核	輝岡産珪質頁岩	017	33.59	22.48	11.51	8.18	34.832	Ⅶ
Ⅳa		31	R6-10	14		31-05		微細剥離痕のある剥片	輝岡産珪質頁岩	035	51.05	42.52	12.38	20.83	34.815	Ⅸa
Ⅳa		31	R6-11	1				剥片	チャート	009	28.40	31.80	9.50	5.78	34.966	Ⅵ
Ⅳa		31	R6-11	2				剥片	輝岡産珪質頁岩	041	21.50	10.10	3.10	0.86	34.995	Ⅵ
Ⅳa		31	R6-20	2				剥片	輝岡産珪質頁岩	041	21.30	15.40	7.30	2.09	34.710	Ⅸa
Ⅳa		31	R6-20	3				剥片	珪質頁岩	002	39.70	54.50	13.40	23.69	34.850	Ⅶ
Ⅳa		31	R6-20	4		31-02		二次加工のある剥片	輝岡産珪質頁岩	036	20.15	16.20	3.91	1.06	34.873	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-28	1	1	32-01		二次加工のある剥片	黒曜石	008	24.38	13.99	3.64	1.46	34.942	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-28	1	2			砕片	チャート	008	19.60	7.20	3.10	0.48	34.942	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-29	1				礫	流紋岩	005	76.10	74.20	83.30	541.00	34.835	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-29	2		32-13		敲石	砂岩	005	75.33	53.02	37.75	210.00	34.861	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-29	3				礫	流紋岩	008	80.20	87.90	57.60	574.00	34.879	Ⅶ

第112表　第Ⅳ文化層石器属性表（4）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅳa		32	Q6-29	4				礫	流紋岩	006	93.80	72.10	38.90	374.00	34.930	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-29	10				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	037	20.70	12.30	6.40	1.39	34.832	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-38	1				砕片	チャート	008	6.40	11.60	1.80	0.13	34.985	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-38	2				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	044	27.70	23.10	5.70	3.12	35.120	Ⅵ
Ⅳa		32	Q6-38	3				砕片	チャート	007	12.20	10.20	0.70	0.13	34.925	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-38	4		32-15	Ⅳa-004	二次加工のある剥片	瀬戸内産珪質頁岩	048	75.43	50.58	31.44	87.71	34.855	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-38	5				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	061	29.00	18.10	6.30	3.35	34.851	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	1		32-08		剥片	瀬戸内産珪質頁岩	047	35.90	42.02	9.74	12.86	34.866	Ⅸa
Ⅳa		32	Q6-39	2				剥片	流紋岩	002	20.20	27.70	12.20	7.36	34.917	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	3				砕片	瀬戸内産珪質頁岩	045	6.10	4.50	0.80	0.02	35.063	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	4			Ⅳa-003	礫	流紋岩	003	36.70	32.50	5.00	14.68	35.138	Ⅵ
Ⅳa		32	Q6-39	5				砕片	瀬戸内産珪質頁岩	044	10.40	16.00	4.00	0.47	35.054	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	6				礫	流紋岩	007	36.50	54.50	37.80	239.00	34.923	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	7				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	055	24.90	41.00	13.70	7.90	35.002	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	8		32-10		微細剥離痕のある剥片	瀬戸内産珪質頁岩	047	33.32	41.99	10.83	15.01	34.915	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	9		32-06		二次加工のある剥片	瀬戸内産珪質頁岩	023	42.86	23.55	11.92	8.08	34.995	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	10				礫	流紋岩	002	30.50	28.00	16.00	16.46	34.882	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	11		32-03		楔形石器	珪質頁岩	004	23.76	16.99	5.74	1.91	34.946	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	12		32-05		二次加工のある剥片	瀬戸内産珪質頁岩	044	43.38	23.17	14.10	9.49	34.916	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	13			Ⅳa-003	礫	流紋岩	003	28.40	17.00	4.90	2.96	35.463	Ⅴ
Ⅳa		32	Q6-39	14			Ⅳa-005	礫	流紋岩	004	69.90	44.40	40.50	107.20	34.893	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	15				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	045	20.10	16.80	2.90	0.86	34.975	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	16		32-09		二次加工のある剥片	瀬戸内産珪質頁岩	045	28.17	24.81	7.83	4.15	34.915	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	17		32-02		微細剥離痕のある剥片	瀬戸内産珪質頁岩	044	37.71	37.39	8.27	9.64	35.000	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	18		32-11		微細剥離痕のある剥片	瀬戸内産珪質頁岩	048	70.13	49.93	24.40	68.29	34.885	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	19				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	061	22.40	25.20	5.40	3.27	34.795	Ⅸa
Ⅳa		32	Q6-39	20		32-04		微細剥離痕のある剥片	瀬戸内産珪質頁岩	045	48.19	21.29	7.00	6.00	34.988	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	21	1			剥片	瀬戸内産珪質頁岩	045	22.30	12.50	2.80	0.72	35.310	Ⅴ
Ⅳa		32	Q6-39	21	2			剥片	瀬戸内産珪質頁岩	045	17.40	10.00	1.30	0.29	35.310	Ⅴ
Ⅳa		32	Q6-39	22		32-12		微細剥離痕のある剥片	瀬戸内産珪質頁岩	044	62.23	59.30	10.94	45.24	34.855	Ⅸa
Ⅳa		32	Q6-39	23			Ⅳa-003	礫	流紋岩	003	34.80	32.30	11.00	13.18	34.972	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	24			Ⅳa-003	礫	流紋岩	003	26.40	24.00	9.00	3.60	34.905	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	25				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	061	30.10	23.30	15.60	7.39	34.815	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	26			Ⅳa-005	礫	流紋岩	004	50.30	33.10	40.00	47.05	34.886	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	27		32-14	Ⅳa-004	剥片	瀬戸内産珪質頁岩	048	54.88	37.29	22.83	18.81	34.882	Ⅶ
Ⅳa		32	Q6-39	28				剥片	チャート	007	33.80	14.30	6.40	4.93	34.698	Ⅸa
Ⅳa		32	Q6-49	1		32-07		二次加工のある剥片	瀬戸内産珪質頁岩	061	41.80	20.45	9.29	6.89	35.116	Ⅵ
Ⅳa		32	R6-40	1				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	019	31.20	32.40	6.60	4.81	35.000	Ⅶ
Ⅳa		32	R6-40	2				剥片	チャート	010	15.30	19.20	10.60	2.68	34.876	Ⅶ
Ⅳa		33	R6-11	3		33-01		楔形石器	黒曜石	002	17.91	13.91	5.20	1.07	34.770	Ⅶ
Ⅳa		33	R6-11	4		33-03		微細剥離痕のある剥片	瀬戸内産珪質頁岩	049	64.45	36.82	16.79	19.89	34.869	Ⅶ
Ⅳa		33	R6-12	9				砕片	瀬戸内産珪質頁岩	047	14.10	8.30	4.40	0.41	34.885	Ⅶ
Ⅳa		33	R6-12	12				剥片	黒曜石	003	24.30	7.80	3.00	0.58	34.837	Ⅶ
Ⅳa		33	R6-13	7				剥片	ガラス質黒色安山岩	004	33.70	43.20	11.70	12.01	35.064	Ⅵ
Ⅳa		33	R6-20	1				剥片	珪質頁岩	002	35.40	21.80	10.80	7.32	35.158	Ⅵ
Ⅳa		33	R6-21	1				礫	チャート	015	67.20	34.60	21.80	76.00	34.906	Ⅶ
Ⅳa		33	R6-22	1				剥片	ガラス質黒色安山岩	003	23.70	14.80	3.20	1.46	34.740	Ⅸa
Ⅳa		33	R6-22	2		33-08	Ⅳa-001	石核	チャート	012	48.50	72.00	38.50	187.00	34.846	Ⅶ
Ⅳa		33	R6-22	3		33-05	Ⅳa-001	剥片	チャート	012	31.50	39.70	11.40	16.87	34.817	Ⅶ
Ⅳa		33	R6-22	4				礫	流紋岩	010	25.50	43.00	21.00	24.04	35.070	Ⅵ
Ⅳa		33	R6-22	5				礫	流紋岩	009	17.60	44.10	18.20	17.00	34.720	Ⅶ
Ⅳa		33	R6-23	1				砕片	黒曜石	004	9.10	5.80	3.00	0.18	35.622	Ⅴ
Ⅳa		33	R6-23	2				剥片	ホルンフェルス	002	27.80	34.60	10.40	13.22	35.130	Ⅵ
Ⅳa		33	R6-24	1				剥片	ガラス質黒色安山岩	004	16.00	32.20	3.00	2.20	34.868	Ⅶ
Ⅳa		33	R6-30	1				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	050	56.50	77.00	8.80	37.13	34.913	Ⅶ
Ⅳa		33	R6-30	2				礫	チャート	014	66.80	48.80	34.90	149.00	35.106	Ⅵ
Ⅳa		33	R6-31	1				剥片	チャート	009	27.50	17.20	5.60	2.98	35.153	Ⅵ
Ⅳa		33	R6-32	1	1	33-07	Ⅳa-001	剥片	チャート	012	46.10	55.40	12.20	60.00	34.891	Ⅶ
Ⅳa		33	R6-32	2				剥片	ガラス質黒色安山岩	004	18.30	11.80	2.50	0.76	35.010	Ⅵ
Ⅳa		33	R6-32	3				礫	チャート	013	58.40	40.70	31.40	111.00	34.897	Ⅶ
Ⅳa		33	R6-32	4		33-04		敲石	砂岩	006	91.07	56.07	31.00	212.00	34.872	Ⅶ
Ⅳa		33	R6-32	5		33-06	Ⅳa-001	剥片	チャート	012	16.60	24.20	7.10	15.00	35.196	Ⅵ
Ⅳa		33	R6-32	6				剥片	ガラス質黒色安山岩	003	43.90	27.50	6.40	9.98	35.055	Ⅵ
Ⅳa		33	R6-32	7	2			剥片	ガラス質黒色安山岩	004	25.30	26.80	7.70	4.74	34.940	Ⅶ
Ⅳa		33	R6-32	7	1			砕片	瀬戸内産珪質頁岩	047	10.20	20.10	2.20	0.43	34.940	Ⅶ
Ⅳa		33	R6-32	8				砕片	チャート	011	14.80	10.00	6.00	0.89	35.013	Ⅵ
Ⅳa		33	R6-33	1		33-02		二次加工のある剥片	チャート	010	30.62	25.44	14.33	8.83	35.053	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-47	1				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	060	14.10	18.30	2.60	0.61	35.066	Ⅵ
Ⅳa		34	Q6-47	2				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	053	40.70	13.80	9.80	6.05	35.010	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-47	3	1	34-22		二次加工のある剥片	瀬戸内産珪質頁岩	056	33.37	32.22	6.15	4.95	34.966	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-47	3	2			砕片	瀬戸内産珪質頁岩	052	21.20	7.80	8.00	4.92	34.966	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-47	4				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	055	24.30	18.30	7.20	2.99	34.778	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-48	1				礫	砂岩	008	38.90	37.50	16.00	25.14	35.070	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-48	2		34-37		二次加工のある剥片	瀬戸内産珪質頁岩	059	49.85	29.05	11.42	14.48	34.775	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-48	3				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	053	12.20	22.90	4.00	0.86	34.764	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-48	4				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	060	21.50	10.60	5.80	1.45	34.995	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-48	5				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	060	21.40	11.10	4.80	0.97	35.064	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-48	6		34-31		微細剥離痕のある剥片	瀬戸内産珪質頁岩	060	32.33	26.01	7.44	3.59	34.990	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-48	7				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	052	19.10	23.00	7.30	3.06	35.008	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-48	8				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	054	24.60	23.00	5.80	3.24	35.315	Ⅴ
Ⅳa		34	Q6-48	9		34-19		微細剥離痕のある剥片	瀬戸内産珪質頁岩	061	26.98	18.58	4.73	1.58	35.079	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-48	10				微細剥離痕のある剥片	瀬戸内産珪質頁岩	053	30.00	24.20	4.50	3.09	35.102	Ⅵ
Ⅳa		34	Q6-48	11				微細剥離痕のある剥片	瀬戸内産珪質頁岩	054	28.50	27.90	8.80	6.33	35.135	Ⅵ
Ⅳa		34	Q6-48	12				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	055	28.90	21.60	6.50	3.32	35.030	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-48	13				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	055	26.00	7.90	1.80	0.83	35.029	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-48	14				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	059	20.50	26.60	5.20	3.08	34.958	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-48	15				砕片	瀬戸内産珪質頁岩	060	13.00	11.60	2.20	0.45	34.970	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-48	16				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	053	17.00	26.40	3.70	1.40	35.525	Ⅴ
Ⅳa		34	Q6-48	17	1	34-34		二次加工のある剥片	瀬戸内産珪質頁岩	059	38.92	19.55	8.17	3.56	35.070	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-48	17	2			砕片	瀬戸内産珪質頁岩	055	12.80	7.50	1.10	3.72	35.070	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-48	18				砕片	瀬戸内産珪質頁岩	060	12.60	8.40	3.00	0.43	35.199	Ⅵ
Ⅳa		34	Q6-48	19				砕片	瀬戸内産珪質頁岩	057	12.00	10.20	3.10	0.34	35.347	Ⅵ
Ⅳa		34	Q6-48	20		34-12		二次加工のある剥片	瀬戸内産珪質頁岩	061	27.85	21.17	4.76	1.76	34.990	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-48	21		34-01		ナイフ形石器	瀬戸内産珪質頁岩	059	41.10	15.23	7.67	3.70	35.083	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-48	22		34-03		二次加工のある剥片	瀬戸内産珪質頁岩	055	28.58	23.32	5.16	2.74	35.242	Ⅵ
Ⅳa		34	Q6-48	23				剥片	瀬戸内産珪質頁岩	060	18.40	16.90	5.70	1.50	34.840	Ⅸa

第113表　第Ⅳ文化層石器属性表（5）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅳa		34	Q6-48	24				剥片	頁岩質珪岩	061	31.30	16.50	6.90	3.34	34.860	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-48	25		34-27		楔形石器	頁岩質珪岩	061	29.75	14.49	11.09	3.04	34.850	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-48	26				剥片	頁岩質珪岩	055	29.20	26.50	5.90	4.24	34.847	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-48	27		34-23		二次加工のある剥片	頁岩質珪岩	054	23.11	16.96	5.08	1.12	35.025	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-48	28			Ⅳa-003	礫片	流紋岩	003	31.10	24.60	6.10	3.68	34.868	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-48	29		34-35		二次加工のある剥片	頁岩質珪岩	061	44.94	27.48	7.66	9.12	34.880	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-48	30				剥片	頁岩質珪岩	051	15.60	28.00	7.00	2.45	34.950	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-48	31		34-41	Ⅳa-006	二次加工のある剥片	頁岩質珪岩	058	46.54	27.80	8.19	9.34	34.855	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-48	32		34-05		二次加工のある剥片	頁岩質珪岩	061	27.07	26.25	9.62	3.71	35.010	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-48	33		34-07		二次加工のある剥片	頁岩質珪岩	052	43.29	44.41	15.29	15.93	34.815	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-48	34				微細剥離痕のある剥片	頁岩質珪岩	052	32.00	21.80	16.90	6.99	34.981	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-48	35		34-14		二次加工のある剥片	頁岩質珪岩	061	35.38	26.64	7.99	4.54	34.917	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-48	36				砕片	頁岩質珪岩	053	12.20	6.60	1.50	0.18	34.988	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-49	2				剥片	頁岩質珪岩	054	20.50	26.70	12.20	3.76	35.058	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-49	4				剥片	頁岩質珪岩	059	23.10	20.70	4.30	1.98	35.106	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-49	5		34-28		楔形石器	頁岩質珪岩	061	30.27	21.05	5.02	2.15	34.911	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-49	6				礫片	砂岩	007	24.60	20.90	16.40	7.76	35.208	Ⅵ
Ⅳa		34	Q6-49	7				砕片	頁岩質珪岩	053	12.70	16.80	2.60	0.52	35.214	Ⅵ
Ⅳa		34	Q6-49	8				剥片	頁岩質珪岩	062	21.70	40.30	7.00	5.01	35.134	Ⅵ
Ⅳa		34	Q6-49	9				剥片	頁岩質珪岩	062	21.10	16.30	15.40	1.35	35.105	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-49	10				剥片	頁岩質珪岩	055	20.20	16.30	3.90	0.57	35.228	Ⅵ
Ⅳa		34	Q6-49	11				剥片	頁岩質珪岩	053	30.20	10.30	5.00	1.43	35.225	Ⅵ
Ⅳa		34	Q6-49	12				剥片	ホルンフェルス	003	15.60	27.20	17.10	6.13	35.107	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-49	13				礫片	ホルンフェルス	005	17.60	25.80	13.80	5.79	34.853	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-49	14		34-04		二次加工のある剥片	チャート	061	25.61	21.74	5.96	2.45	34.960	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-49	15				礫片	チャート	016	7.40	21.30	9.20	4.64	34.948	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-49	16		34-42	Ⅳa-006	二次加工のある剥片	頁岩質珪岩	058	40.96	30.18	9.55	6.88	35.100	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-57	1		34-24		二次加工のある剥片	頁岩質珪岩	053	31.31	23.80	9.97	6.54	35.532	Ⅳ
Ⅳa		34	Q6-57	2				礫片	流紋岩	011	22.80	14.20	11.00	3.45	35.381	Ⅳ
Ⅳa		34	Q6-57	6				剥片	頁岩質珪岩	053	18.60	14.20	1.40	0.50	35.052	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	1		34-33		二次加工のある剥片	頁岩質珪岩	053	42.42	35.04	16.73	14.46	34.984	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	2		34-26		楔形石器	頁岩質珪岩	054	21.94	22.45	11.13	4.53	35.375	Ⅴ
Ⅳa		34	Q6-58	3				剥片	頁岩質珪岩	054	16.80	12.80	5.20	1.34	35.365	Ⅴ
Ⅳa		34	Q6-58	4		34-08		二次加工のある剥片	頁岩質珪岩	062	21.37	18.95	5.83	1.58	35.288	Ⅵ
Ⅳa		34	Q6-58	5				砕片	頁岩質珪岩	052	13.50	9.40	2.90	0.33	35.035	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	6				砕片	頁岩質珪岩	054	8.40	8.00	1.20	0.11	35.076	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	7				砕片	頁岩質珪岩	056	15.20	9.70	2.60	0.35	35.055	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	8		34-39	Ⅳa-015	石核	頁岩質珪岩	051	33.07	35.04	17.14	13.36	35.050	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	9		34-02		ナイフ形石器	頁岩質珪岩	061	39.65	23.79	8.17	7.09	35.050	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	10				剥片	頁岩質珪岩	053	34.80	15.10	15.50	2.42	35.126	Ⅵ
Ⅳa		34	Q6-58	11				砕片	頁岩質珪岩	053	11.30	11.40	1.70	0.24	35.305	Ⅵ
Ⅳa		34	Q6-58	12				剥片	頁岩質珪岩	061	26.20	25.00	4.00	2.80	34.985	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	13		34-18		二次加工のある剥片	頁岩質珪岩	054	26.80	22.59	2.28	1.26	34.962	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	14		34-13		楔形石器	頁岩質珪岩	056	33.70	28.87	8.40	7.03	34.877	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	15				剥片	頁岩質珪岩	053	21.00	16.00	6.40	2.05	35.575	Ⅳ
Ⅳa		34	Q6-58	16		34-30		石核	頁岩質珪岩	051	32.28	25.73	15.74	12.25	35.089	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	17		34-29		楔形石器	頁岩質珪岩	057	20.13	18.85	13.78	4.93	34.953	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	18				剥片	頁岩質珪岩	062	24.70	13.50	3.70	1.21	34.948	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	19				剥片	頁岩質珪岩	062	25.00	23.90	5.10	3.37	35.117	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	20		34-17		楔形石器	頁岩質珪岩	054	17.73	13.92	9.63	1.84	34.837	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-58	21				剥片	頁岩質珪岩	060	15.10	18.00	4.80	1.20	34.910	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	22		34-11		二次加工のある剥片	頁岩質珪岩	056	23.87	22.28	2.86	1.30	35.024	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	23				砕片	頁岩質珪岩	060	12.20	18.10	7.60	1.26	34.951	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	24		34-15		微細剥離痕のある剥片	頁岩質珪岩	062	15.35	14.79	2.48	0.50	35.063	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	25				剥片	頁岩質珪岩	059	41.20	27.70	5.50	4.36	35.090	Ⅵ
Ⅳa		34	Q6-58	26				剥片	頁岩質珪岩	052	45.00	28.20	9.80	8.38	35.037	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	27	1	34-38	Ⅳa-015	剥片	頁岩質珪岩	051	26.20	28.00	11.00	5.57	34.969	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	27	2			剥片	チャート	008	46.00	18.00	12.40	7.33	34.969	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	28				剥片	頁岩質珪岩	053	20.60	20.70	9.20	3.54	34.904	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-58	29		34-21		二次加工のある剥片	頁岩質珪岩	053	29.54	15.35	7.48	3.48	34.973	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	30		34-06		二次加工のある剥片	頁岩質珪岩	052	26.43	28.30	7.27	4.33	34.970	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	31				剥片	頁岩質珪岩	055	16.00	19.40	2.40	0.69	34.900	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-58	32		34-36		二次加工のある剥片	頁岩質珪岩	055	70.24	29.50	13.70	25.20	34.923	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-58	33				剥片	頁岩質珪岩	055	27.30	23.30	3.00	1.55	34.875	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-58	34				剥片	頁岩質珪岩	055	12.40	19.80	4.00	0.97	34.888	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-58	35				剥片	ホルンフェルス	004	14.60	10.40	8.00	0.62	34.923	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	36		34-20		二次加工のある剥片	ホルンフェルス	057	26.41	15.61	9.45	3.34	35.034	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	37		34-09		二次加工のある剥片	頁岩質珪岩	055	52.72	45.03	17.00	26.48	34.811	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-58	38				剥片	頁岩質珪岩	062	33.70	24.40	6.10	3.09	35.006	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-58	39				剥片	頁岩質珪岩	051	21.60	16.00	16.00	1.76	34.717	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-59	1				剥片	頁岩質珪岩	057	12.20	4.60	1.30	0.12	35.405	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-59	2		34-10		二次加工のある剥片	頁岩質珪岩	053	13.41	13.79	1.86	0.34	35.325	Ⅴ
Ⅳa		34	Q6-59	3		34-25		楔形石器	頁岩質珪岩	056	42.18	41.85	9.21	12.94	34.965	Ⅵ
Ⅳa		34	Q6-59	4				砕片	頁岩質珪岩	061	12.00	6.50	1.90	0.17	35.116	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-59	5				砕片	頁岩質珪岩	053	10.00	5.50	0.70	0.08	35.037	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-59	6				剥片	頁岩質珪岩	054	19.50	11.30	6.50	1.16	35.000	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-59	7				剥片	頁岩質珪岩	057	33.30	13.60	11.80	4.54	34.963	Ⅶ
Ⅳa		34	Q6-59	8				剥片	頁岩質珪岩	052	16.10	15.40	3.20	0.62	34.849	Ⅸa
Ⅳa		34	Q6-69	1		34-32		微細剥離痕のある剥片	黒曜石	005	22.36	11.02	3.54	0.65	35.199	Ⅵ
Ⅳa		34	Q6-69	2		34-16		微細剥離痕のある剥片	黒曜石	006	20.22	10.98	3.80	0.47	35.247	Ⅵ
Ⅳa		34	R6-50	1				剥片	頁岩質珪岩	054	12.16	22.69	2.22	0.76	35.173	Ⅵ
Ⅳb		35	F29-23	1				剥片	頁岩質珪岩	001	36.60	22.80	6.80	6.39	39.450	Ⅴ
Ⅳb		35	F29-23	2		35-05		石核	黒曜石	001	29.60	32.30	17.70	19.30	39.475	Ⅴ
Ⅳb		35	F29-31	1		35-01		剥片	頁岩	001	75.22	31.59	8.38	17.31	39.403	Ⅴ
Ⅳb		35	F29-31	2		35-03		剥片	珪質頁岩	001	38.25	26.58	7.77	4.88	39.392	Ⅴ
Ⅳb		35	F29-31	3				礫	流紋岩	001	54.70	25.70	11.20	23.93	39.396	Ⅴ
Ⅳb		35	F29-40	1		35-04		剥片	珪質頁岩	001	42.36	16.82	9.42	6.69	39.260	Ⅴ
Ⅳb		35	プレ第05地点	1	1	35-02		剥片	ホルンフェルス	001	45.56	26.11	6.94	7.39		Ⅴ
Ⅳb		35	プレ第05地点	1	2			剥片	珪質頁岩	001	30.54	16.44	7.95	3.09		Ⅴ
Ⅳb		35	プレ第05地点	1	3			剥片	珪質頁岩	001	20.19	21.92	5.29	1.71		Ⅴ

第114表　第Ⅴ文化層石器属性表（1）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Va		36	N10-26	1				剥片	流紋岩	011	26.60	19.60	6.40	3.62	37.907	Ⅳ
Va		36	N10-27	1		36-07	Va-002	石核	頁岩	005	40.88	45.50	26.68	53.37		
Va		36	N10-27	2		36-01		石核	頁岩	004	35.36	59.84	27.04	68.86	37.640	Ⅴ
Va		36	N10-27	3				剥片	頁岩	005	16.50	10.40	8.20	0.79	37.815	Ⅴ
Va		36	N10-27	4				剥片	頁岩	004	45.80	24.90	14.30	20.12	37.835	Ⅴ
Va		36	N10-27	5				剥片	頁岩	005	26.50	16.30	7.10	2.64	38.485	Ⅴ
Va		36	N10-36	1				砕片	頁岩	005	14.80	13.50	3.30	0.63	37.865	Ⅴ
Va		36	N10-37	1		36-06	Va-002	剥片	頁岩	005	20.95	29.07	7.21	4.44	37.798	Ⅴ
Va		36	N10-37	2		36-04	Va-001	楔形石器	頁岩	006	59.33	45.88	30.95	82.46	37.958	Ⅳ
Va		36	N10-37	3		36-03	Va-003	石核	砂岩	016	75.95	44.41	28.20	126.68	37.920	Ⅴ
Va		36	N10-38	1		36-02	Va-003	石核	砂岩	016	27.99	14.84	5.42	1.48	38.150	Ⅲ
Va		36	N10-38	2				剥片	珪質頁岩	003	24.90	9.50	4.00	0.81	37.738	Ⅴ
Va		36	N10-47	1		36-05	Va-001	楔形石器	頁岩	006	57.07	31.73	31.14	56.90	38.043	Ⅳ
Va		36	N4-7(ブレクラム2)					剥片	嶺岡産珪質頁岩	026	28.50	20.70	5.60	5.96	0.000	
Vb		37	Q6-57	3				剥片	嶺岡産珪質頁岩	063	23.80	9.50	3.00	0.53	35.445	Ⅴ
Vb		37	Q6-57	4				剥片	頁岩	004	14.90	23.40	4.20	1.56	35.407	Ⅳ
Vb		37	Q6-57	5		37-03		二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	063	39.42	15.30	11.92	6.82	35.145	Ⅳ
Vb		37	Q6-67	1				砕片	嶺岡産珪質頁岩	063	11.40	14.70	2.70	0.51	35.465	Ⅳ
Vb		37	Q6-67	2				剥片	嶺岡産珪質頁岩	063	23.40	12.90	7.80	1.73	35.484	Ⅳ
Vb		37	Q6-67	3				礫	砂岩	009	21.60	16.30	15.00	5.50	35.534	Ⅳ
Vb		37	Q6-67	4				微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩	005	19.70	24.40	3.90	1.48	35.565	Ⅳ
Vb		37	Q6-67	5				砕片	嶺岡産珪質頁岩	063	9.40	19.90	8.00	1.14	35.516	Ⅳ
Vb		37	Q6-67	6				剥片	嶺岡産珪質頁岩	063	15.50	25.80	9.00	2.65	35.518	Ⅳ
Vb		37	Q6-67	7				剥片	嶺岡産珪質頁岩	063	38.30	47.30	29.80	59.33	35.516	Ⅳ
Vb		37	Q6-67	8		37-01		石核	嶺岡産珪質頁岩	063	20.45	46.01	28.91	18.89	35.475	Ⅳ
Vb		37	Q6-67	9		37-02		二次加工のある剥片	黒曜石	007	20.24	10.97	5.13	0.86	34.716	Ⅸa
Vb		38	Q6-68	1				礫	流紋岩	013	10.80	10.70	5.40	0.95	35.588	Ⅳ
Vb		38	Q6-68	2				礫	チャート	017	16.50	10.50	4.60	1.15	35.073	Ⅶ
Vb		38	Q6-68	3				礫	砂岩	011	25.40	30.30	10.20	9.34	35.562	Ⅳ
Vb		38	Q6-68	4				礫	砂岩	013	29.20	28.40	7.80	6.27	35.554	Ⅳ
Vb		38	Q6-68	5				礫	砂岩	013	12.50	17.50	12.20	2.21	35.580	Ⅳ
Vb		38	Q6-68	6				礫	砂岩	012	34.10	14.50	10.20	4.89	35.587	Ⅳ
Vb		38	Q6-68	7				礫	砂岩	010	34.50	28.90	7.20	7.67	35.611	Ⅳ
Vb		38	Q6-68	8				礫	砂岩	012	16.90	23.60	7.50	3.27	35.567	Ⅳ
Vb		38	Q6-68	9				礫	流紋岩	012	36.60	22.40	12.40	11.36	35.518	Ⅳ
Vb		38	Q6-68	10				礫	砂岩	013	29.50	14.20	7.70	3.50	35.577	Ⅳ
Vb		38	Q6-69	3				礫	ホルンフェルス	004	18.70	13.40	10.30	1.66	34.860	Ⅸa
Vc		39	プレ第19地点	1				砕片	ホルンフェルス	003	9.20	10.00	5.70	0.49	40.021	Ⅴ
Vc		39	プレ第19地点	2		41-73	Vc-008	剥片	頁岩	003	53.03	65.38	24.73	72.14	39.988	Ⅴ
Vc		39	プレ第19地点	3		40-04	Vc-013	剥片	嶺岡産珪質頁岩	004	24.28	26.35	5.99	3.18	39.973	Ⅴ
Vc		39	プレ第19地点	4				剥片	砂岩	013	18.30	20.20	11.50	2.20	39.955	Ⅴ
Vc		39	プレ第19地点	5				砕片	砂岩	013	6.50	6.90	2.10	0.13	39.962	Ⅴ
Vc		40	プレ第17地点	1				礫	砂岩	012	70.50	49.00	37.80	200.38	40.065	Ⅴ
Vc		40	プレ第17地点	2		40-01	Vc-013	石核	嶺岡産珪質頁岩	004	48.39	37.52	18.40	32.29	40.086	Ⅴ
Vc		40	プレ第17地点	3		41-19	Vc-014	剥片	嶺岡産珪質頁岩	007	36.08	25.48	11.37	8.60	40.084	Ⅴ
Vc		40	プレ第17地点	4				礫	流紋岩	009	87.00	71.20	52.10	450.96	40.035	Ⅴ
Vc		40	プレ第17地点	5		40-02	Vc-013	砕片	嶺岡産珪質頁岩	004	17.00	9.20	7.40	0.82	39.843	Ⅶ
Vc		40	プレ第17地点	6		40-03	Vc-013	剥片	嶺岡産珪質頁岩	004	27.52	32.88	6.25	4.26	39.845	Ⅶ
Vc		41	プレ第15地点	1		41-82	Vc-008	剥片	頁岩	003	33.58	31.10	8.86	6.32	40.045	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	2				剥片	嶺岡産珪質頁岩	010	8.10	20.10	6.00	0.71	40.100	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	3				剥片	嶺岡産珪質頁岩	012	25.30	10.60	6.40	2.02	40.082	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	4		41-65	Vc-005	剥片	嶺岡産珪質頁岩	009	38.11	35.71	9.25	8.83	40.045	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	6		41-41		石核	玉髄（メノウ含む）	004	55.19	38.15	24.69	66.06	40.098	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	7		41-63	Vc-005	剥片	嶺岡産珪質頁岩	009	30.13	31.34	11.94	6.55	40.112	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	8				砕片	嶺岡産珪質頁岩	007	10.30	15.70	4.10	0.71	40.067	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	9		41-68	Vc-005	石核	嶺岡産珪質頁岩	009	104.50	135.00	76.00	1105.00	40.003	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	10				剥片	嶺岡産珪質頁岩	015	31.00	20.10	5.80	3.45	40.069	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	11				剥片	嶺岡産珪質頁岩	017	34.20	39.20	20.50	28.19	40.030	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	12		41-04		ナイフ形石器	チャート	004	25.60	18.20	6.20	2.97	40.075	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	13				剥片	嶺岡産珪質頁岩	023	28.10	29.50	7.60	6.50	40.119	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	14				剥片	嶺岡産珪質頁岩	012	14.70	22.40	6.50	2.41	40.050	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	15				剥片	嶺岡産珪質頁岩	003	22.50	10.20	4.70	1.13	40.039	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	16				剥片	嶺岡産珪質頁岩	022	43.70	30.70	19.50	19.14	40.114	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	17		41-17		微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	006	76.05	57.65	19.30	72.55	40.010	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	18		41-67	Vc-005	剥片	嶺岡産珪質頁岩	009	78.67	82.76	25.15	108.92	40.080	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	19				砕片	嶺岡産珪質頁岩	004	6.20	12.10	3.20	0.21	40.109	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	20				剥片	嶺岡産珪質頁岩	012	22.20	24.10	7.80	2.88	40.139	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	21		41-75	Vc-008	剥片	頁岩	003	45.10	51.12	12.77	21.11	40.135	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	22		40-06	Vc-013	剥片	嶺岡産珪質頁岩	004	38.40	50.80	21.30	33.20	40.099	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	23		41-13	Vc-002	剥片	ガラス質黒色安山岩	002	36.26	24.67	7.73	9.21	40.095	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	24				剥片	嶺岡産珪質頁岩	012	18.90	27.70	13.40	5.25	40.096	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	25				礫	砂岩	008	96.90	67.60	32.90	291.00	40.057	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	26				剥片	嶺岡産珪質頁岩	017	9.70	16.00	6.90	0.82	40.065	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	27				剥片	嶺岡産珪質頁岩	011	23.70	30.40	6.70	5.46	40.055	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	28		41-84	Vc-008	剥片	頁岩	003	42.06	23.41	10.44	9.57	40.077	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	29				剥片	嶺岡産珪質頁岩	025	22.10	9.40	3.50	1.23	40.080	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	30				礫	流紋岩	003	92.00	70.00	41.40	395.00	39.974	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	31				剥片	嶺岡産珪質頁岩	017	25.56	24.06	17.53	7.38	40.110	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	32		41-21		微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	020	75.90	43.20	23.40	51.43	40.065	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	33		41-76	Vc-008	剥片	頁岩	003	17.27	19.90	14.17	3.33	40.044	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	34				剥片	頁岩	003	19.20	18.50	11.50	2.25	40.000	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	35		41-40		石核	嶺岡産珪質頁岩	016	54.50	37.50	26.00	26.18		Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	36				剥片	嶺岡産珪質頁岩	004	32.00	10.30	3.20	1.15	40.070	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	37		41-86	Vc-008	石核	頁岩	003	44.38	68.95	54.03	143.63		Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	38				礫	砂岩	004	62.70	56.10	29.50	119.40	39.977	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	39			Vc-015	剥片	嶺岡産珪質頁岩	021	51.50	31.10	20.20	14.29	40.004	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	40		41-83	Vc-008	微細剥離痕のある剥片	頁岩	003	41.41	44.05	9.59	11.68	40.094	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	41		41-74	Vc-008	剥片	頁岩	003	25.23	33.53	6.42	3.60	40.062	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	42		41-80	Vc-008	剥片	頁岩	003	37.93	25.36	10.67	8.41	40.072	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	43		41-81	Vc-008	剥片	頁岩	003	21.51	22.03	9.47	1.53	40.104	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	44				礫	流紋岩	007	61.70	36.20	32.20	83.00	39.977	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	45				礫	嶺岡産珪質頁岩	017	10.00	12.50	2.90	0.39	39.975	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	46		41-30	Vc-003	剥片	碧玉（黄玉）	001	11.77	14.96	5.74	0.59	39.966	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	47				剥片	頁岩	003	15.80	20.30	5.50	1.25	40.121	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	48		41-25		微細剥離痕のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	010	58.08	30.14	14.81	17.63	40.073	Ⅴ
Vc		41	プレ第15地点	49				砕片	チャート	006	9.20	14.10	5.50	0.47	39.967	Ⅴ

第115表　第Ⅴ文化層石器属性表（2）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Vc		41	プレ第15地点	50				砕片	嶺岡産珪質頁岩	016	17.30	21.40	11.50	5.37	40.080	V
Vc		41	プレ第15地点	51		41-78	Vc-008	微細剥離痕のある剥片	頁岩	003	31.40	21.90	8.00	4.46	40.073	V
Vc		41	プレ第15地点	52		41-01		ナイフ形石器	チャート	004	41.50	17.90	8.90	6.83	40.073	V
Vc		41	プレ第15地点	53	1	41-14	Vc-002	剥片	ガラス質黒色安山岩	002	40.62	29.67	8.56	9.22	40.087	V
Vc		41	プレ第15地点	53	2			砕片	嶺岡産珪質頁岩	025	7.50	15.60	3.50	0.37	40.087	V
Vc		41	プレ第15地点	54				剥片	ガラス質黒色安山岩	002	20.30	16.50	3.00	1.00	40.008	V
Vc		41	プレ第15地点	55				剥片	嶺岡産珪質頁岩	009	33.50	29.50	5.00	3.54	40.108	V
Vc		41	プレ第15地点	56				砕片	嶺岡産珪質頁岩	012	7.60	20.10	1.80	0.34	40.130	V
Vc		41	プレ第15地点	57				砕片	嶺岡産珪質頁岩	025	4.30	8.60	1.90	0.09	40.096	V
Vc		41	プレ第15地点	59				剥片	嶺岡産珪質頁岩	012	13.10	3.40	7.00	1.94	40.027	V
Vc		41	プレ第15地点	60				剥片	頁岩	003	23.60	8.40	3.00	0.47	39.991	V
Vc		41	プレ第15地点	61				砕片	嶺岡産珪質頁岩	012	6.10	12.70	2.70	0.26	40.075	V
Vc		41	プレ第15地点	62				剥片	チャート	005	14.80	16.00	4.30	0.93	40.065	V
Vc		41	プレ第15地点	63				剥片	嶺岡産珪質頁岩	011	24.10	9.80	17.40	1.79	40.085	V
Vc		41	プレ第15地点	64				剥片	嶺岡産珪質頁岩	010	24.00	13.40	3.50	1.27	40.120	V
Vc		41	プレ第15地点	65				砕片	嶺岡産珪質頁岩	025	6.00	10.00	1.30	0.08	40.115	V
Vc		41	プレ第15地点	66				剥片	嶺岡産珪質頁岩	012	15.20	21.80	2.70	0.87	40.098	V
Vc		41	プレ第15地点	67				剥片	ガラス質黒色安山岩	001	83.60	63.40	19.10	93.17	40.075	V
Vc		41	プレ第15地点	68			Vc-018	礫	流紋岩	006	69.71	31.78	27.67	80.00	40.009	V
Vc		41	プレ第15地点	69		41-55	Vc-006	石核	嶺岡産珪質頁岩	016	37.65	30.50	39.64	49.95	40.046	V
Vc		41	プレ第15地点	70				砕片	嶺岡産珪質頁岩	013	15.10	10.20	2.90	0.41	40.020	V
Vc		41	プレ第15地点	71				剥片	嶺岡産珪質頁岩	012	15.80	27.50	14.60	5.16	39.988	V
Vc		41	プレ第15地点	72		41-79	Vc-008	剥片	頁岩	003	18.04	13.62	5.26	1.08	39.997	V
Vc		41	プレ第15地点	73		41-54	Vc-006	剥片	嶺岡産珪質頁岩	016	17.52	26.51	19.73	5.96	40.096	V
Vc		41	プレ第15地点	74		41-51	Vc-010	剥片	嶺岡産珪質頁岩	003	13.70	27.20	6.40	2.27	40.059	V
Vc		41	プレ第15地点	75			Vc-018	礫	流紋岩	006	87.09	43.55	42.92	120.00	40.038	V
Vc		41	プレ第15地点	76				礫	流紋岩	004	100.10	48.50	36.50	221.00	40.056	V
Vc		41	プレ第15地点	77				剥片	嶺岡産珪質頁岩	011	22.50	39.50	15.60	21.27	40.037	V
Vc		41	プレ第15地点	78		41-02		ナイフ形石器	チャート	004	50.28	21.64	8.94	11.03	40.074	V
Vc		41	プレ第15地点	79				礫	流紋岩	005	104.40	62.40	37.30	352.00	40.029	V
Vc		41	プレ第15地点	80				礫	砂岩	011	85.30	61.20	52.80	357.00	40.019	V
Vc		41	プレ第15地点	81		41-70		石核	嶺岡産珪質頁岩	009	55.57	55.04	49.83	158.41	40.044	V
Vc		41	プレ第15地点	82		41-50	Vc-010	剥片	嶺岡産珪質頁岩	003	45.80	62.90	17.50	39.73	40.089	V
Vc		41	プレ第15地点	83		41-53	Vc-010	石核	嶺岡産珪質頁岩	003	61.10	61.80	57.80	175.48	40.075	V
Vc		41	プレ第15地点	84				砕片	玉髄（メノウ含む）	002	17.90	12.90	5.00	0.98	40.095	V
Vc		41	プレ第15地点	85				剥片	嶺岡産珪質頁岩	003	25.00	12.50	5.50	1.51	40.057	V
Vc		41	プレ第15地点	86		41-49	Vc-010	剥片	嶺岡産珪質頁岩	003	15.50	27.30	4.80	1.95	40.098	V
Vc		41	プレ第15地点	87		41-52	Vc-010	剥片	嶺岡産珪質頁岩	003	44.20	28.80	11.20	11.11	40.091	V
Vc		41	プレ第15地点	88				剥片	嶺岡産珪質頁岩	010	48.90	27.30	10.70	12.88	40.082	V
Vc		41	プレ第15地点	89		41-32	Vc-003	剥片	碧玉（黄玉）	001	55.01	25.12	15.86	20.28	40.107	V
Vc		41	プレ第15地点	90				剥片	嶺岡産珪質頁岩	008	40.40	31.50	7.40	6.52	40.114	V
Vc		41	プレ第15地点	91				砕片	嶺岡産珪質頁岩	025	8.90	16.80	2.10	0.28	39.998	V
Vc		41	プレ第15地点	92				砕片	嶺岡産珪質頁岩	013	24.80	8.50	3.30	0.71	40.000	V
Vc		41	プレ第15地点	93		41-38	Vd-001	剥片	嶺岡産珪質頁岩	005	60.50	21.60	10.10	3.60	40.087	V
Vc		41	プレ第15地点	94				剥片	嶺岡産珪質頁岩	023	28.00	7.40	7.10	8.39	40.088	V
Vc		41	プレ第15地点	95				剥片	碧玉（黄玉）	001	26.19	20.25	6.72	2.45	40.088	V
Vc		41	プレ第15地点	96		41-48	Vc-010	剥片	嶺岡産珪質頁岩	003	27.20	26.80	8.60	7.34	40.077	V
Vc		41	プレ第15地点	97	1	41-09		二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	012	26.83	15.91	5.87	2.19	40.054	V
Vc		41	プレ第15地点	97	2			剥片	嶺岡産珪質頁岩	003	23.60	9.80	4.50	1.16	40.054	V
Vc		41	プレ第15地点	98				砕片	碧玉（黄玉）	001	8.20	6.80	1.40	0.10	40.056	V
Vc		41	プレ第15地点	99		41-29	Vc-003	二次加工のある剥片	碧玉（黄玉）	001	48.61	38.96	14.83	28.53	40.072	V
Vc		41	プレ第15地点	100				砕片	碧玉（黄玉）	001	7.70	15.40	2.00	0.17	39.997	V
Vc		41	プレ第15地点	101				剥片	碧玉（黄玉）	001	27.80	35.60	6.50	4.91	39.979	V
Vc		41	プレ第15地点	102		41-27	Vc-009	微細剥離痕のある剥片	碧玉（黄玉）	001	41.00	27.00	10.20	10.10	40.055	V
Vc		41	プレ第15地点	103			Vc-016	剥片	嶺岡産珪質頁岩	019	34.90	35.80	7.50	8.11	40.082	V
Vc		41	プレ第15地点	104		41-34	Vc-003	剥片	碧玉（黄玉）	001	23.97	33.53	11.14	7.02	40.077	V
Vc		41	プレ第15地点	105	3			剥片	碧玉（黄玉）	001	25.10	25.30	17.80	6.12	40.034	V
Vc		41	プレ第15地点	105	1	41-44	Vc-010	剥片	嶺岡産珪質頁岩	003	33.30	37.80	8.70	9.94	40.034	V
Vc		41	プレ第15地点	105	2			砕片	碧玉（黄玉）	001	15.35	14.20	5.60	1.03	40.034	V
Vc		41	プレ第15地点	106		41-20	Vc-014	剥片	嶺岡産珪質頁岩	007	48.42	29.54	11.62	16.75	40.047	V
Vc		41	プレ第15地点	107				砕片	碧玉（黄玉）	001	8.50	9.00	1.50	0.14	39.977	V
Vc		41	プレ第15地点	108		41-33	Vc-003	剥片	碧玉（黄玉）	001	27.55	25.23	8.42	5.14	39.995	V
Vc		41	プレ第15地点	109				砕片	碧玉（黄玉）	001	11.60	14.40	2.80	0.26	39.993	V
Vc		41	プレ第15地点	110		41-59	Vc-011	剥片	嶺岡産珪質頁岩	024	49.70	44.00	40.20	110.57	40.051	V
Vc		41	プレ第15地点	111				礫	砂岩	010	165.00	90.70	59.40	1213.00	40.065	V
Vc		41	プレ第15地点	112				剥片	嶺岡産珪質頁岩	014	13.80	22.00	4.70	0.98	40.526	V
Vc		41	プレ第15地点	113				微細剥離痕のある剥片	碧玉（黄玉）	001	32.50	29.00	10.20	8.16	40.029	V
Vc		41	プレ第15地点	114				砕片	碧玉（黄玉）	001	14.40	9.80	1.50	0.11	39.969	V
Vc		41	プレ第15地点	115	2			砕片	嶺岡産珪質頁岩	014	7.90	9.40	2.30	0.13	39.975	V
Vc		41	プレ第15地点	115	1			砕片	嶺岡産珪質頁岩	025	6.30	10.10	0.40	0.06	39.975	V
Vc		41	プレ第15地点	116				砕片	碧玉（黄玉）	001	10.30	19.80	5.50	1.25	39.976	V
Vc		41	プレ第15地点	117				剥片	嶺岡産珪質頁岩	008	53.40	31.90	18.40	23.74	40.002	V
Vc		41	プレ第15地点	118		41-06		二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	011	36.84	26.47	12.11	9.83	40.068	V
Vc		41	プレ第15地点	119				剥片	嶺岡産珪質頁岩	012	23.10	16.40	2.70	0.93	39.964	V
Vc		41	プレ第15地点	120				剥片	嶺岡産珪質頁岩	012	23.60	11.70	6.10	1.46	40.049	V
Vc		41	プレ第15地点	121		41-45	Vc-010	剥片	嶺岡産珪質頁岩	003	19.00	28.80	7.50	2.77	40.015	V
Vc		41	プレ第15地点	122				砕片	嶺岡産珪質頁岩	025	7.00	8.00	2.80	0.13	39.967	V
Vc		41	プレ第15地点	123		41-46	Vc-010	剥片	嶺岡産珪質頁岩	003	37.40	35.80	16.40	15.45	40.085	V
Vc		41	プレ第15地点	124		41-15		二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	004	70.65	50.89	15.81	50.97	40.077	V
Vc		41	プレ第15地点	125		41-10		二次加工のある剥片	玉髄（メノウ含む）	003	29.49	20.16	9.85	4.62	40.075	V
Vc		41	プレ第15地点	126				剥片	嶺岡産珪質頁岩	011	23.90	13.00	9.10	4.00	39.978	V
Vc		41	プレ第15地点	127				剥片	嶺岡産珪質頁岩	010	21.20	18.90	6.00	2.68	40.086	V
Vc		41	プレ第15地点	128				砕片	嶺岡産珪質頁岩	020	13.00	10.40	5.20	0.68	40.085	V
Vc		41	プレ第15地点	129				剥片	玉髄（メノウ含む）	002	44.00	23.50	15.00	16.55	40.067	V
Vc		41	プレ第15地点	130				砕片	嶺岡産珪質頁岩	013	8.20	11.30	4.10	0.46	39.980	V
Vc		41	プレ第15地点	131				礫	嶺岡産珪質頁岩	017	21.90	10.40	10.40	1.49	39.968	V
Vc		41	プレ第15地点	132				砕片	嶺岡産珪質頁岩	025	13.60	8.30	1.30	0.17	39.979	V
Vc		41	プレ第15地点	133		41-23	Vc-004	剥片	嶺岡産珪質頁岩	008	22.03	12.29	5.13	1.17	40.099	V
Vc		41	プレ第15地点	134		41-37	Vc-001	剥片	嶺岡産珪質頁岩	005	18.00	17.70	6.20	11.04	40.068	V
Vc		41	プレ第15地点	135				砕片	嶺岡産珪質頁岩	025	14.10	13.40	2.30	0.42	39.982	V
Vc		41	プレ第15地点	136		41-12		微細剥離痕のある剥片	玉髄（メノウ含む）	002	26.60	32.10	8.80	7.42	40.073	V
Vc		41	プレ第15地点	137				砕片	嶺岡産珪質頁岩	025	7.20	12.50	1.80	0.11	40.050	V
Vc		41	プレ第15地点	138				剥片	嶺岡産珪質頁岩	013	17.50	27.60	8.60	4.44	40.045	V
Vc		41	プレ第15地点	139	1			剥片	嶺岡産珪質頁岩	013	15.90	18.20	5.00	1.08	40.896	V
Vc		41	プレ第15地点	139	2			剥片	嶺岡産珪質頁岩	014	10.10	12.50	2.20	0.38	40.896	V
Vc		41	プレ第15地点	140		41-24	Vc-004	剥片	嶺岡産珪質頁岩	008	66.12	38.95	19.08	40.66	40.042	V

第116表　第Ⅴ文化層石器属性表（3）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Vc		41	プレ第15地点	141				剥片	玉髄（メノウ含む）	002	26.40	24.92	7.98	4.24	40.025	V
Vc		41	プレ第15地点	142				剥片	玉髄（メノウ含む）	002	23.30	10.80	3.50	0.66	40.058	V
Vc		41	プレ第15地点	143				剥片	頁岩	017	25.40	25.00	15.00	9.85	40.079	V
Vc		41	プレ第15地点	144				剥片	珪質頁岩	009	75.50	36.10	14.90	32.95	40.069	V
Vc		41	プレ第15地点	145				礫	砂岩	007	35.20	32.10	19.30	30.86	39.969	V
Vc		41	プレ第15地点	146		41-39	Vc-001	剥片	珪質頁岩	005	38.30	21.40	7.30	5.64	40.024	V
Vc		41	プレ第15地点	147				剥片	珪質頁岩	004	51.70	28.60	12.20	15.48	40.166	V
Vc		41	プレ第15地点	148				砕片	珪質頁岩	014	6.50	11.20	5.20	0.40	39.920	V
Vc		41	プレ第15地点	149				剥片	珪質頁岩	014	13.10	24.10	4.20	1.34	40.109	V
Vc		41	プレ第15地点	150		41-22	Vc-004	剥片	珪質頁岩	008	46.13	28.33	9.06	9.09	39.961	V
Vc		41	プレ第15地点	151				剥片	玉髄（メノウ含む）	002	19.50	28.00	6.50	3.96	39.975	V
Vc		41	プレ第15地点	152		41-26	Vc-009	剥片	碧玉（黄玉）	001	20.90	20.20	4.90	2.04	40.017	V
Vc		41	プレ第15地点	153				剥片	珪質頁岩	012	14.40	22.90	5.20	1.77	40.066	V
Vc		41	プレ第15地点	154				剥片	珪質頁岩	004	26.00	15.40	5.50	2.24	40.067	V
Vc		41	プレ第15地点	155		41-08		二次加工のある剥片	珪質頁岩	018	43.23	33.06	14.92	17.54	40.050	V
Vc		41	プレ第15地点	158		41-05		ナイフ形石器	珪質頁岩	007	42.95	21.13	12.70	9.93	40.022	V
Vc		41	プレ第15地点	159				剥片	珪質頁岩	012	28.40	14.90	4.40	2.09	40.034	V
Vc		41	プレ第15地点	160				剥片	珪質頁岩	004	15.90	28.10	4.20	1.85	40.064	V
Vc		41	プレ第15地点	161			Vc-012	剥片	ホルンフェルス	002	68.40	25.50	21.20	42.28	40.060	V
Vc		41	プレ第15地点	162				剥片	珪質頁岩	003	23.60	21.50	4.20	1.88	39.958	V
Vc		41	プレ第15地点	163				剥片	珪質頁岩	020	31.80	22.30	6.30	4.31	39.953	V
Vc		41	プレ第15地点	164		41-72	Vc-008	剥片	頁岩	003	56.18	36.07	13.85	26.11	40.010	V
Vc		41	プレ第15地点	165		41-60	Vc-011	剥片	珪質頁岩	024	41.20	41.80	16.60	26.30	40.058	V
Vc		41	プレ第15地点	167			Vc-017	剥片	珪質頁岩	011	17.60	17.50	7.90	3.38	39.974	V
Vc		41	プレ第15地点	168				砕片	珪質頁岩	025	19.30	5.00	1.50	0.23	39.942	V
Vc		41	プレ第15地点	169				砕片	珪質頁岩	025	3.70	7.70	0.80	0.06	40.014	V
Vc		41	プレ第15地点	170				剥片	珪質頁岩	003	30.40	11.50	11.20	5.36	40.024	V
Vc		41	プレ第15地点	171		41-56	Vc-011	剥片	珪質頁岩	024	20.70	18.50	7.20	3.10	40.025	V
Vc		41	プレ第15地点	172		41-58	Vc-011	剥片	珪質頁岩	024	46.20	33.80	18.10	33.10	39.929	V
Vc		41	プレ第15地点	173				砕片	珪質頁岩	025	8.70	8.80	1.20	0.07	40.065	V
Vc		41	プレ第15地点	174				剥片	珪質頁岩	011	30.40	30.20	8.70	7.46	40.015	V
Vc		41	プレ第15地点	175				砕片	珪質頁岩	013	7.80	12.40	3.30	0.31	39.983	V
Vc		41	プレ第15地点	176			Vc-017	剥片	珪質頁岩	011	20.10	16.60	7.00	2.44	40.046	V
Vc		41	プレ第15地点	177		41-57	Vc-011	石核	珪質頁岩	024	41.90	53.20	42.70	89.62	40.021	V
Vc		41	プレ第15地点	178				微細剥離痕のある剥片	碧玉（黄玉）	001	42.40	26.20	7.90	5.80	40.060	V
Vc		41	プレ第15地点	179		41-61	Vc-011	剥片	珪質頁岩	024	49.40	37.80	12.90	33.95	39.936	V
Vc		41	プレ第15地点	180		41-47	Vc-010	剥片	珪質頁岩	003	48.30	33.70	10.90	14.58	40.056	V
Vc		41	プレ第15地点	181				剥片	珪質頁岩	011	21.10	17.20	8.30	1.52	40.010	V
Vc		41	プレ第15地点	182				砕片	珪質頁岩	025	5.60	7.80	1.60	0.11	40.020	V
Vc		41	プレ第15地点	183	2			微細剥離痕のある剥片	ガラス質黒色安山岩	002	23.80	15.20	8.10	2.21	40.018	V
Vc		41	プレ第15地点	183	1			微細剥離痕のある剥片	頁岩	003	17.60	12.70	4.70	0.80	40.018	V
Vc		41	プレ第15地点	184				砕片	珪質頁岩	025	8.50	19.10	1.40	0.25	40.044	V
Vc		41	プレ第15地点	185				砕片	珪質頁岩	025	10.70	9.40	1.70	0.19	40.006	V
Vc		41	プレ第15地点	186			Vc-016	剥片	珪質頁岩	019	37.30	33.30	6.90	11.40	49.020	V
Vc		41	プレ第15地点	187		41-71		石核	珪質頁岩	006	71.55	56.51	50.32	198.88	40.077	V
Vc		41	プレ第15地点	188		41-28	Vc-009	微細剥離痕のある剥片	碧玉（黄玉）	001	34.70	21.40	10.20	6.49	40.072	V
Vc		41	プレ第15地点	189		41-11		微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩	024	32.20	36.26	16.26	15.05	39.980	V
Vc		41	プレ第15地点	190				剥片	珪質頁岩	012	43.50	28.50	10.50	13.56	40.026	V
Vc		41	プレ第15地点	191				剥片	珪質頁岩	012	26.00	13.40	4.50	1.17	39.935	VI
Vc		41	プレ第15地点	192		41-42		礫器	砂岩	009	90.78	49.46	42.20	251.95	39.922	VI
Vc		41	プレ第15地点	193			Vc-015	剥片	珪質頁岩	021	30.10	5.30	3.80	3.46	39.955	V
Vc		41	プレ第15地点	194		41-18		二次加工のある剥片	珪質頁岩	004	64.46	51.41	14.50	46.09	39.948	VI
Vc		41	プレ第15地点	195		41-16		微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩	004	52.23	46.88	11.13	22.60	39.991	VI
Vc		41	プレ第15地点	196		41-36	Vc-007	石核	珪質頁岩	024	27.73	26.62	20.59	13.62	39.919	VI
Vc		41	プレ第15地点	197				剥片	珪質頁岩	023	24.50	20.20	5.30	1.93	39.990	VI
Vc		41	プレ第15地点	198		41-35	Vc-007	石核	珪質頁岩	024	28.27	33.67	17.36	15.70	39.997	VI
Vc		41	プレ第15地点	199				砕片	珪質頁岩	025	11.80	11.70	1.30	0.23	39.962	VI
Vc		41	プレ第15地点	200				砕片	珪質頁岩	017	3.10	5.00	2.40	0.07	39.996	VI
Vc		41	プレ第15地点	201				砕片	珪質頁岩	017	10.90	9.70	1.40	0.24	39.959	VI
Vc		41	プレ第15地点	202				砕片	珪質頁岩	011	9.10	4.20	2.00	0.12	39.975	VI
Vc		41	プレ第15地点	203				砕片	珪質頁岩	012	7.00	10.20	1.80	0.10	39.976	VI
Vc		41	プレ第15地点	204				剥片	ガラス質黒色安山岩	002	25.10	11.90	3.50	1.46	40.001	VI
Vc		41	プレ第15地点	205				砕片	ガラス質黒色安山岩	002	5.00	8.80	2.00	0.09	39.974	VI
Vc		41	プレ第15地点	206				剥片	珪質頁岩	012	27.70	33.80	3.80	3.27	39.930	VI
Vc		41	プレ第15地点	207				剥片	珪質頁岩	017	13.40	21.50	5.40	1.04	39.935	VI
Vc		41	プレ第15地点	208		41-64	Vc-005	剥片	珪質頁岩	009	35.47	50.58	12.03	15.74	39.938	VI
Vc		41	プレ第15地点	209	1			砕片	碧玉（黄玉）	001	7.80	6.50	1.60	0.05	39.919	VI
Vc		41	プレ第15地点	209	2			砕片	珪質頁岩	012	7.10	12.40	1.10	0.16	39.919	VI
Vc		41	プレ第15地点	210				剥片	珪質頁岩	011	24.20	21.70	8.70	1.66	39.957	VI
Vc		41	プレ第15地点	211				砕片	珪質頁岩	014	7.80	12.70	3.90	0.30	39.958	VI
Vc		41	プレ第15地点	212				砕片	珪質頁岩	014	13.20	16.00	3.30	0.49	39.946	VI
Vc		41	プレ第15地点	213				砕片	珪質頁岩	025	4.00	9.40	0.30	0.05	39.951	VI
Vc		41	プレ第15地点	214				砕片	碧玉（黄玉）	001	5.20	6.10	0.60	0.01	39.956	VI
Vc		41	プレ第15地点	215				砕片	碧玉（黄玉）	001	12.60	17.60	4.80	0.79	39.947	VI
Vc		41	プレ第15地点	216				砕片	珪質頁岩	025	8.30	11.50	2.50	0.29	39.963	VI
Vc		41	プレ第15地点	217				剥片	珪質頁岩	011	18.57	24.65	9.88	3.40	39.927	VI
Vc		41	プレ第15地点	218				微細剥離痕のある剥片	珪質頁岩	011	27.00	17.40	8.50	4.29	39.906	VI
Vc		41	プレ第15地点	219				砕片	珪質頁岩	004	15.10	8.40	2.00	0.33	39.897	VI
Vc		41	プレ第15地点	220		41-31	Vc-003	剥片	碧玉（黄玉）	001	43.38	23.13	9.06	6.19	39.895	VI
Vc		41	プレ第15地点	221				砕片	珪質頁岩	025	10.10	13.10	1.80	0.29	39.910	VI
Vc		41	プレ第15地点	222				砕片	珪質頁岩	017	5.30	10.90	9.00	0.20	39.908	VI
Vc		41	プレ第15地点	223				剥片	ガラス質黒色安山岩	002	13.70	9.30	4.10	0.55	39.960	VI
Vc		41	プレ第15地点	224		41-43	Vc-010	石核	珪質頁岩	003	65.92	57.53	35.71	129.60	39.922	VI
Vc		41	プレ第15地点	225				剥片	ガラス質黒色安山岩	002	20.30	10.10	5.50	1.17	39.885	VI
Vc		41	プレ第15地点	226		41-66	Vc-005	剥片	珪質頁岩	009	21.50	51.22	11.10	10.76	39.909	VI
Vc		41	プレ第15地点	227		41-69		石核	珪質頁岩	009	74.60	74.41	37.99	145.68	39.913	VI
Vc		41	プレ第15地点	228				剥片	珪質頁岩	017	14.80	12.60	9.70	1.83	39.895	VI
Vc		41	プレ第15地点	229				砕片	珪質頁岩	013	12.70	11.90	5.80	0.84	39.905	VI
Vc		41	プレ第15地点	230				剥片	珪質頁岩	012	28.40	21.90	5.60	3.16	39.893	VI
Vc		41	プレ第15地点	231				砕片	珪質頁岩	025	14.10	17.00	3.70	0.40	39.895	VI
Vc		41	プレ第15地点	232		41-77	Vc-008	剥片	頁岩	003	31.25	24.80	10.02	6.96	39.892	VI
Vc		41	プレ第15地点	233				剥片	碧玉（黄玉）	001	18.60	27.70	3.30	1.82	39.908	VI
Vc		41	プレ第15地点	234		41-85	Vc-008	剥片	頁岩	003	51.02	29.57	8.55	18.74	39.886	VII
Vc		41	プレ第15地点	235		41-62	Vc-005	剥片	珪質頁岩	009	35.64	35.69	14.45	12.39	39.869	VII
Vc		41	プレ第15地点	236				剥片	珪質頁岩	016	20.00	16.10	13.10	3.40	39.852	VII
Vc		41	プレ第15地点	237				剥片	ガラス質黒色安山岩	002	13.10	19.80	5.90	1.57	39.863	VII

第117表　第Ⅴ文化層石器属性表（4）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Vc		41	プレ第15地点	241				砕片	輝岡産珪質頁岩	025	11.00	7.50	0.90	0.08	39.843	Ⅶ
Vc		41	プレ第15地点	242				剥片	輝岡産珪質頁岩	016	51.70	22.00	18.50	14.78	39.835	Ⅶ
Vc		41	プレ第15地点	243				礫	流紋岩	008	25.10	20.70	16.30	11.00	39.875	Ⅶ
Vc		41	プレ第15地点	244			Vc-012	剥片	ホルンフェルス	002	28.20	8.20	4.90	1.37	39.871	Ⅶ
Vc		41	プレ第15地点	245				剥片	輝岡産珪質頁岩	011	22.10	27.30	14.30	9.65	39.830	Ⅶ
Vc		41	プレ第15地点	246		41-07		二次加工のある剥片	珪質頁岩	002	35.02	20.13	10.54	5.77	39.854	Ⅶ
Vc		41	プレ第15地点	247				剥片	輝岡産珪質頁岩	013	11.20	19.00	5.70	1.14	39.830	Ⅶ
Vc		41	プレ第15地点	248				礫	砂岩	006	14.20	13.10	6.80	1.73	39.829	Ⅶ
Vc		42	プレ第18地点	1		40-05	Vc-013	剥片	輝岡産珪質頁岩	004	13.80	26.50	13.50	4.95	39.995	Ⅴ
Vc		43	J22-40	1		43-09		剥片	輝岡産珪質頁岩	003	33.76	43.50	16.12	19.94	40.150	Ⅳ
Vc		43	J22-41	1		43-05		二次加工のある剥片	黒曜石	007	57.19	39.80	15.72	30.53	39.871	Ⅴ
Vc		43	J22-41	2		43-06		二次加工のある剥片	輝岡産珪質頁岩	011	32.67	33.24	6.61	4.68	40.027	Ⅴ
Vc		43	J22-41	3		43-03		二次加工のある剥片	黒曜石	007	25.86	17.43	8.34	2.36	39.995	Ⅴ
Vc		43	J22-41	4		43-07		二次加工のある剥片	黒曜石	008	25.40	22.50	10.30	4.93	39.896	Ⅴ
Vc		43	J22-41	5		43-08		二次加工のある剥片	輝岡産珪質頁岩	011	28.09	41.04	12.80	12.85	39.896	Ⅴ
Vc		43	J22-41	6		43-01		二次加工のある剥片	黒曜石	008	25.90	21.26	7.37	2.48	39.834	Ⅴ
Vc		43	J22-51	1		43-04		二次加工のある剥片	黒曜石	007	43.46	25.59	14.90	11.57	40.015	Ⅴ
Vc		43	J22-51	2		43-02		二次加工のある剥片	黒曜石	007	29.11	26.74	12.91	5.41	39.860	Ⅴ
Vd		44	プレ第10地点	1		44-05		剥片	オパール	001	43.50	11.40	6.80	2.75		Ⅴ上部
Vd		44	プレ第10地点	2		44-06		石核	輝岡産珪質頁岩	011	46.85	56.95	31.93	75.02	39.810	Ⅴ上部
Vd		44	プレ第10地点	3		44-08	Vd-002	石核	オパール	001	52.08	71.35	33.36	79.31	39.815	Ⅴ上部
Vd		44	プレ第10地点	4				剥片	砂岩	003	19.70	14.50	11.20	2.92	39.865	Ⅴ上部
Vd		44	プレ第10地点	5				剥片	砂岩	002	20.20	13.90	13.30	3.27	39.875	Ⅴ上部
Vd		44	プレ第10地点	6				剥片	輝岡産珪質頁岩	011	17.80	20.70	7.10	3.40	39.877	Ⅴ上部
Vd		44	プレ第10地点	7		44-07	Vd-002	剥片	オパール	001	43.60	37.12	23.93	15.54	39.804	Ⅴ上部
Vd		44	プレ第10地点	8	1			砕片	輝岡産珪質頁岩	002	12.70	14.70	4.80	4.03	39.750	Ⅴ中部
Vd		44	プレ第10地点	8	2			砕片	輝岡産珪質頁岩	002	15.30	16.90	5.00	1.96	39.750	Ⅴ中部
Vd		44	プレ第10地点	9				剥片	オパール	001	17.70	12.90	4.50	0.79	39.851	Ⅴ上部
Vd		44	プレ第10地点	10				剥片	オパール	001	23.30	30.20	8.20	4.58	39.907	Ⅴ上部
Vd		44	プレ第10地点	11				礫	流紋岩	002	70.50	41.20	37.00	167.60	39.850	Ⅴ上部
Vd		44	プレ第10地点	12		44-03		二次加工のある剥片	輝岡産珪質頁岩	002	26.31	21.94	6.45	2.62	39.827	Ⅴ上部
Vd		44	プレ第10地点	13		44-01		ナイフ形石器	オパール	001	38.10	19.80	7.70	5.02	39.860	Ⅴ上部
Vd		44	プレ第10地点	14				砕片	オパール	001	9.10	13.80	4.60	0.33	39.855	Ⅴ上部
Vd		44	プレ第10地点	15		44-04		剥片	チャート	002	41.70	34.07	9.36	15.33	39.943	Ⅴ上部
Vd		44	プレ第10地点	16	2	44-02		二次加工のある剥片	チャート	003	28.58	26.31	3.80	2.26	39.865	Ⅴ中部
Vd		44	プレ第10地点	16	1			剥片	オパール	001	29.20	20.20	6.10	3.15	39.865	Ⅴ中部
Vd		44	プレ第10地点	16	3			剥片	オパール	001	21.40	14.30	4.50	1.43	39.865	Ⅴ中部
Vd		44	プレ第10地点	17				剥片	オパール	001	11.70	13.20	1.50	0.34	39.890	Ⅴ上部
Vd		44	プレ第10地点	18				剥片	黒曜石	007	24.30	17.50	7.40	2.42	39.956	Ⅴ上部
Vd		45	プレ第09地点	1		45-02	Vd-001	二次加工のある剥片	黒曜石	002	28.90	17.33	7.97	4.20		Ⅴ上部
Vd		45	プレ第09地点	2				礫	砂岩	001	61.50	44.40	20.10	76.93	40.510	Ⅴ上部
Vd		45	プレ第09地点	3				礫	チャート	001	61.00	36.90	23.00	76.68	40.510	Ⅴ上部
Vd		45	プレ第09地点	4				礫	玉髄（メノウ含む）	001	93.20	59.00	36.40	248.01	40.520	Ⅴ上部
Vd		45	プレ第09地点	5				剥片	黒曜石	003	22.70	11.70	7.00	1.58	40.495	Ⅴ上部
Vd		45	プレ第09地点	6		45-05		石核	黒曜石	007	20.20	30.40	21.80	14.92	40.775	Ⅴ上部
Vd		45	プレ第09地点	7				剥片	黒曜石	004	13.10	15.60	6.70	1.73	40.350	Ⅴ上部
Vd		45	プレ第09地点	8				剥片	黒曜石	003	17.30	8.70	3.30	0.42	40.370	Ⅴ上部
Vd		45	プレ第09地点	9				剥片	黒曜石	003	13.20	11.70	8.90	1.23	40.375	Ⅴ上部
Vd		45	プレ第09地点	10				剥片	黒曜石	003	18.60	12.50	6.80	1.03	40.380	Ⅴ上部
Vd		45	プレ第09地点	11		45-01	Vb-001	二次加工のある剥片	黒曜石	002	28.20	11.70	11.50	3.48	40.375	Ⅴ上部
Vd		45	プレ第09地点	12				剥片	黒曜石	004	24.40	13.90	8.80	2.14	40.465	Ⅴ上部
Vd		45	プレ第09地点	13				剥片	黒曜石	003	8.70	20.20	3.40	0.49	40.390	Ⅴ上部
Vd		45	プレ第09地点	14		45-06		石核	黒曜石	007	23.31	36.39	13.05	10.27	40.465	Ⅴ上部
Vd		45	プレ第09地点	15		45-03		剥片	黒曜石	005	32.85	28.49	5.14	2.89	40.275	Ⅴ上部
Vd		45	プレ第09地点	16		45-04		石核	黒曜石	006	18.96	28.07	12.94	7.63	40.370	Ⅴ上部
Vd		46	プレ第08地点	1				礫	頁岩	002	35.60	17.20	7.60	5.57		Ⅸa上部
Ve		47	E29-33	1		47-01		微細剥離痕のある剥片	頁岩	001	29.10	37.80	7.50	9.12	39.720	Ⅲ
Ve		47	E29-33	2				礫	流紋岩	001	72.70	46.30	35.80	171.91	39.657	Ⅲ
Ve		47	E29-43	1		47-02		石核	珪質頁岩	001	34.67	42.38	11.92	14.82		Ⅲ

第118表　第Ⅵ文化層石器属性表

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅵ		48	プレ第07地点	1		48-01		剥片	輝岡産珪質頁岩	001	48.77	32.62	8.08	7.88		Ⅲ
Ⅵ		49	プレ第20地点	1		49-05	Ⅵ-001	敲石	ホルンフェルス	001	70.80	29.80	31.80	89.93	40.132	Ⅳ
Ⅵ		49	プレ第20地点	2		49-06	Ⅵ-001	敲石	ホルンフェルス	001	55.80	39.40	17.50	41.32	40.148	Ⅳ
Ⅵ		49	プレ第20地点	3				剥片	チャート	001	10.80	21.00	4.80	1.05	40.340	Ⅳ
Ⅵ		49	プレ第20地点	4				砕片	砂岩	001	14.20	6.40	3.30	0.32	40.303	Ⅲ
Ⅵ		49	プレ第20地点	5				礫	チャート	002	47.10	33.00	19.70	39.43	40.190	Ⅳ
Ⅵ		49	プレ第20地点	6				砕片	チャート	001	11.60	8.40	2.20	0.22	40.247	Ⅲ
Ⅵ		49	プレ第20地点	7		49-04	Ⅵ-002	剥片	輝岡産珪質頁岩	001	65.70	31.20	12.70	25.16	40.342	Ⅲ
Ⅵ		49	プレ第20地点	8				剥片	輝岡産珪質頁岩	001	24.00	17.20	8.40	2.76	40.408	Ⅲ
Ⅵ		49	プレ第20地点	9		49-02	Ⅵ-002	剥片	輝岡産珪質頁岩	001	59.40	30.20	9.50	22.25	40.330	Ⅲ
Ⅵ		49	プレ第20地点	10		49-01	Ⅵ-002	剥片	輝岡産珪質頁岩	001	32.50	17.00	12.50	5.60	40.368	Ⅲ
Ⅵ		49	プレ第20地点	11		49-03	Ⅵ-002	微細剥離痕のある剥片	輝岡産珪質頁岩	001	67.70	43.60	27.50	36.61	40.338	Ⅲ
Ⅵ		50	プレ第21地点	1		50-01		槍先形尖頭器	頁岩	001	26.10	17.80	6.20	2.73	40.848	Ⅲ

第119表　第Ⅶ文化層石器属性表（1）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量 (g)	標高 (m)	層位
Ⅶ		51	礫群	304			Ⅶ-029	礫片	砂岩		33.00	34.20	44.80	50.00	35.585	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	305			Ⅶ-040	礫片	流紋岩		26.30	27.80	15.50	18.40	35.555	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	306				礫	流紋岩		44.20	69.40	43.40	148.00	35.555	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	307				剥片	輝岡産珪質頁岩		36.80	29.80	17.50	13.19	35.535	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	308				礫片	砂岩		47.80	33.40	20.90	33.52	35.548	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	309	2			礫片	流紋岩		26.10	40.00	37.20	66.00	35.530	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	309	1		Ⅶ-038	礫片	流紋岩		45.70	61.80	47.30	174.00	35.530	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	310			Ⅶ-015	礫片	砂岩		44.10	42.10	22.20	42.00	35.542	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	311			Ⅶ-045	礫片	凝灰岩		44.20	70.10	24.50	65.00	35.556	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	312			Ⅶ-045	礫片	凝灰岩		27.40	60.80	18.40	44.00	35.555	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	313			Ⅶ-031	礫片	砂岩		30.50	28.30	24.80	25.00	35.550	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	314			Ⅶ-040	礫片	流紋岩		27.50	45.20	38.30	55.59	35.565	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	315			Ⅶ-031	礫片	砂岩		37.30	26.90	33.30	35.00	35.588	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	316			Ⅶ-070	礫片	ホルンフェルス		34.20	33.60	20.00	20.00	35.670	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	317				礫片	ホルンフェルス		20.30	38.00	13.70	11.59	35.560	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	318			Ⅶ-041	礫片	流紋岩		37.00	48.20	52.20	200.00	35.526	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	319			Ⅶ-031	礫片	砂岩		21.20	30.80	18.40	20.00	35.540	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	320		51-32	Ⅶ-008	剥片	輝岡産珪質頁岩	001	41.67	55.08	20.44	38.04	35.512	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	321		51-30	Ⅶ-008	剥片	輝岡産珪質頁岩	001	39.15	22.70	6.24	4.41	35.490	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	322				礫	流紋岩		65.30	79.60	30.00	215.00	35.510	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	323				礫片	流紋岩		39.70	44.50	43.60	91.77	35.520	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	324				礫片	流紋岩		24.40	32.00	13.20	12.19	35.518	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	325				礫	流紋岩		44.50	54.60	25.50	90.00	35.532	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	326				礫片	凝灰岩		10.70	18.50	5.50	1.23	35.554	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	327		51-35	Ⅶ-008	剥片	輝岡産珪質頁岩	001	27.14	34.39	27.98	15.52	35.710	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	329		51-27	Ⅶ-008	剥片	輝岡産珪質頁岩	001	39.26	34.02	19.42	20.59	35.426	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	330				礫片	流紋岩		18.30	42.20	30.00	30.00	35.530	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	331			Ⅶ-032	礫片	流紋岩		65.50	74.90	40.80	236.00	35.510	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	332			Ⅶ-035	礫片	流紋岩		38.00	43.80	25.70	70.00	35.500	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	333				剥片	輝岡産珪質頁岩		10.40	15.30	1.20	0.21	35.508	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	334			Ⅶ-035	礫片	流紋岩		25.80	28.30	9.80	15.00	35.556	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	335		51-36	Ⅶ-008	剥片	輝岡産珪質頁岩	001	34.51	34.82	23.73	20.79	35.485	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	336				剥片	輝岡産珪質頁岩		16.30	29.10	10.40	4.21	35.468	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	337			Ⅶ-039	礫片	ホルンフェルス		20.50	27.30	9.30	12.00	35.566	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	338				剥片	頁岩		15.10	19.00	2.40	0.71	35.520	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	339				礫片	砂岩		21.00	18.80	22.00	7.22	35.630	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	340	1			剥片	ガラス質黒色安山岩		12.90	22.50	4.10	1.34	35.472	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	340	2		Ⅶ-044	礫片	砂岩		21.30	39.50	29.20	21.82	35.472	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	341				剥片	輝岡産珪質頁岩		19.60	38.50	9.10	6.98	35.465	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	342			Ⅶ-025	礫片	凝灰岩		30.45	282.00	5.00	20.00	35.465	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	344			Ⅶ-044	礫片	砂岩		42.30	61.60	29.70	42.00	35.500	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	345				剥片	ホルンフェルス		39.40	75.20	30.10	85.08	35.508	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	346			Ⅶ-007	石核	輝岡産珪質頁岩	002	46.67	49.70	16.93	36.93	35.540	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	347		51-23	Ⅶ-112	剥片	ホルンフェルス	002	52.70	59.80	26.58	73.10	35.495	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	348			Ⅶ-036	礫片	流紋岩		15.40	27.40	11.70	16.00	35.582	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	349			Ⅶ-043	礫片	流紋岩		21.00	61.00	23.20	45.00	35.560	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	350			Ⅶ-030	礫片	流紋岩		36.40	34.60	37.20	30.00	35.625	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	351		51-28	Ⅶ-008	剥片	輝岡産珪質頁岩	001	49.68	38.90	18.29	31.99	35.580	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	352		51-29	Ⅶ-008	剥片	輝岡産珪質頁岩	001	42.25	35.95	15.58	24.08	35.554	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	353		51-12		石核	玉髄（メノウ含む）	001	22.08	28.22	19.19	11.24	35.525	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	354			Ⅶ-037	礫片	流紋岩		45.40	53.50	32.90	87.00	35.542	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	355			Ⅶ-067	礫片	砂岩		44.90	42.40	42.90	70.86	35.505	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	356			Ⅶ-037	礫片	流紋岩		37.50	53.20	25.90	70.00	35.554	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	357				礫	流紋岩		59.10	81.20	50.00	288.00	35.550	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	358				礫片	流紋岩		21.40	37.00	12.00	11.98	35.520	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	359			Ⅶ-068	礫片	ホルンフェルス		56.40	47.40	24.80	140.00	35.620	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	360			Ⅶ-033	礫片	砂岩		40.70	29.50	32.20	80.00	35.552	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	361				礫	流紋岩		55.50	52.90	33.10	150.00	35.525	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	362			Ⅶ-042	礫片	流紋岩		27.00	34.80	12.20	20.00	35.510	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	363				礫片	ホルンフェルス		15.40	12.00	9.80	2.49	35.558	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	364			Ⅶ-042	礫片	流紋岩		28.80	38.50	22.20	32.00	35.474	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	365			Ⅶ-043	礫片	流紋岩		46.80	43.00	25.30	48.00	35.544	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	366				礫	ホルンフェルス		40.00	55.60	22.90	66.70	35.518	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	367				礫	砂岩		51.80	46.60	31.60	111.00	35.550	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	368				礫	流紋岩		36.00	66.30	35.40	87.06	35.514	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	369				礫片	砂岩		44.60	47.20	47.50	118.00	35.534	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	370				礫片	ホルンフェルス		18.50	21.00	13.70	5.65	35.570	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	371			Ⅶ-028	礫片	砂岩		28.40	51.50	31.50	55.00	35.570	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	372				礫	流紋岩		48.70	81.00	36.10	166.00	35.540	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	373			Ⅶ-029	礫片	砂岩		23.50	48.20	25.60	50.00	35.560	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	374			Ⅶ-070	礫片	ホルンフェルス		21.60	27.50	20.00	20.00	35.495	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	376			Ⅶ-019	礫片	ホルンフェルス		26.00	19.60	23.00	25.00	35.540	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	377				礫片	ホルンフェルス		27.00	28.70	15.00	12.18	35.560	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	378				礫片	流紋岩		63.80	80.80	39.20	268.00	35.550	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	379			Ⅶ-070	礫片	ホルンフェルス		29.80	30.90	18.00	30.00	35.610	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	380	1			礫片	ホルンフェルス		22.10	33.20	20.20	15.94	35.545	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	380	2		Ⅶ-069	礫片	砂岩		53.20	42.80	47.00	180.00	35.545	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	381	2			礫片	流紋岩		44.40	44.20	39.20	110.00	35.560	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	381	1		Ⅶ-069	礫片	砂岩		65.80	90.70	23.70	210.00	35.560	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	382			Ⅶ-069	礫片	砂岩		310.00	46.80	37.60	120.00	35.546	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	383				剥片	ホルンフェルス		35.20	28.50	6.30	8.21	35.518	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	384			Ⅶ-033	礫片	砂岩		43.30	48.40	27.20	90.00	35.505	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	385			Ⅶ-036	礫片	流紋岩		21.40	32.80	20.30	16.00	35.560	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	386			Ⅶ-018	礫片	流紋岩		88.30	56.10	53.70	297.00	35.546	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	387				礫片	砂岩		54.50	56.70	57.00	201.00	35.490	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	388				礫片	砂岩		22.00	34.60	21.00	16.58	35.465	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	389			Ⅶ-036	礫片	流紋岩		30.00	40.00	19.40	24.00	35.465	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	390			Ⅶ-035	礫片	流紋岩		29.63	27.80	25.74	25.00	35.485	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	391				礫片	凝灰岩		16.40	24.40	12.00	4.71	35.560	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	392	2			剥片	ホルンフェルス		29.80	57.20	12.30	20.06	35.510	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	392	1			剥片	ホルンフェルス		31.00	55.80	15.80	25.30	35.510	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	393		51-25	Ⅶ-112	二次加工のある剥片	ホルンフェルス	002	45.47	76.57	22.39	82.77	35.510	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	395			Ⅶ-019	礫片	ホルンフェルス		24.80	19.40	12.30	17.00	35.600	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	396			Ⅶ-034	礫片	流紋岩		42.20	41.60	23.80	44.00	35.520	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	397				剥片	ホルンフェルス		53.60	49.80	20.10	50.57	35.500	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	398			Ⅶ-039	礫片	ホルンフェルス		48.20	54.50	7.80	44.00	35.450	Ⅲ

第120表　第Ⅶ文化層石器属性表（2）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅶ		51	礫群	399			Ⅶ-039	礫片	ホルンフェルス		43.90	52.60	19.00	52.00	35.455	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	400		51-24	Ⅶ-112	剥片	ホルンフェルス	002	25.78	47.98	15.01	14.67	35.435	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	401				剥片	嶺岡産珪質頁岩		36.50	25.10	10.00	8.94	35.430	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	402			Ⅶ-039	礫片	ホルンフェルス		46.50	50.30	19.50	48.00	35.425	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	403		51-31	Ⅶ-008	剥片	嶺岡産珪質頁岩	001	32.13	22.39	5.59	3.10	35.520	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	404		51-13		石核	流紋岩	001	86.00	53.50	34.50	227.00	35.528	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	406				剥片	嶺岡産珪質頁岩		18.20	21.60	9.40	5.49	35.455	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	407				剥片	玉髄（メノウ含む）		18.90	7.50	3.60	0.48	35.500	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	408				礫片	流紋岩		14.80	15.40	6.20	2.66	35.715	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	409				剥片	流紋岩		27.90	12.70	6.50	2.59	35.675	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	410				剥片	凝灰岩		23.00	12.80	6.00	1.29	35.640	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	411			Ⅶ-075	礫片	流紋岩		26.00	26.00	15.00	15.89	35.522	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	412	1			礫片	トロトロ石（安山岩）		46.80	61.50	37.30	109.00	35.530	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	412	2			礫片	ホルンフェルス		7.20	18.80	8.40	0.93	35.530	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	413				礫片	ホルンフェルス		39.00	41.20	15.60	26.40	35.508	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	414			Ⅶ-075	礫片	流紋岩		36.50	31.30	18.30	25.00	35.505	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	415				礫片	ホルンフェルス		20.00	57.60	27.20	63.88	35.528	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	416			Ⅶ-041	礫片	流紋岩		34.60	49.30	48.90	168.00	35.540	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	417	2		Ⅶ-074	礫片	流紋岩		30.70	37.10	57.00	60.00	35.535	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	417	1			礫	チャート		46.50	62.90	22.90	91.85	35.535	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	419		51-08		石核	ガラス質黒色安山岩	001	54.47	74.96	26.08	103.50	35.528	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	420				礫片	流紋岩		16.00	18.80	11.20	3.17	35.520	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	421				礫片	流紋岩		15.10	21.50	24.20	6.97	35.536	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	422			Ⅶ-048	礫片	砂岩		23.30	37.10	20.40	18.05	35.525	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	423				礫片	凝灰岩		22.10	22.60	12.80	7.05	35.540	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	424				礫片	砂岩		21.10	26.20	9.70	3.93	35.610	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	425				礫片	流紋岩		22.80	19.50	17.30	6.34	35.620	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	426				礫	チャート		49.50	56.50	25.00	95.71	35.500	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	427			Ⅶ-072	礫片	砂岩		36.90	50.00	27.40	80.00	35.515	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	428			Ⅶ-034	礫片	流紋岩		61.60	48.10	39.10	160.00	35.530	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	429				礫片	流紋岩		46.10	46.00	48.40	91.70	35.590	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	430				礫片	流紋岩		54.30	65.50	44.80	198.00	35.586	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	431			Ⅶ-079	礫片	砂岩		29.20	28.50	5.80	12.00	35.650	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	432				礫	チャート		44.50	52.50	39.70	126.00	35.525	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	433			Ⅶ-027	礫片	ホルンフェルス		26.00	19.20	20.00	20.00	35.534	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	434			Ⅶ-073	礫片	流紋岩		29.80	25.20	21.80	25.00	35.610	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	435			Ⅶ-027	礫片	ホルンフェルス		82.40	30.10	36.70	230.00	35.536	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	436			Ⅶ-079	礫片	砂岩		88.50	46.90	41.90	197.00	35.540	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	437				剥片	嶺岡産珪質頁岩		26.00	21.40	4.50	1.94	35.512	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	438			Ⅶ-073	礫片	流紋岩		18.70	35.60	34.50	35.00	35.600	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	439				礫片	砂岩		15.80	40.30	19.30	16.70	35.560	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	440			Ⅶ-036	礫片	流紋岩		46.30	40.50	38.50	80.00	35.560	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	441				礫	ホルンフェルス		51.50	78.30	34.80	146.00	35.540	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	442	1			剥片	ホルンフェルス		33.40	44.20	16.10	23.60	35.558	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	442	2			礫片	ホルンフェルス		11.60	19.40	11.80	2.45	35.558	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	443				礫	流紋岩		40.80	55.10	22.10	66.07	35.540	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	444				礫片	ホルンフェルス		36.00	63.00	28.70	61.29	35.534	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	445				礫	ホルンフェルス		35.50	60.60	31.40	98.90	35.495	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	446				礫片	砂岩		35.50	34.40	34.20	34.59	35.500	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	447				礫片	流紋岩		45.00	36.40	34.50	72.85	35.510	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	448				礫片	流紋岩		11.80	19.50	6.40	1.29	35.586	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	449	1			剥片	ホルンフェルス		18.50	16.50	5.70	2.43	35.516	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	449	2		Ⅶ-077	礫片	流紋岩		38.60	48.50	19.50	50.00	35.516	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	450			Ⅶ-075	礫片	流紋岩		40.70	42.20	18.12	45.00	35.520	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	451			Ⅶ-070	礫片	ホルンフェルス		37.10	53.10	31.30	45.00	35.496	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	452				剥片	ホルンフェルス		26.30	22.80	12.70	10.38	35.500	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	453			Ⅶ-032	礫片	流紋岩		49.70	38.20	40.00	70.00	35.528	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	454			Ⅶ-070	礫片	ホルンフェルス		31.70	47.00	26.50	45.00	35.520	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	455				礫	チャート		42.00	55.10	28.40	80.40	35.525	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	456				礫	チャート		38.10	41.70	18.80	40.40	35.525	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	457			Ⅶ-062	礫片	流紋岩		20.10	20.00	19.90	9.00	35.430	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	458	1		Ⅶ-016	礫片	砂岩		44.70	36.80	25.00	31.00	35.508	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	458	2			礫片	砂岩		11.00	21.10	9.90	1.64	35.508	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	459	1		Ⅶ-020	礫片	砂岩		51.60	17.00	19.60	20.00	35.522	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	459	2			礫	流紋岩		48.40	47.00	33.40	99.37	35.522	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	460			Ⅶ-056	礫片	砂岩		56.20	58.20	21.50	96.00	35.535	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	462		51-22	Ⅶ-112	剥片	ホルンフェルス	002	34.88	37.13	14.45	18.09	35.516	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	463		51-15	Ⅶ-113	剥片	頁岩	001	43.06	39.65	6.81	11.00	35.510	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	464				礫	チャート		54.20	70.20	48.60	229.00	35.506	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	465				礫片	砂岩		13.10	16.50	11.70	2.25	35.689	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	466			Ⅶ-032	礫片	流紋岩		31.10	35.50	9.60	18.00	35.550	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	467				剥片	ホルンフェルス		25.10	39.20	7.00	7.39	35.550	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	468				礫片	砂岩		19.10	29.20	18.00	6.95	35.480	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	469				剥片	嶺岡産珪質頁岩		32.50	34.00	17.50	13.10	35.485	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	470				剥片	ホルンフェルス		30.60	38.50	12.80	14.36	35.521	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	471				礫片	凝灰岩		13.00	20.60	13.00	3.30	35.618	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	472			Ⅶ-071	礫片	砂岩		48.20	79.10	29.10	180.00	35.510	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	473				礫片	ホルンフェルス		24.20	25.00	9.60	4.76	35.554	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	474				礫片	流紋岩		14.60	18.00	14.70	3.85	35.558	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	475				礫片	流紋岩		10.30	19.20	11.10	2.36	35.440	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	476			Ⅶ-059	礫片	流紋岩		19.00	48.00	31.50	22.00	35.486	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	477				礫片	流紋岩		22.00	21.00	8.80	4.12	35.520	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	478			Ⅶ-022	礫片	砂岩		25.30	18.80	24.00	15.00	35.497	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	479			Ⅶ-020	礫片	砂岩		47.80	47.80	23.90	40.00	35.510	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	480			Ⅶ-078	礫片	流紋岩		22.60	35.00	22.90	36.00	35.546	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	481			Ⅶ-020	礫片	砂岩		90.00	80.10	41.50	382.00	35.500	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	482			Ⅶ-022	礫片	砂岩		91.70	43.60	28.10	183.00	35.500	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	483			Ⅶ-030	礫片	流紋岩		57.90	84.80	14.80	250.00	35.514	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	484			Ⅶ-078	礫片	流紋岩		44.50	47.10	23.00	50.13	35.508	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	485				礫	チャート		51.20	61.00	31.70	131.00	35.518	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	486			Ⅶ-070	礫片	ホルンフェルス		20.00	52.00	38.50	45.00	35.506	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	487			Ⅶ-004	剥片	ホルンフェルス		16.30	12.10	4.60	0.62	35.618	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	488			Ⅶ-004	剥片	ホルンフェルス		25.60	30.00	7.90	7.00	35.535	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	489			Ⅶ-076	礫片	流紋岩		11.60	27.70	6.50	17.00	35.470	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	490			Ⅶ-070	礫片	ホルンフェルス		26.90	27.50	29.50	20.00	35.575	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	492				礫	砂岩		109.80	54.30	53.00	409.00	35.505	Ⅲ

第121表　第Ⅶ文化層石器属性表（3）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅶ		51	礫群	493				礫片	砂岩		25.50	40.00	20.90	17.99	35.490	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	494				礫	流紋岩		74.80	86.50	39.80	300.00	35.490	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	495				礫片	流紋岩		32.50	38.80	15.70	16.42	35.526	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	496				礫片	砂岩		29.50	39.70	12.10	16.96	35.610	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	497				礫片	ホルンフェルス		10.50	25.80	30.90	9.50	35.635	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	498				礫片	砂岩		28.10	25.40	26.00	14.78	35.495	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	499			Ⅶ-062	礫片	流紋岩		19.60	14.00	18.00	7.00	35.500	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	500			Ⅶ-031	礫片	砂岩		69.60	56.40	44.70	269.00	35.495	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	502				礫片	砂岩		54.50	78.30	35.20	152.00	35.495	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	503			Ⅶ-070	礫片	ホルンフェルス		16.00	43.90	12.20	30.00	35.526	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	504			Ⅶ-020	礫片	砂岩		83.30	58.50	15.00	120.00	35.500	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	505				礫片	流紋岩		61.70	67.00	33.00	143.00	35.506	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	506				礫	砂岩		41.50	64.10	47.00	1.42	35.502	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	507				礫片	流紋岩		22.40	43.50	26.50	32.90	35.496	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	508				剥片	ガラス質黒色安山岩		23.50	17.20	4.90	1.60	35.618	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	509				礫片	砂岩		27.80	39.80	12.70	15.66	35.500	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	510				礫片	流紋岩		51.50	88.70	32.10	199.00	35.504	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	511			Ⅶ-070	礫片	ホルンフェルス		15.50	38.40	30.00	23.00	35.474	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	512			Ⅶ-080	礫片	流紋岩		51.70	62.50	32.00	119.00	35.510	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	513			Ⅶ-080	礫片	流紋岩		62.30	61.80	45.80	170.00	35.490	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	514				礫片	ホルンフェルス		39.10	45.20	22.30	40.15	35.485	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	515				礫片	流紋岩		65.20	109.40	45.10	334.00	35.490	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	516				砕片	凝灰岩		10.30	8.00	4.20	0.27	35.480	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	517				礫片	砂岩		16.00	19.40	7.10	2.34	35.595	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	518			Ⅶ-061	礫片	流紋岩		34.20	28.80	22.50	35.00	35.455	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	519				礫片	砂岩		13.00	23.50	9.00	2.57	35.430	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	520	2			礫片	チャート		47.70	73.80	34.00	186.00	35.486	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	521			Ⅶ-017	礫片	流紋岩		21.90	21.90	20.70	15.00	35.486	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	522			Ⅶ-070	礫片	ホルンフェルス		22.50	30.80	30.00	23.00	35.525	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	523			Ⅶ-071	礫片	砂岩		33.60	107.10	42.50	220.00	35.494	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	524				礫	砂岩		38.20	78.80	26.80	112.00	35.540	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	525			Ⅶ-025	礫片	凝灰岩		41.00	27.00	29.30	44.00	35.580	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	527			Ⅶ-029	礫片	砂岩		16.00	21.10	11.60	20.00	35.610	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	528		51-02		二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	004	25.42	23.48	6.27	2.94	35.500	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	529			Ⅶ-007	剥片	嶺岡産珪質頁岩	002	9.26	31.95	13.37	8.37	35.535	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	530			Ⅶ-025	礫片	凝灰岩		41.80	17.00	8.60	6.83	35.490	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	531				剥片	ホルンフェルス		25.50	18.30	5.90	2.97	35.480	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	532			Ⅶ-025	礫片	凝灰岩		43.10	11.20	6.10	2.72	35.500	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	533			Ⅶ-007	剥片	嶺岡産珪質頁岩	002	45.32	24.68	13.25	12.11	35.470	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	534			Ⅶ-070	礫片	ホルンフェルス		17.20	24.40	30.00	23.00	35.476	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	535			Ⅶ-062	礫片	流紋岩		34.10	47.90	39.10	25.00	35.556	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	536			Ⅶ-007	剥片	嶺岡産珪質頁岩	002	53.67	31.11	13.02	30.50	35.560	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	537			Ⅶ-029	礫片	砂岩		17.70	42.50	8.80	30.00	35.595	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	538				礫片	流紋岩		37.00	51.30	19.20	41.10	35.512	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	539			Ⅶ-027	礫片	ホルンフェルス		31.70	31.50	26.90	32.00	35.438	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	540			Ⅶ-027	礫片	ホルンフェルス		37.90	40.70	18.30	70.00	35.490	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	541			Ⅶ-099	礫片	流紋岩		26.00	25.50	26.00	20.00	35.480	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	542			Ⅶ-099	礫片	流紋岩		33.40	40.50	28.70	30.00	35.475	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	543				礫片	砂岩		52.90	78.00	28.50	148.00	35.470	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	544			Ⅶ-082	礫片	砂岩		29.90	28.70	8.30	8.03	35.550	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	545				礫片	流紋岩		20.00	26.90	7.60	4.15	35.535	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	546				礫片	流紋岩		46.00	74.90	28.40	105.00	35.424	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	547			Ⅶ-082	礫片	砂岩		40.60	35.10	11.80	19.00	35.502	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	548				礫片	砂岩		15.60	22.00	7.90	2.78	35.505	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	549			Ⅶ-068	礫片	ホルンフェルス		21.60	71.00	21.00	50.00	35.455	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	550				礫片	流紋岩		48.80	75.50	28.00	125.00	35.468	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	551				礫	凝灰岩		42.70	50.90	27.00	79.35	35.500	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	552				礫片	砂岩		15.50	35.10	16.30	5.52	35.540	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	554		51-10		石核	ガラス質黒色安山岩	003	34.65	34.79	25.44	39.07	35.475	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	555				礫片	砂岩		22.10	48.50	35.70	49.41	35.475	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	556			Ⅶ-070	礫片	ホルンフェルス		34.90	28.80	37.70	35.00	35.486	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	557			Ⅶ-081	礫片	砂岩		27.80	42.80	29.00	40.00	35.495	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	558	1		Ⅶ-070	礫片	ホルンフェルス		25.30	24.10	25.00	20.00	35.488	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	558	2			礫片	流紋岩		15.30	19.00	24.30	6.81	35.488	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	559	2		Ⅶ-070	礫片	ホルンフェルス		18.20	24.00	20.00	30.00	35.460	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	560	1			礫片	砂岩		24.30	23.80	10.10	5.57	35.405	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	560	2			礫片	砂岩		10.90	11.00	6.80	0.78	35.405	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	561			Ⅶ-062	礫片	流紋岩		23.80	42.80	10.00	23.00	35.435	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	562			Ⅶ-081	礫片	砂岩		27.90	39.80	25.00	20.84	35.445	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	563			Ⅶ-068	礫片	ホルンフェルス		52.30	56.70	22.60	46.00	35.486	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	564			Ⅶ-033	礫片	砂岩		33.30	34.80	2.60	19.00	35.435	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	565			Ⅶ-033	礫片	砂岩		34.20	39.00	32.30	50.00	35.440	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	566				礫片	ホルンフェルス		32.20	37.20	11.80	15.69	35.430	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	567				礫片	砂岩		23.60	26.00	15.30	8.40	35.440	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	572				礫片	流紋岩		18.10	20.60	30.30	11.25	35.489	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	660				礫片	砂岩		14.40	14.30	5.20	1.90	35.380	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	661				礫片	砂岩		13.70	24.32	6.80	2.16	35.427	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	662			Ⅶ-007	剥片	嶺岡産珪質頁岩	002	47.05	36.94	12.20	12.11	35.458	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	663				礫片	ホルンフェルス		39.20	76.50	31.00	1.24	35.482	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	664		51-01		ナイフ形石器	珪質頁岩	002	29.62	15.72	7.58	2.86	35.493	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	665				礫片	流紋岩		41.70	56.40	25.20	84.63	35.494	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	667		51-11		石核	ガラス質黒色安山岩	002	34.84	44.78	22.61	38.04	35.490	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	668			Ⅶ-042	礫片	流紋岩		39.00	49.60	41.40	70.00	35.477	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	669			Ⅶ-043	礫片	流紋岩		21.80	42.50	24.40	35.00	35.485	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	670				礫片	流紋岩		15.00	16.40	6.80	2.13	35.430	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	671	1			礫片	流紋岩		28.30	53.90	30.10	52.00	35.445	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	671	2			礫片	流紋岩		11.20	17.50	19.10	4.83	35.445	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	672				礫	チャート		47.00	62.40	31.00	123.00	35.456	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	673		51-09		石核	嶺岡産珪質頁岩	003	16.43	53.79	31.26	15.16	35.478	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	674				礫	流紋岩		38.70	87.80	33.90	130.00	35.533	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	675			Ⅶ-074	礫片	流紋岩		51.80	42.60	31.70	78.00	35.535	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	676				礫片	凝灰岩		9.70	13.70	16.10	1.53	35.457	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	677			Ⅶ-029	礫片	砂岩		27.50	47.50	22.50	70.00	35.536	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	678			Ⅶ-019	礫片	ホルンフェルス		44.80	33.70	24.00	65.00	35.496	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	679			Ⅶ-019	礫片	ホルンフェルス		24.00	19.30	16.30	18.00	35.513	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	680			Ⅶ-019	礫片	ホルンフェルス		25.10	22.10	17.00	20.00	35.504	Ⅲ

第122表　第Ⅶ文化層石器属性表（4）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅶ		51	礫群	681			Ⅶ-069	礫片	砂岩		34.50	110.60	48.50	184.00	35.486	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	682			Ⅶ-060	礫片	流紋岩		27.80	48.50	22.00	51.00	35.470	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	684			Ⅶ-036	礫片	流紋岩		40.00	33.50	16.70	30.00	35.503	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	685			Ⅶ-085	礫片	流紋岩		69.50	58.30	33.50	120.00	35.499	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	686			Ⅶ-085	礫片	流紋岩		56.50	75.00	37.80	135.00	35.497	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	687				礫片	流紋岩		78.10	43.20	35.50	143.00	35.484	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	688	2			礫片	流紋岩		33.40	30.70	11.20	9.84	35.467	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	688	1		Ⅶ-036	礫片	流紋岩		32.80	36.70	9.50	20.00	35.467	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	690			Ⅶ-028	礫片	砂岩		48.60	43.20	30.00	75.00	35.500	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	692				礫片	流紋岩		59.50	48.50	37.50	159.00	35.490	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	693				礫片	ホルンフェルス		37.50	63.60	32.70	120.00	35.465	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	694			Ⅶ-020	礫片	砂岩		57.60	42.50	30.60	70.00	35.460	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	695				礫片	砂岩		17.30	27.20	15.90	8.84	35.494	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	696				礫片	流紋岩		12.30	21.20	4.10	1.01	35.436	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	697				礫片	凝灰岩		25.30	46.50	17.60	23.55	35.462	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	698				礫片	砂岩		36.80	37.40	18.70	30.56	35.488	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	699			Ⅶ-015	礫片	砂岩		35.90	28.80	31.10	42.00	35.455	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	700				砕片	凝灰岩		17.70	12.50	3.40	0.59	35.561	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	701				礫片	砂岩		12.70	20.20	8.60	1.88	35.545	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	702	2	51-19	Ⅶ-010	石核	ホルンフェルス	001	45.62	86.38	42.58	183.76	35.500	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	702	4	51-16	Ⅶ-113	石核	頁岩	001	55.08	77.43	34.98	160.00	35.500	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	702	3			剥片	ホルンフェルス		65.80	33.30	15.50	46.43	35.500	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	702	1			剥片	黒曜岩産珪質頁岩		25.50	44.90	17.50	10.04	35.500	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	703				礫片	チャート		49.80	69.70	38.70	138.00	35.489	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	704				礫片	砂岩		23.80	23.60	12.30	4.82	35.653	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	705		51-34	Ⅶ-008	剥片	黒曜岩産珪質頁岩	001	27.27	23.66	10.67	6.21	35.517	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	706				礫	流紋岩		21.10	32.00	11.00	10.01	35.594	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	707				剥片	ホルンフェルス		54.60	69.00	12.20	49.92	35.481	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	708		51-14		敲石	砂岩	001	93.29	50.31	48.47	310.00	35.477	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	709				砕片	ホルンフェルス		14.80	18.50	2.90	0.99	35.460	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	711				剥片	ホルンフェルス		35.80	34.20	10.60	12.18	35.517	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	712				礫片	砂岩		18.80	28.70	19.40	7.46	35.508	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	713			Ⅶ-071	礫片	砂岩		28.60	70.70	37.40	49.00	35.465	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	714				礫片	ホルンフェルス		27.20	47.30	26.50	47.87	35.485	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	715				礫片	砂岩		9.70	18.30	3.50	0.81	35.424	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	716				剥片	玉髄（メノウ含む）		30.60	17.90	3.40	2.50	35.578	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	717				剥片	ホルンフェルス		13.50	20.10	2.80	0.95	35.428	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	718	2			礫片	流紋岩		27.20	24.20	7.80	5.00	35.465	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	718	1		Ⅶ-089	礫片	流紋岩		27.50	83.40	34.70	92.00	35.465	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	719				礫片	砂岩		44.00	50.00	19.30	55.14	35.462	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	720	2			剥片	ホルンフェルス		17.50	17.70	3.10	1.11	35.475	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	720	1			剥片	ホルンフェルス		50.30	37.40	8.80	19.19	35.475	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	721				礫片	流紋岩		37.80	82.30	27.60	122.00	35.471	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	722				礫片	ホルンフェルス		41.00	54.70	33.60	94.26	35.470	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	723			Ⅶ-068	礫片	ホルンフェルス		56.00	63.90	27.10	160.00	35.458	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	724			Ⅶ-089	礫片	流紋岩		22.50	84.70	33.00	70.00	35.466	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	725				砕片	チャート		17.10	9.50	2.50	0.40	35.398	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	726				礫片	砂岩		13.80	21.50	10.20	2.23	35.417	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	727			Ⅶ-070	礫片	ホルンフェルス		54.90	54.60	30.00	55.00	35.436	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	728				礫	流紋岩		53.30	66.70	44.20	161.00	35.420	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	729				礫片	ホルンフェルス		59.00	75.90	31.40	152.00	35.454	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	730				礫片	砂岩		34.50	32.60	14.70	26.29	35.441	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	731			Ⅶ-013	礫片	流紋岩		64.20	26.30	46.80	107.00	35.475	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	732		51-26	Ⅶ-112	二次加工のある剥片	ホルンフェルス	002	41.83	72.79	21.11	53.35	35.470	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	733		51-17	Ⅶ-010	剥片	ホルンフェルス	001	68.14	30.91	8.48	20.24	35.471	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	734				砕片	黒曜岩産珪質頁岩		17.20	12.20	5.30	1.08	35.415	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	735			Ⅶ-023	剥片	ホルンフェルス		35.90	27.20	7.20	7.75	35.415	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	736			Ⅶ-017	礫片	流紋岩		33.60	29.30	22.40	30.00	35.326	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	737				剥片	黒曜岩産珪質頁岩		20.70	29.10	3.40	2.24	35.359	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	738				剥片	ガラス質黒色安山岩		21.40	22.80	11.80	7.09	35.287	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	739				剥片	黒曜岩産珪質頁岩		21.10	24.20	4.30	2.04	35.272	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	740	1			礫片	砂岩		17.10	35.90	13.40	8.01	35.421	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	741	2		Ⅶ-029	礫片	砂岩		53.10	43.20	30.60	80.00	35.455	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	742				礫片	砂岩		58.00	81.50	44.80	164.00	35.456	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	743				礫片	砂岩		81.30	86.80	30.50	185.00	35.455	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	744			Ⅶ-080	礫片	流紋岩		57.50	65.50	22.00	80.00	35.455	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	745				礫片	凝灰岩		28.50	33.20	21.80	22.33	35.420	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	746			Ⅶ-070	礫片	ホルンフェルス		18.70	18.50	11.20	15.00	35.460	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	747	3		Ⅶ-076	礫片	流紋岩		87.40	106.10	33.50	200.00	35.455	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	747	1		Ⅶ-038	礫片	流紋岩		21.00	45.60	32.60	50.00	35.455	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	747	2			礫片	砂岩		24.00	33.50	14.80	11.47	35.455	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	748			Ⅶ-031	礫片	砂岩		43.70	71.30	53.50	200.00	35.470	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	749				礫片	砂岩		15.50	24.90	9.50	2.88	35.361	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	750		51-05		剥片	ホルンフェルス	003	88.48	32.24	16.87	39.08	35.438	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	751		51-04		剥片	頁岩	002	66.16	28.49	15.92	25.46	35.454	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	752		51-07		微細剥離痕のある剥片	頁岩	003	70.40	32.59	10.18	19.29	35.385	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	753			Ⅶ-090	礫片	凝灰岩		41.00	24.90	22.00	45.00	35.394	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	754				礫片	流紋岩		26.80	48.50	20.00	31.85	35.371	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	755	2		Ⅶ-035	礫片	流紋岩		45.40	37.50	22.80	65.00	35.449	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	756			Ⅶ-062	礫片	流紋岩		16.10	40.70	20.20	18.00	35.522	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	757				礫片	流紋岩		23.60	26.70	12.70	7.48	35.404	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	758				礫片	流紋岩		32.90	37.40	20.30	20.28	35.435	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	759	2		Ⅶ-070	礫片	ホルンフェルス		32.60	54.40	26.80	40.00	35.412	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	759	1		Ⅶ-091	礫片	砂岩		70.30	86.50	88.50	245.00	35.412	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	760		51-33	Ⅶ-008	剥片	黒曜岩産珪質頁岩	001	30.61	21.13	17.14	9.26	35.483	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	761				礫片	砂岩		15.50	21.50	15.20	2.99	35.480	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	762			Ⅶ-015	礫片	砂岩		40.30	29.40	25.30	42.00	35.388	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	763			Ⅶ-017	礫片	流紋岩		50.30	23.20	29.80	34.00	35.431	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	764				礫片	流紋岩		16.90	32.20	15.30	7.42	35.497	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	765			Ⅶ-069	礫片	砂岩		27.80	48.60	27.40	35.00	35.445	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	766				礫片	砂岩		28.30	67.80	21.50	49.84	35.430	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	767				礫片	砂岩		41.40	17.70	23.60	42.00	35.495	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	768				礫片	砂岩		21.70	26.20	8.90	6.28	35.507	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	769				礫片	砂岩		35.70	14.60	11.00	6.59	35.565	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	771			Ⅶ-015	礫片	砂岩		39.70	24.10	12.00	43.00	35.395	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	772				礫片	砂岩		24.30	18.00	9.10	4.25	35.405	Ⅲ

第123表　第Ⅶ文化層石器属性表（5）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅶ		51	礫群	774				礫片	流紋岩		13.40	25.10	10.70	4.81	35.406	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	775				礫片	砂岩		18.80	27.50	18.50	6.32	35.538	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	776				礫片	流紋岩		13.60	19.50	13.60	2.48	35.408	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	777				礫	流紋岩		37.40	56.00	15.60	40.72	35.554	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	778				礫片	流紋岩		39.20	54.20	23.70	50.74	35.551	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	779	1	51-06		二次加工のある剥片	珪質頁岩	001	31.72	20.34	12.92	5.90	35.441	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	779	2			礫片	砂岩		26.50	47.90	20.60	25.29	35.441	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	780				剥片	ガラス質黒色安山岩		27.00	35.70	11.10	5.33	35.567	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	781	1		Ⅶ-070	礫片	ホルンフェルス		15.40	20.40	20.00	10.00	35.592	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	781	2			礫片	砂岩		9.20	21.20	10.30	1.82	35.592	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	782				礫片	砂岩		76.20	43.60	17.50	20.01	35.485	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	783			Ⅶ-083	礫片	流紋岩		22.00	42.20	25.70	21.72	35.394	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	784				礫片	ホルンフェルス		11.80	14.00	9.10	1.63	35.398	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	785				礫片	砂岩		25.00	34.30	16.90	14.00	35.321	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	786				礫片	砂岩		26.50	30.60	18.80	18.86	35.438	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	788				礫片	砂岩		24.50	31.90	21.30	19.00	35.474	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	789			Ⅶ-094	礫片	チャート		18.40	23.00	16.20	5.00	35.472	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	790			Ⅶ-020	礫片	砂岩		43.00	20.40	8.50	15.00	35.538	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	889				礫片	砂岩		14.10	23.00	15.30	5.01	35.406	Ⅲ
Ⅶ		51	礫群	890	1	51-03		楔形石器	チャート		26.86	27.72	6.68	5.90		カクラン
Ⅶ		51	礫群	890	2			礫片	流紋岩		22.50	25.30	12.80	6.23		カクラン
Ⅶ		51	礫群	890	3			礫片	砂岩		13.80	25.60	13.20	4.08		カクラン
Ⅶ		51	礫群	890	4			礫片	砂岩		21.00	20.60	5.70	2.64		カクラン
Ⅶ		52	礫群	791		52-01		微細剥離痕のある剥片	ホルンフェルス	004	68.33	39.17	19.43	47.61	35.497	Ⅲ
Ⅶ		52	礫群	792			Ⅶ-025	礫片	凝灰岩		36.70	30.50	23.00	28.00	35.501	Ⅲ
Ⅶ		52	礫群	793				剥片	ホルンフェルス		40.70	29.50	13.10	14.68	35.540	Ⅲ
Ⅶ		52	礫群	794			Ⅶ-023	剥片	ホルンフェルス		41.20	48.80	10.50	20.00	35.495	Ⅲ
Ⅶ		52	礫群	795				剥片	ホルンフェルス		48.00	62.60	12.70	29.60	35.518	Ⅲ
Ⅶ		52	礫群	796			Ⅶ-018	礫片	流紋岩		140.30	70.40	60.40	595.00	35.518	Ⅲ
Ⅶ		52	礫群	797		52-03	Ⅶ-003	剥片	ホルンフェルス	006	48.82	29.40	12.62	17.25	35.557	Ⅲ
Ⅶ		52	礫群	798		52-04	Ⅶ-003	石核	ホルンフェルス	006	58.90	43.52	18.70	43.60	35.500	Ⅲ
Ⅶ		52	礫群	799		52-02	Ⅶ-003	二次加工のある剥片	ホルンフェルス	006	49.56	44.51	13.05	28.71	35.529	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	150				礫片	流紋岩		24.60	49.30	30.40	40.26	35.582	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	151			Ⅶ-059	礫片	流紋岩		35.00	69.90	43.10	105.00	35.565	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	152	1			礫片	流紋岩		23.40	38.20	11.20	7.12	35.532	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	152	2			礫片	砂岩		22.90	30.50	12.80	8.52	35.532	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	153				礫片	砂岩		8.00	20.30	10.60	2.02	35.672	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	155				礫片	安山岩		26.40	28.40	22.20	5.80	35.590	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	156				礫片	チャート		32.50	54.00	26.30	57.97	35.692	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	157				礫片	砂岩		11.20	19.90	6.20	1.54	35.685	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	158				礫	流紋岩		37.40	44.60	29.20	67.84	35.712	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	159	2			礫片	流紋岩		8.40	11.10	5.00	0.52	35.675	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	159	1			礫片	流紋岩		11.00	14.20	13.50	2.59	35.675	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	160				礫片	凝灰岩		32.20	28.60	13.80	13.98	35.658	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	161				礫片	流紋岩		18.00	18.60	6.50	2.57	35.594	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	163			Ⅶ-095	礫片	砂岩		62.20	87.70	63.00	390.00	35.616	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	164				礫片	ホルンフェルス		33.10	32.10	11.70	12.00	35.600	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	165				礫片	流紋岩		19.20	23.20	24.10	10.07	35.545	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	166			Ⅶ-062	礫片	流紋岩		11.20	41.30	19.60	18.00	35.597	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	167				礫片	砂岩		16.90	23.70	20.30	7.85	35.636	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	168			Ⅶ-062	礫片	流紋岩		23.70	31.30	35.90	30.00	35.610	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	169			Ⅶ-065	礫片	ホルンフェルス		25.40	28.50	7.90	10.00	35.774	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	170				礫片	砂岩		27.00	30.40	28.40	29.03	35.570	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	171				礫片	砂岩		16.80	14.60	12.20	3.56	35.682	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	172			Ⅶ-058	礫片	流紋岩		20.20	35.10	27.10	20.00	35.780	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	173				礫片	流紋岩		45.40	74.90	19.90	77.68	35.572	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	174				礫片	チャート		23.00	33.70	14.00	11.42	35.570	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	186				礫片	流紋岩		11.00	16.40	17.20	2.98	35.708	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	191				礫片	砂岩		17.20	18.40	4.90	1.86	35.598	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	192			Ⅶ-066	礫片	流紋岩		38.30	36.40	28.30	60.00	35.586	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	193			Ⅶ-014	礫片	砂岩		73.80	47.00	28.20	71.00	35.606	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	194			Ⅶ-065	礫片	ホルンフェルス		18.30	39.60	7.90	10.00	35.736	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	195			Ⅶ-060	礫片	流紋岩		18.20	28.20	14.10	12.00	35.616	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	196			Ⅶ-066	礫片	流紋岩		34.00	53.90	37.20	98.00	35.575	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	197			Ⅶ-095	礫片	砂岩		38.70	43.80	34.30	45.00	35.602	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	198				礫片	流紋岩		34.20	58.00	81.20	44.75	35.596	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	199			Ⅶ-095	礫片	砂岩		20.50	31.50	27.60	18.00	35.580	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	200			Ⅶ-055	礫片	砂岩		16.10	38.60	22.50	18.00	35.587	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	201	2		Ⅶ-055	礫片	砂岩		25.00	32.60	23.00	18.00	35.582	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	202			Ⅶ-031	礫片	砂岩		34.30	37.40	28.60	30.00	35.615	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	203	3			礫片	流紋岩		10.80	17.50	14.70	2.68	35.626	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	203	2			礫片	流紋岩		18.50	16.70	17.40	5.19	35.626	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	204				礫片	砂岩		25.50	28.10	8.30	6.91	35.720	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	205				礫片	チャート		11.50	32.20	9.30	5.12	35.642	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	207				剥片	ホルンフェルス		18.00	11.60	3.40	1.32	35.766	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	292				礫片	流紋岩		11.00	21.10	4.60	1.37	35.535	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	294			Ⅶ-020	礫片	砂岩		50.30	45.80	10.00	25.00	35.563	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	295				礫片	流紋岩		24.90	36.10	14.00	12.88	35.555	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	296			Ⅶ-048	礫片	砂岩		38.80	43.20	21.60	36.00	35.560	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	297				礫片	砂岩		15.00	26.20	13.40	6.42	35.548	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	298				礫	流紋岩		38.90	61.50	28.00	102.74	35.590	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	299			Ⅶ-065	礫片	ホルンフェルス		25.90	53.90	10.30	15.00	35.650	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	300			Ⅶ-065	礫片	ホルンフェルス		26.00	56.80	17.90	34.00	35.566	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	301				礫	流紋岩		39.90	56.20	31.50	128.00	35.585	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	576				礫片	凝灰岩		15.30	15.80	8.80	2.08	35.500	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	577				礫片	流紋岩		13.40	22.50	20.00	5.43	35.481	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	578			Ⅶ-030	礫片	流紋岩		21.30	48.50	14.20	15.00	35.538	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	579				礫片	砂岩		24.90	24.90	9.30	5.67	35.486	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	580				礫片	流紋岩		23.70	31.70	13.40	9.48	35.427	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	581				礫片	流紋岩		19.70	30.20	10.00	6.19	35.546	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	582				礫片	流紋岩		10.00	17.60	6.50	1.64	35.557	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	583				剥片	ガラス質黒色安山岩		28.80	17.10	12.90	6.48	35.537	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	584	1			礫片	流紋岩		50.10	21.30	7.70	11.02	35.552	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	584	2			礫片	流紋岩		6.70	14.70	7.00	0.57	35.552	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	585				礫片	流紋岩		36.50	48.80	15.20	24.08	35.549	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	586			Ⅶ-105	礫片	砂岩		48.70	34.40	28.30	65.00	35.561	Ⅲ

第124表　第Ⅶ文化層石器属性表（6）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅶ		53	礫群	587				礫片	流紋岩		15.60	21.20	26.20	7.68	35.525	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	588				礫	流紋岩		56.40	77.50	53.10	259.00	35.545	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	589				剥片	ホルンフェルス		37.80	29.70	7.10	8.15	35.539	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	590				礫片	流紋岩		13.70	14.30	6.90	2.68	35.438	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	591				礫片	流紋岩		9.80	14.80	13.80	1.97	35.469	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	865		51-18	Ⅶ-010	剥片	ホルンフェルス	001	46.46	28.53	16.59	23.73	35.300	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	884				礫片	砂岩		21.40	16.60	12.00	4.23	35.476	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	885				礫片	流紋岩		26.10	29.20	12.50	6.95	35.544	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	886				礫片	砂岩		19.00	23.00	9.90	2.63	35.524	Ⅲ
Ⅶ		53	礫群	887				礫片	砂岩		17.40	9.10	3.70	0.69	35.326	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	1				礫片	砂岩		25.50	46.60	8.50	12.16	35.555	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	136		54-02		石核	ホルンフェルス	008	160.00	78.40	73.70	1420.00	35.570	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	137				礫片	チャート		12.50	22.60	10.70	3.99	35.665	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	138			Ⅶ-061	礫片	流紋岩		24.20	32.30	23.30	23.00	35.554	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	139				礫片	流紋岩		14.00	17.10	10.00	3.23	35.576	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	140				礫片	砂岩		10.50	32.40	6.90	2.39	35.611	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	141			Ⅶ-063	礫片	チャート		26.20	18.80	16.60	10.45	35.645	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	143			Ⅶ-068	礫片	ホルンフェルス		52.20	73.40	24.00	200.00	35.566	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	144	2		Ⅶ-070	礫片	ホルンフェルス		17.20	34.40	20.80	20.00	35.585	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	144	1			礫片	凝灰岩		26.60	50.40	27.50	24.21	35.585	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	145				礫片	砂岩		24.50	40.30	33.50	45.58	35.735	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	146			Ⅶ-067	礫片	砂岩		11.90	27.60	24.90	10.00	35.720	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	147				礫片	流紋岩		26.80	32.90	9.60	8.19	35.540	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	148			Ⅶ-069	礫片	砂岩		28.20	45.80	53.90	75.00	35.558	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	149				剥片	ホルンフェルス		35.40	43.30	17.90	29.13	35.512	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	162				礫片	砂岩		32.00	38.70	27.30	24.31	35.500	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	175				礫片	流紋岩		21.20	32.70	9.40	5.75	35.538	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	176			Ⅶ-057	礫片	流紋岩		15.70	33.00	14.10	13.00	35.530	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	177			Ⅶ-056	礫片	砂岩		15.50	35.20	23.40	15.08	35.538	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	178			Ⅶ-016	礫片	砂岩		41.90	35.00	27.00	30.00	35.500	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	179			Ⅶ-056	礫片	砂岩		20.10	36.70	21.70	25.00	35.562	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	180			Ⅶ-067	礫片	砂岩		43.70	47.40	19.60	25.00	35.545	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	181				礫片	砂岩		16.00	24.60	25.90	8.88	35.562	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	182				礫片	砂岩		14.50	18.60	19.20	5.47	35.502	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	183			Ⅶ-057	礫片	流紋岩		30.80	31.30	14.60	16.00	35.520	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	184		51-20	Ⅶ-010	剥片	ホルンフェルス	001	93.86	30.68	21.21	100.27	35.536	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	185				剥片	ガラス質黒色安山岩		42.10	24.80	14.90	12.29	35.506	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	288			Ⅶ-067	礫片	砂岩		43.70	47.40	19.60	34.00	35.558	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	289				礫片	砂岩		22.10	27.30	4.50	2.93	35.531	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	290				礫片	砂岩		18.10	19.40	7.20	1.15	35.669	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	291				礫片	砂岩		28.10	29.50	17.60	17.35	35.544	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	302				剥片	ホルンフェルス		38.90	22.50	6.40	5.75	35.530	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	303			Ⅶ-029	礫片	砂岩		23.10	51.10	22.90	70.00	35.518	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	573				礫片	流紋岩		13.70	25.00	11.20	5.03	35.501	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	574	2			礫片	砂岩		6.80	10.90	1.90	0.19	35.495	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	574	1			礫片	砂岩		9.80	11.80	9.80	0.76	35.495	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	575				剥片	ホルンフェルス		21.00	15.30	5.60	2.30	35.430	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	845				礫片	流紋岩		16.60	33.70	24.10	16.86	35.495	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	846			Ⅶ-091	礫片	砂岩		20.10	53.90	12.10	80.00	35.452	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	847			Ⅶ-072	礫片	砂岩		38.50	67.60	40.20	135.00	35.503	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	848			Ⅶ-068	礫片	ホルンフェルス		37.20	53.20	27.90	50.00	35.535	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	849			Ⅶ-028	礫片	砂岩		30.40	31.80	22.50	23.00	35.457	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	850				礫	凝灰岩		48.50	76.50	22.40	106.00	35.388	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	851			Ⅶ-073	礫片	流紋岩		41.40	37.70	38.60	71.00	35.475	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	852				礫片	砂岩		44.90	67.80	64.00	203.00	35.480	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	853				礫	流紋岩		39.00	47.00	41.00	88.02	35.465	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	854	3			礫片	ホルンフェルス		9.20	15.20	8.80	1.21	35.475	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	854	2		Ⅶ-013	礫片	流紋岩		46.80	25.50	12.20	25.00	35.475	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	855	3			礫片	ホルンフェルス		12.00	13.80	7.30	1.45	35.457	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	855	1		Ⅶ-019	礫片	ホルンフェルス		36.60	21.30	25.00	25.00	35.457	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	855	2			礫片	ホルンフェルス		11.70	15.90	5.00	1.30	35.457	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	856				礫片	ホルンフェルス		21.10	39.10	22.70	21.10	35.468	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	857				砕片	ガラス質黒色安山岩		24.20	20.30	5.00	2.15	35.400	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	858			Ⅶ-019	礫片	ホルンフェルス		29.50	18.30	20.80	20.00	35.460	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	859			Ⅶ-007	剥片	嶺岡産珪質頁岩	002	37.16	30.23	9.96	12.89	35.444	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	860				剥片	嶺岡産珪質頁岩		17.10	27.10	4.40	1.75	35.304	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	861		51-21	Ⅶ-112	剥片	ホルンフェルス	002	27.14	28.90	12.41	8.59	35.418	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	862				砕片	ガラス質黒色安山岩		18.90	17.80	5.70	1.15	35.364	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	863				礫片	流紋岩		44.20	48.80	39.40	80.94	35.445	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	864				礫片	流紋岩		30.20	27.30	12.70	8.42	35.411	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	866				礫片	流紋岩		23.20	27.50	5.00	2.82	35.445	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	867				礫片	流紋岩		30.20	40.10	12.60	18.63	35.463	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	869				剥片	チャート		57.60	33.80	17.80	39.70	35.253	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	870			Ⅶ-013	礫片	流紋岩		36.00	24.40	17.50	30.00	35.385	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	871			Ⅶ-093	礫片	流紋岩		28.60	25.50	27.00	17.54	35.400	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	873	1			砕片	凝灰岩		14.50	16.50	3.40	0.87	35.398	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	873	2		Ⅶ-093	礫片	流紋岩		18.20	23.90	9.90	5.00	35.398	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	874				礫片	ホルンフェルス		27.60	21.50	15.50	10.32	35.379	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	875			Ⅶ-090	礫片	凝灰岩		48.00	28.50	31.60	60.00	35.416	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	876			Ⅶ-077	礫片	流紋岩		46.80	59.10	17.80	51.00	35.386	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	877			Ⅶ-029	礫片	砂岩		36.60	43.10	34.70	60.00	35.375	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	878				剥片	頁岩		14.20	26.20	3.80	1.60	35.311	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	879				礫片	流紋岩		11.20	23.60	11.90	4.09	35.280	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	880				剥片	嶺岡産珪質頁岩		29.40	24.70	6.70	2.88	35.300	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	881				礫片	流紋岩		22.10	50.80	11.30	9.36	35.266	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	882				礫片	ホルンフェルス		10.70	20.70	5.20	1.50	35.319	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	883			Ⅶ-019	礫片	ホルンフェルス		23.50	14.40	12.60	15.00	35.314	Ⅲ
Ⅶ		54	礫群	888		54-01		二次加工のある剥片	嶺岡産珪質頁岩	006	33.20	22.56	9.46	6.09	35.326	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	2				礫	砂岩		51.90	49.00	32.50	112.00	35.570	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	3				礫片	流紋岩		8.40	20.20	7.60	2.25	35.615	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	4				剥片	ホルンフェルス		35.50	19.80	8.90	8.28	35.630	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	5				剥片	ガラス質黒色安山岩		32.90	32.40	10.30	8.97	35.678	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	6				礫片	砂岩		14.20	22.90	9.70	3.27	35.570	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	7				剥片	ホルンフェルス		21.00	28.10	7.00	2.31	35.576	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	8				礫片	流紋岩		31.90	37.20	26.40	27.29	35.680	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	9				礫片	砂岩		17.50	22.70	14.90	6.67	35.548	Ⅲ

第125表　第Ⅶ文化層石器属性表（7）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅶ		55	礫群	10			Ⅶ-095	礫片	砂岩		10.40	22.50	17.90	10.00	35.562	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	11				礫片	砂岩		25.50	16.80	9.20	3.15	35.646	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	12				剥片	ホルンフェルス		25.70	4.80	4.70	2.88	35.660	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	13				礫	流紋岩		80.50	61.30	34.90	214.00	35.795	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	14				礫片	砂岩		34.40	43.90	26.90	42.37	35.835	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	15				剥片	ホルンフェルス		17.20	24.10	5.10	1.78	35.650	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	16				剥片	ホルンフェルス		47.50	21.20	11.20	8.58	35.575	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	17			Ⅶ-107	礫片	流紋岩		20.00	34.10	13.60	6.99	35.652	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	18				礫片	ホルンフェルス		42.60	48.70	23.40	66.45	35.740	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	19				礫片	流紋岩		19.20	25.50	12.70	5.18	35.737	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	20				礫片	流紋岩		28.00	48.30	33.60	53.00	35.765	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	21			Ⅶ-100	礫片	砂岩		34.00	25.70	18.20	19.00	35.654	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	22			Ⅶ-012	礫片	砂岩		59.10	28.30	52.50	83.00	35.656	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	23				礫片	砂岩		28.50	33.60	28.70	17.39	35.642	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	25				礫	砂岩		71.40	56.50	40.00	178.00	35.755	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	26			Ⅶ-096	礫片	砂岩		34.00	47.00	29.60	40.00	35.700	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	27				礫片	ホルンフェルス		38.60	38.80	37.50	70.69	35.775	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	28			Ⅶ-101	礫片	砂岩		23.20	35.70	28.00	20.00	35.748	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	29				礫片	流紋岩		14.50	28.70	17.50	7.35	35.755	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	30				礫片	流紋岩		30.80	27.70	42.70	17.53	35.740	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	31				礫片	砂岩		28.10	47.80	22.40	30.08	35.732	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	32				礫片	流紋岩		18.90	22.50	15.40	5.73	35.711	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	33	1		Ⅶ-099	礫片	流紋岩		49.00	41.30	23.50	71.00	35.735	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	33	2		Ⅶ-100	礫片	砂岩		28.20	30.10	32.30	35.00	35.735	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	34			Ⅶ-103	礫片	チャート		18.00	25.60	24.90	15.00	35.812	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	35			Ⅶ-096	礫片	砂岩		39.80	78.00	79.70	255.00	35.743	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	36				礫片	流紋岩		21.30	29.20	25.00	16.37	35.727	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	37			Ⅶ-111	礫片	砂岩		26.20	29.40	10.00	18.00	35.820	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	38				礫片	砂岩		31.20	52.70	29.00	37.03	35.714	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	39				礫片	ホルンフェルス		29.20	34.80	23.20	30.02	35.762	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	40			Ⅶ-109	礫片	砂岩		45.50	79.20	25.20	80.00	35.726	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	42			Ⅶ-095	礫片	砂岩		48.50	50.70	33.60	75.00	35.540	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	43				礫片	砂岩		19.40	32.20	14.50	15.85	35.800	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	44			Ⅶ-107	礫片	流紋岩		51.30	54.60	21.70	52.00	35.738	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	45			Ⅶ-107	礫片	流紋岩		52.00	41.00	17.70	48.00	35.708	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	46				礫片	砂岩		28.30	64.50	44.20	103.00	35.686	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	47				礫片	砂岩		23.70	22.00	16.10	10.00	35.775	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	48				礫片	砂岩		65.00	27.90	15.40	33.02	35.555	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	49			Ⅶ-021	礫片	砂岩		35.40	28.60	15.30	20.00	35.559	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	50				礫	流紋岩		98.30	58.90	40.80	321.00	35.742	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	51		55-04		石核	流紋岩	005	30.71	41.17	17.58	23.58	35.710	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	53				礫片	流紋岩		25.50	32.50	23.10	20.83	35.497	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	54				礫	流紋岩		60.30	51.50	35.90	151.00	35.608	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	55				礫片	流紋岩		21.60	32.00	29.20	19.37	35.658	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	56			Ⅶ-106	礫片	砂岩		42.00	67.50	32.60	90.00	35.721	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	57				礫片	流紋岩		31.90	40.00	15.30	27.59	35.595	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	58				礫片	流紋岩		32.50	50.60	32.50	65.46	35.692	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	59			Ⅶ-110	礫片	流紋岩		39.50	40.20	28.60	42.00	35.700	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	60			Ⅶ-094	礫片	チャート		35.40	36.50	33.40	60.00	35.554	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	61			Ⅶ-110	礫片	流紋岩		13.60	19.00	17.20	7.00	35.645	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	62				礫片	流紋岩		9.30	16.50	21.90	5.45	35.765	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	63			Ⅶ-111	礫片	砂岩		47.00	48.60	39.10	110.00	35.780	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	64				礫片	砂岩		10.80	28.50	13.30	6.55	35.785	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	65				礫片	流紋岩		27.20	31.90	9.80	9.27	35.600	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	66				礫片	砂岩		36.00	32.50	20.90	39.38	35.570	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	67				礫片	ホルンフェルス		37.50	55.00	28.30	74.05	35.625	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	68				剥片	ホルンフェルス		29.40	10.40	5.90	1.69	35.551	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	69			Ⅶ-108	礫片	流紋岩		31.40	33.00	19.90	25.00	35.585	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	70				剥片	チャート		32.50	33.70	5.90	5.80	35.605	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	71				礫片	砂岩		15.60	38.50	19.00	9.14	35.587	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	72				礫片	流紋岩		24.60	24.00	27.10	19.02	35.565	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	73	1	55-01		楔形石器	黒曜石	001	33.61	18.77	8.75	5.48	35.580	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	73	2		Ⅶ-102	礫片	砂岩		36.20	44.40	25.40	44.00	35.556	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	74				礫片	砂岩		32.20	38.30	22.80	35.85	35.560	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	75	2			礫片	チャート		35.00	39.00	16.70	29.00	35.560	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	76				礫	チャート		58.20	51.10	31.80	152.00	35.615	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	77				礫片	ホルンフェルス		47.40	44.30	42.60	132.00	35.615	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	78		55-06	Ⅶ-006	剥片	ホルンフェルス	007	60.20	46.63	19.83	34.83	35.605	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	79			Ⅶ-097	礫片	ホルンフェルス		42.10	84.40	54.10	212.00	35.610	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	80				礫片	砂岩		49.00	65.00	21.80	53.52	35.598	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	81			Ⅶ-105	礫片	砂岩		61.00	49.00	25.10	90.00	35.617	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	82				礫片	流紋岩		49.00	43.80	28.70	81.89	35.598	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	83				礫	チャート		67.90	32.30	19.20	69.23	35.610	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	84				礫	流紋岩		49.60	40.40	24.20	62.20	35.602	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	85				礫	チャート		53.80	35.70	21.60	70.00	35.620	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	88				剥片	ホルンフェルス	005	38.75	21.07	10.66	9.57	35.545	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	89				剥片	ホルンフェルス		15.70	20.40	3.40	1.06	35.650	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	90				礫片	流紋岩		13.00	16.50	14.40	2.88	35.516	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	91				礫片	ホルンフェルス		27.40	53.40	13.60	22.73	35.825	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	92				礫片	ホルンフェルス		44.20	50.00	19.00	51.10	35.754	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	93			Ⅶ-101	礫片	砂岩		33.60	44.10	34.10	103.00	35.758	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	94			Ⅶ-098	礫片	砂岩		32.20	34.80	48.90	50.00	35.767	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	95				剥片	嶺岡産珪質頁岩		16.50	36.80	5.80	3.40	35.577	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	96				礫片	砂岩		36.50	53.80	18.10	36.30	35.760	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	97			Ⅶ-104	礫片	砂岩		34.40	30.40	21.00	34.00	35.790	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	98				礫片	砂岩		28.10	35.90	20.70	16.31	35.740	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	99				礫片	流紋岩		42.30	50.40	30.50	85.92	35.787	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	100			Ⅶ-014	礫片	砂岩		44.20	14.50	19.30	20.00	35.776	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	101				礫片	流紋岩		43.60	57.80	22.20	79.89	35.785	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	102		55-08	Ⅶ-002	剥片	嶺岡産珪質頁岩	005	45.78	16.37	10.42	5.47	35.606	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	103		55-09	Ⅶ-002	剥片	嶺岡産珪質頁岩	005	31.27	49.88	10.70	11.09	35.600	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	104				礫片	砂岩		17.80	36.70	12.80	9.04	35.756	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	105				礫片	砂岩		12.30	22.20	8.60	2.43	35.757	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	106				礫片	砂岩		17.60	22.00	21.50	7.88	35.749	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	107				礫片	流紋岩		8.40	12.70	10.80	0.91	35.707	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	108				礫片	ホルンフェルス		26.50	52.40	20.00	32.06	35.792	Ⅲ

第126表　第Ⅶ文化層石器属性表（8）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅶ		55	礫群	109				礫片	砂岩		23.20	26.90	6.20	4.93	35.620	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	110		55-13	Ⅶ-011	二次加工のある剥片	玉髄（メノウ含む）	002	22.81	31.07	14.79	9.68	35.745	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	111			Ⅶ-103	礫片	砂岩		23.70	51.00	40.50	68.00	35.803	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	112				礫片	砂岩		10.20	14.00	5.00	1.17	35.697	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	114				礫	チャート		26.80	27.00	23.40	20.56	35.765	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	115				礫	チャート		9.70	19.20	8.70	2.53	35.795	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	116			Ⅶ-061	礫片	流紋岩		35.40	51.00	25.70	60.00	35.596	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	119				剥片	チャート		20.20	26.70	4.60	2.55	35.650	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	120				礫片	ホルンフェルス		18.10	21.70	12.40	3.59	35.790	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	125				礫片	砂岩		41.00	44.00	14.90	27.78	35.820	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	126				礫片	ホルンフェルス		8.30	10.80	3.00	0.43	35.853	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	127				剥片	ホルンフェルス		37.00	21.70	11.50	8.02	35.795	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	128				剥片	頁岩質珪岩		31.10	16.60	9.70	3.74	35.785	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	129			Ⅶ-001	剥片	頁岩質珪岩		45.07	26.26	19.16	15.49	35.715	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	131				礫片	流紋岩		14.50	25.50	12.10	4.41	35.748	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	133				礫片	流紋岩		22.30	34.20	10.10	9.06	35.594	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	134				礫片	砂岩		30.10	30.20	30.00	28.38	35.635	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	135				礫片	砂岩		55.90	65.20	32.50	96.47	35.596	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	187				礫片	流紋岩		18.90	22.90	4.40	2.40	35.518	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	188	1			礫片	流紋岩		25.90	34.50	15.00	16.55	35.508	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	188	2			礫片	砂岩		22.50	23.60	16.60	7.88	35.508	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	189				礫片	砂岩		13.20	23.60	5.50	2.05	35.634	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	190			Ⅶ-064	礫片	流紋岩		35.70	48.40	51.60	160.00	35.604	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	208				礫片	流紋岩		19.90	21.50	10.70	4.78	35.802	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	209				礫片	流紋岩		8.40	14.10	6.70	1.18	35.635	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	210				礫	流紋岩		34.40	62.10	24.70	65.56	35.532	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	211			Ⅶ-095	礫片	砂岩		52.00	62.60	68.50	250.00	35.510	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	212			Ⅶ-046	礫片	流紋岩		16.20	46.80	28.80	34.00	35.520	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	213				剥片	ホルンフェルス		34.20	20.80	6.20	3.13	35.492	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	214				砕片	頁岩質珪岩		11.40	19.20	3.60	0.62	35.654	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	215				剥片	ホルンフェルス		21.60	31.00	10.00	5.89	35.512	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	216			Ⅶ-047	礫片	流紋岩		45.40	65.30	37.40	155.40	35.580	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	217				礫片	砂岩		19.90	30.70	21.60	12.61	35.602	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	218			Ⅶ-051	礫片	砂岩		25.20	44.60	38.90	51.84	35.696	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	219				礫片	流紋岩		36.20	84.20	47.10	214.00	35.590	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	220				礫	流紋岩		54.60	73.80	38.60	188.00	35.580	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	221				礫	流紋岩		41.80	58.00	31.80	105.00	35.572	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	222			Ⅶ-051	礫片	流紋岩		23.60	64.50	31.30	51.84	35.592	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	223				礫片	砂岩		15.30	29.00	11.60	5.64	35.540	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	224				礫片	砂岩		24.90	36.90	21.20	19.50	35.527	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	225			Ⅶ-049	礫片	砂岩		11.30	35.90	22.20	12.07	35.525	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	226				礫片	ホルンフェルス		9.40	15.50	4.90	0.63	35.710	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	227				礫	チャート		9.60	14.30	8.40	1.82	35.625	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	228				剥片	ホルンフェルス		33.60	40.30	15.20	16.41	35.584	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	229		55-05		石核	砂岩	002	106.20	65.30	45.90	463.00	35.580	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	230				礫片	流紋岩		25.10	16.60	9.00	4.42	35.525	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	231				礫片	砂岩		22.50	30.20	16.80	8.99	35.570	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	232				礫片	流紋岩		24.00	28.70	16.40	12.60	35.555	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	233			Ⅶ-052	礫片	砂岩		36.80	45.90	17.80	45.00	35.572	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	234			Ⅶ-054	礫片	砂岩		40.00	53.00	20.20	47.00	35.560	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	235				礫片	流紋岩		16.00	33.10	14.00	8.81	35.558	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	236			Ⅶ-054	礫	砂岩		23.10	43.40	26.50	30.00	35.562	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	237				礫	流紋岩		31.70	65.50	24.20	81.36	35.565	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	238			Ⅶ-106	礫片	砂岩		13.30	36.00	35.50	20.00	35.562	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	239				剥片	ホルンフェルス		28.90	34.50	8.00	9.02	35.574	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	240		55-10	Ⅶ-005	剥片	ホルンフェルス	005	47.89	63.21	18.06	37.37	35.520	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	241		55-18	Ⅶ-009	石核	頁岩質珪岩		81.15	34.26	29.00	82.97	35.560	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	242				礫片	流紋岩		45.40	55.60	20.00	37.24	35.570	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	243				礫片	流紋岩		27.60	30.60	19.80	24.91	35.556	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	244			Ⅶ-094	礫片	チャート		20.40	23.50	10.00	7.00	35.532	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	245			Ⅶ-109	礫片	砂岩		34.90	37.50	14.60	27.00	35.667	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	246				礫片	ホルンフェルス		32.00	33.20	23.10	24.38	35.675	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	247			Ⅶ-053	礫片	流紋岩		22.70	24.60	11.60	7.00	35.655	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	248			Ⅶ-053	礫片	流紋岩		13.50	18.30	9.30	3.14	35.618	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	249				剥片	ガラス質黒色安山岩		20.70	24.70	8.00	4.45	35.550	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	250				礫片	ホルンフェルス		45.20	44.10	52.00	173.00	35.667	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	251				礫片	ホルンフェルス		19.40	25.90	13.10	5.27	35.640	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	252				礫片	ホルンフェルス		19.40	18.70	12.60	6.72	35.615	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	253				剥片	ホルンフェルス		27.40	33.00	5.90	6.07	35.632	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	254				礫片	流紋岩		25.40	35.20	16.00	13.43	35.718	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	255			Ⅶ-101	礫片	砂岩		24.50	24.30	10.80	10.00	35.654	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	256			Ⅶ-021	礫片	砂岩		56.80	33.10	14.00	30.00	35.682	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	257				礫片	流紋岩		32.20	54.80	14.20	26.72	35.644	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	258				剥片	頁岩質珪岩		21.20	30.80	5.90	3.60	35.600	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	259				礫	流紋岩		40.70	48.50	24.00	71.07	35.565	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	261		55-02		石核	ガラス質黒色安山岩	004	24.22	33.58	15.48	14.07	35.634	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	262				礫片	流紋岩		47.30	63.70	19.60	75.34	35.595	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	264		55-17	Ⅶ-009	剥片	頁岩質珪岩		56.42	37.92	28.90	45.74	35.608	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	265				礫片	砂岩		14.50	40.30	13.30	14.13	35.740	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	266				礫片	ホルンフェルス		31.50	40.40	14.50	19.44	35.675	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	267				礫片	チャート		13.80	21.00	16.00	1.56	35.700	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	268			Ⅶ-098	礫片	砂岩		18.50	47.50	35.90	20.00	35.600	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	269			Ⅶ-027	礫片	ホルンフェルス		50.70	20.60	21.00	45.00	35.580	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	271				礫片	砂岩		15.90	26.00	4.80	2.36	35.870	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	272				礫片	砂岩		44.60	46.50	14.90	33.08	35.535	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	273				礫片	ホルンフェルス		34.90	58.70	39.10	77.12	35.542	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	274			Ⅶ-047	礫片	流紋岩		27.10	58.00	38.20	90.00	35.577	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	275			Ⅶ-050	礫片	流紋岩		23.00	52.70	35.00	40.00	35.559	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	276				剥片	ガラス質黒色安山岩		47.20	35.60	12.70	20.53	35.514	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	278				剥片	ホルンフェルス		26.70	49.30	13.90	14.05	35.510	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	279				礫片	流紋岩		30.90	36.10	17.80	18.14	35.520	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	280		55-14	Ⅶ-011	石核	玉髄（メノウ含む）	002	9.47	31.12	22.06	25.82	35.545	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	281				礫片	ホルンフェルス		14.80	21.90	12.00	4.70	35.547	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	282		55-03		石核	頁岩	004	39.29	55.41	39.05	71.77	35.548	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	283				礫片	流紋岩		19.80	20.20	9.50	7.28	35.625	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	285				礫片	砂岩		76.00	50.00	32.80	172.90	35.560	Ⅲ

第127表　第Ⅶ文化層石器属性表（9）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅶ		55	礫群	286			Ⅶ-058	礫片	流紋岩		28.20	27.10	22.00	20.48	35.550	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	287				礫片	砂岩		15.90	23.20	6.90	2.85	35.522	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	592				礫片	砂岩		12.10	17.20	14.30	3.04	35.459	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	593			Ⅶ-021	礫片	砂岩		69.40	43.40	16.40	40.00	35.500	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	594			Ⅶ-064	礫片	流紋岩		31.50	46.90	12.90	42.00	35.501	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	595				礫片	砂岩		19.50	20.00	6.70	2.62	35.495	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	596				礫片	砂岩		20.50	27.00	7.80	4.23	35.428	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	597				礫片	流紋岩		14.20	18.40	19.70	3.60	35.422	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	598				礫片	砂岩		26.30	35.20	13.60	8.02	35.490	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	599				礫片	砂岩		15.30	24.50	12.10	4.26	35.495	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	600				礫片	流紋岩		21.00	26.50	15.40	5.48	35.510	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	601				礫片	チャート		24.40	31.20	24.90	11.35	35.509	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	603				礫片	砂岩		23.20	30.70	33.30	26.66	35.510	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	604			Ⅶ-087	礫片	流紋岩		45.00	55.50	27.70	60.00	35.515	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	605	1		Ⅶ-088	礫片	流紋岩		43.20	35.70	28.80	52.00	35.521	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	605	2			礫片	流紋岩		51.80	82.60	25.20	111.00	35.521	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	606				礫片	砂岩		42.60	83.20	22.60	81.18	35.300	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	607			Ⅶ-097	礫片	ホルンフェルス		43.20	75.50	46.50	190.00	35.404	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	608				礫片	砂岩		20.20	31.30	23.40	21.68	35.530	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	609				礫片	砂岩		16.00	36.40	22.80	13.95	35.530	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	610			Ⅶ-001	剥片	嶺岡産珪質頁岩		34.58	30.32	5.20	4.55	35.534	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	611			Ⅶ-084	礫片	流紋岩		54.70	49.00	43.00	120.00	35.464	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	612				礫片	砂岩		1.10	15.90	4.60	0.96	35.534	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	613				砕片	凝灰岩		6.70	6.30	2.80	0.31	35.525	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	614				剥片	ガラス質黒色安山岩		54.60	28.70	8.80	11.60	35.458	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	615				礫片	砂岩		16.60	35.10	28.10	19.52	35.457	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	616			Ⅶ-094	礫片	チャート		27.50	25.20	20.00	5.00	35.510	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	617				礫片	砂岩		6.90	13.30	3.00	0.63	35.490	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	618				礫片	砂岩		26.70	48.60	16.50	20.52	35.380	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	619				礫片	流紋岩		32.20	61.80	29.70	81.96	35.449	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	620				礫片	チャート		30.80	42.60	18.70	33.53	35.409	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	621				剥片	嶺岡産珪質頁岩		19.40	35.40	5.70	1.84	35.516	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	622	1		Ⅶ-088	礫片	ホルンフェルス		25.90	41.50	28.20	23.85	35.456	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	622	2		Ⅶ-063	礫片	チャート		36.40	31.50	21.40	46.00	35.456	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	623	1		Ⅶ-086	礫片	流紋岩		36.30	54.00	33.80	85.00	35.490	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	623	2			礫	流紋岩		39.80	61.80	29.20	103.00	35.490	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	624	1	55-12	Ⅶ-005	剥片	ホルンフェルス	005	48.41	39.92	10.22	19.67	35.490	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	624	2		Ⅶ-049	礫片	砂岩		18.50	68.00	19.00	26.00	35.490	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	625	1			剥片	ホルンフェルス		13.30	14.50	2.80	0.57	35.471	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	625	2			礫片	ホルンフェルス		8.90	11.20	7.20	1.00	35.471	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	626				剥片	ホルンフェルス		20.20	36.60	8.00	5.47	35.465	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	627	1			剥片	ホルンフェルス		90.50	47.60	41.30	251.95	35.491	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	627	2			礫片	砂岩		27.30	31.60	8.50	6.73	35.491	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	628				礫片	流紋岩		12.50	29.40	17.50	2.86	35.395	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	629				剥片	ガラス質黒色安山岩		34.20	24.10	15.90	5.32	35.471	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	630				剥片	ホルンフェルス		43.60	45.80	16.50	28.95	35.409	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	631				礫片	砂岩		22.20	24.50	6.80	4.07	35.525	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	632				砕片	ガラス質黒色安山岩		8.60	12.20	8.00	0.77	35.418	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	633				剥片	嶺岡産珪質頁岩		49.70	23.40	10.10	8.19	35.539	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	634				礫片	凝灰岩		16.40	42.00	16.50	14.68	35.422	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	635				礫片	流紋岩		11.20	17.10	7.80	1.71	35.559	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	636				砕片	ガラス質黒色安山岩		14.80	17.90	4.30	1.14	35.510	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	637	2		Ⅶ-050	礫片	流紋岩		41.00	50.90	32.00	126.00	35.535	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	637	1			礫	流紋岩		57.50	68.50	29.10	137.00	35.535	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	638			Ⅶ-083	礫片	流紋岩		15.20	38.70	25.70	15.00	35.531	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	639				礫片	ホルンフェルス		15.20	29.10	11.20	7.99	35.430	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	640				礫片	流紋岩		13.30	13.80	16.80	4.26	35.466	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	641	2			礫片	ホルンフェルス		48.70	60.90	40.30	152.00	35.437	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	641	1		Ⅶ-012	礫片	砂岩		52.00	41.20	55.80	167.00	35.437	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	642				礫片	流紋岩		17.50	30.80	26.60	13.18	35.497	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	643				礫片	凝灰岩		14.20	27.80	6.50	2.49	35.517	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	644	1			剥片	ガラス質黒色安山岩		46.30	40.10	15.10	17.76	35.550	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	644	2			礫	流紋岩		43.60	43.30	29.80	59.78	35.550	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	644	3			礫	チャート		42.10	57.30	20.20	107.00	35.550	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	645	1		Ⅶ-108	礫片	流紋岩		24.20	29.00	21.00	17.00	35.554	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	645	2		Ⅶ-102	礫片	砂岩		31.50	44.70	24.50	44.00	35.554	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	646	1		Ⅶ-046	礫片	流紋岩		25.00	50.30	27.00	36.76	35.452	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	646	2			礫	流紋岩		63.50	84.20	47.20	257.00	35.452	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	647		55-07	Ⅶ-006	剥片	ホルンフェルス	007	53.83	22.19	9.92	11.47	35.546	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	648				礫片	ホルンフェルス		24.60	20.20	15.00	17.32	35.580	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	649				礫片	流紋岩		6.50	13.90	2.20	0.56	35.555	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	650				礫片	チャート		51.50	80.00	31.90	178.00	35.437	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	651				剥片	ホルンフェルス		55.00	47.00	19.80	54.94	35.484	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	652			Ⅶ-001	石核	嶺岡産珪質頁岩		30.90	49.11	39.12	59.02	35.470	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	653	2	55-16	Ⅶ-009	剥片	嶺岡産珪質頁岩		26.60	55.65	20.53	24.70	35.544	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	653	1	55-15	Ⅶ-009	剥片	嶺岡産珪質頁岩		67.24	49.78	23.15	77.21	35.544	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	654				剥片	嶺岡産珪質頁岩		15.80	25.10	3.40	1.23	35.544	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	655			Ⅶ-104	礫片	砂岩		27.70	23.20	32.40	34.00	35.580	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	656	2			礫片	砂岩		15.70	19.60	11.40	3.65	35.535	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	656	1			礫	砂岩		16.20	22.10	13.70	4.95	35.535	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	657				礫	チャート		43.50	49.20	27.60	71.70	35.561	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	658		55-11	Ⅶ-005	剥片	ホルンフェルス	005	37.20	36.79	13.93	15.75	35.376	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	659				礫片	砂岩		46.80	35.90	24.70	45.00	35.650	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	800				礫片	流紋岩		52.50	48.20	24.00	99.62	35.655	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	801			Ⅶ-094	礫片	チャート		32.20	26.50	28.90	25.00	35.640	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	802				剥片	嶺岡産珪質頁岩		37.60	44.70	24.00	46.09	35.443	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	803			Ⅶ-092	礫片	砂岩		41.50	67.00	49.00	165.00	35.405	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	804			Ⅶ-088	礫片	ホルンフェルス		38.40	36.50	24.00	40.00	35.353	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	805				砕片	チャート		14.40	10.00	1.20	0.21	35.358	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	806				礫片	砂岩		26.00	28.80	7.80	8.01	35.415	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	807				礫片	流紋岩		24.60	52.90	15.20	19.14	35.400	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	808				礫片	流紋岩		21.80	30.30	18.90	9.19	35.380	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	809			Ⅶ-086	礫片	流紋岩		23.60	47.30	44.50	71.00	35.396	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	810			Ⅶ-084	礫片	流紋岩		48.20	67.20	42.30	111.00	35.398	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	811				礫	砂岩		42.50	50.80	3.70	78.95	35.351	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	812			Ⅶ-027	礫片	ホルンフェルス		26.80	20.60	25.60	25.00	35.382	Ⅲ

第128表　第Ⅶ文化層石器属性表（10）

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅶ		55	礫群	813				剥片	チャート		46.30	26.10	9.40	11.58	35.295	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	814				礫片	砂岩		11.80	14.90	5.00	1.15	35.306	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	815	1			礫片	流紋岩		39.40	21.40	9.50	9.73	35.315	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	815	2			礫片	流紋岩		9.60	25.50	6.90	1.90	35.315	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	816				礫片	砂岩		27.80	24.50	23.40	21.75	35.392	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	817				礫片	ホルンフェルス		6.50	8.50	7.30	0.37	35.355	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	818				剥片	ホルンフェルス		53.60	19.50	12.10	10.49	35.350	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	819				礫片	砂岩		23.70	28.80	34.20	20.52	35.366	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	820				礫片	砂岩		8.90	12.80	9.30	0.77	35.301	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	821				礫片	流紋岩		8.80	10.00	9.00	1.11	35.335	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	822			Ⅶ-024	剥片	ガラス質黒色安山岩		29.40	47.00	12.50	16.65	35.380	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	823			Ⅶ-052	礫片	砂岩		35.30	52.30	11.50	45.00	35.382	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	824				礫片	ホルンフェルス		23.00	70.70	23.20	72.69	35.300	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	825			Ⅶ-024	剥片	ガラス質黒色安山岩		27.60	19.00	10.40	8.30	35.341	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	826				礫片	流紋岩		28.80	21.20	9.30	5.84	35.315	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	827				剥片	ホルンフェルス		24.30	20.40	7.40	2.88	35.336	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	828				礫片	砂岩		12.60	29.00	11.10	4.59	35.311	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	829	1			礫片	流紋岩		49.60	52.40	46.70	89.85	35.302	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	829	2			礫片	流紋岩		10.20	10.30	7.70	0.86	35.302	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	830				礫片	流紋岩		9.50	13.00	6.00	0.65	35.446	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	831				礫	流紋岩		41.00	55.20	22.30	65.71	35.428	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	832				礫片	流紋岩		8.40	14.80	3.80	0.48	35.310	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	833			Ⅶ-092	礫片	砂岩		30.80	48.40	35.70	45.00	35.372	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	834				礫片	流紋岩		23.50	11.40	2.60	0.99	35.348	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	835				礫片	ホルンフェルス		61.00	51.80	55.20	328.00	35.356	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	836				礫片	砂岩		19.50	20.50	19.00	5.18	35.385	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	837				剥片	チャート		31.60	26.10	13.60	9.52	35.326	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	838			Ⅶ-094	礫片	チャート		24.20	36.00	12.30	15.00	35.265	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	839			Ⅶ-026	礫片	凝灰岩		41.80	49.70	23.40	37.78	35.315	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	840			Ⅶ-026	礫片	凝灰岩		22.60	20.30	20.60	20.00	35.292	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	841				礫片	砂岩		28.20	34.50	22.90	17.15	35.350	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	842				砕片	ガラス質黒色安山岩		10.20	18.70	4.00	0.83	35.313	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	843			Ⅶ-052	礫片	砂岩		43.10	71.70	33.30	95.00	35.306	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	844			Ⅶ-092	礫片	砂岩		30.50	53.70	24.20	35.00	35.304	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	891				礫片	流紋岩		34.50	56.00	15.80	36.25	35.784	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	892				礫片	砂岩		35.50	46.30	33.90	70.08	35.195	Ⅲ
Ⅶ		55	礫群	893				礫	流紋岩		56.50	55.60	27.30	108.00	35.220	Ⅲ

第129表　第Ⅷ文化層石器属性表

文化層	ユニット	ブロック	グリッド	遺物番号	枝番号	挿図番号	接合番号	器種名	母岩名	母岩番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	標高(m)	層位
Ⅷ		56		1		56-01		石核	頁岩質珪岩産岡錦		26.57	31.18	21.45	16.87	0.000	
Ⅷ		56		2		56-02		石核	頁岩質珪岩産岡錦		46.63	14.28	22.96	16.31	0.000	
Ⅷ		56	Q4-77	1				剥片	頁岩質珪岩産岡錦		27.21	24.49	5.86	3.05	0.000	Ⅴ
Ⅷ		56	Q5-72	1				剥片	凝灰岩		49.77	30.59	16.08	20.11	0.000	Ⅳ
Ⅷ		57	プレ第06地点	1		57-01		槍先形尖頭器	凝灰岩	001	49.80	17.40	5.10	4.42		Ⅲ
Ⅷ		58	プレ01～03集中地点	1		58-01		礫器	チャート	001	85.96	81.78	50.52	435.28		

第2節　縄文時代の遺構と遺物

1　陥穴

1－039（第278図）

Q5・R5グリッドに位置する。検出面での長さ2.92m，最大幅1.14m，底面での長さ2.56m，最大幅0.36mで，深さは1.7mを測る。覆土は大きく2層に分かれ，上部には黒色土，中部以下はロームブロックを多く含む黒褐色土が堆積していた。

遺物は出土しなかった。

1－040（第278図）

N9・N10グリッドに位置する。検出面での長さ2.8m，最大幅1.1m，底面での長さ2.3m，最大幅0.28mで，深さは1.5mを測る。覆土は大きく2層に分かれ，上部には黒色土，中部以下はロームブロックを多く含む黒褐色土が堆積していた。

遺物は出土しなかった。

1－041（第278図）

N9グリッドに位置する。検出面での長さ2.9m，最大幅0.96m，底面での長さ2.4m，最大幅0.24mで，深さは1mを測る。覆土は大きく3層に分かれ，上部には黒色土，中部には黒褐色土，下部には暗黄褐色土が堆積していた。

遺物は出土しなかった。

1－042（第278図）

O9グリッドに位置する。検出面での長さ2.54m，最大幅0.9m，底面での長さ1.94m，最大幅0.3mで，深さは1mを測る。覆土は大きく3層に分かれ，上部には黒色土，中部には黒褐色土，下部には暗黄褐色土が堆積していた。

遺物は出土しなかった。

1－073（第278図）

O11グリッドに位置する。検出面での長さ3m，最大幅1m，底面での長さ2.92m，最大幅0.2mで，深さは1.5mを測る。長軸方向の壁は，わずかに下部が広がり，袋状を呈する。覆土はロームブロックを多く含む黒褐色土が主体であった。

遺物は出土しなかった。

2－016（第279図）

F28グリッドに位置する。検出面での長さ2.5m，最大幅1.12m，底面での長さ2.3m，最大幅0.3mで，深さは1.1mを測る。長軸方向北側の壁は，わずかに下部が広がり，袋状を呈する。覆土は大きく3層に分かれ，上部には黒色土，中部には黒褐色土，下部には暗黄褐色土が堆積していた。

遺物は出土しなかった。

第2節　縄文時代の遺構と遺物

1　陥穴

1－039（第278図）

Q5・R5グリッドに位置する。検出面での長さ2.92m，最大幅1.14m，底面での長さ2.56m，最大幅0.36mで，深さは1.7mを測る。覆土は大きく2層に分かれ，上部には黒色土，中部以下はロームブロックを多く含む黒褐色土が堆積していた。

遺物は出土しなかった。

1－040（第278図）

N9・N10グリッドに位置する。検出面での長さ2.8m，最大幅1.1m，底面での長さ2.3m，最大幅0.28mで，深さは1.5mを測る。覆土は大きく2層に分かれ，上部には黒色土，中部以下はロームブロックを多く含む黒褐色土が堆積していた。

遺物は出土しなかった。

1－041（第278図）

N9グリッドに位置する。検出面での長さ2.9m，最大幅0.96m，底面での長さ2.4m，最大幅0.24mで，深さは1mを測る。覆土は大きく3層に分かれ，上部には黒色土，中部には黒褐色土，下部には暗黄褐色土が堆積していた。

遺物は出土しなかった。

1－042（第278図）

O9グリッドに位置する。検出面での長さ2.54m，最大幅0.9m，底面での長さ1.94m，最大幅0.3mで，深さは1mを測る。覆土は大きく3層に分かれ，上部には黒色土，中部には黒褐色土，下部には暗黄褐色土が堆積していた。

遺物は出土しなかった。

1－073（第278図）

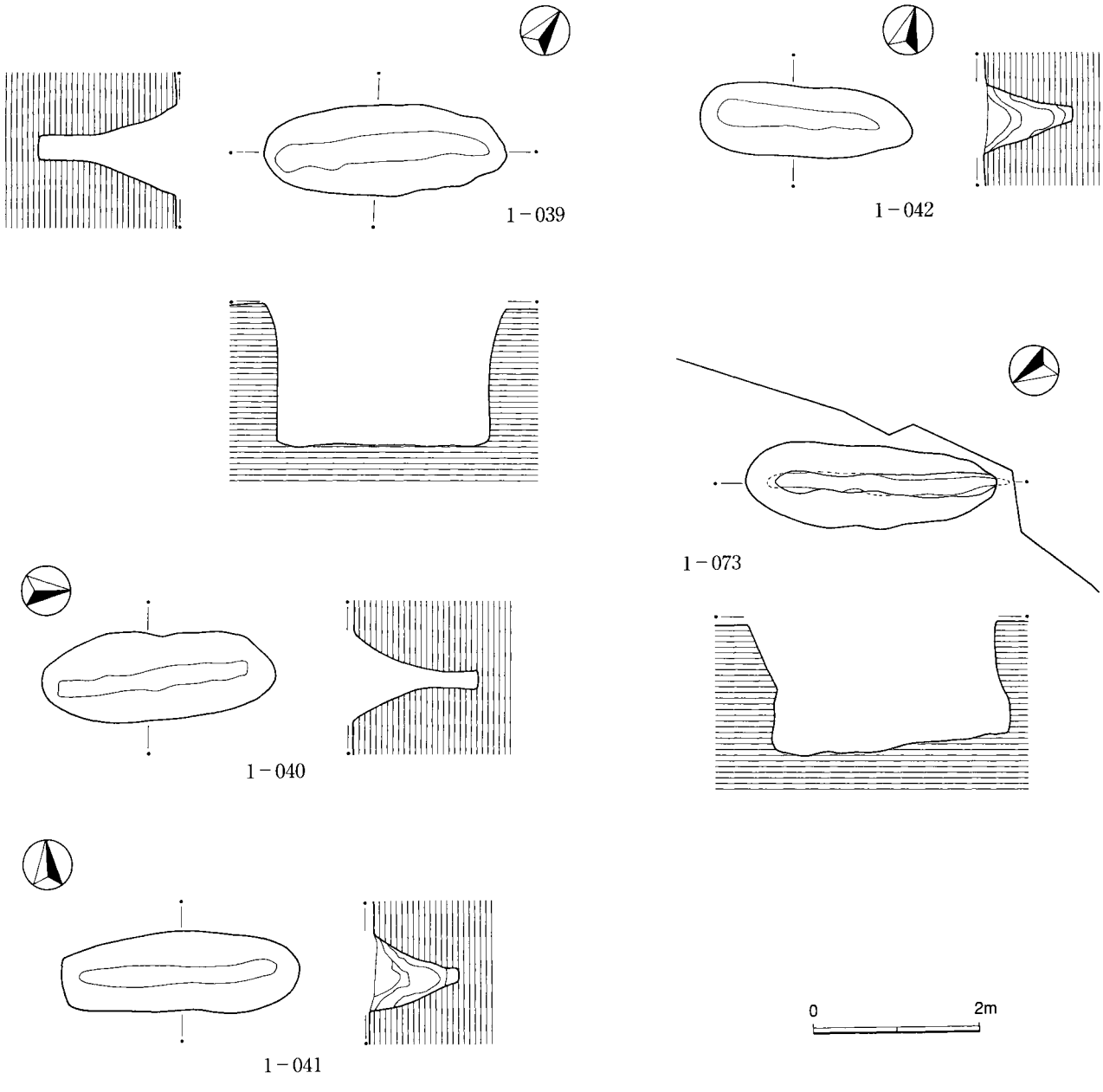
O11グリッドに位置する。検出面での長さ3m，最大幅1m，底面での長さ2.92m，最大幅0.2mで，深さは1.5mを測る。長軸方向の壁は，わずかに下部が広がり，袋状を呈する。覆土はロームブロックを多く含む黒褐色土が主体であった。

遺物は出土しなかった。

2－016（第279図）

F28グリッドに位置する。検出面での長さ2.5m，最大幅1.12m，底面での長さ2.3m，最大幅0.3mで，深さは1.1mを測る。長軸方向北側の壁は，わずかに下部が広がり，袋状を呈する。覆土は大きく3層に分かれ，上部には黒色土，中部には黒褐色土，下部には暗黄褐色土が堆積していた。

遺物は出土しなかった。



第278図　陥穴（1）

2－017（第279図）

E28・E29グリッドに位置する。検出面での長さ2.1m，最大幅0.92m，底面での長さ1.9m，最大幅0.1mで，深さは1mを測る。長軸方向南側の壁は，わずかに下部が広がり，袋状を呈する。覆土は大きく3層に分かれ，上部には黒色土，中部には黒褐色土，下部には暗黄褐色土が堆積していた。

遺物は出土しなかった。

2－018（第279図）

E27グリッドに位置する。検出面での長さ3m，最大幅1.76m，底面での長さ1.84m，最大幅0.1mで，深さは2.1mを測る。覆土は大きく3層に分かれ，上部には暗茶褐色土，中部には黒褐色土，下部には暗黄褐

色土が堆積していた。

遺物は出土しなかった。

2－019（第279図）

F27グリッドに位置する。検出面での長さ3.66m，最大幅2.14m，底面での長さ2m，最大幅1.1mで，深さは1.4mを測る。長軸方向南側の一部は，検出面からの深さが0.3mを測る浅い掘込みとなる。覆土は大きく2層に分かれ，上部には黒色土，下部には暗黄褐色土が堆積していた。

遺物は出土しなかった。

2－027（第279図）

G28グリッドに位置する。検出面での長さ2m，最大幅1.4m，底面での長さ0.6m，最大幅0.2mで，深さは2.3mを測る。覆土は，上部には黒色土が堆積していたが，中部以下は黒褐色土と暗黄褐色土が互層を成していた。

遺物は出土しなかった。

2－029（第279図）

G29グリッドに位置する。検出面での長さ3.24m，最大幅0.8m，底面での長さ2.6m，最大幅0.24mで，深さは1.9mを測る。覆土は，上部には黒色土が堆積していたが，中部以下は暗褐色土と暗黄褐色土が互層を成していた。

遺物は出土しなかった。

2－063（第279図）

H23グリッドに位置する。検出面での長さ2.3m，最大幅1.32m，底面での長さ1.76m，最大幅0.7mで，深さは1mを測る。底面には，径20cm，深さ40cmのピットが2本検出された。覆土は大きく3層に分かれ，上部には黒色土，中部には黒褐色土，下部には暗黄褐色土が堆積していた。

遺物は出土しなかった。

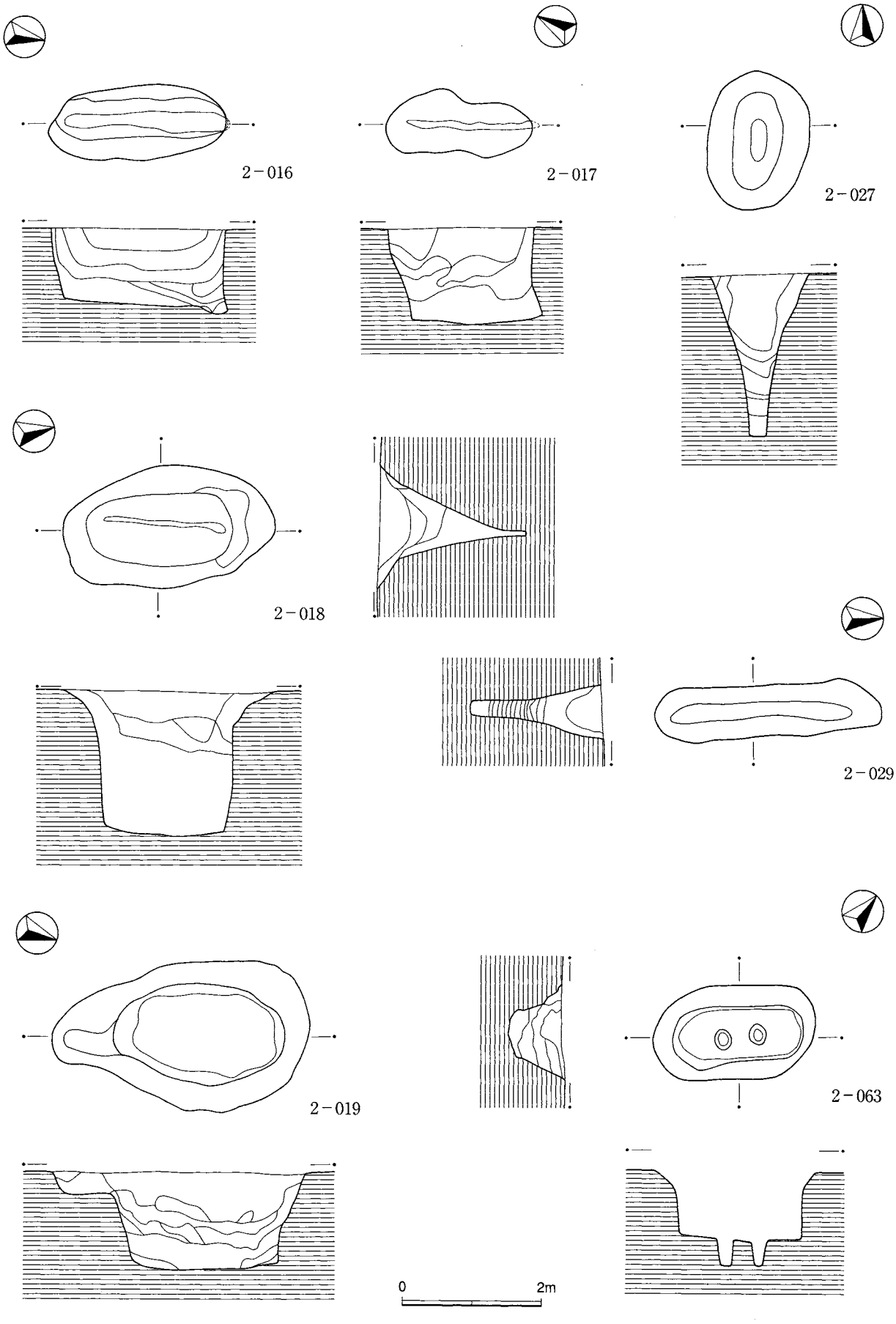
2－064（第280図）

F24・G24グリッドに位置する。検出面での長さ2.64m，最大幅1.8m，底面での長さ2m，最大幅0.8mで，深さは1.8mを測る。覆土は，上部には黒色土が堆積していたが，中部以下は黒褐色土と暗黄褐色土が互層を成していた。

遺物は出土しなかった。

2－068（第280図）

I20・I23グリッドに位置する。検出面での長さ3.4m，最大幅1.8m，底面での長さ2.32m，最大幅0.2mで，深さは1.8mを測る。覆土は大きく3層に分かれ，上部には黒色土，中部にはロームブロックを多く含む暗褐色土，下部には黒色土が堆積していた。遺物は出土しなかった。



第279図　陥穴（２）

2－070（第280図）

I21グリッドに位置する。検出面での長さ2.72m，最大幅0.66m，底面での長さ2.24m，最大幅0.2mで，深さは1mを測る。覆土は3層に分かれ，上層は黒色土，中層はロームブロックを多く含む暗褐色土，下層は黒色土が堆積していた。

遺物は出土しなかった。

2－071（第280図）

I21グリッドに位置する。検出面での長さ2.2m，最大幅0.84m，底面での長さ1.96m，最大幅0.16mで，深さは1mを測る。覆土は大きく2層に分かれ，上部から中部にはロームブロックを多く含む暗褐色土，下部には黒色土が堆積していた。

遺物は出土しなかった。

2－072（第280図）

I23・I24グリッドに位置する。検出面での長さ2.44m，最大幅0.76m，底面での長さ2.2m，最大幅0.16mで，深さは1.24mを測る。覆土は大きく3層に分かれ，上部には黒色土，中部にはロームブロックを多く含む暗褐色土，下部には黒色土が堆積していた。

遺物は出土しなかった。

2－106（第280図）

D30・D31グリッドに位置する。溝と重複し，撹乱も及んでいるため，長軸方向北側の遺存がやや悪い。検出面での長さ2.08m，最大幅0.4m，底面での長さ1.8m，最大幅0.14mで，深さは0.64mを測る。覆土は大きく2層に分かれ，上部には黒褐色土，下部には暗褐色土が堆積していた。いずれもローム粒を多く含んでいる。

遺物は出土しなかった。

2－107（第280図）

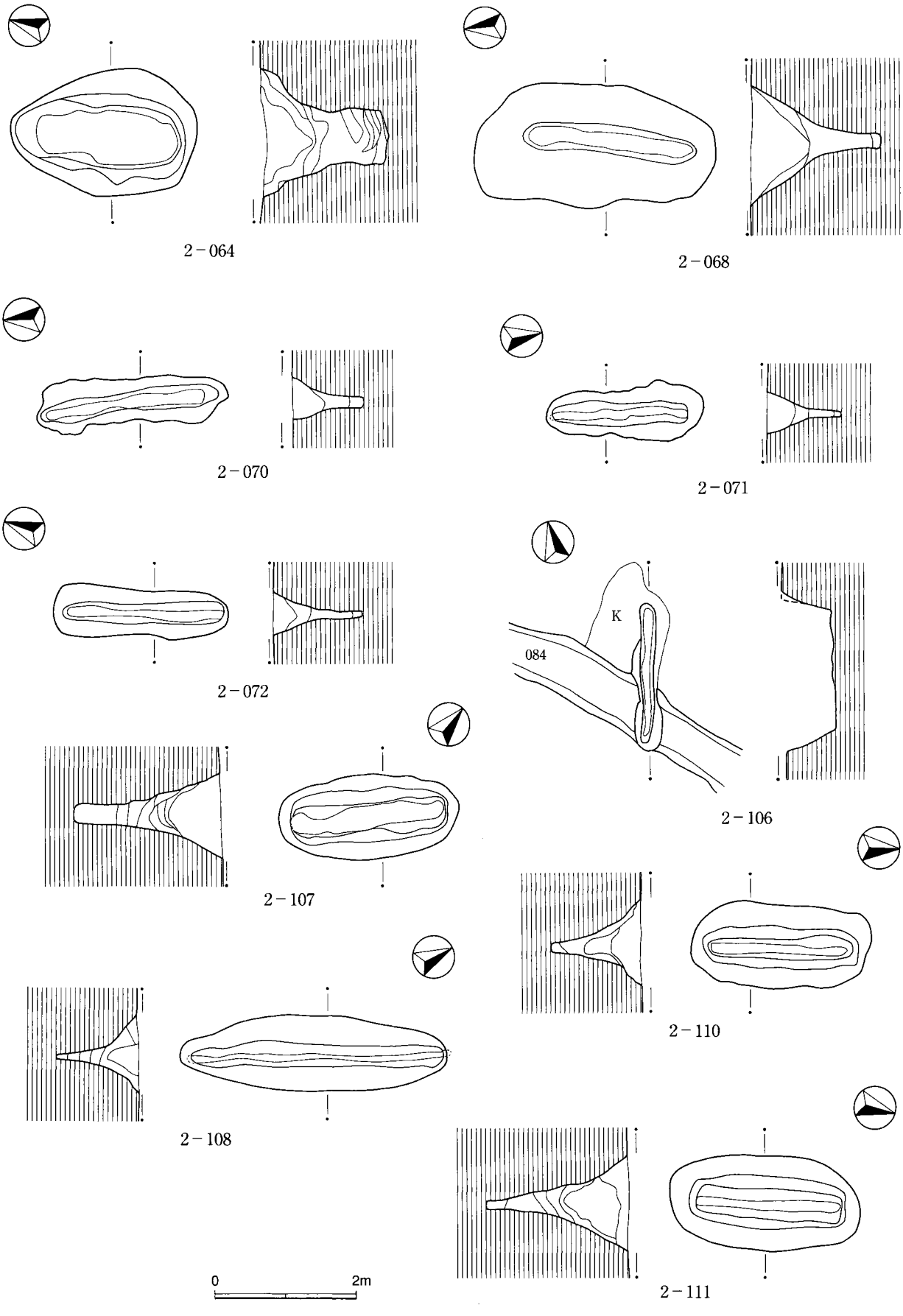
J15・K15グリッドに位置する。検出面での長さ2.56m，最大幅1.2m，底面での長さ2.2m，最大幅0.34mで，深さは2.08mを測る。覆土は大きく2層に分かれ，上部から中部には黒褐色土，下部にはロームブロックが堆積していた。

遺物は出土しなかった。

2－108（第280図）

H17・I17グリッドに位置する。検出面での長さ3.76m，最大幅1.08m，底面での長さ3.76m，最大幅0.1mで，深さは1.16mを測る。長軸方向の壁は，わずかに下部が広がり，袋状を呈する。覆土は大きく2層に分かれ，上部には明褐色土，下部にはロームブロックを多く含む黒褐色土が堆積していた。

遺物は出土しなかった。



第280図　陥穴（３）

2－110（第280図）

F25グリッドに位置する。検出面での長さ2.56m，最大幅1.2m，底面での長さ1.92m，最大幅0.16mで，深さは1.28mを測る。覆土は大きく2層に分かれ，上部には黒色土，中部以下には暗褐色土が堆積していた。

遺物は出土しなかった。

2－111（第280図）

F24・F25グリッドに位置する。検出面での長さ2.7m，最大幅1.36m，底面での長さ2m，最大幅0.16mで，深さは2.04mを測る。覆土は大きく2層に分かれ，上部には黒色土，下部にはロームブロックを多く含む暗褐色土が堆積していた。

遺物は出土しなかった。

2　遺構外出土土器（第281～283図）

今回の調査では，遺構に伴ったものではない縄文土器が出土している。整理箱3箱ほどの量であるので，ここでは第1地区・第2地区出土のものをあわせて説明を加える。

第1群　早期の土器

第1類　撚糸文系土器（第281図1～6）

1は口唇断面が丸頭状で，口縁部がやや外側に反っている。文様は，口縁下1.2cmのところから縦位の撚糸文が施されている。なお，撚糸文の施文圧は弱く，条間は広い。稲荷台式土器である。

2は口唇断面が丸頭状で，口縁部が直線的に立ち上がっている。文様は，口縁下1.7cmのところから縦位の撚糸文が施されている。なお，撚糸文の施文圧は弱く，条間は広い。稲荷台式土器である。

3は口唇断面が角頭状で，口縁部がやや外側に反っている。文様は，口縁下2.2cmのところから斜位の撚糸文が施されている。なお，撚糸文の条間は広い。稲荷台式土器である。

4は口唇断面が丸頭状で，口縁部がやや外側に反っている。文様は，口縁下0.5cmのところから縦位の撚糸文が施されている。なお，撚糸文の条間は狭く，器表面が凸凹しているため疎らに施文されている。夏島式～稲荷台式土器である。

5の文様は，条間の広い撚糸文が羽状に施されている。なお，撚糸文が部分的に磨消されている。稲荷台式土器である。

6の文様は，条間の広い撚糸文が斜位に施されている。稲荷台式土器である。

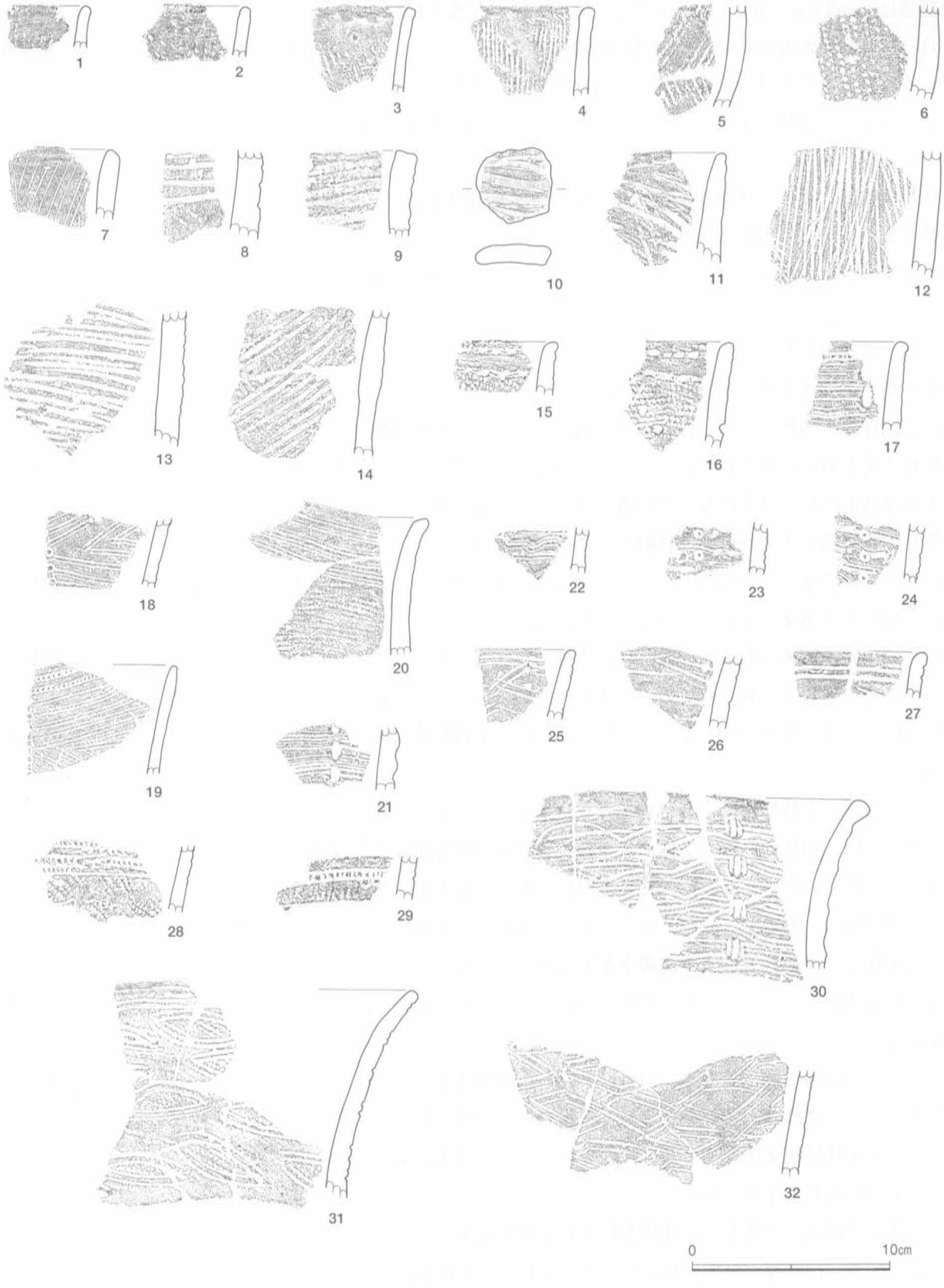
第2類　沈線文系土器（第281図7～13）

7は口唇断面が外削ぎ状で，口縁部がやや外側に反っている。文様は，集合細沈線文が鋸歯状に描かれている。なお，内外面とも丁寧に研磨され，外面は赤彩されている。田戸下層式土器である。

8は，底部付近の破片である。文様は，平行する沈線文が横位に施されている。田戸下層式土器である。

9は口唇断面が角頭状で，口縁部がやや外側に反っている。文様は，平行する太沈線文が横位に施されている。なお，太沈線文の条間が狭いため，微隆起線文を作り出しているようである。胎土中に多量の小石を含み，外面がザラザラしている。三戸式土器である。

10は，土器片製円板である。周縁は，粗割りの状態である。文様は，平行する太沈線文が施されている。


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
0
10cm

第281図　縄文土器（1）

計測値は，径3.7cmで重さ16.6ｇを測る。田戸下層式土器である。

11は口唇断面が丸頭状で，口縁部が直線的に立ち上がっている。文様は，斜位の条痕文が乱雑に施されている。胎土中に多量の小石を含み，外面がザラザラしている。三戸式～田戸下層式土器である。

12の文様は，斜位の条痕文が交叉している。なお，内外面とも研磨されている。三戸式～田戸下層式土器である。

13の文様は，横位の沈線文が雑に施されている。田戸下層式土器である。

第３類　条痕文系土器（第281図14）

14の文様は，条痕文が斜位に施されている。胎土中に多量の繊維が含まれている。

第２群　前期の土器

第１類　黒浜式土器（第281図15・16）

15と16は同一個体である。口縁部は，口唇のところでやや外側に反っている。文様は縄文を地文とし，円形刺突文が斜位に施されている。また，口唇に沿って，２列の押引文が巡っている。その押引文と押引文の間は磨消され，無文になっている。胎土中に多量の繊維が含まれている。

第２類　諸磯ａ式土器（第281図17～32・第282図33～53）

17の口唇は肥厚し，口唇のところがやや外側に反っている。文様は，半截竹管による平行沈線文を地文とし，縦長の刺突文が垂下している。また，肥厚している口唇に沿って，１列のＤ字爪形文が巡っている。

18と19は同一個体である。口縁部は，直線的に立ち上がっている。文様は円形竹管文が垂下し，半截竹管による菱形助骨文が施されている。また，口唇に沿って，沈線を伴う２列のＣ字爪形文が巡っている。

20の口縁部は，外側に反っている。口縁部文様が半截竹管による平行沈線文で，頸部文様が横位の縄文である。

21の文様は，半截竹管による平行沈線文を地文とし，縦長の刺突文が垂下している。

22と24は同一個体である。文様は，半截竹管による平行沈線文と波状文が交互に施されており，円形竹管文が垂下している。また，23の文様も同様である。胎土中に多量の小石が含まれている。

25の口縁部は，直線的に立ち上がっている。文様は，半截竹管による菱形文が施されている。

26の文様は，半截竹管による沈線文が下弧状に描かれている。

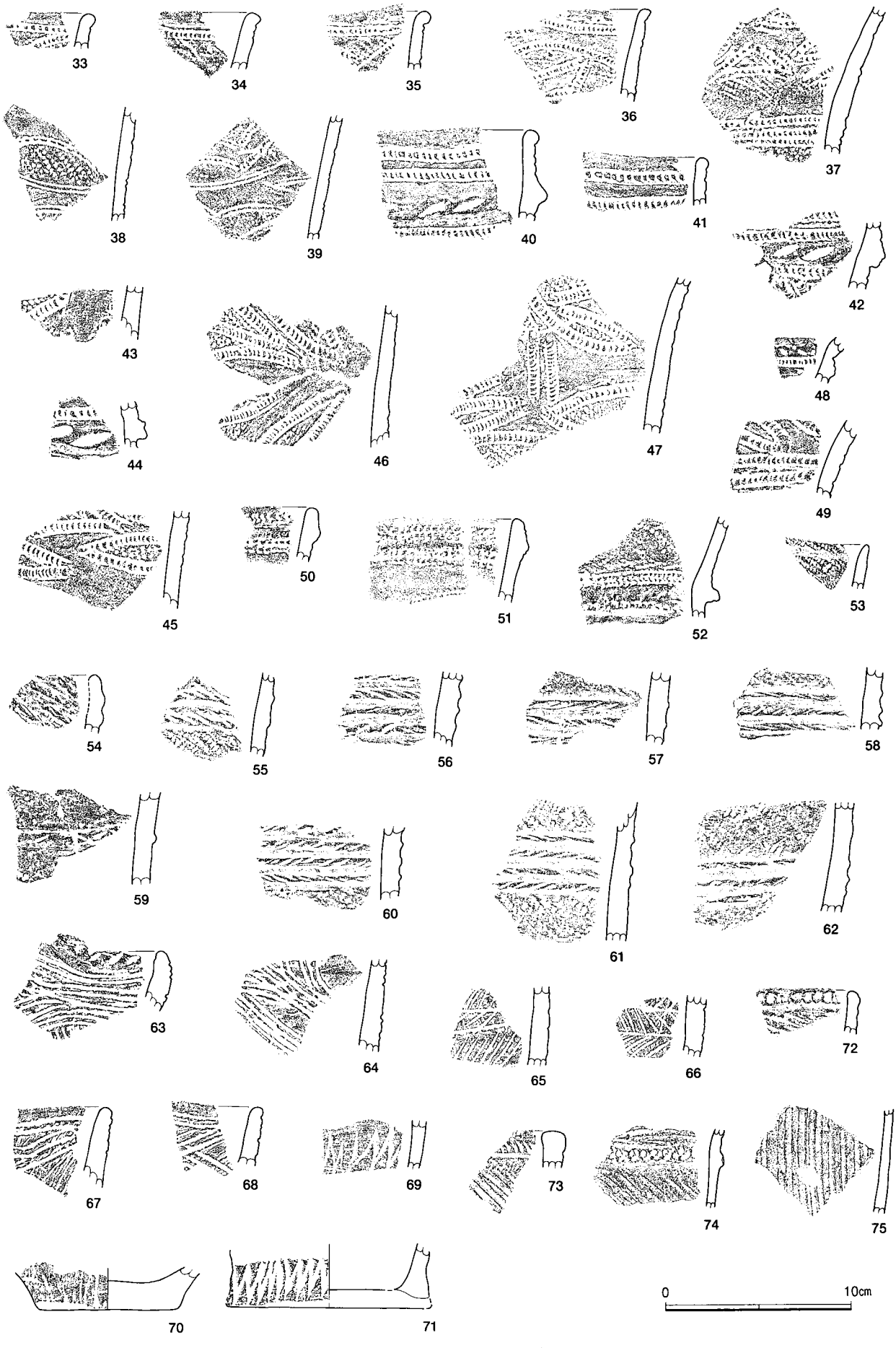
27の口縁部は，口唇のところでやや外側に反っている。文様は，口唇に沿って，半截竹管による平行沈線文が巡っている。

28・33～37は同一個体である。口唇は肥厚し，口縁部が外側に反りながら，口唇のところでやや外側に屈曲している。文様は，頸部のところで沈線を伴う３列のＣ字爪形文を巡らし，口縁部文様を区画している。口縁部文様は縄文を地文とし，沈線を伴うＣ字爪形文による木葉文や三角形文が施されている。胎土中に多量の小石が含まれている。

29の文様は縄文を地文とし，沈線を伴うＣ字爪形文が巡っている。

30は平縁で，口縁部が外側に反っている。文様は，半截竹管による平行沈線文と波状文が交互に施されており，３条を一単位とする短沈線文が垂下している。

31は平縁で，口縁部が外側に反っている。文様は縄文を地文とし，半截竹管による木葉文が施されている。なお，ひとつひとつの木葉文は分離し，木葉文の外側は磨消され，内側だけに縄文が残るようにして


33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
46
47
48
49
45
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
72
67
68
69
73
74
75
70
71
0
10cm

第282図　縄文土器（2）

いる。胎土中に多量の小石が含まれている。

32の文様は，半截竹管による菱形文が施されている。なお，内外面とも丁寧に研磨されている。

38と39は同一個体である。文様は縄文を地文とし，半截竹管による木葉文が施されている。なお，木葉文が沈線を伴うC字爪形文で部分的に描かれているものもある。胎土中に多量の小石が含まれている。

40～47は同一個体である。口唇は肥厚し，口縁部が外側に反っている。文様は，口縁下3.5cmのところに棒状工具で斜位に押圧した刻目を有する隆帯文が1本巡り，口縁部文様を上下に二分している。そして，上部の文様は沈線を伴う幅広のC字爪形文が2列巡り，下部の文様は縄文を地文とし，沈線を伴う幅広のC字爪形文による木葉文が施されている。なお，木葉文の外側は，縄文が丁寧に磨消されている。胎土中に多量の小石が含まれている。

48の文様は，棒状工具で斜位に押圧した刻目を有する隆線文と沈線を伴うC字爪形文が施されている。

49の文様は，沈線を伴う幅広のC字爪形文が施されている。胎土中に多量の小石が含まれている。

50～52は同一個体である。口縁部は外側に反っている。文様は，頸部のところにC字爪形文が沿う隆線文を1本巡らせ，口縁部文様を区画している。口縁部文様は縄文を地文とし，C字爪形文が施されている。また，口縁下1.5cmのところに1本の隆線文が巡り，C字爪形文が上下2列ずつ沿っている。胎土中に多量の小石が含まれている。

53は，薄手の口縁部片である。文様は，縄文が施されている。

第3類　諸磯b式土器（第282図54～62）

54～62の文様は縄文を地文とし，斜位の刻目を有する浮線文が施されている。なお，60と61は同一個体であり，浮線文上の刻目は1本1本斜位の方向を変えている。胎土中に多量の小石が含まれている。

第4類　諸磯c式土器（第282図63～66）

63と64は同一個体である。波状口縁で，口縁部が内側に湾曲している。文様は，半截竹管による集合沈線文が曲線的に描かれている。また，口唇には棒状工具で斜位に押圧した刻目文が施されている。

65と66の文様は，横走する平行沈線文の間を斜位の沈線文が充填している。66の文様は，葉脈のように描かれている。なお，沈線文はヘラ状工具によるものである。

第5類　浮島式土器（第282図67～71・第283図76）

67と68は同一個体である。文様は撚糸文を地文とし，半截竹管による平行沈線文が施されている。また，口縁に沿って，半截竹管による有節平行線文が巡っている。浮島Ⅰ式土器である。

69の文様は，無肋の波状貝殻文が施されている。浮島Ⅱ式土器である。

70と71は底部片である。文様は，ともに無肋の波状貝殻文が施されている。推定底径は，70が7.8cm，71が11.1cmである。浮島Ⅱ式土器である。

76は平縁で，推定口径34.0cmの深鉢形土器である。口縁部は外側に反っており，折返し口縁になっている。また，棒状工具で斜位に押圧した刻目のある把手を有する。口縁部文様は有肋の波状貝殻文を地文とし，半截竹管による鋸歯状文と平行沈線文が施されている。また，把手のところから棒状工具による刺突文が垂下している。胴部文様は，有肋の波状貝殻文が施されている。浮島Ⅰ式土器である。

第283図　縄文土器（３）

第３群　後期の土器

第１類　加曽利Ｂ式土器（第282図72）

72は粗製土器である。文様は縄文を地文とし，斜位の条線文が雑に施されている。また，口縁に沿って，棒状工具で押圧された圧痕文を有する紐線文が１本巡っている。

第２類　安行式土器（第282図73～75）

73は粗製土器である。器厚は，口唇が厚く，胴部へ行くにしたがって薄くなっている。文様は条線文を地文とし，口縁に沿って沈線で区画された爪形文が巡っている。安行１式土器である。

74は粗製土器である。文様は条線文を地文とし，頸部に刺突文を有する紐線文が巡っている。安行２式土器である。

75は粗製土器である。文様は，縦位の条線文が施されている。安行２式土器である。

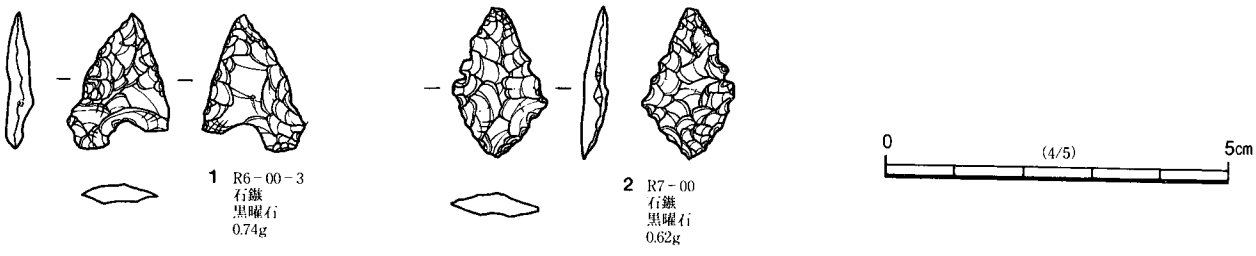
３　遺構外出土石器（第284図）

遺構に伴ったものではない縄文時代出土石器が数点出土している。そのうち，図示できる主要な石器は，石鏃の２点である。

１は全体形状が正三角形を呈し，右脚部が欠損している。

２は全体形状が菱形をしている。調整剥離が，器体の奥まで入りこんでいる。

いずれも単独出土に近い分布を示し，集中地点は限定できなかった。



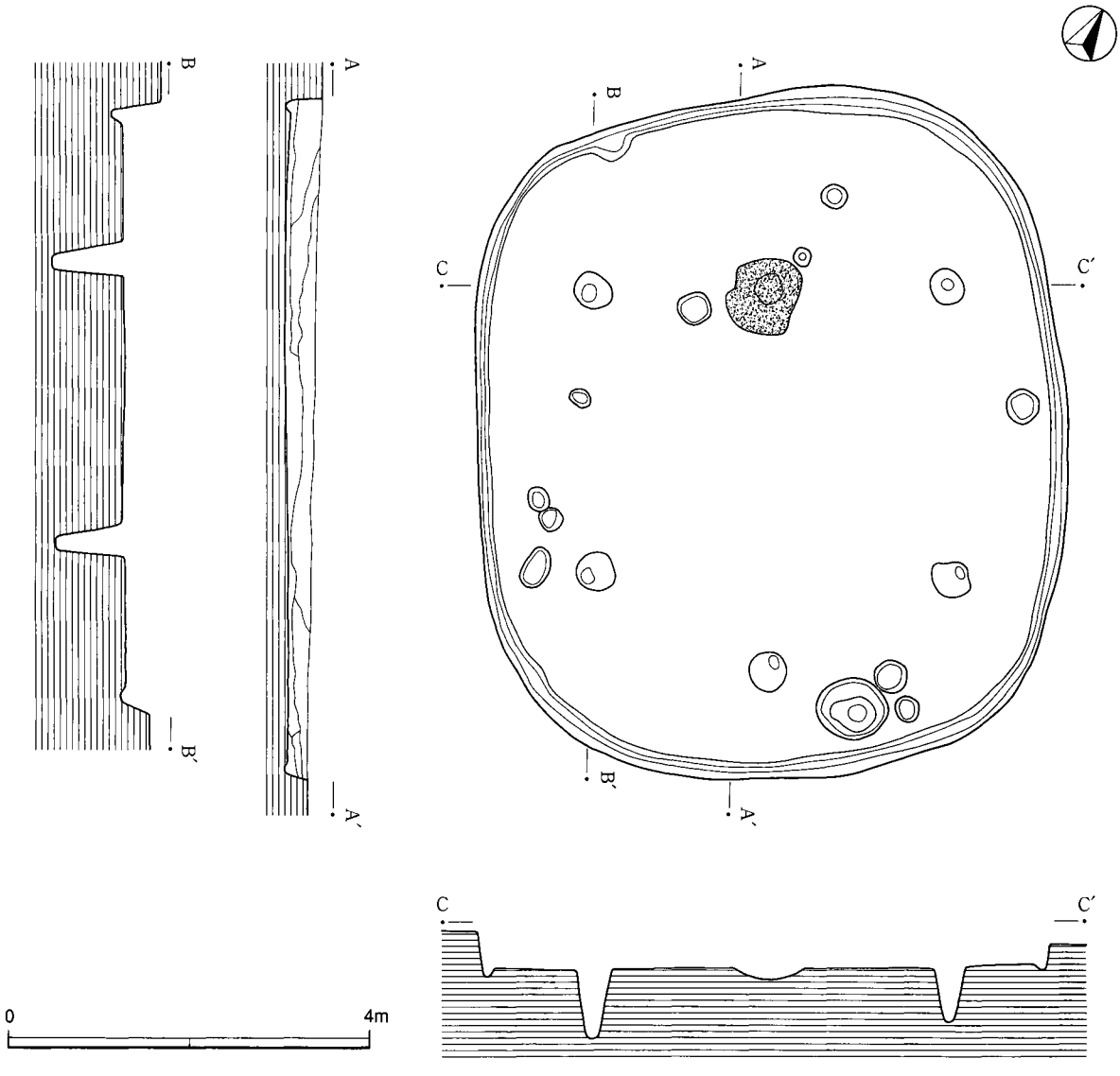
第284図　縄文時代出土石器

第3節　弥生時代の遺構と遺物

1　竪穴住居跡

2－001（第285・286図，図版5）

調査区南部，D30～E30グリッドに位置する。規模は7.6m×5.4mで，隅丸長方形を呈する。床面は平坦であるが，顕著な硬化面はみられなかった。覆土は黒褐色土を主体とするもので，上部にはロームブロック，下部には炭化物や焼土が多く含まれていた。壁高は20cm～40cmを測る。周溝は全周し，深さ約7cm～10cmを測る。ピットは16か所検出された。このうち柱穴は4か所で，径約40cm，深さ約50cm～77cmを測る。配置は比較的整然としている。南東壁際の，やや大きめの段状を呈するピットは貯蔵穴とみられる。長軸径約80cm，短軸径約60cm，深さ約11cmを測る。中央部のピットはさらに15cmほど深くなる。その西側に位



第285図　2－001（1）

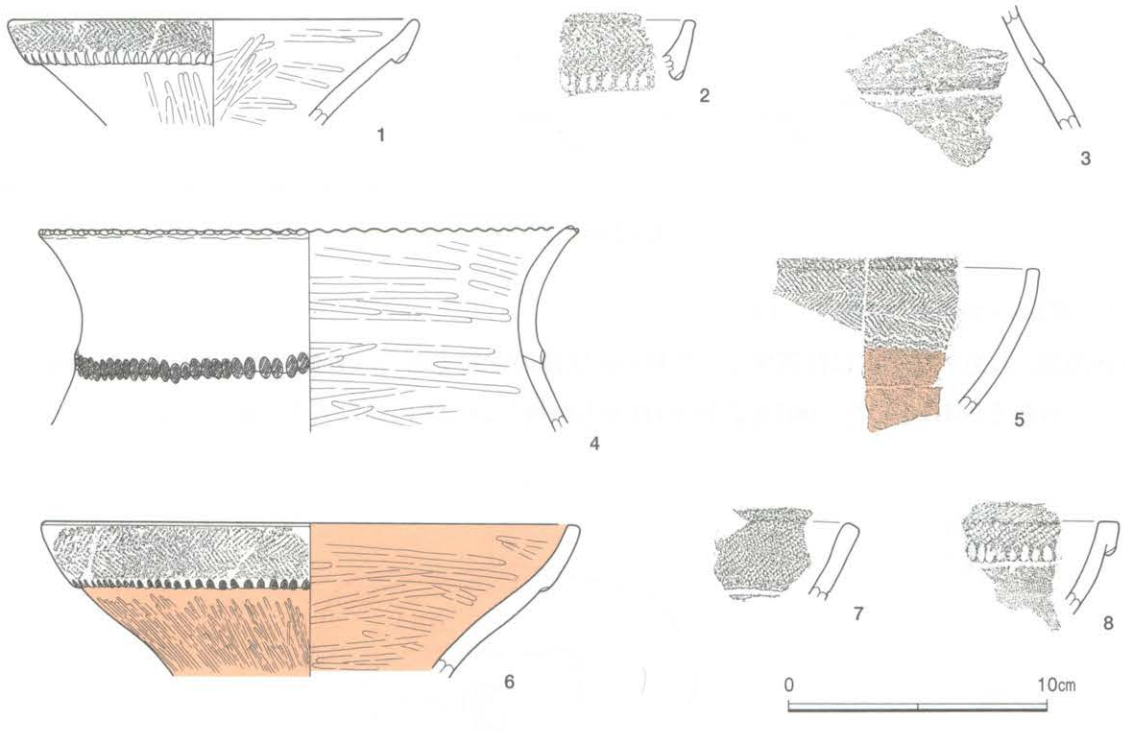
置するピットは，径40cm，深さ37cmを測り，梯子ピットと考えられる。そのほかのピットは，５cm～10cm程度の深さで，規模や位置に規則性がなく，用途は不明である。炉は，中央やや北西寄りに位置する。不整な円形を呈し，長軸径90cm，短軸径80cmを測る。深さは最大約11cmを測り，焼土・灰を含む黒褐色土が堆積していた。南東壁際からややまとまって遺物が出土している。

遺物は，土器８点を図示した。

１・２は壺で，口縁部には縄文が施され，下端には押捺が加えられる。１の内外面はヘラミガキされる。

３・４は甕である。３は頸部下端に輪積み痕を残す。４の口唇部には押捺が加えられる。頸部下端に輪積み痕を残し，棒状工具による押捺が加えられる。内面はヘラミガキされる。

５～８は鉢である。５の口縁部には，羽状縄文とＳ字状結節文が施される。施文部以外の外面と内面はヘラミガキされ，赤彩される。６の口縁部には，羽状縄文が施され，下端には棒状工具による押捺が加えられる。施文部以外の外面と内面はヘラミガキされ，赤彩される。７の口縁部には縄文が施され，沈線で区画される。８の口縁部には縄文が施され，下端には刻み目が加えられる。



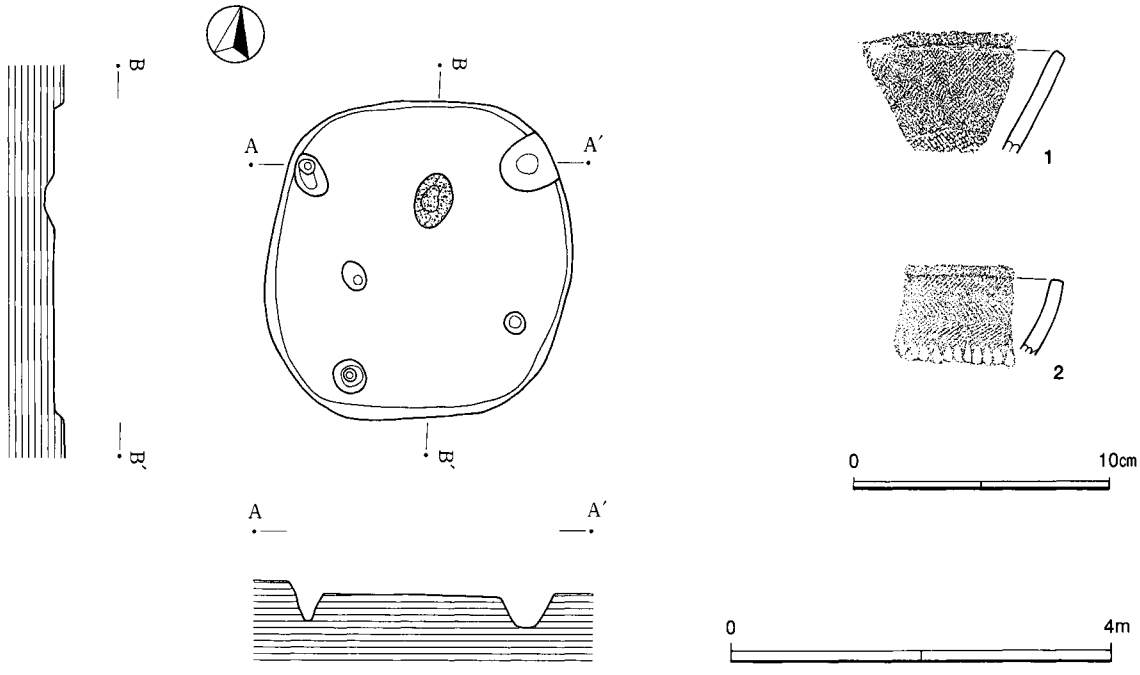
第286図　２－001（２）

２－003（第287図，図版５）

調査区南部，D29グリッドに位置する。規模は，一辺が約3.2mの胴張りの隅丸方形を呈する。床面はほぼ平坦であるが，顕著な硬化面はみられなかった。覆土は焼土ブロック含む黒色土を主体とするものである。壁高は10cm前後と低い。ピットは５か所検出された。深さは10cm～28cmと浅く，規模や位置に規則性がなく，柱穴になる可能性は低い。炉は中央やや北寄りに位置する。楕円形を呈し，長軸径約60cm，短軸径約40cm，深さ約11cmを測る。覆土中の焼土の量は少ないが，火床は良く焼け，赤化していた。

遺物は，土器２点を図示した。

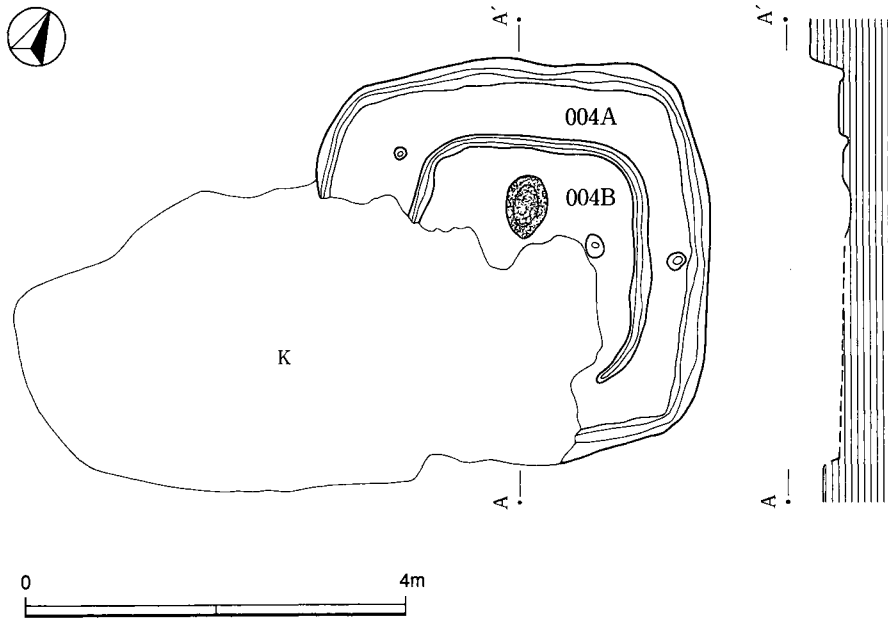
１・２は鉢で，いずれも口縁部に縄文が施されるものである。２の口縁部下端には刻み目が加えられる。内面はヘラミガキされ，赤彩される。



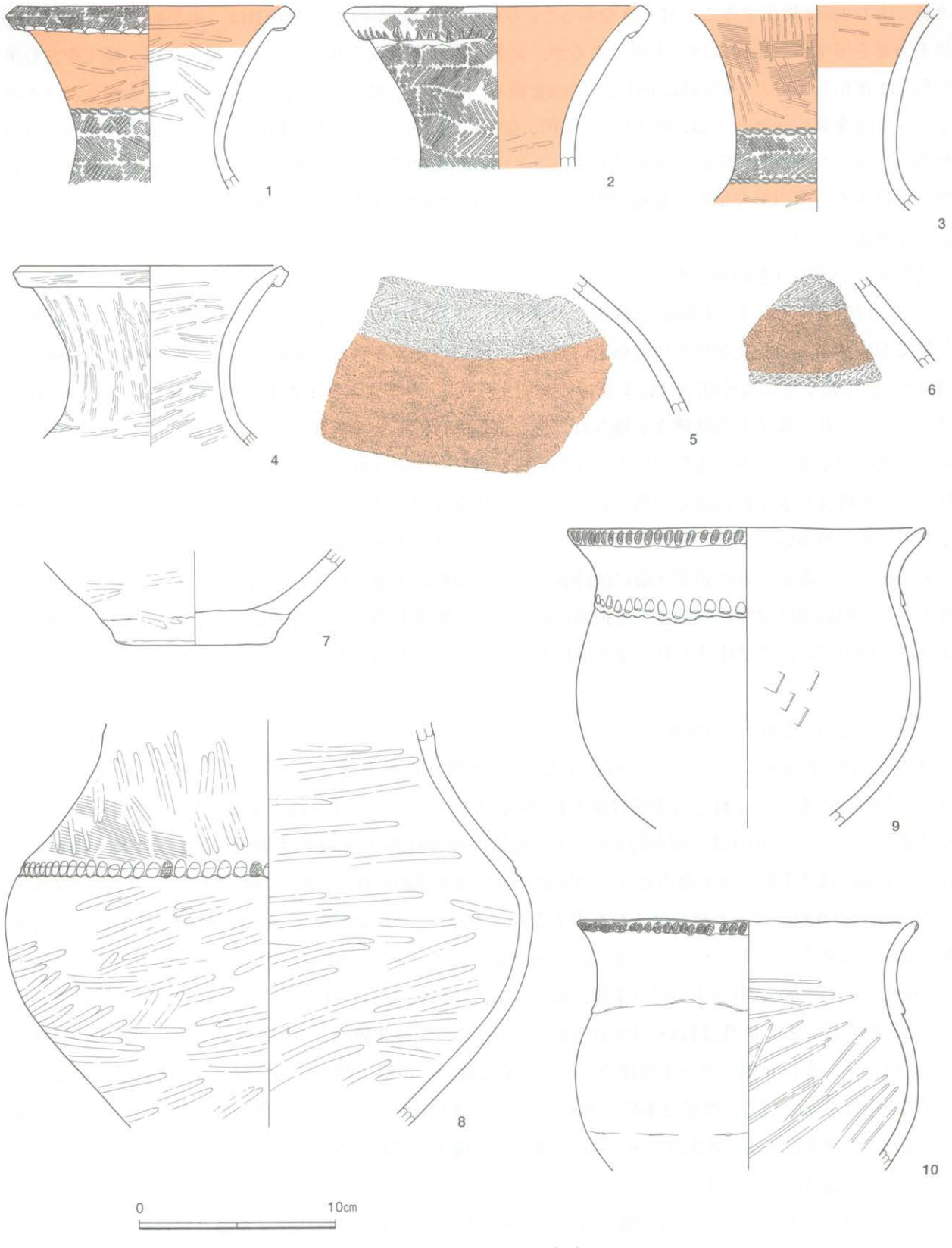
第287図　２－003

２－004（第288・289図，図版５・49）

調査区南部，D30グリッドに位置する。２軒の住居跡の重複である。外側の大きい住居跡を004A，内側の小さい住居跡を004Bとした。004Aより004Bの方が新しい。南西側に大きな撹乱が入っているために，



第288図　２－004（１）



第289図　2－004（2）

2軒とも1/2弱は検出することはできなかった。004Aは，一辺が約4m，004Bは一辺が約2.5mのいずれも隅丸方形を呈する。床面はほぼ平坦であるが，顕著な硬化面はみられなかった。覆土には，焼土を含む黒褐色土が堆積していた。壁高は，004Aは30cmを測る。2軒とも周溝は全周するものと考えられる。深さは，2cm～3cmを測る。ピットは，004Aで2か所，004Bで1か所の計3か所検出された。深さは10cm～37cmを測る。規模も小さく，位置に規則性もないことから，柱穴になる可能性は低い。炉は004Bの中央やや北側に位置する。楕円形を呈し，長軸径約60cm，短軸径約40cm，深さ約8cmを測る。焼土粒を多く含む黒褐色土が堆積していた。

遺物は，土器10点を図示した。

1～7は壺である。1の口縁部には縄文が施され，下端には押捺が加えられる。頸部にはS字状結節文と縄文が施される。施文部以外の外面と口縁部内面はヘラミガキされ，赤彩される。2の外面には縄文が施され，口縁部下端には棒状工具による押捺が加えられる。内面はヘラミガキされ，赤彩される。3の頸部外面にはS字状結節文と羽状縄文が施され，施文部以外は，ハケ調整後ヘラミガキされ，赤彩される。内面上半はヘラミガキされ，赤彩される。4の口縁部はヨコナデされ，頸部はヘラミガキされる。5・6は外面に羽状縄文とS字状結節文が施されるもので，施文部以外はヘラミガキされ，赤彩される。同一個体である可能性が高い。7は底部で，内外面ともに粗くヘラミガキされる。

8～10は甕である。8の頸部下端には棒状工具による押捺が加えられる。内外面とも粗くヘラミガキされる。9の口縁部には棒状工具による押捺が加えられ，頸部下端には刺突が加えられる。内面はヘラナデされる。10の口縁部には棒状工具による押捺が加えられる。内面はナデの後粗くヘラミガキされる。

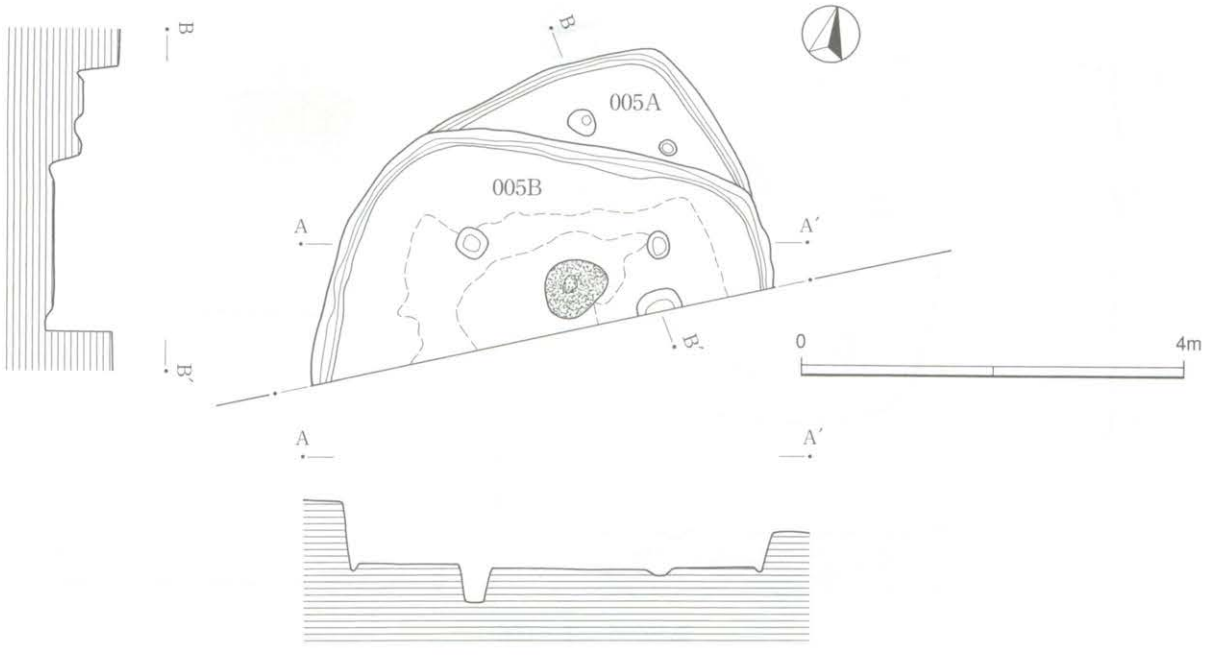
2－005（第290・291図，図版6）

調査区南部，E30・E31グリッドに位置する。2軒の住居跡の重複である。北側のものを，005A，南側のものを005Bとした。2軒とも南側は調査範囲外に及んでおり，全体を調査することはできなかったが，検出部分からして，005Aは一辺が約3.4m，005Bは一辺が約4.2mのいずれも隅丸方形を呈するものと思われる。床面はほぼ平坦で，005Bのピットの周辺に硬化面が認められた。覆土は暗茶褐色土を主体とするもので，005Bの方が，ローム粒や焼土粒を多く含む。壁高は，005Aは30cm，005Bは60cmを測る。2軒とも周溝は全周するものと考えられる。深さは3cmを測る。ピットは，005Aで2か所，005Bで3か所の計5か所検出された。005Aの2本のピットは，深さ5cm，11cmを測る。規模も小さく，位置に規則性もないことから，柱穴になる可能性は低い。005Bのピットのうち，炉の北側の2本のピットは，位置からして柱穴の可能性が高いが，東側のピットは深さ5cmと極めて浅い。西側は深さ37cmを測る。調査範囲際で検出されたピットは7cmと浅く，性格は不明である。炉は005Bの中央やや北側に位置する。楕円形を呈し，長軸径約70cm，短軸径約55cm，深さ約5cmを測る。覆土中の焼土の量は少ないが火床はよく焼け，赤化していた。

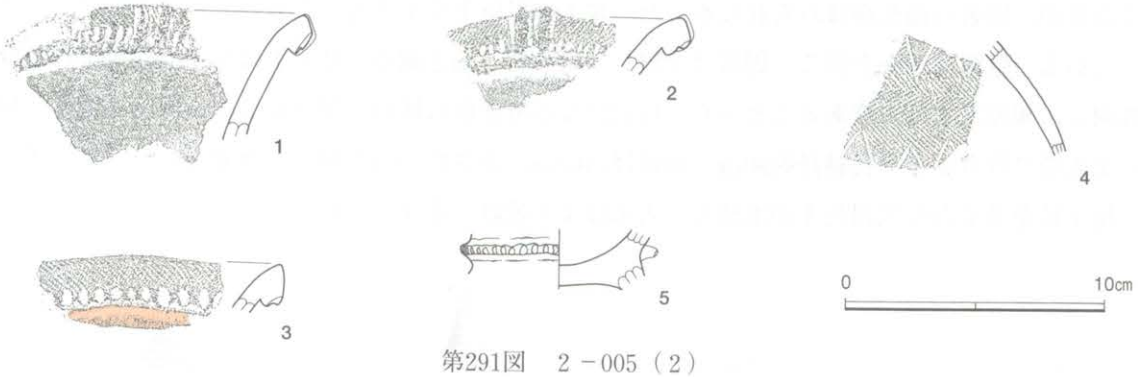
遺物は，土器5点を図示した。

1～4は壺である。1・2の口縁部には縄文が施され，2本1組の棒状浮文が貼り付けられる。下端には刻み目が加えられる。2の内面は赤彩される。3の口縁部には縄文が施され，下端には棒状工具による押捺が加えられる。頸部外面と内面は赤彩される。4の外面には縄文が羽状に施され，沈線で山形文に区画するものである。施文部以外は赤彩される。

5は高杯の接合部で，突帯には刻み目が加えられる。



第290図　2－005（1）



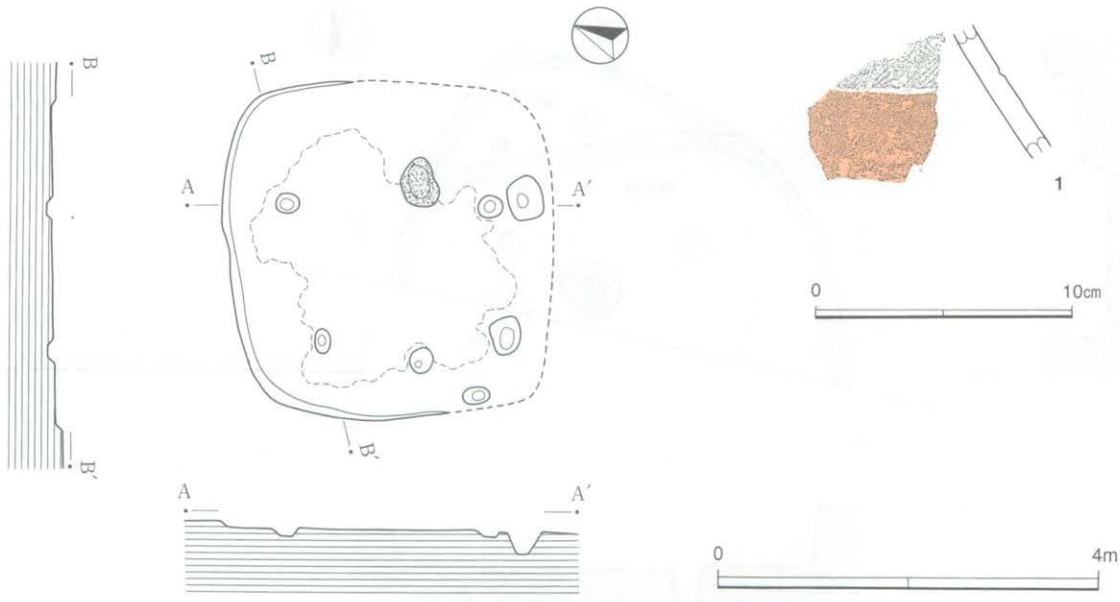
第291図　2－005（2）

2－006（第292図，図版6）

調査区南部，E30グリッドに位置する。遺存状況が悪く，東壁から南壁部分は検出することができなかった。一辺が約3.6mの隅丸方形を呈するものと考えられる。床面はほぼ平坦で，中央部には硬化面が認められた。覆土は黒色土の単一層であった。壁高は10cm弱である。ピットは7か所検出された。柱穴と考えられるものは4か所であるが，配置がやや不規則で，深さも6cm～11cmと浅い。炉を通る中軸線上のものは梯子ピットと考えられる。深さ18cmを測る。炉は中央やや東側に位置する。不整な楕円形を呈し，長軸径約55cm，短軸径約40cm，深さ約10cmを測る。焼土粒を多く含む黒褐色土が堆積していた。

遺物は，土器1点を図示した。

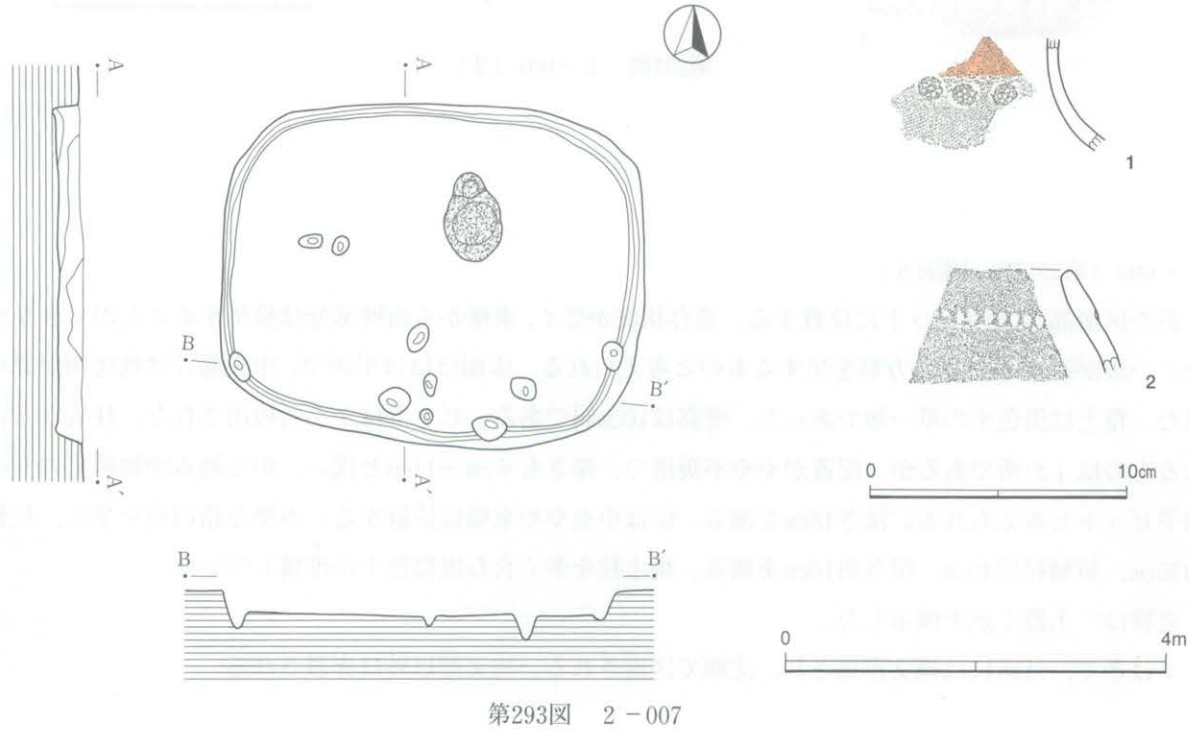
1は壺で，外面には縄文が施され，沈線で区画される。施文部以外は赤彩される。



第292図　2－006

2－007（第293図，図版6）

調査区南部，D29・E29グリッドに位置する。規模は4.4m×3.6mで，隅丸長方形を呈する。床面はほぼ平坦であるが，顕著な硬化面はみられなかった。覆土は黒色土を主体としたもので，ロームブロックを含むものである。壁高は20cmを測る。周溝は全周し，深さ約3cmを測る。ピットは10か所検出された。配置が不規則で，規模もまばらであることから，柱穴になる可能性は低い。深さは5cm～29cmを測る。炉は中央やや北東側に位置する。長軸径約90cm，短軸径約60cm，深さ約23cmを測り，南北方向に長い楕円形を呈する。焼土粒を多く含む黒褐色土が堆積し，火床はよく焼け，赤化していた。



第293図　2－007

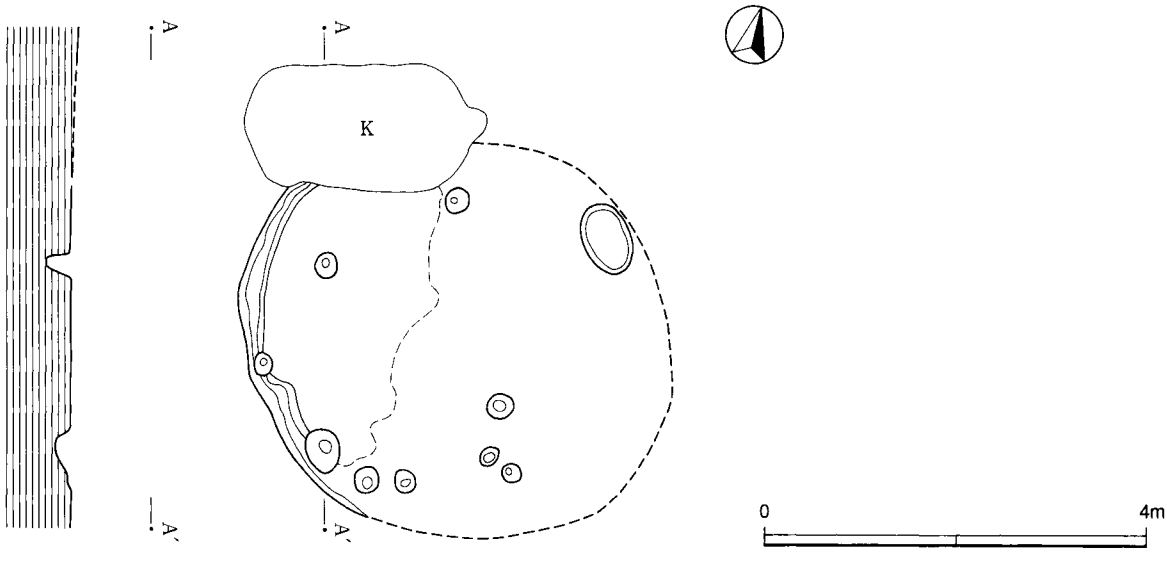
遺物は，土器２点を図示した。

１は壺で，Ｓ字状結節文と羽状縄文が施され，刺突のある円形浮文が貼り付けられるものである。施文部以外はヘラミガキされ，赤彩される。

２は無頸壺で，口縁部には縄文が施され，下端には棒状工具による押捺が加えられる。

２－009（第294図，図版７）

調査区南部，D30グリッドに位置する。遺存状態が悪く，西側2/5ほどを検出できたのみである。遺存部分からして，約４ｍほどの楕円形を呈すると思われる。床面はほぼ平坦である。覆土は黒色土の単一層であった。周溝は，検出部分では全周し，深さ約３cmを測る。ピットは10か所検出された。配置が不規則で，規模もまばらであることから，柱穴になる可能性は低い。深さは８cm～23cmを測る。炉は検出されなかった。遺物は，図示可能なものはなかった。



第294図　２－009

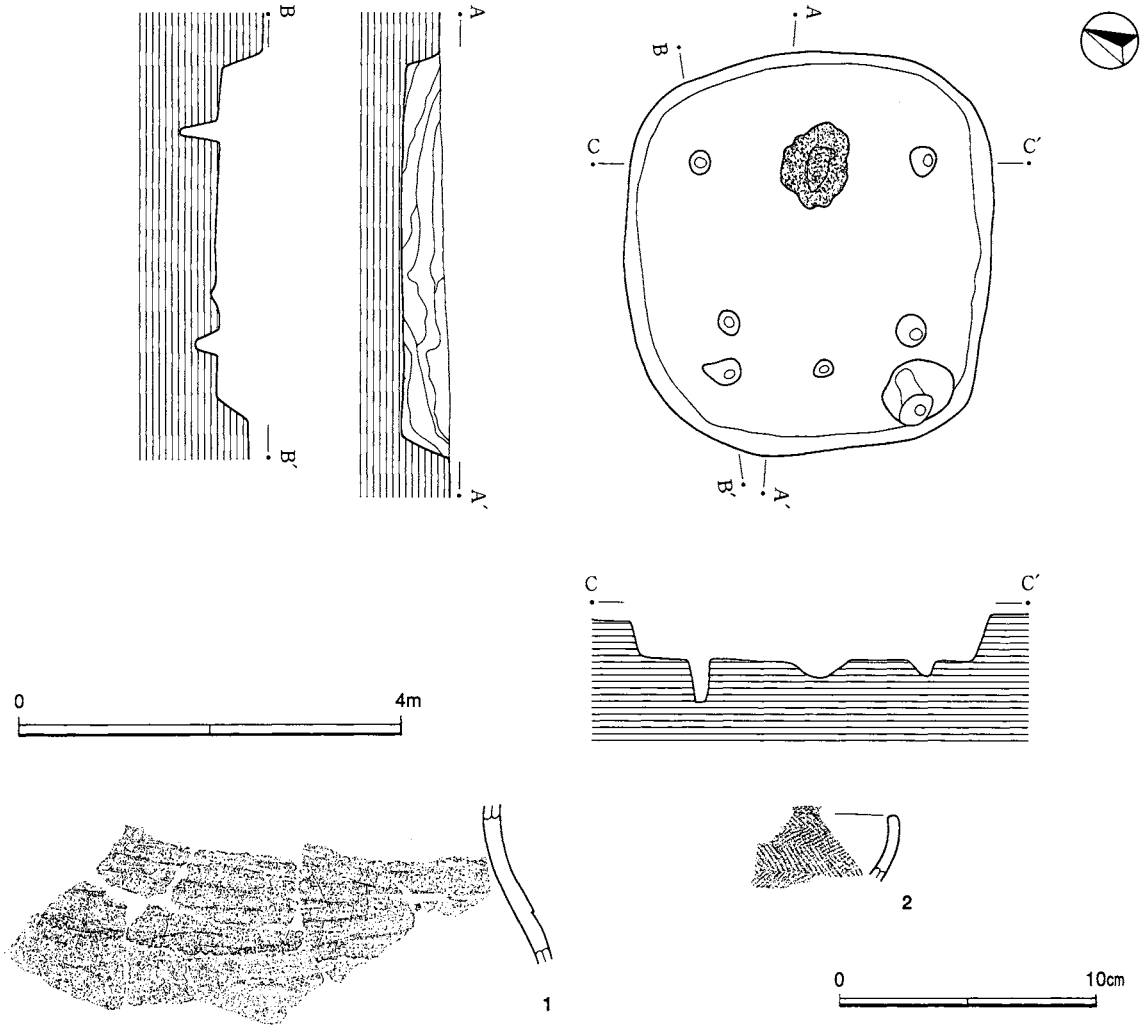
２－021（第295図，図版７・49）

調査区南部，E30グリッドに位置する。規模は4.2ｍ×3.8ｍの隅丸のやや長方形を呈する。床面はほぼ平坦であるが，顕著な硬化面はみられなかった。覆土は黒色土を主体としたもので，壁際には暗黄褐色土が堆積していた。壁高40cm～50cmを測る。ピットは７か所検出された。ほぼ規則的に配置される４か所が柱穴と考えられるが，西側のものは位置もずれ，深さ８cmと極めて浅く，柱穴とするには疑問が残る。残り３か所は22cm～48cmを測る。南側コーナー部分のピットは，深さ26cmを測り，貯蔵穴と考えられる。炉を通る中軸線上に位置するピットは，深さ15cmを測り，梯子ピットと考えられる。炉は中央やや東側に位置する。長軸径約90cm，短軸径約70cm，深さ約20cmを測り，不整な楕円形を呈する。黒褐色土が堆積し，火床はよく焼け，赤化していた。

遺物は，土器２点を図示した。

１は甕で，頸部に輪積み痕を残す。

２は鉢で，口縁部には縄文が施される。



第295図　2－021

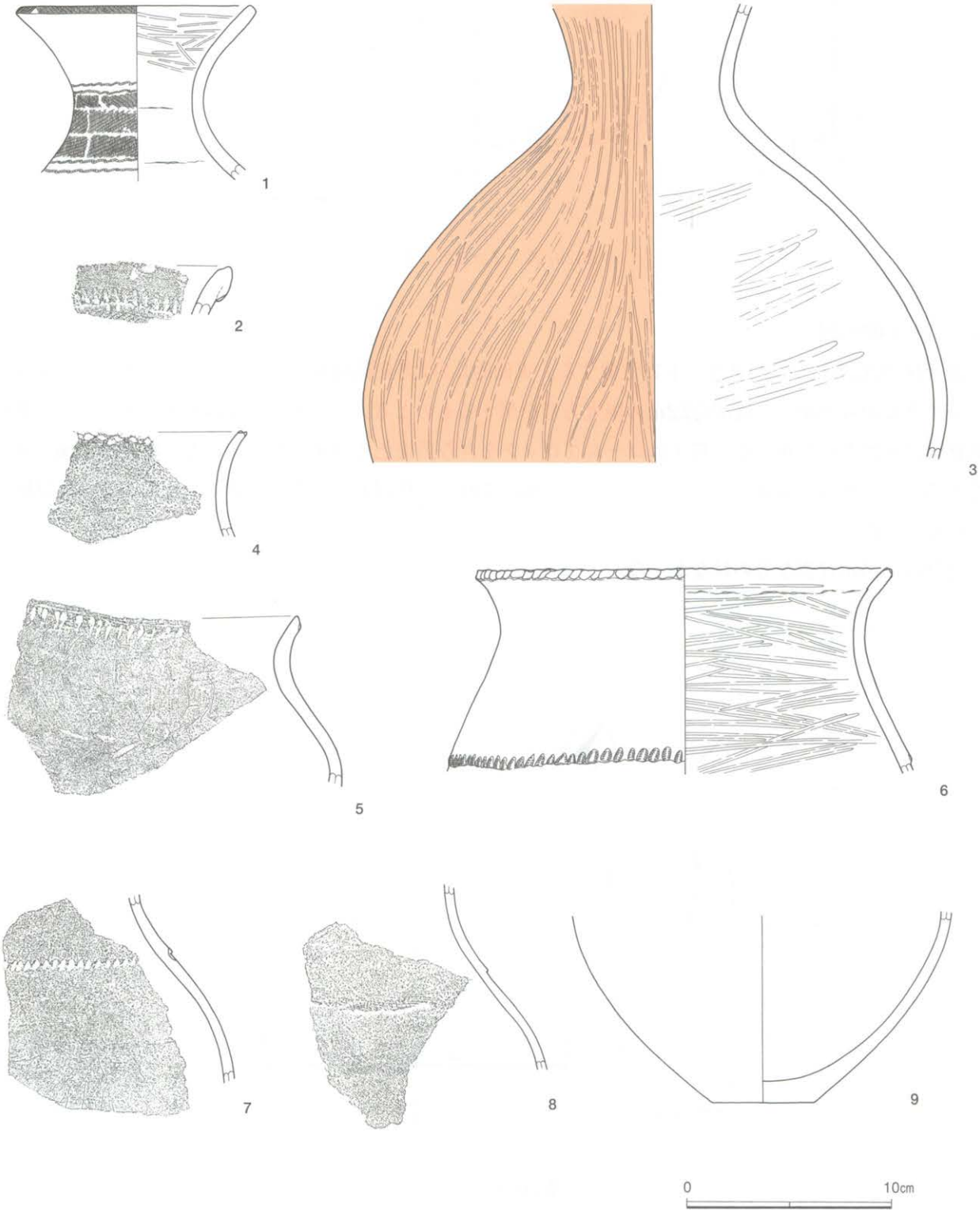
2－025（第296・297図，図版7・49）

調査区南部，E30グリッドに位置する。南側約1/4は調査範囲外に及んでおり，全体を調査することができなかったが，一辺が約3.2mの隅丸方形を呈するものと考えられる。床面は凹凸が激しく，顕著な硬化面は検出されなかった。覆土は上層がロームブロックを含む黒褐色土，下層はロームブロックを多量に，炭化物や焼土をも含む黒褐色土を主体とする。壁高は60cm弱を測る。周溝は全周し，深さ約6cmを測る。ピットは9か所検出された。いずれも浅く（2cm～11cm），配置もまばらであることから，柱穴になる可能性は低い。炉は中央やや北側に位置する。長軸径約50cm，短軸径約40cmを測り，不整な楕円形を呈する。焼土が堆積し，火床はよく焼け，赤化していた。

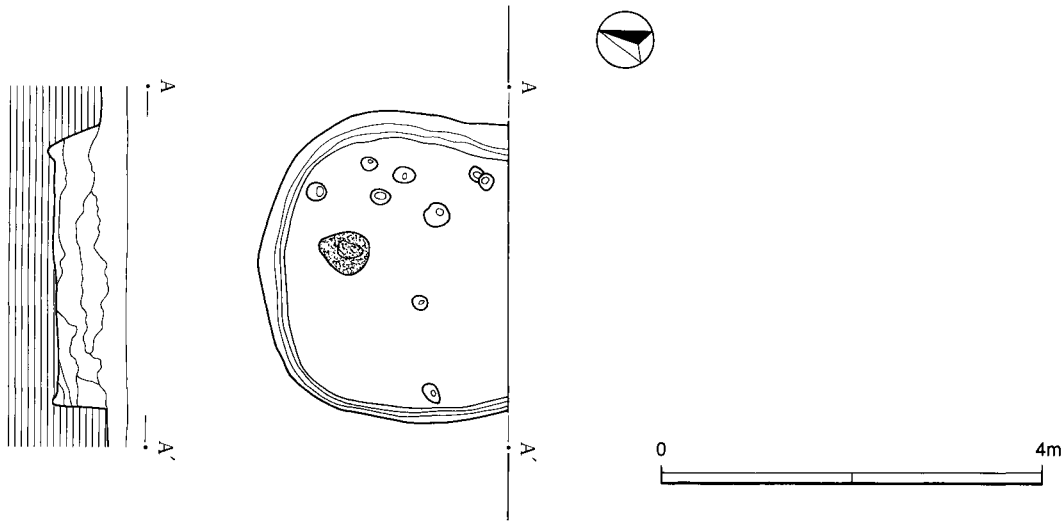
遺物は，土器9点を図示した。

1～3は壺である。1は口唇部に無節の縄文が，頸部にはS字状結節文で区画された無節の縄文帯が巡るものである。口縁部内面はヘラミガキされる。2は口縁部下端に棒状工具による押捺が加えられるもので，内面はヘラミガキされる。3は外面は細かくヘラミガキされ，赤彩される。内面はナデの後粗くヘラミガキされる。

4～9は甕である。4は口唇部に押捺が加えられるものである。5は口唇部に刻み目が加えられるものである。6～8は頸部下端に輪積み痕を残すものである。6は口唇部に押捺，頸部下端に棒状工具による押捺が加えられる。内面はヘラミガキされる。7は頸部下端に棒状工具による押捺が加えられる。9は胴部中位以下で，内外面はヘラミガキされる。



第296図　2－025（1）

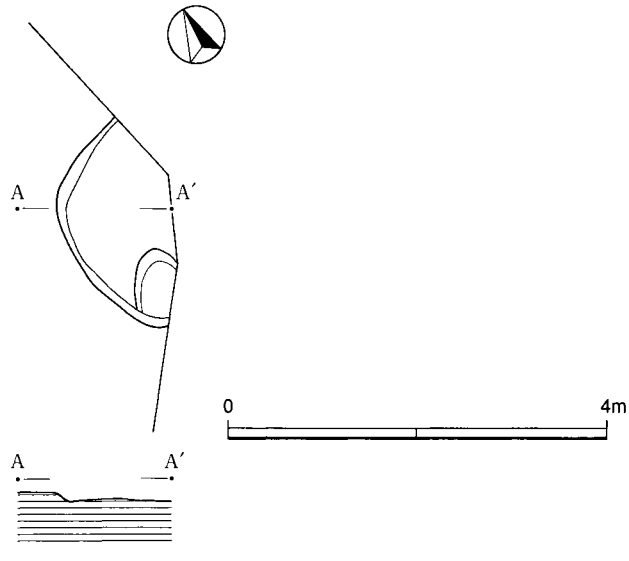


第297図　2－025（2）

2－028（第298図）

調査区南部，H29・I29グリッドに位置する。東側約1/2は調査範囲外に及んでおり，全体を調査することができなかったが，一辺が約2.2mの隅丸方形を呈するものと考えられる。床面は凹凸が激しく，顕著な硬化面は検出されなかった。覆土はロームブロックを含む黒褐色土の単一層であった。壁高は5cm～9cmを測る。ピットは，南側コーナー部分で1か所検出された。楕円形を呈し，深さ約9cmを測る。炉は検出されなかった。

遺物は，図示可能なものはなかった。



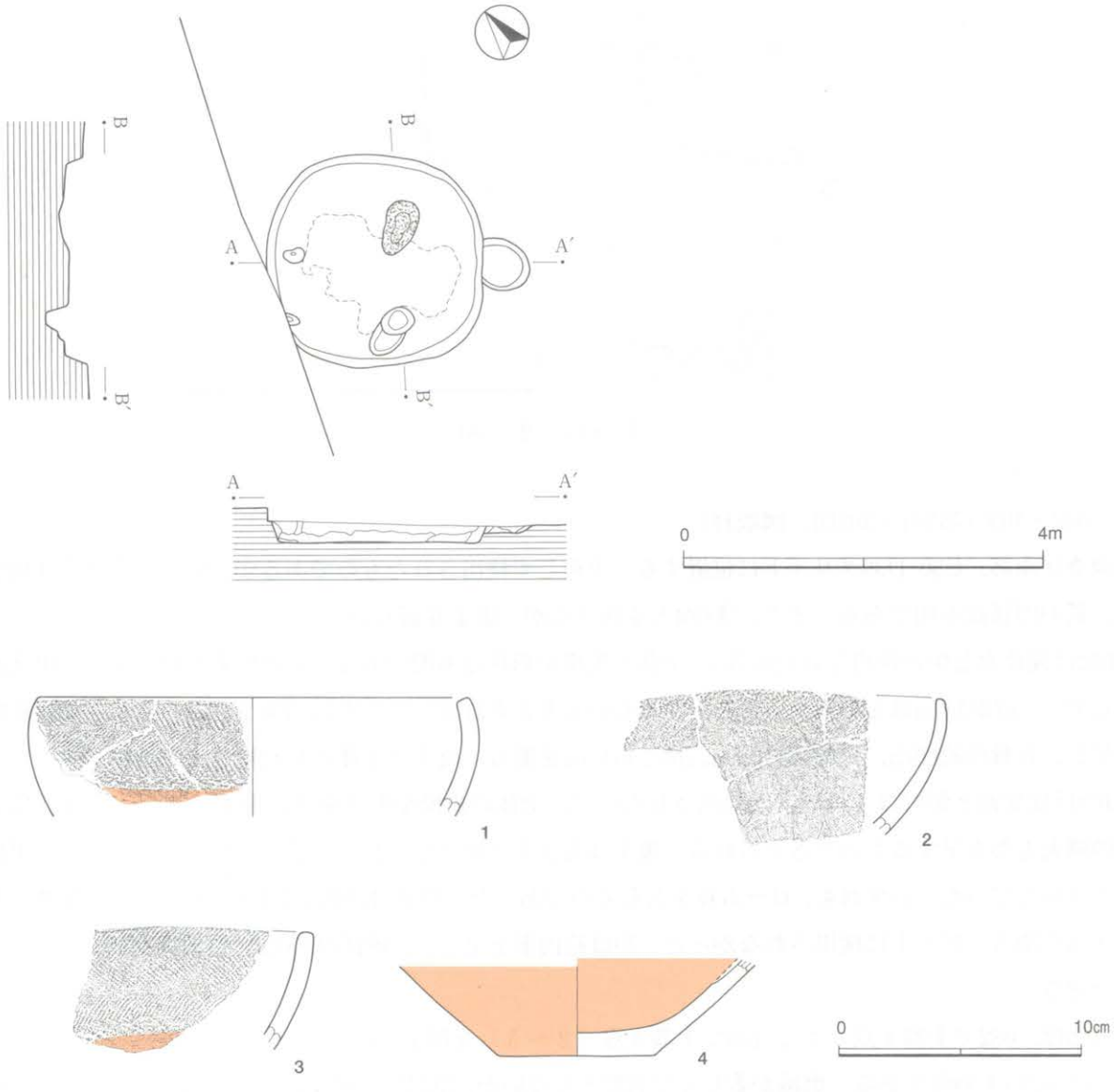
第298図　2－028

2－080（第299図，図版８）

調査区南部，C30･D30グリッドに位置する。西端部分がわずかに調査範囲外に及んでいるが，ほぼ全体を調査することができた。東側で径60cmほどの土坑状の遺構と重複している。規模は一辺が約2.2mの隅丸方形を呈する。床面はほぼ平坦で，中央付近に硬化面がみられた。覆土は大きく２層に分かれ，上部には黒褐色土，下部には暗褐色土が堆積していた。壁高は18cm～25cmを測る。ピットは４か所検出されたが，南側壁際で，重複する２本のうち，東側のものがしっかりした掘込みを有し，深さ25cmを測る。それ以外は15cm前後の深さである。炉は中央やや東寄りに検出された。楕円形を呈し，長軸径約60cm，短軸径約35cm，深さ約５cmを測る。上部には黒褐色土，下部には焼土が主体に堆積し，火床はよく焼け，赤化していた。

遺物は，土器４点を図示した。

１～４は鉢である。１・２は口縁部に羽状縄文とＳ字状結節文が施されるものである。施文部以外の外面と内面はヘラミガキされ，赤彩される。３は口縁部に縄文が施されるものである。４の内外面はヘラミガキされ，赤彩される。

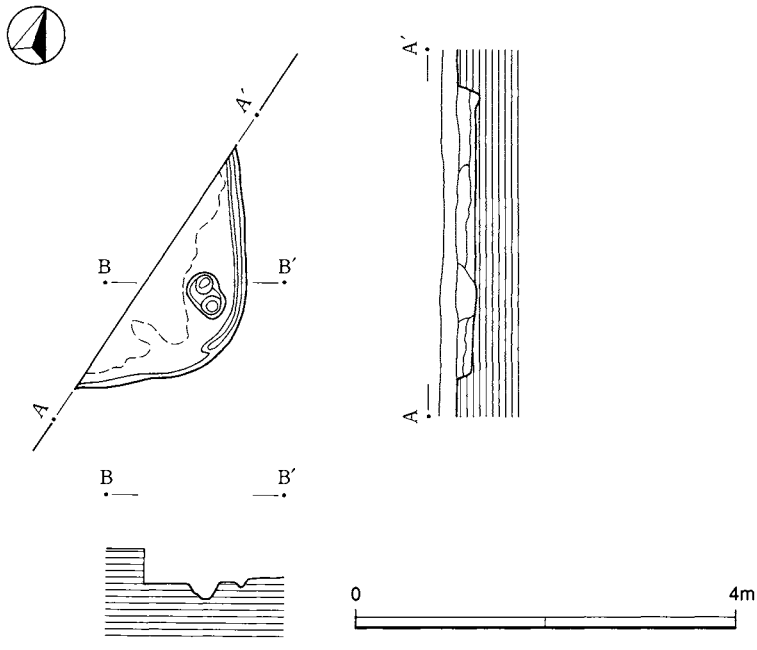


第299図　2－080

2－081（第300図）

調査区南部，C30グリッドに位置する。西側約2/3は調査範囲外に及んでおり，全体を調査することができなかったが，一辺が約３ｍの隅丸方形を呈するものと考えられる。床面はやや凹凸がある。壁際を除いて硬化面がみられた。覆土は大きく２層に分かれ，上部には暗褐色土，下部には黒褐色土が堆積していた。いずれもローム粒を多く含むものであった。壁高は13cm～20cmを測る。周溝は東壁側で検出された。深さ約２cmを測る。ピットは１か所検出された。長軸径約50cmのピット中に，径20cm，深さ16cmほどのピットが２本掘り込まれるものである。炉は検出されなかった。

遺物は，図示可能なものはなかった。



第300図　2－081

2－082・103（第301・302図，図版11）

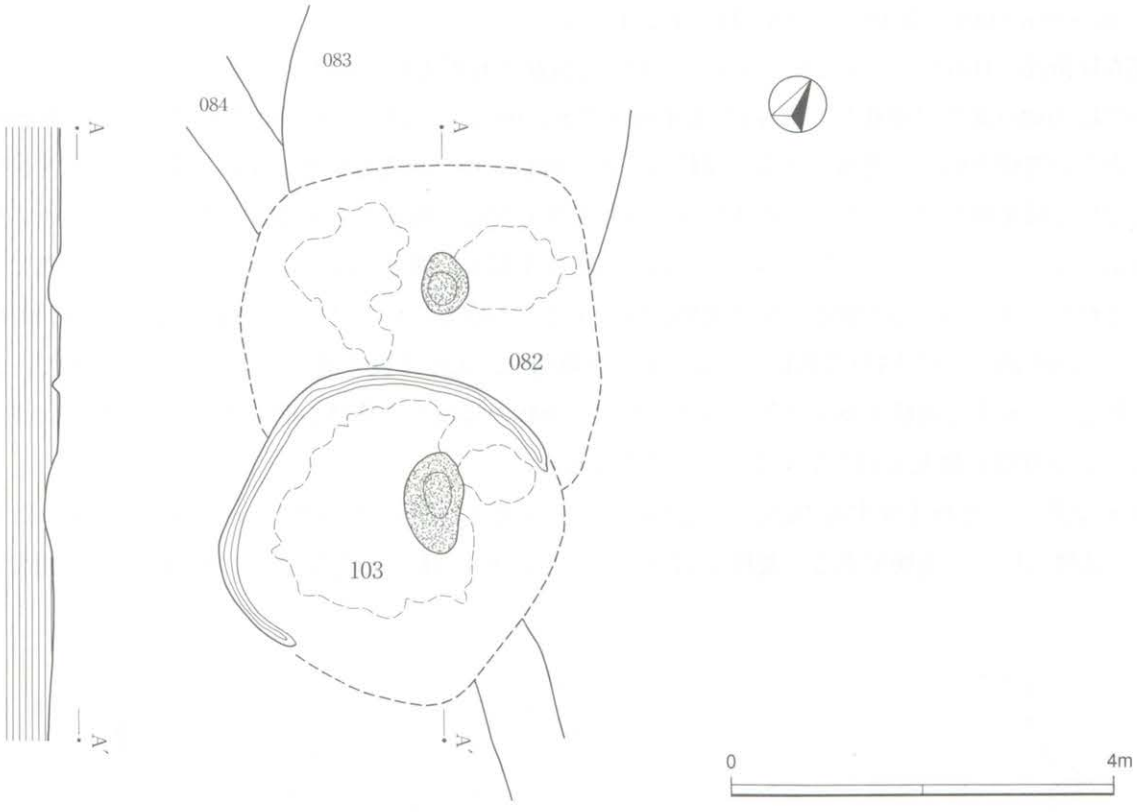
調査区南部，C30･D30グリッドに位置する。重複して検出されたものであるが，いずれも遺存状態が悪く，新旧関係は不明である。また，溝084と重複するが，溝より新しい。

082は硬化面と炉が検出されたのみで，全体の規模や形状は不明である。炉の位置や硬化面の検出状況からして，一辺が3.6ｍほどの隅丸方形を呈するものと考えられる。ピットは検出されなかった。炉は楕円形を呈し，長軸径約60cm，短軸径約50cm，深さ約15cmを測る。焼土を主体とした褐色土が堆積していた。

103は硬化面と炉のほかに周溝が検出されたので，全体の規模や形状をほぼ復元できる。一辺が3.2ｍほどの隅丸方形を呈するものと考えられる。覆土は大きく２層に分かれ，上部には暗褐色，下部には黒褐色土が堆積していた。いずれも，ローム粒を含むものであった。周溝は西側3/5ほどで検出され，深さ約２cm～３cmを測る。ピットは検出されなかった。炉は楕円形を呈し，長軸径約100cm，短軸径約60cm，深さ約10cmを測る。

遺物は，082で土器１点（１），103で土器４点（２～５）を図示した。

１は082出土の壺である。磨滅が著しくて判然としないが，頸部には縄文帯が巡るようで，その上に刺突

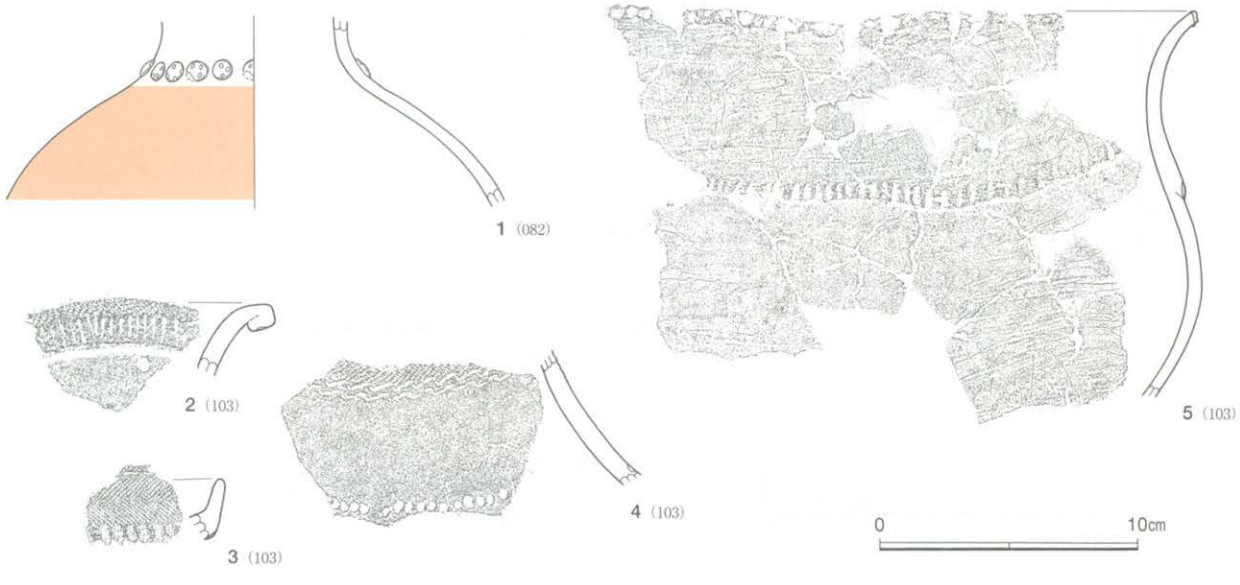


第301図　2－082・103（1）

のある円形浮文が貼り付けられる。施文部以外の外面はヘラミガキされ，赤彩される。

2～4は103出土の壺である。2は口唇部に縄文が施され，下端に刻みが加えられるものである。内外面ともにヘラミガキされる。3は口縁部に縄文が施され，下端に棒状工具による押捺が加えられるものである。内面はヘラミガキされる。4は頸部で，上部にはS字状結節文で区画された縄文帯が，下部には刺突が巡るものである。施文部以外の外面と内面は丁寧なナデが加えられる。

5は103出土の甕で，口唇部には押捺，頸部下端には棒状工具による押捺が加えられる。



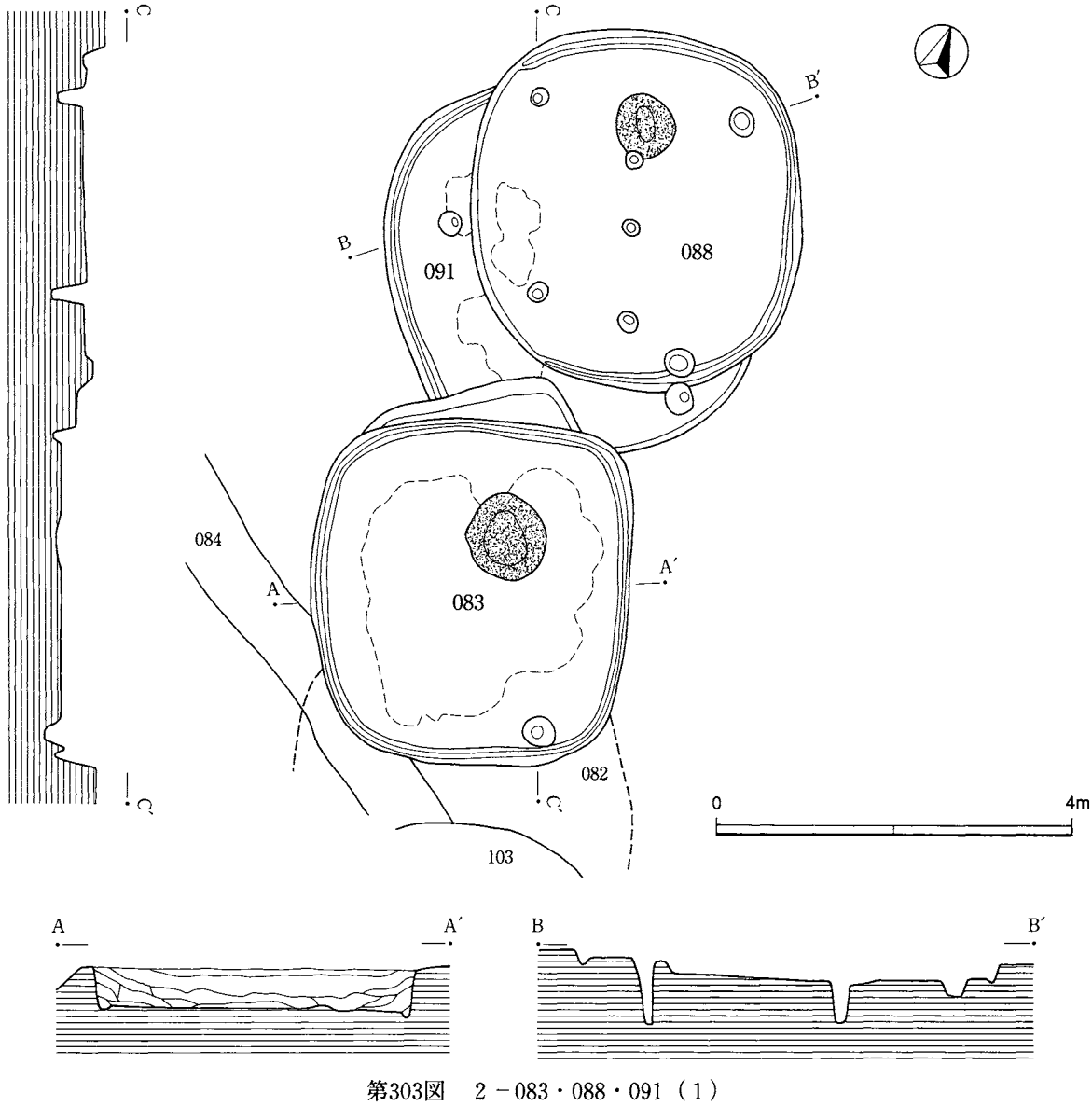
第302図　2－082・103（2）

2 －083・088・091（第303～305図，図版８・49・50）

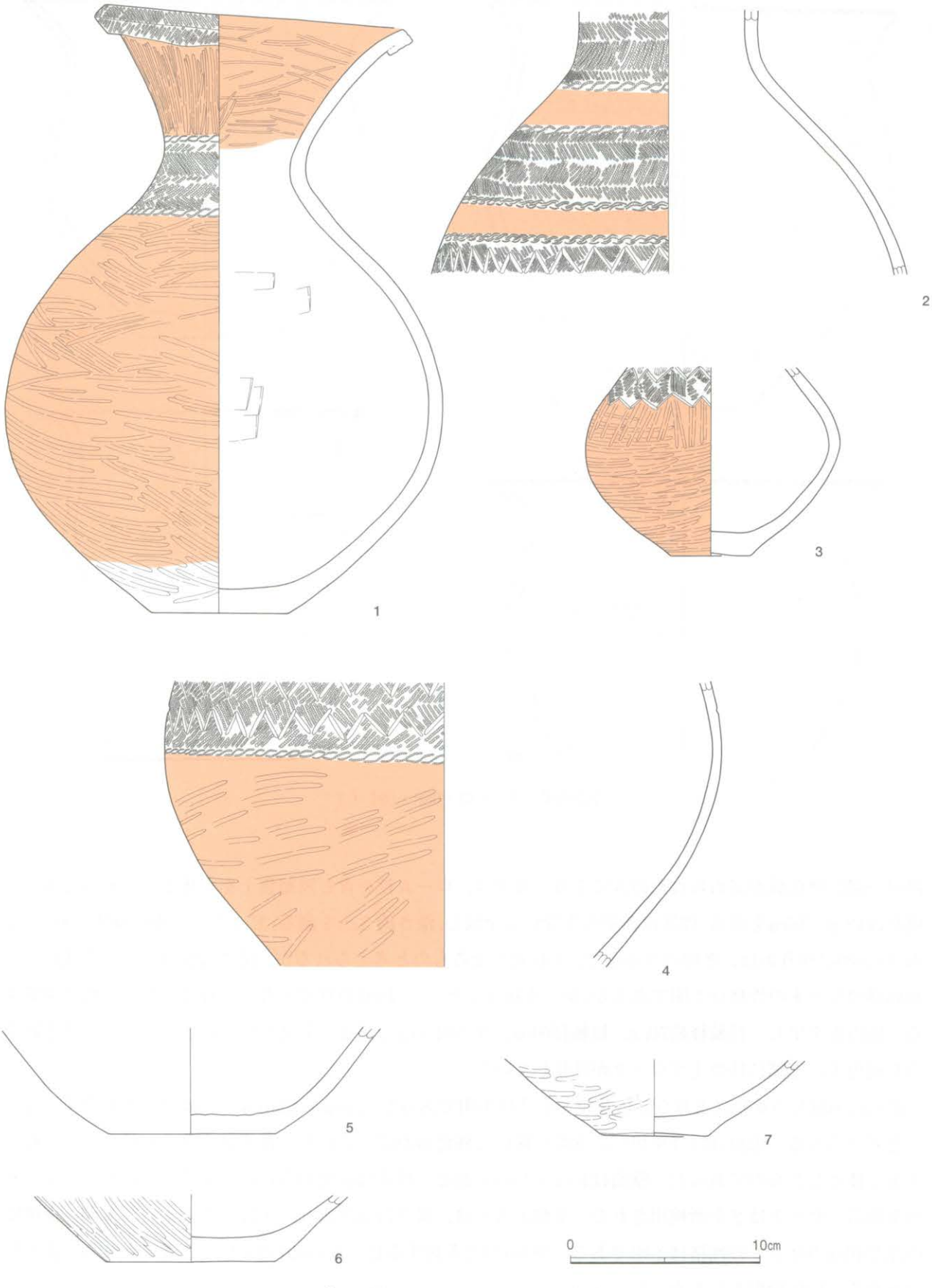
調査区南部，D30グリッドに位置する。重複して検出されたものである。

083は，082の北側で重複し，溝084とも重複するが，084より新しいが，082よりは古い。当初002bとして調査した遺構と同一の遺構である。規模は一辺が約3.7ｍの，隅丸方形を呈する。床面はほぼ平坦で，壁際を除いて硬化面が認められた。覆土はローム粒を多く含む暗褐色土を主体としたものであった。壁高は40cm前後で，しっかりとした掘込みを有する。周溝は全周し，深さ５cmを測る。ピットは南壁際に１か所検出された。深さ約23cmを測る。炉は北側に位置する。不整な円形を呈し，長軸径約100cm，短軸径90cm，深さ約４cmを測る。焼土粒･炭化粒を含む黒色土が堆積し，火床は良く焼けていた。083の北側で，20cm前後の掘込みを有する遺構を083bとして調査したが，全体の規模や性格は不明である。竪穴住居であれば，一辺が2.5ｍ程度の隅丸方形を呈するものと考えられる。

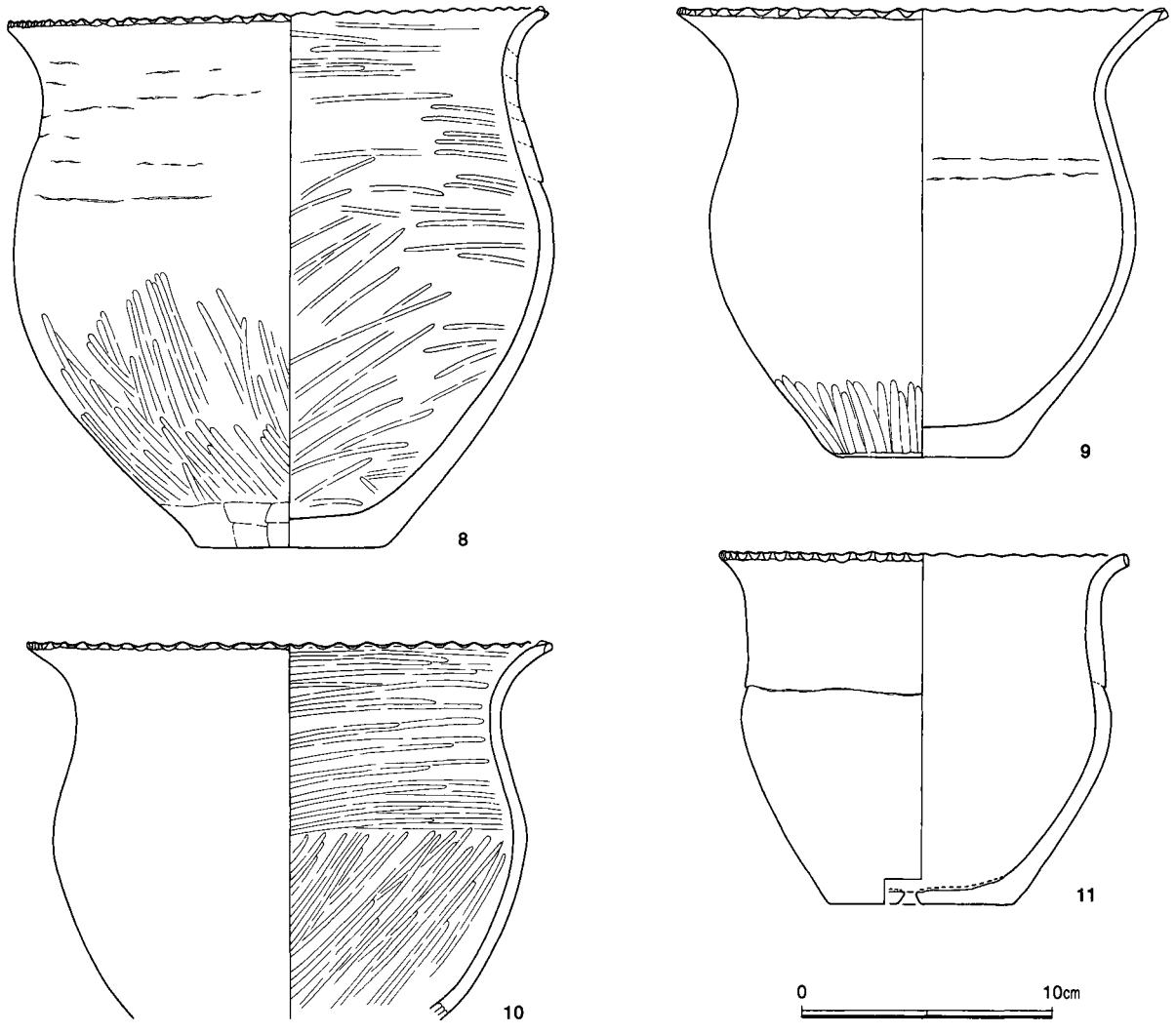
083の北側で，２軒重複するのが，088と091である。091より088の方が新しい。088は当初002aとして調査した遺構と同一の遺構である。規模は3.7ｍ×４ｍの，隅丸の長方形を呈する。床面はほぼ平坦で，西壁



第303図　2 －083・088・091（１）



第304図　2－083・088・091（2）



第305図　2－083・088・091（3）

際の一部に硬化面が認められたのみである。覆土は，ローム粒を含む黒褐色土を主体としたものであった。壁高は12cm～16cmを測る。周溝は西壁側を除いて全周し，深さ約3cmを測る。ピットは7か所検出された。このうち088に伴うのは，壁側の3か所で，主柱穴になるものと考えられるが，深さは20cm～40cmと浅い。これ以外のピットの性格は不明であるが，炉と重複するピットは091の柱穴と考えられる。炉は北側に位置する。楕円形を呈し，長軸径約70cm，短軸径60cm，深さ約5cmを測る。上部には黒色土，中部には焼土粒を含む褐色土，下部には焼土ブロックが堆積していた。

091は，088との重複により全体の規模や形状は不明であるが，3.8m×4.2mほどの隅丸長方形を呈するものと考えられる。床面はほぼ平坦で，壁際を除いて硬化面が認められた。覆土は，ローム粒を含む黒褐色土を主体としたものであった。壁高は10cm～14cmを測る。周溝は西側のみに巡るようで，深さ約5cm～6cmを測る。ピットは2か所検出された。東側のものは，深さ71cmを測り，主柱穴と考えられるが，南壁際の深さ40cmのピットの性格は不明である。088の炉と重複するピットは091の主柱穴と考えられる。深さ50cmを測る。炉は検出されなかった。

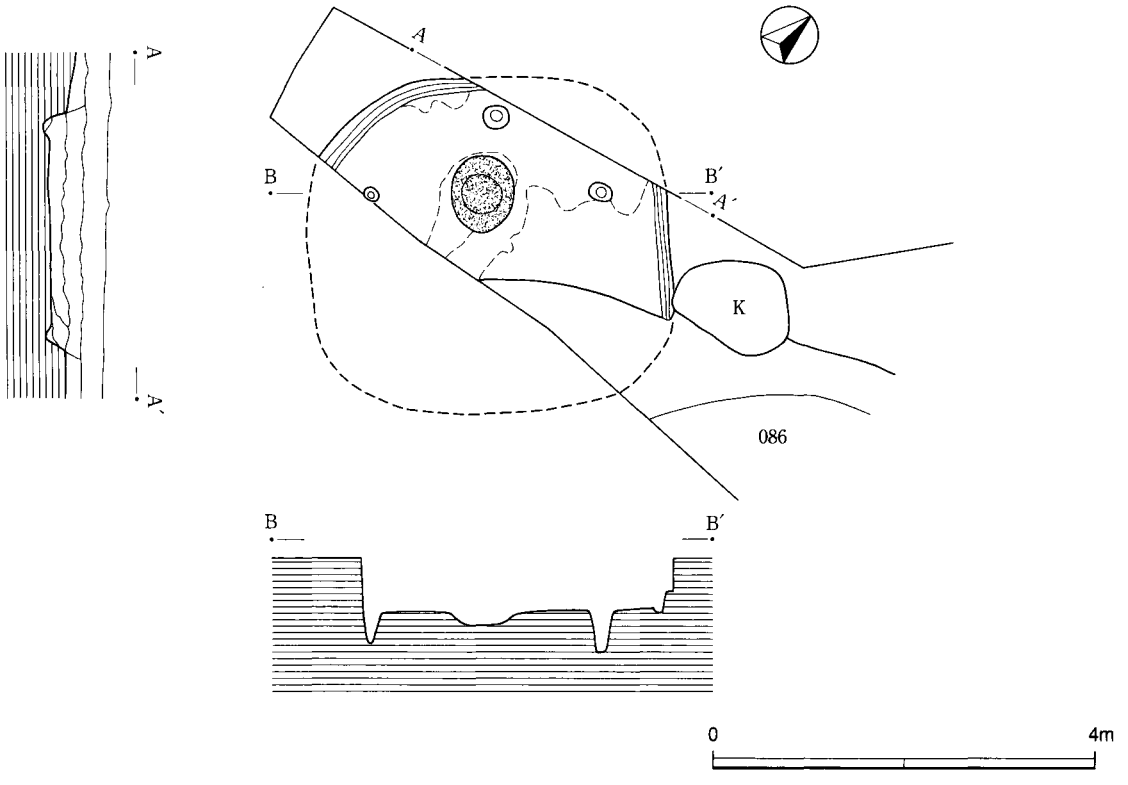
図示できた遺物は，083出土の土器11点のみである。

1～7は壺である。1は口縁部には縄文が施され，頸部にはS字状結節文で区画された縄文帯が巡るものである。底部を除く施文部以外の外面と口縁部内面はヘラミガキされ，赤彩される。2は頸部と胴部上半には，S字状結節文で区画された羽状縄文帯が，胴部中位には，S字状結節文で区画された縄文帯に沈線による山形文が施される。施文部以外の外面は丁寧にヘラミガキされ，赤彩される。3は小型のもので，胴部上半には，縄文施文後沈線による山形文が施され，区画外の縄文は磨り消される。施文部以外の外面はヘラミガキされ，赤彩される。4は胴部中位にS字状結節文で区画された縄文帯に沈線による山形文が施される。施文部以外の外面はヘラミガキされ，赤彩される。5～7は底部で，6・7の外面はヘラミガキされる。

8～11は甕で，いずれも口唇部に押捺が加えられるものである。8は頸部に輪積み痕を数段残す。外面の胴部は粗くヘラミガキされ，底部はヘラケズリされる。内面はヘラミガキされる。9は口縁部と頸部以下は接合しないが，同一個体と考えられるため，図上で復元したものである。底部外面は粗くヘラミガキされる。10の内面はヘラミガキされる。11は頸部に輪積み痕を残し，底部には焼成後の穿孔が認められる。

2－085（第306図）

調査区南部，C31グリッドに位置する。北側と南側が調査範囲外に及んでおり，調査できたのは全体の1/2ほどである。したがって，全体の規模や形状は不明であるが，3.5m×3.8mほどの隅丸長方形を呈するものと考えられる。床面は平坦で，炉の周辺を中心に硬化面がみられた。覆土は大きく2層に分かれ，上部には，暗褐色土，下部には黒褐色土が堆積していた。いずれもローム粒を多く含むものである。壁高は10cm～30cmを測る。周溝は検出部分では全周し，深さ約2cm～5cmを測る。ピットは3か所検出された。主柱穴は炉の両側に位置する2か所で，深さ約34cm・47cmを測る。炉の北西のピットは，深さ22cmを測る。



第306図　2－085

炉は中央やや西寄りに検出された。楕円形を呈し，長軸径約80cm，短軸径60cm，深さ約10cmを測る。上部には黒褐色土，下部には焼土が主体に堆積し，火床はよく焼け，赤化していた。

遺物は，図示可能なものはなかった。

2－087（第307・308図，図版9）

調査区南部，C30・D30グリッドに位置する。北側で，095と重複するが，095の遺存状態が悪く，新旧関係は不明である。また，溝084と重複するが，084より新しい。規模は3.4m×4mの隅丸長方形を呈する。床面はほぼ平坦で，壁際を除いて硬化面がみられた。覆土は暗褐色土を主体としたもので，ローム粒を多く含むものであった。壁高は10cm～19cmを測る。ピットは2か所検出された。南壁際のものは径約35cm，深さ約16cmのピットの中に径約10cmのピットが掘り込まれるものである。東壁際のものは，深さ23cmを測る。炉は中央北側に検出された。不整な円形を呈し，径約65cm，深さ約15cmを測る。黒褐色土が主体で堆積し，焼土は少ないが，火床は良く焼けていた。

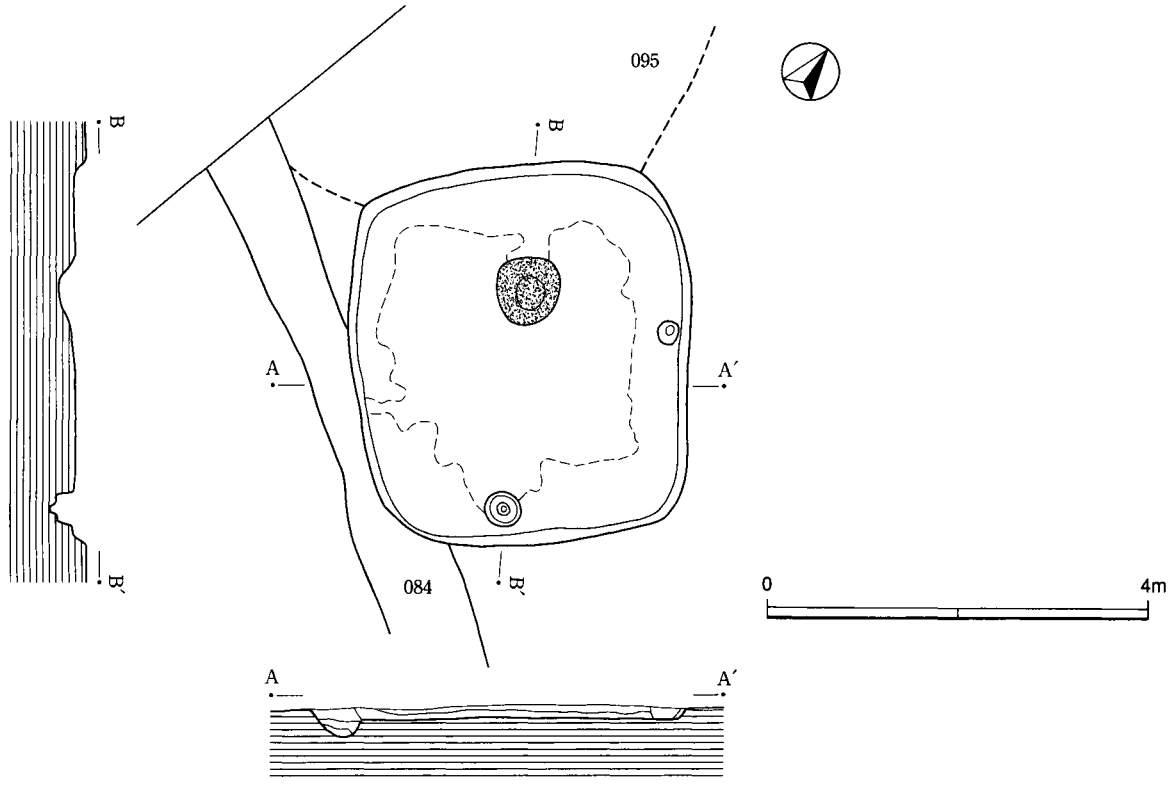
遺物は，土器6点を図示した。

1は壺で，沈線で区画された複雑な縄文帯が巡る。

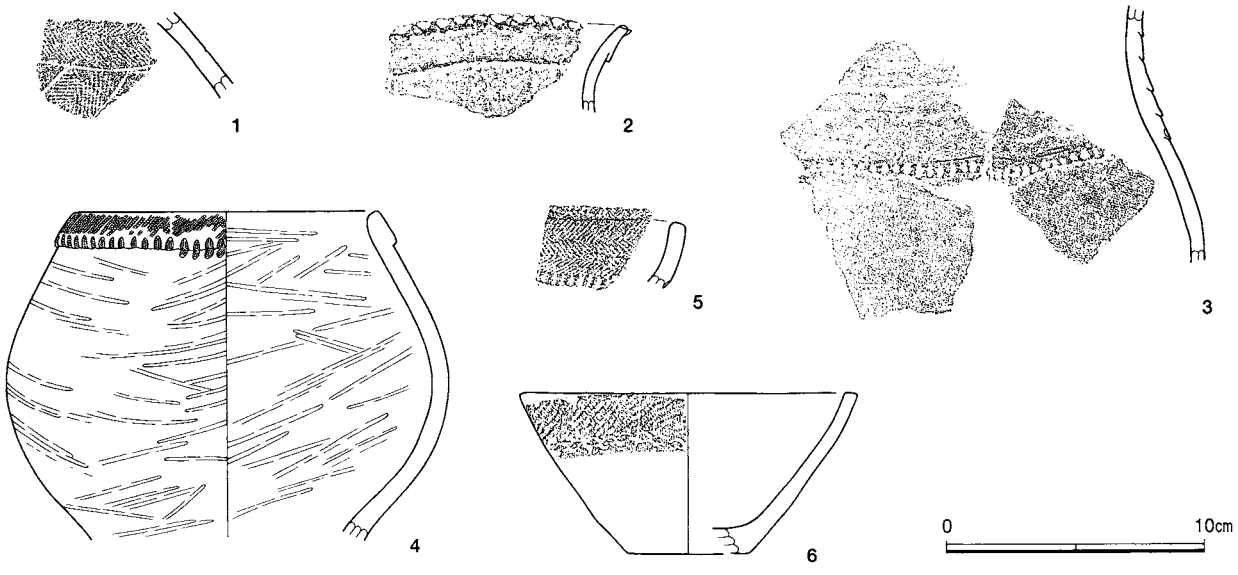
2・3は甕である。2の口唇部には押捺が加えられる。3は頸部に輪積み痕を数段残すもので，下端には刺突が加えられる。

4は無頸壺で，口縁部には縄文が施され，下端には棒状工具による押捺が加えられる。内外面ともにヘラミガキされる。

5・6は鉢である。5の口縁部には縄文が施され，下端には棒状工具による押捺が加えられる。6の口縁部にはS字状結節文で区画された縄文帯が巡る。



第307図　2－087（1）

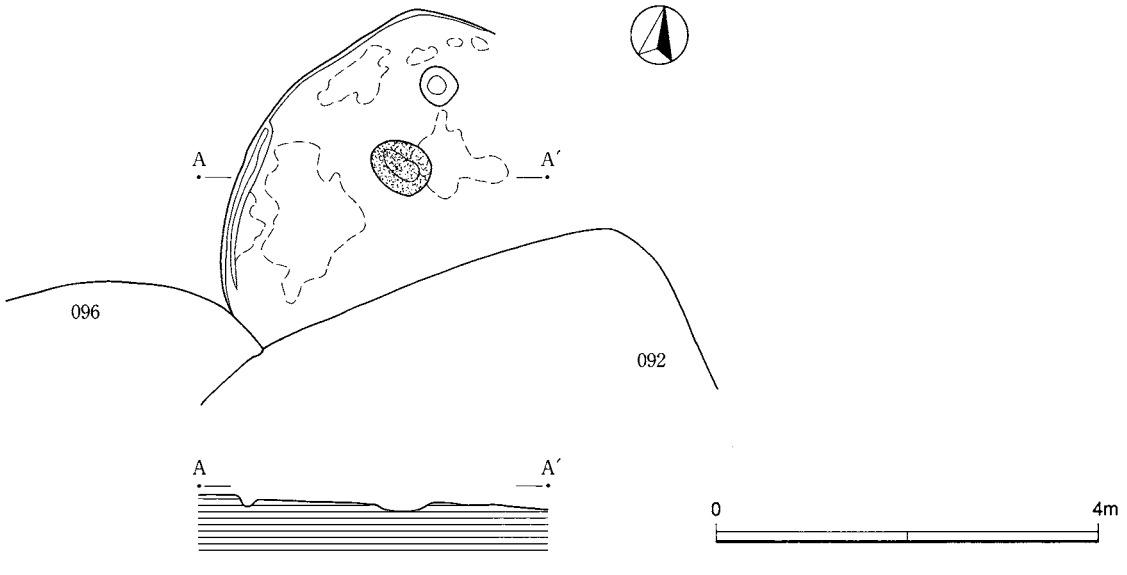


第308図　2－087（2）

2－089（第309図，図版9）

調査区南部，C30・D30グリッドに位置する。南側で092と重複する。新旧関係は明確ではないが，092より古い可能性が高い。092との重複によって，南側の約2/5は不明であるが，遺存している部分からして，3.5m×4.2mほどの隅丸長方形を呈するものと考えられる。床面はほぼ平坦で，北側を中心に硬化面がみられた。覆土の状況は不明である。壁高は5cmほどである。周溝は，西側の一部で検出され，深さ3cm～4cmを測る。ピットは，炉の北側で1か所検出された。深さ13cmを測る。炉は中央やや北寄りで検出された。楕円形を呈し，長軸径約65cm，幅約50cm，深さ約5cmを測る。黒褐色土が主体で堆積し，焼土は少ないが，火床は良く焼けていた。

遺物は，図示可能なものはなかった。



第309図　2－089

2－093（第310・311図，図版9・50）

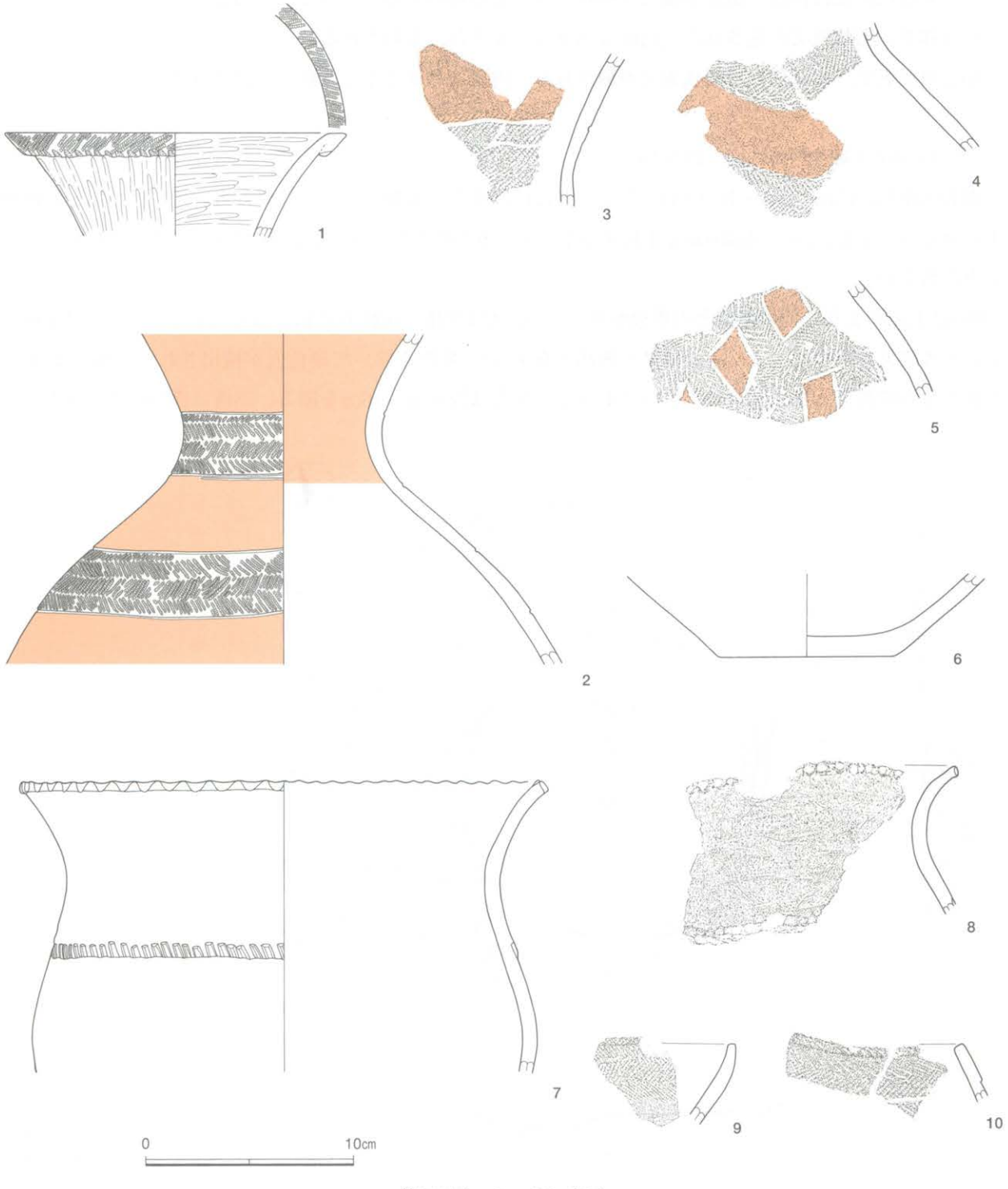
調査区南部，D31グリッドに位置する。遺構の重複や撹乱が激しい場所で検出されたもので，1軒の住居跡として調査されたものであるが，平面形や2か所の炉の存在などから，2軒の住居跡の重複である可能性が高い。ここでは，北側のものを093A，南側のものを093Bとして，説明を加える。ただし，新旧関係は不明である。東西両側で溝と重複しているが，東側で重複する084より新しく，西側で重複する090より古い。

093Aの全体の規模や形状は不明であるが，検出状況からして，一辺が約6mほどの隅丸方形を呈するものと考えられる。床面は平坦である。壁際を除いて硬化面がみられた。覆土は暗褐色土を主体としたものであった。周溝は，検出部分では全周し，深さ約4cmを測る。ピットは検出されなかった。炉は中央北寄りで検出された。楕円形を呈し，長軸径約90cm，短軸径約60cm，深さ約5cmを測る。覆土は，上部には灰・焼土を含む暗褐色土が，下部には焼土が堆積していた。火床は良く焼けていた。

第310図　2－093（1）

093Bは，南側の一部が調査範囲外に及んでおり，全体の規模や形状は不明であるが，検出状況からして，5.3m×６mの隅丸長方形を呈するものと考えられる。床面は平坦である。壁際と炉の周囲を除いて硬化面がみられた。覆土は暗褐色土を主体としたものであった。壁高は，５cm～20cmを測る。ピットは３か所検出された。いずれも主柱穴と考えられ，深さ64cm～75cmを測る。炉は中央やや北寄りに位置する。楕円形を呈し，長軸径約70cm，短軸径約40cm，深さ約10cmを測る。焼土が主体で堆積し，火床は良く焼けていた。

遺物は，土器10点を図示した。



第311図　２－093（２）

1～6は壺である。1は口縁部に縄文が施され，下端に棒状工具による押捺が加えられるものである。2は頸部と胴部上半に沈線で区画された羽状縄文帯が巡るものである。施文部以外の外面と頸部内面は赤彩される。3は頸部上半で，外面には沈線で区画された縄文帯が巡る。施文部以外は赤彩される。内面上部はヘラミガキされ，赤彩される。4はS字結節文で区画された縄文帯が巡るもので，施文部以外は赤彩される。5.は縄文施文後沈線による複合山形文が施されるもので，施文部以外は赤彩される。6は底部である。

7・8は口唇部に押捺，頸部下端には棒状工具による押捺が加えられる甕である。

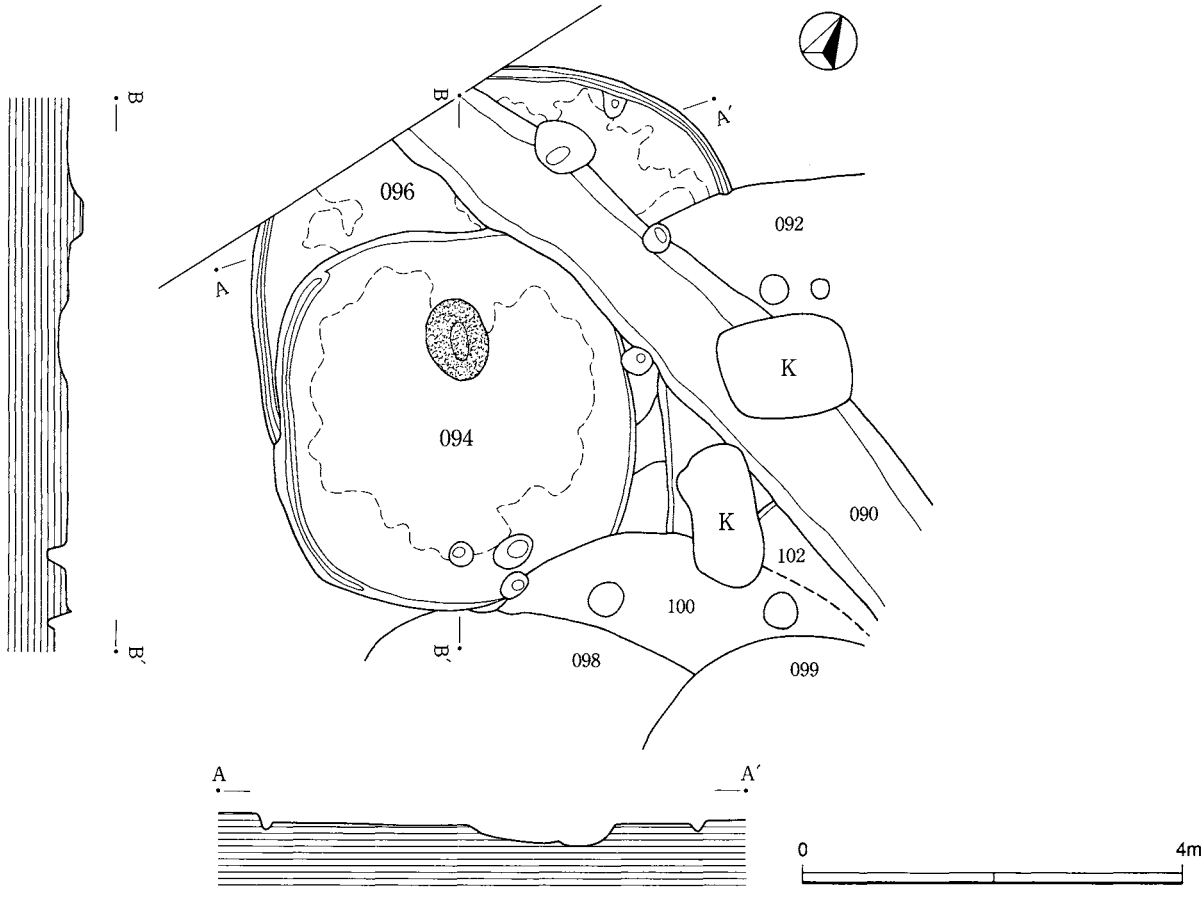
9は鉢で，羽状縄文が施される。内面はヘラミガキされ，赤彩される。

10は無頸壺で，口縁部には羽状縄文が施される。内面はヘラミガキされ，赤彩される。

2－094・096（第312・313図，図版10）

調査区南部，C30・C31・D30・D31グリッドに位置する。重複して検出されたもので，094のほうが096より新しい。また，2軒とも溝090と重複するが，溝の方が新しい。さらに，094は南側で100と重複し，100の方が新しい。

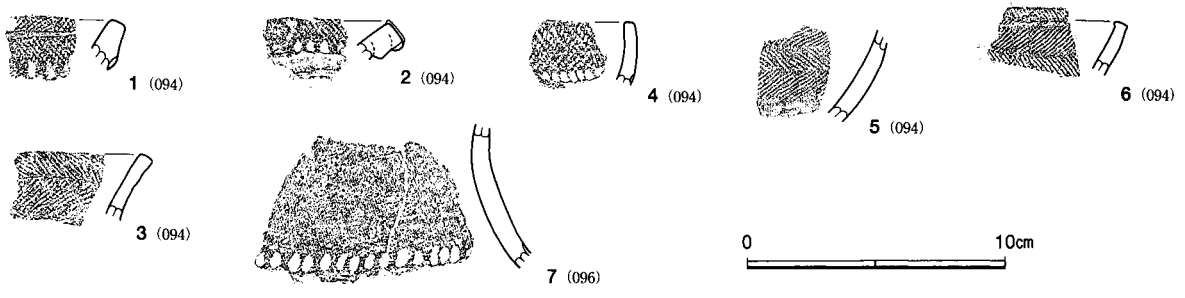
094は上記のように他の遺構との重複が著しいが，ほぼ全体の規模や形状を知ることができ，一辺が約3.8mほどの隅丸方形を呈する。床面はやや凹凸を有するが，壁際を除いて硬化面が検出された。覆土は，ローム粒を含む暗褐色土を主体としたものであった。壁高は約8cm～16cmを測る。周溝は西側のみに巡り，深



第312図　2－094・096（1）

さ約５cmを測る。ピットは３か所検出された。このうち，炉を通る中軸線上のものは梯子ピットと考えられる。深さ約20cmを測る。そのほかのピットは，深さ約18cm・20cmを測る。炉は中央やや北西寄りに位置する。楕円形を呈し，長軸径約90cm，短軸径約60cm，深さ約10cmを測る。上部には黒褐色土，下部には焼土が堆積していた。

096は，北西部が一部調査範囲外に及んでいるが，ほぼ全体の規模や形状を知ることができ，一辺が約5.2mほどの隅丸方形を呈する。床面はやや凹凸を有するが，壁際を除いて硬化面が検出された。覆土の状況は不明である。壁高は，約５cm～15cmを測る。周溝は検出部分では全周する。深さ約４cm～７cmを測る。ピットは４か所検出された。規模や位置が不規則で，性格は不明である。炉は検出されなかった。



第313図　２－094・096（２）

遺物は，094で土器６点（１～６），096で土器１点（７）を図示した。

１～３は094出土の壺である。１・２は口縁部には縄文が施され，下端には棒状工具による押捺が加えられるものである。２にはさらに，円形浮文が貼り付けられる。３は外面には縄文が施され，内面はヘラミガキされる。いずれも内面は赤彩される。

４～６は094出土の鉢である。いずれも外面には縄文が施され，内面は赤彩されるものである。４の口縁部下端には棒状工具による押捺が加えられる。

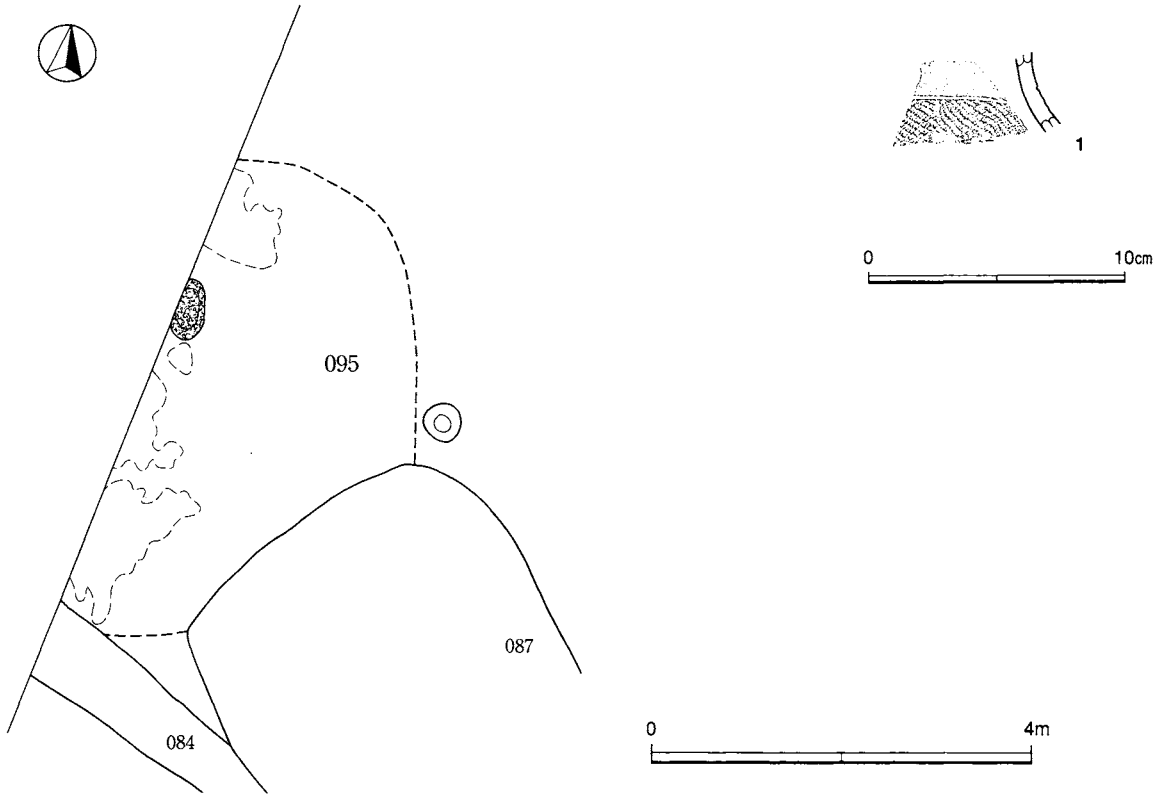
７は096出土の甕の頸部で，棒状工具による押捺が加えられるものである。

２－095（第314図）

調査区南部，C30・D30グリッドに位置する。南東側で087と重複するが，087より古い。また，南側で溝084と重複するが，新旧関係は不明である。095は硬化面と炉が検出されたのみで，全体の規模や形状は不明である。炉の位置や硬化面の検出状況からして，一辺が4.6mほどの隅丸方形を呈するものと考えられる。ピットは，推定される遺構の範囲外から１か所検出された。深さ47cmを測るが，性格は不明である。炉は，中央やや北寄りで検出された。全体の1/4ほどは調査範囲外に及んでいるが，長軸径約60cm，短軸径約40cmを測り，楕円形を呈するものと考えられる。深さ約５cmを測る。焼土が主体で堆積していた。

遺物は，土器１点を図示した。

１は壺の頸部で，沈線で区画された縄文帯が巡るものである。



第314図　2－095

2－097・099（第315・316図，図版10）

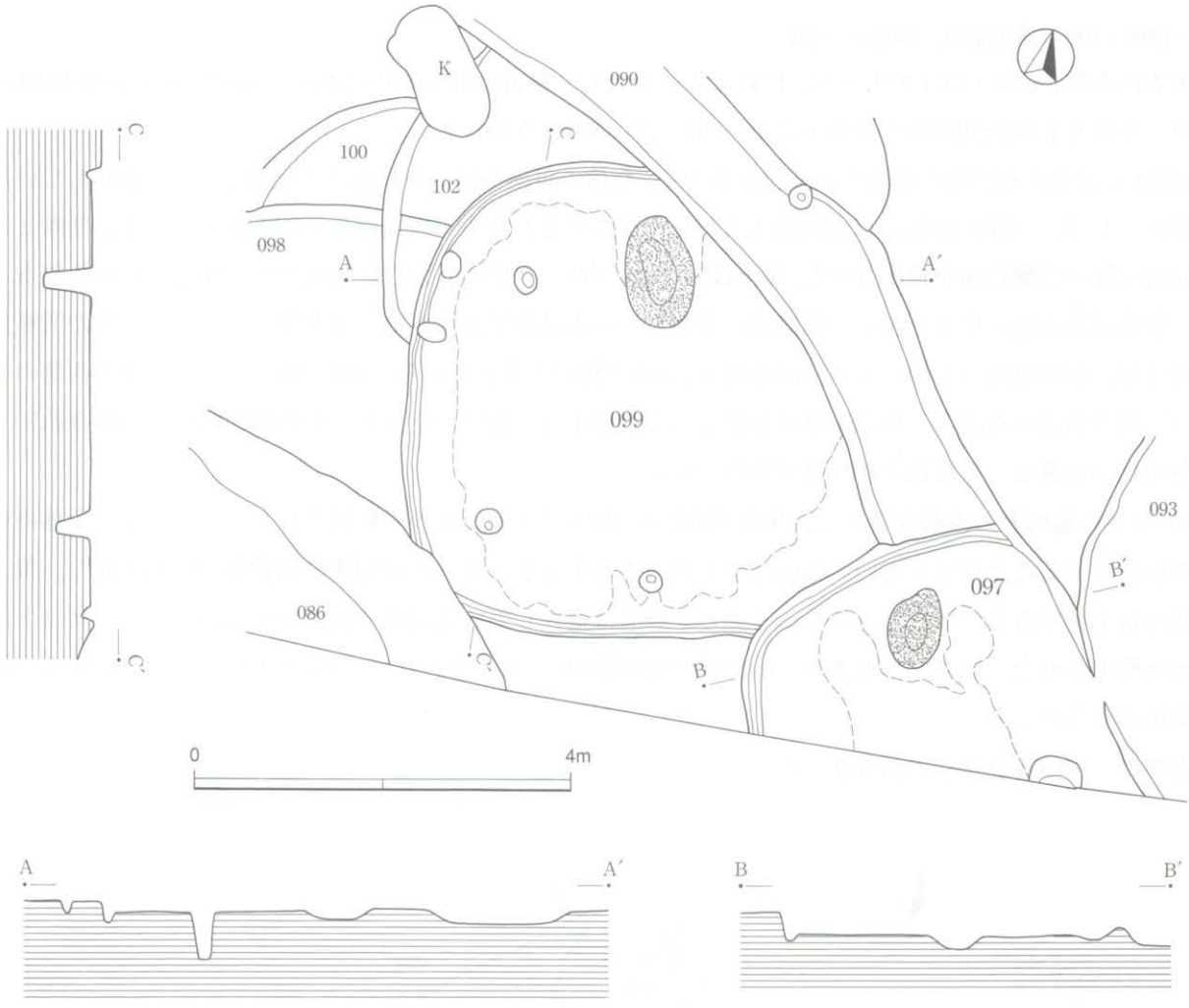
調査区南部，C31・D31グリッドに位置する。重複して検出されたものであるが，新旧関係は不明である。また，溝090と重複するが，いずれも溝より古い。

097は，南側の2/5が調査範囲外に及んでおり，全体の規模や形状は不明であるが，検出状況からして，一辺が約4mの隅丸方形を呈するものと考えられる。床面は平坦である。壁際と炉の周囲を除いて硬化面がみられた。覆土は，ローム粒を多く含む黒色土を主体とするものであった。壁高は，20cm前後を測る。周溝は検出部分では全周し，深さ約5cmを測る。ピットは調査範囲際で，1か所検出された。径30cmほどの規模と考えられる。深さは36cmを測る。炉は中央やや北寄りに位置する。楕円形を呈し，長軸径約90cm，短軸径約60cm，深さ約10cmを測る。上部には黒褐色土が，下部には焼土が堆積し，火床は良く焼けていた。

097の北西部で重複する099は，溝086・099や他の住居との重複が著しいが，全体の規模や形状を知ることができる。一辺が約5mの隅丸方形を呈する。床面は平坦である。壁際を除いて硬化面がみられた。覆土は，ローム粒を多く含む暗褐色土を主体としたものであった。壁高は約3cm～14cmを測る。周溝は検出部分では全周し，深さ約8cmを測る。ピットは2か所検出された。いずれも主柱穴と考えられ，深さ35cm・53cmを測る。炉は中央やや北寄りに位置する。楕円形を呈し，長軸径約120cm，短軸径約70cm，深さ約10cmを測る。上部には焼土を多く含む暗褐色土が，下部には焼土が堆積していた。

遺物は，097で土器2点（1・2），099で土器3点（3～5）を図示した。

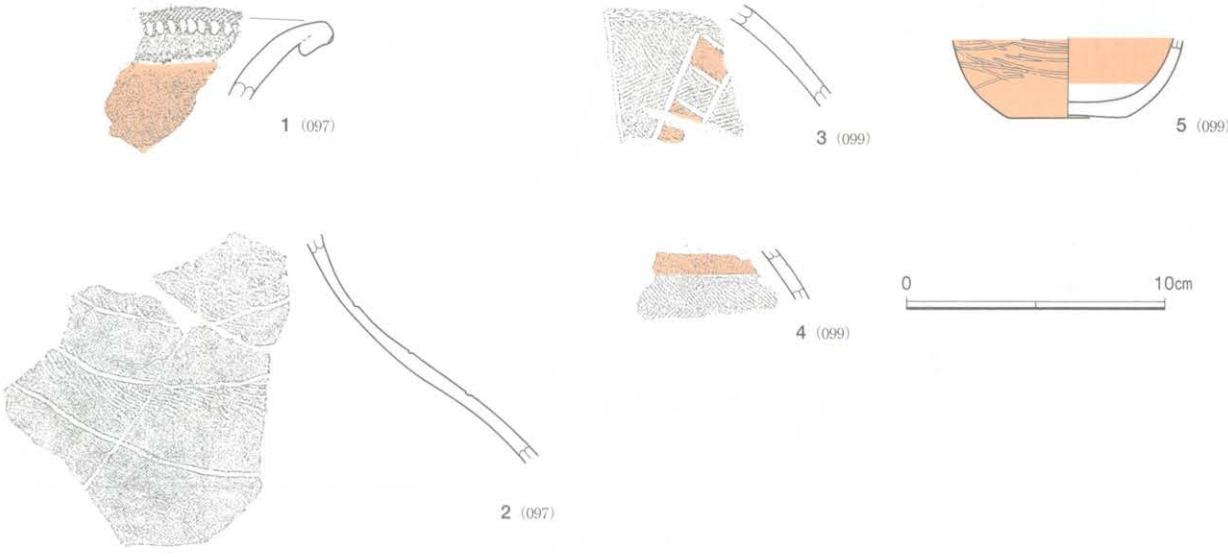
1・2は097出土の壺である。1は口唇部に縄文が施され，下端に棒状工具による押捺が加えられるものである。頸部外面と内面は，ヘラミガキされ，赤彩される。2は縄文帯を2段に施文後浅い沈線で区画するもので，他の土器と比べて著しく雑な施文である。



第315図　2－097・099（1）

3・4は099出土の壺で，いずれも縄文施文後沈線で区画するもので，施文部以外はヘラミガキされ，赤彩される。4は内面もヘラミガキされ，赤彩される。

5は099出土の小型壺で，外面と底部を除く内面はヘラミガキされ，赤彩される。



第316図　2－097・099（2）

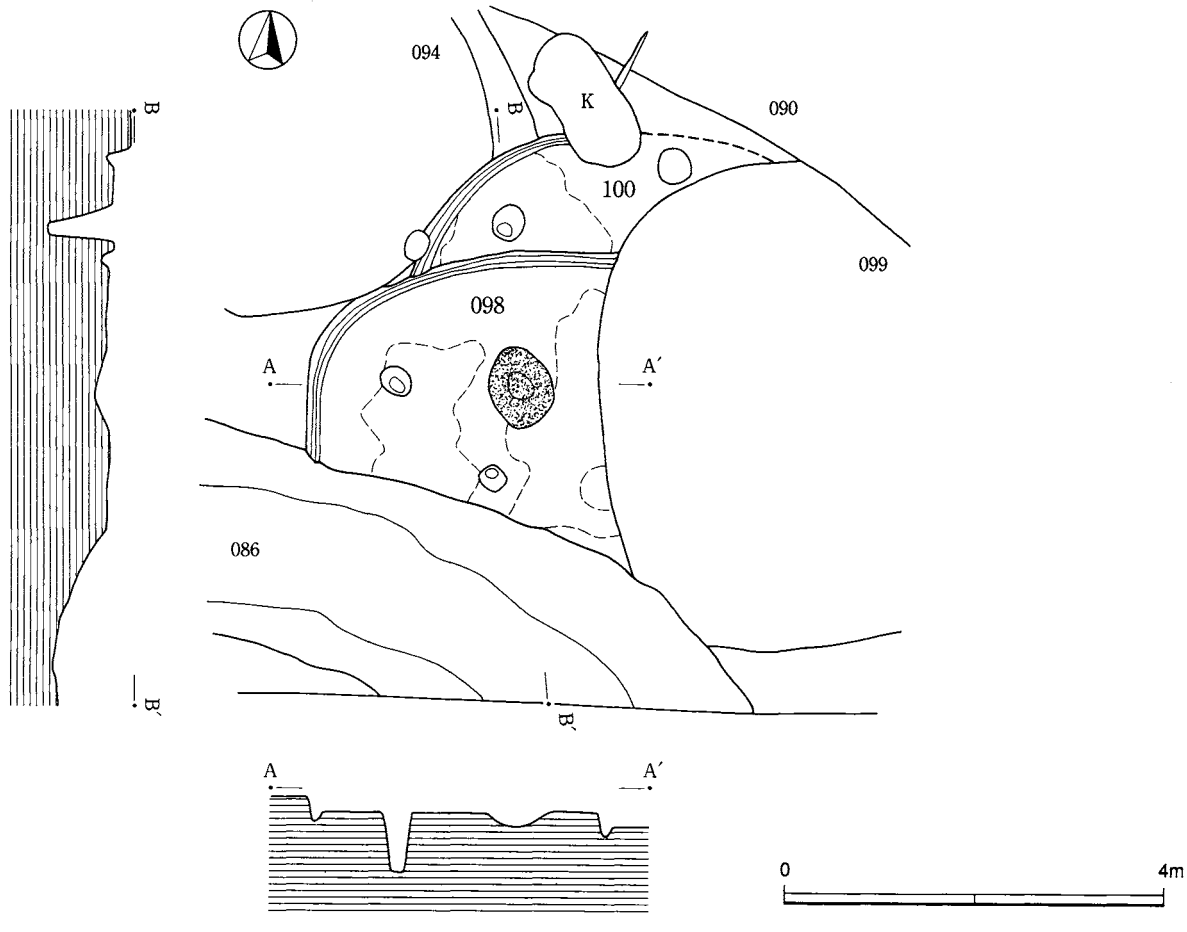
2 －098・100（第317図，図版10・11）

調査区南部，C31・D31グリッドに位置する。重複して検出されたものである。098より100の方が古い。また，２軒とも099と溝086と重複するが，099・溝086のほうが新しい。

098は上記のように他の遺構との重複が著しく，全体の規模や形状を知ることは難しいが，遺存している部分からして，一辺が約4.6mほどの隅丸方形を呈すると思われる。床面はやや凹凸を有するが，壁際と炉の周囲を除いて硬化面が検出された。覆土は，ロームブロックを多く含む暗褐色土を主体としたものであった。壁高は約３cm～17cmを測る。周溝は，遺存している部分では深さ約５cmを測る。ピットは２か所検出されたが，炉の南側のものは深さ50cmを測り，100の柱穴と考えられる。098に伴うものは，炉の西側のもので，深さ約62cmを測る。炉は中央やや北寄りに位置する。楕円形を呈し，長軸径約80cm，短軸径約70cm，深さ約10cmを測る。黒褐色土が主体で堆積していた。

100も他の遺構との重複が著しく，床面・周溝の一部とピットが１か所検出されたのみである。全体の規模や形状を知ることはできない。床面はやや凹凸を有するが，ピットの周囲に硬化面が検出された。覆土の状況は不明である。壁高は，約５cmを測る。周溝は遺存している部分では深さ約５cmを測る。ピットは１か所検出された。深さ60cmを測る。098の炉の南側のピットと合わせて，100の主柱穴と考えられる。炉は検出されなかった。

遺物は，図示可能なものはなかった。



第317図　2 －098・100

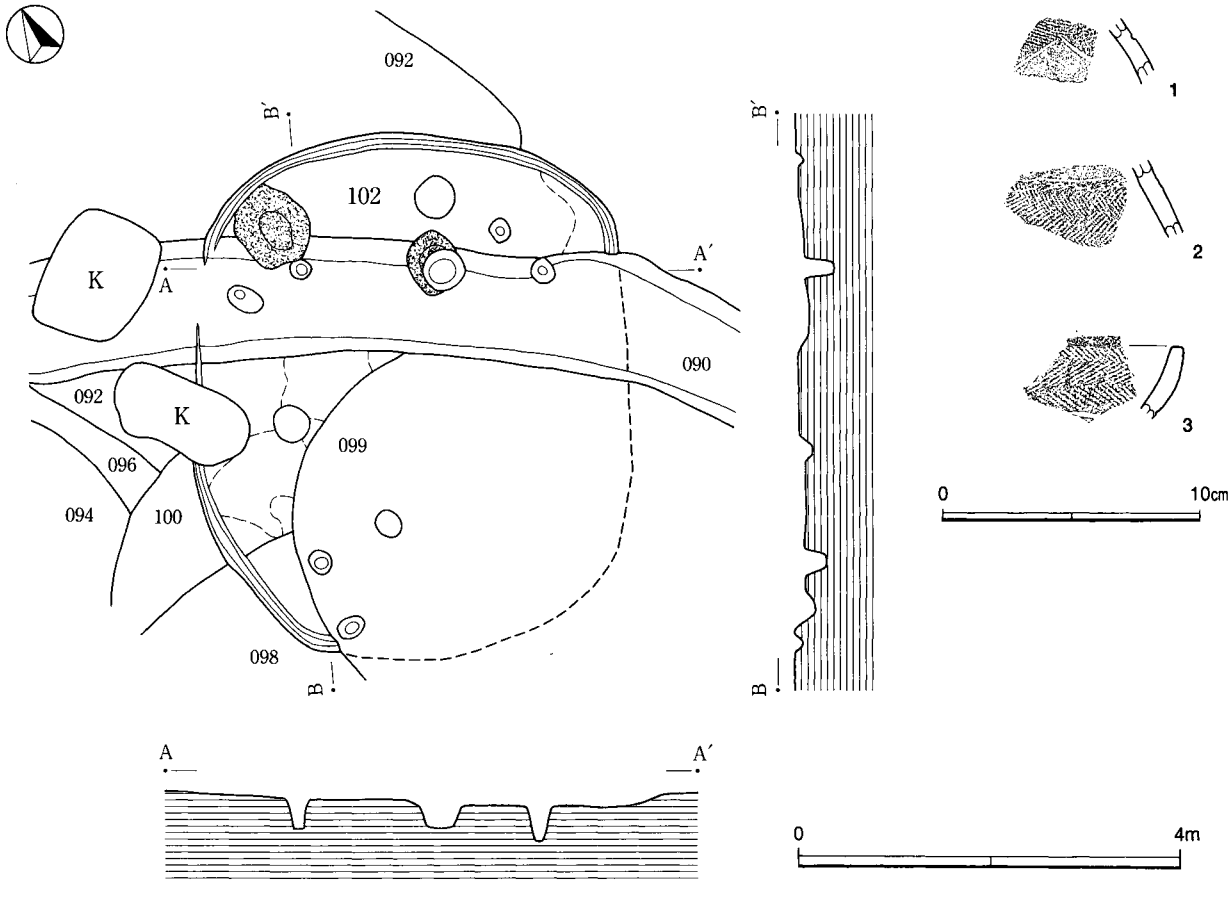
2－102（第318図）

調査区南部，C30・C31・D30・D31グリッドに位置する。遺構の重複が激しい場所で検出されたものである。重複している多くの遺構との新旧関係は不明であるが，溝090よりは古い。全体の規模や形状は，遺存している部分から復元することができる。5.4m×4.6mほどの隅丸長方形を呈するものと考えられる。床面は平坦で，部分的に硬化面がみられた。覆土の状況は不明である。周溝は，遺存している部分では，深さ約4cm～6cmを測る。ピットは7か所検出された。このうち，炉1（後述）の東西で検出された2か所と南側で検出された2か所のうち北側のもの1か所が，位置からして主柱穴になるものと考えられる。これ以外のピットの性格は不明である。炉は2か所で検出された。中央やや北寄りのものを炉1，西側壁際のものを炉2として説明を加える。炉1は楕円形を呈し，長軸径約60cm，短軸径約50cm，深さ約10cmを測る。焼土ブロックを含む黒褐色土が堆積していた。炉2は楕円形を呈し，長軸径約90cm，短軸径約70cm，深さ約5cmを測る。覆土は，上部には黒褐色土が，下部には焼土が堆積していた。

遺物は，土器3点を図示した。

1・2は壺で，沈線（1）やS字状結節文（2）で区画されるものである。いずれも施文部以外はヘラミガキされ，赤彩される。

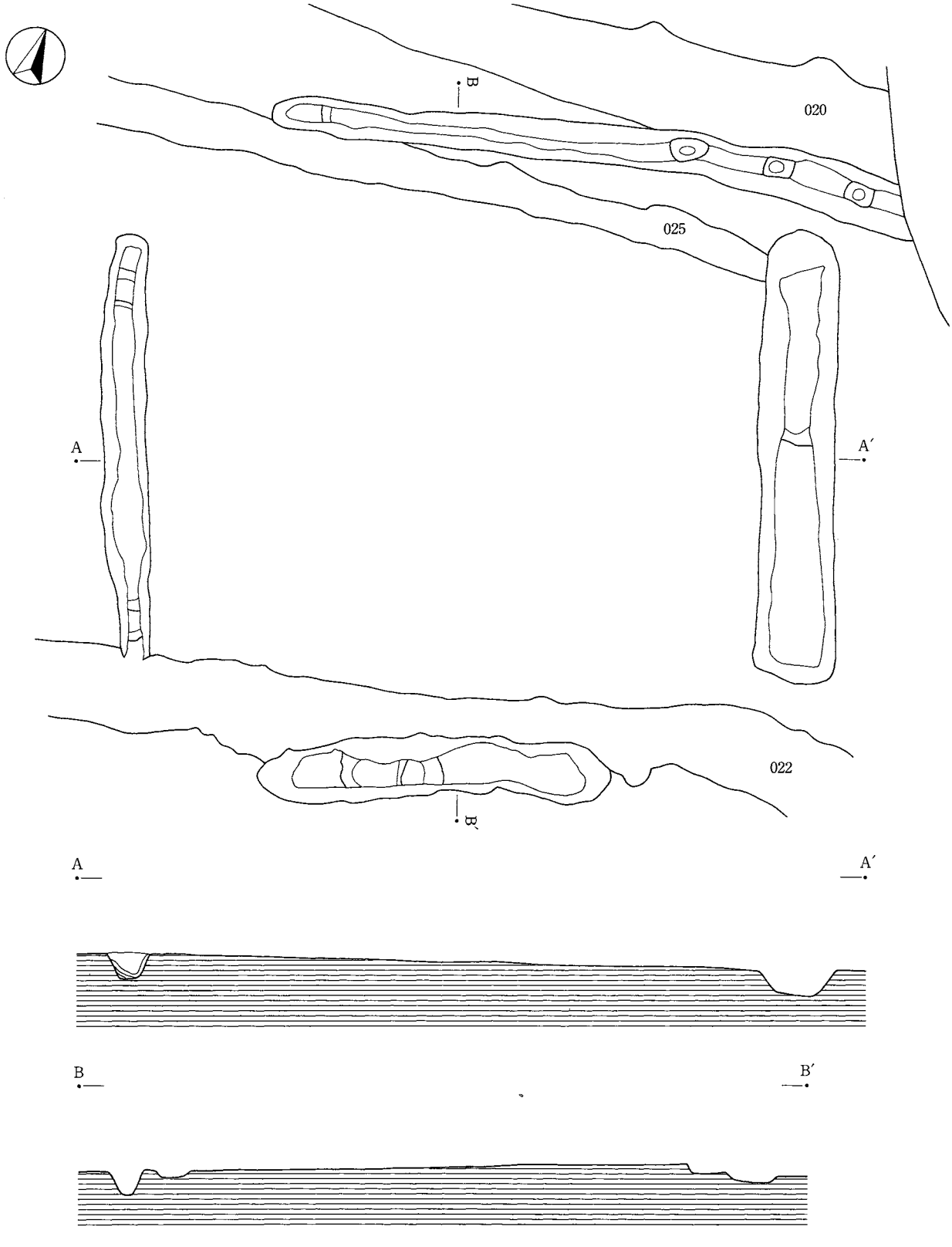
3は鉢である。口縁部には縄文が施され，沈線で区画されるものである。内面はヘラミガキされ，赤彩される。



第318図　2－102

2　方形周溝墓

1－021（第319・320図，図版12・13・49）



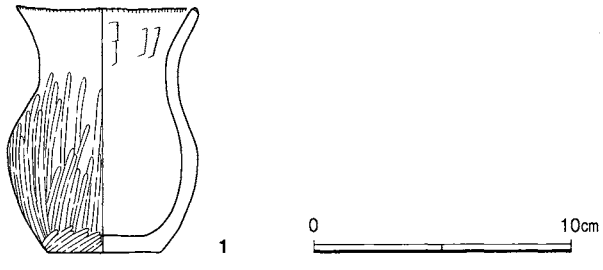
第319図　1－021（1）

調査区北部，Q5・R5グリッドに位置する。４本の周溝が独立した形態をとる。溝022と重複し，022より古い。周溝を含めた全体の規模は，12.4m×11.6mを測る。周溝内側の長さは10.4m×10mを測り，ほぼ方形を呈する。北溝は，ほかの溝と重複している可能性があり，全長は不明である。上面幅は50cm～75cm，下面幅は20cm～30cm，深さは25cm～40cmを測る。南溝は全長６m，上面幅は80cm～１m，下面幅は40cm～70cm，深さは10cm～28cmを測り，部分的に47cmと深くなる。西溝は全長7.2m，上面幅は50cm～80cm，下面幅は15cm～50cm，深さは両端は20cm前後と浅いが，中央部は45cm前後でやや深くなる。東溝は全長7.7m，上面幅は1.2m～1.4m，下面幅は40cm～１m，深さは37cm～58cmを測る。周溝断面は逆台形を呈する。周溝覆土は大きく２層に分けられ，上部から中部にはローム粒を含む黒色土，下部にはロームブロックを含む黒褐色土が堆積していた。

埋葬施設は検出されなかった。

遺物は周溝内から土器が８点出土しているが，図示できたのは，１点のみである。

１は完形の小型壺で，口縁部には細かい刻み目が加えられ，胴部外面はヘラミガキされる。胴部内面は剥落が著しい。



第320図　１－021（２）

１－026（第321・322図，図版13）

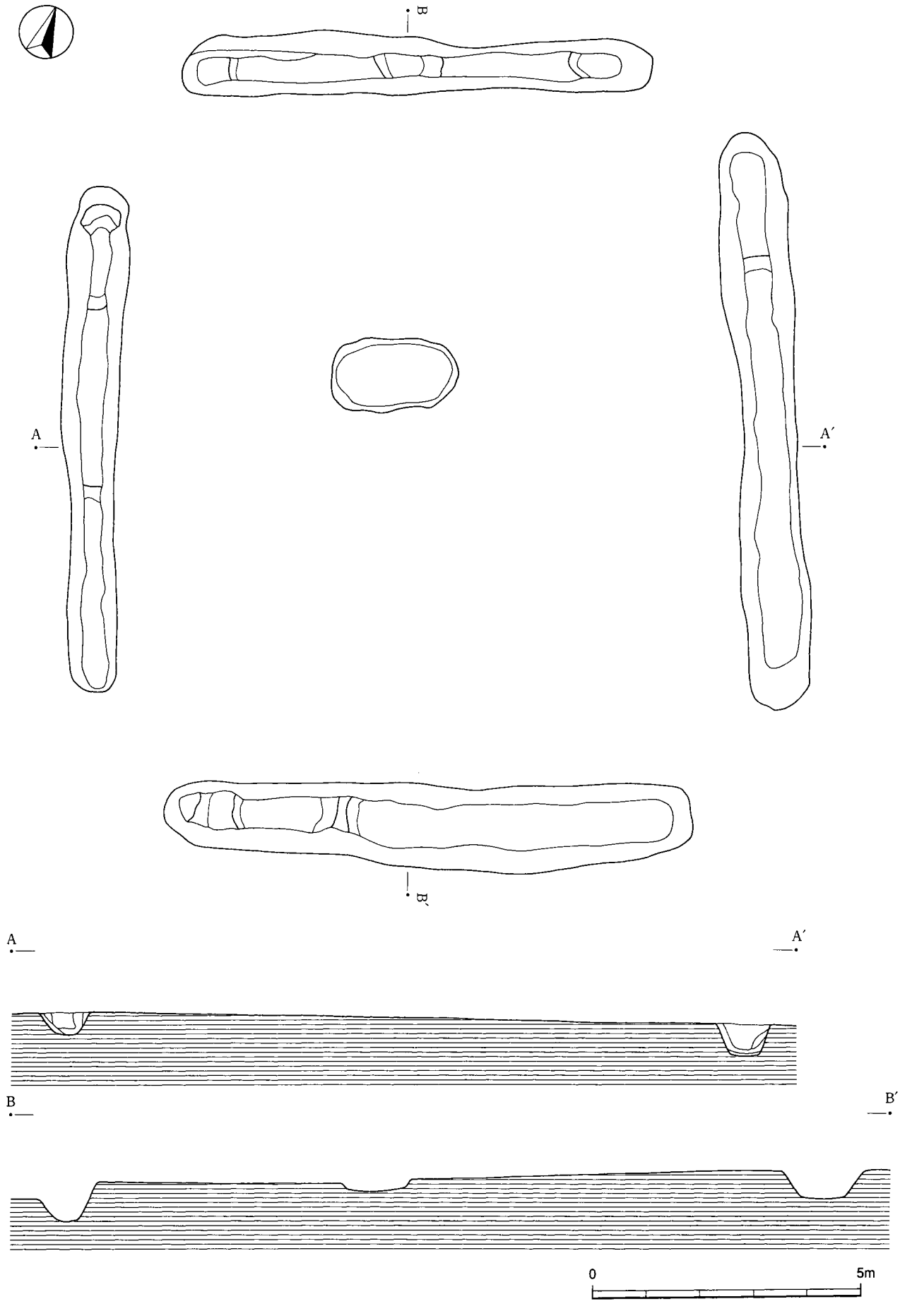
調査区北部，Q5・R6グリッドに位置する。４本の周溝が独立した形態をとる。周溝を含めた全体の規模は，13.6m×15.5mを測る。周溝内側の長さは11.6m×12.7mを測り，やや長方形を呈する。北溝は全長8.7m，上面幅は80cm～1.2m，下面幅は40cm～50cm，深さは51cm～69cmを測る。南溝は全長9.75m，上面幅は1.2m～1.6m，下面幅は50cm～90cm，深さは25cm～47cmを測る。西溝は全長9.4m，上面幅は80cm～1.1m，下面幅は30cm～50cm，深さは20cm～56cmを測る。東溝は全長10.7m，上面幅は１m～1.3m，下面幅は50cm～80cm，深さは35cm～60cmを測る。周溝断面は逆台形を呈する。

周溝覆土は大きく２層に分けられ，上部から中部にはローム粒を含む黒色土，下部にはロームブロックを含む黒褐色土が堆積していた。

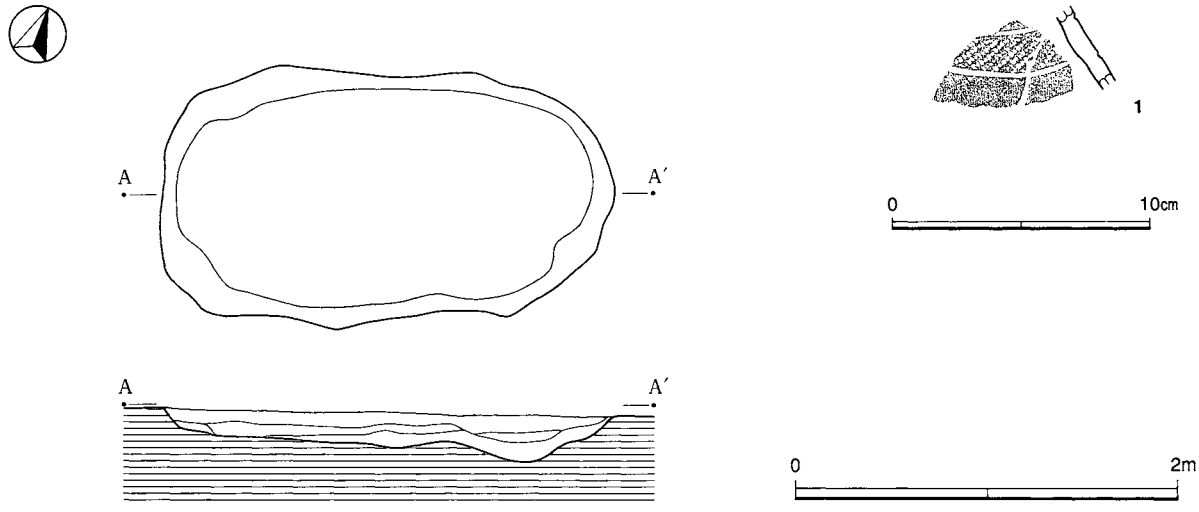
埋葬施設は中央やや北寄りで検出された土坑である。隅丸長方形を呈し，長さ2.35m，幅1.4m，深さ15cm～25cmを測る。

遺物は周溝内から土器片が85点出土しているが，図示できたのは，１点のみである。

１は壺で，沈線で区画された縄文帯が巡るものである。



第321図　1－026（1）



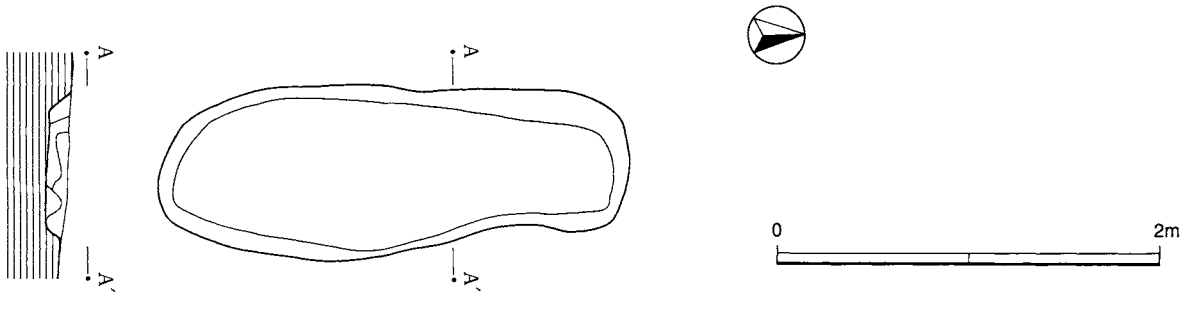
第322図　1－026（2）

1－028（第323・324図）

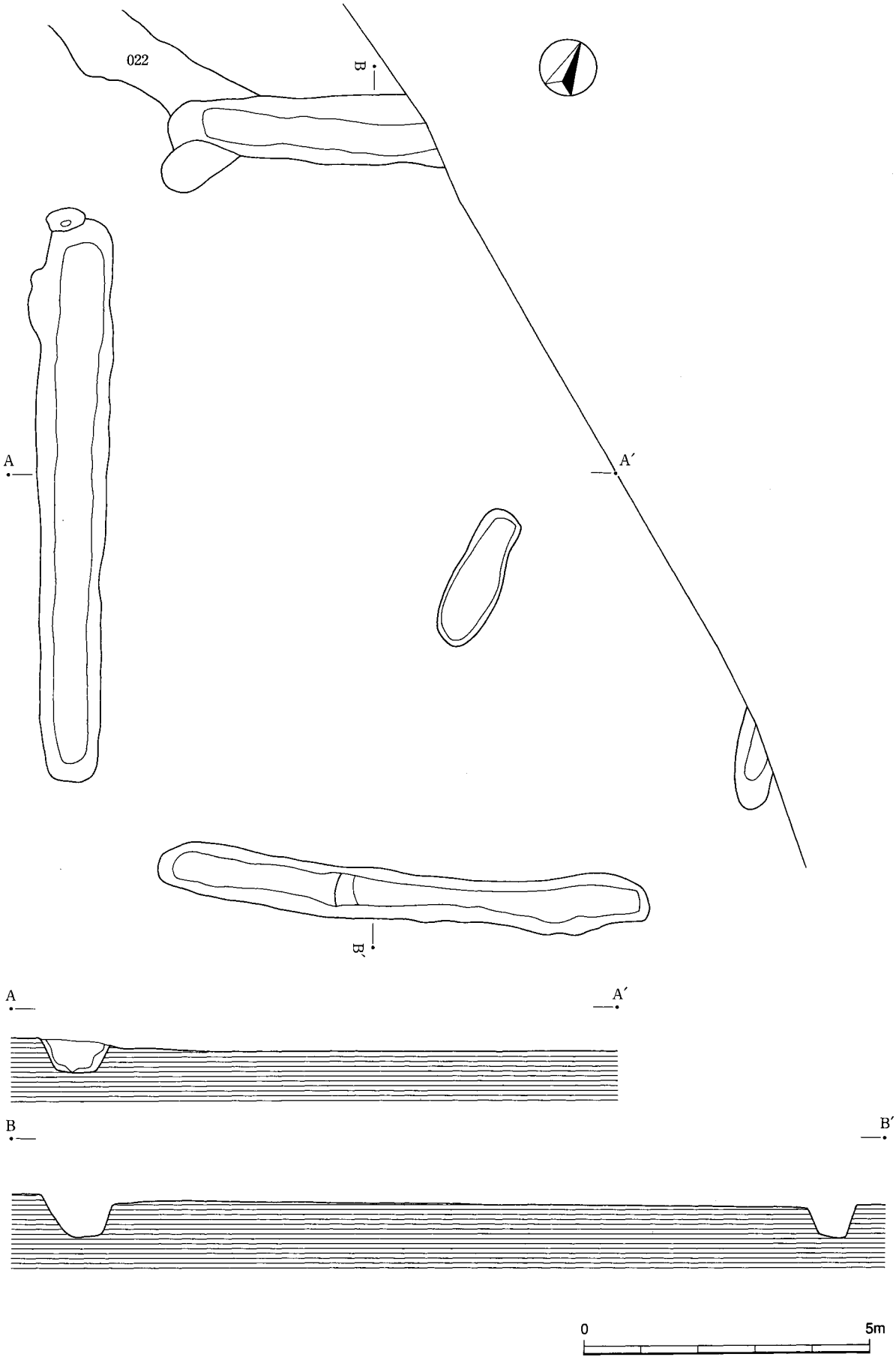
調査区北部，R5・S6グリッドに位置する。4本の周溝が独立した形態をとるが，東側1/3ほどは調査区外に延びており，北溝の約半分と東溝の大半は調査することができなかった。周溝を含めた全体の規模は，13.5m×14.4mを測る。周溝内側の長さは11m×12.2mを測り，やや長方形を呈する。北溝は検出された全長4.6m，上面幅は1m～1.2m，下面幅は50cm～60cm，深さは45cm～70cmを測る。南溝は全長8.65m，上面幅は70cm～1m，下面幅は30cm～60cm，深さは23cm～51cmを測る。西溝は全長9.8m，上面幅は1m～1.2m，下面幅は55cm～75cm，深さは22cm～47cmを測る。東溝は検出された全長1.8m，上面幅は70cm，下面幅は30cm，深さは40cmを測る。周溝断面は逆台形を呈する。周溝覆土は大きく2層に分けられ，上部から中部にはローム粒を含む黒色土，下部にはロームブロックを含む黒褐色土が堆積していた。

埋葬施設は中央やや東寄りで検出された土坑である。土坑の主軸は周溝の東西方向の軸と斜めに交差する方向にある。不整な隅丸長方形を呈し，長さ2.45m，幅90cm，深さ10cmを測る。

遺物は周溝内から土器片が9点出土しているのみで，図示できるものはない。



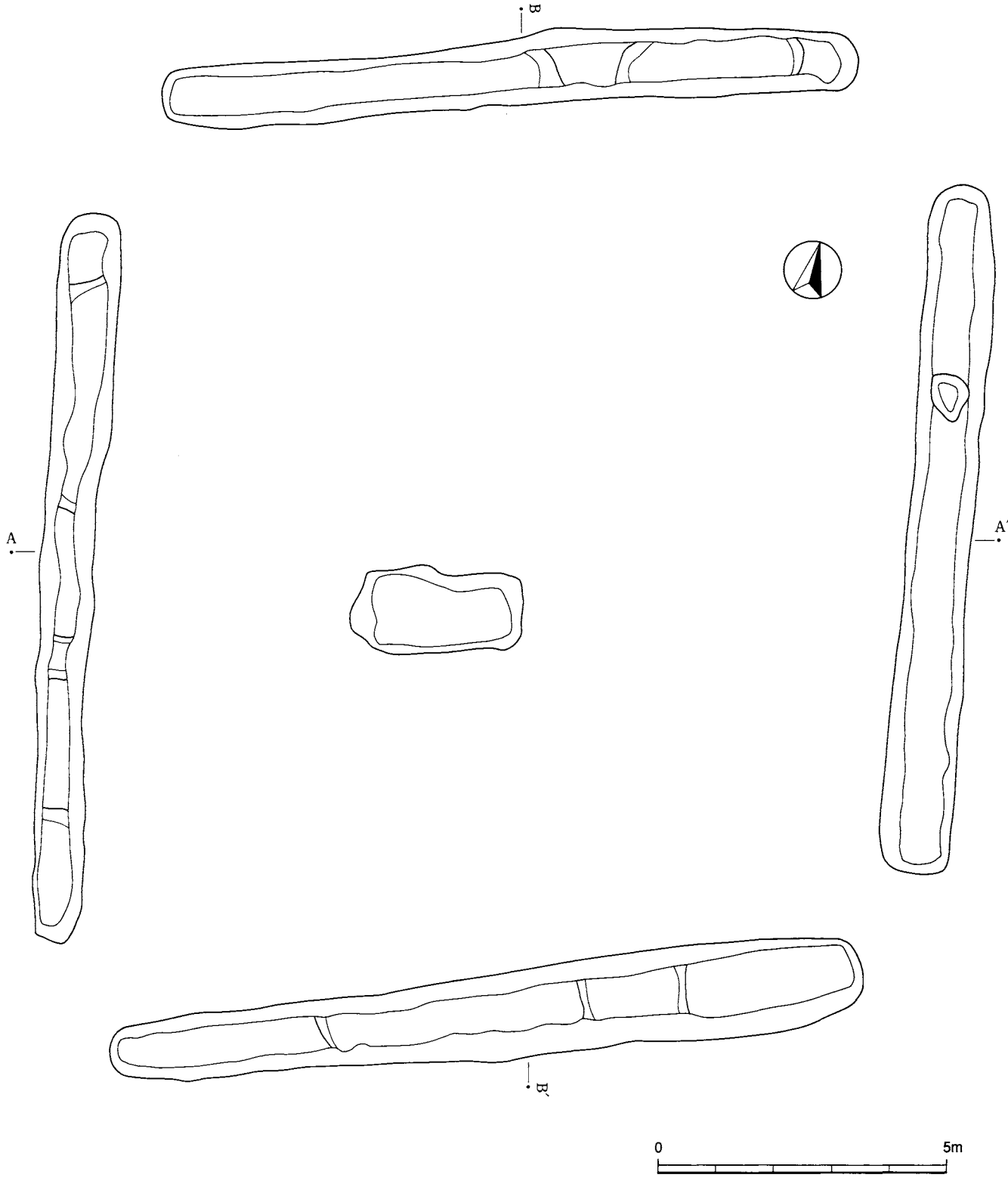
第323図　1－028（1）



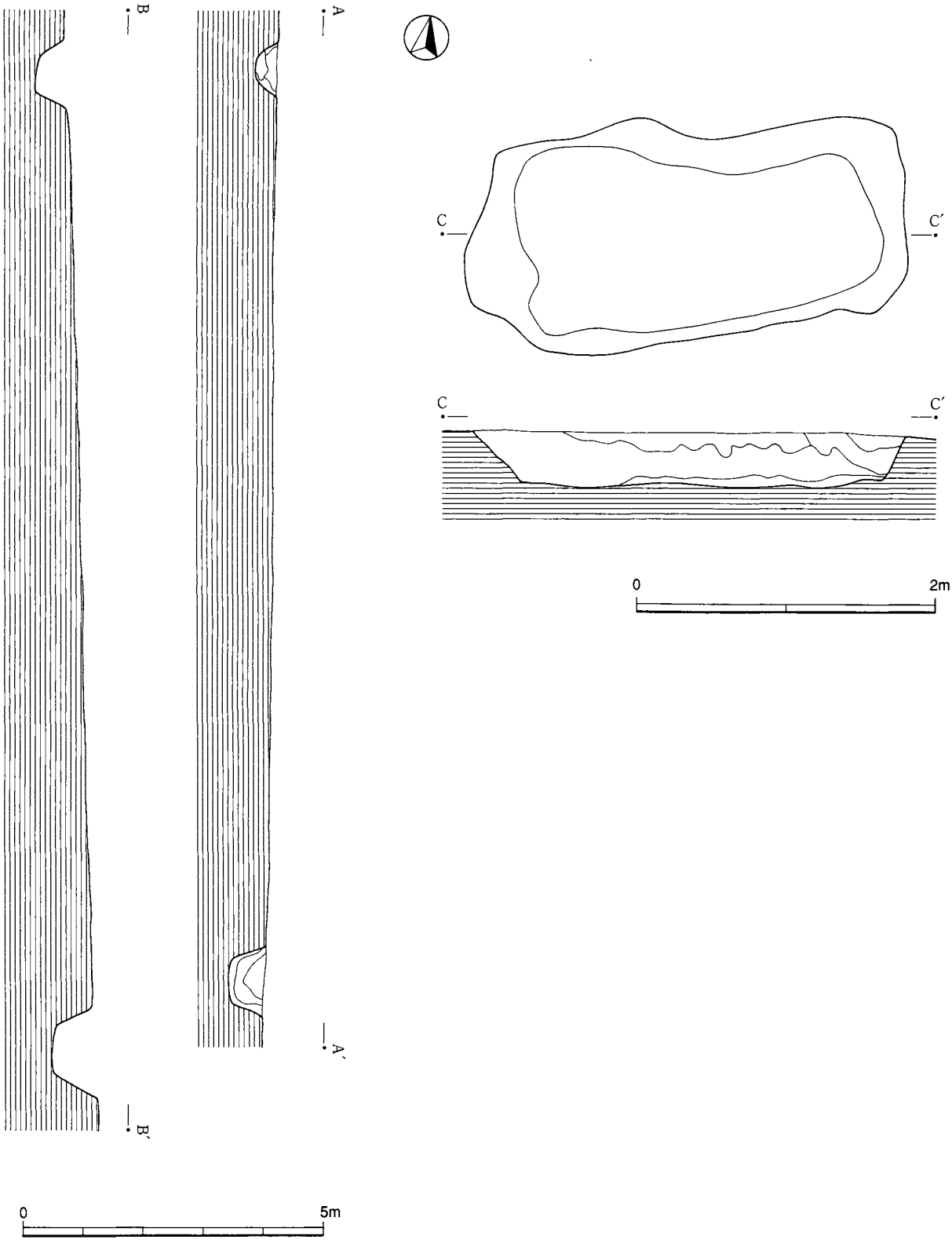
第324図　1－028（2）

1－029（第325・326図，図版13）

調査区北部，Q6・S7グリッドに位置する。4本の周溝が独立した形態をとるが，各溝の主軸は直角に交わらず，全体として，平行四辺形状を呈する。周溝を含めた全体の規模は，16m×17.6mを測る。周溝内



第325図　1－029（1）



第326図　1－029（2）

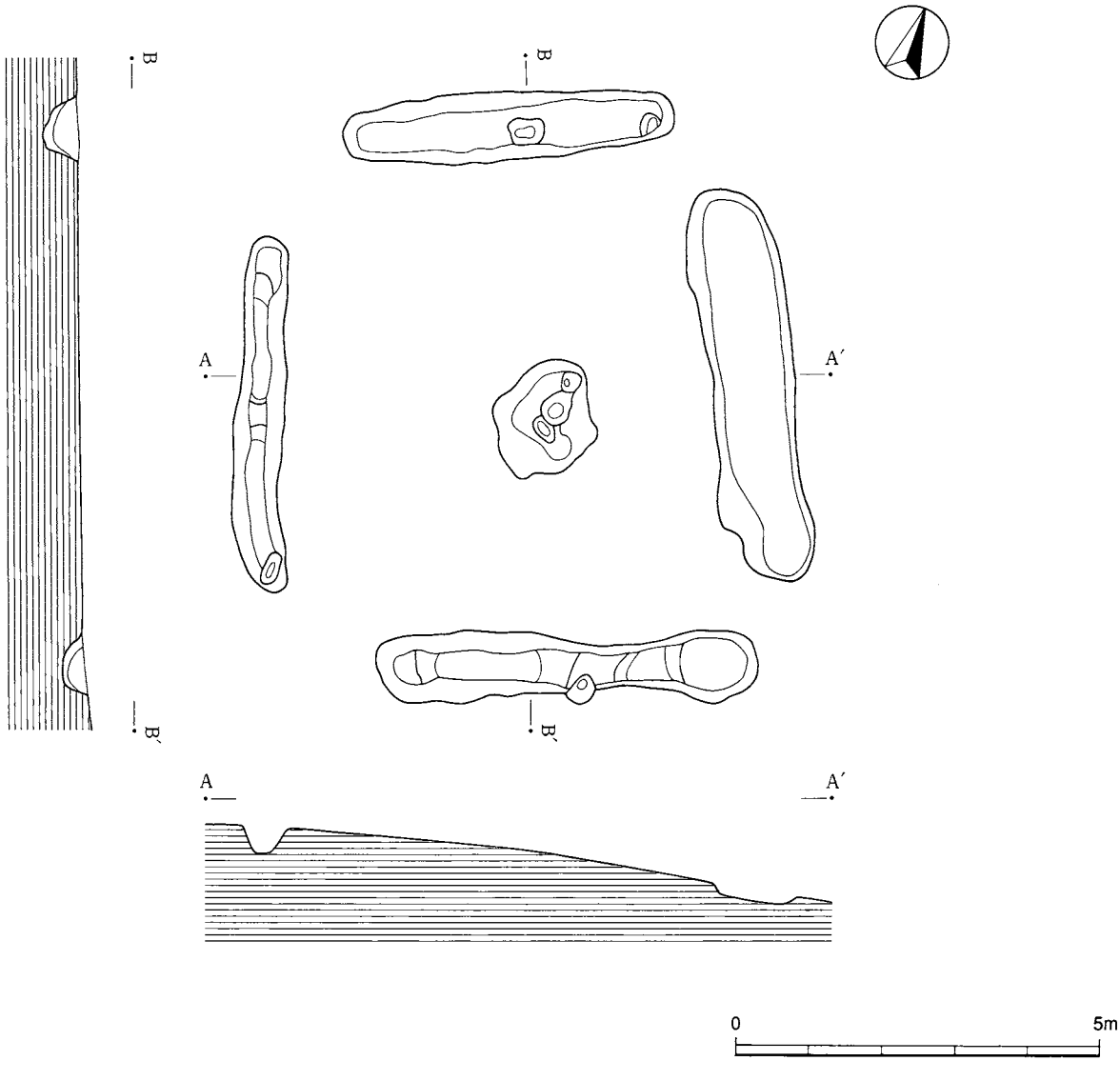
側の長さは14m×14.9mを測り，やや長方形を呈する。北溝は全長12m，上面幅は1m～1.2m，下面幅は50cm～70cm，深さは43cm～51cmを測る。南溝は全長13m，上面幅は1.1m～1.65m，下面幅は60cm～90cm，深さは43cm～66cmを測る。西溝は全長12.6m，上面幅は75cm～1m，下面幅は30cm～60cm，深さは30cm～58cmを測る。東溝は全長11.9m，上面幅は1.1m～1.3m，下面幅は60cm～75cm，深さは33cm～58cmを測る。周溝断面は逆台形を呈する。周溝覆土は黒色土を主体としたもので，大きく3層に分けられた。下層に行くにつれて，ローム粒・ロームブロックの含有量が増加する。

埋葬施設は中央やや南寄りで検出された土坑である。不整な隅丸長方形を呈し，長さ2.9m，幅1.4m，深さ30cm～38cmを測る。

遺物は周溝内から土器片が65点出土しているが，図示できるものはない。

1－037（第327・328図，図版14）

調査区北部，R6・S6グリッドに位置する。4本の周溝が独立した形態をとる。北・南・西の3溝は，ほぼ方形の3辺に位置しているが，東溝のみは，主軸がやや西にふれている。周溝を含めた全体の規模は，

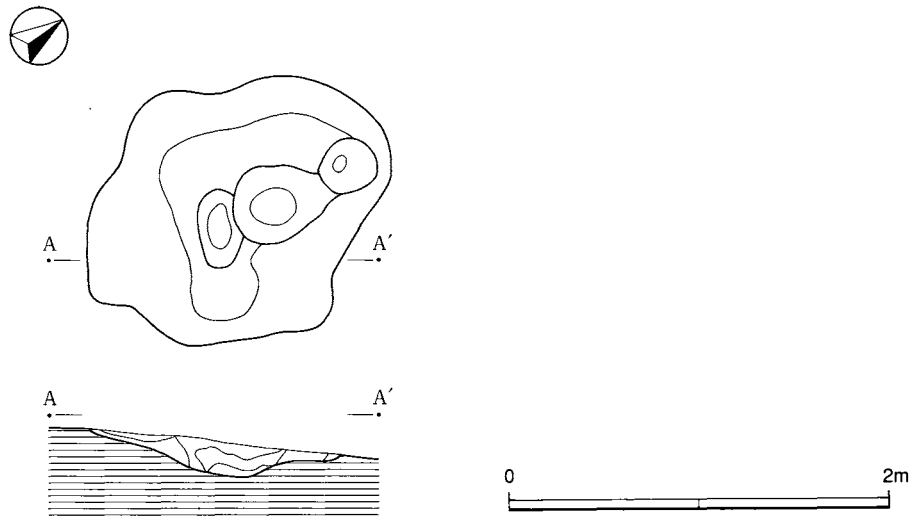


第327図　1－037（1）

7.6m×8.2mを測る。周溝内側の長さは5.8m×6.5mを測り，やや長方形を呈する。北溝は全長4.5m，上面幅は80cm～１m，下面幅は40cm～60cm，深さは24cm～47cmを測る。南溝は全長5.2m，上面幅は60cm～１m，下面幅は40cm～50cm，深さは12cm～28cmを測る。西溝は全長4.9m，上面幅は55cm～70cm，下面幅は15cm～25cm，深さは10cm～41cmを測る。東溝は全長5.5m，上面幅は1.1m～1.3m，下面幅は80cm～90cm，深さは24cm～28cmを測る。周溝断面は逆台形を呈する。周溝覆土は２層に分けられ，上層には黒色土，下層にはロームブロックを含む黒褐色土が堆積していた。

埋葬施設と考えられるのは，中央で検出された土坑である。位置的にはともかく，規模・形状等で埋葬施設とするには疑問の残るものである。不整な楕円形を呈し，長径1.75m，短径1.4m，幅1.4m，深さ18cmを測る。

遺物は周溝内から土器片が１点出土しているのみで，図示できるものはない。



第328図　１－037（２）

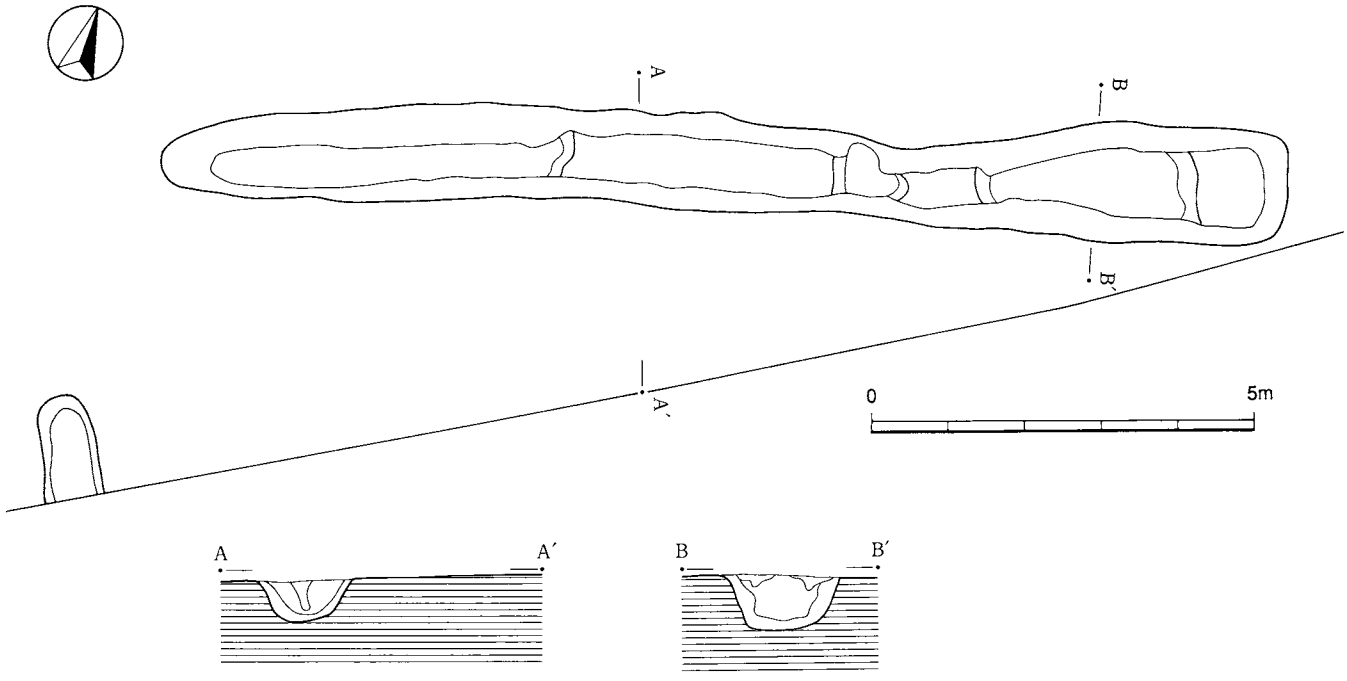
１－038（第329・330図，図版14・49）

調査区北部，R7・S7グリッドに位置する。４本の周溝が独立した形態をとるものと思われるが，遺構の大半は調査範囲外に及んでおり，北溝と西溝の一部のみしか調査することはできなかった。検出部分からして，周溝を含めると一辺が18m程度の規模になるものと思われる。北溝は全長14.7m，上面幅は１m～1.6m，下面幅は50cm～90cm，深さは23cm～73cmを測る。西溝は検出された全長1.3m，上面幅は80cm，下面幅は55cm～75cm，深さは30cmを測る。周溝断面は逆台形を呈する。周溝覆土は大きく２層に分けられ，上部から中部には黒色土，下部には黒褐色土が堆積していた。

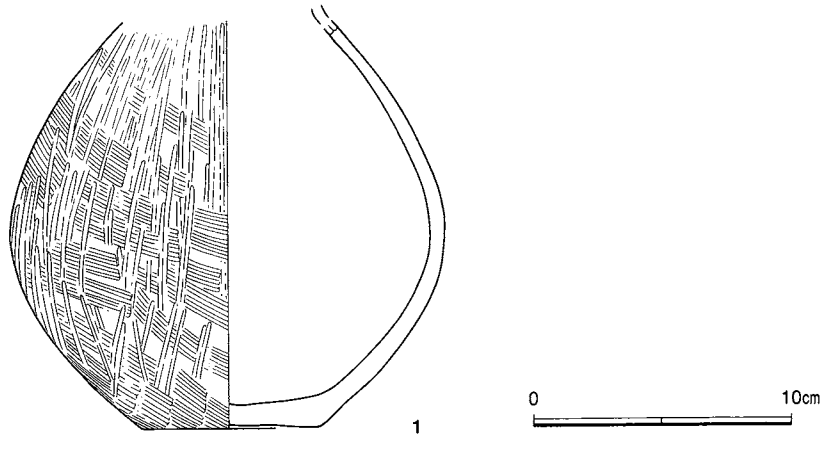
埋葬施設は検出されなかった。

遺物は周溝内から土器が７点出土しており，１点図示することができた。

１は壺で，外面はハケ調整後ヘラミガキされるものである。内面は剥落が著しい。



第329図　1－038（1）



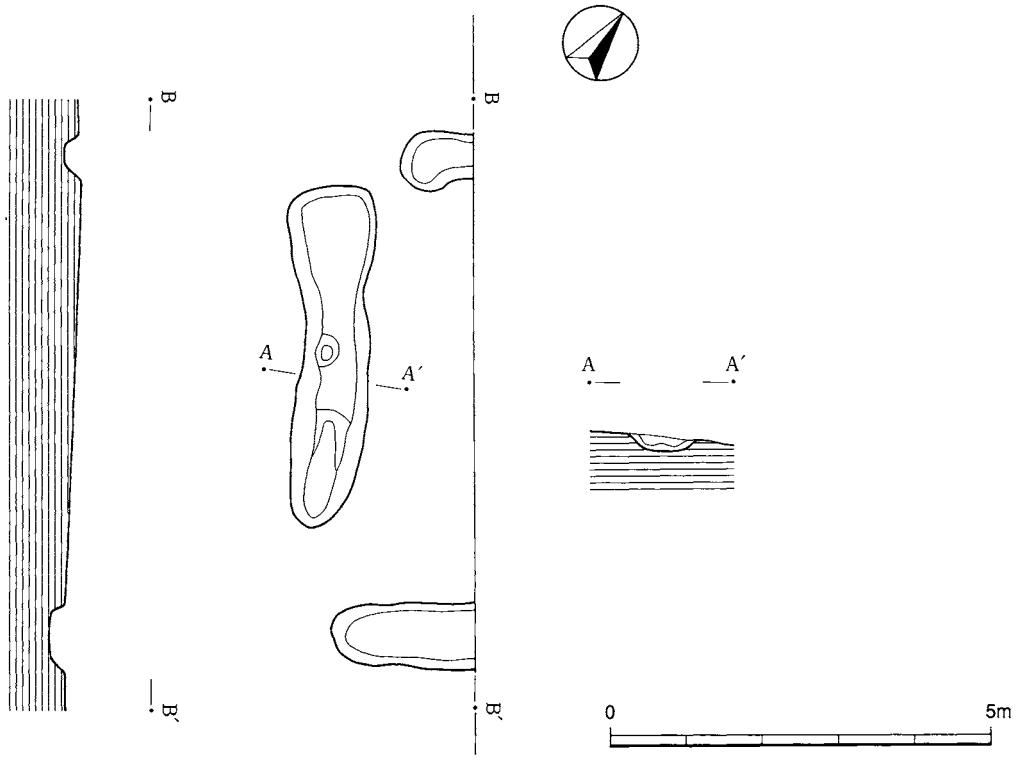
第330図　1－038（2）

1－061（第331図，図版14）

調査区北部，S6グリッドに位置する。4本の周溝が独立した形態をとるものと思われるが，遺構の3/5は調査区外に延びており，西溝と北・南溝の一部のみしか調査することはできなかった。検出部分からして，周溝を含めると一辺が6.3m程度の規模になるものと思われる。西溝は全長4.5m，上面幅は80cm～1m，下面幅は40cm～90cm，深さは9cm～20cmを測る。北溝は検出された全長1m，上面幅は60cm～80cm，下面幅は35cm～50cm，深さは10cmを測る。南溝は検出された全長1.9m，上面幅は80cm～90cm，下面幅は50cm～60cm，深さは11cm～15cmを測る。周溝断面は逆台形を呈する。周溝覆土は大きく2層に分けられ，上部から中部には黒色土，下部には黒褐色土が堆積していた。

埋葬施設は検出されなかった。

遺物は出土していない。



第331図　1－061

2－013（第332・333図，図版15）

調査区南部，E27・28グリッドに位置する。周溝は全周せず，南コーナー付近で1か所途切れる。周溝を含めた全体の規模は，8.4m×7.9mを測る。周溝内側の長さは6.7m×6.4mを測り，やや長方形を呈する。周溝の上面幅は60cm～1m，周溝の下面幅は30cm～70cmを測る。深さは15cm～42cmを測る。周溝断面は逆台形を呈する。周溝覆土は，ロームブロックを含む黒色土を主体としたものであった。

埋葬施設は中央部で検出された土坑である。土坑の主軸は周溝の東西方向の軸と斜めに交差する方向にある。不整な長方形を呈し，長さ2m，幅1m，深さ10cmを測る。覆土は黒褐色土を主体としたものであった。

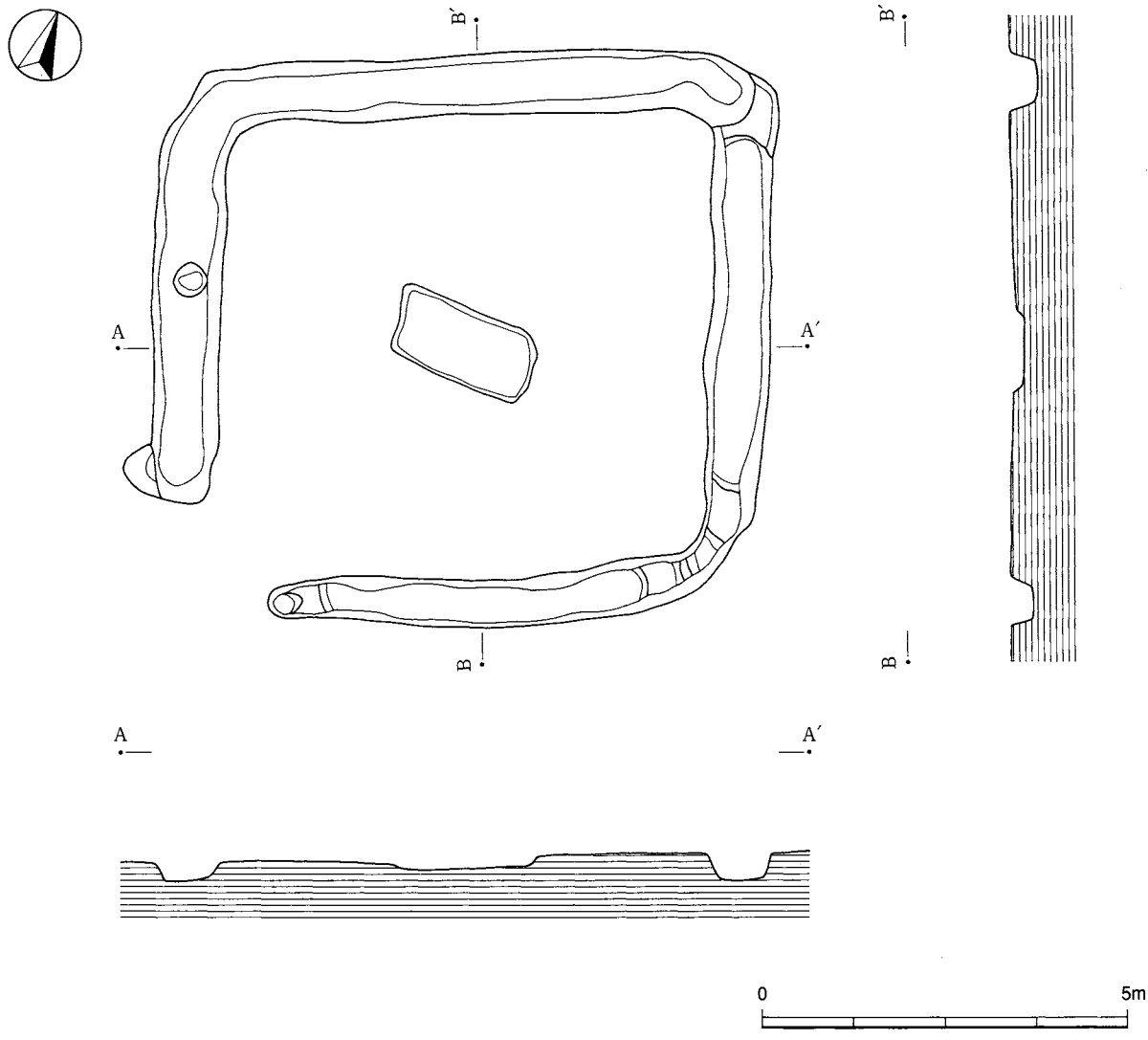
遺物は周溝内および土坑内から土器片が7点出土しているのみで，図示できるものはない。

2－014・015（第334～337図，図版15・16・50）

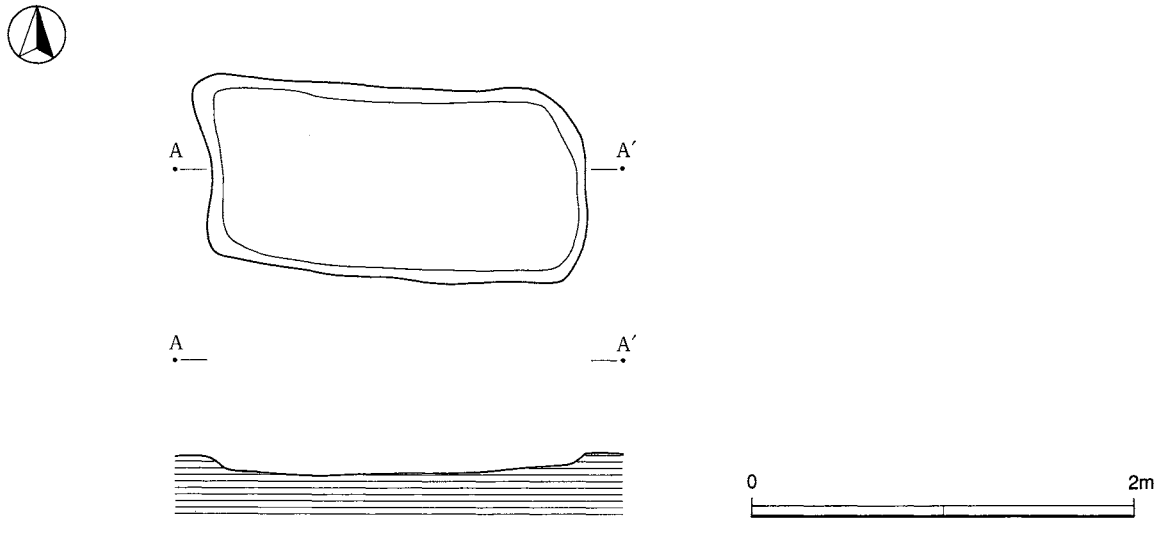
調査区南部，E27グリッドに位置する。重複して検出された。

014は東側で015と重複するが，新旧関係は不明である。周溝は全周せず，南コーナー付近で1か所途切れる。周溝を含めた全体の規模は，東西方向は8.4m，南北方向は015との重複により不明であるが，9.7m程度を測るものと思われる。周溝内側の長さは6.3m×7.3mを測り，長方形を呈する。周溝の上面幅は80cm～1.2m，周溝の下面幅は30cm～90cmを測る。深さは10cm～50cmを測り，場所により大きく差がある。周溝断面は逆台形を呈する。周溝覆土は黒色土を主体としたものであった。

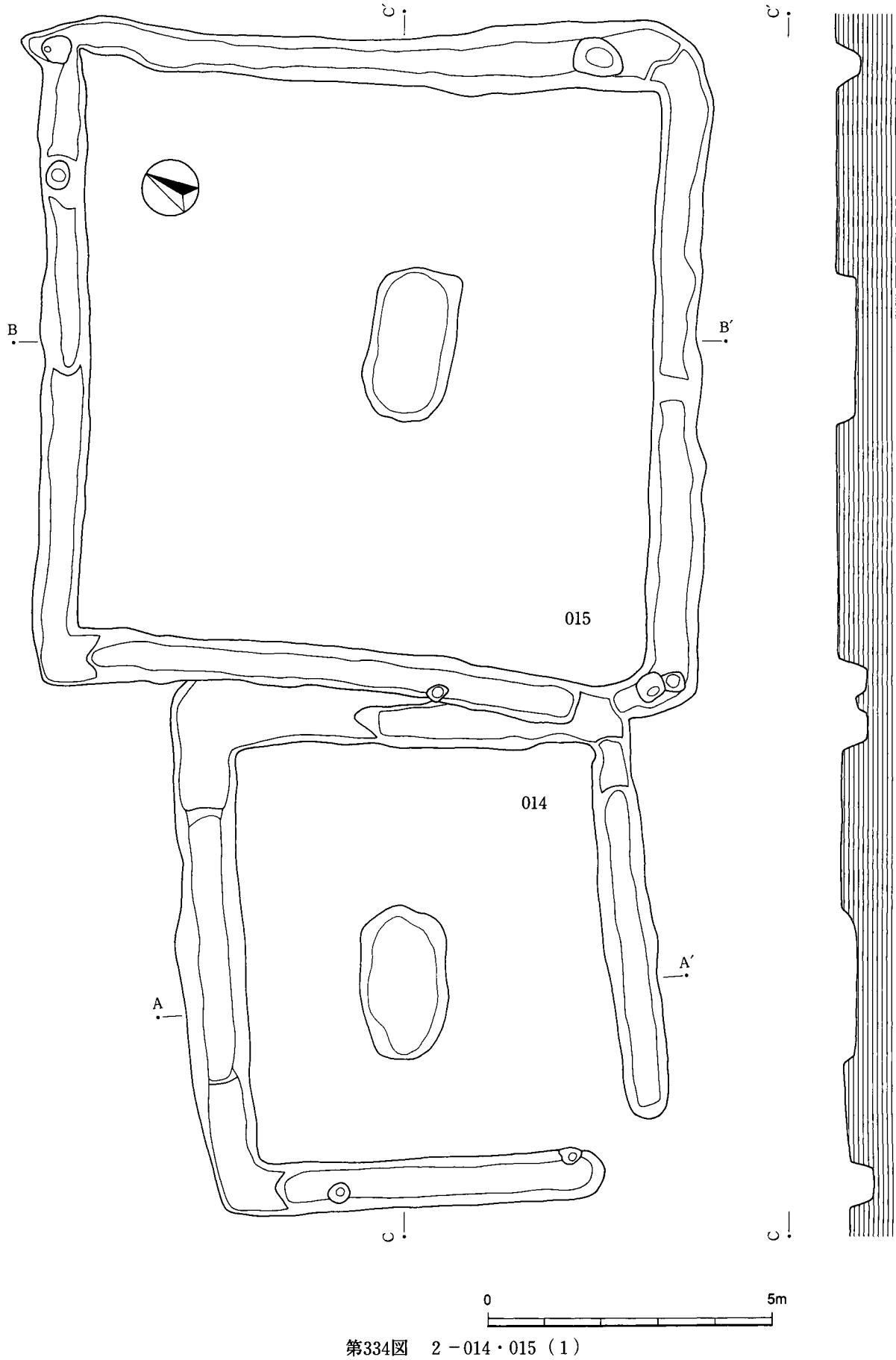
埋葬施設は中央部で検出された土坑である。長楕円形を呈し，長さ2.7m，幅1.55m，深さ35cmを測る。覆土は3層に分けられたが，黒色土を主体としたものであった。



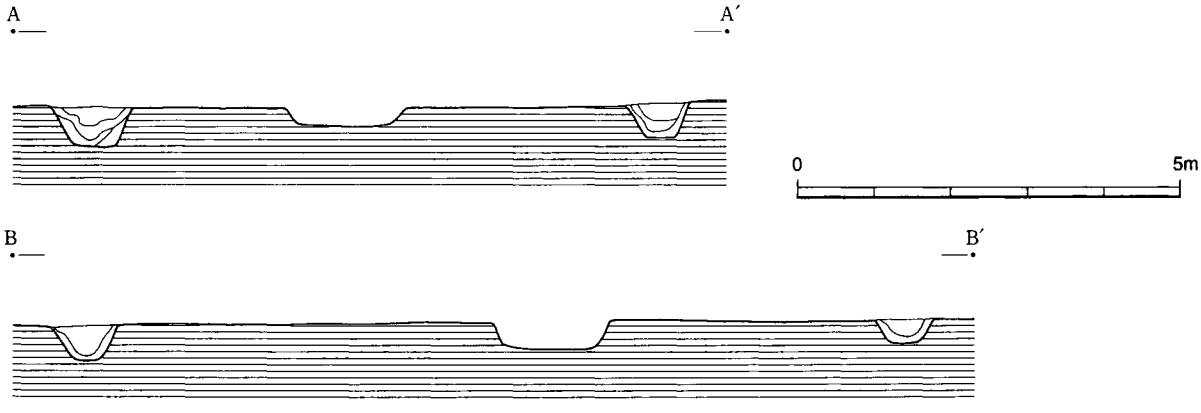
第332図　2－013（1）



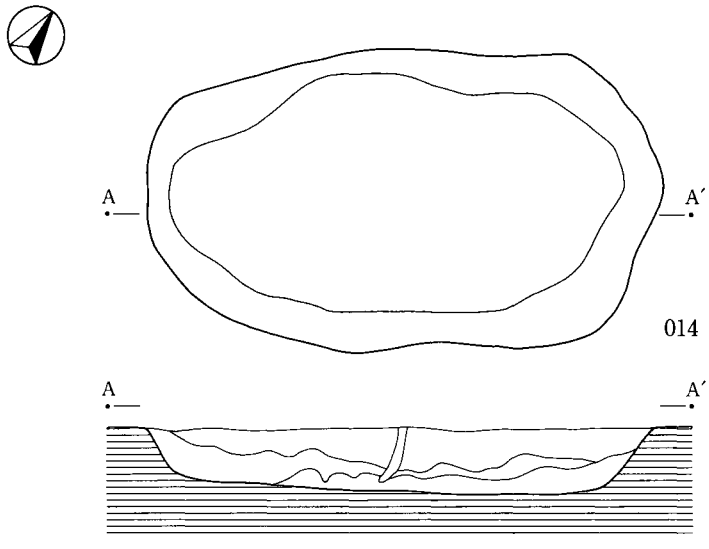
第333図　2－013（2）

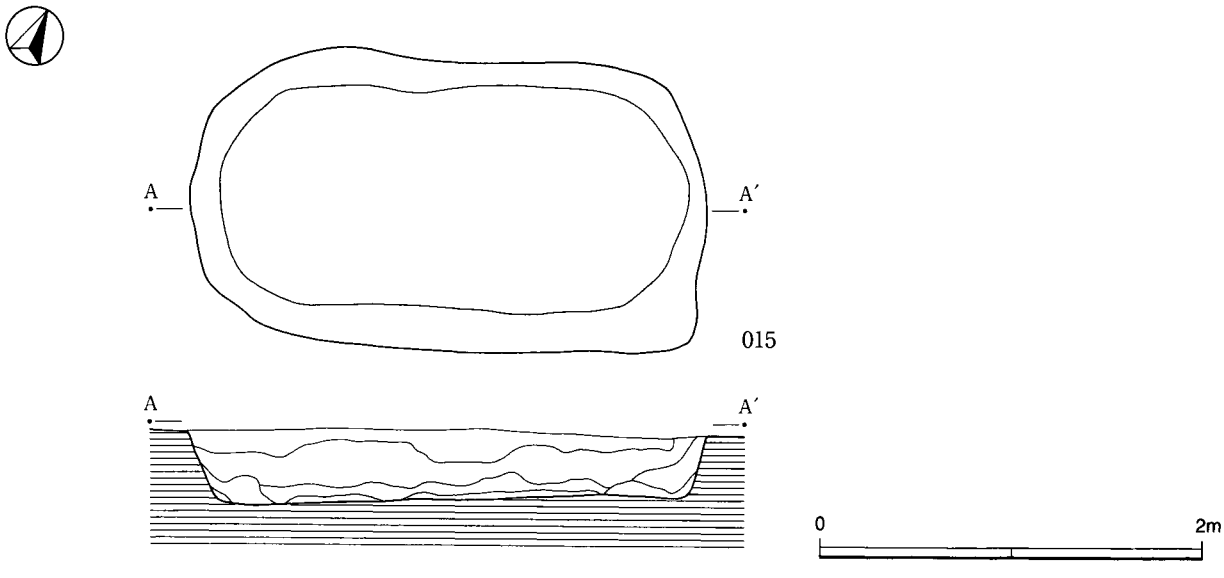


第334図　2－014・015（1）



第335図　2－014・015（2）





第336図　2－014・015（3）

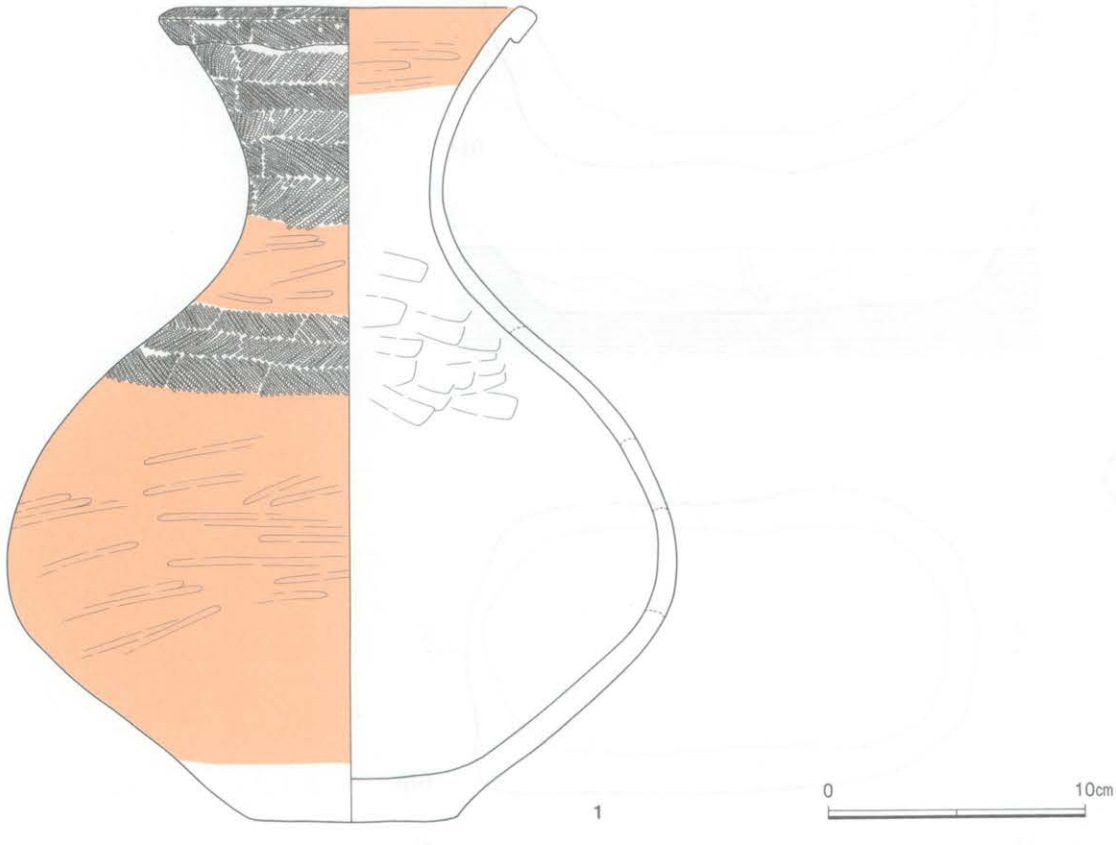
遺物は，周溝内から土器片が１点出土しているのみで，図示できるものはない。

015は西側で014と重複するが，新旧関係は不明である。周溝は全周する。周溝を含めた全体の規模は，一辺が11.5ｍを測り，正方形を呈する。周溝内側の長さは9.9ｍを測り，正方形を呈する。周溝の上面幅は60cm～1.2ｍ，周溝の下面幅は30cm～60cmを測る。深さは13cm～51cmを測り，場所により大きく差がある。周溝断面は逆台形を呈する。周溝覆土は，黒色土を主体としたものであった。

埋葬施設は中央部で検出された土坑である。長楕円形を呈し，長さ2.7ｍ，幅1.6ｍ，深さ40cmを測る。覆土は黒色土を主体としたもので，壁際にはローム粒が多く含まれていた。

遺物は，周溝内から土器が６点出土しており，１点図示することができた。

１は壺である。口縁部から頸部と胴部上半に縄文帯が巡るもので，底部を除く施文部以外の外面と口縁部内面はヘラミガキされ，赤彩される。頸部以下の内面は剥落が著しい。

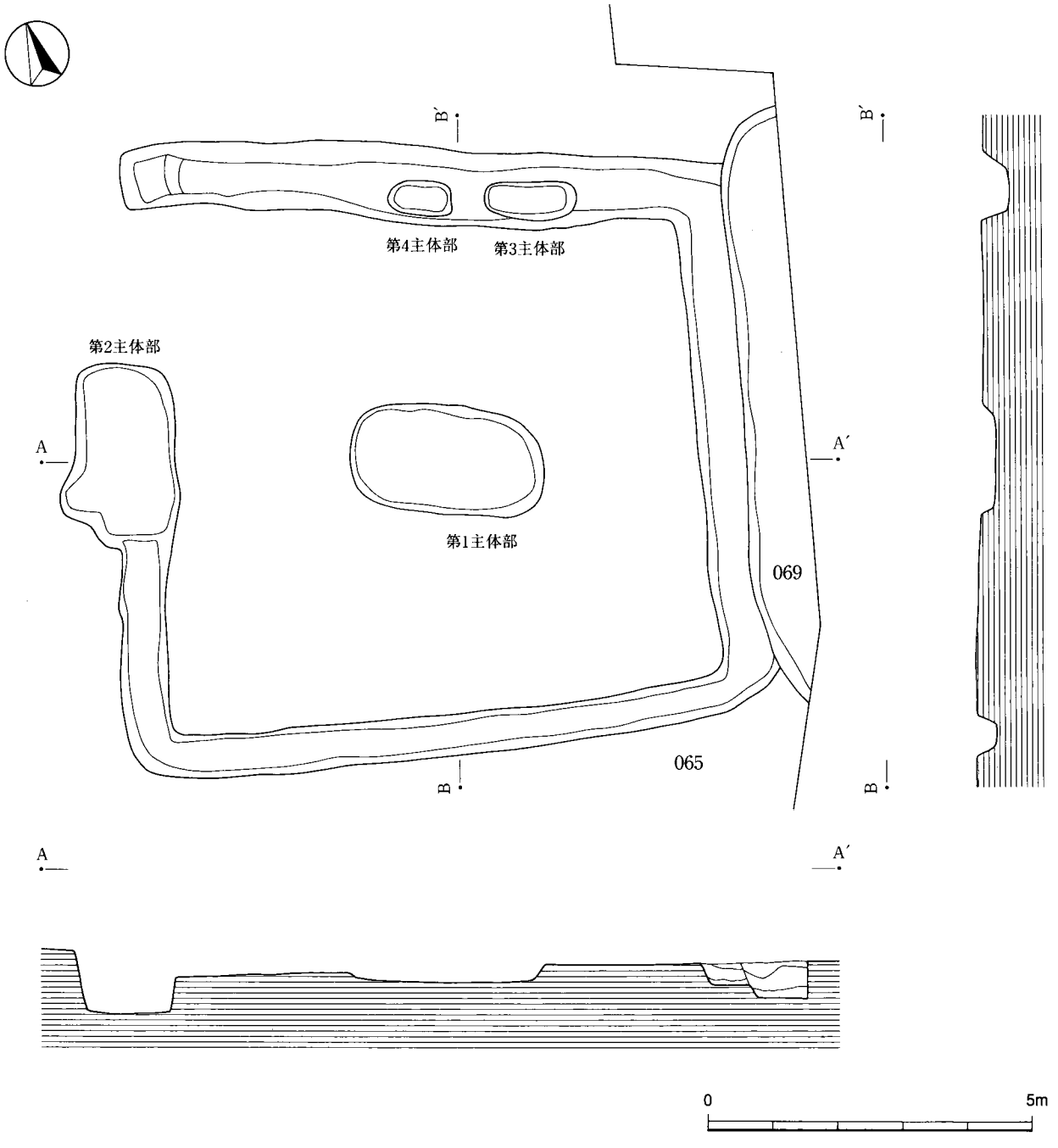


第337図　２－014・015（４）

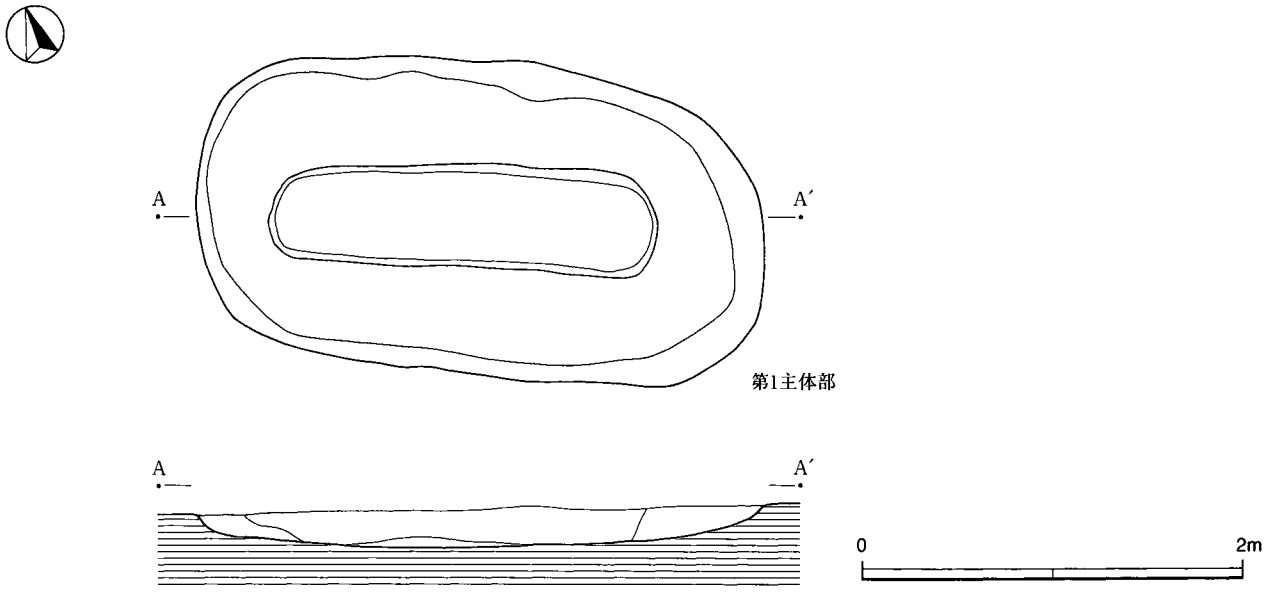
2 －065・069（第338～343図，図版16・50・51）

調査区中央部，I23～J23グリッド（065），J23～J24グリッド（069）に位置する。重複して検出された。

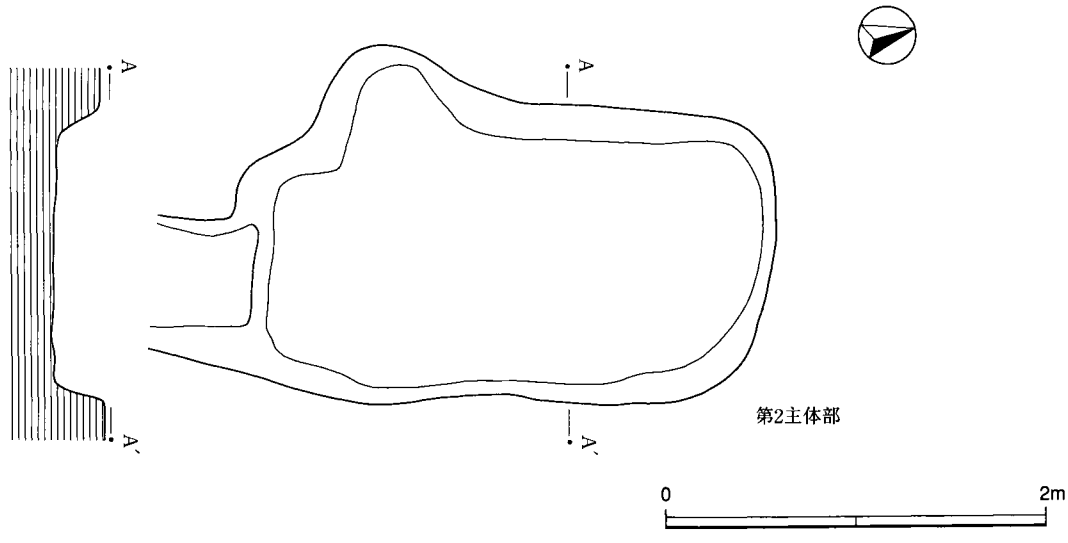
西側の065は，東側を069によって切られている。周溝は全周せず，北東コーナー付近で１か所途切れる。周溝を含めた全体の規模は，9.8m×9.5mを測る。周溝内側の長さは7.8m×7.5mを測り，方形を呈する。周溝の上面幅は60cm～1.1m，周溝の下面幅は40cm～70cmを測る。深さは13cm～41cmを測る。周溝断面は逆



第338図　2 －065・069（１）



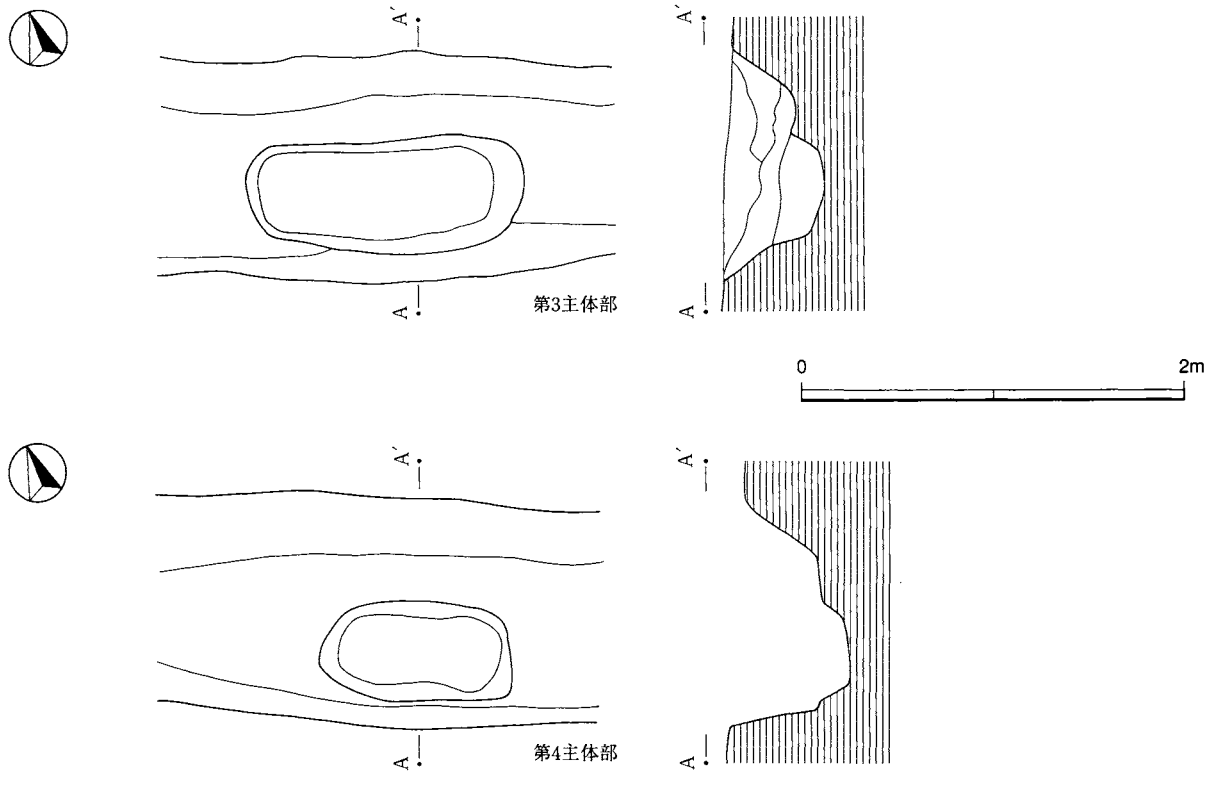
第339図　2－065・069（2）



第340図　2－065・069（3）

台形を呈する。周溝覆土は3層に分けられたが，ローム粒・ロームブロックを含む暗褐色土を主体としたものであった。

埋葬施設は4か所で検出された。第1主体部は，中央部で検出された土坑である。長方形を呈し，長さ3m，幅1.7m，深さ20cmを測る。長さ2m，幅0.55mの規模で木棺痕跡が確認されており，木棺直葬であったと考えられる。第2主体部は西側周溝の先端部分で検出された土坑である。長さ2.8m，幅1.5m，深さ25cmを測る。第3主体部・第4主体部は，いずれも北側周溝の中央で，検出されたものである。東側を第3主体部，西側を第4主体部とした。第3主体部は，長さ1.45m，幅0.6m，周溝底面からの深さ約20cmを測る。第4主体部は，長さ1m，幅0.5m，周溝底面からの深さ約15cmを測る。

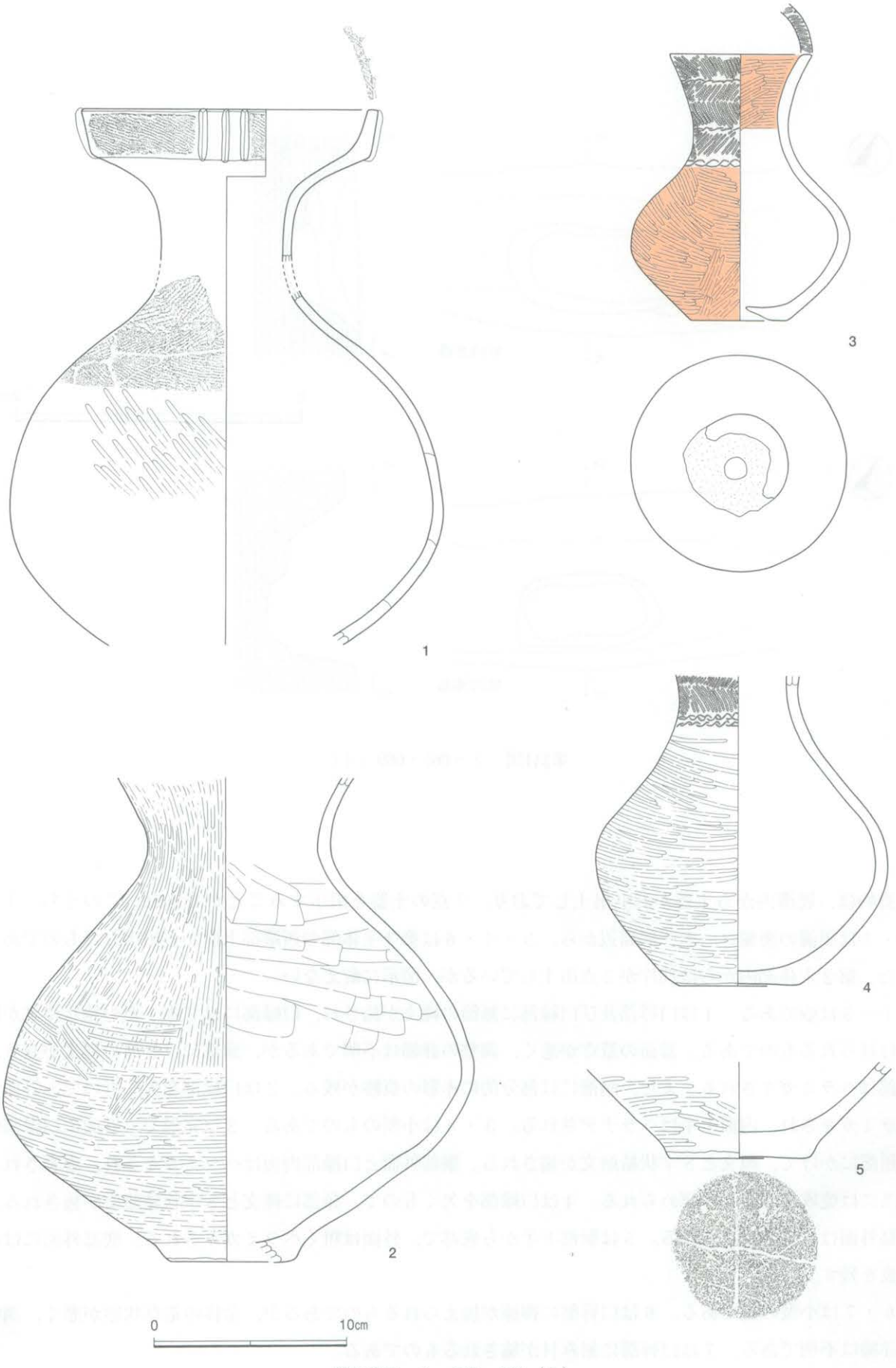


第341図　2－065・069（4）

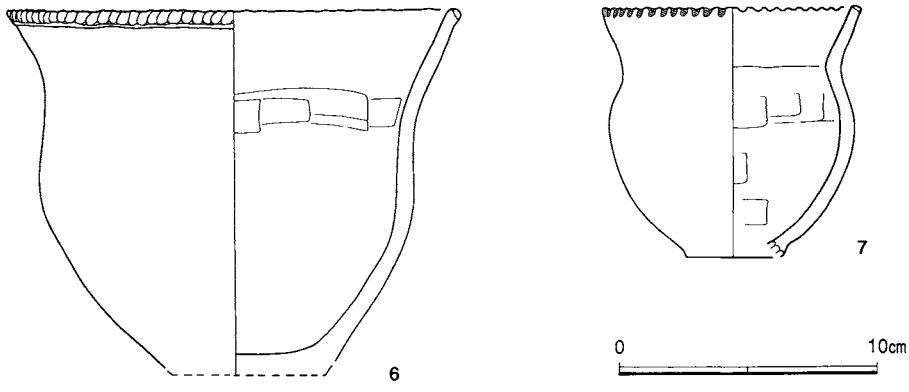
遺物は，周溝内から土器が25点出土しており，7点の土器を図示することができた。このうち，1・2・7は周溝の南側コーナー部周辺から，3・4・6は第3主体部の西端部上面から出土したものである。また，第2主体部内からは鉄片が2点出土しているが，図示に耐えない。

1～5は壺である。1は口唇部及び口縁部に無節の縄文が施され，口縁部には3本1組の棒状浮文が貼り付けられるものである。器面の遺存が悪く，調整の詳細は不明であるが，頸部には無節の縄文が巡り，胴部はヘラミガキされる。また，胴部には部分的に赤彩の痕跡が残る。2は口縁部を欠くもので，外面はヘラミガキされ，内面上半はヘラナデされる。3・4は小型のものである。3は完形で，外面の口縁部から頸部にかけて，縄文とS字状結節文が施される。胴部外面と口縁部内面はヘラミガキされ，赤彩される。底部には焼成後の穿孔が認められる。4は口縁部を欠くもので，頸部に縄文とS字状結節文が施される。胴部外面はヘラミガキされる。5は胴部下半から底部で，外面は粗くヘラミガキされる。底部外面には木葉痕を残す。

6・7は小型の甕である。6は口唇部に押捺が加えられるものであるが，全体の遺存状態が悪く，調整の詳細は不明である。7は口唇部に刻み目が施されるものである。



第342図　2－065・069（5）



第343図　2－065・069（6）

東側の069は065の東側周溝を切って構築されている。周溝墓と考えられるが，西溝の一部と考えられる長さ9.2mの溝が検出されたのみで，大半は調査区外に延びており，全体の規模は不明である。深さ43cm～55cmを測る。周溝断面は逆台形を呈するものと考えられる。周溝覆土は3層に分けられたが，ローム粒・ロームブロックを含む暗褐色土を主体としたものであった。

埋葬施設は検出されていない。

遺物は出土していない。

3　溝

2－084（046）（第344図）

調査区南部，C30～D31グリッドにかけて，北西から南東方向に約20m検出されたもので，北西側は調査範囲外に及んでいる。東側1/4を2－046，西側3/4を2－084として調査したが，同一の遺構である。住居跡が密集する区域で検出されたもので，多くの住居跡と重複している。2－082・083・087・093・103より古い。上面幅0.75m～1.1m，底面幅0.2m～0.6mを測る。深さは0.25m～0.35mを測るが，西端はやや深くなり，0.6mを測る。

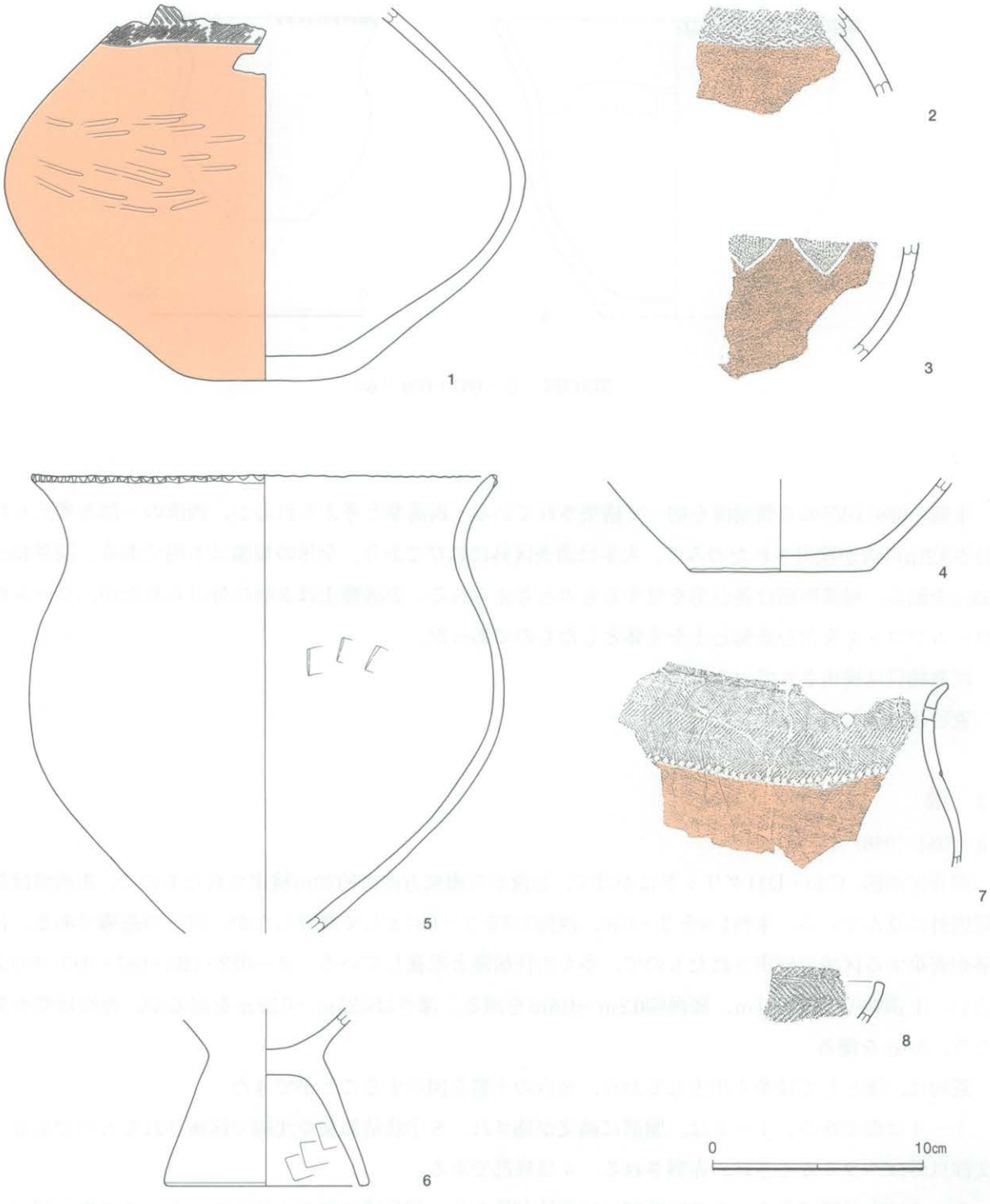
遺物は，溝としては多く出土しており，8点の土器を図示することができた。

1～4は壺である。1～3は，胴部に縄文が施され，S字状結節文や沈線で区画されるものである。施文部以外はヘラミガキされ，赤彩される。4は底部である。

5・6は台付甕である。5の口唇部には押捺が施され，部分的に刻みも加えられる。6は脚台部で，5と同一個体である可能性が高い。

7は甕で，口縁部に縄文帯が巡り，中位には焼成前の穿孔が認められる。頸部には布巻棒状工具による押捺が認められる。施文部以外の外面と口縁部内面はヘラミガキされ，赤彩される。

8は鉢の口縁部で，縄文が施される。内面はヘラミガキされる。



第344図　2－084（046）

第4節　古墳時代の遺構と遺物

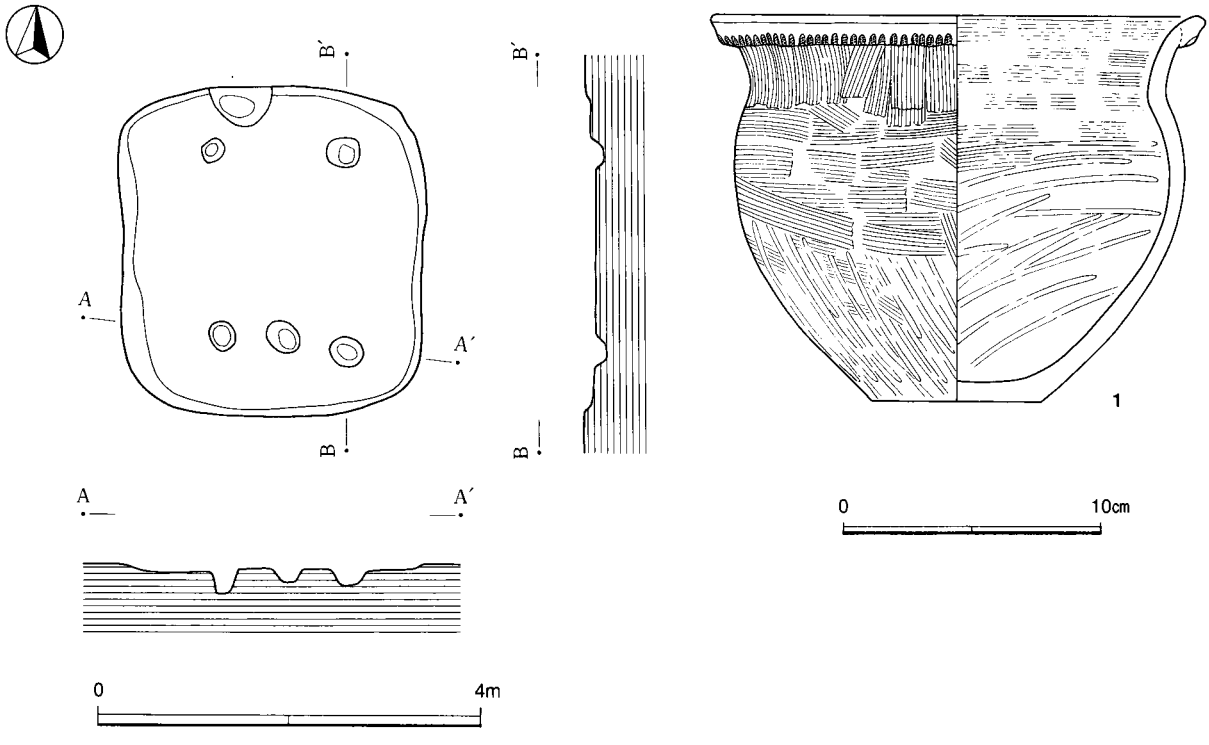
1　竪穴住居跡

1－045（第345図，図版17・51）

調査区北部，O9グリッドに位置する。規模は一辺が3.4mで，隅丸方形を呈する。床面は平坦であるが，顕著な硬化面はみられなかった。覆土は黒色土を主体とするものあった。壁高は5cm～10cmを測る。ピットは6か所検出された。このうち，北壁に接しているもの以外は，位置からして，主柱穴と考えられるが，深さは14cm～21cmと全体に浅い。北壁に接しているピットは深さ14cmを測るが，性格は不明である。炉は検出されなかった。

遺物は，土器1点を図示した。

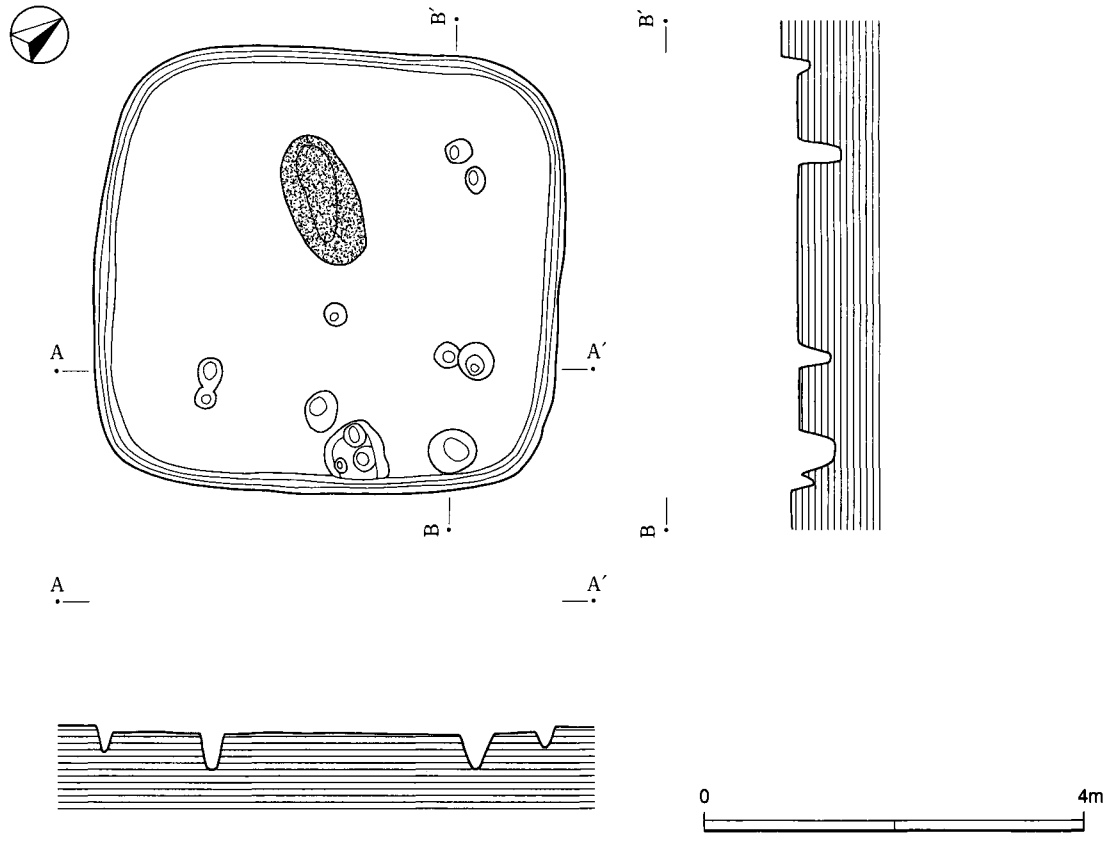
1は広口壺である。口縁部下端には棒状工具による押捺が加えられる。外面と内面上半はハケ調整され，内面上半はさらにナデが加えられ，外面下半はさらに粗くヘラミガキされる。内面下半も粗くヘラミガキされる。



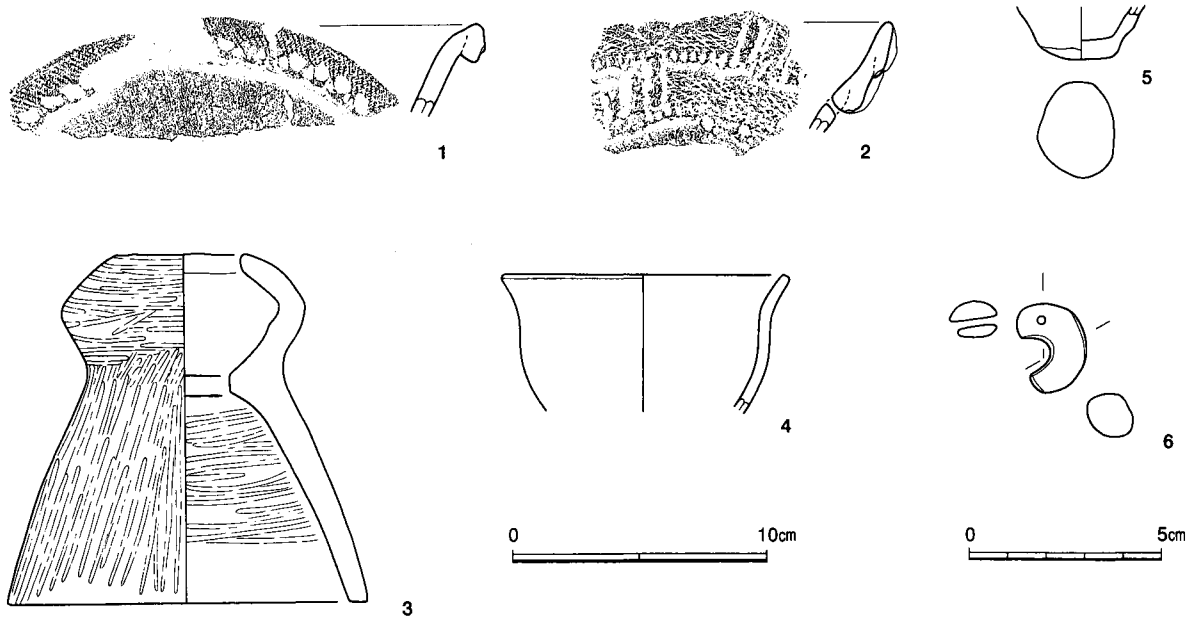
第345図　1－045

1－057（第346・347図，図版17・51）

調査区北部，P6グリッドに位置する。規模は4.9m×4.7mで，隅丸長方形を呈する。床面はほぼ平坦であるが，顕著な硬化面はみられなかった。覆土はロームブロックを含む黒褐色土を主体としたものである。壁高は10cm～20cmを測る。周溝は全周し，深さ約8cm～12cmを測る。ピットは10か所検出された。このうち，2か所1組で規則的に配置される計6か所のピットは柱穴と考えられる。深さ34cm～45cmを測る。これ以外のピットの性格は不明である。炉の南東のやや小規模のピットは深さ33cm，その東側のピットは深さ38cmを測る。東側コーナー部に近いピットは深さ36cmで，その南側のピットは深さ25cmのピットに深さ



第346図　1－057（1）



第347図　1－057（2）

10cmほどの小ピットが掘り込まれているものである。炉は中央やや北西側に位置する。楕円形を呈し，長軸径約140cm，短軸径約80cm，深さ約15cmを測る。焼土が主体で堆積し，火床はよく焼け，赤化していた。

遺物は，土器5点と土製勾玉1点を図示した。

1・2は壺である。1は口唇部に縄文が施され，下端には押捺が加えられる。頸部外面はヘラミガキされる。2は口縁部に網目状撚糸文が2段に施され，3本1組の棒状浮文が貼り付けられるものである。各段の下端には押捺が加えられる。頸部には2個1組の穿孔が認められる。

3は炉器台である。外面と脚台部内面はヘラミガキされる。

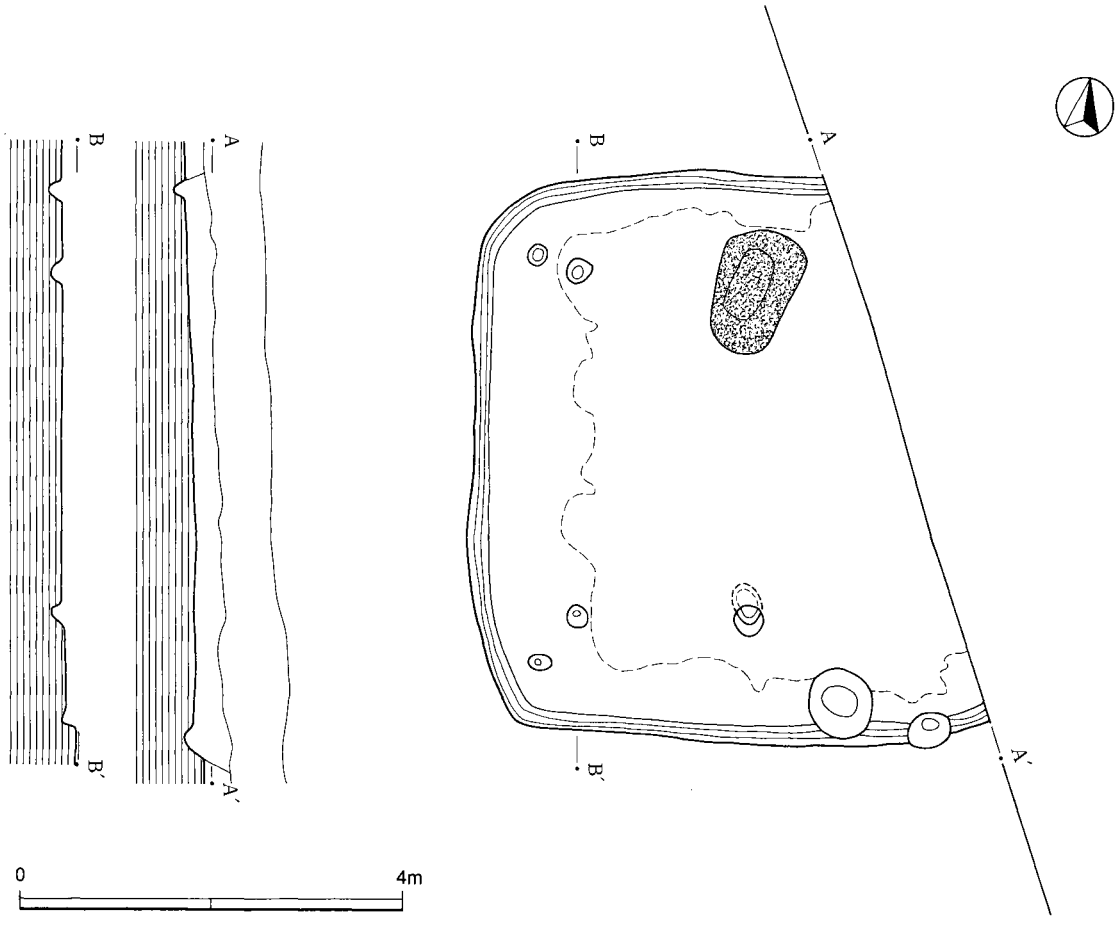
4は小型の鉢である。

5はミニチュア土器である。

6は土製勾玉である。重さ4.4gを測る。

1－075（第348・349図，図版17）

調査区北部，P8・Q8グリッドに位置する。東側約1/3は調査範囲外に及んでおり，全体を調査することができなかったが，一辺が約6mの隅丸方形を呈するものと考えられる。床面はほぼ平坦で，壁際を除いて硬化面が検出された。覆土は，ロームブロックを含む黒褐色土を主体とする。壁高は10cm弱を測る。周溝は全周し，深さ約6cm～10cmを測る。ピットは7か所検出された。このうち，2か所1組で規則的に配置される計4か所のピットは柱穴と考えられる。深さ15cm～22cmを測る。炉の中軸線上に位置するピット



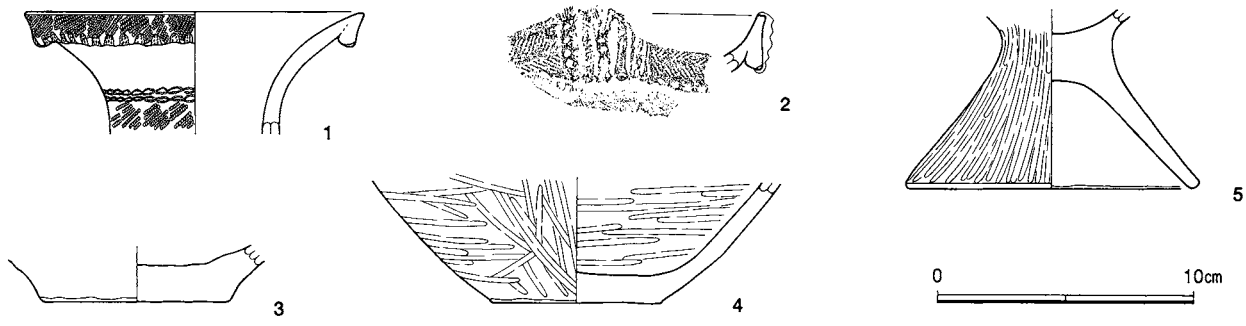
第348図　1－075（1）

は深さ48cmを測り，梯子ピットと考えられる。南壁側のピットのうち，東側のものは深さ42cm，西側のものは37cmを測るが，いずれも性格は不明である。炉は中央北側に位置する。長軸径約130cm，短軸径約80cmを測り，不整な楕円形を呈する。焼土が主体で堆積していた。

遺物は，土器５点を図示した。

１～４は壺である。１は口縁部に縄文が施され，下端には押捺が加えられる。頸部にはＳ字状結節文で区画された縄文帯が巡る。２は口縁部に縄文が施され，刻み目を有する４本１組の棒状浮文が貼り付けられる。下端は棒状工具による押捺が加えられる。３・４は底部で，4の内外面はヘラミガキされる。

５は高杯の脚部で，外面はヘラミガキされる。



第349図　１－075（２）

１－076（第350・351図，図版18・51・52）

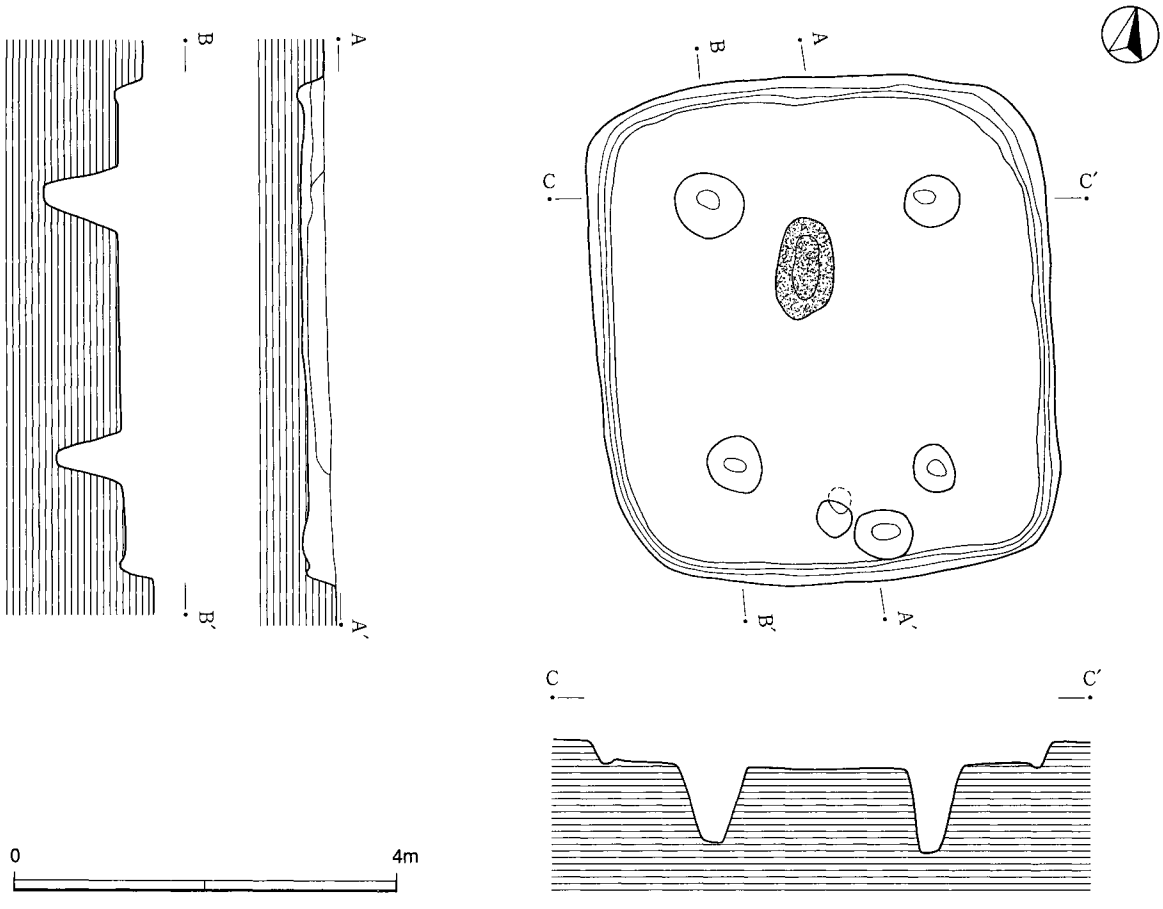
調査区北部，O8・P8グリッドに位置する。規模は5.3m×4.8mで，隅丸のやや長方形を呈する。床面はほぼ平坦であるが，顕著な硬化面はみられなかった。覆土は，ローム粒を含む黒褐色土を主体としたものである。壁高15cm～30cmを測る。周溝は全周し，深さ４cm～８cmを測る。ピットは６か所検出された。ほぼ規則的に配置される４か所が柱穴と考えられ，深さ70cm～84cmを測る。炉を通る中軸線上に位置するピットは，深さ34cmを測り，梯子ピットと考えられる。南壁際のピットの性格は不明である。深さ30cmを測る。炉は中央やや北側に位置する。長軸径約100cm，短軸径約60cm，深さ約18cmを測り，不整な楕円形を呈する。焼土が主体で堆積していた。

遺物は，土器６点を図示した。

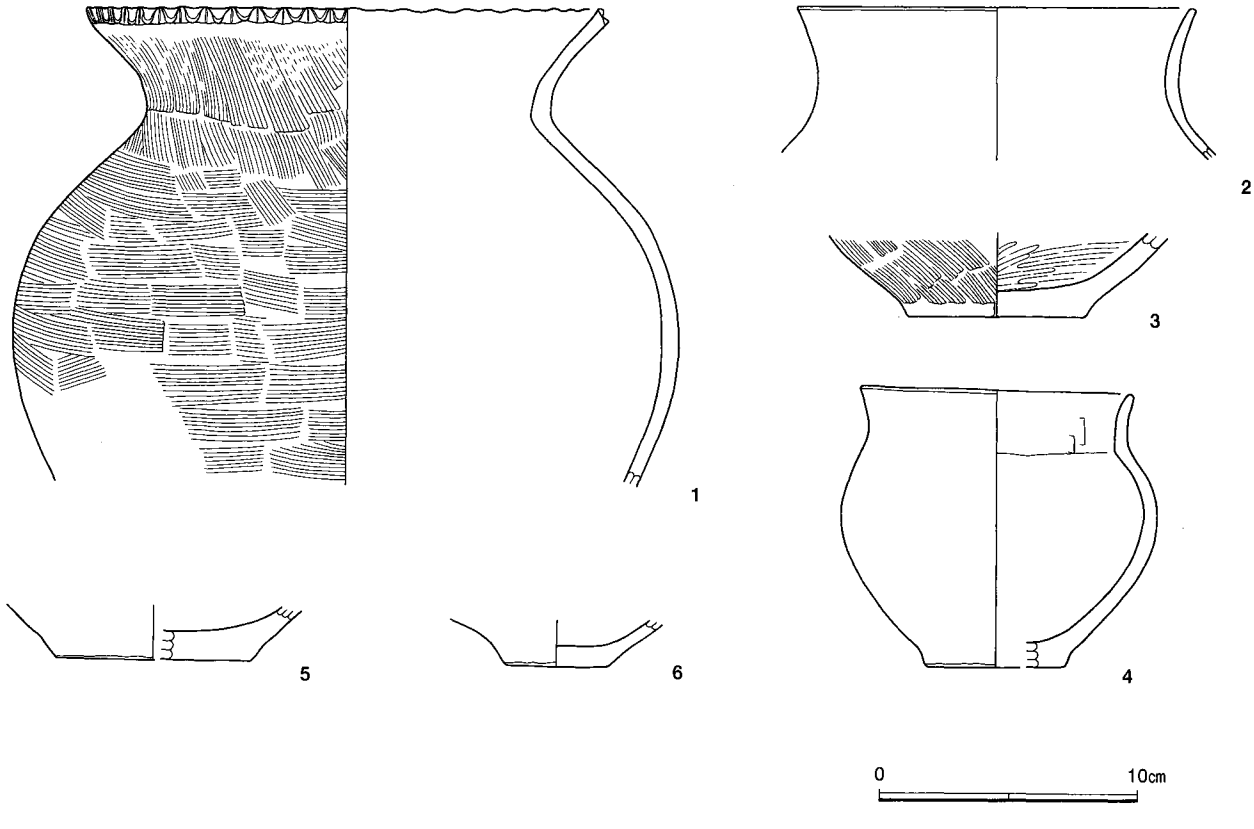
１～３は甕である。１は口唇部に押捺が加えられ，頸部以下はハケ調整されるものである。３は底部で，外面はハケ調整され，内面は粗くヘラミガキされる。

４は小型の広口壺である。

５・６は底部破片である。



第350図　1－076（1）



第351図　1－076（2）

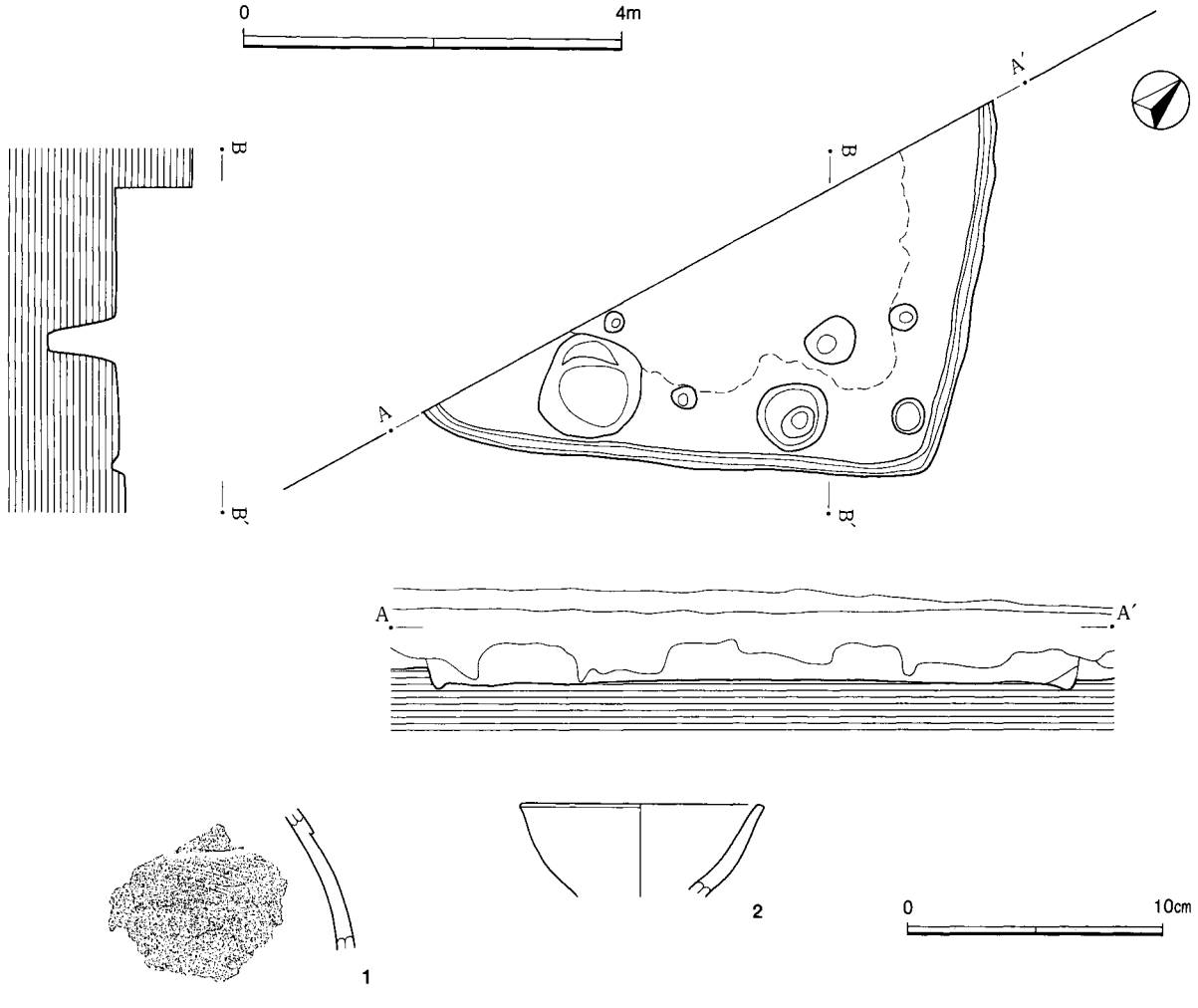
2－012（第352図，図版18）

調査区南部，D28グリッドに位置する。西側約1/2は調査範囲外に及んでおり，全体を調査することができなかったが，一辺が約5.6mの隅丸方形を呈するものと考えられる。床面はやや凹凸がある。壁際を除いて硬化面がみられた。覆土は黒色土を主体としたもので，ロームブロック・焼土・灰を含むものであった。壁高は約10cmを測る。周溝は検出部分では全周する。深さ約3cm～8cmを測る。ピットは7か所検出された。このうち，硬化面内に位置する中型のもの1か所が柱穴と考えられる。深さ66cmを測る。小型のピット4か所は，深さ15cm～17cmを測る。大型のピット2か所のうち，東側のものは，深さ27cmのピット内にさらに深さ44cm小型のピットが掘り込まれるものである。西側のものは深さ42cmを測る。炉は検出されなかった。

遺物は，土器2点を図示した。

1は甕である。

2は鉢で，口縁部はヨコナデされる。



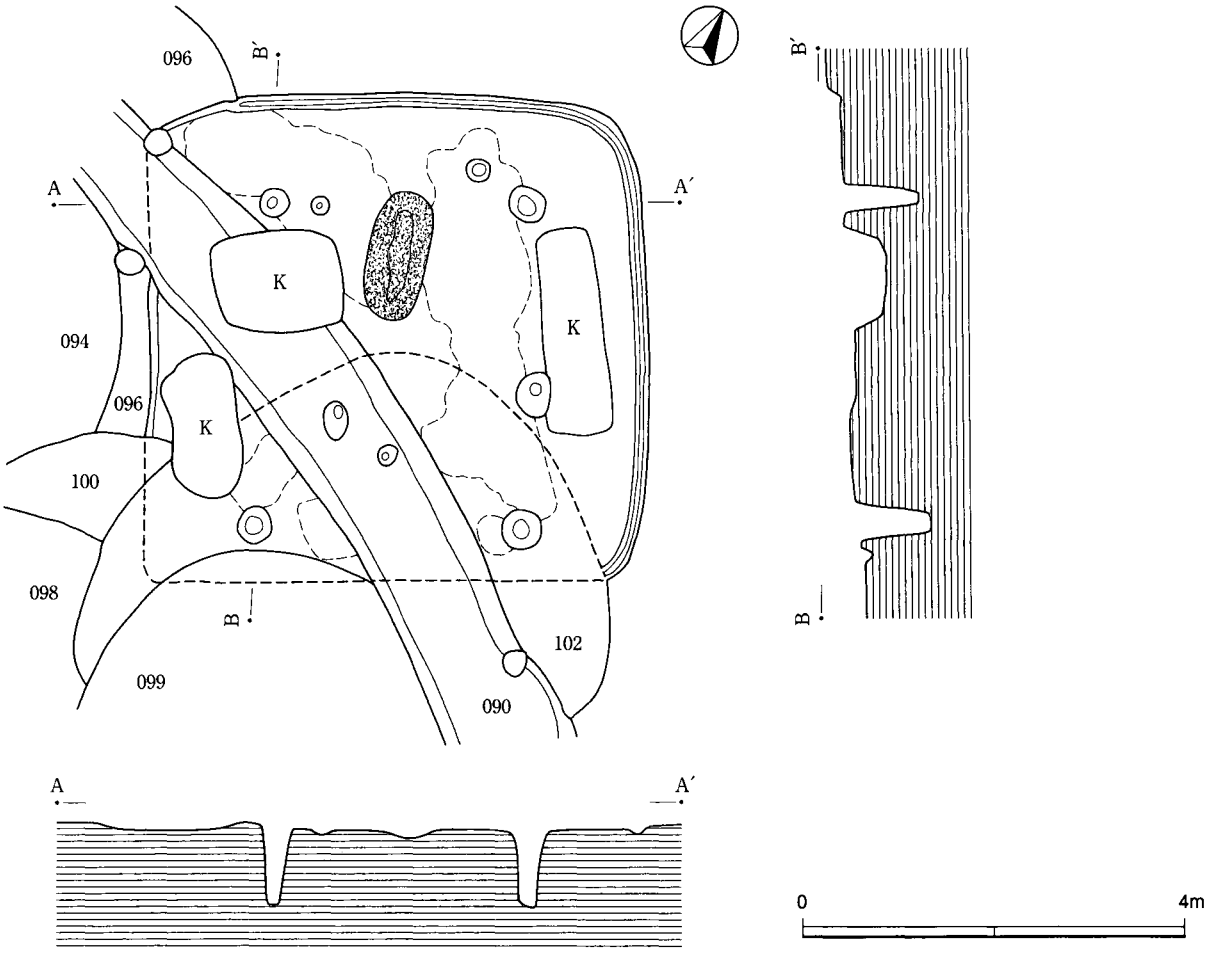
第352図　2－012

2－092（第353・354図，図版18・52）

調査区南部，C30・C31・D30・D31グリッドに位置する。遺構の重複が激しい場所で検出されたものである。重複している096・102より新しく，溝090よりは古い。重複は著しいものの，全体の規模や形状は，遺存している部分からほぼ復元することができる。一辺が5.2mほどの隅丸方形を呈するものと考えられる。床面は平坦で，部分的に硬化面がみられた。覆土は，黒褐色土の単一層であった。周溝は全周しないようで，検出部分では，深さ約2cm～3cmを測る。ピットは9か所検出された。このうち，規則的に配置される4か所のピットが主柱穴になるものと考えられる。深さ80cm～90cmを測る。これ以外のピットの性格は不明である。炉は中央やや北寄りで検出された。長楕円形を呈し，長軸径約140cm，短軸径約60cm，深さ約5cmを測る。覆土は，上部には暗褐色土，下部には焼土が堆積していた。

遺物は，土器11点を図示した。

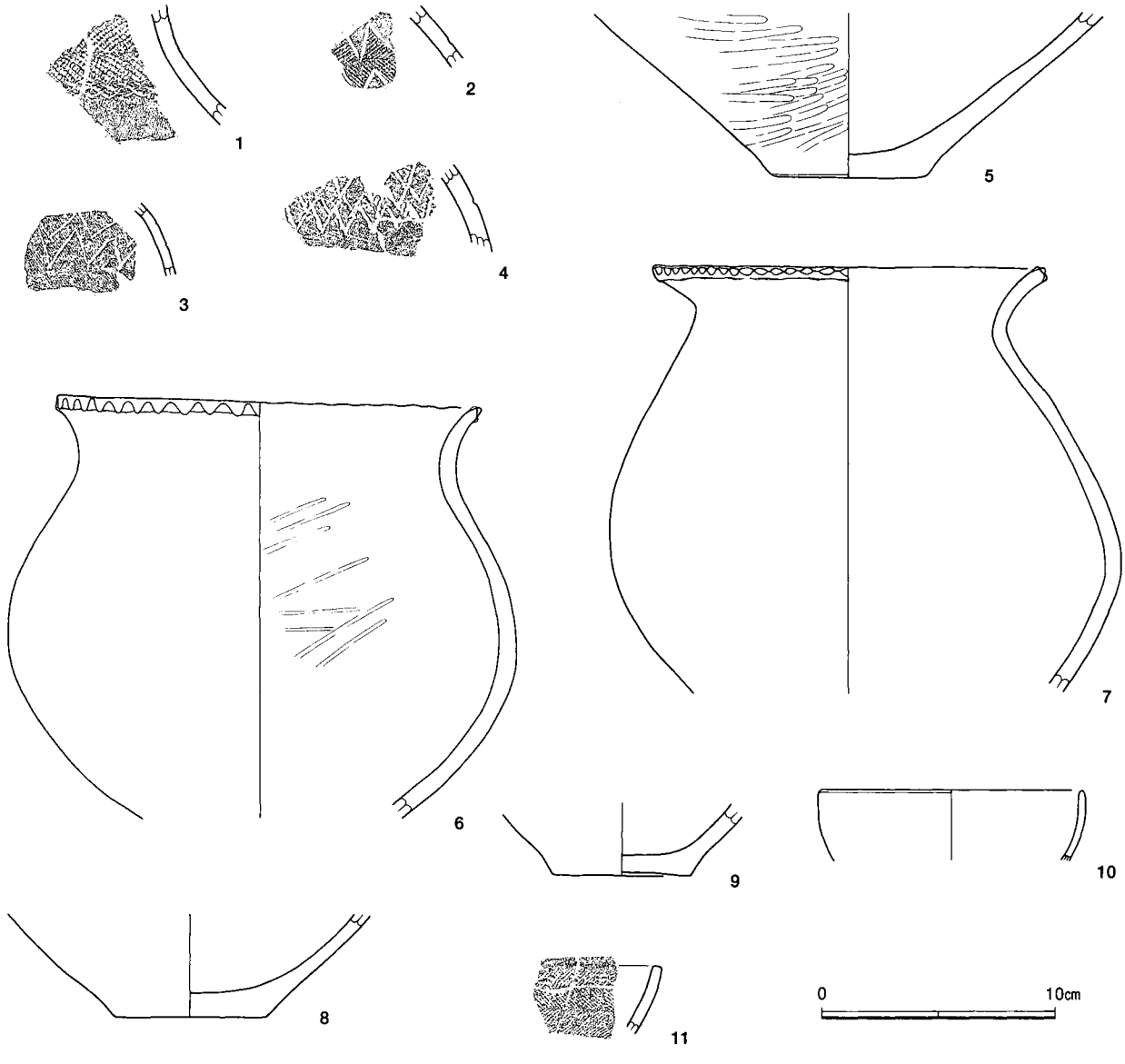
1～5は壺である。1は頸部下半で，上部にはS字状結節文で区画された縄文帯が巡る。施文部以外はヘラミガキされる。2の外面には縄文が施され，沈線で山形文に区画するものである。施文部以外はヘラミガキされ，赤彩される。3・4は沈線による山形文が施されるものである。5は底部で，外面は粗くヘラナデされる。



第353図　2－092（1）

6～9は甕である。6・7の口唇部には押捺が加えられる。6の内面は部分的に粗くヘラミガキされる。8・9は底部である。

10・11は鉢である。11の外面には縄文が施され，内面はヘラミガキされる。



第354図　2－092（2）

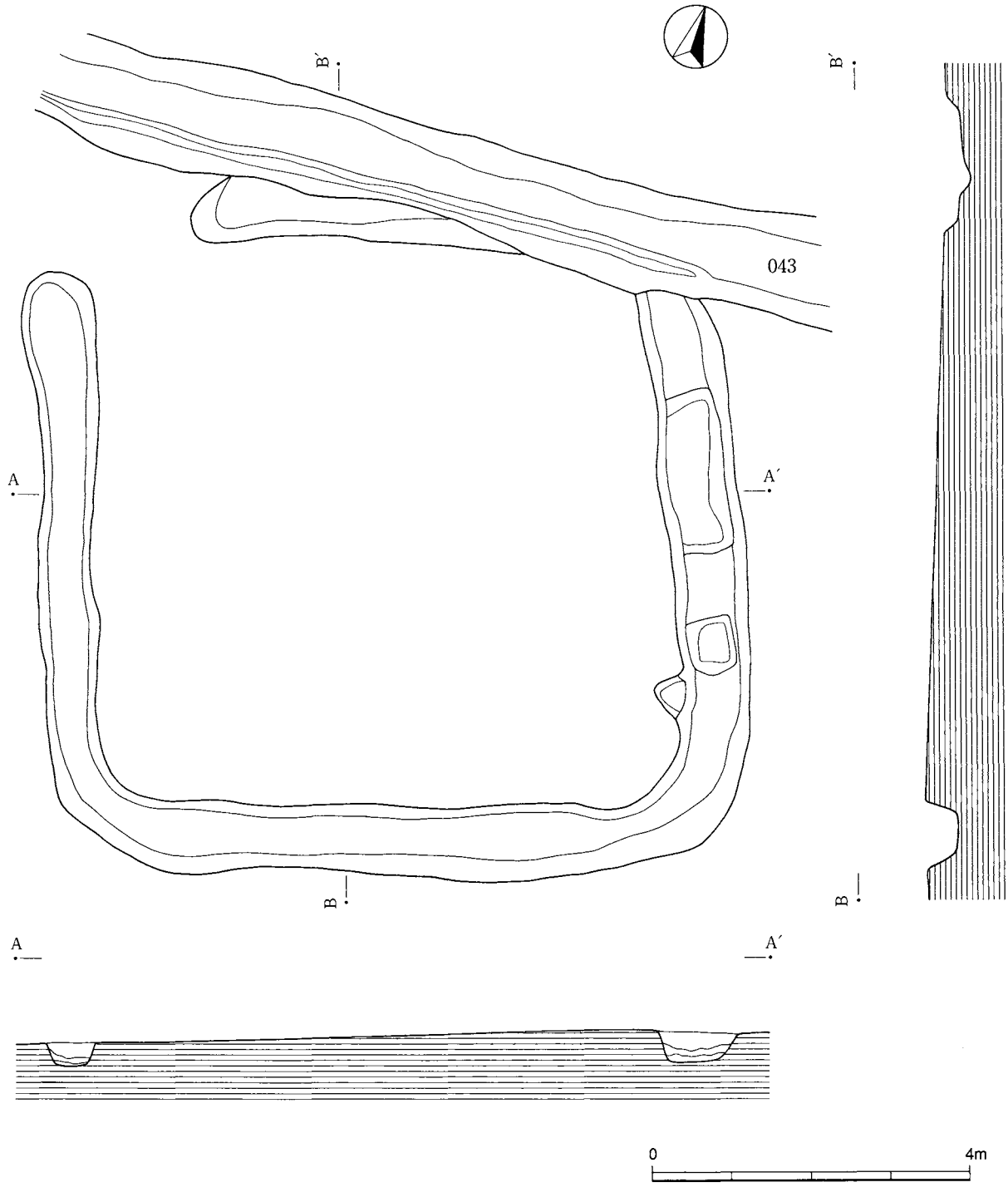
2　方形周溝墓

1－054（第355・356図，図版19・52）

調査区中央部，M10・N10・N11グリッドに位置する。周溝は全周せず，西コーナー付近で1か所途切れる。溝043と重複し，043より古い。周溝を含めた全体の規模は，東西方向は11.1m，南北方向は043との重複により不明であるが，東西方向と同様に11m程度を測るものと思われる。周溝内側の長さは9m×8.8mを測り，ほぼ正方形を呈する。周溝の上面幅は75cm～1.2m，周溝の下面幅は50cm～75cmを測る。深さは

18cm～50cmを測る。周溝断面は逆台形を呈する。周溝覆土は2層に分けられ，上層にはローム粒を含む黒褐色土，下層にはロームブロックを含む黒褐色土が堆積していた。

埋葬施設は検出されなかった。

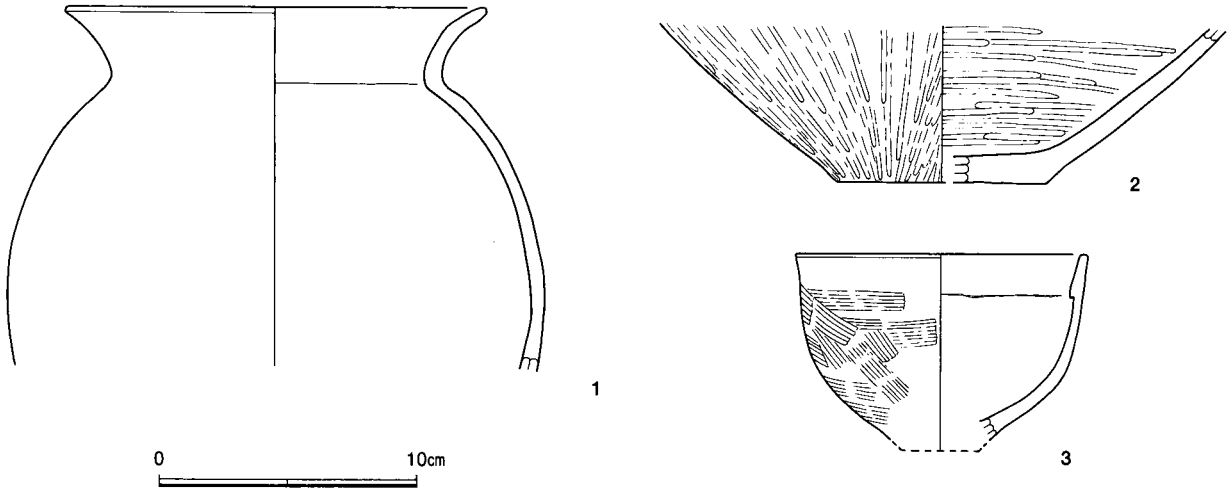


第355図　1－054（1）

遺物は，周溝内から土器片が29点出土しているが，図示できたのは，3点である。

1・2は甕である。2は底部で，内外面ともに粗くヘラミガキされる。

3は鉢で，体部外面はハケ調整後ナデが加えられる。内外面ともに部分的に赤彩の痕跡が残る。



第356図　1－054（2）

3　古墳

2－020（第357・358図，図版19・52）

調査区南部，G28・G29・H28・H29グリッドに位置する円墳である。周溝には多くの遺構が重複していると考えられ，全体の形状は不整な円形を呈する。なお，周溝の南側で，西に延びる長さ約6.5m，幅0.8m～1mの溝とも重複しているが，性格や古墳との関係は不明である。規模は，内径で，東西14.5m，南北15m，外径で，東西17m，南北18mを測る。周溝の上面幅には大きく差があり，0.7m～2.5mを測る。東側が狭く，西側が広い。周溝の下面幅は0.4m～2.2mを測る。深さは10cm～45cmを測る。周溝断面は逆台形を呈する。周溝覆土は，ロームブロックを含む黒色土を主体にしたものであった。

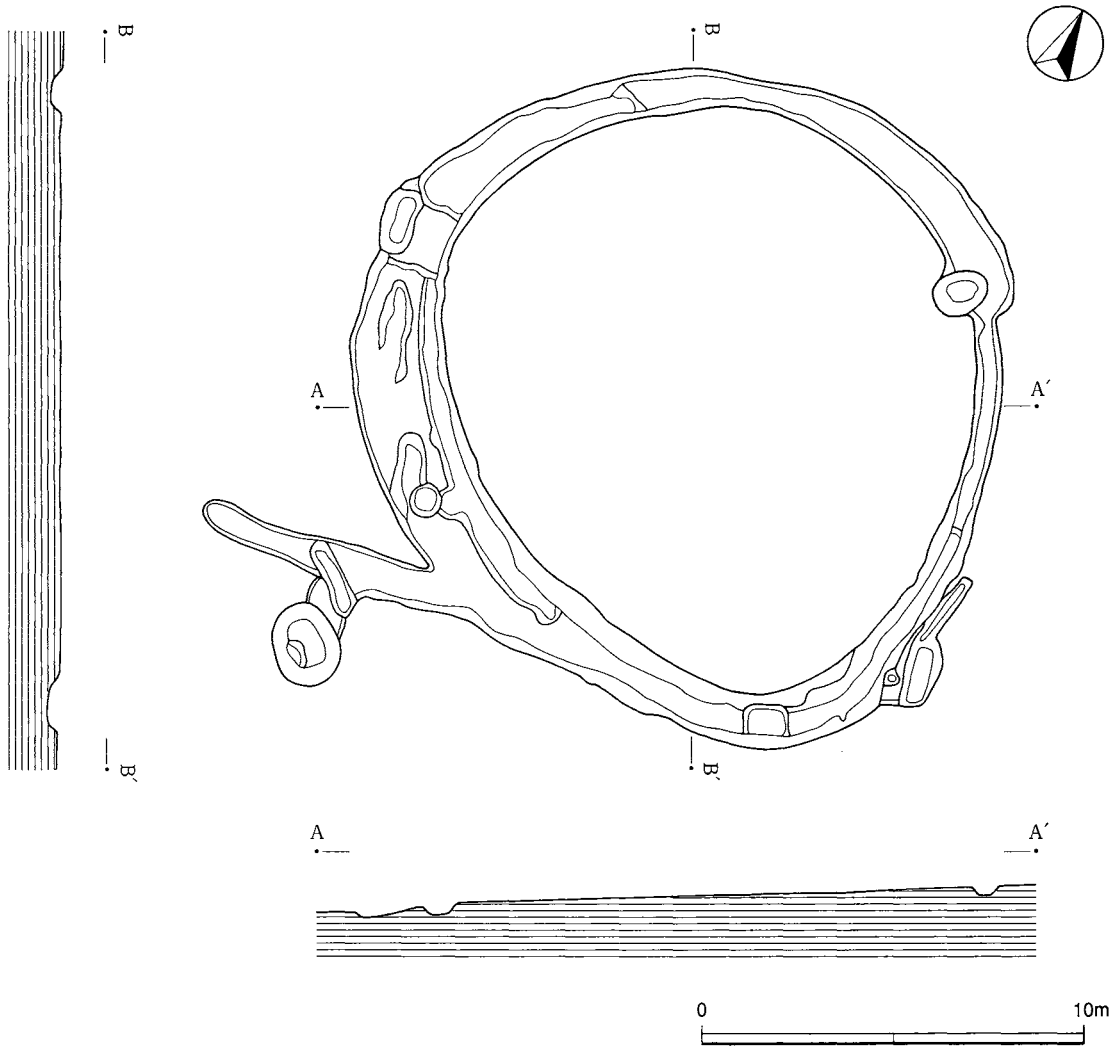
埋葬施設は検出されなかった。

遺物は周溝内から土器が54点出土しており，土器6点を図示した。3以外の5点の土器は，周溝の西側の比較的狭い範囲から出土したものである。

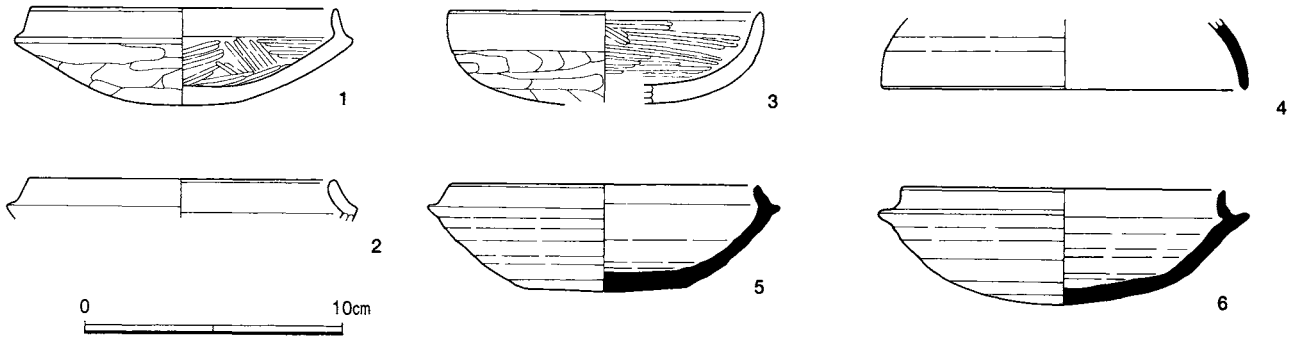
1～3は杯である。1・3の体部外面はヘラケズリされ，内面はヘラミガキされる。

4は須恵器の蓋である。

5・6は須恵器の杯である。いずれも体部下端はヘラケズリされる。



第357図　2－020（1）

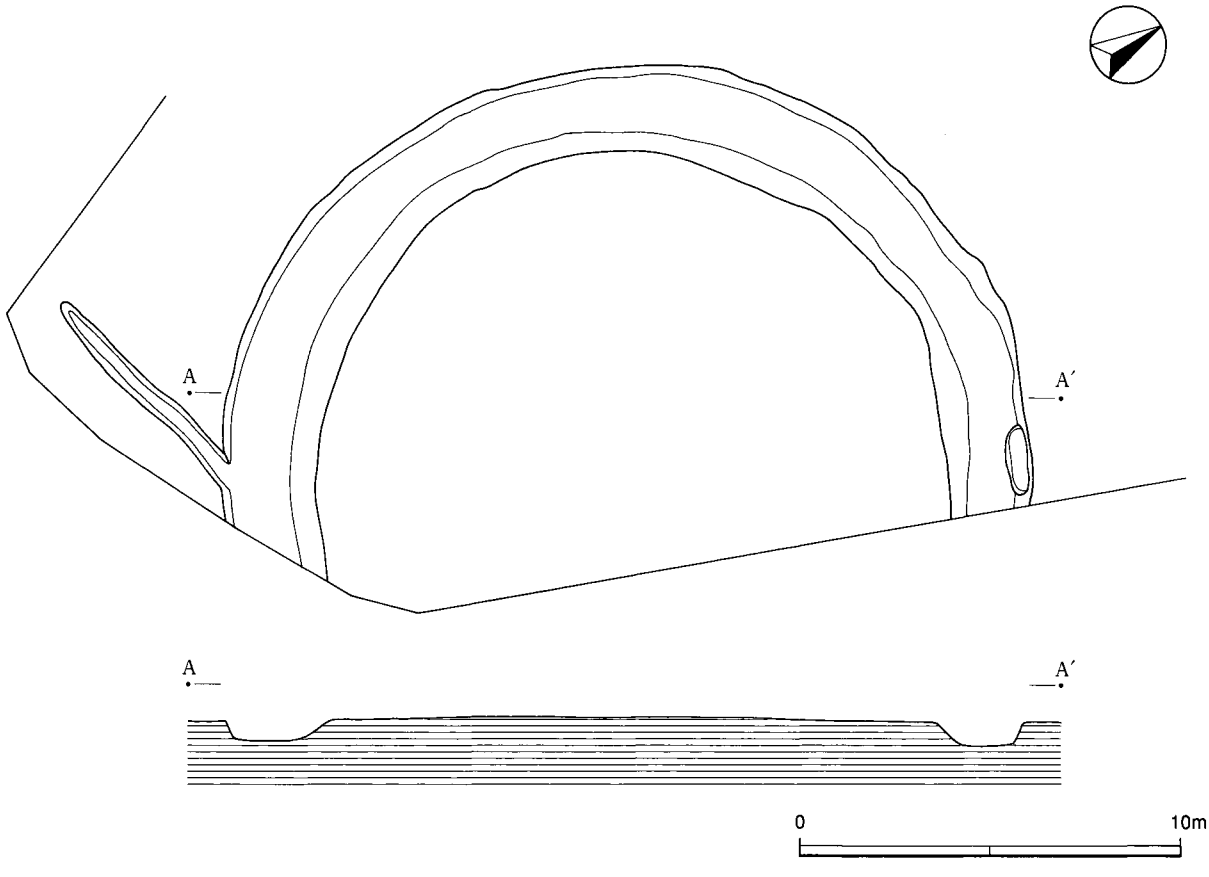


第358図　2－020（2）

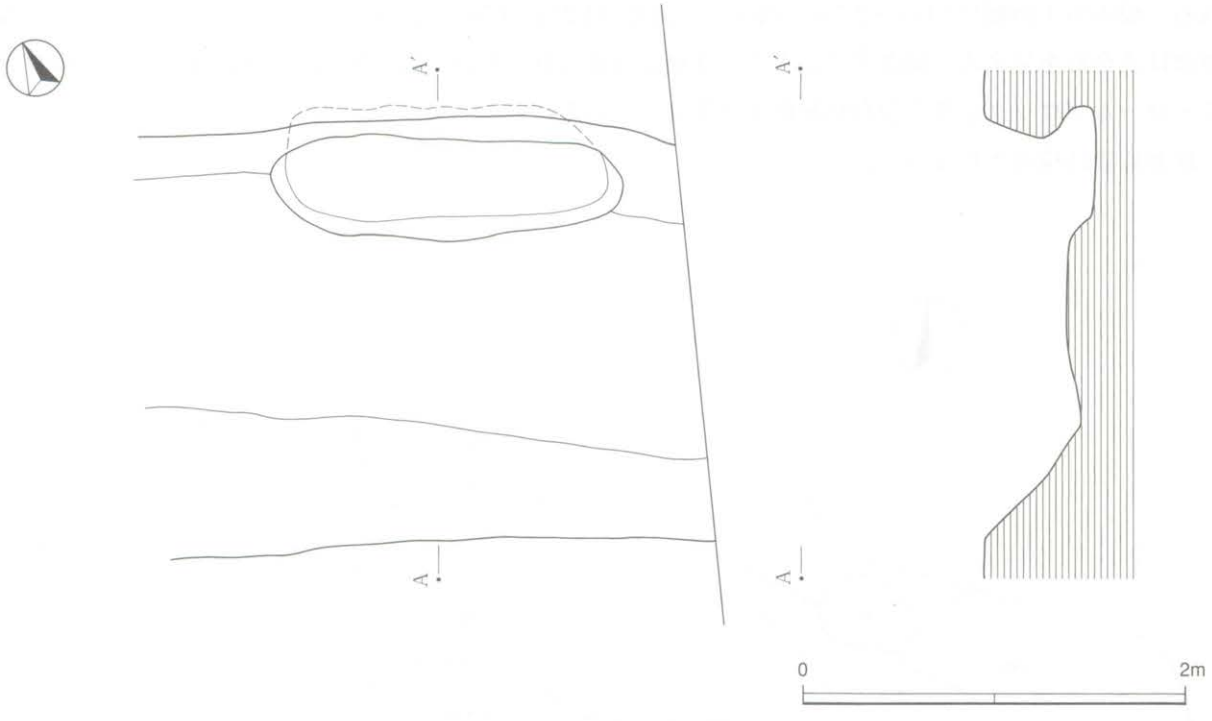
2 －026（第359～361図，図版20・52）

調査区南部，H26・27グリッドに位置する円墳である。遺構の約1/2は調査区外に延びており，全体を調査することはできなかった。検出部分からして，直径が21m程度の規模になるものと思われる。なお，周溝の南側で，西に延びる長さ約６m，幅0.5mの溝と重複しているが，性格や古墳との関係は不明である。周溝の上面幅は２m～2.6m，周溝の下面幅は1.2m～1.6mを測る。深さは40cm～62cmを測る。周溝断面は逆台形を呈する。周溝覆土は大きく２層に分けられ，上部から中部には黒色土，下部にはロームブロックを多く含む黒褐色土が堆積していた。

埋葬施設は，北東部の周溝底面で検出された土坑１基である。底面の規模は，長さ1.7m，幅約0.6mを測る。全体としては楕円形を呈するが，周溝の壁に接する北側では，下部がオーバーハングしている。周溝底面からの深さは，約15cmである。底面はほぼ平坦である。覆土の状況は不明である。



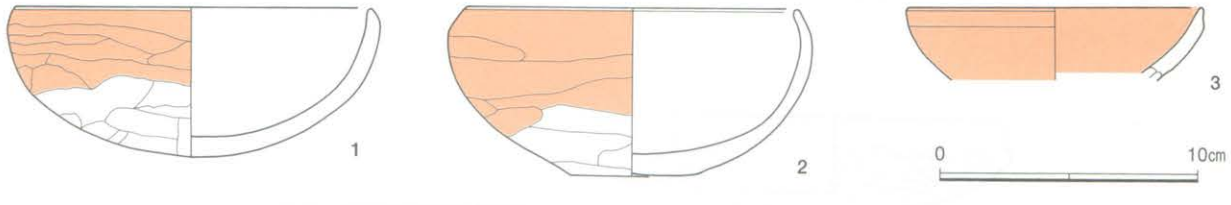
第359図　2 －026（１）



第360図　2－026（2）

遺物は周溝内から土器が16点出土しており，土器3点を図示した。このうち，1は南側，2・3は北側の土坑の周辺から出土したものである。

1～3は杯で，2は完形である。1・2の外面はヘラケズリ後，上半はナデが加えられ，赤彩される。内面はナデが加えられ，赤彩される。3は内外面ともにヘラミガキされ，赤彩される。

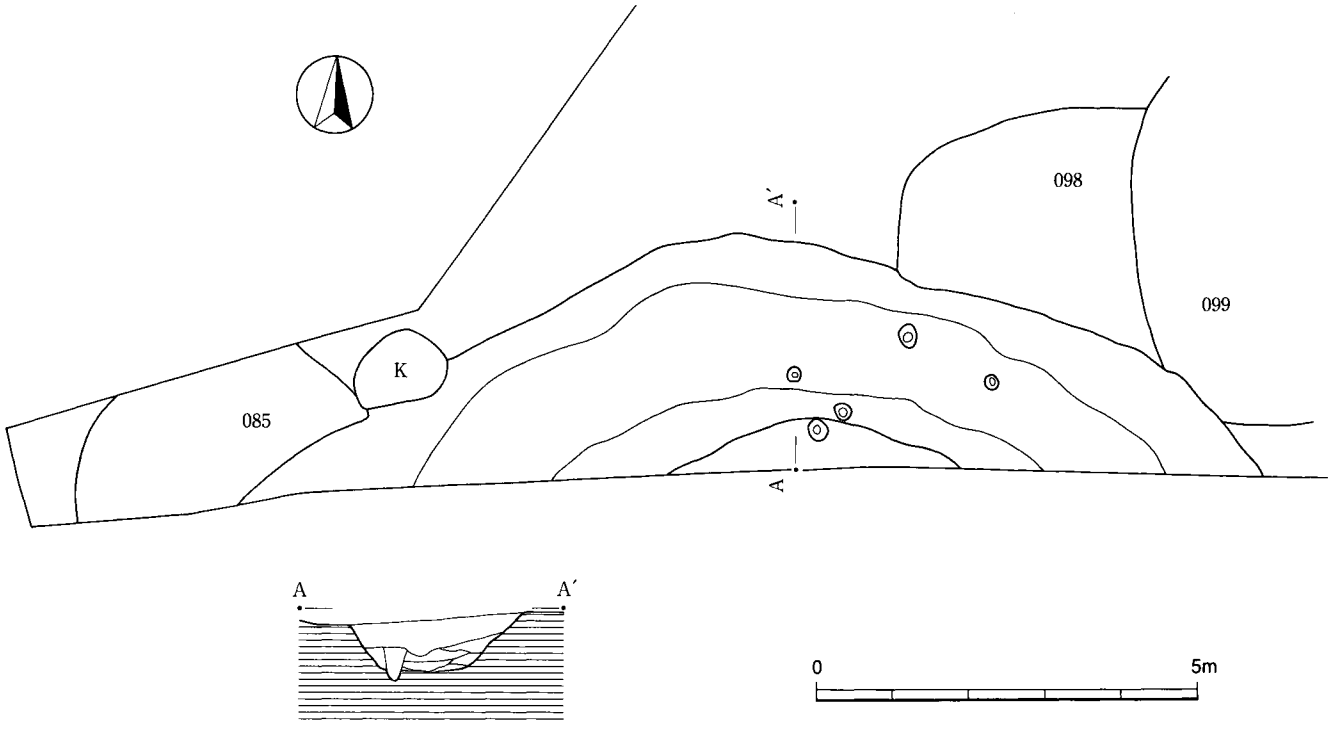


第361図　2－026（3）

2 －086（第362・363図，図版52）

調査区南部，C30・C31・D31グリッドに位置する円墳である。遺構の大半は調査区外に延びており，周溝の一部しか調査することはできなかった。検出部分からして，直径が17m程度の規模になるものと思われる。周溝の上面幅は2.1m～2.7m，周溝の下面幅は1.2m～1.5mを測る。深さは30cm～75cmを測る。周溝断面は逆台形を呈する。周溝覆土は大きく2層に分けられ，上部には黒褐色土，中部から下部にはローム粒・ロームブロックを多く含む暗褐色土が堆積していた。

埋葬施設は検出されなかった。



第362図　2 －086（1）

遺物は周溝内から土器が3点出土しており，土器1点を図示した。検出した周溝のほぼ中央部分から出土したものである。

1は完形の杯で，外面はヘラケズリされる。内面は丁寧なナデが加えられる。

第363図　2 －086（2）

第5節　奈良・平安時代の遺構と遺物

1　竪穴住居跡

2－008（第364～366図，図版20・53）

調査区南部，E29・F29グリッドに位置する。規模は3.8m×3.4mで，やや長方形を呈する。床面はほぼ平坦であるが，顕著な硬化面はみられなかった。覆土は炭化物を含む黒色土を主体としたものである。壁高は20cm～30cmを測る。周溝は，カマド左脇と南側コーナー部分を除いて全周する。深さ約2cm～5cmを測る。ピットは5か所検出された。位置や規模に規則性がなく，性格は不明である。深さ10cm～28cmを測る。カマドは北壁のほぼ中央に位置する。

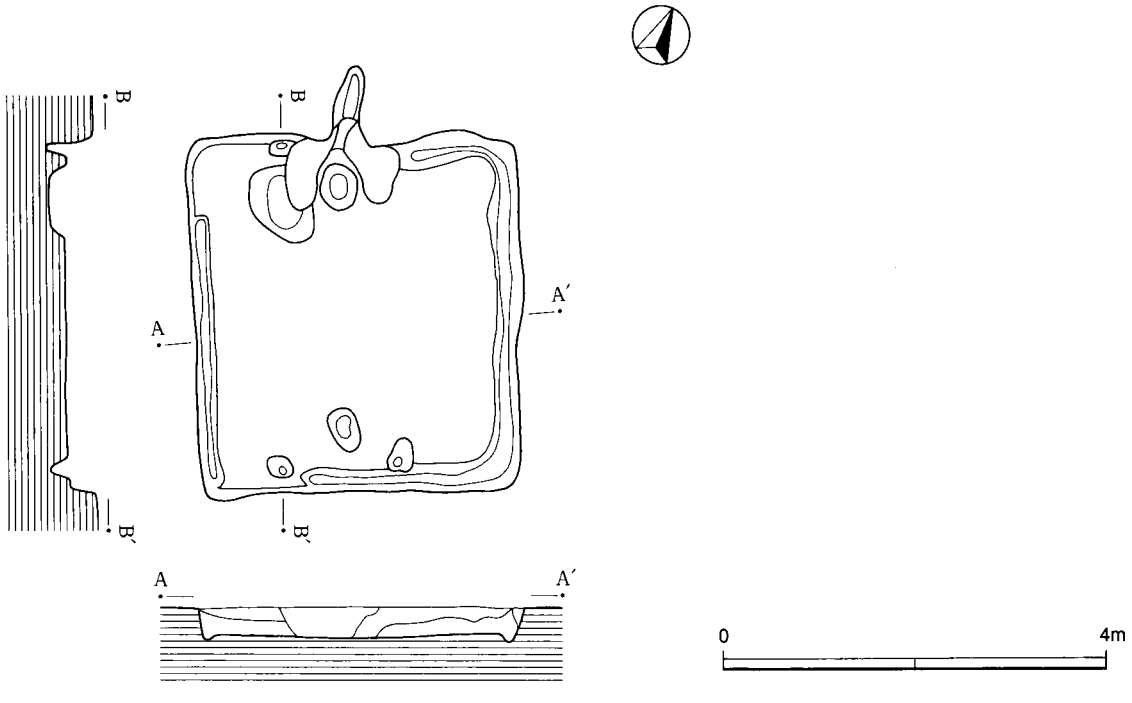
遺物は，土器12点を図示した。

1・2は高台付杯で，1は完形である。体部内面はヘラミガキされ，1の底部は回転糸切りされる。

3～5は須恵器杯である。3の底部は回転糸切り後無調整である。4・5の底部は回転糸切り後外周が回転ヘラケズリされる。

6・7は小型甕である。6はロクロ成形のもので体部下端は回転ヘラケズリされ，底部は静止糸切りされる。7の外面はヘラケズリされ，内面は粗くヘラミガキされる。

8～12は甕である。いずれも胴部外面はヘラケズリされ，内面はヘラナデされるものである。



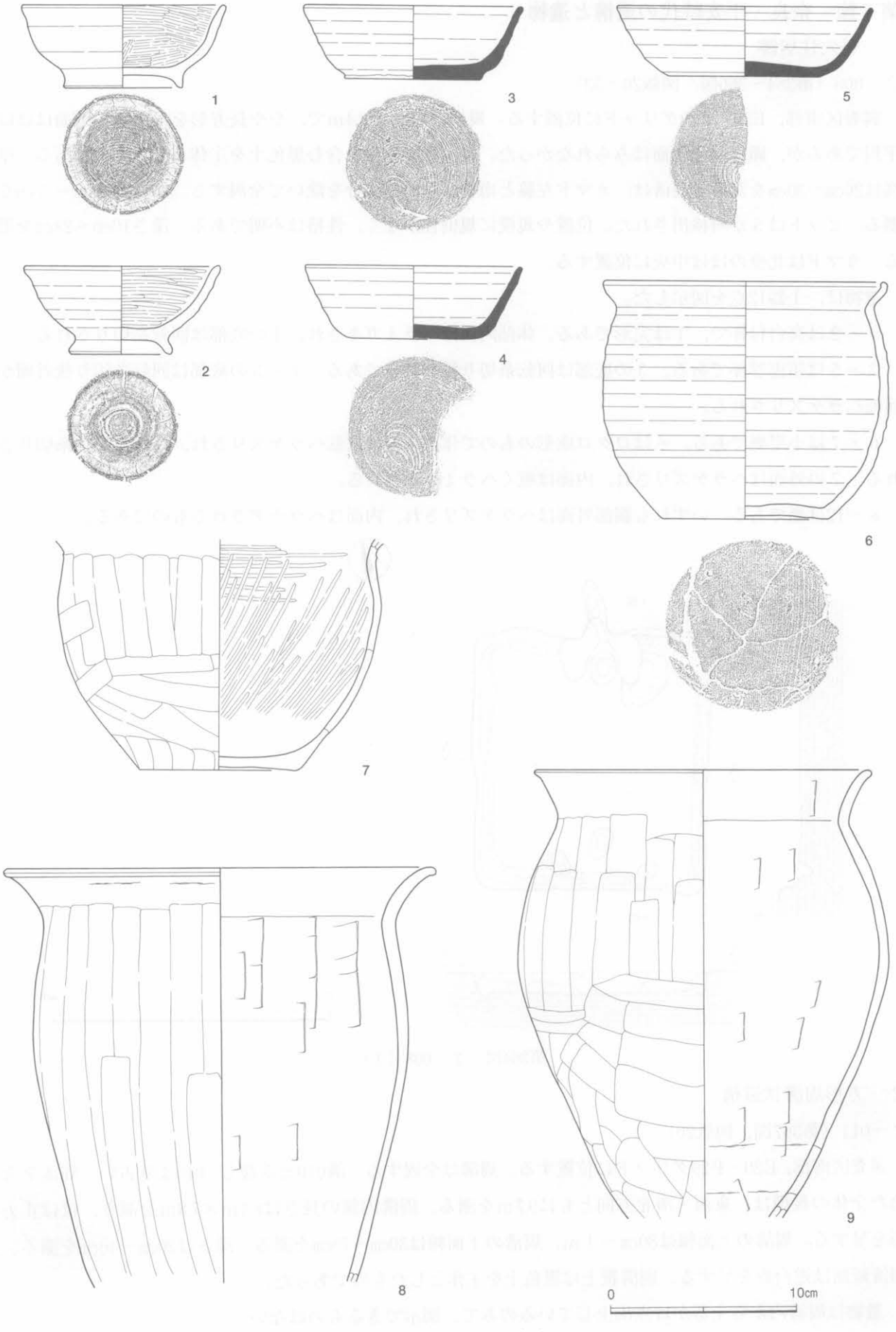
第364図　2－008（1）

2　方形周溝状遺構

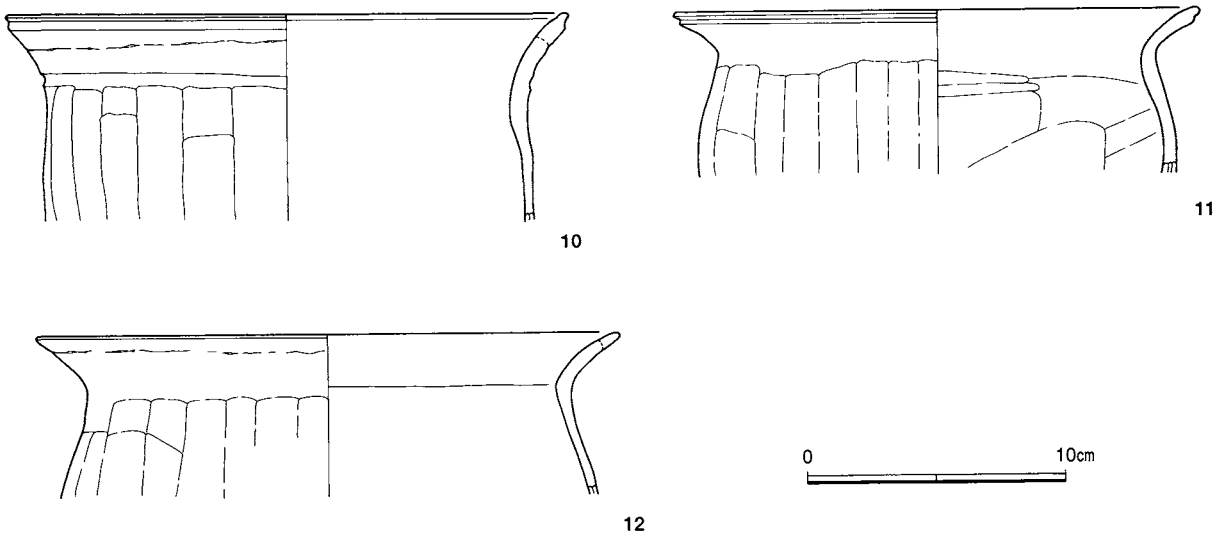
2－011（第367図，図版20）

調査区南部，E29・F29グリッドに位置する。周溝は全周する。溝010と重複し，010より古い。周溝を含めた全体の規模は，東西・南北方向ともに9.7mを測る。周溝内側の長さは8.1m×7.8mを測り，ほぼ正方形を呈する。周溝の上面幅は80cm～1m，周溝の下面幅は30cm～75cmを測る。深さは20cm～40cmを測る。周溝断面は逆台形を呈する。周溝覆土は黒色土を主体としたものであった。

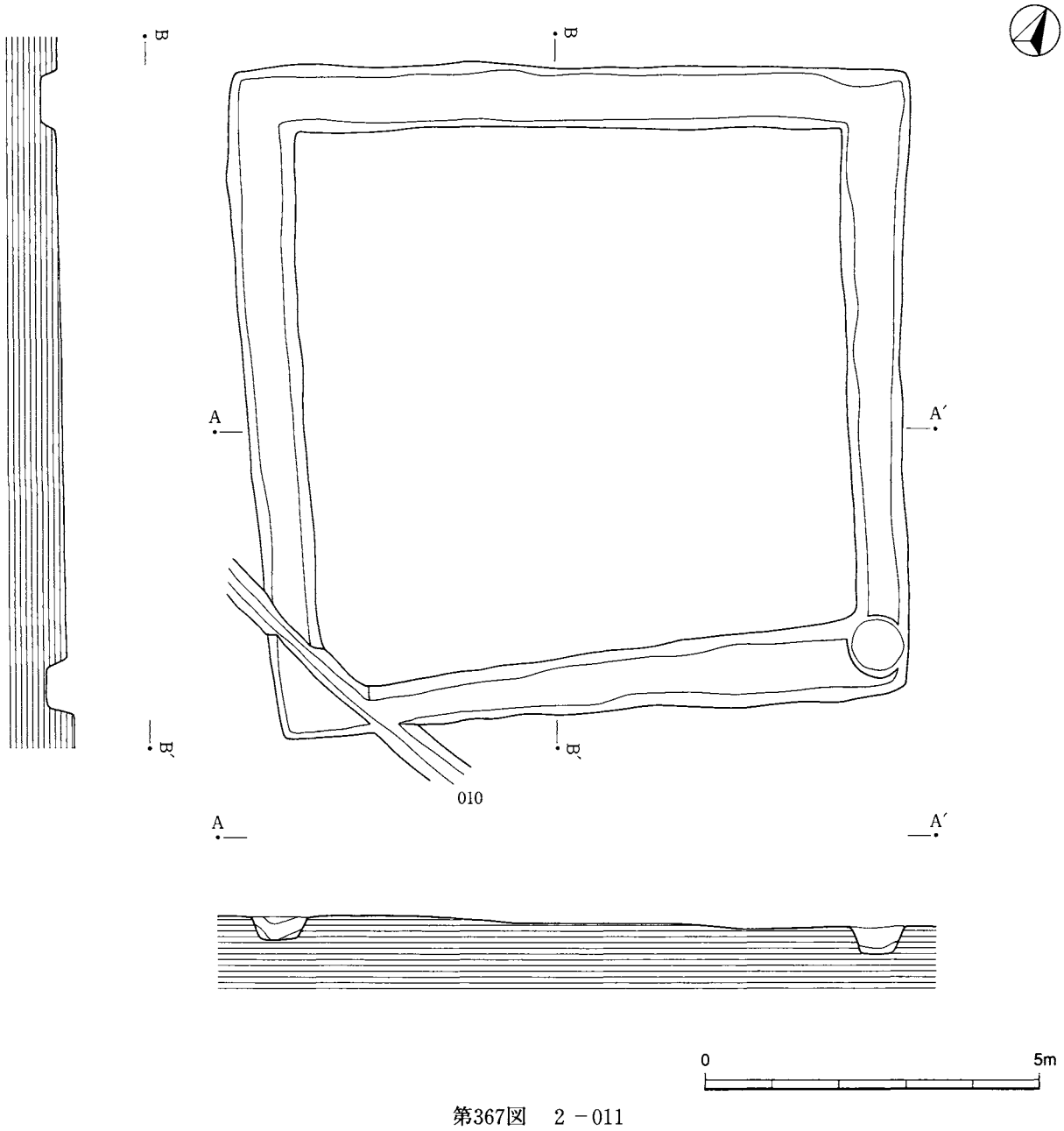
遺物は周溝内から土器が17点出土しているのみで，図示できるものはない。



第365図　2－008（2）



第366図　2－008（3）



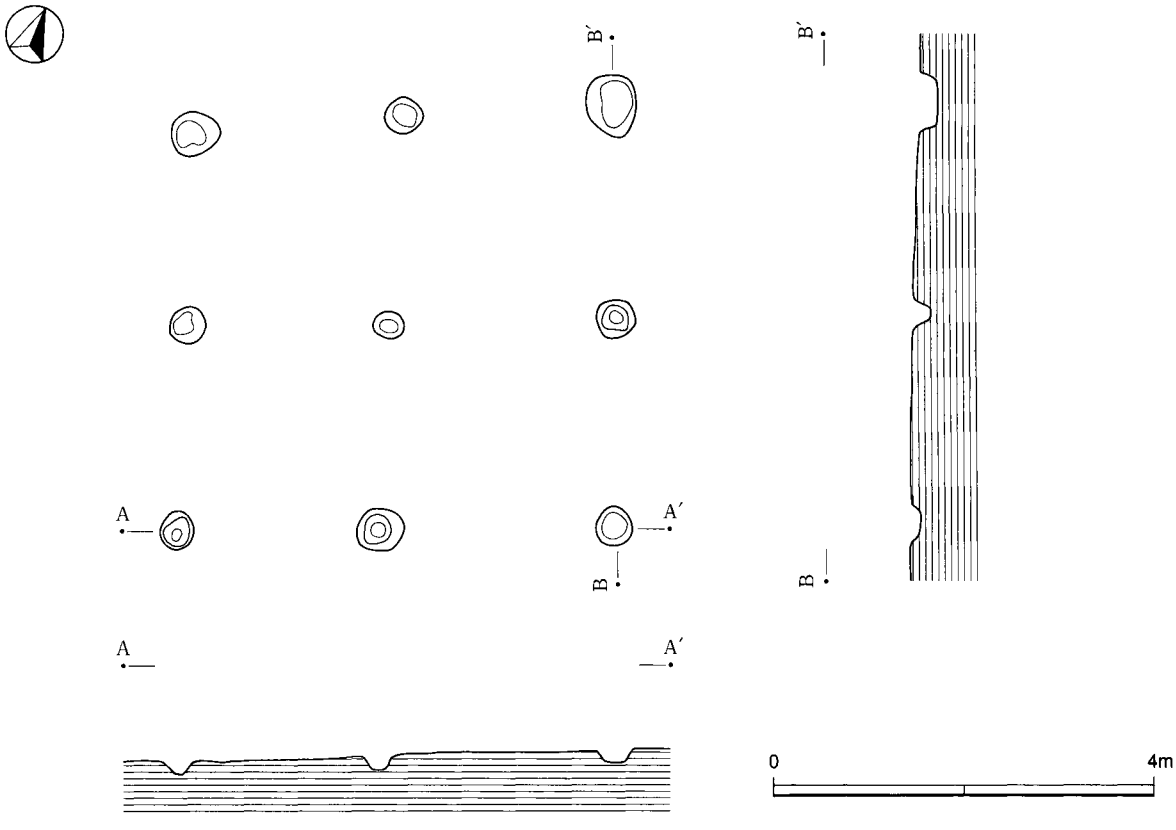
第367図　2－011

3　掘立柱建物跡

2－022（第368図）

調査区南部，G27グリッドに位置する。2間×2間の建物跡である。柱穴の間隔は比較的均等である。柱穴の規模は，径30cm～60cm，深さは10cm～33cmと差がある。

遺物は出土していない。



第368図　2－022

第6節　そのほかの時代の遺構（第369図）

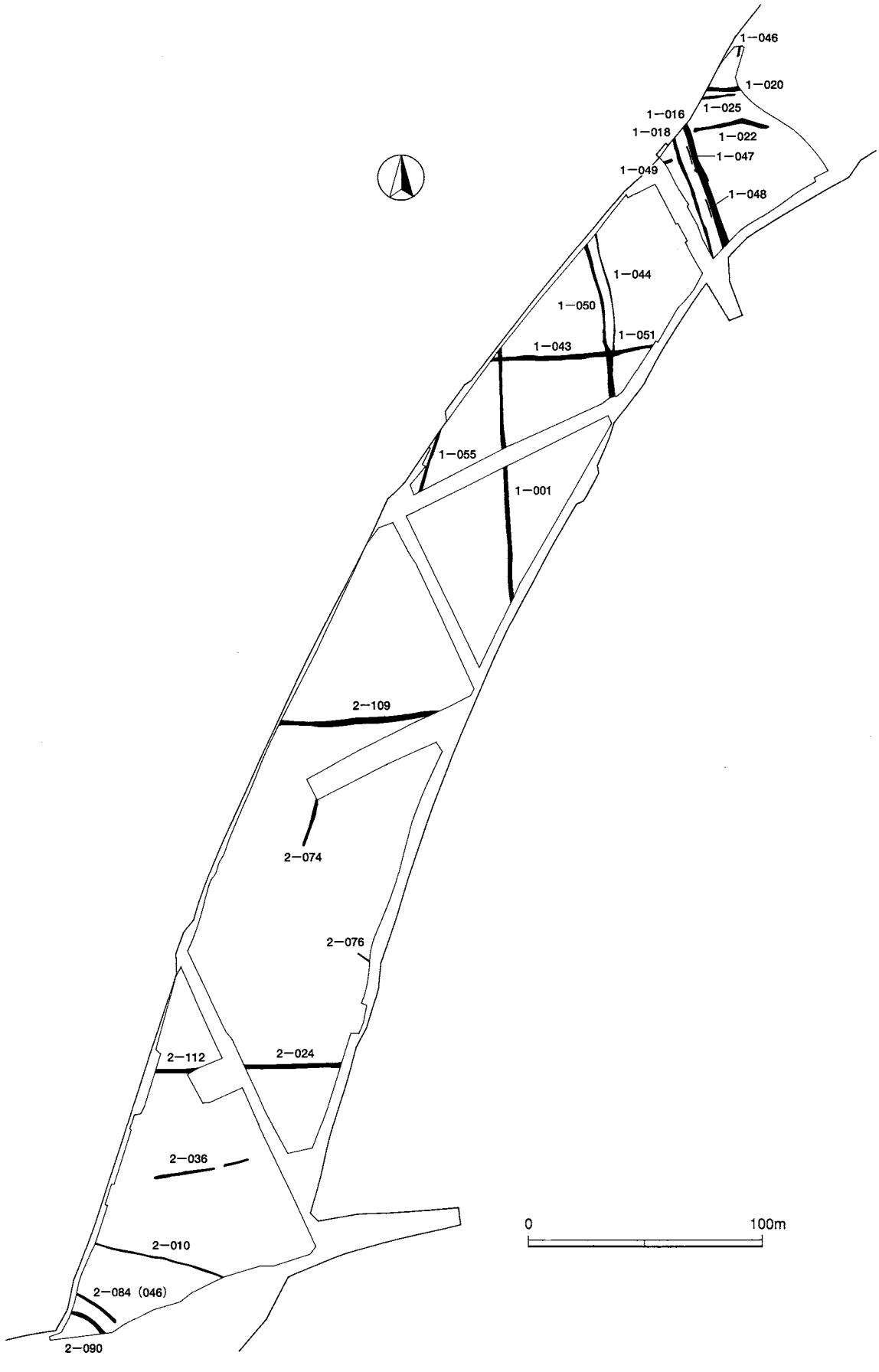
調査範囲内からは，合計22条の溝が検出された。このうち明らかに弥生時代の溝と考えられる2－084（046）以外の溝の明確な所属時期は不明である。これらの溝の分布には偏りはないが，東西あるいは南北方向を示すものが比較的多いのが特徴といえる。明らかに溝としての構造を有するもののほか，硬化面を有するものも認められるが，ここでは，一括して，溝として扱い，北側から順次説明を加える。

1－046

調査区北端のR4グリッドで，ほぼ南北に約5m検出されたもので，北側は調査範囲外に及んでいる。上面幅0.55m～0.9m，底面幅0.2m～0.3m，深さ0.3mを測る。

1－020

Q4～R5グリッドにかけて，ほぼ東西に約15m検出されたもので，両端は調査範囲外に及んでいる。上面幅1.3m～2.4m，底面幅0.2m～0.7m，深さ0.3m～0.4mを測る。


1−046
1−020
1−025
1−016
1−018
1−022
1−047
1−049
1−048
1−044
1−050
1−051
1−043
1−055
1−001
2−109
2−074
2−076
2−112
2−024
2−036
2−010
2−084 (046)
2−090
0
100m

第369図　溝分布図

1－025

Q5～R5グリッドにかけて，1－020に並行して，ほぼ東西に約15m検出されたもので，西端は調査範囲外に及んでいる。上面幅0.4m～0.8m，底面幅0.2m～0.45m，深さ0.1mを測る。

1－022

Q5～R5グリッドにかけて，ほぼ東西に約33m検出された。上面幅1m～1.5m，底面幅0.3m～0.8m，深さ0.2mを測る。

1－016

Q5～R8グリッドにかけて，ほぼ南北に約55m検出されたもので，両端は調査範囲外に及んでいる。上面幅2m～2.5m，底面幅0.1m～0.2m，深さ0.6m～0.8mを測る。

1－047

Q6グリッドで，1－016の西側に並行して，ほぼ南北に約9m検出された。上面幅0.2m～0.35m，底面幅0.1m～0.3m，深さ0.1mを測る。

1－048

Q7グリッドで，1－016の西側に並行して，ほぼ南北に約9m検出された。上面幅0.3m～0.5m，底面幅0.1m～0.25m，深さ0.15m～0.25mを測る。

1－018

P6～R8グリッドにかけて，1－016に並行して，ほぼ南北に約55m検出されたもので，両端は調査範囲外に及んでいる。上面幅0.5m～1.1m，底面幅0.2m，深さ0.2m～0.35mを測る。

1－049

P6～P7グリッドにかけて，ほぼ東西に約4m検出されたもので，西端は調査範囲外に及んでいる。上面幅0.75m～1m，底面幅0.4m～0.55m，深さ0.15m～0.2mを測る。

1－050

O8～O11グリッドにかけて，ほぼ南北に約70m検出されたもので，北端は調査範囲外に及び，南側1/3は1－044と合流し，調査範囲外へ及んでいる。1－044との新旧関係は不明である。1－043より新しい。上面幅0.4m～0.55m，底面幅0.15m～0.25m，深さ0.2mを測る。合流部分では，上面幅2m～2.5m，底面幅0.2m～0.35m，深さ0.3m～0.5mを測る。

1－044

N8～O11グリッドにかけて，1－050に並行して，ほぼ南北に約65m検出されたもので，北端は調査範囲外に及び，南側1/3は1－050と合流し，調査範囲外へ及んでいる。1－050との新旧関係は不明である。

1－043より新しい。上面幅0.5m～0.8m，底面幅0.25m～0.45m，深さ0.15m～0.25mを測る。合流部分では，上面幅2m～2.5m，底面幅0.2m～0.35m，深さ0.3m～0.5mを測る。

1－043・051

1－050・044の合流部より東側を1－051，西側を1－043として調査したが，同一の遺構である。H10～P10グリッドにかけて，ほぼ東西に67m検出されたもので，両端は調査範囲外に及んでいる。上面幅0.7m～2m，底面幅0.15m～0.6m，深さ0.25m～0.35mを測る。1－001より古い。

1－001

M10～L10グリッドにかけて，南北に約102m検出されたもので，両端は調査範囲外に及んでいる。上面幅1.4m～1.6m，底面幅1.1m～1.5m，深さ0.3m～0.5mを測る。1－043より新しい。

1－055

K12～K13グリッドにかけて，北東から南西方向に約30m検出されたもので，両端は調査範囲外に及んでいる。上面幅0.55m～1m，底面幅0.2m～0.55m，深さ0.2m～0.3mを測る。

2－109

H13～K18グリッドにかけて，ほぼ東西に約70m検出されたもので，両端は調査範囲外に及んでいる。上面幅1.7m～2.2m，底面幅0.3m～0.4m，深さ0.75mを測る。土層断面の観察の結果，覆土下部に硬化面が3枚確認されており，道路状遺構と考えられる。

2－074

I20～H21グリッドにかけて，北北東から南南西方向に約21m検出されたもので，北側は調査範囲外に及んでいる。上面幅0.75m～1.4m，底面幅0.2m～0.5m，深さ0.25mを測る。

2－076

I23～J23グリッドにかけて，北西から南東方向に約5.5m検出されたもので，東側は調査範囲外に及んでいる。上面幅0.5m～0.7m，底面幅0.15m～0.35m，深さ0.1mを測る。

2－024・112

東側を2－024，西側を2－112として調査したが，同一の遺構である。E25～I25グリッドにかけて，東西に59m検出されたもので，両端は調査範囲外に及んでいる。上面幅1.6m～1.7m，底面幅1.1m～1.35m，深さ0.3m～0.5mを測る。

2－036

E27～G27グリッドにかけて，ほぼ東西に検出されたが，途中一部途切れる。遺存している全長は，約26mと約11mである。上面幅0.55m～1.2m，底面幅0.25m～0.85m，深さ0.1m～0.15mを測る。方形周溝墓2－

013と重複するが，２－013より新しい。

２－010

D29～F30グリッドにかけて，北西から南東方向に約57m検出されたもので，両端は調査範囲外に及んでいる。上面幅0.4m～0.7m，底面幅0.2m～0.35m，深さ0.3m～0.4mを測る。方形周溝状遺構２－011と重複するが，２－011より新しい。

２－090

C30～D31グリッドにかけて，北西から南東方向に弧状に約16m検出されたもので，両端は調査範囲外に及んでいる。上面幅１m～1.2m，底面幅0.7m～１m，深さ0.2m～0.3mを測る。

第７節　遺構外出土遺物（第370図，図版53）

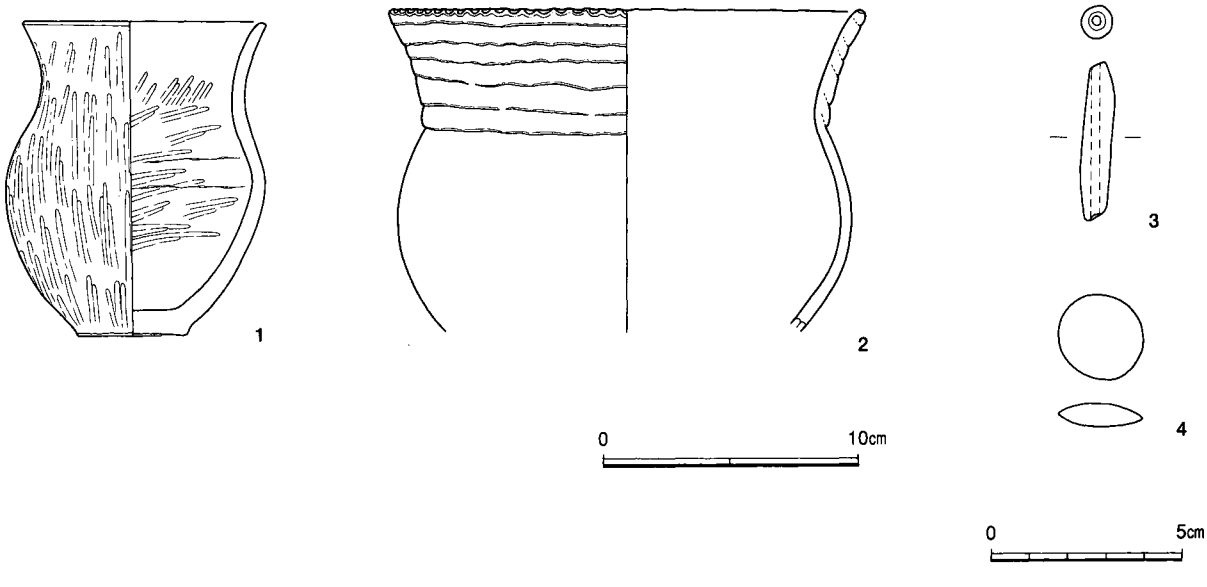
ここでは，遺構外や出土地点の明らかでない遺物及び明らかに異なる時代の遺構内から出土した遺物を一括して掲載した。

１は小型壺で，90%遺存する。外面と体部内面はヘラミガキされる。

２は甕で，70%遺存する。頸部には輪積み痕を残す。口唇部には押捺が加えられる。胴部外面と内面は，ミガキに近いナデが加えられる。

３は管状土錘で，重さ1.8ｇを測る。

４はおはじき状の土製品である。重さ2.0ｇを測る。



第370図　遺構外出土遺物

第3章　まとめ

第1節　旧石器時代

旧石器時代の概要については，第1節旧石器時代　2．文化層の概要において記載したとおりである。また，第1表の文化層別石器群概要一覧において，各文化層の概要を記載してあるので，併せて参照していただきたい。文化層別のブロック分布は第10図，石器組成は第2～5表のとおりである。これらを，改めてまとめると，文化層の概要は以下のとおりである。

（1）文化層は，大きく分けると第Ⅰ文化層～第Ⅷ文化層の8文化層に分かれる。さらに文化層を細分すると，15文化層に分かれる。このうち，第Ⅷ文化層は，単独出土で出土層位の不明のものを一括した。

（2）文化層全体では，3,448点（58ブロック）である。出土石器の点数（ブロック数）の多いもの順に文化層を記載すると以下のとおりである。一番多いものは，第Ⅰ文化層で1,477点（18ブロック）である。そのうち第Ⅰa文化層が1,381点（13ブロック）を占める。第Ⅰa文化層は環状ブロック群が2群みられる。北側のAユニットでは825点（6ブロック），南側のBユニットでは556点（7ブロック）出土している。質・量ともに，第Ⅰa文化層が最も充実している。二番目に出土点数の多い文化層は，第Ⅶ文化層で901点（5ブロック）出土している。第Ⅶ文化層は，礫群を主体とする文化層であり，礫・礫片の占める割合が非常に高い（80%）。以下順番に出土点数の多い順に列挙すると，第Ⅳ文化層が423点（9ブロック），第Ⅴ文化層が350点（12ブロック），第Ⅱ文化層が272点（8ブロック），第Ⅵ文化層が13点（3ブロック）第Ⅲ文化層が6点（1ブロック），第Ⅷ文化層が6点（3ブロック）である。

（3）ブロック間接合のみられる文化層は，第Ⅰa文化層と第Ⅳa文化層と第Ⅴc文化層と第Ⅶ文化層である。このうち，第Ⅰa文化層においては，環状ブロック群がAユニットとBユニットの2群でみられ，この環状ブロック群間で約60m離れて接合関係がみられたことは特筆される。他の文化層は，ブロック間接合がみられず，明確に母岩を共通して保持していないことから，同時期に形成されたブロックであるかは不明である。

1　第Ⅰ文化層の石器群（第10～12・71・371～382図，第6・7・18表，巻頭図版1・2）

第Ⅰa文化層と第Ⅰb文化層に細分される。第Ⅰa文化層と第Ⅰb文化層との出土層位は，わずかに異なっている。第Ⅰa文化層はX層上部～Ⅸc層下部に推定生活面があり，第Ⅰb文化層はⅨc層上部～Ⅸa層下部に推定生活面がある。第Ⅰa文化層のほうが，わずかに古い時期の文化層として捉えることが可能である。また，第Ⅰa文化層は，環状ブロック群が2群みられ，ブロック間接合が頻繁にみられ，環状ブロック間の接合関係資料がみられる。第Ⅰa文化層の石器群は，同一時期に形成されたものと推定できる。一方，第Ⅰb文化層は，ブロック間接合がみられないことから，5ブロックで構成されているが，これらの石器群が同一時期に形成されたかどうかは不明である。

（1）**第Ⅰa文化層**（第10～12・71・371～382図，第6表，巻頭図版1・2）

出土点数は，総計1,381点出土していている。石材器種組成は第6表のとおりである。第Ⅰa文化層の遺物分布状況は，第11・12・71図のとおりである。X層上部～Ⅸc層下部に推定生活面がある。二つの環状

ブロック群で構成されており，北側がAユニット，南側がBユニットである。環状ブロック群間の距離は最短で約50m離れている。その中で，約60m離れて環状ブロック群間で接合資料がみられたことは非常に重要である。環状ブロック群間で接合資料がみられた遺跡は全国的にみても，貴重な資料といえよう。二つの環状ブロック群は，同一時期に形成されたといえよう。

a．Aユニット（第12・371～377図，第6・7表，巻頭図版1）

①石器群の概要

Aユニットの遺物分布状況は，第12図のとおりである。南北12m，東西13mの円形のブロック群で，環状ブロックとして捉えることができる。ブロック間接合が頻繁にみられる。通常Ⅸc層から出土する環状ブロック群において，中間部に明確な遺物の空白地帯がみられるものが多いが，Aユニットにおいては，明確な遺物の空白地帯がみられない。推定生活面が，X層上部～Ⅸc層下部であることから，環状ブロックの形成の初期段階の遺物分布状況を示している可能性がある。また，南側に60m離れて環状ブロックを呈するBユニットと接合関係がみられ，同時期に形成されたことを示している。Bユニットの遺物分布状況（第71図）においても，中心部に明確な遺物の空白地帯がみられないという共通した特徴がみられる。石材は，嶺岡産珪質頁岩が596点出土しており，72.24%もの非常に高い割合を示すことが特徴である。

②器種組成

器種組成は第371～377図のとおりである。出土点数は，総計で825点出土している。石材器種組成は第7表のとおりである。製品としては，ナイフ形石器3点，台形様石器8点，楔形石器15点出土しており，製品の種類は非常に少なく，製品の点数の割合も低い。

ナイフ形石器は1～3である。第1ブロックのみで出土しており，母岩別分類から，第1ブロックにおいて製作されたことがうかがえる。いずれも小型であるが，素材や素材の用い方・調整加工の方法がそれぞれ異なる。一側縁に素材の縁辺が残されていることから，ナイフ形石器として分類したが，台形様石器の一群として捉えることも可能である。

台形様石器は4～10・13である。母岩別分類から，それぞれのブロックにおいて，台形様石器が製作されたことがうかがわれる。4は玉髄（メノウ含む），7はガラス質黒色安山岩が用いられており，それ以外はすべて嶺岡産珪質頁岩が用いられている。4～8はいずれも第2ブロックから出土しており，小型の剥片を素材として，両側縁に粗い調整加工が施され，基部に入念な調整加工が施されるという共通した特徴がみられる。全体形状は，撥形の形態を呈する。4～6は素材の主要剥離方向と主軸方向が一致しており，素材の末端部が残存している。5～8は背腹両面からの対向調整がみられる。9・10・13は，5～8に比べて大きなサイズで，素材の用い方や調整加工が異なり，ペン先形の形態を呈する。9・10は3ブロックから出土している。自然面を残しており，粗い調整加工が施されている。13は，11～13の接合した状態が幅広の剥片である剥片を素材としている。11～13の状態で，左側縁に微細剥離痕が連続的にみられる。その後，三分割して，分割された剥片のうち，13は基部に調整加工が施されている。幅広の剥片を素材として，分割を行い台形様石器を製作した良好な接合資料である。このように，台形様石器は，ブロックごとにそれぞれ形態の異なるものが，まとまって出土する傾向がみられる。

楔形石器は14～28である。14～21・27・28は，全体形状が三角形状を呈し，両極剥離によって先端部を尖らせるような調整加工が施されている。特に，14～17においては調整加工が入念に施されている。22～26は，全体形状が長方形状を呈している。27＋28は，四角形状の剥片を素材として，両極剥離によって，

二分割して三角形状の先端部の尖る楔形石器を製作した良好な接合資料である。

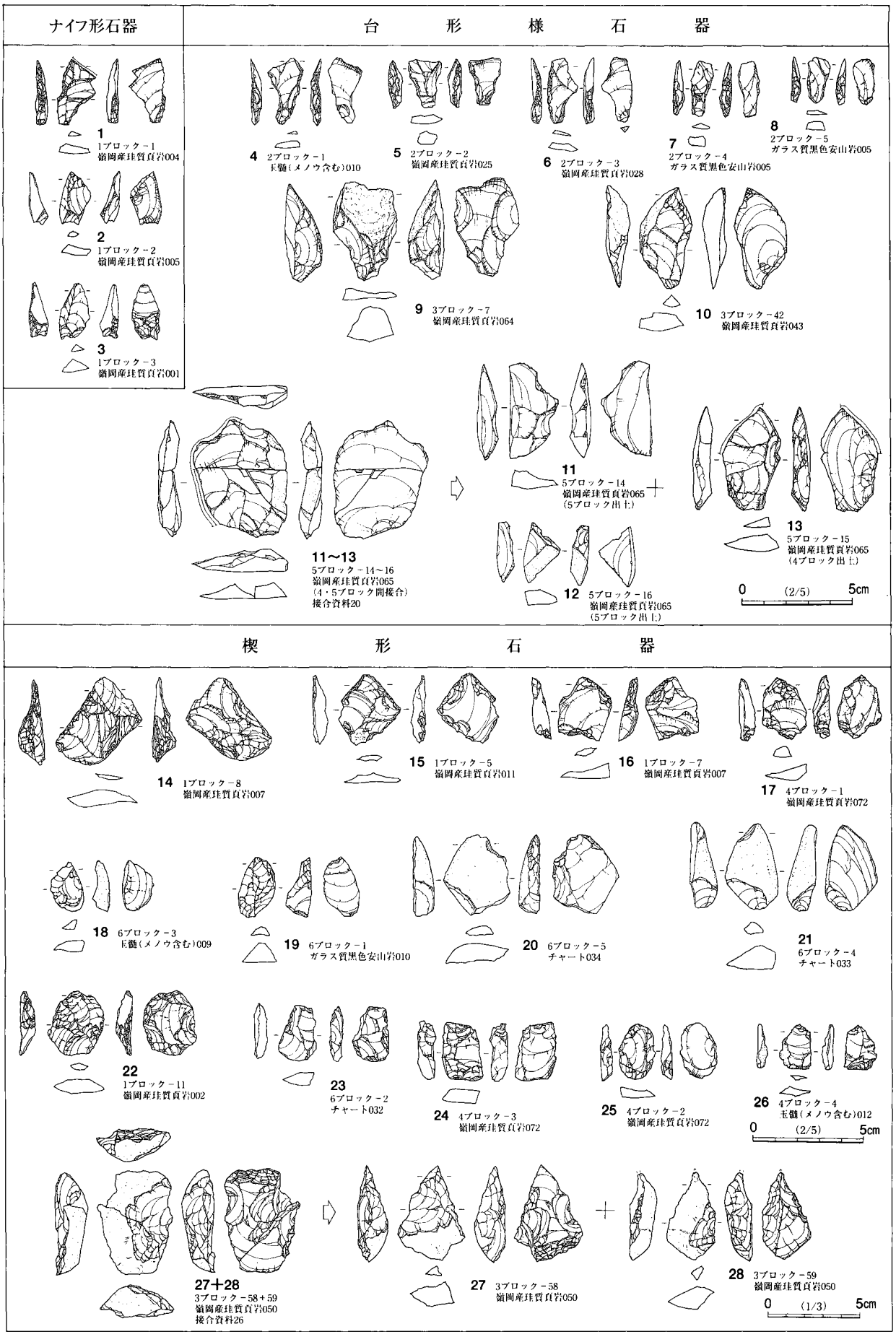
二次加工のある剥片は29～65である。ほとんどのものが，全体形状が三角形状を呈し，三角形の先端部をさらに尖らせるような調整加工が施されている。64＋65は，打面を順次ずらして幅広の打面で三角形状の剥片を剥離して，先端部を尖らせるような調整加工が施された接合資料である。

微細剥離痕のある剥片は，66～69である。微細剥離痕のみられる部位は，66・67・69のように，尖った部位にみられるものが多い。

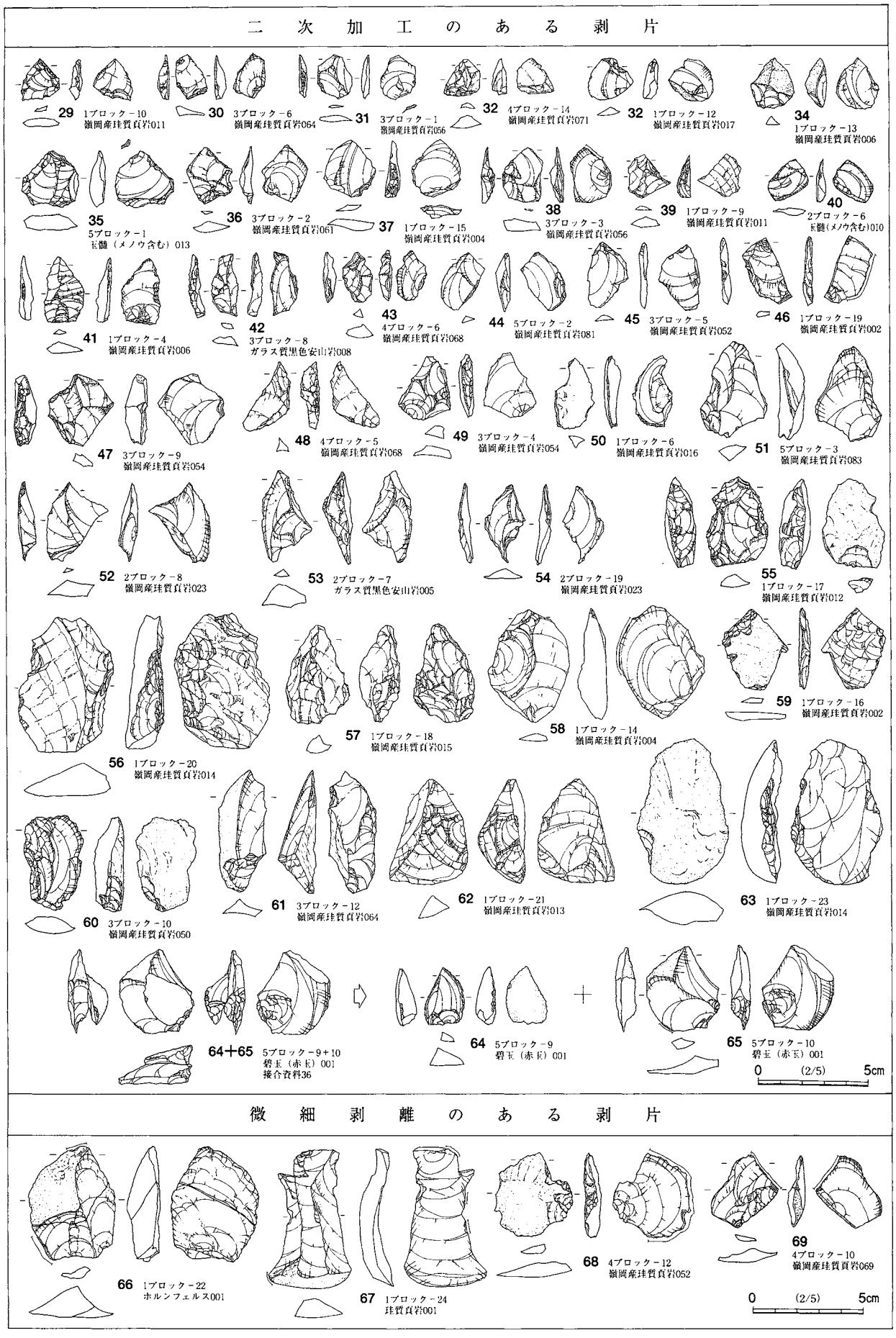
石核は70～97である。70は分割した剥片を素材として，腹面側にほぼ全周に打面を順次転移して幅広横長剥片が剥離されている。71～73は，円礫を素材として，チョッピングツゥール状の石核である。74・75は円礫を素材として，多方向から剥離している。76・77は楕円形礫を素材として，チョッピングトゥール状の石核である。78～85は分割礫を素材としている。主に，分割面側に剥離を行って，背面にポジティヴ面をもつ横長幅広剥片が剥離されている。86～88は厚みのある分割剥片を素材として，直方体の形状をしている。89～96はサイコロ状の形状をしている。分割礫を素材として，90度の打面転移を頻繁に繰り返して剥離している。97は非常に大型の楕円形礫を素材として，チョッパー状の形状を呈している。以上の石核の形状から，剥離されている剥片は幅広の剥片が剥離されており，三角形・台形の形状をした剥片が主に剥離されていることがうかがえる。

接合資料は98～121である。98～100・102～106は，円礫・分割礫を素材として，主に90度の打面転移を頻繁に繰り返して,残核の形状がサイコロ状を呈する。101は細長剥片が連続的に剥離された接合資料である。107・109は幅広の剥片を素材として，主に剥離面側に剥離を行った接合資料で，剥離された剥片は，背面にポジティヴ面を持ち小型の貝殻状の形状を呈する。108は円礫を素材として，自然面を打面として，剥離を行っているが，剥離の際に同時割れして，不定形の剥片が数枚剥離されている。実測図には，提示していないが，このような接合資料は多くみられた。このような接合資料のほとんどのものは，石材が粗悪である嶺岡産珪質頁岩が用いられていることが要因として考えられる。110は打面を順次ずらして,三角形状の剥片を剥離している。111～113は小型の楕円形礫を分割して，分割面を打面として，小型の剥片を剥離している。114・115は円礫を素材として，大きく横長の剥片を剥離して，その剥離面を打面に設置して，剥片を連続的に剥離している。116は扁平な円礫を素材として，打面を頻繁に転移して，幅広の剥片を剥離している。117は円礫を素材として，打面を固定して縦長状の剥片を連続的に剥離している。ただし，接合していない剥離面は幅広の剥片が剥離されている。118・119はやや大型の楕円形礫を素材として，幅広の剥片を剥離している。120は円礫を素材として，二つに分割して，分割礫を素材として，幅広の剥片を剥離している。121は大型の円礫を素材として，やや大型の幅広の剥片が連続的に剥離されている。

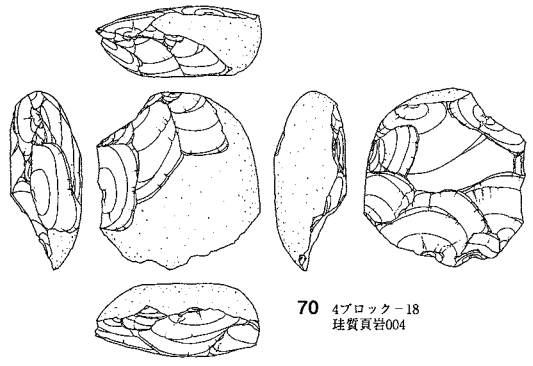
敲石は122～132である。いずれも楕円形礫が用いられており，突出した先端部には顕著な敲打痕がみられ，平坦面にも敲打痕がみられるものがある。122～125は，AユニットとBユニットとが約60m離れて接合した資料である。この他には，両ユニットの接合資料はみられなかった。両ユニットが同一時期に形成されたことを示す点で重要な資料である。また，接合関係を詳細にみると，Aユニット第1ブロック出土の123･124は全体が赤化しており，火熱を受けていると思われる。Bユニット第9ブロック出土の122とBユニット第8ブロックの125は赤化しておらず,火熱を受けていないと思われる。122～124が剥離された後も，Bユニット第8ブロック出土の125は，敲打痕が顕著にみられ，敲石として機能していたことが推察される。



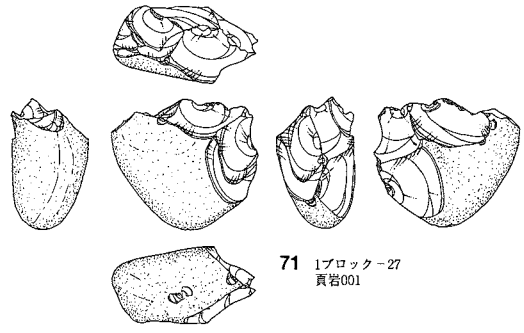
第371図　第Ⅰa文化層 Aユニット器種組成（1）



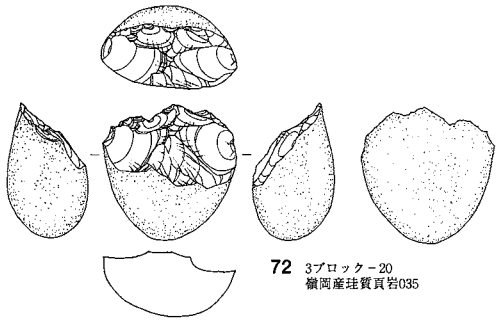
第372図　第Ⅰa文化層 Aユニット器種組成（2）



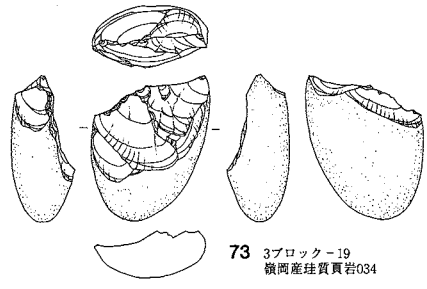
70 4ブロック－18
珪質頁岩004



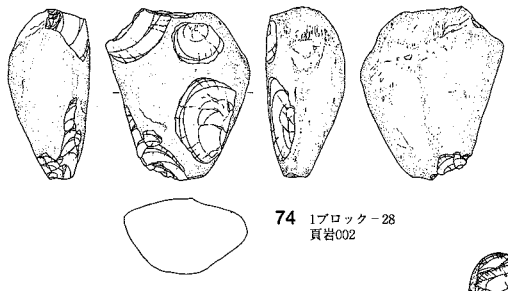
71 1ブロック－27
頁岩001



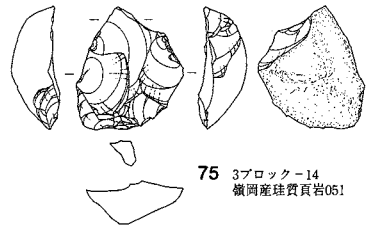
72 3ブロック－20
嶺岡産珪質頁岩035



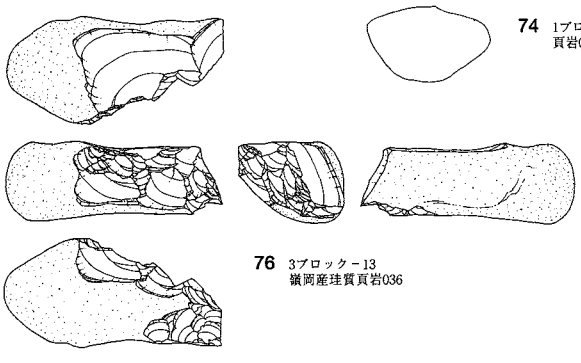
73 3ブロック－19
嶺岡産珪質頁岩034



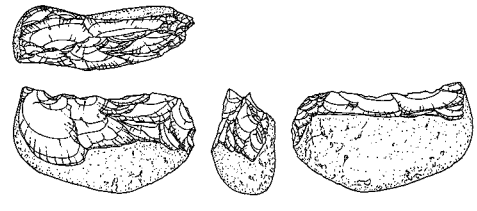
74 1ブロック－28
頁岩002



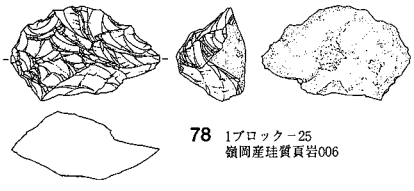
75 3ブロック－14
嶺岡産珪質頁岩051



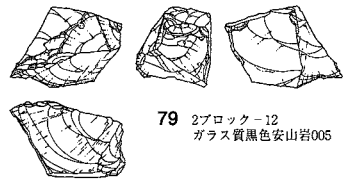
76 3ブロック－13
嶺岡産珪質頁岩036



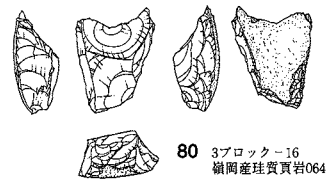
77 3ブロック－15
ガラス質黒色安山岩006



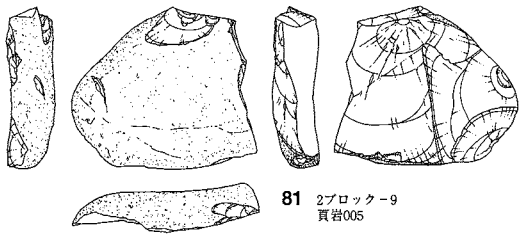
78 1ブロック－25
嶺岡産珪質頁岩006



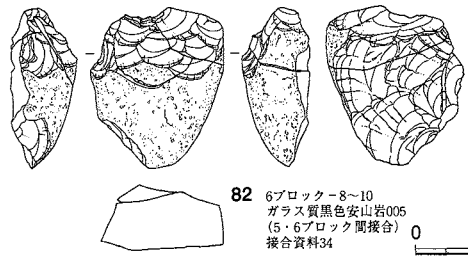
79 2ブロック－12
ガラス質黒色安山岩005



80 3ブロック－16
嶺岡産珪質頁岩064



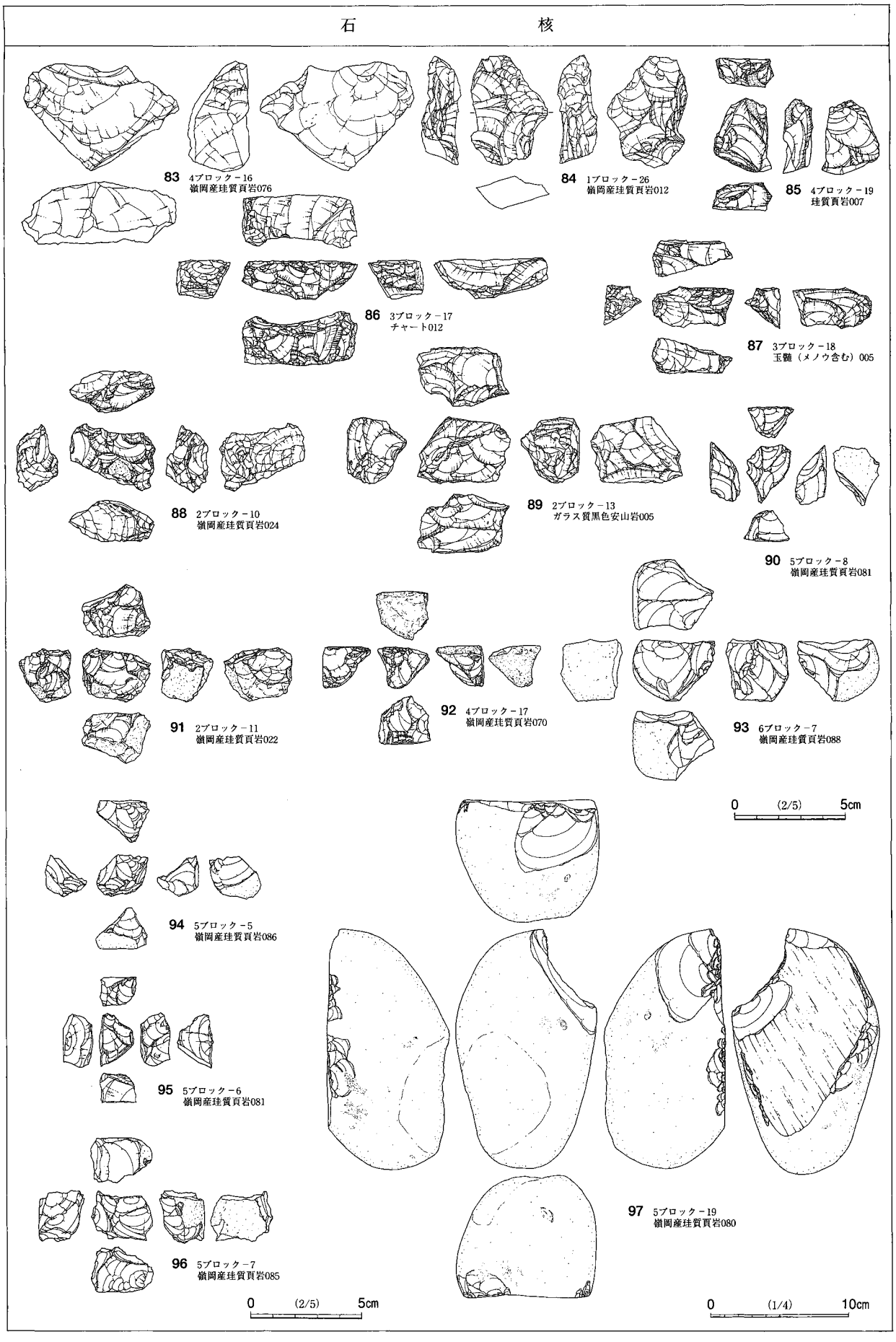
81 2ブロック－9
頁岩005



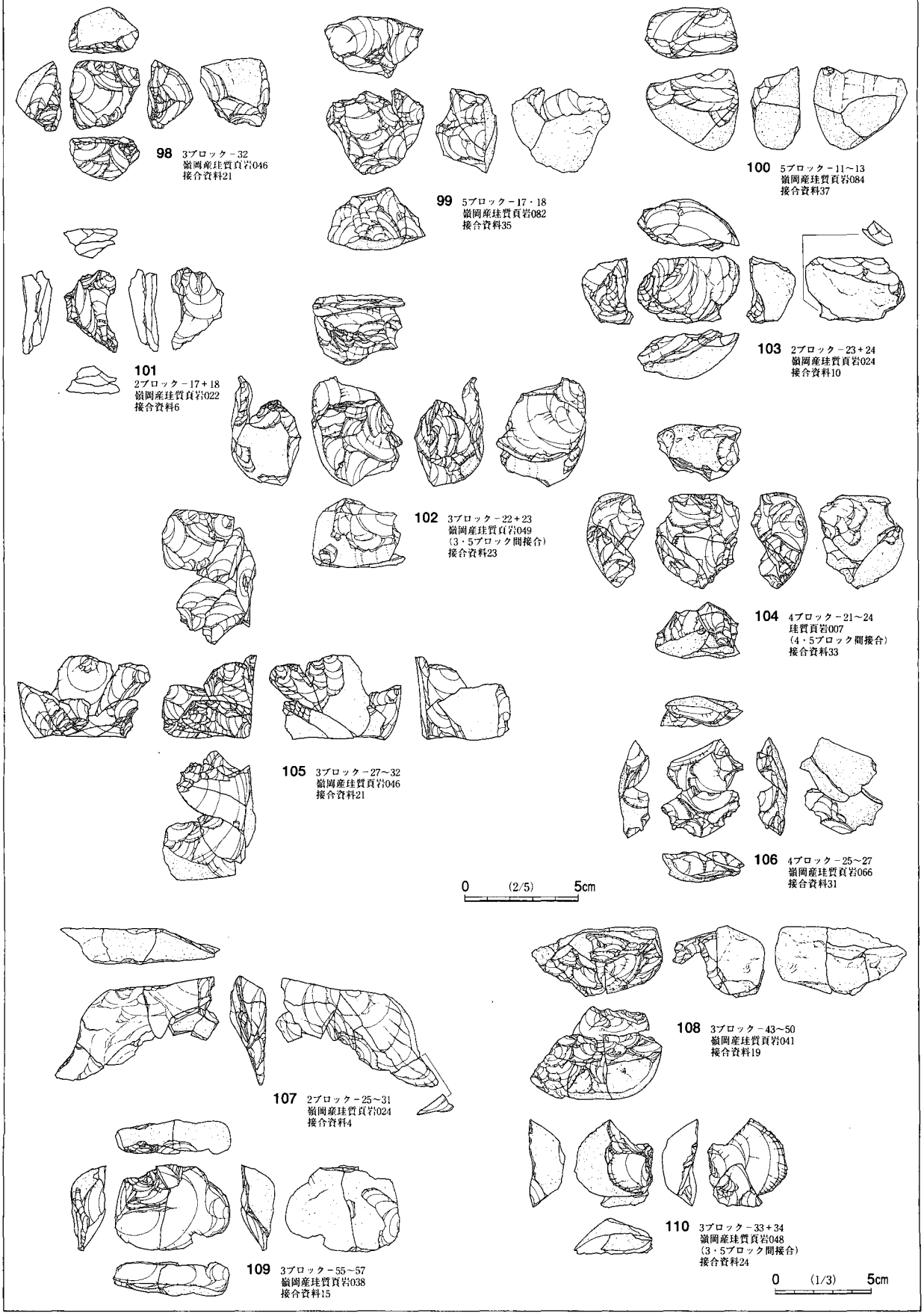
82 6ブロック－8～10
ガラス質黒色安山岩005
（5・6ブロック間接合）
接合資料34

0　(2/5)　5cm

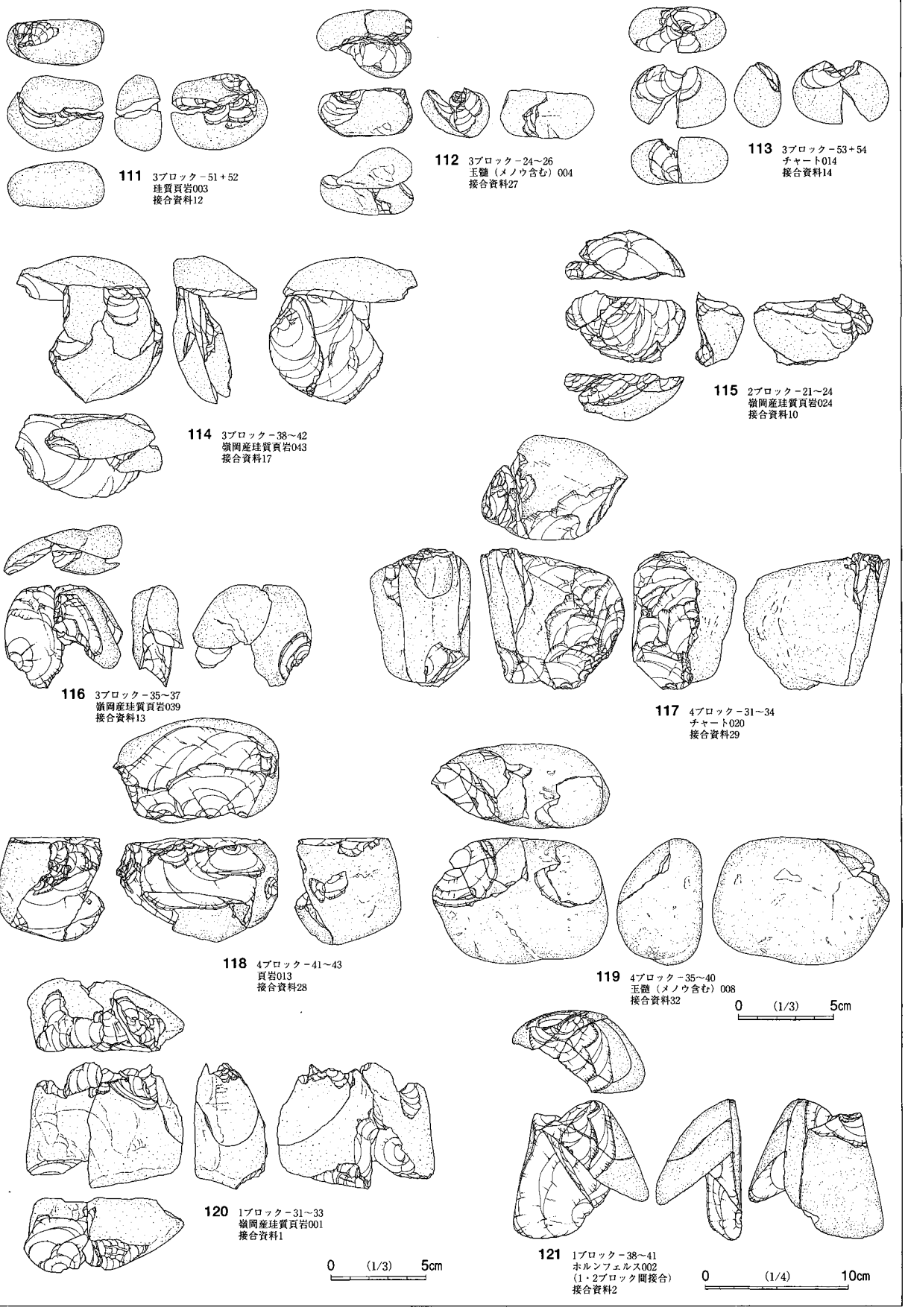
第373図　第Ⅰa文化層 Aユニット器種組成（3）



第374図　第Ⅰa文化層 Aユニット器種組成（4）



第375図　第Ⅰa文化層 Aユニット器種組成（5）



111 3ブロック－51＋52
珪質頁岩003
接合資料12

112 3ブロック－24～26
玉髄（メノウ含む）004
接合資料27

113 3ブロック－53＋54
チャート014
接合資料14

114 3ブロック－38～42
嶺岡産珪質頁岩043
接合資料17

115 2ブロック－21～24
嶺岡産珪質頁岩024
接合資料10

116 3ブロック－35～37
嶺岡産珪質頁岩039
接合資料13

117 4ブロック－31～34
チャート020
接合資料29

118 4ブロック－41～43
頁岩013
接合資料28

119 4ブロック－35～40
玉髄（メノウ含む）008
接合資料32

0　(1/3)　5cm

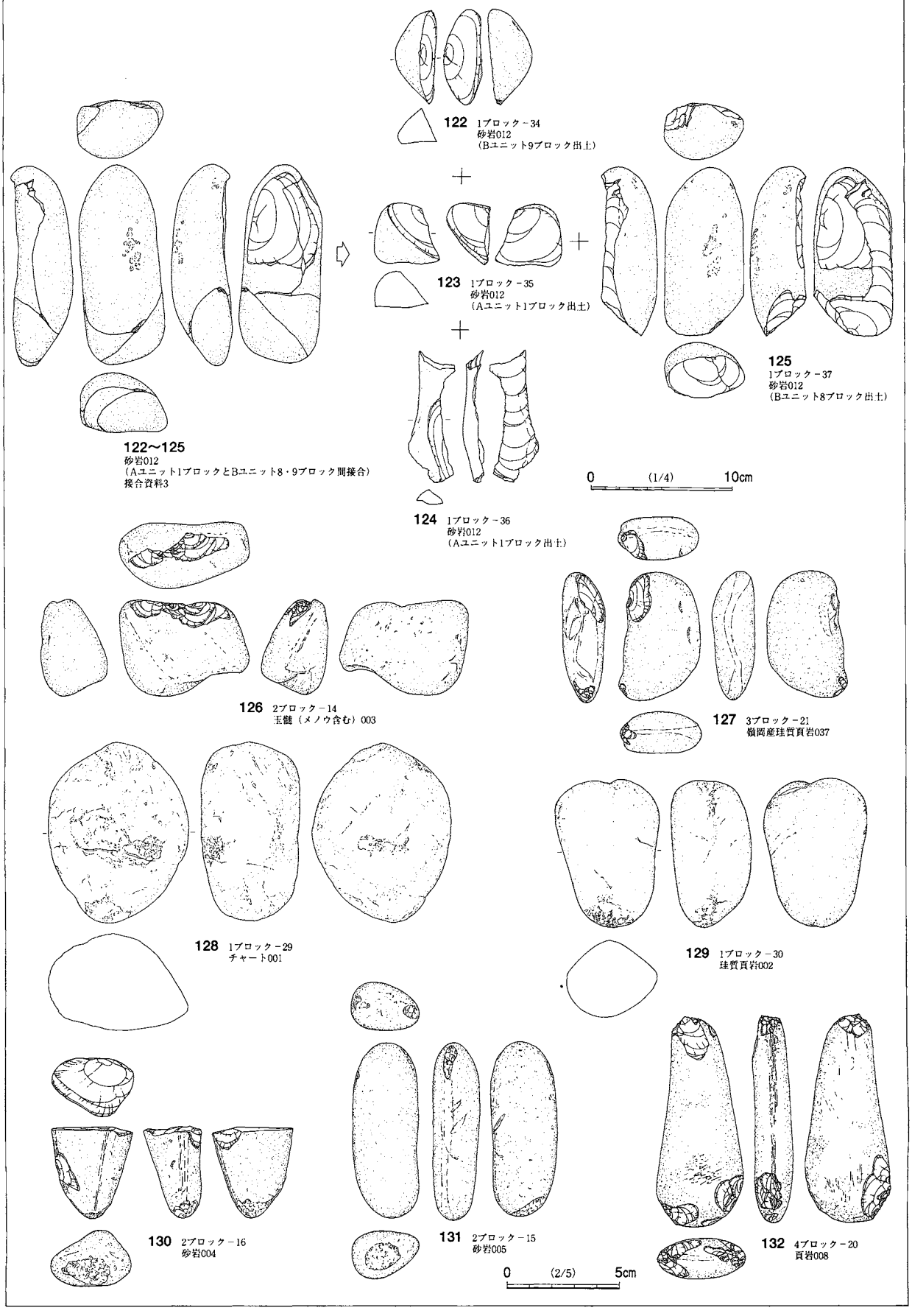
120 1ブロック－31～33
嶺岡産珪質頁岩001
接合資料1

0　(1/3)　5cm

121 1ブロック－38～41
ホルンフェルス002
（1・2ブロック間接合）
接合資料2

0　(1/4)　10cm

第376図　第Ⅰa文化層　Aユニット器種組成（6）



第377図　第Ⅰa文化層 Aユニット器種組成（7）

③石器製作技術

剥片生産技術は，大きく分けて，以下の二つに分類される。

剥片生産技術Ⅰ類：円礫・分割礫を素材として，打面を順次転移して打面幅が広くて，全体形状が三角形・台形を呈する剥片を生産するものが主体となる。

剥片生産技術Ⅰ類において用いられる石材は，Aユニットで72%を占める嶺岡産珪質頁岩が主に用いられている。粗悪な石材を用いた剥片生産技術といえよう。嶺岡産珪質頁岩は，比較的大きな円礫から剥片を生産するものが多くみられる。その結果，自然面を打面とするもの，背面に自然面を大きく残すものが多くみられる（72・73・76・88・102・103・114)。また，小型の円礫，あるいは，分割礫を素材として，90度の打面転移を頻繁に行い，残核の形状がサイコロ状を呈するものも多くみられる（90～96，98～100)。

剥片生産技術Ⅱ類：盤状の剥片を素材として，分割面側から剥離しているものが次に多くみられる。いわゆる盤状剥片石核から剥離されたものといえるものである。

剥片生産技術Ⅱ類において用いられる石材は，頁岩・ガラス質黒色安山岩・チャート・玉髄（メノウを含む）等の比較的良質の石材が用いられている（70・81・82・87)。このうち70は，腹面側にほぼ全周に打面を順次転移しており，剥片生産技術Ⅱ類の典型例といえる。

二次加工や調整加工について，器種別に概観してみることにする。ナイフ形石器は，1～3があげられるが，いずれも調整加工がブランティング加工といえるような調整加工ではなく，粗い調整加工が施されており，台形様石器に分類することも可能な石器である。台形様石器においては，4～8のように小型の剥片を素材として，折断調整後に基部に入念な調整加工を施し，背腹両面からの対向調整加工が施されている。台形様石器の別の形態としては，9・10・13があげられる。13については，11～13の幅広の剥片を折断により分割して，素材を作り出しているものもみれる。楔形石器は，本文化層の主体となる石器であるが，14～21・27・28のように，三角形状の素材の剥片の先端部をさらに尖らせるように両極剥離が行われている。

敲石は，Aユニットから比較的多く出土している（122・123・126～132)。楕円形の突出した部位に顕著な敲打痕がみられることから，上述の剥片生産において，これらの敲石を用いたものであると想定される。剥離された剥片や石核を観察してみても，ハードハンマーによると思われる痕跡が認められる。

b．Bユニット（第71・378～382図，第6・18表，巻頭図版2）

①石器群の概要

Bユニットの遺物分布状況は，第64図のとおりである。南北20m，東西10m（推定20m）の円形のブロック群で，環状ブロックとして捉えることができる。ブロック間接合が頻繁にみられる。Aユニットよりも規模が約2倍近く大きい。東側の調査区域外の分布状況が未調査であるが，調査区域内の遺物分布状況から判断して，中間部に明確な遺物空白地帯がみられない環状ブロックであると推定される。推定生活面は，Aユニット同様にX層上部～Ⅸc層下部である。Aユニットと接合関係のある資料は，1資料のみではあるが，約60m離れて接合資料がみられ，同時期に形成されたものと思われる。石材構成は，嶺岡産珪質頁岩が196点で32.25%の高い割合を示すものの，Aユニットに比べて割合が低い。また，黒曜石が41点(7.37%)出土しておりAユニットに比べて高い割合を示す。

②器種組成

器種組成は第378～382図のとおりである。出土点数は，総計で556点出土している。器種組成は，第18表のとおりである。製品としては，ナイフ形石器２点，台形様石器５点，楔形石器３点，局部磨製石斧２点（１個体）出土しており，Ａユニットと同様の器種組成を示す。Ａユニットと異なる点は，楔形石器の出土点数がやや少なく，Ａユニットでは出土していない局部磨製石斧が出土している点である。

ナイフ形石器は１・２である。いずれも，打瘤を除去した後に，基部に調整加工が施されている。１・２ともに，素材の用い方や形態が異なる。また，2については，左側縁は折断されており，素材の縁辺が残っていないことから，ナイフ形石器として分類するよりは，台形様石器，あるいは，二次加工のある剥片として分類するほうが妥当であるかもしれない。母岩別分類から，単独母岩ではないが，少数の母岩であることから，出土したブロックに製品として持ち込み，刃部再生等を行ったと推定される。

楔形石器は３・４である。Ａユニットに比べて出土点数も少なく，やや形態が異なる。

台形様石器は５～９である。第８ブロックから５～８の４点，第９ブロックから９の１点が出土している。いずれも全体形状が，ペン先形の形態をしている。二次加工においても，折断により菱形の形状を成形した後に，先端部を尖らせるように一側縁の先端部に調整加工が施されている。サイズは，５～７cmの大きさである。石材は，良質の石材である黒曜石と流紋岩が用いられている。ナイフ形石器と同様に，単独母岩ではないが，少数の母岩であることから，出土したブロックに製品として持ち込み，刃部再生等を行ったと推定される。Ａユニットの台形様石器と比較してみると，Ａユニットの第271図４～８は，３・４cmの小型で，基部加工が顕著な撥形のものであり，形態が異なる。第371図９・10・13は，Ｂユニットと類似する形態である。

二次加工のある剥片は11～23である。打面幅が広く，全体形状が三角形・台形の形状をした剥片を素材として，尖った部位に調整加工が施されるものが多くみられる。この典型例は，14・15・19・21があげられる。

局部磨製石斧は24＋25である。角閃片岩001の母岩が用いられているが，本遺跡においては，2点のみの出土で，これらが接合している。局部磨製石斧は，刃部再生が頻繁に行われており，24が刃部再生が行われた剥片で，25が最終的な局部磨製石斧の形態となっている。局部磨製石斧は，Ｂユニットから24・25の資料（１個体）だけで，Ａユニットからは出土していない。通常，環状ブロックを形成する石器群においては，局部磨製石斧が多く出土する。本遺跡のように，第Ⅰａ文化層から出土した石器総計が，1,381点と非常に多いにもかかわらず，局部磨製石斧の２点（１個体）のみの出土で非常に少ない。このことは，ａ．地域的な特徴　ｂ．遺跡形成のあり方の違い　ｃ．時期的な石器群の様相の違いなど，いろいろな要因が想定できる。

微細剥離痕のある剥片は26～42である。26～35は，素材が三角形・台形の形状をしたものを素材として，突出部に微細剥離痕がみられる。典型例は，26・28・32があげられる。36・38～42は剥片が比較的大きくて，鋭角な縁辺に微細剥離痕が連続的にみられる。

石核・接合資料は43～68である。43～49は分割礫を素材として，90度の打面転移を頻繁に行い，サイコロ状の形状を呈している。50～52は縦長の分厚い剥片を素材として，分割面側から剥片を剥離している。53～57は円礫を素材として，90度の打面転移を頻繁に行っている。58・60は分割剥片を素材として，さらに不定形の剥片を分割している。61・65は円礫を素材として，自然面を除去した後に，90度の打面転移を

頻繁に行っている。62～64は頭部調整を頻繁に行って，90度の打面転移を頻繁に行いながら，幅広の剥片を連続的に剥離している。最終的な残核である64は，盤状剥片石核の形状を呈している。66～68は粗悪な石材のため，一回の剥離で数枚の剥片が剥離・分割されている。

敲石は69～79である。69～72は小型の卵形の円礫を素材として，突出部に顕著な敲打痕がみられる。73は扁平な円礫を素材としている。74は全体形状が不明であるが，楕円形礫を素材として，突出部に強い敲打が行われている。75～80は大型の円礫を素材として，敲打を行っている。75には敲打痕が顕著にみられる。75～80の接合した状態では，敲石の機能は果たしてなく，敲石が破損した後に，石核として利用されているようである。75～79は剥片であり，80は残核として捉えることができる。

敲石で注目される点としては，72・73・75～80のように，敲石が一部破損した後にも，敲石として機能，あるいは，石核として再利用されており，しかも，ブロックをまたがって接合しているものがみられることである。このことは，敲石が遺跡内で継続して保持して持ち歩いたか，あるいは，分配譲与したことにより，複数のブロックにわたって機能していたことを意味するものと思われる。このことは，約60m離れて接合した資料である第377図の122～125の敲石が，Aユニットの第1ブロックとBユニットの第8・9ブロックにまたがって接合していることからも，敲石を継続して保持していたことを意味していることの裏づけになるものと考えられる。

③石器製作技術

剥片生産技術は，Aユニットと同様に，大きく分けて，二つに分類される。

剥片生産技術Ⅰ類：円礫・分割礫を素材として，打面を順次転移して打面幅が広くて，全体形状が三角形・台形を呈する剥片を生産するものが主体となる。

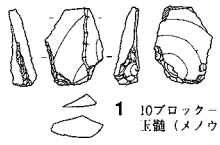
剥片生産技術Ⅰ類において用いられる石材は，Bユニットで35%を占める嶺岡産珪質頁岩が主に用いられている。嶺岡産珪質頁岩は，比較的大きな円礫から剥片を生産するものが多くみられる。その結果，自然面を打面とするもの，背面に自然面を大きく残すものが多くみられる（54～57・65～67）。また，小型の円礫，あるいは，分割礫を素材として，90度の打面転移を頻繁に行い，残核の形状がサイコロ状を呈するものも多くみられる（44・45）。

剥片生産技術Ⅱ類：盤状の剥片を素材として，分割面側から剥離しているものが次に多くみられる。いわゆる盤状剥片石核から剥離されたものといえるものである。

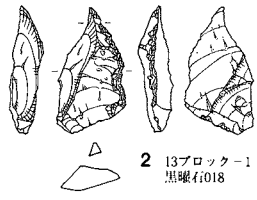
剥片生産技術Ⅱ類において用いられる石材は，Aユニットと多少異なっており，黒曜石の割合が高くなり，頁岩・ガラス質黒色安山岩・チャート・玉髄（メノウを含む）等の比較的良質の石材が用いられている（43・50・52）。

二次加工や調整加工について，器種別に概観してみることにする。ナイフ形石器は1・2があげられるが，Aユニット同様に，いずれもブランティング加工ではなく粗い調整加工が施されており，台形様石器，あるいは，二次加工のある剥片として捉えたほうが妥当であるような調整加工が施されている。楔形石器はAユニットに比べて少量であり，形態的にまとまったものではない。台形様石器は，5～9があげられる。いずれもペン先形の形態を呈しており，折断により菱形に成形した後に，先端部に細かい調整加工が施されている。Aユニットの台形様石器と比較すると，第371図9・10・13とは類似するが，第371図4～8の撥形をしたものとは，素材の用い方や調整加工の方法が大きく異なる。二次加工のある剥片は，Aユニットと同様に三角形・台形の形状をした剥片を素材として，先端部をさらに尖らせるような調整加工が施さ

ナイフ形石器

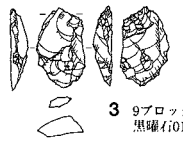


1 10ブロック－1
玉髄（メノウ含む）030

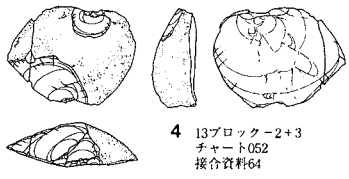


2 13ブロック－1
黒曜石018

楔形石器

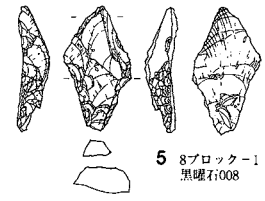


3 9ブロック－3
黒曜石011

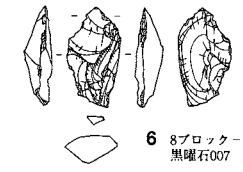


4 13ブロック－2＋3
チャート052
接合資料64

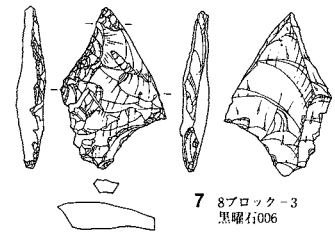
台形様石器



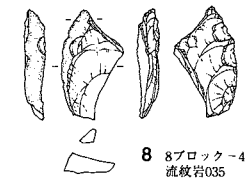
5 8ブロック－1
黒曜石008



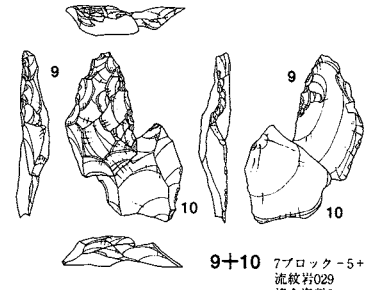
6 8ブロック－2
黒曜石007



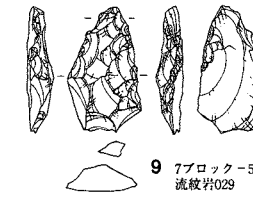
7 8ブロック－3
黒曜石006



8 8ブロック－4
流紋岩035



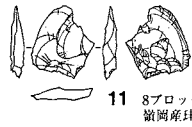
9＋10 7ブロック－5＋6
流紋岩029
接合資料5



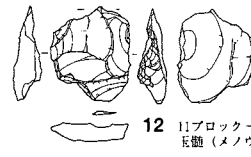
9 7ブロック－5
流紋岩029

0 (2/5) 5cm

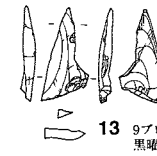
二次加工のある剥片



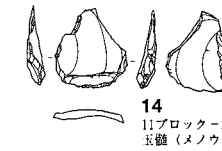
11 8ブロック－6
嶺岡産珪質頁岩100



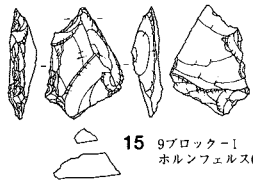
12 11ブロック－3
玉髄（メノウ含む）006



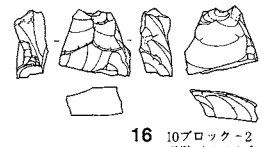
13 9ブロック－4
黒曜石012



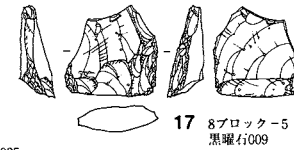
14 11ブロック－2
玉髄（メノウ含む）030



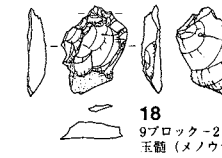
15 9ブロック－1
ホルンフェルス015



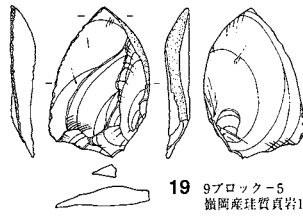
16 10ブロック－2
玉髄（メノウ含む）035



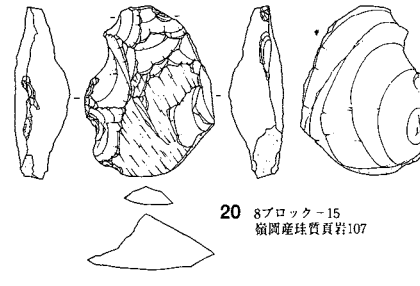
17 8ブロック－5
黒曜石009



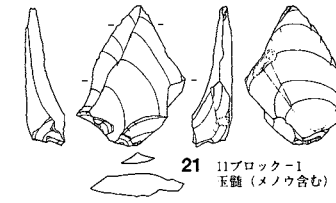
18 9ブロック－2
玉髄（メノウ含む）026



19 9ブロック－5
嶺岡産珪質頁岩108

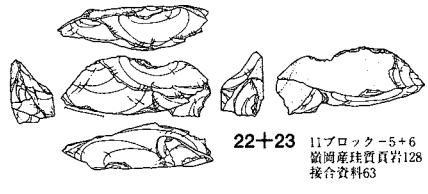


20 8ブロック－15
嶺岡産珪質頁岩107

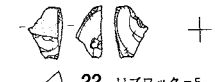


21 11ブロック－1
玉髄（メノウ含む）037

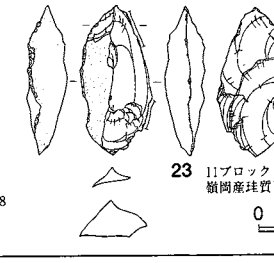
0 (2/5) 5cm



22＋23 11ブロック－5＋6
嶺岡産珪質頁岩128
接合資料63



22 11ブロック－5
嶺岡産珪質頁岩128

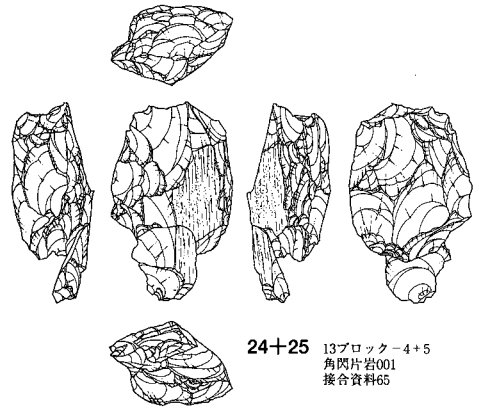


23 11ブロック－6
嶺岡産珪質頁岩128

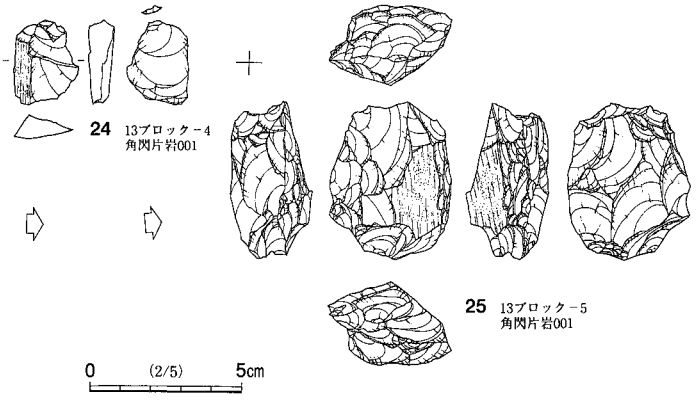
0 (1/3) 5cm

第378図　第Ⅰa文化層 Bユニット器種組成（1）

局　部　磨　製　石　斧



24+25 13ブロック－4+5
角閃片岩001
接合資料65



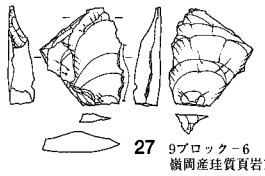
24 13ブロック－4
角閃片岩001

25 13ブロック－5
角閃片岩001

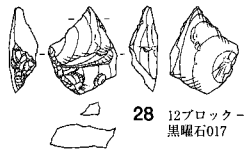
0　(2/5)　5cm

微　細　剥　離　痕　の　あ　る　剥　片

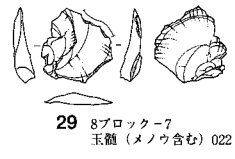
26 7ブロック－2
黒曜石003



27 9ブロック－6
嶺岡産珪質頁岩115

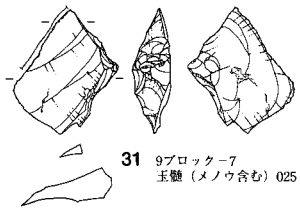


28 12ブロック－1
黒曜石017

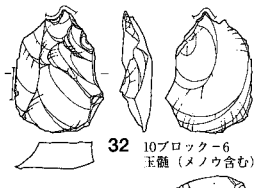


29 8ブロック－7
玉髄（メノウ含む）022

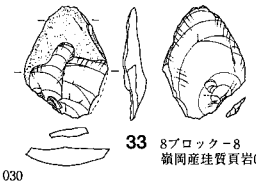
30 7ブロック－3
黒曜石003



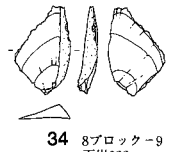
31 9ブロック－7
玉髄（メノウ含む）025



32 10ブロック－6
玉髄（メノウ含む）030

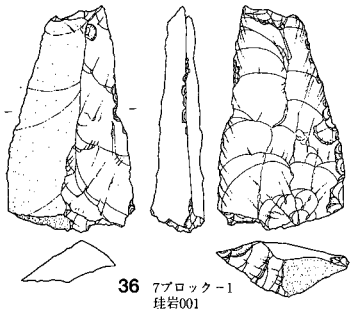


33 8ブロック－8
嶺岡産珪質頁岩095

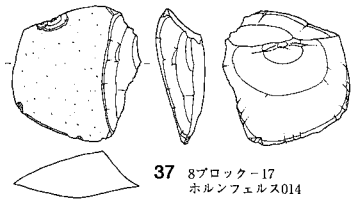


34 8ブロック－9
頁岩022

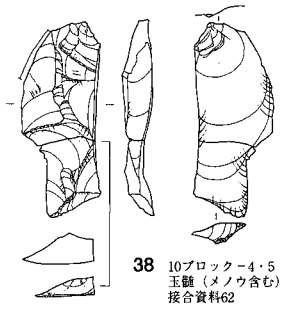
35 10ブロック－3
嶺岡産珪質頁岩124



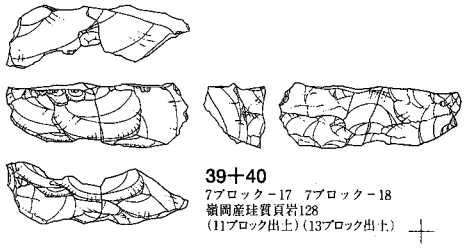
36 7ブロック－1
珪岩001



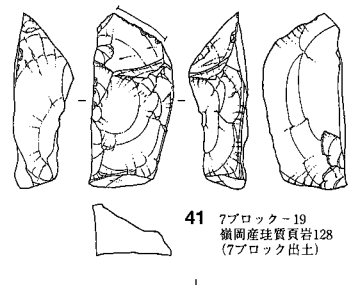
37 8ブロック－17
ホルンフェルス014



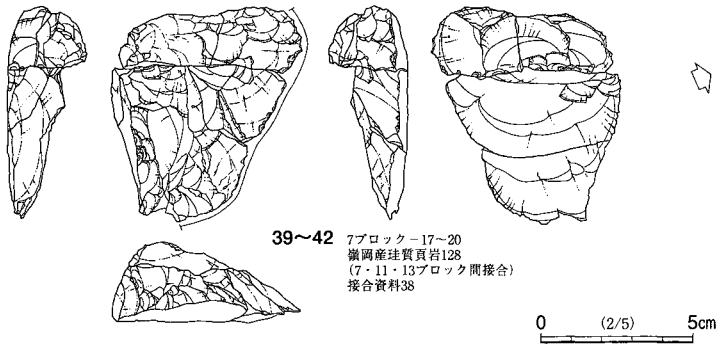
38 10ブロック－4・5
玉髄（メノウ含む）029
接合資料62



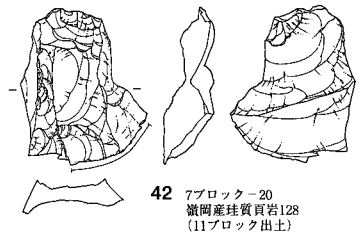
39+40 7ブロック－17　7ブロック－18
嶺岡産珪質頁岩128
（11ブロック出土）（13ブロック出土）



41 7ブロック－19
嶺岡産珪質頁岩128
（7ブロック出土）



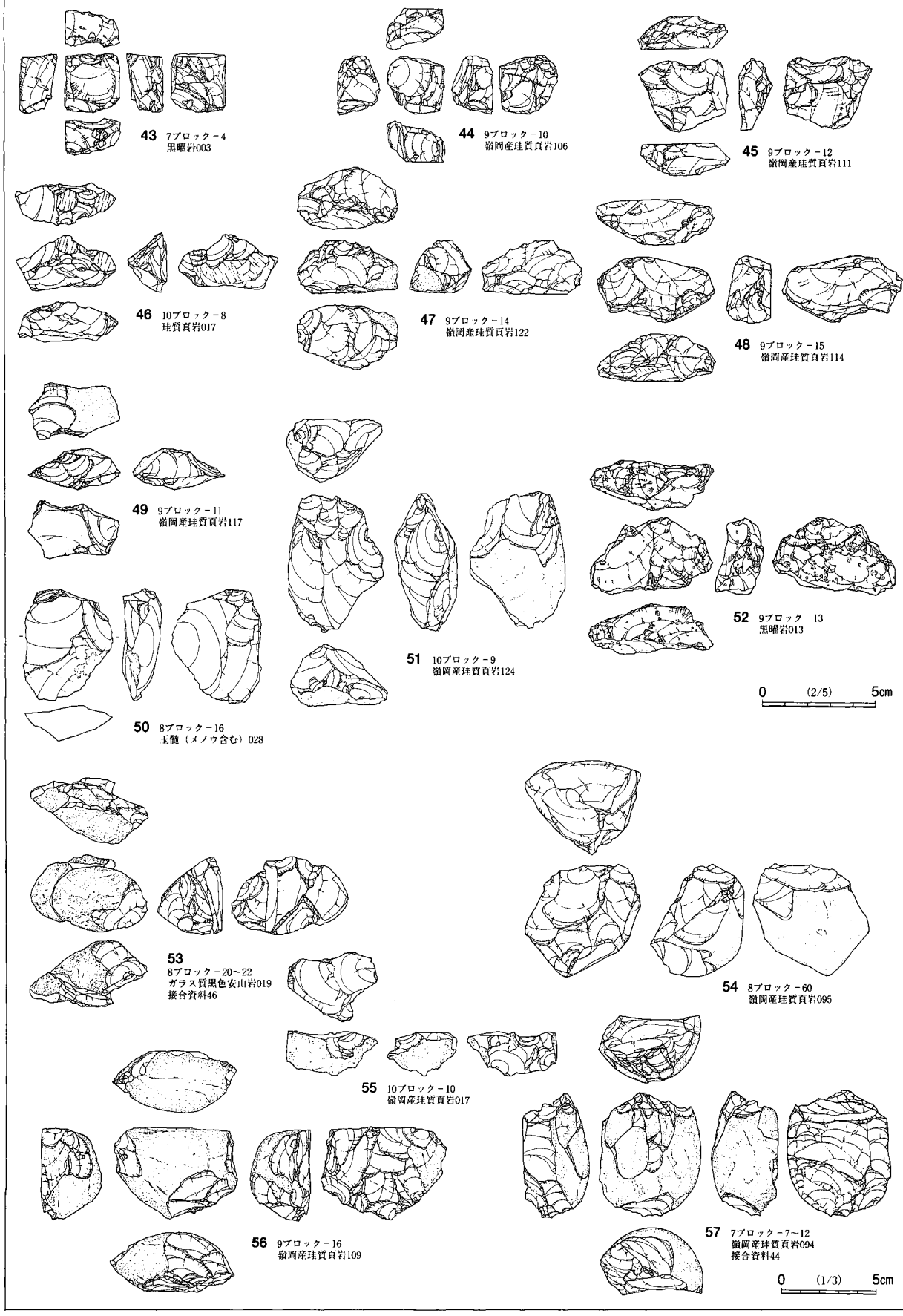
39～42 7ブロック－17～20
嶺岡産珪質頁岩128
（7・11・13ブロック間接合）
接合資料38



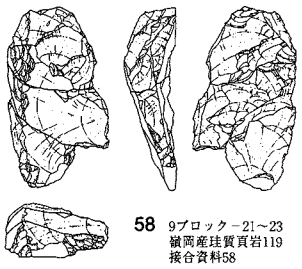
42 7ブロック－20
嶺岡産珪質頁岩128
（11ブロック出土）

0　(2/5)　5cm

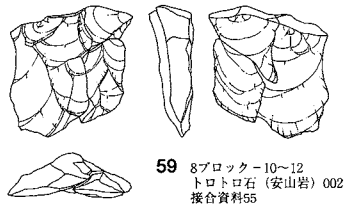
第379図　第Ⅰa文化層 Bユニット器種組成（2）



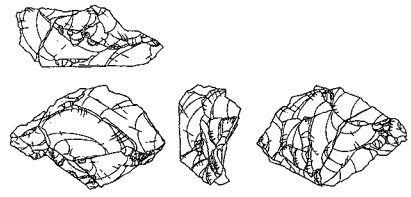
第380図　第Ⅰa文化層　Bユニット器種組成（3）



58 9ブロック－21～23
嶺岡産珪質頁岩119
接合資料58

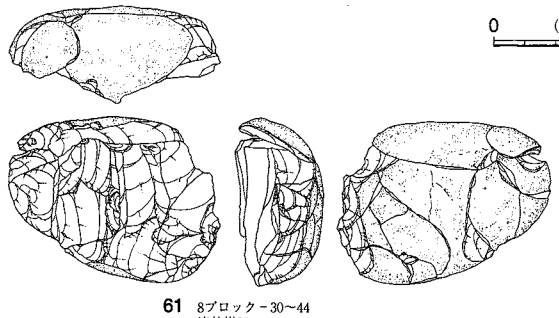


59 8ブロック－10～12
トロトロ石（安山岩）002
接合資料55

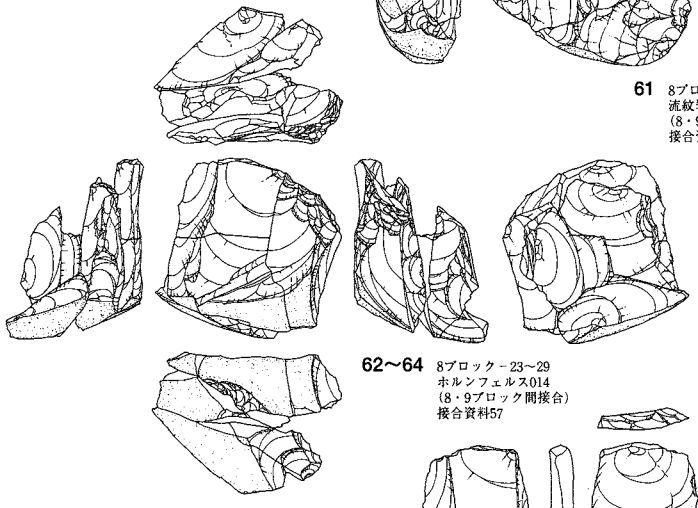


60 9ブロック－17＋18
嶺岡産珪質頁岩110
（9・10ブロック間接合）
接合資料59

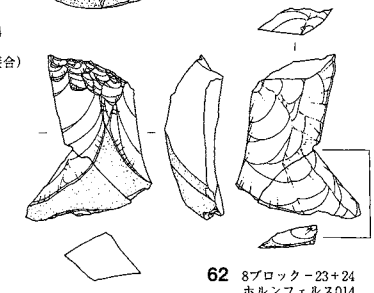
0　(2/5)　5cm



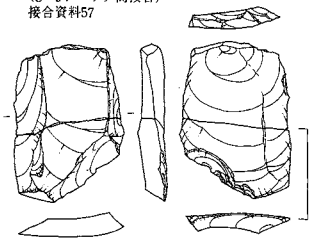
61 8ブロック－30～44
流紋岩034
（8・9ブロック間接合）
接合資料49



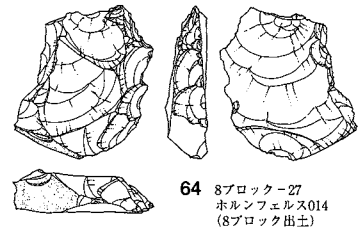
62～64 8ブロック－23～29
ホルンフェルス014
（8・9ブロック間接合）
接合資料57



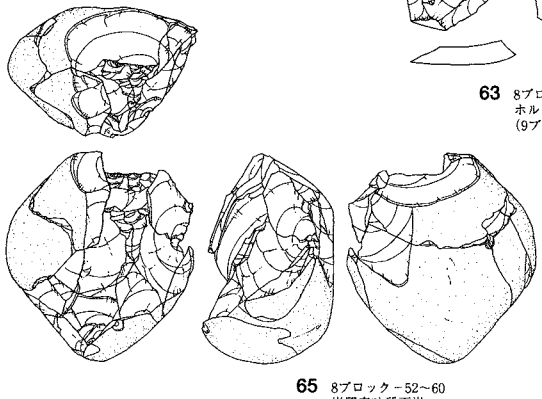
62 8ブロック－23＋24
ホルンフェルス014
（8ブロック出土）



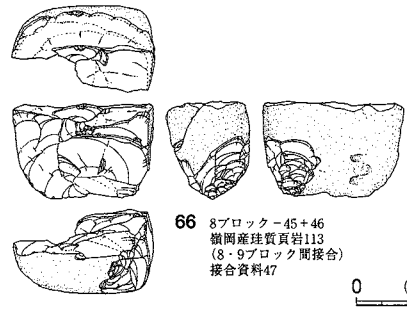
63 8ブロック－25＋26
ホルンフェルス014
（9ブロック出土）



64 8ブロック－27
ホルンフェルス014
（8ブロック出土）

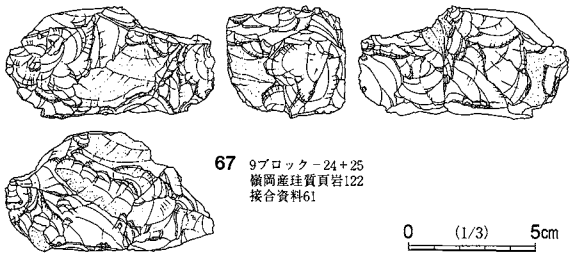


65 8ブロック－52～60
嶺岡産珪質頁岩095
接合資料53



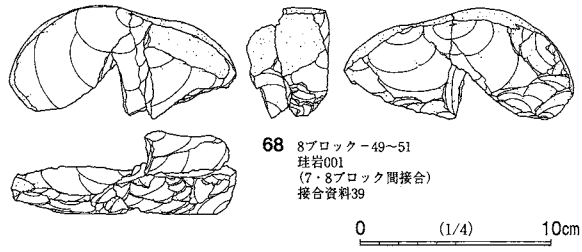
66 8ブロック－45＋46
嶺岡産珪質頁岩113
（8・9ブロック間接合）
接合資料47

0　(1/3)　5cm



67 9ブロック－24＋25
嶺岡産珪質頁岩122
接合資料61

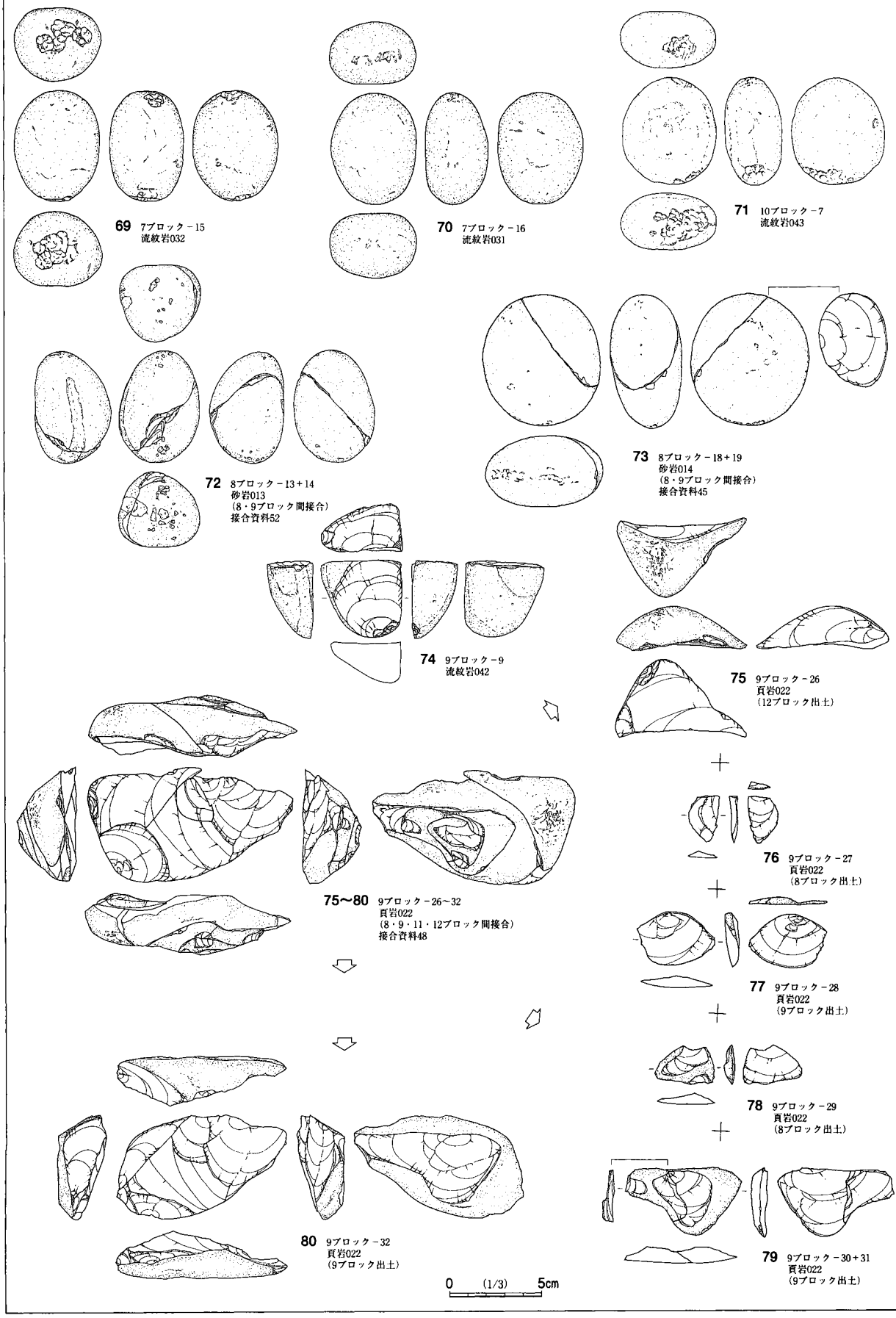
0　(1/3)　5cm



68 8ブロック－49～51
珪岩001
（7・8ブロック間接合）
接合資料39

0　(1/4)　10cm

第381図　第Ⅰa文化層 Bユニット器種組成（4）



第382図　第Ⅰa文化層 Bユニット器種組成（5）

れている。局部磨製石斧は，刃部再生が究極まで行われており，本遺跡においては，局部磨製石斧から転用して，石核として機能していた可能性がある。敲石は，Aユニットに比べて，突出部がやや丸まったものが多く用いられているものの，突出部の敲打の痕跡は顕著である。敲石として継続して用いられたものと推定され，ブロックをまたがって接合する資料が多くみられた。剥片生産においても，Aユニット同様に，ハードハンマーである敲石を使用して剥片を生産したことが，剥片や石核の打点部付近の痕跡からうかがえる。

c．第Ⅰa文化層の石器群の位置づけと問題点

①AユニットとBユニットの関係について

第Ⅰa文化層からは，AユニットとBユニットの環状ブロックが2群検出された。両ユニットは，最短距離で約50m離れた位置から出土している。本遺跡以外においても，複数の環状ブロックがみられる遺跡が存在する。本遺跡のように，約60m離れて環状ブロック間の接合資料がみられた遺跡は，おそらく，これまで報告されていない。また，同一時期に複数の環状ブロックが形成されたことが，明確に証明された遺跡はほとんどない。

環状ブロック間の接合資料は，第377図の122～125の接合資料3である。これまでに，この接合資料について何度か記載してきた。これまでの分析をもとに，AユニットとBユニットの環状ブロックの先後関係に注目して，再度，考察してみることにする。

接合資料の剥離順序を推察すると，122～125の接合した状態で，Aユニット第1ブロックにおいて最初に敲石として用いて，その際に，123と124が剥離され，両資料はその後，火熱を受けて赤化したものと思われる。その後，122＋125の状態でBユニットに敲石として持ち込まれ，Bユニット第9ブロックにおいて，敲石として敲打が行われ，122が剥離されている。その後，Bユニット第8ブロックに125が持ち込まれ，最終的に敲打が行われ，廃棄されたと推定することができる。

このことから，両ユニットの接合を示す資料が本資料のみであるが，両ブロックの先後関係については，いくつかの解釈が成立すると思われるが，次の二つの解釈を推察して提示することにする。

解釈1：上述のような接合関係から，122～125の接合資料の剥離順序を重視して，Aユニットの環状ブロック群が形成され，廃棄された後に，Bユニットが形成された。この場合，122～125の接合資料である敲石は，集団において，ある程度の時間幅・時期幅をもって継続して保持していたことが想定される。つまり，Aユニットで最初に環状ブロックを形成後に，環状ブロックを形成した集団が他の場所に移動し，再び，本遺跡に回帰してBユニットを形成したと解釈される。ただし，敲石の残存状態や耐久性から推測すると，回帰する間の時間差は，それほど長くなかったと思われる。季節的な回帰であると推察される。

解釈2：122～125の接合資料の剥離順序があるものの，接合関係を重視して，AユニットとBユニットとが同時に形成されていたと推定される。この理由としては，122～125の敲石の接合資料は，両ユニットにおいて使用されたものであり，両ユニットの接合資料が1資料のみであるので，この資料のみで両ユニットの先後関係を明確には判断できないことがあげられる。この解釈をさらに展開すると，本遺跡は，複数集団が数単位で集結した場所であったと推察される。つまり，複数の集団が2単位で本遺跡において生活を営み，同時期にAユニットとBユニットの二つの環状ブロックを形成した。この2単位の集団群はそれほど疎遠な関係ではなく，敲石を共有して使用するぐらい緊密な関係であったと推定される。

以上，解釈１と解釈２の二つの解釈を提示した。解釈１のほうが，移動生活を基本とすると想定される生活形態のなかでは，現実的な解釈であると考えれれる。ただし，確実な資料からの解釈ではないので，今後，他の遺跡の事例等を踏まえて分析を行う必要がある。

②ＡユニットとＢユニットの環状ブロックの形態（遺物分布状況）について

ＡユニットとＢユニットの２群の環状ブロックについては，次のような共通点と相違点があげられる。

共通点１：複数のブロックで構成され，遺物分布状況が円形を呈する。ブロック間の接合関係が頻繁にみられ，接合資料以外にもブロック間で母岩を共有するものがみられることから，同時期に形成されたブロック群であると推定できる。

共通点２：環状ブロックの中央部に明確な遺物空白地点がみられない。ただし，Ｂユニットは東側が調査区外にあたるため，環状ブロック全体を発掘によって捉えることができないが，調査区内の遺物分布状況から，中央部に明確な遺物空白地点がみられないと推定した。

共通点３：垂直分布は，Ｘ層上部～Ⅸc層下部に遺物が集中する。

相違点１：Ａユニットは南北12m，東西13mの円形をしており，Ｂユニットは南北20m，東西10m（推定20m）の円形をしている。規模は，Ｂユニットのほうが約２倍近くの大きさである。

以上のとおり，共通点が多くみられる。相違点１については，地形の要因が大きく係っているものと思われる。第３図のとおり，Ａユニットが台地の縁辺のやや狭い台地の平坦部に形成されたのに対して，Ｂユニットは台地のやや奥まった台地の平坦部が広い場所に形成されたものと推定できる。このように，基本的には両ユニットにおいて，同様の生活を営んだ結果，環状ブロックが形成されたものと推定される。

③第Ⅰａ文化層の石器群の位置づけについて

この石器群に類似するものとして，下総台地では四街道市御山遺跡第Ⅱ文化層が最も類似する。御山遺跡第Ⅱ文化層の石器群は，遺物分布においては，二つのブロックが検出されており，第２ブロックは東西径約22m，南北径約21mの環状ブロックを呈し，関畑遺跡第Ⅰａ文化層の環状ブロックと同様に，中心部に遺物空白部を持たない形状のものであった。器種組成では，台形様石器・楔形石器や錐状石器が主体を占め，石材組成においても，珪質頁岩を主体としていた。このように，遺物分布・器種組成・石材組成において共通点が多いことがいえよう。次に，近い内容の石器群は市原市草刈六之台遺跡第１文化層，成田市古込遺跡（空港№55遺跡）があげられる。小型の石器群で類似するものは，大林遺跡第Ⅶ文化層，ヲサル山遺跡第４文化層，向山谷津遺跡Ｘ層があげられる。

武蔵野台地では，武蔵台遺跡Ｘｂ文化層，西ノ台遺跡Ｂ地点Ｘ層，中山谷遺跡Ｘ上層，鈴木遺跡御幸第１地点第Ⅳ文化層の石器群が類似している。特に，武蔵台遺跡Ｘｂ文化層が剥片剥離技術や台形様石器の形態や遺物分布など共通点が多いことから，最も類似する石器群といえよう。相模野台地では，吉岡遺跡群Ｃ区B4中部の石器群が類似する。

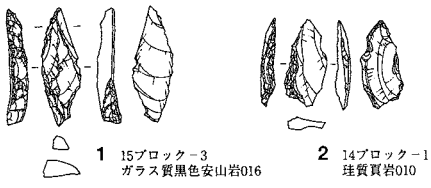
編年的には，下総台地田村・橋本編年Ⅱａ期古段階，武蔵野編年第Ⅰｂ期，相模野台地諏訪間編年段階Ⅱに位置づけられる。

（２）第Ⅰｂ文化層（第10・112・383図，第28表，巻頭図版２）

①石器群の概要

遺物分布状況は第112図のとおりである。第14～18ブロックの５ブロックで構成される。ブロック間の接

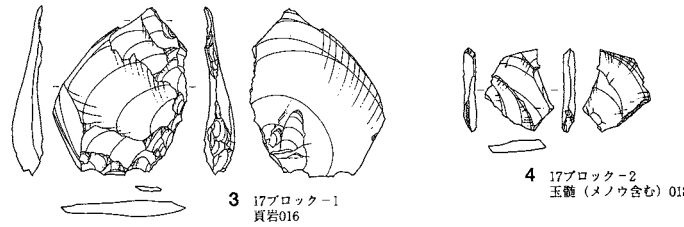
ナイフ形石器



1 15ブロック－3
ガラス質黒色安山岩016

2 14ブロック－1
珪質頁岩010

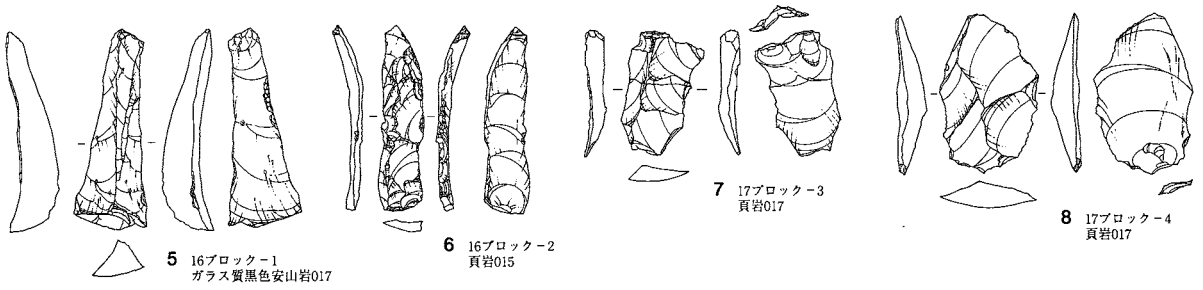
二次加工のある剥片



3 17ブロック－1
頁岩016

4 17ブロック－2
玉髄（メノウ含む）018

微細剥離痕のある剥片



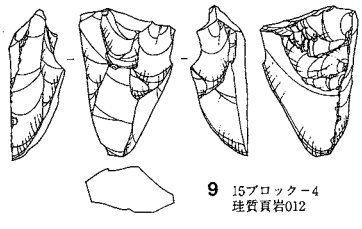
5 16ブロック－1
ガラス質黒色安山岩017

6 16ブロック－2
頁岩015

7 17ブロック－3
頁岩017

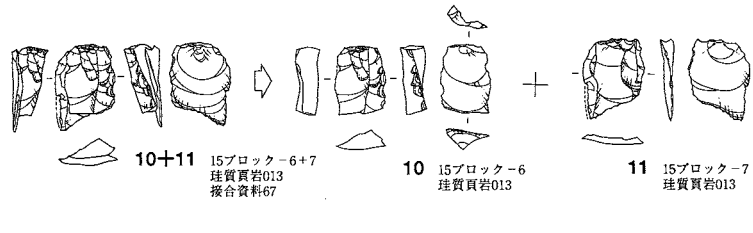
8 17ブロック－4
頁岩017

石核



9 15ブロック－4
珪質頁岩012

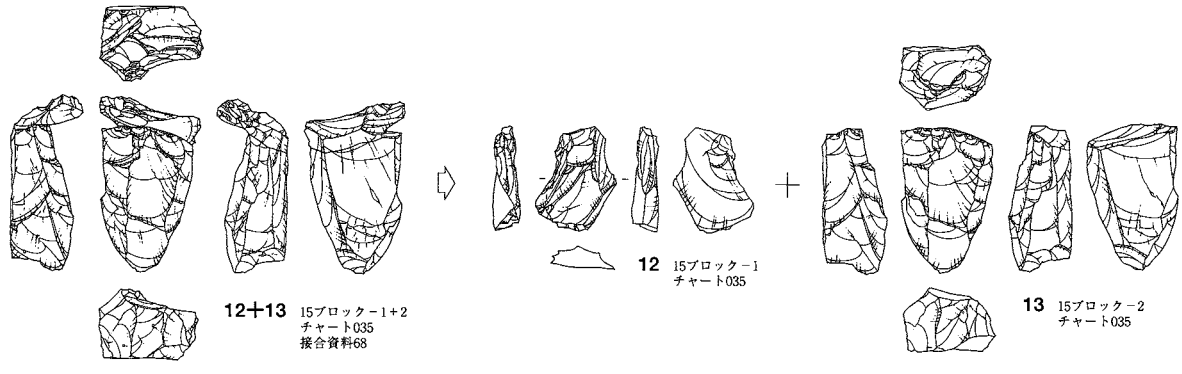
接合資料



10+11 15ブロック－6+7
珪質頁岩013
接合資料67

10 15ブロック－6
珪質頁岩013

11 15ブロック－7
珪質頁岩013



12+13 15ブロック－1+2
チャート035
接合資料68

12 15ブロック－1
チャート035

13 15ブロック－2
チャート035

0 (2/5) 5cm

第383図　第Ⅰb文化層 Cユニット器種組成

合資料はみられない。ブロック内の接合資料も少なく，第８ブロックにおいて接合資料が２資料あるのみである。推定生活面は，Ⅸc層上部～Ⅸa層下部である。石材器種組成は第28表のとおりである。主要器種は，ナイフ形石器・二次加工のある剥片である。主要石材は，流紋岩と玉髄（メノウを含む）で構成され，嶺岡産珪質頁岩は１点も出土していない。第Ⅰa文化層において，６割近くが嶺岡産珪質頁岩で構成されていたのに対して対照的である。

②器種組成

器種組成は第383図のとおりである。出土点数は，総計で96点出土している。製品としては，ナイフ形石器２点・二次加工のある剥片５点・局部磨製石斧１点・礫器１点出土しており，製品の種類は非常に少なく，製品の割合も低い。

ナイフ形石器は１・２である。１は石刃を素材として，一側縁にブランティング加工を施し，全体形状が柳葉形を呈する。２は横長剥片を素材として，一側縁にブランティング加工が施されている。第Ⅰa文化層出土のナイフ形石器とは，素材の用い方や調整加工の方法が大きく異なる。

二次加工のある剥片は３・４である。３は幅広の打面の剥片を素材として，一側縁に急角度の調整加工が施されている。

微細剥離痕のある剥片は５～８である。いずれも，石刃を連続的に剥離した痕跡や石刃石核の打面再生剥片（６）が用いられている。

石核・接合資料は９～13である。９は厚みのある剥片を素材として，貝殻状の小型の剥片が剥離された石核である。10＋11は頭部調整が顕著に行われた石刃が接合した資料である。12＋13は石刃石核であり，12は打面再生を行った剥片で，12の剥離後も13はさらに石刃が剥離されている。

③石器製作技術

石刃技法を基盤とした石器群である。特に，12＋13の接合資料は石刃石核の状態から，打面再生を行い，さらに石刃を剥離している接合資料であり，第Ⅰb文化層の石器製作技術を特徴付けるものである。また，６も打面再生剥片であり，頻繁に打面を再生したことがうかがわれる。１のナイフ形石器は石刃を素材としており，５～８の微細剥離痕のある剥片や10＋11の接合資料は，石刃である。出土点数からみても，かなりの割合で石刃が量産されたことがうかがえる。第Ⅰa文化層の石器製作技術とは大きく異なる。

④第Ⅰb文化層の石器群の位置づけについて

この石器群に類似するものとして，下総台地では，袖ケ浦市台山遺跡第Ⅰ文化層・八千代市北海道遺跡第３文化層が最も類似する。これらの石器群の共通する特徴は，以下の点があげられる。

ａ．複数のブロック群で構成されるが，ブロック間接合はみられない。いわゆる環状ブロックのような分布状況を示さない。

ｂ．石材構成においては，嶺岡産珪質頁岩をほとんどもちいておらず，良質の石材である頁岩・玉髄（メノウ含む）・チャート・ガラス質黒色安山岩・流紋岩を多く用いている。

ｃ．良質の石材を用いて，石刃技法によって，石刃を剥離している。石刃を生産した石刃石核が出土しており，打面再生も行われている。

ｄ．製品の割合は低いが，ナイフ形石器を主に製作している。ナイフ形石器は，石刃を素材として，主軸と主要剥離面方向が一致し，打面を基部に設置している。一側縁と片側縁の基部側にブランティング加工が施されている。

以上のように多くの共通する特徴があげられ，同一段階の石器群として位置づけられる。特に，台山遺跡第Ⅰ文化層は，地域的にも近いことから，石器群の内容が最も類似しており，推定生活面はⅨａ層に位置づけられた。関畑遺跡第Ⅰｂ文化層の推定生活面は，Ⅸｃ層上部～Ⅸａ層下部に位置づけられる。これらのことから，Ⅸｃ層上部～Ⅸａ層にかけての石器群において，以上あげたような石器群が出土すると位置づけることが可能であろう。そのほかに，成田市東方御幸畑西遺跡（空港№61遺跡）第１文化層エリア１石器群，市原市草刈六之台遺跡第３文化層，八千代市仲ノ台遺跡，柏市中山新田Ⅰ遺跡があげられる。

このほかの台地では，武蔵野台地では練馬区東早淵遺跡第３文化層，下里本邑遺跡，西ノ台遺跡Ｂ地点があげられる。

編年的には，下総台地田村・橋本編年Ⅱａ期中段階，武蔵野台地第Ⅰｂ期，相模野台地諏訪間編年段階Ⅱに位置づけられる。

2　第Ⅱ文化層の石器群（第10・124・125・141・384～387図，第34・39表，巻頭図版３）

第Ⅱ文化層は，第Ⅱａ文化層と第Ⅱｂ文化層に細分される。第116図のとおりに，第Ⅱａ文化層は調査区南側の南側傾斜面に分布し，第Ⅱｂ文化層は調査区中央部の南側の平坦面に分布する。両文化層間の接合資料はみられない。ただし，推定生活面は，いずれもⅨａ層である。第Ⅱａ文化層と第Ⅱｂ文化層の先後関係については不明である。

（１）第Ⅱａ文化層（第10・124・125・384・385図，第34表，巻頭図版３）

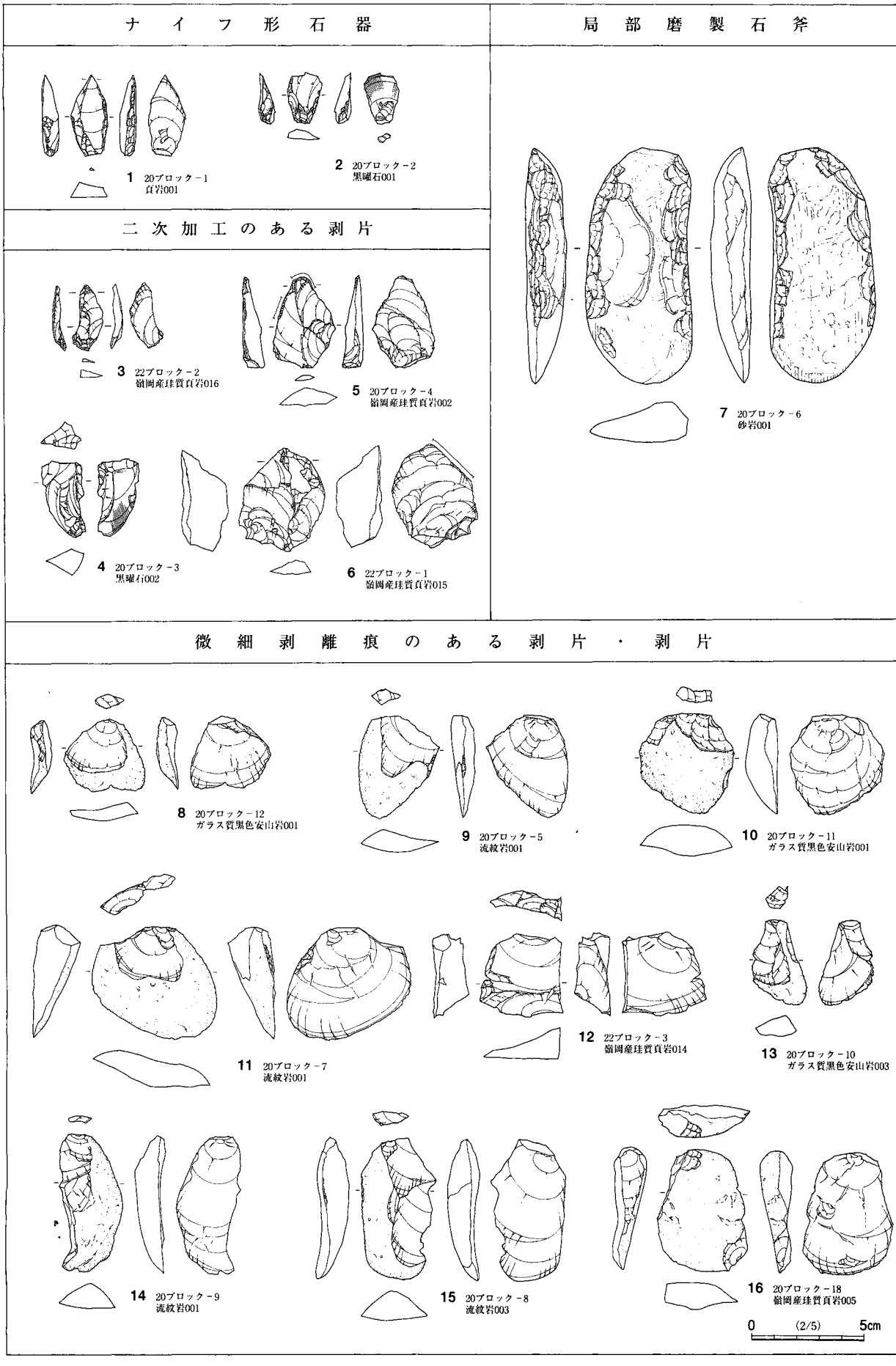
①石器群の概要

遺物分布状況は第125図のとおりである。第19～22ブロックの４ブロックで構成される。これらの４ブロックは，北東側の第19～21ブロックと南西側の第22ブロックの２群に大きく分かれる。第19～21ブロックの一群の中心に位置する第20ブロック内では接合が頻繁にみられるが，隣接する第19・21ブロックとはブロック間の接合がみられないが，第19・21ブロックの出土点数が少ないことから接合がみられない可能性もある。第19～21ブロックは，平面分布が近接することと出土層位の集中する層位がⅨａ層であることから，同一時期に形成された石器群であると推定される。第22ブロックは，第19～21ブロックと約20ｍ離れて出土しており，出土点数も少ないことから同一時期に形成かどうか不明である。主要石材は，嶺岡産珪質頁岩・ガラス質黒色安山岩である。

②器種組成

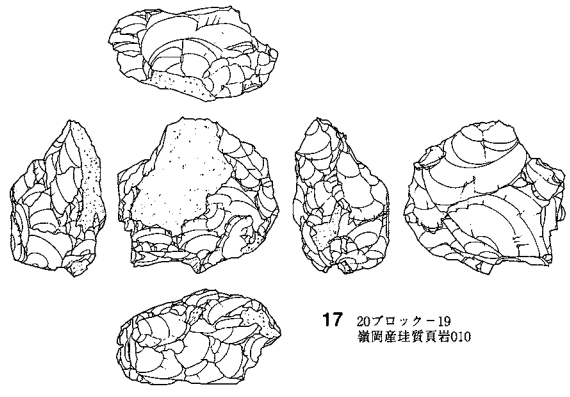
器種組成は第384･385図のとおりである。出土点数は総計で118点出土している。器種石材組成は第34表のとおりである。主要器種は，ナイフ形石器・二次加工のある剥片・局部磨製石斧・礫器である。

ナイフ形石器は１・２である。単独母岩で製品として持ち込まれている。いずれも第20ブロック出土である。石刃，あるいは，縦長剥片を素材として，打面側を基部に設置して，基部加工が入念に行われている。打面は残存している。二次加工のある剥片は３～６である。三角形状の剥片を素材として，先端部に調整加工が施されている。局部磨製石斧は７である。完形品であり，第Ⅱａ文化層において，1点のみの出土である。すべての文化層をにおいても，完形品の局部磨製石斧はこの１点のみの出土である。器体のほぼ全面に研磨が行われている。素材は，おそらく，背面に自然面を大きく残し，分割した分厚い縦長剥片を素材としているものと思われる。微細剥離痕のある剥片は８～16である。８～13は三角形・台形の形状をした剥片を素材としており，14～16は縦長状の剥片を素材としている。石核は17・18である。分割礫を

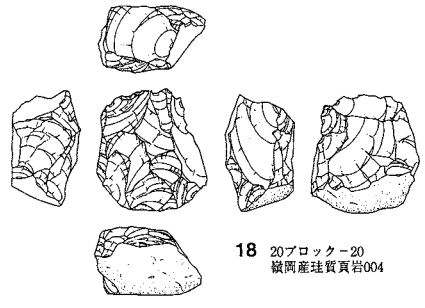


第384図　第Ⅱa文化層器種組成（1）

石　　核



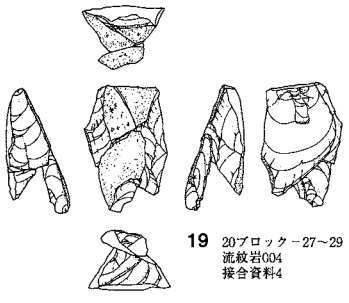
17　20ブロック－19
嶺岡産珪質頁岩010



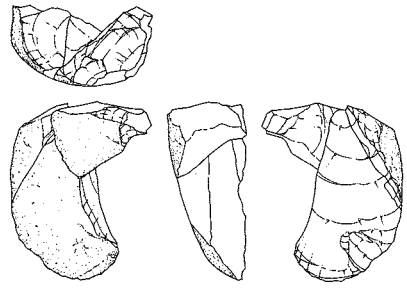
18　20ブロック－20
嶺岡産珪質頁岩004

0　(2/5)　5cm

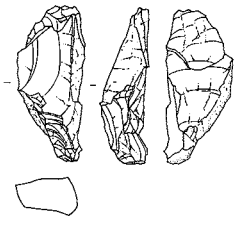
接　合　資　料



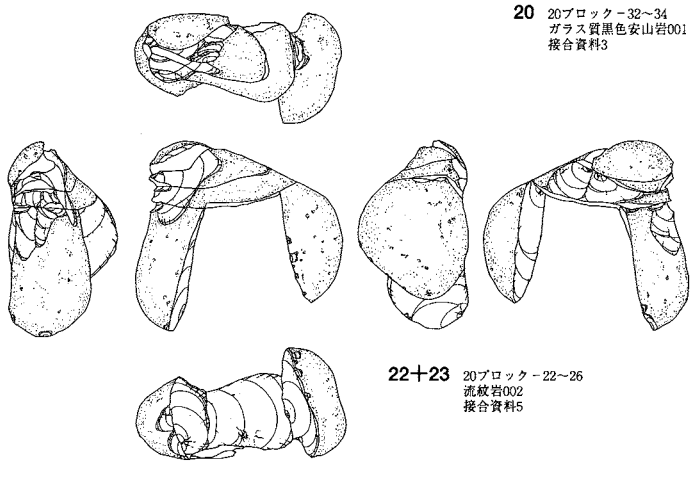
19　20ブロック－27～29
流紋岩004
接合資料4



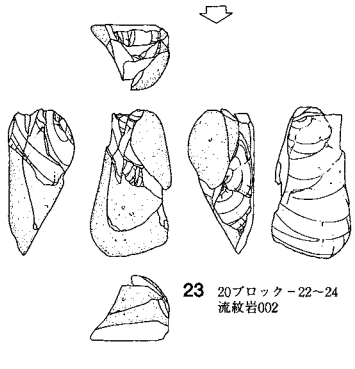
20　20ブロック－32～34
ガラス質黒色安山岩001
接合資料3



21　20ブロック－30＋31
嶺岡産珪質頁岩006
接合資料2

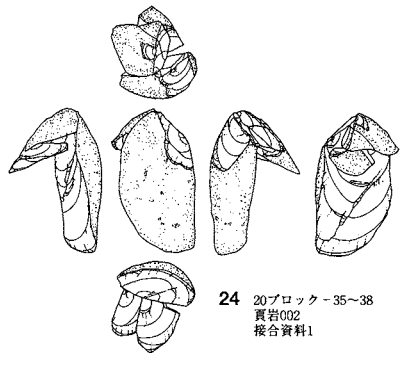


22＋23　20ブロック－22～26
流紋岩002
接合資料5



23　20ブロック－22～24
流紋岩002

0　(2/5)　5cm



24　20ブロック－35～38
頁岩002
接合資料1

0　(1/3)　5cm

第385図　第Ⅱa文化層器種組成（2）

素材として，90度の打面転移を頻繁に行い，サイコロ状の形態を呈する。接合資料は19～24である。21以外は自然面を大きく残している。いずれも，円礫を剥離して，剥離面を打面として設置して，縦長の剥片を剥離している。22＋23と24の資料にその特徴があらわれている。

③石器製作技術

剥片生産技術は，大きく分けて三つに分類される。

剥片生産技術Ⅰ類：石刃と分類することも可能である縦長剥片を連続的に剥離するもの。搬入品である1・2のナイフ形石器の素材として用いられており，石材も良質な石材である頁岩と黒曜石が用いられている。

剥片生産技術Ⅱ類：円礫・分割礫を素材として，90度の打面転移を頻繁に行いながら，三角形・台形の形状の剥片を剥離するもの。粗悪な石材である嶺岡産珪質頁岩を主に用いている。本文化層の主体を占める。典型例は，3～16の二次加工のある剥片や微細剥離痕のある剥片・剥片と17・18の石核があげられる。

剥片生産技術Ⅲ類：円礫を素材として，円礫の一部を剥離し，剥離面を打面として設定して，縦長の剥片を剥離するもの。典型例は，19・20・22～24があげられる。

二次加工や調整加工は，大きく分けて二つに分類される。一つ目は，剥片生産技術Ⅰ類から剥離された石刃状の剥片を素材として，基部を入念にブランティング加工するもの。二つ目は，剥片生産技術Ⅱ類・Ⅲ類から剥離された三角形・台形・縦長剥片を素材として，先端部が尖るような調整加工を施すもの。典型例は，3・4・6があげられる。

④第Ⅱa文化層の石器群の位置づけについて

この石器群と類似するものとして，下総台地では，八千代市権現後遺跡第6文化層第10・11ブロックが最も類似する。関畑遺跡の第384図7と素材と調整加工・研磨痕が類似する局部磨製石斧や黒曜石製の基部加工のナイフ形石器も出土している。そのほかに，市原市草刈六之台遺跡第3文化層，千葉市荒久遺跡下層石器群第3ブロックがあげられる。他の台地においては，武蔵野台地では，三鷹市羽根沢台遺跡Ⅱ第Ⅶ文化層や練馬区天祖神社東遺跡，相模野台地では，B4上部出土の綾瀬市吉岡遺跡群A区B4上部や藤沢市根下遺跡第Ⅳ文化層があげられる。

編年的には，下総台地田村・橋本編年Ⅱa期中段階，武蔵野編年第Ⅰb期，相模野台地諏訪間編年段階Ⅱに位置づけられる。

（2）第Ⅱb文化層（第10・124・141・386・387図，第39表，巻頭図版3）

①石器群の概要

遺物分布状況は，第141図のとおりである。第23～26ブロックの4ブロックで構成される。ブロック間接合はみられない。推定生活面がいずれもⅨa層であり，平面分布も近接していることから，同一文化層として捉えた。このうち，第25ブロックは約12m×12mの円形の遺物分布を呈しており，遺物分布の状況から，3箇所の集中地点がみられる。総計116点出土している。また，集中地点間の接合もあることから，環状ブロックとして捉えることも可能である。ただし，集中地点の中心部に明確な遺物空白地点がみられない。Ⅸc層で通常検出される環状ブロックとは，遺物分布状況が異なる。他のブロックは出土点数も少なく環状ブロックを呈するような分布状況ではない。主要石材は，頁岩・ホルンフェルスである。

②器種組成

器種組成は第386･387図のとおりである。出土点数は総計で154点出土している。石材器種組成は第39表のとおりである。製品としては，ナイフ形石器２点，敲石１点出土しており，製品の種類は非常に少なく，製品の割合もきわめて少ない。

ナイフ形石器は１・２である。２点出土しているが，素材の用い方や調整加工の方法がやや異なる。１は幅広の小型の剥片を素材として，細かい調整加工が階段状に施されている。２は厚みのある横長剥片を素材として，やや粗い調整加工によって成形されている。２点とも調整加工がブランティング加工といえるような調整加工が行われていない。ナイフ形石器として分類したが，台形様石器や二次加工のある剥片として分類することも可能である。

二次加工のある剥片は３～７である。いずれも，大きさや形状の異なる不定形の剥片を素材としている。共通する特徴としては，折断によって成形した後に，調整加工が行われていることがあげられる。

微細剥離痕のある剥片・剥片は８～20である。10～12・15～20は縦長剥片を素材としている。なかには，10～12・15は石刃と識別できるものが出土している。これらは比較的良質の石材が用られている。

敲石は21の１点のみ出土している。扁平で円形の礫の外周部に敲打痕がみられる特徴的な形態である。

剥片接合資料は，22～24である。厚みのない幅広の台形状の剥片が接合している。

石核接合資料は25～30である。25・26は分割礫を素材として，分割面を打面として固定して，縦長剥片を連続的に剥離している。26はこのような剥離方法の典型例である。27は90度の打面転移を頻繁に行い，縦長剥片を剥離している。残核の形状がサイコロ状を呈する。28は幅広の厚みのある剥片を素材として，腹面側から幅広の剥片を剥離している。29は小型の分割礫を素材として，90度の打面転移を頻繁に行っている。30はおそらく円礫を素材として，90度の打面転移を頻繁に繰り返している。下面部には自然面が大きく残されている。

③石器製作技術

剥片生産技術は大きく分けて，次の二類に分類される。

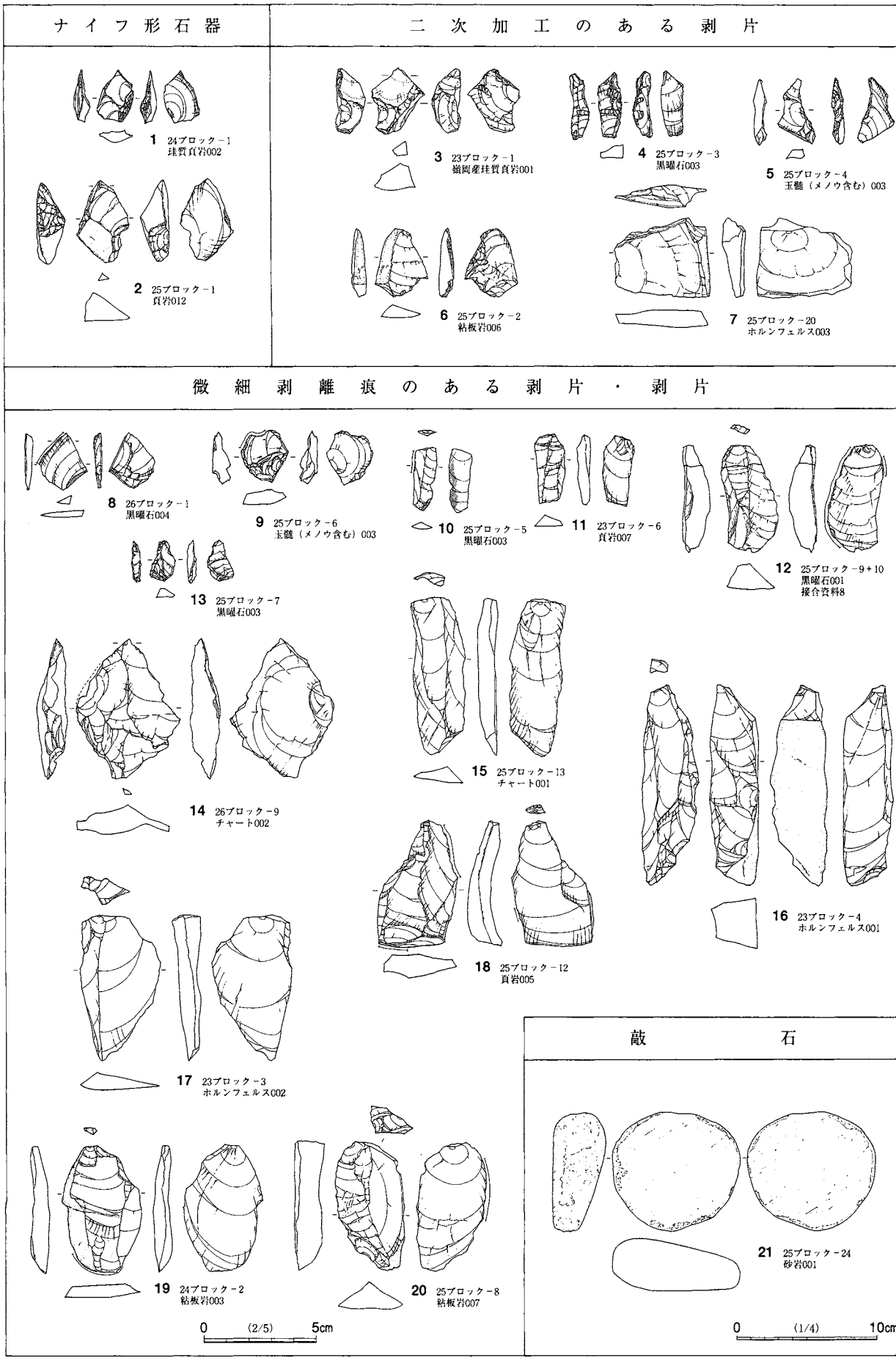
剥片生産技術Ⅰ類：分割礫を素材として，分割面を打面として固定して，縦長剥片を連続的に剥離するもの（10～12・15～20・25・26)。典型例は26があげられる。

剥片生産技術Ⅱ類：分割礫を素材として，打面転移を頻繁に行って，残核の形状がサイコロ状を呈するもの（７・14・27・29・30)。典型例は，27・30があげられる。

④第Ⅱb文化層の石器群の位置づけについて

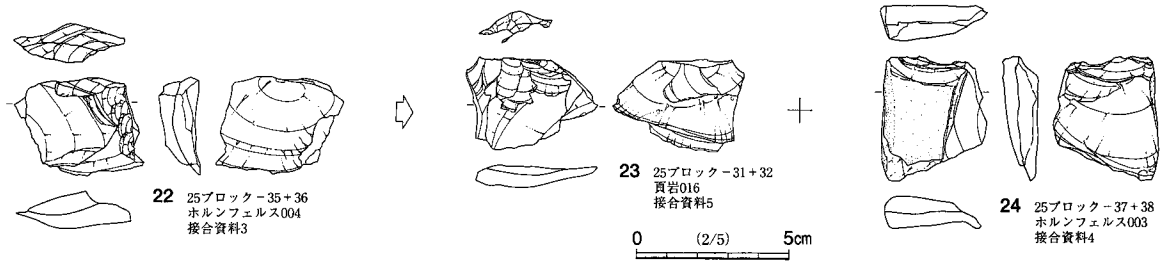
この石器群と類似するものとして，下総台地では，佐倉市大林遺跡第Ⅳ文化層第18地点第41ブロックが最も類似する石器群である。関畑遺跡の第25ブロック同様に環状に遺物分布がひろがる。三角形の素材剥片を素材として，折断を多用して先端部をさらに尖らす調整加工が多くみられる点で共通点がある。そのほかに，白井市復山谷遺跡EⅨ1～EⅨ6ブロックがあげられる。他の台地においては，武蔵野台地では，板橋区根ノ上遺跡第Ⅸ層上部文化層，板橋区成増との山遺跡第４文化層，東久留米市多門寺前遺跡第Ⅸ層文化層，相模野台地では綾瀬市吉岡遺跡群Ｃ区B4中部があげられる。

編年的には，下総台地田村・橋本編年Ⅱa期中段階，武蔵野編年第Ⅰb期，相模野台地諏訪間編年段階Ⅱに位置づけられる。

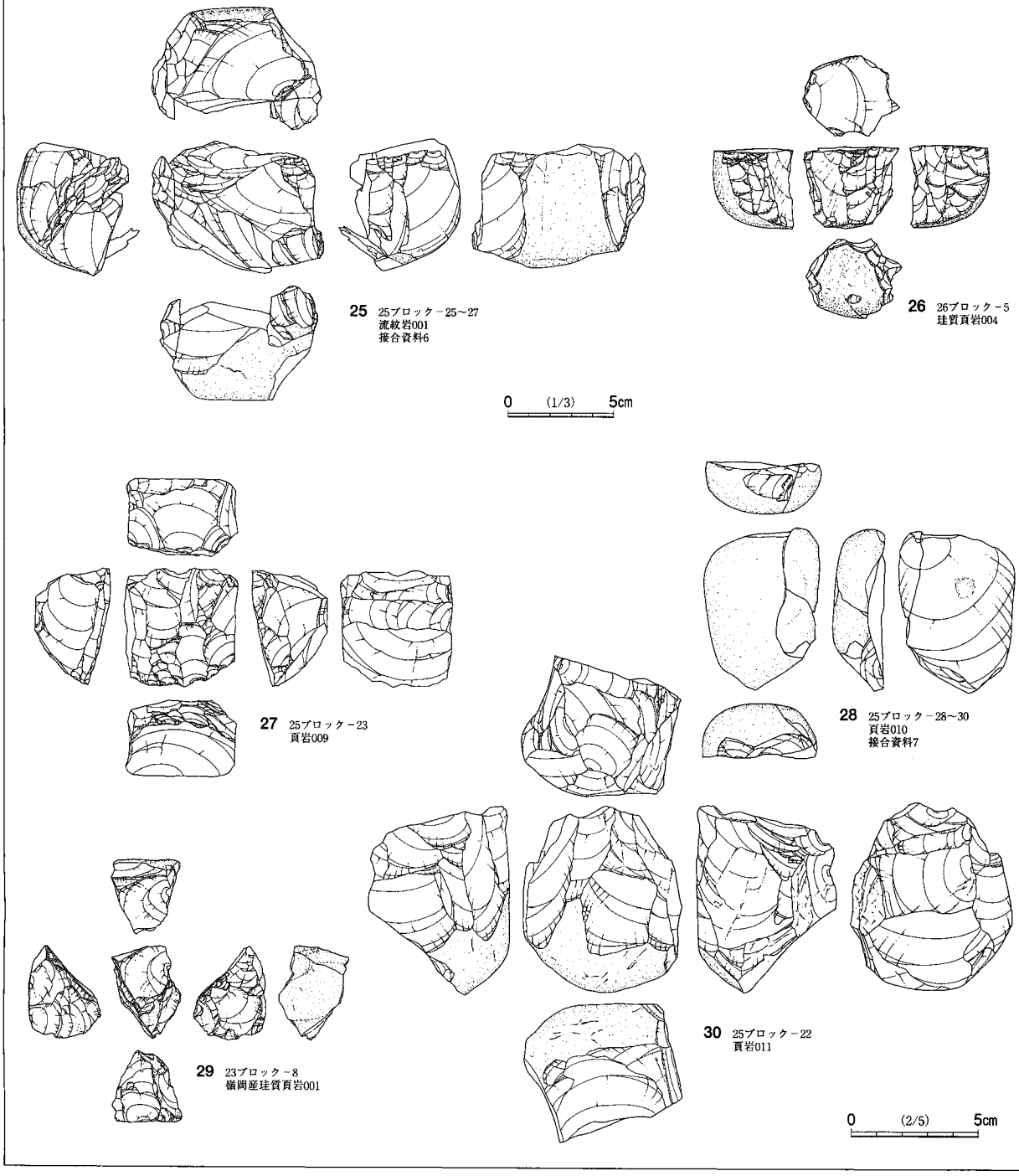


第386図　第Ⅱb文化層器種組成（1）

剥　片　接　合　資　料



石　核　・　接　合　資　料



第387図　第Ⅱb文化層器種組成（2）

3　第Ⅲ文化層の石器群（第10・162図，第44表）

①石器群の概要

第27ブロックの１ブロックのみで構成される。調査区北側の台地の平坦面に立地する。推定生活面は，Ⅸa層である。石材は，流紋岩・チャートで構成される。

②器種組成

出土点数は６点である。器種は，砕片と礫のみの出土であるた。そのため，石器群の内容や石器製作技術が明確でなく，石器群の位置づけも不明である。

4　第Ⅳ文化層の石器群（第10・163・164・196・388～392図，第46・54表，巻頭図版３）

第Ⅳ文化層は，第Ⅳa文化層と第Ⅳb文化層に細分される。第163図でみられるように，調査区北側に第Ⅳa文化層が分布し，調査区南側に第Ⅳb文化層が分布する。両文化層間の接合資料はみられない。ただし，推定生活面は，いずれもⅦ層である。平面分布において，調査区の北側と南側でかなり離れていることから，両文化層の先後関係は明確ではない。

（１）**第Ⅳa文化層**（第10・163・164・388～391図，第46表，巻頭図版３）

①石器群の概要

出土点数は，総計で414点出土している。平面分布は，第164図のとおりである。第28～34ブロックの７ブロックで構成される。平面的には，礫群を主体とする第Ⅶ文化層と重複するが（第10図），出土層位が，第Ⅶ文化層がⅢ層から出土していり，第Ⅳa文化層がⅦ層から出土しており，明確に下位に分布することから，第Ⅶ文化層と分離することができた。ブロック間の接合関係がみられることから，同一時期に形成されたと推定できる。石材は，嶺岡産珪質頁岩が324点出土しており，78.26%もの高い割合を示すことが特徴である。次に，チャート・頁岩が用いられている。石材構成が類似する文化層は，第Ⅰa文化層Ａユニット・第Ⅴc文化層があげられる。

②器種組成

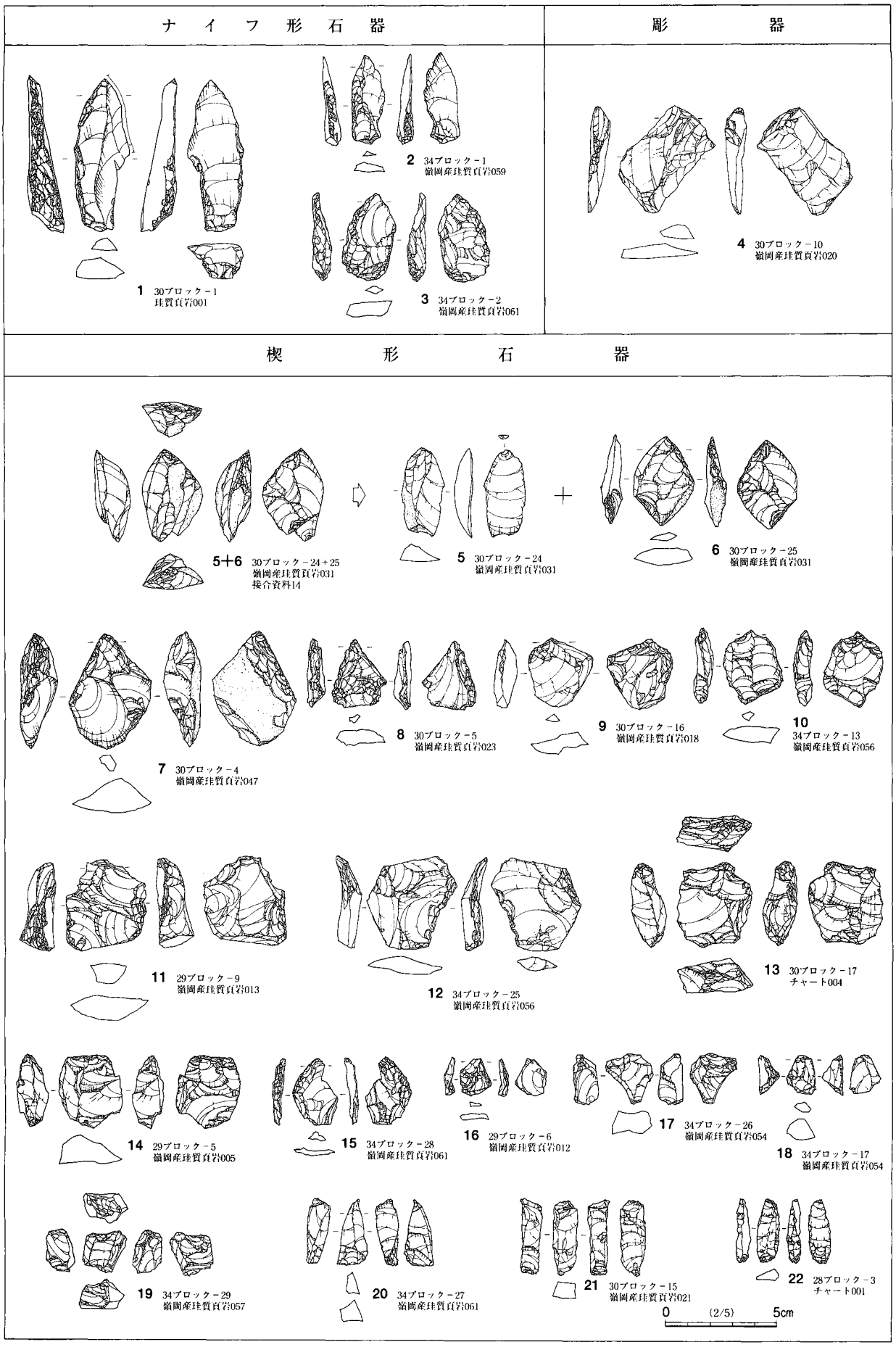
器種組成は第388～391図のとおりである。器種石材組成は第46表のとおりである。主要器種は，ナイフ形石器・彫器・削器・楔形石器・敲石・台石で構成されている，他の文化層に比べて多種で構成されているという特徴がある。

ナイフ形石器は１～３である。第30ブロックと第34ブロックから出土している。形態的には，１・２が石刃を素材として，主軸と主要剥離面方向が一致し，打面を基部に設定している。左側縁と右側縁下部にブランティング加工が施され，基部加工が入念に施されている。３は縦長剥片を素材として，左側縁と右側縁下部にやや粗い調整加工が施されている。

彫器は４のみの出土である。左側縁上部を折断した後に，打面部の小口から樋状剥離が施されている。

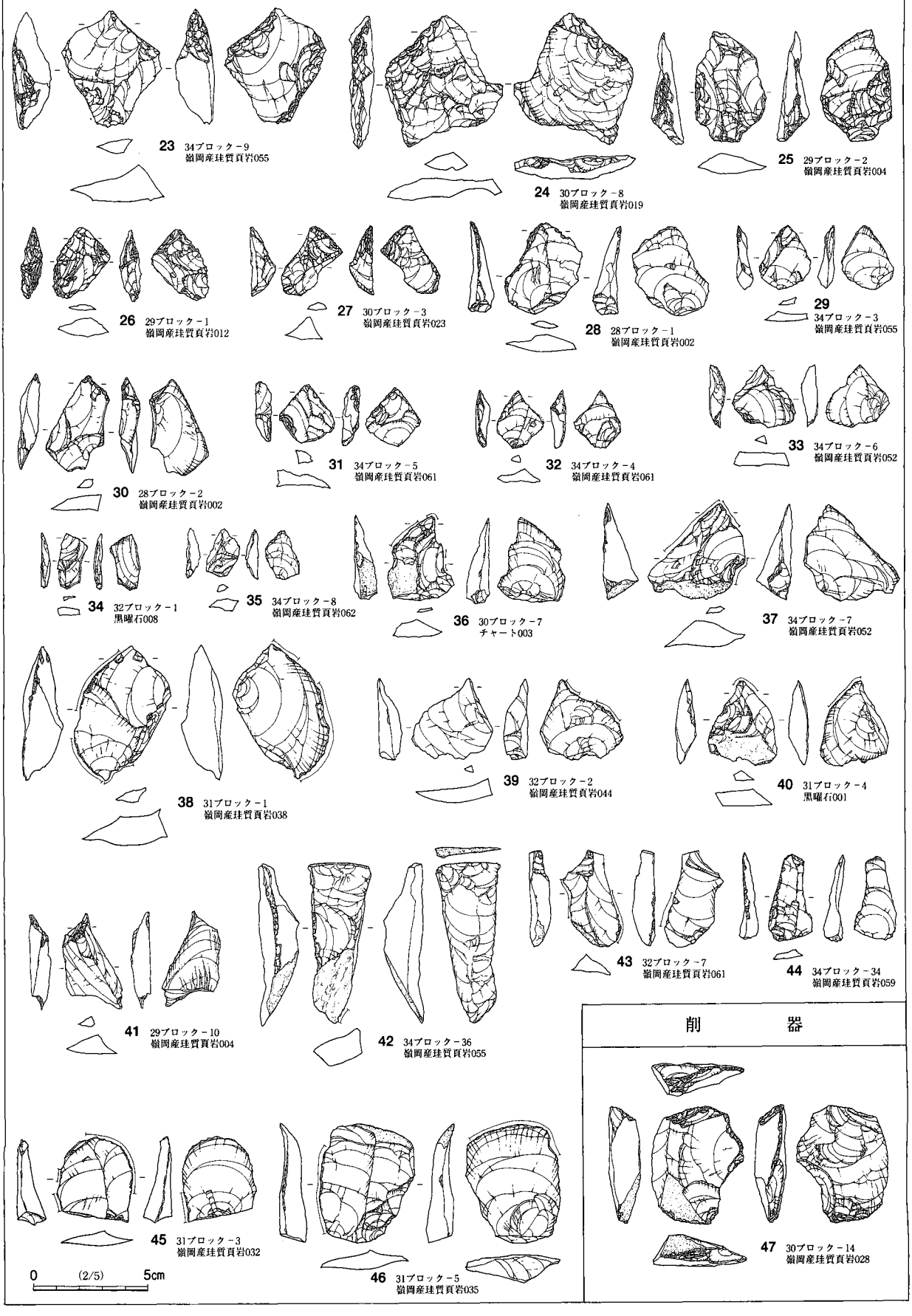
楔形石器は５～22である。５～10は，全体形状が三角形状を呈し，両極剥離によって先端部を尖らせるような調整加工が施されている。特に，５＋６の接合資料は製作技術を示す良好な資料である。11から19は，四角形状の剥片を素材として，両極剥離が施されている。20～22は角柱状の形態を呈しており，かなり，両極剥離が行われている。

二次加工のある剥片・微細剥離痕のある剥片は23～46である。23～40は，全体形状が三角形状を呈し，三角形の先端部をさらに尖らせるような調整加工が施されるものや先端部にかけて微細剥離痕が連続的に

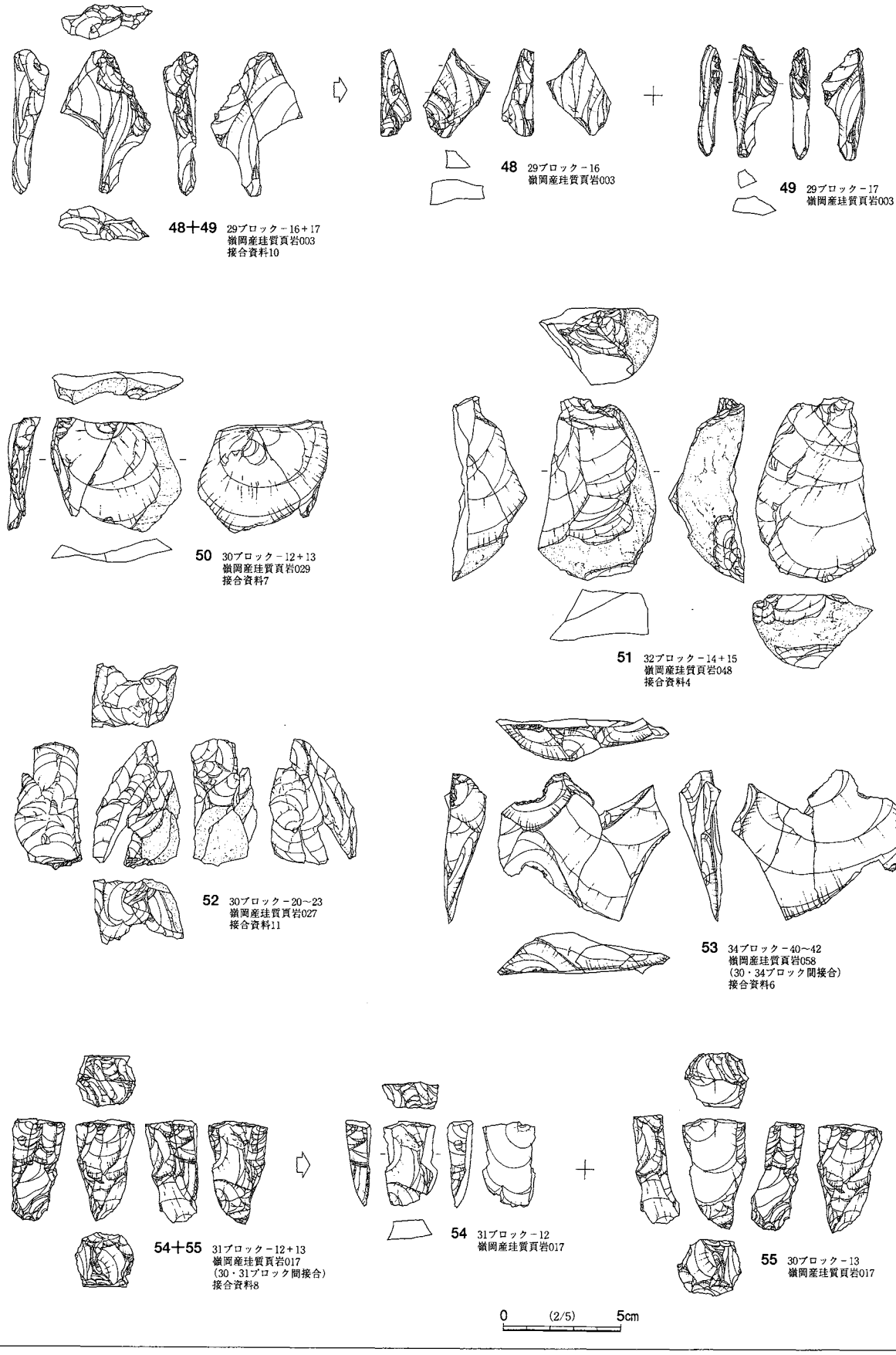


第388図　第Ⅳa文化層器種組成（1）

二次加工のある剥片・微細剥離痕のある剥片

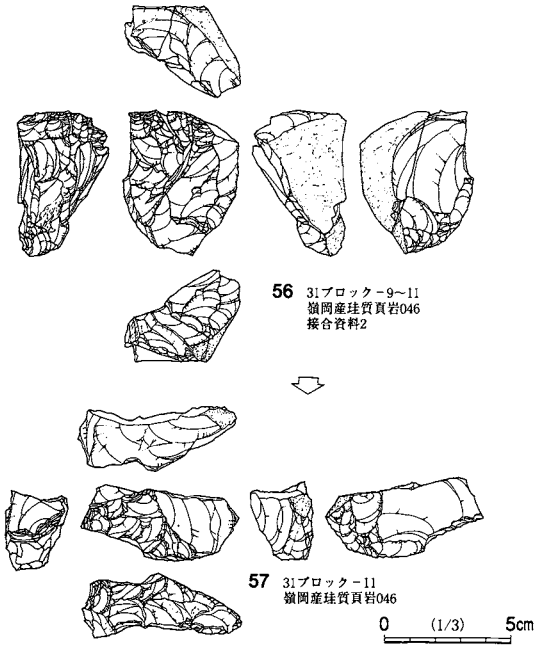


第389図　第Ⅳa文化層器種組成（2）



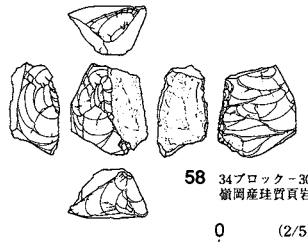
第390図　第Ⅳa文化層器種組成（3）

石　核　・　接　合　資　料

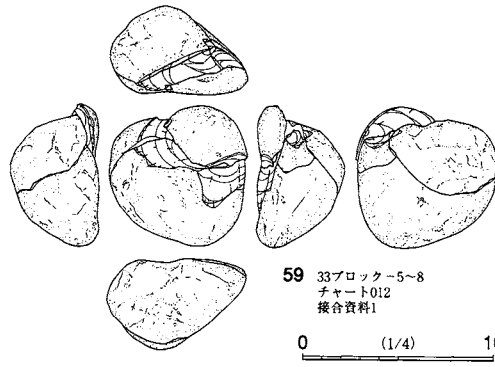


56 31ブロック－9～11
嶺岡産珪質頁岩046
接合資料2

57 31ブロック－11
嶺岡産珪質頁岩046
0 (1/3) 5cm

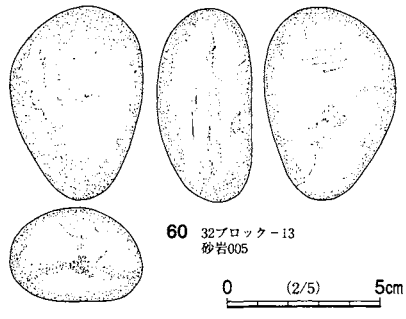


58 34ブロック－30
嶺岡産珪質頁岩051
0 (2/5) 5cm

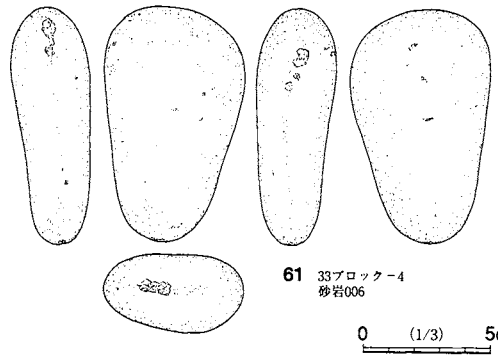


59 33ブロック－5～8
チャート012
接合資料1
0 (1/4) 10cm

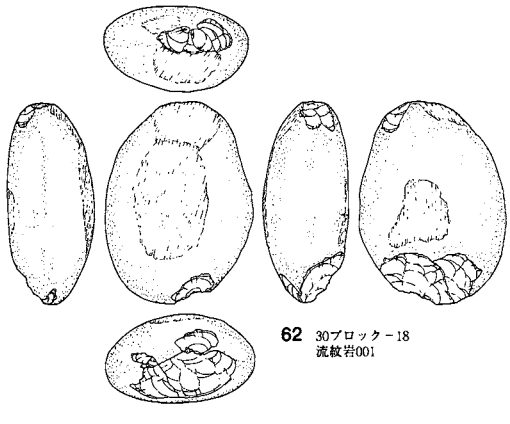
敲　石



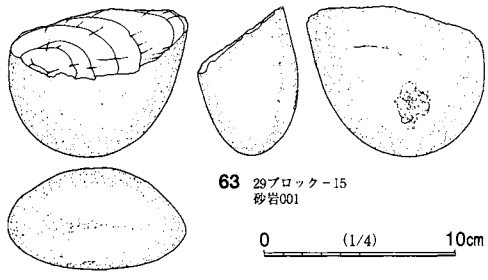
60 32ブロック－13
砂岩005
0 (2/5) 5cm



61 33ブロック－4
砂岩006
0 (1/3) 5cm

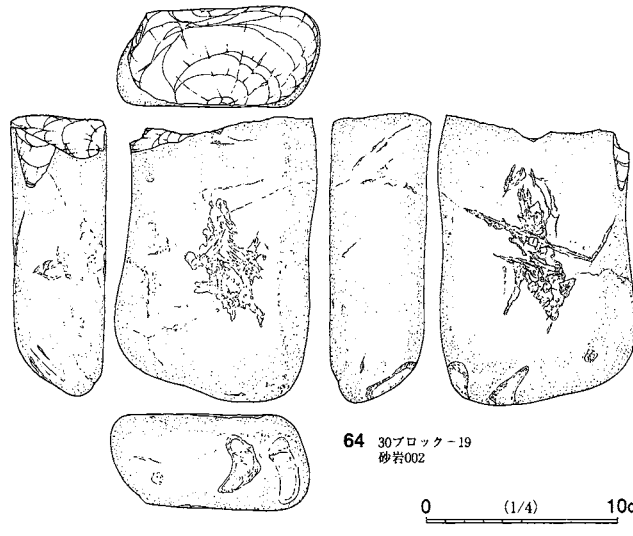


62 30ブロック－18
流紋岩001



63 29ブロック－15
砂岩001
0 (1/4) 10cm

台　石



64 30ブロック－19
砂岩002
0 (1/4) 10cm

第391図　第Ⅳa文化層器種組成（4）

みられるものがある。41～44は縦長剥片を素材として，鋭角な素材の縁辺に二次加工や微細剥離痕がみられる。45・46は幅広の剥片を素材として，剥片の末端部に連続的に微細剥離痕がみられる。

削器は47である。右側縁に急角度の調整加工が連続的に施されている。

接合資料・石核は48～59である。48＋49は幅広の剥片を素材として，少なくとも三分割して，分割面に調整加工が施されている。53の接合資料も同様の製作方法が用いられている。50～52は石材が粗悪な嶺岡産珪質頁岩を用いているために，同時に割れた資料である可能性が高い。54＋55は打面を上面に固定して，縦長剥片（石刃と識別することも可能）を連続的に剥離した接合資料である。56は円礫の自然面を大きく剥離した後に，分割して，57を作出して小型の剥片を剥離した接合資料である。58は分割剥片を素材として不定形の剥片を剥離した石核である。59は円礫を素材として，円礫面を打面として，背面に大きく自然面を残す不定形の剥片を剥離した接合資料である。

敲石は60～63である。60・61は下端部が突出する楕円形礫を用いて，突出部に敲打痕がみられる。62は楕円形礫を素材として，上下両端に強い敲打痕がみられ，平坦面の中央部に研磨痕がみられる。63は楕円形礫を素材として，下端部に敲打痕がみられ，器体の中央部が大きく分割されている。

64は台石である。非常に大型の扁平な円礫を用いており，表裏両面の平坦面に線状の敲打痕が顕著にみられる。下端部の突出した箇所が研磨されている。

③石器製作技術

第Ⅳa文化層の石器製作技術の最大の特徴は，5～22の楔形石器をはじめとして，両極剥離が多用されており，64のような台石を用いて，両極剥離を頻繁に行ったことが特徴としてあげられる。

また，23～40のような三角形状の剥片を素材として，三角形の先端部をさらに尖らせるような調整加工が施されるものが多くみられる。

出土点数が少ないものの，4の彫器や47の削器が製作されていることは，他の文化層において，ほとんど製作されておらず，注目される。

接合資料においては，48＋49や53は幅広の薄い剥片を分割して，分割面に調整加工が施されている。

④第Ⅳa文化層の石器群の位置づけについて

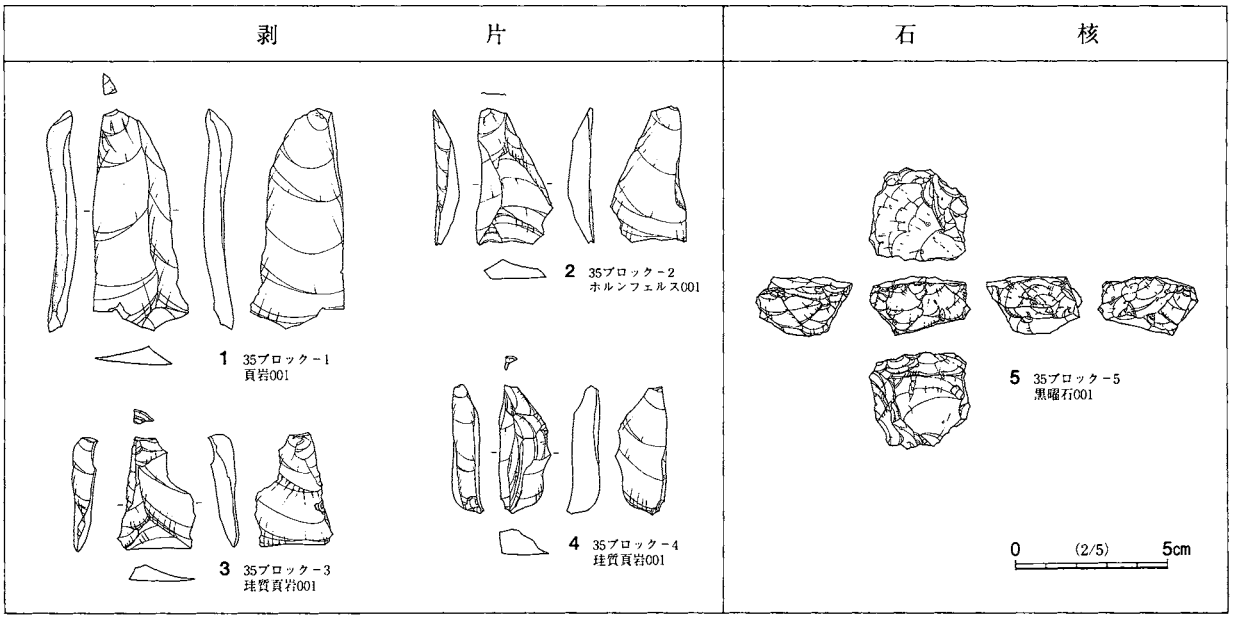
この石器群と類似するものとして，下総台地では，八千代市権現後遺跡第6文化層第24・25ブロックにおいて，ナイフ形石器の形態的に類似しており，石刃石核なども出土しており，最も類似する。その他に，楔形石器が多量に作出されている点で，佐倉市芋窪遺跡，横芝町遠山天ノ作遺跡が類似している。他の台地においては，武蔵野台地では，三鷹市羽根沢台遺跡第Ⅶ文化層，相模野台地では綾瀬市吉岡遺跡群Ｃ区B3下部層，大和市上和田城山遺跡第4次第Ⅲ文化層があげられる。

編年的には，下総台地田村・橋本編年Ⅱa期新段階，武蔵野編年第Ⅰc期，相模野台地諏訪間編年段階Ⅲに位置づけられる。

（2）第Ⅳb文化層（第10・163・196・392図，第54表）

①石器群の概要

第35ブロックの1ブロックのみである。調査区南側の南斜面に分布する。推定生活面はⅦ層である。主要石材は，珪質頁岩である。



第392図　第Ⅳb文化層器種組成

②器種組成

器種組成は第392図のとおりである。出土点数は9点である。主要器種は，石核･剥片で製品は出土していない。剥片は1～4である。打面が小さく石刃と捉えることも可能な縦長剥片である。2～4は一側縁が急角度に折断されている。石核は5である。厚みのある剥片を素材として，小型の貝殻状の剥片を剥離している。

③石器製作技術

良質の石材を用いた1～4は石刃技法によって剥離された可能性が高い資料である。特に,1は石刃として識別することが十分可能な資料であり，4は削片として捉えることも可能な資料であり，資料が少なくて断片的資料ながら，「下総型石刃再生技法」による石器群の可能性がある。

④第Ⅳb文化層の石器群の位置づけについて

出土点数が少ないので明確に位置づけることが困難ではあるが，下総台地では，多古町千田台遺跡が類似する。他の台地においては類似する石器群としては，武蔵野台地では板橋区菅原神社台地上遺跡第Ⅶ・Ⅵ層文化，相模野台地では相模野No154遺跡B3上面，綾瀬市地蔵坂遺跡B3上面があげられる。

編年的には，総台地田村・橋本編年Ⅱa期新段階，武蔵野編年第Ⅰc期，相模野台地諏訪間編年段階Ⅲに位置づけられる。

5　第Ⅴ文化層の石器群（第10・199・393～401図）

第Ⅴ文化層は，第Ⅴa文化層・第Ⅴb文化層・第Ⅴc文化層・第Ⅴd文化層・第Ⅴe文化層の5文化層に細分される。第199図のとおり，調査区全体に第Ⅴ文化層の石器群が広がっている。このうち，第Ⅴc文化層の石器群は，ブロック間の接合がみられ，石器群の内容が最も充実している。これ以外の文化層は，ブロック間接合がみられない。推定生活面は，それぞれの文化層で多少層位差があるものの，Ⅴ層である。

（1）**第Va文化層**（第10・199・200・393図，第56表）

①石器群の概要

第200図のとおり，第36ブロックの1ブロックのみである。調査区北側の台地の平坦部にかかる地点に分布する。推定生活面はV層である。出土点数は，14点である。主要石材は頁岩である。

②器種組成

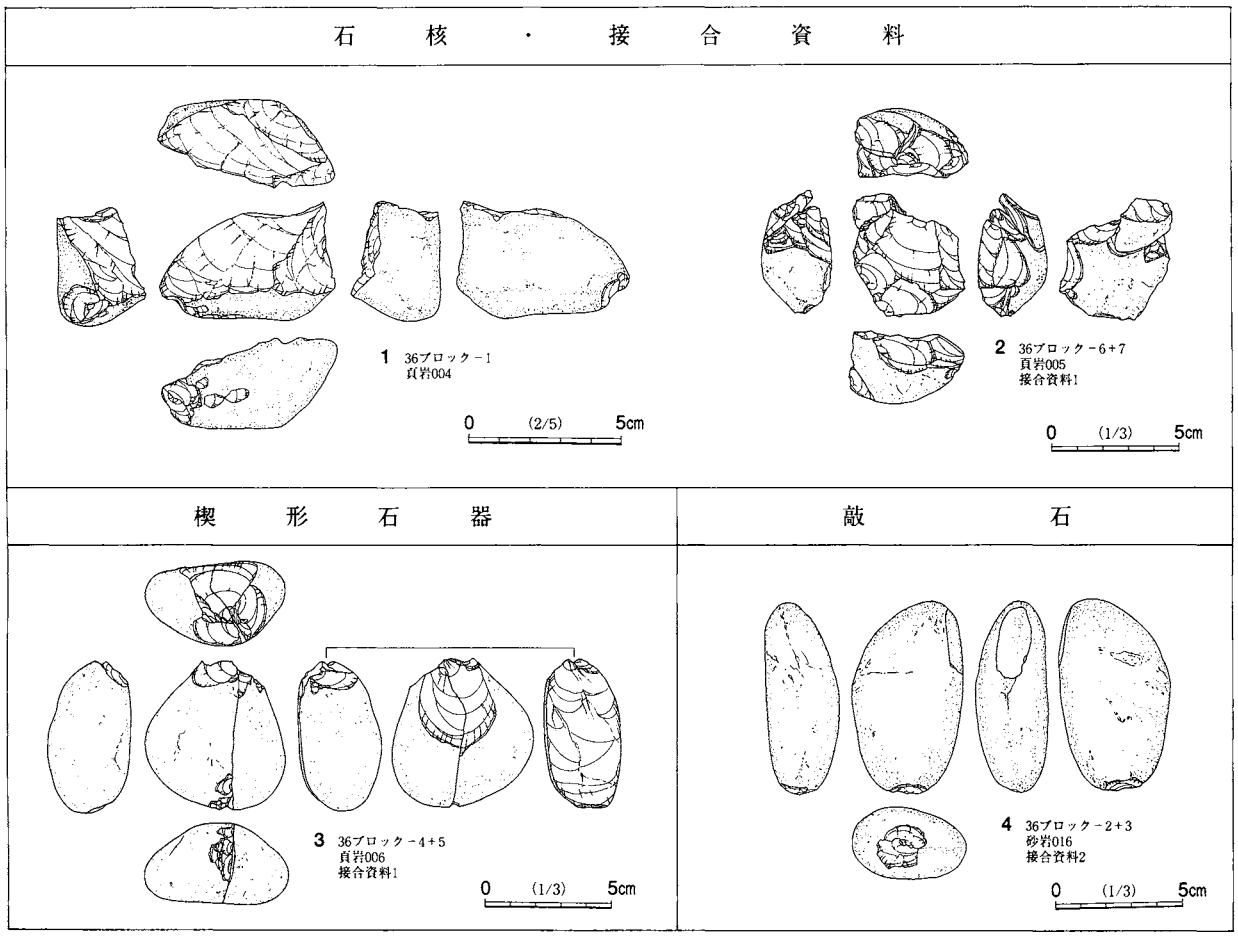
器種組成は第393図のとおりである。器種組成は，製品がほとんどみられず，楔形石器2点，敲石2点出土している。石核は1である。分割剥片を素材としている。石核と剥片の接合資料は2である。分割礫を素材として，打面を頻繁に転移しながら横長剥片を剥離している。楔形石器は3である。扁平な円礫を素材として，上下両端から頻繁に両極剥離を繰り返して，中間部から二分割されている。敲石は4である。楕円形礫を素材として，下端部に顕著な敲打痕がみられ，上端部から敲打により小型の剥片が剥離されている。

③石器製作技術

出土点数が少ないので，石器群の内容が明確ではない。断片的資料ながら，1・2の資料のように，分割礫を素材として横長の剥片を剥離する剥片生産技術を主体とすることがうかがえる。また，3のように両極剥離も行われているようである。

④第Va文化層の石器群の位置づけについて

製品がなく，石器群の内容が明確でないことから，位置づけは困難であるが，他の第V文化層の石器群



第393図　第Va文化層器種組成

と出土層位と石器群の内容が類似していることから，編年的には，下総台地田村・橋本編年Ⅱb期，相模野台地諏訪間編年段階Ⅳ，亀田角錐状石器編年Ⅰ期，伊藤編年Ⅴ上亜段階に位置づけられる。

（2）**第Ⅴb文化層**（第10・199・204・394図，第58表）

①石器群の概要

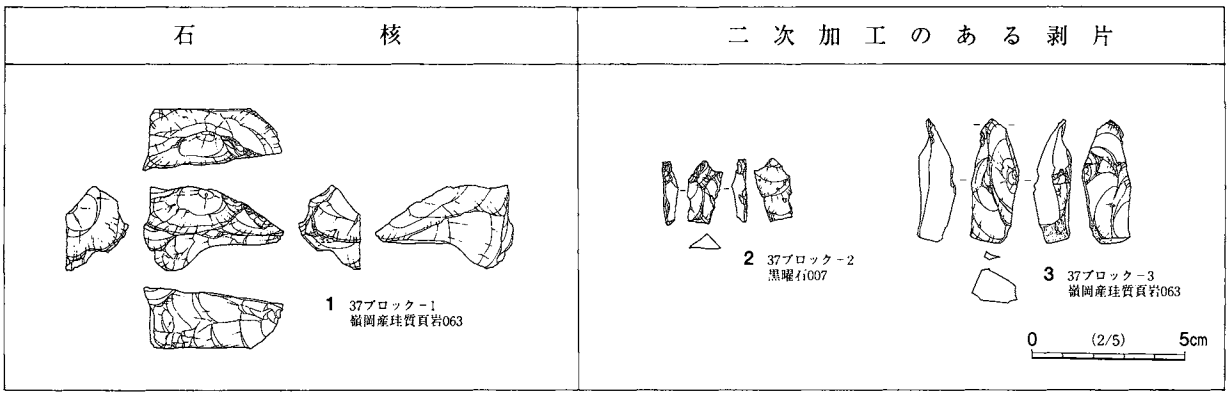
第204図のとおり第37・38ブロックのブロックで構成される。調査区北側の第Ⅴa文化層の南側に分布する。推定生活面はⅤ層である。出土点数は，総計で23点である。主要石材は，珪質頁岩・砂岩である。

②器種組成

器種組成は第394図のとおりである。石核は1である。分割面を打面として，横長剥片を剥離している。二次加工のある剥片は2・3である。いずれも不定形の剥片を素材として，先端部に細かい調整加工が施されている。出土点数が少ないうえに，製品が出土していないことから，石器製作技術については不明な点が多い。

③第Ⅴb文化層の石器群の位置づけについて

第Ⅴa文化層と同様の理由から，編年的には，下総台地田村・橋本編年Ⅱb期，相模野台地諏訪間編年段階Ⅳ，亀田角錐状石器編年Ⅰ期，伊藤編年Ⅴ上亜段階に位置づけられる。



第394図　第Ⅴb文化層器種組成

（3）**第Ⅴc文化層**（第10・71・199・209・395～399図，第61表，巻頭図版4）

①石器群の概要

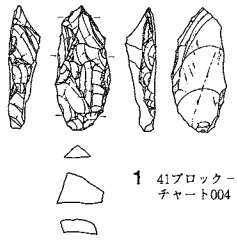
第209図のとおり，第39～43ブロックの5ブロックで構成される。調査区中央部の南側の台地の平坦面に立地する。第39～41ブロックは西側にまとまって出土しており，ブロック間接合が頻繁である。特に，第41ブロックは接合資料が非常に多い。器種石材組成は第61表のとおりである。出土点数は，総計で272点である。主要石材は，嶺岡産珪質頁岩が176点で64.71%もの高い割合を示す。次に，碧玉（黄玉）・頁岩が用いられている。

②器種組成

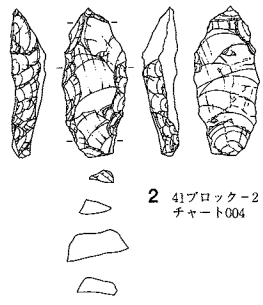
器種組成は第395～399図のとおりである。製品の割合が低く，主要器種はナイフ形石器である。

ナイフ形石器は1～5である。ナイフ形石器として分類したが，1・2のように素材の縁辺部がわずかに残っているものもあり，二次加工の調整加工も急角度で鋸歯状のものがみられることから，角錐状石器

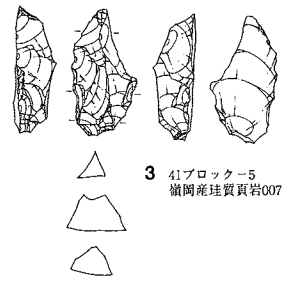
ナイフ形石器



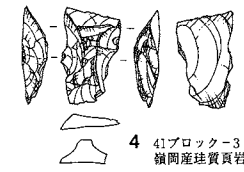
1 41ブロック－1
チャート004



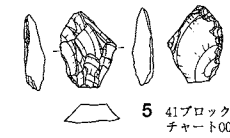
2 41ブロック－2
チャート004



3 41ブロック－5
嶺岡産珪質頁岩007

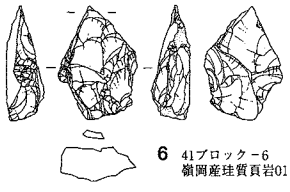


4 41ブロック－3
嶺岡産珪質頁岩014

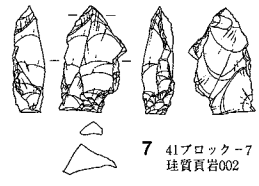


5 41ブロック－4
チャート004

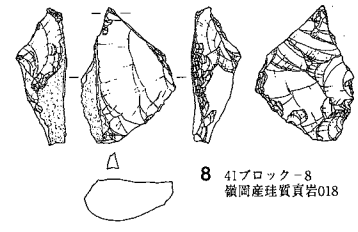
二次加工のある剥片



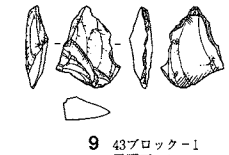
6 41ブロック－6
嶺岡産珪質頁岩011



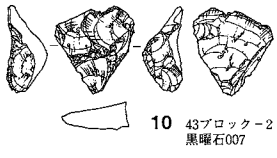
7 41ブロック－7
珪質頁岩002



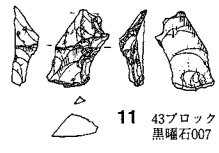
8 41ブロック－8
嶺岡産珪質頁岩018



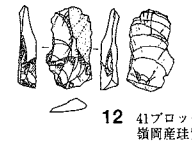
9 43ブロック－1
黒曜石008



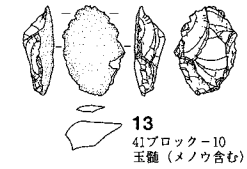
10 43ブロック－2
黒曜石007



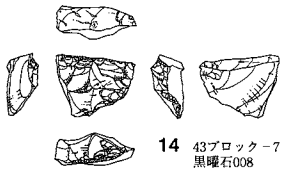
11 43ブロック－3
黒曜石007



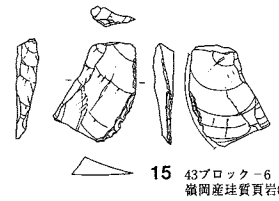
12 41ブロック－9
嶺岡産珪質頁岩012



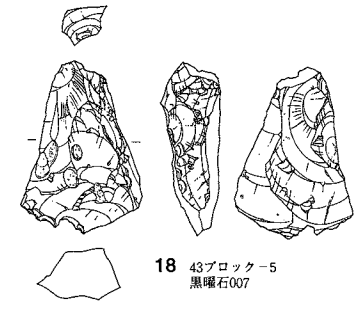
13 41ブロック－10
玉髄（メノウ含む）003



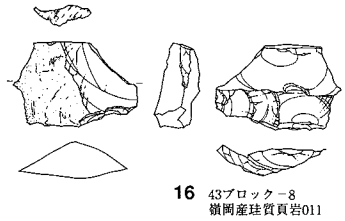
14 43ブロック－7
黒曜石008



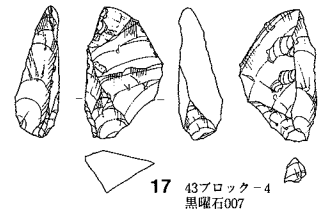
15 43ブロック－6
嶺岡産珪質頁岩011



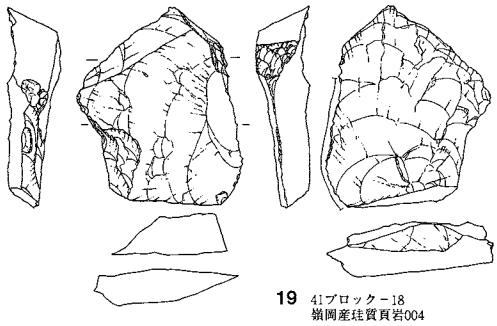
18 43ブロック－5
黒曜石007



16 43ブロック－8
嶺岡産珪質頁岩011

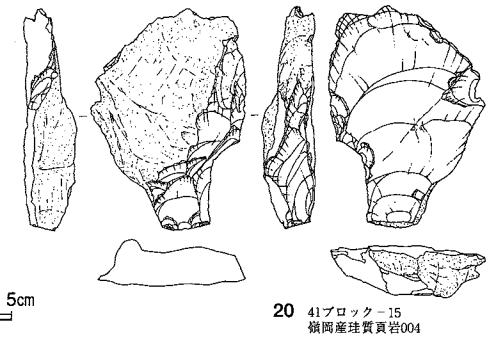


17 43ブロック－4
黒曜石007



19 41ブロック－18
嶺岡産珪質頁岩004

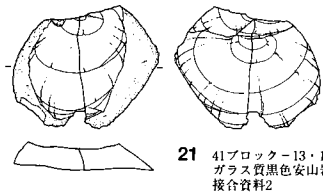
0 (2/5) 5cm



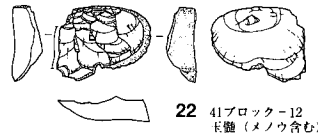
20 41ブロック－15
嶺岡産珪質頁岩004

第395図　第Ⅴc文化層器種組成（1）

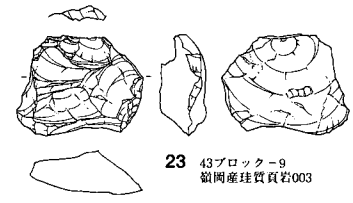
微細剥離痕のある剥片・剥片



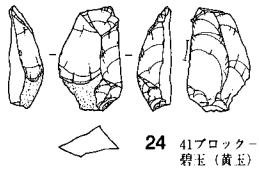
21 41ブロック－13・14
ガラス質黒色安山岩002
接合資料2



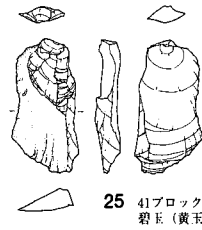
22 41ブロック－12
玉髄（メノウ含む）002



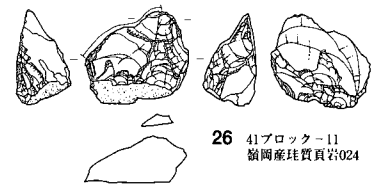
23 43ブロック－9
嶺岡産珪質頁岩003



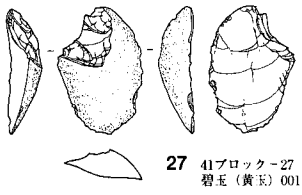
24 41ブロック－28
碧玉（黄玉）001



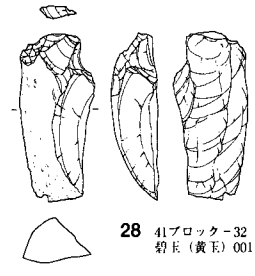
25 41ブロック－31
碧玉（黄玉）001



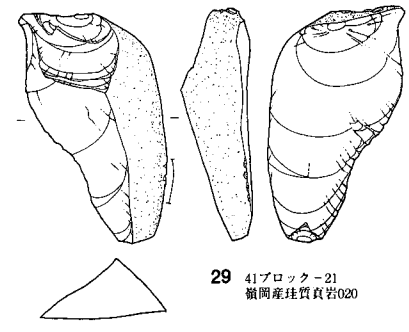
26 41ブロック－11
嶺岡産珪質頁岩024



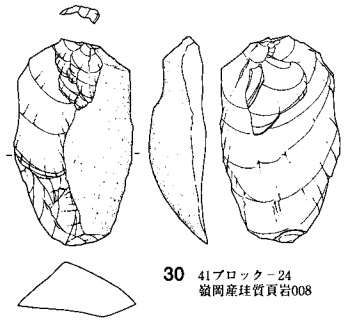
27 41ブロック－27
碧玉（黄玉）001



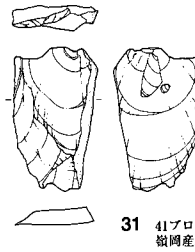
28 41ブロック－32
碧玉（黄玉）001



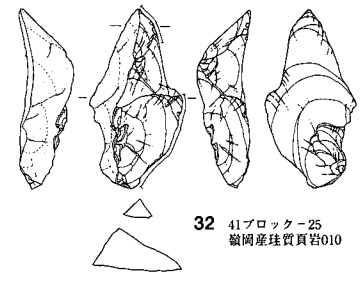
29 41ブロック－21
嶺岡産珪質頁岩020



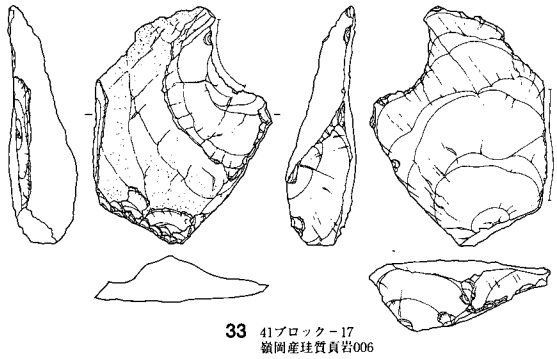
30 41ブロック－24
嶺岡産珪質頁岩008



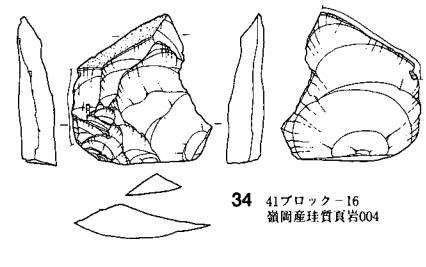
31 41ブロック－22
嶺岡産珪質頁岩008



32 41ブロック－25
嶺岡産珪質頁岩010



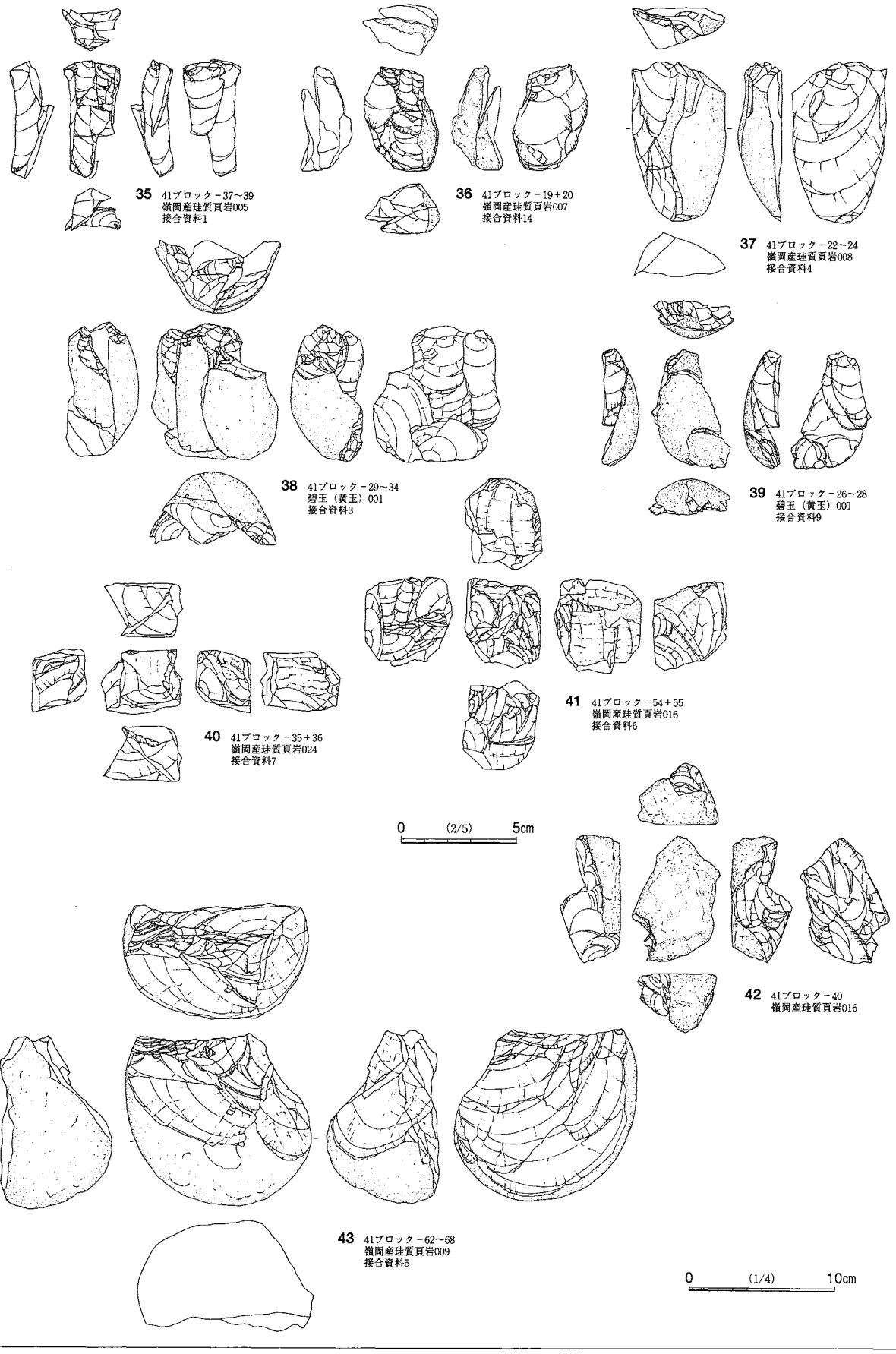
33 41ブロック－17
嶺岡産珪質頁岩006



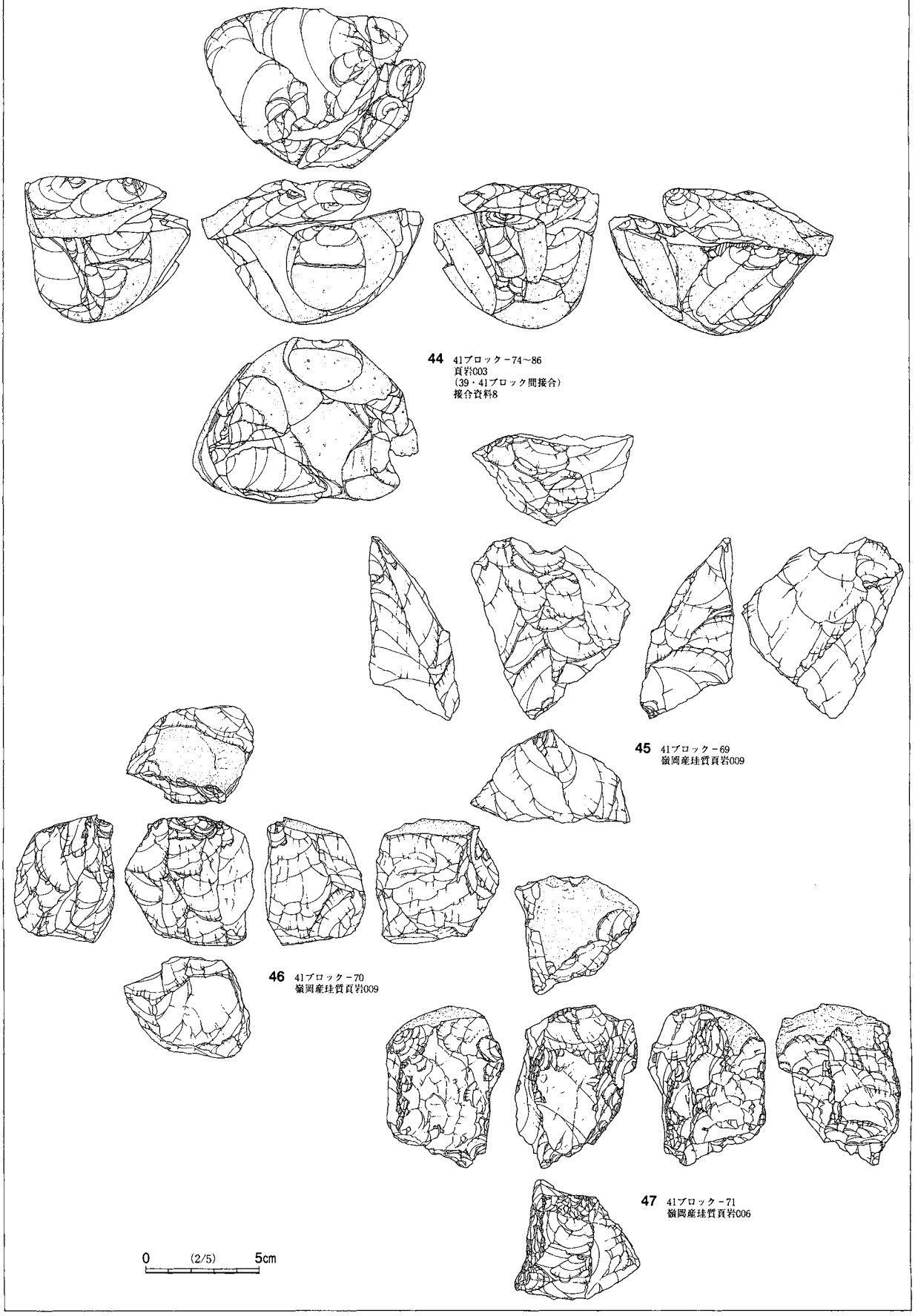
34 41ブロック－16
嶺岡産珪質頁岩004

0 (2/5) 5cm

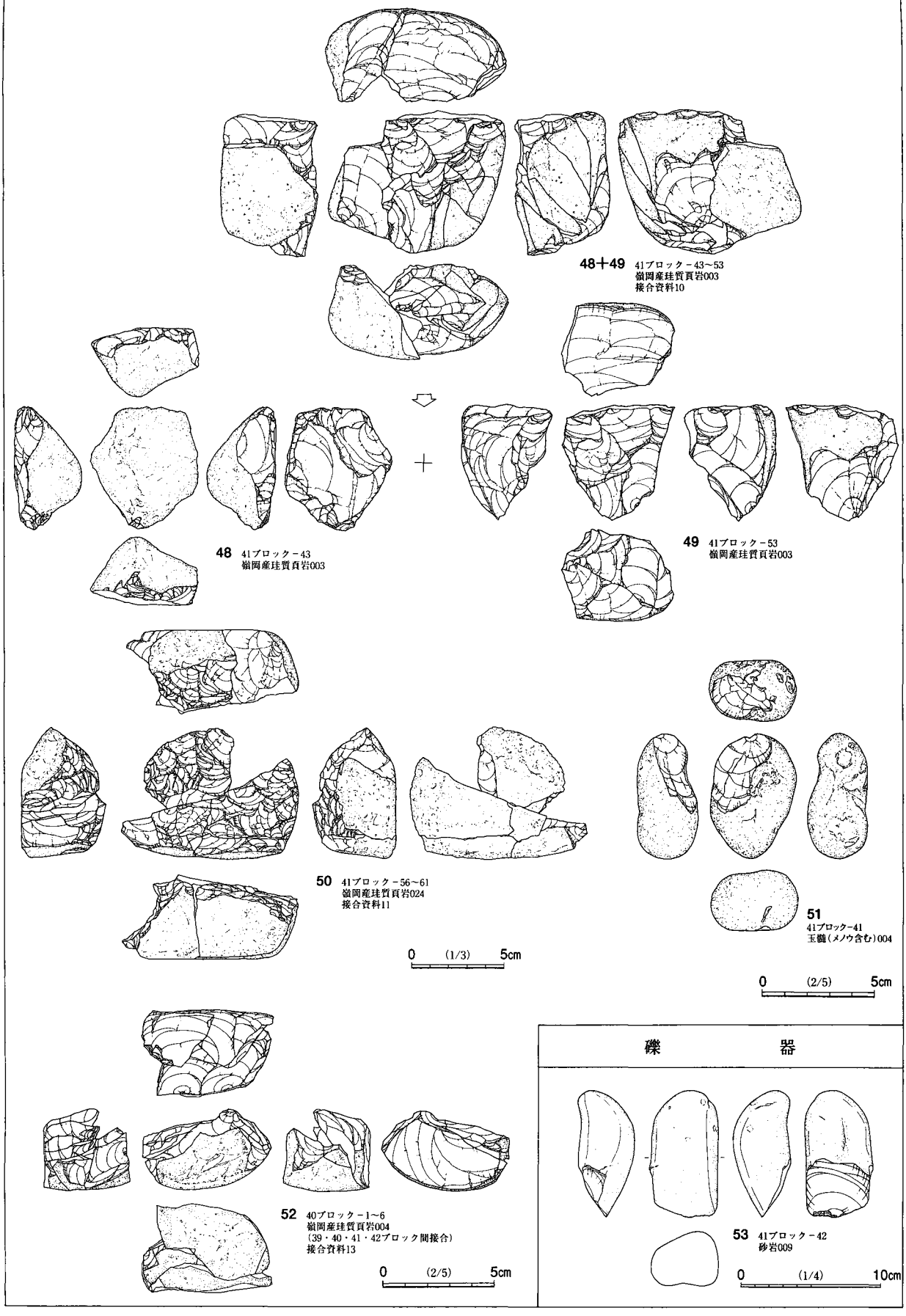
第396図　第Ⅴc文化層器種組成（２）



第397図　第Ⅴc文化層器種組成（3）



第398図　第Ⅴc文化層器種組成（4）



第399図　第Ⅴc文化層器種組成（5）

として，分類することも可能な資料である。1・2・5は同一母岩のチャート004から製作された資料である。特に，1・2は縦長剥片を素材として，主軸と主要剥離面方向が一致し，打面部を基部として設置している。両側縁に急角度のやや粗い鋸歯状の調整加工が施され，先端部に素材の縁辺を少し残している。このように，素材の用い方や調整加工に共通した特徴を持つ。3についても，1・2と同様の素材の用い方をしており，調整加工は1・2に比べて粗い調整加工が施されている。4は切出形の形態をしている。素材を横位に用いて，打面部と末端部を折断によって成形した後に，細かい調整加工が施されている。5は幅広の剥片を素材として，腹面右側縁全体にやや平坦な調整加工が施されている。

二次加工のある剥片は6～20である。いずれも，厚みのある不定形の剥片を素材としている。折断によって成形した後に，調整加工が施されているものが多い。

微細剥離痕のある剥片，および，剥片は，21～34である。いずれも不定形で，背面にほとんどのものが自然面を残し，厚みのある剥片である。

接合資料，および，石核は，35～52である。

35～37は縦長剥片が接合した資料である。頭部調整や打面調整は行われていない。本文化層において，縦長剥片は非常に少なく，縦長剥片を連続的に剥離した数少ない資料である。

38･39は良質の石材である碧玉（黄玉）001を用いて，比較的縦長の剥片を剥離した接合資料である。数回の頭部調整を行ってはいるが，打面調整は行っていない。2・3回同一方向から剥片を剥離した後に，打面を90度，あるいは，180度転移している。

40～42は，節理面によって分割された礫を素材としている。40・41は，打面を頻繁に転移して，残核がサイコロ状を呈している。42は上下両端から不定形な剥片を剥離している。

43は大型の礫を素材として，打面を交互に入れ替えて横長剥片を剥離しており，残核の形状はチョッピングツゥール状にを呈する。

44は第Ⅴc文化層のなかでも，最も企画的な縦長剥片を量産したことを示す接合資料である。良質の頁岩を用いている。大型の円礫を素材として，二分割した分割礫を素材としている。下部の分割礫は，分割面を打面として設定して，ほぼ全周に打点を順次転移して縦長剥片を剥離している。上部の分割礫は，比較的大型の縦長剥片を剥離している。

45～47は分割礫を素材として，分割面を打面として，剥片を剥離している。46・47は残核の形状がサイコロ状を呈する。

48＋49は大型の円礫を素材として，二分割した円礫を素材として，それぞれの分割礫から剥片を剥離している。二分割した礫から剥離された残核は48と49である。

50は大型の円礫を素材として，二分割以上に分割した円礫を素材として，剥片を剥離している。上部に接合している残核の形状は，サイコロ状の形状を呈する。51は楕円形礫から1枚の剥片を剥離している。敲石の可能性もある。52は分割礫を素材として，さらに二分割して，それぞれの分割した厚みのある剥片から剥片を剥離している。

礫器は53である。大型の楕円形礫を素材として，片刃の礫器である

③石器製作技術

剥片生産技術は，大きく分類すると次の三つに分類される。

剥片生産技術Ⅰ類：粗悪な石材である嶺岡産珪質頁岩の10cm～20cm程度の円礫から分割した礫を素材とし

て用いている。分割面を打面として設定して，頭部調整や打面調整を行わず幅広の不定形な剥片を剥離している。剥片生産技術の主体を占める。剥離されたものは，６～20の二次加工のある剥片や21～34の微細剥離痕のある剥片，および，剥片が対応する。接合資料，および，石核は40～43・45～50・52が対応する。

剥片生産技術Ⅱ類：良質の頁岩・チャートや比較的良質な嶺岡産珪質頁岩の10cm～20cm程度の円礫から分割した分割礫を素材として用いている。分割面を打面として，縦長剥片を連続的に剥離している。頭部調整は行われているが，打面調整は行われていない。分割礫を素材として用いる点で，剥片生産技術Ⅰ類と共通する点があるが，相違点は石材の材質が良質であることから，縦長剥片が量産されていることがあげられる。剥離されたものは，１・２・５のナイフ形石器が対応するものと思われる。接合資料は35～37・44が対応する。このうち44が，この剥片生産技術の典型例といえよう。

剥片生産技術Ⅲ類：良質の石材である碧玉（黄玉）を用いている。10cm～15cm程度の円礫を素材として，礫面の一部を剥離して，打面を作出して，２・３枚の縦長剥片を剥離した後に，打面を90度，あるいは，180度転移して繰り返して，縦長剥片を量産している。頭部調整は行われているが，打面調整は行われていない。接合資料は，38・39が対応する。

二次加工や調整加工のついては，1～３のナイフ形石器は急角度で粗い鋸歯状の調整加工が施されている。このほか，大部分のものは，６～20の二次加工のある剥片のように，折断を多く用いて，調整加工も粗い調整加工が部分的に施され，連続的に施されるものは少ない。

④第Ⅴc文化層の石器群の位置づけについて

この石器群と類似するものとして，四街道市御山遺跡第Ⅶ文化層第18ブロックが最も類似する。ナイフ形石器は，４点出土しているが，すべてチャートが用いられており，主軸と主要剥離面方向が一致し，打面を基部に設置するなど共通点が多い。このほかに，八千代市権現後遺跡第３文化層第12・14・15ブロック，八千代市ヲサル山遺跡第10ブロック，市原市武士遺跡第４文化層があげられる。他の台地においては，武蔵野台地では，練馬区東早淵遺跡第５文化層，国分寺市花沢東遺跡第４文化層，相模野台地では海老名市柏ヶ谷長ヲサ遺跡第ＸⅠa文化層・第Ｘ文化層があげられる。

編年的には，下総台地田村・橋本編年Ⅱb期，相模野台地諏訪間編年段階Ⅳ，亀田角錐状石器編年Ⅰ期，伊藤編年Ⅴ上亜段階に位置づけられる。

（４）**第Ⅴd文化層**（第10・199・238・400図，第68表，巻頭図版４）

①石器群の概要

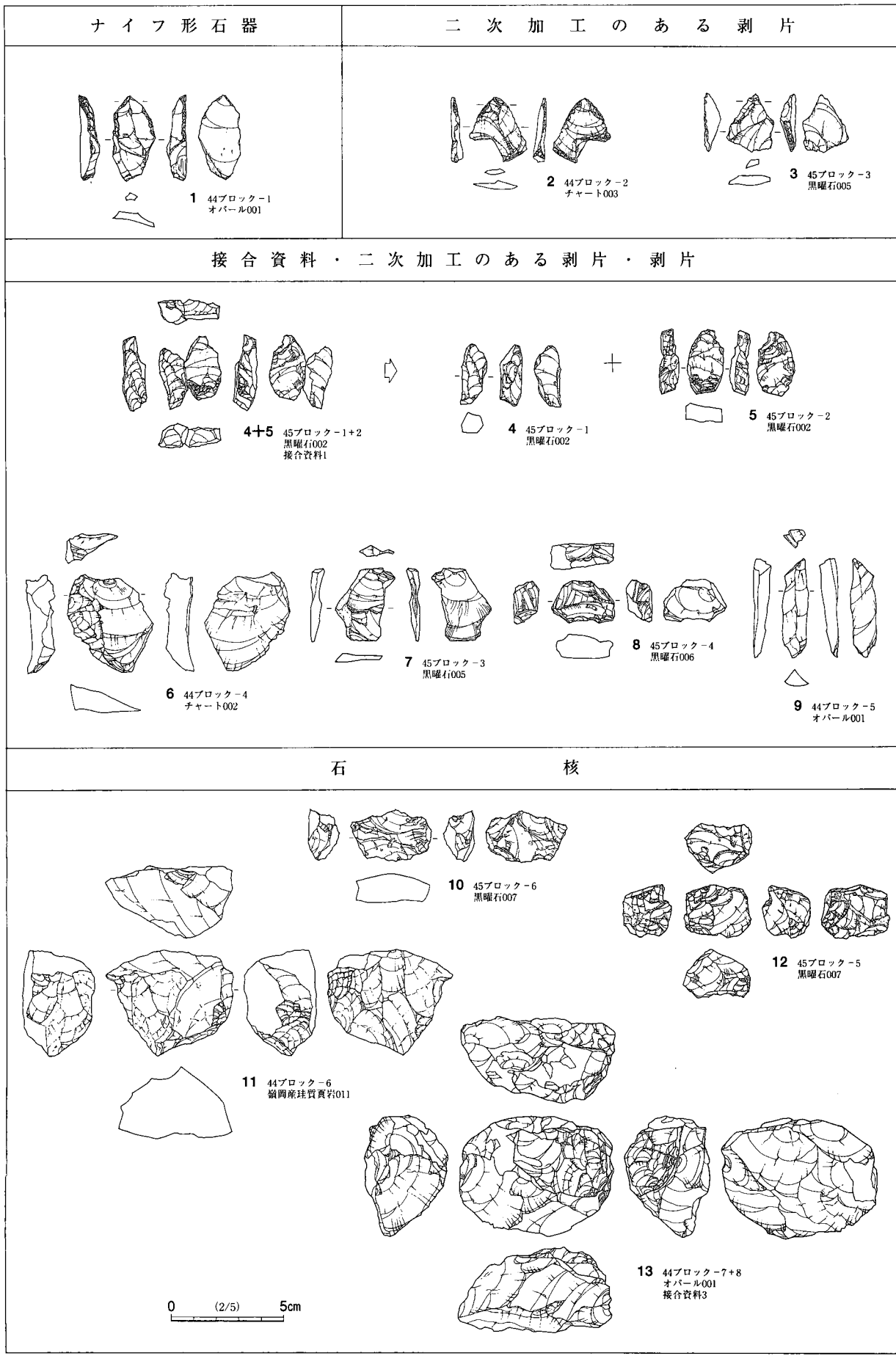
遺物分布の状況は，第238図のとおりである。第44～46ブロックの３ブロックで構成される。調査区中央の南側の台地平坦部に立地する。ブロック間接合はみられない。推定生活面はⅤ層である。器種石材組成は第68表のとおりである。出土点数は，総計で38点出土した。主要石材は，黒曜石が14点で36.84％で最も高い割合を示す。次に，オパール・嶺岡産珪質頁岩が用いられている。

②器種組成

器種組成は第400図のとおりである。主要器種は，ナイフ形石器・二次加工のある剥片である。

ナイフ形石器は１のみの出土である。良質のオパールを用いており，縦長剥片を素材として，左側縁と右側縁下部にブランティング加工が施されている。

二次加工のある剥片は２・３である。三角形の剥片を素材として，先端部を尖らせるような調整加工が



第400図　第Ｖｄ文化層器種組成

施されている。接合資料・二次加工のある剥片・剥片は，４～９である。４＋５は幅広の剥片を素材として，二分割した後に調整加工が施されている。６～９は不定形な剥片が剥離されている。

石核は10～13である。いずれも，分割礫・分割剥片を素材として，打面を頻繁に転移して横長剥片を剥離している。残核の形状は，サイコロ状を呈する。

③第Ｖd文化層の石器群の位置づけについて

出土点数が少なく，製品が少ないので，明確に石器群の位置づけを行うことは困難であるが，剥片生産技術が第Ｖc文化層と類似するものである。

編年的には，下総台地田村・橋本編年Ⅱb期，相模野台地諏訪間編年段階Ⅳ，亀田角錐状石器編年Ⅰ期，伊藤編年Ⅴ上亜段階に位置づけられる。

（５）**第Ｖe文化層**（第10・199・244・401図，第72表）

①石器群の概要

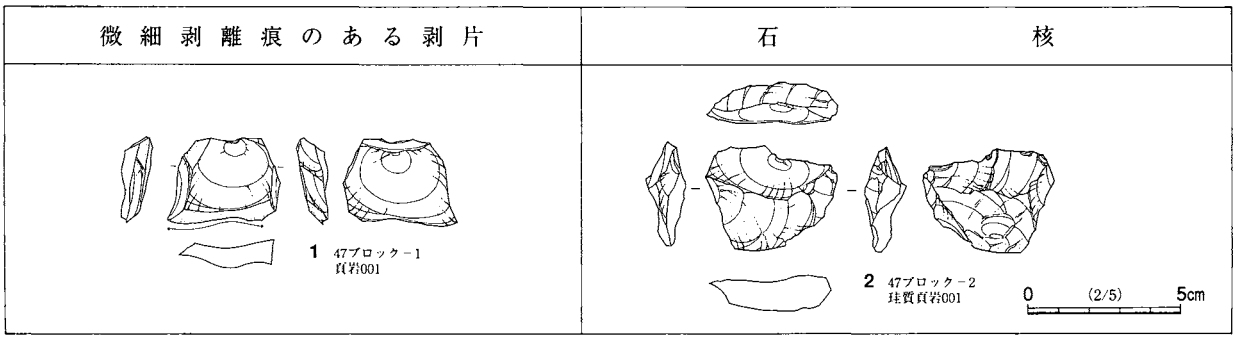
第47ブロックのみで構成される。調査区南側の南斜面に分布する。推定生活面は，Ⅴ層である。出土点数は３点のみの出土であるので，石器群の内容については，明確でない。

②器種組成

器種組成は第401図のとおりである。１は微細剥離痕のある剥片である。幅広の剥片を素材としている。２は石核である。厚みのある剥片を素材として，横長剥片を剥離している。

③第Ｖe文化層の石器群の位置づけについて

製品がなく，石器群の内容が明確でないことから，位置づけは困難であるが，他の第Ⅴ文化層の石器群と出土層位と石器群の内容が類似していることから，編年的には，下総台地田村・橋本編年Ⅱb期，相模野台地諏訪間編年段階Ⅳ，亀田角錐状石器編年Ⅰ期，伊藤編年Ⅴ上亜段階に位置づけられる。



第401図　第Ｖe文化層器種組成

6　第Ⅵ文化層の石器群（第10・247・402図，第74表，巻頭図版４）

①石器群の概要

遺物分布状況は第247図のとおりである。第48～50ブロックの３ブロックで構成される。ブロック間の接合はみられない。推定生活面はⅣ層上部である。器種石材組成は第74表のとおりである。出土点数は13点のみの出土である。主要石材は，嶺岡産珪質頁岩・チャートである。

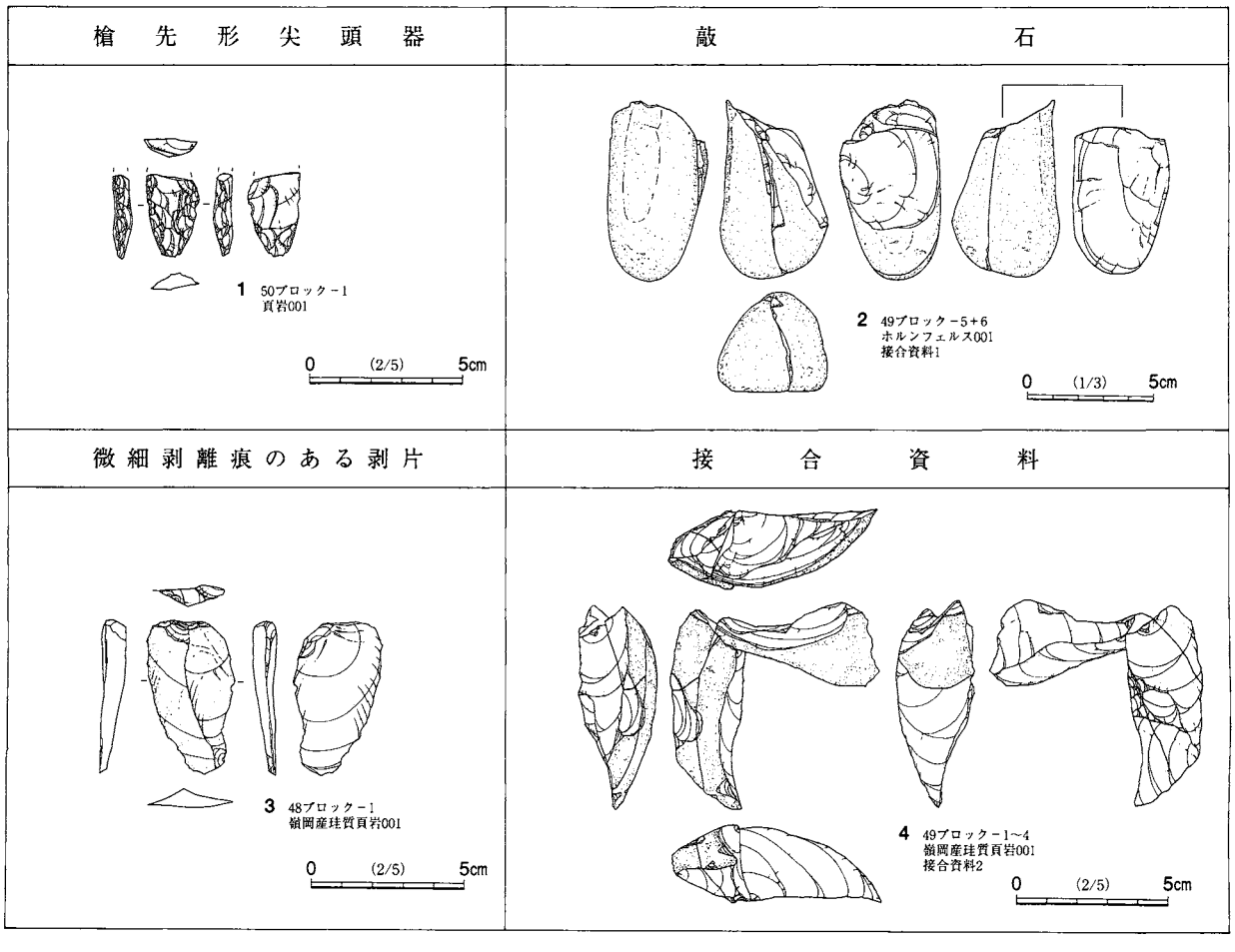
②器種組成

器種組成は第402図のとおりである。主要器種は，槍先形尖頭器・敲石である。

１は槍先形尖頭器である。厚みのない剥片を素材として，背面の全周と腹面の左側縁に平坦な調整加工が入念に施されている。２は楕円形礫を素材として，上下両端部に敲打痕がみられ，上端部からの敲打の際に二分割されている。３は縦長剥片を素材とした微細剥離痕のある剥片である。４は90度の打面転移を頻繁に行ったことを示す接合資料である。

③第Ⅵ文化層の石器群の位置づけについて

出土点数・製品が少ないことから，石器群を位置づけることは困難である。推定生活面がⅣ層上部で，半両面加工の槍先形尖頭器が出土していることから，編年的には，下総台地田村・橋本編年Ⅱc期，相模野台地諏訪間編年段階Ⅵ・Ⅶに位置づけられる。



第402図　第Ⅵ文化層器種組成

7　第Ⅶ文化層の石器群（第10・253・403～405図，第78表，巻頭図版４）

①石器群の概要

礫群を伴う文化層である。遺物分布状況は第253図のとおりである。第51～55ブロックの５ブロックで構成される。ブロック間の接合もみられ，ブロック内の接合が頻繁にみられる。調査区北側に位置し，遺物が密集して出土している。推定生活面はⅢ層下部である。器種石材組成は第78表のとおりである。出土点数は総計で901点出土した。主要器種は，礫片662点（73.47%）・礫61点（6.77%）で，圧倒的に礫片・礫の占める割合が高い。礫片・礫の主要石材は，流紋岩・砂岩・ホルンフェルスである。

②器種組成

礫片・礫以外の石器の出土点数は，178点である。石器の主要器種は，ナイフ形石器・楔形石器・敲石である。石器の主要石材は，黒曜石・珪質頁岩・チャートが用いられており，製品として持ち込まれているという特徴がある。

ナイフ形石器は１のみの出土である。縦長剥片を素材として，主軸と主要剥離方向が一致し，打面を基部に設定している。右側縁と左側縁下部に急角度の調整加工が施されている。

楔形石器は２・３である。２は円礫素材で，３は縦長剥片を素材としている。

二次加工のある剥片は４～６である。幅広の剥片を素材として，折断と粗い調整加工が施されている。

微細剥離痕のある剥片，および，剥片は，7～10である。比較的良質の石材である頁岩やホルンフェルスを用いて，比較的形状の整った剥片が剥離されている。図示はしていないが，11～18のような石核から剥離された横長の剥片が大半である。

石核は11～18である。11～13は，7cm～10cmのガラス質黒色安山岩の小型の円礫を素材として，打面を順次転移して，小型の横長剥片を剥離している。残核の形状はサイコロ状を呈する。表面に大きく自然面を残している。14～18は分割礫・分割剥片を素材としている。14は分割面を打面として固定して，ほぼ全周に打面を順次転移している。15～18は，分割面である主要剥離面側を剥離して，背面にポジティヴ面を持つ横長剥片を剥離している。

接合資料は19～28である。21は分割礫を素材として，打面を順次転移して残核の形状がサイコロ状を呈する。20は分割剥片を素材として，横長剥片を剥離している。21～25は節理面に沿って剥離されており，一回の剥離で数枚の剥片が剥離されている。剥離時の加撃で意図しない剥片が剥離された接合資料である。図示はしていないが，これらの接合資料が多くみられた。26・27は打面を順次転移して，幅広の剥片を連続的に剥離している。28は円礫を素材として，打面を交互に入れ替えて剥片を剥離している。

敲石は29～31である。楕円形の細長い円礫を素材として，29・31は上下両端に敲打痕がみられ，30は下端部のみの敲打痕がみられる。

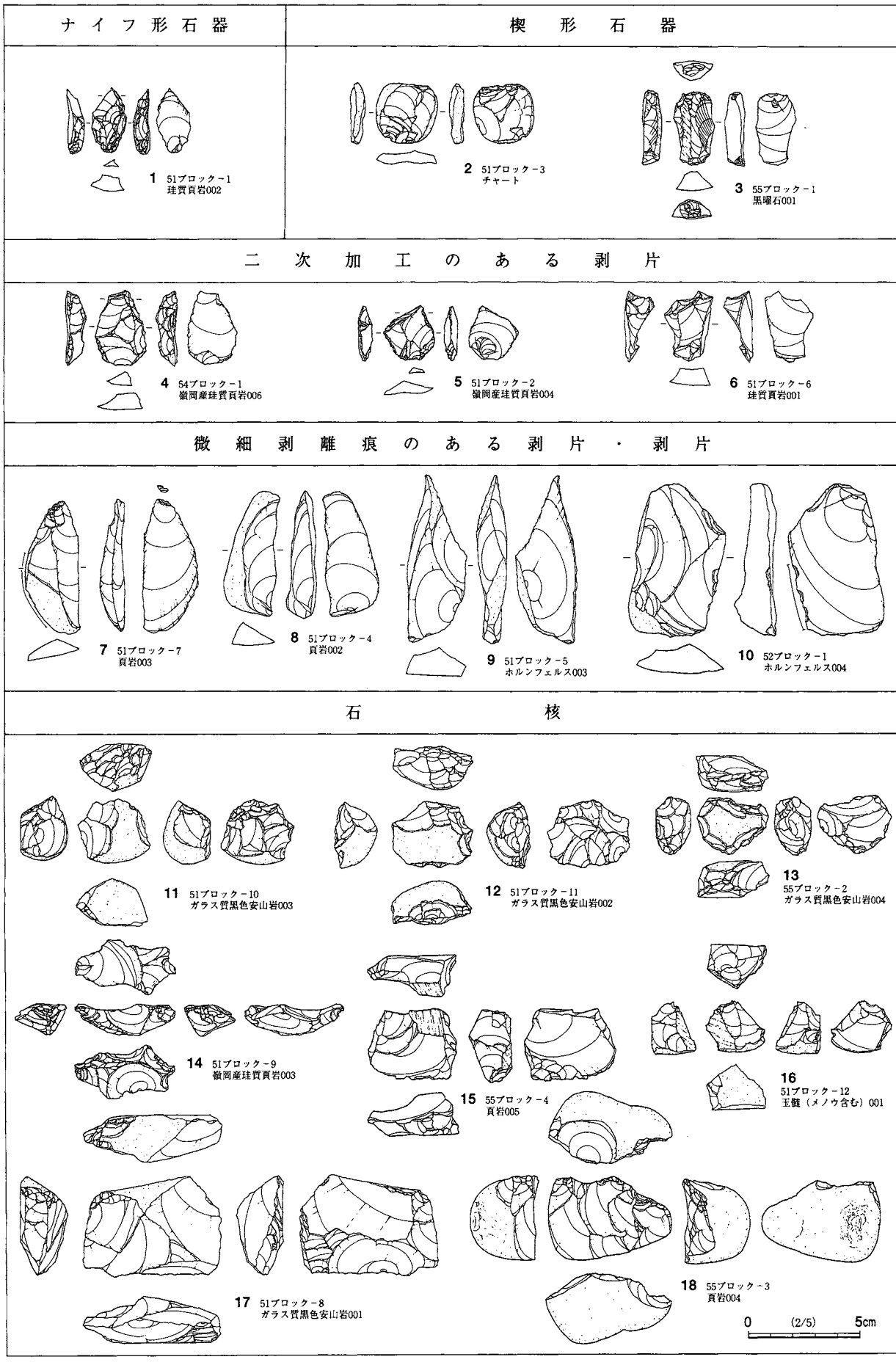
石核は32である。石核として分類したが，最大長が約16cmもの大型のものであり，上端部からの剥離が３枚程度であることから，片刃礫器として捉えることも可能である。

③石器製作技術

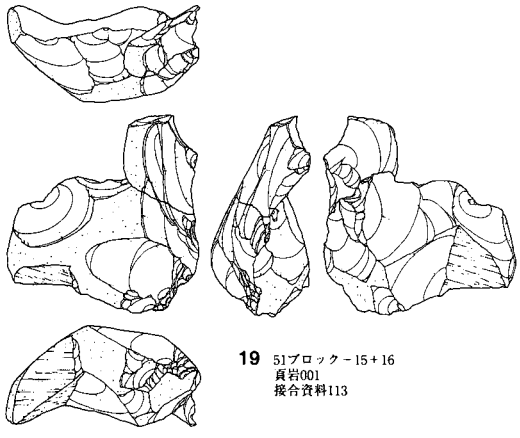
剥片生産技術は，大きく分けて次の四つに分類される。

剥片生産技術Ⅰ類：７cm～10cmの小型の円礫を素材として，打面を順次転移して，小型の横長剥片を剥離し，残核の形状はサイコロ状を呈する（11～13）。

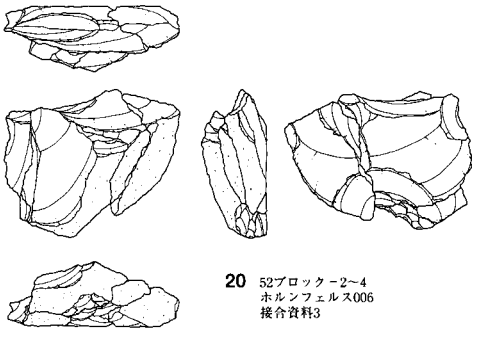
剥片生産技術Ⅱ類：分割礫・分割剥片を素材として，分割面を打面として剥片を剥離したり，分割面側を



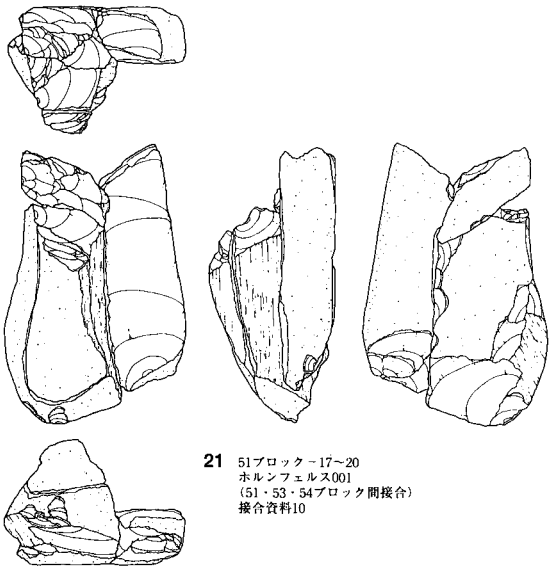
第403図　第Ⅶ文化層器種組成（1）



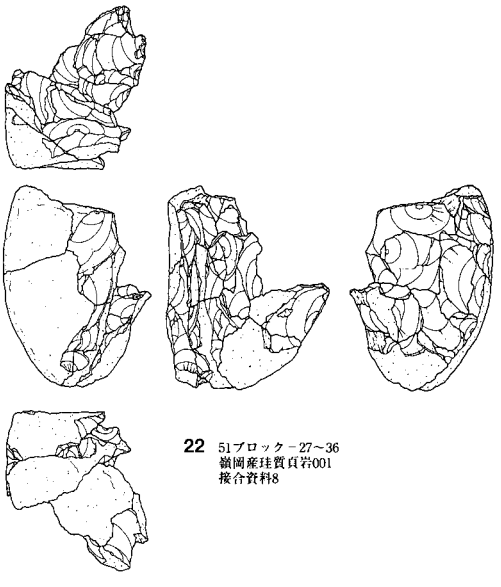
19 51ブロック－15＋16
頁岩001
接合資料113



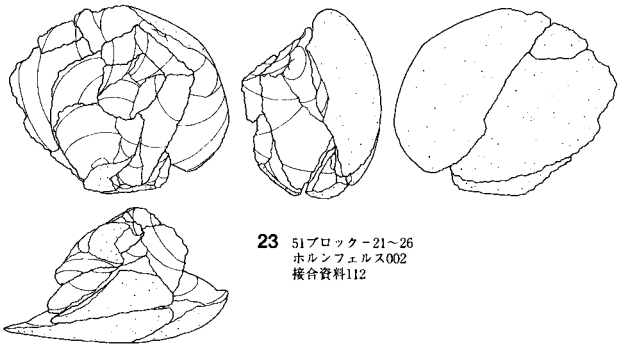
20 52ブロック－2～4
ホルンフェルス006
接合資料3



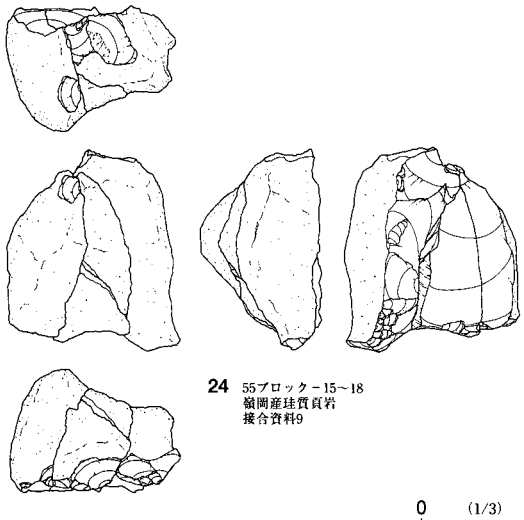
21 51ブロック－17～20
ホルンフェルス001
（51・53・54ブロック間接合）
接合資料10



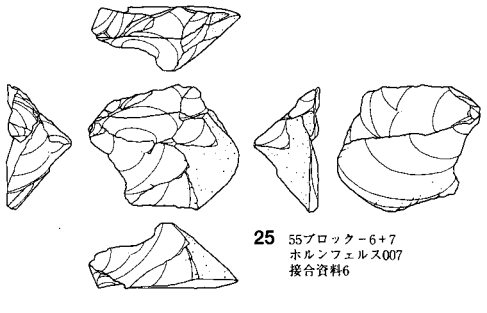
22 51ブロック－27～36
嶺岡産珪質頁岩001
接合資料8



23 51ブロック－21～26
ホルンフェルス002
接合資料112



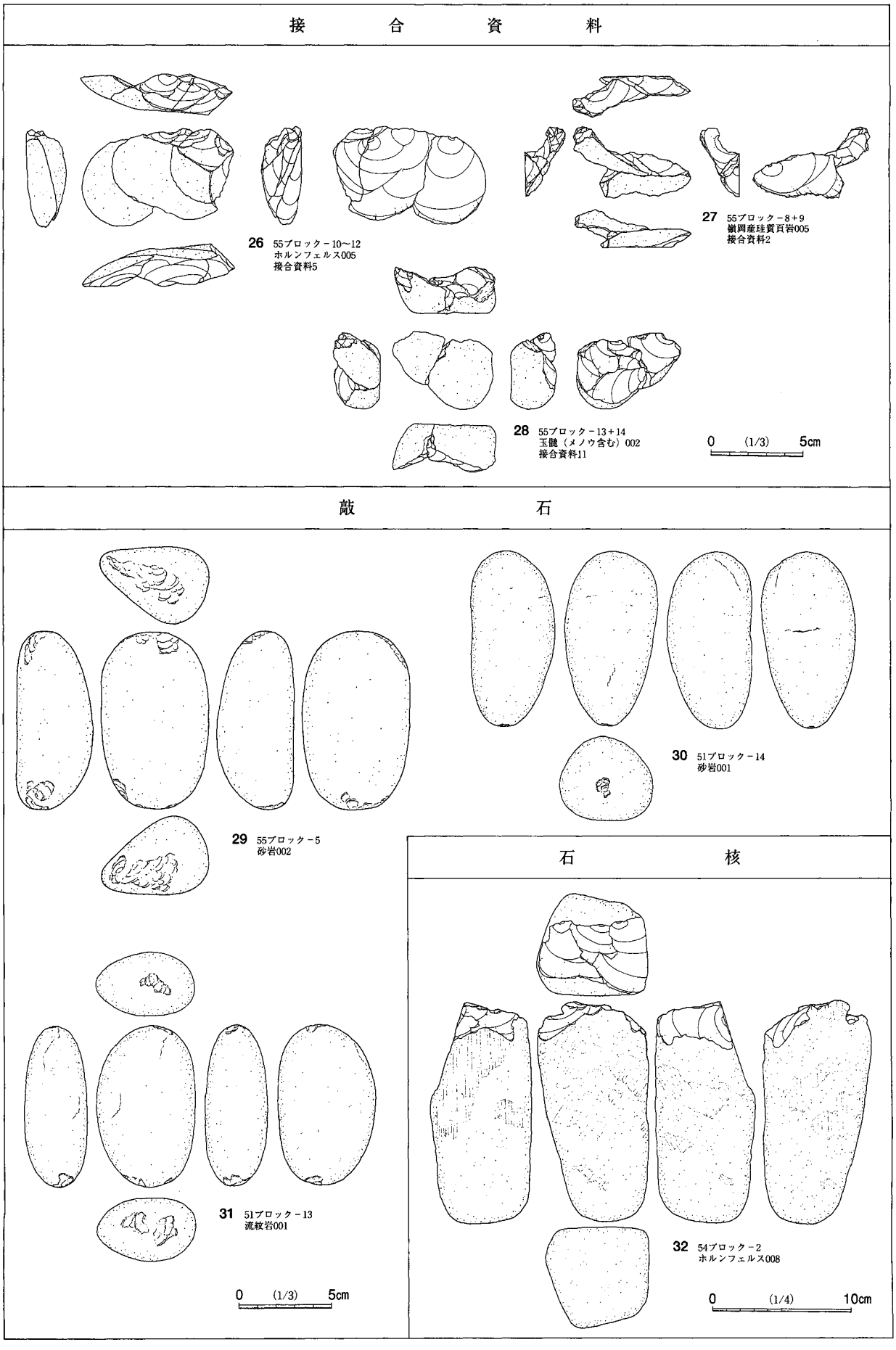
24 55ブロック－15～18
嶺岡産珪質頁岩
接合資料9



25 55ブロック－6＋7
ホルンフェルス007
接合資料6

0　(1/3)　5cm

第404図　第Ⅶ文化層器種組成（2）



第405図　第Ⅶ文化層器種組成（3）

剥離するもの（14～18）。

剥片生産技術Ⅲ類：節理面の多い石材である嶺岡産珪質頁岩・ホルンフェルスを用いて，一回の剥離で数枚の剥離が剥離され，不定形な剥片が剥離されるもの（21～25）。

剥片生産技術Ⅳ類：比較的良質の頁岩やフォルンフェルスを用いて，やや大型の縦長剥片や横長剥片を剥離するもの（7～10）。

以上の四類に分類することができるが，剥片のほとんどのものはⅠ～Ⅲ類から剥離された剥片で占められる。

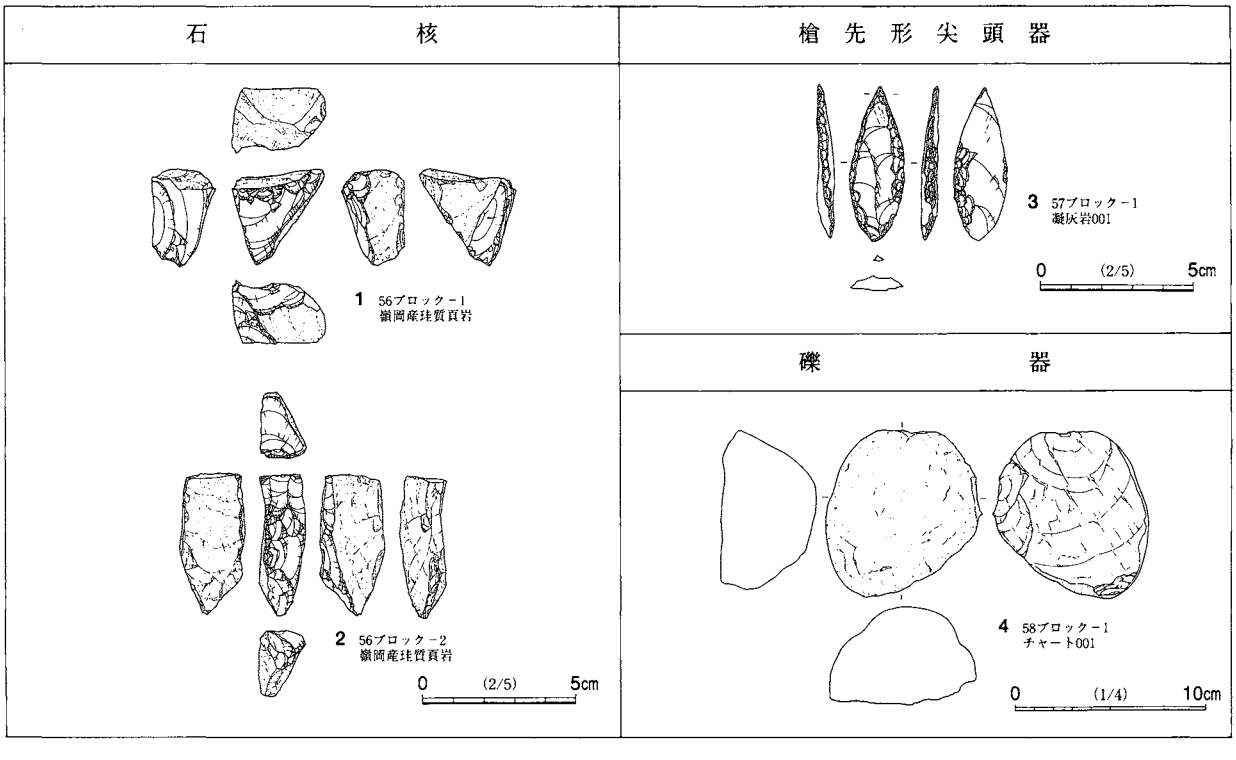
④第Ⅶ文化層の石器群の位置づけについて

出土点数が多いにもかかわらず，製品の点数が少ないので，石器群の位置づけが困難である。礫群を伴い，推定生活面がⅢ層下部であることから，下総台地田村・橋本編年Ⅱc期，相模野台地諏訪間編年段階Ⅷに位置づけられる。

8　第Ⅷ文化層の石器群（第406図，第84表，巻頭図版4）

①石器群の概要

本文化層は，単独出土したものをまとめたものである。このうち，出土位置がまとまって出土しているものを第56～58ブロックの3ブロックに区分した。出土層位が不明ではあるが，石器の形態から，Ⅲ層から出土したと推定できることから，第Ⅷ文化層として捉えた。器種石材組成は第84表のとおりである。出土点数は総計で6点出土した。主要石材は，嶺岡産珪質頁岩・凝灰岩である。出土点数が少なく，石器群としてまとまっているかどうか不明であるので，石器製作技術は明確でない。



第406図　第Ⅷ文化層器種組成

②器種組成

器種組成は第406図のとおりである。石核は1・2である。分割礫を素材として，分割面・節理面を打面として，1は横長剥片を剥離し，2は小型の縦長剥片を剥離している。槍先形尖頭器は3である。縦長剥片を素材として，主軸と主要剥離面方向が一致し，打面を基部に設置している。背面縁辺部のほぼ全周に調整加工が施され，腹面左側縁中間部に平坦な調整加工が施されている。礫器は4である。大型の円礫を素材として，おそらく両極剥離によって剥離したと思われる。

③第Ⅷ文化層の石器群の位置づけについて

単独出土で，出土層位が不明であることから，石器群の位置づけが困難である。しかしながら，3のような槍先形尖頭器が出土しており，Ⅲ層から出土していると推定されることから，第Ⅶ文化層に近い石器群と思われる。編年的には，下総台地田村・橋本編年Ⅱc期，相模野台地諏訪間編年段階Ⅷに位置づけられる。

引用・参考文献

伊藤　健　1991「ナイフ形石器の変異と変遷」『研究論集Ⅹ　－創立10周年記念論文集－』東京都埋蔵文化財センター

伊藤　健　1997「第Ⅶ・Ⅵ層文化」『菅原神社台地上遺跡』東京都埋蔵文化財センター

大竹憲明・須藤隆司・千葉　寛　1982「先土器時代の遺構と遺物」『下里本邑遺跡』下里本邑遺跡調査会

大野康男　1993「八千代市坊山遺跡」『萱田地区埋蔵文化財調査報告書Ⅵ』（財）千葉県文化財センター

小田静夫ほか　1977「先土器時代」『高井戸東遺跡』高井戸東遺跡調査会

奥田正彦・高橋博文　1986「遠山天ノ作遺跡」『主要地方道成田松尾線Ⅲ』（財）千葉県文化財センター

織笠　昭・熊川英子・松村明子　1977「先土器時代」『高井戸東（駐車場西）遺跡』高井戸東（駐車場西）遺跡調査会

織笠　昭　1978「鈴木遺跡Ⅵ層出土石器群についての一考察」『鈴木遺跡Ⅰ』鈴木遺跡刊行会

亀田直美　1996「角錐状石器」『石器文化研究5』石器文化研究会

亀田直美　1998「Ⅴ～Ⅳ下層段階を読むうえでの「角錐状石器」研究のあり方について」『石器文化研究6』石器文化研究会

亀田直美　1999「ナイフ形石器文化後半」『石器文化研究7』石器文化研究会

黒尾和久・廣田吉三郎　1986「第Ⅲ文化層」『天祖神社東遺跡』東京都住宅局・練馬区遺跡調査会

小菅将夫・新田浩三　1989「下総台地のⅨ～Ⅶ層の様相」『石器文化研究1　－第1回研究討論会　AT降灰以前の石器文化－』石器文化研究会

小菅将夫　1999「ナイフ形石器文化前半」『石器文化研究7』石器文化研究会

坂入民子　1982「第4文化層」『下山遺跡Ⅰ』世田谷区教育委員会・世田谷区遺跡調査会

笹原芳郎　1995「第2・3期の石器群」『静岡県考古学会シンポジウムⅨ　愛鷹・箱根山麓の旧石器時代編年　予稿集』静岡県考古学会シンポジウム実行委員会

島立　桂　1994「草刈六之台遺跡」『千原台ニュータウンⅥ』（財）千葉県文化財センター

島立　桂　2000「草刈遺跡」『千葉県の歴史　資料編　考古1（旧石器・縄文時代）』（財）千葉県史料研究財団

下原裕司・斉藤圭子　1996「第Ⅶ文化層」『羽根沢台遺跡Ⅱ』三鷹市教育委員会・三鷹市遺跡調査会

鈴木次郎　1980「第Ⅵ文化層」『寺尾遺跡』神奈川県教育委員会

砂田佳弘　2002「神奈川県吉岡遺跡」『公開セミナー　後期旧石器時代開始期前後の遺跡・石器群』

諏訪間　順　1989「相模野台地における石器群の変遷について」『神奈川考古』第24号

諏訪間順・麻生順司　1991「相模野台地の様相」『石器文化研究３』　石器文化研究会

諏訪間順　2001「相模野旧石器編年の到達点」『相模野旧石器編年の到達点』　神奈川県考古学会

高尾好之　1995「第１期の石器群」『静岡県考古学会シンポジウムⅨ　愛鷹・箱根山麓の旧石器時代編年　予稿集』　静岡県考古学会シンポジウム実行委員会

田島　新　1991「佐倉市栗野Ⅰ・Ⅱ遺跡」『佐倉第三工業団地造成に伴う埋蔵文化財調査報告書Ⅷ』（財）千葉県文化財センター

田村　隆　1986「若葉台遺跡」『常磐自動車道埋蔵文化財調査報告書Ⅴ』（財）千葉県文化財センター

田村　隆・橋本勝雄　1987『房総考古学ライブラリー１　先土器時代』（財）千葉県文化財センター

田村　隆　1989「収束」『佐倉市南志津地区埋蔵文化財発掘調査報告書１』（財）千葉県文化財センター

田村　隆　1989「佐倉市大林遺跡」『佐倉市南志津地区埋蔵文化財発掘調査報告書１』（財）千葉県文化財センター

田村　隆・大野康男　1991「八千代市白幡前遺跡」『萱田地区埋蔵文化財調査報告書Ⅴ』（財）千葉県文化財センター

田村　隆　1994「大網山田台No.８地点」『大網山田台遺跡群Ⅰ　－旧石器時代篇－』（財）千葉県文化財センター

田村　隆　1995「滝東台遺跡」『油井古塚原遺跡群』（財）山武郡市文化財センター

田村　隆　1996『市原市武士遺跡１　－福増浄水場埋蔵文化財調査報告書－』（財）千葉県文化財センター

田村　隆　2000「常磐自動車地区の遺跡」『千葉県の歴史　資料編考古１（旧石器・縄文時代）』（財）千葉県史料研究財団

田村　隆　2000「復山谷遺跡」『千葉県の歴史　資料編考古１（旧石器・縄文時代）』（財）千葉県史料研究財団

田村　隆　2000「若葉台遺跡」『千葉県の歴史　資料編考古１（旧石器・縄文時代）』（財）千葉県史料研究財団

田村　隆　2000「荒久遺跡」『千葉県の歴史　資料編　考古１（旧石器・縄文時代）』（財）千葉県史料研究財団

田村　隆　2000「武士遺跡」『千葉県の歴史　資料編考古１（旧石器・縄文時代）』（財）千葉県史料研究財団

田村　隆　2002「千葉県空港No.61遺跡ほか」『公開セミナー　後期旧石器時代開始期前後の遺跡・石器群』

堤　隆　1997「第ＸⅠ文化層ａ」『柏ヶ谷長ヲサ遺跡』　柏ヶ谷長ヲサ遺跡調査団

戸田正勝・角張淳一・田辺広記　1982「旧石器時代」『鈴木遺跡　－御幸第Ⅰ地点－』　小平市遺跡調査会

長崎潤一・木村有紀ほか　1986『東京都練馬区東早淵遺跡』　練馬区遺跡調査会・練馬区教育委員会

永塚俊司　2000「東峰御幸畑西遺跡（空港No.61遺跡）」『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書ＸⅢ』（財）千葉県文化財センター

永塚俊司　2000「新東京国際空港予定地内遺跡群」『千葉県の歴史　資料編考古１（旧石器・縄文時代）』（財）千葉県史料研究財団

西口　徹　1984「No.７遺跡」『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ』（財）千葉県文化財センター

新田浩三　1988「遠山天ノ作遺跡の再検討」『竹篦』第５号　北総たけべらの会

新田浩三　1990「北海道遺跡Ⅶ層」『石器文化研究２　－第２回研究討論会　ＡＴ降灰以前の石器文化　ＰＡＲＴⅡ－』　石器文化研究会

新田浩三　1991「出口遺跡」『東関東自動車道埋蔵文化財調査報告書Ⅵ（佐原地区３）』（財）千葉県文化財センター

新田浩三　1994「取香和田戸遺跡（空港No.60遺跡）」『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅷ』（財）千葉県文化財センター

新田浩三　1995「下総型石刃再生技法の提唱」『千葉県文化財センター研究紀要16　－20周年記念論集－』（財）千葉県文化財センター

新田浩三　1994「取香和田戸遺跡（空港No.60遺跡）」『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅷ』（財）千葉県文化財セ

ンター
新田浩三　2000「遠山天ノ作遺跡」『千葉県の歴史　資料編考古１（旧石器・縄文時代）』（財）千葉県史料研究財団
新田浩三　2002「袖ケ浦市台山遺跡」『東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書10』（財）千葉県文化財センター
新田浩三　2002「木更津市中越遺跡」『東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財発掘調査報告書11』（財）千葉県文化財センター
橋本勝雄　1984「八千代市権現後遺跡」『萱田地区埋蔵文化財調査報告書Ⅰ』（財）千葉県文化財センター
橋本勝雄　1985「八千代市北海道遺跡」『萱田地区埋蔵文化財調査報告書Ⅱ』（財）千葉県文化財センター
橋本勝雄　2000「萱田遺跡群」『千葉県の歴史　資料編　考古１（旧石器・縄文時代）』（財）千葉県史料研究財団
藤岡孝司　1986「八千代市ヲサル山遺跡」『萱田地区埋蔵文化財調査報告書Ⅲ』（財）千葉県文化財センター
藤波啓容・関口博幸　1988「旧石器時代」『東京都板橋区根ノ上遺跡発掘調査報告』東京都住宅局・根ノ上遺跡発掘調査会
藤波啓容・関口博幸　1990「旧石器時代」『大門遺跡』建設省関東地方建設局大宮国道工事事務所・板橋区大門遺跡調査会
藤波啓容　1992「旧石器時代」『成増との山遺跡Ⅱ』東京都住宅局・板橋区成増との山遺跡調査会
松谷純一・相川幹子　1983「第Ⅶ層の文化層・第Ⅸ層の文化層」『多聞寺前遺跡Ⅱ』多聞寺前遺跡調査会
道澤　明　1996「下総台地の様相」『石器文化研究５』石器文化研究会
道澤　明　1998「下総台地について」『石器文化研究６』石器文化研究会
矢本節朗　1996「多古町千田台遺跡」『BR／W南側NDB用地（無線施設）埋蔵文化財調査報告書』（財）千葉県文化財センター
矢本節朗　1998「天神峰奥之台遺跡（空港№65遺跡）」『新東京国際空港埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅹ』（財）千葉県文化財センター
矢本節朗　2000「千田台遺跡」『千葉県の歴史　資料編　考古１（旧石器・縄文時代）』（財）千葉県史料研究財団
吉林昌寿　1994「先土器時代」『宮内遺跡発掘調査報告書』（財）印旛郡市文化財センター
横山祐平・川口　潤　1984「旧石器時代」『武蔵台遺跡Ⅰ　－武蔵国分寺跡西方地区の調査－』都立府中病院内遺跡調査会
依田賢仁・大木幹夫　1996「四葉地区遺跡　平成８年度【旧石器時代編】」板橋区四葉遺跡調査会・東京都建設局
渡辺修一　1991『四街道市内黒田遺跡群　－内黒田特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告書－』（財）千葉県文化財センター
渡辺修一・矢本節朗　1994「四街道市御山遺跡」『物井地区埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ』（財）千葉県文化財センター
渡辺修一　2000「内黒田遺跡群」『千葉県の歴史　資料編考古１（旧石器・縄文時代）』（財）千葉県史料研究財団
渡辺修一　2000「御山遺跡」『千葉県の歴史　資料編　考古１（旧石器・縄文時代）』（財）千葉県史料研究財団

第2節　弥生時代・古墳時代

今回の43,700㎡を対象とした調査で検出された弥生時代・古墳時代の遺構は，竪穴住居跡38軒，方形周溝墓13基，古墳3基，溝1条である。これ以外には，縄文時代の陥穴と奈良・平安時代の遺構が若干あるだけで，遺跡の中心的な時代は，旧石器時代を別にすれば弥生時代・古墳時代である。この調査成果は，小櫃川右岸における弥生時代及び古墳時代前期の集落群の動態を考えるうえで，重要な資料を提供することとなった。しかし，同時に今回の調査は，東西約2km，南北約500mという広大な広がりを有する関畑遺跡の東端に，あたかも長大なトレンチを一本入れたような段階に過ぎず，未調査部分には相当数の竪穴住居跡をはじめとする遺構が存在するものと考えられる。

今回調査された関畑遺跡が含まれる根形台遺跡群は，その広大な範囲の一部が調査されるたびに様々な名称で呼ばれ，報告書が刊行されるたびに，名称の混乱が生じていた。さらに，過去の調査が西側台地を中心に行われていたため，東側台地の様相は不明な点が多かった。しかし，近年行われた君津郡市文化財センターを中心とした農道建設に伴う調査（以下，君津調査と略す）を契機に，根形台遺跡群と正式に改称され，ようやく，根形台遺跡群の様相も徐々にではあるが，明らかになりつつある。ここでは，これらの成果[1]をもとに，今回の調査結果とあわせることによって，根形台遺跡群の東側台地における弥生時代・古墳時代の遺構の展開について考えてみたい。

1　弥生時代中期

今回の調査区の北端で検出された7基の方形周溝墓（1－021・1－026・1－028・1－029・1－037・1－038・1－061）は，規模の違いから大型のもの5基と小型のもの2基に分けられる。四隅が切れるというその形態や少ないながらも出土している土器によって，弥生時代中期のものと考えられる。これらは台地縁辺部の狭い範囲内に列を作り，整然と構築されている。しかし，調査範囲が狭く，墓域の全体像を把握することはできなかった。調査区の両側にさらに墓域が展開するものと考えられる。

主体部が検出されたのは，1－026・1－028・1－029の3基で，いずれも長方形の土坑で，長軸長は2mを超すものである。木棺痕跡は確認できなかった。

西側台地のⅠ地点とⅢ地点2地区で検出された弥生時代中期の環濠は同一のもので，南北約160m，東西約140mほどの規模の環濠集落が想定されている。環濠の外側には方形周溝墓群が展開する。関畑遺跡に相当する根形台遺跡群の東側台地では，君津調査では弥生時代中期の遺構は検出されていない。今回の調査では方形周溝墓のみの検出であったが，東側台地においても弥生時代中期の集落が存在している可能性が高い。

2　弥生時代後期

今回の調査区の南端で竪穴住居跡が32軒，その北側で方形周溝墓5基（2－013・2－014・2－015・2－065・2－069）が検出された。

竪穴住居跡は重複が激しく複数の時期に分けられる可能性があるが，遺存状態や遺物の出土状況に大きく差があり，明確に時期を区分することはできなかった。おおむね君津編年[2]のⅢ期・Ⅳ期の時期に相当するものと考えられる。

方形周溝墓のうち，周溝の西辺のみが検出された2－069をのぞく4基は，溝が全周するものと一部が途

切れるものとに分けられる。4基は主体部が検出されている。いずれも長方形の土坑で，長軸長は2mを超すものである。木棺痕跡は2－065で確認された。さらに，2－065では周溝内からも主体部の可能性も考えられる小規模な土坑が検出されている。出土した土器は少ないが，周溝墓の時期は君津編年のⅢ期・Ⅳ期に相当する。これらの周溝墓は分布の上から，北側の2－065・2－069と南側の2－013・2－014・2－015という2つのグループに分けられる。北側のグループは今回の調査区外へと展開するものと考えられが，集落域との関連は明らかではない。南側のグループは，今回の調査区の南端で検出された住居跡を中心とする集落域の外側に展開する墓域と考えられる。今回の調査区の西側に位置する根形台遺跡群ⅩⅣ地点1地区では，弥生時代後期の竪穴住居跡と方形周溝墓が検出されている。広大な根形台遺跡群では，台地上の各所でこうした集落が営まれていたものと考えられる。

また，今回の調査区の西側に隣接するⅨ地点1地区で検出されたSD173とⅨ地点2地区で検出されたSD182は同一の遺構で，断面形態はV字状を呈し，弥生時代後期の環濠と考えられている。今回の関畑遺跡の調査では，2－046（084）という弥生時代後期の溝が検出されている。SD173やSD182とは，規模や形状が異なるものの，その方向性から環濠の可能性も考えられる。

3　古墳時代前期

今回の調査区の北側で4軒（1－045・1－057・1－075・1－076），南側で2軒（2－012・2－092）計6軒の竪穴住居跡が検出されている。また，北側の竪穴住居跡の南側で方形周溝墓が1基（1－054）検出されている。

竪穴住居跡の時期は，出土土器から君津編年のⅥ期・Ⅶa期と考えられる。方形周溝墓は周溝の一部が途切れるもので，出土土器から時期は君津編年のⅦa期と考えられる。

竪穴住居跡の分布は疎らで，集落域がどのように展開するかは明らかではない。ただし，今回検出された竪穴住居跡の北側に位置する君津調査のⅩⅠ地点では古墳時代前期の集落が確認されており，今回検出された竪穴住居跡との関連も考えられる。

4　古墳時代後期

今回の調査区の南端で1基（2－086），南東部で2基（2－020・2－026）の古墳が検出された。いずれも墳丘は既に失われ，主体部も検出されなかった。周溝内からは完形あるいはそれに近い遺存度の土器が出土しており，6世紀後半の年代が与えられる。

根形台遺跡群の東側台地の南側縁辺部には，前方後円墳1基・円墳5基からなる宮ノ後古墳群が従来から知られていた。君津調査では，Ⅷ・Ⅸ・ⅩⅡ・ⅩⅣ地点などで，前方後円墳1基，円墳5基，方墳2基が検出されている。今回の調査で検出された3基をあわせると，11基の古墳群となる。調査されたのはいずれも墳丘が削平されたものであることから，台地縁辺部にはこれ以外にも多くの古墳が存在するものと考えられる。なお，これ以外に墳丘が遺存している古墳が4基ある。

このように，根形台遺跡群をのせる台地上の各地点では，弥生時代から古墳時代にかけて，多くの遺構が展開していたことが明らかとなった。しかし，根形台遺跡群V地点1地区・2地区の調査結果は，台地中央の平坦部は遺構分布が希薄であることを示している。今回の調査でも，調査区中央部は陥穴や溝しか

検出されていない。広大な根形台遺跡群は台地縁辺部と中央の平坦部では遺構の粗密に大きな差があったことが考えられる。

以上のように，関畑遺跡が含まれる根形台遺跡群は，弥生時代中期には環濠集落が成立し，その後後期に至って集落は拡大，その傾向はさらに古墳時代前期まで継続していることが明らかになった。そしてその集落は，台山遺跡や山谷遺跡をはじめとする小櫃川右岸の集落群[3]の母体とも言える拠点的な集落[4]と考えられる。

注1　當眞紀子　2003「根形台遺跡群」『千葉県の歴史　資料編　考古2（弥生・古墳時代）』千葉県

2　君津郡市文化財センター　1996「君津地方における弥生後期～古墳前期の諸様相」『研究紀要』Ⅶ

3　ただし，台地上だけではなく，低地上の拠点集落にも注意する必要がある。例えば，小櫃川中流域右岸の西原遺跡では，弥生時代中期の二重の環濠が検出され，古墳時代前期までの遺構・遺物が大量に検出されている。

伊藤伸久　2003「西原遺跡」『千葉県の歴史　資料編　考古2（弥生・古墳時代）』千葉県

4　石川日出志　2000「南関東の弥生社会展開図式・再考」『大塚初重先生頌寿記念考古学論集』

写　真　図　版

関畑遺跡周辺航空写真（平成4年撮影）

図版2

第Ⅰa文化層Bユニット
第7～13ブロック
遺物出土状況

第Ⅰb文化層Cユニット
第16ブロック遺物出土状況

第Ⅰb文化層Cユニット
第17ブロック遺物出土状況
（南から）

第Ⅱa文化層
第20，21ブロック
遺物出土状況

第Ⅳa文化層
第28～34ブロック
遺物出土状況

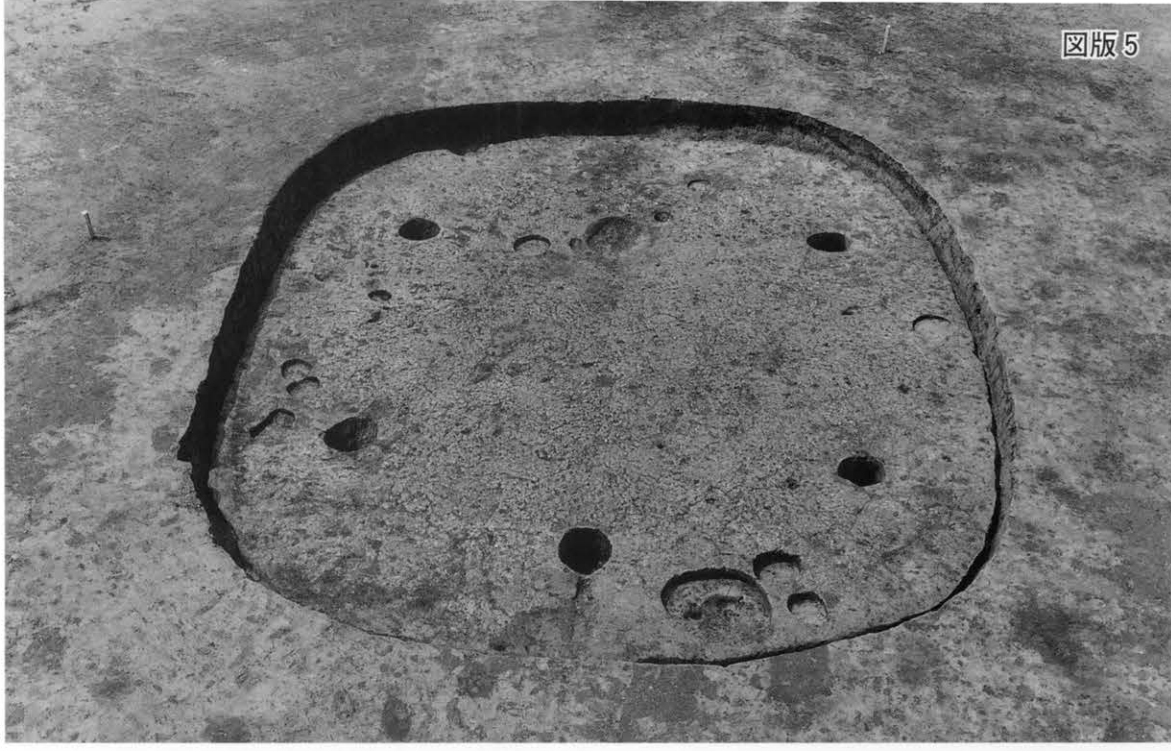
第Ⅳa文化層
第28～34ブロック
遺物出土状況

図版 4

第Ⅵ文化層
第49ブロック遺物出土状況
（南から）

第Ⅶ文化層遺物出土状況

第Ⅶ文化層遺物出土状況



2 －001全景

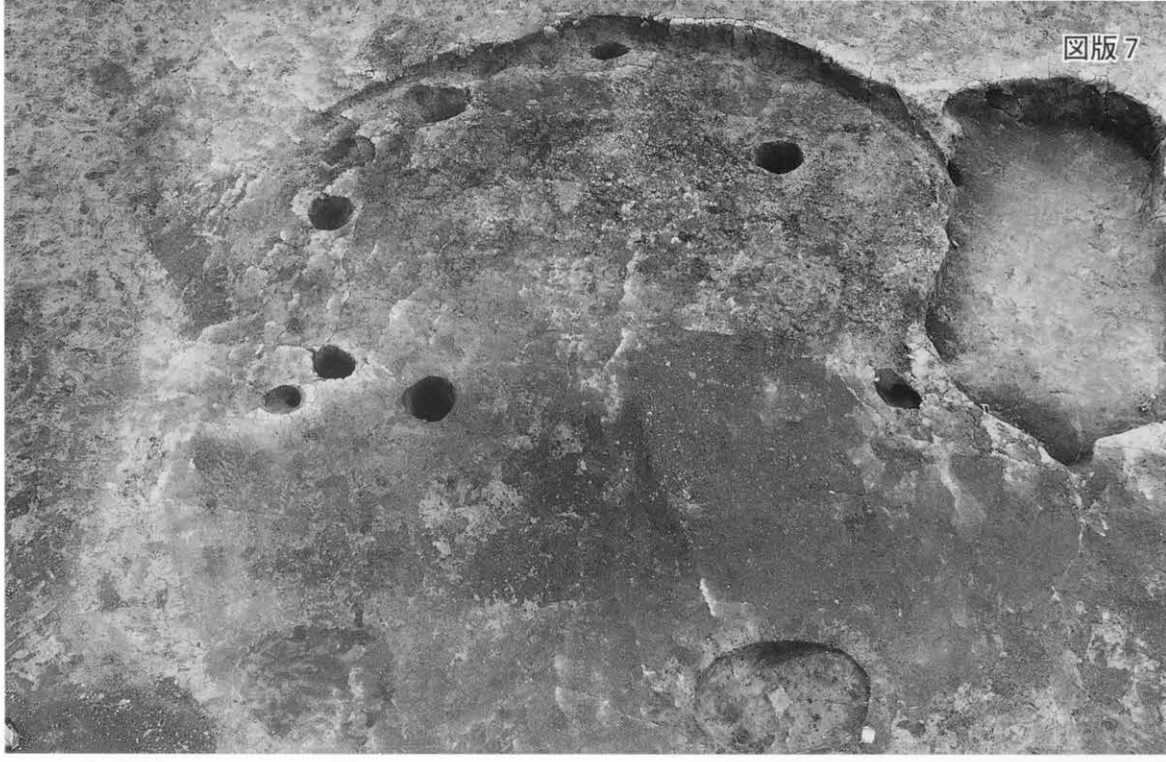
2 －003全景

2 －004全景

2 －005全景

2 －006全景

2 －007全景



2 －009全景

2 －021全景

2 －025全景

図版8

2 －080全景

2 －083全景

2 －088・091全景

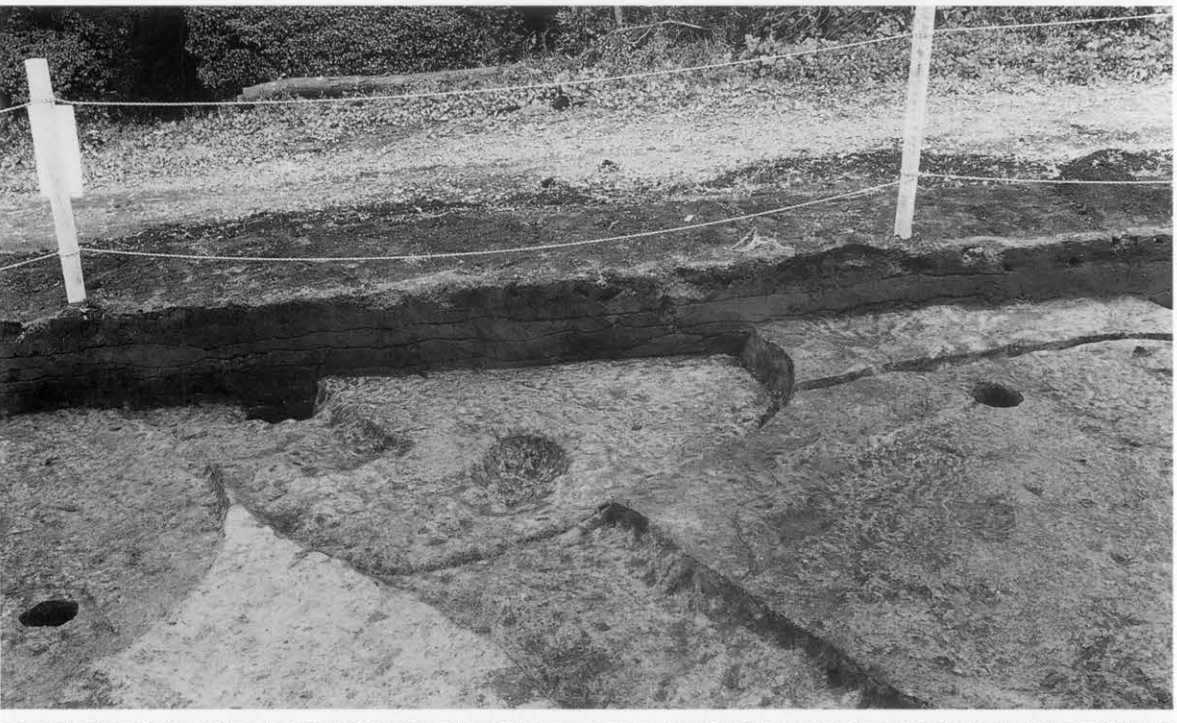
2 －087全景

2 －089全景

2 －093全景

図版10

2 －094・096全景



2 －097全景

2 －098全景

2－099全景

2－100全景

2－103全景

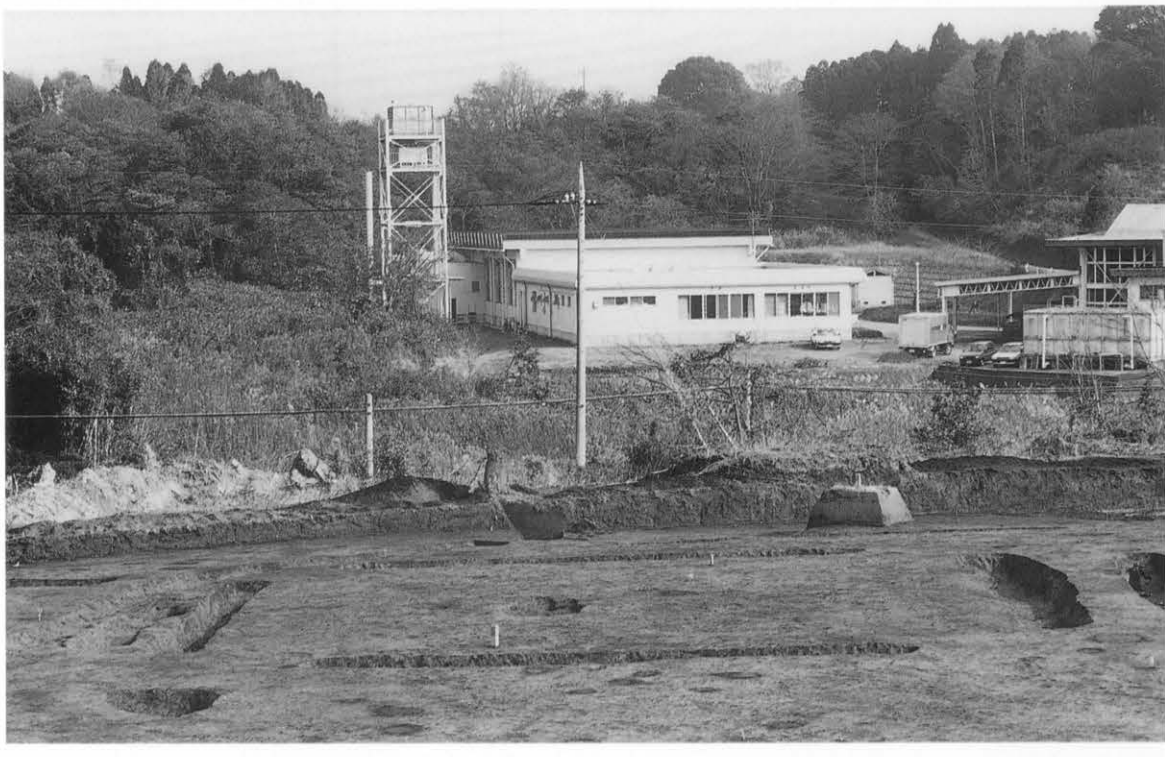
図版12

方形周溝墓群

方形周溝墓群

1－021全景

1－021遺物出土状況



1－026全景

1－029全景

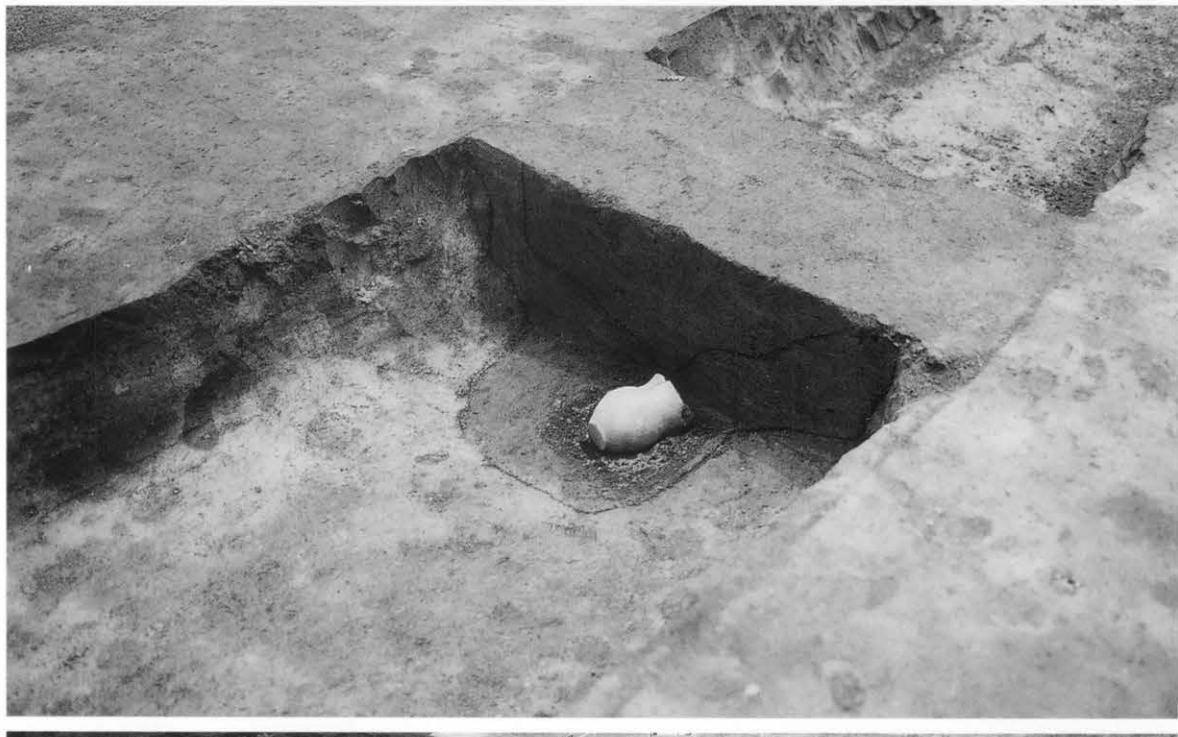
図版14

1－037全景

1－038全景

1－061全景

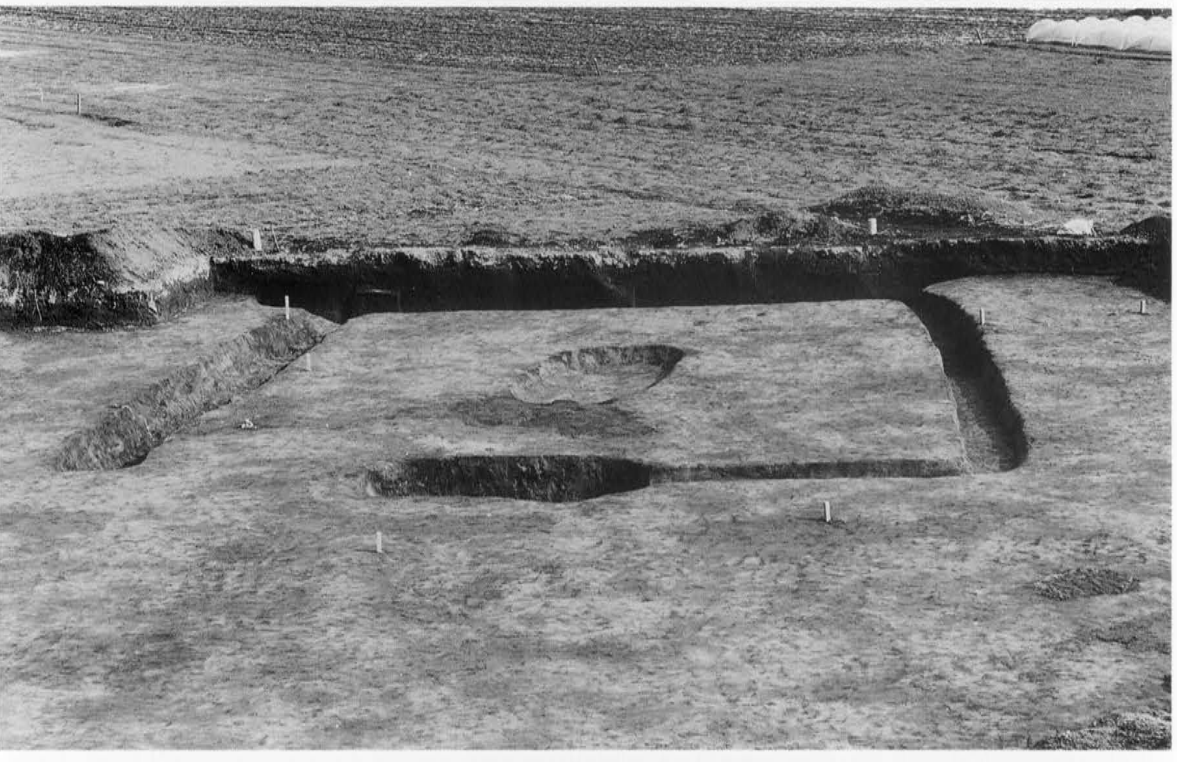
2－013全景



2－013遺物出土状況

2－014全景

2 －015全景



2 －065全景

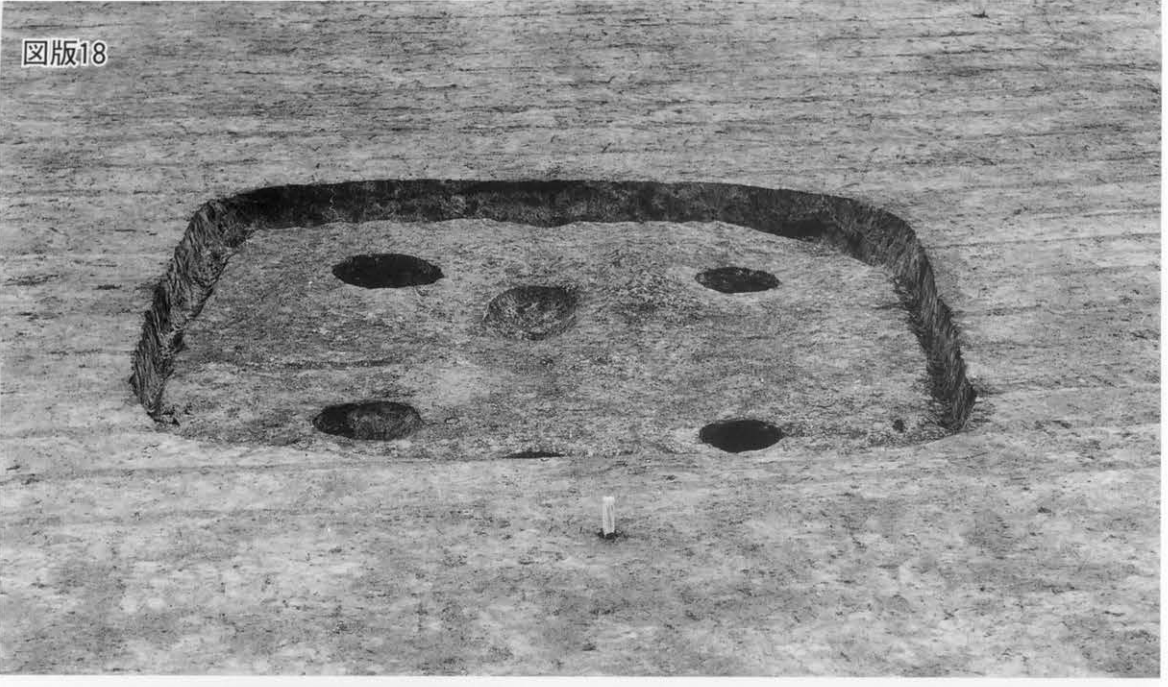
2 －065遺物出土状況

1－045全景

1－057全景

1－075全景

図版18



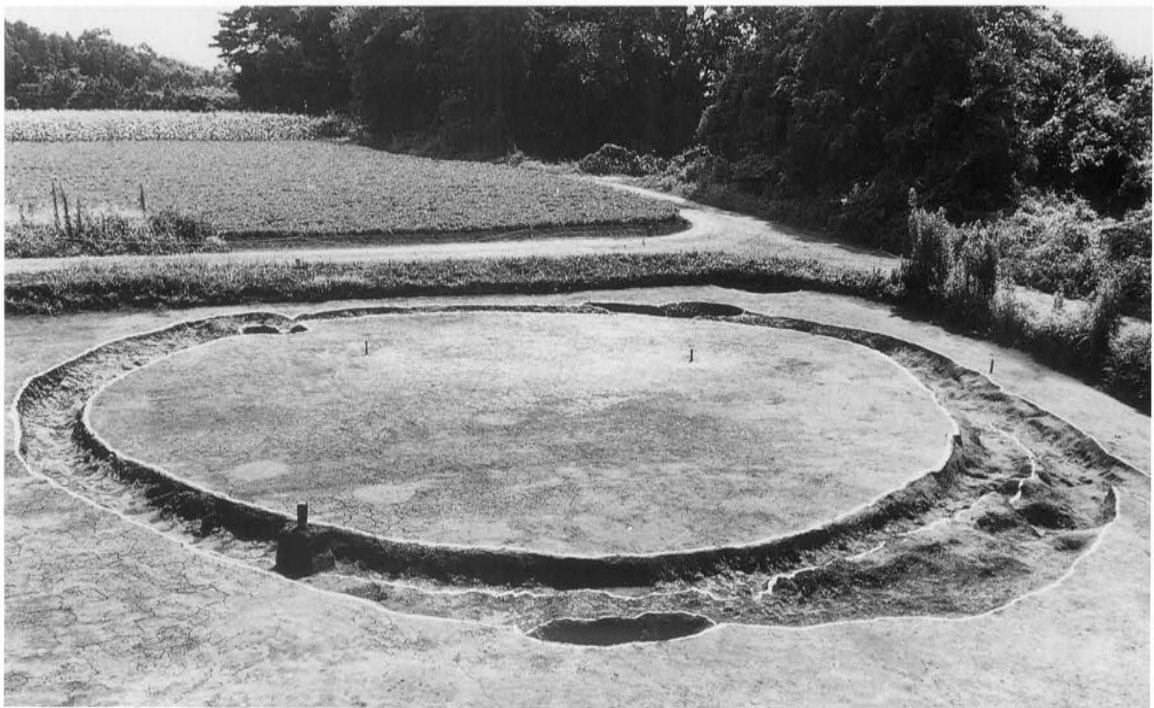
1－076全景

2－012全景

2－092全景

1－054全景

1－054遺物出土状況



2－020全景

図版20

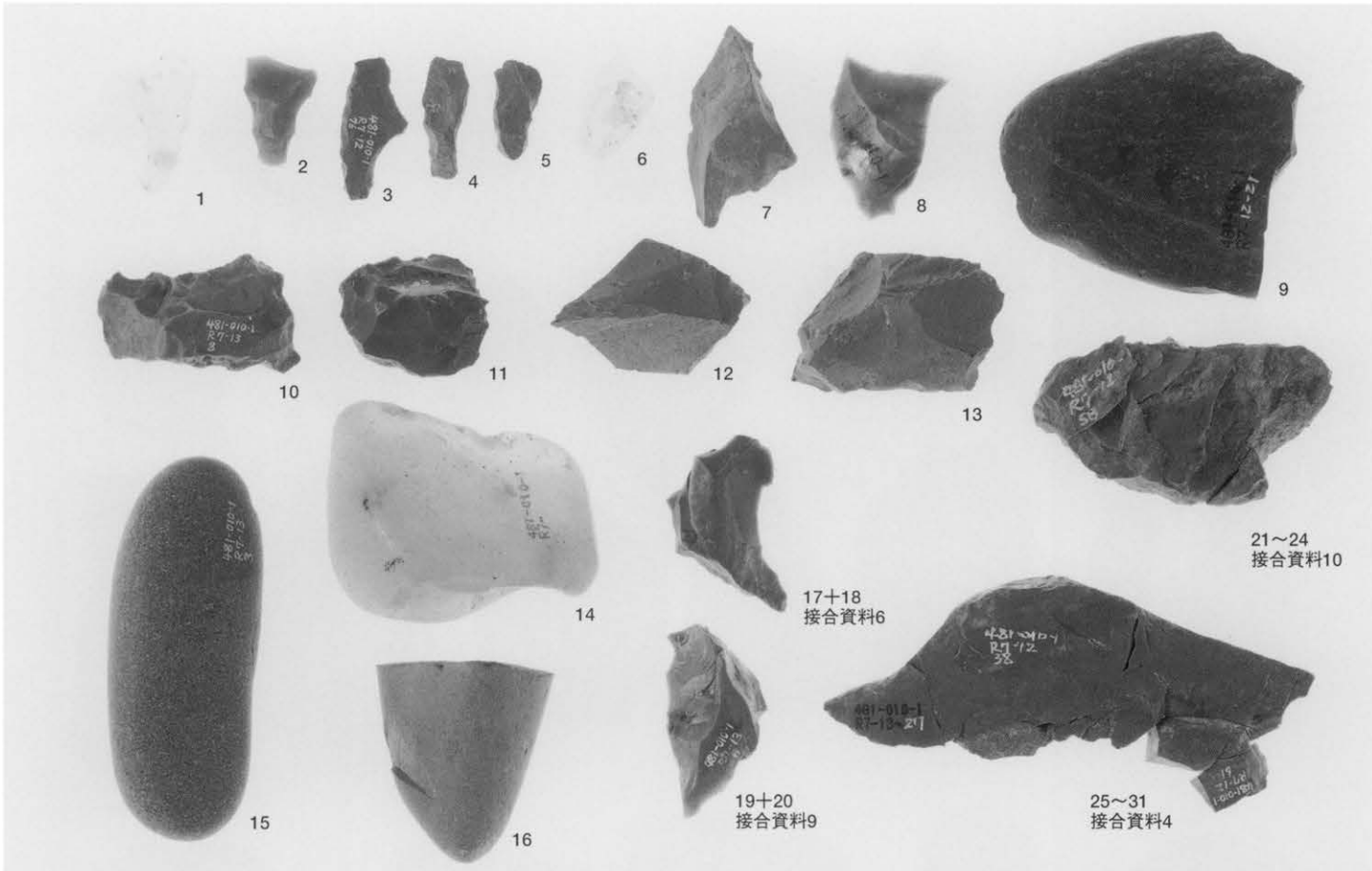
2 －026全景

2 －008全景

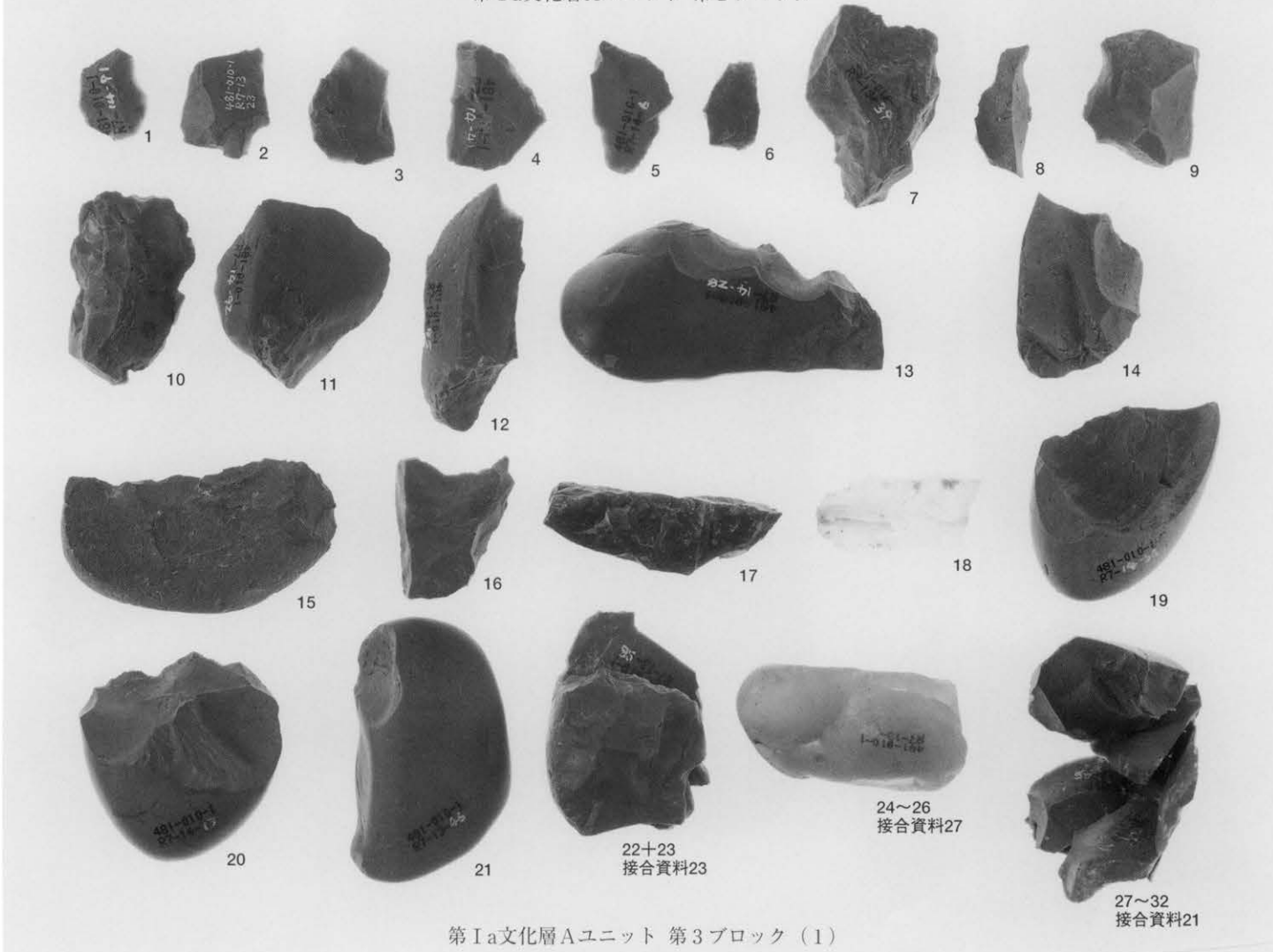
2 －011全景

第Ⅰa文化層Aユニット 第1ブロック

第Ⅰa文化層Aユニット（1）

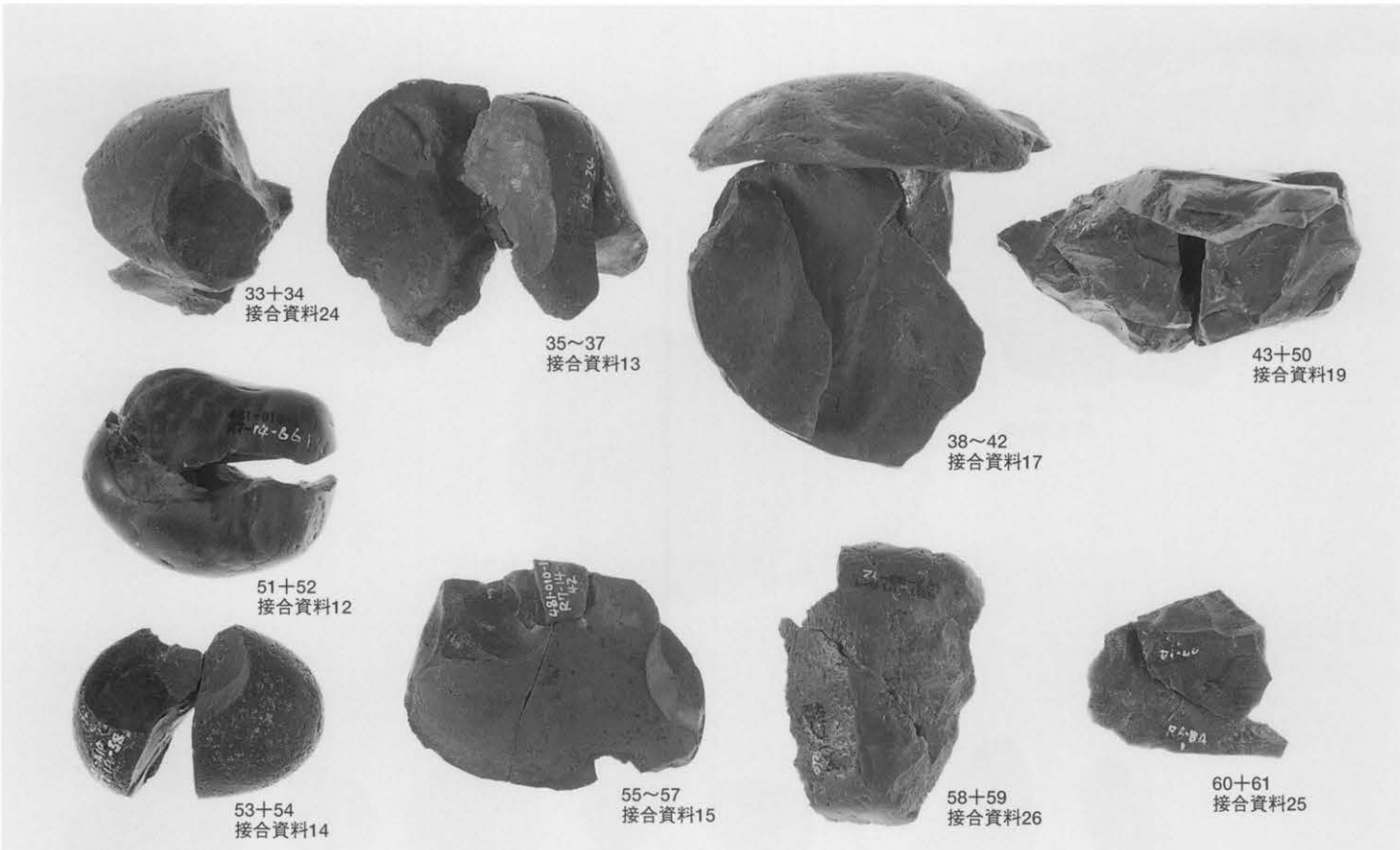


第Ⅰa文化層Aユニット 第2ブロック

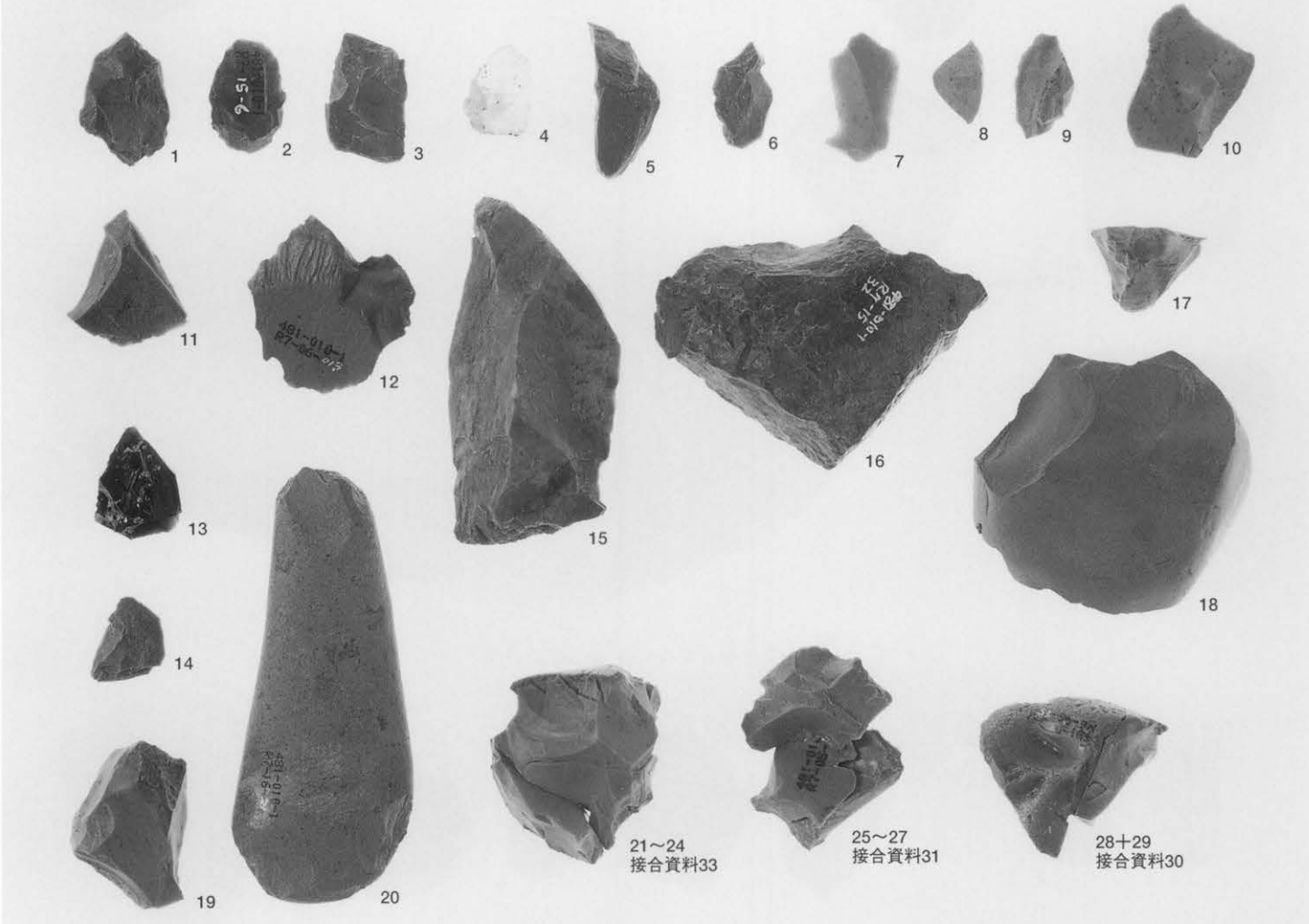


第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック（1）

第Ⅰa文化層Aユニット（2）



第Ⅰa文化層Aユニット 第3ブロック（2）



第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック（1）

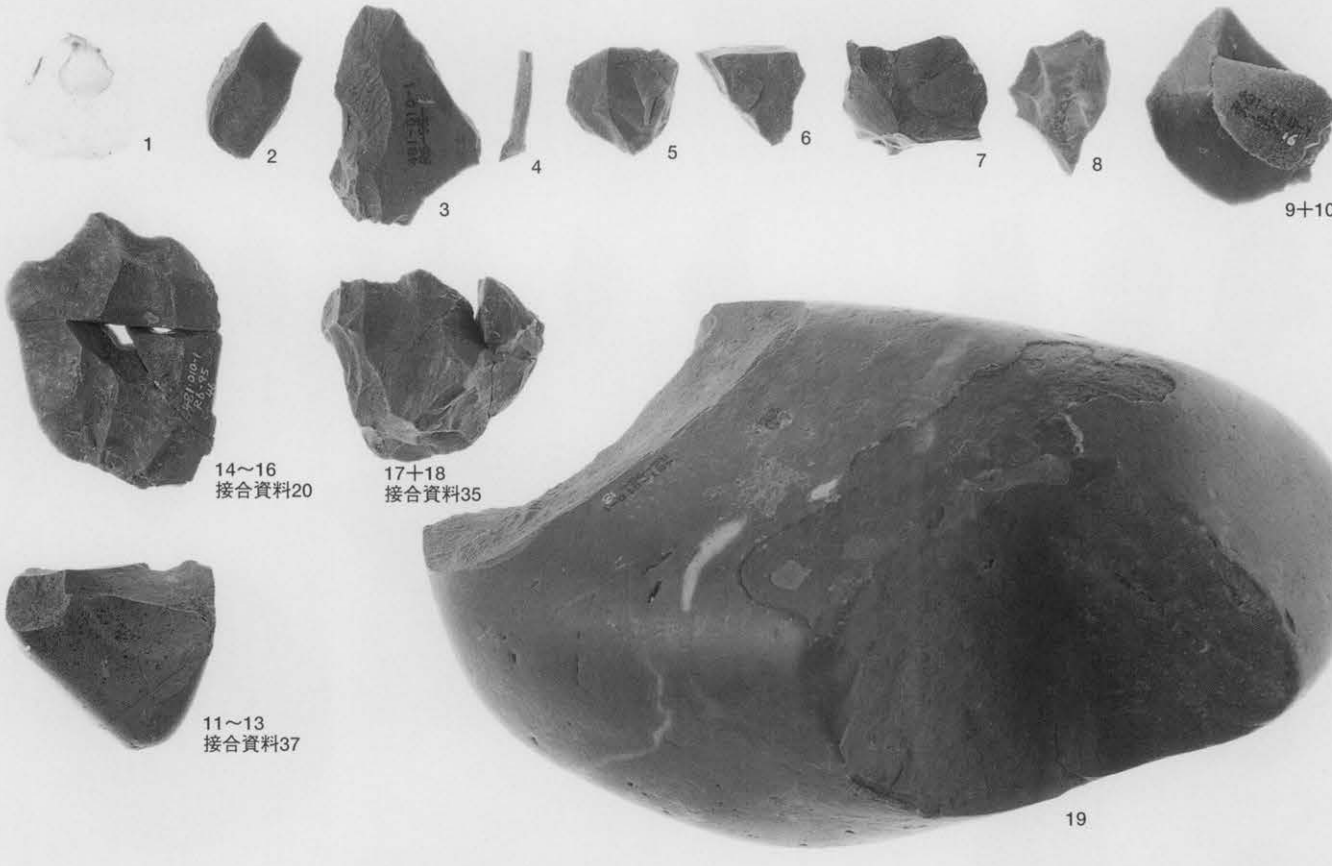
第Ⅰa文化層Aユニット（3）

31～34
接合資料29

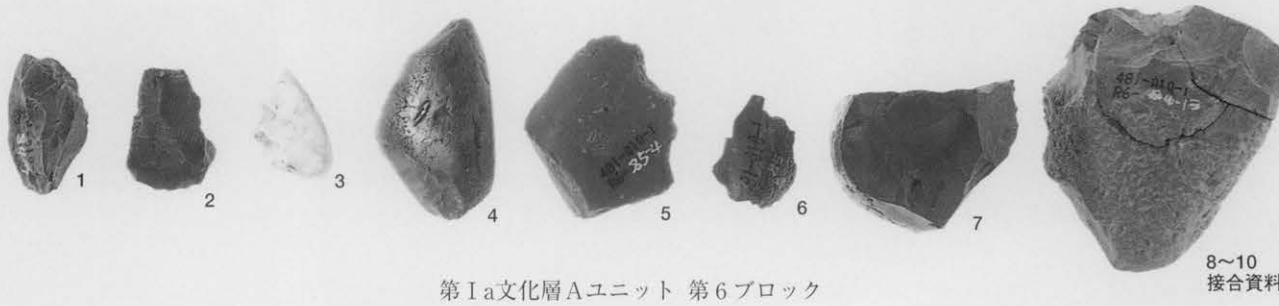
35～40
接合資料32

41～43
接合資料28

第Ⅰa文化層Aユニット 第4ブロック（2）



第Ⅰa文化層Aユニット 第5ブロック

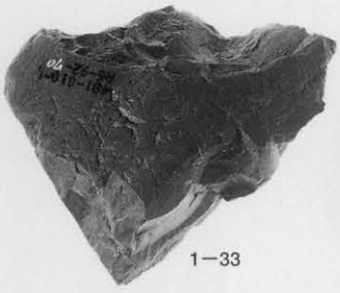


第Ⅰa文化層Aユニット 第6ブロック

第Ⅰa文化層Aユニット（4）

1−31

1−32


1−33

接合資料１

1−34
（Ｂユニット出土）

1−35
（Ａユニット出土）

1−36
（Ａユニット出土）

1−37
（Ｂユニット出土）

接合資料３

2−17

2−18

接合資料６

2−19

2−20

接合資料９

3−22

3−23

接合資料10

3−24

3−25

3−26

接合資料27

3−27

3−28

3−29

3−30

3−31

3−32

接合資料21

3−33

3−34

接合資料24

3−36

3−35

3−37

接合資料13

第Ⅰa文化層Ａユニット接合資料単体（１）

3−38

3−39

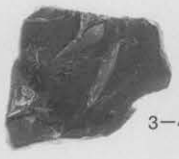
3−40

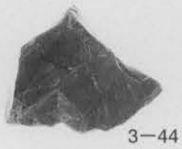
3−41

3−42

接合資料17

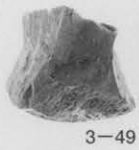
3−43


3−45


3−44

3−46+47

3−48


3−49

3−50

接合資料19

3−51

3−53

3−52

3−54

接合資料12

接合資料14

3−56

3−57

接合資料15

4−21

4−22

4−25

4−26

3−58

3−59

接合資料26

4−24

4−23

4−27

接合資料33

接合資料31

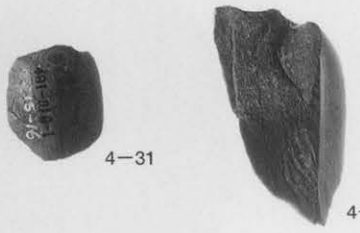
4−30

4−28

4−29

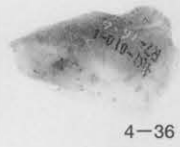
接合資料30

第Ⅰa文化層Aユニット接合資料単体（2）


4−31

4−33

4−35


4−36

4−37

4−38

4−39

4−32

4−34

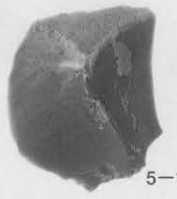
接合資料29

4−40

接合資料32

4−41

4−42


5−10

5−9

接合資料36

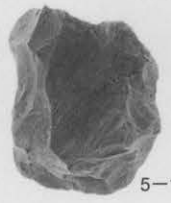
4−43

接合資料28

5−11

5−12

5−17


5−18

接合資料35

5−13

接合資料37

5−14

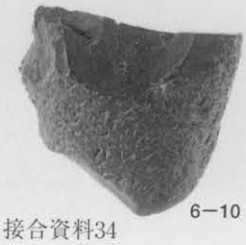
5−15

5−16

接合資料20

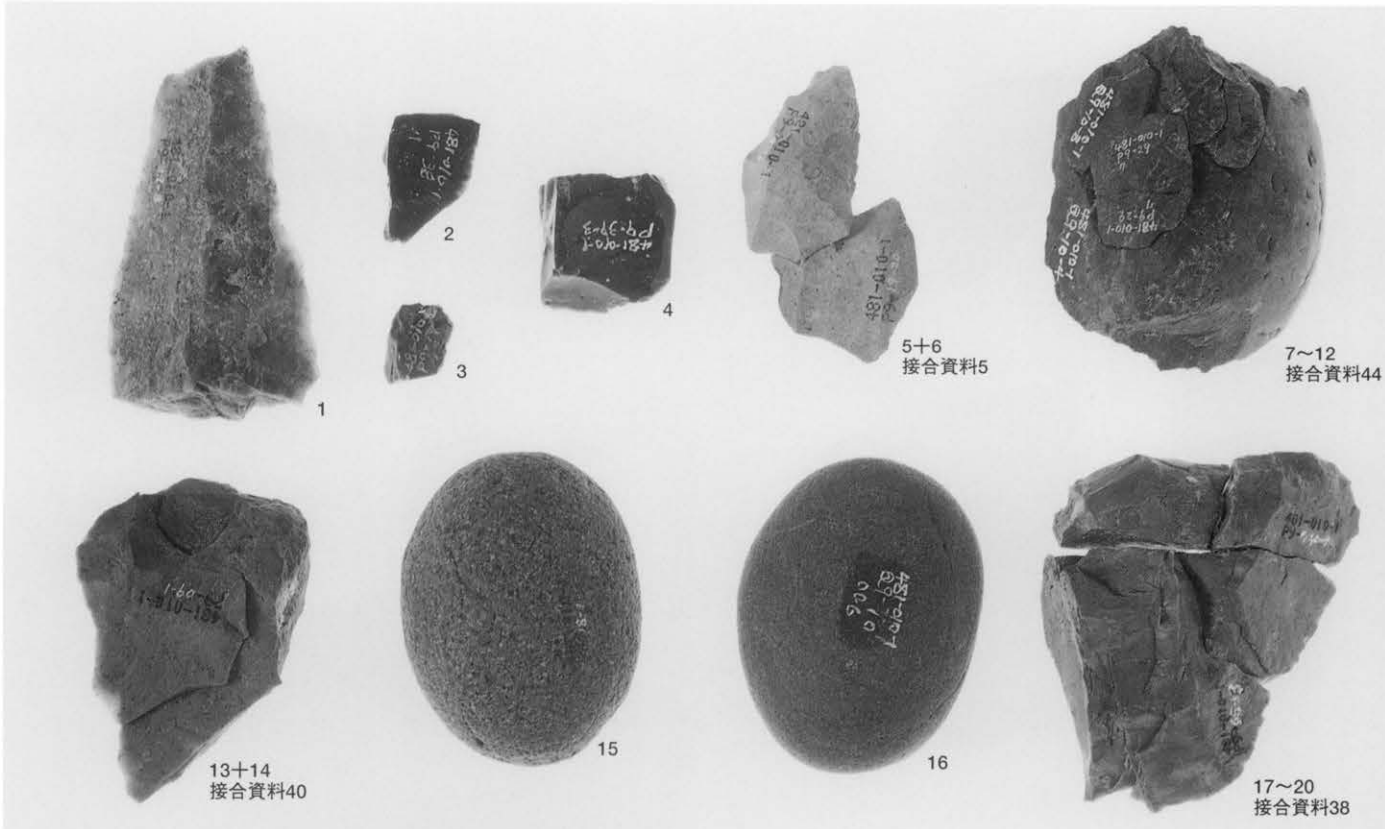
6−9

6−8

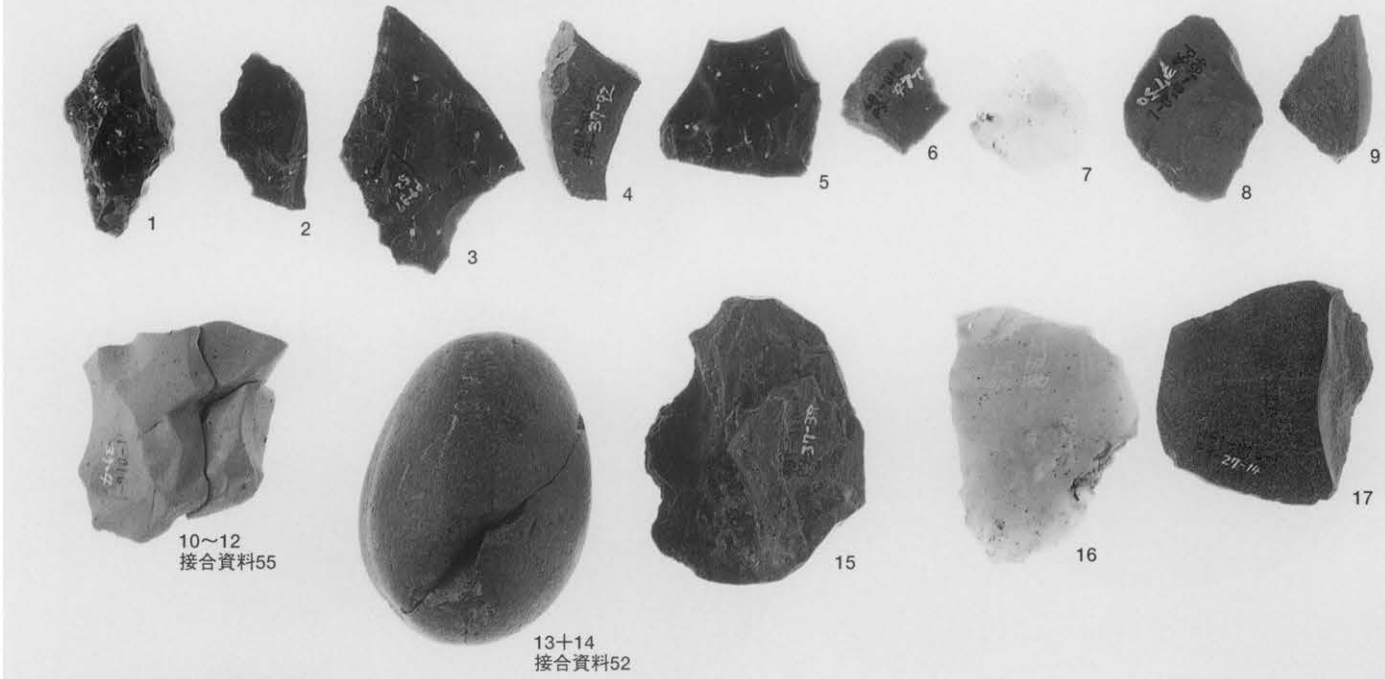

6−10

接合資料34

第Ⅰa文化層Aユニット接合資料単体（3）

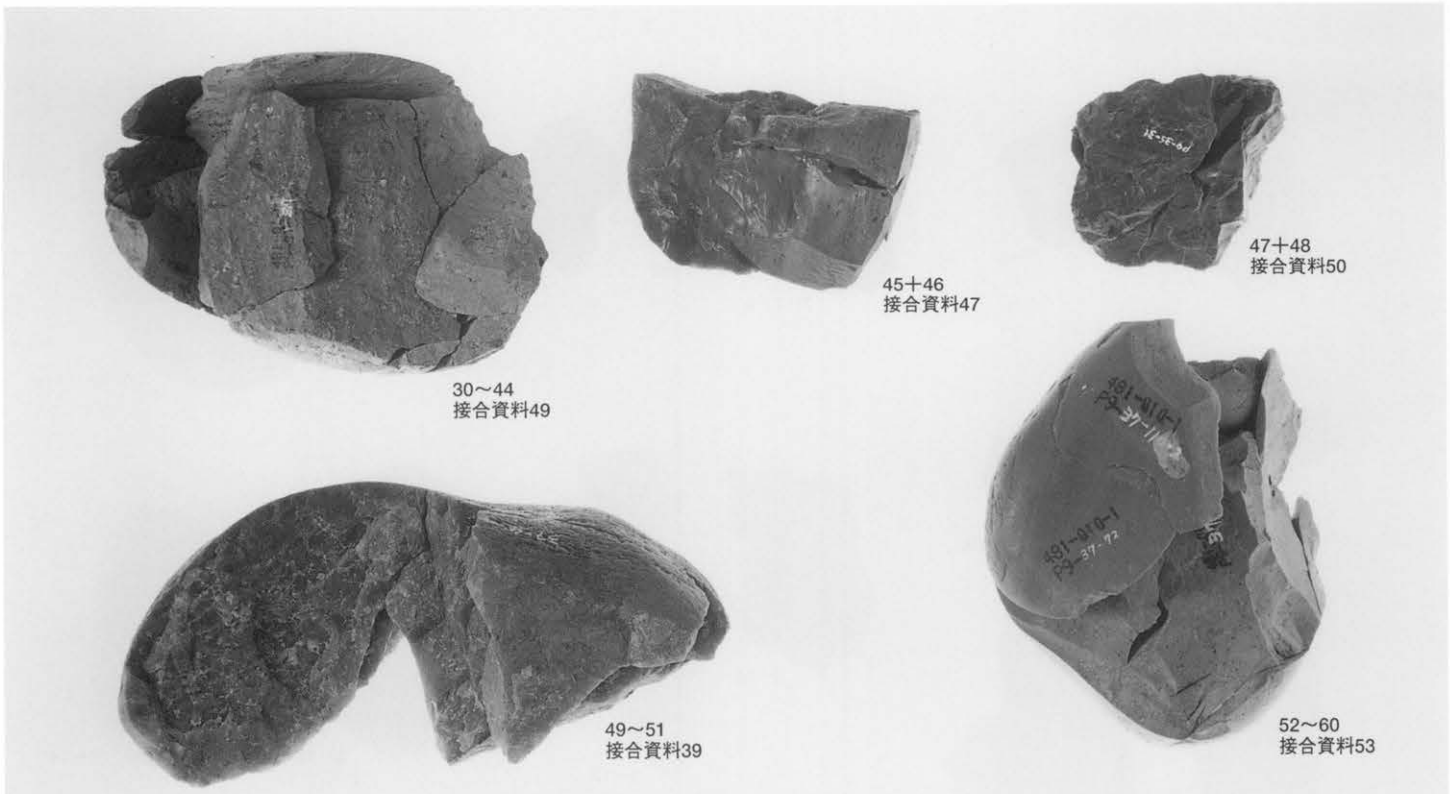


第Ⅰa文化層Bユニット 第7ブロック

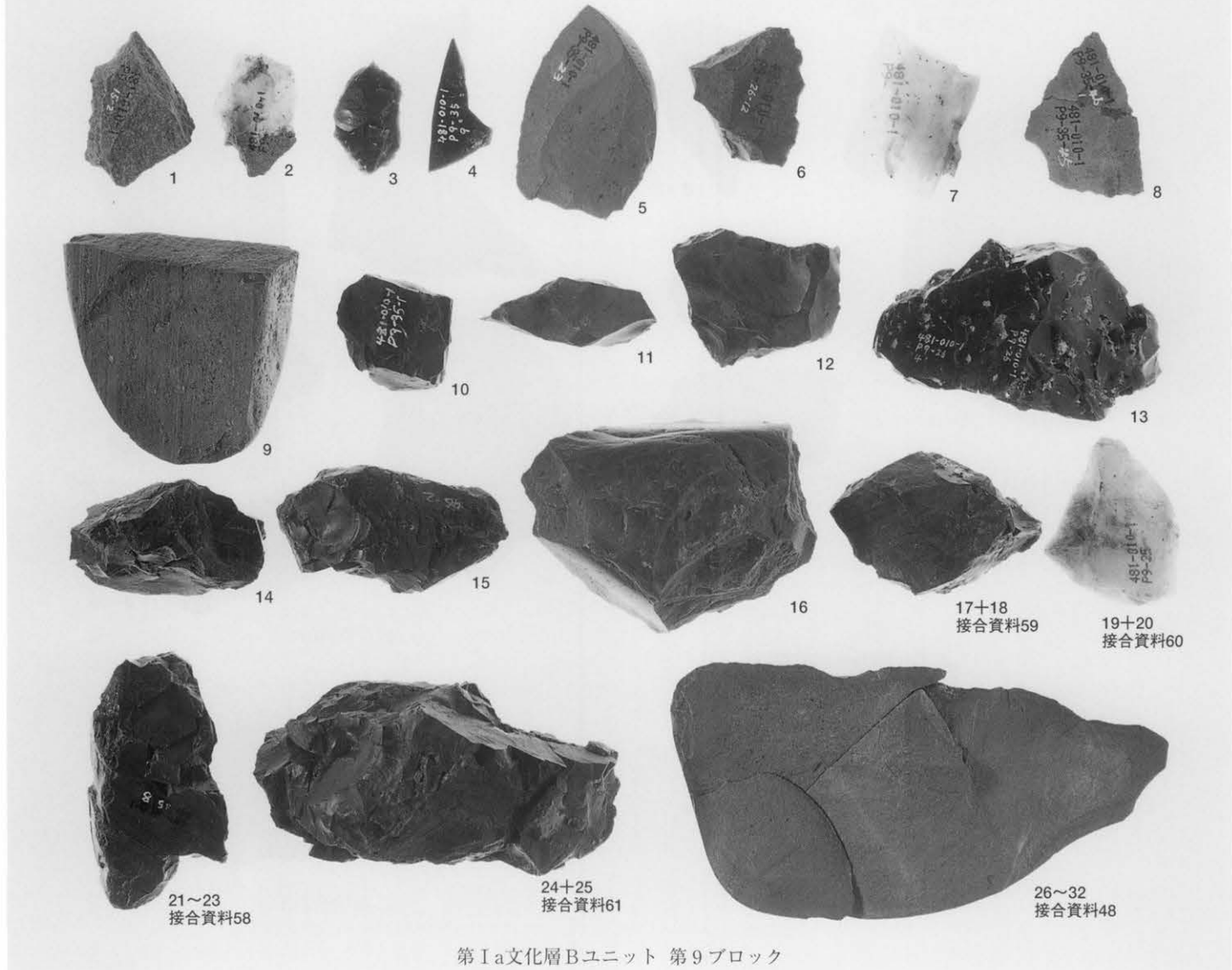


第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック（1）

第Ⅰa文化層Bユニット（1）

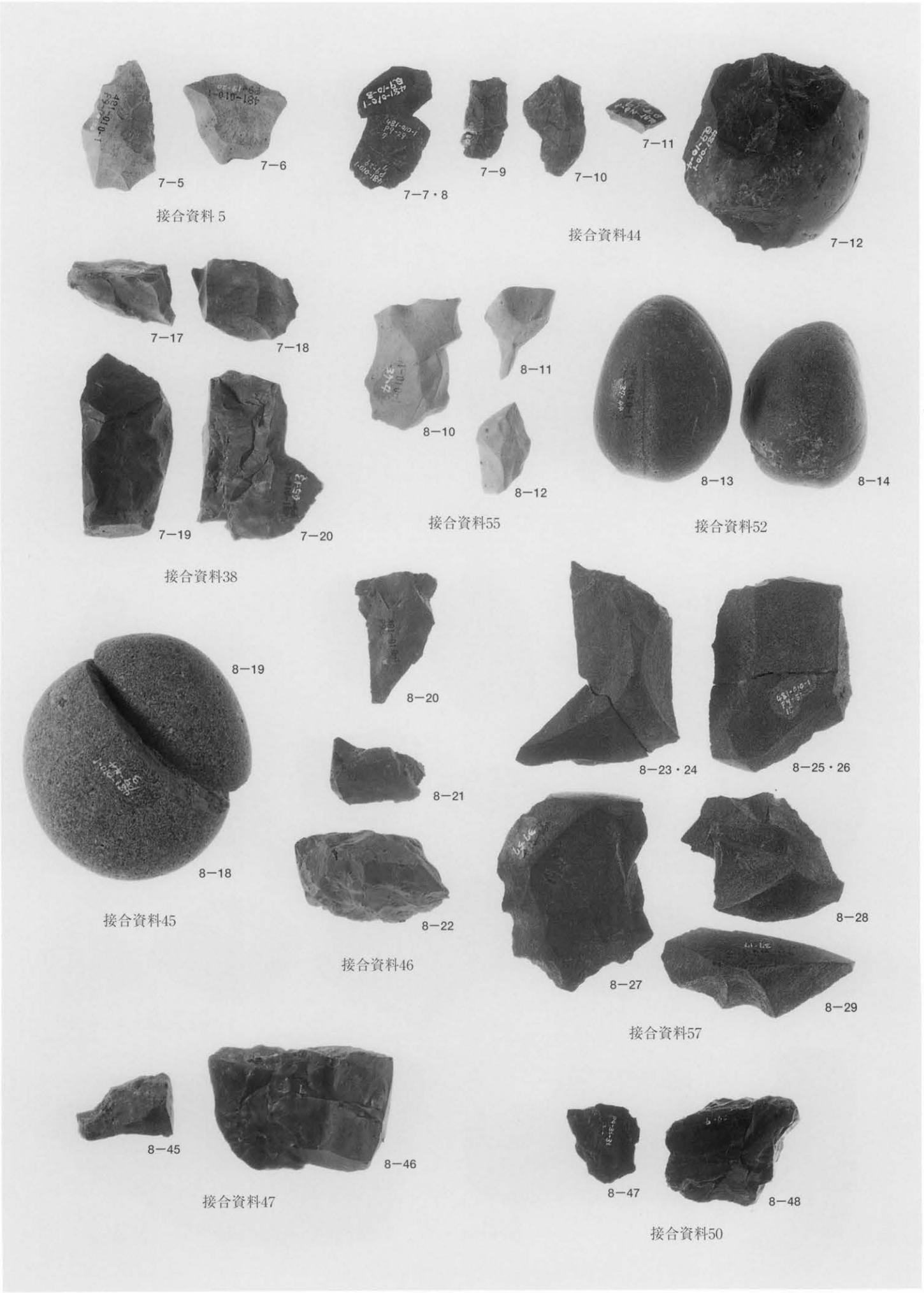


第Ⅰa文化層Bユニット 第8ブロック（2）

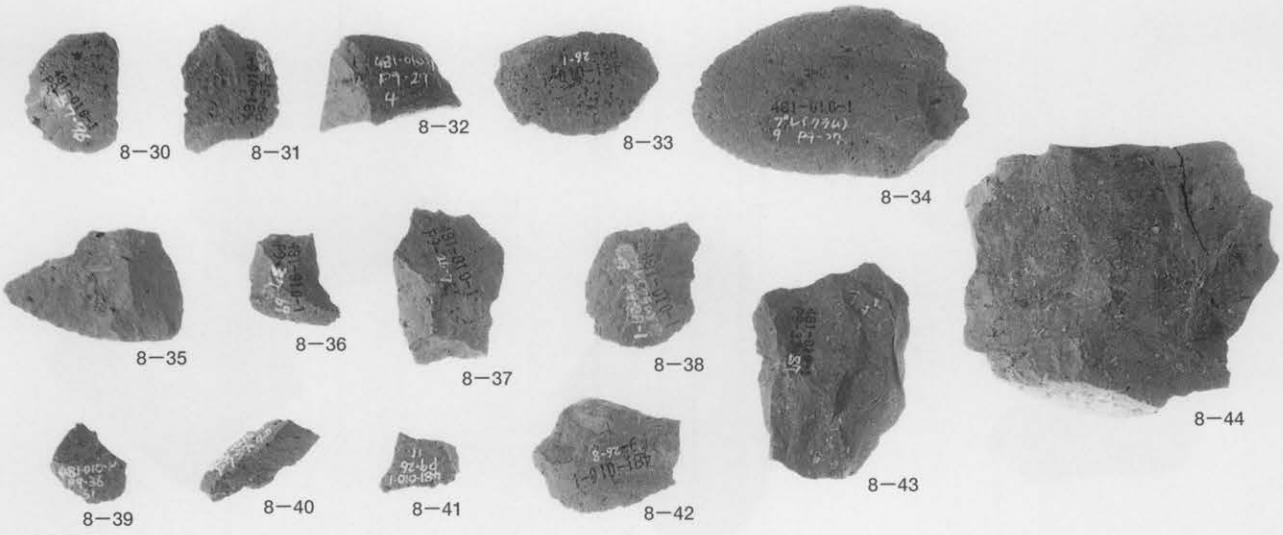


第Ⅰa文化層Bユニット 第9ブロック

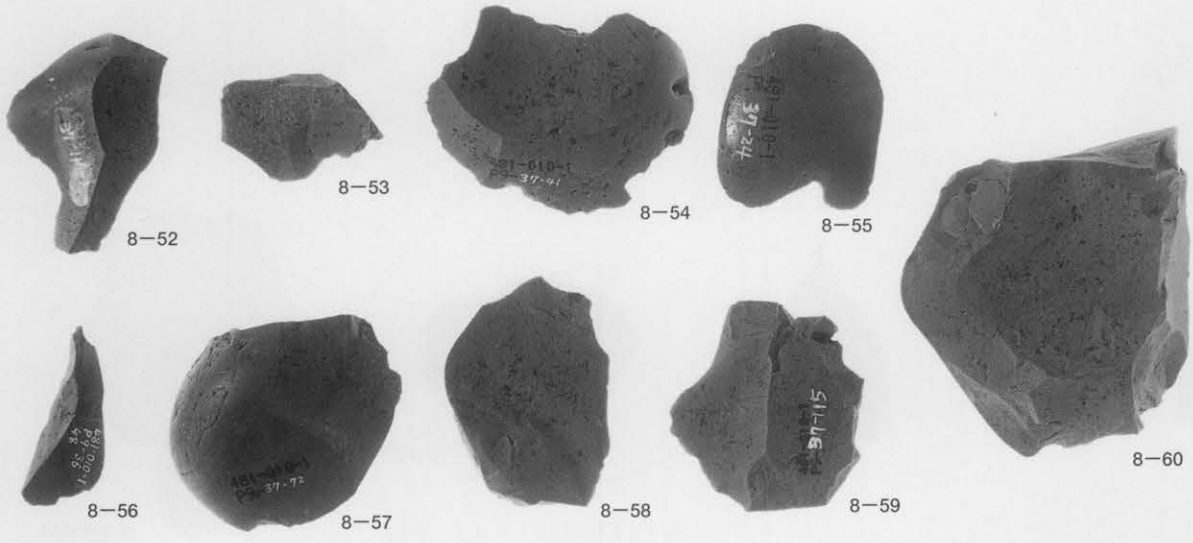
第Ⅰa文化層Bユニット（2）



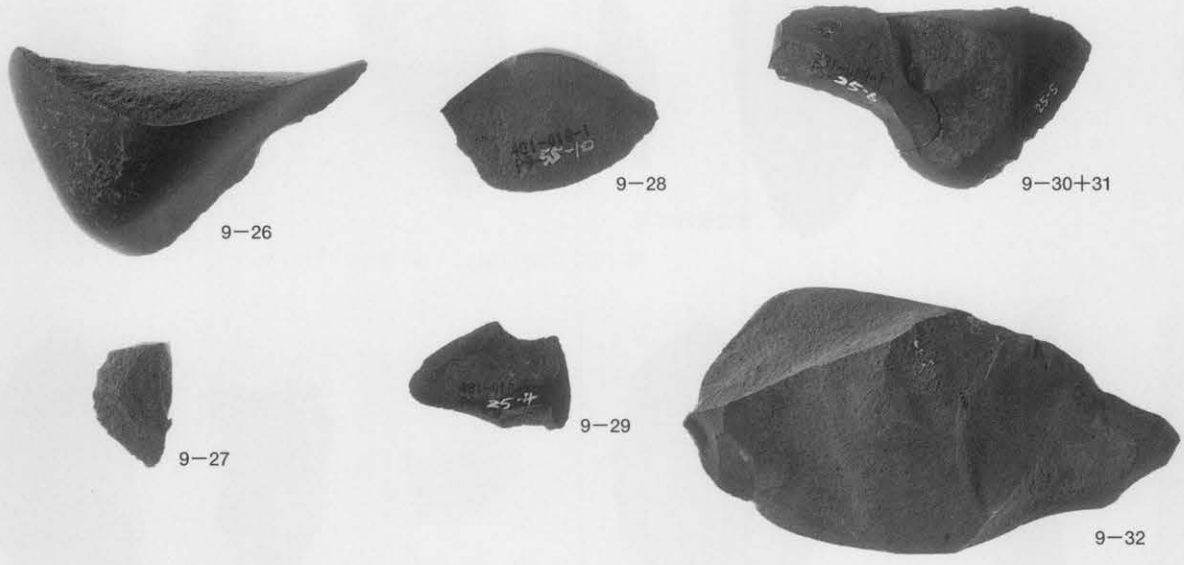
第Ⅰa文化層Bユニット接合資料単体（1）



接合資料49

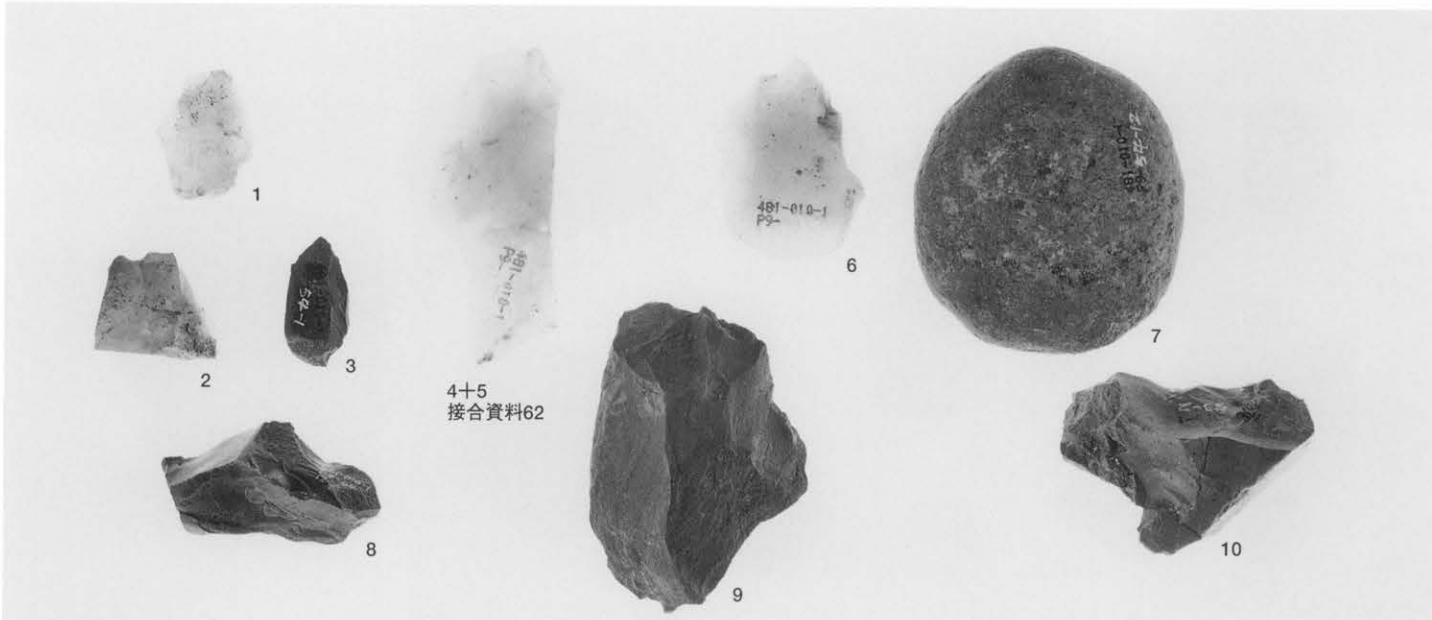


接合資料53



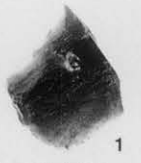
接合資料48

第Ⅰa文化層Bユニット接合資料単体（2）



第Ⅰa文化層Bユニット 第10ブロック

第Ⅰa文化層Bユニット 第11ブロック

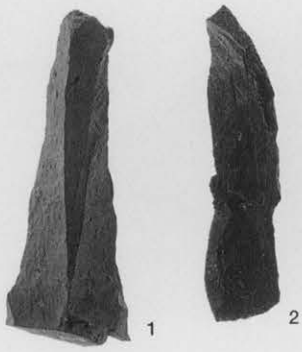


第Ⅰa文化層Bユニット
第12ブロック

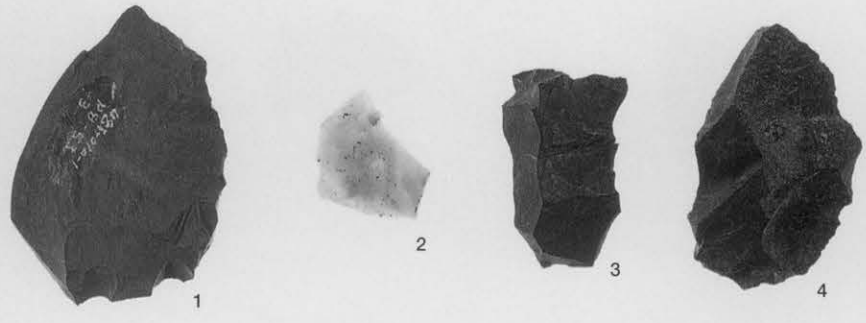
第Ⅰa文化層Bユニット 第13ブロック

第Ⅰb文化層Cユニット
第14ブロック

第Ⅰb文化層Cユニット 第15ブロック

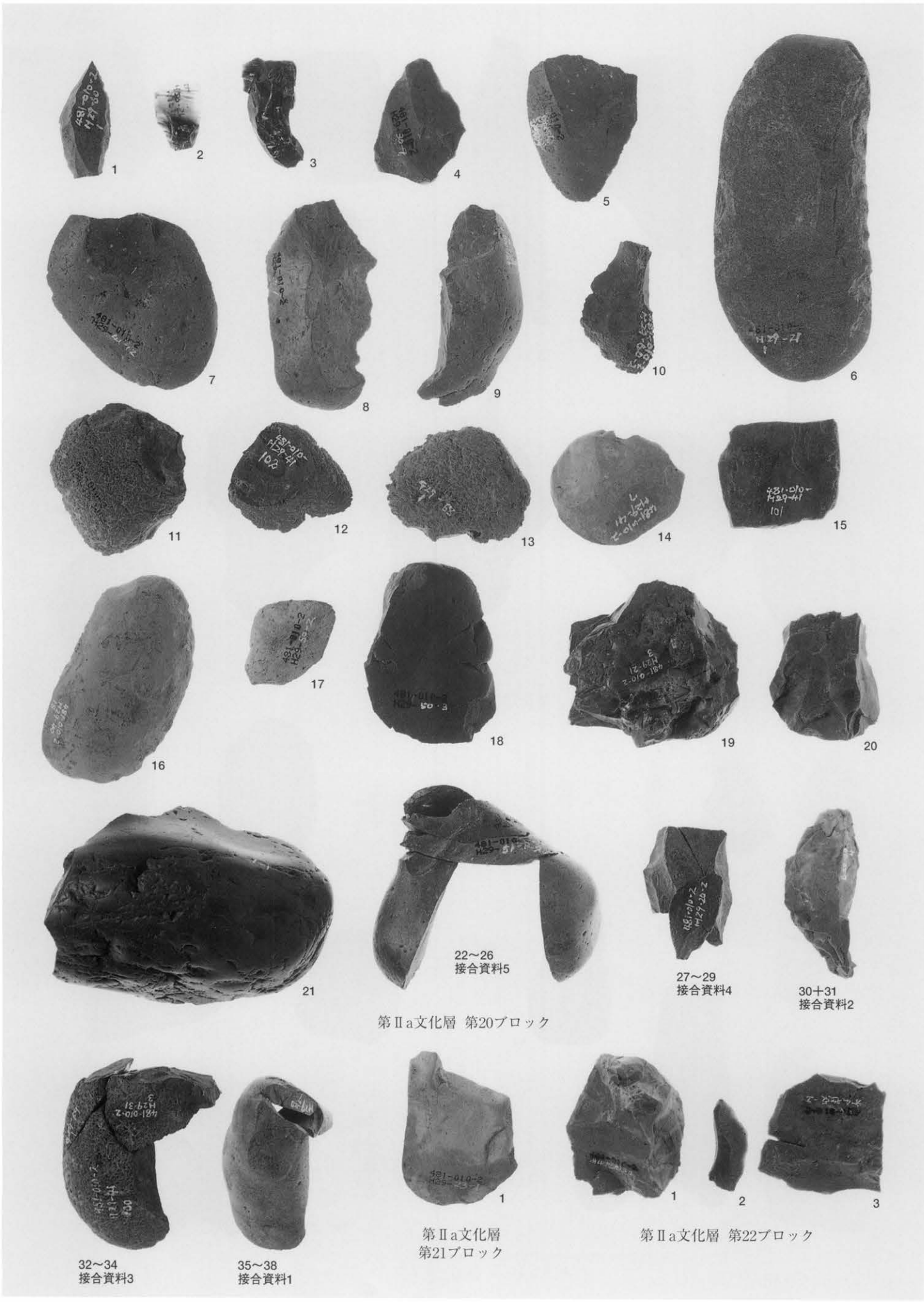


第Ⅰb文化層Cユニット 第16ブロック



第Ⅰb文化層Cユニット 第17ブロック

第Ⅰa文化層Bユニット（3）・第Ⅰb文化層Cユニット



第Ⅱa文化層 第20ブロック

22～26
接合資料5

27～29
接合資料4

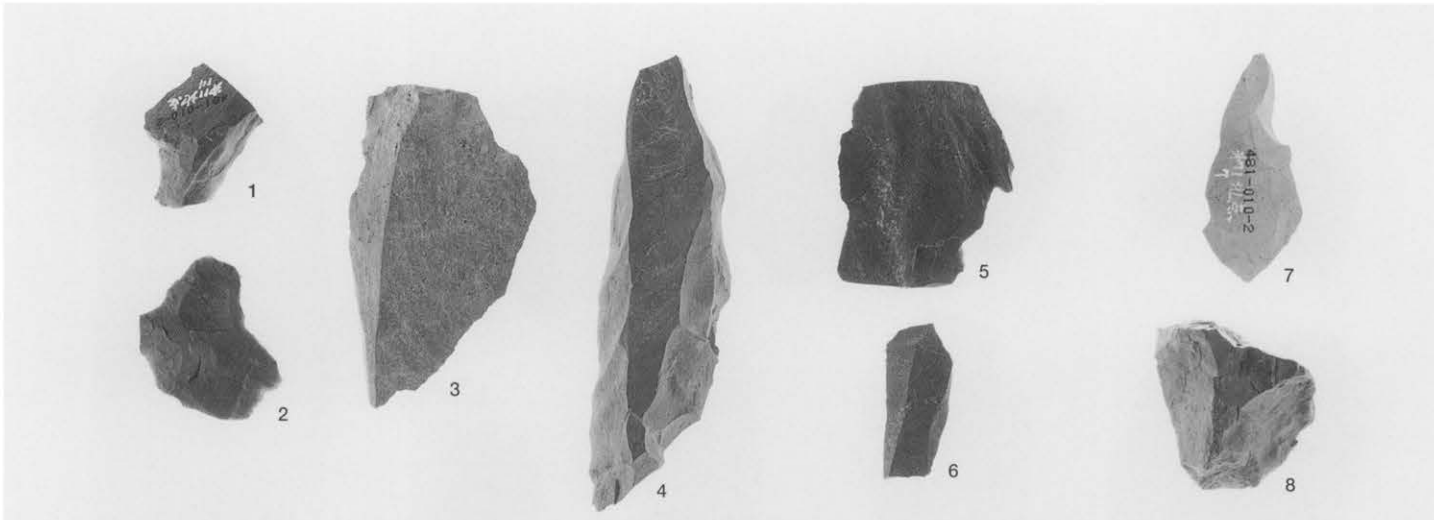
30＋31
接合資料2

32～34
接合資料3

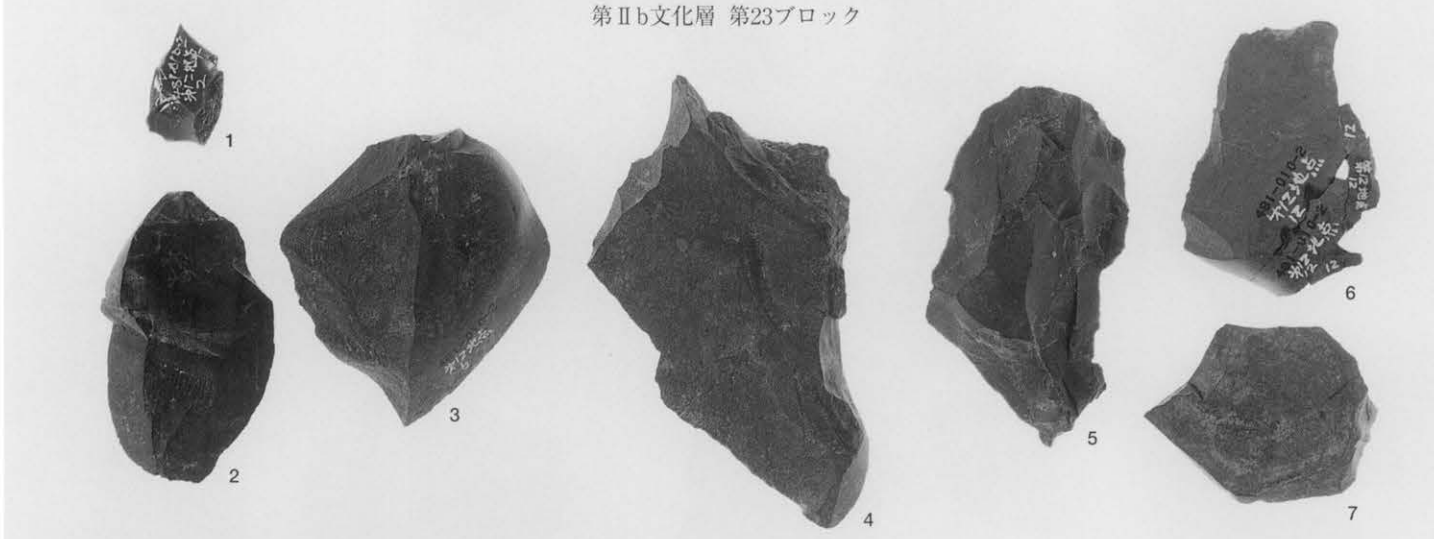
35～38
接合資料1

第Ⅱa文化層
第21ブロック

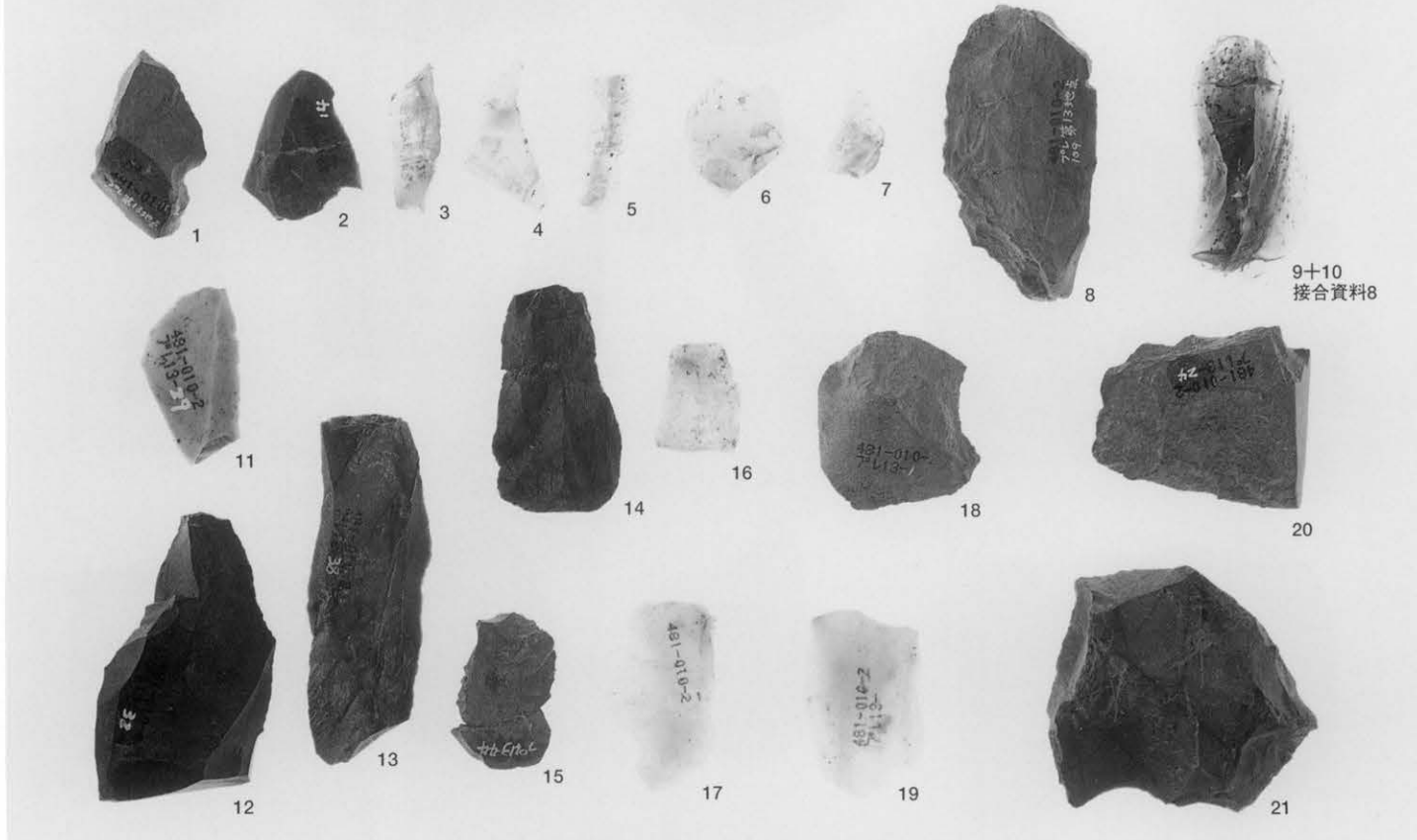
第Ⅱa文化層 第22ブロック



第Ⅱb文化層 第23ブロック

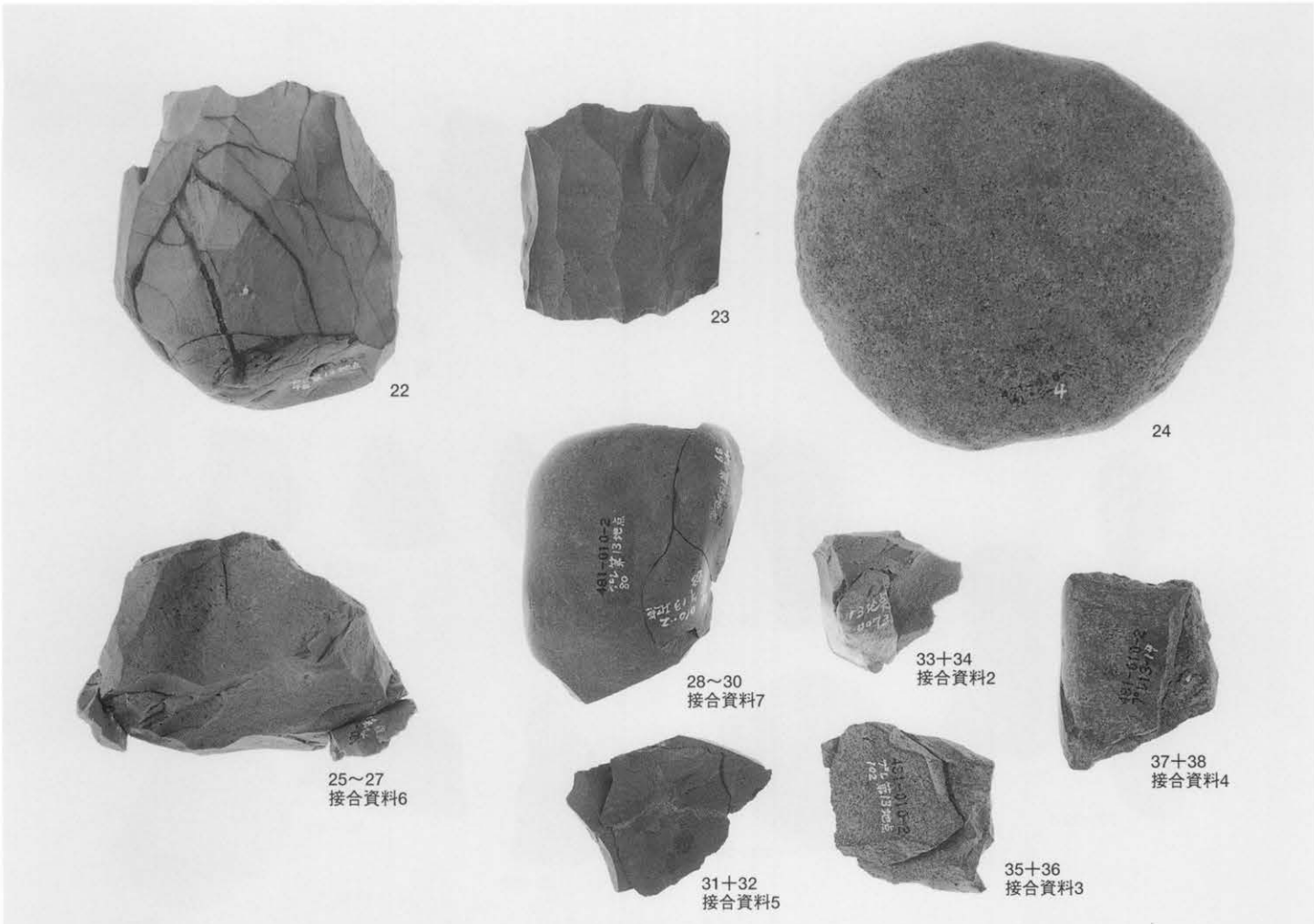


第Ⅱb文化層 第24ブロック

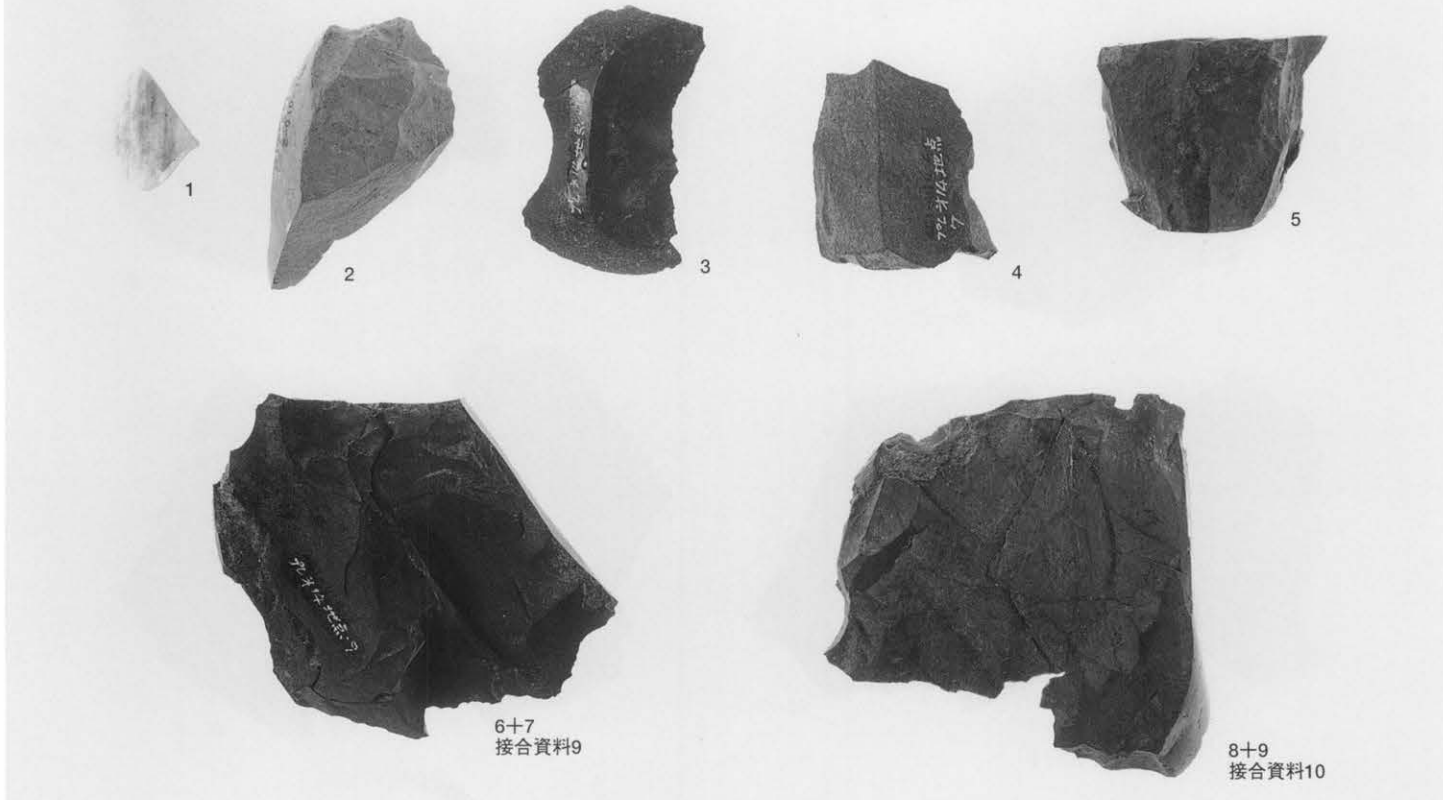


第Ⅱb文化層 第25ブロック（1）

第Ⅱb文化層（1）

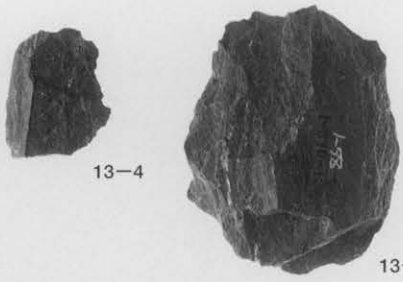


第Ⅱb文化層 第25ブロック（2）

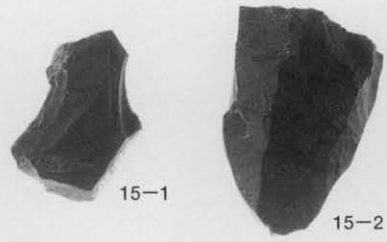


第Ⅱb文化層 第26ブロック

第Ⅱb文化層（2）

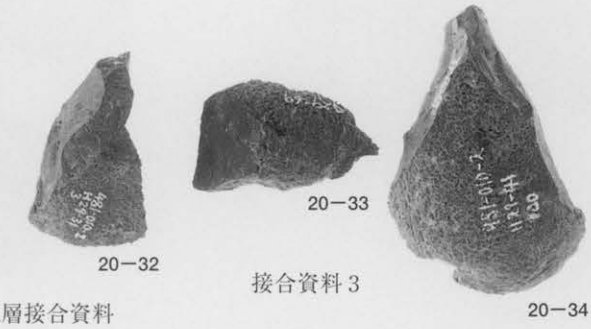


接合資料65
第Ⅰa文化層Bユニット接合資料

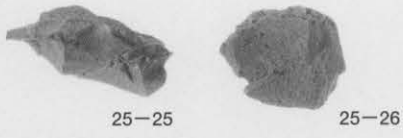


接合資料68
第Ⅰb文化層Cユニット接合資料

接合資料5



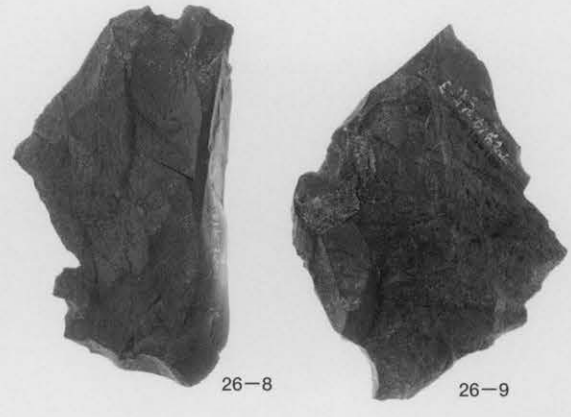
接合資料3
第Ⅱa文化層接合資料



接合資料6

接合資料7

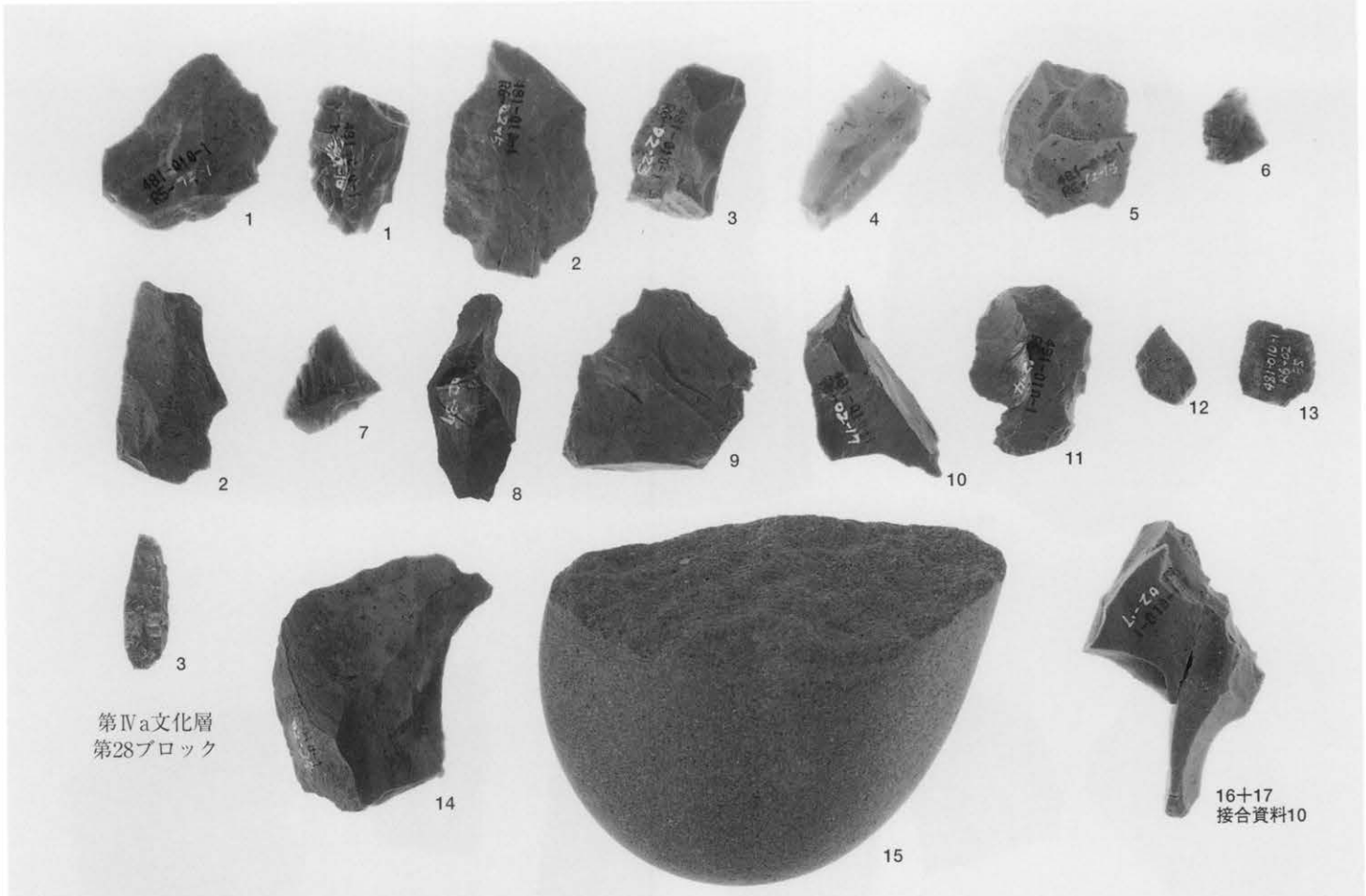
接合資料9



接合資料10

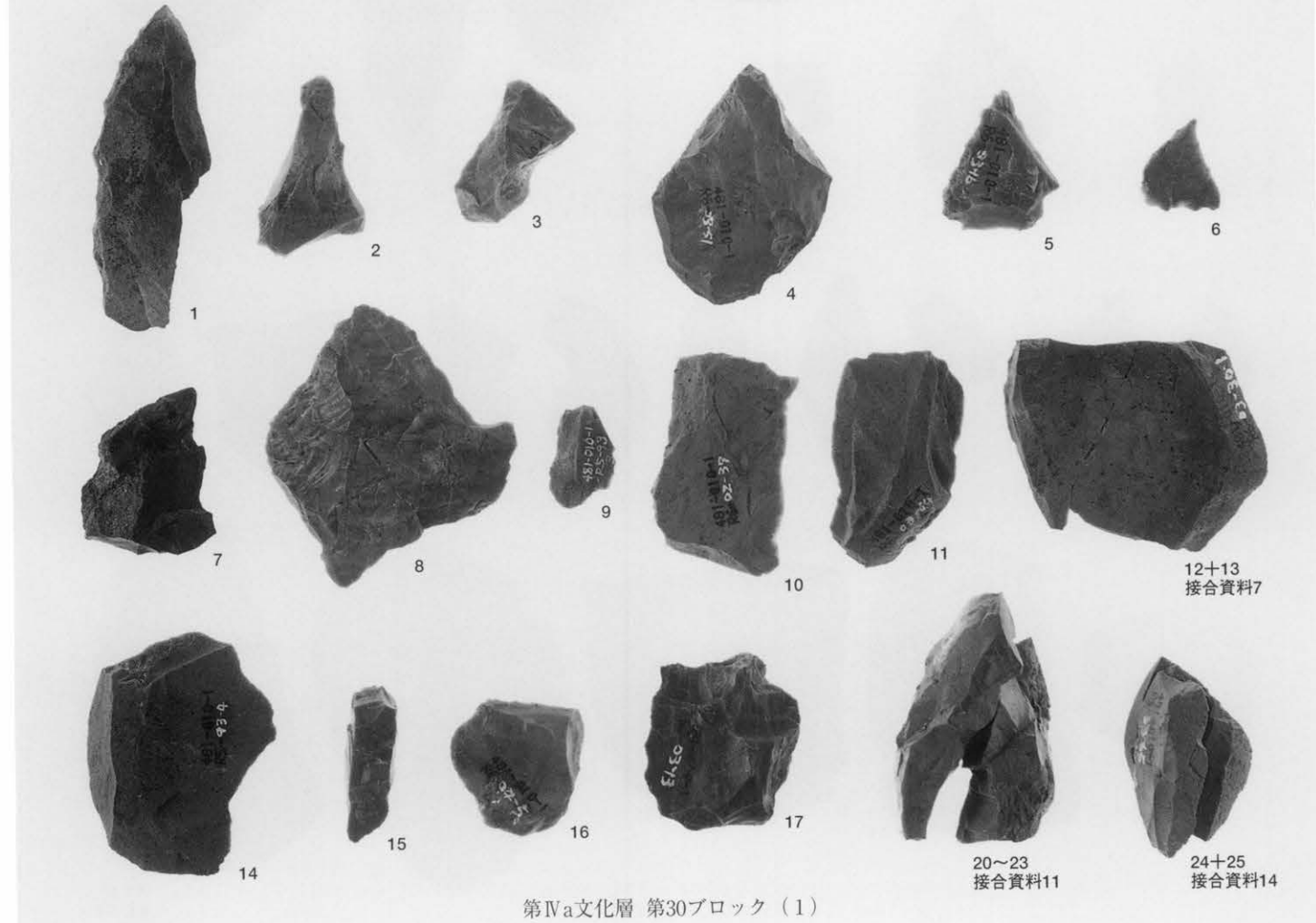
第Ⅱb文化層接合資料単体

第Ⅰ・第Ⅱ文化層接合資料単体

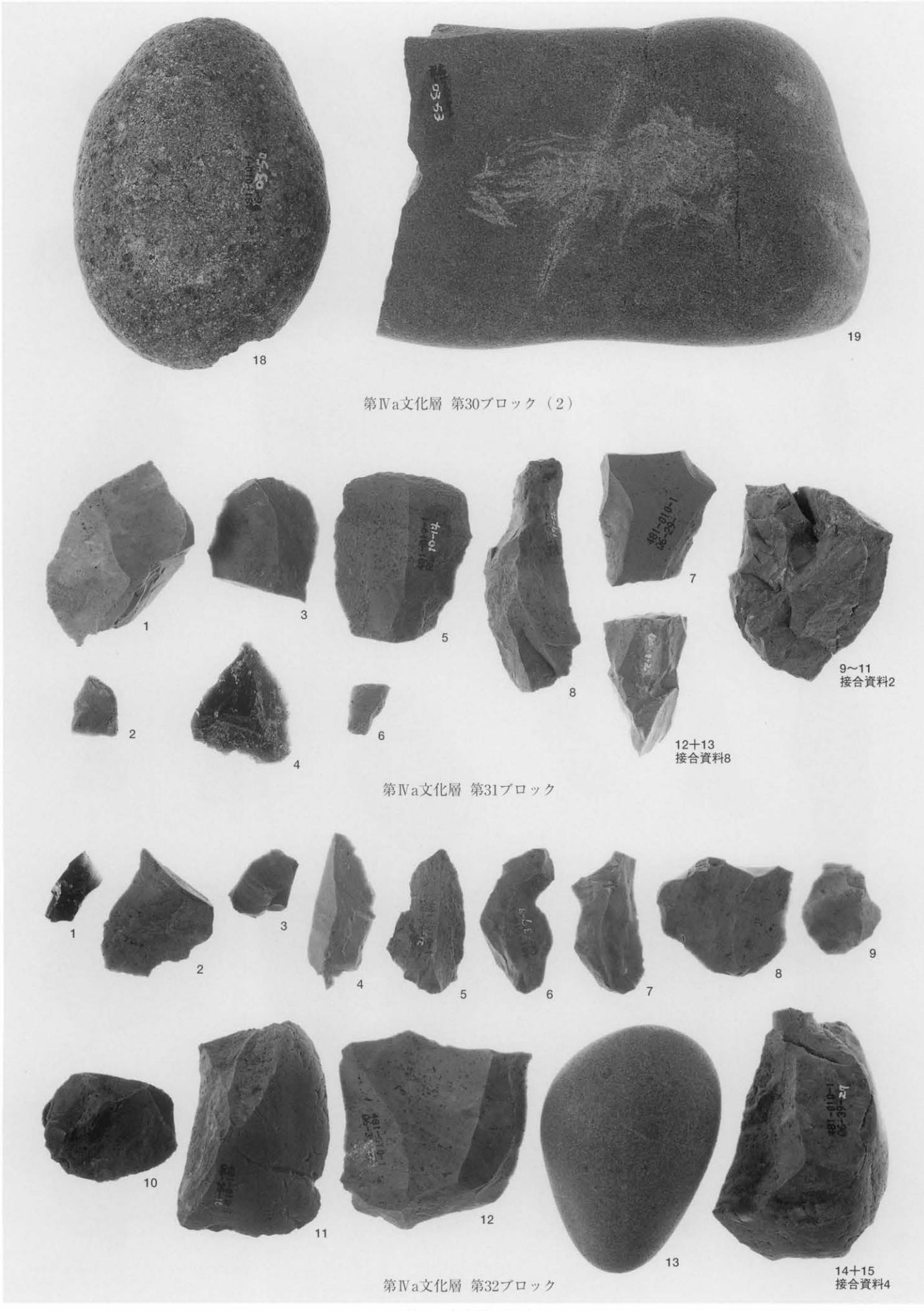


第Ⅳa文化層
第28ブロック

第Ⅳa文化層 第29ブロック



第Ⅳa文化層 第30ブロック（1）

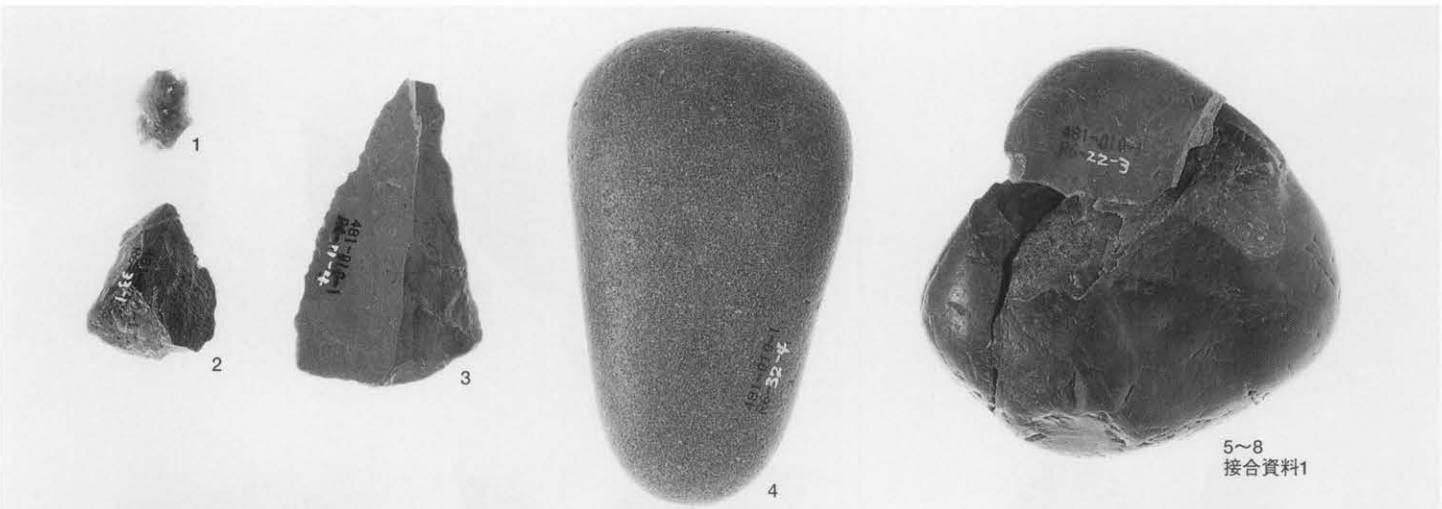


第Ⅳa文化層 第30ブロック（2）

第Ⅳa文化層 第31ブロック

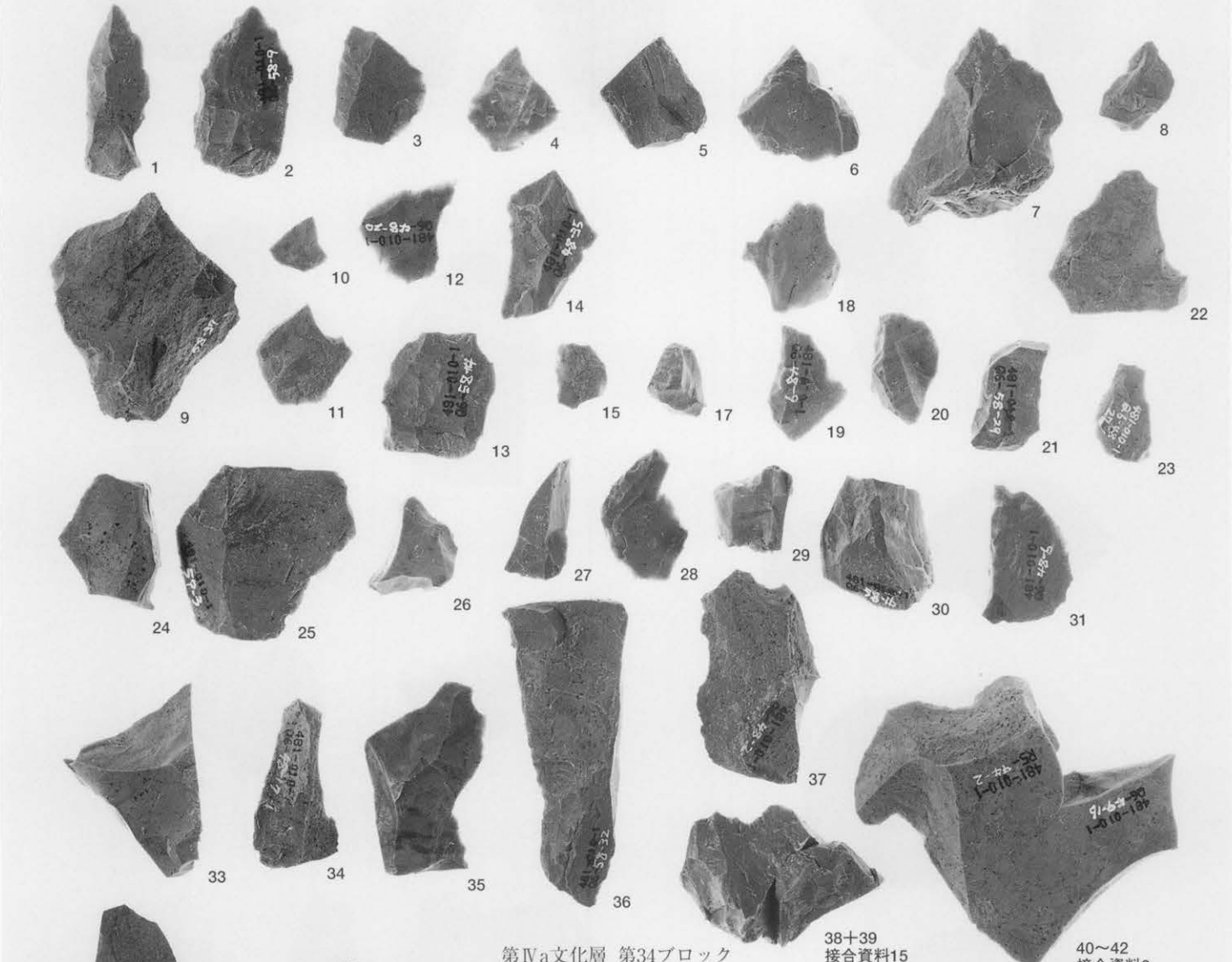
第Ⅳa文化層 第32ブロック

第Ⅳa文化層（2）



5～8
接合資料1

第Ⅳa文化層 第33ブロック



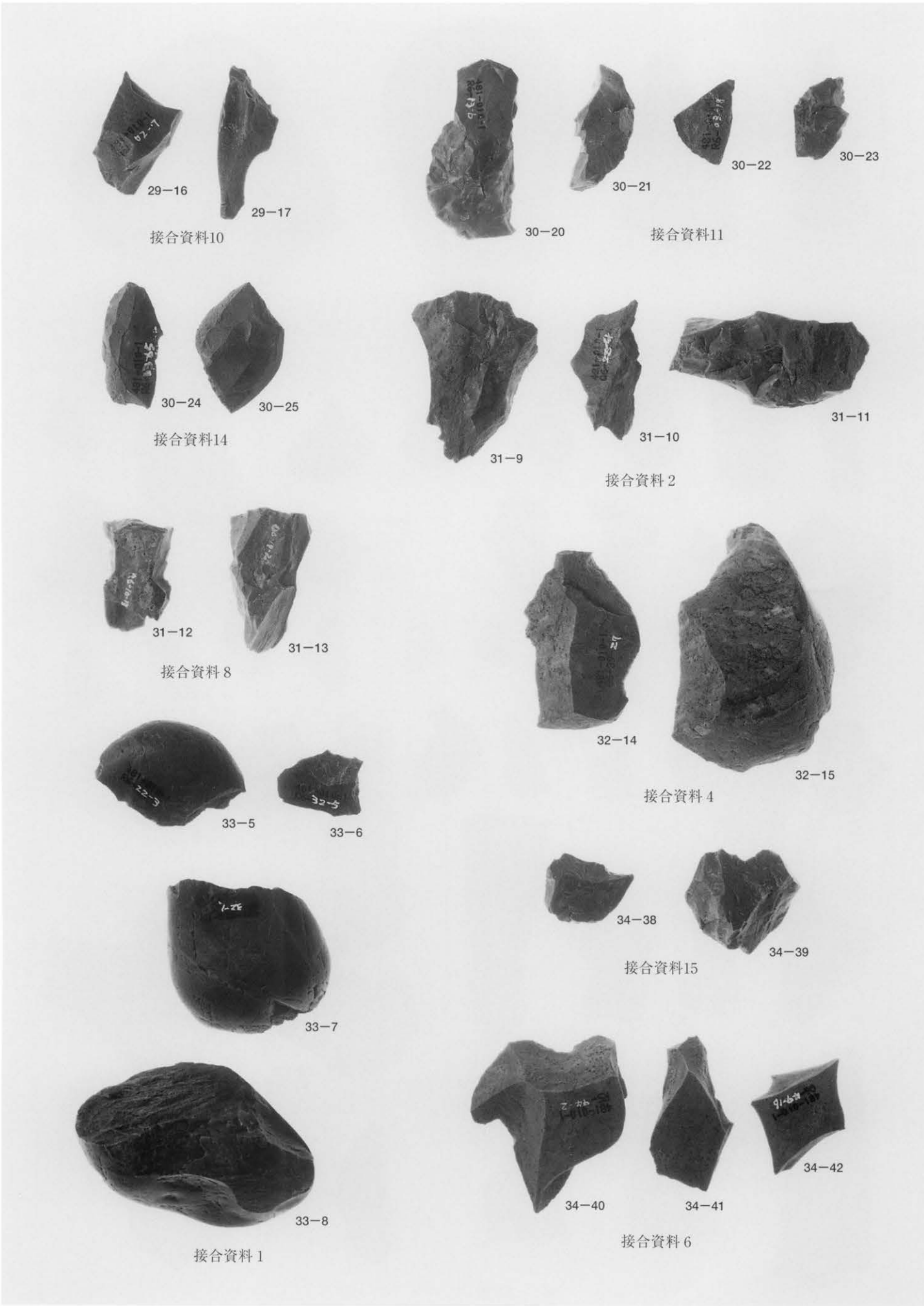
38＋39
接合資料15

40～42
接合資料6

第Ⅳa文化層 第34ブロック

第Ⅳb文化層 第35ブロック

第Ⅳa文化層（3）・第Ⅳb文化層



第Ⅳa文化層接合資料単体

1

2+3
接合資料2

4+5
接合資料1

6+7
接合資料2

第Va文化層　第36ブロック

1

2

3

第Vb文化層　第37ブロック

1～6
接合資料13

第Vc文化層　第40ブロック

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13+14
接合資料2

15

16

17

18

19+20
接合資料14

21

22～24
接合資料4

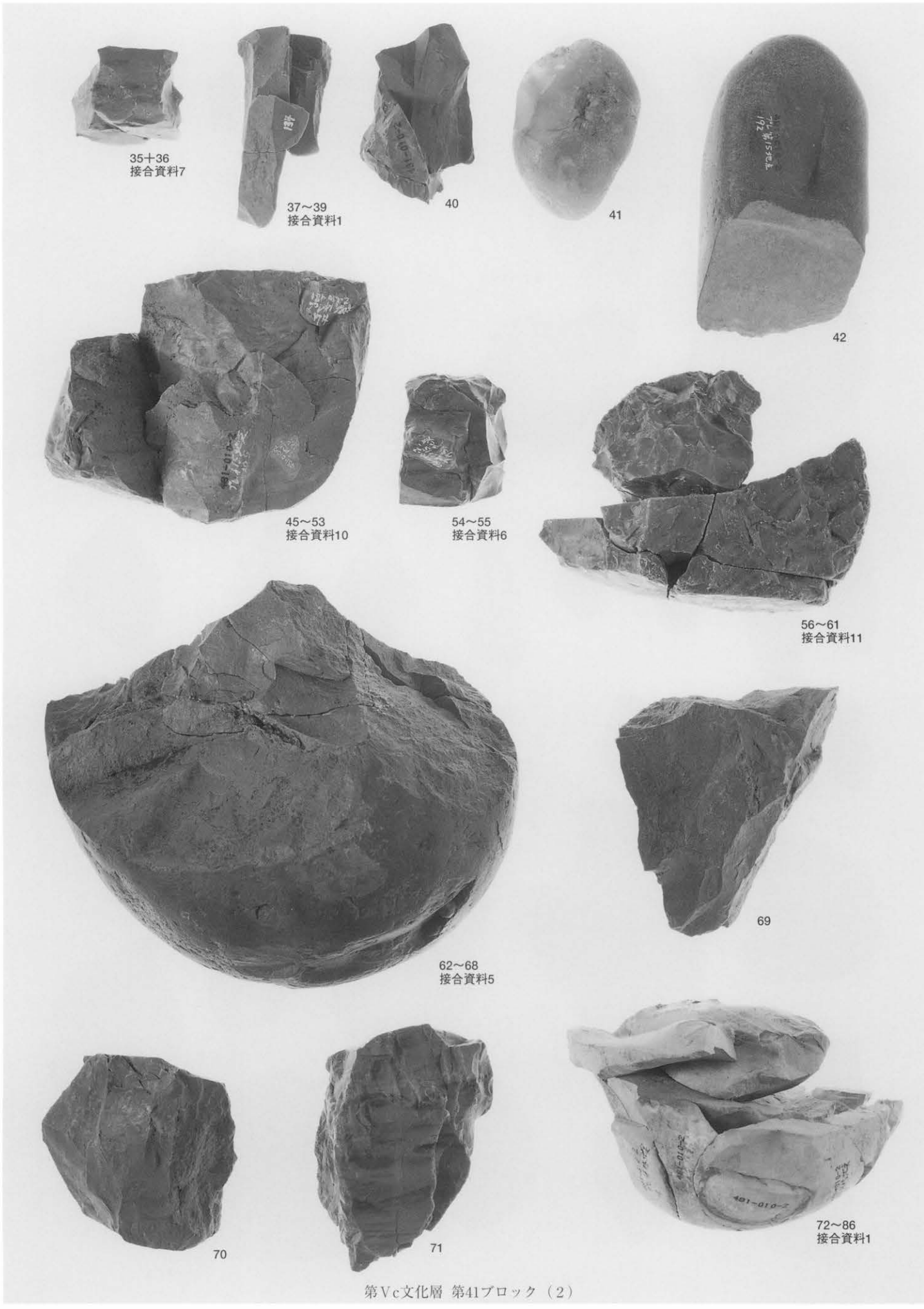
25

26～28
接合資料9

29～34
接合資料3

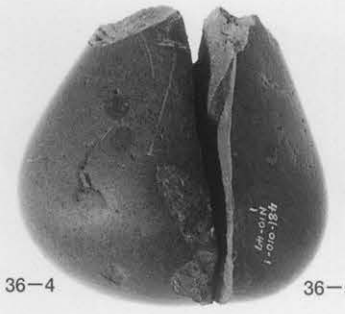
第Vc文化層　第41ブロック（1）

第Va・b文化層・第Vc文化層（1）

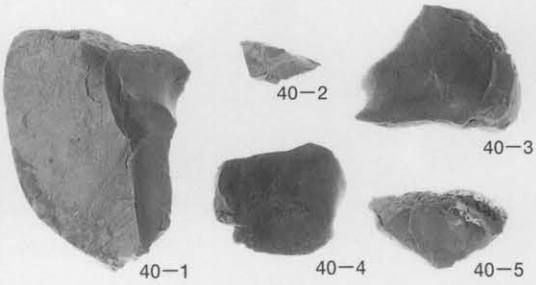


第Ⅴc文化層 第41ブロック（2）

第Ⅴc文化層（2）


36−4
36−5
接合資料1

36−6
36−7
接合資料2


40−1
40−2
40−3
40−4
40−5

40−6
接合資料13
第Vc文化層接合資料

第Va文化層接合資料

41−9

41−20
接合資料14

41−23

41−22

41−24
接合資料4

41−26

41−27

41−28
接合資料9

41−29

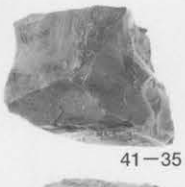
41−31

41−30

41−32

41−33

41−34
接合資料3


41−35

41−36
接合資料7

41−37

41−38

41−39
接合資料1

41−43

41−45

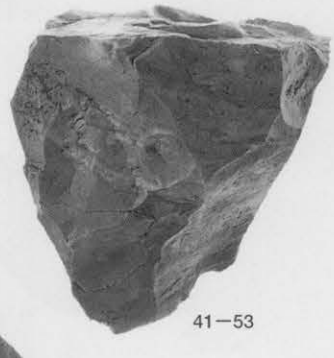
41−46

41−48

41−49

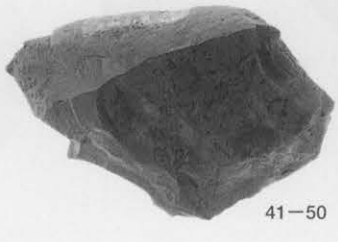
41−52

41−51

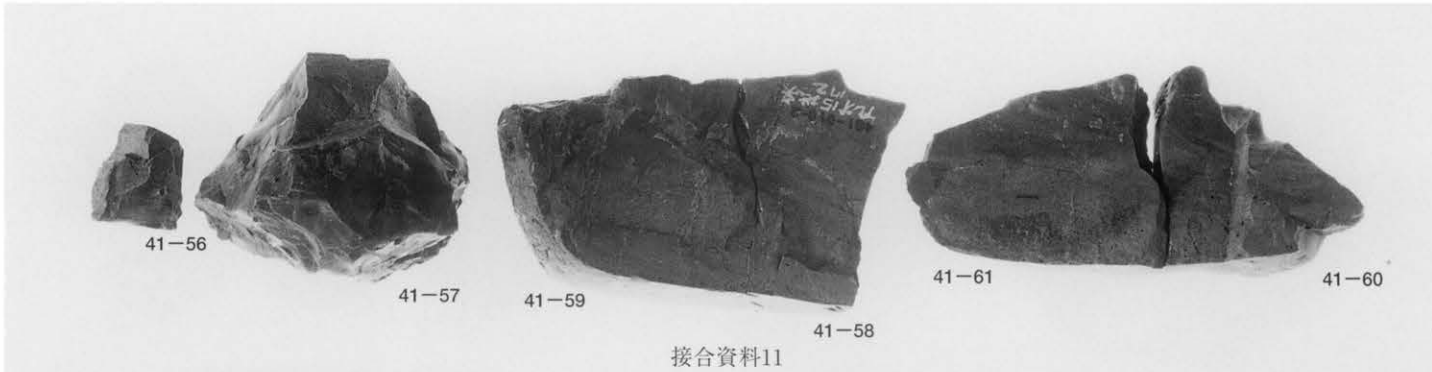

41−53

41−44

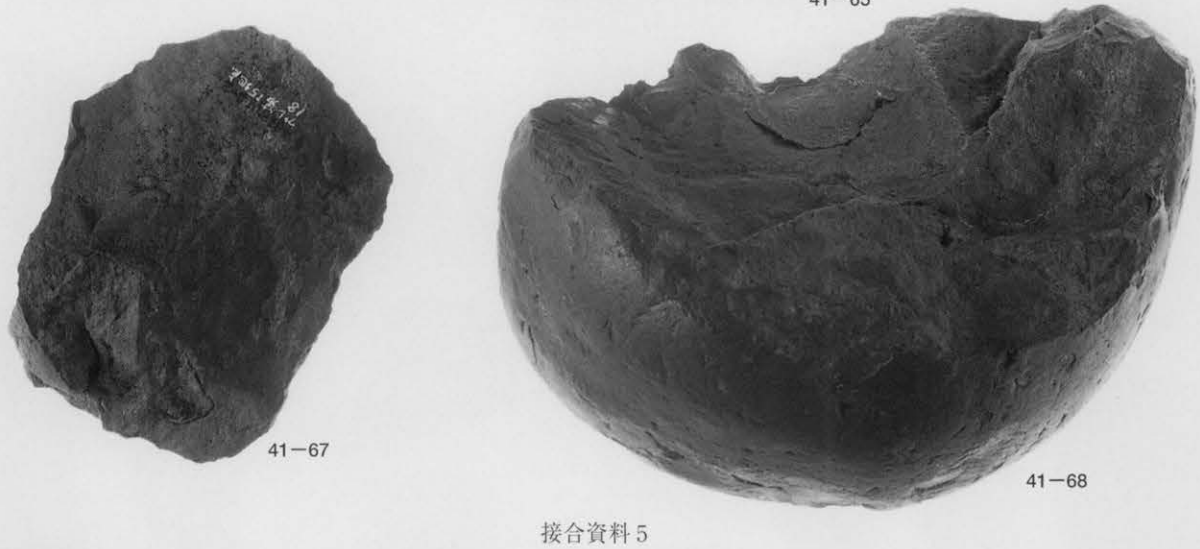
41−47


41−50
接合資料10

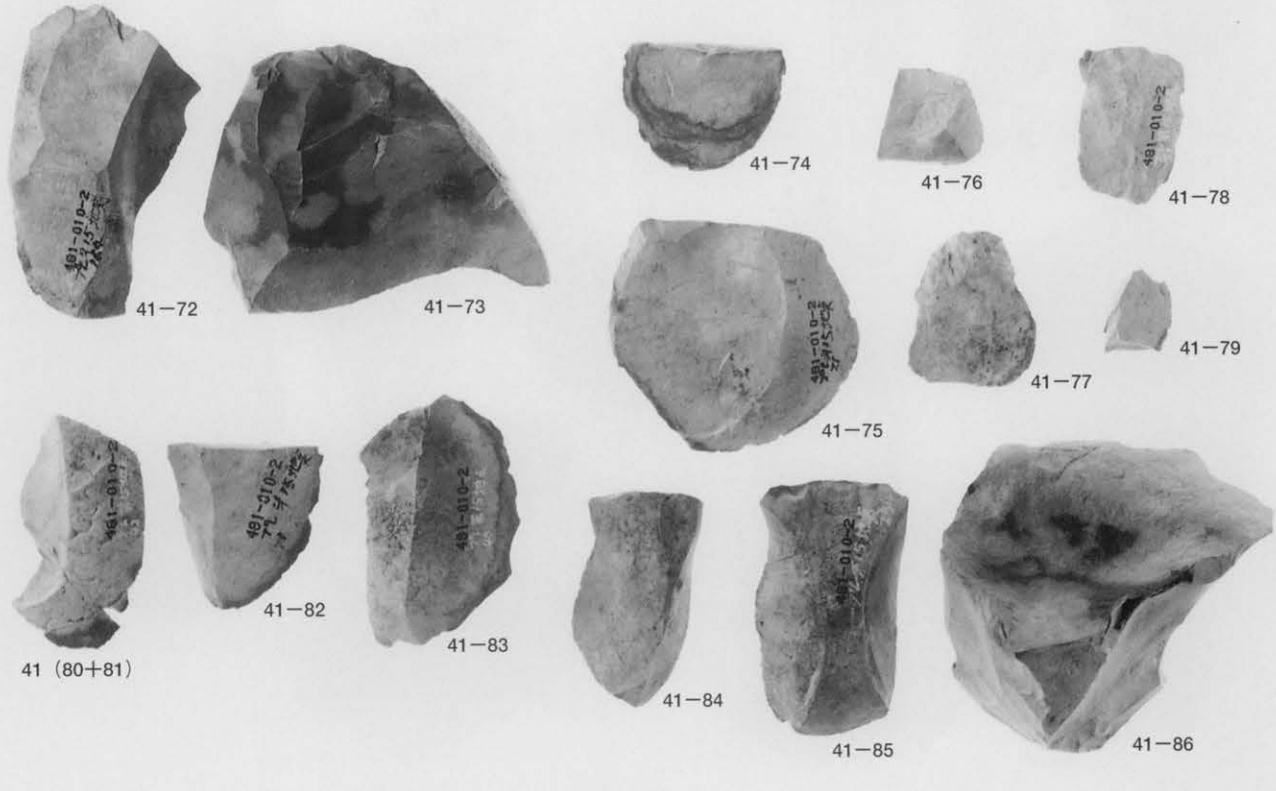
第Vc文化層接合資料単体（1）



接合資料11



接合資料5

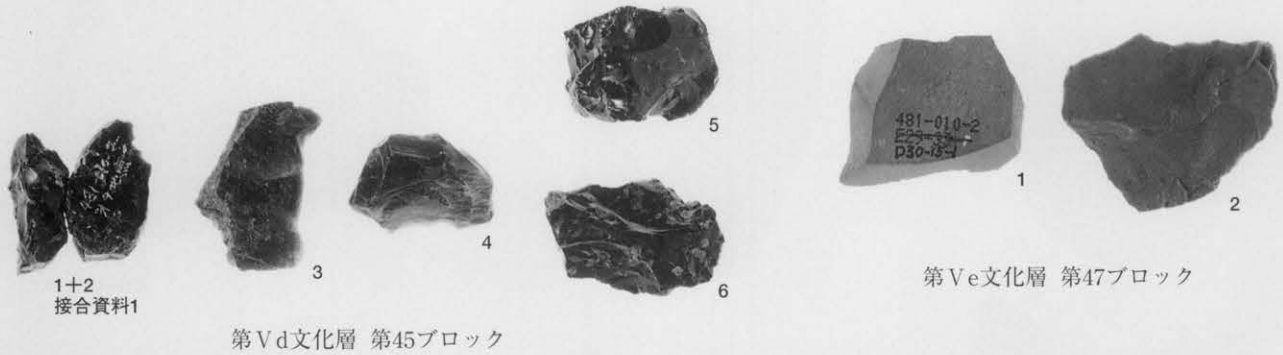


接合資料1

第Ⅴc文化層接合資料単体（2）

第Ⅴc文化層 第43ブロック

第Ⅴd文化層 第44ブロック



第Ⅴd文化層 第45ブロック

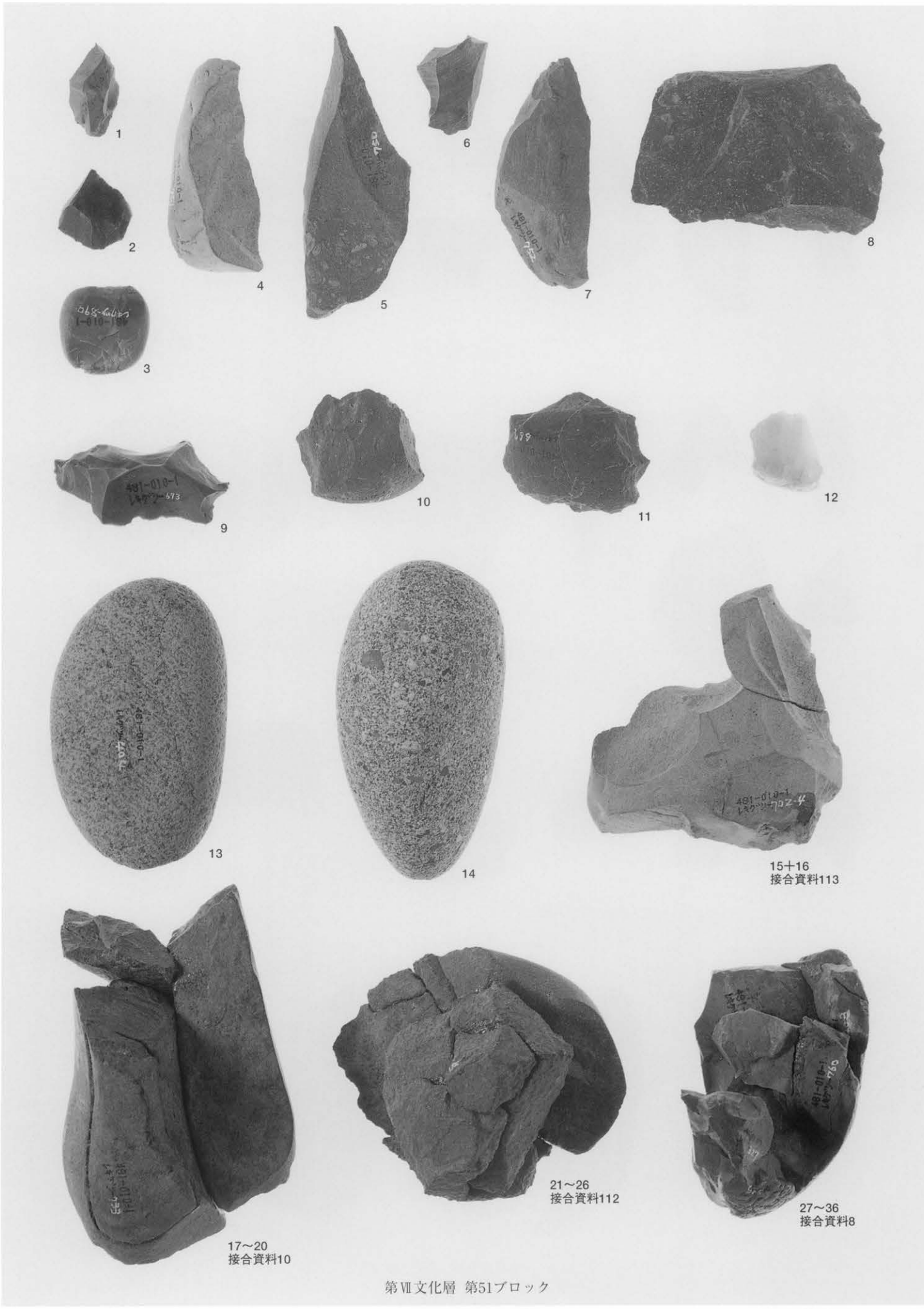
第Ⅴe文化層 第47ブロック

第Ⅵ文化層
第48ブロック

第Ⅵ文化層
第50ブロック

第Ⅵ文化層 第49ブロック

第Ⅴc文化層（3）・第Ⅴd・e文化層・第Ⅵ文化層



第Ⅶ文化層 第51ブロック

第Ⅶ文化層（1）

1

1

2

第Ⅶ文化層 第54ブロック

2～4
接合資料3

第Ⅶ文化層
第52ブロック

1

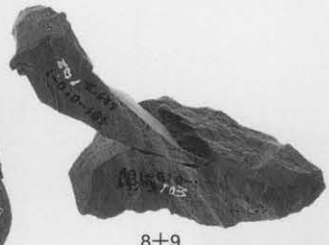
2

3

4

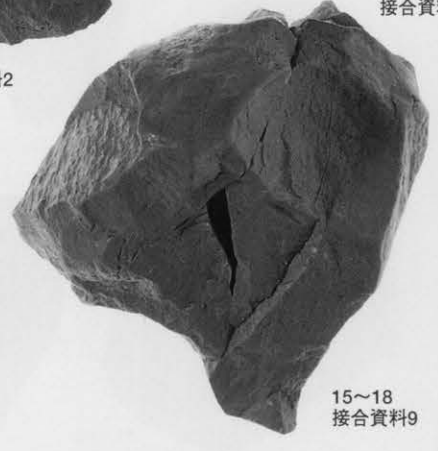
5

6＋7
接合資料6


8＋9
接合資料2

13＋14
接合資料11

10～12
接合資料5


15～18
接合資料9

第Ⅶ文化層 第55ブロック

1

2

第Ⅷ文化層 第56ブロック

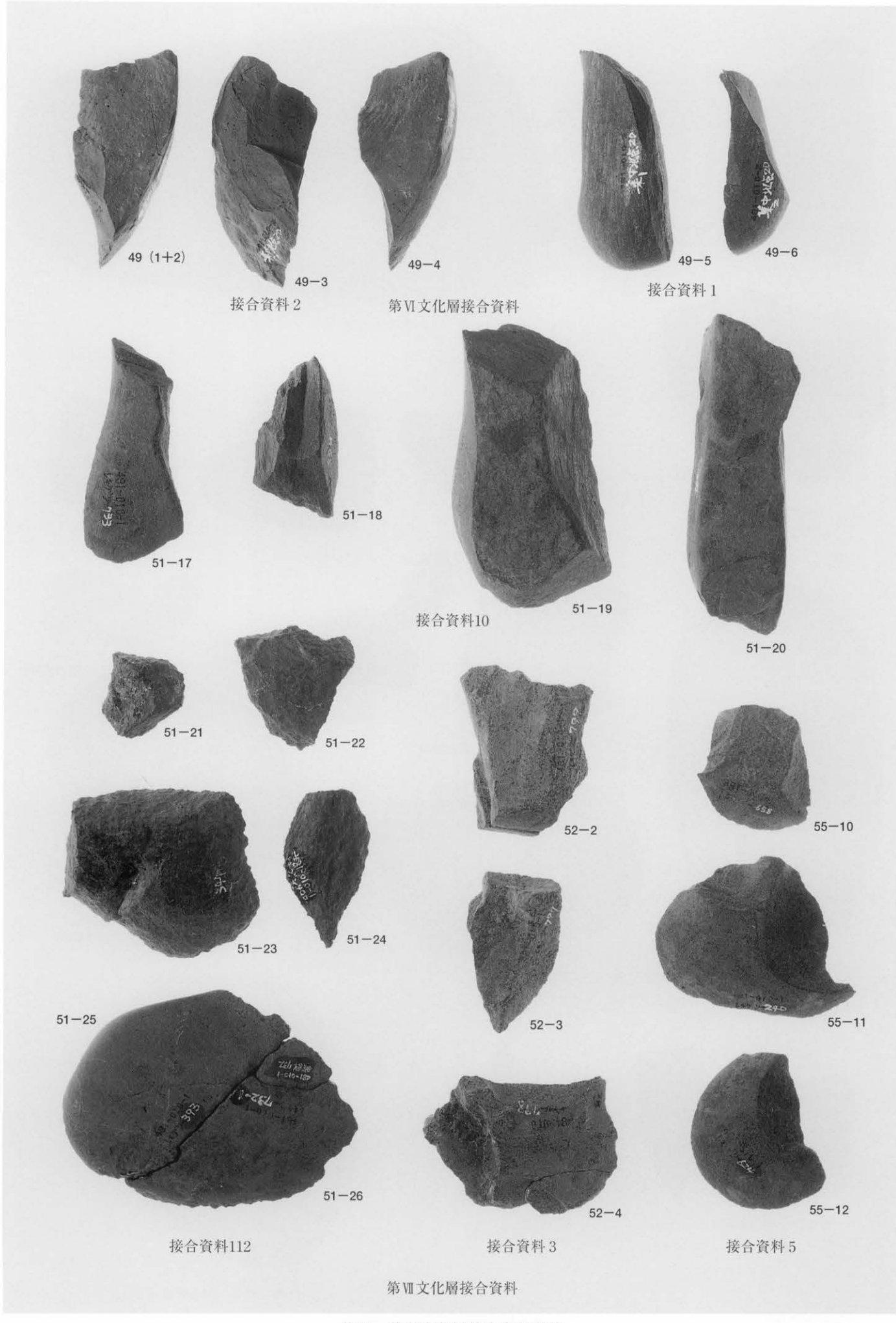
1

第Ⅷ文化層
第57ブロック

1

第Ⅷ文化層 第58ブロック

第Ⅶ文化層（2）・第Ⅷ文化層



接合資料2　第Ⅵ文化層接合資料　接合資料1

接合資料10

接合資料112　接合資料3　接合資料5

第Ⅶ文化層接合資料

第Ⅵ・第Ⅶ文化層接合資料単体

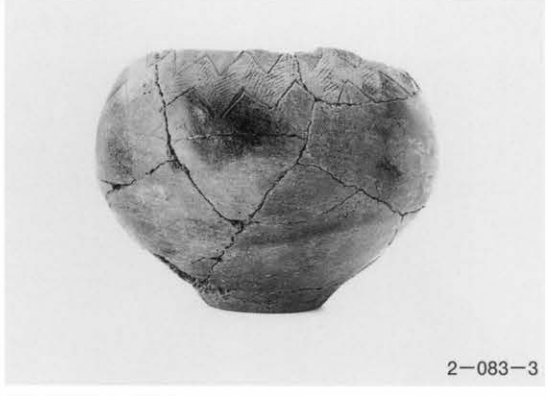
1−021−1

1−038−1

2−004−9

2−004−10

2−025−3


2−083−3

2−083−8

2−083−11

出土土器（1）

2−083−1

2−015−1

2−093−2

2−065−2

出土土器（2）

2−065−3

2−065−4

2−065−7

2−065−6

1−045−1

1−057−3

1−076−1

出土土器（3）

1−076−4

2−092−6

2−092−7

1−054−3

2−020−1

2−020−5

2−020−6

2−026−1

2−026−2

2−086−1

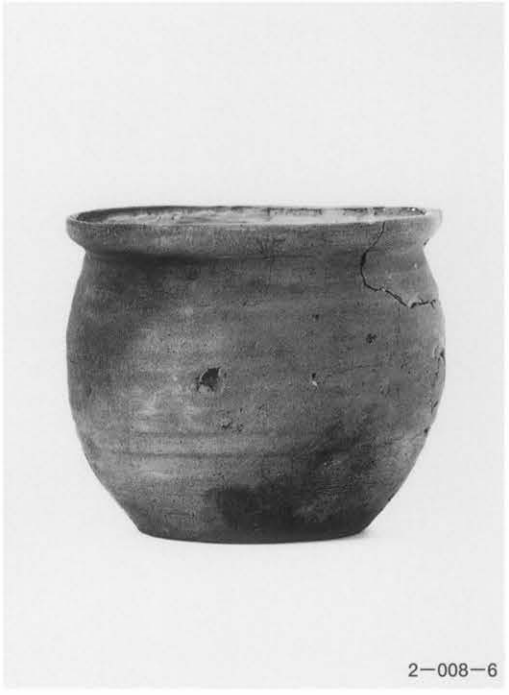
出土土器（4）

2−008−1

2−008−2

2−008−3

2−008−4


2−008−6

2−008−8

2−008−9

遺構外−1

遺構外−2

出土土器（5）

報告書抄録

ふりがな	ひがしかんとうじどうしゃどう(ちば・ふっつせん)まいぞうぶんかざいちょうさほうこくしょ
書名	東関東自動車道（千葉・富津線）埋蔵文化財調査報告書
副書名	袖ケ浦市関畑遺跡
巻次	13
シリーズ名	千葉県文化財センター調査報告
シリーズ番号	第484集
編著者名	小久貫隆史・新田浩三
編集機関	財団法人　千葉県文化財センター
所在地	〒284－0003　千葉県四街道市鹿渡809番地2　TEL　043－422－8811
発行年月日	西暦　2004年3月25日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
せきはたいせき 関畑遺跡	ちばけんそでがうらし 千葉県袖ケ浦市 おぞねあざうえのだい 大曽根字上ノ台 2,166－2ほか	12481	010	35度 24分 55秒	140度 00分 55秒	19910401～ 19920327 19920401～ 19920731 19930201～ 19930327	43,700	道路（東関東自動車道）建設に伴う事前調査

所収遺跡名	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項
関畑遺跡	旧石器時代	遺物集中地点	58か所	台形様石器、ナイフ形石器 局部磨製石斧，楔形石器 敲石，槍先形尖頭器	環状ブロックが2群検出し，60m離れたブロック群間で接合がみられた。また，15文化層の石器群が検出された。
	縄文時代	陥穴	22基	縄文土器（早・前・後期）	
	弥生時代	竪穴住居跡	32軒	弥生土器	
		方形周溝墓	12基		
		溝	1条		
	古墳時代	古墳	3基	土師器	
		竪穴住居跡	6軒		
		方形周溝墓	1基		
	奈良・平安時代	竪穴住居跡	1軒	土師器、須恵器	
		方形周溝状遺構	1基		
		掘立柱建物跡	1棟		

千葉県文化財センター調査報告第484集

東関東自動車道(千葉・富津線)埋蔵文化財調査報告書13

— 袖ケ浦市関畑遺跡 —

平成16年3月25日発行

編　　集　　財団法人　千葉県文化財センター

発　　行　　日　本　道　路　公　団
東京都港区虎ノ門1-18-1

財団法人　千葉県文化財センター
四街道市鹿渡809-2

印　　刷　　株式会社　正　文　社
千葉市中央区都町1-10-6